

上強戸遺跡群(2)

北関東自動車道（伊勢崎～県境）地域の建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2010

東日本高速道路株式会社
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

上強戸遺跡群(2)

北関東自動車道（伊勢崎～県境）地域の
建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

二〇一〇

東日本高速道路株式会社
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団



かみ ごと ども
上 強 戸 遺 跡 群 (2)

北関東自動車道（伊勢崎～県境）地域の建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

2 0 1 0

東日本高速道路株式会社
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団



第1号炉跡全景



第1号炉跡土層断面



第8号溝状遺構漆碗出土遺物状況



第8号溝状遺構出土漆碗（1812）の底面紋様

序

北関東自動車道は、本県高崎市の関越自動車道から分岐し、東北自動車道・常磐自動車道を經由し、群馬・栃木・茨城県を結ぶ新たな物流を促進させる自動車専用道路として、総延長150kmの高速道路として計画されました。

当事業団では、この北関東自動車道の伊勢崎～県境間約17.7kmの建設に先立ち、平成12年8月から38遺跡の発掘調査を実施してまいりました。また、これらの遺跡の整理作業は、平成16年度から実施しております。

このたびは、平成19年度から整理事業を実施してまいりました、太田市上強戸地内に所在する上強戸遺跡群の調査資料を整え、上強戸遺跡群の第2分冊目を刊行する運びになりました。

上強戸遺跡群の発掘調査は、平成14年度から平成16年度まで実施しました。この結果、低地には古代から室町・戦国時代の水田跡が発見されています。また、本書では、室町・戦国時代の大規模な溝で囲まれた多くの建物跡や、室町時代の貴重な日本刀鍛冶工房が掲載されました。これらの貴重な資料が、太田市域の古代～室町・戦国時代の歴史の解明に資することを念じております。

最後になりましたが、東日本高速道路株式会社関東支社、群馬県教育委員会、太田市教育委員会、地元関係者の皆様には発掘調査から本報告書刊行に至るまでご協力を頂き、心より感謝の意を表しまして序といたします。

平成22年10月

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 須田 栄一

例 言

1. 本書は北関東自動車道（伊勢崎～県境）地域建設に伴い事前調査された上強戸遺跡群（遺跡略号 KT620）の発掘調査報告書である。遺跡番号（ID）は、TO402である。
2. 本遺跡はⅠからⅪ区名の区割りに基づいて調査を行った。その結果、遺跡の地勢及び性格が大きく二分できるものとなった。本書では微高地を主体とする地区を報告対象とした。なお、低地帯で水田跡を中心とするⅢ区からⅪ区は『上強戸遺跡群(1)』として、平成21年度に刊行した。
3. 上強戸遺跡群は群馬県太田市上強戸町地内に所在する。
4. 事業主体 東日本高速道路株式会社関東支社
5. 調査主体 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
6. 調査期間 平成14年1月4日～平成16年3月31日
7. 整理期間 平成20年4月1日～平成22年9月30日
8. 調査体制 調査担当
平成13年度 主幹兼課長 大江正行、専門員 大塚俊和、調査研究員 小林 正
平成14年度 主幹兼専門員 木津博明・谷藤保彦、専門員 高井佳弘・高島英之・大塚俊和
主任調査研究員 川端俊介・阿久津聡・増田眞次・木暮育秀
調査研究員 長沼孝則・小林 正
平成15年度 専門員 谷藤保彦・高井佳弘・大塚俊和・亀山幸弘
主任調査研究員 関口博幸・川端俊介・深澤敦仁
平成16年度 専門員 坂口 一・谷藤保彦・柏木一男・渡辺弘幸
主任調査研究員 黒沢照弘・小高哲茂
平成17年度 課長 大江正行、専門員 新井 仁・小林 徹・柿沼弘之
委託 鉄器分析：岩手県立博物館 地上測量：株式会社小出測量
航空測量・空中写真撮影：株式会社シン技術コンサル
9. 遺物写真 佐藤元彦・綿貫邦男
10. 発掘調査資料・出土遺物は群馬県埋蔵文化財調査センターに保管してある。
11. 発掘調査及び報告書作成には次の方々からご協力・ご指導を頂いた。
太田市教育委員会・地元関係者各位
12. 本書作成の担当者は次の通である。
編集 木津博明
本書執筆者 佐藤明人（第1章 第1節 調査に至る経緯）
綿貫邦男（第6章 第15節 木製品）
岩崎泰一（第6章 第16節 追補2 石器観察表）
赤沼英男（第7章 第2節 鉄関連資料の金属考古学的調査）
木津博明（上記以外）
13. 発掘調査に関わる記録保存資料及び出土遺物は、群馬県埋蔵文化財調査センターに保管してある。

凡 例

1. 本書における遺構名称は基本的に算用数字と遺構形状や機能による習慣的名称を統合して遺構の固有名詞とする。従って遺構名称としての数字は調査の進行に伴って便宜上付与したものであり他のいかなる有意的順位をも示すものではない。
2. 本書の本文中で用いた座標系は日本測地系を用いた。遺跡地は第IX系第三象限に当たる。遺構図中にはX・Y値を用い、北は座標北を指し、真北との偏差角は、調査区南東隅部 X=37025.000m (世界測地系 37376.0498m)、Y=42665.000m (世界測地系-42382.6128m) で偏差角-0°16'47.076"である。
3. グリッドは上記座標を使用している。またグリッドの表記、図葉割等は第3章第1節を参照されたい。
4. 本書における遺構図版にはそれぞれ縮尺比率乃至縮尺比例尺を付し。遺構図は以下を基本とした。
溝状遺構断面図：1/60、掘立柱建物跡、掘立柱施設跡、柵列、井戸跡、鍛冶施設：1/60、炉跡、土墳墓、火葬跡、土坑、1/30、ただし、遺構によってはこの限りではない。
5. 本書における遺構・遺物図にはそれぞれ縮尺比率を付した。遺物図の基本は以下の様である。土師質土器皿、陶器、磁器、羽口、土器類、石器類1/3、石鏃1/1、軟質陶器、焼締陶器、鉄滓1/4、石製品、石造品1/6、金属製品1/2。木製品：小1/2、中1/3、1/4、大1/6。ただし、遺物によってはこの限りではない。
6. 本書における遺構図の断面水平基準は「基準線標高値」でこれを表した。
7. 本書における遺構図版中の遺物、図版中の遺物、写真図版中の遺物、計測表遺物に付された番号の遺物のうち、同一の番号は同一の遺物を示す。
8. 土器の実測図は原則として四分画法をとった。ただし、残存量が二分の一以下のものは180度展開して図上復元とし、中心線を一点鎖線でこれを示し、破片による復元図は中心線を破線で示した。
9. 遺物の拓影及び展開、断面は基本的に一角法でこれを示した。
10. 土層及び土器の色調名は『標準土色帳』農林省農林水産技術会議事務局、財団法人日本色彩研究所監修に基本的に準じたが、慣用的に用いている表現もある。
11. 本書で使用する浅間山及び榛名山噴火による降下火砕物巨泥流堆積物の呼称については、以下のように表記する。
As-B 軽石：浅間山給源。1108 (天仁元) 年
Hr-FP 軽石：榛名山ニッ岳給源。6世紀後半
As-C 軽石：浅間山給源。4世紀初頭。
12. 本書で使用する図中の網がけは以下の通りであるが、これ以外は各図中に示した。

弱い酸化	酸化	くすんだ酸化	中性	弱い還元	還元	ケイ化	カセた黒色ガラス化	黒色ガラス化
鉄分鉄滓	緑黄色変色	鉄滓との剥離面	土器類	石類	調査後の欠損	攪乱	底面 壁面 (土層断面)	施釉範囲

目 次

序
例言
凡例
目次

挿図目次
図表目次
図版目次
付図目次
報告書抄録

第1章 調査経過	1	第1項 概要	42
第1節 調査に至る経緯	1	第2項 各遺構の概要と所見	43
第2節 発掘調査事業と整理事業	1	第4節 掘立柱建物跡・掘立柱施設跡	44
第1項 発掘調査	1	第1項 概要	44
第2項 整理事業	4	第2項 復元した掘立柱建物跡・ 掘立柱施設跡について	45
第2章 遺跡自然環境と歴史的環境	5	第3項 掘立の分布と構成	45
第1節 自然環境	5	第4項 建物の構成	46
第1項 自然環境	5	第5項 分布域1での状況	46
第2項 遺跡立地	6	第6項 分布域2での状況	47
第2節 歴史的環境	7	第7項 分布域3での状況	48
第1項 旧太田市域の遺跡の概観	7	第8項 掘立規模の図表化	49
第2項 調査区周辺の遺跡	15	第9項 掘立の構造	50
第3章 記録保存方法と整理方法	19	第10項 掘立柱施設跡	51
第1節 発掘調査	19	第11項 柵列	52
第1項 遺構の調査	19	第12項 柱穴の形	53
第2項 調査杭とグリッド	19	第13項 小結	53
第3項 基本土層	19	第5節 井戸跡	53
第4項 遺構の図化	20	第1項 概要	53
第5項 遺構記録写真	21	第2項 所見	54
第2節 整理方法	21	第3項 小結	60
第1項 遺物の取り扱い	21	第6節 炉跡	60
第2項 遺物台帳	21	第1項 概要	60
第3項 図化掲載遺物の選定	21	第2項 第1号炉跡	60
第4項 遺物実測	21	第3項 第2号炉跡	62
第4章 調査I区で発見された遺構	23	第4項 小結	63
第1節 概要	23	第7節 墓跡及び墓関係遺構	63
第1項 発見された遺構	23	第1項 概要	63
第2節 溝状遺構	23	第2項 各遺構の概要と所見	63
第1項 調査の概要	23	第8節 集石	66
第2項 発見された遺構の概要と調査所見	24	第1項 概要	66
第3節 竪穴状遺構	42		

第2項 遺構の概要と所見	66	第4項 器面	80
第9節 土坑	67	第5項 形	80
第1項 概要	67	第6項 焼き上がり	80
第2項 柱穴跡	67	第7項 焼成	80
第3項 土坑	67	第8項 色調	80
第10節 水田跡	68	第9項 年代観	80
第1項 概要	68	第3節 軟質陶器播鉢	81
第2項 水田跡の調査	68	第1項 概要	81
第5章 調査II区で発見された遺構	69	第2項 形	81
第1節 発見された遺構	69	第3項 卸目	81
第1項 概要	69	第4節 軟質陶器内耳鍋形土器	81
第2項 遺構1面	69	第1項 概略	81
第3項 遺構2面	69	第2項 胎土	81
第4項 遺構3面	69	第3項 形	81
第5項 遺構4面	69	第4項 耳部	81
第6項 遺構5面	69	第5項 器外面	82
第7項 遺構6面	69	第6項 器内面	82
第2節 第1遺構面発見の遺構	70	第7項 作り	82
第1項 溝状遺構	70	第5節 軟質陶器内耳盤形土器	82
第2項 生産遺構	72	第1項 概要	82
第3項 小結	73	第2項 胎土	82
第3節 第2遺構面発見の遺構	73	第3項 形	82
第1項 概要	73	第4項 耳部	82
第2項 溝状遺構	73	第5項 器外面	82
第3項 土坑と掘立柱建物跡	74	第6項 器内面	83
第4項 井戸跡	75	第6節 その他の軟質陶器類	83
第5項 墓跡	75	第1項 概要	83
第4節 第3遺構面発見の遺構	76	第7節 白類	83
第1項 発見された遺構	76	第1項 概要	83
第5節 第4遺構面発見の遺構	76	第2項 穀白(上白)	83
第1項 発見された遺構	76	第3項 穀白(下白)	83
第6節 第5遺構面発見の遺構	77	第4項 茶白(上白)	83
第1項 発見された遺構	77	第5項 茶白(下白)	83
第7節 第6遺構面発見の遺構	78	第8節 石鉢	84
第1項 発見された遺構	78	第1項 概要	84
第6章 出土遺物	79	第2項 形	84
第1節 概要	79	第3項 作り	84
第2節 土師質土器皿	79	第9節 砥石	84
第1項 概略	79	第1項 概要	84
第2項 胎土	79	第2項 置砥(荒砥)	84
第3項 轆轤	79	第3項 置砥(中砥)	85

第4項	置砥（仕上砥）	85	第3項	8号溝の出土木製品	95
第5項	置砥（軟質仕上砥）	85	第4項	2号井戸出土木製品	95
第6項	手持砥（中砥）	85	第5項	6号井戸出土木製品	95
第10節	五輪塔類	86	第6項	7号井戸出土木製品	95
第1項	概要	86	第7項	8号井戸出土木製品	95
第2項	地輪	86	第8項	16号井戸出土木製品	96
第3項	水輪	86	第9項	17号井戸出土木製品	96
第4項	火輪	86	第10項	19号井戸出土木製品	96
第5項	風空輪	87	第11項	20号井戸出土木製品	96
第6項	規格	87	第12項	2614号土坑出土下駄	96
第7項	「足利形五輪塔」	87	第13項	1004号土坑出土木製品	96
第11節	寶篋印塔類	88	第14項	3530号 pit・424号 pit 出土柱材	96
第1項	概要	88			
第2項	塔身	88	第7章	理化学分析	97
第3項	笠	88	第1節	金属器（鉄器）の理化学分析	
第12節	板碑	88		について	97
第1項	概要	88	第1項	分析に至る経緯	97
第2項	種字	89	第2項	分析の目的と供試料の内容	97
第3項	紀年銘	89	第3項	整理事業を行っての所見	97
第13節	磚状石製品	89	第4項	分析結果と整理所見	97
第1項	概要	89	第2節	鉄関連資料の金属考古学的調査	98
第2項	出土遺構	89	第1項	はじめに	98
第3項	煤け	89	第2項	調査資料	98
第4項	鉄分の付着	90	第3項	調査試料の摘出	98
第5項	小結	90	第4項	調査方法	99
第14節	金属製品	90	第5項	調査結果	99
第1項	概要	90	第6項	考察	102
第2項	8号溝の鉄器	90			
第3項	8号溝以外の鉄器	91	発掘された遺構と出土遺物		121
第4項	鉄塊	91	追補2		450
第5項	小結	91			
第15節	羽口と鉄滓・銅滓	92	第8章	成果と課題	491
第1項	概要	92	第1節	成果	491
第2項	羽口	92	第1項	総括	491
第3項	鉄滓	92	第2項	遺構の成果	491
第4項	銅滓	92	第3項	鍛冶工房の生産品	495
第16節	不明土製品	92	第2節	課題	496
第1項	不明土製品	92			
第17節	木製品	93	写真図版		
第1項	1号溝の出土木製品	93			
第2項	2号溝の出土木製品	94			

挿図目次

第 1 図	調査区概略及び各調査区調査期間・調査工程一覧	2	第 60 図	第 67 号溝状遺構出土遺物実測図	167
第 2 図	試掘調査トレンチ設定図	3	第 61 図	第 9・22・27・30・36・37 号溝状遺構出土遺物実測図	168
第 3 図	八王子丘陵の地質図	5	第 62 図	第 38～42 号溝状遺構出土遺物実測図	169
第 4 図	大間々扇状地の地形分類図	6	第 63 図	第 42・43 号溝状遺構出土遺物実測図	170
第 5 図	上強戸遺跡群周辺遺跡	8	第 64 図	第 49・50・54 号溝状遺構出土遺物実測図	171
第 6 図	上強戸遺跡群周辺の旧地形図と調査区位置図	9	第 65 図	第 56・58・59・61 号溝状遺構出土遺物実測図	172
第 7 図	寺井廃寺遺跡(弘輪寺跡)周辺地形図 (太田市白図・昭和35年測量)	17	第 66 図	第 61・62・66・67 号溝状遺構出土遺物実測図	173
第 8 図	寺井廃寺遺跡(弘輪寺跡)・新田郡家周辺の土地区画 (昭和初年頃か)	17	第 67 図	第 1 号竪穴状遺構・出土遺物実測図	174
第 9 図	耕地図に残る地割と遺跡地(昭和初年頃か)	18	第 68 図	第 2 号竪穴状遺構	174
第 10 図	基本土層図	20	第 69 図	第 2 号竪穴状遺構出土遺物実測図	175
第 11 図	グリッド及び図葉割図	22	第 70 図	第 3 号竪穴状遺構・出土遺物実測図	175
第 12 図	第 1 号溝状遺構会合部概略図	22	第 71 図	第 4 号竪穴状遺構・出土遺物実測図	176
第 13 図	掘立柱建物東西棟・南北棟別面積	50	第 72 図	調査区内北東部掘立柱建物跡分布図(分布域 1)	177
第 14 図	第 1 号溝状遺構 4 区微細図 1/5	121	第 73 図	調査区内北西部掘立柱建物跡分布図(分布域 2)	178
第 15 図	第 1 号溝状遺構 4 区微細図 2/5	122	第 74 図	調査区内南西部掘立柱建物跡分布図(分布域 3)	179
第 16 図	第 1 号溝状遺構 4 区微細図 3/5	123	第 75 図	第 1・8 号掘立柱建物跡実測図	180
第 17 図	第 1 号溝状遺構 4 区微細図 4/5	124	第 76 図	第 2・3・4 号掘立柱建物跡実測図	181
第 18 図	第 1 号溝状遺構 4 区微細図 5/5	125	第 77 図	第 5・6 号掘立柱建物跡実測図	182
第 19 図	第 1 号溝状遺構土層断面図	126	第 78 図	第 7・9 号掘立柱建物跡実測図	183
第 20 図	第 1 号溝状遺構断面図	127	第 79 図	第 10・11 号掘立柱建物・ 第 68～70 掘立柱施設跡実測図	184
第 21 図	第 2 号溝状遺構橋脚部平衡断面図 1/2	128	第 80 図	第 12 号掘立柱建物跡実測図	185
第 22 図	第 2 号溝状遺構橋脚部平衡断面図 2/2	129	第 81 図	第 13 号掘立柱建物跡実測図	186
第 23 図	第 2・8 号溝状遺構土層断面図	130	第 82 図	第 14 号掘立柱建物跡実測図	187
第 24 図	溝状遺構土層断面図 1/3	131	第 83 図	第 15 号掘立柱建物跡実測図	188
第 25 図	溝状遺構土層断面図 2/3	132	第 84 図	第 16 号掘立柱建物跡実測図	189
第 26 図	溝状遺構土層断面図 3/3	133	第 85 図	第 17・18 号掘立柱建物跡実測図	190
第 27 図	第 1 号溝状遺構出土遺物位置図	136	第 86 図	第 19 号掘立柱建物跡実測図	191
第 28 図	第 1 号溝状遺構出土遺物実測図 1/11	137	第 87 図	第 20 号掘立柱建物跡実測図	192
第 29 図	第 1 号溝状遺構出土遺物実測図 2/11	138	第 88 図	第 21・22 号掘立柱建物跡実測図	193
第 30 図	第 1 号溝状遺構出土遺物実測図 3/11	139	第 89 図	第 23・25 号掘立柱建物跡実測図	194
第 31 図	第 1 号溝状遺構出土遺物実測図 4/11	140	第 90 図	第 24・43 号掘立柱建物跡実測図 1/2	195
第 32 図	第 1 号溝状遺構出土遺物実測図 5/11	141	第 91 図	第 24・43 号掘立柱建物跡実測図 2/2	196
第 33 図	第 1 号溝状遺構出土遺物実測図 6/11	142	第 92 図	第 26・27 号掘立柱建物跡実測図 1/2	197
第 34 図	第 1 号溝状遺構出土遺物実測図 7/11	143	第 93 図	第 26・27 号掘立柱建物跡実測図 2/2	198
第 35 図	第 1 号溝状遺構出土遺物実測図 8/11	144	第 94 図	第 28 号掘立柱建物跡実測図	199
第 36 図	第 1 号溝状遺構出土遺物実測図 9/11	145	第 95 図	第 29 号掘立柱建物跡実測図	200
第 37 図	第 1 号溝状遺構出土遺物実測図 10/11	146	第 96 図	第 30 号掘立柱建物跡実測図	201
第 38 図	第 1 号溝状遺構出土遺物実測図 11/11	147	第 97 図	第 31 号掘立柱建物跡実測図	202
第 39 図	第 2 号溝状遺構出土遺物位置図 1/3	148	第 98 図	第 32 号掘立柱建物跡実測図	203
第 40 図	第 2 号溝状遺構出土遺物位置図 2/3	149	第 99 図	第 33 号掘立柱建物跡実測図	204
第 41 図	第 2 号溝状遺構出土遺物位置図 3/3	150	第 100 図	第 34・63 号掘立柱建物跡実測図	205
第 42 図	第 2 号溝状遺構出土遺物実測図 1/6	151	第 101 図	第 35 号掘立柱建物跡実測図	206
第 43 図	第 2 号溝状遺構出土遺物実測図 2/6	152	第 102 図	第 36 号掘立柱建物跡実測図 1/2	207
第 44 図	第 2 号溝状遺構出土遺物実測図 3/6	153	第 103 図	第 36 号掘立柱建物跡実測図 2/2	208
第 45 図	第 2 号溝状遺構出土遺物実測図 4/6	154	第 104 図	第 37 号掘立柱建物跡実測図	209
第 46 図	第 2 号溝状遺構出土遺物実測図 5/6	155	第 105 図	第 39 号掘立柱建物跡実測図 1/2	210
第 47 図	第 2 号溝状遺構出土遺物実測図 6/6	156	第 106 図	第 39 号掘立柱建物跡実測図 2/2	211
第 48 図	第 3・4・6・7 号溝状遺構出土遺物実測図	156	第 107 図	第 40・42 号掘立柱建物跡・第 5・6 号柵跡実測図	212
第 49 図	第 8 号溝状遺構出土遺物位置図	157	第 108 図	第 38・44・50 号掘立柱建物跡実測図	213
第 50 図	第 8 号溝状遺構出土遺物実測図 1/10	158	第 109 図	第 41・45 号掘立柱建物跡実測図	215
第 51 図	第 8 号溝状遺構出土遺物実測図 2/10	159	第 110 図	第 46・47 号掘立柱建物跡実測図 1/2	216
第 52 図	第 8 号溝状遺構出土遺物実測図 3/10	160	第 111 図	第 46・47 号掘立柱建物跡実測図 2/2	217
第 53 図	第 8 号溝状遺構出土遺物実測図 4/10	161	第 112 図	第 48 号掘立柱建物跡実測図	218
第 54 図	第 8 号溝状遺構出土遺物実測図 5/10	162	第 113 図	第 49 号掘立柱建物跡・第 9・10 号柵跡実測図	219
第 55 図	第 8 号溝状遺構出土遺物実測図 6/10	163	第 114 図	第 51・53 号掘立柱建物跡・第 19・20 号柵跡実測図 1/2	220
第 56 図	第 8 号溝状遺構出土遺物実測図 7/10	164	第 115 図	第 51・53 号掘立柱建物跡・第 19・20 号柵跡実測図 2/2	221
第 57 図	第 8 号溝状遺構出土遺物実測図 8/10	165	第 116 図	第 52 号掘立柱建物跡第 18 号柵跡実測図	222
第 58 図	第 8 号溝状遺構出土遺物実測図 9/10	166	第 117 図	第 54 号掘立柱建物跡実測図	223
第 59 図	第 8 号溝状遺構出土遺物実測図 10/10	167	第 118 図	第 55 号掘立柱建物跡実測図	224
			第 119 図	第 56・57 号掘立柱建物跡実測図	225

第120図	第58・59号掘立柱建物跡実測図	226
第121図	第60・61・71号掘立柱施設跡実測図	227
第122図	第62・64号掘立柱施設跡実測図	228
第123図	第65～67・72号掘立柱施設跡実測図	229
第124図	第1・4号柵跡実測図	230
第125図	第73号掘立柱施設跡・第3号柵跡実測図	231
第126図	第7・8号柵跡実測図	232
第127図	第11～15号柵跡実測図 1/2	233
第128図	第11～15号柵跡実測図 2/2・第16・17号柵跡実測図	234
第129図	第1・5・6・8・13・14～16・21・22号 掘立柱建物跡出土遺物実測図	235
第130図	第23・24・26～28・31号掘立柱建物跡出土遺物実測図	236
第131図	第32～36・38・39・45・46・48・49・58号 掘立柱建物跡出土遺物実測図	237
第132図	第51・52・54～56・68号掘立柱建物跡・ 第1・8号柵跡出土遺物実測図	238
第133図	第1・2号井戸跡・出土遺物実測図	239
第134図	第2号井戸跡出土遺物実測図・ 第3号井戸跡・出土遺物実測図	240
第135図	第5・6号井戸跡・出土遺物実測図	241
第136図	第7号井戸跡・出土遺物実測図	242
第137図	第8号井戸跡・出土遺物実測図 1/2	243
第138図	第8号井戸跡出土遺物実測図 2/2・ 第10号井戸跡・出土遺物実測図	244
第139図	第11号井戸跡・出土遺物実測図・ 第12・13・18・19・20号井戸跡実測図	245
第140図	第14号井戸跡・第15・16号井戸跡・出土遺物実測図	246
第141図	第16号井戸跡出土遺物実測図	247
第142図	第17号井戸跡・出土遺物実測図 1/3	248
第143図	第17号井戸跡出土遺物実測図 2/3	249
第144図	第17号井戸跡出土遺物実測図 3/3	250
第145図	第18～20号井戸跡出土遺物実測図・ 第22号井戸跡実測図	251
第146図	第4号井戸跡・出土遺物実測図・第21号井戸跡実測図	252
第147図	第1号炉跡周辺平面確認状況・ 第1号炉跡出土遺物実測図 1/3	253
第148図	第1号炉跡実測図・出土遺物実測図 2/3	254
第149図	鍛冶場・出土遺物実測図 3/3	255
第150図	第2・3号炉跡実測図	256
第151図	第1号墓跡・出土遺物実測図・第2～4号墓跡実測図	257
第152図	第5・6号墓跡・出土遺物実測図・ 第1号火葬跡実測図	258
第153図	第2号火葬跡・第2740・2742号土坑実測図	259
第154図	第1号集石実測図	260
第155図	第1号集石出土遺物実測図	261
第156図	第2号集石・出土遺物実測図	262
第157図	第2915・2917・2919・2921・2922・2923号土坑実測図	263
第158図	第2981・3000 a～c・3039・3272・3374・3382・3400号 土坑実測図	266
第159図	第3362・3267・3269・3057・3071・3084～3087・3375・4564号 土坑実測図	267
第160図	第5～12・34号土坑実測図	268
第161図	第14～18・35・2310・2350・2361・2371号土坑実測図	269
第162図	第36・48・60・67・95・136・2273号土坑実測図	270
第163図	第1号落ち込み・第241・205・298・2801・4603 土坑実測図	271
第164図	第2422・256・259・260・294号土坑実測図	272
第165図	第565・568・809・819・894～896・898・2833～2837・2835・ 2836号土坑実測図	273
第166図	第684・706・740・746・1943・1985・2023・2722・2957号 土坑実測図	274
第167図	第517 a・1835・768・2614号土坑実測図	275
第168図	土坑出土遺物実測図 1/8	276

第169図	土坑出土遺物実測図 2/8	277
第170図	土坑出土遺物実測図 3/8	278
第171図	土坑出土遺物実測図 4/8	279
第172図	土坑出土遺物実測図 5/8	280
第173図	土坑出土遺物実測図 6/8	281
第174図	土坑出土遺物実測図 7/8	282
第175図	土坑出土遺物実測図 8/8	283
第176図	羽口実測図 1/7	284
第177図	羽口実測図 2/7	285
第178図	羽口実測図 3/7	286
第179図	羽口実測図 4/7	287
第180図	羽口実測図 5/7	288
第181図	羽口実測図 6/7	289
第182図	羽口実測図 7/7	290
第183図	不明土製品実測図 1/3	291
第184図	不明土製品実測図 2/3	292
第185図	不明土製品実測図 3/3	293
第186図	椀状滓実測図 1/2	294
第187図	椀状滓実測図 2/2	295
第188図	中世水田跡実測図	296
第189図	古代水田跡実測図	297
第190図	穀白(上白)実測図 1/6	298
第191図	穀白(上白)実測図 2/6	299
第192図	穀白(上白)実測図 3/6	300
第193図	穀白(上白)実測図 4/6	301
第194図	穀白(上白)実測図 5/6	302
第195図	穀白(上白)実測図 6/6	303
第196図	穀白(下白)実測図 1/7	304
第197図	穀白(下白)実測図 2/7	305
第198図	穀白(下白)実測図 3/7	306
第199図	穀白(下白)実測図 4/7	307
第200図	穀白(下白)実測図 5/7	308
第201図	穀白(下白)実測図 6/7	309
第202図	穀白(下白)実測図 7/7	310
第203図	茶白(上白)実測図	311
第204図	茶白(下白)実測図	312
第205図	石鉢実測図 1/2	313
第206図	石鉢実測図 2/2	314
第207図	砥石(荒砥)実測図 1/26	315
第208図	砥石(荒砥)実測図 2/26	316
第209図	砥石(荒砥)実測図 3/26	317
第210図	砥石(荒砥)実測図 4/26	318
第211図	砥石(荒砥)実測図 5/26	319
第212図	砥石(荒砥)実測図 6/26	320
第213図	砥石(荒砥)実測図 7/26	321
第214図	砥石(荒砥)実測図 8/26	322
第215図	砥石(荒砥)実測図 9/26	323
第216図	砥石(荒砥)実測図 10/26	324
第217図	砥石(荒砥)実測図 11/26	325
第218図	砥石(荒砥)実測図 12/26	326
第219図	砥石(荒砥)実測図 13/26	327
第220図	砥石(荒砥)実測図 14/26	328
第221図	砥石(荒砥)実測図 15/26	329
第222図	砥石(荒砥)実測図 16/26	330
第223図	砥石(荒砥)実測図 17/26	331
第224図	砥石(荒砥)実測図 18/26	332
第225図	砥石(荒砥)実測図 19/26	333
第226図	砥石(荒砥)実測図 20/26	334
第227図	砥石(荒砥)実測図 21/26	335
第228図	砥石(荒砥)実測図 22/26	336
第229図	砥石(荒砥)実測図 23/26	337
第230図	砥石(荒砥)実測図 24/26	338
第231図	砥石(荒砥)実測図 25/26	339

第232図	砥石（荒砥）実測図 26/26	340	第293図	木製品実測図 11/43	396
第233図	砥石実測図 1/5	340	第294図	木製品実測図 12/43	397
第234図	砥石実測図 2/5	341	第295図	木製品実測図 13/43	398
第235図	砥石実測図 3/5	342	第296図	木製品実測図 14/43	399
第236図	砥石実測図 4/5	343	第297図	木製品実測図 15/43	400
第237図	砥石実測図 5/5	344	第298図	木製品実測図 16/43	401
第238図	石硯実測図	344	第299図	木製品実測図 17/43	402
第239図	五輪塔（地輪）実測図 1/8	345	第300図	木製品実測図 18/43	403
第240図	五輪塔（地輪）実測図 2/8	346	第301図	木製品実測図 19/43	404
第241図	五輪塔（地輪）実測図 3/8	347	第302図	木製品実測図 20/43	405
第242図	五輪塔（地輪）実測図 4/8	348	第303図	木製品実測図 21/43	406
第243図	五輪塔（地輪）実測図 5/8	349	第304図	木製品実測図 22/43	407
第244図	五輪塔（地輪）実測図 6/8	350	第305図	木製品実測図 23/43	408
第245図	五輪塔（地輪）実測図 7/8	351	第306図	木製品実測図 24/43	409
第246図	五輪塔（地輪）実測図 8/8	352	第307図	木製品実測図 25/43	410
第247図	五輪塔（水輪）実測図 1/4	353	第308図	木製品実測図 26/43	411
第248図	五輪塔（水輪）実測図 2/4	354	第309図	木製品実測図 27/43	412
第249図	五輪塔（水輪）実測図 3/4	355	第310図	木製品実測図 28/43	413
第250図	五輪塔（水輪）実測図 4/4	356	第311図	木製品実測図 29/43	414
第251図	五輪塔（火輪）実測図 1/6	357	第312図	木製品実測図 30/43	415
第252図	五輪塔（火輪）実測図 2/6	358	第313図	木製品実測図 31/43	416
第253図	五輪塔（火輪）実測図 3/6・（風空輪）1/3	359	第314図	木製品実測図 32/43	417
第254図	五輪塔（火輪）実測図 4/6	360	第315図	木製品実測図 33/43	418
第255図	五輪塔（火輪）実測図 5/6	361	第316図	木製品実測図 34/43	419
第256図	五輪塔（火輪）実測図 6/6	362	第317図	木製品実測図 35/43	420
第257図	五輪塔（風空輪）実測図 2/3	362	第318図	木製品実測図 36/43	421
第258図	五輪塔（風空輪）実測図 3/3	363	第319図	木製品実測図 37/43	422
第259図	寶篋印塔実測図 1/2	364	第320図	木製品実測図 38/43	423
第260図	寶篋印塔実測図 2/2	365	第321図	木製品実測図 39/43	424
第261図	板碑実測図 1/5	366	第322図	木製品実測図 40/43	425
第262図	板碑実測図 2/5	367	第323図	木製品実測図 41/43	426
第263図	板碑実測図 3/5	368	第324図	木製品実測図 42/43	427
第264図	板碑実測図 4/5	369	第325図	木製品実測図 43/43	428
第265図	板碑実測図 5/5	370	第326図	動物遺存体実測図	429
第266図	磚状石製品実測図 1/7	371	第327図	調査Ⅰ区遺構外出土遺物実測図 1/4	430
第267図	磚状石製品実測図 2/7	372	第328図	調査Ⅰ区遺構外出土遺物実測図 2/4	431
第268図	磚状石製品実測図 3/7	373	第329図	調査Ⅰ区遺構外出土遺物実測図 3/4	432
第269図	磚状石製品実測図 4/7	374	第330図	調査Ⅰ区遺構外出土遺物実測図 4/4	433
第270図	磚状石製品実測図 5/7	375	第331図	調査Ⅰ区追補 1/2	433
第271図	磚状石製品実測図 6/7	376	第332図	調査Ⅰ区追補 2/2	434
第272図	磚状石製品実測図 7/7	377	第333図	遺構1・2面実測図	435
第273図	第1号溝状遺構出土金属器実測図	378	第334図	遺構1・2面土層断面実測図	436
第274図	第2号溝状遺構出土金属器実測図	378	第335図	中世畠跡実測図	439
第275図	第8号溝状遺構出土金属器実測図 1/2	378	第336図	遺構2面実測図	440
第276図	第8号溝状遺構出土金属器実測図 2/2	379	第337図	土坑・掘立柱建物跡実測図	441
第277図	金属器実測図 1/3	380	第338図	土墳墓群実測図	442
第278図	金属器実測図 2/3	381	第339図	遺構3面（As-B軽石被覆水田跡）	442
第279図	金属器実測図 3/3	382	第340図	遺構4面（平安洪水被災水田跡）実測図	443
第280図	古銭拓影図 1/3	383	第341図	遺構5面（古代面）実測図	444
第281図	古銭拓影図 2/3	384	第342図	第15～17・32号溝状遺構実測図	445
第282図	古銭拓影図 3/3	385	第343図	調査Ⅱ区出土遺物実測図 1/4	446
第283図	木製品実測図 1/43	386	第344図	調査Ⅱ区出土遺物実測図 2/4	447
第284図	木製品実測図 2/43	387	第345図	調査Ⅱ区出土遺物実測図 3/4	448
第285図	木製品実測図 3/43	388	第346図	調査Ⅱ区出土遺物実測図 4/4	449
第286図	木製品実測図 4/43	389	第347図	追補2遺物出土調査区概略図	450
第287図	木製品実測図 5/43	390	第348図	追補2遺物実測図 1/2	451
第288図	木製品実測図 6/43	391	第349図	追補2遺物実測図 2/2	452
第289図	木製品実測図 7/43	392	第350図	時期区分と区画域(1)	453
第290図	木製品実測図 8/43	393	第351図	時期区分と区画域(2)	454
第291図	木製品実測図 9/43	394	第352図	時期区分と区画域(3)	455
第292図	木製品実測図 10/43	395			

図表目次

第1・2表 遺跡一覧表	10	第11～35表 土坑一覧表	458
第3表 堅穴状遺構一覧表	176	第36～42表 木製品観察表	483
第4表 井戸跡一覧表	252	第43表 調査II区溝状遺構一覧表	490
第5表 追補2石器観察表	450	第44表 調査II区土坑一覧表	490
第6表 溝状遺構一覧表	453	第45表 掘立の時期一覧表	491
第7～10表 掘立柱建物跡一覧表	454		

図版目次

1	1961(昭和36年)頃の上強戸遺跡群周辺地域の航空写真	20-4	第1号溝状遺構4区(近世面)中央部南端側礫出土状況(北東から)
2	1961(昭和36年)頃の上強戸遺跡群(中央長方形の区画全体が館と在家の痕跡)(北東端に瑞光寺)	20-5	第1号溝状遺構2区(近世面)東西部(東から)
3	上強戸遺跡群遠景1(手前天神山古墳・女体山古墳)奥赤城山(南東から)	20-6	第1号溝状遺構3区東側部遺物出土状況(南から)
4	上強戸遺跡群遠景2(強戸・鳥之郷地区)奥桐生市街地と足尾山地(南から)	20-7	第1号溝状遺構3区東側部中央部分遺物出土状況(南から)
5	上強戸遺跡群遠景4(強戸地区)中央奥寄り金山丘陵(北から)	20-8	第1号溝状遺構3区東側部北寄り部分遺物出土状況(南から)
6	上強戸遺跡群遠景4(強戸地区)奥に利根川(北から)	21-1	第1号溝状遺構3区東側部南東隅部土層断面(北北東から)
7-1	調査区全景(西から)調査区右側に新田堀用水長堀幹線水	21-2	第1号溝状遺構3区東側部中央遺物出土状況(北北東から)
7-2	調査区全景(垂直)	21-3	第1号溝状遺構4区(中世面)中央部北端部分遺物出土状況(南から)
8-1	調査区全景(北から)	21-4	第1号溝状遺構4区(中世面)中央部北端漆器椀出土状況(南東から)
8-2	調査区全景(南から)	21-5	第1号溝状遺構4区(中世面)中央部北端下駄出土状況(南西から)
9-1	掘立柱建物群と遠景(奥残土置き場)が上強戸遺跡群II区調査区(中央小高い丘は「丸山」)(西から)	21-6	第1・2号溝状遺構会合部(中世面)溝底面遺物出土状況(北北西から)
9-2	八王子丘陵と調査区全景(南から)	21-7	第1号溝状遺構4区(中世面)中央部北寄り部分下駄出土状況(北北西から)
10	調査区内の遺物出土状況と遠景(奥残土置き場)が上強戸遺跡群II区調査区(奥中央「丸山」)	21-8	第1号溝状遺構会合部周辺区東西部(辻部分)遺物出土状況(北北西から)
11-1	調査区全景(北東から)	22-1	第2号溝状遺構遺物出土状況及び周辺遺構の遺物出土状況(東から)
11-2	調査区全景(南東から)	22-2	第2号溝状遺構2区遺物出土状況(西から)
12-1	第1溝状遺構全景(垂直)	22-3	第2号溝状遺構1区遺物南北部全景(北から)
12-2	第1溝状遺構全景(奥残土置き場)が上強戸遺跡群II区調査区(北西から)	22-4	第2号溝状遺構2区遺物出土状況(東南東から)
13-1	第1溝状遺構全景(南西から)	22-5	第2号溝状遺構2区遺物出土状況(東北東から)
13-2	第1溝状遺構全景(南から)	23-1	第2号溝状遺構2区橋脚部遺物最上層出土状況(南から)
14-1	第1号溝状遺構4区・1区(西辺溝)近世面全景(北から)	23-2	第2号溝状遺構2区橋脚部(最下層)遺物出土状況(南から)
14-2	第1号溝状遺構1区・4区(西辺溝)近世面全景(南から)	23-3	第2号溝状遺構2区橋脚部北側基部木組み状況(南から)
15-1	第1号溝状遺構1区・2区・3区近世面会合部分(南側部分)(北から)	23-4	第2号溝状遺構2区橋脚部北側基部木組み状況(東から)
15-2	第1号溝状遺構3区(東辺溝)(南から)	23-5	第2号溝状遺構2区橋脚部北側基部木組み状況(北から)
16-1	第1号溝状遺構2区(近世面)南辺溝(奥は第2号溝状遺構)(東から)	23-6	第2号溝状遺構2区橋脚部遺物出土状況(北東から)
16-2	第1号溝状遺構2区(近世面)南辺溝(西から)	23-7	第2号溝状遺構2区橋脚部遺物出土状況(南西から)
17-1	第67号溝状遺構と古代水田跡全景(垂直)と第1・2号溝状遺構中世面(会合地点周辺)	23-8	第2号溝状遺構2区橋脚部北側基部木組み状況(西から)
17-2	第67号溝状遺構と古代水田跡全景と第2号溝状遺構2区中世面全景(東から)	24-1	第2号溝状遺構1・2区会合部南北部遺物出土状況(南から)
18	第67号溝状遺構全景(正面と傍らに新田堀用水長堀幹線水路・正面側「丸山」を望遠する)(西から)	24-2	第2号溝状遺構1・2区会合部南北部遺物出土状況(北東から)
19-1	第1号溝状遺構4区中央部北端土層断面(南から)	24-3	第2号溝状遺構2区西側遺物出土状況(東南東から)
19-2	第1号溝状遺構4区中央部北より土層断面(北から)	24-4	第2号溝状遺構2区東側(1区寄り)南北部寄り遺物出土状況(東南東から)
19-3	第1号溝状遺構1区(近世面)中央部南側土層断面(北から)	24-5	第2号溝状遺構2区(1区寄り)南北部寄り遺物出土状況(東北東から)
19-4	第1号溝状遺構1区(近世面)中央部南側杭列出土状況(北から)	24-6	第2号溝状遺構2区(1区寄り)南北部寄り遺物出土状況(西から)
19-5	第1号溝状遺構4区(近世面)中央部北側礫出土状況(南から)	24-7	第2号溝状遺構2区西側遺物出土状況(西北西から)
19-6	第1号溝状遺構4区(近世面)中央部北端側礫出土状況(南から)	24-8	第2号溝状遺構2区橋脚部周辺遺物出土状況(東から)
19-7	第1号溝状遺構4区(近世面)中央部北側礫出土状況(北から)	25-1	第2号溝状遺構2区中央部遺物出土状況(北から)
19-8	第1号溝状遺構4区(近世面)中央部北端側礫出土状況(南南西から)	25-2	第2号溝状遺構2区東側遺物出土状況(南西から)
20-1	第1号溝状遺構4区(近世面)中央部南側寄り礫出土状況(南南東から)	25-3	第2号溝状遺構2区中央部遺物出土状況(南西から)
20-2	第1号溝状遺構4区(近世面)中央部北端側礫出土状況(南から)	25-4	第2号溝状遺構2区東側遺物出土状況(東から)
20-3	第1号溝状遺構4区(近世面)中央部北側寄り側礫出土状況(北北西から)	25-5	第2号溝状遺構2区橋脚部漆器椀出土状況(北西から)
		25-6	第2号溝状遺構2区橋脚部漆器椀出土状況(北西から)
		25-7	第2号溝状遺構2区橋脚部漆器椀出土状況(北西から)
		25-8	第2号溝状遺構2区橋脚部下駄出土状況(南から)
		26-1	第3号溝状遺構南側土層断面(北から)
		26-2	第3号溝状遺構中央部土層断面(南から)

- 26-3 第3(54溝)・7号溝状遺構とピットの重複状況1(南東から)
- 26-4 第3(54溝)・7号溝状遺構とピットの重複状況2(南東から)
- 26-5 第3(54溝)・7号溝状遺構とピットの重複状況3(南東から)
(上方はトレンチ)
- 26-6 第3(54溝)号溝状遺構北東隅部周辺(上方はトレンチ)
- 26-7 第3(54溝)号溝状遺構溝底面掘削痕(西から)
- 26-8 第3(54溝)号溝状遺構溝底面掘削痕2(西から)
- 27-1 第8号溝状遺構北辺溝遺物出土状況(東北東から)
- 27-2 第8号溝状遺構北辺溝遺物出土状況(東から)
- 27-3 第8号溝状遺構北西隅部遺物出土状況(南南東から)
- 27-4 第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況(南南東から)
- 27-5 第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況(南東から)
- 27-6 第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況(南東から)
- 27-7 第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況(北西から)
- 27-8 第8号溝状遺構西辺南端遺物出土状況(南南西から)
- 28-1 第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況(南から)
- 28-2 第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況(東から)
- 28-3 第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況(北東から)
- 28-4 第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況(北西から)
- 28-5 第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況(西北西から)
- 28-6 第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況(東から)
- 28-7 第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況(南西から)
- 28-8 第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況(北北西から)
- 29-1 第8号溝状遺構南東隅部遺物出土状況(北北西から)
- 29-2 第8号溝状遺構南東隅部遺物出土状況(南南西から)
- 29-3 第8号溝状遺構南辺溝(東半部)遺物出土状況(西から)
- 29-4 第8号溝状遺構南辺溝(東半部)遺物出土状況(西から)
- 29-5 第8号溝状遺構南辺溝(西半部)遺物出土状況(南西から)
- 29-6 第8号溝状遺構南辺溝(西半部)遺物出土状況(西南西から)
- 29-7 第8号溝状遺構南辺溝(西半部)遺物出土状況(西から)
- 29-8 第8号溝状遺構南辺溝(南西隅部)遺物出土状況(東から)
- 30-1 第8号溝状遺構(東辺北寄り)朱漆碗片出土状況(南から)
- 30-2 第8号溝状遺構(東辺北寄り)朱漆碗片出土状況(北から)
- 30-3 第8号溝状遺構(東辺北寄り)曲物出土状況(南から)
- 30-4 第8号溝状遺構(東辺北寄り)曲物出土状況(西から)
- 30-5 第8号溝状遺構(南辺西端)漆器碗片出土状況(東から)
- 30-6 第8号溝状遺構(南辺西端)漆器碗片出土状況(接写)
- 30-7 第8号溝状遺構(南辺西側)漆器碗片出土状況(北東から)
- 30-8 第8号溝状遺構(南辺西側)漆器碗片出土状況(接写)
- 31-1 第6号溝状遺構全景(北から)
- 31-2 第37号溝状遺構第1号溝状遺構との重複状況(東北東から)
- 31-3 第37号溝状遺構全景(南西から)
- 31-4 第39号溝状遺構全景(東から)
- 31-5 第45号溝状遺構遺物出土状況(北東から)(整理時所在不明)
- 31-6 第49号溝状遺構遺物出土状況(東南東から)
- 31-7 第53・54号溝状遺構確認状況(南から)
- 32-1 第61号溝状遺構遺物出土状況(東から)
- 32-2 第65・67号溝状遺構全景(西から)
- 32-3 第65・66号溝状遺構全景(西から)
- 32-4 調査区南西側溝状遺構確認状況(西から)
- 32-5 水田跡全景(北から)
- 32-6 第8号溝状遺構・第1号炉跡周辺調査風景(西から)
- 32-7 第64号溝状遺構の跡跡全景(南から)
- 32-8 第64号溝状遺構の跡跡(南から)
- 33-1 第1号竪穴状遺構全景(北から)
- 33-2 第1号竪穴状遺構(中央やや左)周辺状況全景(南東から)
- 33-3 第2号竪穴状遺構(北から)
- 33-4 第2号竪穴状遺構東側状況(北西から)
- 33-5 第3号竪穴状遺構全景(北から)
- 33-6 第4号竪穴状遺構全景(北から)
- 33-7 第1号集石遺物出土状況(北東から)
- 33-8 第1号集石遺物出土状況(東北東から)
- 34-1 南側掘立柱建物跡群全景(東から)
- 34-2 南側掘立柱建物跡群南東部分全景(南東から)
- 34-3 南側掘立柱建物跡群南西部分全景(南東から)
- 34-4 南側掘立柱建物跡群南東部分全景(南東から)
- 34-5 東側掘立柱建物跡群全景(南から)
- 34-6 第号掘立柱建物跡全景(南から)
- 34-7 第号掘立柱建物跡全景(南から)
- 34-8 第号掘立柱建物跡全景(南から)
- 35 柱痕近接
- 36 柱痕近接
- 37 柱痕近接
- 38 柱痕近接
- 39 柱痕近接
- 39-1 第1号竪穴遺構全景(北から)
- 39-2 第1号竪穴遺構周辺状況全景(南東から)
- 39-3 第2号竪穴遺構全景(北から)
- 39-4 第2号竪穴遺構東側状況(北西から)
- 39-5 第3号竪穴遺構全景(北から)
- 39-6 第4号竪穴遺構全景(北から)
- 39-7 第5号竪穴遺構遺物出土状況(北東から)
- 39-8 第5号竪穴遺構周辺状況(東北東から)
- 40-1 第2号井戸跡遺物出土状況(南東から)
- 40-2 第2号井戸跡全景(北から)
- 40-3 第3号井戸跡遺物出土状況(南南東から)
- 40-4 第4号井戸跡全景(南から)
- 40-5 第5号井戸跡遺物出土状況(北西から)
- 40-6 第5号井戸跡全景(北東から)
- 40-7 第6号井戸跡遺物出土状況2(北東から)
- 40-8 第6号井戸跡全景(北東から)
- 41-1 第7号井戸跡全景(北から)
- 41-2 第7号井戸跡漆器碗出土状況(から)
- 41-3 第8号井戸跡上層遺物出土状況(北から)
- 41-4 第8号井戸跡下層遺物出土状況2(北から)
- 41-5 第8号井戸跡全景(北から)
- 41-6 第10号井戸跡全景(北東から)
- 41-7 第11号井戸跡遺物出土状況(北から)
- 41-8 第11号井戸跡及び周辺遺構(北から)
- 42-1 第12号井戸跡遺物出土状況(北から)
- 42-2 第12号井戸跡全景(北から)
- 42-3 第13号井戸跡全景(北から)
- 42-4 第14号井戸跡遺物出土状況(北から)
- 42-5 第15号井戸跡遺物出土状況(北西から)
- 42-6 第16号井戸跡遺物出土状況1(北から)
- 42-7 第16号井戸跡遺物出土状況2(南から)
- 42-8 第16号井戸跡全景(北から)
- 43-1 第17号井戸跡遺物出土状況1(北から)
- 43-2 第17号井戸跡遺物出土状況2(東から)
- 434 第17号井戸跡木組み出土状況(北から)
- 43-4 第17号井戸跡全景(北から)
- 43-5 第18~20号井戸跡全景(南東から)
- 43-6 第20号井戸跡全景(東から)
- 43-7 第21号井戸跡全景(西から)
- 43-8 第22号井戸跡全景(北から)
- 44-1 第1号炉跡調査進行状況(南から)
- 44-2 第1号炉跡被熱部露呈状況1(南から)
- 44-3 第1号炉跡被熱部露呈状況2(南から)
- 44-4 第1号炉跡掘方全景(南から)
- 44-5 B-E'土層断面断状況
- 44-6 E-E'土層断面(被熱部)断割り状況
- 44-7 第1号炉跡羽口・鉄滓出土状況
- 45-1 第1号炉跡・作業場確認状況(北から)
- 45-2 第1号炉跡・作業場全景(南から)
- 45-3 作業場南北土層断面(上層に洪水起源堆積層)(東から)
- 45-4 作業場南北土層断面(上層に洪水起源堆積層)(西から)

- 45-5 作業場遺物出土状況(上層に洪水起源堆積層)(東から)(北西から)
- 45-6 作業場から炉跡を俯瞰(東南東から)
- 45-7 第2号集石遺物・礫出土状況(北から)
- 45-8 第2号集石下層遺物・礫出土状況(北から)
- 46-1 第2号炉跡出土状況(東から)
- 46-2 第2号炉跡出土状況(西から)
- 46-3 第2号炉跡調査状況(東側から)
- 46-4 遺構確認面に於ける焼土の出土状況(第7号溝)(北東から)
- 46-5 遺構確認面に於ける木炭粒の出土状況(館内西側)
- 46-6 第1号土壇墓全景(南から)
- 46-7 第1号土壇墓南西隅部棺材遺存状況(北東から)
- 46-8 第1号土壇墓南東隅部棺材遺存状況(北西から)
- 47-1 第1号土壇墓全景(南から)
- 47-2 第5号土壇墓全景(北東から)
- 47-3 第3号土壇墓全景(南から)
- 47-4 第1号火葬跡全景(東から)
- 47-5 第1004土坑(首桶)露呈状況(北から)
- 47-6 第1004土坑(首桶)土層断面(北から)
- 47-7 第1004土坑(首桶)銅銭出土状況(西から)
- 47-8 第1004土坑(首桶)桶胴板埋納後の籬の圧痕
- 49-1 第568号土坑全景(北北西から)
- 49-2 第609号土坑全景(西から)
- 49-3 第870号土坑全景(北から)
- 49-4 第904号土坑全景(北西から)
- 49-5 第1080号土坑全景(東から)
- 49-6 第1301号土坑遺物(輪宝墨書)出土状況(直上から)
- 49-7 第1301号土坑遺物(輪宝墨書)出土状況(南から)
- 49-8 第1839号土坑全景(北西から)
- 50-1 第1835号土坑全景(北から)
- 50-2 第2273号土坑全景(南から)
- 50-3 第2340号土坑全景(南から)
- 50-4 第2369号土坑全景(東から)
- 50-5 第2350・2296・2361・2310号土坑全景(南から)
- 50-6 第2701号土坑全景(南南東から)
- 50-7 第2742号土坑確認状況(北から)
- 50-8 第2742号土坑全景(北から)
- 51-1 第2800号土坑全景(南から)
- 51-2 第2800号土坑全景(直上から)
- 51-3 第2984・2972・2983・2971号土坑全景(北から)
- 51-4 第2904号土坑全景(北西から)
- 51-5 第2758号土坑(手前第40号溝状遺構・左下22号井戸跡)
- 51-6 第3267号土坑全景(上層は洪水堆積)下半は掘り過ぎ(東から)
- 51-7 第3147号土坑周辺全景(北東から)
- 51-8 第3038・3039号土坑周辺全景(北東から)
- 52-1 調査II区古代水田跡全景(西から)
- 53-1 調査II区第1面(中近世面)調査区北側全景(南西から)
- 53-2 調査II区第1面(中近世面)調査区南東側全景(北西から)
- 53-3 調査II区第1面(中近世面)調査区中央部全景(西から)
- 53-4 調査II区第1面(中近世面)調査区北東側全景(西から)
- 53-5 調査II区第1面(中近世面)調査区南側全景(北西から)
- 53-6 調査II区遺構1面(中近世面)調査区中央部分全景
- 53-7 調査II区遺構1面(中近世面)調査区中央部分全景
- 53-8 調査II区第1面(中近世面)中世畑跡全景(北から)
- 54-1 調査II区第1面(中近世面)第1号道跡全景(北東から)
- 54-2 調査II区第1面(中近世面)第10号溝状遺構全景(南東から)
- 54-3 調査II区第1面(中近世面)第9号溝状遺構全景(東から)
- 54-4 調査II区第1面(中近世面)第13号溝状遺構全景(東から)
- 54-5 調査II区第1面(中近世面)第11号溝状遺構全景(東から)
- 54-6 調査II区第1面(中近世面)第14号溝状遺構全景(東から)
- 54-7 調査II区第1面(中近世面)中世ピット群(西から)
- 54-8 調査II区第1面(中近世面)第8号土坑全景(北から)
- 55-1 調査II区第1面(中近世面)第11号土坑全景(北から)
- 55-2 調査II区第1面(中近世面)第14号土坑土層断面(北から)
- 55-3 調査II区第1面(中近世面)第38号土坑全景(北から)
- 55-4 調査II区第1面(中近世面)第39号土坑全景(北から)
- 55-5 調査II区第1面(中近世面)第40号土坑全景(北から)
- 55-6 調査II区第1面(中近世面)第57号土坑全景(北から)
- 55-7 調査II区第1面(中近世面)第40号土坑土層断面(西から)
- 55-8 調査II区第1面(中近世面)第57号土坑土層断面(北から)
- 56-1 調査II区第2面(古代面)水田跡全景(西から)
- 56-2 調査II区第3面(古代面)トレンチ調査状況(西から)
- 57-1 調査II区第2面(古代面)第15号溝状遺構全景(左新田堀長堀幹線水路)(東から)
- 57-2 調査II区第2面(古代面)第2号道跡と第15号溝状遺構全景(北東から)
- 57-3 調査II区第2面(古代面)第2号道跡全景(北東から)
- 57-4 調査II区第2面(古代面)第2号道跡土層断面(西から)
- 58-1 調査II区第2面(古代面)第2号道跡最下層面全景(北東から)
- 58-2 調査II区第3面(古代面)第15・16・23・19号溝状遺構全景全景(北から)
- 58-3 調査II区第3面(古代面)第14・16号溝状遺構全景(北から)
- 59-1 調査風景
- 59-2 新田堀の築堤のトレンチ土層断面(A-A')(北から)
- 59-3 Cトレンチの配置状況(北西から)
- 59-4 新田堀の築堤のトレンチ土層断面(A-A')(北西から)
- 59-5 新田堀の築堤のトレンチ土層断面(B-B')(北から)
- 59-6 新田堀の築堤のトレンチ土層断面(B-B')(北西から)
- 59-7 新田堀の築堤のトレンチ土層断面(C-C')(北から)
- 59-8 新田堀の築堤のトレンチ土層断面(C-C')(北西から)
- 60~63 第1号溝状遺構出土遺物
- 64 第1・2号溝状遺構出土遺物
- 65 第2・7号溝状遺構出土遺物
- 66 第2・6・8号溝状遺構出土遺物
- 67~71 第8号溝状遺構出土遺物
- 72 第8・37・39・43・54号溝状遺構出土遺物
- 73 第50・54・58・59・61・67号溝状遺構出土遺物
- 74 第2・4堅穴状遺構・24・33掘立柱建物跡・1・2号井戸跡出土遺物
- 75 第2・3号井戸跡出土遺物
- 76 第5・6・7・8・11号井戸跡出土遺物
- 77 第16・17・19・20号井戸跡・第1号炉跡・第1号土壇墓出土遺物
- 78 第1・5・6号土壇墓・第1号集石・第90・269号土坑出土遺物
- 79・80 土坑出土遺物
- 81 出土羽口
- 82 出土不明土製品・鉄滓
- 83 出土鉄滓・穀臼(上白)
- 84 出土穀臼
- 85 出土茶臼・石鉢・砥石(荒砥)
- 86 出土砥石(荒砥)
- 87 出土砥石
- 88 出土五輪塔(地輪)
- 89 出土五輪塔(地輪・水輪)
- 90 出土五輪塔(水輪・火輪)
- 91 土層五輪塔(火輪・風空輪)
- 92 出土板碑・磚状石製品
- 93・94 出土金属器
- 95 調査II区第8・15・17・49・58号土坑・遺構外出土遺物・出土遺物古銭
- 96~104 出土木製品

付図目次

付図1 調査I区全体図(1:150)

付図2 木製品出土位置分布図(1:200)

報告書抄録

書名ふりがな	かみごうどいせきぐん
書名	上強戸遺跡群(2)
副書名	北関東自動車道（伊勢崎～県境）地域埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	第507集
編著者名	木津博明
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20101022
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784-2
遺跡名ふりがな	かみごうどいせきぐん
遺跡名	上強戸遺跡群
所在地ふりがな	ぐんまけんおおたしかみごうどまち
遺跡所在地	群馬県太田市上強戸町
市町村コード	10205
遺跡番号	TO402
北緯(日本測地系)	3633723
東経(日本測地系)	1393594
北緯(世界測地系)	362014
東経(世界測地系)	1392134
調査期間	20020104-20040331
調査面積	46,899m ²
調査原因	高速道路建設（北関東自動車道）
種別	生産跡（水田）
主な時代	古墳／奈良・平安／中世
遺跡概要	中世掘立柱建物跡・掘立柱施設跡・堀・溝状遺構・鍛冶工房・墓跡・水田跡。古代水田跡
特記事項	土師質土器皿・軟質陶器類・陶磁器・金属器・羽口・鉄滓・砥石（荒砥）・砥石
要約	遺跡は太田市の北部に位置し、金山丘陵北西部・八王子丘陵南西部に広がる平野地勢の縁部に立地する。沖積低地では古墳時代から中世の各水田跡が発見され、II・VII区を中心とする区域には、洪水被災により埋没した水田跡が発見されている。また、古墳前期の水田跡と溝跡からは弓や又鋤が、奈良時代の溝跡では馬鋤・田下駄・車輪部材が出土した。I区の微高地上では、おびただしい数の柱穴跡・溝状遺構が発見されている。この中で、室町時代前半期と考えられる鍛冶工房の発見がある。この鍛冶工房では、日本刀の生産が確実視される。鍛冶関連の遺物と共に、多量の大形砥石が出土している。日本刀でも、いわゆる、「古刀」と呼ばれる時期の鍛冶工房は、日本刀剣史の解明に寄与するであろう。

第1章 調査経過

第1節 調査に至る経緯

北関東自動車道（伊勢崎～県境）建設に伴う伊勢崎インターチェンジから栃木県境までの17.7kmの発掘調査が開始されたのは平成12年度である。平成12年6月、日本道路公団（現 東日本高速道路株式会社）、群馬県土木部、群馬県教育委員会、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の4者による協議が行われた。この時、道路公団からは、橋梁下部工事等の工事優先区間の一部について、平成12年8月から発掘調査を実施すべく要請があった。これを受けて当事業団は、建設用地の解決状況、発掘調査において生ずる残土置き場の確保、側道部と本線部の調査区分の検討等、調査実施への準備を進めた。

平成12年8月1日、日本道路公団、群馬県教育委員会、当調査事業団の3者による「北関東自動車道（伊勢崎～県境）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査に関する協定書」を締結した。また、協定書に基づき公団と事業団による平成12年度発掘調査の契約が結ばれ、発掘調査は伊勢崎市書上遺跡から着手することとなった。

上強戸遺跡群の調査範囲は延長910mに及ぶ。その位置は、北関東自動車道が太田市北部を東西につなぐ県道足利伊勢崎線「強戸」交差点の北東部から県道を南に横切って、南東方向に金山丘陵の裾部を南流する八瀬川に至る区間である。平成8年度、県教育委員会は道路公団から北関東自動車道建設事業区間の埋蔵文化財状況について問い合わせを受け、沿

線市町村の協力のもと詳細確認作業が行われた。上強戸遺跡群はこの確認作業によって集落・水田遺構が想定される遺跡として周知化された。

平成13年2月、上強戸遺跡群発掘調査の実施に先立ち、次年度以降の発掘本調査計画策定のため、道路建設予定地が遺跡にかかる全区間の範囲確認調査が実施された。

範囲確認調査の結果では、県道足利伊勢崎線以西の140mの区間は古墳時代からFA洪水層、中近世遺構の確認があり、水田跡の存在とともに、特に中・近世家屋跡の存在が確認された。また、県道東側の区間は八王子丘陵の南端部に位置し微高地と低地に分かれる。微高地部分では溝跡・土坑等を確認し、低地部分では、浅間B軽石層下及び古代以前の洪水層下からは、共に水田跡の展開が予想された。

上強戸遺跡群は、北関東自動車道が県道足利伊勢崎線を高架橋で跨ぐ工事区にあたることから、道路公団側からは橋台工事区域の文化財調査を隣接遺跡に先んじての優先的着手を要請された。しかし、調査用地取得状況では、県道の西側橋台部に関係する周辺住宅地の解決の見通しは立たない状況にあった。

こうした工事工程、及び用地の解決の状況従って、平成14年1月から2班での調査班体制により発掘調査が実施されることとなった。第1班は県道東の高架橋工事区域から着手し、第2班は県道西側の高架橋工事区域の西隣接地からの着手となった。

第2節 発掘調査事業と整理事業

第1項 発掘調査

概要

上強戸地区には、東西に延びる県道伊勢崎一足利線が通過している。発掘調査区は、この県道に沿う

路線部分が対象で、全長910m、面積46,899㎡であった。遺跡名称は、大字名「上強戸」から「上強戸遺跡群」とされた。上強戸遺跡群は、I区～XI区にわたる細分化した調査区を設定している。この小区

第1章 調査経過



調査区	I区	II区	III区	IV区	V区	VI区	VII区	VIII区	IX区	X区	XI区	計
面積	8,731㎡	2,383㎡	1,521㎡	350㎡	4,920㎡	6,330㎡	8,390㎡	3,952㎡	4,158㎡	5,295㎡	869㎡	46,890㎡
調査着手	14年4月1日	14年1月1日	16年4月1日	14年1月1日	14年1月1日	15年4月1日	15年4月1日	14年4月1日	14年4月1日	14年4月1日	14年4月1日	14年4月1日
調査終了	15年3月31日	14年3月31日	16年6月30日	14年3月31日	15年3月31日	16年3月31日	16年3月31日	16年3月31日	15年3月31日	15年3月31日	15年3月31日	15年3月31日

調査面	調査準備		表土掘削		平面精査		遺構掘削		測量		全景撮影		埋戻し		
	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	
調査II区	1面	14年1月4日	14年1月10日	14年2月4日	14年1月22日	14年1月30日	14年1月31日	14年1月31日	14年2月4日	14年2月15日	14年1月31日	14年2月1日			
	2面		14年2月13日	14年2月19日	14年2月12日	14年2月20日	14年2月20日	14年2月20日	14年2月26日	14年2月26日	14年2月26日	14年2月26日			
	3面						14年2月25日	14年2月25日	14年3月12日	14年3月14日	14年3月11日	14年3月12日			
	4面				14年3月1日	14年3月4日	14年3月8日	14年3月4日	14年3月8日	14年3月18日	14年3月18日	14年3月18日	14年3月18日		
	5面				14年3月14日	14年3月14日	14年3月22日	14年3月14日	14年3月19日	14年3月25日	14年3月22日	14年3月22日	14年3月25日	14年3月31日	
調査I区	調査面	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終		
	1面	14年4月1日	14年4月10日	14年4月11日	14年5月27日	14年4月16日	14年5月16日	14年5月10日	14年5月13日	14年5月13日	14年5月13日	14年5月13日	14年5月13日	14年5月13日	
	2面		15年3月4日	15年3月14日	15年3月4日	15年3月14日	15年3月6日	15年3月17日	15年3月17日	15年3月17日	15年3月17日	15年3月17日	15年3月17日	15年3月18日	

※年号は平成を示す

第1図 調査区概略(1:10,000)及び各調査区調査期間・調査工程一覧

画の設定は、調査区内を縦断する道路・水路に因り、調査区細分の目印としている。このため、各地点により「区」の距離・幅員は一定していない。

また、III区～XI区の遺構・遺物については、『上強戸遺跡群(1)』として平成21年度に公開されている。

当該上強戸遺跡群1区・II区は、調査対象域の西端に位置し、道路を隔てて大鷲遺跡と西接し、新田堀用水・道路を隔ててIII区と東接する。

試掘調査

試掘調査は、調査着手以前の平成13年2月～3月にかけて、遺跡内容の確認、遺構の存否の確認等を目的として実施されている（I・II区）（試掘トレンチ1～4）。このトレンチは調査区のほぼ中央と南北に寄った部分に設定されている。幅は2m、重機による掘削である。調査の結果、全域が低湿地で、平安時代の水田跡・中世の建物跡が確認されている。

また、調査着手後の試掘調査として、調査I区では、調査着手と同時に、調査遂行上必要な情報を得るため、中心杭に並行する幅0.5mのトレンチを2本

設定し、掘り下げを行った（試掘トレンチ5・6）。

調査II区では、第6面の遺構の存否を確認するために、10mグリッドの東面、南面に幅0.5mのトレンチを設定し、試掘調査を実施している。

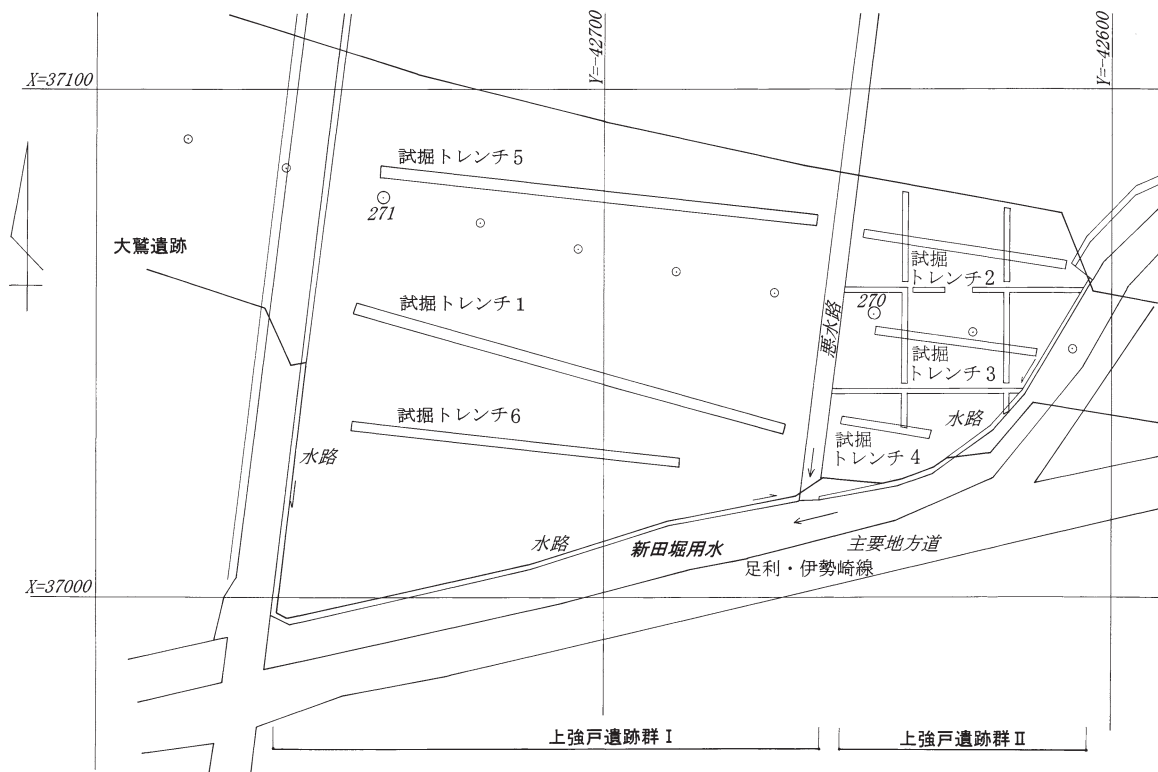
I 区の発掘調査

I 区の発掘調査は、年度を新たにした平成14年4月1日から着手し、平成15年3月31日迄実施し完了した。調査面積は8,731㎡であった（作業経過は図-1中の工程一覧表を参照）。遺跡の内容は、前年度に実施されたII区の内容とは異なり、非常に密集した状態で遺構が発見され、出土遺物も非常に多かった。

調査面は、II区の様相とは若干異なり、部分的に近世の水田の開田に伴う成形成面・中世面、古代水田面の遺構面3面、調査面2面であった。

II 区の発掘調査

発掘調査は、I 区に先行して調査が実施されている。II区は、平成14年1月1日から着手し同年3月31日まで実施され完了している。調査面積は2,383㎡である（作業経過は図-1中の工程一覧表を参照）。



第2図 試掘調査トレンチ設定図 (1:1,500)

第1章 調査経過

II区の発掘調査は、近世から古代に至る遺構が、重層する状態であった。この重層と発掘調査での調査面数は不一致である。これは、文化層の削平、上位層の遺構に因る破壊等により、一つの調査面には、複数面の遺構面が露呈している状況になる。調査実績では、調査4面で遺構面6面の発掘調査が実施されている。本報告では遺構面毎に整理して掲載する。

このI区とII区との発見遺構の相違は、I区が微高地上での占地に対して、II区は微高地東端の緩斜面部から低地に向かう占地である事から、地勢に因る土地利用の結果と判断される。

第2項 整理事業

整理事業は、平成19年8月1日より開始し、III区～XI区の整理を先行実施し、平成21年度に報告書を刊行している。

当該報告書は、平成20年度から土器類・石製・石造品類・木製品等を、整理担当者2名で実施した。

平成20年度は、4月1日から木製品類の精査に着手した。実測個体の選別と、樹種同定用の顕微鏡観察用プレパラート制作対象個体の選別である。

実測個体510個体、プレパラート観察個体720個体に及んだ。整理は、平成21年3月31日まで実施し、写真撮影、図の製版原稿・原稿を整えた。

土器類・石製品類・石造品類・鍛冶関係遺物等は同年9月1日から着手した。石製品類・石造品類は分類から実施し、種類毎に実測資料を選定した。土器類は個体確認、接合を行い実測に供じた。実測個体は計1510個体、木器との合計2,020点である。

平成21年度は、実測・図の製版原稿を作成した。

平成22年度は、図の製版原稿。文字原稿を整え、本書の刊行の準備を行った。

第2章 遺跡自然環境と歴史的環境

第1節 自然環境

第1項 自然環境

群馬県域の東部に位置する太田市は、年間降雨量は1,200mmである。南関東地方とは300~500mmも少なく、太平洋岸型の内陸気候の特徴を示している。

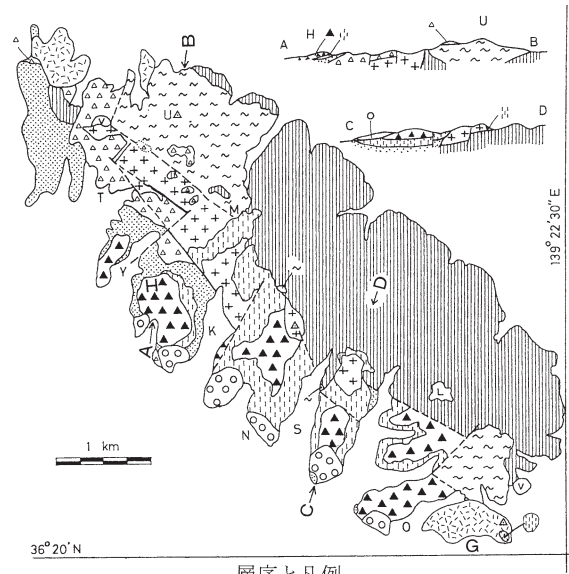
太田市を東西に分断する状態で、金山丘陵（金山235.8m）と八王子丘陵（唐沢山261m）は南北に延び、稜線は分水嶺を成している。また、関東造盆地運動により南西側に向かい傾斜を余儀なくされ、地質の層理も南西側に向かい傾斜している。そして、両丘陵の東斜面は急勾配、西斜面は緩斜面と成っている。これは、西側斜面の浸食が進んでいることも示している。自然がもたらせた作用の結果でもある。

この西側斜面部の浸食と、南西側への傾斜は、両丘陵、特に八王子丘陵に降った雨水が、南西~南方向に向かう表流水・地下水となり、貴重な水資源として、人々の生活に連綿と生き続けている。

八王子・金山丘陵の地質は、八王子丘陵南東側・金山丘陵北側には秩父古生層が基盤を形成し、他の山体は、古第三紀・新第三紀が堆積し、八王子丘陵の北側には、鹿田山丘陵が東西方向に横たえ、周囲には天神山丘陵・雷電山丘陵があり、孰れも凝灰岩の堆積が顕著である。特に、天神山丘陵の凝灰岩は、中世前半の石造品の石材として利用されている。

また、これらの凝灰岩風化再堆積粘土は、古代窯業生産の地下資源として、太田古窯跡群・笠懸古窯跡群・雷電山古窯跡群を形成させている。

当遺跡の東方3km程には、北西方向から南東方向に渡良瀬川が流走している。この渡良瀬川は、10万年前位から流路を変えながら堆積物を運び、大間々扇状地を形成した。大間々扇状地は、3時期の区分が成されている。調査区の西方には、この大間々扇状地藪塚面（第2期）（5~2万年前）の堆積が認められている。

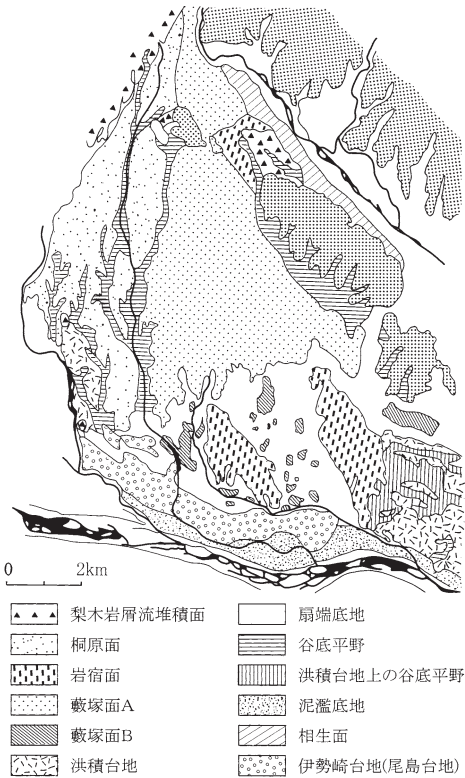


層序と凡例

第四紀	ローム質再堆積層	
	菅塩礫層	
新第三紀	未詳安山岩類	貫入岩
		溶岩
	藪塚層	大鷲部層
		初山峠部層
		湯ノ入部層
	滝ノ入部層	
古第三紀	北長岡溶結凝灰岩層	
	金山溶結凝灰岩層	
	秩父中・古生層	

T : 滝ノ入, Y : 湯ノ入, M : 初山峠
 H : ヘビセンター, K : 北長岡, N : 西長岡
 S : 菅塩, O : 大鷲, G : 上強戸 H : 調査区
 36° 20' N = X=37081.174
 139° 22' 30' E = Y=-41146.433
 文献1「藪塚温泉の温泉地質」に一部加筆

第3図 八王子丘陵の地質図



文献2「大間々扇状地の地形分類図」に加除筆をした。

第4図 大間々扇状地の地形分類図

大間々扇状地形成後、渡良瀬川はほぼ現流位置を流れるが、現流路に安定するまでに更に渡良瀬川扇状地を形成している。渡良瀬川扇状地は3面が形成されている。

この渡良瀬川の現在の河道は、室町時代永禄年間に変流した姿と考えられており、旧渡良瀬川の河道は、現在の矢場川であったと考えられている。これは、現県境がこの矢場川であり、江戸時代も上野国・下野国の国境であった事に拠る。

第2項 遺跡立地

当遺跡は、太田市域の北側、太田市上強戸町に位置する。旧行政区分では、新田郡強戸村字上一丁田に当たる。旧強戸村は、字強戸・北金井・菅塩・西長岡・成塚・寺井・天良からなり、近世に於いては、これらの字地名が独立した村として共同体を形成していた。

遺跡地は、上述の八王子丘陵の南端から広がる低地部分に位置する。標高は61m程であるが、土地改

良以前の太田市白図では、標高62.5mの等高線が調査区の北側に認められる。

八王子丘陵の南端部周辺は、丘陵の浸食堆積物で覆われ、更に、沢からの表流水の浸食を受けている。沢の表流水は、丘陵周辺の谷地に刻まれている水田跡を形成させた。また、地下水と共に水量は豊富である。この裏付けとして、丘陵の奥部には溜池が数多く造られ、ほぼ各谷に見られる。この溜池は、灌漑貯水機能と防災機能も備えている。

調査区の北側には、八幡沢の沢(上強戸町)・斧子の沢(上強戸町)・北金井町の沢がある。北金井町の沢には、谷奥に溜池を備えるが、上強戸の二つの沢には溜池は備えられていない。これに原因するのか、調査区では少なくとも、3回の洪水被災の痕跡が確認されている。

この3か所の沢の下流は、表流水により浸食され、形成された谷地が認められる。この谷地は土地改良以前の地形図に描かれているが、現在は、土地改良により平夷されている。そして、八幡沢の下流に形成された谷地では、当遺跡調査II区の洪水被災水田跡。斧子の沢の下流に形成された谷地では、調査VI～VIII区の洪水被災水田跡。北金井の沢に浸食されて形成された谷地では、大鷲遺跡群3区のAs-B軽石被覆水田跡。それぞれ平安時代の水田跡が発見されている。この3者内、大鷲遺跡では洪水被災水田跡は発見されていない。As-B軽石被覆水田跡が復旧され、洪水被災水田跡形跡を失ったか、水源の管理が成されていた事に拠り、被災を免れた事も推測させる。

当遺跡の南東方向600m程には、八瀬川が北東方向から南西方向へ金山丘陵の西側を流下している。この八瀬川は八王子丘陵の南面から発している。八瀬川は、上強戸の上記二つの沢、特に、斧子の沢から発していると推定される。現在では、圃場整備、道水路整備され、第5図に示した地形は想像するには余りある状態に成っている。そして、この八瀬川も自然流路と言う姿は失われ、用・排水機能を兼ねた多目的な河川に変容している。

第2節 歴史的環境

第1項 旧太田市域の遺跡の概観

はじめに

現在の太田市は、古代の新田郡・山田郡・邑楽郡の3つの郡に跨っている。しかし、この三者の郡界については、未だ定まった論説が無い。

太田市を東西に分断する金山・八王子丘陵は、古代には「爾比多山」(にいたやま)として、『万葉集』掲載の東歌に詠まれている。しかし、両丘陵を指すのか、どちらか一方を指すのかは明らかではない。

一方、彦部家文書「(前略)にたやまつむき(後略)」天文2年(1548)に見られる「にたやま」が「にいたやま」と同意かは不明であるが、漠然とした「新田の山」の意味なのであろう。

旧太田市内の遺跡は、『太田市史』(文献2)で纏められ、その後市内遺跡の調査に伴う報告書等により、遺跡の内容も徐々に明らかに成ってきている。

旧石器時代

市内に分布する旧石器時代の遺跡は、金山丘陵の北端側周辺に集中する傾向がある。これは、ローム土の分布する範囲に限定される。このローム土が分布する範囲は、渡良瀬川扇状地の岩宿面・扇状地I面に堆積が確認されている。しかし、扇状地I面で発見されている遺跡は大道東遺跡のみである。東別所遺跡は、洪積台地(飯塚台地)の東端側に位置している。又、小町田遺跡から出土している石器は、縄文草創期に時期比定されるが敢えてこの時代での表現をしてある。この小町田遺跡は扇状地I面から外れるものの、台地間際の部分であり、縄文草創期段階での生活域が捉えられる点では貴重な類例である。この扇状地I面での当該期の遺跡分布は、未発見遺跡が多いと考えられ、今後に託すること大である。予期せぬ旧石器時代の発見の対処のためにも、今後、手段を講ずることが課題でもあろう。

縄文時代

縄文時代も前代同様に渡良瀬川扇状地の岩宿面・扇状地I面と大間々扇状地の岩宿面。藪塚面A・洪

積台地に占地していることが看取される。この扇状地I面・藪塚面Aは、ほぼ同時期の形成地形であることから、縄文時代に至っても尚周辺環境は類似する傾向あったのかもしれない。时期的傾向では、低台地に中期後半から後期初頭が多く、前期前半もやや多い傾向が認められる。しかし、現時点では、当該時代の遺跡数が他の時代の遺跡数より少ない傾向にある。前代同様に未確認の遺跡が存在する可能性はあるものの、実態としても希薄性を示しているようでもある。

弥生時代

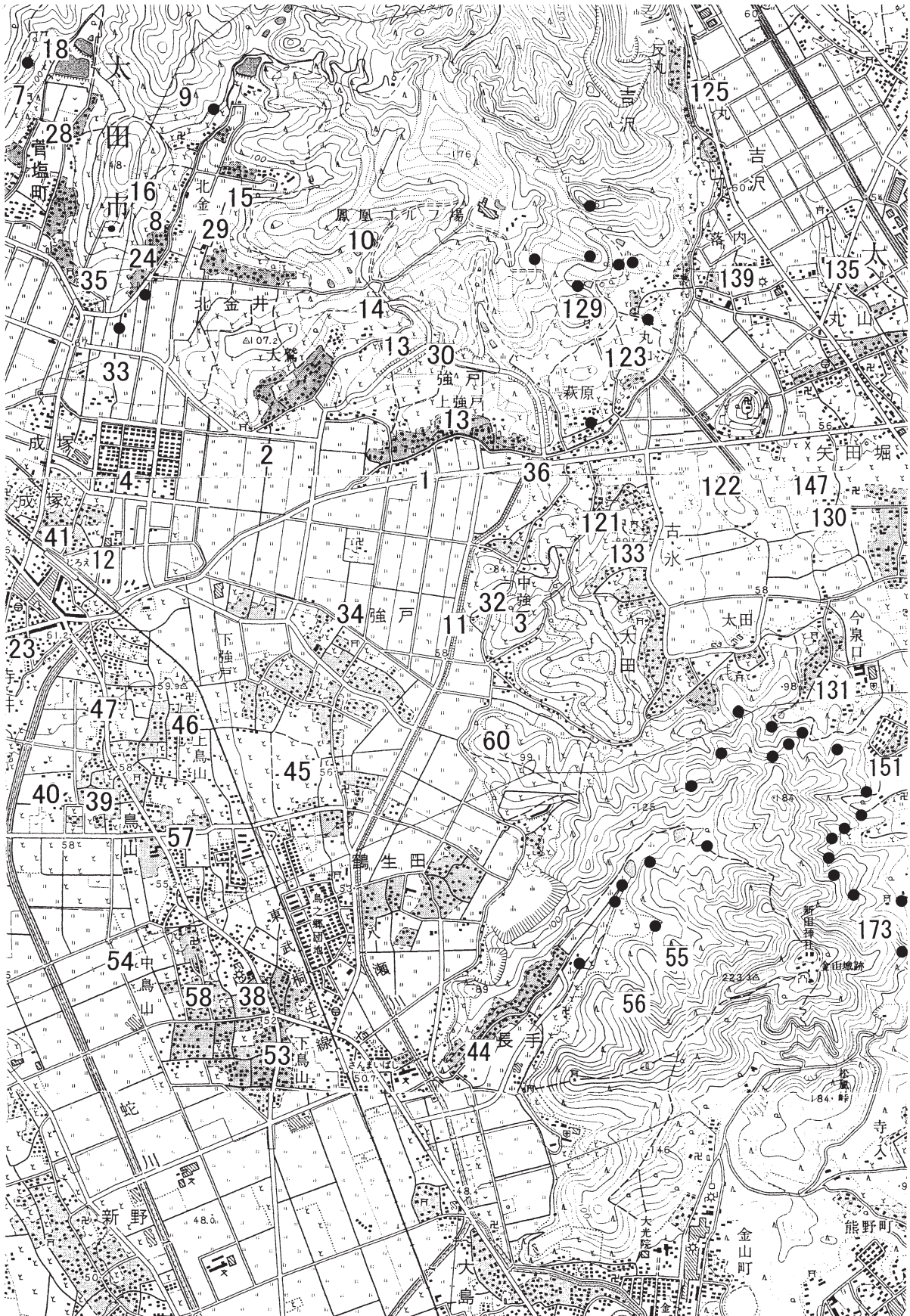
この時期は東毛地区では遺跡の数が極端に少ない傾向にある。磯之宮遺跡では住居跡と判断された遺構が発見されている。非常に遺存状態が悪いため、住居跡の性格付は判断し難く、出土遺物が後期初頭の壺・甕で、遺存がやや良好であることから当該期の生活域乃至墓域等として考えられる。選地は、地形分類上後背低地に該当するが、遺跡としては韭川流域の自然堤防様微高地(低台地)上にあたる。東毛域での当該期の遺構の発見例が少ないのは、選地に起因するのかもしれない。

古墳時代

太田市域の顕著な遺跡に古墳が挙げられる。市域南西側の朝子塚古墳、南東側の天神山古墳は、関東地方を代表する古墳である。当該期を概括すれば、古墳は各所に築造され、扇状地III面から後背低地と占地は広範囲に及んでいる。

前期古墳の分布は、由良台地域に集中する傾向が認められ、他は各地に散在する状態である。特色として、前方後方墳の多さにある。藤本観音山古墳・鶴巻山古墳・寺山古墳・屋敷内B遺跡(仮称1号墳)が挙げられる。同期の集落遺跡発見例も同様であるが、規模・内容は言及出来ないまでも市域には多い。また、西毛地区に比較すればその発見例は多い。

中期では、天神山古墳・宝泉茶臼山古墳に顕現され、中型前方後円墳が鳥之郷地区を中とするように



第5図 上強戸遺跡群周辺遺跡 (国土地理院『桐生』『上野境』『足利南部』『足利北部』1:2.5万を使用)



摘要

- | | | | |
|----------------|--------------|----------------|--------------|
| A 調査区 | B 瑞光寺 | C 矩形区画 | D 矩形区画 |
| E 字「大門堰」 | F 字「三惣作」 | G 字「寄居」 | H 字「水早」の南北分断 |
| 1 新田堀用水長堀幹線 | 2 立会堰 | イ 北金井の沢からの谷地 | □ 八幡沢からの谷地 |
| ハ 八王子丘陵西麓沿いの谷地 | ニ 成塚・大鷲からの谷地 | ホ イ・ハ・ニの合流した谷地 | へ 八瀬川沿いの低地 |

第6図 上強戸遺跡群周辺の旧地形図(1:10,000)(太田市白図 1:3,000を使用)と調査区位置図

第2章 遺跡自然環境と歴史的環境

第1表 遺跡一覧表(1)

番号	地区	遺跡名	摘要	文献	番号	地区	遺跡名	摘要	文献
1	強戸	上強戸遺跡群	当該遺跡	報告書1	61	宝泉	堂原遺跡	縄文後期	市史
2	〃	大鷲遺跡群	古墳～近世	報告書2	62	〃	諏訪下遺跡	古墳前期	〃
3	〃	強戸口峰山遺跡	旧石器	市史	63	〃	藤阿久古墳群	古墳前～後期	〃
4	〃	成塚住宅団地遺跡	〃	〃	64	〃	五反田遺跡	古墳前～平安	〃
5	〃	金井口墳輪窯跡	古墳	〃	65	〃	川窪遺跡	〃	〃
6	〃	成塚向山古墳群	古墳	〃	66	〃	宝泉茶白山古墳	古墳中期	〃
7	〃	菅塩西山古墳群	〃	〃	67	〃	由良古墳群	古墳後期	〃
8	〃	北金井川西古墳群	〃	〃	68	〃	脇屋古墳群	〃	〃
9	〃	北金井西山古墳群	〃	〃	69	〃	舞台C遺跡	〃	〃
10	〃	北金井東浦古墳群	〃	〃	70	〃	由良城跡	中世	地図
11	〃	寺山古墳	古墳前期	〃	71	太田	台源氏館跡	〃	地図
12	〃	成塚古墳群	古墳前～後期	〃	72	〃	新田館跡	〃	〃
13	〃	大鷲向山・上強戸古墳群	古墳後期	〃	73	〃	脇屋館跡	〃	〃
14	〃	大鷲山古墳群(大鷲大平古墳群)	〃	〃	74	〃	八幡山遺跡・古墳	旧石器	市史
15	〃	北金井御獄山古墳群	〃	〃	75	〃	浜松遺跡	古墳前～平安	〃
16	〃	北金井谷戸入古墳群	〃	〃	76	〃	屋敷内遺跡	古前・中世～	〃
17	〃	菅塩山古墳群	〃	〃	77	〃	熊野古墳群	古墳後期	〃
18	〃	菅塩祝入古墳群	〃	〃	78	〃	東山古墳群	〃	〃
19	〃	西長岡東山・西山古墳群	〃	〃	79	〃	高山古墳群	〃	〃
20	〃	西長岡宿古墳群	〃	〃	80	〃	舞台A・D遺跡	古墳後～平安	〃
21	〃	西長岡横塚古墳群	〃	〃	81	〃	太田大谷津沢窯跡支群	奈良～平安	〃
22	〃	西長岡天神山古墳群	〃	〃	82	〃	金山城	中世	地図
23	〃	新殿古墳群	〃	〃	83	〃	大光院	中世館跡?	耕地図
24	〃	駒形神社墳輪窯跡	〃	〃	84	九合	東別所遺跡	旧石器	市史
25	〃	寺井廃寺(交替帳弘輪寺か)	白鳳～平安	〃	85	〃	女体山古墳東方遺跡	縄文後・晩	〃
26	〃	西長岡窯跡支群	奈良～平安	〃	86	〃	運動公園遺跡	古墳前期	〃
27	〃	寄合窯跡支群	〃	〃	87	〃	中西田遺跡	古墳前～平安	〃
28	〃	菅塩窯跡支群	〃	〃	88	〃	天神山古墳	古墳中期	〃
29	〃	北金井窯跡支群	〃	〃	89	〃	女体山遺跡	〃	〃
30	〃	成塚窯跡支群	〃	〃	90	〃	房塚遺跡	〃	〃
31	〃	雷電山遺跡(砦跡)	中世	地図	91	〃	新井古墳群	古墳後期	〃
32	〃	瑞光寺跡	〃	〃	92	〃	新島・小舞木古墳群	〃	〃
33	〃	大字強戸字田谷	中世館跡?	耕地図	93	〃	内ヶ島古墳群	〃	〃
34	〃	大字強戸字寺前(瑞光寺)	中世館跡	〃	94	〃	飯田古墳群	〃	〃
35	〃	菅塩田谷遺跡	不明	〃	95	〃	東別所古墳群	〃	〃
36	鳥之郷	峯山遺跡	旧石器	市史	96	〃	飯塚古墳群	〃	〃
37	〃	大島口遺跡	縄文前・古墳	〃	97	〃	西矢島古墳群	〃	〃
38	〃	鳥崇神社古墳	古墳中期?	〃	98	〃	東矢島古墳群	〃	〃
39	〃	龜山古墳	古墳中期	〃	99	〃	観音寺跡	中世	地図
40	〃	鶴山古墳	〃	〃	100	〃	新井館跡	〃	〃
41	〃	成塚石橋遺跡	〃	〃	101	〃	矢島城跡	〃	〃
42	〃	大島古墳群	古墳後期	〃	102	〃	大字九合字高田	中世館跡?	耕地図
43	〃	式反田・貧乏塚古墳群	〃	〃	103	沢野	古戸遺跡	縄文早	市史
44	〃	長手口古墳群	〃	〃	104	〃	朝子塚古墳	古墳前期	〃
45	〃	下強戸・鶴生田古墳群	〃	〃	105	〃	石田川遺跡	〃	〃
46	〃	寺裏遺跡	〃	〃	106	〃	米沢仲遺跡	〃	〃
47	〃	鷲ノ宮遺跡	奈良	〃	107	〃	高林福島古墳群	古墳前～後期	〃
48	〃	鶴生田窯跡支群	奈良～平安	〃	108	〃	高林不動古墳群	〃	〃
49	〃	長手支群(窯跡)	〃	〃	109	〃	富沢古墳群	〃	〃
50	〃	八幡遺跡	〃	〃	110	〃	細谷古墳群	〃	〃
51	〃	釣堂廃寺	〃	〃	111	〃	牛沢小谷場古墳群	古墳中～後期	〃
52	〃	大島館跡	中世	地図	112	〃	高林西原・鶴巻古墳群	古墳後期	〃
53	〃	鳥山城跡	〃	〃	113	〃	東下田島古墳群	〃	〃
54	〃	大光寺跡	〃	〃	114	〃	西下田島古墳群	〃	〃
55	〃	鷲足寺跡	〃	〃	115	〃	米沢二ツ山古墳	〃	〃
56	〃	長菜寺跡	〃	〃	116	〃	東矢島廃寺	奈良～	〃
57	〃	大字鳥山字河畑	居館?廃寺?	耕地図	117	〃	高林城跡	中世	地図
58	〃	大字鳥山字道木	古代居館?	〃	118	〃	牛沢城跡	〃	〃
59	〃	大字大島字宮下	中世館跡?	〃	119	〃	長福館寺跡	〃	〃
60	〃	鶴生田口遺跡	不明	〃	120	〃	岩松氏館跡	〃	〃

第2表 遺跡一覧表(2)

番号	地区	遺跡名	摘要	文献	番号	地区	遺跡名	摘要	文献
121	毛里田	雷電山遺跡	旧石器	市史	165	斐川	磯之宮遺跡	弥・古前・平	市史
122	〃	小丸山西遺跡	〃	〃	166	〃	安良岡古墳群	古墳	〃
123	〃	村上遺跡	〃	〃	167	〃	矢場古墳群	〃	〃
124	〃	大道東遺跡	旧石器～平安	〃	168	〃	東金井聖天沢窯跡支群	古墳～平安	〃
125	〃	反丸遺跡	古墳中～後期	〃	169	〃	東金井亀山窯跡支群	〃	〃
126	〃	丸山古墳群	古墳後期	〃	170	〃	太田工業高等学校北裏遺跡	古墳前期	〃
127	〃	只上・猿楽古墳群	〃	〃	171	〃	矢場川遺跡群	古前～奈～平	〃
128	〃	市場古墳群	〃	〃	172	〃	東長岡金井町遺跡	古墳前・平安	〃
129	〃	吉沢古墳群	〃	〃	173	〃	大日沢古墳群	古墳後期	〃
130	〃	矢田堀古墳群	〃	〃	174	〃	亀山古墳群	〃	〃
131	〃	管ノ沢古墳群	〃	〃	175	〃	寺ヶ入馬塚古墳群	〃	〃
132	〃	狸ヶ入古墳群	〃	〃	176	〃	寺ヶ入古墳群	〃	〃
133	〃	東今井口古墳	〃	〃	177	〃	焼山北古墳群	〃	〃
134	〃	巖穴山古墳	〃	〃	178	〃	焼山南古墳群	〃	〃
135	〃	流作場遺跡	〃	〃	179	〃	推定東山道	奈良～	〃
136	〃	吉沢窯跡支群	古墳～平安	〃	180	〃	東金井東大沢窯跡支群	奈良～平安	(市史)
137	〃	東今泉管ノ沢窯跡支群	〃	〃	181	〃	東金井大日沢窯跡支群	〃	〃
138	〃	桑前遺跡	〃	〃	182	〃	東金井寺ヶ入窯跡支群	〃	〃
139	〃	落内遺跡	古墳後～平安	〃	183	〃	東長岡焼山窯跡支群	〃	〃
140	〃	推定旧東山道	奈良～	本書	184	〃	堂目木遺跡	平安	〃
141	〃	推定山田群衛	奈良～平安	市史	185	〃	矢部城跡	中世	地図
142	〃	推定新田群衛(七堂遺跡)	〃	〃	186	〃	国済寺城跡	〃	〃
143	〃	吉沢萩原窯跡支群(萩原窯跡)	〃	〃	187	〃	市場城跡	〃	〃
144	〃	古水窯跡支群	〃	〃	188	〃	富田館跡	〃	〃
145	〃	狸ヶ入II遺跡(狸ヶ入窯跡)	〃	〃	189	〃	雀の宮屋敷跡	〃	〃
146	〃	猿楽遺跡	〃	〃	190	〃	植木野城跡	〃	〃
147	〃	寺中遺跡	奈良・平安	〃	191	〃	緑心寺跡	〃	〃
148	〃	萩原館跡	中世	地図	192	〃	大字東長岡字星の宮	中世館跡?	耕地図
149	〃	新田丸山の砦跡	〃	〃	193	〃	大字東長岡字八幡	〃	〃
150	〃	矢田堀城跡	〃	〃	194	休泊	小町田遺跡	旧縄中古後～	市史
151	〃	呑嶺館跡	〃	〃	195	〃	賀茂遺跡	縄文・古～平	〃
152	〃	狸ヶ入館跡	〃	〃	196	〃	清水田遺跡	〃	〃
153	〃	今泉館跡	〃	〃	197	〃	雷遺跡	縄文前・中	〃
154	〃	胎藏寺跡	〃	〃	198	〃	上遺跡	縄文前～後・古	〃
155	〃	大字毛里田字本郷	〃	耕地図	199	〃	塚井古墳群	古墳	〃
156	斐川	東長岡戸井口遺跡	縄文～近世	報告書3	200	〃	塚回り古墳群	〃	〃
157	〃	伊豆山遺跡	旧石器	市史	201	〃	塚井遺跡	古墳後期	〃
158	〃	内並木遺跡	〃	〃	202	〃	碓神社の礎石	奈良・平安	〃
159	〃	金井口遺跡	〃	〃	203	〃	矢場城跡	中世	地図
160	〃	小丸山遺跡	〃	〃	204	〃	大倉城跡	〃	〃
161	〃	焼山南遺跡	旧石器～縄文	〃	205	〃	竜舞館跡	〃	〃
162	〃	焼山遺跡	旧石器～弥生	〃	206	〃	慈眼寺跡	〃	〃
163	〃	細田遺跡	旧石器～古墳	〃	207	〃	松尾神社古墳	古墳後期?	〃
164	〃	下宿遺跡	縄文草期	〃	208	〃	入谷遺跡	白鳳～	〃

凡例及び文献

文献1・飯島静雄・吉川和男「藪塚温泉の温泉地質」『学術調査研究報告 温泉科学』1994(平成6年)財団法人 群馬県温泉協会

文献2・市史 『太田市史』資料編 原始古代 太田市 平成8年(1996)

文献3・市史 『太田市史』資料編 中世 太田市 平成9年(1997)

文献4・地図 『太田市文化財地図』改訂版 太田市教育委員会(1991)

文献5・耕地図 県立図書館 所蔵

文献6・報告書1 『上強戸遺跡群』(1) 2009(平成21年) 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

文献7・報告書2 『大鷲遺跡群』 2007(平成19年) 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

文献8・報告書3 『東長岡戸井口遺跡』 1999(平成11年) 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

※第5図中の●印は窯跡を表す。

集中している。この中で、鳥崇神社古墳は、旧耕地図上で見ると、北西方向に主軸を採り、小規模河川乃至用水の旧流路痕を埋め戻し築造している。しかし『市史』では、主軸を北に採り、中島施設を伴う古墳として紹介されている。しかし、旧耕地図には上述の状態の中島も無く主軸方位も異なっている。

市域南方では、前代の朝子塚古墳以降、小古墳の発達が目立っているが、中小古墳の範囲にとどまっているようである。

天神山古墳周辺では、女体山古墳以外の発展は見られない。この両古墳は前代の核になる古墳もなく唐突に構築されたことが最大の特徴である。市域東方では、矢場古墳群での中小古墳の発展が挙げられるが、消滅した2～4基の前方円墳が内容不詳のままである。しかし、規模の点から発展的展開とは考え難い。当該期、天神山古墳が突出した存在であるが、これ以降、鳥之郷地区の発展系列に特徴付けられ、前代から見れば、北西側での勢力台頭として捉えられる。

鳥之郷地区では、台地内部の中央部で、前出鳥崇神社古墳・亀山古墳・鶴山古墳（以下「鳥之郷3墳」と略記）に近接し、主軸を南北から45度傾ける長方形を呈する地割りが存在する。この長方形地割りを市域の当該種＝中世城館と比較すると、中世居館の占地は台地縁辺・先端・後端に沿って構築されるが、鳥之郷の長方形地割りの占地は認められない、同様な占地を採るのは寺院跡が想定されるが、基本形状は正方形を採るのが基本であろうし、軸方位が南北ではなく、約45度東に振れている。この軸方位は、5～6世紀の住居跡の軸方位と類似していることが指摘出来る。これらのことから、この地割りは中世より古く、この鳥之郷3墳に近い時期の構築物の痕跡（鳥之郷3墳の被葬者の居館か）と推測させる。

この時期の集落は、面的に広く調査されている成塚住宅団地遺跡・房塚遺跡等が挙げられるが、総じて遺跡数は少ない。成塚住宅団地遺跡では、台形区画の堀に囲まれる「豪族居館」の発見がある。この居館からの出土遺物からでは、主体者の性格を推定するには困難であるが、鶴山古墳等の被葬者を推

定するには不十分過ぎる内容である。やはり、同地域の成塚古墳群を築造した共同体の首長クラスが擬せる程度と思われる。だが、この区画が居館跡とする性格付けの遺構・遺物等の根拠が不分明であり、現状は、特殊な台形区画の溝状遺構としか分析出来ない（外形上、中世前半の館跡の形状に類似）。当該期の特徴は、天神山古墳・鳥之郷3の台頭の様に、新たな地域での台頭は、その周辺地区での諸背景の充分条件が整ってことを示しており、この充分条件が治水・生産基盤・要路確保等に他ならない。この時期が第1次開発（4世紀段階の集落が確実に把握し得ていない事と、浅間山C軽石被覆水田の実体が現階で不分明なことから、今日の段階では「第1次」とするが、実体は「第2次」的かもしれない。）の完成期として捉えられ、同地域に発達した網状流路を利用した水田開発・用水の整備この時期に現在の原形が完成したことが考えられる。

後期では、集落の発展的展開が認められ、人口の増加も著しかったことが推定される。古墳は、市内各地に分布しており、各地で古墳群を形成し、ほぼ大字単位乃至字単位でも多いところは複数の分布が認められる。そして、全体的に小円墳横穴式石室の構造の古墳群が多く、小規模な前方後円墳を1～2基伴う古群も在る。

一方古墳の数量では、恐らく後の山田郡側の金山東麓周辺が群を抜いている。又、この時期に開窯する太田古窯跡は、この金山東麓と八王子丘陵の南東麓、則ち、後代に置かれる山田郡家の推定地は窯跡群の中間位置に設定され、窯跡群は山田郡側にその主体が立地している。

一方、埴輪窯は、駒形神社埴輪窯跡・金井口埴輪窯跡などが周知されているが、市内の埴輪を樹立する古墳数を考慮すれば、相当量の埴輪窯跡の存在が推定される。

後期に入ると、古墳築造もピークを迎える。金山丘陵・八王子丘陵の山麓には多数横穴式石室を伴う古墳が築造され、群集墳としての様相を呈する。特に金山東麓（山田郡）に分布する、矢田堀古墳群・

菅の沢古墳群・狸ヶ入古墳群・大日沢古墳群・亀山古墳群・寺ヶ入馬塚古墳群・寺ヶ入古墳群・焼山北古墳群・焼山南古墳群・熊野古墳群・東山古墳群・高山古墳群が連綿と続く状態で分布し、八王子丘陵（山田郡）側では吉沢古墳群が分布している。また、金山丘陵西麓（新田郡）側でも大島古墳群式反田・貧乏塚古墳群・長手口古墳群が分布している。八王子丘陵（新田郡）側の西麓には、菅塩西山古墳群・北金井川西古墳群・北金井西山古墳群・北金井御嶽山古墳群・北金井東浦古墳群・大鷲大平古墳群・大鷲向山古墳群・上強戸古墳群が切れ目無く分布し、丘陵下では成塚古墳群が位置する。これらの他、低台地でも多くの後期古墳が築造されている。特に、九合地区での分布が目立っている。新井古墳群・新井・小舞木古墳群・内ヶ島古墳群・飯田古墳群・東別所古墳群・飯塚古墳群・西矢島古墳群・東矢島古墳群が分布している。特に前代から継続的に前方後円墳の密集する東矢島古墳群は顕著な存在と言い得る。

後期古墳の中でも毛里田地区に顕著な状況が窺える。庚申塚古墳・今泉口八幡山は家形石棺を安置する前方後円墳で、方墳の巖穴山古墳があり、後二者は須恵器作部の管掌者としての性格が推定される。そして、この地区に上述の山田郡家が設置されている。

他方、後の新田郡衛の設置される強戸地区には、米沢二ツ山古墳が在るものの、他に顕著な古墳は認められない。後代の攪乱等に因り消滅している可能性も否めないであろう。やはり、金山・八王子丘陵の西斜面に古墳群の分が顕著で、低台地・微高地に中小古墳群が分布するが、前代から継続的な状況を呈する古墳群は認められない。

この様に、市域の北側での後期古墳の発展が顕著である。このことについては、徳江秀夫氏の既説（文献1）が有り、耕地・地溝開発による首長層の発展を古墳として顕現とするが、他の産業、仮に工業（窯業・鉄生産・鉄器生産等）・商業（流通＝後の東山道の掌握権）・中央の東北経営等からの分析がやはり必須の要素であろう。前述の新田・山田両郡衛が設置される背景は、これら、古墳時代の精算としての選

地要因が内在している。集落は、市内の各所で発見がある。後期古墳の分布域は勿論であるが顕著な集落の分布は不分明である。

低台地・微高地の範囲は既掘遺跡が該当する。集落立地の条件の要件は果たしているものの、渡良瀬川寄りでは河川氾濫との拘わりも重要である。塚廻り古墳群の如く、洪水により冠水し易い地区が有ったであろう。この渡良瀬川の洪水は地形にも影響を与えていると考えられ、現状では低地の遺跡確認は難しい。

特殊な集落として、大道東遺跡は、選地的に須恵器工人の集落に推定されている。又、特殊と言い得る住居跡に楽前遺跡の第96号住居跡の竈は、東北特有な形態である。何故この住居跡はこの様な竈を備えるのかは不分明であるが、東北地方と交渉を物語る結果と推量しておく。

6世紀中頃に開窯のされる「太田古窯跡群」（太田金山古窯跡群）は、金山・八王子丘陵の東斜面に主体の分布が認められており、菅ノ沢支群・聖天沢支群などの支群構成をもつまでの規模で操業している。製品は高崎市佐野遺跡でも長脚2段の高坪が発見されており、太田市及び周辺地域での集落内での須恵器保有率が非常に高い。

当該地区の土地利用の体制は、この古墳時代に基礎が形成されたことが、最大の特徴として捉えられる。

奈良・平安時代

当該初期には中央主導の律令体制が敷かれ、太田市域は新田・山田・邑楽郡の「郡郷制」に組み込まれる。この直前段階の「評里制」に伴う実態は未だ不分明である。

古代郡郷制下の新田郡では、『和名類聚抄』（以下『和名抄』）に記載の郷名は、新田・滓野・石西・祝人・淡甘・駅家郷の6郷。山田郡は、山田・大野・園田・真張の4郷。邑楽郡は池田・疋太・八田・長柄の4郷からなっている。現在も太田市菅塩町の谷合に、古代郷名「祝入」が認められるが、古代の遺名が直接残っているとは断定は出来ない。今後も十分な検討を必要とする。

新田郡には、白鳳時代の寺井廃寺遺跡が在る。他

方、『延喜式神名帳』記載の神社では（以下、「式内社」）は、新田郡の神社の記述認められないが、『交替帳』では、「正六位上札神大神社」が見られる。山田郡では、「式内社」「賀茂明神」が記載され、比定社が桐生市広沢・太田市丸山・同竜舞（旧郷社）3カ所鎮座するが、当初の形態はやはり郡衛至近の位置にあたる丸山賀茂神社が推定される（『市史』では竜舞賀茂神社を比定）。そして、「寮米保」の設置以降社格の昇叙により代表的な存在になったと考えておきたい。又、邑楽郡の「式内社」「長柄明神」も上述同様に推定邑楽郡衛に至近の大泉町古水長良神社、又は、千代田町長柄地区長良神社（旧郷社）を疑定される。

近年、天良七堂遺跡の調査が本格的に行われ大凡の姿が浮かび上がってきている。そして、この調査により、従前から推定されていた新田郡家遺跡の内、「上野国新田郡庁跡」として国指定史跡になっている。

調査では、一辺90mの正方形配置を採る区画には、建物の建て替えが3時期にわたり確認されている。また、周辺には倉庫群の存在も判明しており、全容の解明が待たれる。

この天良七堂遺跡の周辺には、基壇瓦葺建物を備えた入谷遺跡、唐三彩陶枕の出土した境ヶ谷遺跡、また、推定東山道、下新田ルート、牛堀・矢ノ原ルートの二つのルートが提唱されている。

この天良七堂遺跡の北東側には、白鳳時代に建立された寺井廃寺遺跡（弘輪寺跡）が位置している。この寺井廃寺遺跡（弘輪寺跡）は、藪塚扇状地A面麓端の東端に占地しており、周囲は、湧水等に困る浅い開折谷により残された低台地に選地している。県内の初期寺院の中では特徴的な選地である。まだ調査実施はされていないが、面違鋸歯文複弁蓮華文鏡瓦や重弧文字瓦が採集されており、一部、基壇建物の跡も確認されている。

集落遺跡は前代同様な状況と考えられるが、用水・灌漑に依る耕地の拡大期、微高地等への進出が想定される。又、1遺跡内でも、古墳時代の住居跡と当該期の住居跡では、床面標高値が当該期の方が

10～20cm程高いレベルに構築している。この傾向は小町田遺跡で顕著で、住居構造の変化だけとは考え難く、自然の要因が大きな要件に推定される。また、この遺跡では、「神殿」「寺」「矢田」等を含む多くの9世紀後半～10世紀前半墨書土器が出土している。楽前遺跡第26号住居跡からは「院」「稻」を墨書する8世紀後半の須恵器杯が出土し、同第86号住居跡からは須恵器小形輪花文碗が出土している。

金山・八王子丘陵に構築された窯跡群もこの頃にピークを迎え、各地へ分散する兆しがある。8世紀後半に開窯が推定される桐生古窯跡群は、その開窯に、太田金山古窯跡群の工人が関わっている。

水田跡は、古水地区でトレンチに依り確認されている。市内に残る条里遺構は古代の査証は得られていない、古水地区のB軽石下水田も、同地域に残る条里遺構とは異なる方向の水田跡である。又、後述の嘉応2年に記された「新田庄田畠在家注文」（以下、「注文」と略記）中の水田面積と、条里遺構の遺存する地区で、双方の地名が一致すると考えられる地区での水田面積と、条里遺構面積には差が大きすぎる。このことは、条里遺構と呼称するものは古代の遺構ではなく、時代の降った所産であろうことが推量される。そして通有、条里遺構の発掘調査では、発見される古代の水田跡と条里遺構は一致しないのが恒でもある。このことから、市内域の条里遺構は古代の遺構とするには否定的である。

鎌倉・室町・戦国時代

平安時代末期、保元2年(1157)源義重(後の新田義重)は新田荘の下司職に任じられ、新田荘を立荘した。

仁安3年に記された「源義重讓状」・「源義重置文」・「注文」は、新田荘を研究するための基本となる史料であり、従前より、先学により種々の研究が為されてきている。これらの史料中に記されている郷名で、「注文」に記された水田面積に比例する状態で、現在の低地（水田）の分布が認められる。

また、文安年間(1444～1449年)に記されたと推定されている岩松持国「新田庄知行分目録」(以下「目録」)は、「注文」と基本的な違いは無い。だが、「目録」は

「注文」の写的に記されているものの、幾つかの新たな郷名・村名がされている。この双方の記述内容からは、耕地の飛躍的な拡大は認められない。だが、後者の史料は、幕府への納税申告の基本台帳的なため、記述された水田面積は信憑性に疑問も有ろう。

この頃の顕著な遺跡として、長楽寺周辺の遺跡が在る。溝状遺構の多さが特徴的であるものの、一つの遺跡の範囲を限るのが難しい状況である。

長楽寺周辺以外では、中世前半の遺構は、各地区の調査でも遺物の出土が有っても遺構が発見されない傾向が一致しており、これを以て特徴とも言い得る。

また、石造物では、太田市内各所に鎌倉期の五輪塔等が分布している。精神文化の範囲の遺跡であるため、生活遺跡等とは異なることから、当時の居住域の復元には限界がある。

城館跡ではなかなか鎌倉時代での存続を認定し難いが、14世紀を前後する頃の城館跡は逆台形乃至台形を呈する特徴が、桐生梅原館跡・足利鍔阿寺（足利居館を寺院にしている）・佐野工業団地館跡で認められ、同様の形状を呈する地割が耕地図中に認められる。これらの地割が上強戸地区など各地で認められ、竜舞館も同様な形状と考えられる。

室町・戦国時代になると、金山城に代表される城館主体に調査が及んでいる。発掘調査での出土遺物も増加するものの、館の堀跡等館跡に拘わる遺跡が多くを占めている。これは、前半期に比較すれば、遺構認定対象が急増していることの反映である。

浜町屋敷内遺跡では、溝状遺構・井戸跡・多数発見され、土師質土器皿・軟質陶器類・石鉢・穀臼・茶臼等が多量に出土している。しかし、建物跡の発見が無いことから、通有遺跡と異なる状況が看取され、報告書でも何らかの生産遺跡を促している。

城館跡も前代より顕著に築造されており、市史では42カ所の城館砦を掲載する。

文明元年(1469)、岩松家純により築城される金山城は、当該地域の要塞となる。この金山城築城以前より岩松氏の被官、国人などに依り、館の備えを堅固にしたと考えられる。この金山城の築城の背景は、

新田・山田両郡の支配が確立した事を物語っており、後述する「新田堀」の新田郡側への通水は、やはりこの頃、新田・山田両郡が一元支配以降に開削が有ったと想定される。

この金山城も、天正13年(1585)北条氏により由良国繁・長尾顕長が小田原幽閉後、北条氏に明け渡されている。そして、天正18年(1590)小田原征伐後廃城になっている。

江戸時代

この時代の特定遺跡を挙げることは難しい。『上野国郡村誌』『吉澤村』・「東長岡村」・「八重笠村」記録には、「物産」の項目に「瓦」が記されている。現在は焼造場所の確認は出来ないが、恐らく焼造された瓦は十能瓦・棧瓦であったと推定される。この十能瓦は、現在でも住宅に葺かれている民家も散見する。特に、金山・八王子丘陵の東側に十能瓦の屋根が分布している。また、中世には生産を推定させる「小泉焼」は、水田下位層の有機質を含む粘土を使用している。この水田下位層の粘土は、沖積地に堆積した粘土である。近年までは「小泉焼」も操業が行われていたが、現在では、この4か所での生産は行われていない。

江戸時代、当該地域での岡登用水の開削は「笠懸野」の開発のため、岡上次郎兵衛景能等により、寛文4年(1664)から同12年(1672)にかけて、渡良瀬川から強戸地区の新田堀までの総延長約14kmの水路・溜池が(鹿の川沼)が開削・整備されている。この岡登用水の流路は、旧河川の流路を利用して竣工させ、現在の耕地の礎を造り上げている。現在でも八王子丘陵西側の重要な用水になっている。

第2項 調査区周辺の遺跡

当該遺跡の位置する上強戸町は、太田市域の北西部、旧強戸村に当たる。現在は西長岡・菅塩・北金井・大鷲・成塚・上強戸・強戸町からなっている。そして、この地域は、現在でも強戸地区として概括されている。

前述の概観でも明らかな様に、古墳時代以降、当該地域は他地域より優位性のある地域である。しか

し、古墳時代後期後半、山田郡側で須恵器窯の開窯に象徴されるように、御廟山古墳・巖穴山古墳の築造があり、勢力の中心が金山丘陵東側に移った状況もある。そして、律令期になり、この双方が郡として明確な形で分別され、強戸地区は古代新田郡の中心地域に成っている。

新田郡家に比定されている天良七堂遺跡は、従前より礎石建物・焼き米の出土などから、早くからその指摘がなされてきている。そして、近年の発掘調査により、『上野国交替実録帳』（以下、『交替帳』と略記）に記載されている郡庁建物群と一致する施設構成が発見され、1辺90m級の規模有する全国でも最大級の郡庁施設であることが判明している。

定額寺に擬せられる寺井廃寺は、天良七堂遺跡の東方300m程の位置に当たると考えられる。寺井廃寺の位置推定は、微地形と耕地図の地割状態から推定される（第7・8図参照）。微地形では東には南東方向に向く地蔵谷と呼ばれていた低地と、西側には、天良七堂遺跡と区画する小河川の流路痕がある（第5図）。この地形は、寺院建立等に好地として選地された筈である。

寺井廃寺は、『交替帳』の「定額寺」項の「放光寺」（山王廃寺遺跡）を除く「法林寺・弘輪寺・慈光寺」3ヶ寺の孰れかに該当する。

「弘輪寺」の「築垣」項には、「（前略）東北長拾七丈南東広七丈二尺（後略）」から伽藍地の区画を規制する地形が東北・南東の様に上述の当該寺院の選地要件に適合するかの状態である。県下の初期寺院には、この築地を規制するような選地は寺井廃寺跡しか該当しない。このことから、寺井廃寺遺跡が『交替帳』に記述の有る「弘輪寺」に該当する可能性が大である。

中世では前半期が不明である。平安時代末期、源頼朝挙兵の時、新田義重は「寺尾館」に拠ったとされている。その「寺尾館」が、寺井廃寺の前面にある赤城神社・聖王寺の場所とする伝えがある。この部分の地割を耕地図で確認すると、第8図の「A」の地割が確認出来る。地割に残る遺構とすると、中世でも前半とは考え難く、恐らく15世紀遺構の館跡

等の遺構の痕跡と考えられる。

この強戸地区の「強戸」の名称は、新田義重の五男経義が額戸三郎を称し、「額戸」=強戸の地名を冠している。だが、この額戸氏の名は継がれず、経義の嫡男は長岡姓を名乗っている。

また、「新田庄田畠在家注文」嘉応2年（1170）にも「額戸郷」として記録が認められる。しかし、額戸氏の記録はこれだけである。

中世後半になると城館跡の増加が通有とされる。

調査区南側に位置する瑞光寺は、土地改良前までは大きな区画域が認められる（第6・9図参照）。規模は推定全長175m～287m、幅100m～112mである。この区画域は、館と在家の地割構成が、地目が変わっても維持された結果であることが推測される。しかし、保存状態も良かったこの地割も、今では、土地改良により全体の7割が失われているが、北西側に残存する土塁は、旧状を推測するに十分な状態である。

外構えは、周囲の谷地を利用、乃至は堀を開削している。西及び南側は、調査区西側の谷地が瑞光寺の西側で東に転進する自然の谷地を前面にし（第9図中の谷地ホ）、背後側は、谷地ホの旧経路か、谷地ホから分かれた谷地を利用している。東側の外構は、八幡沢から伸びた谷地（第9図谷地ロ）を利用している。

瑞光寺が重複する館跡は、八瀬川の水源地付近と、新田一山田側を繋ぐ交通上（東山道）の要地でもある事から、岩松・由良氏の家臣の中でも有力者が主体者であった事も推測させる。

また、当遺跡の調査Ⅱ区から、新田堀用水を越え、背後の堀に向かう溝状遺構の痕跡も認められる。この瑞光寺の南西側には、河川の旧流路を利用した寄居の砦が位置している。

また地名では、大門堰・三惣作が瑞光寺の東側・南側に字名として残っている。この大門堰は、旧八瀬川と斧子の谷からの低地が合流する部分に残る地名である事から、恐らくは、新田堀の通水以降に設けられた、堰の名称の遺名と推測される。

この、瑞光寺の900mほど南側に慶雲寺（鳥之郷地区鶴生田）の長方形区画が在る（第）。この区画も中世館



摘要			
A	聖王寺・赤城神社を区画する土地区画。		
B	正方形の土地区画/寺井廃寺遺跡(=定額寺・弘輪寺か)の寺院地の区画か。		
C	条里水田を思わす区画/1町(約108m)の方眼を組んだが、区画とは不一致。		
1	鶴山古墳	2	二つ山1号墳
3	二つ山2号墳		
4	新田郡衙郡庁及び新田郡家跡		
5	岡登用水		
6	岡登用水の脇水路か。		
7	岡登用水の排水路か。		
8	旧蛇川流路	9	長堀用水路
10	蛇川	11	旧蛇川流路痕跡
12	赤城神社	13	聖王寺
14	鷲ノ宮遺跡		
イ	蛇川の河川改修以前の流路域。		
ロ	地藏谷と長堀用水と蛇川に囲まれた地形。		
ハ	用水路の痕跡か・蛇川の流路痕跡。		
ニ	字名「地藏谷」の浅い谷地形。		
ホ	〜ト 低地・流路痕		

第7図 寺井廃寺遺跡(弘輪寺跡)周辺地形図(1:9,000)(太田市白図・昭和35年測量)



第8図 寺井廃寺遺跡(弘輪寺跡)・新田郡家周辺の土地区画(昭和初年頃か)(約1:9,000)

跡の痕跡と推断される。この区画域の東側には、八瀬川と八王子丘陵の西側の全体の旧流路4筋が合流する地点になっている。灌漑用水管理は重要な位置に当たる館跡と考えられるが、まだ周知にされていない。

新田堀は、渡良瀬川の待堰（現在は太田頭首工）から引水する用水路で、全長7.87kmに及んでいる。

開削に関わる詳らかな史料は無いが、現在では、1570年（元亀元年）に由良成繁家臣の荒山小左衛門により待堰と新田堀、長尾顕景家臣の大谷新左衛門により竣工したとされている（文献2）。しかし、一方では、古代まで遡るとする意見もあるが、確実な史料が欠如するため、発掘調査による究明も方法の一つであろう。そして、当該遺跡は、新田堀に隣接するため、調査された遺構の所見は、新田堀開削時期を検討するためには重要な資料であろうし、開削時期をめぐる問題は、発掘調査の所見が大きく左右することが予想される。

一方、山田郡側では、東長岡戸井口遺跡で発見さ

れた、8世紀に開削の五ヶ村用水の前身にあたる大規模用水跡は、資料に見られる、続日本紀承和二年（835）条「以空闲地山城国愛宕郡二町 上野国山田郡八十町賜諱 田邑」に何らかの関わりが推測され、9世紀前半頃には80町の開田事業が存在している。この記事は、『続日本紀』の中で山田郡に係する唯一の記事でもある。

この五ヶ村用水と『続日本紀』の記事は何らかの関わりあることが推測されるが、同様な状況が新田郡内でも開田計画が進んでいたとしても疑義は無いであろう。大鷲遺跡、上強戸遺跡群Ⅰ区・Ⅱ区・Ⅵ～Ⅷ区で発見された谷地水田跡の様に、大規模用水による引水ではなく、自然湧水による耕地整備が当該遺跡周辺部での実態であろう。恐らく、八王子丘陵・金山丘陵の沢水の流路確保と、谷地水田に伴う小規模用水路の整備が実態であったと考えられる。だが、8・9世紀の開田事業の実態を探るには、資料の積み重ねが必要である。



摘要	
A	調査区
B	瑞光寺と南東側の長方形の区画。館と在家の地割か。
C	字名「大門堰」の矩形的区画。
D	字名「武蔵谷戸」の矩形的区画。館跡の痕跡か。
E	字名「大門堰」の堰名の遺名か。
F	字名「三惣作」
G	字名「寄居」
H	字名「水早」が新田堀を介して南北ある。字地の分断か。
1	新田堀用水
2	立会堰
3	東西に細長い土地区画
4	八瀬川の旧流路
イ	北金井の沢からの流水経路痕跡。「ホ」に切られる。
ロ	八幡沢からの流水経路（蟹川?）。「ホ」に切られる。
ハ	菅塩・北金井・向山西南麓を経由する流水経路痕跡。慈眼寺川の旧流路痕跡か。
ニ	菅塩・成塚を経由する流水経路痕跡。
ホ	イ・ハ・ニの合流した流水路痕跡。
へ	八瀬川の解析した低地。
ト	字名「武蔵谷戸」を経由する流水路痕跡。
チ	瑞光寺の北側の谷地の痕跡?北側の堀に引き込まれた水路の痕跡か。

第9図 耕地図に残る地割と遺跡地（昭和初年頃か）（約1：9,000）

第3章 記録保存方法と整理方法

第1節 発掘調査

第1項 遺構の調査

遺構の調査は、確認された遺構に大規模な溝状遺構が多かったため、深さを確認し、排土量の積算、掘削方法を検討する事を優先した。このため、先に各溝状遺構にトレンチを設定し調査を開始した。

しかし、大規模溝状遺構には、出土遺物も多く、更に、礫による排水施設、打設された杭も多量に確認されたことなどから、調査は、通常の移植等により掘り下げる方法しか選択出来なかった。

また、柱穴跡の確認も後を絶たず、狭く深い柱穴跡には、柱痕も残り湧水量も多かった。これにより柱穴跡の調査にも手間を要した。

しかし、一方では迅速な調査も命題であることから、可能な限り移植以外での遺構掘削を行った。

また、土層断面の観察・作図は、溝状遺構ではトレンチ部分、柱穴跡は掘り下げることも儘ならなかった事から、殆ど割愛して調査を行った。

柱穴跡以外の土坑は、軸方向での土層観察・作図を行った。

調査I区で発見された遺構数は、溝状遺構68条、土坑・柱穴跡4991基（番号登録数）、掘立柱建物跡・施設73基、井戸跡23基、竪穴状遺構4基、墓跡6基、鍛冶遺構1か所、古代水田跡1面などである。

調査2区では、溝状遺構31条、井戸跡1基、墓跡4基、土坑52基、水田跡3面、畝跡1面などである。

第2項 調査杭とグリッド（第11図）

北関東自動車道路に伴う発掘調査では、5mグリッドを基本グリッドとして、調査を行った。

上強戸遺跡群I区の調査では、この5mグリッドを用いて調査を行った。ただ、グリッドについては、X・Y軸に対して記号を用いず、座標の下3桁での表記であった。座標は、日本測地系を用いている。

しかし、確認された遺構が溝状遺構と柱穴跡を主体としているため、作図上の便宜を図り、当該調査区だけグリッドに記号を与えた。記号は、南北方向にA～T、東西方向に1～20を付与した。

第3項 基本土層（第10図）

基本土層は、調査I区・II区は隣接しているにも関わらず若干異なっている。これは、調査I区内での場所により異なるのと同じ状態でもあるが、調査II区は谷地部分が調査区内に含まれていることから、複雑な土層堆積を形成している。

以下の基本土層は代表的な部位での状況である。

調査I区の基本土層

- I層 表土層。土地改良以降の耕土。
- II層 旧表土層。暗灰褐色。全体に鉄分がシミ状・斑状に認められる。土地改良以前の水田耕作に伴う旧表土層。
- III層 灰褐色土。鉄分が多く斑状に混入する。近世頃のの水田耕土か。
- IV層 黒色粘質土。As-B 軽石含有。粘質土にB 軽石を含むため、質感は砂質味が強い。中世の文化層であり、中世遺構の覆土の主体土。洪水被災により、遺構内に洪水被災堆積が認められる。
- V層 黒褐色土。白色軽石を少量含む。本層上面からV層下面を遺構確認面とした。
- VI層 灰色。Silt層。洪水層。
- VII層 黒褐色粘質土。平安水田遺構面。
- VIII層 暗褐色粘質土。
- IX層 黄褐色土。Silt質（ローム相当）。調査区内でも部分的に色調が灰色味を帯びる。色調は不安定。
- X層 灰色。Silt層。

第3章 記録保存方法と整理方法

- XI層 灰色。砂質～silt質。
- XII層 灰色。硬質砂質～silt質。
- XIII層 灰色。砂礫を多く含む。

調査II区の基本土層

- I層 表土層。土地改良以降の耕土。
- II層 旧表土層。暗灰褐色。
- III層 茶褐色。洪水層 (silt～砂) 調査区南東部に純層が残存。
- IV層 調査I区IV層同。上面が調査第1・2面。黒色粘質土。As-B軽石含有。粘質土にB軽石を含むため、質感は砂質味が強い。
- V層 As-B軽石層。ユニット最下部が南東壁下で僅かに残存。
- VI層 黒色粘質土。上面が調査第3面。As-B軽石下水田面・As-B軽石下水田の耕土か。南東壁下で僅かに確認。
- VII層 調査I区VII層同。灰色。Silt層。洪水層。

VIII層 調査I区VII層同。調査第4・5面。平安水田面。黒褐色粘質土。平安水田遺構面。

IX層 黒灰色粘質土。調査第6面。

上記を基本とするが、前述のとおり、各部分で異なる状況もある。

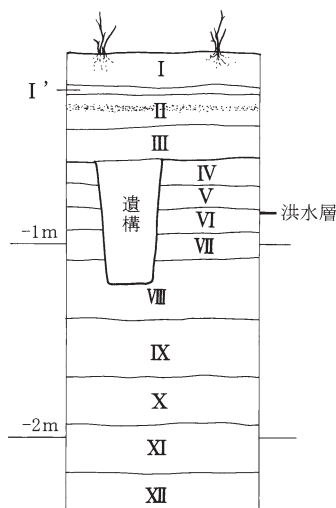
第4項 遺構の図化 (第11図)

遺構の図化は、平断面図共に1/20を基本とし、必要に応じて1/10・1/40・1/100で作図した。

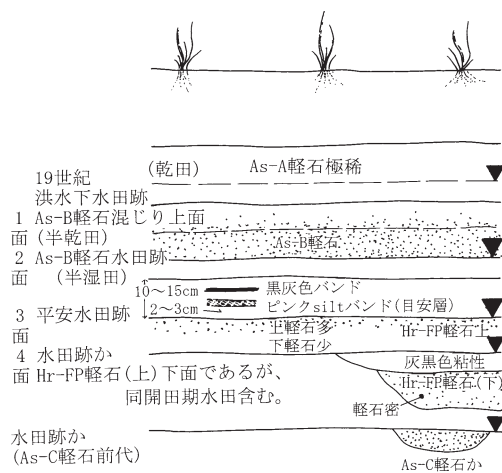
平面図は1/20で図化した。遺構毎での作図は無理であったため、図葉割付により行った。1/20の1枚の図葉は、南北5m・東西10mの範囲を作図。則ち、5mグリッド2区画分である。

図葉割は、大規模遺構を想定して1/40で作成し、1/20は1/40の図葉割の1/4の面積範囲とした。

土層断面図・断面図は遺構種毎に記録したが、調査過程で遺構種の変更等もあり、当初の目的は完遂出来なかった。



調査I区の基本土層



調査II区の基本土層

両図は調査区内の各地点の土層断面を合成して図上復元してある

第10図 基本土層図

第5項 遺構記録写真

遺構写真記録は、ブrouニー判6×9のフィルムで、白黒ネガ・カラーポジiso100の2種を主体とし、ブrouニー判6×7サイズでiso400白黒ネガを補助的に撮影した。35ミリ判フィルムで白黒ネガ・カラーポジ・カラーネガの3種も用いたが、専らにブrouニー判の2種を用い、35ミリ判はサブとして撮影した。又、必要に応じてブrouニー判6×9のフィルムのカラーネガでの撮影も実施した。

このほか、委託業務にした、航空写真撮影は、4×

5・ブrouニー判6×6フィルムにより、白黒ネガ・カラーポジを使用している。フィルムの粒子はiso100の粒子状態のフィルムを使用した。

これらのフィルムは、フィルム種毎にフィルム番号とコマ番号（ブrouニー6×9は1～8・同6×7は1～10・35mmは1～36）を付した。

これらのフィルム管理は、コンタクトプリントを遺構毎に整理し、フィルム種ごとの登録番号を記入した。

第2節 整理方法

第1項 遺物の取り扱い

出土遺物は発掘調査段階で洗滌には殆ど出来なかったため、平成15年度に実施し、註記を行った。

整理事業では、これら遺物の接合・復元・台帳記入・実測・写真撮影の工程の後収納した。

接合は、同一個体でも直接接合する破片と直接接合出来なかった個体がある。前者は接合素材にエポキシ樹脂で行い、後者は、エポキシ樹脂系パテ材を用いて接合した。同一個体である限りは出来るだけ上記方法で接合させてある。しかし、欠損部の補強・補修は未実施である。

第2項 遺物台帳

整理遺物台帳は、土器類・石製品・石造品と木器類を分別して台帳を作成した。また、前者の一群は、種別毎での番号付けは行わず、通し番号をそれぞれに付した。そして、遺物整理事業用に「遺物通番台帳」を作成し、整理事業に供じた。また、この「遺物通番」は青色のエナメル塗料で各個体に註記した。

掲載になった遺物については、整理事業終了後の管理・保管に向け、当団の遺物収納システムに応じた台帳を作成した。

第3項 図化掲載遺物の選定

この実測対象の選定基準は、遺構の場合は第1に出土状況が遺構に伴うと判断された状況（底面直上・底面直上層等）又は遺物の残存状態に主眼を置き、覆土中でも報告例の少ない類例・特徴的な個体を選定した。一方、遺物が殆ど得られなかった遺構の場合には、細片等であっても実測扱いとした。

また、遺構と時期が異なる場合や、成整形技法に特徴的な技法が認められる場合、胎土観察の結果、搬入品と考えられる遺物でも、遺跡内容に資する遺物については実測扱いとした。

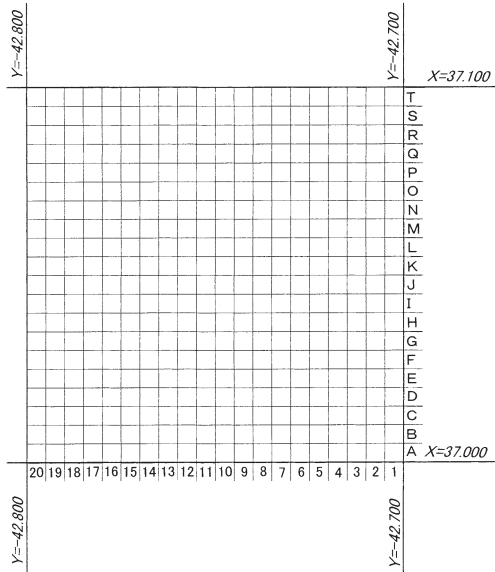
第4項 遺物実測

当該報告で掲載した遺物はそれぞれ実測図を作成した。実測に当っては、細部に亘る観察と、表現仕様により実施し、図化の統一を図った。

中心線には三者を使い分けた（土器類）。直接実測可能な個体は「実線」を用い、器形を復元させた個体には「一点鎖線」を用い、破片を合成させ図上で復元し図化した場合には「破線」を用いた。

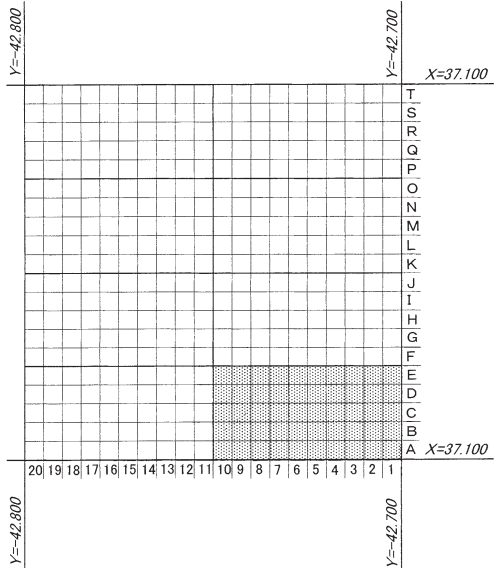
実測用紙はA系列の用紙を用い、中小個体はA3・4判を用い、大型個体はA2判。それ以上の個体は、ポリエステルロール用紙を用いた。

第3章 記録保存方法と整理方法



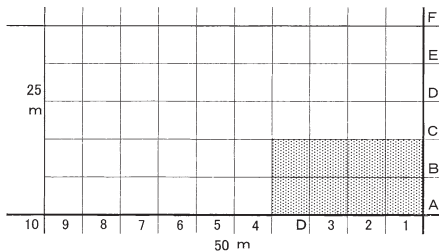
(1) 5mグリッド

小グリッド通有表示の「グリッド」
南東コーナーを標識とする。区名-Y軸-X軸で表記



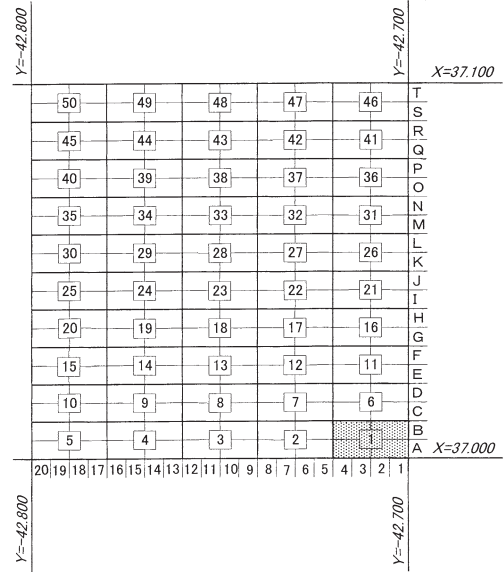
(2) 1/100平面図の図葉割付

調査区内の平面概念図作成用の図葉割付
中グリッド内に8枚が割付け
1/100で南北方向25m・東西方向50mの範囲を作図



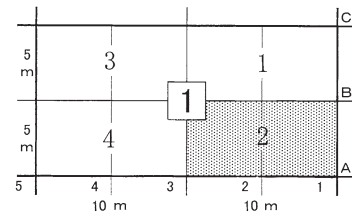
(3) 1/100平面図の範囲

1/100は概念図専用
5mグリッド(小グリッド)50区画の図化が可能
網点は1/40図葉割付範囲



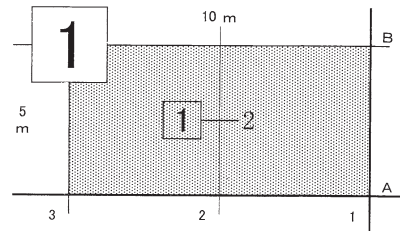
(4) 1/40平面図の図葉割付

調査区内の平面図作成用の図葉割付
1/40で南北方向10m・東西方向20mの範囲を作図



(5) 1/40平面図の範囲

1/40遺構平面図専用
5mグリッド8区画の図化が可能
大規模遺構・水田跡等の図化に用いる
網点は1/20の図葉範囲



(6) 1/20平面図の図葉割付

1/20遺構平面図専用
5mグリッド2区画の図化が可能
住居跡以外の図化に用いる

第11図 グリッド及び図葉割付

第4章 調査I区で発見された遺構

第1節 概要

第1項 発見された遺構

概要

調査I区の調査では、遺構面3面を調査したが、調査面は2面である。この遺構面3面の調査は、調査区内の部分的な状態もある。

また、洪水被災により埋没している遺構も調査されている。この洪水被災は遺構2面中に包括される被害と、第3面の洪水被災水田跡の2者の場合が調査されている。

遺構第1面（調査1面）

遺構第1面は、調査区北西部の部分で、近世の開墾に伴う地山の成形面だけである。また、部分的な水田跡と判断される遺構の底面を露呈させたが、単純な平坦面の露呈に止まったので、作図等の処置は講じなかった。調査は、遺構第2面の調査と同時に実施した。

遺構第2面（調査1面）

遺構2面は、調査区全体に及ぶ調査面である。

遺構確認面での標高値は61.2m前後であり、遺構1面と同様である。発見された遺構は、中世後半(室

町・戦国時代)が主体である。だが、遺物には中世前半期(鎌倉・南北朝時代)含まれている。

発見された遺構は、溝状遺構・掘立柱建物跡・掘立柱施設跡・竪穴状遺構・井戸跡・土坑・鍛冶炉等が発見されている。

洪水被災は、この遺構第2面の遺構に含まれている。遺構の覆土内には洪水起源によるsilt層が堆積していた。

出土遺物は、土師質土器皿・内耳盤形・内耳鍋形・軟質陶器鉢・陶磁器。石製品では、穀臼・茶臼・砥石(荒砥)・砥石(手持ち)・石鉢。石造品では、板碑・五輪塔類・寶篋印塔類が出土している。特に、砥石(荒砥)が大量に出土しており、砥面の状態、鍛冶炉の存在から日本刀の生産が行われていた事が推断される。

遺構3面（調査2面）

第3面では、洪水被災の水田跡が発見されている。この水田跡と同位面の水田跡が調査II区でも出土している。

第2節 溝状遺構

第1項 調査の概要

溝状遺構(以下、溝または号溝と略記)は、68条発見されている。この68条の内、68号溝を除く他の67条の溝は所謂中世以降に構築された溝である。そして、この67号溝は調査第3面で発見された古代の灌漑用水路であり、調査II区の24号溝と同一の遺構と考えられる。

中世以降の溝には、大・中・小規模の3様が認められる。大規模溝は、「堀」としての機能を有していた事が推定される。特に、1・2号溝では、相互を

連携付けることにより、防衛機能を備えさせた「館」としての外構を構成している。

中規模溝は、大規模溝に囲まれた内側で、更に区画を構成する溝として構築されている。特に、8溝は方形に区画構成する。

また、大規模溝が構築される以前の段階では、掘立柱施設・井戸等の諸遺構を区画している。

何れも、中規模溝は時期を異にする場合に於いても、区画域を構成する性格が認められる。

小規模な溝は、部分的な発見、全長が短い規模の

第4章 調査I区で発見された遺構

溝で、中規模溝に規制されて構築された溝である。

これらの3者は、総じて大規模溝の存続期間が長く、中規模溝、小規模溝の順位で存続期間に相違が認められる。

以下に各溝の概要・所見等を記す。

第2項 発見された遺構の概要と調査所見

第1号溝状遺構（第12・14～20図・付図1）

(1) 概要

当該溝は、確認時の状況により便宜的に1区～4区の名稱を与えた。

規模は総長146m、幅2.2～4.7m、走行方向角度・1区北-23度-西・2区北-82度-東・3区北-10度-西・4区北-2度-西を測る。

平面精査後の遺構確認作業により、当該の1号溝は、南北に直線走行する部分（1区・4区）に、東側から東西走部分（2区）が合流する状態で確認され、更に、東側では、北側に走行方向を90度転進する。そして、再び南北に伸びた部分（3区）が、同一遺構として機能していることを確認した。この東側南北走行部分の3区と、東西走する2区の部分では、濁灰色のsilt土を覆土（土層断面Aの1～11層土）とする落ち込みが確認され、この落ち込みが2区の東端側で方向を南に転進し、1号溝から離脱する状態が確認された。そして更に、南北走する4号溝に接続した。この4号溝の覆土も濁灰色siltで同質なことから、双方を同一遺構として4号溝とした。

この確認時の状況は、土地改良以前、昭和46年頃までは土地区画の溝として機能していた様子が、航空写真から窺知される（写真図版巻頭写真）。

この状況は現代の土地区画に影響を及ぼしていたことが判明した。そして、調査の進行に伴い、1号溝全体が中世から現代に至る長期間に亘りその機能を有していた事が判明した。

(2) 近世段階（第14～18図）

近世の状況は、上述の確認時の状況に近い状態で機能している。

1区・2区・3区では、ほぼ埋没した状態の溝を

掘り直し、このため脆弱の壁体保護のため、溝の下端に杭を打設し修築している。壁は、中世部分の覆土を壁としているが、杭間の壁の土止め施設は未発見であった。

杭は、直線的に育った太さ5cm～10cm程度の枝乃至幹の根元側を頭にし、枝先側を先端に加工している。加工は、軸の中心に向かい「矢形」にそぎ落とし尖らせている。また、多くの杭には樹皮が残っていた。出土した杭乃至杭に類する木製品の本数は総数約250本であった。

この杭に因る壁面補強は鍵の手状に走行する1～3区での状況であった。

3区では、北側では走行方向をやや西側に転換している。出土遺物は、中央部分で遺物が集中出土している。上述の木杭の他には陶磁器類（近世陶磁器の多くはこの部分からの出土である）と、漆器碗1点が出土している。

4区は、1～3区の状況とは異なり、全面に敷石を施し、通水部分は箱堀様に石積みが施されている。石組みは、全体に礫を敷き設し、流路相当部分には長さ30cm程の円礫を2段積み上げ壁を構築している。この石積みには、中世石製品・石造品が転用されている。露呈された流路相当部分及び敷石は、全体的に疎密が顕著であった。特に、北側では密で、南側は疎であった。流路相当部分は、緩やかな弧を描き南下している。

覆土は、溝底面直上・敷石の間隙には砂などの流水の痕跡が認められなかった。

出土遺物の多くは中世後半の製品が多い。その中で0114陶器碗は京焼の19世紀頃の時期と考えられ、十能瓦0130は近世末期、19世紀末から20世紀前半の製品と考えられる。

石積の上端は、表土層直下で発見されている。

(3) 中世段階

中世の状況は1区と4区境で重複する2号溝との相互間関係で複雑な状況が窺われた。

1区は、近世部分の壁面の外側に向かい幅員の増加だけで露呈出来た。底面は同位面であった。掘り

方の形状は箱堀であった。

2区は、近世部分の北側が更に広がり、直線走行の状態では露呈された。そして、溝底面には幾条もの小規模な溝が構築されている事が確認できた。これは、改修等幾度も行われた事が確認された。この直線走行部分では、掘り方断面は葉研状を呈する。

3区は、北側の幅員の狭い部分では、中世部分の溝は未確認であった。このことは、中世1号溝3区は、66溝と重複する部分で立ち上がったか、2号溝側に向かい転進していたかの状況が推定される。これは、双方の溝がほぼ同一の地点で立ち上がるか、転進するかの状況は、双方が連携する状態で構築された事が示唆される。上述部分以外の所では、掘り方断面は葉研状を呈する。

4区は、近世段階では調査区北端から1区の南端まで南北1条で調査区内を縦走する。しかし、完全露呈された中世段階の平面形状では、南東側と北西側の「L」字状の溝が角部分を接点にして接している状態に看取される。しかし、角が接する状態の会合地点の底面の状況から、複雑な状況が認められ、単純な溝状遺構としては解釈できない状況が露呈した。また、西壁側では、底面を共有する状態で37溝が西南西に延びている。

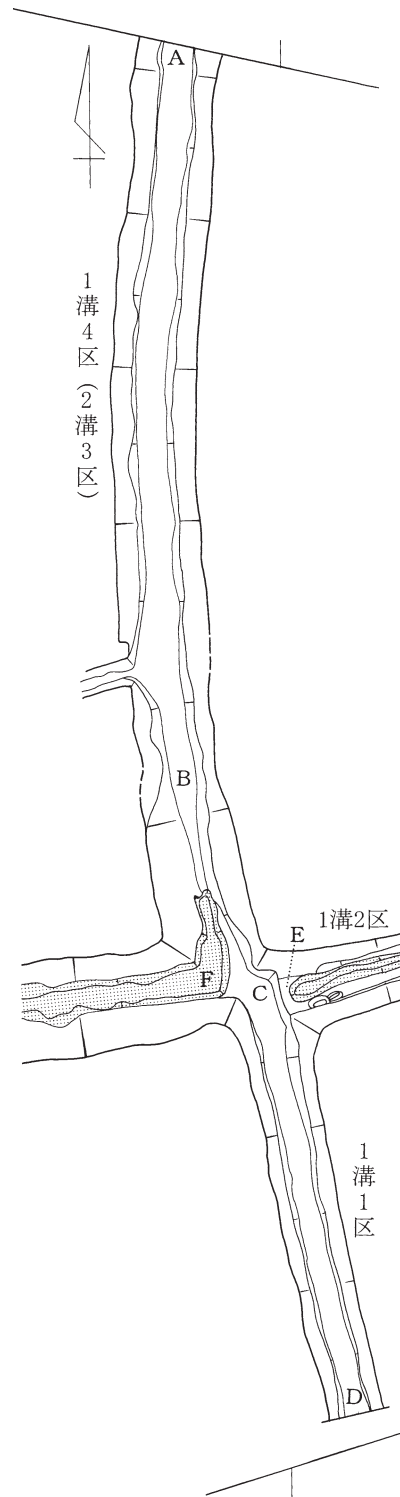
ここで、各部位での状況により当該の4区部分について以下に所見を記しておく。

4区の溝底面は、比較的広い北側から、1区2区の会合点の北側まで続き、会合地点付近では「V」字状に構築されている。

この会合地点には2号溝の東端にも当たっており、それぞれの溝底面の露呈を終えた段階では、平面精査での確認状況とは異なる状態が認められた。

この状況が、1区と2区との段差、1区4区の境界部分の2号溝改修に因る段差である。これらの段差が平面上の上端と下端が逆な状況を示している。

そして、この会合地点の状況を如何に検証するかが当遺跡の性格付けを行う場合の非常に重要な要件になると考えられる。



地点	A	B	C	D	E	F
標高	60.59m	60.34m	60.30m	60.27m	60.60m	59.82m
距離	40m	10m	23m	50m	49m	
比高	25cm	4cm	3cm	1cm	77cm	
比高率A	0.625%	0.4	0.13	—	—	
比高率B	—	0.58%	0.38%	0.02%	1.571%	

第12図 第1号溝状遺構会合部概略図 (1:400)

第4章 調査1区で発見された遺構

(4) 会合地点の状況

会合地点の底面状態から、各溝の部位は以下の点が指摘できる。

1号溝1区 2区との会合は2区底面より24cm低く、鍵の手状を呈することから、この部分に立ち上がりが存在した可能性も考慮される。そして、2区との段差状態が1区側に向かい稜線状に伸びている。この部分が改修された痕跡と判断される。

1号溝2区 1区との会合地点の部分は、箱堀状の底面に更に細い溝が掘り込まれている。この細い溝をして全体が薬研堀の形状をなしている。即ち、この細い溝が改修され新たに掘られた部分と考えられる。深さは箱堀の底面から40cm低い。

1号溝4区 4区の南端部分は、北側より底面幅が狭く深く全体に形状が崩れた状態である。そして、上述の1区北端の2区との段差面から、更に最深50cmも深く2号溝から90度転進した掘り込みが1号溝に達している。4区内の南北の状況から、4区の南側が改修されたことが判断される。上述1・2区の状態から、この会合地点は少なくとも2回以上の改修を受けた結果が平面図上に現れている。

これらの状況を第12図と別表で示した。

(5) 2号溝東端と1号溝

2号溝東端の状況は前述した通りである。この1号溝4区南端の状況と、2号溝東端の状況は、1・2号溝が同時存続していたことが判明する。そして、1号溝4区と2号溝が廃棄される直前段階には、双方が同一機能を備えた同一遺構であることが判断され、形状を見る限りにおいて、1号溝4区は、元来2号溝の東側部分である事が判断される。しかし、収納した遺物の注記等を考慮して、調査段階の名称をもって1号溝4区としておく。

(6) 出土遺物(第27図～第38図)

出土遺物は溝の規模(覆土総量)に比較して少ない。後述の2号溝とは対照的である。

土師質土器皿は小破片を含め多く出土している。37点を図化掲載した。軟質陶器類は内耳鍋形・盤形土器、播鉢、壺、盤形火鉢などが出土している。総

じて、13～14世紀の製品が目立つ。

石製品では、0766・0773・0775・0777・0781上臼、0807・0812・0813下臼、0816茶臼(上臼)、0818・0820茶臼(下臼)、0828石鉢、0849・0860・0900・0908・0922・0927・0928・0935・0936・0942・0945・0971・0974・0977・0984砥石(荒砥)、0990・0992砥石(手持砥)、1140・1142・1144・1153磚状石製品、1026硯などがある。石造品では、1029・1032地輪、1053・1057・1063水輪、1067・1072・1073・1075・1077火輪、1084・1087～1090風空輪、1102・1106・1113・1121・1132・1137板碑などがある。

また、漆器椀・下駄などが出土している。

土器類で13～14世紀の製品が含まれることから、石造品でも板碑が目立っている。中世前半の遺構・遺物については、第6章で総括したい。

(7) 小結

1号溝は近世段階と中世段階では性格に大きな差異がある。

特に、中世段階では改修と2号溝との係わりが非常に重要な要件になる。

上述してきたことから、1号溝1区と4区は、ある時期までは2区と同位溝底面で機能したが、会合地点を中心に改修を行い、2区溝底面より-30cm下がった新たな溝底面を構築した。その後、2号溝側から更に溝底面を-48cm(約1.5尺)掘り下げた部分的な溝底面を構築している。この最終溝底面が1号溝と2号溝に新たな機能を付加させ、「構え」としての付与している。

詳細については、2号溝の所見及び他の遺構の所見を踏まえ纏めたい。

第2号溝状遺構(第21～23・39～47図・付図1)

(1) 概要

当溝跡は、調査区西側で東西走行と南北走行する部分が確認された。この確認時の状況に因り、便宜的に東西走行部分を1区、南北走行する部分に2区の名称を与えた。1区は、前述1号溝2区の西側に当り、2区は、調査区界に沿って確認されている。しかし、2区南半部分は完全露呈出来たが、北半部

分は西側が水路・道路下に延びるため、調査は断念した。

規模は総長106.9m、幅5.0～5.5m、走行方向角度1区北—89度—西・2区北—2度—東を測る。

東西走行する部分は、今回の調査では最大規模を有し、幅5.5m・深さ2.6mを計測する。

1区の走行状態は、直線走行とは異なり、南側に弓形に走行をしている。この状況は、北側に併走する8号溝の影響に因る状況と推定される。若し、当溝が先行して構築されていれば、直線走行で構築されたことが推測される。

しかし、1号溝で前述した如く、改築に因る当初とは異なる状況も窺知されることから、後段で詳述したい。

南北走行部分の2区は、傍らを南北に走破する道路と同様な方向性を保つ。現在は、この道路部分で大字界（成塚・強戸）に当たっている。恐らく、当該2号溝南北部分が機能中乃至機能停止後に村界設定された事が考えられる。

調査は、走行方向に直行するトレンチを4箇所を設定し、土層及び下部の状況把握を先行させた。この結果、遺構確認面下70～80cm程下位に至った段階で湧水が発生した。これにより、調査の困難さが察し得たので、土層断面の作図を先行し全面調査を実施した。この結果、遺構確認面下60cm位から大量の円礫が出土し、この円礫に混じる状態で遺物類が出土している。

覆土は、黒褐色土を基調とするIV及びV層土の再堆積土である。溝底面直上から中位までは、粘質の強い黒褐色土が溝底面上に堆積が確認されている。この黒褐色粘質土では殆ど遺物が出土していない。

また、上層には近世段階と考えられる覆土が残存する部分が認められた。特に2区側では顕著で、当遺構出土の近世遺物の多くが2区での出土である。

(2) 橋脚跡（第21・22図）

当溝1区の中央部分では、周辺部位よりやや高位の部分から出土遺物が認められた。特に五輪塔地輪が7点と多く出土している。この地輪は、溝の横断

方向に並ぶ状態でもある。下層の粘質黒褐色土層中からは木屑状態になった板材などが出土し、この直下からは鑷子（1232）と釘（1267）が出土している。この2点の鉄器は、粘質土の中で還元された状態であったため、酸化腐食せず、非常に良好な状態で旧態を留めていた。

この橋脚部分からは、柱杭3列13本が出土している。これらの杭は、掘方としての柱穴跡が無いことから、埋め込みとは異なる打設であったと判断される。この打設された柱杭は、地山への打ち込みが15～30cmと浅い。そして、この柱材に横方向に架けた木材7本出土している。この木材には、建物の構造材と考えられる角材（1.9m×0.105m×0.125・0.89m×0.16m×0.122m）や、半裁された切り株が含まれている。

打設された杭柱は、先端がVII・VIII層に達したため、打設不可能に陥り、杭先端側の潜り込みが浅いことから、上部構造・人・物の往来木曾には脆弱な状態である。このことから、杭材の打設は、露呈した底面・壁面に直接打設したのではなく、溝底面に堆積した粘質黒褐色土中からの設置であったと推測される。また、横方向に架けられた木材は桁材（端横桁）とは考え難く、主桁材の支持台としての機能であったことが考えられる。則ち、打設された柱材は、橋としての下部構造に当たる杭基礎であり、架けられた木材は、桁材の受けに当たる橋台に相当する構造であったと考えられる。そして、木屑状態の板材などが、上部構造の床版であったと思われる。そして、地輪の出土位置はこの橋脚材の幅の中に納まる状態であることと、横桁材が未発見であることから、この地輪は主桁材の支持に補強された可能性が推定される。

この橋脚構造が判断される部分から西側1.5mの北壁面の位置で、単独で打設されている杭が出土している（第22図 H—H'）。この杭は、太さも15cm程を有する杭で、地山に45～60cmも垂直に打ち込んだ堅牢な杭である。しかし、出土時は地上部分が既に失われていたことから、上述の橋脚構造の杭より以前に打設されていた可能性がある。そして、単独での存在であることから打設意図が不明である。

第4章 調査I区で発見された遺構

上述の橋脚の下部構造の状況から、当該の橋の設置は、溝に半ば沈み込んだ状態であったことが想定される。

(3) 1号溝との関係

1区東端側は1号溝会合地点に当たっており双方の遺構の係わりが重要な部分でもある。

2区の溝底面は、北側半分が低く、北側と南側とに43cmの比高差が認められる。この比高差は、1号溝との会合地点での1号溝1区底面と2号溝東端底面の比高差48cmに近似する数値である。

また、2号溝の東端は、1号溝4区に向かい方向転進し重複している。この重複状態は、改築に因る所産と考えられ、この改築の痕跡が壁面の稜線状に西端の2区底面の比高差を生じせしめている部分に続いている。

これらの状況から、2号溝は1号溝と強くかかわりその機能を全うしていたことが推断される。

しかし、溝は単に1号溝と2号溝との関係だけではなく、恐らくは、南側を接する状態で東西走行する新田堀との係わりが非常に重要であったと考えられる。これは、1・2号溝、3・6号溝は、遺跡地北側の湧水なり自然水の、悪水路としての通水が南北方向に走行することを目的としており、新田堀の南側で調査実施された調査区では、南北方向に流走する溝状遺構が多く発見されている。この中で、当溝の南側延長部分で、東側に浅い造り（9b号溝の部分に匹敵する構造）の部分に備える溝状遺構にはA区1号溝が上げられる。このA1溝と当溝とが同一の遺構であった場合、新田堀は、この溝状遺構を横断する状態に成らざるを得ない。この場合、新田堀は、両溝状遺構を切る状態である。則ち、新田堀は両溝より新しい構築であることが類推させる。

これらのことから、2号溝1区は、南北通水から東西方向への通水を優先させた結果の痕跡が、東西両端部分の改築の痕跡であると判断され、1号溝4区・2号溝1区・2号溝2区（北半部）が構成する「コ」の字上の区画域を優先する水回しの転換が改築の目的になったことが推断される。その目的の主体

は、北西部の掘立群と周辺の遺構に対する措置である。則ち、掘立群の周りの防備を強化した「備え」・「構え」としての性格付けに転換したことが改築の最大意義であったと考えられる。

この防備を目的とした状態、または、8号溝の構築段階がこの内部区画域に大きな画期をもたらせていると思われる。

(4) 出土遺物（第39～47図）

出土遺物は、調査区内で発見された遺構の中で最も多く出土している。遺構規模に起因する必然でもあろうが、埋没半ばの段階で大量の礫を廃棄し、それと共に遺物が廃棄されていることに原因している。

出土遺物はこの礫の廃棄と共に出土した遺物の他に、橋脚跡周辺から、溝底面直上層中からも僅かながらも出土している。0161の土師質土器皿は壁面。直上で出土している。

出土遺物には、多量の石製品・石造品があるが、特に砥石（荒砥）は56点以上出土している。

石製品では、上白0765・0769・0772・0776～0778・0780・0783～0785、下白0788・0790・0792～0796・0799・0800・0802・0804・0806・0807・0811、茶白（上白）0814・0815、茶白（下白）021・0826、石鉢0824・0828・0832・0833・0835・0838、磚状石製品1145・1150・1156・1157・1159・1160・1161・1163・1165、砥石（荒砥）0841・0843・0845～0849・0851・0853・0854・0863・0865～0867・0870・0843～0876・0881・0882・0884・0887・0888・0891・0892・0896・0899・0901・0903・0907・0909・0910・0913・0914・0916・0920・0926・0932・0939・0944・0947・0948・0953・0954・0961・0964・0965・0973・0980・0981・0983・0988、砥石（手持ち）1003・1008・1011・1015・1020。

石造品は、五輪等地輪1030・1031・1033・1034・1038・1039・1040・1042・1043・1045～1047、水輪1048～1050・1054・1055・1059・1061・1062、火輪1064・1068～1070・1074・1078・1082、風空輪1085・1093・1094、寶篋印塔（基礎）1095・1099、板碑1103・1105・1107・1109・1111・1112・1115・1117・1122・

1123・1127・1129・1130・1133・1136・1138などが出土し、これらの他に、鉄滓0744・0745・0749・0761・0762が出土している。

また、漆器椀4点・漆器片数点、下駄など木製品や木片多くが出土している。

一方、遺物認定されない多量の礫は、当時も生活面上などに露出していた筈である。しかし、あれ程までの礫の用途を検証できる状況等は確認できなかった。これは、1号溝出土の礫も同様である。

第3・54号溝状遺構（第24・48図・付1図）

(1) 概要

当該の溝状遺構は、7・58号溝を切るが、1・53号溝に切られている。規模は、全長65.8m、幅1.8～2.9m、走行方向角度北―89度―西を測る。走行は鍵の手状を呈し、走行方向角度は南北走行部分の数値である。

平面精査時は、1号溝2区を境に南北に確認されている。1号溝2区は近世段階と中世段階では走行状態が若干異なり、近世段階が南側に張り出す様に緩やかな弧を描いている。このため1号溝2区には、4号溝の状況を考慮すると、数条の溝状遺構の重複も考えられたため、南北側各々個別番号を付し、調査区北端側の南北走行する部分を54号溝とした。

また、当溝の北側東西走行の部分で、1.5m程の幅で南側立ち上がりに沿って、薄く落ち込みが確認された。しかし、当溝の立ち上がりが確認できていたので、平面精査をやや深くまで行い地山面を露呈させた。この薄く確認できた落ち込みが7号溝の残存部分であることを認識するまでには時間を要した。

溝底面は、全体に平坦であったが、北側の南北走行部分の南端と東西走行部分の東端部分の会合部分では、溝底面に比高差が認められ、南北走行部分側が20cm程高い。

また、東西走行の西側から再び南北走行する角部の溝底面には、開削時乃至改修時の工具痕が夥しい量で認められた。

覆土は、最上層に3・54号溝共に暗灰褐色土が被覆する状態であった。これが、3・54号溝を同一遺構とした理由である。

北側54号溝部分では暗灰褐色土を基調に塊状VII層土を含む、これは、基本土層に認められない色調で塊状VII層土を含有することから、人為層に因る埋め戻されたことが考えられる。東西走行する部分から再び南北走行する部分では、北側では溝底面直上から、南側では覆土下層上に、洪水起源と判断される黄褐色 silt 層の堆積が認められた。

3号溝と54号溝の大きな相違点は、被洪水埋没か非洪水埋没による埋没状況に相違があり、このことから、双方は元々別な遺構の可能性も想起される。

当溝の他に、この洪水起源の silt 層と同様の堆積が認められた遺構には、43号溝北端部分・2号堅穴・2号集石・62号溝（鍛冶炉周辺）・65号溝・3267坑がある。

(2) 所見

当該3号溝の東部分には51～53号掘立と柵列などが出土している。これらの遺構は、当該溝を避ける状態で構築されている。この状況は、51～53号掘立と当該溝が共存状態であったことが推断される。一方、54号掘立は当該溝を跨ぐ状態で構築されている。また、56・57号掘立は小規模で当該溝を矢張り跨ぐ状態で構築している。54号掘立は明らかに当該溝の埋没後に構築されたことが推断されるが、56・57号掘立は当該溝を跨ぐ橋として構築の創意と判断される。

この、52号掘立は6尺、51・53・56・57号掘立は7尺の柱割で、54号掘立は8尺の柱割である。これは、6・7尺の柱割の掘立と8尺の柱割の掘立と当該溝との関係に置き換えられる。則ち、当該溝は、8尺柱割掘立の構築開始以前で、当該溝を埋没させた洪水は、8尺柱割掘立以前に発生したことが推定される。

(3) 出土遺物

出土遺物は洪水層の堆積が厚いためか、比較的少ない。土器類以外には石製品・石造品、鍛冶関係遺物の出土は認められなかった。

第4号溝状遺構（第24・48図・付図1）

(1) 概要

当該の溝跡は、1号溝を切り構築している。規模

第4章 調査I区で発見された遺構

は、全長約43m、幅0.8～1.6m、走行方向角度北一七度一西を測る。前述した1号溝2区東端から3区南半部で確認発見されている。平面上で露呈出来たのは、1号溝2区以南の部分だけである。1号溝に重複する部分は、1号溝の調査段階で土層断面による確認に留まった。

規模は、確認長約31m、幅1.81mを最大とする。

覆土は、溝底面から確認何まで灰色砂・濁灰色 silt が堆積していた。この silt の堆積は、層理が明瞭であったことから、幾度かの洪水が間段なく続いたことを示している。

(2) 所見

当該溝状遺構は、土地改良以前に水路機能を備えていたことが推定されるが、発見時には、土地改良以前の洪水に因り埋没していることが判明している。このことは、洪水埋没以後も同位置に溝を掘り直した事が判断される。

(3) 出土遺物

出土遺物は、非常に少なかった。洪水埋没に原因していると判断される。

図示した土師質土器皿は残存10%程度の細片である。洪水の時期を特定し得る遺物等は無かった。

第5号溝状遺構 (第25図・付図1)

(1) 概要

当該の溝跡は、7号溝を切り構築し、4号溝・2号溝・10～12坑に切られている。

規模は、全長15.4m、幅0.8～1.0m、走行方向角度北一八二度一東を測る。

覆土は silt 質で灰茶褐色を呈するが、夾雑物は認められなかった。

(2) 所見

当溝は中規模でも小型に近い規模を有している。走行方向では、重複する7号溝の東西走行と同じであり、27・59号溝、2号溝北壁東半部の方向と同じである。このことは、7号溝が残した地上面での区画が継続されたか、踏襲を強くする影響力が有ったのが7号溝という結果であろう。

7号溝埋没後、7号溝の地割りを踏襲して構築さ

れた事と、近接する59号溝との走行方向の点から、7号溝埋没から近い時期、1号溝2区が構築される間の限られた時間内での構築と考えられる。

第6号溝状遺構 (第25・48図・付図1)

(1) 概要

当該の溝跡は、2号溝の南壁中央程で重複している。双方の新旧関係は、2号溝が新しく、6号溝が切られる。また、4号井戸と接しているが新旧関係は不明である。規模は、全長25.2m、幅1.6～2.2m、走行方向角度北一五度一西を測る。

(2) 出土遺物

出土遺物は少ない。土師質土器皿・軟質陶器は細片が少量出土し、石製品の出土は無い。石造品では、風空輪1086・1092が出土している。鍛冶関係の遺物では鉄滓が若干出土している。

(3) 所見

当溝は、調査区南西部を東西に分断する南北走行の溝であり、南西部掘立群は当溝に因りそれぞれ群在している。この事から、当溝は掘立群と並存する区画溝である。また、2号溝の規制による掘立群の構築が在る事から、当溝と2号溝も共存状態であったことが窺知出来、2号溝より早い段階で機能停止があったことが推定出来る。また、2号溝2区同様に南側調査区のA7溝が延長方向に縦走している。

第7号溝状遺構 (付図1・第25図)

(1) 概要

当該の溝跡は、南北走行部分と東西走行部分、更に、東西走行の東端で再び北側に転進している。この東側の南北方向に転進する部分では、農業用水路の開削に因る攪乱が顕著だったため明確に出来得無かった。恐らく、この部分は北側に向かって走行し、1号溝3区を構築する元の姿であったと考えられる。

また、当溝の北端側は58号溝と重複するが、実態は、当溝の西側への転進とも考えられる。調査では、58号溝と3号溝(北西隅)の重複する部分で、58号溝側に、多量の礫が覆土に含まれていたが(2921坑の覆土とは異なる)、当溝との重複部分では認められなかった。そして、この重複部分で土層断面の観察

を行ったが、明確に双方を同定するのは困難であったが、当溝と58号溝が同一号溝状遺構である可能性は否めない。

前述3号溝の確認段階の状況を記したが、3号溝東西走行部分の南側立ち上がりに沿って確認された落ち込みは、当溝の北側東西走行部分であることが判明している。52号掘立の北東隅部分には、立ち上がりの一部を露呈させた。

上述の状況から、当溝は縦長の長方形区画を形成すると考えられる。

規模は、総長75.75m、南側東西走行部分21.75m・東側南北走行部分8.25m・西側南北走行部分31.5m・北側東西走行部分14.25m幅1.4～2.4m、走行方向角度北-13度-西を測る。

遺構の新旧関係では、3・7号溝と重複し、双方に切られている。

(2) 所見

当溝は7号溝の走行状況に類似している。7号溝が北東掘立群の古い段階の区画溝の機能も備えていた。

当溝の南北走行する部分は、7号溝が重複するため、幅員は明確ではないが、東西走行する部分の幅員から、7号溝の走行位置は、ほぼ当溝の東辺を7号溝の東辺が重複する状態であったことが推定出来る。また、当溝が形成する区画の内側部分の規模を算出すると、東西18.0m(60尺=10間)、南北は東西で異なるが、西辺内長28.9m・東辺内長33m(110尺)が算出される。

そして、当溝の走行方向と同位の軸方位を示す51号掘立は、当溝の掘削計画段階から密接な係わりが窺知される。

さらに、この51号掘立の西辺の延長線を、南北走行の内側まで延長し計測すると30m(100尺)が得られる。これは、7号溝の掘削の計画段階で、51号掘立の西辺の延長を基準軸として構築したが強く推定される。出土遺物は、極僅かであった。

第8号溝状遺構(第23・49～59図・付図1)

(1) 概要

当溝は、調査区北西部で1・2号溝に囲まれた部

分で発見されている。この調査区北西部分は、調査区内でも最も掘立が密集する部分で、当該8号溝は、これらの外郭を方形区画する溝状遺構である。

規模は、南部分(南東溝)9.5m・東部分(東溝)42m・北部分(北溝)21m・西部分(西溝)21.5m・南西部分29.3mを計り、総長123.3mを測る。幅は1.0m～3.2mと一定しないが、概ね1.5m～2.0m程である。深さは遺構確認面下1.0～1.1m程で安定し、緩やかに南側に向かい傾斜している。比高差は20cm程で比高率0.48%である。

当溝は方形区画を呈するが、西溝では7号井戸に因り構築に規制されており、7号井戸を挟む状態で立ち上がる。しかし、西溝北側の南端に当たる部分の立ち上がりは不明瞭な状態であった。

南溝では、底面に障子堀状に地山を掘り残した部分が2箇所認められる。この状態は、調査された溝状遺構では当該部分だけである。南東隅部分では、5・4号井戸を避ける状態で迂回している。東溝では、37・40(63)・62溝・19・20号井戸を切り構築。北溝では、北西隅部寄りで底面が2段構造を呈している。

覆土は、全体に暗褐色～黒褐色土のV・VI層を基調とするが、各部分での夾雑物や夾雑状態により発色も異なっていると考えられる。

(2) 出土遺物(第49～59図)

出土遺物は非常に多い。特に南東溝・東溝に集中している。南東部分では、多くの鉄滓類が出土し、これに混じる状態で土器類・石製品・羽口・鉄器が出土している。また、西側立ち上がり部分で逆位の状態で漆器椀が出土している。しかし、この漆器椀を収納・洗滌後水に浸したと同時に、黒漆上に描かれていた朱漆の模様が水面上に飛散してしまった。このため、表面には黒漆の塗膜面しか残存しない。失ってしまった朱漆の模様は、出土時の撮影写真(口絵)を参照されたい。

東側では木製品・木材が多く、北側寄りの部分で漆器椀片が出土している。

土器類の出土は多い。特に土師質土器皿は全体に遺存状態が良好である。しかし、軟質陶器類の残存

第4章 調査I区で発見された遺構

は悪く、殆どが破片若しくは細片である。また、南西側では石製品・石造品の出土が多い。

当溝の出土遺物で最も多い遺物が鉄滓・砥石（荒砥）である。鉄滓は未掲載の物が98.9kg相当量あり、砥石（荒砥）は2号溝に次いで多い。

羽口0717・0718・0721・0724・0731・0737、鉄滓0744・0745・0749・0761・0762を掲載。

石製品では、上臼0767・0768・0778・0779・0782・、下臼0786～0788・0797・0799・0803・0806、茶臼（下臼）0824・石鉢0827・0828・0837、砥石（荒砥）0841・0842・0858・0868・0877・0885・0894・0895・0898・0902・0905・0911・0915・0917・0921・0929・0930・0940・0941・0952・0956・0957～0959・0962・0966・0969・0978・0986、砥石（手持ち）1016・1019・1024がある。

石造品では五輪塔地輪0827・0829・0837、火輪1076・風空輪1091、寶篋印塔基礎1095・笠1099、板碑1103・1105・1107・1109・1111・1112・1115・1117・1122・1123・1127・1129・1130・1133・1136・1138等がある。

これらの遺物は、多くの礫と共に出土している。

(3) 所見

北溝の北西隅部寄りで認められた段差は、後述する43号溝との係わりが推測される。43号溝の北側は3号溝で認められた洪水に因りもたらされたsiltが堆積していた。当溝はこの状況を切り構築している。この洪水後、当溝の掘削が行われ43号溝の一部を踏襲して構築されたことが類推出来る。そして、この段は踏襲し構築した際に生じたか、8号溝自体が改修等による所産と推定される。

当溝の遺物出土状況は人為的に廃棄されている。当溝及び1・2号溝での遺物出土位置は概ね1・2号溝の会合地点の北西部分周辺に集中している。これは、廃棄以前の所在位置を示していると判断される。

出土遺物の中で、羽口・鉄滓・砥石（荒砥）は小鍛冶に伴う遺物であり、上述の廃棄以前の遺物の所在場所が鍛冶場、乃至鍛冶場から至近の位置で判断される。当溝の内側では、鍛冶炉が発見されている。

これらの鍛冶関連遺物は、この鍛冶炉に直接関わる遺物と判断される。

後章で他の遺構・時期的問題を含め総括したい。

第9 a号溝状遺構（第25・26・61図・付図1）

(1) 概要

当溝は、調査区南西部の西側で、9 b号溝に併走し、南側で鍵の手状に折れている。そして、溝内部には、西壁下には細く掘られた溝が走行方向を転進する部分まで続いており、東西走行する部分では2条、更に南に転進した部分に1条の小規模な溝状遺構が発見されている。

規模は、全長39.1m、幅2.4～4.3m、深度は20cm、走行方向角度北一2度一東を測る。全体に浅い溝である。

重複遺構は、北端で36号溝状遺構と接しているが、新旧関係は不明である。

出土遺物は非常に少なかった。

(2) 所見

当溝と36号溝は、ほぼ直角に接している。南側鍵の手状に走行方向を転進する部分は、南西掘立群のほぼ南端に当たっており、東に転進する部分の南壁は西壁に対してほぼ直角である。そして、東方35号溝を東限とする、27m四方の正方形区画、90尺（15間）の区画域が構成される。当溝はこの区画域の西限を構成している事が推定される。

また、当溝の南延長部分の南側調査区では、当溝西側の細い造りの溝が見られる。当溝も、2溝2区同様の状況も類推される。

第9 b号溝状遺構（第25・26・61付図1）

(1) 概要

当溝は、上述9 a号溝と併走する状態で、2号溝2区の部分に切られている。

規模は、全長21.8m、幅2.3～4.9m、走行方向角度北一2度一東を測る。覆土は、暗灰褐色土を基調としている。

(2) 所見

形状は、不整形の東壁を備える。このため直進性が認め難い。溝状遺構が機能を果たすにはやや疑

間を感じる。しかし、当溝の占有が9 a号溝の西側で、周囲の遺構も認められない状況下に構築している事から、9 a号溝で見込める、排水処理に関わるのと想定される。

第10号溝状遺構（付図1）

当溝は、平面精査時に南北走行する溝状遺構として確認したが、規模に無理が認められたため、土坑登録に切り替えた。土坑番号10 b坑である。

第11～29号溝状遺構（第25図・付図1）

(1) 概要

これらの19条の溝状遺構は、調査区南東部分で纏まった形で発見されている。走行方向は28号溝が南北走行し、他の18条は東西走行しており、深度が10cm内外と浅いのが特徴である。

これらの溝と調査区界の間は、攪乱が著しかった。

遺構の重複関係は、何れも3・4号溝に切られている。また、27号溝は7号溝に切られている。この事から、これらの溝状遺構は中世が構築時期と判断される。

規模等は一覧表を参照されたい。

(2) 所見

東西走行する一群の中で、11・12・14・18・21・22・24・25・26号溝の9条は、7号溝と調査区の南側を流走する新田堀の流露にほぼ平行する走行方向を備えている。これらとは若干走行方向を異にする、11・15・17・18・19・20・21・29号溝は、規模・走行方向が不安定である。

これらが個別の単位で機能していたのか、ある程度の群在により機能していたのか判然としない。だが、ある程度の方向性で共通する一群は、耕作に伴うサクの可能性も考慮される。

27号溝はこれらの中でも幅が広目である。西端は1号溝1区に切られているが、同部分より西側は未発見である。このことは、当溝が1号溝の部分で立ち上がったか、南北何れかに転進した可能性が想定される。

全体に性格も不明である。ただ、掘立群が未発見部分での発見であることが重要である。

第30 a号溝状遺構（第26・61図・付図1）

(1) 概要

当溝は、調査区内南西部の掘立群の東際で、掘立群の東側を囲む状態で発見されている。

規模は、全長約20m、幅1.2～2.4m、走行方向角度は測定不能。全体的に浅い皿状の断面形状を呈する。

重複する遺構は、66・67号掘立が切り構築している。このほか、9本の柱穴跡と切りあう。何れも当溝が切られている。

出土遺物は、若干出土している。

(2) 所見

当溝の発見位置に隣接し、掘立群が発見されている。この南西掘立群の東群が発見されている部分は、周辺より18cm程高く、周辺に緩やかに下る地形であった。この東側末端部分に当溝が位置している。この事から、掘立群の周りの雨落ち溝として性格が類推される。

第30 b号溝状遺構（第26・61図・付図1）

(1) 概要

当溝は、調査区内南西部の掘立群の東際で、上述30 a号溝の下層で発見されている。

規模は、全長24.6m、幅1.1～1.5m、走行方向角度北-12度-西を測る。

重複する遺構は、北側で2号溝2区と切り合うが、双方の新旧関係は不分明である。

当溝は、調査3面（古代水田跡の調査面）の平面精査の段階で確認された。この溝と同時に5号墓・21号井戸・1988・1989坑が確認されている。調査2面で見落とした遺構である。

当溝は30 a号溝の調査段階で、底面として露呈した面の下に当たる。30 a号溝の底面と覆土（黒褐色土）には著しい違いであった事と、遺構確認面が表土層直下でIV層土中であったため、詳しくは追求しなかった。調査上の誤認・不注意が重なったの事態である。出土遺物は無かった。

(2) 所見

30 a号溝とほぼ同一部位での発見であることから、当溝と30 a号溝は同一遺構の可能性が強い。しかし、

第4章 調査I区で発見された遺構

遺構確認段階での所見を生かし、双方に同一番号を付与し、更にa・bで分別した。

当溝の発見位置が30a同様に南西掘立群の際であることから、掘立群に伴う雨落ち等の排水溝が最終状態の機能と考えられる。

第31・32号溝状遺構（第26図・付図1）

(1) 概要

当該の31・32号溝は、調査区南西部分、南西掘立群の西群の南側で併走する状態で発見されている。

31号溝の規模は、全長11.64m、幅0.2～0.4m、走行方向角度北－82度－東を測る。

32号溝の規模は、全長10.3m、幅0.3～0.4m、走行方向角度北－80度－東を測る。

出土遺物は双方共に無かった。

(2) 所見

当該31・32号溝は、走行方位角度2の差異があるが、同一方向として把握される。

北側32号溝の東側延長部分で、南西掘立群の東群南端で発見されている柱穴跡群がある。この柱穴跡は相互間の間は不規則ながらも列状を確認できる。則ち、南端の柵列と32号溝が同一延長上に当たっている。この3者は掘立群の軸方位とは異なるも、東方の7・12号溝の走行方位にも類している。また、南側を流走する新田堀の走行方向とほぼ同一である。

これらの事から、両溝は、2本並走し一つの機能を有していたことが推定出来る。この状況と同一方向に列する柱穴跡などから、両溝に挟まれた間は道としての機能を備えていたことが推測される。

第33号溝状遺構（付図1）

(1) 概要

当溝は調査区南西部分の東側掘立群の西端に位置し、南西掘立群を東西に二分する6号溝の東2.2mに位置している。また、北側の至近の位置に3号井戸、38号溝、南側の至近の位置に34号溝が位置している。

規模は、全長11.1m、幅0.5～0.8m、走行方向角度北－7度－西を測る。

重複する遺構は無い。出土遺物は無かった。

(2) 所見

当溝は、南西掘立群の東群の西端、前述6号溝に接する状態で位置する事から、6号溝同様に何らかの区画域を示す遺構と考えられる。しかし、規模が小規模であることから、全体に規制を与える程の存在ではないと考えられる。

第34号溝状遺構（第26図・付図1）

(1) 概要

当溝は南西掘立群の東群の南西端に位置する。

重複する遺構は無い。周辺には当溝の西端側に33号溝が近接する。

規模は、全長4.4m、幅0.3～0.4m、走行方向角度北－76度－東を測る。小規模な溝状遺構である。

出土遺物は無かった。

(2) 所見

当溝の南側には柱穴跡は認められない事から、南側に規制をする何らかの存在が在る事は疑う余地は無いであろう。走行方向に類似性がある31・32号溝同様に、この南側で規制を与えた何らかの存在は、現新田堀の存在が最も示唆的である。

第35号溝状遺構（付図1）

(1) 概要

当溝は調査区南西掘立群の西群の東端に位置している。

規模は、全長15.3m、幅0.6～1.1m、走行方向角度北－1度－東を測る。

重複する遺構は、31・32号溝・4号井戸・50・2544～2546・4603坑である。31・32号溝は当溝を切るが、他の遺構との新旧関係は不分明である。また、東側に隣接して6号溝が南北走行している。

出土遺物は、土師質土器皿・軟質陶器内耳鍋形・盤形土器の細片が少量出土している。

(2) 所見

当溝は、前述した9a号溝・39号溝が構成する方形区画の東側の溝に当たる。概略は9a号溝の記述を参照されたい。

第36号溝状遺構（第61図・付図1）

(1) 概要

当溝は、調査区南西掘立群の西群の北端に位置している。

重複する遺構は、7号掘立・11号掘立・1号落ち込み・2491・2492坑がある。1号落ち込みは当溝が切るが、他は新旧関係は不分明である。

規模は、全長26.1m、幅0.5～1.5m、走行方向角度北—85度—東を測る。

出土遺物は、土師質土器皿・軟質陶器内耳鍋形・盤形土器の細片が少量出土している。

(2) 所見

当溝は前述した9a号溝・36号溝と共に、1辺27.0m=90尺とする正方形区画の北面に位置する溝である。所見は9a号溝の記述を参照されたい。

第37号溝状遺構（第25・61図・付図1）

(1) 概要

当溝は、調査区北西掘立群の南西側に位置している。遺構確認段では、8号溝に囲まれる南東部分には、塊状焼土・粒状焼土・鍛造薄片などを含む茶灰褐色土で被覆されていた。

重複する遺構は、1号溝・8号溝・62号溝・2号堅穴36号掘立・37号掘立などがある。これらの中で、1号炉前庭部（62号溝）・2号堅穴は当溝が切る。1号溝は底面を共有する状態であることから、同時存続と判断される。8号溝は当溝を切っている。掘立との新旧関係は不分明であるが、当溝の後出性が想定される。

規模は、全長20.5m、幅1.4～0.9m、走行方向角度北—73度—東を測る。

覆土は多量の礫を伴っていた。特に、2号堅穴との重複部分から南西隅部にかけては、殆ど砂礫で埋没する状態であった。

出土遺物は少ない。砥石（手持ち）1000があり、他は土器類が少量出土している。

(2) 所見

当溝確認段階で確認された茶灰褐色土は、地山の自然土層に認められない土層であり、諸々の土が攪

拌された土である。確認されている遺構は、この茶灰褐色土を切るか、被覆された状態である。このことは、この土層の状態から、8号溝に囲まれた中でも、南東部分は整地が行われた事を裏付けている。そして、当溝はこの整地層に被覆される状態であった。

当溝の東側延長方向には、58号溝・3号溝東西走行部分が位置している。平面上では、58号溝が当溝に向かい幅を細め、走行方向が同一のため、双方が同一遺構の感を受けるが、双方3.5mを隔てる端での比高差は60cmあり、至近での60cm比高差で同一遺構とは考え難い。しかし、平面上の地割は共通することでもあることから、元々存在していた当溝が、1号溝構築段階で改修された可能性も想起される。

1号炉前庭部・2号堅穴は、洪水埋没しており、37号溝開削以前に洪水の発生が確定される。

他方、当溝の西端は北側に走行方向を転進し、60cmを隔てて43号溝と一対を形成する状況にも看取される。この43号溝は、土橋状に地山を掘り残し、溝の中が3区分されており、その北端部分は洪水による埋没が確認できている。これは、1号炉前庭部・2号堅穴と同時期であることを証明している。しかし、43号溝の中央区画と南区画では洪水の痕跡は確認されていないことから、当溝との同時存続の可能性は強いと考えられる。何れにせよ、43号溝の存続期間と開削目的が重要であり、8号溝構築以前の状況を考える点で重要な存在である。

第38号溝状遺構（第26・62図・付図1）

(1) 概要

当溝、南西掘立群西群の西端、6号溝に東接して発見されているが、新旧関係は不分明である。

南東側至近の位置に33号溝が南北走行している。

規模は、全長9.5m、幅0.5～0.6m、走行方向角度北—5度—西を測る。深度は15cm程で浅い。

出土遺物は少量しかなかった。

(2) 所見

当溝は南西掘立群を東西に二分する6号溝に接することから、矢張り6号溝と同様な機能が備えられていたことが推測される。

第4章 調査I区で発見された遺構

第39号溝状遺構（第26・62図・付図1）

(1) 概要

当溝は、南西掘立群の西群、12号掘立の南2.4mほどに位置している。

規模は、全長8.4m、幅0.5～0.6m、走行方向角度北—85度—西を測る。

重複する遺構は、12号井戸・294坑・4601坑があるが、それぞれの新旧関係は不分明である。出土遺物は無かった。

(2) 所見

当溝の走行方位は36号溝と同位である。この36号溝は9a号溝・35号溝と共に正方形区画を構成している。この区画域と同じ方向性を備えることから、当溝もこの正方形区画に伴う一部の施設の痕跡と考えられる。

第40（63）号溝状遺構（第25・62図・付図1）

(1) 概要

当溝は、調査区内北西部で発見されている。

規模は、全長28.5m、幅0.8～1.3m、走行方向角度北—4度—西を測る。

当溝は以降確認段階で、8号溝と重複することにより、8号溝を挟み別遺構の誤認があり、このため東西走行部分（40号溝）と南北走行部分（63号溝）に個別の番号を付与した。しかし、その後の調査により、双方が同一遺構である事の確認できたため双方を40号溝で統一した。出土遺物は少なかった。

(2) 所見

当溝の南端は、前述37号溝の北側2mで立ち上がっている。そして、東西走行する部分の西端は、前述した43号溝の洪水堆積が確認された部分で立ち上がっている。これら当溝を含め37号溝・43号溝は、8号溝より古く、洪水より新しい段階と言う限られた共通項目で把握される。この事から、この3者が形成する長方形基調の区画域が形成される。さらに、この長方形基調の区画域に囲まれた内部の掘立の中で、この3者の溝と重複しない掘立は32号掘立・33号掘立・49号掘立で、この中で、43号溝東側壁と同様な方向性を示す掘立は33号掘立である。

則ち、これらの溝が構成した区画域により33号掘立が構築された事が推定される。

第41号溝状遺構（第25図・付図1）

(1) 概要

当溝は調査区内北西部分の西端側で発見されている。重複する遺構は、8号溝西辺溝・42号溝で、双方とも当溝が切っている。

規模は、全長10.4m、幅0.2～0.4m、走行方向角度北—74度—東を測る。しかし、当溝は平面形状が弓形を呈しているため、正確な指向方向は明確に出来ない。

(2) 所見

当溝の覆土はIII層土の灰褐色土を基調にしているこの事から、当溝は近世以降の構築と判断される。

出土遺物は無かった。

第42号溝状遺構（第25・62・63図・付図1）

(1) 概要

当溝は、8号溝西辺溝に東接して構築されている。走行状態は直進性が薄く、緩やかに蛇行している。

また、覆土内からは5～8cm程度の礫が無造作に敷き込まれた様な状態で多量に出土している。覆土は、黒褐色土のV層土を基調とする。

規模は、全長22.5m、幅0.7～1.7m、走行方向角度北—8度—東を測る。

出土遺物は、礫の隙間に混じる状態で少なかった。

(2) 所見

当溝の走行状態は、8号溝西辺溝の状況に類似することから、8号溝西辺溝の新旧関係の可能性も否定できない。また、南端部分の状況は、壁が立ち上がるという状況ではなく、末広状になっている。この状況は、降雨時の排水を7号井戸・8号溝南西辺溝に排水する目的とも受けられる。何れにせよ通有とは異なる構造である。

第43号溝状遺構（第25・63図・付図1）

(1) 概要

当溝は調査区北西部の8号溝に囲まれた内部の中央を南北に縦走している。

重複する遺構は、8号溝北辺溝と柱穴跡で、柱穴

跡は多い。

形状は特徴的な構造で、溝内2箇所を地山を削り出した土橋状の施設を伴っている（以下、土橋上の施設により区分される3ヶ所の部分を、便宜上北側を1区、中央部を2区、南側を3区とする）。

覆土は溝の部分で異なっている。北端の8号溝北辺溝と重複する1区（土層断面D-D'）では、覆土中位から確認面までに洪水堆積と判断される黄褐色 silt が堆積しているが、他の2・3区ではこの洪水起源の黄褐色 silt の堆積は認められなかった。

規模は、全長26.3m、幅1.7～2.7m、走行方向角度北一一度一西を測る。

出土遺物は土器類のほかに、砥石（荒砥）0967、砥石（手持ち）1004・1005・1017がある。

(2) 所見

当溝は1区の洪水埋没と異なる状況が認められる。これは、元々土橋状の施設毎に別な遺構の接続とも解せる。当溝の西側の1835坑と2614坑は当溝の南端部分と37号溝西端に平行している。状況としては、2基の土坑が43号溝と37号溝をデフォルメした状況でもある。しかし、2・3区の走行方向は前述33号掘立の主軸方位に準じる状況からは、少なくとも2・3区が連続作業の中で構築された遺構とは考え難い。結論としては、1区と2・3区は分けて考えなければならぬ。

1区は、8号溝に切られながらも洪水堆積の状況を留めている。このことは、当該1区は8号溝の中に元の姿が隠れていることである。この隠れている部分が、8号溝北辺溝で当溝と接した部分から西側の部分であろう。実際、この部分を境に形状が著しく異なっている。8号溝開削段階で大きな改修を実施した可能性が推測される。

2区は、1区とは別に構築された可能性も考慮される。これは、1区が洪水起源の堆積が認められるのに対して、2区では痕跡すら認められない点である。また、40（63）号溝が当区の北端で立ち上がっている事も状況証拠になる。

3区は、2区と土橋状の施設を介するが、双方の

平面形状からは、小単位の掘り込みが接続している状態でもある。

これらのことから、1区は2・3区と別な遺構と判断され、元の姿は、8号溝北辺溝の西半分が旧形で有ろう事が推測される。

2・3区は小規模溝が接続する状態と考えられる。だが、接続と言う状況からは2区側も機能している状態であり、双方の構築には大きな時間差は考え難い。何らかの付加条件により、3区側が追加されたかの状況であろう。

元より、溝状遺構の存在意義も重要であるが、この43号溝の状況を見る限り、掘立との関連が重要である。恐らく、3区は、33号掘立の構築に際して付加延長された状態と推定したい。

そして、全体に蛇行する原因として、それぞれ構築時期が異なることに原因していると判断される。

第44号溝状遺構（第25図・付図1）

(1) 概要

当溝は、調査区北西部でも北東部分で、調査区全体では中央部北端寄りの位置に当たる位置で発見されている。

重複する遺構は認められないが、西側に8号溝北東隅部が接近し、東側には1号溝が接近している。

規模は、全長5.1m、幅0.2～0.6m、走行方向角度北一一度一西を測る。

当溝の北側は近世の攪乱により失われている。

出土遺物は無かった。

(2) 所見

当溝は、小規模で際立った存在ではない。8号溝に接近するが性格は8号溝に類することは考え難い。恐らく排水等に一時的に構築された可能性もあろう。

第45号溝状遺構（第25図・付図1）

(1) 概要

当溝は、北西掘立群の北西端で発見されている。

重複する遺構は無く単独である。当溝の南側は、土地改良に伴う暗渠排水の設置により攪乱され、南端部分を失っている。失われた南端部分は、この暗渠排水の掘り方部分で立ち上がっていたと考えられる。

第4章 調査I区で発見された遺構

規模は、全長11.6m、幅1.6～2.3m、走行方向角度北-13度一東を測る。

重複する遺構は、柱穴跡があるが新旧関係は不明である。

出土遺物は、土師質土器皿片・軟質陶器片が少量出土している。石造品では、板碑1131が出土している。

(2) 所見

当溝は、8号溝西辺溝に平行する状態で発見されている。この平衡状態も8号溝西辺溝をなぞる様な状態である。この状況から、当溝と8号溝西辺溝は密接な関係にあることが判断される。

第46号溝状遺構（第24図・付図1）

(1) 概要

当溝は、調査区中央の北端部分で、1号溝4区の東側で発見され、1号溝4区に切られている。また、47溝状遺構を切っている。

規模は、全長11.9m、幅0.6～0.7m、走行方向角度北-81度一東を測る。出土遺物は、少量出土している。

(2) 所見

当溝は南側の50号溝に平行する状態で東西走行している。この50号溝は、南東掘立群の中の54号掘立を区画する溝状遺構と考えられることから、この区画域と何らかの係わりが推測される。しかし、具体的な性格は現状では不明である。

第47号溝状遺構（第24図・付図1）

(1) 概要

当溝は調査区中央部の北端で発見されているが、溝の東側は調査区外に延びている。

規模は、全長6.5m、幅0.2～0.3m、走行方向角度北-74度一東を測る。

重複する遺構は、46号溝があり、この46号溝に切られている。出土遺物は無かった。

(2) 所見

当溝は発見長が短い事から、詳細は不明である。

第48号溝状遺構（第24図・付図1）

(1) 概要

当溝は、調査区内中央北側で南北走行しているが、

北側は調査区外に延びている。

規模は、全長19.6m、幅0.7～0.9m、走行方向角度北-7度一東を測る。

重複する遺構は、46・47・49・50号溝である。新旧関係は、49号溝を切り、46号溝に切られる。50号溝・47号溝との新旧関係は不明である。

出土遺物は、土師質土器皿の細片が少量出土している。

(2) 所見

当溝は、南北走行するが、その方向性は1号溝4区の走行方位に近いが同位ではない。北東部の南北走行する溝は、地形に直行する状態と思われる。そして、掘立が未発見のことから、掘立との関係も認められない。

性格については不明である。

第49号溝状遺構（第24・64図・付図1）

(1) 概要

当溝は、弓形に東西走行し、調査区北東部で発見されている。重複する遺構は、49号溝に切られている。50号溝と重複するが双方の新旧関係は不明である。

規模は、全長14.8m、幅0.4～0.6m、走行方向角度北-78度一西を測る。出土遺物は無かった。

(2) 所見

当溝は、48号溝と同様に、掘立との共存関係も無い。南北走行することから、排水目的にした可能性が想起される。

第50・61号溝状遺構（第24・64・65図・付図1）

(1) 概要

両溝は、調査区北東掘立群の北側、双方の東端と西端が切り合う形で発見されている。

50号溝の規模は、全長18.5m、幅0.6～1.6m、走行方向角度北-79度一東を測る。

61号溝の規模は、全長8.6m、幅1.1～1.5m、走行方向角度北-77度一東を測る。

重複する遺構は、50号溝が48号溝・49号溝・14号井戸と切り合うが新旧関係は不明である。61号溝は、68号溝・2981坑・3374坑を切っている。

(2) 所見

当溝は、前述46号溝と走行方向が平行関係にある。このほぼ同位の方向性を備える遺構には、58号溝・59号溝・54号掘立が在り、この方向性に直行する状態の遺構には、1号溝3区・3号溝・7号溝・57号溝がある。この4条の内、57号溝は1号溝3区と同一方向であり、前述した7号溝が形成する区画域の推定東辺溝の位置でもある。

上述内容を踏まえ59号溝の項目で概括を再述したい。

第51号溝状遺構 (第24図・付図1)

(1) 概要

当溝は、調査区内北東側の北端に位置する。立地条件は、西側の48号溝と同様である。

規模は、全長13.6m、幅0.5～0.7m、走行方向角度北一3度一西を測る。

重複する遺構は、52号溝を切り、3039坑に切られている。

出土遺物は、少量出土している。

(2) 所見

当溝は、南北走行するが、その方向性は、1号溝4区の走行方位に類する。

当溝の周辺には掘立が未発見のことから、掘立との関係は認められない。

南北走行することから、排水目的にした可能性が想起される。具体的な性格は不明である。

第52号溝状遺構 (付図1)

(1) 概要

当溝は、前述の51号溝と重複し、当溝が切られている。

規模は、全長3.0m、幅0.2～0.4m、走行方向角度北一26度一西を測る。出土遺物は無かった。

(2) 所見

当溝は、51号溝と重複するが、発見長も短く不明なことも多い。51号溝の具体的な性格が不明な状況であることから、当溝も性格等については不明である。

第53号溝状遺構 (付図1)

(1) 概要

当溝は、調査区内北東側で発見されている。

規模は、全長13.2m、幅1.2～1.3m、走行方向角度北一4度一西を測る。

重複する遺構は、7(54)号溝3区に切られている。出土遺物は、土師質土器皿・軟質陶器類が出土している。

(2) 所見

当溝は、1号溝3区・7(54)号溝と3条が縦列している。そして、当溝は7(54)号溝に合流する状態で立ち上がっている。この立ち上がる状況は7(54)号溝に類似している。このことから、当溝は、7(54)号溝3区に先行する同一目的で掘削された溝状遺構の可能性が考えられる。また、7(54)号溝3区を挟み、南側で発見されている55号溝は、当溝の延長方向であることから、当溝と55号溝は同一乃至同一目的で掘削された可能性も考慮される。また、55号溝の周辺は緩やかに7(54)号溝3区側に向かい傾斜しており、全体が7(54)号溝3区側に排水を目的としていた事も類推される。

第55号溝状遺構 (第24図・付図1図)

(1) 概要

当溝は、調査区北東側、北東掘立群の北東端に位置している。

規模は、全長8.8m、幅0.5～1.7m、走行方向角度北一18度一西を測る。また、今回の発掘調査では北側に向かい走行する溝状遺構は当溝のみである。

重複する遺構は、確認された部分は、水田跡とも思える状況であった。当溝は、この水田面とも思われる面上で確認されている。

出土遺物は、土師質土器皿小片が数点出土している。

(2) 所見

当溝は、前述した53号溝の走行方向に類することから、双方が同一機能を目的にして構築された可能性が想起される。恐らくは、7(54)号溝3区への排水溝であったと考えられる。

第4章 調査I区で発見された遺構

第56号溝状遺構（第24・65図・付図1）

(1) 概要

当溝は、北東掘立群の南端側で発見されている。規模は、全長11.1m、幅0.8～1.3m、走行方向角度北—82度—東を測る。

重複する遺構は、57号溝を切り構築している。

出土遺物は、図化した青磁皿片0378のみである。

(2) 所見

当溝は、前述した50号溝・61号溝と、後述の59号溝の走行方向に平行走行し、東端は走行方向を北に向け転進する状況が認められる。恐らく1号溝3区の走行部分とほぼ同じに走行したと考えられる。この1号溝3区の走行経路が7号溝の所見で述べた長方形区画の東辺溝の位置に当たっている。

そして、これらの溝と当溝は別な方形区画を構成する。方形区画については59号溝を踏まえ記す。

第57号溝状遺構（第24図・付図1）

(1) 概要

当溝は、調査区北東掘立群の東端に位置する、南北に直進走行する。

規模は、全長29.5m、幅0.9～1.2m、走行方向角度北—11度—西を測る。

出土遺物は、溝底面で土師質土器皿0398が出土している。

(2) 所見

当溝は、50号溝の所見で略述したが、50・61・56・59号溝は、北東掘立群を囲む区画溝として考えられる。しかし、当溝と56号溝には切り合い関係があることから、少なくとも2時期の様相が存在することが推測される。この事も踏まえ59号溝の部分で後述したい。

第58号溝状遺構（第24・65図・付図1）

(1) 概要

当溝は、北東掘立群の北西側に位置する。

規模は、全長14.5m、幅2.0～3.4m、走行方向角度北—67度—東を測る。

出土遺物は土師質土器皿・軟質陶器類が少量出土している。

(2) 所見

7号溝の所見で述べたが、当溝と7号溝が同一の遺構であった可能性は否定できない。調査段階ではその可否は検証できなかった。しかし、状況としては同一の可能性が強いと考えられる。

また、当溝は37号溝と走行方向が同一である。この点については37号溝の所見でも述べてある。

第59号溝状遺構（第24・65図・付図1）

(1) 概要

当溝は、北東掘立群の南西端、1号溝2区・3区会合地点の北東部分で、立ち上がりの縁を「L」字状に走行している。また、南北走行する部分の北端は試掘トレンチにより失っている。このトレンチより北側では確認されていないことから、トレンチ内で立ち上がった事は確認出来る。

重複する遺構は、3・7号溝であり、双方を切っている。出土遺物は少なかった。

(2) 所見

当溝は、これまで50・61・57・58号溝で記述してきた方形区画の南西側部分に相当する部分の溝状遺構である。

これらの溝状遺構により構成される方形区画は、前述57・58号溝の切り合いにより2時期の様相が考えられる。この2時期を古い段階（57号溝段階）と新しい段階（58号溝段階）として以下に記述する。

古い段階（57号溝段階）は、当該59号溝が東側への直進からやや東南東側に転進し立ち上がっている。この部分は、1号溝南東隅部の立ち上がった位置に当たり、当溝が東南東へやや転進するのと同様に1号溝もやや東南東転進している。この状況から当溝と1号溝は同時に存在していた事が推測出来るものの、新しい段階（58号溝段階）での構築の58号溝の東・北延長部分が1号溝に切られている事から、1号溝の同時存続は考え難い。また、当溝が立ち上がっていることに因る、南東隅部の状況が重要であるが、惜しくも試掘トレンチにより失われており考察を加える状況ではない。だが、57号溝の南端部分が、当溝より南方に延びている事に起因し、この57号溝に

合わせる状態で不自然な造作に至った可能性も考えられる。

新しい段階（58号溝段階）では、57号溝は埋設され平夷されている。56号溝はこの平夷された部分を越えて1号溝3区の方角へ延び、北に向け転進を始めている。しかし、これより北側の転進部分は発見出来なかった。当溝の北側転進部分が1号溝3区に破壊されていた事は、少なくとも58号溝の構築段階には1号溝3区はまだ開削されていなかった事が推断される。また、この段階での当溝が存在したか、埋設されていたかも問題になる。当溝の覆土には埋設された痕跡が無いことから、当溝は58号溝段階まで維持されていたことが推測される。

他方、北側の状況（50号溝・61号溝）は直接的に確認できる術が無く、あくまで推測の域を出ないが、61号溝出土の土師質土器Ⅲ0390・0391の示す年代観は17号井戸とほぼ同じである15世紀後半であることと、59号溝出土の土師質土器Ⅲ0384は15世紀後半の終わり頃である事から、少なくとも57号溝出土の土師質土器Ⅲ0398～0400が示す15世紀前半の年代観と齟齬は無いと判断される。

また、61号溝に切られる68号溝は、50号溝と同じ走行方向で構築されている。この61号溝・68号溝の新旧関係も2時期での存在形態であったと考えられる。これらの事から、新しい段階でも方形区画は維持管理されて来た事が推定される。

1号溝2・3区はこの方形区画が機能を停止した段階以降に開削されるが、南東隅部の歪んだ状態が維持されている。この南東部の状況は、何らかの意図の存在が想起される。その解釈の1つに区画域への出入経路としての可能性も考慮される。しかし、新しい段階での56号溝・59号溝に挟まれる間は狭いため、往来には不向きであろうと考えられる。

この南東部分の状況がどのような状況であったのかが最大の疑問として残さなければならない。

第60号溝状遺構（第24図・付図1）

(1) 概要

当溝は、北東掘立群の内部で発見されている。

規模は、全長4.4m、幅0.2～0.6m、走行方向角度北—5度—東を測る。

重複する遺構は、51号掘立・53号掘立であるが、双方の新旧関係は不分明である。

出土遺物は無かった。

(2) 所見

当溝は、「L」字状を呈して掘立群の内部で発見されていることから、何らかの排水処理の目的と思われる。

第62号溝状遺構（第25・66・149図・付図1）

(1) 概要

当溝は、8号溝に囲まれた北西掘立群の南東隅寄りで見られている。

規模は、全長4.3m、幅0.2～0.7m、走行方向角度北—84度—東を測る。

当溝は、1号炉跡に南接する土坑状の掘り込みで、溝状遺構とすることには困難である。しかし、遺構確認段階で8号溝から繋がる遺構として溝状遺構の名称を設定した。調査の結果、1号炉跡の作業場の一部とも思われ、前庭部とも表現している。

覆土は確認面に43号溝で確認されたとの同様の洪水堆積のsiltが被覆する状態で、当該の部分は、北側に接続するテラス部分の高さまで底面から20～25cm程は黒褐色土が堆積していた。

出土遺物は、洪水堆積層の直下から羽口・鉄滓・砥石（荒砥）等があることから、1号炉跡をして行われていた鍛冶作業は、洪水以前の段階で行われていたことが明らかになった。

第64号溝状遺構（付図1）

(1) 概要

当溝は、北西掘立群の西側、8号溝西辺溝に寄って発見されている。

規模は、全長4.6m、幅2.0～2.6m、走行方向角度北—7度—東を測る。

当溝は、VI層土（黒褐色粘質土）・VII層土（暗褐色土）の確認面にVI層土（黒褐色粘質土）の落ち込みとして確認した。確認段階では、南北に延びる溝状遺構として確認した。しかし、調査の結果、当該の

第4章 調査I区で発見された遺構

遺構も溝状遺構とは思われない状況であった。底面には偶蹄目の蹄跡が認められ、北側立ち上がりは判然としなかった。このため、VI層土の堆積過程での偶蹄目の往来か、水田跡遺構の痕跡かを想定したが、後者の場合、耕土が認められないことから偶蹄目の蹄跡の確認までに止めた。

第65・66号溝状遺構（第24・66図・付図1）

(1) 概要

両溝は、調査区北東隅部で重複して発見されている。このため、東側は調査区外に延びている。

65号溝の規模は、発見長21.2m、幅7.3～7.6m、走行方向角度北-77度-東を測る。

66号溝の規模は、発見長21.2m、幅1.3～1.7m、走行方向角度北-77度-東を測る。

出土遺物は、土師質土器皿片・軟質陶器片が少量出土している。

(2) 所見

両溝は、東側調査区「上強戸II遺跡」で発見された14号溝・16号溝・23号溝の西側延長部分に相当している。しかし、両調査区の平面図を調査で使用された座標方眼上で合成させたが、当該両溝と「上強戸II遺跡」の14号溝・16号溝・23号溝とは「ズレ」が生じたのか、別遺構なのか判断が出来ない状態である。

このため、両調査区発見遺構で関連が分明に出来

得る事は無かった。

第67号溝状遺構（第66図）

(1) 概要

当溝は、古代水田跡に伴う灌漑水路と考えられる。

規模は、全長93.8m、幅1.0～3.4m、走行方向角度北-21度-西を測る。

覆土は、全面砂で充満していた。これは、通水に伴い堆積した砂とは異なると判断される。洪水により短期間での埋没と考えられる。水田跡は、洪水起源と判断される silt 層で被覆されていた事から整合する。

古代水田跡は当溝の走行方向に直行する方向軸を有する区画で耕地の形成を成している。

第68号溝状遺構（付図1）

(1) 概要

当溝は、北東掘立群の区画溝（61号溝）に切られている。4号墓と重複するが、双方の新旧関係は不分明である。規模は、全長4.5m、幅1.2m、走行方向角度北-90度-東を測る。出土遺物は無かった。

(2) 所見

当溝は、発見長が短かった事から詳細は不分明な点が多い。恐らくは、50号溝・61号溝が形成する方形区画北辺の古い段階での溝状遺構と考えられ、2時期から成る方形区画で、先に埋没している7(54)号溝3区の機能を復旧する以前の状態を示している可能性がある。

第3節 竪穴状遺構

第1項 概要

竪穴状遺構（以下、「竪穴」で略記）は4基発見されている。遺構確認段階では、6基を認定し調査着手している。しかし、調査区北西部分の64号溝と重複する状態で認定した7号竪穴は、遺構確認段階の所見（遺構確認面はVII層土下面、覆土は黒褐色土）とは異なり、僅か数ミリの厚みしかなく、床面・底面も認められなかったことから、登録を除外した。

また、6号竪穴は58号溝東端で、双方が重複する状態で確認されている。調査の結果、南壁は臍げな

がらも立ち上がりを露呈させたが、重複関係の確認では、礫が集中して出土したため確認できなかった。また、北側の立ち上がりは不明瞭であった。覆土も浅く礫を伴うため、竪穴状遺構・溝状遺構としての所見が得られなかった。この事から、当跡も登録から除外した。集中して出土した礫は、第1号集石とした。

この2基以外の4基は、竪穴状遺構として以下に所見を記しておく。

第2項 各遺構の概要と所見

第1号竪穴状遺構（第67図）

1号竪穴は3b群の掘立分布域で発見されている。重複遺構には、4986坑が本跡を切っている。

西側に広い梯形状を呈する。

規模は、南北3.26m、東西3.0m、深度0.08mである。主軸方位は西壁が構築基準と考えられる。この西壁の示す方位ほぼ真北を指す。

床面は平坦であるが、硬化等の現象は認められない。南北壁下には、それぞれ4本、合計8本の柱穴が出土している。P₁～P₄が南壁下に、P₅～P₈が北壁下で発見されている。

出土遺物は、床面直上乃至床面直上層からの出土である。出土遺物中で、作図可能であったものは1点しかなかった。軟質陶器内耳盤形土器の底部細片だけであった。

構造は、壁の外周でも本跡に伴うと考えられる柱穴跡等の遺構が認められなかった事から、南北壁下の8本柱穴で構造を支えている。また、竪穴状の掘り込みを備える事から、通常の掘立とは異なる性格が求められての構築と推測される。

周辺の掘立との関係では、主軸方位の類似で、2・3・5・6・7・8号掘立との関係が推測されるものの、これらの掘立には6尺掘立・7尺掘立・8尺掘立が含まれており時期的にも明確ではない。ただ、1号柵の南延長部分に当たる事が何らかの関係を推測させる。

出土遺物も軟質陶器内耳盤形土器の小破片では矢張り時期の決定には至れない。

第2号竪穴状遺構（第68図）

2号竪穴は2d群の掘立分布域で、8号溝南辺溝に接近して発見されている。本跡は、覆土中位から遺構確認面までが洪水被災により埋没している。

遺構確認段階では、やや「濁った地山土」の広がりと言う心象で疑問を抱いた。暫くは落ち込みか部分的な地山の違いなのか判然としなかったが、平面精査が進むのと、3(54)号溝のトレンチ成果から、この「濁った地山土」が洪水堆積に因り埋没した落

ち込みである事を判断した。この段階では、幾つかの柱穴跡と考えられる落ち込みを確認しているが、黄褐色土 silt（洪水堆積層）が一面に被覆していた。床面で確認した柱穴跡の大半は本跡に直接伴うものではないと考えられる。

重複遺構には37号溝が当跡北壁側を切っている。このため、北壁が失われ、北側に対する詳細は不分明である。

平面形状は、縦長方形を基調とするが、東壁が不安定な状態で歪がある。

規模は南北7.05+ α m、東西4.65～4.54m、残存深度22cm程である。

床面は、平坦であるが特に硬化した部分は認められなかった。

床面では、柱穴跡が65本確認されている。これらの柱穴跡の内、当跡に伴うと推定したのがP₁～P₁₇の17本の柱穴跡である。他の柱穴跡は、前述の通り当跡埋没以前に構築された掘立等の一部の柱穴跡と考えられる。

覆土は、上層を黄褐色土 silt（洪水堆積層）が被覆し、床面直上層に黒褐色土が堆積していた。

出土遺物は、礫が床面直上層で多いが土器類は少ない。洪水被災に因る埋没が原因の可能性もある。

当跡の覆土の状況は、第1号炉跡のテラス・62号溝とした部分に類似している。恐らく、洪水被災直前の状況はほぼ同様であったと考えられる。そして、双方は少なくとも同時に存続していた可能性が強い。

当跡時期は、洪水被災以前で、土師質土器皿の年代観では14世紀後半から末頃である。

第3号竪穴状遺構（第70図）

当跡は、掘立の2d分布域西端部分、8号溝西側溝の南西隅部寄りに位置する。

重複関係は、8号溝に切られている。また、565坑と重複し565坑が本跡を切っている。

平面形状は、縦長方形を呈する。

規模は、南北2.84m、東西1.71m、深さ5cm程度である。主軸方位はほぼ真北を示す。

床面は平坦で、南北両壁下の中央軸上に柱穴を備

第4章 調査I区で発見された遺構

えている。

出土遺物は、床面直上から数点土師質土器皿片が出土している。残存状況が悪い事もあり、出土遺物は、少ない。

構造は、小規模形状の長軸の両端に柱穴を備える構造である事から、簡易な葺き降ろしの屋根と考えられ、壁の無い構造であったと考えられる。

第4号竪穴状遺構（第71図）

当跡は、調査区北西部分、掘立2b群内に位置している。柱穴跡が密集する中でも重複は無い。

平面形状は、縦長方形を基調とし、部分的に歪みが認められる。規模は、南北3.25m、東西2.43m、深さ12cm程である。主軸方位はほぼ真北を示す。

床面は、概ね平坦である。床面上での施設は何ら発見されていない。覆土は、床面直上層に炭化物を

多く含む黒褐色土が南北に長く広がっていた。

構造は、屋内施設が未発見の事から、竪穴の外周部分の柱穴跡も考慮せねばならぬが、柱穴跡の密集地帯である事から確実な事は判断出来ない。ただ、北壁から北東隅部にかけて、外縁部に柱穴跡4本が当跡に接近して位置している。これらが考慮されるが確実性に乏しい。

出土遺物は、土師質土器皿・軟質陶器内耳鍋形土器・軟質陶器内耳盤形土器が少量出土している。時期は、出土遺物から、15世紀前半頃と考えられる。

当跡の位置する掘立2b群の分布域には多くの掘立が位置している。この中でも、31・40号掘立（6尺掘立）と、28号掘立（7尺掘立）、などの間隙を突く形で構築されている。この状況から少なくともこれらの掘立と同時存続していた事は明らかである。

第4節 掘立柱建物跡・掘立柱施設跡

第1項 概要

概要

調査区内で発見された土坑、取分け柱穴跡（ピット）は5000基に及んでいる。しかし、遺構確認段階の現況で、1つの柱穴跡に1番号を付与したものの、1基として扱っている柱穴跡の中には、重複が看取される柱穴跡も多々認められる。この事は、実数が付与した数字を越えていることに他ならない。

これらの柱穴跡は、掘立柱建物・掘立柱施設（以下、双方を「掘立」で略記）を構成した1つの遺構である。

今回の報告中、推定した掘立は73棟である。そして、この73棟の建物に使用した柱穴跡総数533基にし過ぎない。この事は、見逃している建物が相当数存在する事になり、遺跡の実態が明らかに出来なかった反映でもあろう。

今回の当該遺跡報告書に掲載した掘立は、単独で発見された掘立が無かった事から、専らに机上で試作・推定により復元を試みた。この復元作業には以下の2つの要領で行った。

1. 発掘調査段階 1/20と1/40の縮尺で、遺構平面図から全体図作成し、この状態で1.5cm・0.75cm（1尺）の方眼を被せて掘立柱建物跡が疑せる部分を抽出し、同部分を現地にて巻尺で検証した。

2. 整理事業段階 1/20の遺構記録保存原図を可能な範囲の最大面積で写し取り、これを1/30にコピー縮小を行い全体図を合成し、1cm（1尺）方眼を被せ掘立柱建物跡を検証した。推定される柱割の80～90%位まで一致した場合に復元した。しかし、8号溝に囲まれた範囲内では、大型建物はこの限りでは無い。ただ、大型掘立は、遺構確認段階でも柱穴跡が列として認識し得ていたことから推定を敢えて試みた。

この上述の后者は、現地での検証怠っている事から、その真偽には疑問も残る。特に、柱穴跡が密集する1・2・8溝状遺構に囲まれる内部では、調査段階で数基の存在が確認されたが、積極的には復元を試みなかった。これは、やはり1つ間違えれば「捏造」に陥る危険性が含まれている事に因る。この事は、

出土した柱穴跡の疎密状況からも推測が出来るよう。

また、調査段階で柱割復元を試みた掘立と、整理段階の所見と異なる柱割に陥った掘立もある。特に上述1・2・8号溝に挟まれた柱穴跡集中部分での事である。

また、柱穴跡の直線配列の柵列と考えられる施設も17条を数えている。

この17条の柵列は西側に集中する傾向が窺われる。また、名称を「柵列」としたが、配置を見ると柵とするには短く、周囲の備え構えも無い状態である。名称の検討も課題のひとつであろう。

ここで取り上げた掘立は、同様の危険性を孕んだ事に他ならない。

蓋し、整理事業実施期間に於いて、8号溝内部の密集部分の復元が叶わない場合は、遺跡自体の実態・性格等が不明瞭のまま潰える事にも等しい事から、再度掘立柱建物跡の復元に試み、推定される掘立の存在を可能な限り、妥当性のある範囲で明らかに出来たものと思っている。

今回の発掘調査事業・整理事業を通して復元し得た掘立は73棟である。

第2項 復元した掘立柱建物跡・掘立柱施設跡について

ここで扱う「掘立柱建物跡」は、居住・納屋などの通有の構造が該当するものを指し、「掘立柱施設跡」はそれ以外の構造を有していたことが推定される遺構とする。今回の報告では、3本1単位の特殊な施設を推定している。

これらを「建物」・「施設」として分別した。ただし、便宜上「掘立」として番号は通し番号としてある。このため、双方を以下「号掘立」として略記する。掘立の構造等については、別表を参照されたい。

第3項 掘立の分布と構成

分布

掘立は、調査区内に大きくは3箇所の部分に分布している。この3箇所の分布する部分を「分布域」

とする。

この分布域は、1号溝・2号溝により調査区内を四分割状態にされた、3ヶ所に掘立が集中して分布する。調査区内の東南部分以外の北東・北西・南西部分3ヶ所の区画に密度は異なるものの掘立の分布域が認められる。

また、この分布域内には、群在する状況も認められる。この分布域内の群在状態を「群」で表す。

北東側の分布域（分布域1）

この分布域は鍵の手に屈曲する3（54）号溝に東西を分断されている。しかし、この3（54）号溝は洪水により埋没している。埋没後は50・59・61・57号溝、50・56・59・61号溝に因る区画域が推定される。また、この洪水埋没する3（54）号溝に先行する7号溝が構成したと考えられる区画域があり、都合4時期の区画域が認められる。

北西側の分布域（分布域2）

この分布域を詳細に見ると、溝状遺構の新旧関係と密接に関わっている。これは、43号溝・37号溝を切る8号溝、40（63）号溝を切る8号溝、また、43号溝の存続期間に於ける状況によりなど、掘立の構築に規制を与えている点である。

全体を区画する8号溝内部の漠然とした範囲。中央を縦走する43号溝の東側と西側の範囲（43号溝の構築・存続・埋没の状況により3者の状況が看取される）。8号溝南辺から43号溝南端までの東西に広がる部分の4つの群在に分かれる。

溝状遺構の新旧関係から、43・37号溝の制約下での東西の群在状態は、当該分布域の中では最も古期の一群と判断できる。この43号溝の規制による東側・西側の。群在状態にそれぞれa・bを付して2a・2bとし、この2a・2bの部分と8号溝の南面走行部分とに挟まれる内側を2cとし、43号溝の埋没乃至機能停止以降、全面に展開する状態の群在=分布域（2aと2bを合わせた部分）を2dとし、都合4者の群在状態を設定しておく。

南西部分の分布域（分布域3）

この分布域は分布域2の南側、2号溝を隔てた部

第4章 調査I区で発見された遺構

分に当たる。

この分布域は6号溝を介して東西に分布が分かれ、6号溝の西側はさらに2者の分布に別れる。都合3つの分布域が認められる。これに、それぞれa・b・cを付し3a・3b・3c群の3つの群在状態を設定しておく。

また西側3b・3cの群在域には、9a・36・39号溝による区画域が推定される。そして、この区画域の中心軸を境に、西に3c群、東に3b群が認められる。

第4項 建物の構成

柱割と柱間

掘立には、南北棟25棟、東西棟31棟、正方形の建物2棟と、3本1単位とする特殊な構造の施設13棟、円形状の施設1基を認定した。

これらの掘立の柱間には、3尺・4尺・5尺・6尺・7尺・8尺を公約数とする単位が認められる。また、3尺は6尺の半分に当たり、4尺は同様に8尺の半分に相当することから、3尺・4尺は、6尺・8尺の企画の中での柱割の違いに見ることが出来る。

そして、この6者の内前三者は客体的な数で認められ、建物で認められる使用尺単位はその殆どが6尺・7尺・8尺の3種類の柱間で構成されている。

これらの事から、6尺・7尺・8尺の柱間を基準として構成される掘立を「6尺掘立」・「7尺掘立」・「8尺掘立」とする。上述の東西・南北棟の構造上の相違点とそれらの重複関係から、個々の構築順位乃至基数程度での構築順位が推測される。

ここで用いている1尺は30cmとした。

第5項 分布域1での状況(第72図)

分布域内での溝状遺構の新旧関係

この分布域では、中央に7・3(54)号溝が分断する状態で認められる。この両者の溝状遺構の新旧関係は7号溝が古く3(54)号溝が新しい。また、3(54)号溝は洪水起源の黄褐色 silt の埋没土により充満していた(この洪水起源の埋没土の黄褐色 silt は、

洪水被災の遺構全てに共通する)。この3(54)号溝は、東側の57号溝の制約を受けて構築されたか様にも見るが、56号溝は洪水以降の構築が推定され、推定7号溝東辺溝に重複することから、新旧関係が逆になっていしまう。また、この57号溝は、56号溝に切られている。

溝状遺構と掘立

51・53号掘立の7尺掘立は、3(54)号溝の規制により構築されている状況が看取され、3(54)号溝を跨ぐ状態の8尺掘立の54号掘立は、3(54)号溝の埋没以降に構築されたことが判断される。

また、6尺掘立の55号掘立は、7(58)号溝を切り、3(54)号溝の規制を受けない状態での指向方向で構築されている。そして、52号掘立は、7尺掘立の51号掘立と切り合い関係があることから、分布域1では、8尺掘立が6・7尺掘立より後出していることが推断出来る。

7尺掘立の56号掘立は、建物としての存在とは思われず、3(54)号溝に懸けた橋脚施設と考えられる。また、9尺間の57号掘立は6尺間の1.5倍になり、6尺掘立の範囲である。そして、この57号掘立も同様に3(54)号溝に架けられた橋として考えられる。この56・57掘立を橋とした場合、6尺掘立・7尺掘立の存続時期に洪水が発生したことが推定される。

また、この分布域の区画域構成する50・59号溝の西端は、1号溝4区の制約により、北西隅部を構成する。しかし、西辺を確実な状態で構成するまでの溝が構築されていない。即ち、1号溝4区は50・59号溝構築以前の構築であることが推定される。そして、59号溝が3(54)号溝を切っていることから、この区画域を構成する50・56・59・61号溝は、8尺掘立の54号掘立に伴う区画号溝と考えられる。そして、50・57・59・(61)・68号溝が構成する区画域は上記50・56・59・61号溝が構成する区画域より古いことから、54号掘立と同様な軸方向を示す51号掘立に伴う区画域と想定出来る。7尺掘立から8尺掘立への切り替わり頃の区画域、即ち、51号掘立に伴う区画域と考えられる。

これらの事から、7号溝が構成する区画域は、区画域の方向性に倣う南北棟の6尺掘立の52号掘立に伴う区画域である事が推定出来る。この事は、7号溝が最も古い溝状遺構であることから、6尺掘立が後出する3号溝の区画域に伴う7尺掘立より先行する位置付けが出来、6尺掘立・7尺掘立・8尺掘立の順位で柱間が変化する事が推定される。

これらの掘立の存続時期は、当該掘立の出土遺物により時期が判明するが、該当掘立の出土遺物は破片・細片である事から、区画を構成する溝状遺構、生活に直接関係する井戸跡の出土遺物で推定したい。

区画を構成する溝状遺構では、50号溝15世紀中頃、57号溝15世紀中頃、58号溝14世紀末頃、59号溝15世紀後半～末頃で、16・17号井戸では、16号井戸が15世紀中頃、17号井戸15世紀前半頃である。

これらの年代から、掘立に存続期間は、14世紀末頃から15世紀末頃までは確認出来る。

第6項 分布域2での状況 (第73図)

概略

分布域2では、掘立の構築経過を探る上では、溝状遺構の新旧関係が重要な要件になる。

溝状遺構での直接の切り合い関係では、8号溝が43・63号溝を切っている。

37・40 (63)・43号溝は8号溝の区画域に先行する区画域構成を成している。

43号溝との関係

43号溝の北側部分は洪水により埋没している（以下「43号溝1区」とする）。そして、その部分から推定される旧形状は、8号溝北辺溝の西側部分、歪む状態より西側部分が8号溝と重複する部分が推定される。

また、43号溝は、中央部を南北に縦走するが、走行状態は緩やかに弓形を描く。しかし、内部は浅く掘り込んだ部分と、部分的に深く掘り込んだ部分が認められ、1区の浅い掘り込みの土橋状以南の浅い土橋状部分（2・3区）からは、1区の洪水埋没部分を切っている。この43号溝は、部分的な掘り込み

を含め、計画性を持って構築された溝とは考え難い。掘立の建替えなどの状況に応じて2区・3区が順次掘削された事が推定される。

この部分的な掘り込みの中で、洪水により埋没が確認できるのは、北端1区の深い掘り込み部分のみである。

この43号溝2・3区出土遺物は図示のものが該当する。これらの時期は、現段階として15世紀中頃としておきたい。

37号溝との関係

37号溝は、43号溝の南端と60cm程の間隔を持ち区画域を構成する状態に構築されている。この部分は、双方の溝が計画性も無く場当たりに構築した事も推測出来る。一方の37号溝の東端は、1号溝の底面から構築されている。この事から、37号溝以前に1号溝が構築されていたか、1号溝構築時に37号溝と重複した事により、37号溝に改修を加えたかの状況が考えられる。しかし、双方には洪水埋没の痕跡が認められない事から、43号溝1区より後出する事が考えられる。

40 (63) 号溝の南端部は、37号溝の北側に当たり、37号溝の規制により同部分で立上げた事が判断出来る。恐らく、双方の溝は、共存関係にあったと考えられる。

当溝と重複関係のある掘立は、36・37号掘立の2棟だけである。当溝の時期は15世紀中頃である。

62号溝・1号鍛冶炉との関係

1号鍛冶炉の南側で接する62号溝と呼称した部分は、1号鍛冶炉に付随する作業施設と考えられ、この部分も43号溝同様に洪水被災により埋没している。この、洪水被災以前の堆積土に混じり鉄滓・羽口などの小鍛冶関連の遺物が混入している。

そして、1号炉跡が露天での操業が考え難い事から、この1号炉跡を覆う上屋構造と遮蔽空間は必須条件である。作業施設全体を覆う状態の36号掘立を推定した。

この36号掘立は6尺掘立である。そして、35号掘立に接する状態である事と、37号溝と37号掘立の重

第4章 調査I区で発見された遺構

複状態から推定すれば、35・36号掘立は共存関係にあったことが想定される。

また、62号溝及び1号炉跡施設が洪水被災により埋没していることから、35・36号掘立は洪水以前の掘立であることが類推される。

当溝の時期は、遺物量が少ないため微妙である。土師質土器皿0393は14世紀後半頃、同0394も14世紀後半頃と考えられ、この頃か15世紀初頭まで下る頃と思われる。

6尺掘立・7尺掘立・8尺掘立の新旧関係

6尺掘立には、南北棟に31・35・36号掘立、東西棟に21・23・43・45号掘立がある。南北棟では31・35号掘立が同一規模の構造を備えている。この接近した位置関係と43号溝1区を介しているもの、31・35号掘立は同時存在した事は十分に推定出来る。

東西棟45号掘立は北東隅部が43号溝2区に重複しているが双方の新旧関係は明確ではない。43号溝2・3区が33号掘立には伴う区画溝であるならば、7尺掘立と6尺掘立との新旧関係から、45号掘立が43号溝2区より古いことが推測される。

7尺掘立には、南北棟に28・29・30・32・33・42・48・49号掘立の8棟があり、東西棟には22・37・39・40・46・50・58号掘立の7棟がある。前者で43号溝と重複関係にあるのは29・30号掘立の2棟。後者では、46・39号掘立の2棟である。この重複関係にある4棟以外の11棟は、43号溝を避けるか、43号溝構築以前の構築である。

8尺掘立には、南北棟に25・34号掘立の2棟、東西棟では、24・26・27・38・44・47号掘立の6棟がある。南北棟の減少が特徴的である。43号溝と重複関係にある掘立は、27・38号掘立の2棟である。

これらの掘立を整理すると、南北棟は43号溝を中心にして同規模で左右に配置される傾向がある。特に7尺掘立南北棟の29・30号掘立は43号溝と重複関係にありながらも、同規模掘立が左右配置に在る。さらに、33号掘立はその同規模の一群に含まれながら、43号溝2・3区の弓形走行に平行する状態で構築されている。この事から、7尺掘立の南北棟でも33号

掘立の構築段階が43号溝2・3区の構築と類推され、7尺南北掘立で43号溝2・3区と重複間にある掘立は、43号溝2・3区埋没以後の構築と判断される。そして、43号溝2・3区と重複関係に無い掘立は43号溝2・3区構築以前の構築と考えられる。

これらの事から、43号溝2・3区は短期間での存在と判断される。そのため、2区と3区の間に地山を掘り残す中途半端な状態であったのかもしれない。

そして、7尺掘立と43号溝との関係から、8尺掘立は双方に後行する構築であった事が判断される。これは、前述した分布域1での状況と同一であることが確認出来る。

また、8尺掘立には、南北棟が2棟しかない事から、時期が下ると南北棟の消滅傾向が指摘でき、南北棟から東西棟への変遷が指摘できる。この事か、区画域の形態が、縦長方形から、横長方形、正方形に変更する様子に符号する。

第7項 分布域3での状況 (第74図)

概略

分布域3は、縦断する6号溝が東西を分別しているが、この6号溝状遺構の他に9a・33・35・36・38・39号溝が構築されている。しかし、それぞれの新旧関係は不明であるが、9a号溝と39号溝の構築状態からは、双方の同時存在が推断できる。そして、全ての同時存続は考え難いものの、9a・36・39号溝による区画域が推定出来る。この区画域はそれぞれの溝が直角直行する状態からの推定である。

この区画域を構成する9a号溝の出土遺物からは15世紀後半から16世紀初頭、38号溝は9a同様、39号溝は、14世紀末から15世紀中頃の年代が下限として推定される。

3a群

3a分布域では、6尺掘立の南北棟3棟・南北棟2棟、7尺掘立の東西棟3棟・南北棟1棟、8尺掘立の東西棟1棟で計8棟が在る。この内、2号溝に近い北端側で小規模の18号掘立は、特殊な存在を感じさせる。

また、14・15号掘立の西側に平行する3号柵列が南北に設けられている。7尺の柱間から、15号掘立に伴う柵列と判断できる。

これらの分布域は、浅い広めの30号溝に囲まれる状態で、分布域がやや高くなっている。これは、雨水等を逃がす目的で設けられた事が推定出来るものの、存続時期については明かではない。

この3 a群の分布域では、2・3・21号井戸が発見されている。生活に密着する井戸の年代観は、この3 a群の年代観でもある。この3基の井戸跡からの出土遺物から、2号井戸が15世紀中頃、3号井戸が15世紀前半、21号井戸は出土遺物が無い。この15世紀前半から中頃が3 a群の時期として現状での目安であろう。

3 b群

3 b群では、やや小規模の6尺掘立の東西棟2棟。7尺掘立の東西棟3棟・南北棟2棟。矩形気味の南北棟6・7尺掘立が1棟在る。個別の規模には統一性が認められない。また、5号掘立の西側に、平行する状態の1号柵列が、3 c群を区画する状態で南北に設けられている。この1号柵列は8尺を基準とする柱間である。そして、この1号柵列は特殊な構造が看取されることから、冠木門などの構造物を付随していた可能性が指摘できる。

この3 b群分布域では、4号井戸が発見されているが時期の確定が出来ない。

翻って3 b・3 c群分布域の区画域より北側に1号井戸が発見されている。この井戸は1号溝に切られている。この号井戸から出土遺物は少なく時期確定し得ないが、年代観は15世紀前半頃である。

3 a群の分布域の北東側には、3本1単位の66・67号掘立が2基、掘立から距離を隔てて認められる。

また、3 a群の分布域には2・3・21号井戸が発見されている。21井戸跡は出土遺物が無く時期の確定ができないが、2井戸跡が15世紀中頃、3井戸跡が15世紀前半頃と判断される。この15世紀の年代が掘立群の時期比定になる。

3 c群

3 cの分布域では小型掘立と3本柱構造の特殊な施設(3本柱)で構成されている。内容は6尺掘立の東西棟1棟、7尺掘立の東西棟・南北棟各1棟である。この3 cの分布域より西側には、柱穴跡も殆ど認められない。

また、11号掘立は、区画構成する39号溝と重複している。新旧関係は明言できないが、39号溝調査段階で、溝底面精査の作業により確認されている。これをもつての新旧関係は言及しかねる。

この3 c群の分布域には12号井戸が発見されている。掘立の規模に相当するのであろうか小型の井戸跡である。生活範囲を示すのであろうが、出土遺物が無いため詳細は不分明である。

また、北側で1号溝に切られている1号井戸の存在がある。1号井戸の出土遺物は少ないが、現状では15世紀前半頃の年代が与えられる。

第8項 掘立規模の図表化(第13図)

目的

今回復元推定した掘立で、特殊な掘立を除く掘立は、6・7・8尺掘立の単位で柱間を採る事と、周辺遺構との新旧関係から、これらは、6尺掘立南北棟を最古として、7尺掘立、8尺掘立東西へと変化を遂げている事が推定された。この事を、より具体的な状態で一覧出来る状態を目的とした。そして、この目的のためグラフで表した(第13図)。

6尺掘立について(図13図)

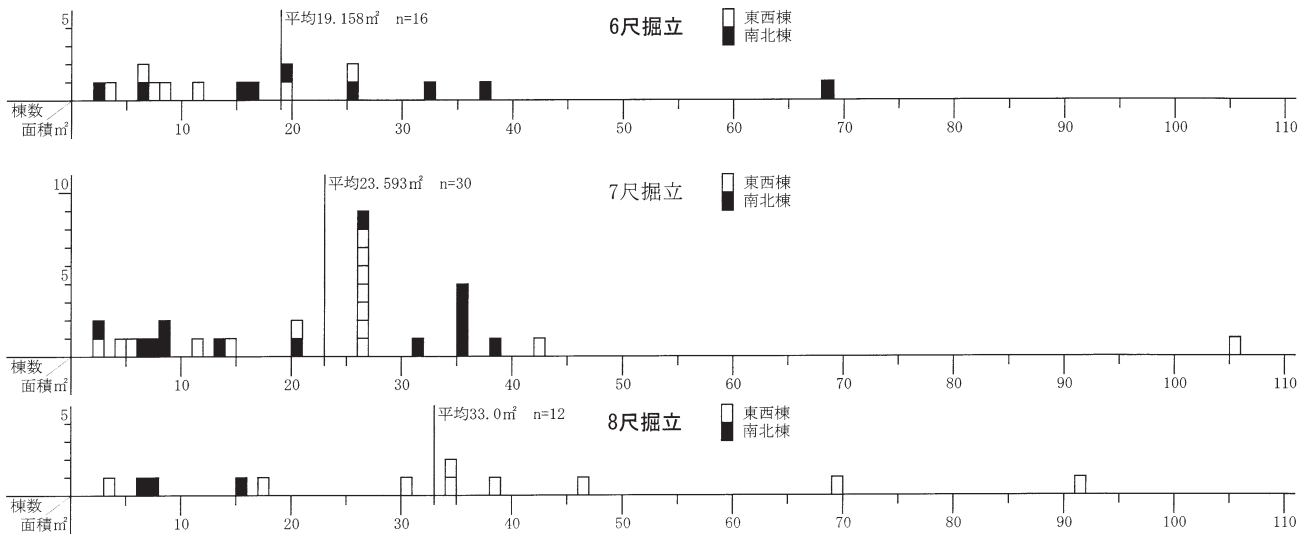
6尺掘立は16棟在る。この16棟の内容は、東西棟6棟・南北棟9棟・正方形1棟である。平均面積19.15㎡である。

これらを規模(図表参照)で見ると、平均値より小さい掘立は東西棟に多く、逆に平均値より大きい掘立は南北棟に多い。6尺掘立の絶対数が少ないため、大きさに因る分類は困難であろうが、敢えて分別するならば、図表上の大・中・小位に思われる。

7尺掘立について(図13図)

7尺掘立は30棟在る。この30棟の内容は、東西棟

第4章 調査I区で発見された遺構



第13図 掘立柱建物東西棟・南北棟別面積

15棟、南北棟14棟、正方形1棟で、ほぼ東西棟：南北棟の数量が拮抗している。平均面積23.59㎡である。

これらの面積での傾向は顕著で、小規模棟では、15㎡以下で東西棟：南北棟が拮抗する。中規模棟でも30㎡を境ぐらいに東西棟：南北棟が拮抗している。大規模棟は40㎡以上で東西棟が占めている。

また、6尺掘立に比較する7尺掘立の東西棟の増加が顕著である。

8尺掘立について (図13図)

8尺掘立は12棟在る。この12棟の内容は、東西棟9棟、南北棟4棟で、東西棟が南北棟を凌駕する。平均面積は33㎡である。

面積での傾向は、小規模棟では、拮抗状態とも言い得る。中規模棟では、30～40㎡に東西棟が占めている。大規模棟は、40㎡以上で矢張り東西棟が占めている。

南北棟の減少が顕著である。また大型とする分類の掘立は、6・7尺掘立の大型より規模も増し、全体に規模の大型化＝床面積の増加が認められる。

掘立構造の推移

6・7・8尺掘立の三者の数値的特長等から、以下の3点の特徴が指摘できる。

- ① 分布域1では、8尺掘立が6・7尺掘立より新しい時期に構築されていることが判明している。
 - ② 8尺掘立は、東西棟を主体とする構造で、南北棟をほぼ駆逐した状態である。この事は、7尺掘立が東西棟と南北棟の比率が近い事、6尺掘立が南北を主体とする事から、6尺掘立→7尺掘立→8尺掘立の変遷が判断出来る。
 - ③ 上記②の変遷は、南北棟から東西棟への構造変化を遂げている事も告げている。
 - ④ 柱間が1尺単位に伸び、次第に規模が大型化していることが判断される。
- 上記4点が構造推移の要件になる。

第9項 掘立の構造

概要

今回推定した掘立の構造は、柱割で推定した柱穴の位置からしか推定できない。ただ複雑な構造の建物は確認出来なかった事から、恐らくは、一部に入母屋造りの建物の存在が想像出来ても、全てに近い建物が切妻造りであったと考えられる。しかし、切妻建物を確定し得る発見状況・建物部材などの証拠

は調査では得られなかった。ここでは、通有知見を前提として記述する。

元より、北西部の分布域のように夥しい量で柱穴が発見されていることから、妻側に柱穴を備える構造には疑義の念はある。

切妻建物

1間の小規模構造の建物は、単に居住とは異なる利用が推測されるが、可能性だけでも多岐に亘りすぎるであろう。しかし、各柱間での分類時期（6尺掘立・7尺掘立・8尺掘立）との組み合わせ・配置状態などから、中・大規模掘立の付帯施設としての存在意義は確実である。

掘立の妻側での状況は、柱穴の有無で二者の状況がある（正方形は除外）。

妻側に柱穴を備えない壁構造には以下の掘立がある（小規模掘立を除く）。

6尺掘立東西棟：2・8・10・21・23・45号掘立。

6尺掘立南北棟：9・17・18・31・35号掘立。

7尺掘立東西棟：1・3・11・13・16・20・22・40・51・58号掘立。

7尺掘立南北棟：4・12・15・29・30・32・33・42・48・49・56号掘立。

8尺掘立東西棟：19・26・27・44・50・54号掘立。

8尺掘立南北棟：6・9・25・24・25・34号掘立。

これらの構造は、小屋組構造か、扱首股構造の孰れかであろう。

妻側に柱穴を備える建物構造

推定した建物で、妻側に柱の推定（柱穴）をした掘立は、5・14・24・28・36・38・39・46・47・52号掘立の8基がある。これらの中で、28・36・39・46号掘立は両方の妻側に柱穴を備える。5・14・38・8・10・19・47・52号掘立は片側の妻に柱穴を備えている。

両側に柱を備える4基の中で28号掘立以外は、大型掘立であり、規模上の必然に因る構造であろう。しかし、28号掘立は、通有規模2間×3間の建物と同一面積の掘立であり、妻の両側に柱を備えない一群

の掘立と面積規模は同じである。この、妻側に柱を備える掘立は、棟柱を備える構造になり、上述の一群とは異なる構造になる。

だが、構造を形成する柱材・部材未発見（柱痕を除く）であり、部材自体の強度等も不分明である。現状では、柱穴だけの状況証拠であることから、容易く断定が出来得ない。

片側の妻に柱穴を備える構造は、双方の中間様の構造とも思いがちだが、建物1棟の中で中間様の構造は考え難いことから、この片側に柱穴を備える構造も矢張り小屋組構造か、扱首股構造の孰れかであろう。

第10項 掘立柱施設跡

経緯

掘立柱施設跡は柱穴跡3本で構成される掘立と、円形状を呈する59号掘立である。

この3本で構成される掘立＝掘立柱施設跡は、60号掘立の確認により、同種の掘立の存在を窺知した。この60号掘立は、調査区のほぼ中央1号溝4区（2溝3区）と8号溝北東部と44号溝に挟まれた所で、周囲にはこの3者の溝以外には遺構が未発見の部分でもある。この部分で、3本の柱穴跡が正三角形状態の配置で確認された。一辺15cm程の西方の柱穴跡にはAs-B軽石を含有する黒褐色土を覆土としていた。

発見位置

60号掘立の発見された、1号溝4区（2号溝3区）と8号溝に挟まれた部分は、矢張り北西部の掘立群との係わりを推測させ、2群の掘立群からこの60号掘立を示す方位は、北東方向に当たり、8号溝に囲まれる内部の中央部分からは北-45度-東の方位を測る。この方位は、丑寅の方向に該当し、所謂、「鬼門」の位置に当たる。

3本柱の掘立(1)

この60号掘立を確認してから、調査現場に於いて他の部分での存否の確認を幾度か試みたが、明らかには出来なかった。

第4章 調査I区で発見された遺構

そして、整理事業に至り12基を追加推定した。この12基は、60～72号掘立である。

この12基のうち北東側の位置に分布する3本柱掘立は、61～63・66・67・71の6基。北側若しくは北西配置は68～70・72の4基。南若しくは南西・南東位置は64・65の2基である。

設定当初、北西＝丑寅方向＝鬼門と言う形で設定している。この事から後2者は外れる。偶然性の産物としての可能性も含まれよう。一方、通有の掘立柱建物跡以外の施設が無かったとする事にも危険性はある、この点から、今後、若しくはこれまでに報告されている同種の遺跡での検証も必須である。今回の報告では、この事を念頭にして設定しておく。

3本柱の掘立(2)

上述の3本柱の掘立は正三角形状を呈する事が充分条件の一つである。しかし、この正三角形状の平面構成以外にもう1つの類例を想定した。

掘立3a群の分布域の西端、3号井戸の北側で発見された2494・2510・2511坑の3本の柱穴跡である。

この3号井戸とこの3本の柱穴跡以外は、周囲には33号溝以外の存在が認められない。この条件で図上推定したのが73号掘立である。

この掘立＝掘立柱施設跡は、3号井戸に伴う施設の一部の痕跡と考えられる。恐らく、湧水を汲み上げる事を目的として付帯させた構造物、即ち、「撥釣瓶」の支点支柱と力点側の支柱と考えられる。

しかし、3号井戸側の構造は、確認面径2.15～3.60m、深さ1.98mと小規模である。この規模に対して撥釣瓶の必要性が疑問でもあり、他の21基の井戸跡との係わりも問題点である。

今回は、3号井戸の周辺状況からの設定としておきたい。

円形状の59号掘立

59号掘立は、掘立の分布域2a群の北端の位置に当たる。この2a群の北端側は遺構の分布が希薄な部分であるが、43号溝側に寄りやや集中して柱穴跡が発見されている。

この柱穴跡の分布状態には、分布の中央寄りでも

く、外周側にやや多く列をなす状態である。そして、この外側のやや多い列状をなす部分を結線した結果、円形状の掘立が推定出来た。

この円形状の掘立は、矢張り、ヒトでは無く、動物の飼育用等の施設であったと思われる。

第11項 柵列

概要

柵列は17条確認されている。この17条の柵列は、掘立同様に7尺・8尺の柱間で柱割している。しかし、6尺の柱間の柵列は確認出来なかった。

柵列の配置状態は、掘立群の内部では南北方向に設置されるが、分布域から若干離れると、南北配ではなく東西配置に成っている。特に8号溝に囲まれた2群dの部分では、東西方向の柵列が集中している。

南北柵列では、8号溝に囲まれた2群bの掘立分布部分では、西側に4列が集中する。また、3b群の掘立分布域では5号掘立と1号柵列。3a群では、14号掘立と3号柵列の如く、西側での構築がほぼ主体である。

そして、2群aの分布域の、6・7号柵列は西側に構築された掘立に伴うのではなく、東側の掘立に伴う32・33号掘立に伴う柵列と考えられる。

この西側に柵列を備えるのは、冬季の季節風の防止と推定される。この結論に正当性が有るならば、柱穴跡位置だけの柱では風は筒抜けになることから、恐らくは柱間には、柴などを植えた垣跡か、板を張った板塀の可能性が強い。しかし、掘立の壁材がスサ入りの土壁が推定される事からすれば、板材ではなく、柴垣根(サシクネ)(≒大徳寺垣)の様な構造であったと類推出来る。そして、柵列とは、垣跡の中間に据えられた柱の列が当該の柵列であったと考えられる。この場合の柱の役割は、柴を横方向から固定する横木などの中継用の柱であったと考えられる。

一方、16・17柵列は、8号溝南辺西側に推定した。この2条の柵列は、直前面に8号溝を控えている状況である。この8号溝に沿う状態で柱穴跡が不規則

に列をなす状態で発見されている。この列状分布を結線した結果が、この2条の柵列である。

この柵列は、前述の柵列（垣跡）とは異なる、元来の柵であり、8号溝とこの柵に拠る防御施設と考えられる。

第12項 柱穴の形

柱穴の形（平面形状）は正方形乃至長方形を呈している。この平面形状は県内の当該期の柱穴にほぼ共通する現象である。

太田市尾島町上新田西遺跡で出土した、鋤先は、現在の円匙と異なり、刃先は丸く背は平らで縦長の構造を有している。当時の遺構は、この構造の鋤に因り掘削されている事は容易に推定出来る。

柱穴もこの鋤と同様の工具で掘削されている事は推測される範囲でもある。

柱穴の平面形状は、この構造により掘削された事により、必然的に方形を呈している事が類推され、掘削により生じたバリを平らに削り落とす事に依り造作され、これに依り方形の形状の柱穴が出来上がる事が推定される。形状が円形に成らないのは、鋤の形状により成されての事である。

また、この造作は余分な造作の無い最小限の労力で掘削されている事をも現している。

そして、柱穴の平面形状の規模は、埋設する柱材

の規模に応じて、刃部幅の倍数に比例する事である事も類推される。

第13項 小結

今回の調査では合計70棟の掘立柱建物・掘立柱施設を推定した。掘立は、ある程度厳密な条件で設定している。近年の傾向でもあるが、安易に柱穴状の穴を配列し掘立柱建物とする報告も相次いでいる。

今回の掘立柱建物・掘立柱施設の推定には、その要件を前述した。

今回の報告で、建物を構成するために用いた柱穴跡は合計533本であり、発見した柱穴跡4,991+ α 本の10.67%にしか過ぎない。

当時、これらの柱穴を穿つには、何らかの目的、則ち、構造物を造作する事を目的とした筈であるにも拘らず、建物として推定し、これに用いた柱穴跡は実に10.67%に過ぎない。況や、正確な柱穴跡の本数は明言できない状態でもあり最低限の数量として把握した数量での数値である。

この傾向は、中世後半の遺跡で多く認められる現象でもあるが、当遺跡の北西部、掘立分布域2の如く、明確に区画を構成し、多くの建物も発見している状況の中での実態は、成果以上の問題点を残さざるを得ない次第である。

第5節 井戸跡

第1項 概要

井戸跡は22基が出土している。調査は、着手段階に、直行するセクションベルト2本設定して掘り下を行った。しかし、確認面下の状況・調査進行上の障害になる場合は、条件の不利な側を撤去し、土層断面により調査不能な状況の場合は、可能な範囲での作図を行った。また、覆土上層からの出土遺物状態により、底面までの土層断面作図は断念し、出土遺物の上面までの土層断面図を作図した。今回の調査では、後者の場合が多かった。

この22基の井戸跡の計測値等は別表に一覧化して掲載した。また、図中にも規模を併記して穴を無闇に結線し、疑わしき状態でも掘立柱建物と有る。

調査実施した井戸跡は、調査後も湧水に因り、夏季で底面から70～80cm、冬季でも50～60cm程まで湧水が溜まっていた。湧水は透明で著しい鉄分等による濁りは認められなかった。井戸跡は全体に深度は浅いが、水量は安定しており、冬季・夏季での著しい違いは無かった。この湧水量が安定している要因には、八王子丘陵の南西部に立地する当遺跡の地理

第4章 調査I区で発見された遺構

環境にあると推定出来る。

八王子丘陵の地質は、新旧第三紀層群によりなり、層序は南西方向に向かい8度程傾斜している。この為、丘陵の裾部周辺での湧水は比較的安定していると推測させる。このことが井戸跡の深度が浅い要因と考えられる。

以下に井戸跡毎に調査所見を記述する。

第2項 所見

第1号井戸跡（第133図）

調査区南西側の掘立群の北端側で発見されている。当該の井戸跡は第2号溝状遺構の南壁と重複している。双方の新旧関係は、2号溝が新しい（2号溝土層断面A-A'）。

形状は、底面から漏斗状に開く。杵木・杵板等の設備は未発見であり、地山を掘り抜いた状態での井筒であった事が推断される。

底面は、遺構確認面下1.66m XI層土上面に達している。

埋没状態は、上層から中位までには、黒褐色土主体の覆土が認められ、下層には、黒褐色土に塊状の地山を混じえ、底面には地山土の粗粒な砂質分の堆積が認められた。また、上層部には埋没後の陥没状況が窺知されている。

出土遺物は、図示した土師質土器皿の他に、細片化した軟質陶器内耳盤形・鍋形土器片が少量出土し、上層確認面寄りでは建物の部材を思わせる径12cm長さ90cm程の木材が出土している。

出土位置から、南西部の7尺間の掘立に伴う井戸跡と推定される。

第2号井戸跡（第133・134図）

調査区南西部の掘立群の分布域の南東端で発見されている。

当該の井戸跡は他の遺構との重複関係は無い単独遺構である。

形状は、底面から3段で漏斗状に開く。杵木・杵板等の設備は未発見であり、地山を掘り抜いた状態での井筒であった事が推断される。

底面は、遺構確認面下1.66m XI層土に達している。

埋没状態は、確認段階で変形ドーナツ状の平面状態の埋没が確認されている。北側で、黒褐色土を主体とする部分と、その外周を囲む地山VIII層土を主体に混入する部分が認められた。

調査は、この黒褐色土部分に土層断面を設定して調査したが、調査進行に従い、この黒褐色土部分は最終的に陥没し生活面周辺の土層が被覆した状態であった事が判明している。

上述、外周部分に当たる部分の主体層は、覆土の下層まで達しており、人為に因る埋設と判断された。また、埋設時に、未加工ではあったが建物部材と推定させる木材を、底面に近い部分から縦位にした状態で同時に埋設している。そして、この人為埋設中に、多量の礫も廃棄され、この礫に混じる状態で土器類の出土が認められた。また、断面では、礫を積み上げた状態の如くであるが、これは壁体ではなく、多量に投機された結果の状態である。

底面直上には、1号井戸跡同様に砂質分の堆積が認められた。

出土遺物は、土師質土器皿が主体で、細片化した軟質陶器類が出土している。石製品・石造品は石臼(0801)・石鉢(0834)・五輪塔火輪(1071)・板碑(1116・1119・1128)などが出土している。また、荒砥石(0861・0878・0893・0946・0972・0987)、羽口(0736など)が出土していることから、当該井戸跡は、鍛冶工房の時期の下限を示す遺構の一つである。

第3号井戸跡（第134図）

調査区南東部の掘立群の分布域の西端、6号溝に寄った部分で発見されている。

当該の井戸跡に重複する遺構は認められず、周囲の遺構は希薄であったが、北側3カ所に柱穴が発見されている。この柱穴が第71号掘立で、本跡に伴う掘立施設と推定した遺構である。

形状は、底面から垂直気味に立ち上がる構造で、井筒内東側中位に段を備えている。この中段は当該井戸跡の構造上の施設であることは推測させ、湧水期に湧水を汲む為に設けられた施設が一つの推測結

論である。

底面は遺構確認面下1.98mでⅪ層土に達している。

また、井戸枠等の設備は未発見であることから、地山を井筒にした構造である。そして、前述71号掘立を外部構造とした井戸で、この外部構造が釣瓶の支柱構造を示していると考えられる。

覆土は、確認面から中位まで黒褐色土を主体とする覆土で、下層で地山土を主体的に含み、これに多くの礫が伴い出土している。

出土遺物は図示した土師質土器皿などが出土している。

第4号井戸跡（第146図）

調査区南西部の掘立群の分布域の東端で発見されている。

重複する遺構は36号溝があり、6号溝に接する状態で発見されている。また、36号溝の調査途中で確認されたため、双方の新旧関係は不明瞭である。しかし、平面精査段階では、当井戸跡は確認出来なかったため、36号溝が当井戸跡より新しい遺構の可能性が高い。

形状は、底面から生活面に向かい開く状態であるが、1・2号井戸跡の二重に漏斗状に開く構造とは異なり、大きく開く構造ではない。壁の北側の中位には、幅の狭い段状の構造が認められるが、3号井戸跡の段状とは異なる。また、井戸枠等の設備も出土が無く、地山を井筒にする単純な構造である。

底面は、遺構確認面下1.14mでⅩ層土に達する浅い井戸である。

出土遺物は少なく図示した遺物の他には、極少量の土師質土器皿片があった。

第5号井戸跡（第135図）

当井戸跡は、調査区内北西部分の館構造を備える区画の南東隅部分で発見されている。

当該部分は、館を区画する8号溝と6号井戸跡とに接する様に挟まれて位置しているが、直接切り合う遺構は発見されていない。

形状は、底面径58～62cmから漏斗状に開き、遺構確認面まで1.88m、底面はⅪ層土を使用している。

底面から85cm程の壁面上半部分には、南西部分以外をほぼ全周する段を備えており、この南西部分は、小規模な段を2段に構えている。そして、この小規模な段の構えの上位、底面から1.1mの所では、幅25cm程の板が架けられた状態で出土している。また、この板以外には枠木等の施設は出土していない。

構造は、上述の板を足場として随時水を組み上げる構造で、壁中位の段は、足場より水位が下がった場合での足場としての施設であった事が考えられる。

出土遺物は図示した土師質土器皿と少量の軟質陶器（内耳盤）、石臼0776・茶臼0823・石鉢0828・板碑1134・磚状石製品1155・砥石0956・鉄滓0754などが出土している。

第6号井戸跡（第135図）

当井戸跡は、調査区内北西部分の館構造を備える区画の南東隅部分で、前出第5号井戸跡に近接する位置発見されている。

形状は、5号井戸跡に類似する造りに成っている。底面から強く二重の漏斗状に開く構造である。壁面中位より底面寄りにかけて中段を備える。この段は、壁面を全周し、南側が高く、南側に低い造りに成っている。そして、中段北側には、円礫を直線的に積み上げる足場構造になっている。この足場は、底面から95cm程の位置に当り、確認面下25cmの位置に当たっている。底面は、遺構確認面下1.2mの位置でⅩ層土中に構築している。この底面の深度は、近接する5号井戸跡に比較すると70cm近く浅い。湧水位の差違に因ると推断する。然し、この湧水位の差違の原因は言及し兼ねる。また、隣接する5号井戸跡とは、構造上類似点があるものの、深度が異なる事から、同時に存続した事は考え難い。

出土遺物は少なく、軟質陶器類の他に、細片化した土師質土器皿、砥石（荒砥）0957がある。

第7号井戸跡（第136図）

当井戸跡は調査に先行する試掘調査の段階で、トレンチ内で確認されているが、このトレンチにより、遺構の一部を失っている。

発見位置は調査区北西側の西端寄りで、8号溝西

側南北走部分の南寄り、8号溝の構築を規制する状態。則ち、当該井戸跡に因り8号溝の構築が南北部分に分断される状態である。この状態は、8号溝構築以前から、構築段階、機能段階で機能していた井戸跡であることが判断される。切り合い関係は無く単独遺構である。

形状は、底面から、80cm程までは細造りの下半地山部井筒壁が立ち上がり、地表面に向かい強く開く上部を備える漏斗状の構造である。上半部の立ち上がり部分には、緩やかな斜面の中段状の構造が認められる。この段状の構造は8井戸跡でも認められる。そして8井戸跡では、この段状の部分から積石を施している。当井戸跡では積石は認められなかったが、覆土下半には多量の礫が間隙少なく出土していることから、上半部の漏斗状に開く部分には、礫に依る積石構造が示唆され、漏斗状に開く地山部分は、井戸の掘方であることが推定される。

覆土は、上半が被覆土で直下に多量の礫を伴う覆土が堆積していた。

底面は遺構確認面下1.76mのⅪ層土に達し、径64～74cmを測る。

また、外部施設は、周辺にも当該井戸跡に伴うと考えられる施設も認められていない。ただ、試掘トレンチに因り外部施設が失われた可能性も否定出来ないが、限られた部分だけであることから、恐らくは特別な施設構造を備えない構造であったと考えられる。8井戸跡でも周辺部での外部施設と判断される遺構は未発見であった。

出土遺物は軟質陶器がやや目立ち、土師質土器皿は小片が少量認められた。石製品では0767・0772・0774の3点の上臼、807の下臼、0837・0839の石鉢2点があり、砥石（荒砥）0886・0925の2点がある。石造品では宝篋印塔の塔身1096が出土している。

また、掲載出来得なかった出土遺物がある。それは、表土層除去の折り、トレンチ底面の露呈作業中に、トレンチ底面と同位面で漆器片の出土が確認された遺物である。この漆器片は約7cm×10cm程の大きさの残存片で、椀とは異なり、厚さ数ミリの薄い

板状の木地に黒漆を塗布し、朱漆で鶴を意匠とする細かな文様が施されていた（多くは漆塗膜のみが残存）。しかし、確認段階だったことから、調査実施までの期間の保存を試み、相応の現状保存策を講じ備えたが、調査実施までの期間に、幾度もに亘る雨水や、湧水による冠水等を被り、調査時には漆器の確認が出来ず貴重な資料を失ってしまった。調査上の失態である。

第8号井戸跡（第137・138図）

当井戸跡は、調査区北西部の北端で発見されている。重複する遺構は8号溝のみで当井戸跡が新しい。

形状は、底面から60～70cm程までは地山を壁面とし、この上位に礫を積み上げた井筒構造としている。この礫を積み上げた壁は南半側で認められ、覆土内に混入した多量の礫は、残存部分より上位、若しくは北側壁面に積み上げられ、崩壊した壁材と考えられる。

底面は、遺構確認面下2.03mでⅪ層土直上に達し、径54～66cmを測る。

掘方は、底面から70cmより上位では、地表面に向かい開く漏斗状の形状も、北壁は東・南・西壁より立ち上がりは急である。この上部掘方の下端部分は、南半分やや緩やかな傾斜面を構成しており、積石はこの部分での残存である。北面部分の同部は、積石の残存が認められなかった。これは、傾斜度が急な事に起因して崩落したのか、若しくは、当初よりの積石を創意なかったのか明定しかねる。

出土遺物は土器類が少なく、石製品・石造品が多く出土している。

石製品では、777・781・791の上臼3点、791・808・809・811の4点の下臼、817の茶臼（上）、818の茶臼（下）、831・839の石鉢2点、1001の手持ち砥石1点、砥石（荒砥）852・857・859・871・872・879・880・889・912・989の10点、1148・1151の磚2点を図化した。石造品では、五輪塔地輪1035・1037・1041、水輪1056・1060、火輪1066・1080があり、宝篋印塔笠1097がある。中でも、砥石（荒砥）0912は、今回掲載した砥石類の中で最大規模を有する資料である。

第9号井戸跡（792坑）（第156図）

当該井戸跡は、調査区北西部の8号溝に囲まれた内部で発見されている。

確認段階で確認面に礫が露呈した状態であった。そして、黄褐色のシルト質の覆土も広範囲に認められていた。

調査着手後、落ち込みに広範囲に礫が分布する状態が確認出来たことから、セクションベルトを撤去し、分布状態を写真と図面で記録を留め、下層の調を継続した。しかし、礫を撤去するにつれ、地山土が中央に向かい浅い皿状に窪みながら露呈され、中心部分でも地山土が確認出来た。この事により、当該の9井戸跡とした落ち込みは、井戸跡ではない遺構であることが確認された。

しかし、皿状の落ち込みにただ礫が集積された状態であったことから、遺構種も判明できなかった。このため、当該の遺構を集石遺構とし、第2号集石遺構とした。また、井戸跡の遺構番号登録を終え、他の井戸跡も調査が進行していたので、番号の変更は行わず欠番扱いとした。詳細は後述する。

第10号井戸跡（第138図）

当井戸跡は、調査区内北西部の8号溝に囲まれた内部で発見されている。そして、この8号溝に囲まれた内部でも、東側掘立群の中で発見されている。

重複する遺構は、32・33号掘立であるが、双方の新旧関係明確ではないが、他に重複する柱穴4基は当井戸跡を切っている。このことから、当井戸跡が号掘立に先行する可能性が推測される。

形状は、上半部がやや開く構造で、東側底面付近がオーバーハングしている。

底面は、遺構確認面下1.07mでX層土に達し、径76cmを測る。

構造は、地山を井筒にする円筒形に近く、上半部の開く状態は、前述した井戸跡とは異なる事から、壁面の崩落等も考慮される。

出土遺物は、上層で図示した0527～0539の3点の土師質土器皿が出土し、下層で0536の土師質土器皿が出土している。また、この0536土師質土器皿の所

産時期が13世紀台に比定出来、当遺跡では1128板碑（弘安8年か応安8年）（1285年か1375年）と共に、最古の遺物群に含まれる。

第11号井戸跡（第139図）

当井戸跡は、調査区内北西部の8号溝に囲まれた内部で発見されている。そして、この8号溝に囲まれた内部でも、西側掘立群の中で発見されている。

重複する遺構は、24号掘立・1835坑が在るが、双方との新旧関係は不分明である。他に、柱穴等の重複関係が想定されるが、確認段階では重複の無い判断を下したが、類似する覆土の場合は明言し兼ねる。この事から、柱穴群と本跡との新旧関係は不明瞭としておきたい。

形状は、遺構確認面下1.80mの底面から1.45m程垂直気味に立ち上がり、これより上位は強く開き立ち上がる。形状は漏斗型に類する。

構造は、井筒内部で付帯施設が出土しなかった事から、地山を井筒とする構造である。地上施設は不明である。断面は円筒形である。

底面は、地山XI層土に達しており、この層が湧水層である。

出土遺物は、掘立群中に在りながらも比較的少ない。石製品では小破片が4点・角閃石安山岩製の不明石製品（形状は空風輪に似る）1点などが出土した。

第12号井戸跡（第139図）

当該井戸跡は、調査区南西部分でも南西側掘立群の西側のやや南側で発見されている。

重複する遺構は、39号溝・294坑と接する状態で切り合う。この為、それぞれの切り合い関係は明確に出来なかった。

形状は、筒型の浅い形状である。

底面は、遺構確認面下78cmでVIII層土に達し、径53～66cmである。極小規模な井戸跡である。

また、当該井戸跡では、遺構確認面下10～20cm程の東側壁面に、比熱に因ると考えられる赤橙褐色に変色している部分が認められた。しかし、覆土内等には、炭化物・灰等の火を燃やした様な痕跡は認め

第4章 調査I区で発見された遺構

られなかった。調査ではこの比熱酸化部分についての問題解決には至らなかった。

出土遺物は殆ど無かった。

第13号井戸跡（第139図）

当井戸跡は、調査区内北西部の8号溝に囲まれた内部で発見されている。しかし、区画域の北側の部分に当り、掘立群の占有位置からは北側にあたる。この北側部分は、3本柱の掘立施設・円形配置の掘立施設など、8号溝に囲まれた範囲の中でも通常の状況とは異なる部分であり、この状況は、43号溝を隔てた部分でも同様である。

重複する遺構は、40（63）号溝・号掘立がある。新旧関係は号掘立との関係は不明である。40（63）号溝との新旧関係は平面精査・土層断面でも確認出来なかった。このため、共存関係であった可能性も否定出来ない。

形状は、遺構確認面下1.2mの底面から直線的な壁が開きながら立ち上がる。断面は鉢状である。

構造は、井筒などの遺物が未発見であったことから、地山を井筒にする構造であったと判断される。

底面は、IX層土に達している。

出土遺物は無く、礫が多少出土した程度であった。

第14号井戸跡（第140図）

当該井戸跡は、調査区北東部分、3（54）号溝に区画される北側で発見されている。

重複する遺構は、50号溝1基であるが、部分的に接する状態であるため、双方の新旧関係は不分明である。また、東側1.4m程の至近に15号井戸跡が位置している。

形状は、底面から95cm程まではほぼ垂直に立ち上がり、これより上位へは直線的に開き立ち上がる。遺構確認面での上面径は1.15～1.20mである。全体に細身の感を受ける井戸跡である。

底面は、遺構確認面下1.68mでIX層土に達し、径62cmを測る。

構造は、地山井筒とする円筒形を基調とする。

覆土は、下層に茶褐色の砂質土が充満し、中位より上位には、多量の礫が出土している。礫は間隙も

少ない事から、人為により投棄されたものと判断される。

出土遺物は、底面より10cm程遊離して五輪塔火輪1079が出土しているが、他には出土遺物が得られなかった。

第15号井戸跡（第140図）

当該井戸跡は、調査区北東部分、3（54）号溝に区画される北側で発見されている。

重複する遺構は無い単独の井戸跡であるが、西側1.4m程の至近に14号井戸跡が位置している。

形状は、遺構確認面下1.26mの底面からやや開きながら立ち上がり、底面から55cmの部分に中段を設けている。東側は、この中段から開いて立ち上がる。西側は立ち上がりより若干開く程度で立ち上がる。断面は逆「ハ」の字状に開く。

底径は59～72cm程で楕円形状を呈し、X層土上面に達していた。

構造は、中段に礫を積み壁面補強乃至足場を設けていたと考えられる。覆土中位から礫が多く出土しており、恐らく崩落した石積みの礫と考えられ、一部には、積まれた状態を残しながらずれ落ちた状態で認められている。

出土遺物は、若干の土器類と、茶臼（下臼のハンギリ部分）0825、地輪1044、板碑1104などが出土している。

第16号井戸跡（第141図）

当該井戸跡は1号溝4区・50号溝・61号溝・56号溝・57号溝・59号溝により区画される内側、掘立1群と共に発見されている。

重複する遺構の無い単独の井戸跡である。

形状は、断面漏斗状を呈する。遺構確認面下1.82mの底面から内湾するがほぼ垂直に立ち上がり、底面から1.17mの位置で外傾し、地上面に向かい広がっている。

規模は、底径0.6～0.64m、地上径1.40～1.56m、深度1.82mを測る。

構造は、枿木等の施設が無い。地山を井筒にする。下半部の内湾状態は、湧水に伴う壁面の崩壊と判断

される。湧水層はX層であり、深度の深い井戸跡である。出土遺物は、土師質土器皿0543・軟質陶器内耳盤形土器0545・砥石（荒砥）0949・0976が有り、この他に漆器椀がある。

第17号井戸跡（第139図）

当該井戸跡は上述16号井戸同様、掘立1群の分布域で発見されている。また、区画域内では、16号井戸の反対側の西側で発見されている。

重複する遺構は無い。

形状は、遺構確認面下1.44mの底部から開きながら立ち上がり、底面から1.1m、遺構確認面から30～35cmの高さで、幅30～40cm程の平らな中段を設けている。

構造は、底面から60cm程上位の位置に自然木を井桁状に組んでいる。しかし、この井桁状の組木以外に枠等の施設は発見されていない。恐らく、井筒は地山のままで、井桁状の組木は、湧水位が低い場合の足場的な施設と思われる。

覆土内上層には、多量の礫が廃棄されていた。遺物は、この礫の上面で多く出土している。出土遺物は多く、土器類の他に、茶臼（下臼）0819・石鉢0830・板碑0918・砥石（荒砥）0918などがある。また、特筆される遺物に、不明土製品0738～0739がある。両端を楔状にし、中央は両側から寄せ縦位が溝状になるように成形してある。同種の製品は1号溝4区で出土している。

第18号井戸跡（第139図）

当該井戸跡は調査区内北西部分に位置し、19号井戸切り構築し、40（63）号溝に切られている。

遺構確認は、40（63）号溝の調査中に存在が窺われ、40（63）号溝の底面を精査して確認された。

形状は、遺構確認面下1.2mの底面から開きながら立ち上がっている。断面は鉢状である。

構造は、底径54cm、上面径1.3～1.5m、深さ1.13mである。小規模井戸である。

出土遺物は、石鉢0838がある。また、土器類では15世紀前半と考えられる。

第19号井戸跡（第139図）

当該井戸跡は調査区内北西部分に位置し、18号井戸に切られ、8号溝東辺溝にも切られている。

形状は、遺構確認面下1.75mの底面からラップ状に開きながら立ち上がっている。

構造は、井戸枠・井筒等の施設の痕跡認められない。このことから、地山を井筒にする構造と考えられる。断面はラップ状に開くが、基調は漏斗状であると判断される。出土遺物は、土器類が少量出土している。土器からは、15世紀中頃が上限であろう。

第20号井戸（第139図）

当該井戸跡は、8号溝東辺溝に切られている。

形状は、遺構確認面下1.7mの底面から緩やかに立ち上がり、上方向に向け垂直気味に立ち上がっている。断面は筒型に近い。

構造は上半部が8号溝により失われているため詳細不明である。出土遺物は、図示した軟質陶器内耳鍋形土器の他、少量の土師質土器皿片がある。

時期は15世紀前半頃と考えられる。

第21号井戸跡（第146図）

当該井戸跡は、遺構第3調査面の調査の段階で、67号溝の底面で確認された。しかし、井戸跡の存在は、遺構第2調査面の折、30a号溝の西側部分で何らかの遺構の存在は確実であったが、遺構確認面が高すぎたのか、明確に平面形状の把握が出来なかった。このため、遺構第3調査面の露呈段階で再度確認を実施する事で、調査を一時保留した。そして、67号溝の底面で調査を実施する状態に至った。しかし、井戸の径が細く、湧水・地山の崩壊も有ったため、底面の露呈は諦めた。

形状は、漏斗状を呈する。底面までの深度は不明である。調査では、遺構確認面下1.4mまで掘り下げた。

構造は、井筒等の出土は無かった。このことから、井筒は円筒形状の地山である。覆土内から、礫が出土しているものの、この礫により壁体の補強等が行われたかの状況は把握できなかった。恐らく、礫は廃棄されたものと考えられる。

第4章 調査I区で発見された遺構

出土遺物は、五輪塔火輪1083がある。出土している火輪の中で最も大きい規模である。

第3項 小結

井戸跡は21基を調査・掲載した。しかし、これらの井戸跡が単独で機能したのではなく、周囲に在った遺構との共存により機能を全うした筈である。当遺跡の場合、中心的存在を示す遺構は溝状遺構と考える。その中でも、2号溝が盟主としての位置付けが出来る。多くの遺構は、この2号溝の影響下により構築されていることも明らかである。この影響下で掘立が構築され、井戸が構築されている。

第6節 炉跡

第1項 概要

炉跡は2箇所2基発見されている。

発見された場所は、調査区北西部分で8号溝に囲まれた内部の南東部分で1基(第1号炉跡)、調査区北東部分で1基(第2号炉跡)は発見されている。

この他、38号溝の遺構確認面で被熱変色した塊状焼土が50cm程の範囲の中に出土している。ただし、38号溝の覆土を切り込む遺構とは異なり、覆土内に廃棄された状態であったことから、炉跡としての判断は下さなかった。

調査区北東部分で発見された第1号炉跡は、付属する施設と考えられる付帯遺構を伴っている。

調査区北東部で発見された第2号炉跡は、52号掘立と重複する。

第2項 第1号炉跡(第147～149図)

確認時の状況(第147図)

第1号炉跡は調査区北西部で、8号溝に囲まれた内側の南東部分で発見されている。

遺構確認段では、8号溝に囲まれる南東部分には、塊状焼土・粒状焼土・鍛造薄片などを含む茶灰褐色土で被覆されていた。この茶灰褐色土は、地山層には認められない事から、何らかの人為に因る行動結

この中で、掘立と井戸の関係を分布上で見ると、掘立が未発見であった調査区南部分は、矢張り井戸跡が未発見である。この事は、掘立と井戸を一体として捉えなければ成らない事をも現している。

また、溝状遺構などには、洪水被災により埋没している遺構がある。上述した状況があれば、井戸も洪水被災している筈である。しかし、調査では、この事は明らかに出来なかった。これは、調査の反省点の1つである。

今後は、各遺構の詳細な時期が確定される事により、相互間の関係も因り鮮明に成る事は明らかである。

果の所産と判断される。後述する8号溝や、第2号炉の状況から、「整地」が行われた事に因る結果が、この茶灰褐色の成因と考えられる。

この状況では遺構の存否も判然としないため、十字にセクションベルトを設定して、遺構確認面から3～5cmを平面的に掘り下げて遺構確認を行った。この結果、8号溝東側南北溝寄りにかけて、黄褐色siltが約4m×3mの範囲に広がりを見せていた。当初は、部分的な地山土・倒木跡の認識であったが、地山層に認められない色調であったのと、3(54)号溝に設定したトレンチの断面に認められるsilt層に類似する事から、二次堆積の地山土である事を認識した。

また、遺構確認面の平面状況を第147図に示した。確認時には、平面でA～Cの3者の茶灰褐色土の分布が認められている。

A：粒状・粗粒状焼土多量・塊状焼土含有・炭化物含有・粒状滓少量・鍛造薄片含有。

B：粒状焼土・炭化物・粒状滓を含有・鍛造薄片含有。

C：粒状焼土少量・炭化物若干。

特に、西側では南北に延びる状態で分類したA～Cの各覆土が確認されている。そして、北西側では、

焼土量も多いことから、被熱処理の主体は、当該部分であろう事が判断された。また、平面精査段階でも鍛造薄片が確認されていた事から、鍛冶炉の存在が予見出来た。故に覆土の平面分布状況を作図化した次第である。

このA～Cの状態は、周辺部の柱穴跡でも同様な状態が認められている。この柱穴跡の覆土から、この遺構確認面を切り構築された事を現しており、掘立が幾度も構築されるある段階に、生成された土である事が判断され、恐らくは、整地された結果であると推定される。

また、この分布域を切る柱穴跡も確認されている。調査は、第2段階として、黄褐色土 silt (洪水堆積層) を除去する掘り下げを行った。

この結果、北側には遺構確認面下10～15cm程で平坦面が確認出来、南側では、下層に溝状遺構の落ち込みが8号溝と切り合う状態で認められた。

この段階で、炉跡は単純な炉体だけの遺構ではなく、付帯施設を伴う事が確認された。これにより、北側の平坦面を「第1号炉跡テラス」、南側の落ち込みに「第62号溝状遺構」の名称を与え底面の露呈を行った。また、この62号溝の覆土には、羽口・鉄滓・砥石（荒砥）などの鍛冶に伴う遺物が含まれている事が確認された。

炉跡

炉跡は茶灰褐色の範囲の中、北西側で発見されている。

調査は、西側の範囲に南北のセクションベルトを設定し、これに土層の状態により、概ね直行するセクションベルトを設定して掘り下げた。

この結果、遺構確認面下15～20cm位で多量の塊状焼土を含む、底面と考えられる土層の変換部分に達した。この面は各部分で酸化被熱が異なり一様な状態ではなかった(挿図には点描の濃淡で表現)。この状態は、塊状焼土を多量に含む土を埋設したかの状況でもあったが、地山面まで断ち割った状態で観察した結果、掘方面にVI層土と思われる土を埋設し、この埋設土が被熱する状態と判断した。そして、こ

れらの事から、この面を底面とした。底面はVII層土を使用している。

しかし、整地段階での攪乱、当該炉跡を切る柱穴跡により、上半部分も失われており、部分的に不明な箇所も有る。

特に、土層断面では、横断面Gの周辺では、柱穴跡の重複も著しく11層と12層の関係が不分明である。これに因り当該の炉の構造も明確ではない。

形状は上述の状況であるが、恐らく長方形を呈すると考えられる。

土層断面Gの部分までは焼土も認められ、南北に括れる部分でもある。この部分周辺で立ち上がっていたのかもしれない。

ここで炉跡としている遺構の規模は、総長4.2m・全長1.68m・幅0.5～0.54m、主軸方位北一六度一東である。

一方、土層断面Gより南側では、酸化塊状焼土に混じる状態で、燻れた状態の被熱塊状土がやや纏まり、不整形で縦列状態の範囲に出土している。この部分の焼土は、断面I-I'で下層に延びる状態で認められる10a層である。この焼土は、覆土13層を切り込む状態で、覆土内に掘り込まれた、土坑状の遺構内廃棄された状態と考えられる。また、11層土の上面には、鉄滓・羽口が集積された状態で出土している。

この土坑状の落ち込みは、細長い長方形を呈し、規模は、軸長1.21m・幅0.35m、主軸方位北一二度一東である。

この土坑状の掘り込みは、炉跡の可能性も考慮されるが、土層断面Gより以南の部分は炉に対する作業場的な性格を有するの判断としない。

テラス部分

テラスは、上述の炉跡部分の東側で、東西3.5m、南北1.78mを規模に不整形形状に広がっており、洪水堆積による黄褐色土 silt により被覆されていた。この部分からは、集積された状態で礫が出土している。東側を礫群1、西側を礫群2とした。

底面の状態は、礫群2の部分に向かい緩やかに皿

第4章 調査I区で発見された遺構

状に窪んでいた。

また、テラスの底面では、柱穴跡が5本確認され、洪水堆積以前の掘立の柱穴と判断される。このテラス部分は、作業スペースの一部分と考えられるが、底面の硬化が認められなかった事から、常時使用されるスペースとは異なる事も推測される。

62号溝部分

62号溝とした落ち込みは、結果的には溝状遺構ではなく、寧ろ、大小二つの横長形状を呈する土坑状の落ち込みが接続した状態である。

規模は、長さ4.66m・幅1.67～1.85m、主軸方位は、北-88度-西を測る東西に軸方向を採る落ち込みである。

露呈は、前述した様に黄褐色土 silt (洪水堆積層)を除去後に行った。黄褐色土 silt の直下には、樹木片を含む黒灰褐色粘質土が堆積していた。この粘質土は2号溝で確認された下層の粘質土に類する。これは、風化堆積の細かな粒子の土が水の作用に因ると考えられる。

この状況は、停滞水域に堆積する状態に似ており、常時湧水若しくは人為により、ある一定度の水位が保たれていた可能性も推測される。

8号溝の状況

8号溝は、当跡東側に接するが、当跡埋没以後に構築されている。

この8号溝の覆土内、特に南側から南東部分にかけて、大量の羽口・鉄滓・鉄器片・鍛造薄片が出土している。これらは、当跡周辺が「整地」され、周囲にあった言わば廃棄物（小鍛冶廃棄物）を当溝に再廃棄している。

この8号溝と第2号竪穴状遺構の間には、扇状に9m²程の遺構が構築されなかった部分がある。この部分に小鍛冶廃棄物が集積されていた可能性が、8号溝での遺物出土状態であろうと推測される。

第2号竪穴状遺構で状況

2号竪穴は当該炉跡の南西方向5m程の至近に位置している。

この2号竪穴も洪水被災し埋没している。洪水堆

積土(黄褐色土 silt)は遺構確認面から覆土中位に達している。この状況は、62号溝とテラス部分の洪水堆積土の状況と同じである。

この2号竪穴からは羽口片が出土している。

洪水被災の状況と羽口の出土要件は、この状況か双方が同時に存続していた可能性は非常に高く、炉跡で行われていたであろう小鍛冶に関わる遺構であることが判断される。

出土遺物

出土遺物は、炉内部から土師質土器皿0569、テラス部分からは磚状に加工された石製品1143・1164、砥石(荒砥)0844・0869。62号溝部分からは土師質土器皿0393・0394。軟質陶器内耳鍋形土器0395。砥石(荒砥)0951などが出土している。

洪水被災遺構で砥石(荒砥)が出土しているのは、このテラス部分が唯一である。

これらの出土遺物は、洪水堆積土の下層の遺物であり、洪水の時期の上限を示す遺物である。

土師質土器皿からは、15世紀を前後する頃と考えられるが、詳細な検討を加えないと、明確な年代は言及し得ない。後章で再考したい。

第3項 第2号炉跡(第150図)

概要

第2号炉跡は、調査区北東部分の掘立分布域1内の52号掘立と重複して発見されている。

遺構確認段階では、52号掘立及び周辺遺構の確認が出来、それらの遺構の調査を終了させた。これらはVI・VII層土面で平面精査を実施したが、当該炉の周辺では、周囲より6～8cm程高く、灰茶褐色土で被覆されていた。この灰茶褐色土には焼土が認められ、位置が掘立の内側であった事から、地山までの露呈を目的に周囲を掘り下げた。

この結果、60cm×30cm程の範囲に塊状焼土が集中して確認された。

この塊状焼土群の個別の塊には、吸炭により黒色を呈する内側部分と、外面が被熱酸化により橙褐色に変色していた。この状況から、木炭を燃料として

燃やした遺構とは思われず、樹木を燃料にする遺構を想定した。

炉体

炉体は東西に軸を採る楕円形状乃至瓢形を呈する。規模は、長軸61cm・短軸34cm、主軸方位は北-90度一東で真北の直行方向に主軸を採っている。

主要な塊状焼土の分布範囲は西側に径34cm程の範囲内にあり東側に細かな塊状焼土が多く認められる。このことから、旧状は瓢形を呈する可能性がある。

炉体内部は、炉壁材であろう塊状焼土で充満しており、深さも遺構確認面下5cm程で、確認面に露呈していた塊状焼土部分を除去すると底面が露出した。

出土遺物

出土遺物は手持砥10,141点であった。被覆土、確

認面、覆土内でも鍛造薄片等の、小鍛冶に関わる微細遺物も認められなかった。

第4項 小結

第1号炉跡は、焼土の状態での炉跡としての認定を行った。しかし、一方では鍛冶操業に伴う焼土などを廃棄場所としての推測も出来る。調査段階での誤認も憂慮されるが、羽口・鉄滓・鍛造薄片などの直接的な遺物の出土が揃っている事、焼土の出土範囲が限られている事から、炉跡として確定視出来る。この長方形の大形炉と、2・8号溝出土の荒砥から、この炉で製作された製品は、恐らく日本刀であった事が類推出来る。

第7節 墓跡及び墓関係遺構

第1項 概要

葬送儀礼関係遺構として、墓跡・火葬跡・その他(骨を伴う遺構)を総称した。

墓跡は4基・火葬跡1基・その他1基である。

この内、その他にした遺構は骨を伴う土坑状の遺構である。調査段階では第2号土壇墓の名称を与えた。しかし、骨がヒトか動物なのか確認する術が無かった。

第2項 各遺構の概要と所見

第1号土壇墓 (第151図)

当墓跡は、調査区南西部で発見されている。

地山の被熱は遺構確認面下5cm程度で、色変は微弱で、被熱により可塑性を失った如くの状態、底面下位への影響は顕著な状態ではなかった。

残存状態が悪いため詳細な状態は不分明である。

しかし、この残存不良な状態は、当該炉が廃棄された後、何らかの行為が加わり、削平、平夷された事が推測出来る。この事は、整地として理解される。この行為が重複する52号掘立とどの様な関係にあるのかまでは推測し得ない。

周囲の遺構には、西側8m程に9b号溝、北側至近の位置に9a号溝が位置し、南西2~3mほどに柱穴跡4本が発見されている。比較的遺構の分布が散漫部分である。

遺構確認段階は286号土坑の名称を与えたが、調査着手後埋葬人骨を確認したので、土壇墓名称に切り替え、第1号土壇墓とした。

土壇墓は郭と棺から構成されている。郭は縦長方形を基調に採る不整縦長方形である。規模は、長軸1.26m、最大幅0.84m、深さ0.32mを測る。

棺は郭内に棺材・棺釘が残存していた。棺材の残存は南東側で比較的良かったが、北西側では認められなかったが、推定棺材位置の内側と裏込め土には、顕著な違いがあり、失われていた北西側棺材の位置は凡そ推定出来た。図上には、その推定位置を示した。

この推定された棺の規模は、長軸0.82m、同直行軸0.56m、高さ0.28+ α mを計測する。この数値では、1尺(≒30cm)での公約数が求められない。

覆土は、棺内が黒褐色土と塊状VII層土・塊状VIII層土の混土で充満していた。裏込めは黒褐色土に塊状

第4章 調査I区で発見された遺構

VII層土を含有する土で埋設されていた。

出土遺物は、北側の部分で、棺の位置に半ば乗った状態で土師質土器皿0577・0578の2点が出土し、底面中央寄りで銅銭0579～0584の6点が出土している。また、棺の右下（南東部分）の位置からは、棺材の側板固定の鉄釘が出土している。この鉄釘の出土状態から、鉄釘は元位置を保っていると判断される。

当土墳墓の時期は、出土遺物から、銅銭永楽通寶の初鑄は1408年。土師質土器皿は、器厚が均質、外反傾向が顕著、体部も長い事から、15世紀中頃の年代が考えられる。

当土墳墓は棺材を残す稀有な類例である。当該期で棺が出土し、平面規模が判明した類例としては初例であろう。

第2号土墳墓（第151図）

当土墳墓は調査区北西部分の南西部に位置し、調査着手以前に行われた試掘トレンチに切られ南側を失っている。

周囲には柱穴跡が多数発見されており、24号掘立が重複する。

調査着手段階は1852土坑として着手したが、骨の出土により第2号土墳墓の名称を与えた。しかし、出土した骨は、葬位の状態を示す状態ではなく、散乱する状態であった。このため、土墳墓と土坑の切り合いに因り攪乱された状態とも思われたが、トレンチ際に設定した土層断面では所見が得られなかった。

また、骨は整理段階で確認できなかったため、被葬対象がヒトなのか動物なのか明らかに出来なかった。

墓壙とする掘方坑は南半分を失っているため詳細は不明である。

残存部分の規模は東西4.8m、南北1.08m、深さ0.14mである。

第3号土墳墓（第151図）

当土墳墓は調査区北西部分で、8号溝が区画する北東部分で8号溝に切られる状態で確認された。

周囲の遺構には第2号集石が西側1.5m程に位置し、南側5m程に6号墓（1004坑）（首桶埋葬土坑）が位置する。この他の遺構は無く、当土墳墓の周囲が空白になっている。

当土墳墓は調査着手段階で骨の一部が露呈していたため、着手段階で土墳墓名称を与えた。

当土墳墓は8号溝に切られ東側半分を失っている。規模は、軸長1.04m、残存幅 $0.51+\alpha$ m、深さ0.15mであった。

葬位は、頭部を北にする横臥位で東を向く。出土人骨は、四股骨・尾骶骨が残存していた。頭蓋骨は、葬位状態からみて8号溝の攪乱により失われたと判断される。

出土遺物は、調査段階では銅銭が複数枚出土したが、整理事業段階では確認できていない。

時期は8号溝に切られている事から、15世紀後半以前と考えられる。

第4号土墳墓（第151図）

当土墳墓は調査区北東部で、3（54）号溝と重複し、3（54）号溝調査の途中で発見された。このため、遺構は部分発見で全容は不明である。

重複関係は、当土墳墓が3（54）号溝を切る状態である。また、68号溝を切っている。

形状は、上述の状況のため明確ではないが、恐らく縦長方形を基調とすると考えられる。

規模は長軸側残存長0.84m、幅0.48m、深さ0.35mである。

人骨と判断出来る骨の出土は無かったが、一部で骨粉化した状態で骨の痕跡が出土している。

出土遺物は、銅銭数点が出土したが、整理段階で確認出来たのは1点のみである。銅銭は永楽通寶で、初鑄は1408年である。時期はこの永楽通寶の初鑄年が上限である。

第5号土墳墓（第152図）

当土墳墓は、第3調査面の露呈後の平面精査中に確認された。確認後調査実施になり、人骨の出土により土墳墓の名称を与えた。名称変更するまでの土坑名称は4990土坑である。

重複する遺構は、30b号溝1条である。

形状は、不整縦長方形を呈する。挿図には、1号墓で発見された棺の外寸を破線で示した。

出土した人骨は、四肢骨と脊椎から頭部の骨粉化した部分である。葬位は、出土状態から西向きの横臥位である。

出土遺物は、土師質土器皿0586・0587の2点と不明棒状鉄器である。

時期は、土師質土器皿の年代観で14世紀末頃と思われる。

第6号土墳墓（第152図）

当土墳墓は調査区北西部分、掘立2a群の分布域に位置している。

当墓は通有の土墳墓とは異なり、頭部だけを埋葬している。所謂「首塚」である。

周辺の遺構には、北側5m程に3号墓が位置し、東側の傍らには8号溝東辺溝が南北走している。西側には掘立2a群の柱穴跡が散在する。

当墓は円形の郭を二重に掘り、外周の内側南西寄りに主体部を設けている。外周部は径0.7m×0.61mを計り楕円形である。

主体部の棺には桶を用いている。出土時は、蓋が内側に落ち込む状態であった。土層断面3層中で出土している。主体部の郭は径0.26～0.28mを計り、桶は殆ど隙間の無い状態で埋設されている。

桶棺内部からは歯と銅銭6枚が出土している。

桶は、底径26cm、高さ20cmを計る。底板は3枚構成、側板は16枚、腰部の箍は二重に張り、中・上の都合4本の箍で締めている。蓋は遺存が悪いため詳細は不明だが、底板と同じなら3枚構成であったと思われる。板は柾目を使用し、箍は竹を細く割き編んだ細い作りの箍である。

出土遺物は、銅銭6枚が出土している。出土状態は桶の底面東側の立ち上がり部分で1枚と5枚重ねに別れて出土している。銅銭は全て永楽通寶である。

歯は、底面直上層土の排土に混じって出土している。このため、位置は明確ではない。

時期は、永楽通寶の初铸年1408年を上限にせざる

を得ない。

調査II区で発見されている57坑も、桶埋葬の首塚と考えられる土墳墓である。

第1号火葬跡（第152図）

当跡は、調査区南西部で、9a号溝の折れる部分に寄って発見されている。周囲には、南に1m程に2479坑が在るのみである。重複は無く単独遺構である。

遺存状態が非常に悪く、遺構確認面下数cmで底面に達している。

形状は細長い楕円形状である。だが、遺存状態が不良なため、残存部は本来の一部の可能性もある。

規模は、長軸1.40m、幅0.34mである。主軸方位は北-10度-西を示す。

底面は概ね平坦である。そして、底面からは、灰・焼土に混じる状態で焼骨片が若干出土している。

出土遺物は、無かった。

調査区内南西部分は1号墓と共に墓域を形成している可能性がある。墓域の形成は調査II区の北西部分でも確認されている。

第2号火葬跡（第153図）

当火葬跡とした遺構は、調査段階で細粒化した焼骨が出土事により名称を与えた。

発見場所は、調査区北西部分、掘立2b群の北側で31号掘立の北端部で重複する状態で発見されている。また、1493・1494・1495坑に切られている。しかし、31号掘立との新旧関係は不明である。

規模は、南北0.7+αm、東西0.67m、深さ0.04mで遺存が悪い。底面は部分的に吸炭に因る燻れた部分が認められている。しかし、作図以前に手違いにより消滅させてしまった。

出土した焼骨がヒトか動物の物なのかは不明である。焼骨以外の出土遺物は無かった。

2740・2742土坑（第153図）

この2基の土坑は、調査区内北西部の8号溝西辺溝に寄った位置で発見されている。周辺には遺構が認められず、遺構確認段階は、7号竪穴の西と南の位置で確認されている。当初は、7号竪穴がこの両

者に伴う施設と考えた。

この両坑は、VII層土下面の遺構確認面に、濁った暗褐色土の長方形の落ち込みと、その内部に五輪塔の地輪を据える遺構として確認された。即ち、造立された五輪塔を伴う墓跡と判断した。しかし、7号竪穴は、僅か数ミリの厚さで調査開始直後には無くなってしまった。このため7号竪穴は除外とした。そして、この両坑の調査の結果、2742土坑は地輪を、2740土坑は火輪を逆位にして埋設してあった。

2740土坑の外側で確認できた落ち込みの規模は、南北10.8m、東西0.84mで、中央やや南側に寄った部分に、更に東西0.7m、南北0.47mの規模で長方形

状に落ち込み、その中央部分に高さの低い火輪が逆位で据えてあった。内側の長方形部分は褐色質の覆土であった。

2472土坑は、南北1.72m、東西0.7～0.94mの外側の落ち込みの内部に、南北0.5m、東西0.4mの不整正方形の落ち込みを伴っている。そして、この内側の落ち込みに五輪塔地輪が据えられた状態で出土している。

2740土坑で出土した火輪が地輪ならば、双方とも造立五輪塔として判断されたが、火輪の出土により、遺構の性格が曖昧になってしまった。

第8節 集石

第1項 概要

集石の遺構名称は、礫の出土状況により冠称させている。したがって遺構の性格に応じた名称ではない。このため、縄文時代の集石遺構とは異なるものである。この集石遺構は、2箇所での状況に応じている。

第1号集石・第2号集石共に調査区北西部分の8号溝に囲まれた内部での出土である。

第2項 遺構の概要と所見

第1号集石（第154・155図）

当該の集石は、8号溝に囲まれた内部の南側中央部で出土している。

遺構は、元々第5号竪穴状遺構として名称させたが、調査過程で58号溝との切りあい関係が不明瞭になり、形状も判然としなくなった。このことから、竪穴状遺構の名称を廃し、遺物の出土状態に頼り集石の名称を与えた。

調査は、セクションベルトを2本設定して開始した。しかし、遺構確認面直下から礫が出土し出し土層を観察出来る状態ではなかった。

礫は中央部分に集中して出土している。礫は河原石である。この礫が5号竪穴に伴うのか、または、

58号溝に伴うのか明らかに出来なかった。

南側・南東部分の壁の立ち上がりは臃げながらも露呈出来たが、竪穴状遺構の北側と58号溝が重複する部分は不明で露呈出来なかった。このため、竪穴状遺構としての構造が不明瞭な状態に陥っている。

底面は平坦であるが、硬化面等は確認されていない。また、底面では、柱穴跡の施設も未発見である。

厳密には矢張り竪穴状遺構であろう。

出土遺物は、土師質土器皿（0595～0598）・内耳盤形（0599・0560）などがある。

第2号集石（第156図）

当集石は、8号溝に囲まれた内部の北東側で遺構の希薄な部分で発見されている。

遺構確認面では既に礫の露呈が観察されていたので、第9号井戸跡の名称を与えた。

調査は、当初より井戸跡であることを妄信したが、露呈される落ち込み内部の地山土により、井筒が無いことが確認できた。この段階で当跡は井戸跡とは異なる遺構である事が認識できた。

調査の結果、不整形とも不整円形とも言える形状であるが、不整形を呈する。

規模は、最大長3.3m（北西軸）、幅2.4m～2.65mを測る。深さは0.25m程であった。主軸は、軸の設

定が困難事から計測不能である。しかし、形状を方形基調とすれば北-10度-東位である。

覆土は上層に黄褐色土 silt(洪水堆積層)が被覆し、下層に黒褐色土が堆積していた。この洪水堆積層は、4号溝・42号溝・鍛冶炉(62号溝・テラス部分)・2号竪穴で確認されている洪水堆積層と同一である。

出土遺物は、礫に混じり石臼(上臼)0779・0785、

石臼(下臼)0793・0798、五輪塔水輪1058、磚状石製品1148・1158が出土している。

土器類では、覆土内から軟質陶器内耳鍋形土器の細片が1点出土している。

時期は、洪水被災から、3(54)号溝・43号溝1区・2号竪穴・1号炉・3267坑と同時期である。

当集石も、厳密には竪穴状遺構であろう。

第9節 土坑

第1項 概要

土坑の名称は、遺構確認段階で、確認された遺構の性格の明らかなものは、溝状遺構・竪穴状遺構・井戸跡などの名称を付与し調査を行った。しかし、遺構確認面で性格等不明なもの全て「あな」として土坑を付与した。また、これは規模の大小に関わる事無く例外を与えなかった。

また、掘立柱建物跡・掘立柱施設跡は、個別の柱穴跡を「土坑」として名称を与え、概念図・記録保存平面図で位置関係が把握出来た段階で、掘立名称を与えた。しかし、元の個別の土坑番号はそのままとし、呼称させている。

また、調査では「P」をもって「土坑」の名称に代えて用いた。

土坑は、総数4,991+ α 基を調査している。この中で、掘立を構成する柱穴跡は533基(柵列を除く)で、掘立以外で柱穴跡と考えられる土坑を除いた数は132基である。この最後の数の土坑が、通有「土坑」として扱い、この数以外の土坑を「ピット」の名称で扱っている。規模等は一覧表を参照して載きたい。

第2項 柱穴跡

柱穴跡は性格が明らかな小規模土坑である。恐らく、何らかの施設の構築に伴い、柱等の埋設に用いられたのであろうが、具体的な遺構(掘立等)が判明しなかったものである。

今回の調査では、柱穴跡(掘立を構成したものも含む)からは、埋設された柱の根元部分、柱痕が遺

存するものが多かった。柱痕を残す柱穴跡は総数157基に達している。この数字は、柱穴跡全体の3.14%に及ぶ。また、柱材を受けるために据えられた根石(据方)は145基ある。この根石に用いられた礫は、円礫がほぼ全体を占めるが、一部に石製品・石造品を用いている柱穴跡もある。礫を根石として用いる他に、柱材を据える時に、柱材の横に埋設し補強している柱穴跡も認められる。

第3項 土坑(第157~175図)

概略

ここで言う土坑は、上述した柱穴跡以外の坑(あな)を指している。今回の報告で図化掲載したものは、特徴的なものを扱った。

調査区内は、1・2号溝によりほぼ四分分割される状態で、これに符合する状態での掘立群の分布が認められる。土坑もこの状況にそぐう状態で掲載した。

これは、土坑と掘立との位置関係により、双方の存在による意義を、譬え僅かでも窺知出来ればと図っての意図である。

北西部分の掘立と土坑

調査区北西部分には、1群の掘立群が在る。この掘立群の周囲で発見されている土坑には、掘立との重複、掘立の主軸方位に類似する主軸方位を示すものなど、掘立との関連が推定出来る土坑も存在する。

しかし、多くの場合は個別の意義が不明である。

北東部の掘立と重複する土坑は、3057坑と7尺掘立の51号掘立・6尺掘立の52号掘立、3071坑と51・

第4章 調査I区で発見された遺構

52号掘立、この中で、3057坑と52号掘立は3075坑が52号掘立のP₁を切っている。また3075坑の主軸方位は53号掘立の主軸方位に類する。また、3071坑の主軸方位も53号掘立の主軸方位に類している。このことから、3057・3071坑は重複関係の無い53号掘立と共存した可能性が強い。

掘立との切り合い関係の無い土坑は、主軸方位が重要な要件と也掘立との共存関係が推測出来る。

この観点では、8尺掘立の54号掘立の主軸方位に

類する2086・3087・3272坑が54号掘立と共存した可能性が推測出来る。

また、洪水被災により以前と考えられる52・53号掘立の内、洪水被災に遭遇したであろうと考えられる53号掘立と、洪水被災で埋没した3267坑も双方が共存した事が判断される。

上述の掘立と土坑の関係が類推出来るのはこの北東部の掘立群だけで、他の部分では検証が出来ない。

この他の土坑については、尚の時間を必要とする。

第10節 水田跡

第1項 概要

水田跡は2面発見されている。この2面の水田跡は、調査第2面・3面で発見されている。

調査第2面は、中世遺構面で、局所的な状態である。

調査第3面は、古代遺構面で、面的な調査であったが、残存状況が悪く、部分的発見に止まった。

第2項 水田跡の調査

中世水田跡（第188図）

当該の水田跡は、調査区内北東部分で、57号溝・3（54）号溝・52号掘立に挟まれた部分である。

遺構確認は、3（54）号溝の東西走行部分南側に、3（54）号溝に平行して残存していた7号溝の痕跡を調査中に確認された。

3（54）号溝の東西走行部分の東端側の7号溝の痕は不分明な状態であった。このため、遺構覆土と判断された土を除去する過程で、鉄分を含む土層面

に達した。この鉄分を含む土層は、灰茶褐色土で、地山には確認されていない土層であり、鉄分を混入することから、ある程度の時間、常時水を被る状況があった事と判断した。

調査は、この灰茶褐色土を確認してから、同面の上面を露呈させた。この結果、部分的に畦状の高まりも認められ、更に棚田状に低い部分も認められた。

この露呈状況以外に当該部分を水田跡と判断した根拠は無い。発見は極局所的な状態である。

水田跡として考えた部分は僅か25㎡程度である。

古代水田跡（第189図）

古代水田跡は、調査面第3面目の調査である。

この古代水田面は中世遺構面の調査の段階で既に発見された遺構は、溝状遺構13条、19世紀の洪水層下の水田跡である。また、当該面で中世の水田跡調査区東端側で露出していた。このため、水田跡面露呈には最深部で15cm程を中世遺構面から掘り下げる事により、遺構確認面に達する事が出来た。

第5章 調査II区で発見された遺構

第1節 発見された遺構

第1項 概要

上強戸II遺跡（以下「調査II区」と表記）の調査では、遺構調査面として5面調査が実施された。しかし、この遺構調査面は、調査区内全体に及ぶ場合と、部分的な発見の状況がある。また、調査区全体が低台地の斜面部分に当たっているため、遺構面と遺構調査面の構成は複雑である。

また、時期の異なる洪水が2回確認されている。この洪水の時期は、19世紀後半、10世紀であった事が調査記録から判読出来る。

調査1面は中・近世面。調査2面は中世面。調査3面は古代面（As-B 軽石降下面）。調査4面は古代面（洪水被災水田跡）。調査5面はトレンチ調査であるが、古代 As-C 軽石の被覆遺構が確認・露呈されている。

調査面の複雑さは、低地に向かう緩やかな斜面部であることから、立地の地形に原因している。この調査面と遺構面の複雑さを解消するため、記述は「遺構面」（文化層）毎に整理し記述する。

調査1面は遺構1面と遺構2面に分離し、調査2面は遺構2面、As-B 軽石被覆水田跡を遺構3面、遺構4面は、古代洪水被災水田跡以外の遺構面、遺構5面は洪水被災水田跡。遺構6面はトレンチ調査面とする。

第2項 遺構1面

第1面は、現地上面から-30cm程の調査面で、2層の文化層から成っている。As-B 軽石混入土上面、19世紀の洪水層下面からI層土下面、または、古代洪水層上面・中世洪水層上面などの場合があり、遺構確認面の土質は一様ではない。主たる遺構の確認面としては、近世遺構の調査面である。また、この第1面は、19世紀後半頃の洪水層により被覆されて

いる。

発見された遺構は、溝状遺構13条、19世紀の洪水の痕跡・畠跡の痕跡が発見されている。

遺構確認面の内容からは、近世面・中世面が迷彩状に入り組む状態で、複雑な状況が窺知される。中世を含め、近世での調査面は2面以上の調査が必要な状況でもある。

第3項 遺構2面

第2面は、第1面の直下、As-B 軽石混入黒色土面を露呈。発見された遺構は、溝状遺構32条、土坑64基、井戸跡1基、墓跡4基である。また、第1面で発見されている中世の畠跡・水田跡は、墓跡を被覆する状態である。

第4項 遺構3面

第3面は、調査区南端、15号溝の上層で発見されたAs-B 軽石降下被覆水田跡だけである。As-B 軽石の降下・堆積が確認されたのは当該部分だけである。

第5項 遺構4面

第4面は、洪水被災水田跡と溝1条（幹線用水路）である。発見された水田の区画は28面787.79㎡が調査されている。遺構確認面はIV層上に当たる。

第6項 遺構5面

第5面の調査は、実質的に4面調査段階で行われている。溝状遺構4条が調査実施されている。

第7項 遺構6面

第6面は、トレンチ調査により溝15か所・畔11か所を確認・露呈している。しかし、諸般の都合上全面調査には至らなかった。

第2節 第1遺構面発見の遺構

第1項 溝状遺構

第1号溝状遺構（第333図）

(1) 概要

当溝は調査区中央を地形に沿う状態で南北走行し、北側で西に向かう状態に転進する鍵の手状の走行状態である。

規模は、全長約40m、南北走行部分約28m、東西走行部分約12m、幅4.0～5.8+ α m、深さ20cm程である。走行方向角度は南北部分の南半分は、北-28度-東、同北半分北-8度-東を測る。東西走行部分では北-80度-西を示している。

重複する遺構は、当溝が9・11・12号溝を切っている。また、覆土を利用した水田跡が確認されている。

出土遺物は無かった。

(2) 所見

当溝は浅く帯状に走行している。この状態は、下位層に重複する溝群と共に、常に低地と同様な状況が造りだされている。この証が底面の水田利用に具現化している。そして、下位の溝は平安時代に遡る溝も在り、古代から延々と溝の構築を繰り返している。この事は、調査区外北側からの湧水層等による、悪水処理がこの位置に幾度も無く溝を構築させた要因と推測される。

また、現段階で確認される4に及ぶ洪水被災の痕跡は、調査区外北側からの洪水被災と考えられ、常に同じ部分に溝を造り続けざるを得なかった事を示している。

第2号溝状遺構（第333・334図）

(1) 概要

当溝は調査区北側に位置している。

走行状態は、北側から南西方向に向け「ノ」の字状の走行である。

規模は、全長4.20m、幅0.80m、走行方向角度北-31度-東を測る。

重複する遺構は、西側が1号溝に切られている。

(2) 所見

当溝は調査段階での所見によれば、時期は中近世とされている。

走行方向も「ノ」の字状であることから、特殊な状況を備えた事も想起されるが、性格は不明である。

第3号溝状遺構（第333・334図）

(1) 概要

当溝は調査区北側に位置し、1号溝の南北走行に平行する走行方向を採っている。この1号溝は西側5m程に、北西側至近の位置には2号溝が位置している。

規模は、全長12.25m、幅1.0m、走行方向角度北-8度-東を測る。

重複する遺構は、北東から南西にむかう畦の南西端が重複している。調査所見で中世の畦とも思われている。出土遺物は無い。

(2) 所見

当溝の特徴は1号溝と平行関係の走行方向を備えている事である。この事から、1号溝の存続時期に何らかの制約等の中で構築された事が推測される。しかし、具体的な状況は不明である。

第4号溝状遺構（第333・334図）

(1) 概要

当溝は3号溝の南東側3.4m程に位置している。規模は、全長4.2m、幅0.36～0.42m、走行方向角度北-10度-東を測る。

重複する遺構は無いが、3号溝と重複する、北東から南西にむかう畦と、同一方向の畦の南西端が接近している。出土遺物は無い。

(2) 所見

当溝も3号溝と同様に走行方向は1号溝に平行する状態である。溝幅からしても小規模な溝状遺構である事から、実際には土坑に類するような遺構とも思われる。

第5号溝状遺構（第333・334図）

(1) 概要

当溝は調査区中央部東寄りに位置している。走行方向は概ね東西方向である。

規模は、全長7.8m、幅0.28～0.75m、走行方向角度北－70度－西を測る。

当溝は、3号土坑が中央部分で重複する。新旧関係は3号土坑が新しい。周囲には、当溝と同様な走行方向を採る7・8・11号溝が接近している。

出土遺物は無かった。

(2) 所見

発見された小規模溝状遺構の走行方向には、3様の方向性がある。当溝は東西走行する一群に含まれる。この東西方向の走行方向は、1号溝の南半分部分に直行する方向性でもない。また、当該の調査面では、1号溝に匹敵し、東西走行する大規模な溝状遺構は発見されていない。このことから、当該調査面での東西走行する溝状遺構の性格は、現状では不分明としか言えない。だが、構築段階の意思には、共通する必然性が有ったと思われる。しかし、現段階ではその必然性は不明である。

第6・11・12号溝状遺構（第333・334図）

(1) 概要

これらの溝は、調査区中央部東寄りで重複して位置している。走行方向は、概ね南南東から北北西方向を向いている。

6号溝の規模は、全長7.28m、幅0.85m、走行方向角度北－30度－西を測る。

11号溝の規模は、全長7.8m、幅0.45～1.12m、走行方向角度北－19度－西を測る。

12号溝規模は、残存長約6.5m、幅1.72m、走行方向角度北－17度－西を測る。

また、これらの溝状遺構は、調査に先行する試掘調査のトレンチが3号溝の重複部分を断ち割っている。

重複関係では、11・12号溝の北端側が1号溝と重複している。新旧関係は1号溝が新しい。また、11号溝は9号溝に切られている。

出土遺物は無かった。

(2) 所見

重複部分はトレンチにより詳細不分明で、3者の新旧関係は明確ではない。

走行方向は、3群中の一群である。5号溝と同様で、当該に一群と同様な方向性を備え、1号溝に匹敵する溝状遺構は発見されていない。このことから、当該の方向性を備える溝群の性格は不分明である。だが、同一方向を示す一群の構築意思には、共通する何らかの必然性の存在が有った筈であるが、現状では方向性の共通点しか明らかに出来ない。

第7号溝状遺構（第333・334図）

(1) 概要

当溝は調査区東端の中央程に位置している。走行方向は、前述5号溝と同様で概ね東西走行している。

規模は、全長7.3m、幅0.7m、走行方向角度北－86度－東を測る。

重複する遺構は、東端を30号溝が切っている。なお、この30号溝は、新田堀に平行する走行する。圃場整備以前の現代溝である。

出土遺物は無かった。

(2) 所見

当溝は5号溝と2.3m程隔て、5号溝の東側の延長部分に当たっている。また、この5号溝との間隙を6号溝の南側端部が割り込む状態で構築されている。更に後述する10号溝も、6号溝に平行し、5号溝の接近する位置で立ち上がり、両者が「Y」の字状に会合している。この状況は、5・7号溝の存在に因り、何らかの状況が生じていた可能性が推測させる。

また、当溝と5号溝は、元来同一の遺構であった可能性も考えられる。

第8号溝状遺構（第333・334図）

当溝は調査区中央部の東寄り、東西走行する一群の中に在る。

規模は、全長6.4m、幅0.17～1.2m、走行方向角度北－86度－東を測り、7号溝と同一の方向を指している。

重複する遺構は無く、出土遺物も無い。

第5章 調査II区で発見された遺構

(2) 所見

当溝は7号溝と同一の走行方向である事から、前述の7号溝と同様に5・6・10号溝との関係が推測され、後述11号溝も同一の走行方向を示す事から、東西走行の一群には、共通する構築意図が有った事が考えられる。この共通する構築意図は、中央部に集中して東西走行する溝を構築意義であった筈でもある。

第9号溝状遺構（第333・334図）

(1) 概要

当溝は調査区中央よりやや北側で、1号溝の東側に位置している。

規模は、全長 $11.85 + \alpha$ m、幅0.84m、走行方向角度北 -86 度 $-$ 西を採り東西走行する。

重複は、上述1号溝に切られ、11号溝を切っている。

出土遺物は、土師質土器の細片1318、軟質陶器内耳鍋形土器の口縁部片1319がある。

(2) 所見

当溝の走行方向は、1号溝の東西走行部分の南壁の走行方位とほぼ同様である。また、中央部の東西走行の一群は、個々での若干違いは有るもの、限定された範囲内に構築している事から、相互間の関連は推定される。

第10号溝状遺構（第333・334図）

(1) 概要

当溝は調査区中央部の東西走行する一群の中に位置している。その中で、当溝は6・12号溝と同様に南南東から北北西方向の走行方向を指している。

規模は、全長2.45m、幅0.32 \sim 0.51m、走行方向角度北 -30 度 $-$ 西を測る。

重複する遺構は無い。出土遺物は無い。

(2) 所見

当溝は、6・12号溝と同一の走行方向で構築されている。そして、12号溝の南側延長方向に当溝は位置する状態でもある。恐らく、この3条の溝は1つの機能化、同一の遺構であった可能性が推定される。時期は、調査所見に依れば近世以降の判断である。

第11号溝状遺構（第333・334図）

(1) 概要

当溝は調査区中央部で発見されている、東西走行する一群の溝の南端部分に位置している。

当溝は平面図上で、4条1単位としての遺構名称と成っている。

規模は、全長11.35m、幅0.34 \sim 0.96m、走行方向角度北 -81 度 $-$ 西を測る。

重複は、東端が、新田堀沿いの落込み側の19後半の洪水層に切られている。

出土遺物は無い。

(2) 所見

当溝は19世紀後半の洪水層に切られている。この洪水層は、調査区内では新田堀に沿う部分で残存している。東西走行する溝群は、この洪水層が下限の時期を示している。

第13号溝状遺構（第333・334図）

(1) 概要

当溝は調査区東端側の北よりで、新田堀に平行して位置している。走行方向は北東から南西に向かっているが、南側部分と北側部分の走行方位が若干異なっている。

規模は、全長25.3m、幅0.26 \sim 0.57m、走行方向角度は、北側溝北 -38 度 $-$ 東を採り、南側溝北 -31 度 $-$ 東を計る。

重複は、19世紀後半の洪水層を切り構築している。出土遺物は無かった。

(2) 所見

当溝は19世紀後半の洪水層を切り構築していることから、この調査区では最新の溝状遺構である。

第2項 生産遺構

畠跡（第335図）

畠跡は、調査区の北西部分、1号溝の南側で発見されている。IV層土（As-B 軽石含有黒色粘質土）を掘り込んでいる。

発見された畠跡は、南北の畝間15条で面積68m²である。

畝の部分は、既に大半が削平されていた。このため、畝跡は、浅い溝状遺構が南北に縦列になった痕跡状態である。出土遺物は無い。

水田跡

この調査面では、水田跡が2面発見されている。ここで言う2面は時期と場所が異なる部分の意味である。層位的に同位面の確認が取れない状態であったとでもある。

1号溝内の水田跡（第333図）

1号溝内で発見された水田跡は、19世紀後半頃と考えられる洪水層により被覆されていた。

発見された水田跡は、洪水層に被覆されていたが、残存状態は悪く、畦の部分が帯状に確認されている程度である。発見状態から、「7」の字状の1号溝内に、走行方向と平行する状態で形成されている。

畦は、IV層土を基調とするAs-B軽石混入黒色粘質土である。発見された面積は633.7㎡である。

1号溝南側で確認された水田跡（第335図）

当該の水田跡は、1号溝東西走行部分の直南、畝跡の北側で発見されている。

発見された部分は非常に狭く部分的な発見であった。発見面積は20㎡程で、畦も痕跡程度で、遺構確認面での若干の色調変化である。

第3節 第2遺構面発見の遺構

第1項 概要

遺構2面の調査は中世遺構の主体的な調査面である。発見された遺構は、溝状遺構8条、掘立柱建物跡1棟、土坑56基、井戸跡1基、墓跡4基である。

これらの中で、溝状遺構は、中世に開削され、現代に至る迄の間多少の形を変えても命脈は保たれているものもある。

第2項 溝状遺構

概要

溝状遺構は、8条調査されている。このうち6条の溝は、第1面の1号溝の範囲の中から発見されて

第3項 小結

第1遺構面で発見された遺構は、表土層により洗われた複雑な遺構確認面が示すように、中世～近世の遺構が露呈された。これは、調査区が台地部分から低地帯に変化を遂げる中間部分、斜面部分であることから、各時期での自然環境の異なりに因り、地勢も変化を遂げた痕跡であると捉える事が出来る。即ち、地勢状況の変化に即応し、それぞれの遺構構築を遂行した結果が、第1遺構面の実態であったと考えられる。

また、19世紀後半頃と判断されている洪水被災の根拠は、第1に層位的根拠に因る。

地勢上、北側の北金井の谷、若しくは、北東方向の「蟹川」・「八幡沢」の氾濫、または、この双方の氾濫により、新田堀では飲みきれなかったか、堤などの付帯施設の存在により、一時的な停滞水域が発生した事が原因と推定される。

しかし、新田堀が現在のように改修される以前の状態がいつ頃出来上がったのか、現段階では確実な査証はまだ無い。今回の調査では、間接的ながら状況証拠として捉える事の出来る所見も得られている。

当該地区の調査で、遺跡の性格付に大きく関わるが、この新田堀との関係でもある。

いる。これは、中世溝が形成した土地区画を踏襲していることに他ならない。そして、接近した位置で、同様の方向に構築せねばならぬ条件が中世以降にも変わらなかったことをも示している。

第14号溝状遺構（第334・336図）

(1) 概要

調査区の北端で、調査区西側では23東西走行する。規模は、全長27.4m、幅1.7～2.0m、走行方向角度北—82度—東を測る。

(2) 所見

当溝は、調査I区では65・66号溝の東側延長部分に当たる。双方は水路を挟み、10m程隔てて両調査

第5章 調査II区で発見された遺構

区が在るが、しかし、両調査区の図面が一致せず、溝の方向性は良くとも、上下にずれてしまっている感がある。どこに原因があるのか不明である。

出土遺物は殆ど無く、図化掲載した個体は軟質陶器内耳鍋形土器である。

第16・23号溝状遺構（第334・336図）

(1) 概要

この両溝は、上位面第1面の1号溝の直下に当り、走行方向共に1号溝と同様である。規模は、全長56.9m、幅0.5～2.0m、走行方向角度北—89—西・北—17度—東を測る。

(2) 所見

当溝は、14号溝と同様、圃場整備前まではこの3者の痕跡が地割として残されていた。この地割が残される必然性は、当該溝が地形上必要な状況であったことが推定される。出土遺物は古代から中世の遺物が少量出土している。遺物からは、焼締陶器渥美焼1336・土師質土器皿1337・内耳盤形1338があり、土師質土器皿・内耳盤形の年代から上限として15世紀頃の年代が得られる。

第19・20号溝状遺構（第334・336図）

(1) 概要

この双溝も上記の16・23と並行する状態の走行方向を示している。

規模は、19号溝が全長30.2m、幅0.4～0.9m、走行方向角度北—16度—東を測る。20号溝は全長5.7m、幅0.7m、走行方向角度北—28度—東を測る。

(2) 所見

出土遺物は、20号溝で土師質土器皿1346～1348がある。孰れも小破片である。時期は15世紀遺以降と考えられる。

第22号溝状遺構（第334・336図）

(1) 概要

当溝は、調査区西端に位置する小規模な溝である。規模は、全長3.7m、幅0.7m、走行方向角度北—4度—東を測る。

(2) 所見

出土遺物は内耳盤形1349の1点がある。時期は15

世紀以降であろう。

第25号溝状遺構（第334・336図）

(1) 概要

当溝は、調査区中央部の溝群と重複する。新旧関係の判断が下されているのは、23号溝に切られているだけで、他の溝との重複関係は不明のままである。

規模は、発見長10.8m、幅0.6m、走行方向角度北—24度—東を測る。出土遺物は無い。

第30号溝状遺構（第334・336図）

(1) 概要

当溝は、調査区北西部、16号溝の東西走行部分の南側で発見されている。

30号溝の規模は、全長7m、幅0.4～1.1m、走行方向角度北—88度—東を測る。

(2) 所見

当溝は、全体に遺存状態の悪い。このため、溝状遺構と遺構としての機能が備えられていたのかは不明である。出土遺物も無く、詳細は不明である。

第3項 土坑と掘立柱建物跡

概要

土坑は、柱穴跡・と穴を一括した。調査段階では「イ00号」で呼称させ、調査時の記録保存関係の図面・写真はこの「イ00号」で記録させているが、本書の編集に当たり、番号はそのままとし、「イ」を土坑に読み替え、記述は「00坑」で記す。

掘立は、柱穴跡の図面整理の段階で1棟を確認した。机上での復元である。

掘立柱建物跡

掘立は机上で復元したものであり整理所見でもある。復元した掘立は1棟である。

1号掘立は調査区中央部西寄りに位置する。土坑（柱穴跡）が集中する部分にあたる。建物は東西棟、10尺×7尺の小規模である。南辺中央の27・28坑は、出入口等の施設の可能性も考慮される。53・20坑はP₂・P₄の添え柱の柱穴跡の可能性もある。

他方、北側には4m程にも小単位の柱穴跡群が発

見されている。この柱穴跡群にも掘立を想定した(9・49・7・45坑)(12尺×8尺)、しかし、構造的に疑義もあるので認定は行わなかった。

土坑(第337図)

土坑の多く小規模であることから、柱穴跡と考えられる。何れも何らかの構造物の一部であろうが、構造物の推定は出来なかった。

また、柱穴跡の分布には、2本1単位の分布が目立っている。

第4項 井戸跡

第14号土坑(第1号井戸跡)(第337図)

(1) 概要

発掘調査での平面精査段階では「イ14号」として登録されている。調査の結果、井戸跡であることが判明しているものの、名称等の変更は行われていない。

当該遺構は、調査区の中央部の掘立及び柱穴跡の分布範囲の西端側に位置し、東南東5m程には1号掘立が位置している。

規模は、地上径長軸1.0m、同短軸0.78m、深度1.18mである。底面は、隅丸形状に近い。軸長0.7mである。立ち上がりはほぼ垂直で北東側には、底面と地上面の間位置には、幅8cm程を最大幅にする段が設けられている。

(2) 所見

出土遺物は未発見である。

周囲の遺構の状況から、1号掘立等の遺構との直接的な関係が推定される。

第5項 墓跡

概要

墓跡は、土坑の中でも出土遺物が土墳墓に伴うと判断された土坑を墓跡とした。また、土坑の規模が通有の土墳墓より小形であるため、土墳墓とも判断しかねるため、墓跡という項目で括った。

墓跡は調査区の北側に集中しており、「墓域」の形成が認められる。遺構名称は未変更である。

第38号土坑(第338図)

(1) 概要

38坑は、群中西端に位置する。規模は、軸長0.93m、幅0.64m、深度0.32である。群中最も大きな規模を有する。

(2) 所見

出土遺物は、古銭・人骨である。葬位は横臥位と思われ、人骨は、形状・推定される葬位から大腿骨と思われる。

出土古銭は6枚ある。この6枚の内2枚は安南銭で、延寧通寶(初鑄1454年)・洪順通寶(初鑄1509年)が認められる。

第39号土坑(第338図)

(1) 概要

39号土坑は38号土坑と40号土坑に挟まれる位置である。規模は、長軸0.63m、幅0.45m、深度0.36mである。

(2) 所見

出土遺物は土師質土器皿1361・古銭8枚(熙寧元寶・元豊通寶・元祐通寶・政和通寶・永樂通寶)がある。永樂通寶の初鑄1408年が最新である。また土坑内北側からヒトの歯(門歯・臼歯)が発見されている。歯の大きさから成人と思われる。

この土坑は、規模が通有土墳墓より小規模であるが、出土遺物の内容は土墳墓である。また、横臥位の状態、成人を埋葬するには、やや無理な大きさの墓墳である。このことから、当該の墓墳には通常死とは異なる状態も推定される。

第40号土坑(第338図)

(1) 概要

40号土坑は39号土坑に近接している。規模は、長軸0.55m、幅0.40m、深度0.42である。39号土坑より小形である。

(2) 所見

出土遺物は、古銭6枚(皇宋通寶・元豊通寶・熙寧元寶・延寧通寶・洪順通寶)が有る。延寧通寶・洪順通寶は安南銭、洪順通寶の初鑄1509年が最も新しい。また、39号土坑同様、土坑内北側からヒトの

第5章 調査II区で発見された遺構

歯が出土している。歯は、幼児と思われる白歯が出土している。墓壇の規模は幼児程度の埋葬が限界とも思われる。

第57号土坑（第338図）

(1) 概要

57号土坑は、北東端の位置に当たる。規模は、径0.4m程の円形である。深度は0.32mである。壁面には、厚さ数ミリ程度で幅9.5cm程の板材が回っていたことから、桶を内蔵させた土坑である。

(2) 所見

出土遺物は、土師質土器皿1362～1364・古銭4枚1506～1509（熙寧元寶・永樂通寶）・ヒトの歯が出土している。古銭は永樂通寶（初鑄1408）が熙寧元寶より新しい。

この出土遺物からも当該土坑も墓壇に該当する。調査I区第6号土壇墓と同様、首を桶に入れ埋葬した「首塚」と判断される。

第58号土坑（第338図）

(1) 概要

58号土坑は、群中最も小規模な土坑である。規模は、長軸0.34m、幅0.27m、深度10cm程度である。

(2) 所見

出土遺物は、土師質土器皿1365・1366がある。双方共に完形で供献されたことが推定される。当土坑は直接的な埋葬主体とは考え難い規模であるものの、土師質土器皿が供献される状態であることから、当土坑は、周囲の土壇墓の周りで行われたであろう、追善供養に伴う遺構の可能性も推測される。

第4節 第3遺構面発見の遺構

第1項 発見された遺構

As-B 軽石降水田跡（第339図）

As-B 軽石降水田跡は、調査区南端に位置する15号溝に重複して発見されている。

水田跡は、15号溝埋没後の覆土上層を水田化している。しかし、水田跡は中世の洪水被災等により、

As-B 軽石・水田跡の遺構面が押し流され、痕跡程度に残っていた。残存面にはAs-B 軽石がブロック状に認められている。

調査区内でAs-B 軽石のを確認出来るのは当該部分でしかなく、他の部分では確認できなかった。

第5節 第4遺構面発見の遺構

第1項 発見された遺構

概要

第4面の調査はVII層土（洪水起源）直下の水田跡の調査である。当該の水田跡は調査I区で発見されている水田跡と層位的に同位と判断される。

水田跡（洪水被災）（第340図）

水田跡は中央の24号溝（水路跡）を挟み、合計28面787.79㎡発見されている。

上層遺構の重複により、遺構の遺存状態は悪い。このため、詳細不分明なところが多い。

水田跡の特徴は、新旧2時期に分かれて構築されている点にある。古い時期は、地形による給水の制

約であろうか、16号溝に沿う状態で構築している。その後、24号溝の通水により南北側を開田している。

24号溝の通水後の開田は、同溝を境として、北側縦横比2：1前後の長方形区画を造り、南側では、24号溝際には小区画の区画を造り（面20～23で顕著）、その南側に北側と同様な区画を造っている。

この小区画は、水量の調整も意図している事も考慮されるが、遺存不良の状態から実際にはどのような水回しに成っているのか不分明な点も多い。これは、各面の微細な傾斜、水口の配置から考察せねばならないが、如何せん遺存状態の悪さが祟っている。

第24号溝状遺構（第340図）

当溝は、水田の中央を通水する目的の用水である。調査I区で発見されている67号溝の東側延長部分に当たる。

規模は、発見長42.1m、幅1.48～1.52m、走行方向角度北—63度—東を測る。

第27号溝状遺構（第340図）

(1) 概要

当溝は、24号溝の北側を同溝に沿う状態で構築している。

規模は、発見長20.8m、幅0.4～0.7m、走行方向角度北—88度—東を測る。

(2) 所見

当溝は、24号溝と共に機能を有していた。しかし、単に西方への通水のために、2本の溝を並走させる必然性には疑義が有る。地形の傾斜は南側に向かい傾斜していることから、北側の水田に樋等により給水する目的が当溝の構築目的であったことも推測させる。

出土遺物は無い。

第6節 第5遺構面発見の遺構

第1項 発見された遺構

概要

第5面の調査は実質的には第4面の調査段階で露呈されている。

発見されている遺構は、15号溝・17号溝。また、北側では直上面の洪水被災水田より古期の水田に伴う水路（28・29号溝）などが発見されている。

第15号溝状遺構（第341・342図）

(1) 概要

当溝は、調査区最南端部分、調査区界沿いで発見されている。第3面で発見されているAs-B軽石被覆水田跡は、当該溝の埋没段階で構築された水田跡である。

また、当溝は、17号溝を切り構築している。

規模は、発見長32.5m、幅0.6～2.4m、走行方向角度北—71度—東を測る。

(2) 所見

覆土上半は、中世に洪水被災し、15号溝としての覆土の大半が押し流され、洪水被災により砂を大量に運び込んでいる。

溝底面は3時期以上の改修を受けた痕跡が認められる。

出土遺物は、土師器坏1324、須恵器坏1325～1328、須恵器椀1329、須恵器皿1330、須恵器瓶1331・1332がある。須恵器坏類は比較的遺存が良い。出土層位

は溝底直上層より若干遊離している。遺物の時期は8世紀末から9世紀初頭である。

当溝は、現新田堀にほぼ重複する位置に当たっている。この状況だけで安易に判断すれば「平安時代の新田堀」と誤認される。

調査区中央を南北流下する溝群は、地形上、北側の「八幡沢」の谷地からの自然水を排水する自然流路の経路は、調査区の東側部分を經由していることが推定される。この自然流路の末端位置が当溝に当たっている。

当溝は、この自然流路を改修した遺構と判断される。そして、この改修により、大鷲地区から南に延びる谷地に導水した事が推定される。

第17号溝状遺構（第341・342図）

(1) 概要

当溝は、調査区中央部を南北に流下し、15号溝と重複する。

規模は、発見長46.6m、幅1.6～3.9m、走行方向角度北—5度—西を測る。

(2) 所見

当溝は、15号溝と中央溝群重複する。15号溝との重複は、狭い範囲の中での発見であり、露呈状況すれば同時存続は十分に考えられる。また中央溝群との重複は、古代から北側の排水を迫られる状況は、地形の制約に因る。15号溝の構築は、これらの地勢

第5章 調査II区で発見された遺構

的要因の解消策として開削されたと推定される。

出土遺物は、須恵器坏1345が時期を示す資料で、9世紀中頃と考えられる。だが、15号溝出土遺物との年代観と新旧関係には齟齬が生じてしまう。整理所見としては、同時存続の時期も有った事を推定しておきたい。

第28・29号溝状遺構（第340図）

(1) 概要

両溝は、調査区北東端に位置する。調査は第4面の調査段階に露呈されている。

28号溝の規模は、発見長3.6m、幅1.2～1.4m、走行方向角度北—60度—西を測る。

29号溝の規模は、発見長6.2m、幅0.5～1.1m、走行方向角度北—74度—西を測る。

(2) 所見

調査所見では、第4面の洪水被災水田跡の下層水

田跡に伴う主水路と判断されている。整理所見では改めての所見は得られていない。

第32号溝状遺構（第342図）

(1) 概要

当該溝は調査区南端、15号溝の北側で15号溝に南接し、ほぼ並行する状態で発見されている。

規模は、発見長13m、幅1.0～1.6m、走行方向角度北—68度—東を測る。

(2) 所見

当溝は、確認面が硬化していた。この硬化状態から、調査着手以前までは「道跡」が重複する状態と考えられていた。当溝の存在は、この道跡に設定されたトレンチ調査所見で存在が明らかとなっている。

この溝の底面は、東側に向かい緩やかな傾斜が認められる。この状況は、当初の通水目的が西から東に向かう、逆方向の目的が有ったのかも知れない。

第7節 第6遺構面発見の遺構

第1項 発見された遺構

概要と整理所見

第6面の調査は、グリッドに沿うトレンチを設定して調査している。だが、調査期間の制約によりトレンチにより確認された遺構は、拡張されることなく部分認定で調査終了している。

トレンチの設定は、10mグリッドの東・南部分に、幅50cmで設定している。

トレンチ調査の結果、各トレンチで溝状の落ち込

み、畔状の高まりが確認され、溝状の落ち込みは16か所、畔状の高まりは11か所で確認されている。

また、この両者は、前者が北側に多く、後者は、南側中央部分に集中している傾向が見られる。

整理事業では、調査に伴う関係記録類を検証したが、調査現場を確認していない状態であることから、所見を述べるに至らない。今後の当該地区の調査に資することを念じている。

第6章 出土遺物

第1節 概要

出土遺物は、中世後半の遺跡としては充実している内容がある。遺物種として、土師質土器皿、軟質陶器（耳鍋盤形・内耳鍋形・播鉢・茶釜）・陶磁器類・五輪塔、寶篋印塔、板碑、砥石（荒砥）・砥石（手持ち）、羽口、鉄滓、鉄器（鑷子・鋏・刀子・釘など）、銅器等がある。特に土師質土器皿は総点数5,729点、内掲載点数371点、砥石（荒砥）総点数170点、内掲載点数125点があり際立っている。

最も注目すべきである遺物は砥石（荒砥）で、鍛冶に伴う砥石と考えられる。砥石（荒砥）は、その砥面の状態から研磨主体が刀剣と考えられる。これほどの量が出土していることから、生産された数量はかなりの数量に達していると推定される。

土師質土器皿は、当該期の県東部（東毛地区）としては異例の数量の出土である。以下、遺物種毎に概要を記しておく。

第2節 土師質土器皿

第1項 概略

土師質土器皿は点を掲載した。掲載に当たっては、各遺構内での一括性を重んじた。しかし、当該遺物は比較的遺存も良好で数量的にも恵まれていたので、遺存状態の良好な個体を優先させた。

掲載図の傍らには計測値を載せ、胎土は分類結果を示した。また度目値（個体毎に器高を1とし、口径・底径を器高で除した値）を「口/」「底/」で表してある。

第2項 胎土

胎土は、基本的な分類として、A・B・Cの三者に分け、更に夾雑物の多少で細分した。

- A 1：含雲母・夾雑物少。
- A 2：含雲母・夾雑物多。
- B 1：非含雲母・夾雑物少。
- B 2：非含雲母・夾雑物多。
- C 1：silt質・可塑性有り・夾雑物少。
- C 2：silt質・可塑性有り・夾雑物多。

以上の6分類を基準とし、C類で雲母を含む場合には、Aの分類にCを冠して分別した。

この三者の分類は、概ねの生産地を予測している。

また、この分類基準は軟質陶器とも共通して用いている。

第3項 轆轤

成形は専ら轆轤使用であるが、13世紀後半の2点が非轆轤製品である。

轆轤の回転方向は、左回転がほぼ全てに近い数量で観察されている。右回転轆轤成形はごく数例だけである。

轆轤成形は、轆轤の回転に対して指で粘土を挽き上げる速度により、器面に残る轆轤条線の本数が決まる。だが、当時の成形に伴う轆轤の回転速度を推定することは困難であるが、器面に残る轆轤条線を高さで除すれば、単位当たりの回転数と縦軸上の関係が数値化される。

この方法で、数値化した轆轤の回転速度と、挽き上げる速度との関係を「轆轤条痕指数」としておく。普段は、「轆轤回転が速い・遅い」で言い慣わしている。

しかし、器面に轆轤条痕が残るか否かにも関わる。

今回の実測に当たっては、この轆轤条痕をどこまで観察できるか心血を込めた。作図に当たっては、

第6章 出土遺物

ハロゲン光源75W・ビーム角度15度を轆轤条痕観察用に用いて可能限り轆轤条痕を図化してある。ただ、轆轤条痕を図上で表現した場合心象を異なる状態に陥らせる事から、傍らに拓影図を添付してある。

拓影図は、器面の状態が有る程度までつぶさに観察することが出来る。掲載実測図は、この拓影図を参照して頂きたい。

第4項 器面

器面には、成・整形の状況（仕上げ状態）が観察される。この器面の状態は、実測図だけでは個別毎の状況が不明なため拓影図を添付した。内外器面の状態には以下の状態が観察されている。

器外面の仕上げ状態には、以下の器面状況が認められる。

- ：轆轤挽き止め（未調整）。
- ：挽き上げ後、轆轤回転による器面調整。
- ：挽き上げ後、轆轤を回転させた状態で、篋などの工具による器面調整。
- ：布挽再調整（若干乾燥が進み器面の状態が落ち着いた段階）。

第5項 形

器形は多様である。ただし、A・B・C・Dの基本4分類を超える状態は認められない。だが、これまで県東部域での当該種の類例が少なかった事から、分類・編年作業が進んでいない。本報告では、『上野国分僧寺・尼寺中間地域』1・2に掲載した県東部域の土師質土器皿分類を拠所として年代観としておくが、今後の変更は十分に可能性が有る事を前提としておきたい。

第6項 焼き上がり

焼成は酸化焰焼成が基本である事は言うまでもない。質感は焼締めの如何にも因るが、元々は粘土の生地自体の質差に因るし、夾雑物の粒度・量等にも左右され、焼成温度・焼成時間等複数の要因により決定される。このため、一概に概括しての状況は述

べられない。外面観察はこの焼き上がり状態から全てを判断している。

第7項 焼成

焼き上がり状態からは、焼成材を直接投じての痕跡は認められない（黒斑色紋・顕著な色ムラ等）。焼成は全体的に均質な色調を呈する状態が多く、極度の相違は無い。この状態は、焼成方法が焰からの直接熱を受けるのではなく、焰の発した熱に因る焼成であることが判断される。これは、窯構造を備える焼成媒体の存在が不可欠な状態である。

また、重ね焼き状態に因り、1個体のでも被熱状況が異なり、色調に差異を生じさせている個体もある。恐らく強い炎の熱を直接的に浴びた状態であった事が推定される。この重ね焼き焼成に因る色調の違いは図中に表現してある。

第8項 色調

色調は、酸化焰に因るため黄橙色から赤橙、明黄褐の如く、橙色系発色か褐色系発色の何れかである。但し、単純に表示した発色だけではなく、1個体の中には、複雑な発色状態が有り、代表させている色調名称である。

また、色調は、胎土との共通が指摘できる。これは、生地が酸化焰変色する時特徴でもあり、工人に因る焼成技法が一定している事に因ると推定できる。

第9項 年代観

土師質土器皿の年代観は前述した『上野国分僧寺・尼寺中間地域』1・2（以下「中間地域」と略記）で記した年代観でしかない。

当遺跡では、13世紀～16世紀の各時期の土師質土器皿が量的相違はあれども出土している。代表的な出土遺構と遺物は下記のとおりである。

13世紀後半：10号井戸跡0536・0672（手捏ね成形で小形）。

14世紀前半～中頃：8号溝0237～0242（轆轤成形、底面は回転糸切、底径が広く器高が低い）。

14世紀後半以降16世紀の段階は最も数量が多い。特に15世紀は主体的な位置を占めている。1・2・8溝では、全体量の半分以上の出土が有る（轆轤成形、底面は回転糸切、底径が小さく体部・口縁部が長い。器形も多様である。）。

第3節 軟質陶器播鉢

第1項 概要

播鉢の出土量は少なく19点が全てである。また、破片化した個体が全てである。このため、個体の全体形状が明らかにできたのは、9号井戸0517・11号井戸0540の2個体である。

また、口縁部片は殆ど図化掲載した。

第2項 形

全体形状が把握出来る個体が限られるため、記述出来る内容がないが、掲載した資料の特徴としては、口唇部だけである。

これらの土師質土器皿は、精査の必要があり、この一群の詳細は別稿で再度分類を試み、遺構の年代等の考察を試みたい。当該報告では、遺構の年代を得るための概観程度である。

口唇部は平らに成形された個体が殆どで、肥厚も無く、均質した器厚を保っている。唯一、11号井戸0540は、口唇直下がやや器厚が厚目になっている。

第3項 卸目

卸目は、3・4・6・7・9本を1単位とする卸目が認められる。これらの内、「ノ」の字状に搔き下ろすのは、3・4・7本で、6・9本の個体は襷状に施している。また初めに「ノ」の字状に施した後、横方向に波状施文する個体（8号溝0281）もある。

第4節 軟質陶器内耳鍋形土器

第1項 概略

軟質陶器内耳鍋形（以下、「内耳鍋」と略記）は、全体的に個体量が少ない。そして、細片化しているものが多く、器形の全容が分かる個体は無い。せいぜい、大形破片程度である。

図化掲載した個体は、器形の判別可能な個体、耳部である。全体に個体量が少ないことから、可能な範囲で掲載してある。掲載個体は35個体である。しかし、詳細は記述し得ない。

第2項 胎土

胎土は土師質土器皿と同様に掲載図の傍らに示した。分類は土師質土器皿と同一基準に因る分類である。

第3項 形

形では、通有丸底・平底が分別の大きな目安であるが、丸底の個体は1個体（1号溝0134）が確認出来る。他は平底の個体である。

第4項 耳部

耳部は、把手の取り付け穴に当たる部分である。推定で3か所に付けられたと考えられる。これは、内耳鍋。内耳盤に共通する。また、内耳鍋形の耳は、内耳盤形の作りに比べて伸びらかな作りである。耳の取り付け位置が内耳盤形より広いことに因ると考えられる。

耳の取り付け方は、口縁部に、内面側から穴を空けての差し込み方法ではなく、芋付にしている。内耳鍋形はこれが全てである。

第5項 器外面

器外面は、乾燥がやや落ち着いた状態の時、幾度も手持ちされ、このために器外面は撫でを施した様な状態に成っている。これは、器内面の整形行われた事が推測出来、恐らくは、耳の取り付けの時に手持ちされた痕跡と考えられる。

第6項 器内面

器内面は撫でが基本となり最後の整形が行われて

いる。撫では篋を使う場合と手撫でが夾雑している。

完形個体や良好な遺存状態の個体が無い為、詳細はまだ不明である。

第7項 作り

全体の作りは、総じて丁寧である。内面の口縁直下の稜線部分は鋭く水平に成形され、全体的に丁寧な作りである。

第5節 軟質陶器内耳盤形土器

第1項 概要

軟質陶器内耳盤形土器（以下、「内耳盤」と略記）は、軟質陶器類の中では最も出土量が多い。しかし、完形個体は非常に少なく、残存率90%以上の個体は2点（16号井戸0545・17号井戸0559）のみである。

図化掲載した少量の多くは破片化した資料である。総破片数5,729点（鍋・盤）、図化掲載資料159点である。

第2項 胎土

胎土は前述した内耳鍋と同様、土師質土器に準じている。

第3項 形

形は大きく3者がある。

立ち上がりはほぼ同様（外傾気味に立ち上がっている）である。口縁部外傾の強弱、内湾気味により分類される。だが、それぞれに細分される要素を含んでいるので、ここでは、外枠だけの3分類に止めておく。

第4項 耳部

耳の数は、内耳鍋と同じでやはり3か所である。16・17号井戸0545・0559の例から、耳部の位置関係（耳3点で結ばれる類二等辺三角形の頂点を成す2辺の狭角）を見ると、0545が狭角26度、0559が狭角21

度を測る。

耳の横断面には3者が認められる。以下に分類の特徴を記す。

A：比較的細く横断面丸いもの。

B：細身ではないが、横断面は丸みの強いもの。

C：ずんぐりとした作りで、横断面が四角形状のもの。

この分類は、各該当する内耳盤の実測図の傍らに記してある。

また、この分類中のA類の耳は、内耳鍋の耳に共通している。

第5項 器外面

器外面は、轆轤乃至回転台上で横撫で整形で器形を仕上げ、器内面には耳を貼付している。

立ち上がり部分には、縦位に伸びる「型膚」が目立つ。整形時の状況により異なるが、口縁部整形に伴いこの「型目」にも横撫でが施され、撫で消されている場合も多い。また、体部には平滑にされず凹凸状態で仕上げられている個体が多い。指頭圧痕状にもみられるが、指紋は認められない。

底部は3者の状態が認められる。

1：砂目底（型作りによる「離砂」の圧痕）。

2：板目底（轆轤乃至回転台上面の板目か、双方の成形台から降ろした後の置台の板目か）

3：縮目底（「型膚」状に無数に入る。多くの場合、

silt 状の離砂が厚く付いている。)

この3種類の底面以外は認められない。恐らく、この3者が全ての底面の状態と考えられる。

第6項 器内面

横撫で整形を施している。底面は一定しない方向

性の撫でを施している。

器内面の強い稜は回転成形段階で、篋を強めに宛てがい外側に押し付ける状態にし、受け口状の口縁部を成形している。

また、耳の取り付け後の再整形はしていない。

第6節 その他の軟質陶器類

第1項 概要

軟質陶器の主体を成したのが内耳盤である。圧倒的な量であった。ここでは、その他の器種の出土量が少ないことから、詳細については記述せず、器種

のみを上げておく。

その他の器種としては、盤形火鉢・香炉・壺・瓶・鉢・蓋・釜・釜蓋・火舎・が有る。何れも単数から少量程度の出土量である。

第7節 白類

第1項 概要

白類は、穀臼・茶臼の出土がある。この両者の内穀臼は、出土量も多く総数250点で、上臼145点下臼105点である。茶臼は総数25点、上臼13点下臼12点である。

これらの白類は、全て破損している。この破損状態からは、人為による破損・破壊を想起させる状態である。

器面は全体に磨き仕上げを施している。

第3項 穀臼（下臼）（第196～202図）

穀臼(下臼)で図化掲載した資料数は21点である。外面に刻まれている目数1/6が19点有、1点が1/5、残り1点は1/5とも1/6とも捉えられ、安易な補修が行われている。

外面は磨かれているが、底面は鑿痕などの成形痕を顕著に残している。

第2項 穀臼（上臼）（第190～195図）

穀臼(上臼)で図化掲載した資料数は21点である。

内面に刻まれている目数は1/6分割である。この分割はすべての臼に共通している。

挽手の装着穴には、2種類認められる。

挽手A：側面に方形の柄穴を穿つもの。

挽手B：立ち上がり部分に2か所の貫通孔を穿つもの。

刻み目は全体に精緻さに欠ける。恐らく、目立ては、磨滅次第その場で追刻している感を受ける。また、目の状態により逐次目立てを行ったものと考えられる。しかし、調査では、この目立てに使ったと思われる工具類の出土は無かった。

第4項 茶臼（上臼）（第203図）

茶臼(上臼)で図化掲載した資料数は4点である。この4点も、破壊されている。

この4点の内、挽手の柄穴周囲の加飾が確認出来るのは3点である。1号溝0816は七宝文、2号溝0814は二重の菱形を配している。1号集石+8号井戸0817は、破損が顕著であるが菱形が認められる。

目数は、1/7が2点、1/8が1点、不分明1点である。

第5項 茶臼（下臼）（第204図）

茶臼(下臼)で図化掲載した資料数は9点である。

第6章 出土遺物

この9点の内訳は、5点が本体部分で、4点がハンギリ部分の破片である。

目は、孰れも破片のため断言できない。ただ、稚拙な追刻を施す状況から、矢張り穀臼と同様な状況であったと考えられる。

第8節 石鉢

第1項 概要 (第205・206図)

石鉢は27個体出土している。図化掲載した資料は13個体で、破片資料2点がある。

第2項 形

形では2者がある。

A：高台を意識した作り。

B：高台を省いた形の作り。

前者には、2号溝0838・2号井戸0834・7号溝+39号溝+62号溝+8号井戸0839である。後者はこの3点を除外した8個体である。

第9節 砥石

第1項 概要

ここで扱う砥石は、非研磨主体と考えられる多面研磨の認められるものを扱っている。

砥石は、置砥と手持砥とその他の3者が出土している。

前者には荒砥と仕上げ砥の2種類がある。主体的な出土量が有るのが荒砥で、仕上げ砥は少量である。また、中砥と考えられる砥石は未確認である。

多面構成の荒砥は、通有1遺跡でも1点出土するのも珍しい程である。しかし、当遺跡では、170点と集中して出土している。そして、置砥(荒砥)としての大きさから、研磨主体は大型製品であることが推測される。

後者の手持砥は、所謂「鯉節形」と呼んでいる、偏った使用に因り研ぎ減った状態の砥石である。使用面の減り方で右利き使用か左利き使用の判断が可

この9点も破壊されている状態である。

整形は穀臼(下臼)と同様で、外面側は磨き仕上げを施し、底面は成形時の荒い鑿痕などが認められる。

また、遺存状態の良い個体では、口唇部に片口を具備している。恐らく、石鉢は製作段階では、全ての個体に片口が設けられていた事が想定される。

第3項 作り

作りは、縦鑿痕が多く残ることから、成形段階では小単位に研、丸い器形を作り上げる様子が窺われる。また、口唇部の様な平らな部分には、平鑿状の工具で小刻みに平坦にされ、仕上げに研磨が施され、平滑に仕上げられている。

能である。

その他のものは若干量である。石材も上述の一群とは異なっている。研磨主体がかなり異なると考えられる(8号溝1024)。

第2項 置砥(荒砥) (第207~232図)

今回の調査で最も多く出土した石製品である。総数170点を数える。この数量の多さから分類を試み、図化掲載は、この分類に依り行った。しかし、一部で不統一部分が生じている。

また、石材は粗粒・多孔質の安山岩を用いている。

整形は、研後磨き仕上げにより、器面の凹凸や粗さを可能な限り消している。しかし、この仕上げ状態には2者があり、「上作」・「下手」が窺われる。

「上作」に該当するのは8号溝0827・7号溝+39号溝+62号溝+8号井戸0839の2点で、内外面ともに

丁寧な磨き仕上げで凹凸も無く丁寧な作りである。他は、磨き仕上げでも凹凸が多い。

全てに共通する点では、口唇部の作りが平坦であることである。

- A：石材
- B：礫面を残すもの。
- C：両端部以外に砥面・成形面・加工面が構成するもの。
- D：両端部以外全てに砥面が及ぶもの。
- E：転用品（五輪塔・寶篋印塔などの石造品等を転用）。

これらの分類に対して、形成された砥面数を加え、細分した。

上記分類のDの、砥面が前面に形成される経過を以下に示した。

- ①石材の選択。礫の形状により、縦位に半截する（扁平・扁平気味）。
 - ②砥面の成形。円礫は、側部に斫等により砥面の元を作り出す。半裁された素材の場合は、裁断面の縁辺を斫、砥面の元を作り出す。
 - ③使用開始。
 - ④砥面修正。最初の砥面が目減りにより使用不能になると、新たに砥面の元を作り出す。
 - ⑤再使用開始。
- 以後④・⑤の繰り返しになる。

しかし、この経過は、素材の形状により、後の使用時の形状に大きく影響する。大きい素材は柱状の全面に（0978・0977など）、扁平素材は凹レンズ・骨状の如くに、中央が瘦身になり両端部が成形当初の状態（0911・0930・0953など）上記の経過を経て砥石（荒砥）は廃棄されようが、使用途中で廃棄されている個体もある（0853）。特に、礫面を残す成形段階で廃棄されている0843～0853、砥面の構成まだ可能な状態（0863～0885など）でも廃棄されていることは、鍛冶工房に何らかの異変が有ったことを示唆している。

その他の荒砥として43号溝1004がある。この荒砥は、四角柱に成形された製品として流通した考えられる砥石である。材質は砂岩質である。

第3項 置砥（中砥）（第233・234図）

置砥（中砥）は、砥沢砥程の粒度の砥石を指す。0993～0996・0999・1001・1002・1003の8点を数えた。

1003（2号溝）は、スプーンを研ぎ出した様な砥面成りが認められる。また、0995・0999・1001は火中している。

第4項 置砥（仕上砥）（第233図）

置砥（仕上砥）は、粘板岩程の粒度と思われる石材使用の砥石を分けた。

0997（1658坑）は内曇りにも使える粒度を持つが、「カネツケ」と呼ばれている縞状の鉄分がやや多く含まれている。

0991（2号炉）小型の砥石で、中世前半の特徴を備えている。粒度・硬度も良く近質。内曇り引きができると思われる。

第5項 置砥（軟質仕上砥）（第233図）

粒度は内曇りよりやや粗くやや軟質である。中砥使用とも思われる。

0990（1号溝）・0993（北西部西側）・0994（2245坑）の3点であるが、0994は手持砥の可能性もある。

第6項 手持砥（中砥）

手持砥は、砥沢砥と同等と判断される粒度、硬度を備える材質を分けた。

何れも研減りが有り、1005（43号溝）・1007（2361坑）・1011（2号溝）以外は、「山形」・「鯉節形」に研減り廃棄されたものとも思われる。また、1005・1007・1017（43号溝）は火中している。

第10節 五輪塔類

第1項 概要

ここで扱う五輪塔は、2472坑出土以外のものは造立元位置から2・3次的に動かされ、墓標等の機能を失い転用されている。特に、2号溝橋脚部分では、橋の桁材などの構造材を受ける礎石・根石として転用されたことが濃厚である。

以下に、部分毎に記す。

第2項 地輪 (第239～246図)

地輪には石材で2者がある。凝灰岩・安山岩の2者である。前者は中世前半期、後者は中世後半期の所産である。この2者での在り方は、他の石造品でも同じことである。

地輪の大きさは個体毎に大きさが異なり、大きさの統一という状況は認められない。これは、個体毎に各部位の比率まで異なっており、何らの規格性までも見いだせない訳でもないが、様々な状態でもある。しかし、全ての地輪で言い得るのは、幅に対して、高さは幅の大きさを超えないことである。幅に対する高さの係数は、平均0.7517 (0.66～0.83) で、1尺に対して7寸5分の高さが平均になる。

整形では、8面の内1面が粗く斫られた状態で、他7面は磨き仕上げに成っている。ただ、一部には、上面中央部分の成形が粗い個体がある。2号溝1030・同1033。この場合、四隅部分が磨きにより痩せ、中央部(水輪を乗せる部分)に向かい盛り上がる状態である。また、側部には、紀年銘・梵字等の造立時の彫り込みは認められなかった。

この地輪の中で、砥石(荒砥)に転用されている個体が1点(2号溝1038)ある。

第3項 水輪 (第147～250図)

水輪では、石材は地輪同様である。外形で2者、地輪・火輪との設置面の整形で2者の状態が認められるのと、固有名詞の設定が必要な個体が含まれている。固有名詞の個体については後述する。

外形では、算盤玉状に外面に稜線を表出様な形と、丸く膨れた状態の2者である。前者には1055～1061がある。後者には1048～1054・1032・1063がある。

幅と高さの比率では、平均0.6905(0.8125～0.525)である。

水輪の外面側は磨き仕上げに成っている。部分的に磨き整形以前の成形状態が残る個体も認められる。2号溝1054は、「グンデラ」・「コヤスケ」と呼称されている金槌工具により、横方向に小刻みに、粗い成形後の整形を施している。概ね、火輪・地輪との設置部周辺に残るのが特徴でもある。

地輪・火輪との設置部は、内面側に窪んだ状態で、加工は、最終成形後に、棒状の鑿を使った判断される痕跡が残る。仕上げは、棒状の鑿での整形状態で仕上げている個体と、更に、磨きをかけた個体に分かれる。

固有名詞の設定が必要な個体は1号溝1053・2号溝1062である。この双方は、自然礫の対称する2面のみを加工を施す個体である。勿論、形が類似する自然礫をもってであり、部分的な加工を施すだけで加工が済ませる礫を選出している。この1053・1062の地輪。火輪の設置部以外は未加工である。

第4項 火輪 (第251～256図)

石材は地輪同様である。火輪は軒幅と高さの比率から2者に分別出来る。この比率では、平均値0.5232 (0.3682～0.5941) である。この2者は扁平率高いのと、高さがある扁平率の低い個体である。この内後者は、更に分離出来そうであるが、今回は個体量が少ないので、上記2者の分離に止めておく。傾向として、大きな個体に限り扁平率が低く高さを感じさせる。

扁平率の高い個体は、1064～1067であるが、1065・1066は特に扁平率が高い。この扁平率の高い個体は、固有名詞の設定が必要な個体でもある(第7項「足利形五輪塔」で概略について述べる)。

整形では、磨き仕上げと、「グンデラ」での小刻みに叩かれた状態のままの2者がある。特に2号溝1068は、全面に「グンデラ」の叩き痕が認められる。2号溝1078は、風空輪の設置部分と屋根の上半部に矢張り「グンデラ」の叩き痕が残されている。この2点以外は全体の整形は磨き仕上げに成っている。風空輪を受ける柄部分は、棒状の鑿で外形を彫り込み、雑な磨き仕上げに成っている。

また、水輪との設置部分は、棒状の鑿で成形され、この鑿痕が消える状態まで磨き整形で仕上げる個体と、痕跡を残す状態で仕上げている2者が認められる。この前者には2号溝1065・1号溝1078・14号井戸1079があり、前代の凝灰岩製の火輪がこの整形状態で仕上げてある。

第5項 風空輪 (第257・258図)

石材は安山岩の1種類だけである。風空輪は横断面で2者の状況が認められる。横断面が円形を呈する個体と、隅丸胴張長方形又は三味線胴張と呼称されている状態の個体である。

横断面が円形の個体は、2号溝1082・1085・6号溝1086・1号溝1087～1089。四角形状気味になる個体は、1号溝1084・1090・8号溝1091・2号溝1093・1094である。この中で、1090・1093は、正面と側面では形状に著しい違いが生じている。この個体も固有名詞の設定が必要な個体でもある。

風輪部分では、頭部に稜線状の角張る個体と、丸く丁寧に成形されている2者もある。この2者は、横断面の2者の分類と同じ個体がそれぞれに分類され、稜線状に角張る個体は、横断面が四角形状になる個体である。

整形は、「グンデラ」での整形後磨き仕上げに成っているが、各個体には、部分的にこの「グンデラ」

の整形痕が残存している。残存は個体により異なるが、総じて隅部に当たる部分に残る事が多い。

幅と高さでは、風輪の宝珠の尖端が欠損する場合が多く、数値では表現できなかった。

特筆される例に、1号溝1087の梵字墨書が上げられる。やや粗い器面に「キャ」・「カ」が認められる。

第6項 規格

五輪塔の各部分は、計測値の数字では線対称形状に成るような表現でもあるが、実際には、一つの個の中での数値である。則ち、5寸から8寸・1尺という単位での制作意図が規格として有ったことが窺知される。そして、この規格は、成形段階では目安的存在になり、製品に成った各個体は、成形時の不都合な斫等の突発的要因により、仕上りの寸法が、当初意図した規格に逸れた事が推定される。

第7項 「足利形五輪塔」

足利形五輪塔は、栃木県足利市を中心に分布が見られる五輪塔である。

この五輪塔の形は、正面から見ると通有の五輪塔の如く認められるが、側面から見ると、五輪塔の各部分が扁平な状態である。これは、制作の素材に河原円礫を用いている事に因り、使用部位と素材礫による規制が形を半ば決定している。

この技法で作られた個体は、足利市域での分布が顕著で、特に、葉鹿無量院の群在状態は異形である。群馬県内では極稀な技法で、桐生市内・太田市内で数例を確認出来、前橋市内では2例が確認出来る。

今回は水輪1053・1062の2点、火輪は、扁平な個体の1065・1066の2点、風空輪では、横断面が四角形状を呈する1090・1093個体である。

第11節 寶篋印塔類

第1項 概要

寶篋印塔も石材では凝灰岩・安山岩の2者がある。出土数は五輪塔に比較すると少なく、各部位が揃っていない。

また、基礎・笠は破却された状態で、旧態を止めない程度まで破却されている。これは、転用砥石(荒砥)にみられる、砥石(荒砥)石材として最適であった事に因る結果と判断される。

基礎(第259図)

基礎は1点出土している。2号溝1095である。この個体は、露盤・斗栱の部分が殆ど研られている。

また、底面の一部には、砥石(荒砥)として転用されている部分が認められる。上面の段の研は、砥石(荒砥)使用の際の面の安定を得るための行為として捉えられる。

格狭間は4面共2面に区画されている。しかし、紀年銘等の刻字は認められない。

第2項 塔身(第259図)

塔心は1点(7号井戸1096)出土している。比較的遺存良好である。月輪・梵字の彫刻は無く縁切を施している。

第3項 笠(第260図)

笠は5点出土している。8号井戸1097・9号井戸1098・2号溝1099・8号溝1100・1101である。この内1101は凝灰岩製である。

この5点の内1101を除く個体は、全て完膚無きまでに破却された状態である。特に、1099は露盤の破壊に用いられた、工具の刃先痕が認められる。

第12節 板碑

第1項 概要(第261~265図)

板碑は総数241点出土している。これらの板碑は、1号溝1102以外、全て破片化しており、割れ口は丸

この工具の刃先幅は8cm程あり、現代の「唐鍬」より二回り程小さい。

破壊の状態は、まず、隅部飾突起を打ち欠いている。1100はその時のものであろう。

笠はこの状態のため、詳細は不明な事が大半である。ただ、辛うじて、上半部分が残存し旧状が何とか窺われる。

1097は露盤の段の構成が1:1になっている。1098・1099は、同部分の構成は高さ幅より高く1:1.5程になっており、様式的には後者が後出の特徴である。時期的には応永期以前である。隅部飾突起の1100は前者の1097の形に施された形であろう。

整形の基本は五輪塔に変わりは無いと判断される。「グンデラ」により仕上げ成形され、磨きで丁寧な仕上げが施されている。仕上げに伴う作業量は五輪塔の比ではない。この磨き仕上げは、五輪塔も同様であるが、水を媒介にして行う「水磨き」であったことが判断される。だが、この水を媒介にした痕跡は明らかに出来ないが、水を媒介させなければ作業効率は悪く、磨き面の状態も逐一観察できない。必然性でもある

凝灰岩製の1101は部分的な破片である。他の部分は出土していない。1101は、破片のため詳細は不明であるが、外面に連子窓状の彫刻を施している。現状で寶篋印塔に分類しているが、多層塔・宝塔などの可能性も見込める。

安山岩性の寶篋印塔の破却状態は、1095に代表される様に、砥石(荒砥)への転用を目的として行われた事が推定される。

く風化している。このことから、出土遺構が機能している段階には破片化していたことが推定される。

第2項 種字

種字を伴う個体は15点ある。内訳は、「キリーク」13点、「サク」1点、「サク」・「サ」1点である。

「キリーク」には、葉研彫りで表出するものと、浅くしっかりしない彫りの2者がある。前者は南北朝以前の技法で、後者は南北朝以降の技法である。断面で三角形を呈する一群は前者になる。

13点の「キリーク」を伴う個体には、「キリーク」・「サク」・「サ」が残る個体（2号溝1117）があり、2号井戸1119は、「キリーク」・「サ」が残っている。2号溝1127には紀年銘があり、上方に「サク」・「サ」の一部が残存している。2号井戸1116は「サク」と反華座が残る。

また、反華座の部分的な残存個体17号井戸1125が1点ある。

種字では、この3種類しか認められない事から、「キリーク」1尊と阿弥陀三尊の内容が判断できる。

第3項 紀年銘

紀年銘の認められる個体は3点ある。この3点の

内元号が特定出来るのは1点2号溝1105のみである。この1105には「觀應」が判読出来る。觀應は北朝年号で1350年～1352年に当たる。

2号溝1127は、「厂三年六月」が残る。元号の上1文字と日にちが欠損する。「厂」は、上部に「丶」と内側にも「丶」の刻みが見られ、部首「まだれ」の文字を略していると考えられる。また、当該板碑の時期は、板碑の様式上南北朝以降と考えられることから、元号は3年以上の続いた「正慶」・「曆應」・「觀應」・「康曆」・「嘉慶」などが考えられる。何れも北朝年号である。南朝年号には「まだれ」の元号は無い。

21号井戸1128は「安」か「文」の下に「八年四月日」続き、矢張り、南北朝以降の年代観から、「安」か「文」の付く元号で「八年」では「應安八年」（1384）と判断される。

このほかでは、各部位の破片である。10点程大形製品が含まれている。

非掲載の破片類が254点ある。これらは、廃棄段階ですでに破片化している。

第13節 磚状石製品

第1項 概要（第266～272図）

磚状石製品は円礫を長方体に加工した石製品である。図化掲載した資料は29点である。

平面形には、正方形・長方形の2者である。多くが破片であるが、正方形では3点（1号溝1140・1142・1144）、長方形では8点（2号溝1156・1157・1159・1160・1165、5号井戸1155・9号井戸1158・8号井戸1162・1165）の完形個体がある。

第2項 出土遺構

出土遺構では、1号溝5点、2号溝10点、8号溝4点、5号井戸1点、7号井戸2点、8号井戸2点、1号炉1点、1号炉作業場2点、2号集石2点、1835坑1点である。これらの出土位置は、1号溝の西側で2号溝の北側の調査区内北西部分に当る。そ

して、出土遺構の1号炉・1号炉作業場・2号集石は、洪水被災を受けた遺構でもある。

また、1号炉・1号炉作業場は鍛冶遺構に直接かわる遺構である。

溝での出土は、少なくとも出土した遺構に直接かわる事は考え難い。

8井戸は大量の礫と石製品・石造品を廃棄する場になっていた事が窺われる。7号井戸も状況は同様である。このことから、出土位置として、重要性を帯びるのが1号炉・1号炉作業場であろう。

第3項 煤け

この磚状石製品の中には、外面が煤けにより暗茶褐色～黒に色変している個体も認められる。特に黒く煤けた個体が多い。煤けは、磚状石製品の全体に

第6章 出土遺物

及んでいるのではなく、片面・片側の様に、一定している状態ではない。ただ、燃焼主体に対しての表裏の存在は確実である。

一方では、煤けの認められない個体も多く、使用状況が、特定の1つに限られない可能性がある。

第4項 鉄分の付着

鉄分の付着する個体が3点ある。この付着鉄の状態には、溶解した鉄が熔け落ちた状態、砥クソに鉄分が多く含まれそれが酸化付着した様な状態の2者

である。

第5項 小結

この鉄滓・鉄分の付着と前述の煤けの状態から、鍛冶炉等の鍛冶施設内の構造物であった可能性が高い。恐らく、炉の周囲を囲む壁材、操業中の炉が発生する焰と熱の遮蔽の壁材であった事が考えられる。

また、鉄滓・鉄分の付着、煤けの認められない個体も多い事から、まだ他の用途があるのは十分に考慮せねばならない。

第14節 金属製品

第1項 概要

金属器の出土は、鍛冶炉の発見があることから矢張り多い。鉄器として認識される遺物は総数365点出土し、銅製品は2点出土している。しかし、調査区北西部分の西側中央寄りの柱穴で出土した、完形の鍔金具が所在不明になっている。

鉄器の出土量が一番多いのが8号溝の南西隅部周辺である。この部分からは、多量の土器類・石製品類・羽口・鉄滓など鍛冶関連遺物が中心であった。鉄器はこの中に混ざる状態で出土している。この8号溝での出土総数は240点で、全体の65%を占めている。図化点数は146点である。図化は形状が判断出来る個体、特殊な形状の個体を抽出した。また、作図段階では、固結した錆以外を除去し、鉄器の錆身の状態で図化してある。このため、余計な手は加えていない。錆身の外形に、旧状の姿を判断して錆化以前の姿を復元してある。

また、図中の欠損部には「★」を付したものもある。これは、調査後の欠損を表している。則ち、この★印の無い欠損部は、廃棄当時から欠損していた事を表している。

第2項 8号溝の鉄器 (第275・276図)

8号溝出土の鉄器は、56点を図化掲載した。出土量の23%である。

8号溝出土の鉄器の内、釘・棒状類が104点と多く、8号溝出土の内訳でも43%にあたる。この釘・棒状類に次ぐのが板状鉄片である。板状鉄片は39点16%である。利器と思われるものは11点4.5%である。他は、鉄片・小鉄塊状のものが86点で35%である。

釘・棒状・板状などは、出土以前に破損している。この破損品が主体を成すということは、第1炉跡を中心とする鍛冶は、破損した鉄器類を再生させて鉄器を生産していた事が判明する。

8号溝出土の鉄器の中でも特筆される幾点かについて解説を加えておく。

1209は、1mm以内の厚さで長楕円形の形状が推定出来る。恐らく鍔の金具の一部と判断される。

1212は、径3.5cm程の円形を呈する。厚さは3mm近く凸形で厚い作りになっている。

1214は、3mm程の厚さで、軸方向が長い二等辺三角形形状を呈する。

1216・1218は厚い鉄板状の個体である。1218は若しかすると天地が逆転している可能性もある。鑿とも思える形状であるが、鑿の枕が見当たらない事から板状にしている。

1217は、撥状の平面形状を呈し、縦横に曲面作りに成っている。筋兜の鉢の一枚か。12間位の作りに成る見当である。

1219・1220は先端側のみを作用部分にする作りの小さな特殊な工具の可能性はある。

1225は短刀の茎と判断される。茎の形態は「たなご腹」である。末古刀の時期にやや多い類例があるようである。

1229は、金着せの鋸（真鍮乃至銅）と短刀の茎部分の欠損品である。鋸元側と刃関を欠損している。恐らく懐剣と思われる。

1230は鍬である。鑄造有茎尖根籠被式になる。鋒は刃部の研ぎに因り鑄筋を表出、籠被は左右からの研ぎにより鑄筋を作り6面構成に仕上げている。

個体は、中央の鍛え目で錆化割れ状態である。

第3項 8号溝以外の鉄器（第277～279図）

8号溝以外でも釘類の出土が多い。釘類以外では、撮子・利器などがあるが、器種不分明な個体も多い。特筆されるのが撮子（1232）である。撮子は2号溝の橋脚部分で、溝底面直上層の黒色粘質土内から出土している。この粘質土内に閉じ込められ、保存状態が良好であったことから、撮子の遺存状態は頗る良好である。先端は俯き、上部から側部には、鑿により横方向に筋目を刻んでいる。しかし、象嵌の痕跡は認められない。現在でも弾力性があり、出土遺物の鉄器とは思われない程の良好な遺存状態である。また、この撮子と共に釘1267が出土している。この釘も非常に遺存状態が良好で、錆の浮遊は認められず、槌目も見える状態である。

利器では、刀子・鎌があり、器種不分明な茎2点（1464坑1237・404坑1238）、日本刀の茎を思わせる茎状の製品破片1652坑1236がある。1237・1238は恐らく雑用刀の類と考えられる。

器種不分明な製品も多い。恐らく何らかの部分品と思われる。

鑄鉄の破片も6点認められる。61号溝1308・5号竪穴1039・2号竪穴1312・1665坑1313などは、鍋等の破片の可能性が考えられる。

第4項 鉄塊

鉄塊は、球状で磁力の強いものを分別した。大きさは0.8～2.0cm程度の大きさである。分析対象の少数個体を図化した。多くは図化しなかった。

総数295点、内訳は8号溝252点・2号溝8点・炉跡・同作業場4点・66号溝2点・1号集石2点・931坑2点・2962坑2点・他53点である。他に該当する内容は何れも1点の出土で、67号溝・7号井戸・8号井戸1039坑0489坑・2320坑2328坑・2493坑・2941坑・2962坑の遺構と遺構外である。

恐らく、鍛冶場で作られた「卸鉄」と推測される。

第5項 小結

概要で述べたが、出土鉄器には欠損した状態で廃棄されている個体が多く、特に8号溝の出土品は、鍛冶に直接かかわる遺物と考えられる。

出土した鉄器・鉄片は、総じて橙茶褐色を呈する錆色である。これまでに鉄器類は1,000点を超える数を観察してきている。

観察の主眼は、錆身であるが、旧形状・研ぎの状態・研ぎ減りの状態・焼き入れ部位・鍛え・鉄質を見抜く視点を以て行って来ている。

この観察経験から、橙茶褐色を呈する錆色の鉄器は、錆化が進み易いのと、鍛えも良好と判断出来る個体は無い。逆に、青黒色を呈する錆地の鉄器は、鍛えが良好なのか旧態が観察し易い個体が多かった。この経験的な観察所見からすると、今回の出土鉄器は、鉄味が良いと判断出来る個体は無かった。強いて言えば並以下である。

これらの破損鉄器は、鍛冶場での関わりを推測すれば、「卸鉄」の材料である。ただ、今回発見された鍛冶場跡での作業の全容が不分明なこともさることながら、施設自体の詳細な復元も未着手な段階である。この状況から、結論は先に託したい。

第15節 羽口と鉄滓・銅滓

第1項 概要

羽口と鉄滓は、最低限の量を図化掲載した。羽口は、全体形状・使用状況が判断出来得る個体を対象とした。

出土量は個体数での把握が困難な事から、羽口は箱単位、鉄滓はkg単位とする。

第2項 羽口 (第176～182図)

羽口の出土量は、総体で遺物収納箱4箱程度である。この中で4割位が8号溝からの出土である。このほかに、9・30・35・37・38・43・62・65号溝、2号竪穴、2・6～9・14・16・17号井戸、2号集石、土坑などと遺構外である。

図化掲載した資料上には、器面・割れ口断面の状況を分別してある。器面上の分別の要件は以下のとおりである。

- 1：弱い酸化。
- 2：酸化。
- 3：くすんだ酸化。
- 4：珪化・発砲。
- 5：黒色光沢ガラス。
- 6：黒色半光沢ガラス（カセタ黒色ガラス化）。
- 7：自然釉状で黄緑の粉状分布。
- 8：弱い還元。
- 9：還元～強い還元。
- 10：中性。
- 11：鉄滓。
- 12：鉄滓との剝離面。

これらは熱源との位置、熱源の強さ、羽口の装着状態など様々状況により変化を遂げた状態である。

また、熱源面と羽口の接する角度（挿入角）は、

計測可能な個体で計測した。この計測は熱源を水平位として、羽口が俯く場合に生ずる角度を挿入角度として図中に示した。この計測を行う場合、羽口と熱源との位置関係を把握し、羽口側の被熱に因る溶解部分を垂直面として算出してある。

この羽口の挿入角度には、7・12・14・15・16・18・19・20・22・25・29・32・35度があり、平均18°40' (n=19) である。この角度のばらつきは、鞆の位置と羽口の長さとの相関関係にあると推測されるが、作業内容による変化も考慮される。現段階では、この挿入角度の差異は不明である。

第3項 鉄滓 (第186・187図)

鉄滓は総量で45,645点（細片を含む）、総重量255.5kgである。最多量は8号溝で、42,817点149.66kg、次いで2号溝200点42.153kg、1835坑223点6.087kgである。この3者で43,240点94%を占め197.91kg77%を占める。

椀型滓が多いが、小形の物には不整円形で板状のものも見られる。

上面は、羽口の溶解物と鉄分を主体とする。0746～0749は羽口の先端部分が付着している。底面は、炉底面の地山が貼り付いた状態の個体（0752）、小割された粗粒状の炭が多く付着する個体（0757）がある。

これらは、鍛冶場で行われていたであろう地鉄処理などに伴い排出されたものと考えられる。

第4項 銅滓

銅滓は2点（鍛冶炉・2号溝）で出土している。

第16節 不明土製品

第1項 不明土製品 (第183～185図)

不明土製品としては0738～0743の6点がある。

整理事業時には「フランスパン」と呼び慣わしていた位に色・形共に似ている。胎土は土師質土器皿

に類似、恐らく同一生地土、同一工人と考えられることから、遺跡地での制作ではない。

1514 出土地点では鍛冶場の東西に一直線上の状態で。恐らく、鍛冶場で使われていたものと思われる。

用途は、箱状に組まれた板状の物を、紐などで縛

る時の型締め材的な感じか、または、鑄造間隙材の様な感じを受ける。

類例は徳丸中田遺跡にある。周囲の遺構からは、羽口・砥石（荒砥）の出土もある。時期は15世紀初頭頃である。内容も類似性が認められる。

第17節 木製品

調査Ⅰ区出土の木製品（第282図～第325図）

本報告になる上強戸遺跡群Ⅰから出土した木製品類は総数1,200余点になる。ここに掲載する木製品はそれらの中で、漆椀や曲物をはじめ木製品然とした遺物の他、加工の明らかな板材を主としたものである。また、杭類については、先端削り加工の遺存が明瞭な資料に限った。実測図を掲載した木製品数は431点である。

第1項 1号溝の出土木製品（1513～1811）

1号溝は調査区東半に開削されている。東縁を区切る南北走溝は、西に略直角に折れ東西走溝に変わり、調査区の中央部南北走溝に合する。1号溝の出土木製品は、溝遺構の構成物として捉えうるであろう「杭」材が大半を占める。杭材の樹種は針葉樹アカマツであろうマツ材が80%超を占め、他はコナラ・ハンノキ・スダジイ・クリ・等の広葉樹と少数の竹杭が見られる。なお、2点ながら転用材としてスギ材がある。製品類としては、漆椀・下駄・桶あるいは曲げ物・祭祀関連木製品等の他板材がある。

漆椀（第283図1513～1515）

1513は体部上半と高台が欠損する。内面は黒地漆に朱漆紋様が施されるが図柄等は不明である。

外面は黒地漆で体部と底部に朱漆の痕跡がある。1514は体部小片である。内面は褐色地漆になるのか、外面は黒地漆に朱漆と褐色漆の草花紋を描くか。1515は椀底部か。縁辺に削り加工がある。内面の漆は剝落顕著で外面黒地漆。

漆塗り円盤（第283図1516）

側縁にも黒地漆が施されることから、転用加工ではない円盤状製品。中央に小径の孔を穿つ。片面に朱漆が残る。

下駄（第283図1517・1518）

歯は削りだしの連歯下駄である。1517は前鼻緒穴が左に片寄って穿たれ、右足用であろう。ホオノキ。顎の長さは前歯部分が短い。1518は前顎部分が欠損するが前鼻緒緒穴の痕跡が右側に観察でき、左足用になろう。後鼻緒穴の口径が大きく後顎の長さが短い。ハンノキ。顎の減りは前後とも見られるが歯は前歯の減りが進んでいる。

1519は一本歯下駄の形状をもつが鼻緒穴が見られず不明品である。コナラ。歯状部分にはやや片端に寄って小孔が貫通する。

漆塗り膳（第284図1520）

黒地漆塗り膳の脚部である。畳付け側の中央は円弧状の抉りを施す。盆との接合縁には膠らしき接着剤が残る。スギ。

桶・曲げ物部材（第284図1522～1529）

1522は両側面に木釘による結合孔を持つが、片端のみであり桶底板以外の組材の可能性もある。スギか。1523は底板の中央部材であろう。スギ。両側面にそれぞれ3つの木釘孔を持つ。1524は桶側材と考えられる。ネムノキ。湾曲内面の片端に底板受けの切り込みがなされる。1526は曲げ物の蓋板になろう。スギ。綴じ樹皮が残る。1524・157～1529はいずれもスギ材で底板である。1525は薄手で曲げ物の可能性もある。1527は両面が黒地漆塗りである。1528・1529

第6章 出土遺物

には木釘結合孔がある。

陽物形 (第285図1530)

心持丸木棒の一端に半周部分の切り込みを入れ、先端部は男性性生殖器を模る亀頭形に加工する。アカマツ。粗い加工でやや写実性に欠ける。片端は杭端部のように削る。長さ14.6cm、径4.0cm。

不明品 (第285～287図1531～1560)

1531は両側面に切り込み状の筋が1.5cmほどの間隔で入る板材である。スギ。火鑽板とも考えられるがやや厚さに不足がある。

1532・1533・1537は棒状製品である。片端の残存で端部に削りを施すが、1532は身部を面取り状に整える。1537とともに焦げ跡が見られる。1532はケヤキ or ニレ。1533はクヌギ。1537はマツ。

1534は心持丸木の対側面を削って平坦にし、端部は出柄を作り出す。アカマツ。片端は欠損して不明であるが、手桶等の杵材に穿たれた柄穴に挿入する把手になろうか。

1535は薄手で幅狭な板材である。アカマツ。両端に小孔を穿つ。1536は篋状製品で片端を剣先状に削り、側面は面取りする。ヒノキ。片面には細線で斜方向の刃跡が付く。

1538は太身部と細身柄部様を成し、横槌を思わせる。アカマツ。心持材の片端を杭先状に削り、他端は削り細める。

1548～1560はスギ板材で、1548～1551・1555・1556は桶の側材または底板になろうか。

第2項 2号溝の出土木製品 (1812～1885)

2号溝は調査区西半を東西走る溝で、走方は1号溝東西走の溝筋に連なっている。出土遺物は漆椀・曲物・下駄・祭祀関連木製品・工具柄類・大形組材などがある。また、杭材は橋脚材と考えられるマツやクリ材を用いた大形杭が出土している。

漆椀 (第310図1812～1816)

1812は小振りの浅椀で底部の本地は薄く、高台の作りは低い。内外面は黒地漆を施し、見込み部は朱漆の羽を広げた鶴文、外面体部と底部に朱漆の痕跡

が残る。1813は底部の本地が厚く腰高な椀で、体部は直線的に開く。内外面は黒地漆で、外面に僅かな朱漆痕が残る。1814・1815は底部の本地厚な椀になろう。内外面は黒地漆で、1815は外面底部に「十」朱漆文がある。1816は椀体部小片で、内外面黒地漆を施し、内面かすかに朱漆痕が残る。

曲げ物・桶材 (第310図1817～1819)

1817は樹皮紐による綴じ合わせ痕が横位に3箇所と木釘孔が見られることから、上または下周縁部の箍(たが)と考えられる。スギ。1818は底板で側縁は細かな削り調整がなされ、3箇所に木釘孔がある。アカマツ内外面に刃跡が付く。1819は桶の底板になろうか。アカマツ。

下駄 (第311図1820)

縦半欠で角のない楕円形状である。左右は不明。トチノキ。歯は削り出しの連歯下駄。

陽物形 (第311図1821)

心持丸木材を用いる。片端近くに溝状の削り込みを入れ、亀頭状の先端部を作る。アカマツ。亀頭部および身部は面取り状に整えるが雑な作りで写実性はない。現存長14.1cm、径5.4cm。

工具柄 (第311図1823・1824)

1823は丸木材で、側面は細かな削りで整える。アカマツ。一方の木口から断面方形の工具柄を挿入した孔を穿つ。長さ16.4cm、径3.4cm。1824は割材を丸棒状に作る。縦割れの破損品である。コナラ or クヌギ。工具柄孔は長方形を呈し、先細りである。工具は焼込みで挿入したものであろうか、孔面が黒く変色する。

不明品 (第311図1822・1825～1851)

棒状品、板材などがある。

丸木材棒状品は1822・1825・1826・1828・1832・1834・1835・1836でいずれも側面や木口に面取り状の削りを施す。1835は縦半裁品で釘穴と思われる小孔が貫通する。1836は先端が細く削られ、炭化の痕跡が残る。

割材棒状品は1831・1833・1837である。側面や木口は面取り状の削りを施す。

板材・小角材は1827・1830・1838～1847で、1827は撥形の小品で板面部に1小孔を穿つ。

建築部材 (第313図1848～1851)

心持の角材である。アカマツ。1848・1849には組材としての柄が作られる。1848の柄部分は身部より僅かに太くなる。1851は厚板の可能性があり。不定形状を呈し、節部材を削ってある。板面には3本の角釘が打たれる。1848は現存長98.5cmで19.8cm角。1849は現存30.2cm、14.7×16.7cm角。1850は現存長89.0cm、17.2cm角になろうか。

第3項 8号溝の出土木製品 (1886～1908)

8号溝からは漆椀、曲げ物または桶類の底板等の他、各種板材および大小の杭類が出土する。

漆椀 (第318図1886～1889)

1886・1887は腰部の丸味が強く、体部は内湾気味に立ち上がる。内面は朱色地漆で外面は黒地漆を施す。1888は椀の底部で厚い木地である。内面は黒地漆に朱漆の紋様が施されるがその意匠は不明である。外面は黒地漆である。1889は容器底部と考えられるが椀皿のごとく高台の作り出しはない。内面は黒地漆が施されるが外面は剥落が著しく不明である。

曲物・桶材 (第318図1891～1895)

曲物または桶の底板が想定され、1892・1895はスギ、1891・1894はヒノキ材と思われる

板材 (1890・1896・1898～1900)

1890は片板面中央に凸部を作り出す。針葉樹。1898はやや厚手のアカマツ板材で板面中央部に2孔がある。1900は側面に孔跡がある破損品で形状は不明であるが、孔に炭化現象が見られる。マツ。

第4項 2号井戸出土木製品 (1911～1913)

漆椀と杭材が出土する。

漆椀 (第320図1911)

口縁部が欠損する。底部の木地厚な椀で腰高な形態である。内外面は黒地漆で、見込み部および体部外面は朱漆の草花文を施すか。底部に朱漆痕が残る。

杭材 (第320図1913)

長さ1.2mで2.5寸角の心持ち材である。ハンノキか。柱などの建築部材になろうか。

第5項 6号井戸出土木製品 (1915)

曲げ物または桶の底板になろう。スギ。4点に分離するが同一個体である。

第6項 7号井戸出土木製品 (1916～1920)

漆椀・祭祀関連木製品等が出土する。

漆椀 (第321図1916・1917)

1916はやや小振りの椀で、厚みのある木地で低い高台である。内面は朱漆が施され、外面は黒地漆に朱漆紋様が残る。1917は椀体部片である。内外面は黒地漆で、内面に朱漆紋様が残る。

陽物形 (第321図1918)

心持丸材を用い、片端基部に半周の溝を刻む。ヤマザクラ。頂部は平坦気味に削り整え、亀頭形状を作るが写実性に欠ける。他方端部は2面削りで杭先状に尖らす。長さ19.5cm、径4.3cm。

第7項 8号井戸出土木製品 (1921・1922)

工具、用途不明品がある。

1921は組み合わせ式木槌の頭部になろう。コナラ。心持丸木材で、隅丸の角材状に面取りを施し断面は略長方形を呈す。頭長さ13.6cmで、7.2×6.2cm角である。頭の両端木口面は敲打によると思われる潰れ痕が見られる。木口縁部は細かに面取りする。短側面の中央部に長方形で柄の挿入孔が貫通する。柄部孔径は2×4cmである。柄の挿入孔および周辺の腐食孔内には長さ7cmで1.2cm角の加工木片が挟まれている。(頭図の右)柄部を締める楔を想定したが、先端削りのない形状からは該当せず木槌の部材かは不明である。樹種は頭と同じコナラ。

1922は用途不明品である。心持丸木材で枝分かれ部位の二股を利用し、Y字形を呈すがV字部分に長短がある。アカマツ。一部に樹皮を残し面取り状に削るが、片側面はやや強く削り込む。木口縁は細か

第6章 出土遺物

な削りを施す。股の部分は特に滑らかな弧に整える。基部の外片側面と長いV字内側面に部材受けと思われる角決りを削り込んである。

第8項 16号井戸出土木製品 (1925・1926)

1925は漆椀で厚い木地の底部である。内外面黒漆地で見込み部と底部に朱漆紋様が残る。

第9項 17号井戸出土木製品 (1927～1931)

横槌、杭材がある。

横槌 (第322図) (1928・1929)

1928は心持丸太材を身部とし、柄部を断面形は丸く細く削り出す。ヤマザクラ。身部の対応する2面は敲打のため緩い窪みになるが片面がやや勝りその面に著しい斜方の刃跡がつく。断面形は楕円を呈す。現存全長42.0cm、身部長28.0cm、径11.2×9.2cm、柄部現存長14.0cm、径4cm。

1929も心持丸太材を身部とし、柄部を細く削り出す。ヤマザクラ。身部先端部は楔状に削られて尖るが身部の使用痕などは1928に共通する。現存全長23.5cm、身部長21.5cm、径11.3×10.3cm、柄部現存長2.0cm、径3.8cm。

第10項 19号井戸出土木製品 (1932～1935)

用途不明品と杭材がある。

1932は厚みのある板材で板面、側面とも面取りを施す。クヌギ。板面に磨りきり状の小穴があく。1935は面取りされた角状を呈し、片端部は切っ先状に作

られる。

第11項 20号井戸出土木製品 (1936～1938)

漆容器、桶底板などがある。

1936は皿状の漆容器になろうか。内外面黒地漆である。1938は一枚板で桶の底板になろうか、側面がやや荒れる。スギか。片面に刃跡が残る。

第12項 2614号土坑出土下駄 (1939)

削りだしの連齒下駄である。スギ。前鼻緒孔はやや左に寄り、また足跡と思われる磨り減り痕の形状から右足用になろう。

第13項 1004号土坑出土木製品 (1940・1941)

桶底板で1940は3枚板繋ぎでそれぞれの側面に繋ぎ楔の角孔が穿たれる。1941ともに樹種はスギ。

第14項 3530号 pit・424号 pit 出土柱材 (1942・1943)

心持丸太材である。基部を2面から小刻みに削りを入れ、木口を小さく尖らす。両者ともマツ材。1942は現存長61.5cm、径10.6cm。1943は現存長56.0cm、径10.8cm。

曲げ物 (第325図1944)

出土地点不詳 側板綴じ合わせは樺皮綴じで1箇所と考えられ、側板3枚重ねである。綴じは1列外3段綴じになろう。スギ。

第7章 理化学分析

第1節 金属器（鉄器）の理化学分析について

第1項 分析に至る経緯

調査I区の発掘調査に於いて、鍛造剥片を多量に伴う部分が確認された。この部分が第1号炉跡の周辺部分に当たる。

今回の整理事業の結果、出土遺物の特徴、発見遺構の特徴から、鍛冶による鉄器生産が行われ、その製作製品には、日本刀が相当量造られていた事が窺知された。しかし、この内容は、鍛造剥片を確認した段階では想定外の事であった。そして、この鍛造剥片の確認以降、羽口・鉄滓（椀形滓）の確認と、大型砥石（荒砥）の出土の多さに因り、日本刀の鍛造が行われていた事が推測される状況に至った。

発掘調査段階では、遺構の精査を進めつつ、赤沼英男（岩手県立博物館）に連絡を取り、調査状況を実見して頂き、所見・調査方針・現状での供試料の抽出を行った。発掘の途中でも、8号溝からは、殆どの種類の鍛冶関連遺物（鉄器片・鉄塊・鉄滓・羽口等）が揃っている事が判明した。

この調査現場での打ち合わせ所見をもとに、分析資料の抽出を行い、分析依頼を行った。

この分析結果については、第2節で述べられている。

第2項 分析の目的と供試料の内容

鍛造剥片の出土は、鍛冶が行われている事が明らかであったので、この鍛冶遺構で行われた実態究明を目的として、今回の分析を行った。

分析の方針として、原材料の推定することを分析の目的とした。

この分析目的達成のため供試料の抽出を行った。

供試料には、鉄器6点・鉄塊2点・鉄滓12点（小鉄滓3点・椀形滓9点）であった。

第3項 整理事業を行っての所見

分析と並行する形で考古学の視点で鉄器・鉄滓を観察した。この結果、鍛冶場を中心とする周辺遺構からは多くの関係遺物が出土し、これらが鍛冶場から何らかの形で廃棄された事が推断された。特に、鉄器は、何れも小割されたか、破損品しかなかった。これは、再生産が行われていたことが示唆され、併せて卸鉄生成が行われていたことも推定された。また、少しながらも铸铁片の出土が有る事から、炭素分の多い铸铁を添加することにより鋼鉄の生成も行っていた事も推測される。

第4項 分析結果と整理所見

上述したように、卸鉄の生成・鋼鉄の生成が整理所見として得られた。分析結果でも、原材料の異なる状態で生成された鉄を用いた鉄器の存在が示唆的である。

そして、分析側の推定する「利用目的を果たした鉄器を再加工する、」が、まさに当遺跡で確実に行われていたであろう、製品作りに欠かせなかった工程の一つであったと事が推断される。このほかの作業については、まだ結論が出し得ない状況でもある。しかし、中世鍛冶の実態究明と、日本刀鍛冶工場の事態解明の好例となる遺跡であることは明らかである。

地方に於ける中世鍛冶の実態は未だ殆どの事が不分明な状態である。

地名に残る「鍛冶町」等は、多くの場合近世の鍛冶職人の工房・居住域である。県内では、渋川市に「明珍」との関わりを表す地名等が口伝するが矢張り実態は不分明である。

今後の中世鍛冶の解明の一助に成ることを願う。

第2節 鉄関連資料の金属考古学的調査

岩手県立博物館 赤沼 英男

第1項 はじめに

群馬県太田市に所在する上強戸遺跡は、北関東自動車道の建設に伴い、平成14年～16年に緊急発掘された遺跡である。発掘調査の結果、古墳時代から飛鳥時代にかけての水田跡や溝跡、奈良時代の水路跡、中世の大規模な鍛冶関連工房跡が発見された¹⁾。

鍛冶関連工房からは、鉄器、鉄塊、羽口、鉄滓、および砥石などが検出されている。遺跡内で鉄器製作が行われていた可能性が高く、後述する鉄塊の組成、椀形滓の形状と組成、および羽口の形状と先端の付着物を考え合わせると、遺跡内では鋼製鉄器の製作に加え、その素材となる鋼の製造がなされていたものと推定された。また、鉄器の多くが破片の状態出土していることをふまえると、利用目的を果たした鉄器の再利用がなされていた可能性も考えることができる。中世の群馬県下における出土鉄関連資料の調査例は乏しく、本調査結果は中世における鉄器の製作と普及状況を知るうえでの基礎情報に成り得るものと期待される。以下に、調査結果を報告する。

第2項 調査資料

調査資料は表1に示す21資料で、いずれも8号溝状遺構（以下、8号溝跡）から出土している。

本書30・31ページに記載されているように、8号溝跡は、本遺跡の調査区域内で、最も掘立柱が密集する区域の外郭を方形区画する遺構とされている。当該遺構からは98.9kgもの鉄滓をはじめ、鉄製品、羽口、および砥石が出土した。8号溝跡の内側から炉跡が発見されていること、炉およびその周辺から出土した資料と同質の資料が8号溝跡から出土していることをふまえると、8号溝跡から出土した鉄生産関連資料は、上記炉を使用する操作に伴って廃棄された資料の可能性²⁾がある。

調査資料は肉眼観察によって、鉄製品(No.1～6)、

鉄塊(No.7・8)、羽口片(No.9)、鉄滓{小塊状滓(No.10～12)および椀形滓(No.13～21)}に分類された。No.1～6鉄製品はいずれも破片状態で検出されている。

No.19は2つの椀形滓が融着した資料の可能性が高く、凸部外表面に木炭の噛み込まれていない。No.13～18、No.20、およびNo.21も椀形滓である。大きさや厚さには差異があるが、No.19同様、凸部外面に木炭の噛み込みはみられない。後述するように、No.13～21は溶融または部分溶融したスラグが固化した資料である。このような組成および形状の資料を、鉄滓が混在する固体鉄を加熱・鍛打する過程で、破砕された鉄滓、あるいは剥離した酸化鉄が火焔炉に入り、火焔炉の底で溶融または部分溶融した後、固化した資料とみることは難しい。上強戸I遺跡では、固体鉄を加熱・鍛打する操作とは別の操作も行われていた可能性が高い。

以上の課題を考慮に入れ、調査資料の調査結果を検討する。

第3項 調査試料の摘出

調査試料の摘出は、岩手県立博物館において実施された。鉄製品についてはX線透過写真の映読によって残存状況が良好と判断された部位から、ダイヤモンドカッターを装着したハンドドリル（以下、ハンドドリルという）を使って行った。摘出した0.1～0.2gの試料をさらに2分し大きい方を組織観察に、小さい方を化学成分分析に用いた。

鉄塊、羽口片、および鉄滓については、各資料の試料摘出部位にハンドドリルでV字状の切り込みを入れ、1～2gの試料を切り出した。摘出した試料を2分し、一方を組織観察に、もう一方を化学成分分析に供した。No.19椀形滓については、下層の椀形滓凸面(図12 Sa₁)、溶着部(図12 Sa₂)、および上層部(図12 Sa₃)から試料を摘出し、調査に付した。

第4項 調査方法

組織観察用試料はエポキシ樹脂に埋め込み、エメリー紙、ダイヤモンドペーストを使って研磨した。研磨面を金属顕微鏡で観察し、鉄製品の地金および鉄塊の成因を推定するうえで重要と判断された領域および非金属介在物を、エレクトロン・プローブ・マイクロアナライザー(EPMA：日本電子株式会社・JXA8230)で分析した。

化学分析用試料は表面に付着する土砂、錆をハンドドリルで丹念に削り落とし、エチルアルコール、アセトンで超音波洗浄した。試料を130°Cで2時間以上乾かし、メノー乳鉢で粉碎した後、テフロン分解容器に秤量し、塩酸、硝酸、およびフッ化水素酸を使って溶解した。溶液を蒸留水で定溶とし、No.6 鉄器、No.7・8 鉄塊、およびNo.10～21 鉄滓については、T.Fe(全鉄)、Cu(銅)、マンガン(Mn)、ニッケル(Ni)、コバルト(Co)、リン(P)、チタン(Ti)、ケイ素(Si)、カルシウム(Ca)、アルミニウム(Al)、マグネシウム(Mg)、バナジウム(V)の12元素を、No.1～5 鉄器については上記12元素に硫黄(S)を加えた13元素を、高周波誘導結合プラズマ発光分光分析法(ICP-AES法：パーキンエルマー株式会社 Optima 4300)で分析した。

第5項 調査結果

鉄器および鉄塊から抽出した試料の調査結果

No.6(図1 a_{1,2})から抽出した資料のマクロ組織は錆化が進んでいて、いたるところに空隙や亀裂がみられる(図1 b₁)。マクロ組織領域(Reg.1)内部のEPMAによる反射電子組成像(BEI)には、微細な線状結晶(Cm)が層状に並び、島状領域を形成した組織が観察される(図1 c₁)。これまでに行われた出土鉄器の組織解析結果に基づけば、この組織はパーライト中のセメンタイトが欠落して生じた組織、とみることができる(佐々木・村田 1984)。マクロ組織に占める島状組織を錆化前の地金のパーライトとし、錆化による組織の膨張を無視して、その分布状況を標準炭素鋼の腐食組織と比較すると(佐藤知雄

編 1968)(東北大学金属材料研究所編 1953)、錆化前の地金は炭素量0.2～0.4mass%未満の鋼と推定される。同様の組織はNo.2～4にもみられ、No.2およびNo.3については炭素量0.1～0.3mass%の鋼(図2、図3 c₁)、No.4については炭素量0.3～0.5mass%の鋼、と推定される(図2)。

No.6には、Na₂O-K₂O-CaO-Al₂O₃-TiO₂-FeO-MgO-SiO₂系のガラス化した領域(GI)によって構成され非金属介在物がみられる(図1 d₁、表6)。FeOは2.90mass%と低レベルである。相当の高還元下で生成したスラグが鋼中に取り込まれている。ほぼ同様のガラス化した領域からなる非金属介在物はNo.4にも見出されている(図2、表6)。No.2からは、柱状形を呈するFe-Mg-Si-O系化合物(XF)および微細粒子が混在するガラス化した領域(Ma)によって構成される非金属介在物が検出されている(図2)。

No.6には局所的に灰色を呈するFe-Ni-Co-S-O系領域が(図1 e_{1,2})、No.3にはCu粒が観察された(図3 c_{1,2})。No.1およびNo.5から抽出した試料は錆化が著しく、錆化前の地金の組織を推定できる領域を見出すことはできなかった(図4)。No.5のマクロ組織には、固着する土砂の中に、角状を呈する錆化した組織が観察される。No.5は棒状鉄器または鉄鏝の一部と推定される。

No.7およびNo.8もほぼ錆化した組織によって構成される。No.7にはわずかにメタルが観察され(図5 マクロ組織領域(Reg.1))、全域がレーデブライト組織からなる。レーデブライト組織には局所的にCu-S系化合物がみられる。マクロ組織領域(Reg.2)内部は初析セメンタイト(PCm)が析出していて、その周りは金属光沢を呈するセメンタイトが析出した組織によって構成される。銑鉄と過共析鋼が混在した鉄塊である。No.8 マクロ組織領域(Reg.1)および領域(Reg.2)には片状黒鉛が析出している。領域(Reg.3)には初析セメンタイト(PCm)が観察される。No.7同様、銑鉄と過共析鋼からなる鉄塊である。

鉄器および鉄塊から抽出した試料の化学組成

No.1のT.Feは95.35mass%で、メタルを主体とす

る試料が分析されている(表2)。No.2～No.6、およびNo.7・8のT.Feは46.84～64.21mass%で、相当に錆化が進んでいる。

No.1からは0.003mass%のCu、0.019mass%のNi、0.055mass%のCoが検出されている。No.1は主としてメタルからなる試料が分析されているので、検出された上記3成分のほとんどは、No.1の製作に使用された地金そのものに含有されていた、とみることができる。

No.3～7には0.007～0.172mass%のCuが、No.3、No.4、No.6、およびNo.7には0.012～0.022mass%のNiが、No.2～4、No.6、およびNo.7には0.009～0.043mass%のCoが含有されている。既述のとおり、No.2～7は相当に錆化が進んだ試料である。このような場合、化学成分が埋蔵環境下から富化された可能性を検討する必要がある。No.9 Sa₁は、ほとんど鉄滓の固着がみられない羽口部分から抽出した試料の化学成分分析値である。Cu、Ni、およびCo三成分はいずれも0.002mass%以下である。鉄器を包み込んだ土壌に0.005mass%以上のCu、Ni、およびCoが含有された例が未確認であるというこれまでの調査結果を加味すると(赤沼 2004; 2009)、上記No.2～7から検出されたCu、Ni、およびCo三成分については、埋蔵環境から富化された可能性はきわめて乏しい。No.7からは0.172mass%のCuが分析されているが、その多くは銑鉄中に固溶するCuおよび混在するCu-S系化合物に起因すると思われる。

No.2～6 およびNo.8には0.005～0.068mass%のMn、0.06～0.29mass%のPが含有されている。No.9 羽口 Sa₁のMnは0.075mass%、Pは0.14mass%で、No.3、No.4、No.6、およびNo.8よりも高レベルである。PおよびMnについては埋蔵環境下から富化される可能性のあることが指摘されている(佐々木 村田 1984)(赤沼 2004; 2009)。本稿では、PおよびMn含有量に基づく資料分類は見合わせることにする。No.1およびNo.4にはそれぞれ0.15mass%、0.10mass%のSが含有されている。ほぼメタルからなる試料が分析されたNo.1については、検出されたSを

地金に混在する硫黄化合物に起因するとみることができる。錆化が進んだ試料が分析されたNo.4については埋蔵環境下から富化された可能性がある。そこで、錆化が進んだ資料については、S含有量に基づく資料分類の議論をも見合わせることにする。

羽口の調査結果

No.9は羽口の先端部分で、著しく溶融または部分溶融し、局所的にスラグが固着している(図6)。Sa₁部から抽出した試料には、石英(Qtz)、斜長石(Pl)、カリ長石(Kfs)、およびマグネタイト(Mag)が観察された(図6、表6)。固着する鉄滓はウスタイト(Wus)、鉄かんらん石(Fa)、および微細粒子が混在するガラス化した領域(Ma)からなる(図6、表6)。

No.9 Sa₁のT.Feは5.91mass%、Si、Alはそれぞれ27.9mass%、9.81mass%で、粘土状物質を素材とする。No.9 Sa₂のT.Feは33.80mass%、Si、Al、およびCaはそれぞれ15.5mass%、5.11mass%、2.79mass%で、粘土状物質と酸化鉄に富んだスラグが反応し、生成した試料の可能性が高い(表4)。

鉄滓の組織観察結果

No.10～12は小塊状滓である。No.10およびNo.11から抽出した試料にはいたるところに空隙がみられる。No.10マクロ組織領域(Reg.1)内部は微細粒子が混在したガラス化した領域(Ma)に酸化鉄(IO)が析出した組織、領域(Reg.2)内部も微細粒子が混在するガラス化した領域(Ma)にウスタイト(Wus)が析出した組織からなる。ウスタイトの周縁辺部はヘマタイト(Hem)によって構成される(図7、表6)。No.11マクロ組織領域(Reg.1)内部はウスタイト(Wus)、鉄かんらん石(Fa)、および微細粒子が混在するガラス化した領域(Ma)、領域(Reg.2)内部はハースナイト(FeO・Al₂O₃)に近い組成の化合物(Ha)とガラス化した領域(Gl)からなる。No.12マクロ組織の周辺部にはセメントタイトまたはその欠落孔(Cm)とみなすことができる組織によって構成される錆層がみられ、その内部はNo.11マクロ組織領域(Reg.1)内部とほぼ同じ鉱物組成の鉄滓によって構成されている(図7、表6)。鉄滓に炭素量0.2～0.4mass%の

鋼が混在した組織である。

No13~21はいずれも椀形滓である。図8~14の外観写真から明らかなように、大きさと厚さには明瞭な差異がみられる。平面長軸が約4~6cmのもの (No13~15)、約9~12cmのもの (No16~18およびNo20・21)、約14~16cmのもの (No19) の3つに分類される。

No13から抽出した試料のマクロ組織にはいたるところに小さな空隙がみられる。マクロ組織領域 (Reg.1) および領域 (Reg.2) 内部はウスタイト (Wus)、鉄かんらん石 (Fa)、および微細粒子が混在するガラス化した領域 (Ma) からなる (図8、表6)。局所的に Ni および Co を固溶した微細な鉄粒が観察される。No14から抽出した試料には局所的にマグネタイト (Mag) が析出している点を除き、No13とほぼ同様の組織によって構成される (図8、表6)。No18から抽出した試料 (Sa_{1,2}) もNo14マクロ組織領域 (Reg.2) とほぼ同様の組織をとる (図11、表6)。

No15から抽出した試料のマクロ組織には大小多数の空隙がみられ、暗灰色を呈する領域の中に、灰色を呈する層状の領域がみられる。領域 (Reg.1) 内部の EPMA による反射電子組成像 (BEI) によると、ウスタイト (Wus) が濃密に析出していて、その周りはガラス化した領域 (Gl) によって構成される。ウスタイトの内部にはヘマタイトが析出している (図9、表6)。マクロ組織領域 (Reg.2) 内部は、ウスタイト (Wus)、ヘマタイト (Hem)、鉄かんらん石 (Fa)、およびガラス化した領域 (Gl) によって構成される (図9、表6)。No16から抽出した試料には局所的に錆が混在する。鉄滓は鉄かんらん石 (Fa) とガラス化した領域 (Gl) からなる (図9、表6)。

No17 (図10 a_{1,2}) から抽出した試料にも大小多数の空隙がみられる。マクロ組織 (図10 b₁) はその大半が柱状形を呈する Fe-Mg-Si-O 系化合物 (XF) と微細粒子が混在するガラス化した領域 (Ma) からなり、ところどころにウスタイト (Wus) が析出しているが混在する (図10 d_{1,2}、表6)。なお、局所的ではあるが、ウスタイトが濃密に析出し、その周りを、柱

状形を呈する Fe-Mg-Si-O 系化合物 (XF) と微細粒子が混在するガラス化した領域 (Ma) が取り囲んだ組織も観察される (図10 c_{1,2})。

既述のとおり、No19は2つの椀形滓が融着した資料の可能性が高い。凸面には土砂が固着し、凹面は一面、黒褐色と茶褐色を呈する鉄滓が混在している。凸面 Sa₁ から抽出した試料は、マグネタイト (Mag)、鉄かんらん石 (Fa)、(Ca, Fe)-オリビン (Ol)、ガラス化した領域 (Gl) からなる鉄滓 {マクロ組織 (領域 Reg.1)} と、ガラス化した領域 (Gl) の中に、斜方輝石 (Opx)、石英 (Qtz)、および酸化鉄 (IO) が析出した組織 {マクロ組織 (領域 Reg.2)} によって構成される (図12、表6)。Sa₂ および Sa₃ から抽出した試料は、Fe-O 系領域、Fe-Mg-Si-O 系領域、および微細粒子が混在するガラス化した領域 (Ma) に、金属鉄が混在した組織からなる。

No20凸部外面 Sa₁ から抽出した試料、および凹部内面 Sa₂ から抽出した試料には、いずれも大小多数の空隙がみられる。2試料のマクロ組織領域 (Reg.1) 内部および領域 (Reg.2) 内部は共にウスタイト (Wus)、鉄かんらん石 (Fa)、および微細粒子が混在するガラス化した領域 (Ma) またはガラス化した領域 (Gl) からなる。Sa₁ から抽出した試料に見出されたウスタイト内部には、Fe-Ti-Al-O 系の暗灰色領域 (XO) 域がみられる (図13、表6)。

No21から抽出した試料のマクロ組織領域 (Reg.1) 内部はウスタイト (Wus)、Fe-Mg-Si-O 系領域 (XF)、および微細粒子が混在するガラス化した領域 (Ma) によって、マクロ組織領域 (Reg.2) 内部はマグネタイト (Mag)、Fe-Mg-Si-O 系領域 (XF)、およびガラス化した領域 (Gl) によって構成されている (図14、表6)。

鉄滓の化学組成

No10~17、No18 Sa_{1,2}、No19 Sa₃、No20 S_{1,2}、および No21 Sa₁ の T.Fe は43.28~66.21mass%、Si は3.50~15.2mass%、Al は0.733~4.06mass%である。第5項で述べた組織観察結果を考え合わせると、酸化鉄に富んだスラグと粘土状物質が反応し、生成した

資料とみることができる。

No19 Sa_{1,2}の T.Fe はそれぞれ32.80mass%、34.33 mass%で、上記14試料に比べ低レベルである。鉄滓の構成鉱物がマグネタイト (Mag)、鉄かんらん石 (Fa)、および (Ca, Fe)－オリビン (Ol) であることを考慮すると、T.Fe が低レベルである理由の一つに、試料中に占める粘土状物質の割合が多いことが挙げられる。No21 Sa₂から抽出した試料の T.Fe は 13.69mass%とNo19 Sa_{1,2}に比べさらに低い。Si、Al がそれぞれ21.0mass%、8.68mass%と高いレベルにあることをふまえると、粘土状物質を主体とする試料と推定される。

第6項 考察

化学組成分析結果に基づく調査鉄器および鉄塊分類

古代および中世には複数の鋼製造法があった可能性が高い(赤沼・佐々木・伊藤2000)(赤沼・福田1997)²⁾。いずれの方法が用いられたとしても、多段階の工程を経て目的とする鋼が製造されたことは間違いない。出発物質として同一の製鉄原料が使用されたとしても、製造方法や製造条件に応じ、最終的に得られる鋼の組成にはばらつきが生じる。錆化が進んだ資料の場合、埋蔵環境からの富化の影響についても検討する必要がある。従って、金属考古学的調査結果、とりわけ抽出した試料の組成分析結果を単純に比較するという解析方法では、実態を反映した資料の分類結果を得ることは難しい。製造法の如何に係わらず、地金を精度高く分類する方法の確立が必要である。

銅 (Cu)、ニッケル (Ni)、およびコバルト (Co) の三成分は鉄よりも錆びにくい金属であるため、鉄中に取り込まれた後は、そのほとんどが鉄中にとどまると推定される。第5項で述べたとおり、調査資料における Cu・Ni・Co 三成分の埋蔵環境下からの富化の影響は乏しい。従って、合金添加が行われていなかったとすると、その組成比は鋼製造法の如何に関わらず、製鉄原料の組成比に近似すると推定される。

表2および表3の分析結果から0.005mass%以上の Ni または Co を含有する、鉄器および鉄塊の (mass%Co) / (mass%Ni) (本稿では Co*と記載) と (mass%Cu) / (mass%Ni) (本稿では Cu*と記載)、(mass%Ni) / (mass%Co) (本稿では Ni**と記載) と (mass%Cu) / (mass%Co) (本稿では Cu**と記載) をそれぞれ求めると、表2および表3の右欄のとおりとなる。それらの値をプロットしたものが図15である。図では非金属介在物中に鉄チタン酸化物が見出されなかった鋼製鉄器を白丸(○)、非金属介在物が見出されなかった鋼製鉄器を白三角(△)、銑鉄と鋼が混在した資料を白四角(□)で示した。なお、図には10世紀代に比定される、群馬県前橋市富田下大日遺跡出土鉄器 (Rf1~Rf12)、および同じく10世紀代に比定される群馬県前橋市富田漆田遺跡出土鉄器 (Rf13~Rf28) の三成分比もプロットした。なお、図では上記参考とした2遺跡非鉄介在物中に鉄チタン酸化物が見出されなかった鋼製鉄器をバツ印(×)、非金属介在物中に鉄チタン酸化物が見出された鋼製鉄器を十字印(+)、非金属介在物が見出されなかった鋼製鉄器を星印(*)で示した。

図から明らかのように、No.2・3およびNo.4・6はそれぞれ近接した位置にプロットされている。これらの地金の素材となった製鉄原料は、ほぼ同じ組成であった可能性が高い。No.1、No.7、およびNo.8はいずれも単独で分布する。上記3試料は組成の異なる製鉄原料を用いて製造された鋼を素材としていた可能性が高い。

図15の結果は、中世の上強戸遺跡に、複数の地域から調達された原料鉄(鉄器地金を製造する際に使用された素材)が運び込まれていた可能性が高いことを示している。時代の推移と共に供給地域が変わった、あるいはほぼ同時代に複数の地域からもたらされていた、という2つの可能性を考えることができるが、この点についての解明は今後の課題としたい。

10世紀代に比定される前橋市富田下大日遺跡出土鉄器 (Rf1~Rf12)、および同富田漆田遺跡出土鉄器 (Rf13~Rf28) は概ね、上強戸遺跡出土鉄器の上方に

分布する。群馬県の平安期と中世では、製品鉄器または原料鉄の供給地域が変わった可能性が高いことを示している。既述のとおり、上強戸遺跡からは膨大な数の鉄器が破片の状態を検出されている。鉄器を製作する過程で排出された資料か、あるいは利用目的を果たした鉄器の再利用が図られていたことを示している。

推定される鉄関連の生産活動

発掘調査によって、8号溝跡および8号溝跡によって囲まれた、掘立柱が密集する区域内から砥石が検出されていることをふまえると、遺跡内で刃部を有する鉄器が製作されていた可能性がきわめて高い。この場合、鉄器製作の素材となる鋼を調達し、それを加熱・鍛打して目的とする鉄器を得る、あるいは利用目的を果たした鉄器を再加工する、という2つの操作をまず考えることができる。遺跡内から膨大な数の破片状鉄器が出土していること、および破片状鉄器の組成が異なることを考え合わせると、後者の可能性は十分に考えられる。

いうまでもなく、鋼から目的とする器形の鋼製鉄器を製作する際の基本操作は、加熱・鍛打である。加熱された鋼を鍛打する際に、鋼表面が酸化され剝離し、火焔炉の底で溶融または部分溶融した後、炉底部の形状を反映した形に固化する。この場合、木炭が噛み込んだ鉄滓が生成するが、No.3～21椀形滓の凸部には木炭の噛み込みがみられない。酸化鉄に富んだ融液が固化した資料である。No.19は2つの椀形滓が融着した資料とみることができる。このような形状をとる酸化鉄に富んだ組成の鉄滓を、製錬および鍛冶操作で生成した資料とみることが難しい。本資料の成因として、銑鉄の脱炭操作過程（精錬操作）での生成を考えることができる。

銑鉄を脱炭して鋼を製造する操作を円滑に進めるためには、脱炭に不可欠な熱源の確保が課題となる。この点に対する対処として少なくとも、①るつぼ状容器または設備に生成した溶銑（必要に応じ造滓材を添加）の空気酸化による脱炭、②るつぼ状容器の中に溶銑を生成させ造滓材を加えた後、容器ごと開

放形の炉に入れ長時間加熱する、という2つが想定される。①において、溶銑中に送り込まれた空気中の酸素は銑鉄中の炭素および鉄と反応し、前者は二酸化炭素として、後者は酸化鉄として鉄浴から排出される。鉄の酸化に伴う発熱が、脱炭反応の円滑な進行に寄与したと推定される。脱炭操作終了後、容器内に生成した鋼塊は回収されたはずであるが、鋼が椀形の容器に固着し分離が難しい場合には、加熱・鍛打により分離して、回収したものと考えられる。

遺跡内からは外形が約9.5cm、気道内径が約2.5cmと、肉厚で気道が細い羽口が検出されている。一定の風圧を確保できるノズル状の羽口である。この羽口の検出も、精錬の実施を示唆している。No.9羽口先端にはウスタイトが濃密に析出している。8号溝跡からは、銑鉄と過共析鋼からなる鉄塊（No.7・8）が出土している。これらの資料は脱炭が不十分で利用不能と判定され、廃棄された資料と思われる。No.7～9の3資料も、遺跡内において精錬が実施されていた可能性が高いことを示している。No.7鉄塊およびNo.18椀形滓には微細なCu-S系化合物の混在が確認された。鋼製造の出発物質となった銑鉄には、相当量のCu-S系化合物が含まれていた可能性がある。この場合、銑鉄生産に使用された原料鉱石は、脈石中に硫化銅を含む鉄鉱石が有力視される。

検出された椀形滓は平面の大きさによって概ね3つに分類される。椀形滓の大きさは、製造可能な鋼の重量に対応する。小形の椀形滓は小鋼塊が、大形の椀形滓は比較的大きな鋼塊が製造されたことを示している。目的とする鋼製鉄器の製作に必要な量の鋼を効率的に得るために、精錬規模がコントロールされていた可能性がある。この点については類例の蓄積を重ね吟味することとしたい。No.18は調査した他の椀形滓に比べ、3倍以上の厚みを有する。精錬がうまくいかず、銑鉄の大半が再酸化されてしまったか、あるいは、高炭素鋼を得ることを目的とし行った操作時における排出物の可能性がある。この点の解明も今後の課題としたい。

第7章 理化学分析

まとめ

上強戸 I 遺跡出土鉄関連資料の金属考古学的解析結果について述べてきた。これまでの調査結果を整理すると、以下の5点を指摘できる。

- (1) 上強戸 I 遺跡 8 号溝跡に囲まれた、竪穴住居跡が密集する方形区画内では、鋼製鉄器の製作が行われていた可能性が高い。
- (2) 鋼製鉄器製作の素材となった鋼については、利用目的を果たした鋼製鉄器の再利用、他地域からの鋼素材の調達、および遺跡内での製造、の3つが考えられる。
- (3) 検出された鋼製鉄器の組成にばらつきがみら

注

- 1) 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団・木津博明氏からのご教授による。
- 2) 中世の鋼製造法については複数の方法が提案されている。製錬産物である鉄は炭素量に応じ、鋼と銑鉄に分類される。製錬炉で得られた鉄から極力鋼部分を摘出し、含有される不純物を除去するとともに、炭素量の増減を行って目的とする鋼を製造する。そのようにして製造された鋼を使って、製品鉄器が製作されたとする見方がある。製錬炉で直接に鋼がつくり出されるという意味でこの方法は、近世たたら吹製鉄における鋳押法によって生産された鉄塊を純化する操作に近似する。また、この方法によって得られた鉄〔炭素量が不均一で鉄滓が混在した鉄（主に鋼からなるが銑鉄も混在すると考えられている）〕を精製し目的とする鋼に変える操作は、精錬鍛冶と呼ばれている。古代に鋼を溶融する技術は未確立であったと考えられるので（溶融温度は炭素量によって異なるが、炭素量0.1~0.2mass%の鋼を溶融するためには少なくとも炉内温度を1550°C以上に保つ必要がある）、主として鋼から成る鉄から鉄滓を分離・除去する際の基本操作は加熱・鍛打によってと推定される。組成が不均一な鉄から純化された鋼を得る操作に精錬鍛冶という用語が用いられたのは、上述の事情によるものと推察される。
夥しい数の鉄仏や鉄鍋、鉄釜をはじめとする鑄造鉄器の普及が示すように、遅くとも9世紀には銑鉄を生産する技術、すなわち炉内で生成した銑鉄を炉外に流し出す製錬法が確立されていたとする見方が提示されている。得られた銑鉄を溶解し鑄型に注ぎ込むことによって鑄造鉄器が製作される。また、生産された銑鉄を脱炭することにより鋼の製造も可能となる。この方法は銑鉄を経由して鋼が製造されるという意味で、間接製鋼（鉄）法に位置づけられる。

れることから、遺跡内に複数の地域で製作された鉄器が運び込まれていた可能性が高い。

- (4) 遺跡内における鋼製造法として、空気酸化を基軸とする銑鉄の脱炭が想定される。
- (5) 精錬操作に使用された銑鉄は、複数の地域からもたらされた可能性がある。
- (6) 製作する鋼製鉄器に必要な量の鋼を確保するための、精錬が行われていた可能性が高い。

上記(1)~(6)を考慮に入れ、上強戸遺跡群調査 I 区およびその周辺の調査を進めることにより、群馬県太田市周辺の中世における鉄器製作と普及の実態が一層みえてくるにちがいない。

引用文献

- 赤沼英男 2004『出土遺物の組成からみた物質文化交流』岩手県立博物館
- 赤沼英男 2006「富田漆田・下大日遺跡出土鉄器・鉄滓の金属考古学的調査」『富田漆田・富田下大日遺跡』、pp.78-118
- 赤沼英男 2009『東北地方北部および北海道出土刀剣類の形態と組成からみた日本刀成立過程』岩手県立博物館、pp.22-59
- 赤沼英男、佐々木稔、伊藤薫 2000「出土遺物からみた中世の原料鉄とその流通」『製鉄史論文集』たたら研究会編、pp.553-576
- 赤沼英男・福田豊彦 1997「鉄の生産と流通からみた北方世界」国立歴史民俗博物館研究報告、72、pp.1-40
- 佐藤知雄編 1968『鋼の顕微鏡写真と解説』丸善株式会社
- 佐々木稔、村田朋美 1984「古墳出土鉄器の材質と地金の製法」季刊考古学、8、pp.27-33
- 東北大学金属材料研究所編 1953『金属顕微鏡組織』

付表1 調査資料の概要

分析資料番号 (No.)	資料番号		検出遺構		資料名	推定年代
	遺構番号	遺構名	遺構名	層位		
1	M529	8号溝	覆土下層	鉄器	中世	
2	M540	8号溝	覆土下層	鉄器	中世	
3	M550	8号溝	覆土下層	鉄器	中世	
4	M562	8号溝	覆土下層	鉄器	中世	
5	M566	8号溝	覆土下層	鉄器	中世	
6	—	8号溝東堀	覆土下層	鉄器	中世	
7	—	8号溝	覆土下層	鉄塊	中世	
8	—	8号溝	覆土下層	鉄塊	中世	
9	—	8号溝	覆土下層	羽口片	中世	
10	—	8号溝	覆土下層	小鉄滓	中世	
11	—	8号溝	覆土下層	小鉄滓	中世	
12	—	8号溝	覆土下層	小鉄滓	中世	
13	—	8号溝	覆土下層	碗形滓	中世	
14	—	8号溝	覆土下層	碗形滓	中世	
15	—	8号溝	覆土下層	碗形滓	中世	
16	—	8号溝	覆土下層	碗形滓	中世	
17	—	8号溝	覆土下層	碗形滓	中世	
18	—	8号溝	覆土下層	碗形滓	中世	
19	—	8号溝	覆土下層	碗形滓	中世	
20	—	8号溝	覆土下層	碗形滓	中世	
21	—	8号溝	覆土下層	碗形滓	中世	

* Noは分析資料番号。検出遺構および推定年代は財団法人群馬県立文化財調査事業団・木津博明氏による。

付表5 鉄滓の分析結果

No	化学組成 (mass%)														鉄物組成
	T,Fe	Cu	Mn	Ni	Co	P	Ti	K	Si	Ca	Al	Mg	S	V	
10	60.38	0.013	0.026	0.005	0.010	0.39	0.088	1.02	7.52	0.78	2.17	0.249	<0.01	<0.001	(IO, Ma), (Wus, Hem, Ma)
11	48.74	0.011	0.037	0.005	0.018	0.18	0.252	—	6.37	0.375	1.95	0.396	—	<0.001	(Wus, Fa, Ma) (Ha, Gl)
12	43.28	0.006	0.151	0.003	0.010	0.19	0.056	—	3.50	0.584	0.978	0.168	—	<0.001	Wus, Fa, Ma
13	51.96	0.012	0.072	0.002	0.008	0.29	0.337	—	8.89	2.03	3.62	0.933	—	<0.001	(Me, Wus, Ma), (Wus, Fa, Ma)
14	53.56	0.005	0.086	0.003	0.010	0.13	0.257	—	8.03	2.01	2.18	0.907	—	<0.001	(Mag, XF, Ma), (Wus, XF, Ma)
15	60.29	0.019	0.035	0.005	0.019	0.11	0.048	—	7.85	1.38	0.764	0.274	—	<0.001	(Wus, Hem, Gl), (Wus, Hem, Fa, Gl)
16	44.93	0.010	0.101	0.001	0.003	0.16	0.194	—	15.2	2.01	3.76	1.08	—	<0.001	Fa, Gl
17	48.75	0.048	0.070	0.010	0.018	0.17	0.146	—	10.5	1.73	2.21	0.622	—	<0.001	Wus, XF, Ma
18	51.59	0.001	0.063	<0.001	0.001	0.32	0.319	—	10.8	1.96	2.71	0.690	—	<0.001	(Wus, XF, Ma), (Me, Wus, XF, Ma)
19	66.21	0.006	0.038	0.001	0.008	0.07	0.067	—	4.68	0.360	0.733	0.259	—	<0.001	(Wus, Hem, CS, Fa, Ma), (Wus, Fa, Gl)
20	32.80	0.011	0.122	0.004	0.009	0.27	0.367	—	15.2	4.63	4.51	1.32	—	<0.001	(Mag, Ol, Fa, Gl), (IO, Qtz, Opx, Gl)
21	34.33	0.014	0.089	0.003	0.009	0.26	0.183	—	9.78	4.35	2.89	0.727	—	<0.001	IO, XF, Ma
22	47.62	0.023	0.101	0.017	0.030	0.31	0.166	—	8.98	1.49	2.58	0.444	—	<0.001	Me, IO, Ma
23	54.16	0.005	0.087	0.001	0.003	0.36	0.182	2.45	13.39	2.06	4.06	0.750	<0.01	<0.001	(Wus, XO, Fa, Ma), (Wus, Fa, Gl)
24	54.63	0.005	0.063	0.002	0.008	0.22	0.098	1.63	10.79	1.97	2.53	0.503	0.03	<0.001	(Wus, Fa, Ma), (Wus, Fa, Gl)
25	28.26	0.025	0.121	0.004	0.007	0.23	0.253	1.90	18.73	1.81	4.81	0.941	<0.01	<0.001	—
26	43.29	0.003	0.104	0.001	0.003	0.43	0.174	—	10.2	3.96	3.19	1.17	—	<0.001	Wus, XF, Ma
27	13.69	0.018	0.105	0.002	0.005	0.83	0.664	—	21.0	3.66	8.68	0.856	—	<0.001	Mag, XF, Gl

* Noは表1に対応。化学組成分析はICP-AES法による。
 ** Me=鉄粒, Mag=マグネサイト, Wus=ウスタイト, Hem=ヘマタイト, IO=Fe-O系化合物, Fa=鉄かんらん石, Ol=Fe-Mg-Ca-オリビン, XF=Fe-Mg-Si-O系化合物, Ha=Fe-Al-O系化合物, XO=Fe-Ti-Al-O系化合物, CS=Cu-S系化合物, Qtz=石英, Opx=斜方輝石, Gl=ガラス質ケイ酸塩, Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。
 *** No12には炭素量0.2~0.4mass%と推定される錳組織(Cm(0.2-0.4))が見出されている。

付表2 鉄塊の分析結果

No	化学組成 (mass%)														ミクロ組織	n. m. i.	Co*(Co/Ni)	Cu*(Cu/Ni)	Ni**(Ni/Co)	Cu**(Cu/Co)
	T,Fe	Cu	Mn	Ni	Co	P	Ti	Si	Ca	Al	Mg	S	V							
1	95.35	0.003	<0.001	0.019	0.055	0.10	<0.001	0.27	0.023	0.012	0.001	<0.001	0.15	no	2.89	0.16	0.35	0.05		
2	51.09	0.002	0.020	0.004	0.009	0.23	0.039	5.71	0.554	0.733	0.190	0.001	0.04	Cm(0.1-0.3)	XF, Ma	2.25	0.50	0.44	0.22	
3	64.21	0.007	0.005	0.018	0.040	0.07	0.013	0.06	0.067	0.162	0.017	<0.001	0.06	Cm(0.1-0.3)	Cu粒	2.22	0.39	0.45	0.18	
4	63.31	0.009	0.021	0.015	0.043	0.06	0.026	1.80	0.433	0.001	0.146	<0.001	0.10	Cm(0.3-0.5)	(Gl), (Wus)	2.87	0.60	0.35	0.21	
5	51.42	0.039	0.013	0.003	0.003	0.29	0.028	4.81	0.644	0.001	0.102	<0.001	0.04	no	—	—	—	—	—	
6	53.36	0.010	0.068	0.012	0.038	0.10	0.031	1.51	0.317	0.430	0.039	<0.001	—	Cm(0.2-0.4)	Gl	3.17	0.83	0.32	0.26	

* Noは表1に対応。化学組成分析はICP-AES法による。
 ** Cmはセメントライトまたはその欠落孔。括弧内の数値はミクロ組織からの推定される炭素量。n. m. i.=非金属相化合物, Wus=ウスタイト, XF=Fe-Mg-Si-O系化合物, Gl=ガラス質ケイ酸塩, Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域, no=見出されず。

付表3 鉄塊の分析結果

No	化学組成 (mass%)														ミクロ組織	Co*(Co/Ni)	Cu*(Cu/Ni)	Ni**(Ni/Co)	Cu**(Cu/Co)
	T,Fe	Cu	Mn	Ni	Co	P	Ti	Si	Ca	Al	Mg	S	V						
7	62.62	0.172	<0.001	0.022	0.033	0.26	<0.001	0.50	0.028	<0.001	0.001	<0.001	—	L, PCm, CS	1.50	7.82	0.67	5.21	
8	46.84	0.001	0.015	0.001	0.006	0.08	0.098	4.65	0.272	1.646	0.293	<0.001	—	G, L, PCm	—	—	0.17	0.17	

* Noは表1に対応。化学組成分析はICP-AES法による。
 ** G=片状黒鉛, L=レーデブライト, PCm=初析セメントライト, CS=Cu-S系化合物。

付表4 No.9の分析結果

Sa	化学組成 (mass%)														鉄物組成
	T,Fe	Cu	Mn	Ni	Co	P	Ti	Si	Ca	Al	Mg	S	V		
1	5.91	0.002	0.075	0.001	0.002	0.14	0.621	27.9	0.179	9.81	0.358	<0.001	—	Mag, Qtz, Pl, Kfs	
2	33.80	0.013	0.092	0.006	0.012	0.27	0.332	15.5	2.79	5.11	1.16	<0.001	—	Wus, Fa, Ma	

* Saはサンプル搬出位置。化学組成分析はICP-AES法による。
 ** Mag=マグネサイト, Wus=ウスタイト(化学理論組成FeO), Fa=鉄かんらん石, Qtz=石英, Pl=斜長石, Kfs=カリ長石, Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。

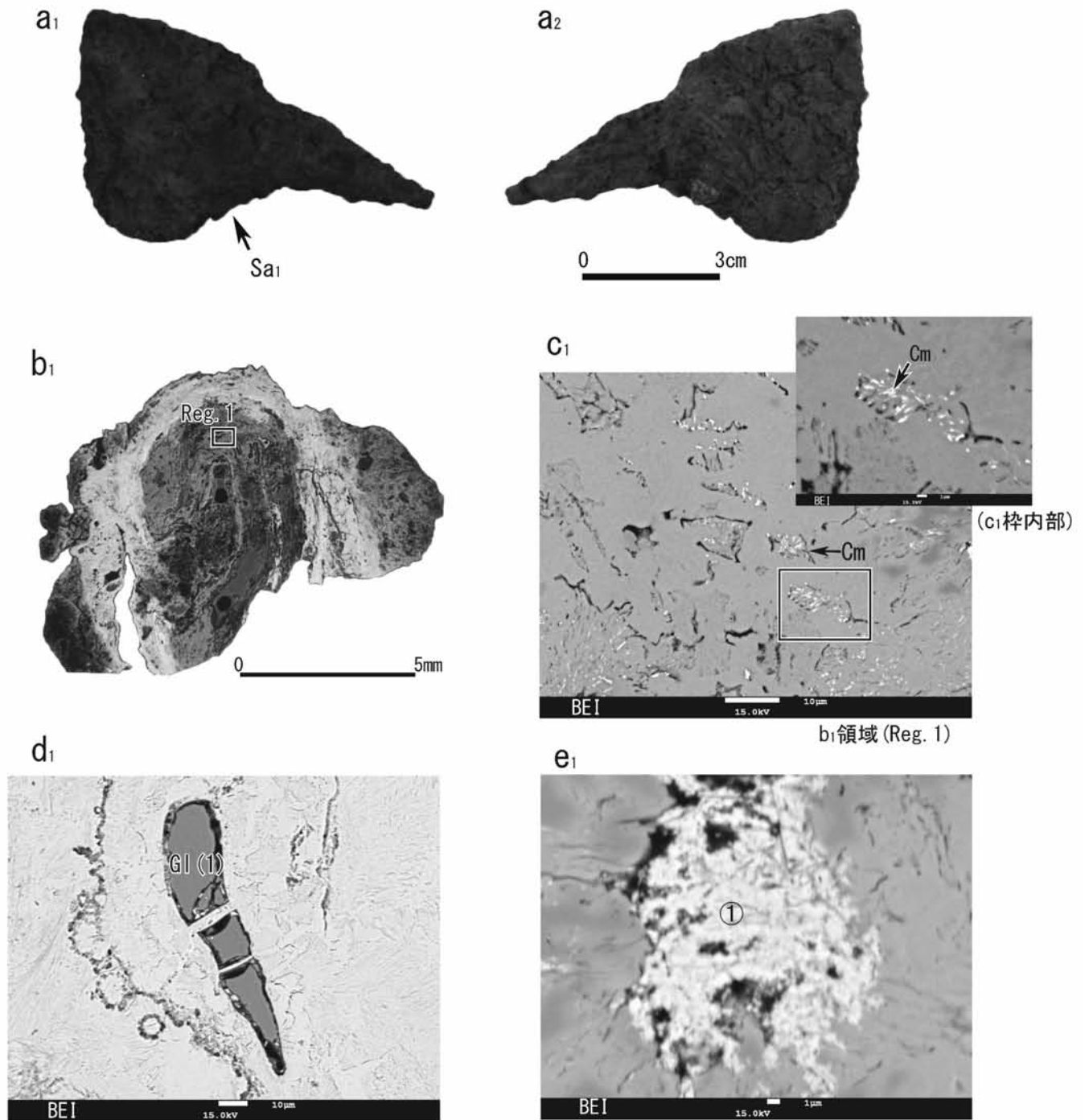
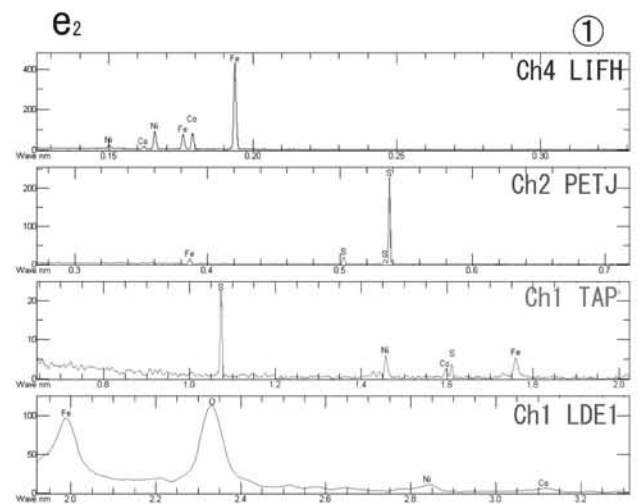


図1 No.6の組織観察結果

a₁・a₂: 外観。矢印は試料抽出位置。b₁: 抽出した試料のマクロ組織。c₁: b₁領域 (Reg. 1) 内部のEPMAによる反射電子組成像 (BEI)。Cmはセメントイトまたはその欠落孔。d₁: 鑄中に見出された非金属介在物の反射電子組成像。GI=ガラス質ケイ酸塩。e₁・e₂: 鑄中に見出された灰色領域① (Fe-Ni-Co-S-O系) の反射電子組成像と定性チャート。



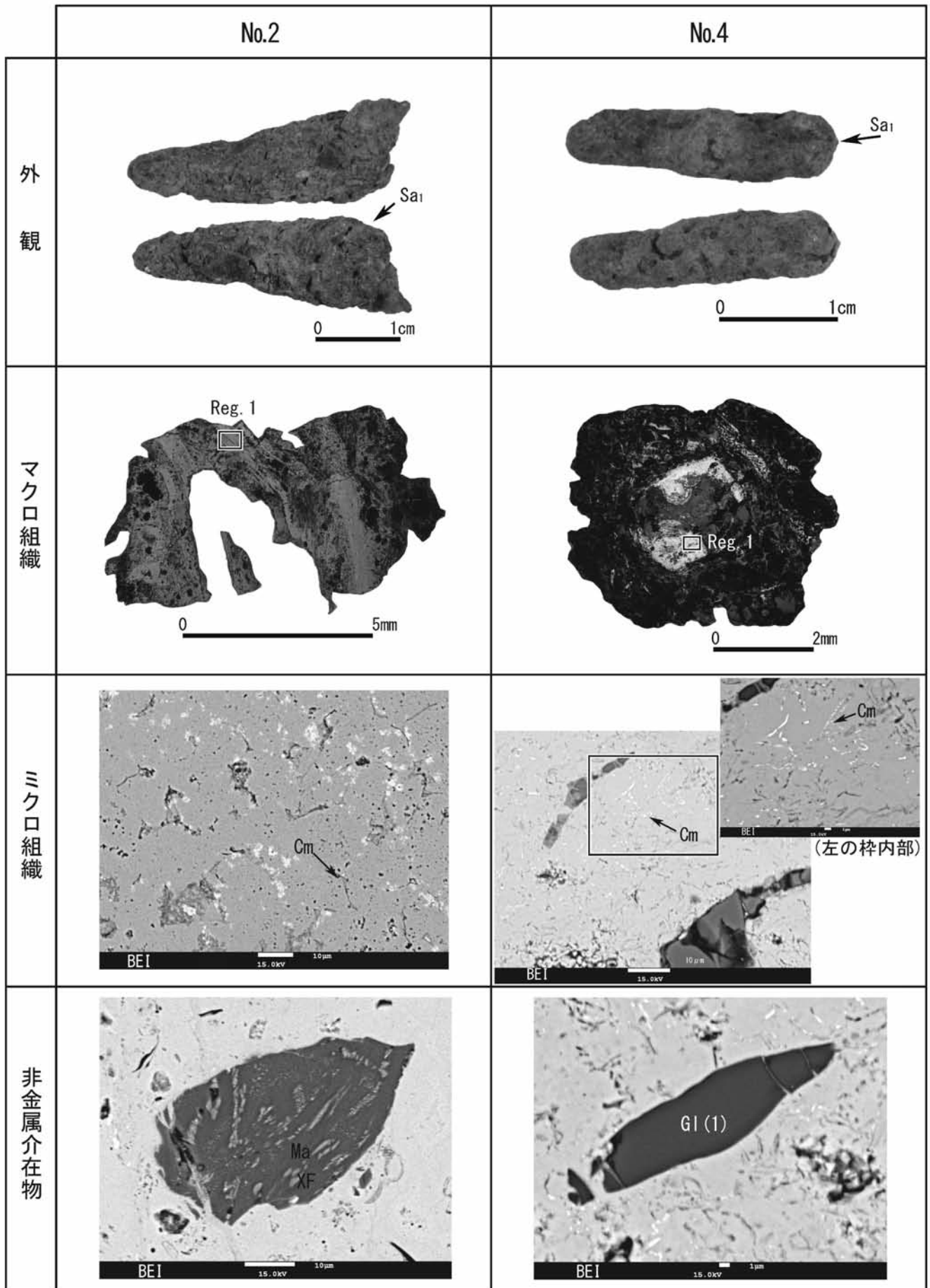


図2 No.2・No.4の組織観察結果

外観の矢印は試料摘出位置。ミクロ組織(反射電子組成像)はマクロ組織領域(Reg. 1)内部。BEIはEPMAによる反射電子組成像。Cm=セメントイトまたはその欠落孔、XF=Fe-Mg-Si-O系化合物、Gl=ガラス質ケイ酸塩、Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。

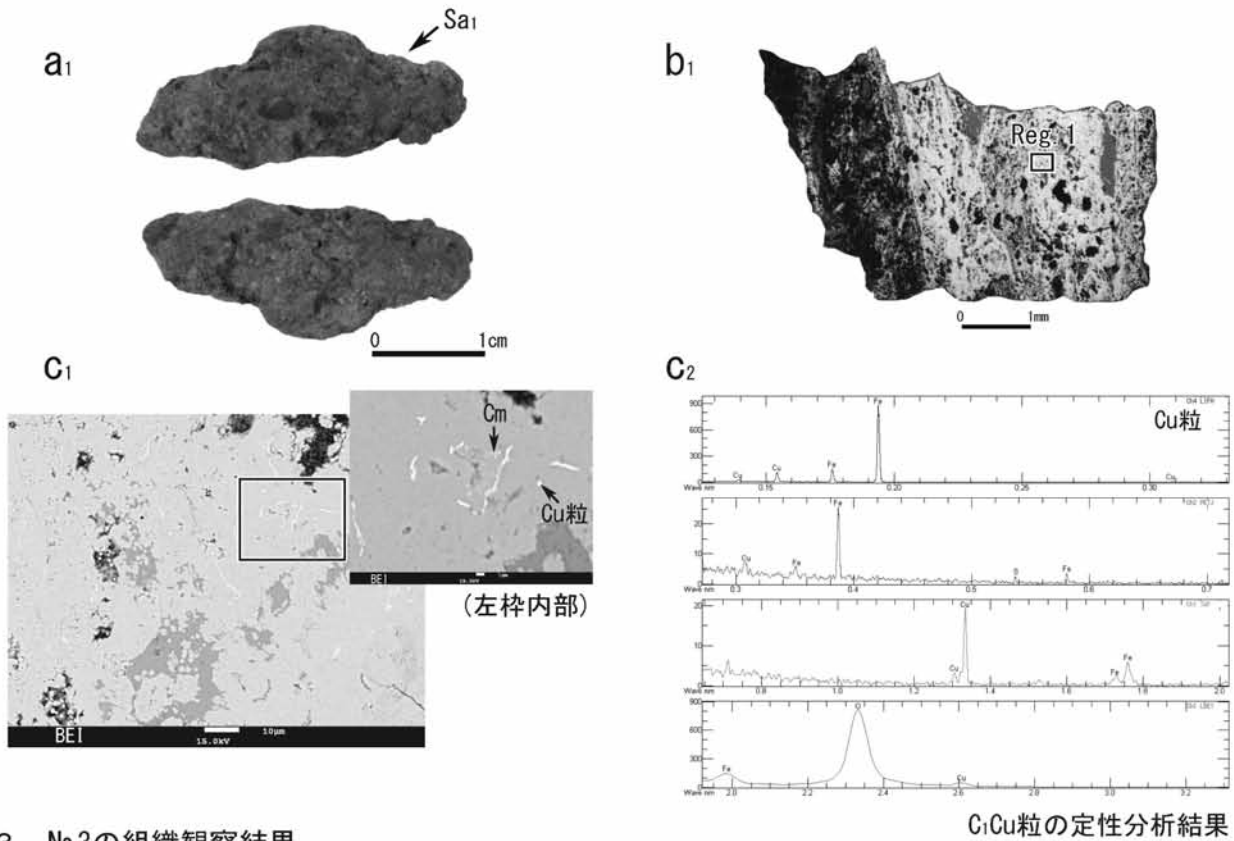


図3 No.3の組織観察結果

a₁:外観、矢印は試料摘出位置。b₁:マクロ組織。c₁・2:b₁領域(Reg. 1)内部のEPMAによる反射電子組成像と定性チャート。Cm=セメントイトまたはその欠落孔。

	No.1	No.5
外観		
マクロ組織		

図4 No.1・No.5の組織観察結果

外観の矢印は試料摘出位置。

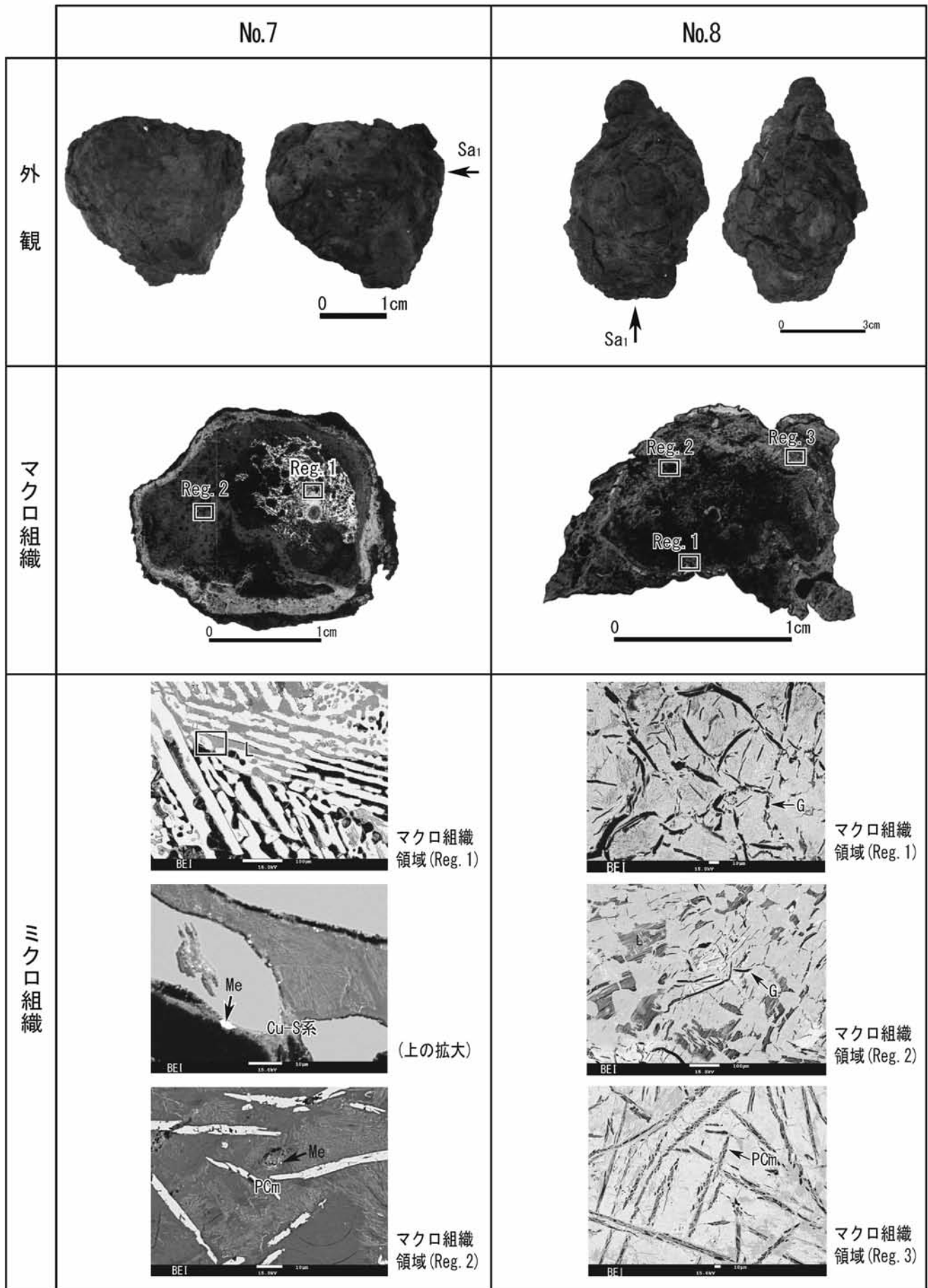
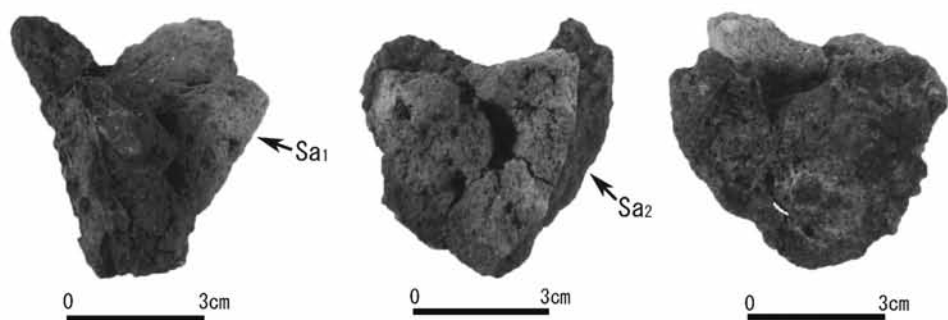


図5 No.7・No.8の組織観察結果

外観の矢印は試料摘出位置。ミクロ組織(反射電子組成像)はマクロ組織領域(Reg. 1)、領域(Reg. 2)、および領域(Reg. 3)内部。L=レーデブライト組織、G=片状黒鉛、PCm=初析セメント、Me=鉄粒。



	Sa ₁	Sa ₂
マクロ組織		
ミクロ組織		

図6 No.9の組織観察結果

外観の矢印は試料抽出位置。ミクロ組織(反射電子組成像)はマクロ組織領域(Reg. 1)および領域(Reg. 2)内部。BEIはEPMAによる反射電子組成像。Mag=マグネタイト、Wus=ウスタイト、Fa=鉄かんらん石、Pl=斜長石、Kfs=カリ長石、Qtz=石英、Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。

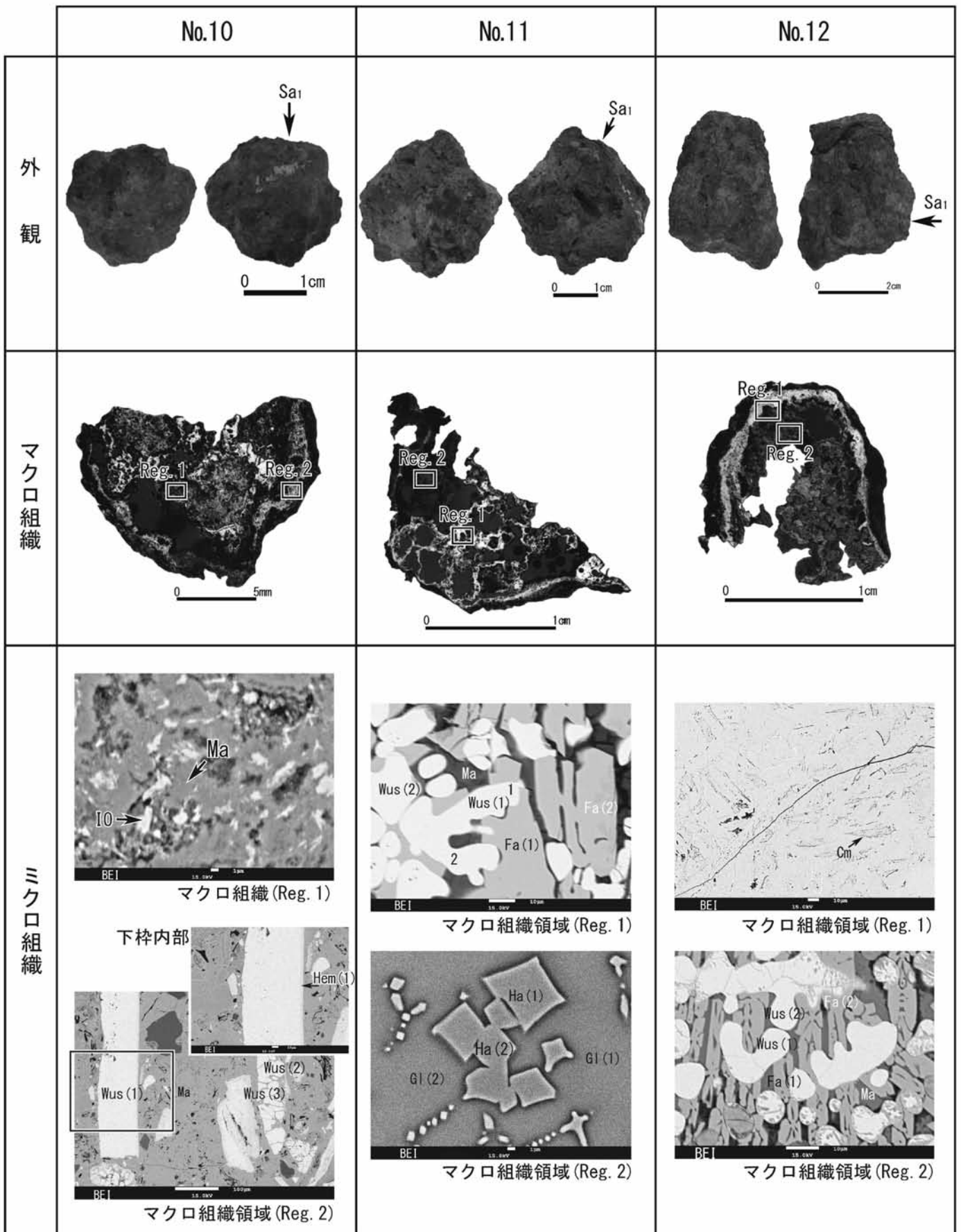


図7 No. 10・No. 11・No. 12の組織観察結果

外観の矢印は試料摘出位置。ミクロ組織(反射電子組成像)はマクロ組織領域(Reg. 1)および領域(Reg. 2)内部。
 Cm=セメントイトまたはその欠落孔、Wus=ウスタイト、Hem=ヘマタイト、I0=Fe-O系領域、Fa=鉄かんらん石、
 Ha=Fe-Al-O系化合物、Gl=ガラス質ケイ酸塩、Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。

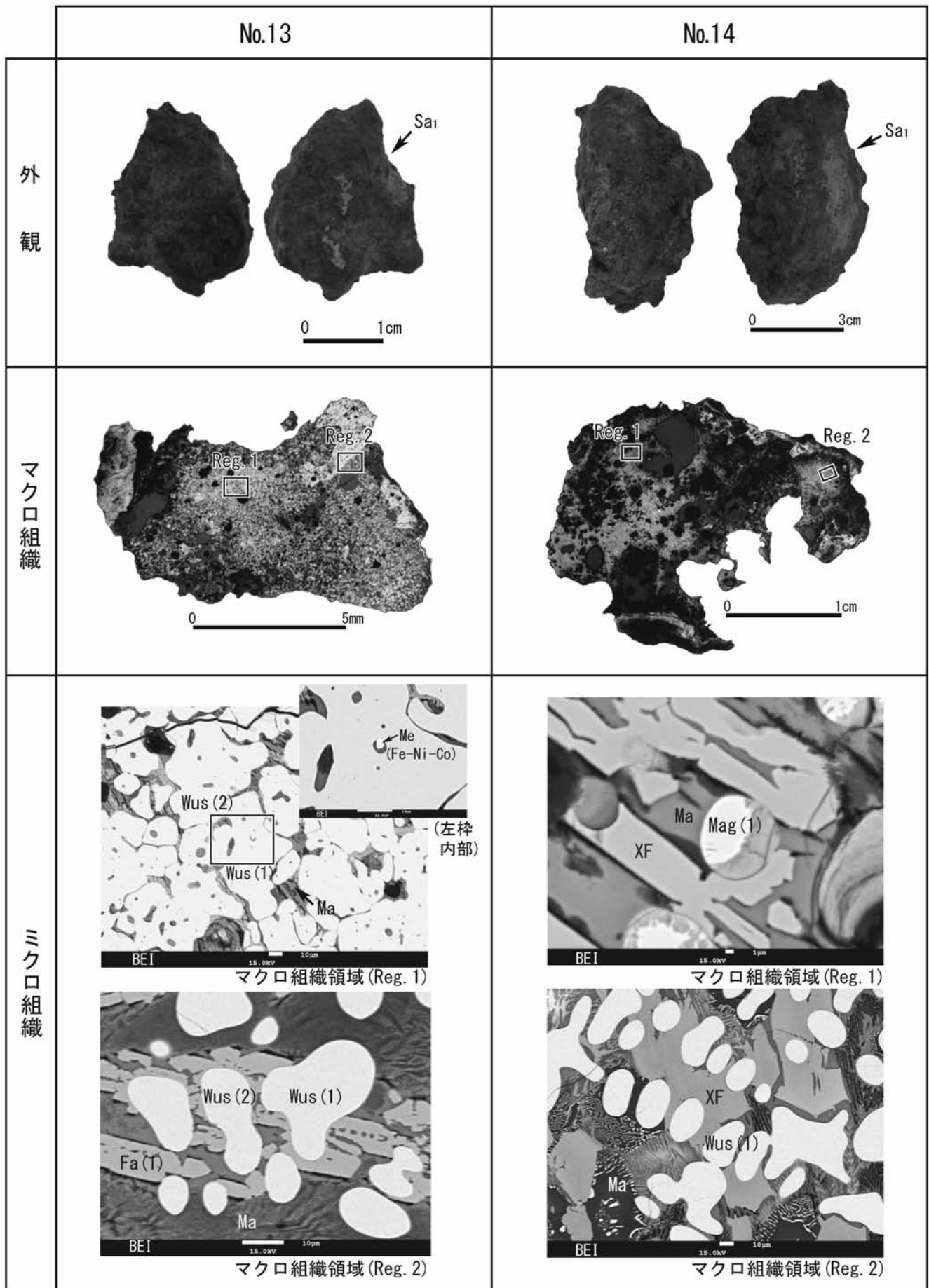


図8 No.13・14の組織観察結果

外観の矢印は試料摘出位置。ミクロ組織(反射電子組成像)はマクロ組織領域(Reg. 1)および領域(Reg. 2)内部。Mag=マグネタイト、Wus=ウスタイト、Fa=鉄かんらん石、XF=Fe-Mg-Si-O系化合物、Ma=微細粒子が混在したガラス化した領域。No.13_{Sa1}マクロ組織領域(Reg. 1)内部に見出された鉄粒(Me)には微量のNiおよびCoが含有されている。

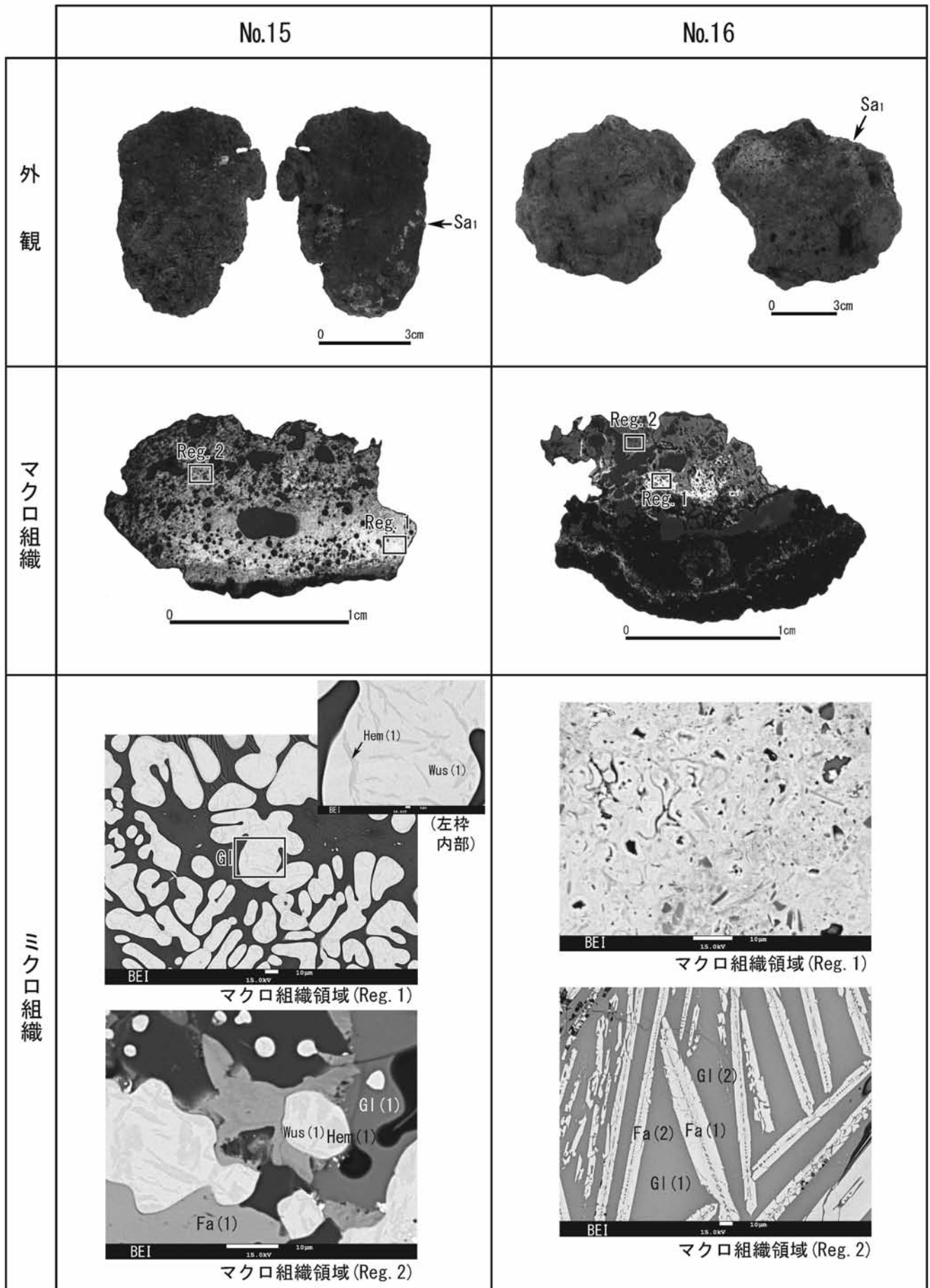


図9 No. 15・16の組織観察結果

外観の矢印は試料摘出位置。ミクロ組織(反射電子組成像)はマクロ組織領域(Reg. 1)および領域(Reg. 2)内部。
 Wus=ウスタイト、Hem=ヘマタイト、Fa=鉄かんらん石、Gl=ガラス質ケイ酸塩。

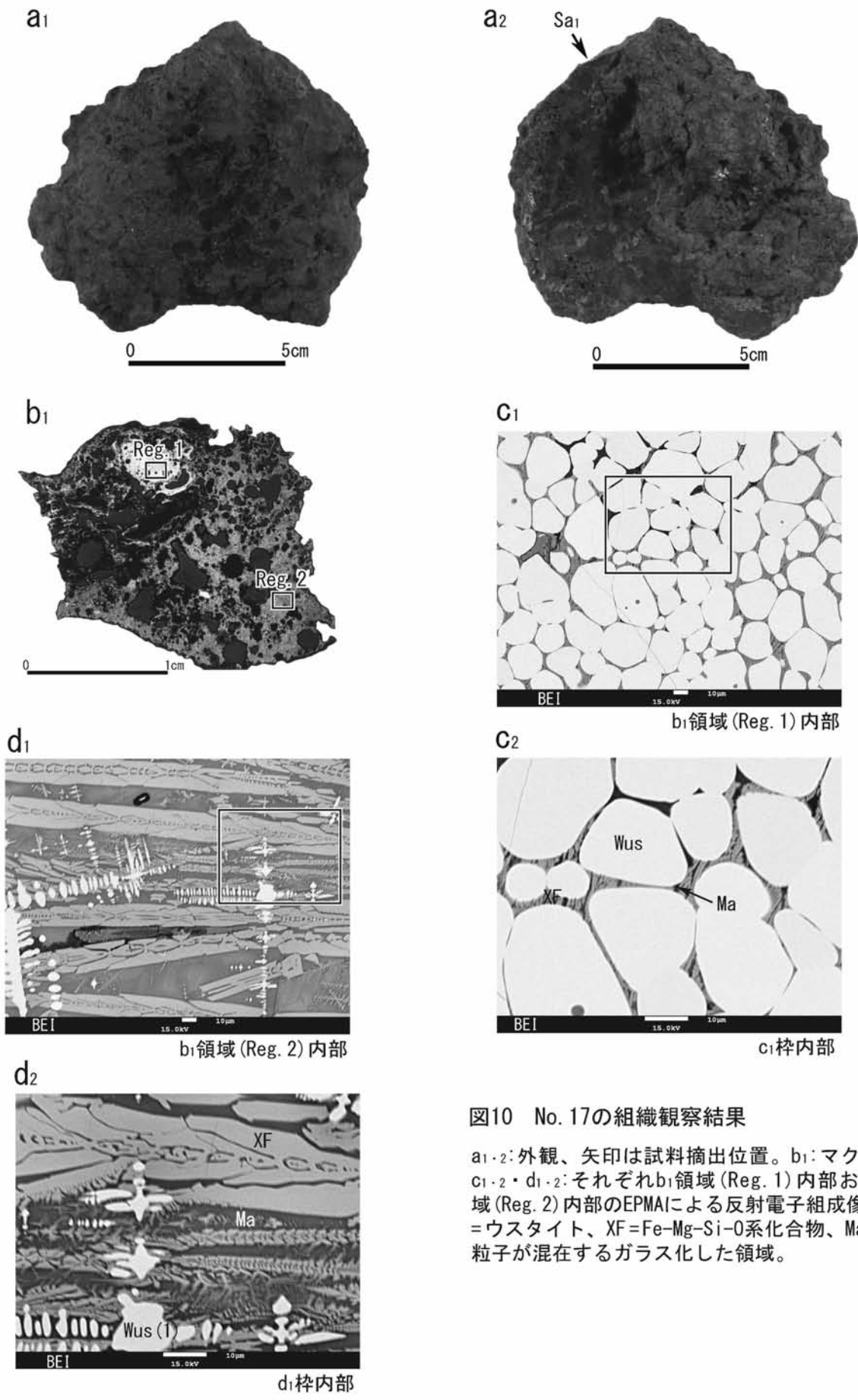
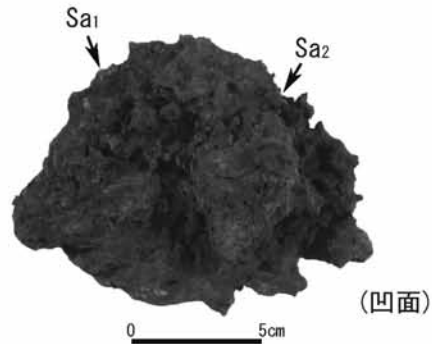


図10 No. 17の組織観察結果

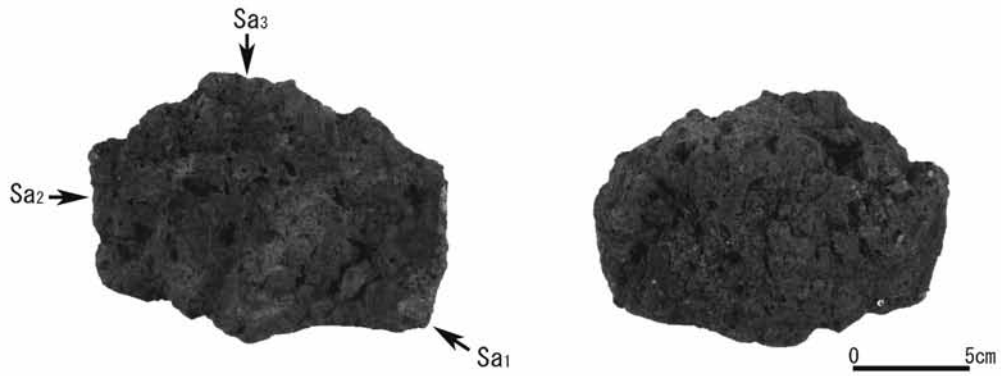
a₁・2: 外観、矢印は試料摘出位置。b₁: マクロ組織。
 c₁・2・d₁・2: それぞれb₁領域 (Reg. 1) 内部および領域 (Reg. 2) 内部のEPMAによる反射電子組成像。Wus = ウスタイト、XF = Fe-Mg-Si-O系化合物、Ma = 微細粒子が混在するガラス化した領域。



	Sa ₁	Sa ₂
マクロ組織		
ミクロ組織	<p>マクロ組織領域 (Reg. 1)</p>	<p>マクロ組織領域 (Reg. 1)</p> <p>左枠内部</p>
	<p>マクロ組織領域 (Reg. 2)</p>	<p>マクロ組織領域 (Reg. 2)</p> <p>左枠内部</p>

図11 No. 18の組織観察結果

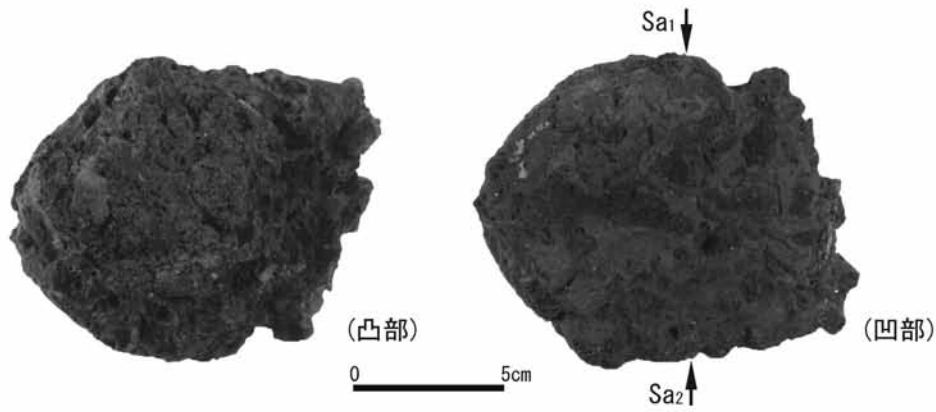
外観の矢印は試料抽出位置。ミクロ組織(反射電子組成像)はマクロ組織領域(Reg. 1)および領域(Reg. 2)内部。
 Me=鉄粒、Wus=ウスタイト、Hem=ヘマタイト、Fa=鉄かんらん石、XF=Fe-Mg-Si-O系化合物、Gl=ガラス質ケイ酸塩、Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。Sa₂マクロ組織領域(Reg. 1)内部にはCS (Cu-S系化合物)が混在。



	Sa ₁	Sa ₂	Sa ₃
マクロ組織			
ミクロ組織	<p>マクロ組織領域 (Reg. 1)</p> <p>マクロ組織領域 (Reg. 2)</p>	<p>マクロ組織領域 (Reg. 1)</p> <p>上の枠内部</p>	<p>マクロ組織領域 (Reg. 1)</p> <p>上の枠内部</p>

図12 No.19の組織観察結果

外観の矢印は試料抽出位置。ミクロ組織(反射電子組成像)はマクロ組織領域(Reg. 1)または領域(Reg. 2)内部。Me = 鉄粒、Mag = マグネタイト、Fa = 鉄かんらん石、Ol = (Fe, Ca, Mg)-オリビン、IO = Fe-O系領域、XF = Fe-Mg-Si-O系化合物、Qtz = 石英、Opx = 斜方輝石、Gl = ガラス質ケイ酸塩、Ma = 微細粒子が混在するガラス化した領域。



		Sa ₁	Sa ₂
マクロ組織			
ミクロ組織		<p>マクロ組織領域 (Reg. 1)</p>	<p>マクロ組織領域 (Reg. 1)</p>
		<p>マクロ組織領域 (Reg. 2)</p>	<p>マクロ組織領域 (Reg. 2)</p>

図13 No.20の組織観察結果

外観の矢印は試料摘出位置。ミクロ組織(反射電子組成像)はマクロ組織領域(Reg. 1)および領域(Reg. 2)内部。Wus = ウスタイト、Fa = 鉄かんらん石、X0 = Fe-Ti-Al-O系領域、GI = ガラス質ケイ酸塩、Ma = 微細粒子が混在するガラス化した領域。

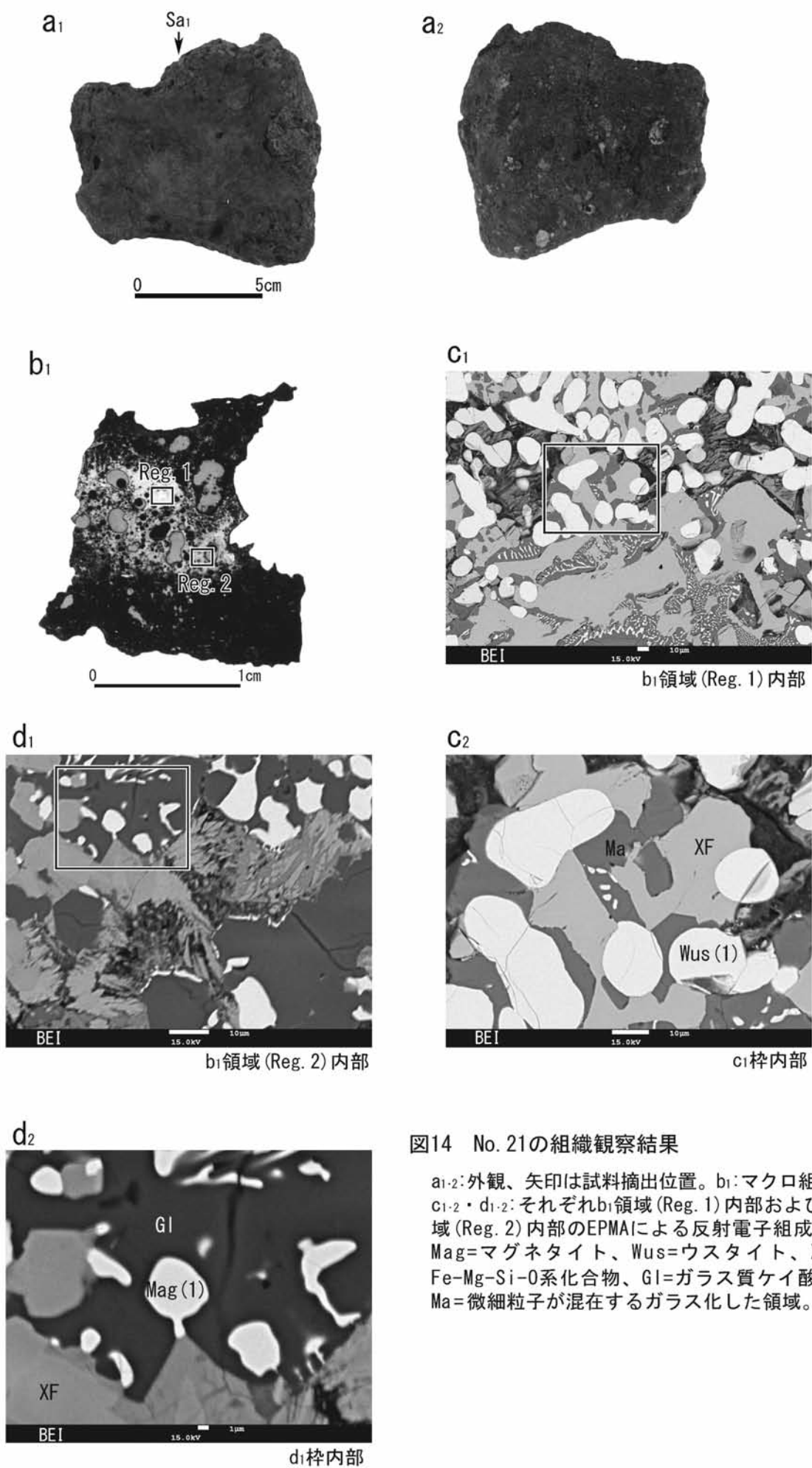


図14 No. 21の組織観察結果

a₁・2: 外観、矢印は試料摘出位置。b₁: マクロ組織。
c₁・2・d₁・2: それぞれb₁領域 (Reg. 1) 内部および領域 (Reg. 2) 内部のEPMAによる反射電子組成像。
Mag=マグネタイト、Wus=ウスタイト、XF=Fe-Mg-Si-O系化合物、Gl=ガラス質ケイ酸塩、Ma=微細粒子が混在するガラス化した領域。

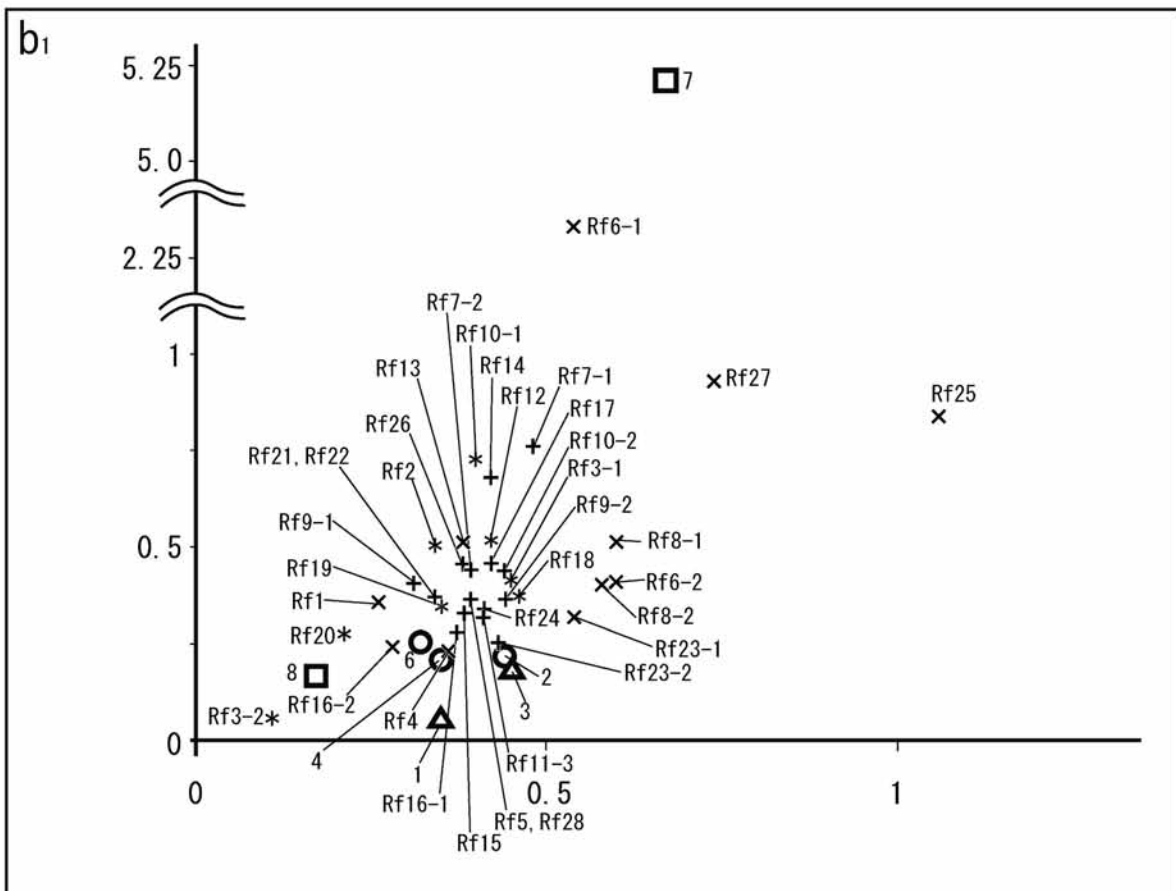
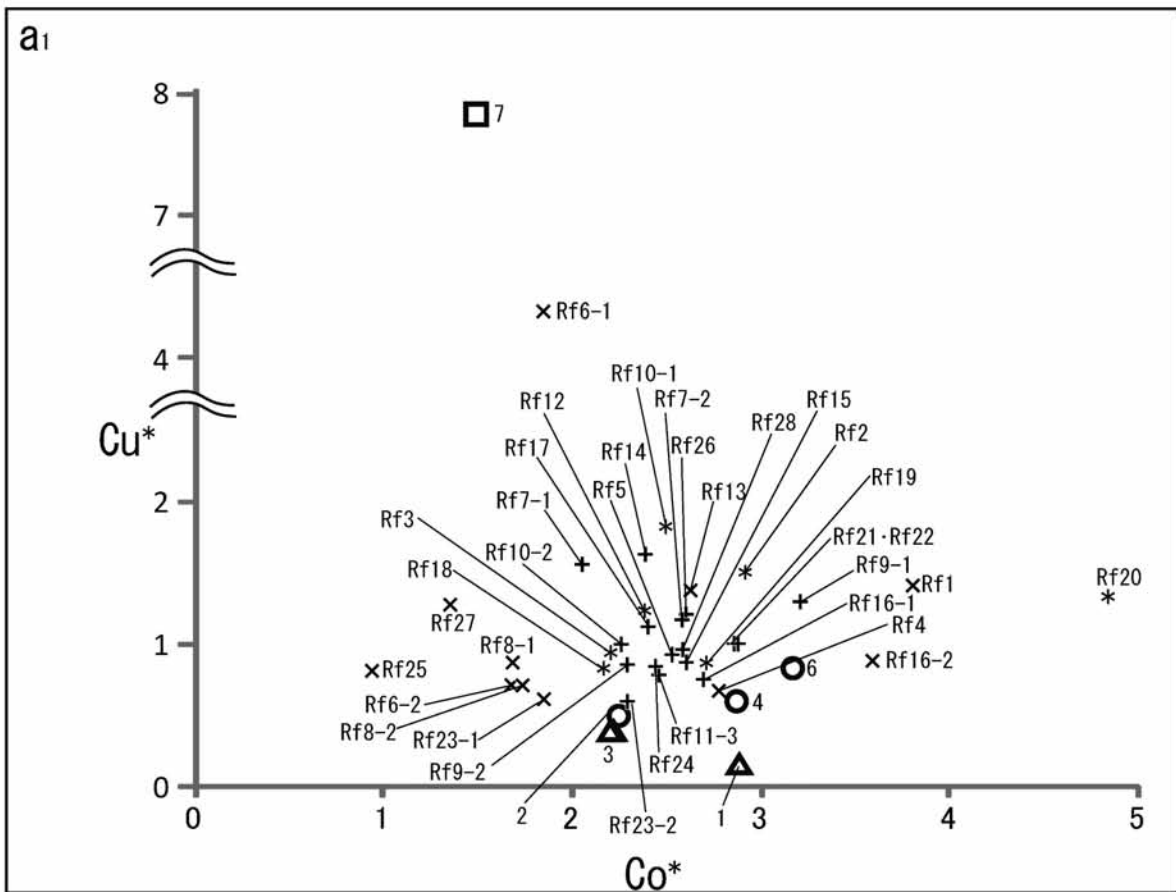


図 15 分析した鉄器・鉄塊に含有される Cu・Ni・Co 三成分比

No. は表 1 に対応。Co*=(mass%Co) / (mass%Ni)、Cu*=(mass%Cu) / (mass%Ni)、Ni**=(mass%Ni) / (mass%Co)、Cu**=(mass%Cu) / (mass%Co)。白丸 (○)= 非金属介在物中に鉄チタン酸化物が見出されなかった鋼製鉄器、白三角 (△)= 非金属介在物が見出されなかった鋼製鉄器、白四角 (□)= 銑鉄と鋼が混在した資料。Rf 1 ~ Rf 12= 群馬県前橋市富田下大日遺跡出土鉄器 (鋼製)、Rf 13 ~ Rf 28= 群馬県前橋市富田漆田遺跡出土鉄器 (鋼製)。富田下大日遺跡および富田漆田遺跡出土鉄器の中で、鉄チタン酸化物が見出されなかった資料はバツ印 (X)、非金属介在物に鉄チタン酸化物が見出された資料は十字印 (+)、非金属介在物が見出されなかった資料は星印 (*) で掲載。

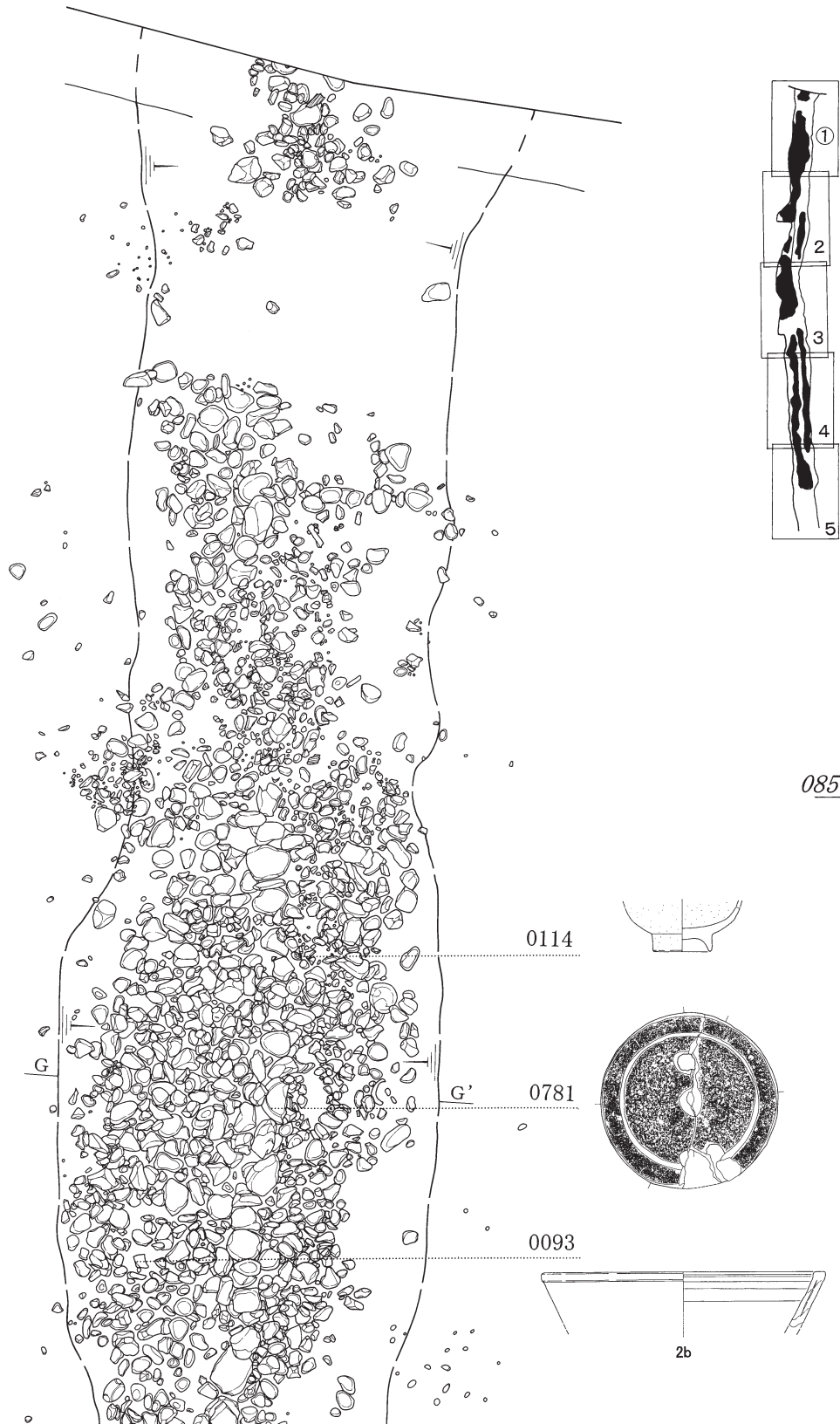
S

2

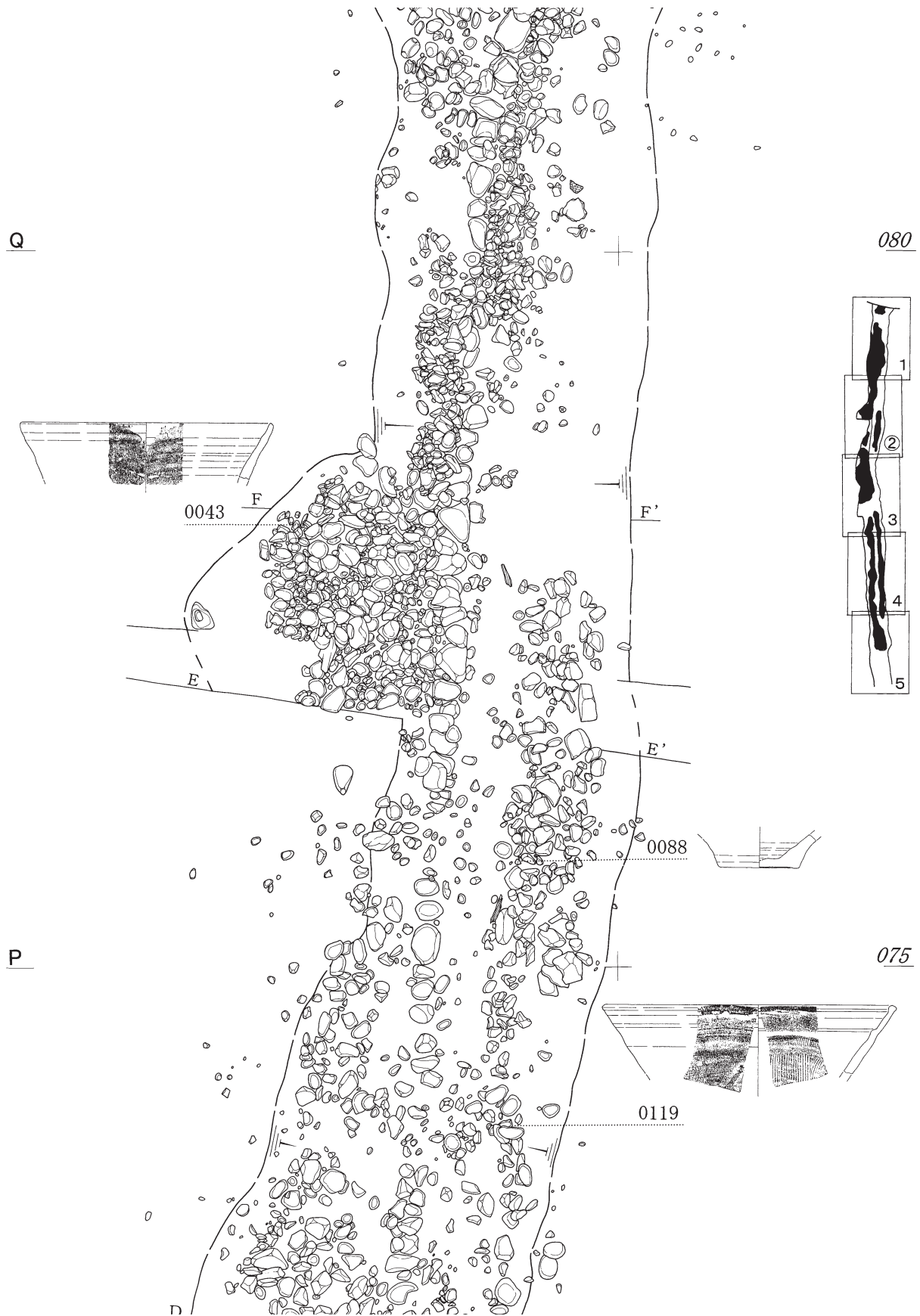
X= 37.090

R

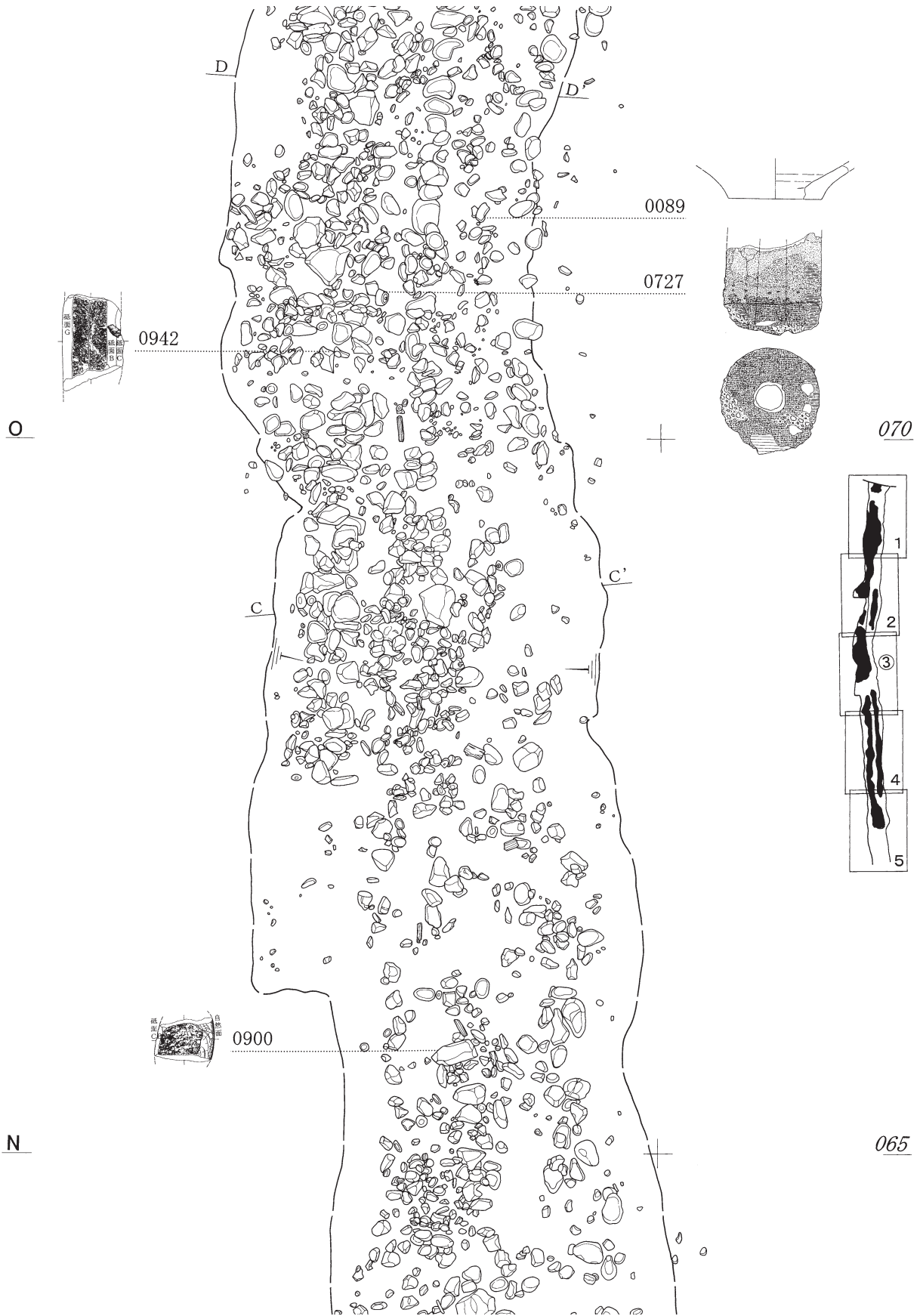
085



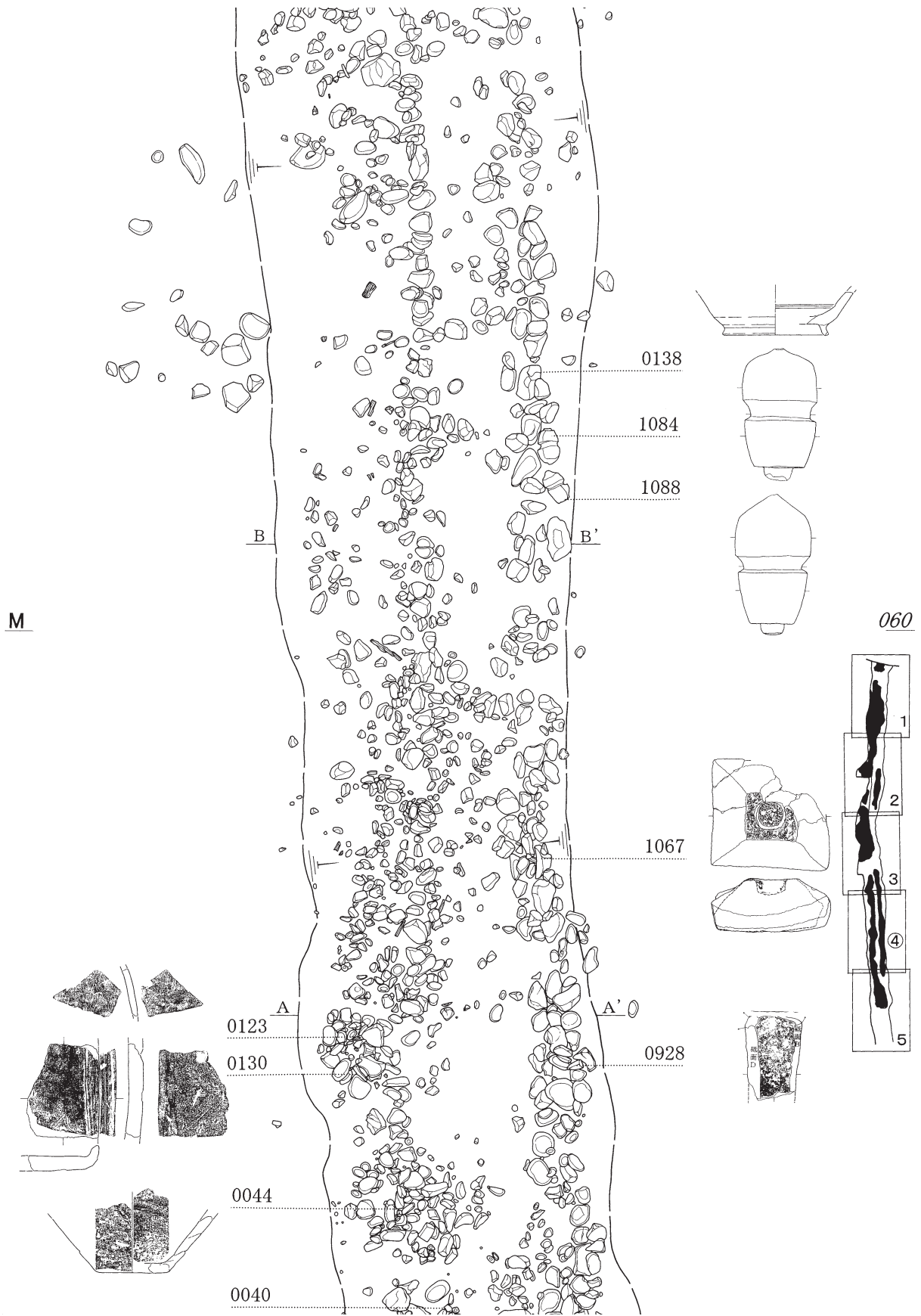
第14図 第1号溝状遺構4区微細図 1/5 (1:40)



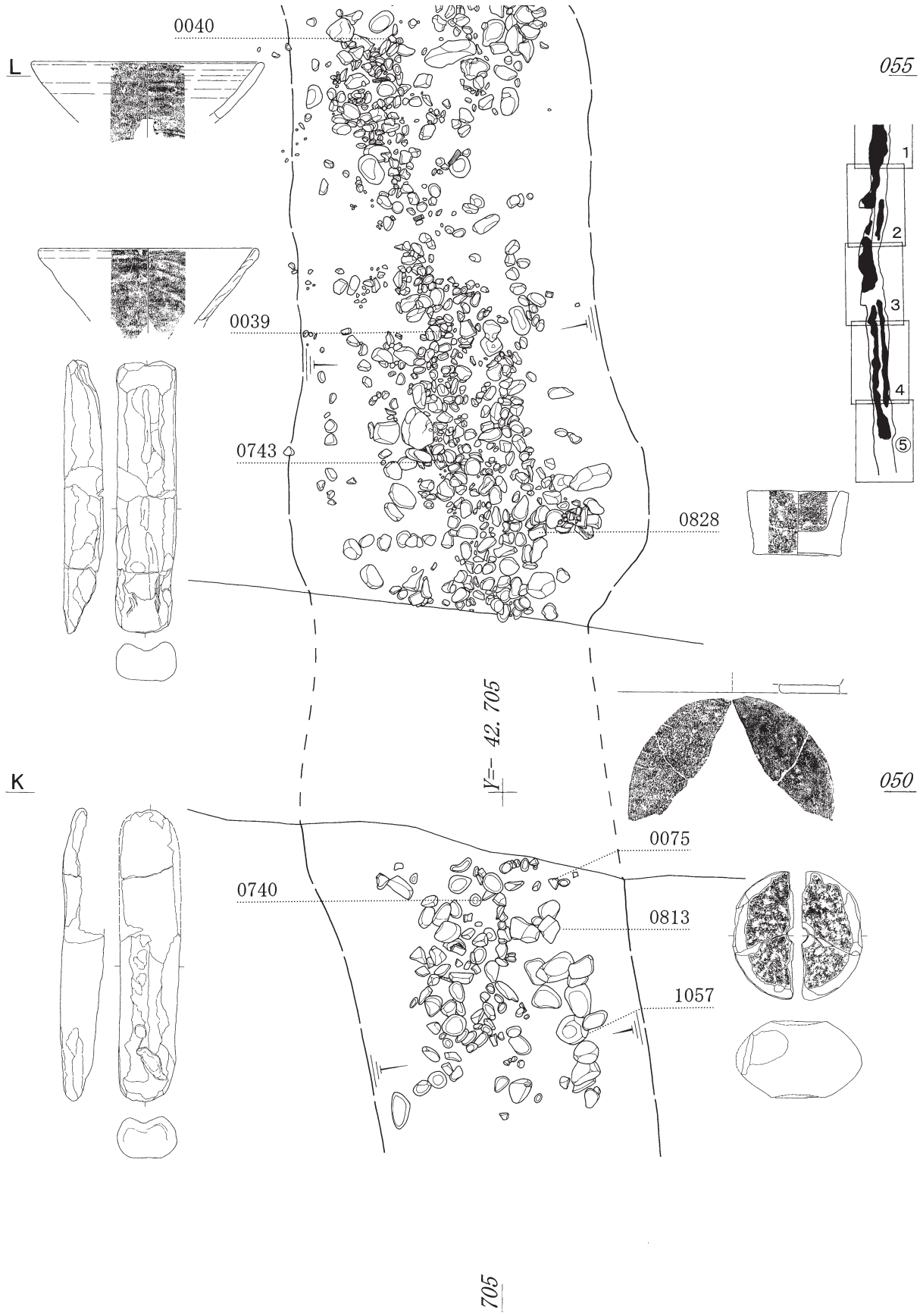
第15図 第1号溝状遺構4区微細図 2/5 (1:40)



第16図 第1号溝状遺構4区微細図 3/5 (1:40)

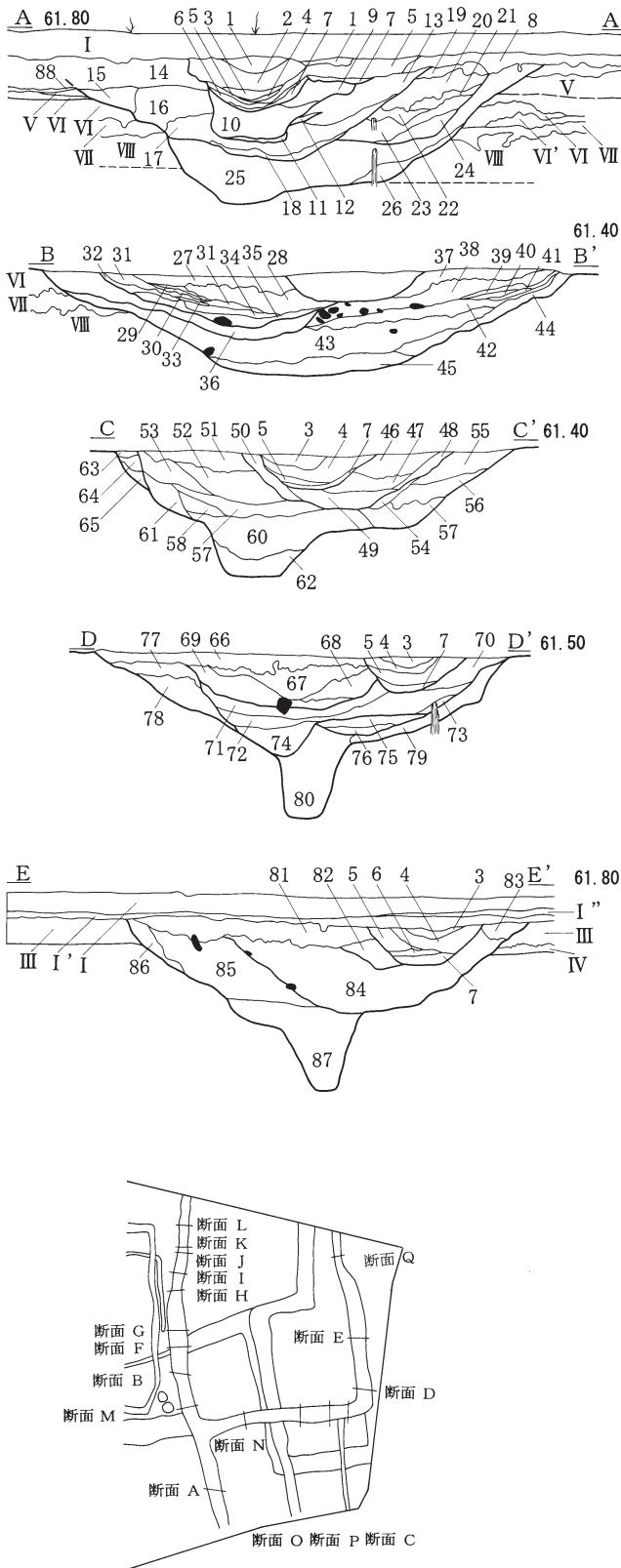


第17図 第1号溝状遺構4区微細図 4/5 (1:40)



第18図 第1号溝状遺構4区微細図 5/5 (1:40)

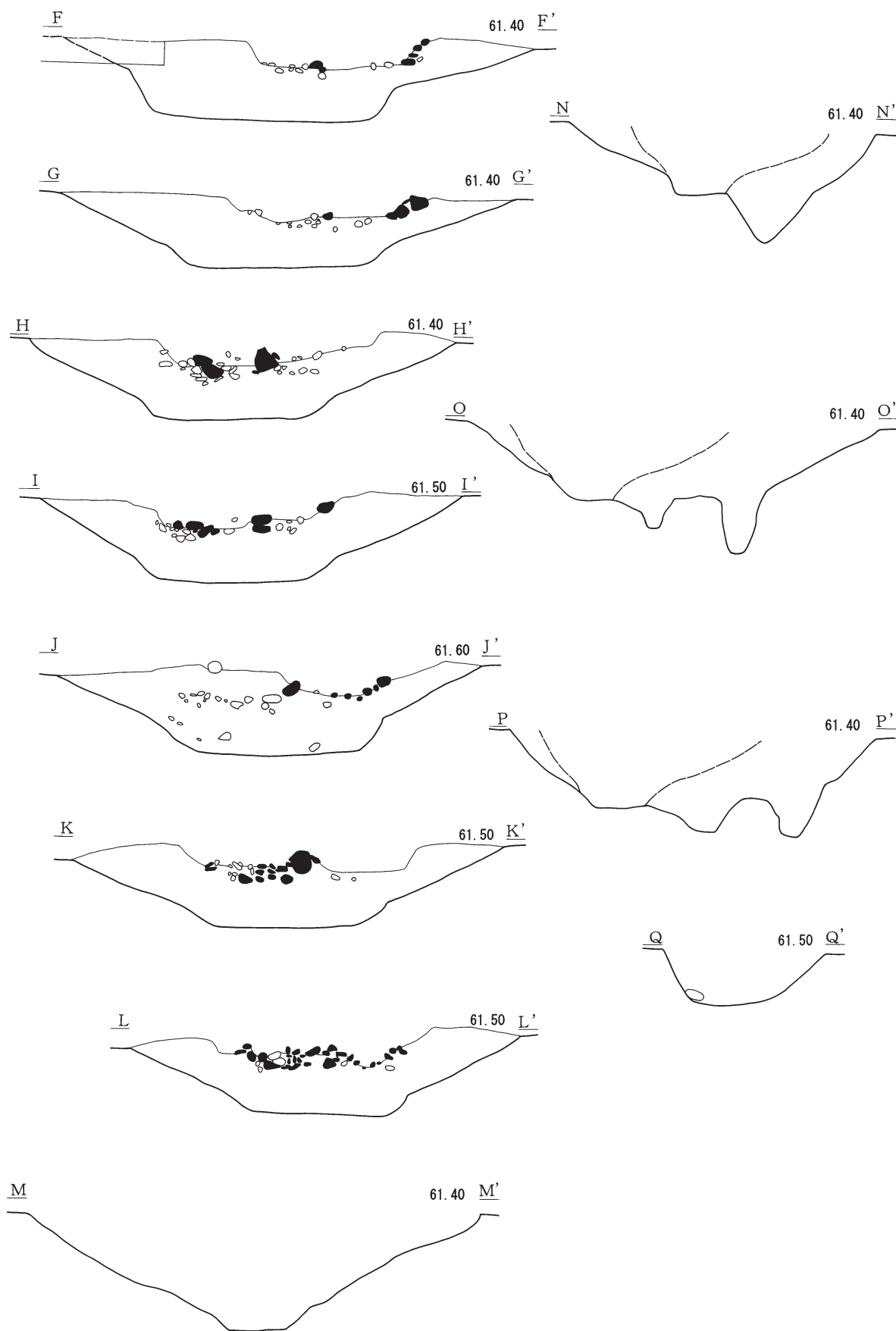
第1溝状遺構



(1~7層土は第4溝状遺構)

1. 灰褐色：シルト質・粒状鉄分含有。 2. 灰色：水性堆積シルト。
3. 灰色細粒状シルト。 4. 灰色シルト。 5a. 灰色細粒状シルト。
- 5b. 褐色シルト：鉄分含有。 6. 黄灰色シルト。 7. 暗灰色シルト。
8. 灰色シルト：粒状鉄分含有。 9. 灰褐色：粒状鉄分含有。
10. 灰褐色：鉄分少量・粘質。 11. 灰色砂。 12. 灰色シルト。
13. 灰色シルト質・砂多量・粒状鉄分多量。 14. 茶褐色：細粒状白色軽石微量。
15. 茶褐色：鉄分斑状・砂質気味。 16. 灰黄褐色シルト。 17. 灰色シルト：粒状鉄分少量。 18. 灰色砂。
19. 暗褐色：粗粒状鉄分多量。 20. 茶褐色：細粒状白色軽石微量。
21. 茶褐色：細粒状白色軽石少量。 22. 茶褐色：細粒状白色軽石含有。
23. 茶褐色：細粒状白色軽石少量。 24. 茶褐色：細粒状白色軽石微量。
25. 灰褐色シルト。 26. 灰暗褐色：粘質土・細粒状白色軽石無し。
27. 黒灰色：As-B 軽石多量。 28. 黒灰色：塊状シルト・粒状鉄分含有。
29. 灰白色シルト。 30. 暗灰色シルト。 31. 暗灰色シルト。
32. 暗灰色：塊状VIII層土含有。 33. 灰色シルト。 34. 暗灰色シルト。
35. 灰色シルト。 36. 灰色シルト・粒状鉄分無し。
37. 黒灰色：As-B 軽石多量。 38. 黒灰色：As-B 軽石含有・鉄分含有。
39. 灰色シルト(粗粒状)。 40. 暗灰色シルト。 41. 灰白色シルト。
42. 灰色シルト。 43. 暗灰褐色：シルト質・粒状鉄分含有・粘質。
44. 黒灰色：鉄分少量。 45. 黒灰色：シルト質・粘質有り。
46. 灰褐色：シルト質・細粒状鉄分混入。 47. 灰褐色シルト質。
48. 灰褐色シルト質：細粒状鉄分含有。 49. 灰褐色シルト質：粘質。
50. 灰褐色粗粒状シルト質。 51. 黒灰色：粗粒状VIII層土少量・細粒状白色軽石少量。
52. 黒灰色：小塊状VIII層土灰色・粒状鉄分少量・細粒状白色軽石微量。
53. 黒灰色：シルト含有。 54. 灰褐色：粗粒状シルト(砂に近い)。
55. 灰褐色：細粒状白色軽石少量。
56. 灰褐色：細粒状白色軽石少量・粒状鉄分少量。 57. 暗灰褐色：粒状鉄分少量・粘質。
58. 暗灰褐色：粘質。 59. 暗灰褐色：粘質・粒状鉄分無し。
60. 暗灰褐色：粒状鉄分含有・粘質。 61. 黒褐色：シルト含有・粘質。
62. 黒色粘性有機質土(植物多量)シルト質。
63. 黒色：細粒状白色軽石混入。 64. 塊状VIII層土。 65. 黒褐色：細粒状白色軽石無し。
66. 灰褐色：細粒状白色軽石少量・黒色粒子含有。 67. 灰褐色：粗粒状鉄分含有・細粒状白色軽石微量。
68. 茶褐色：粘質・細粒状白色軽石微量・粒状鉄分含有。
69. 茶褐色：粒状鉄分多量・細粒状白色軽石微量。
70. 茶褐色：細粒状白色軽石無・粒状鉄分含有。
71. 茶褐色シルト質：粒状鉄分多量。 72. 茶褐色シルト質：粒状鉄分多量・粘質。
73. 茶褐色シルト。 74. 暗灰褐色：粒状鉄分少量・粘質。
75. 暗灰褐色シルト質：粘質。 76. 暗灰褐色シルト。
77. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・粒状鉄分多量。 78. 黒灰色：細粒状白色軽石微量・粘質。
79. 暗灰色：砂質・粒状鉄分無。
80. 暗灰色：砂質・鉄分斑状。
81. 灰褐色：細粒状白色軽石少量・黒色粒子含有。 82. 暗灰褐色シルト。
83. 81同質。 84. 暗灰色：細粒状白色軽石微量・粗粒状鉄分含有。
85. 暗灰褐色：細粒状鉄分少量・粒状鉄分多量・細粒状白色軽石少量。
86. 暗灰褐色：細粒状白色軽石若干。 87. 暗灰色シルト質：粘質強。
88. 灰色シルト質：粒状鉄分少量。

第19図 第1号溝状遺構土層断面図(1:40)

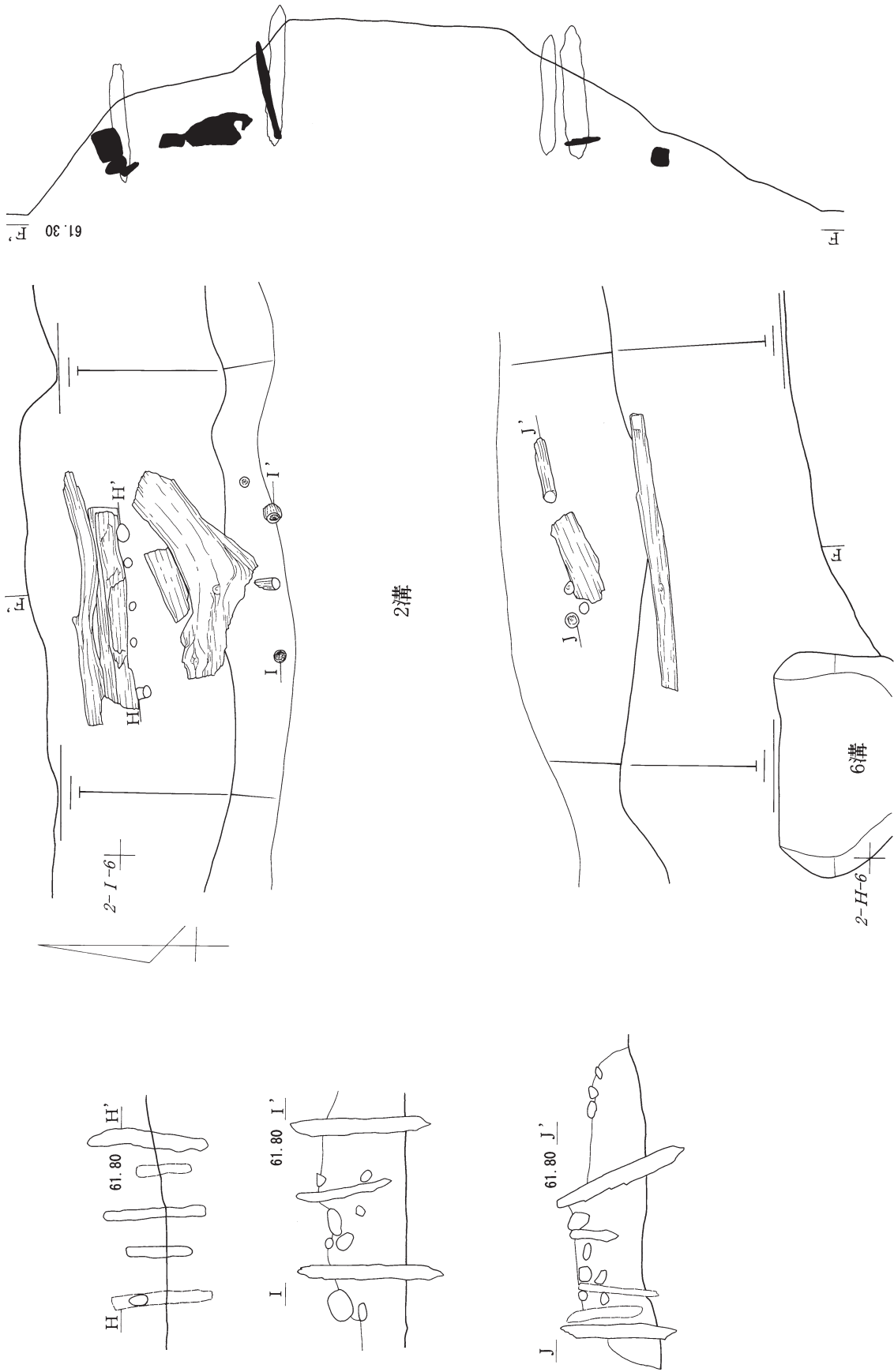


第20図 第1号溝状遺構断面図 (1:40)

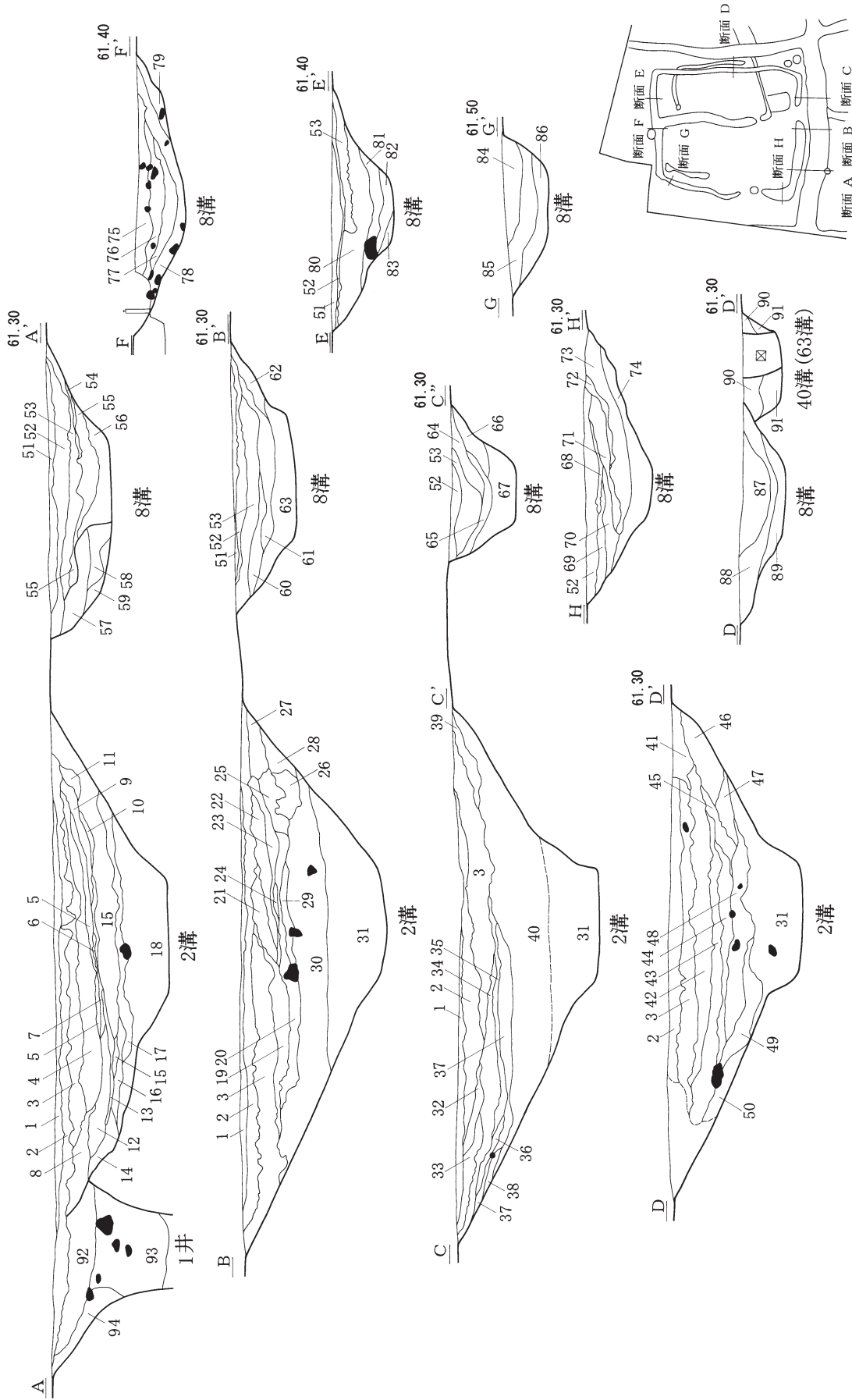


全基準線標高値61.30m

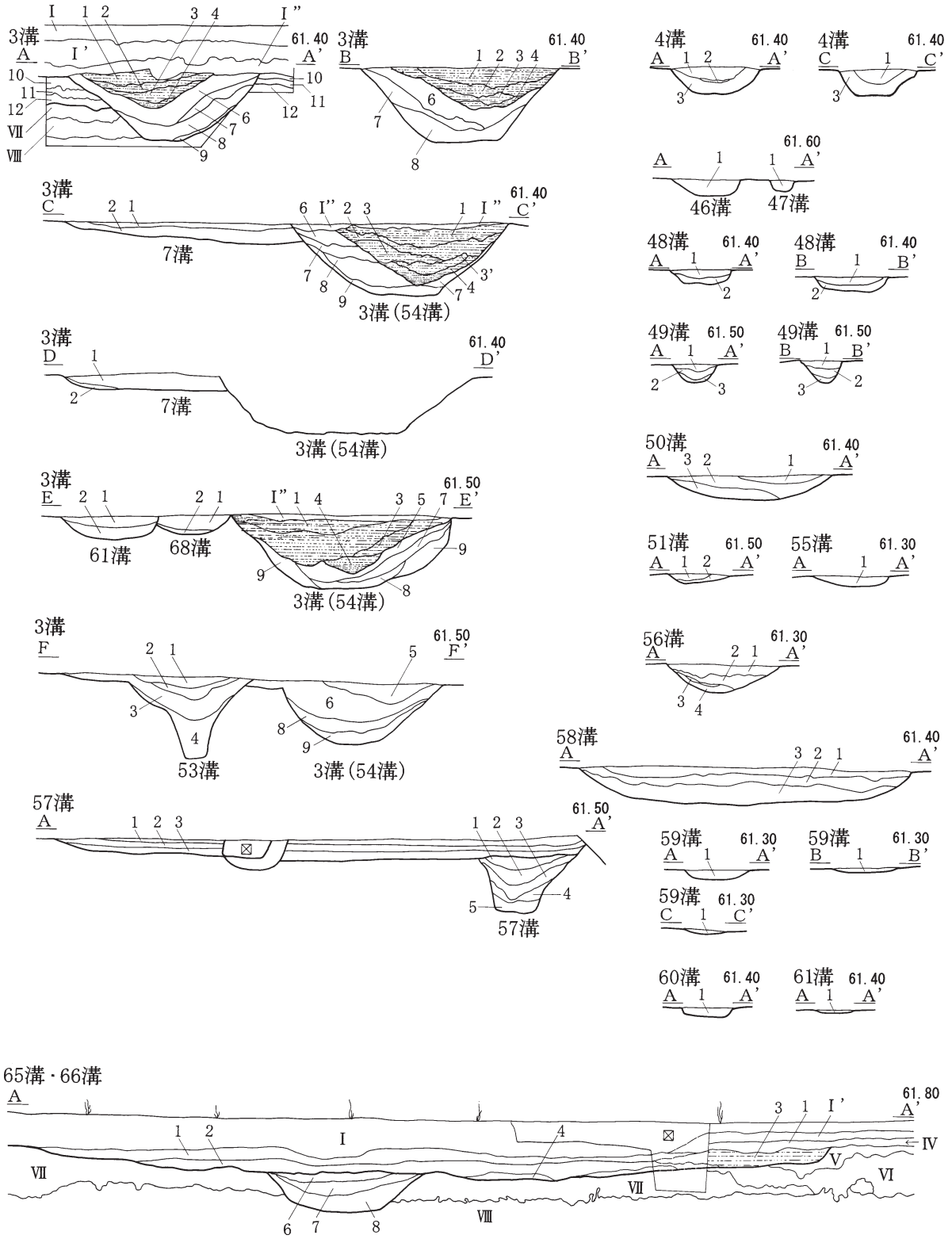
第21図 第2号溝状遺構橋脚部平面図 1/2 (1:40)



第22図 第2号溝状遺構橋脚部平面図 2/2 (1:40)

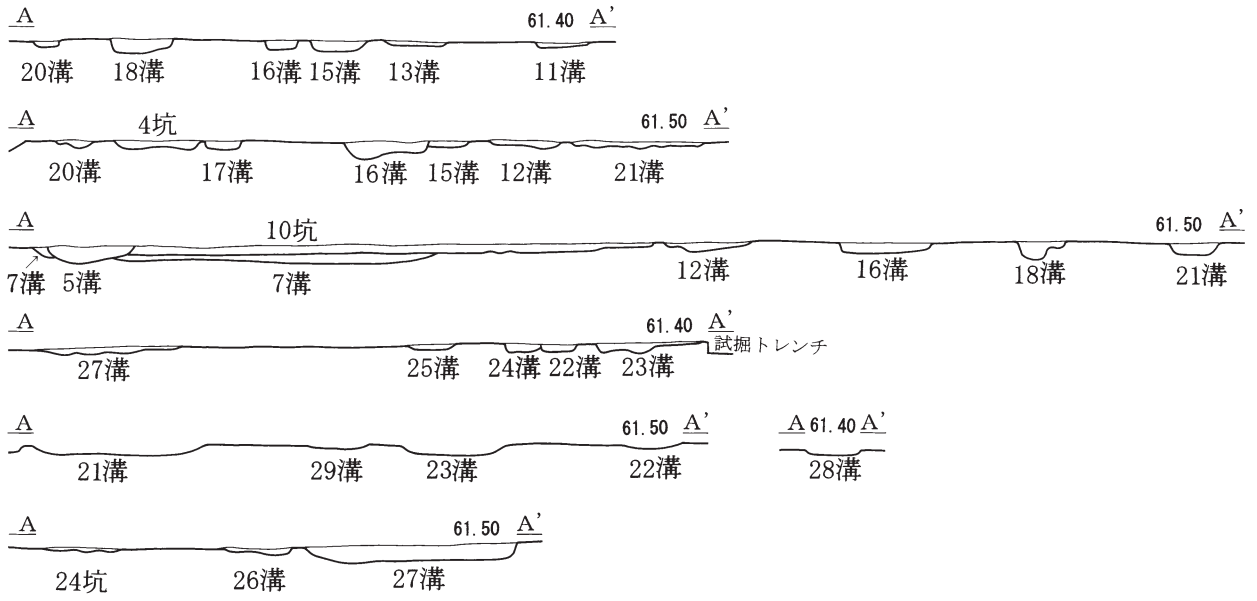


第23図 第2・8号溝状遺構土層断面図 (1:60)

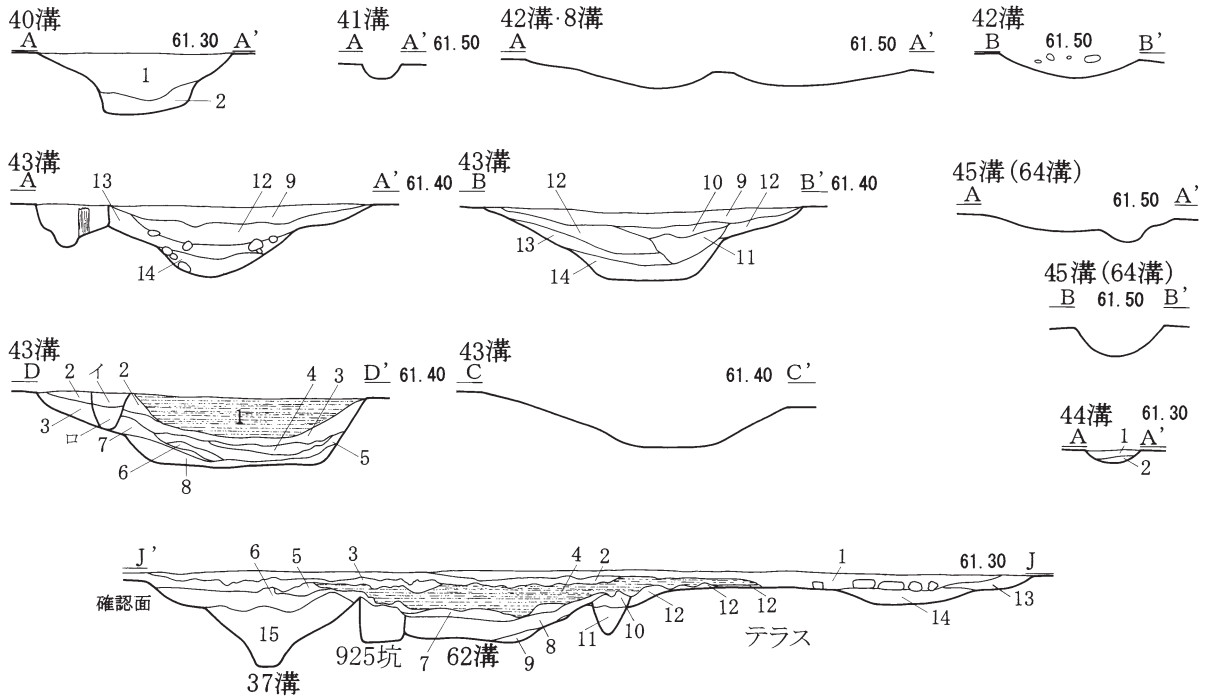


第24図 溝状遺構土層断面図 1/3 (1:60)

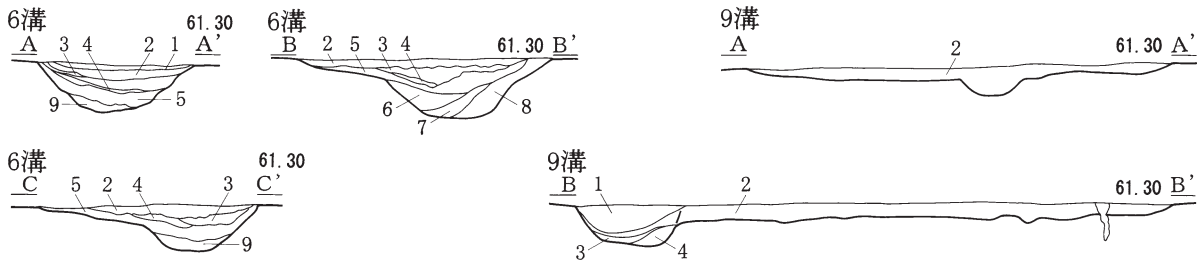
発見された遺構と出土遺物



調査区内南東部の溝

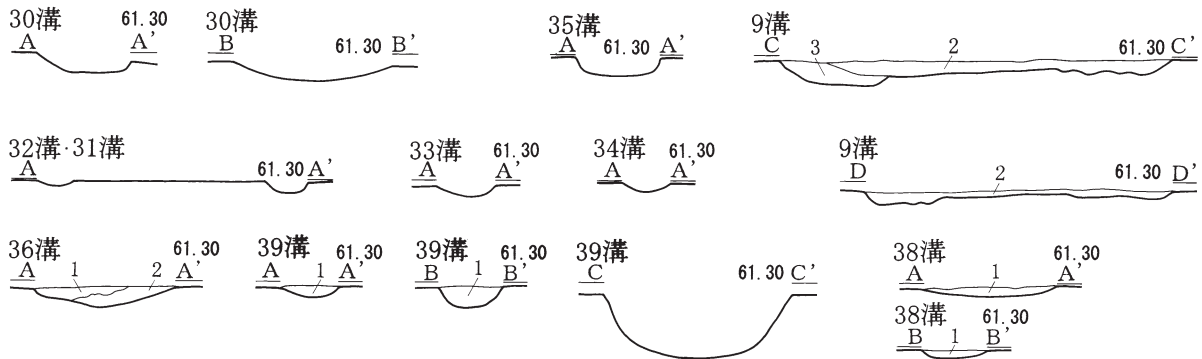


調査区内北西部の溝



調査区内南西部の溝(1)

第25図 溝状遺構土層断面図 2/3 (1:60)



第26図 溝状遺構土層断面図 3/3 (1:60)

調査区内南西部の溝(2)

土層注記

第2号溝状遺構層序 (61.30m)

A-A' 1. 黒灰褐色：細粒状As-B軽石多量。 2. 黒灰褐色：細粒状As-B軽石含有・粒状斑状鉄分少量・細粒状白色軽石少量。
 3. 暗灰褐色：細粒状白色軽石微量・粒状斑状鉄分斑状。 4. 灰褐色：細粒状細粒状白色軽石微量・粒状斑状鉄分含有。 5. 茶灰褐色：粒状斑状鉄分多量。 6. 砂層。 7. 茶灰褐色：粒状斑状鉄分多量。 8. 茶灰褐色：細粒状白色軽石微量・粒状斑状鉄分多量。 9. 暗灰褐色：粒状斑状鉄分含有。 10. 7層同質。 11. 10層同質。 12. 暗灰褐色：粒状斑状鉄分少量。 13. 茶灰褐色：粒状斑状鉄分多量。 14. 砂質茶灰褐色：粒状斑状鉄分少量。 15. 粘質黒灰褐色：粒状斑状鉄分微量。 16. 暗灰褐色：シルト質・粒状斑状鉄分無。 17. 茶灰褐色：シルト質・粒状斑状鉄分若干。 18. 黒色粘性有機質土(植物多量)。
 B-B' 19. 茶灰褐色：シルト質・粘質・粗粒状斑状鉄分含有。 20. 茶灰褐色：シルト質・粒状斑状鉄分多量。 21. 茶灰褐色：粗粒状斑状鉄分含有。 22. 灰褐色：細粒状白色軽石微量・粒状斑状鉄分含有。 23. 暗灰褐色：細粒状白色軽石微量・粒状斑状鉄分少量。 24. 斑状鉄分凝集。 25. 暗灰褐色：細粒状白色軽石微量・小塊状Ⅷ層土含有。 26. 暗灰褐色：塊状Ⅷ層土混入。 27. 塊状Ⅵ層土。 28. 塊状Ⅶ層土。 29. 暗灰褐色：粘質気味・粒状斑状鉄分少量。 30. 黒色：粘質・粒状斑状鉄分含有。 31. 黒色粘性有機質土(植物多量)。
 C-C' 32. 3層同質。 33. 暗灰褐色：粒状斑状鉄分少量。 34. 暗灰褐色：粘質・粒状斑状鉄分微量。 35. 24同質。 36. 暗灰褐色：粘質・斑状鉄分微量(34近質)。 37. 黒灰褐色：斑状鉄分無・粘質。 38. 黒灰褐色：砂質気味・斑状鉄分無。 39. 9層同質。 40. 30層同質。
 D-D' 41. 黒灰褐色：細粒状白色軽石混入。 42. 黒灰褐色：細粒状白色軽石微量・粒状斑状鉄分微量。 43. 暗灰褐色：斑状粒状斑状鉄分多量。 44. 黒灰褐色：粘質・粒状斑状鉄分少量。 45. 暗灰褐色：粒状斑状鉄分少量。 46. 27同質。 47. 暗灰褐色：シルト混入・塊状Ⅳ層土含有。 48. 黒灰褐色砂層。 49. 黒褐色粘性有機質土(植物多量)。 50. 黒灰褐色：粒状斑状鉄分若干。

第8号溝状遺構層序

A-A' 51. 黒灰褐色：細粒状As-B軽石多量。 52. 黒灰褐色：細粒状As-B軽石含有・粒状斑状鉄分少量。 53. 暗灰褐色：粘質・粒状斑状鉄分混入・細粒状白色軽石含有。 54. 暗灰褐色：粒状斑状鉄分若干。 55. 暗灰褐色：シルト質。 56. 暗灰褐色：粒状斑状鉄分少量。 57. 茶褐色：粒状斑状鉄分含有。 58. 黒褐色：細粒状Ⅷ層土混入。 59. 黒褐色：細粒状白色軽石微量。
 B-B' 60. 暗灰褐色：シルト質。 61. 55層同質。 62. 54層同質。 63. 56層同質。
 C-C' 64. 56近質。 65. 55層同質。 67. 56層同質。
 H-H' 68. 53層近質。 69. 暗灰褐色：細粒状白色軽石少量・粒状斑状鉄分含有。 70. 茶灰褐色：粒状斑状鉄分含有・細粒状白色軽石微量。 71. 暗灰褐色：粒状斑状鉄分含有。 72. 暗灰褐色：粒状斑状鉄分少量・細粒状白色軽石微量。 73. 61層同質。 74. 63層同質。
 F-F' 75. 灰茶褐色：粒状斑状鉄分多量・細粒状白色軽石含有・塊状Ⅷ層土含有・大小礫含有。 76. 灰暗褐色：細礫混入・礫含有・粒状斑状鉄分少量。 77. 灰茶褐色：粒状斑状鉄分斑状。 78. 粘質黒褐色。 79. 灰茶褐色：礫含有・粒状斑状鉄分少量。
 E-E' 80. 灰茶褐色：塊状斑状鉄分斑状。 81. 黒色粘性有機質土(植物多量)・小塊状Ⅶ層土少量。 82. 黒色粘性有機質土(植物多量)・塊状Ⅷ層土含有。 83. 塊状Ⅷ層土。
 G-G' 84. 黒褐色：斑状鉄分含有・細粒状Ⅷ層土少量。 85. 黒褐色：細粒状白色軽石若干・小塊状Ⅷ層土少量。 86. 黒色：粗粒状Ⅷ層土含有・斑状鉄分少量。
 D-D' 87. 暗灰褐色：細粒状白色軽石少量・塊状Ⅷ層土混入。 88. 黒褐色：細粒状白色軽石少量・斑状鉄分少量。 89. 黒色粘性有機質土(植物多量)。

第63号溝状遺構層序 (61.30m)

90. 灰黒色：細粒状白色軽石混入・塊状Ⅷ層土多量。 91. 灰暗褐色：塊状Ⅷ層土含有。

第3(54)号溝状遺構層序 (61.40m)

I'. 土地改良時の整地層。 I''. 土地改良時の攪乱。 1. 黄褐色：水性堆積シルト層。 2. 黄褐色：水性堆積シルト層(互層堆積層・1よりやや暗い)。 3. 灰黄褐色：水性堆積シルト層(互層堆積層)。 3'. 3より粒子が細かい。 4. 灰黄褐色：水性堆積シルト層(互層堆積層・3よりやや暗い)。 5. 暗灰褐色：粒状Ⅶ層土若干。 6. 暗灰褐色：塊状Ⅶ層土多量。 7. 暗灰褐色：塊状Ⅶ層土混入。 8. 暗灰褐色：塊状Ⅶ層土含有。 9. 暗灰褐色：炭化物若干。 10. 黒灰褐色：塊状灰褐色土(シルト質)混入。 11. 黒灰褐色：塊状灰褐色土(シルト質)含有。 12. 黒灰褐色：塊状灰褐色土(シルト質)少量。

第7号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 暗灰褐色：塊状Ⅷ層土少量。 2. 暗灰褐色：粗粒状Ⅶ層土含有。

発見された遺構と出土遺物

第53号溝状遺構層序 (61.50m)

1. 暗灰褐色：塊状Ⅶ層土若干。 2. 暗灰褐色：粗粒状Ⅶ層土若干。 3. 黒灰褐色：塊状暗灰褐色土混入。 4. 黒灰褐色：水性堆積砂・壁崩壊土互層堆積。

第65・66号溝状遺構層序 (61.80m)

1. 黒灰褐色：粘質土。細粒状白色軽石含有。 2. 濁黄灰褐色：細粒状白色軽石少量・小塊状鉄分少量。 3. 水性堆積黄褐色シルト。
4. 暗灰褐色：細粒状白色軽石少量。 5. 暗灰褐色・黒灰褐色・灰褐色土の混入。 6. 暗灰褐色：細粒状白色軽石少量・塊状濁褐色土含有。
7. 暗灰褐色・灰褐色・黒灰褐色土の混入。 8. 暗灰褐色：細粒状白色軽石少量。

水田跡・第57号溝状遺構層序 (61.50m)

(水田跡) 1. 暗灰褐色。 2. 灰茶褐色：粒状斑状鉄分混入・上面側に斑状鉄分が溜まる。 3. 灰茶褐色：粒状斑状鉄分含有。
(第57溝) 1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有。 2. 黒灰褐色：塊状Ⅷ層土混入。 3. 黒灰褐色：塊状Ⅶ層土多量・粒状Ⅶ層土混入。
4. 暗灰褐色：塊状Ⅶ層土含有・粒状Ⅶ層土混入。 5. 黒灰褐色：粒状Ⅶ層土含有・塊状Ⅶ層土少量。

第4号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：斑状鉄分少量。 2. 灰色シルト。 3. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分少量。

第46号溝状遺構層序 (61.60m)

1. 暗灰褐色：細粒状Ⅷ層土少量。

第47号溝状遺構層序 (61.60m)

1. 暗灰褐色：小塊状Ⅶ層土含有。

第48号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有。 2. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状Ⅶ層土若干。

第49号溝状遺構層序 (61.50m)

1. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有。 2. 暗灰褐色：細粒状Ⅷ層土若干。 3. 暗灰褐色細粒状Ⅷ層土少量。

第50号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有。 2. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状Ⅶ層土若干。 3. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・細粒状Ⅷ層土少量。

第51号溝状遺構層序 (61.50m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・細粒状Ⅷ層土若干。 2. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状Ⅶ層土少量。

第55号溝状遺構層序 (61.30m)

1. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分混入。

第56号溝状遺構層序 (61.30m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状灰茶褐色土含有。 2. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状灰茶褐色土混入。 3. 砂層。
4. 黒灰褐色：粘質・塊状灰茶褐色土含有。

第58号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状Ⅶ層土混入・礫含有。 2. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。 3. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分少量。

第59号溝状遺構層序 (62.30m)

1. 黒灰褐色：粘質・細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。

第60号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・粗粒状Ⅶ層土含有。

第20・18・16・15・13・11号溝状遺構層序 (61.50m)

20号溝、黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。 18号溝、20号溝同質。 16号溝、20号溝同質。 15号溝、20号溝同質。 13、20号溝同質。 11号溝、20号溝同質。

第20・17・16・15・12・21号溝状遺構・第4号土坑層序（61.50m）

20号溝、黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。 17号溝、20同質。 16号溝、20号溝同質。 15号溝、20同質。 12号溝、20号溝同質。 21号溝、斑状鉄分含有（細粒状白色軽石認められない）。 4号土坑、暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。

第5・7・12・16・18・21号溝状遺構・第10号土坑層序（61.50m）

5号溝、暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状黄茶褐色多量。 7号溝、暗茶灰褐色：全体に近質でシルト質。 12号溝、黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。 16号溝、12号溝同質。 18号溝、12号溝同質。 21号溝、12号溝同質。 10号土坑、黒灰褐色：細粒状白色軽石含有。

第27・25・24・23号溝状遺構・第22号土坑層序（61.40m）

27号溝、黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。 25号溝、暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。 24号溝、25号溝同質。 23号溝、黒灰褐色：細粒状白色軽石含有斑状鉄分含有。 22号土坑、黒灰褐色：細粒状白色軽石含有。

第26・27号溝状遺構・第24号土坑層序（61.50m）

26号溝、暗灰褐色：細粒状白色軽石含有。 27号溝、26号溝同質。 24号土坑、暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。

第6号溝状遺構層序（61.30m）

1. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。 2. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分多量。 3. 灰黄褐色シルト質。 4. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。 5. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有・塊状Ⅷ層土含有。 6. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有・粒状Ⅷ層土含有・塊状Ⅶ層土含有。 7. 灰茶褐色：塊状Ⅷ層土含有・粒状Ⅷ層土含有。 8. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有斑状鉄分含有・塊状Ⅷ層土含有。 9. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有斑状鉄分少量。 10. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量・斑状鉄分少量。

第9号溝状遺構層序（61.30m）

1. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分混入。 2. 暗灰褐色：細粒状白色軽石少量。 3. 暗灰褐色粘質土。 4. 黒灰褐色：細粒状白色軽石若干。

第35号溝状遺構層序（61.30m）

1. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・粗粒状Ⅷ層土含有。 2. 暗灰褐色：細粒状白色軽石少量・粒状Ⅷ層土少量。

第36号溝状遺構層序（61.30m）

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分少量。

第38号溝状遺構層序（61.30m）

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量・粗粒状Ⅶ層土少量。

第40号溝状遺構層序（61.30m）

1. 茶灰褐色：細粒状白色軽石含有・粗粒状Ⅶ層土混入。 2. 茶灰褐色：粒状Ⅷ層土若干。

第43号溝状遺構層序（61.40m）

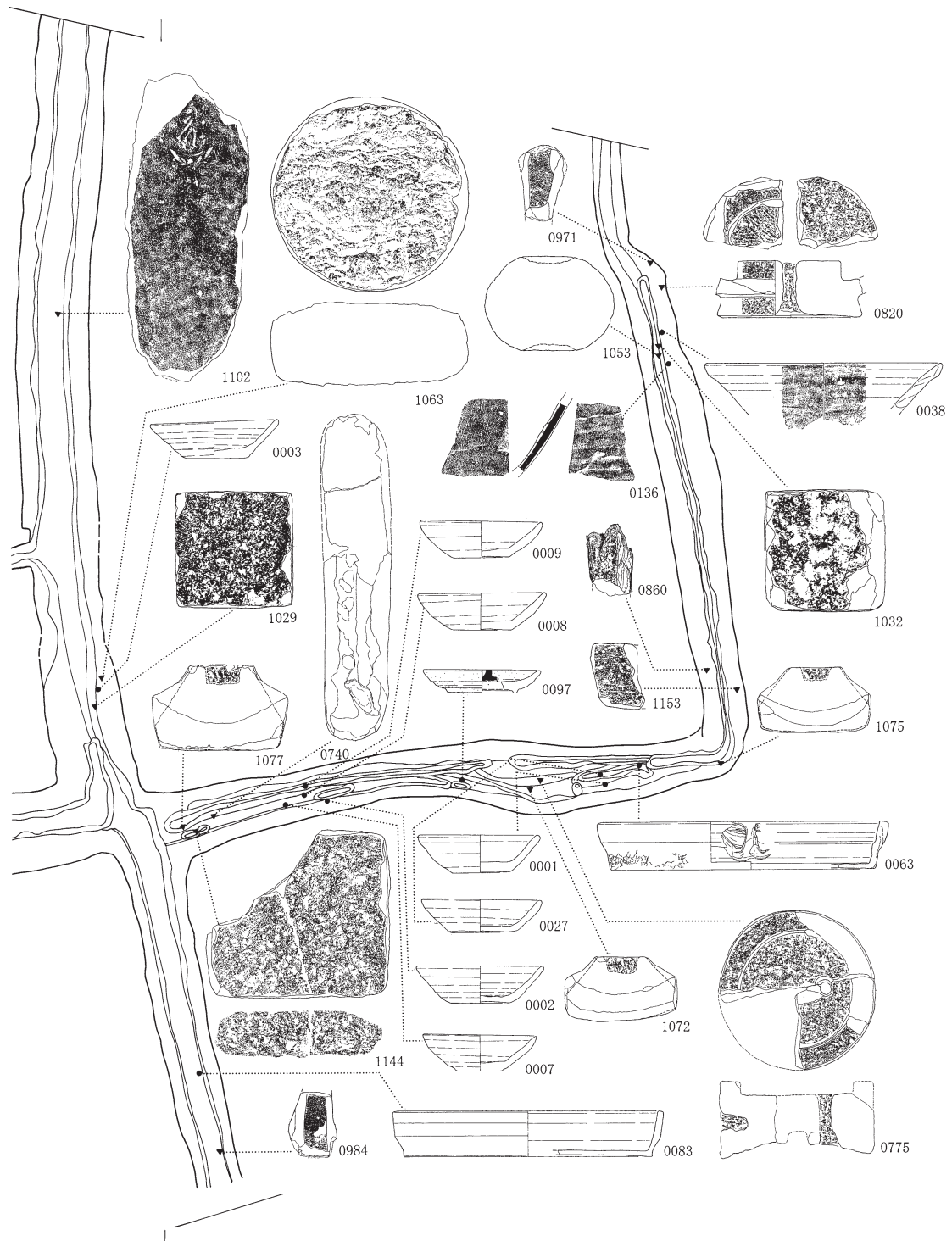
1. 黄褐色：水性堆積シルト層。 2. 暗灰褐色：細粒状白色軽石少量。 3. 灰褐色：強粘質土。斑状鉄分若干。 4. 暗灰褐色：最強粘質土。 5. 灰褐色：粘質土。 6. 黒灰褐色：粘質土。粒状Ⅷ層土混入・粒状鉄分混入。 7. 暗灰褐色：シルト質。地山Ⅶ層土の二次堆積。 8. 黒灰褐色：有機質粘質土（第2号溝の溝底直上層に類似する）。 9. 灰黄茶褐：細粒状白色軽石少量。 10. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有。 11. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。 12. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有斑状鉄分多量。 13. 暗灰褐色：細粒状白色軽石若干・斑状鉄分含有。 14. 8同質。

第37・62号溝状遺構層序（61.30m）

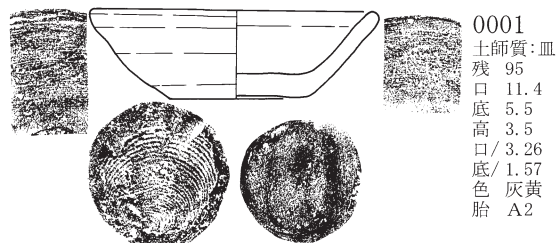
1. 茶灰褐色：細粒状白色軽石少量・粒状焼土混入・粗粒状焼土含有。 2. 濁黄褐色シルト層。 3. 濁黄褐色シルト：塊状暗灰褐色土を含有。 4. 黄褐色シルト層。 5. 黒灰褐色：細粒状白色軽石若干。 6. 黒灰褐色：砂礫多量。 7. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。 8. 黒灰褐色：粘質土。細粒状白色軽石微量・斑状鉄分含有。 9. 黒灰褐色：細粒状白色軽石若干。 10. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量。 11. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量・粗粒状鉄分含有。 12. 暗灰褐色：黄褐色シルト含有。 13. 暗灰褐色：小塊状Ⅷ層土少量。 14. 暗灰褐色：細粒状白色軽石若干・黄褐色シルト含有。 15. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・斑状鉄分含有。

第67号溝状遺構層序（61.40m）

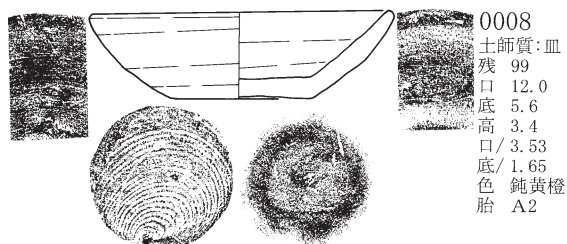
1. 砂層。 2. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・砂流含有・粘質黒灰褐色土の混土。 3. 明灰～灰色シルト層（水田被覆洪水起源堆積）。 4. 暗灰褐色シルト層。 5. 砂層。 6. 暗灰褐色シルト層：粘質土。 7. 灰白～灰色シルト層。 8. 塊状粘質黒灰褐色・塊状砂の混土。 9. 砂・黒灰褐色土の混土。 10. 暗灰褐色：塊状焼土・粒状焼土多量。 11. 攪乱。 12. 10近質。 13. 暗灰褐色：粒状焼土含有。



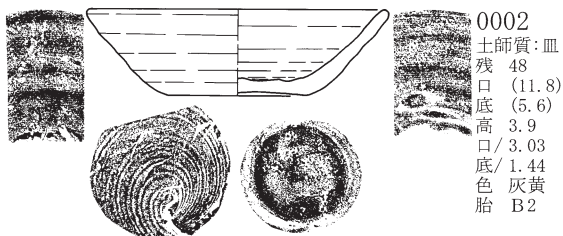
第27図 第1号溝状遺構出土遺物位置図 (1:400)



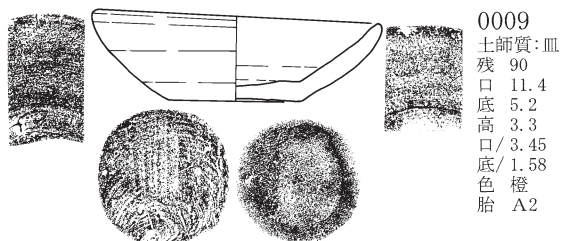
0001
土師質：皿
残 95
口 11.4
底 5.5
高 3.5
口/底 3.26
底/ 1.57
色 灰黄
胎 A2



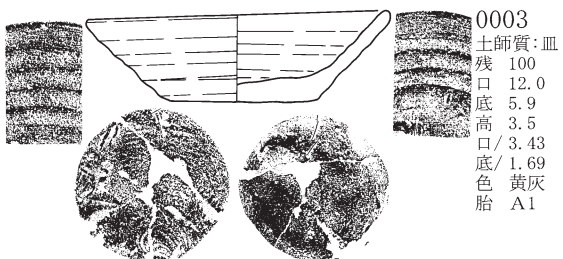
0008
土師質：皿
残 99
口 12.0
底 5.6
高 3.4
口/底 3.53
底/ 1.65
色 鈍黄橙
胎 A2



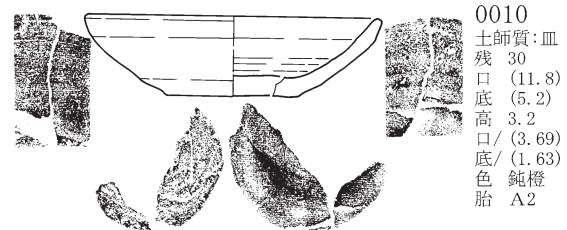
0002
土師質：皿
残 48
口 (11.8)
底 (5.6)
高 3.9
口/底 3.03
底/ 1.44
色 灰黄
胎 B2



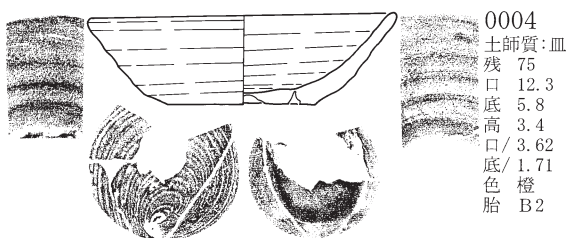
0009
土師質：皿
残 90
口 11.4
底 5.2
高 3.3
口/底 3.45
底/ 1.58
色 橙
胎 A2



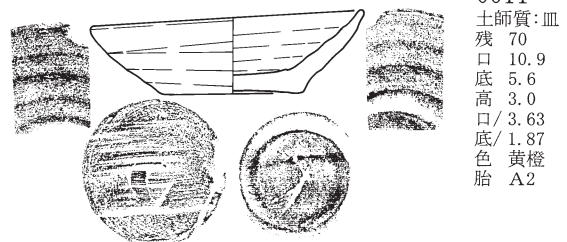
0003
土師質：皿
残 100
口 12.0
底 5.9
高 3.5
口/底 3.43
底/ 1.69
色 黄灰
胎 A1



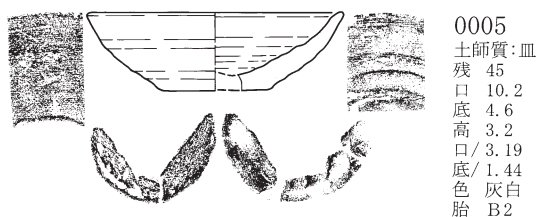
0010
土師質：皿
残 30
口 (11.8)
底 (5.2)
高 3.2
口/底 (3.69)
底/ (1.63)
色 鈍橙
胎 A2



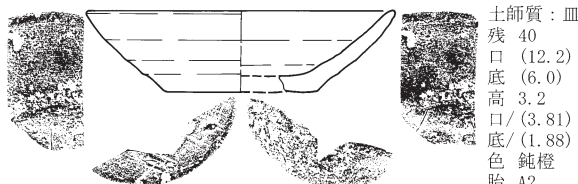
0004
土師質：皿
残 75
口 12.3
底 5.8
高 3.4
口/底 3.62
底/ 1.71
色 橙
胎 B2



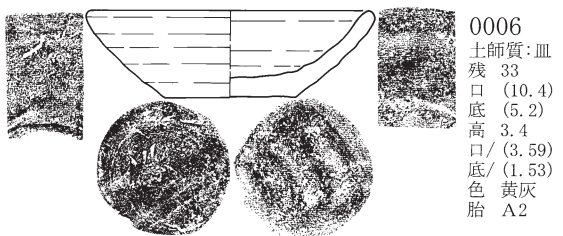
0011
土師質：皿
残 70
口 10.9
底 5.6
高 3.0
口/底 3.63
底/ 1.87
色 黄橙
胎 A2



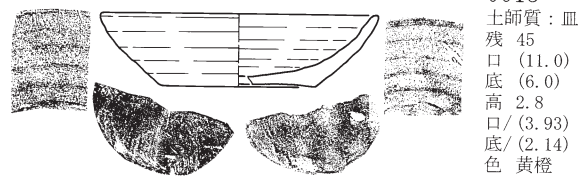
0005
土師質：皿
残 45
口 10.2
底 4.6
高 3.2
口/底 3.19
底/ 1.44
色 灰白
胎 B2



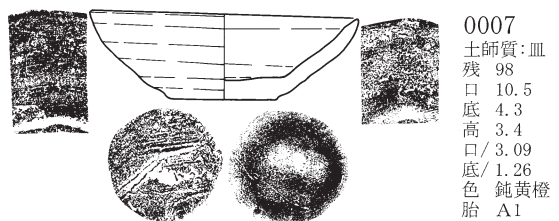
0012
土師質：皿
残 40
口 (12.2)
底 (6.0)
高 3.2
口/底 (3.81)
底/ (1.88)
色 鈍橙
胎 A2



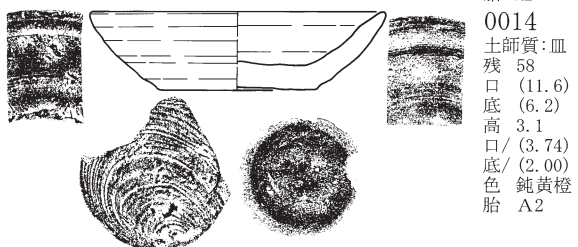
0006
土師質：皿
残 33
口 (10.4)
底 (5.2)
高 3.4
口/底 (3.59)
底/ (1.53)
色 黄灰
胎 A2



0013
土師質：皿
残 45
口 (11.0)
底 (6.0)
高 2.8
口/底 (3.93)
底/ (2.14)
色 黄橙
胎 A2



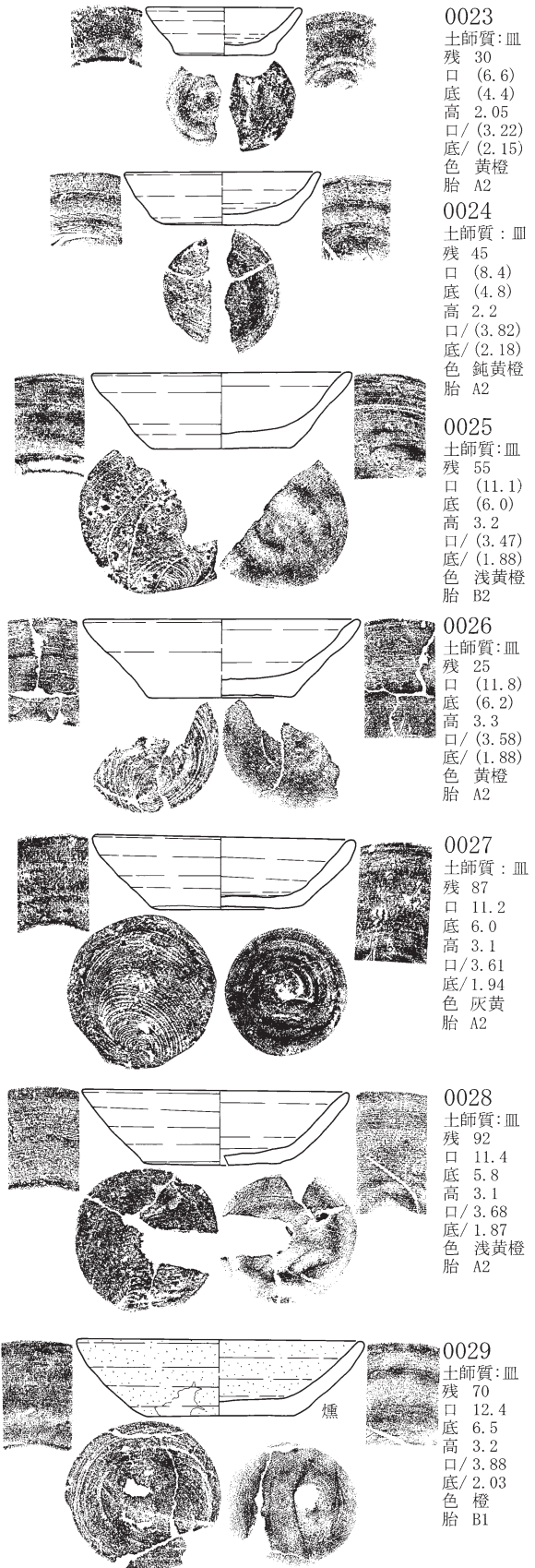
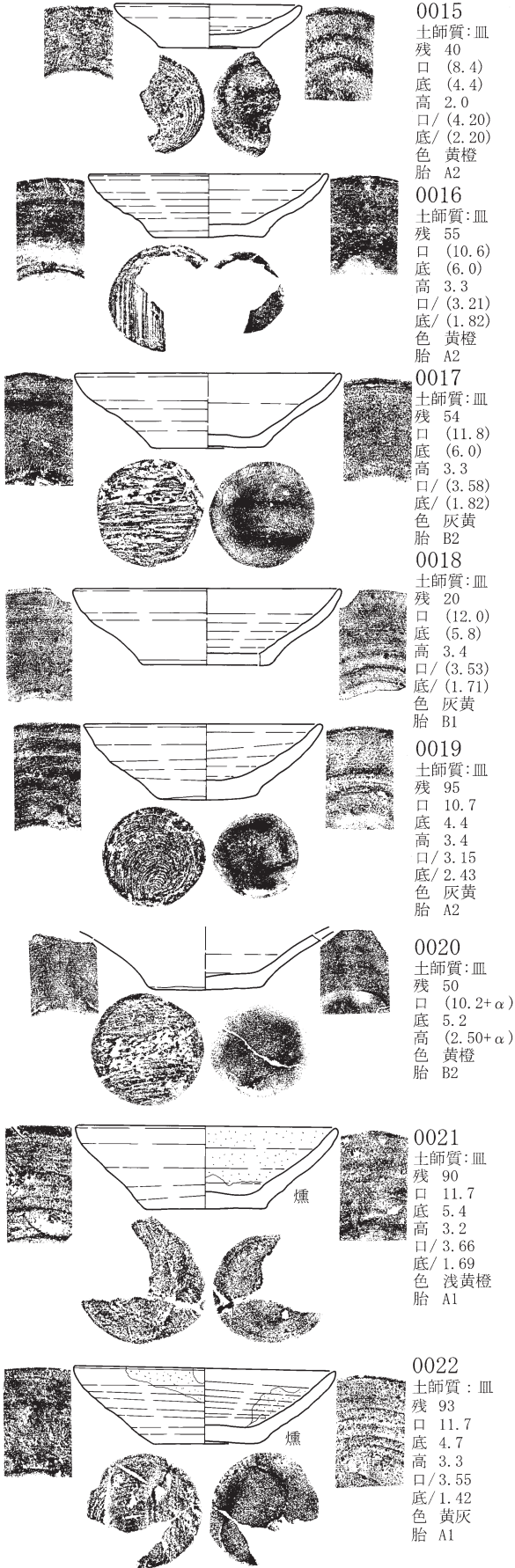
0007
土師質：皿
残 98
口 10.5
底 4.3
高 3.4
口/底 3.09
底/ 1.26
色 鈍黄橙
胎 A1



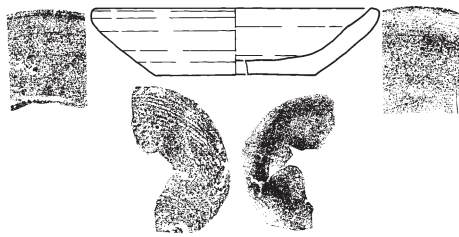
0014
土師質：皿
残 58
口 (11.6)
底 (6.2)
高 3.1
口/底 (3.74)
底/ (2.00)
色 鈍黄橙
胎 A2

第28図 第1号溝状遺構出土遺物実測図 1/11 (1:3)

発見された遺構と出土遺物



第29図 第1号溝状遺構出土遺物実測図 2/11 (1:3)



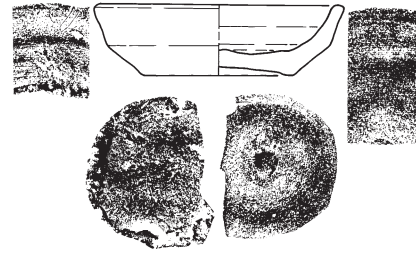
0030
土師質:皿
残 42
口 (11.4)
底 (6.4)
高 2.7
口/ (4.22)
底/ (2.37)
色 橙
胎 A2



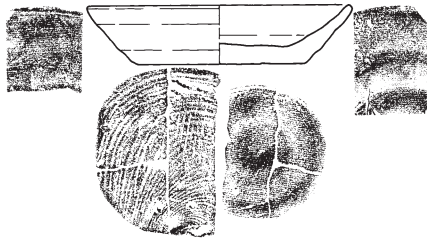
0033
土師質:皿
残 45
口 (10.6)
底 (7.2)
高 2.4
口/ (4.42)
底/ (3.00)
色 灰白
胎 B1



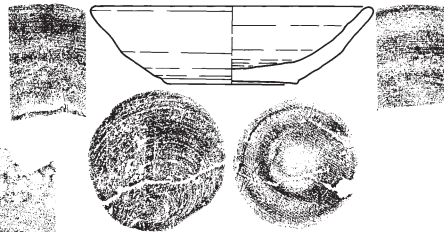
0031
土師質:皿
残 15
口 (10.6)
底 (6.2)
高 2.6
口/ (4.08)
底/ (2.38)
色 黄橙
胎 B1



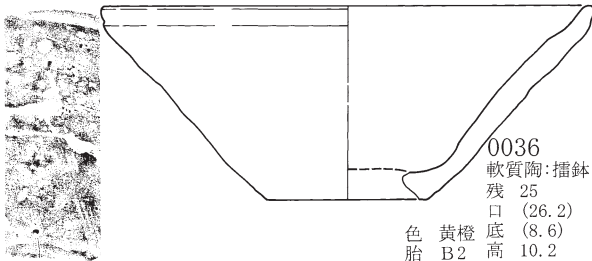
0034
土師質:皿
残 60
口 (9.8)
底 (6.0)
高 2.8
口/ (3.50)
底/ (2.14)
色 浅黄橙
胎 B2



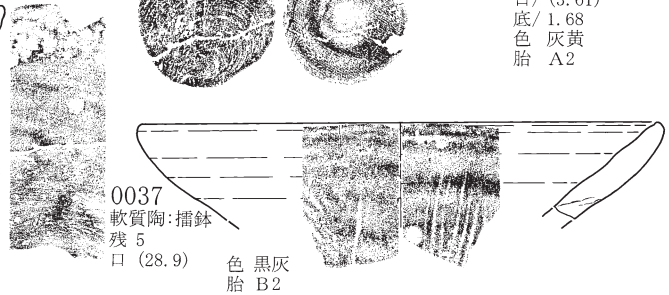
0032
土師質:皿
残 40
口 (10.6)
底 (6.6)
高 2.4
口/ (4.42)
底/ (2.75)
色 灰白
胎 A1



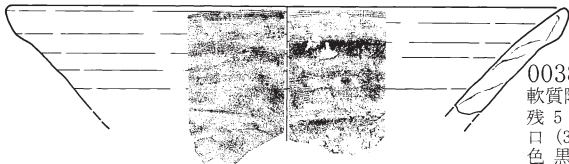
0035
土師質:皿
残 70
口 (11.2)
底 5.2
高 3.1
口/ (3.61)
底/ 1.68
色 灰黄
胎 A2



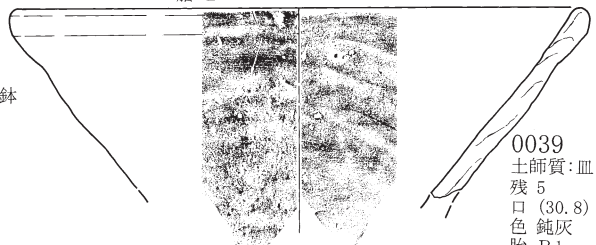
0036
軟質陶:播鉢
残 25
口 (26.2)
底 (8.6)
高 10.2
色 黄橙
胎 B2



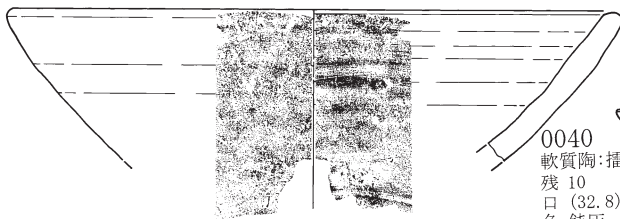
0037
軟質陶:播鉢
残 5
口 (28.9)
色 黒灰
胎 B2



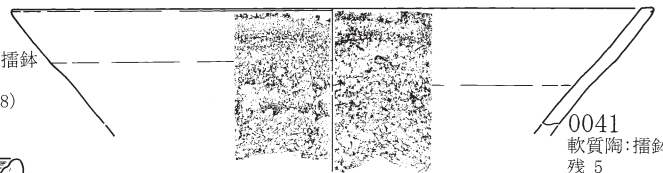
0038
軟質陶:播鉢
残 5
口 (30.0)
色 黒灰
胎 B2



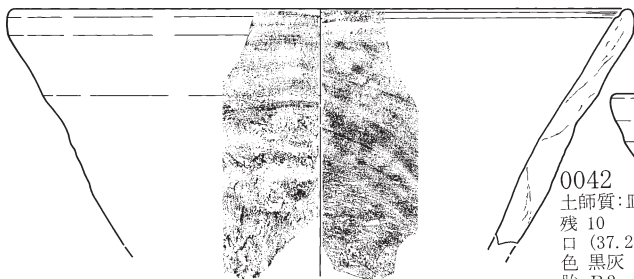
0039
土師質:皿
残 5
口 (30.8)
色 鈍灰
胎 B1



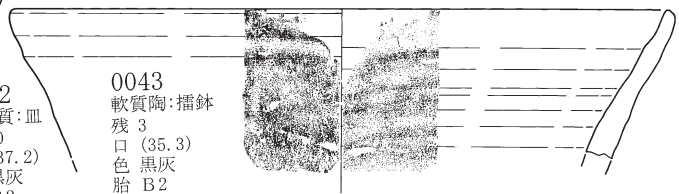
0040
軟質陶:播鉢
残 10
口 (32.8)
色 鈍灰
胎 A1



0041
軟質陶:播鉢
残 5
口 (34.0)
色 黒褐
胎 A2



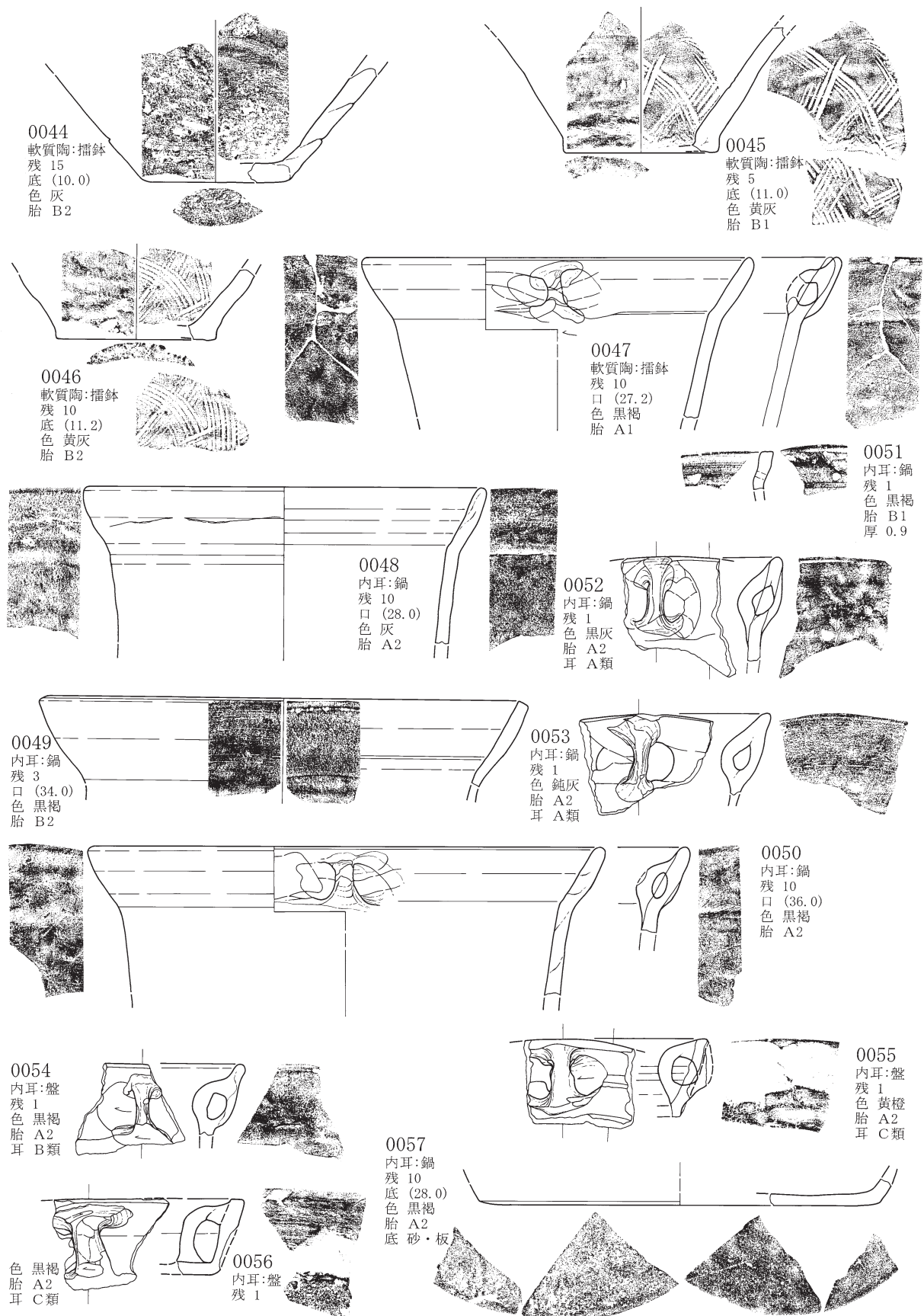
0042
土師質:皿
残 10
口 (37.2)
色 黒灰
胎 B2



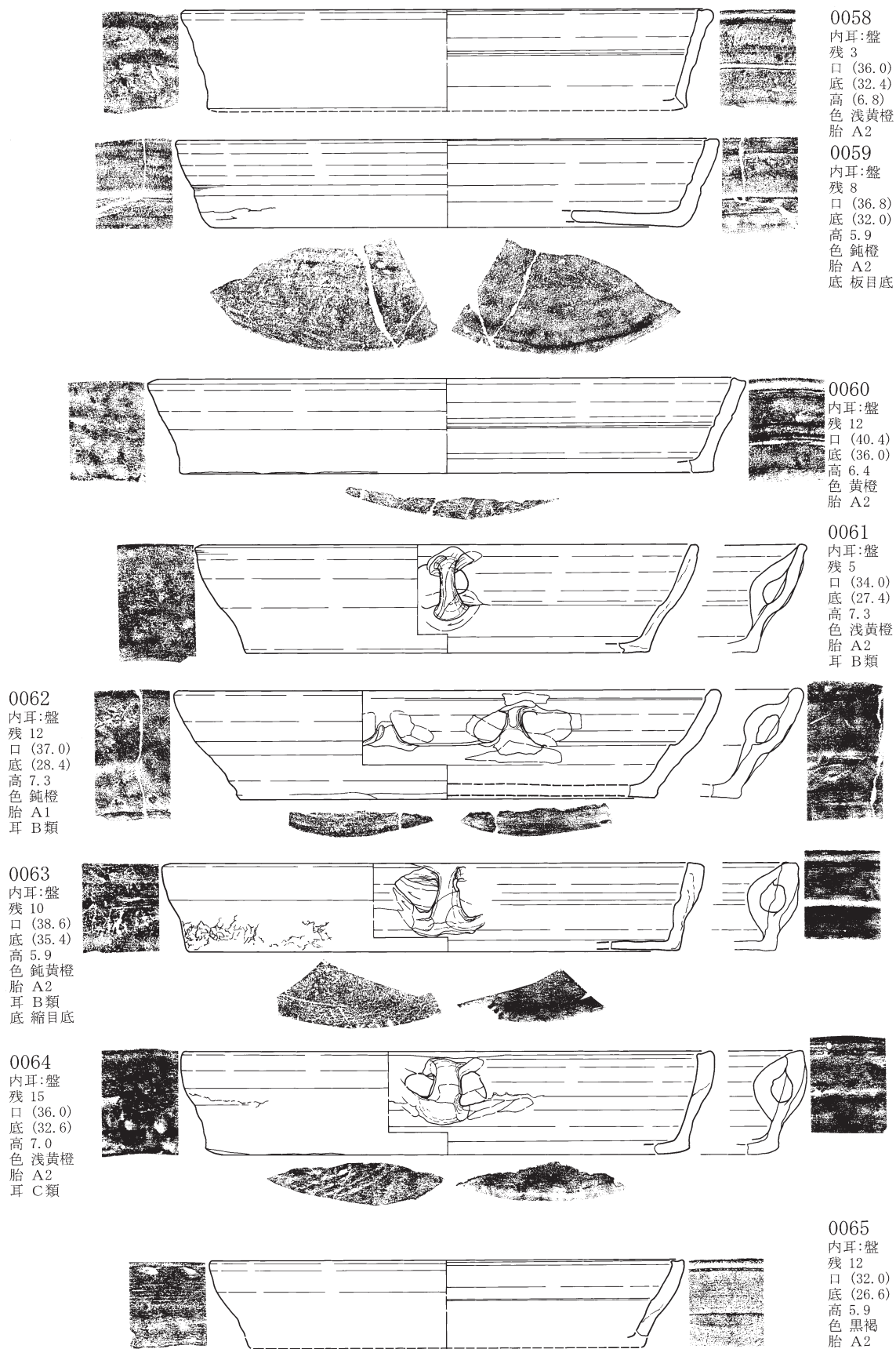
0043
軟質陶:播鉢
残 3
口 (35.3)
色 黒灰
胎 B2

第30図 第1号溝状遺構出土遺物実測図 3/11 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物

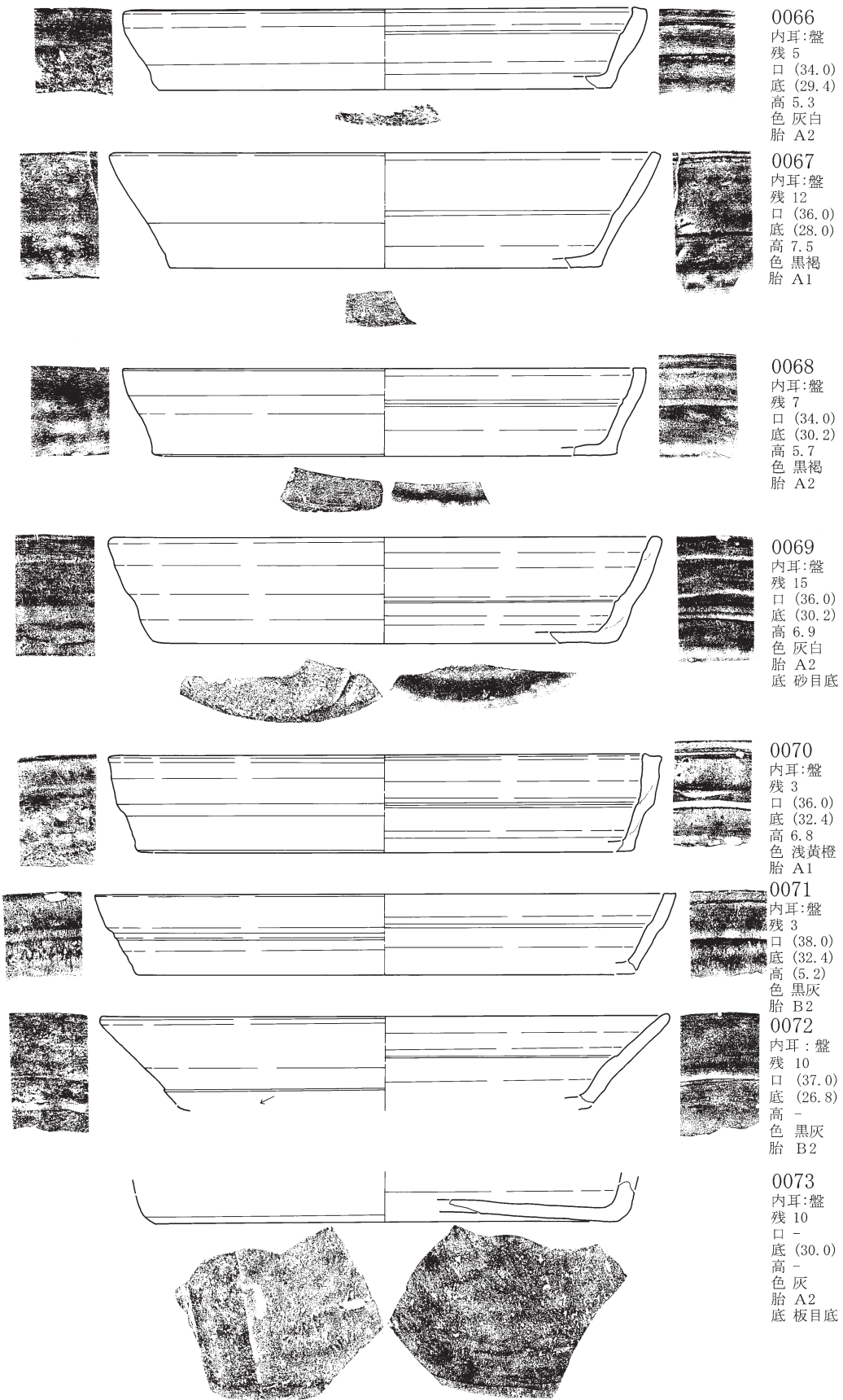


第31図 第1号溝状遺構出土遺物実測図 4/11 (1:4)

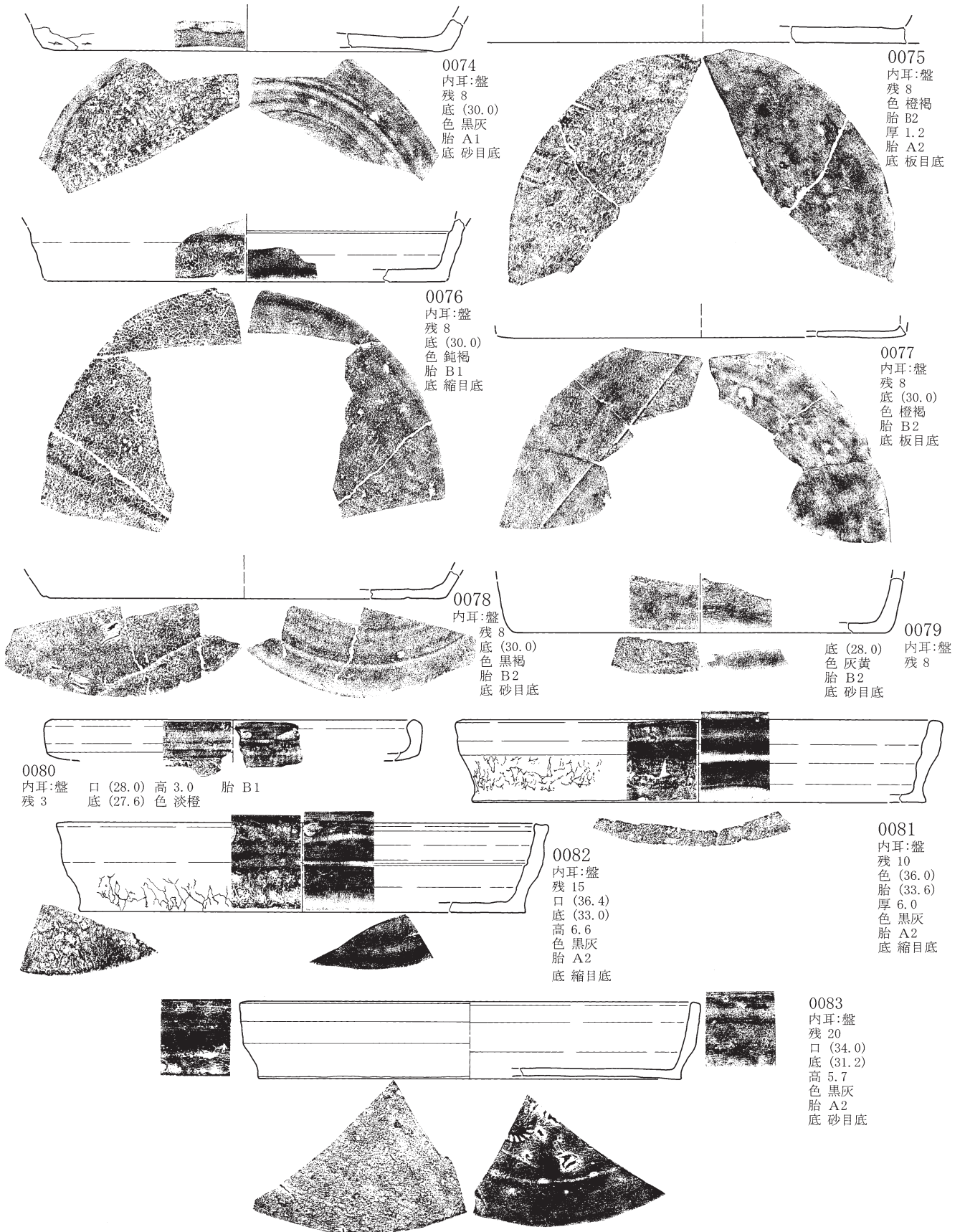


第32図 第1号溝状遺構出土遺物実測図 5/11 (1:4)

発見された遺構と出土遺物

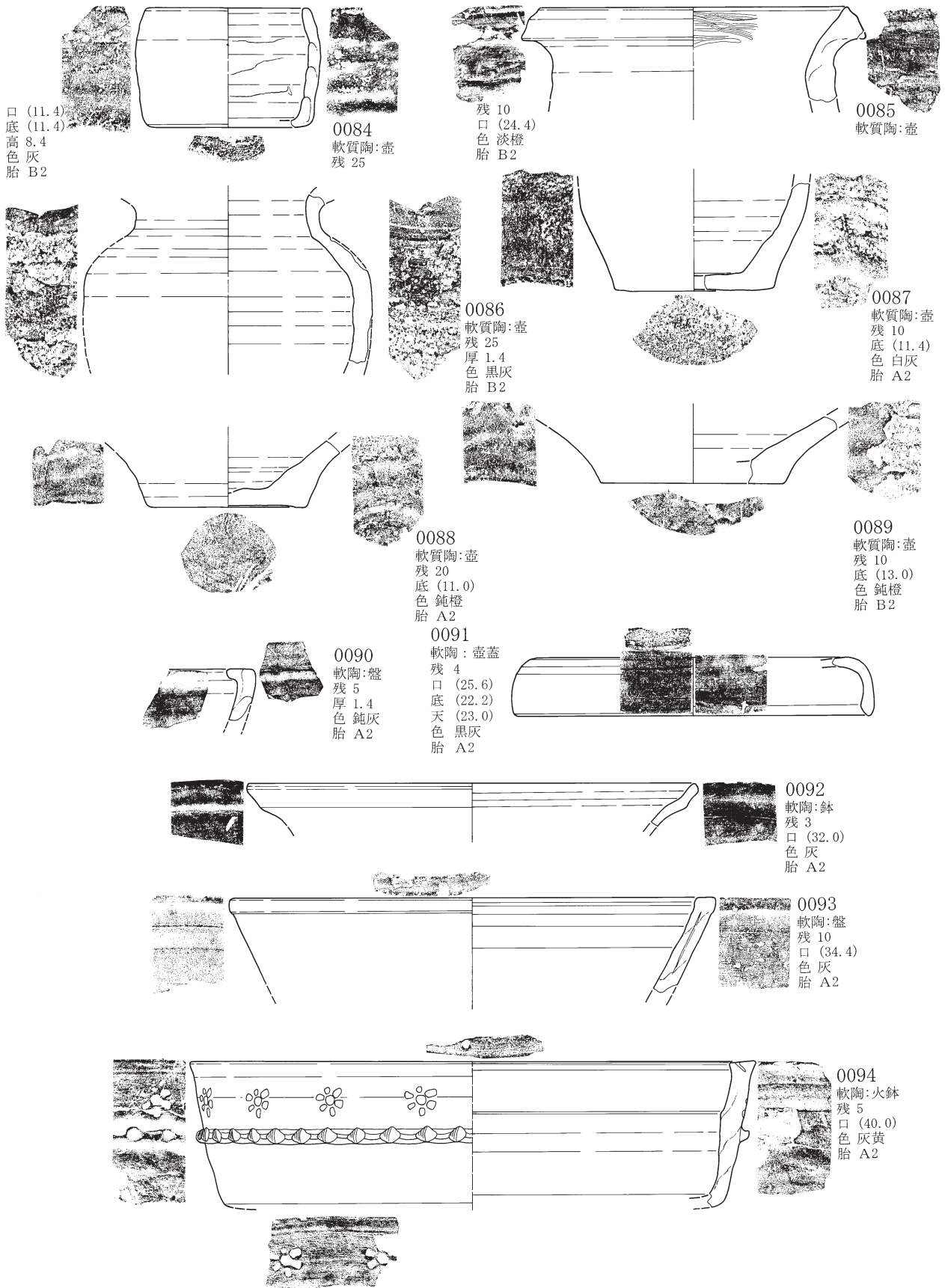


第33図 第1号溝状遺構出土遺物実測図 6/11 (1:4)



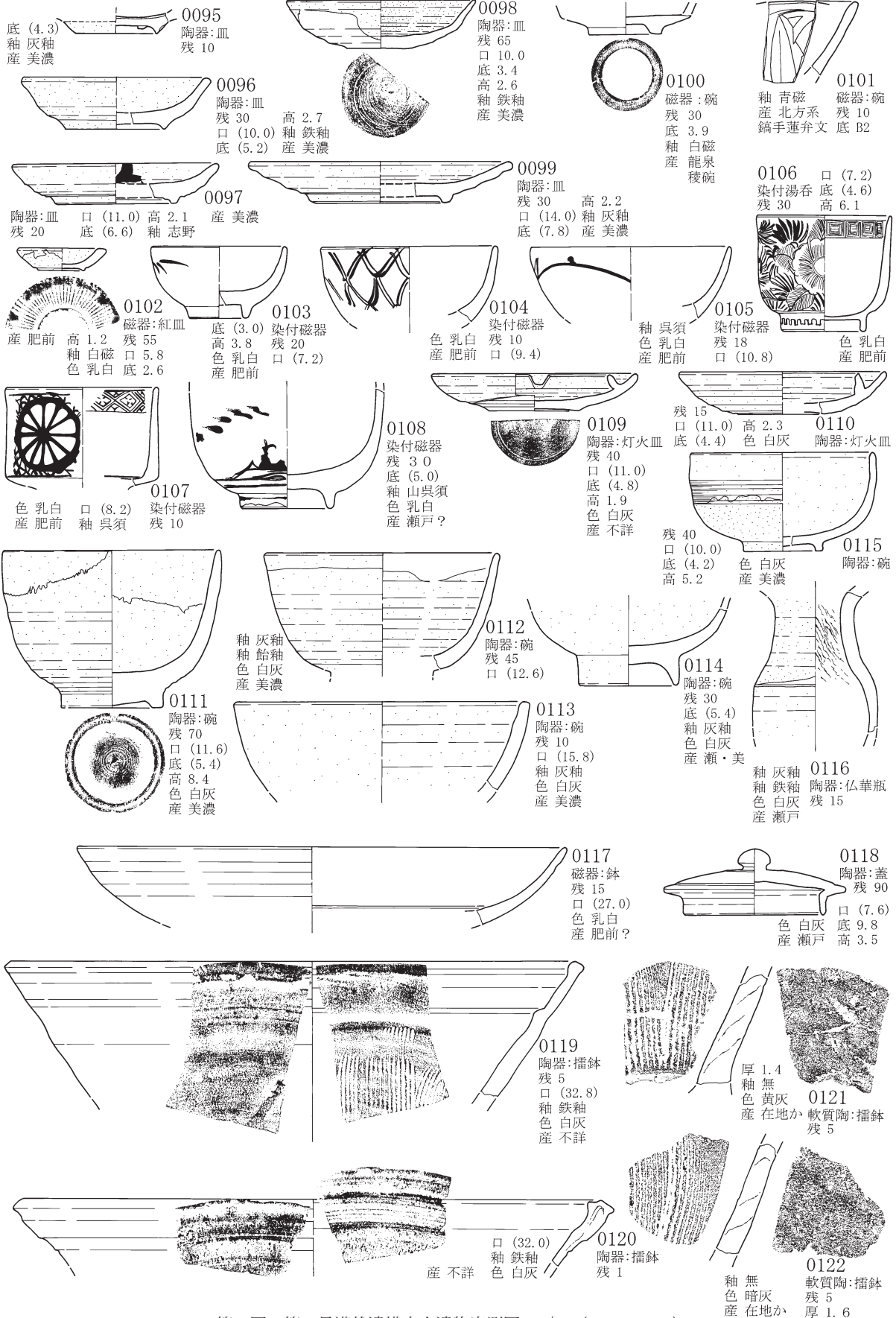
第34図 第1号溝状遺構出土遺物実測図 7/11 (1:4)

発見された遺構と出土遺物



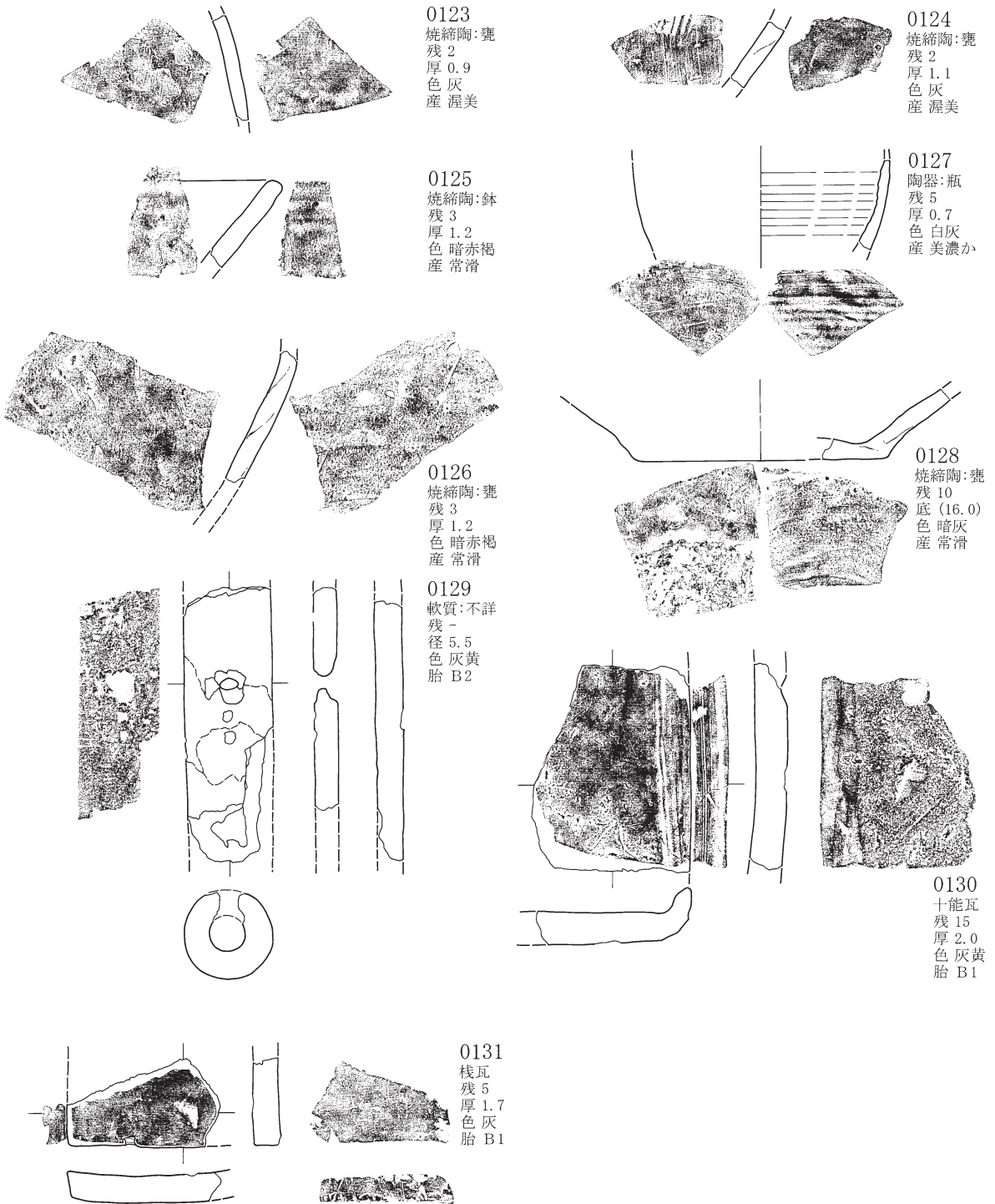
第35図 第1号溝状遺構出土遺物実測図 8/11 (1:4)

発見された遺構と出土遺物

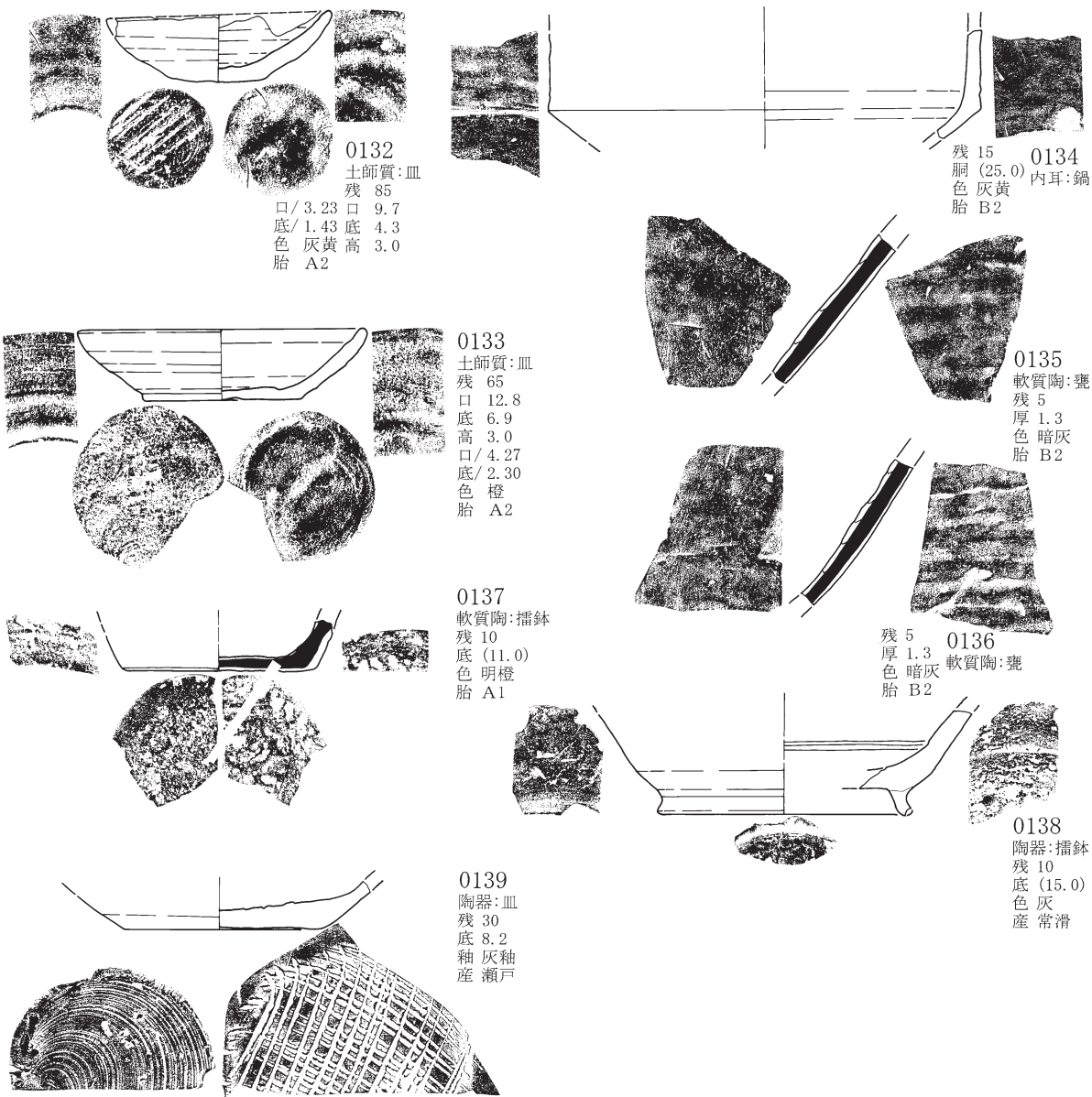


第36図 第1号溝状遺構出土遺物実測図 9/11 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物

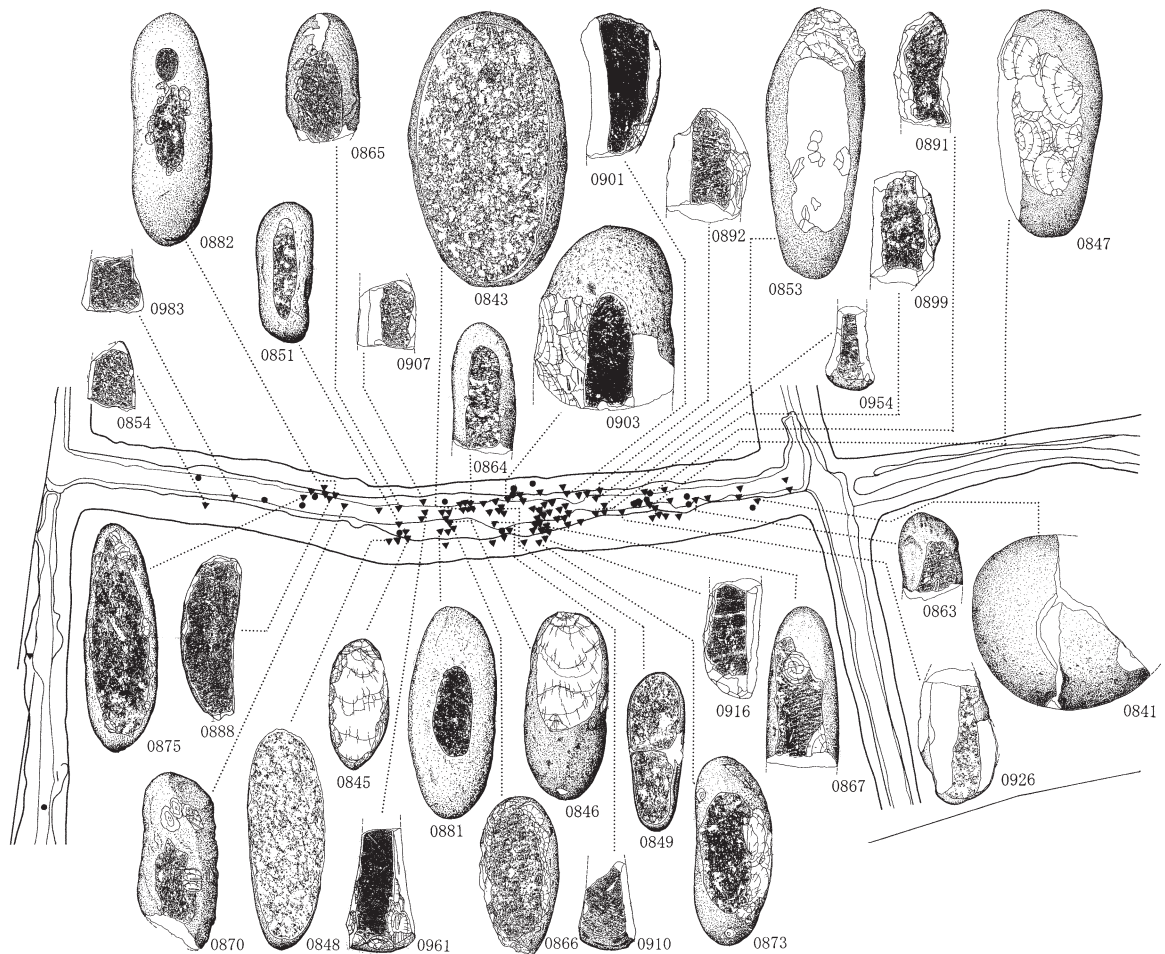
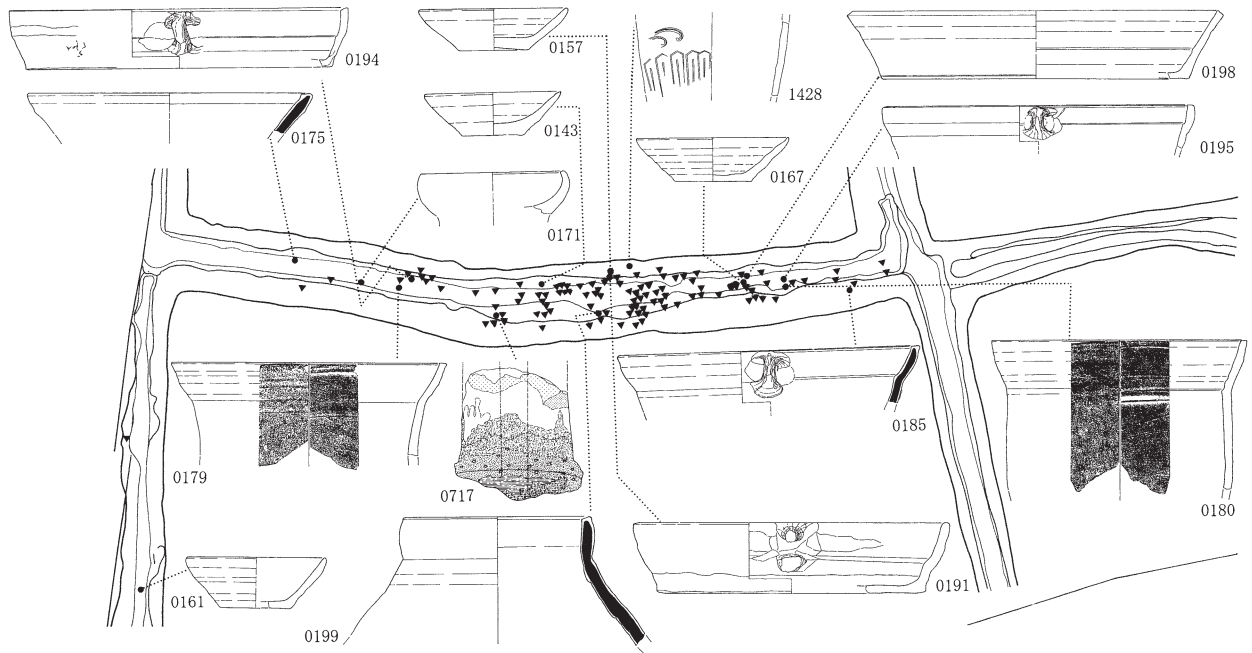


第37図 第1号溝状遺構出土遺物実測図 10/11 (1:3・1:4)



第38図 第1号溝状遺構出土遺物実測図 11/11 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物



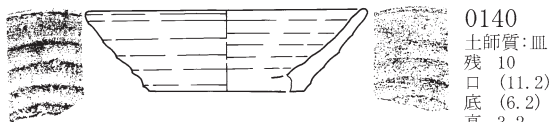
第39図 第2号溝状遺構出土遺物位置図 1/3 (1:400)



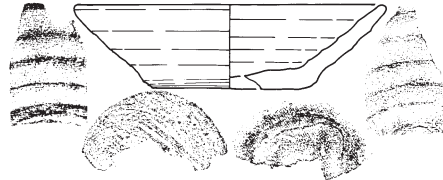
第40図 第2号溝状遺構出土遺物位置図 2/3 (1:400)



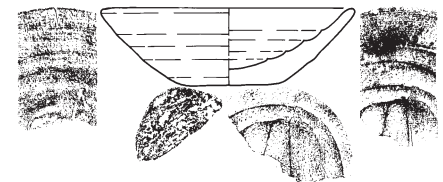
第41図 第2号溝状遺構出土遺物位置図 3/3 (1:400)



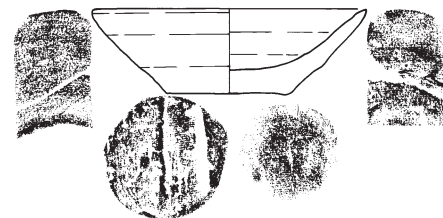
0140
土師質:皿
残 10
口 (11.2)
底 (6.2)
高 3.2
口/ (3.50)
底/ (1.94)
色 浅黄橙
胎 B2



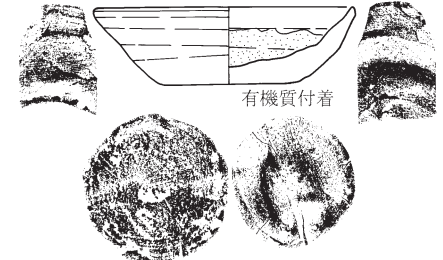
0141
土師質:皿
残 20
口 (12.2)
底 (6.0)
高 3.3
口/ (3.70)
底/ (1.82)
色 明橙
胎 B1



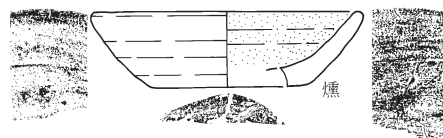
0142
土師質:皿
残 30
口 (10.0)
底 (3.8)
高 3.0
口/ (3.33)
底/ (1.27)
色 灰白
胎 C1



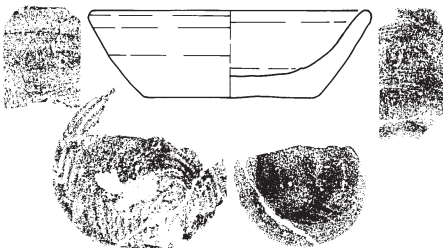
0143
土師質:皿
残 55
口 10.8
底 5.0
高 3.3
口/ 3.27
底/ 1.52
色 灰黄
胎 B2



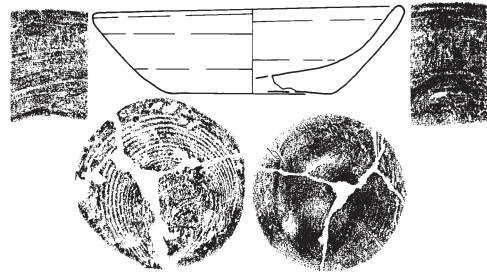
0144
土師質:皿
残 80
口 10.3
底 5.4
高 3.0
口/ 3.43
底/ 1.80
色 白灰
胎 C1



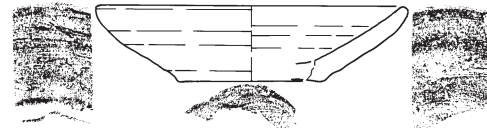
0145
土師質:皿
残 25
口 (10.8)
底 (6.0)
高 3.0
口/ (3.60)
底/ (2.00)
色 灰白
胎 C1



0146
土師質:皿
残 40
口 (11.2)
底 (6.8)
高 3.5
口/ (3.20)
底/ (1.94)
色 鈍橙
胎 B1



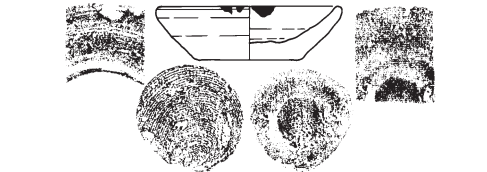
0147
土師質:皿
残 90
口 12.3
底 6.7
高 3.4
口/ 3.62
底/ 1.97
色 淡橙
胎 C1



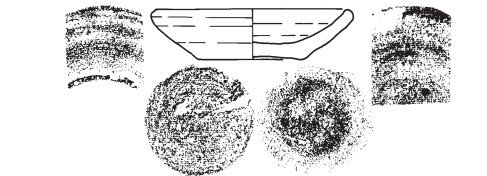
0148
土師質:皿
残 25
口 (12.4)
底 (6.0)
高 3.0
口/ (4.13)
底/ (2.00)
色 黄橙
胎 B1



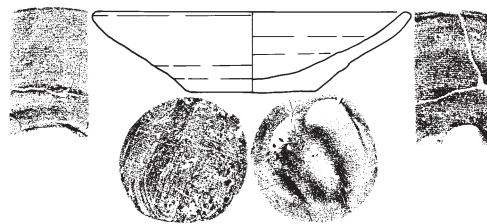
0149
土師質:皿
残 25
口 (11.0)
底 (6.4)
高 3.0
口/ (3.67)
底/ (2.13)
色 浅黄橙
胎 B1



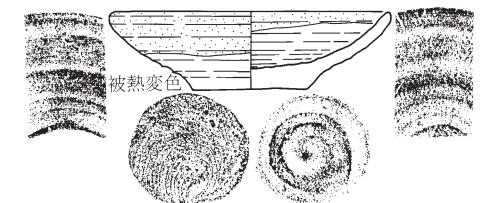
0150
土師質:皿
残 55
口 (7.4)
底 (4.2)
高 2.1
口/ (3.52)
底/ (2.00)
色 鈍橙
胎 B1



0151
土師質:皿
残 65
口 8.0
底 4.2
高 1.9
口/ 4.21
底/ 2.21
色 鈍橙
胎 B1



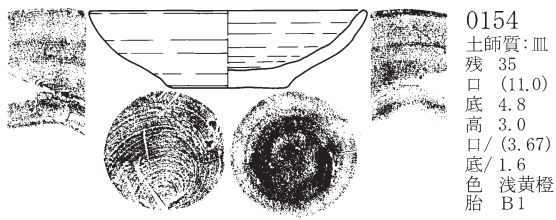
0152
土師質:皿
残 70
口 (12.6)
底 (5.0)
高 3.2
口/ (3.94)
底/ (1.56)
色 橙
胎 B2



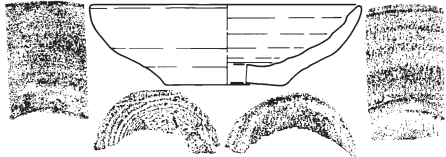
0153
土師質:皿
残 35
口 (11.2)
底 (4.6)
高 3.0
口/ (3.73)
底/ (1.53)
色 橙
胎 B1

第42図 第2号溝状遺構出土遺物実測図 1/6 (1:3)

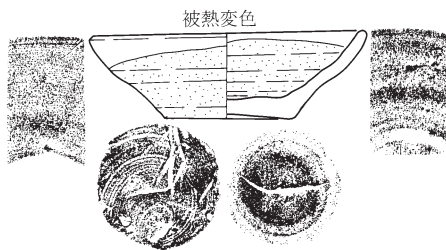
発見された遺構と出土遺物



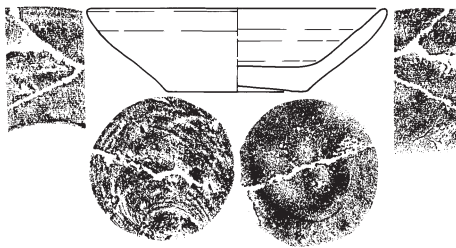
0154
土師質：皿
残 35
口 (11.0)
底 4.8
高 3.0
口/ (3.67)
底/ 1.6
色 浅黄橙
胎 B1



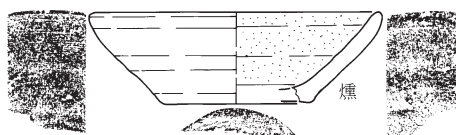
0155
土師質：皿
残 25
口 (10.8)
底 (4.8)
高 3.1
口/ (3.48)
底/ (1.55)
色 鈍橙
胎 B1



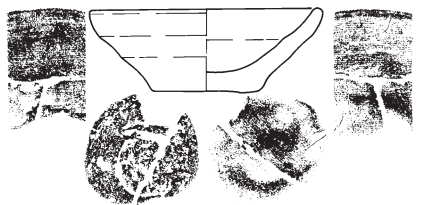
0156
土師質：皿
残 100
口 10.9
底 5.1
高 3.5
口/ 3.11
底/ 1.46
色 黄橙
胎 B1



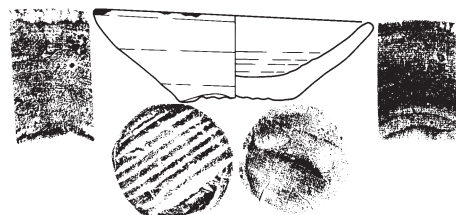
0157
土師質：皿
残 40
口 (11.8)
底 5.6
高 3.3
口/ (3.58)
底/ 1.70
色 橙
胎 A2



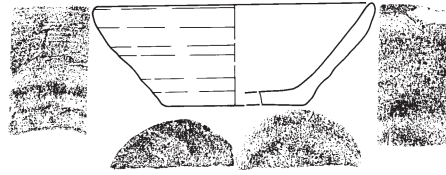
0158
土師質：皿
残 20
口 (11.6)
底 (5.8)
高 3.2
口/ (3.63)
底/ (1.81)
色 鈍橙
胎 B1



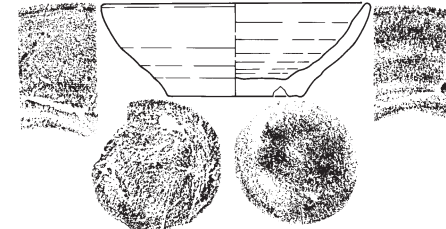
0159
土師質：皿
残 45
口 (9.2)
底 (4.0)
高 3.2
口/ (2.88)
底/ (1.25)
色 淡橙
胎 C1



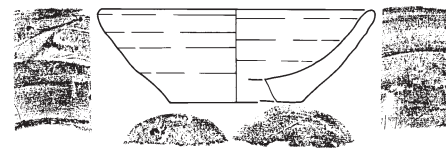
0160
土師質：皿
残 85
口 11.0
底 4.4
高 3.7
口/ 2.97
底/ 1.19
色 灰黄
胎 C1



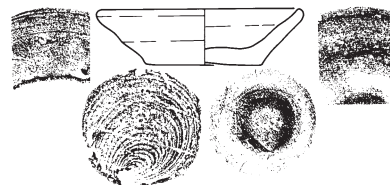
0161
土師質：皿
残 20
口 (11.2)
底 (5.6)
高 4.0
口/ (2.80)
底/ (1.40)
色 橙
胎 B1



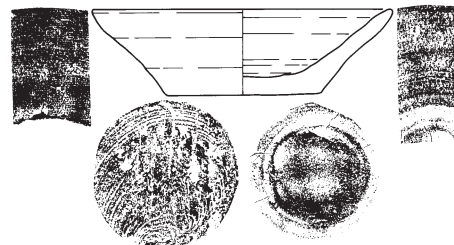
0162
土師質：皿
残 30
口 (10.6)
底 (5.4)
高 3.6
口/ (2.94)
底/ (1.50)
色 鈍橙
胎 B1



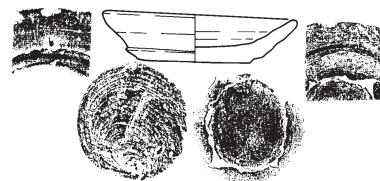
0163
土師質：皿
残 20
口 (11.0)
底 (5.2)
高 3.1
口/ (2.55)
底/ (1.68)
色 浅黄橙
胎 C1



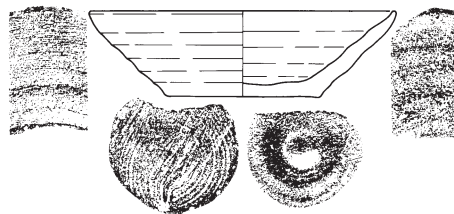
0164
土師質：皿
残 100
口 8.2
底 4.6
高 2.3
口/ 3.57
底/ 2.0
色 灰黄
胎 B1



0165
土師質：皿
残 75
口 (11.8)
底 6.2
高 3.4
口/ (3.47)
底/ 1.82
色 鈍橙
胎 A1

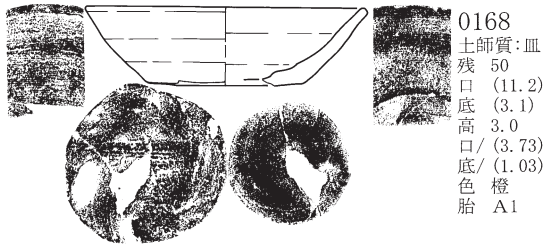


0166
土師質：皿
残 80
口 7.2
底 4.6
高 2.0
口/ 3.60
底/ 2.30
色 鈍黄橙
胎 A1

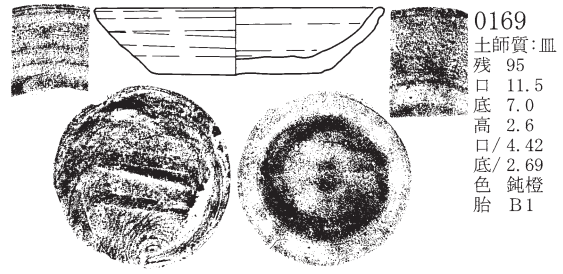


0167
土師質：皿
残 30
口 (12.0)
底 (6.0)
高 3.4
口/ (3.53)
底/ (1.76)
色 灰黄
胎 B2

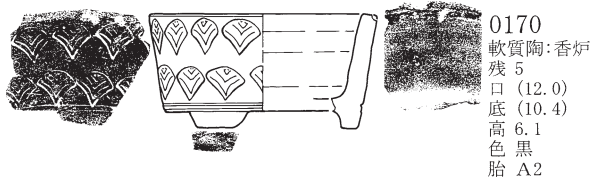
第43図 第2号溝状遺構出土遺物実測図 2/6 (1:3)



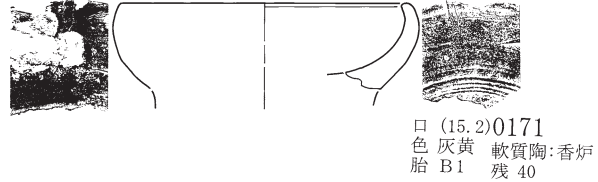
0168
土師質:皿
残 50
口 (11.2)
底 (3.1)
高 3.0
口/ (3.73)
底/ (1.03)
色 橙
胎 A1



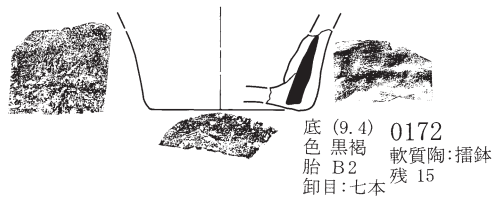
0169
土師質:皿
残 95
口 11.5
底 7.0
高 2.6
口/ 4.42
底/ 2.69
色 鈍橙
胎 B1



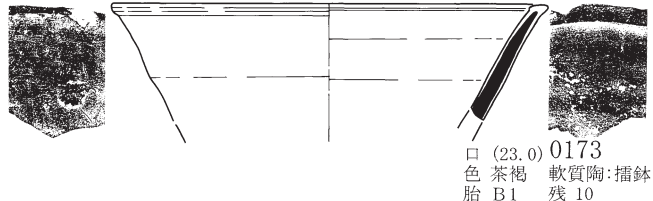
0170
軟質陶:香炉
残 5
口 (12.0)
底 (10.4)
高 6.1
色 黒
胎 A2



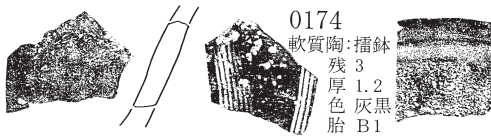
0171
口 (15.2)
色 灰黄
胎 B1
軟質陶:香炉
残 40



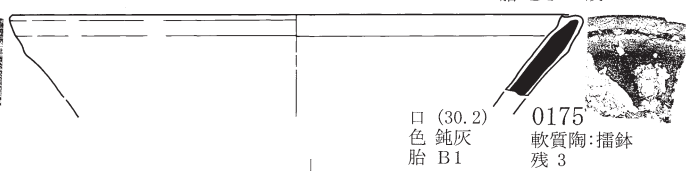
0172
底 (9.4)
色 黒褐
胎 B2
軟質陶:搦鉢
残 15
卸目:七本



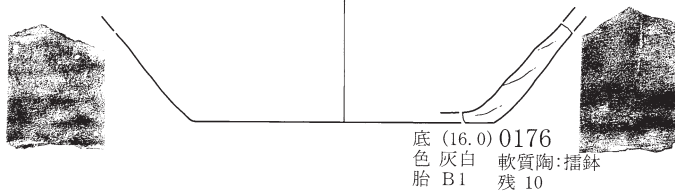
0173
口 (23.0)
色 茶褐
胎 B1
軟質陶:搦鉢
残 10



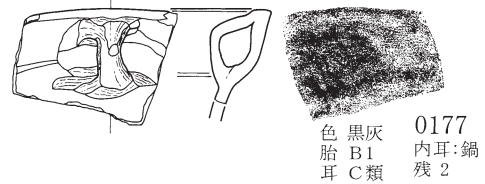
0174
軟質陶:搦鉢
残 3
厚 1.2
色 灰黒
胎 B1



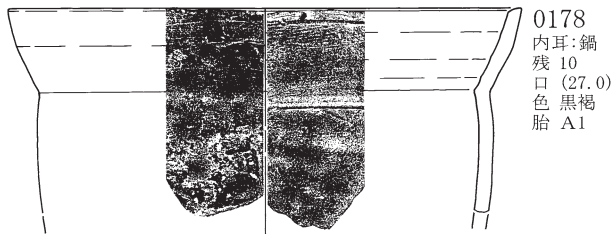
0175
口 (30.2)
色 鈍灰
胎 B1
軟質陶:搦鉢
残 3



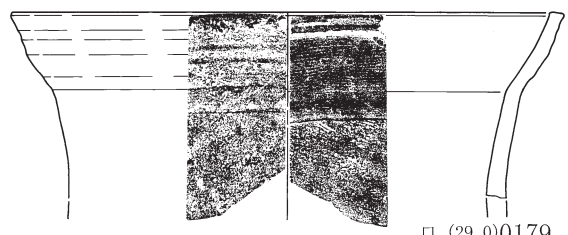
0176
底 (16.0)
色 灰白
胎 B1
軟質陶:搦鉢
残 10



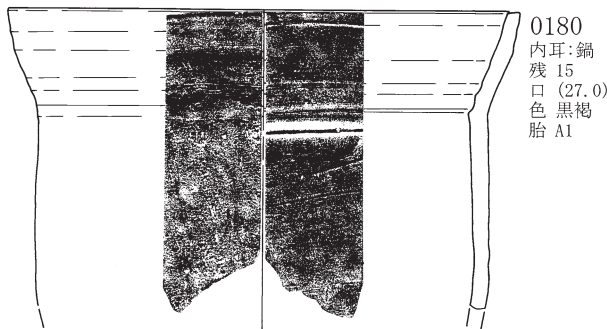
0177
色 黒灰
胎 B1
内耳:鍋
耳 C類
残 2



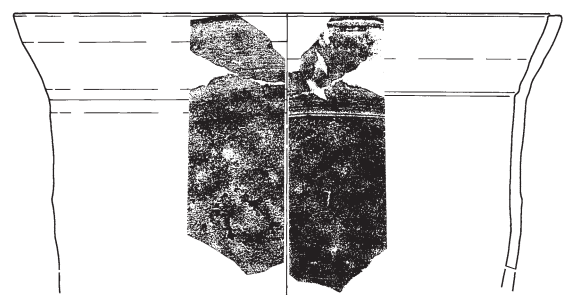
0178
内耳:鍋
残 10
口 (27.0)
色 黒褐
胎 A1



0179
口 (29.0)
色 黒灰
胎 C1
内耳:鍋
残 10



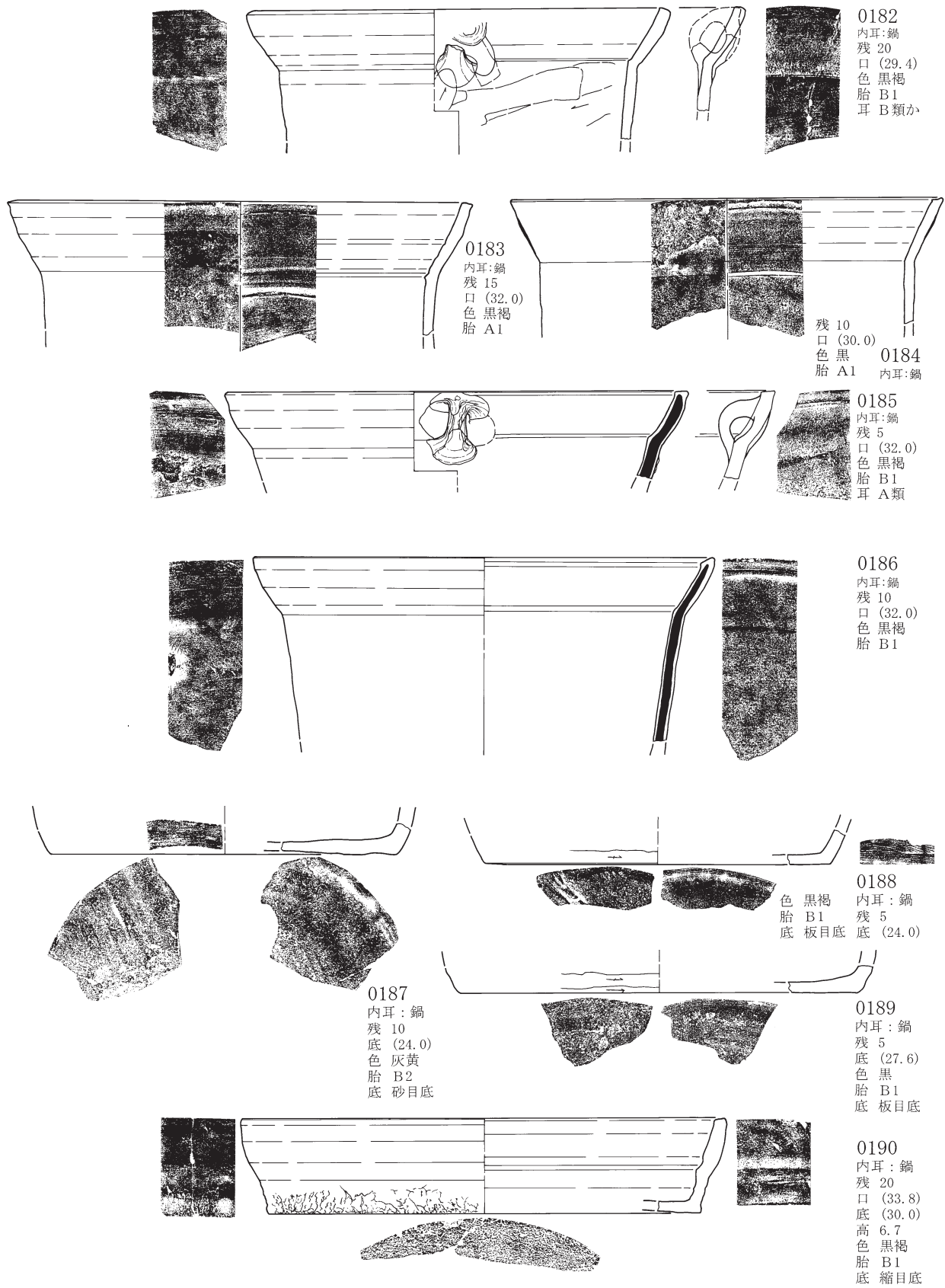
0180
内耳:鍋
残 15
口 (27.0)
色 黒褐
胎 A1



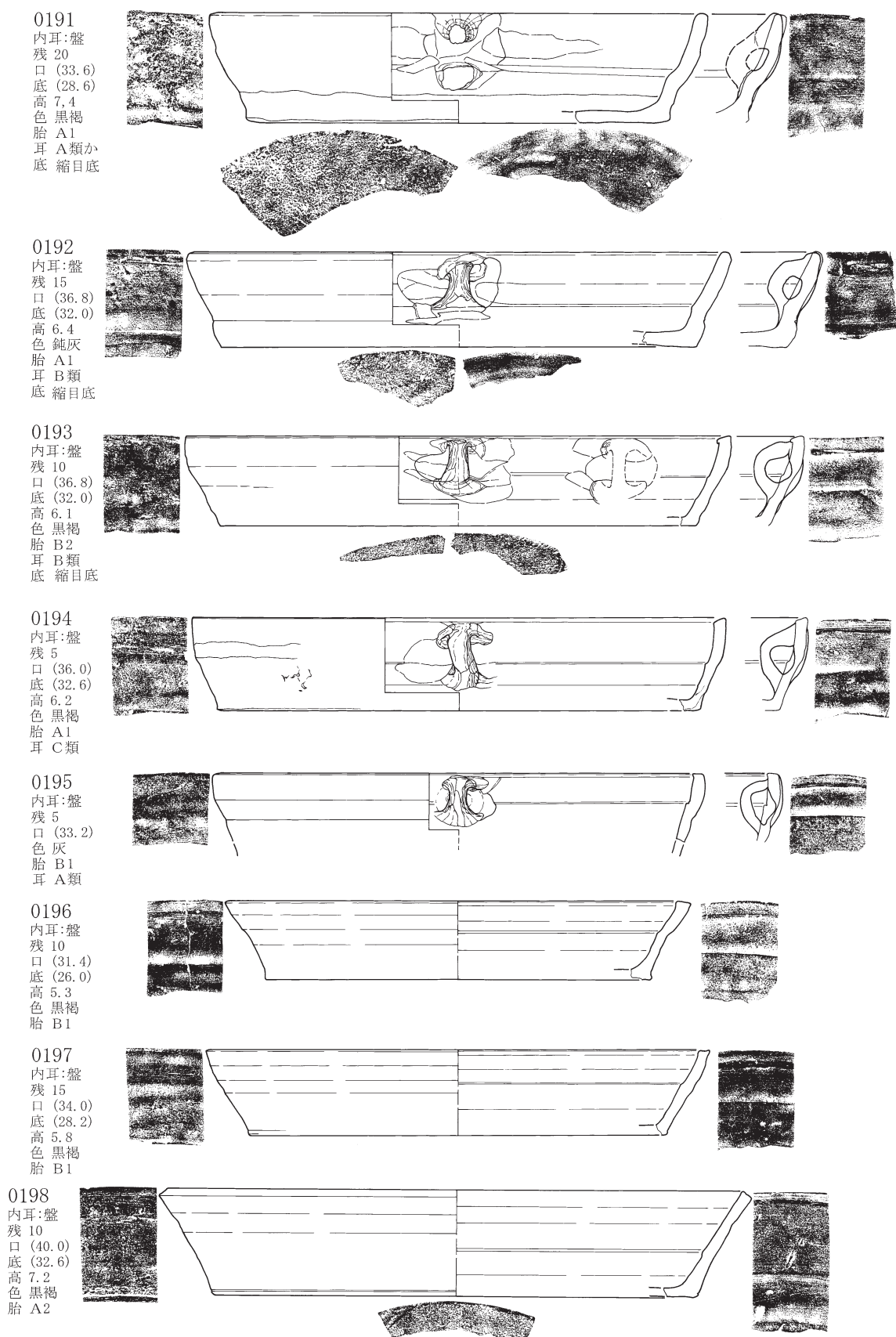
0181
口 (29.0)
色 黒
胎 A1
内耳:鍋
残 10

第44図 第2号溝状遺構出土遺物実測図 3/6 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物

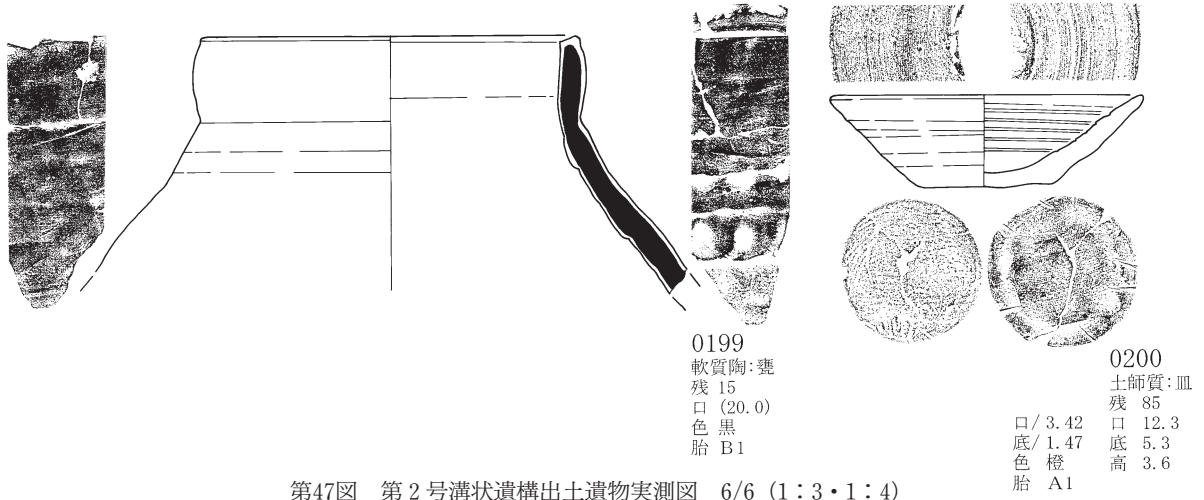


第45図 第2号溝状遺構出土遺物実測図 4/6 (1:4)

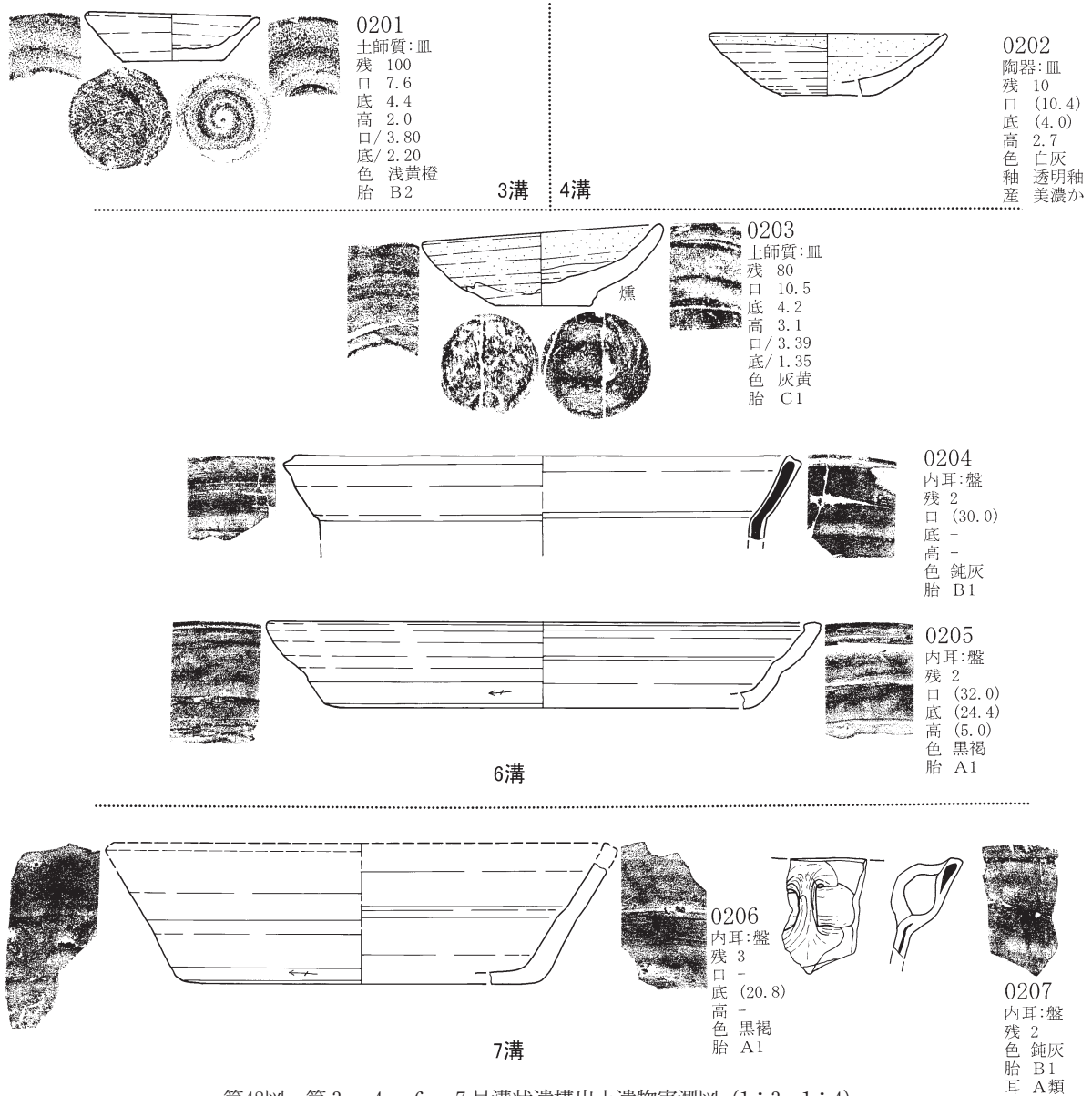


第46図 第2号溝状遺構出土遺物実測図 5/6 (1:4)

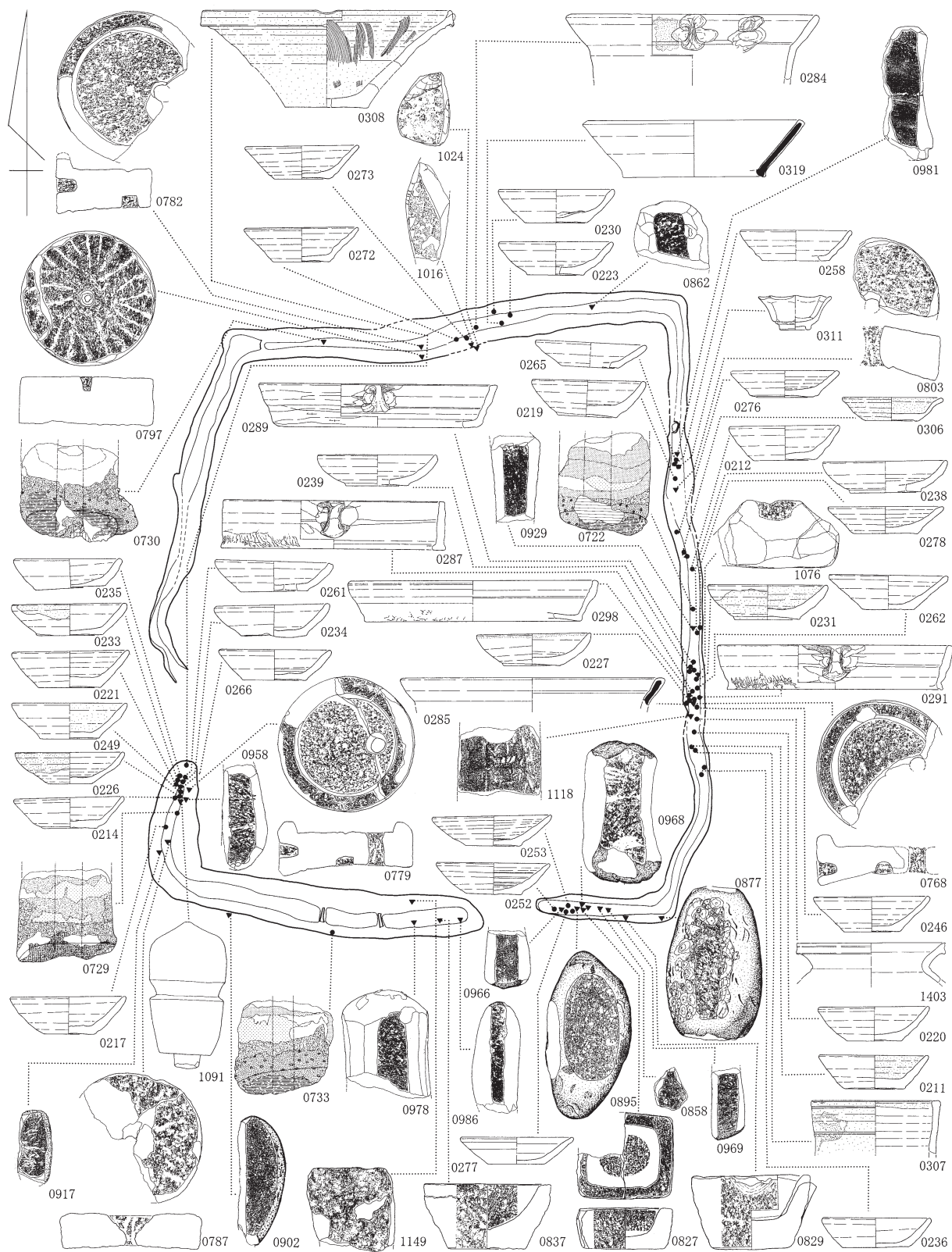
発見された遺構と出土遺物



第47図 第2号溝状遺構出土遺物実測図 6/6 (1:3・1:4)

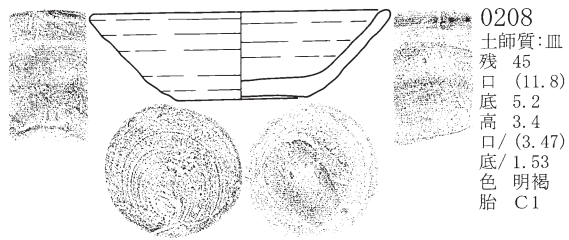


第48図 第3・4・6・7号溝状遺構出土遺物実測図 (1:3・1:4)

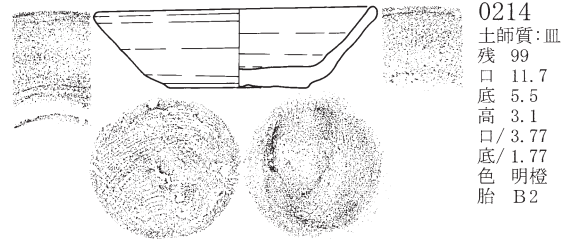


第49図 第8号溝状遺構出土遺物位置図 (1:400)

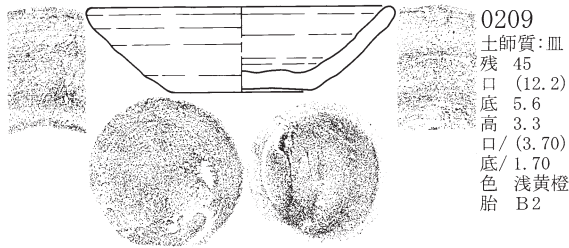
発見された遺構と出土遺物



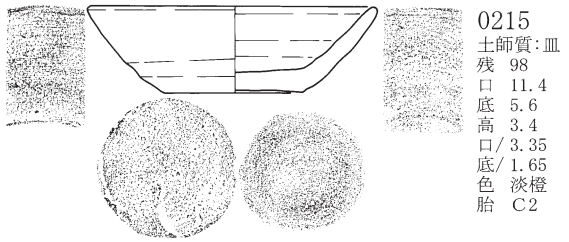
0208
土師質:皿
残 45
口 (11.8)
底 5.2
高 3.4
口/ (3.47)
底/ 1.53
色 明褐
胎 C1



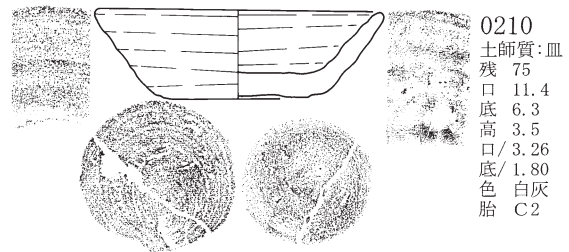
0214
土師質:皿
残 99
口 11.7
底 5.5
高 3.1
口/ 3.77
底/ 1.77
色 明橙
胎 B2



0209
土師質:皿
残 45
口 (12.2)
底 5.6
高 3.3
口/ (3.70)
底/ 1.70
色 浅黄橙
胎 B2



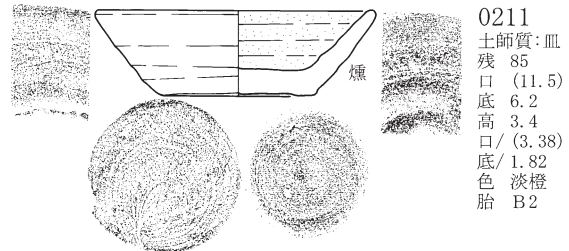
0215
土師質:皿
残 98
口 11.4
底 5.6
高 3.4
口/ 3.35
底/ 1.65
色 淡橙
胎 C2



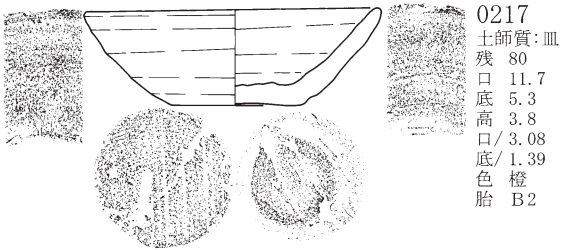
0210
土師質:皿
残 75
口 11.4
底 6.3
高 3.5
口/ 3.26
底/ 1.80
色 白灰
胎 C2



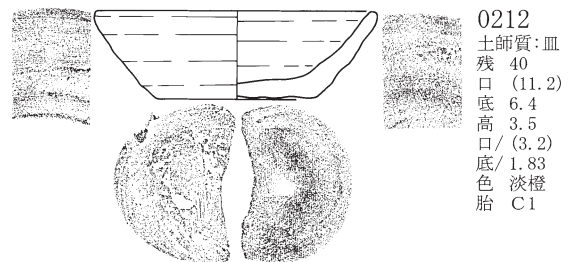
0216
土師質:皿
残 20
口 (7.2)
底 (4.4)
高 2.0
口/ (3.60)
底/ (2.20)
色 明橙
胎 C1



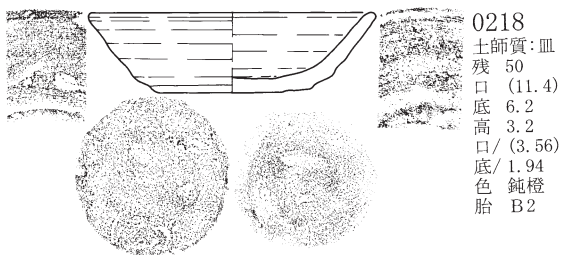
0211
土師質:皿
残 85
口 (11.5)
底 6.2
高 3.4
口/ (3.38)
底/ 1.82
色 淡橙
胎 B2



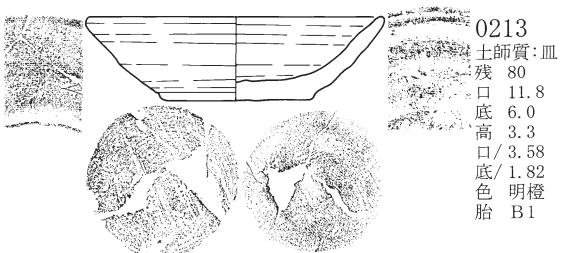
0217
土師質:皿
残 80
口 11.7
底 5.3
高 3.8
口/ 3.08
底/ 1.39
色 橙
胎 B2



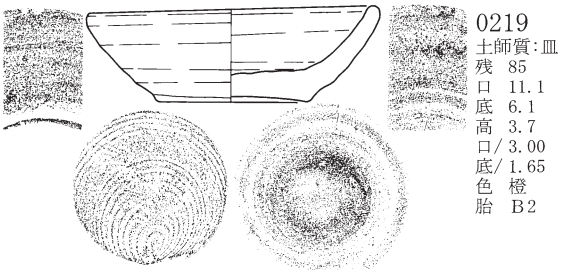
0212
土師質:皿
残 40
口 (11.2)
底 6.4
高 3.5
口/ (3.2)
底/ 1.83
色 淡橙
胎 C1



0218
土師質:皿
残 50
口 (11.4)
底 6.2
高 3.2
口/ (3.56)
底/ 1.94
色 鈍橙
胎 B2



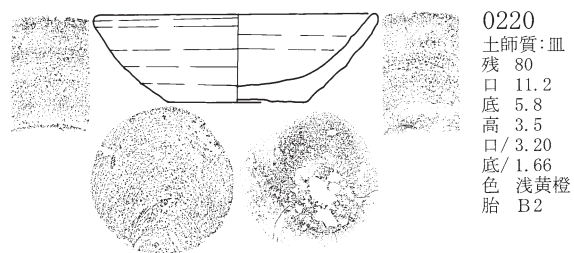
0213
土師質:皿
残 80
口 11.8
底 6.0
高 3.3
口/ 3.58
底/ 1.82
色 明橙
胎 B1



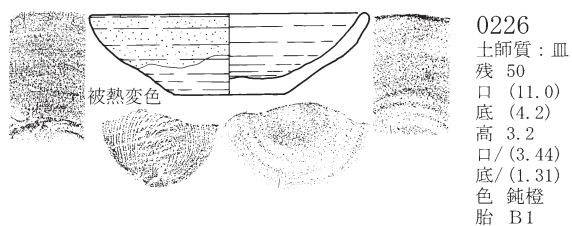
0219
土師質:皿
残 85
口 11.1
底 6.1
高 3.7
口/ 3.00
底/ 1.65
色 橙
胎 B2

第50図 第8号溝状遺構出土遺物実測図 1/10 (1:3)

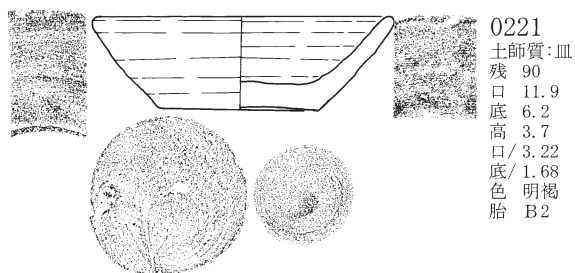
発見された遺構と出土遺物



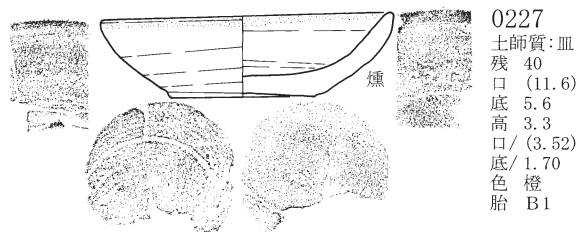
0220
土師質：皿
残 80
口 11.2
底 5.8
高 3.5
口/底 3.20
底/ 1.66
色 浅黄橙
胎 B2



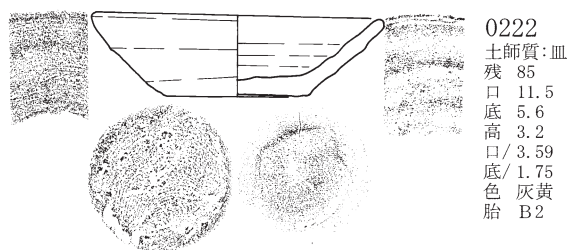
0226
土師質：皿
残 50
口 (11.0)
底 (4.2)
高 3.2
口/ (3.44)
底/ (1.31)
色 鈍橙
胎 B1



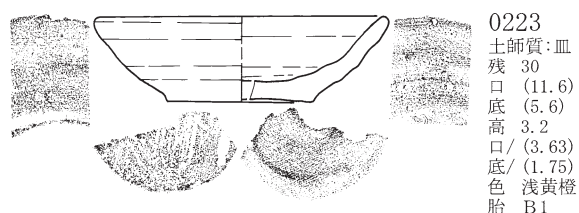
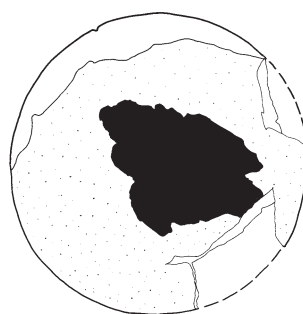
0221
土師質：皿
残 90
口 11.9
底 6.2
高 3.7
口/ 3.22
底/ 1.68
色 明褐
胎 B2



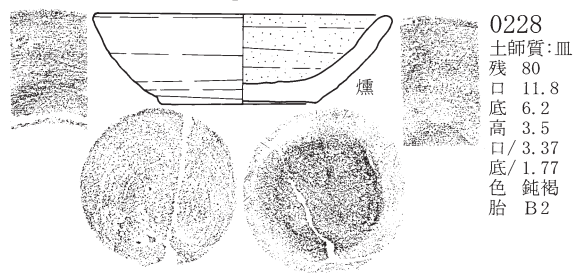
0227
土師質：皿
残 40
口 (11.6)
底 5.6
高 3.3
口/ (3.52)
底/ 1.70
色 橙
胎 B1



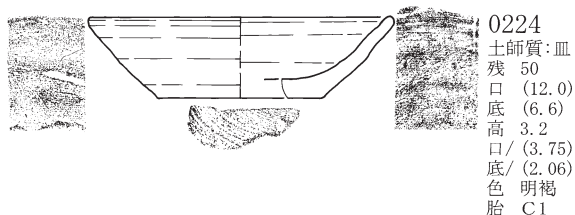
0222
土師質：皿
残 85
口 11.5
底 5.6
高 3.2
口/ 3.59
底/ 1.75
色 灰黄
胎 B2



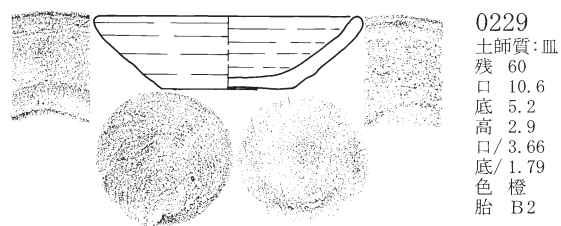
0223
土師質：皿
残 30
口 (11.6)
底 (5.6)
高 3.2
口/ (3.63)
底/ (1.75)
色 浅黄橙
胎 B1



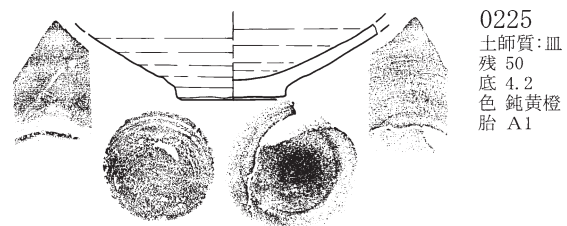
0228
土師質：皿
残 80
口 11.8
底 6.2
高 3.5
口/ 3.37
底/ 1.77
色 鈍褐
胎 B2



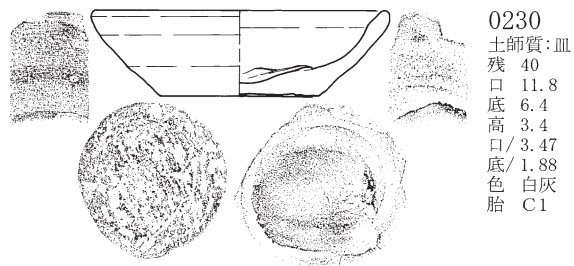
0224
土師質：皿
残 50
口 (12.0)
底 (6.6)
高 3.2
口/ (3.75)
底/ (2.06)
色 明褐
胎 C1



0229
土師質：皿
残 60
口 10.6
底 5.2
高 2.9
口/ 3.66
底/ 1.79
色 橙
胎 B2



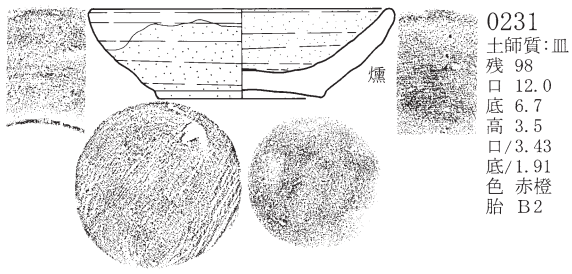
0225
土師質：皿
残 50
底 4.2
色 鈍黄橙
胎 A1



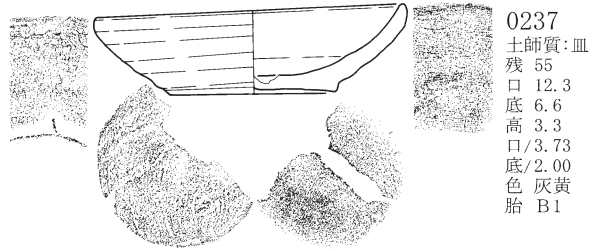
0230
土師質：皿
残 40
口 11.8
底 6.4
高 3.4
口/ 3.47
底/ 1.88
色 白灰
胎 C1

第51図 第8号溝状遺構出土遺物実測図 2/10 (1:3)

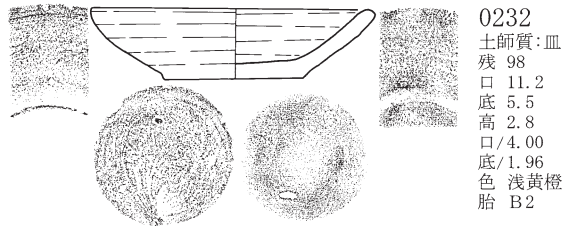
発見された遺構と出土遺物



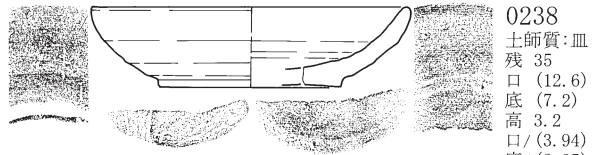
0231
土師質:皿
残 98
口 12.0
底 6.7
高 3.5
口/3.43
底/1.91
色 赤橙
胎 B2



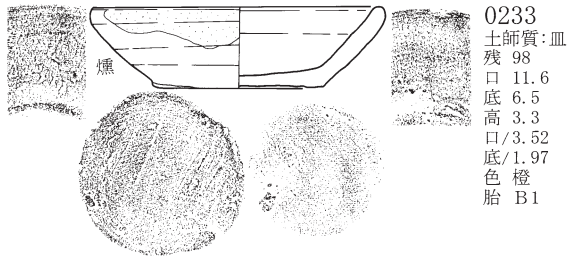
0237
土師質:皿
残 55
口 12.3
底 6.6
高 3.3
口/3.73
底/2.00
色 灰黄
胎 B1



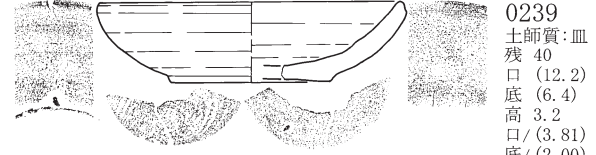
0232
土師質:皿
残 98
口 11.2
底 5.5
高 2.8
口/4.00
底/1.96
色 浅黄橙
胎 B2



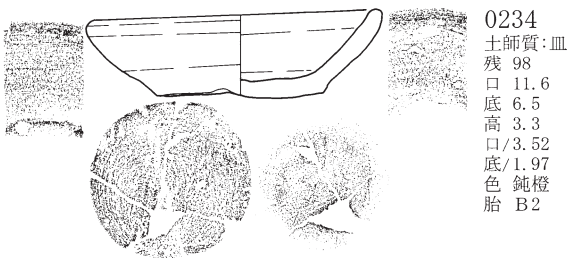
0238
土師質:皿
残 35
口 (12.6)
底 (7.2)
高 3.2
口/(3.94)
底/(2.25)
色 鈍橙
胎 B2



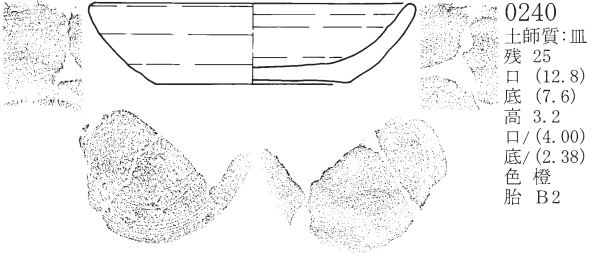
0233
土師質:皿
残 98
口 11.6
底 6.5
高 3.3
口/3.52
底/1.97
色 橙
胎 B1



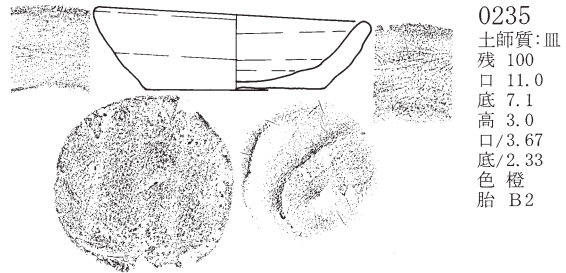
0239
土師質:皿
残 40
口 (12.2)
底 (6.4)
高 3.2
口/(3.81)
底/(2.00)
色 橙
胎 C2



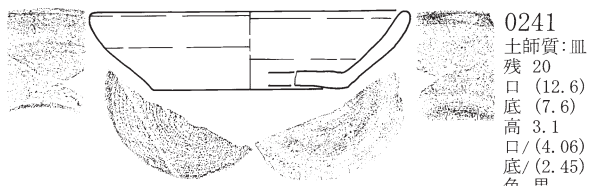
0234
土師質:皿
残 98
口 11.6
底 6.5
高 3.3
口/3.52
底/1.97
色 鈍橙
胎 B2



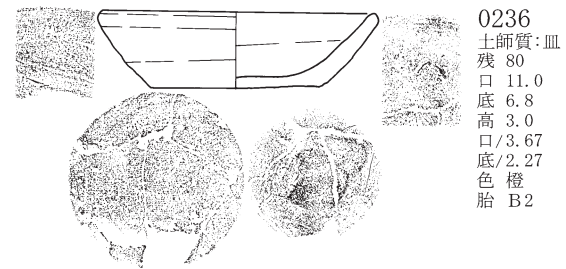
0240
土師質:皿
残 25
口 (12.8)
底 (7.6)
高 3.2
口/(4.00)
底/(2.38)
色 橙
胎 B2



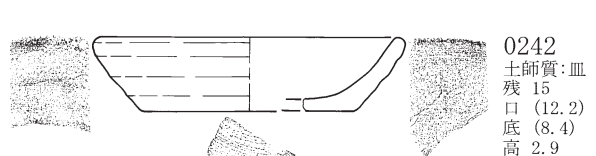
0235
土師質:皿
残 100
口 11.0
底 7.1
高 3.0
口/3.67
底/2.33
色 橙
胎 B2



0241
土師質:皿
残 20
口 (12.6)
底 (7.6)
高 3.1
口/(4.06)
底/(2.45)
色 黒
胎 C1

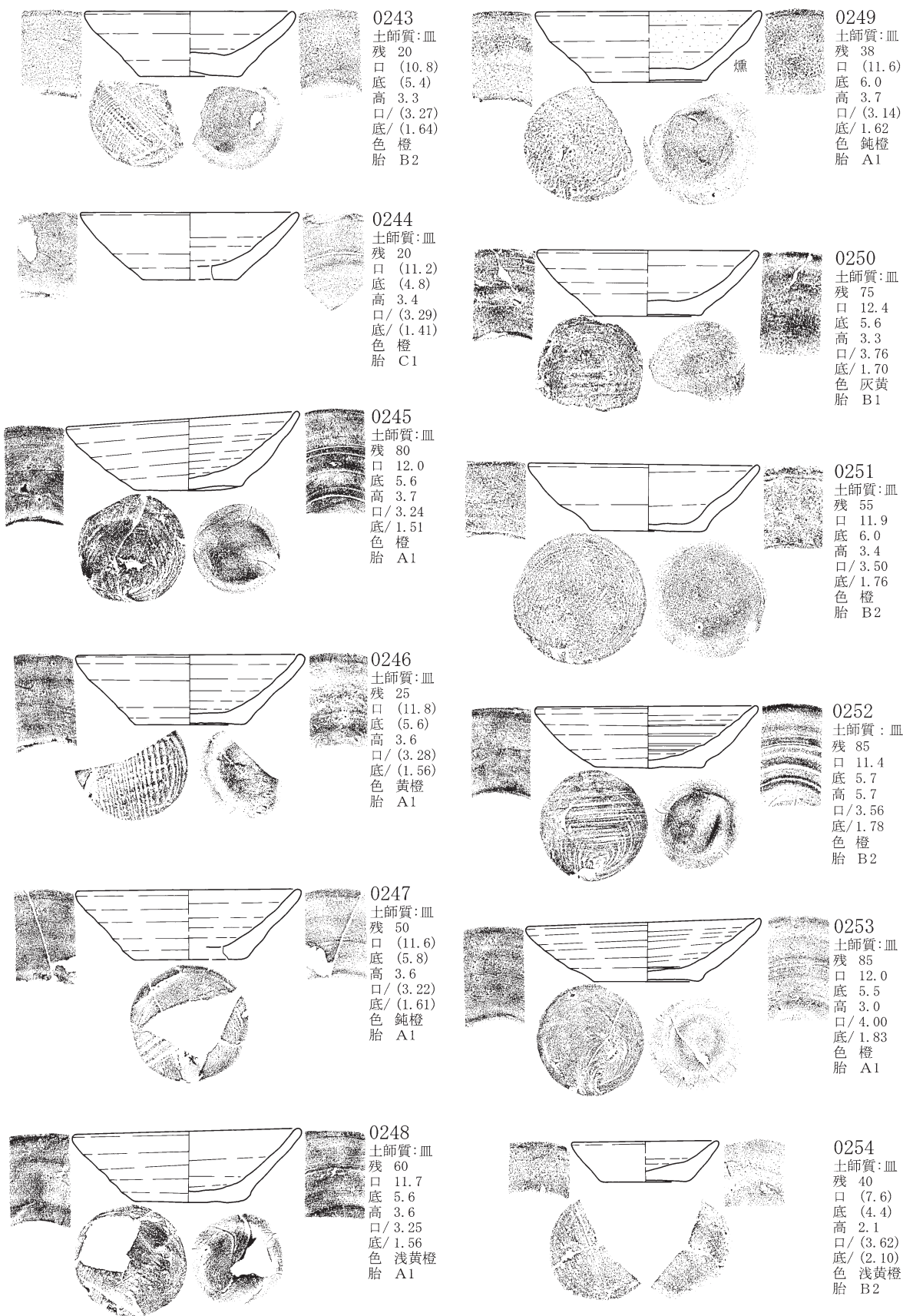


0236
土師質:皿
残 80
口 11.0
底 6.8
高 3.0
口/3.67
底/2.27
色 橙
胎 B2



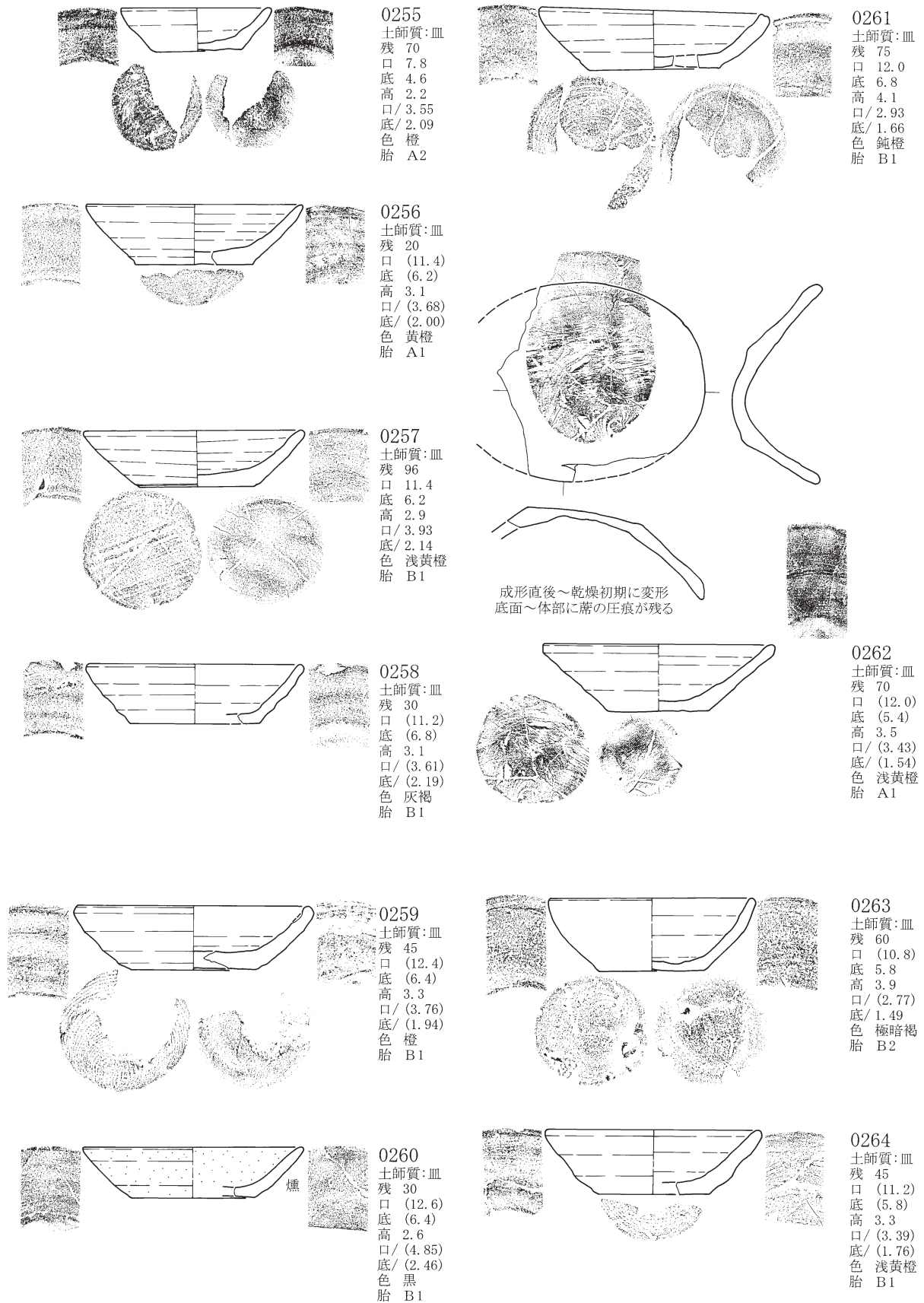
0242
土師質:皿
残 15
口 (12.2)
底 (8.4)
高 2.9
口/(4.21)
底/(2.90)
色 橙
胎 B1

第52図 第8号溝状遺構出土遺物実測図 3/10 (1:3)

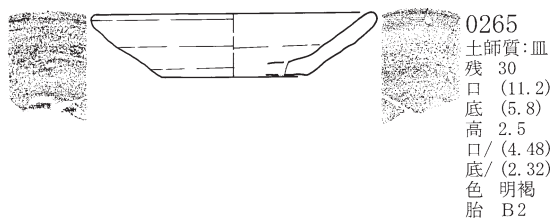


第53図 第8号溝状遺構出土遺物実測図 4/10 (1:3)

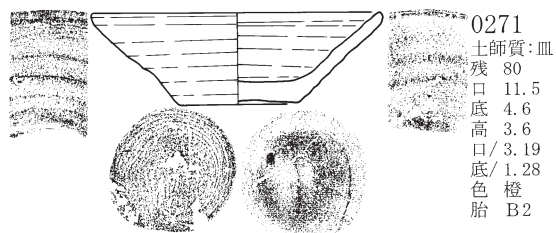
発見された遺構と出土遺物



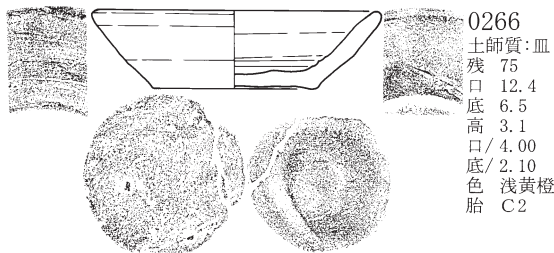
第54図 第8号溝状遺構出土遺物実測図 5/10 (1:3)



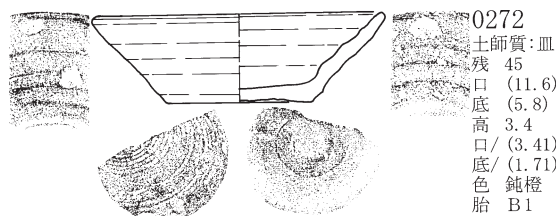
0265
土師質:皿
残 30
口 (11.2)
底 (5.8)
高 2.5
口/ (4.48)
底/ (2.32)
色 明褐
胎 B2



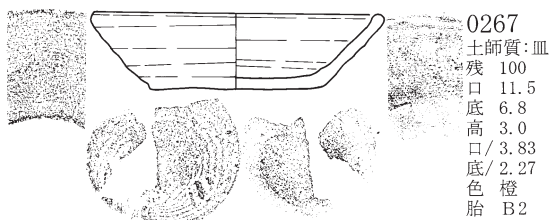
0271
土師質:皿
残 80
口 11.5
底 4.6
高 3.6
口/ 3.19
底/ 1.28
色 橙
胎 B2



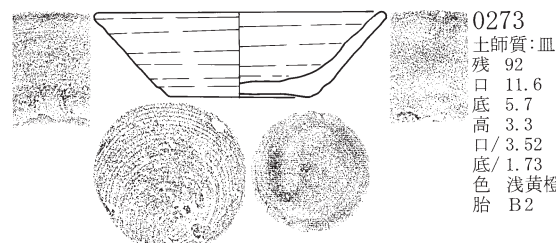
0266
土師質:皿
残 75
口 12.4
底 6.5
高 3.1
口/ 4.00
底/ 2.10
色 浅黄橙
胎 C2



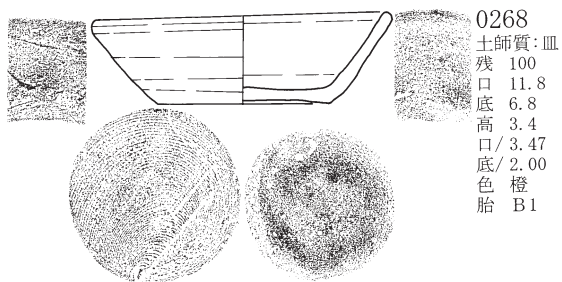
0272
土師質:皿
残 45
口 (11.6)
底 (5.8)
高 3.4
口/ (3.41)
底/ (1.71)
色 鈍橙
胎 B1



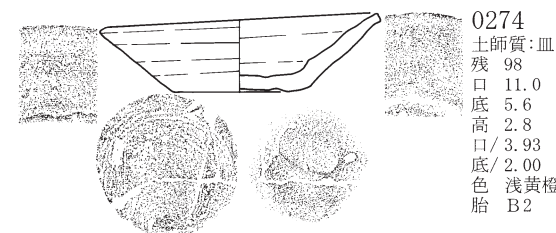
0267
土師質:皿
残 100
口 11.5
底 6.8
高 3.0
口/ 3.83
底/ 2.27
色 橙
胎 B2



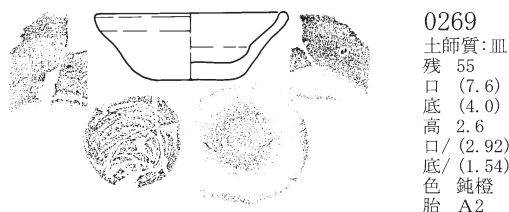
0273
土師質:皿
残 92
口 11.6
底 5.7
高 3.3
口/ 3.52
底/ 1.73
色 浅黄橙
胎 B2



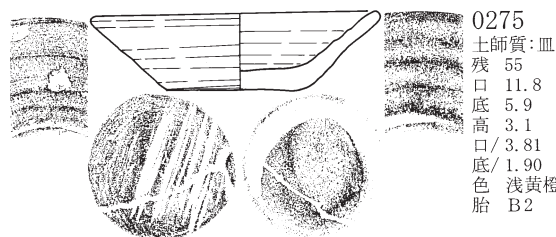
0268
土師質:皿
残 100
口 11.8
底 6.8
高 3.4
口/ 3.47
底/ 2.00
色 橙
胎 B1



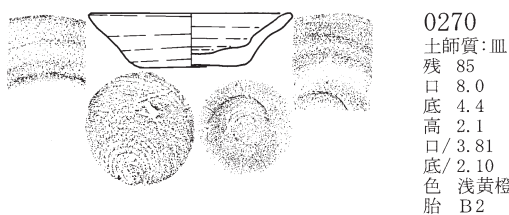
0274
土師質:皿
残 98
口 11.0
底 5.6
高 2.8
口/ 3.93
底/ 2.00
色 浅黄橙
胎 B2



0269
土師質:皿
残 55
口 (7.6)
底 (4.0)
高 2.6
口/ (2.92)
底/ (1.54)
色 鈍橙
胎 A2



0275
土師質:皿
残 55
口 11.8
底 5.9
高 3.1
口/ 3.81
底/ 1.90
色 浅黄橙
胎 B2

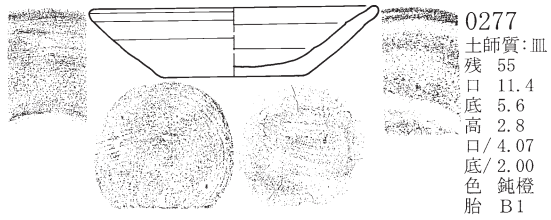


0270
土師質:皿
残 85
口 8.0
底 4.4
高 2.1
口/ 3.81
底/ 2.10
色 浅黄橙
胎 B2

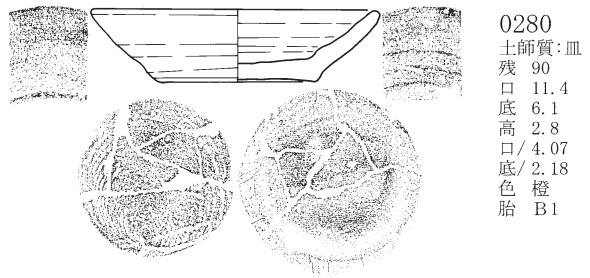


0276
土師質:皿
残 50
口 11.0
底 5.6
高 2.7
口/ 4.07
底/ 2.07
色 鈍褐
胎 B1

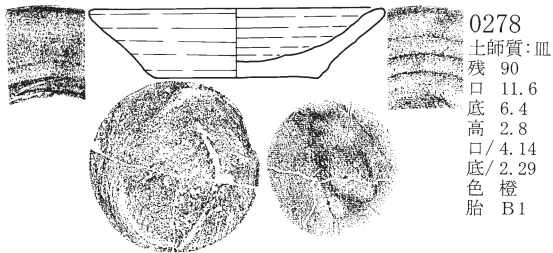
発見された遺構と出土遺物



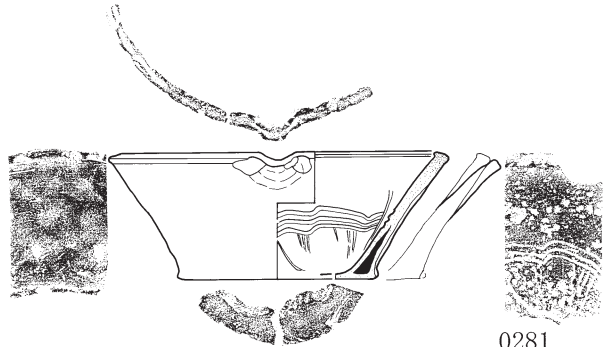
0277
土師質:皿
残 55
口 11.4
底 5.6
高 2.8
口/底/4.07
底/2.00
色 鈍橙
胎 B1



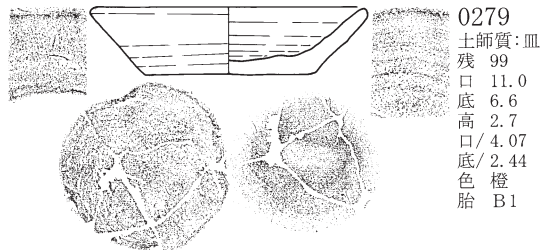
0280
土師質:皿
残 90
口 11.4
底 6.1
高 2.8
口/底/4.07
底/2.18
色 橙
胎 B1



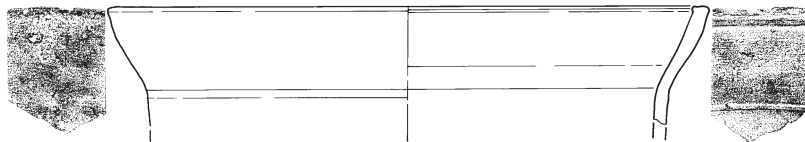
0278
土師質:皿
残 90
口 11.6
底 6.4
高 2.8
口/底/4.14
底/2.29
色 橙
胎 B1



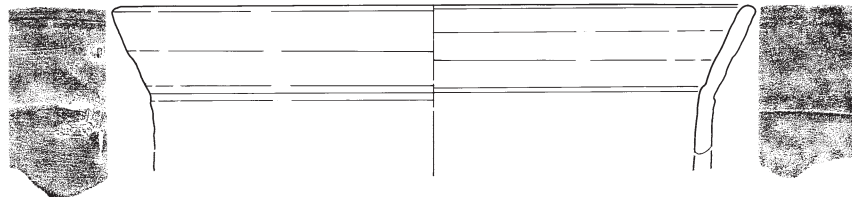
0281
軟質陶:描鉢
残 30
口 (18.0)
底 (10.6)
高 6.7
色 赤橙
胎 B1



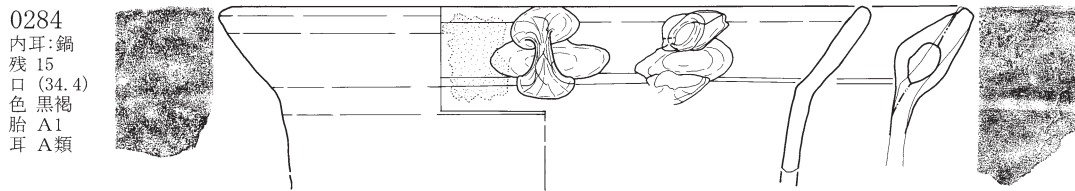
0279
土師質:皿
残 99
口 11.0
底 6.6
高 2.7
口/底/4.07
底/2.44
色 橙
胎 B1



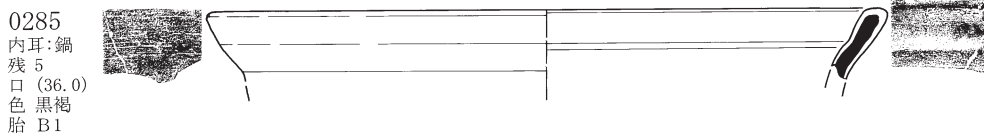
0282
内耳:鍋
残 2
口 (30.8)
色 灰
胎 A1



0283
内耳:鍋
残 3
口 (34.0)
色 灰黄
胎 A1

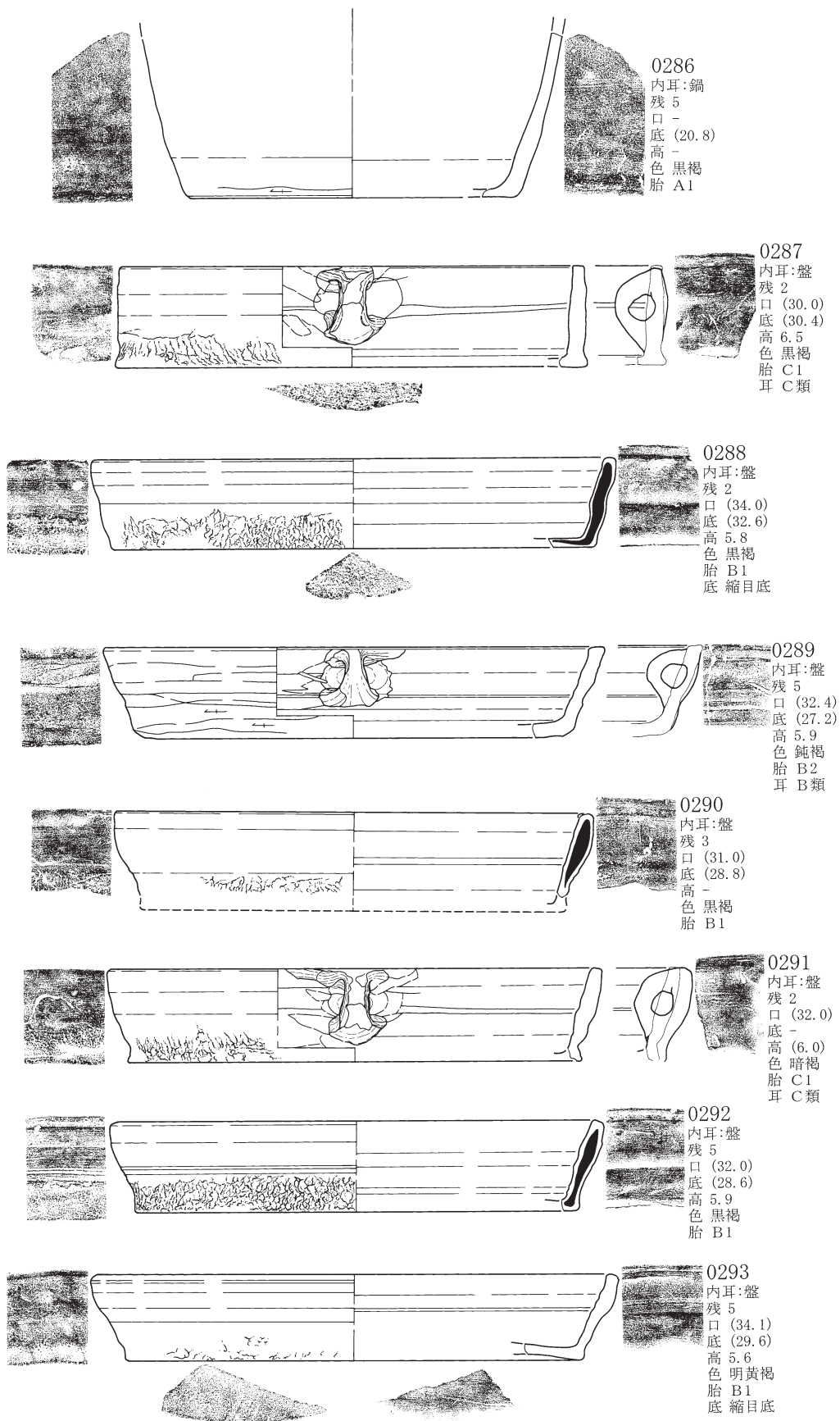


0284
内耳:鍋
残 15
口 (34.4)
色 黒褐
胎 A1
耳 A類



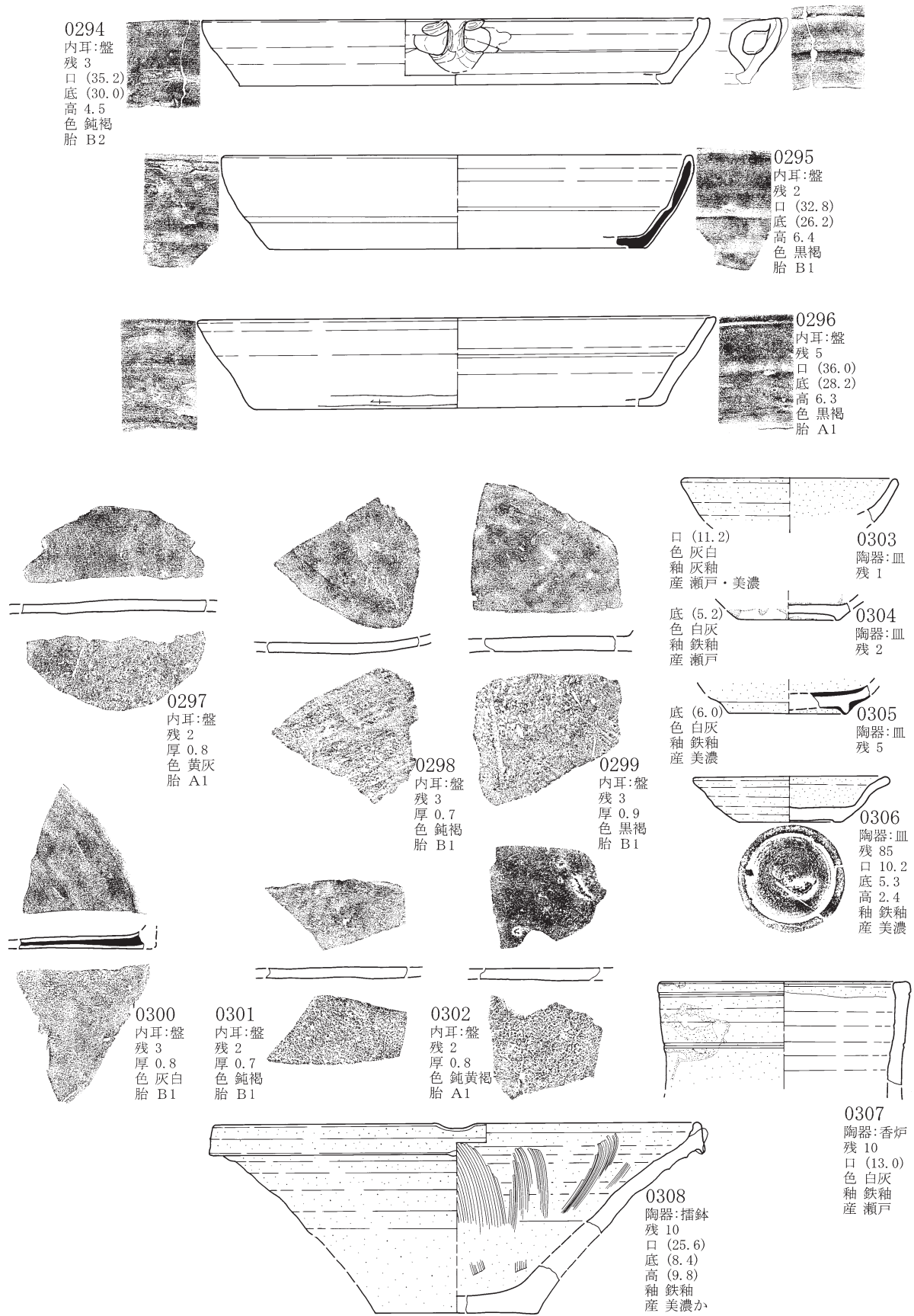
0285
内耳:鍋
残 5
口 (36.0)
色 黒褐
胎 B1

第56図 第8号溝状遺構出土遺物実測図 7/10 (1:3・1:4)

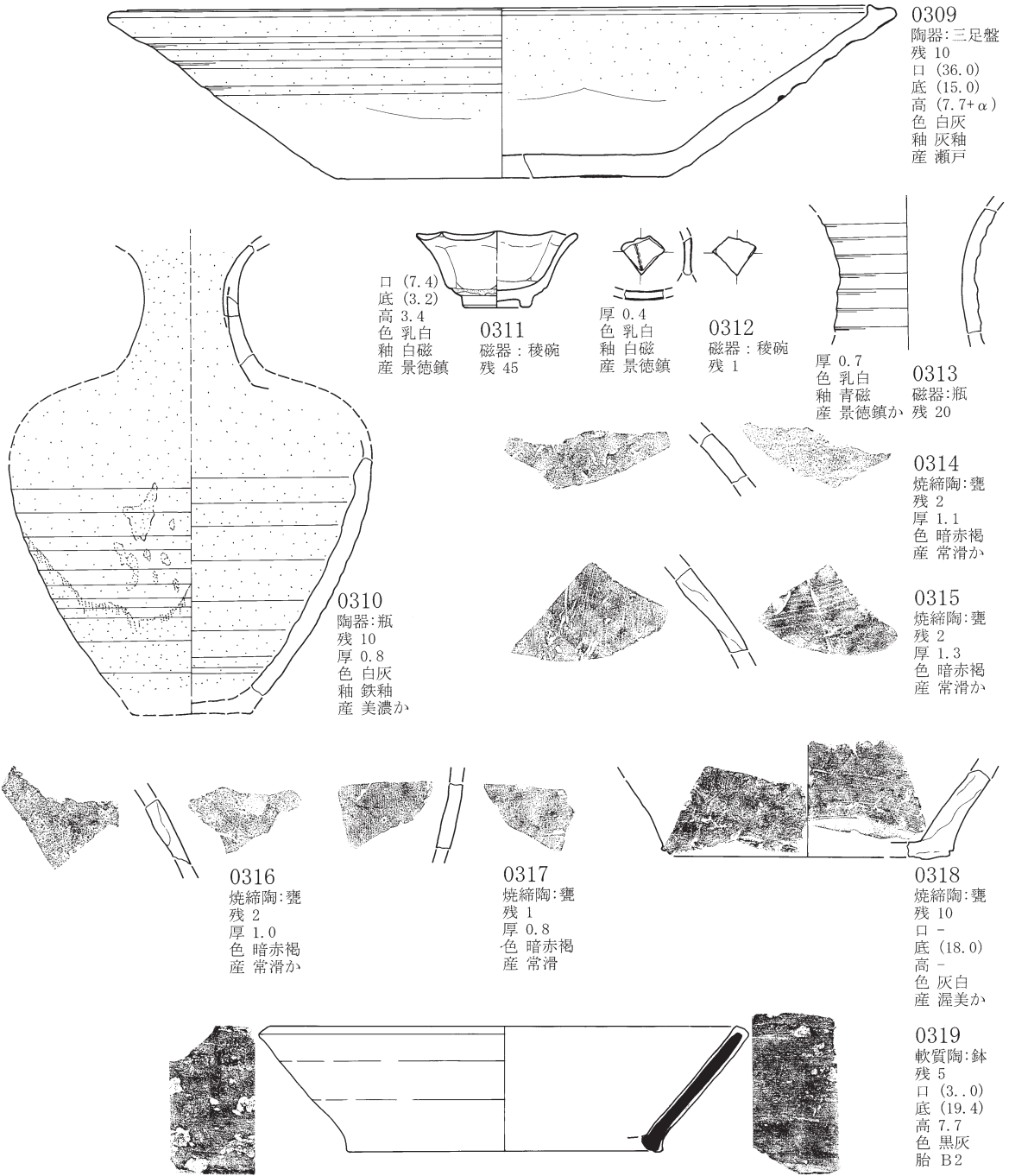


第57図 第8号溝状遺構出土遺物実測図 8/10 (1:4)

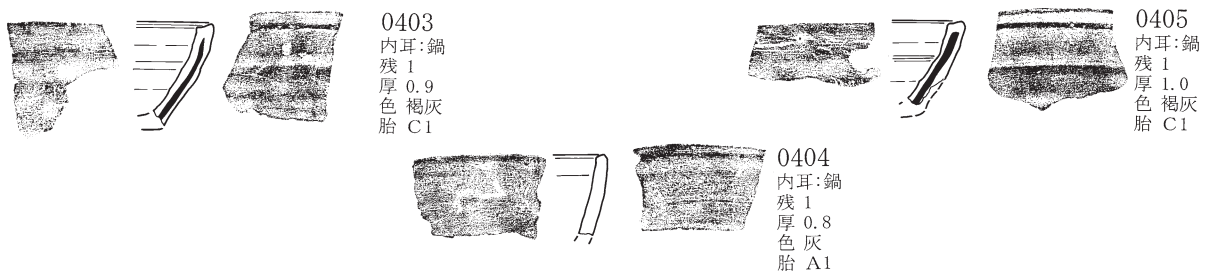
発見された遺構と出土遺物



第58図 第8号溝状遺構出土遺物実測図 9/10 (1:3・1:4)

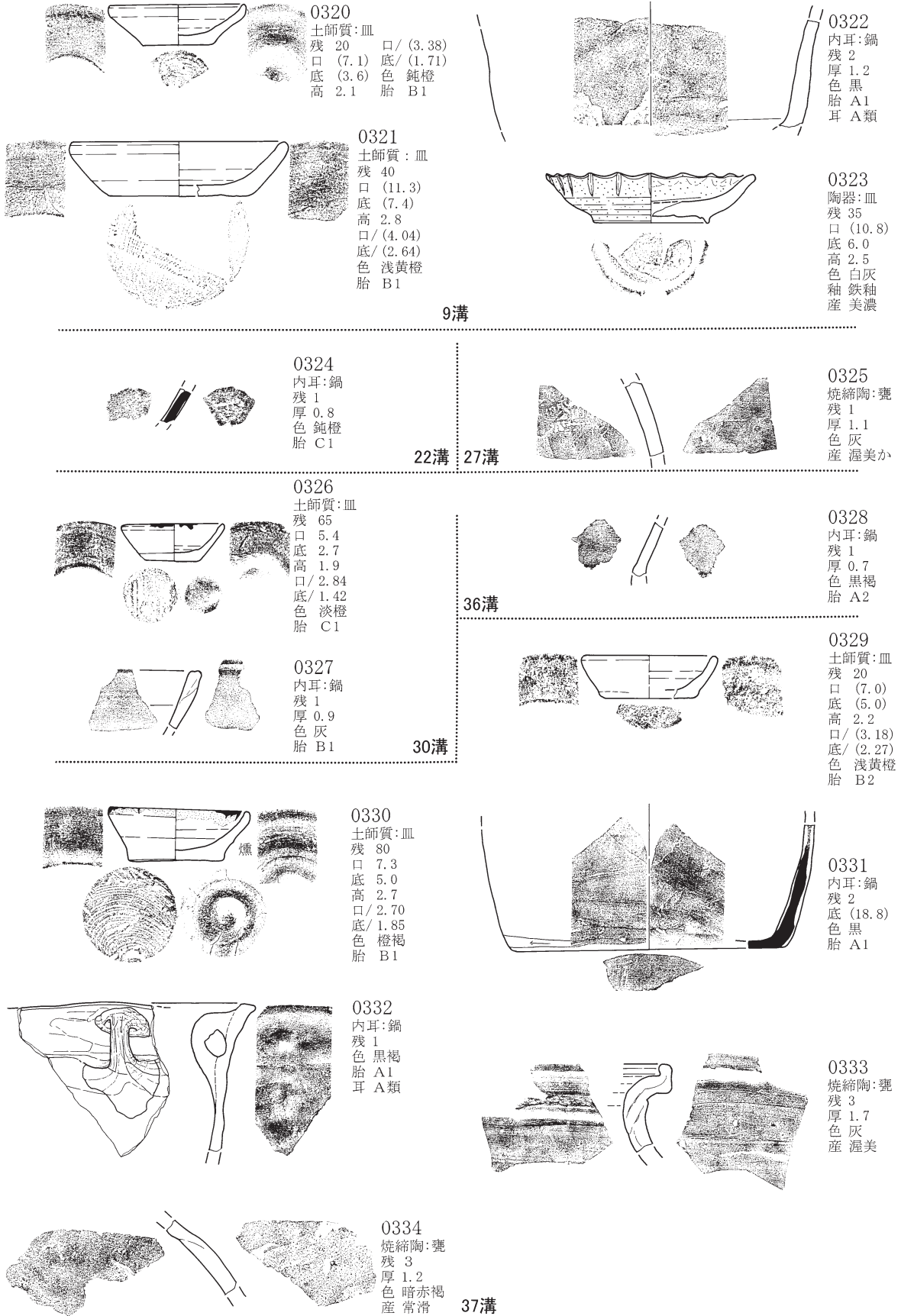


第59図 第8号溝状遺構出土遺物実測図 10/10 (1:3・1:4)



第60図 第67号溝状遺構出土遺物実測図 (1:4)

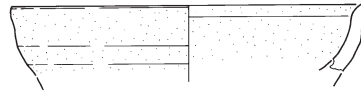
発見された遺構と出土遺物



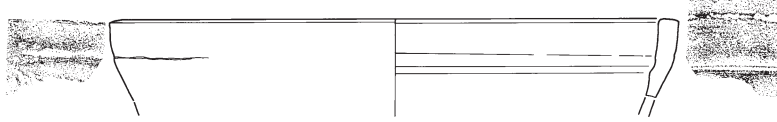
第61図 第9・22・27・30・36・37号溝状遺構出土遺物実測図 (1:3・1:4)



0335
内耳:盤
残 1
厚 0.8
色 黒褐
胎 B1

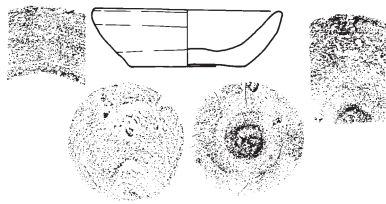


0336
陶器:碗
残 2
口 (14.0)
色 暗赤褐
釉 灰釉
産 美濃

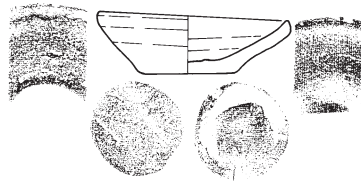


0337
内耳:盤
残 2
口 (30.0)
色 灰
胎 B2

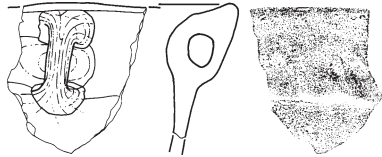
38溝



0338
土師質:皿
残 98
口 7.5
底 4.4
高 2.3
口/3.26
底/1.19
色 鈍橙
胎 A1



0339
土師質:皿
残 97
口 7.6
底 4.0
高 2.3
口/3.30
底/1.74
色 鈍褐
胎 C1

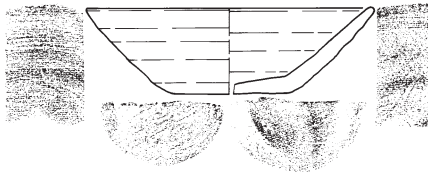


0340
内耳:鍋
残 1
色 黒
胎 A1
耳 A類

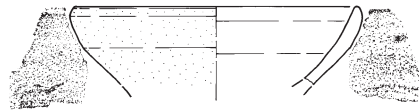


0341
焼締陶:甕
残 1
厚 1.1
色 鈍灰
胎 B1

39溝



0342
土師質:皿
残 30
口 (11.4)
底 (4.6)
高 3.4
口/(3.35)
底/(1.35)
色 橙褐
胎 C1



0343
土師質:皿
残 15
口 (11.5)
色 鈍橙
胎 B2

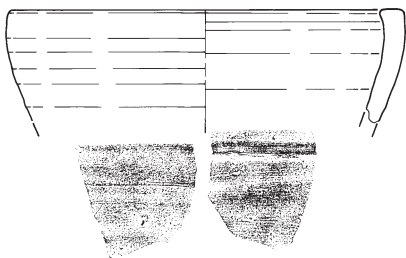
40溝



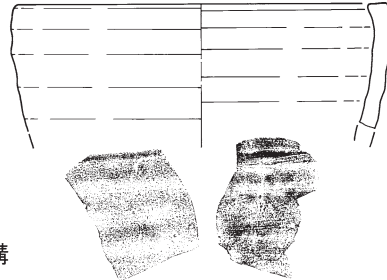
0344
磁器:碗
残 2
厚 0.4
色 青磁
産 龍泉



0346
焼締陶:鉢
残 1
厚 1.0
色 極暗
産 常滑



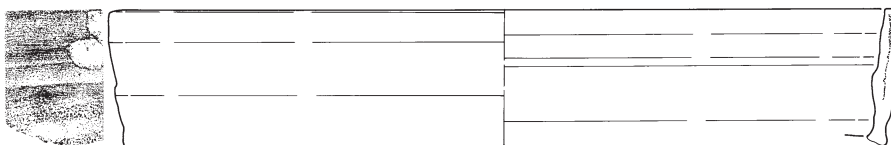
0345
軟質陶:火鉢
残 3
口 (21.0)
色 暗赤褐
胎 B1



0347
焼締陶:鉢
残 3
口 (20.0)
色 極暗褐
産 常滑

41溝

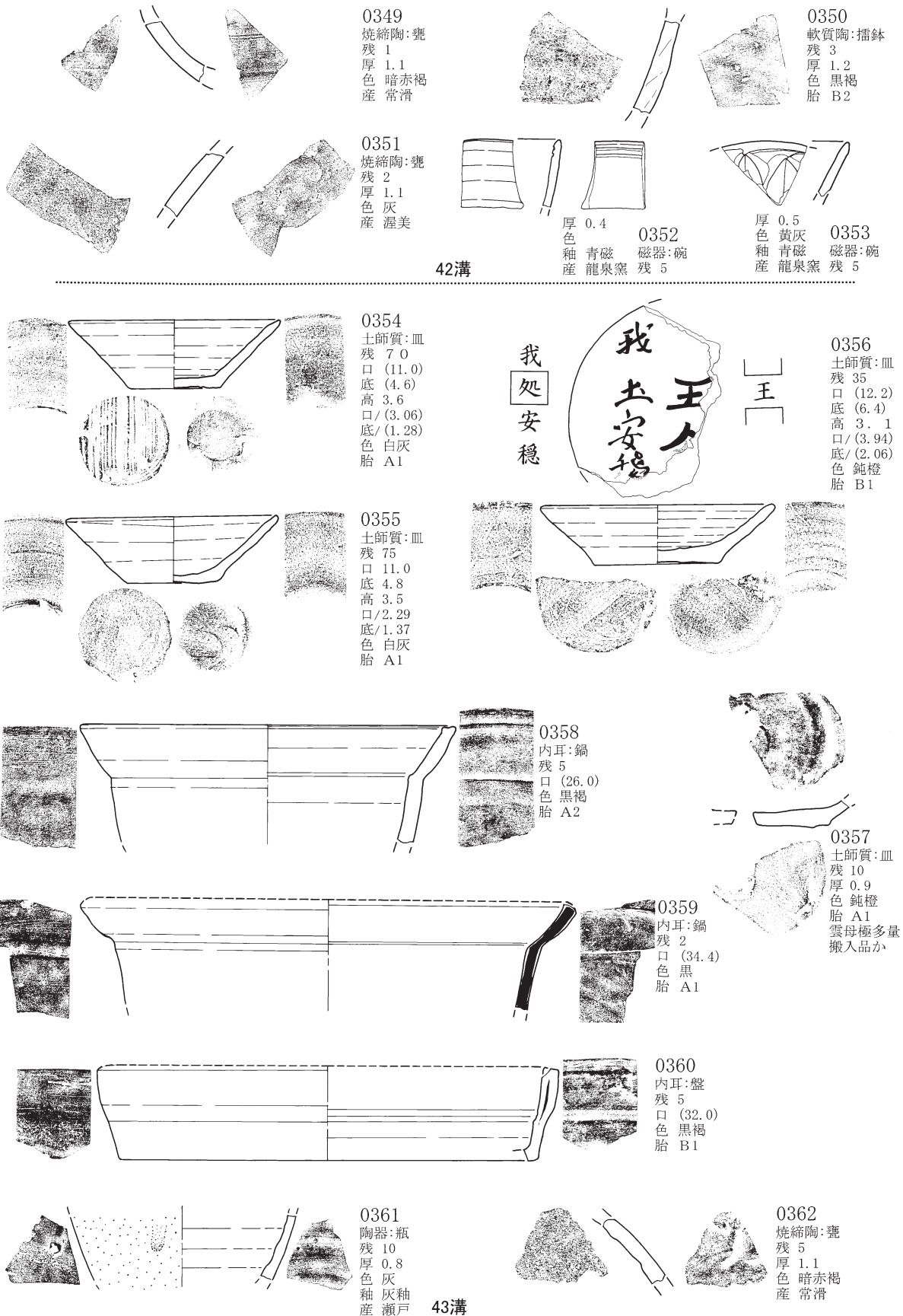
42溝



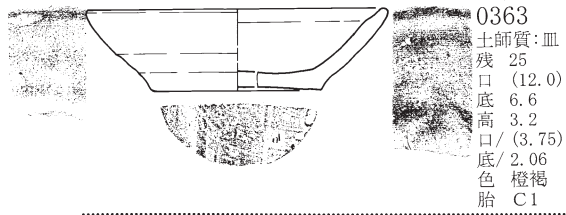
0348
内耳:盤
残 2
口 (41.8)
色 黒褐
胎 B2

第62図 第38~42号溝状遺構出土遺物実測図 (1:3・1:4)

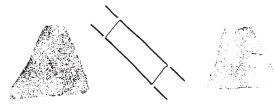
発見された遺構と出土遺物



第63図 第42・43号溝状遺構出土遺物実測図 (1:3・1:4)

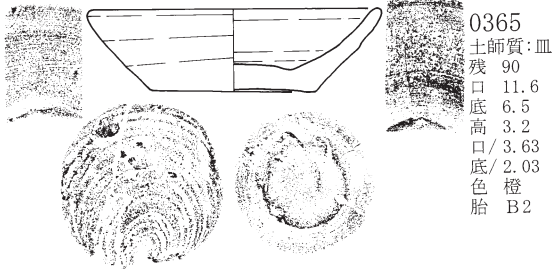


0363
土師質:皿
残 25
口 (12.0)
底 6.6
高 3.2
口/ (3.75)
底/ 2.06
色 橙褐
胎 C1

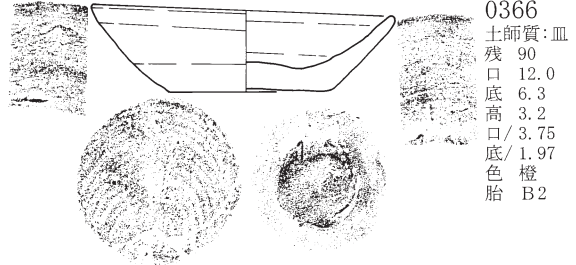


0364
焼締陶:甕
残 2
厚 1.3
色 灰
産 常滑

49溝



0365
土師質:皿
残 90
口 11.6
底 6.5
高 3.2
口/ 3.63
底/ 2.03
色 橙
胎 B2

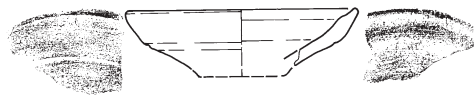


0366
土師質:皿
残 90
口 12.0
底 6.3
高 3.2
口/ 3.75
底/ 1.97
色 橙
胎 B2

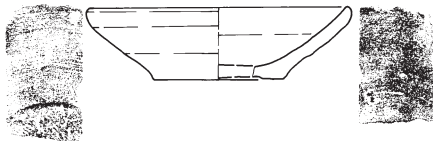
50溝



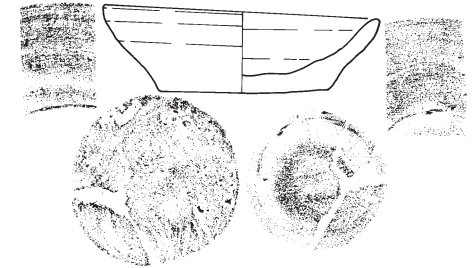
0367
土師質:皿
残 45
口 (7.2)
底 (4.4)
高 1.8
口/ (4.00)
底/ (2.44)
色 白灰
胎 C1



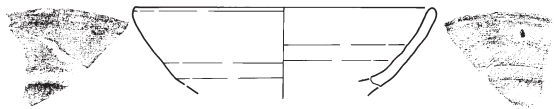
0368
土師質:皿
残 15
口 (9.2)
高 (2.7)
色 橙
胎 C1



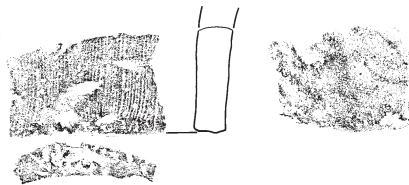
0369
土師質:皿
残 15
口 (10.6)
底 (4.2)
高 2.8
口/ (3.79)
底/ (1.50)
色 灰黄褐
胎 A1



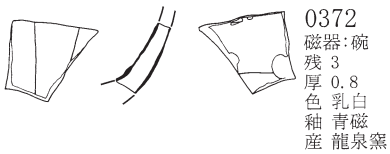
0370
土師質:皿
残 98
口 10.9
底 6.7
高 3.2
口/ 3.41
底/ 2.09
色 橙
胎 A1



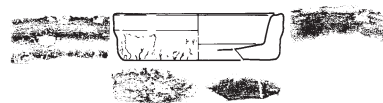
0371
土師質:皿
残 10
口 (12.0)
色 灰
胎 C1



0374
円筒埴輪
残 1
厚 1.8
色 橙
胎 B1



0372
磁器:碗
残 3
厚 0.8
色 乳白
釉 青磁
産 龍泉窯



0375
軟質陶:皿
残 5
口 (9.0)
底 (8.0)
高 2.4
色 明褐
胎 B1

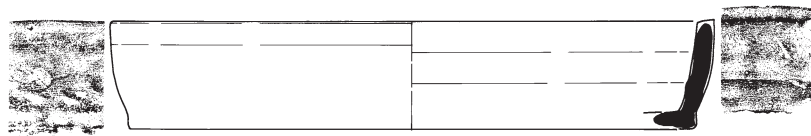


0373
内耳:盤
残 1
色 鈍褐
胎 A1
耳 B類



0376
内耳:盤
残 2
厚 1.5
色 灰
胎 B1

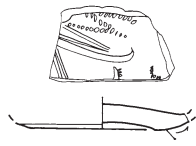
54溝



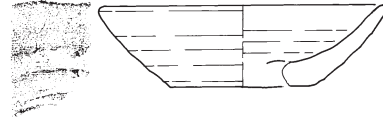
0377
内耳:盤
残 2
口 (32.0)
底 (30.0)
高 5.7
色 黒褐
胎 C1

第64図 第49・50・54号溝状遺構出土遺物実測図 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物



0378
磁器:皿
残 5
厚 0.7
色 乳白
釉 青磁
産 不詳
猫描手

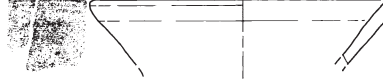


0379
土師質:皿
残 15
口 (11.4)
底 (5.6)
高 2.2
口/底 (5.18)
色 橙
胎 B1

56溝



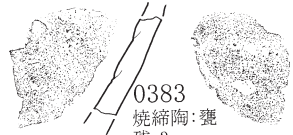
0380
土師質:皿
残 70
口 10.7
底 6.6
高 3.2
口/底 3.34
色 橙
胎 B1



0381
土師質:皿
残 15
口 (12.0)
色 橙
胎 B1

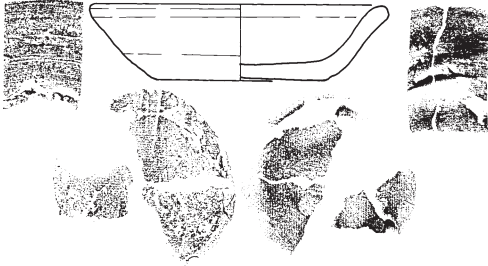


0382
焼締陶:甕
残 2
厚 1.2
色 灰
産 渥美

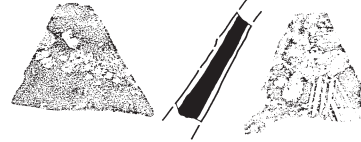


0383
焼締陶:甕
残 3
厚 1.1
色 暗赤褐
産 常滑か

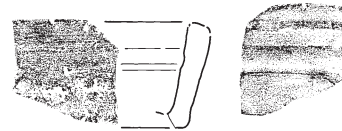
58溝



0384
土師質:皿
残 85
口 11.7
底 6.8
高 3.0
口/底 3.25
底/口 1.89
色 橙褐
胎 C1



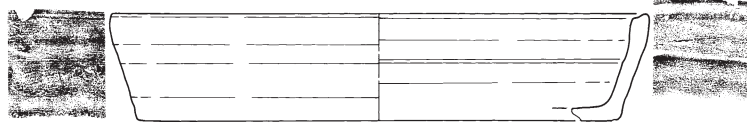
0385
軟質陶:搦鉢
残 2
厚 1.5
色 鈍灰
胎 B1
卸目:5本+α



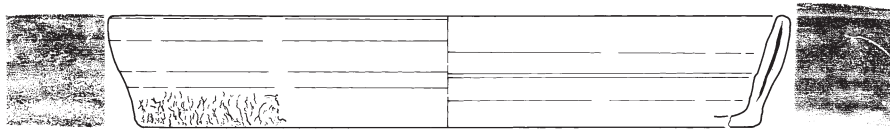
0386
内耳:盤
残 2
厚 1.2
色 橙
胎 B2



0387
内耳:盤
残 3
口 (33.0)
底 (29.8)
高 5.7
色 褐灰
胎 C1

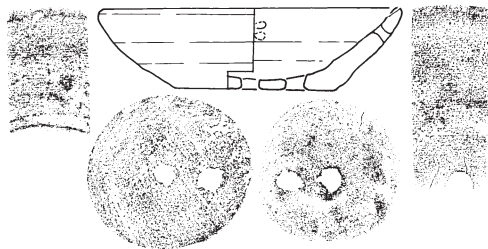


0388
内耳:盤
残 3
口 (28.4)
底 (25.4)
高 5.6
色 褐灰
胎 C1

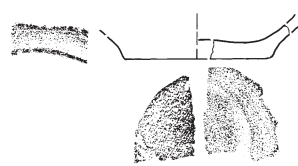


0389
内耳:盤
残 4
口 (36.0)
底 (33.0)
高 5.8
色 黒灰
胎 C1

59溝



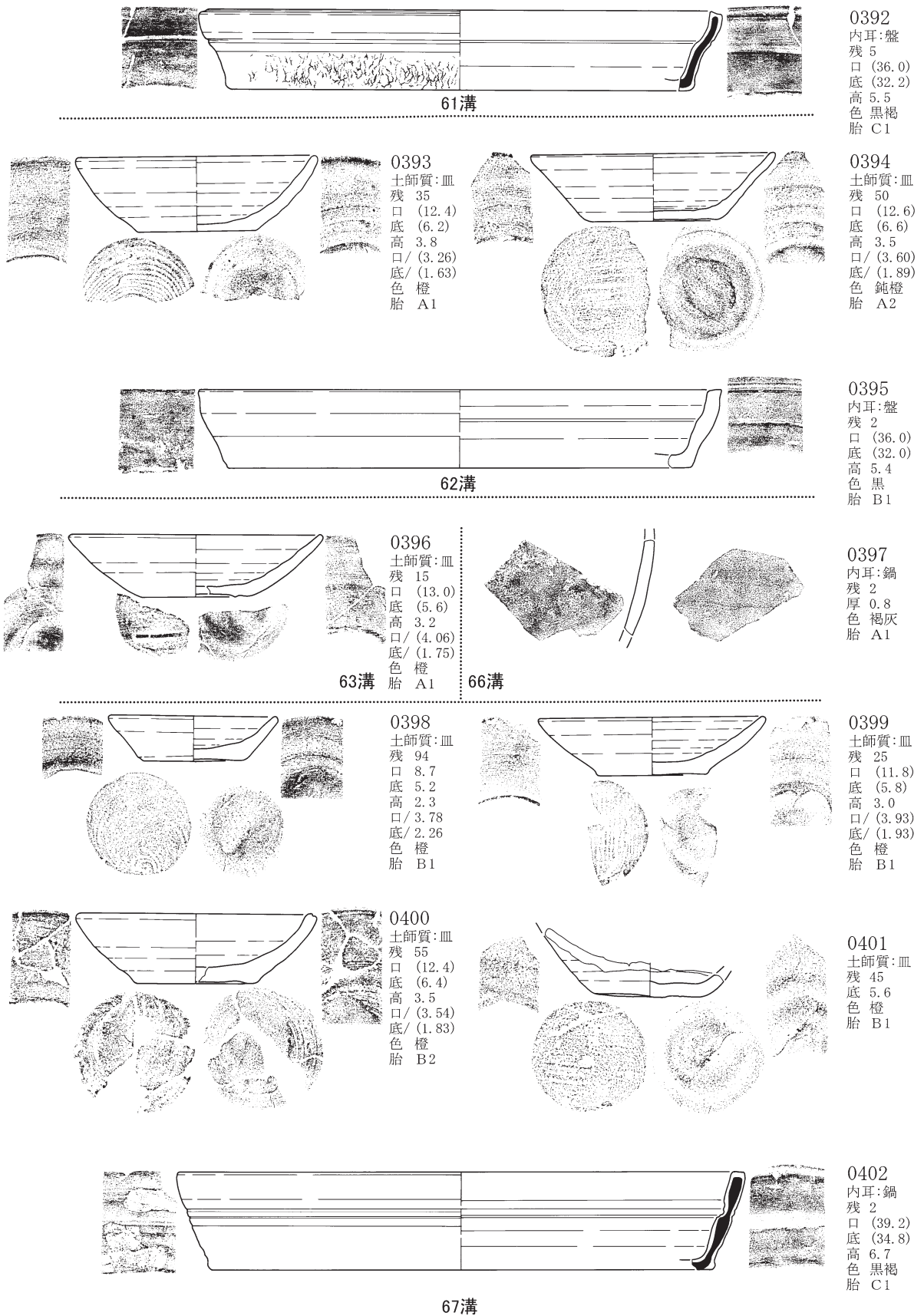
0390
土師質:皿
残 90
口 12.0
底 6.4
高 3.2
口/底 3.75
底/口 2.00
色 橙
胎 B2



0391
土師質:皿
残 8
口 -
底 (5.8)
高 -
色 浅黄橙
胎 C1

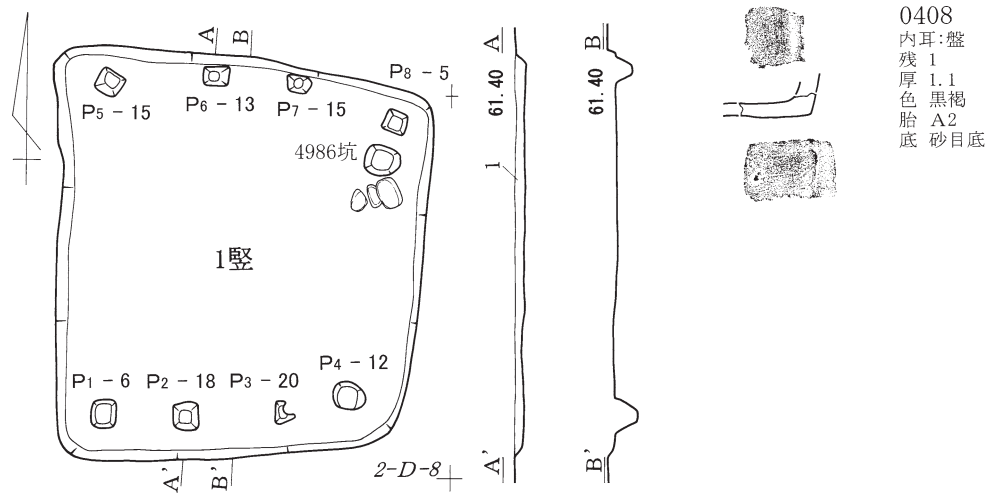
61溝

第65図 第56・58・59・61号溝状遺構出土遺物実測図 (1:3・1:4)

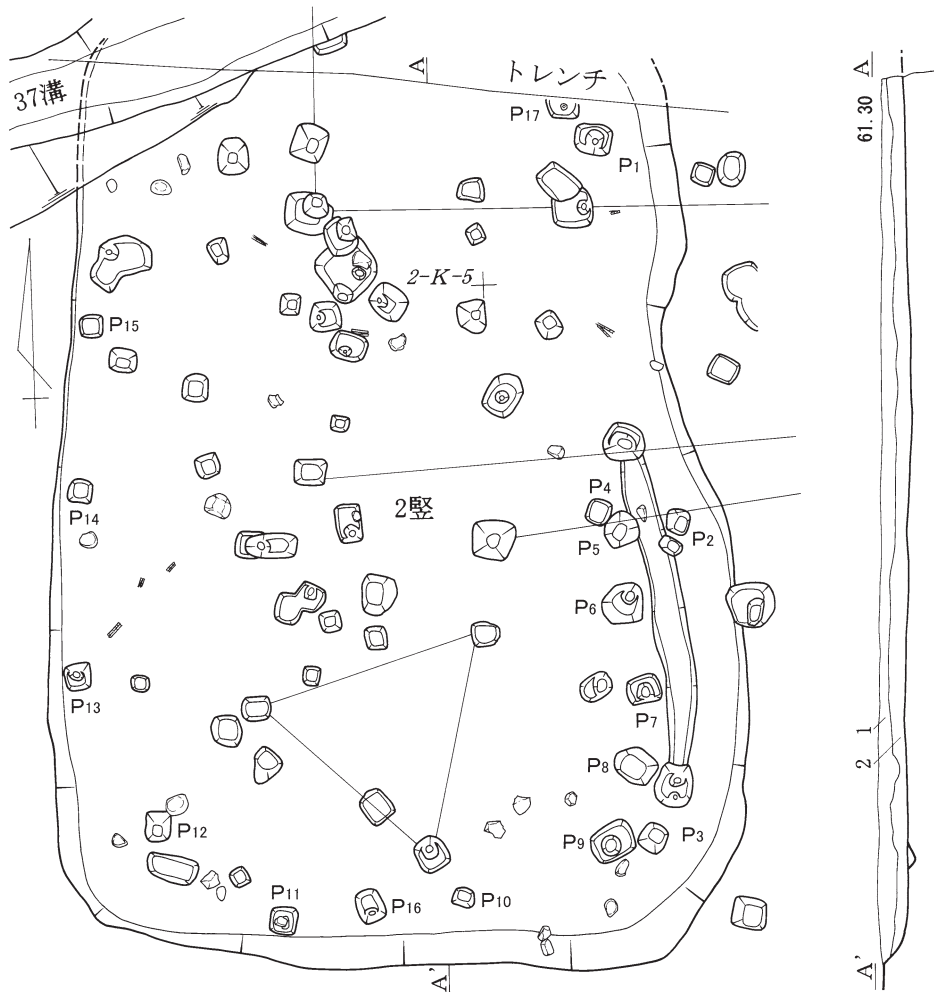


第66図 第61・62・66・67号溝状遺構出土遺物実測図 (1:3・1:4)

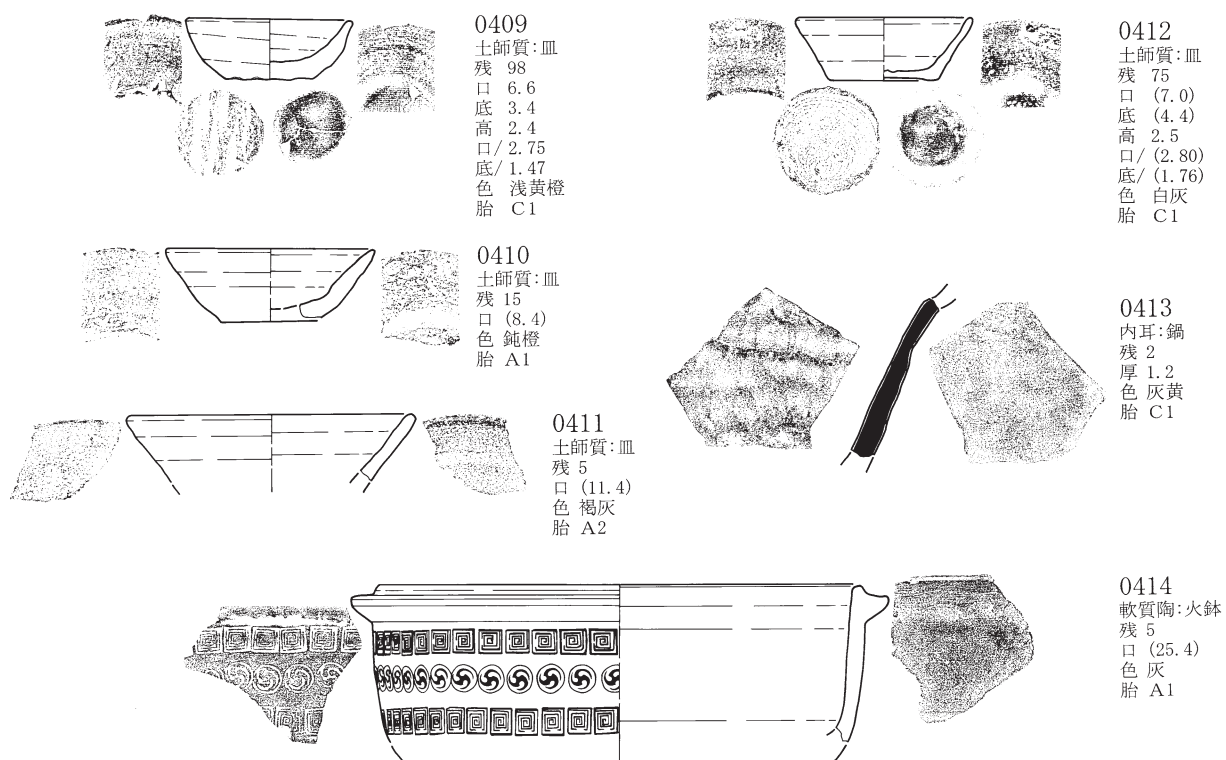
発見された遺構と出土遺物



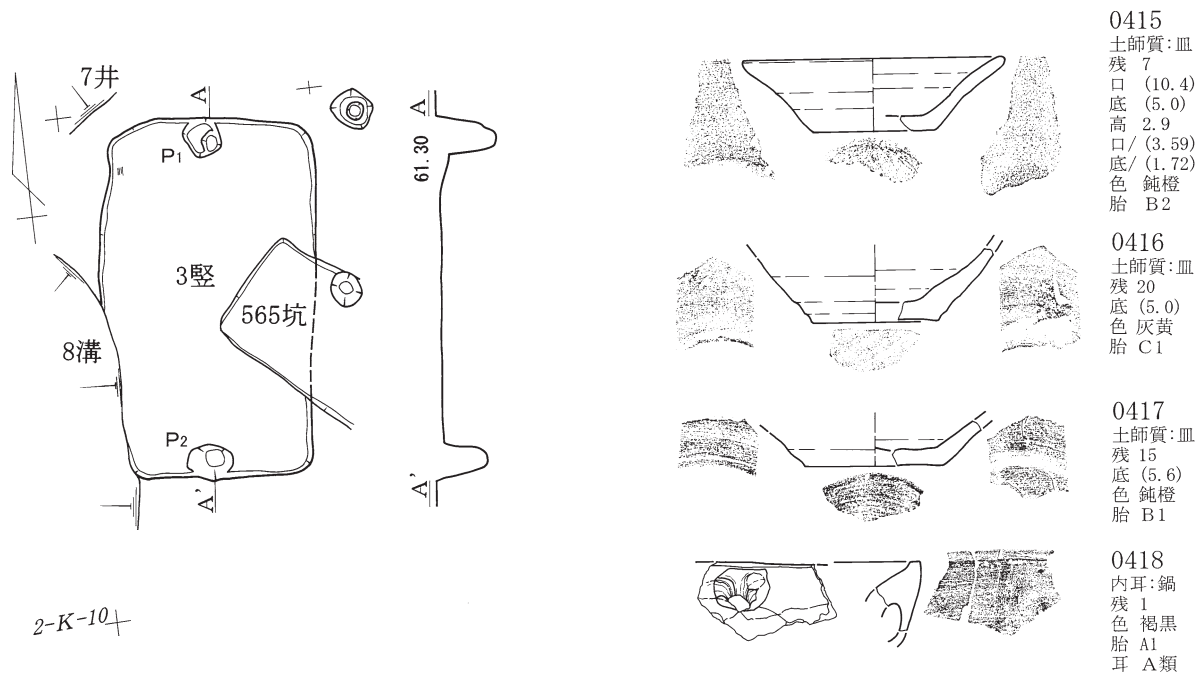
第67図 第1号竖穴状遺構 (1:60)・出土遺物実測図 (1:4)



第68図 第2号竖穴状遺構 (1:60)

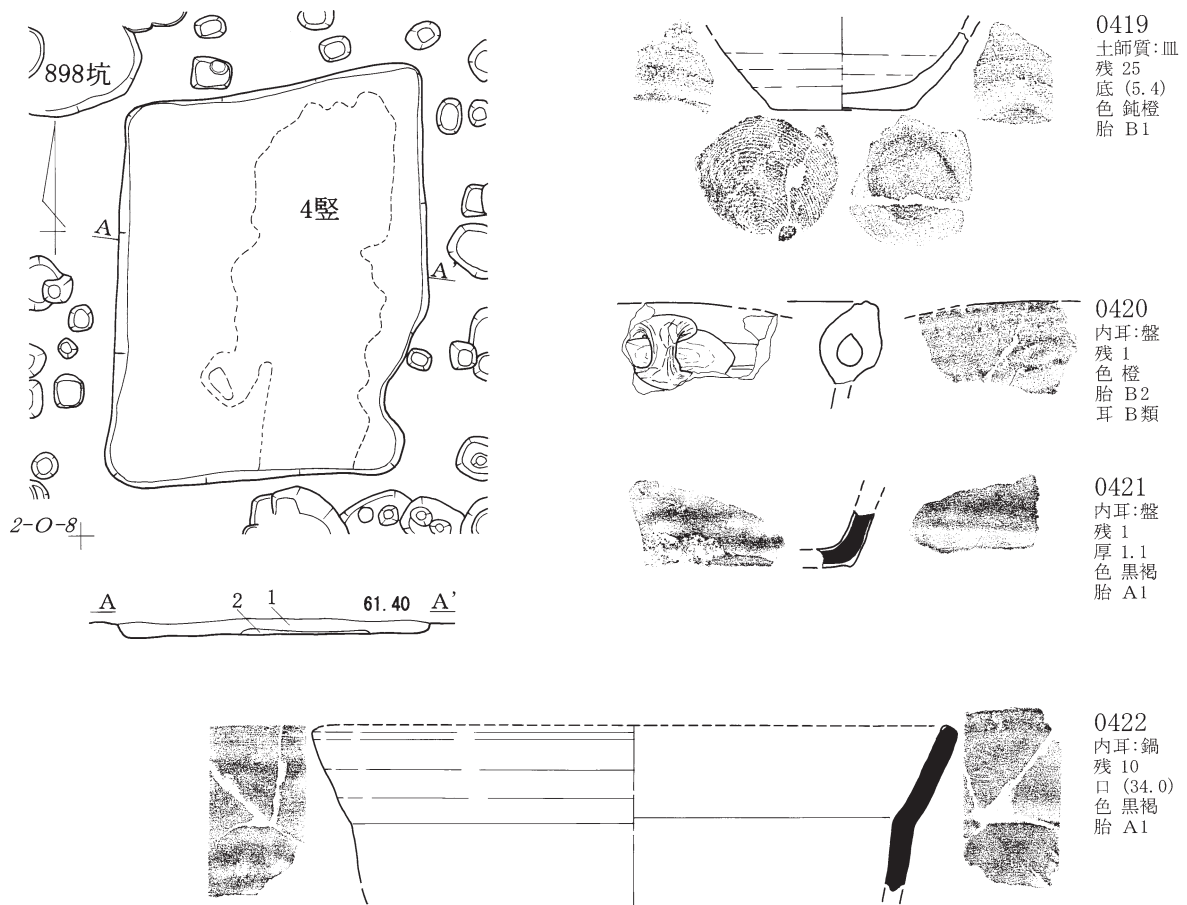


第69図 第2号竖穴状遺構出土遺物実測図 (1:3・1:4)



第70図 第3号竖穴状遺構 (1:60)・出土遺物実測図 (1:3・1:4)

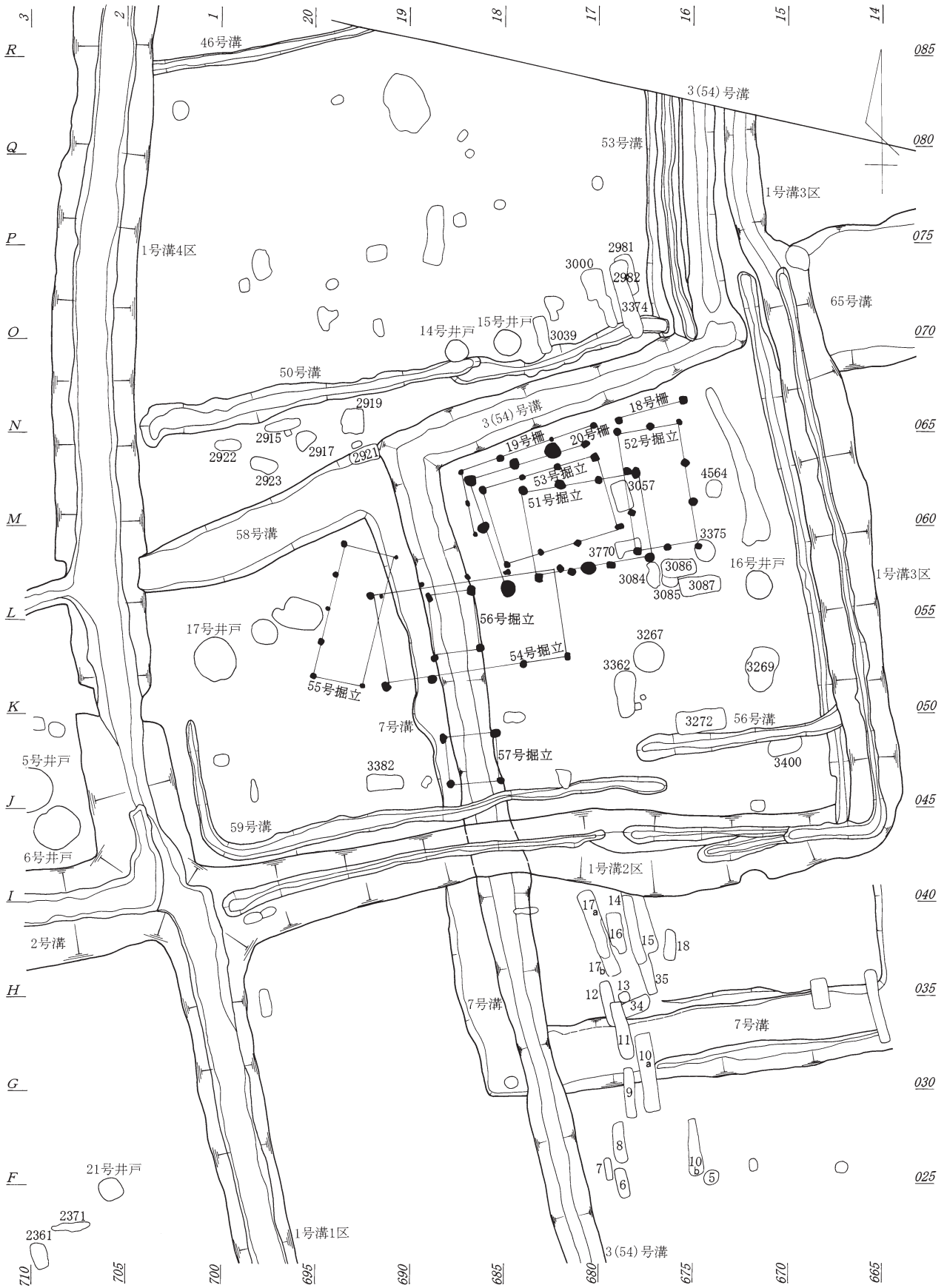
発見された遺構と出土遺物



第71図 第4号縦穴状遺構 (1:60)・出土遺物実測図 (1:3・1:4)

第3表 縦穴状遺構一覧表

番号	位置		規模 (m)			主 軸	摘 要
	X座標	Y座標	軸	軸直行	深 度		
1	37.01700	-42.73650	3.26	3.00	0.8	北-0°-東	南北壁下に柱穴 (P ₁ ~P ₈) を伴う。P ₉ は本跡を切る柱穴跡。火所は未確認。
2	37.04850	-42.72085	7.10	5.50	0.21	北-1°30'-東	床面で確認された柱穴跡の大半は、掘立柱建物跡の柱穴跡。本跡に伴うと考えられるのは、2673・2676・2680・2681・2683・2685・2684・2686・2640・2639・2638・422・423・2635・2634・2631・2630坑である。
3	37.05280	-42.74400	2.84	1.72	0.05	北-5°30'-東	軸上の両端壁下に柱穴を伴う。
4	37.07185	-42.73240	3.33	2.52	0.12	北-0°-東	床面上では、本跡の柱穴跡及び掘立柱建物跡等の柱穴跡は確認されていない。屋外に柱穴跡を備えると考えられるが、該当する柱穴跡は未確認。



第72図 調査区内北東部掘立柱建物跡分布図(分布域1) (1:300)

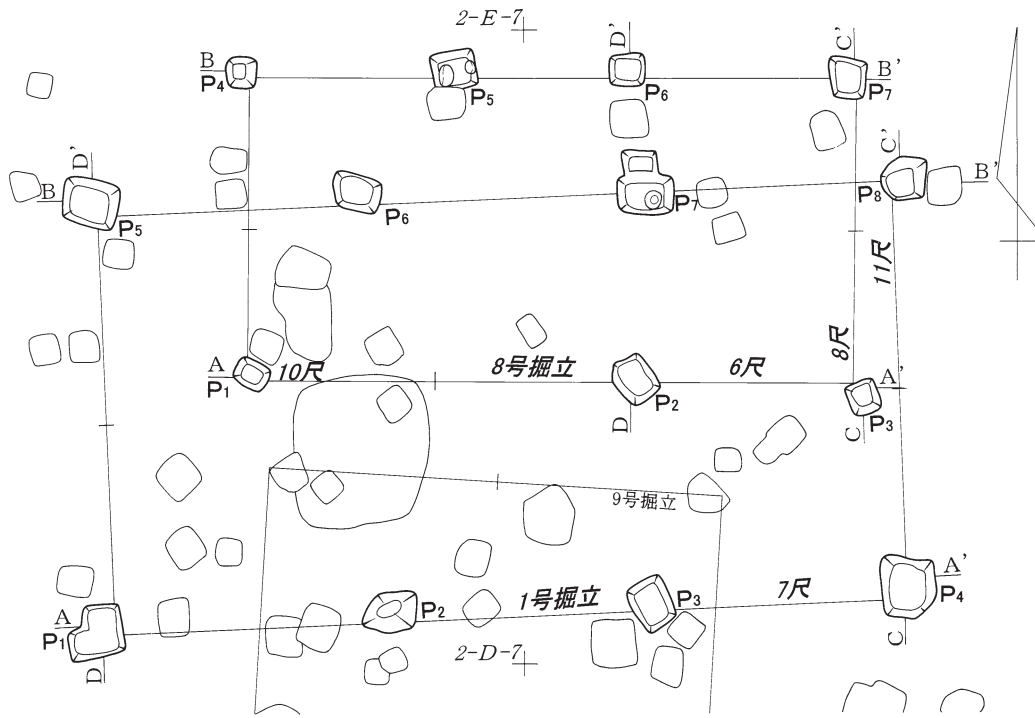


第73図 調査区内北西部掘立柱建物跡分布図（分布域2）（1：300）

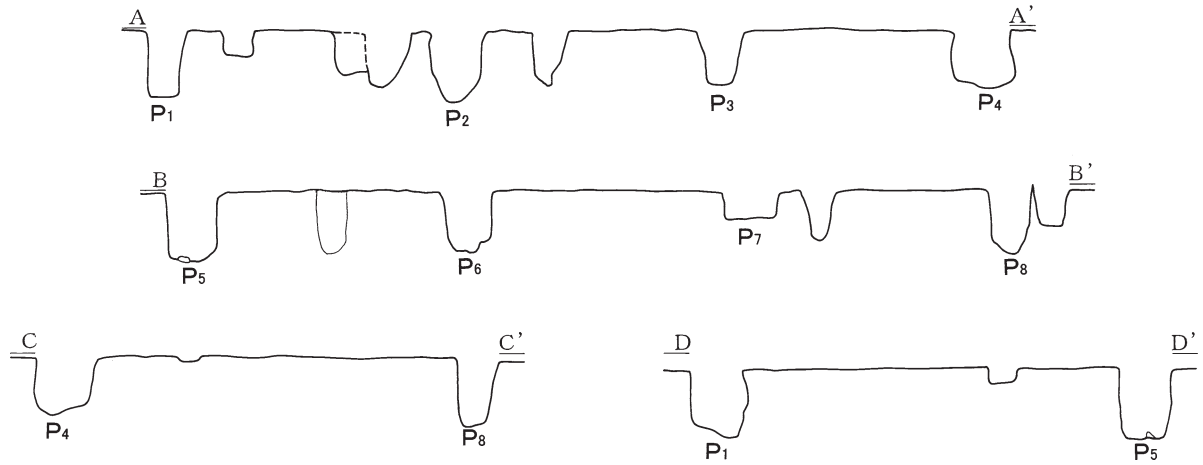


第74図 調査区内南西部掘立柱建物跡分布図（分布域3）（1：300）

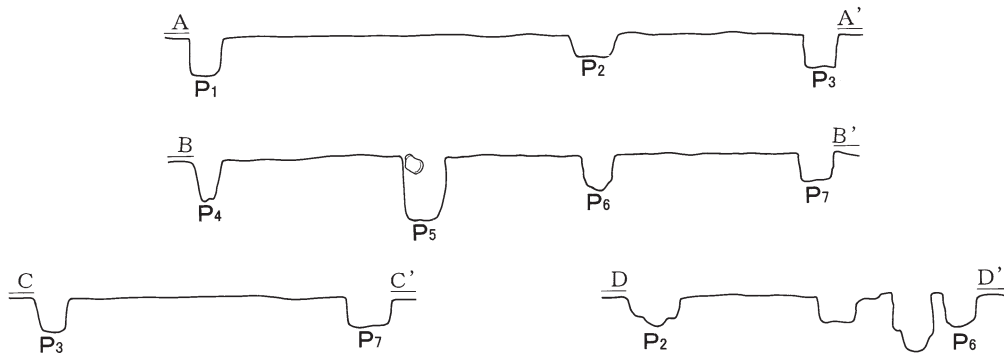
発見された遺構と出土遺物



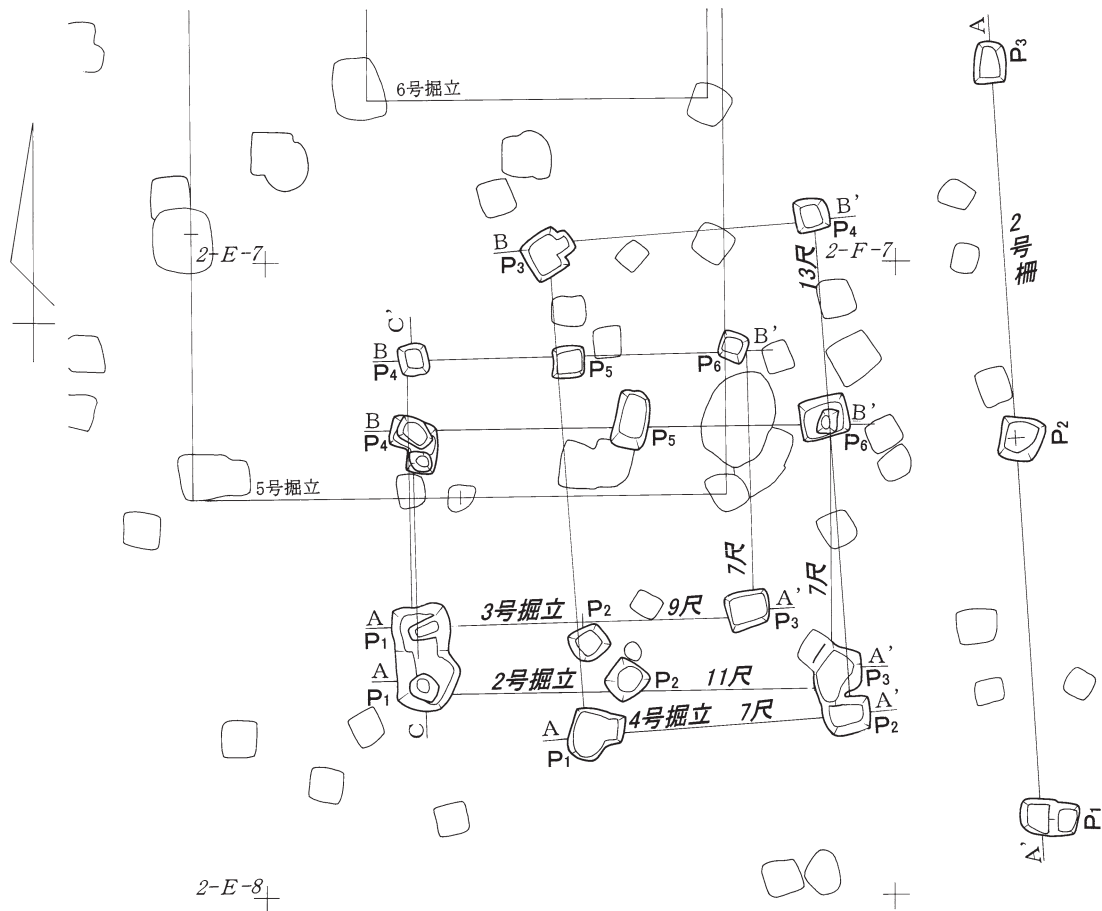
1号掘立61.30



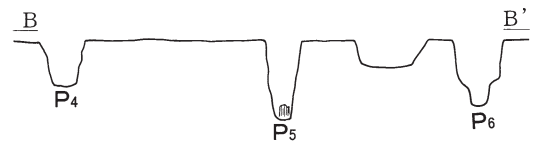
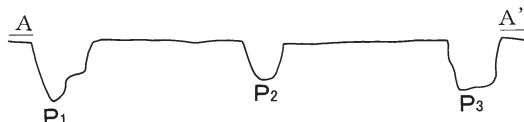
8号掘立61.30



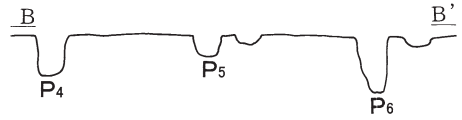
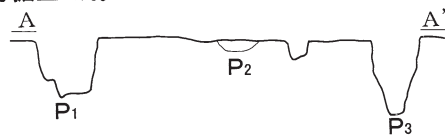
第75図 第1・8号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



2号掘立 61.30



3号掘立 61.30



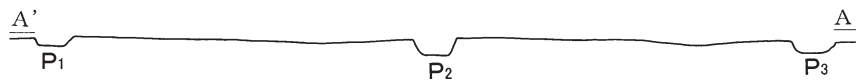
2・3号掘立



4号掘立 61.30

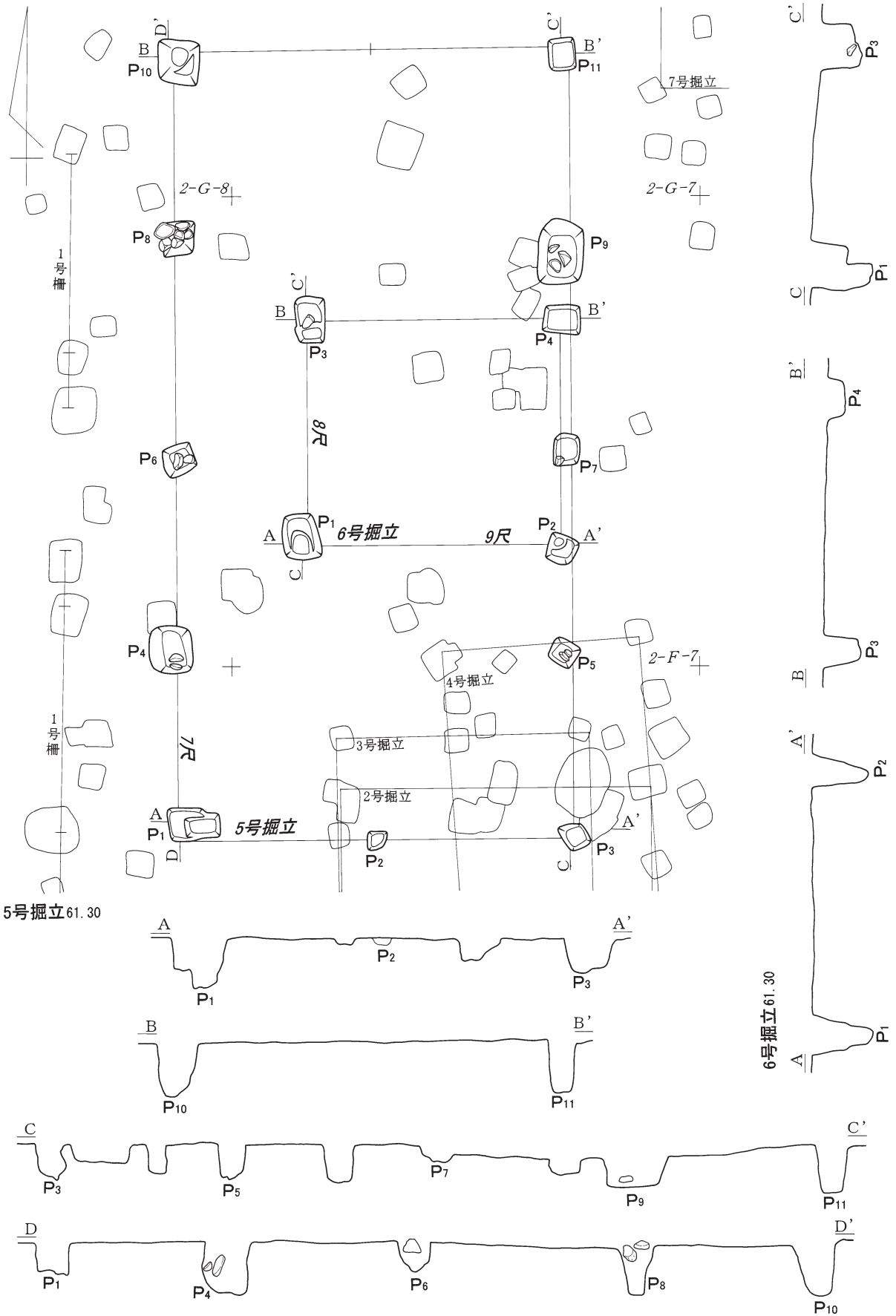


2号柵 61.30

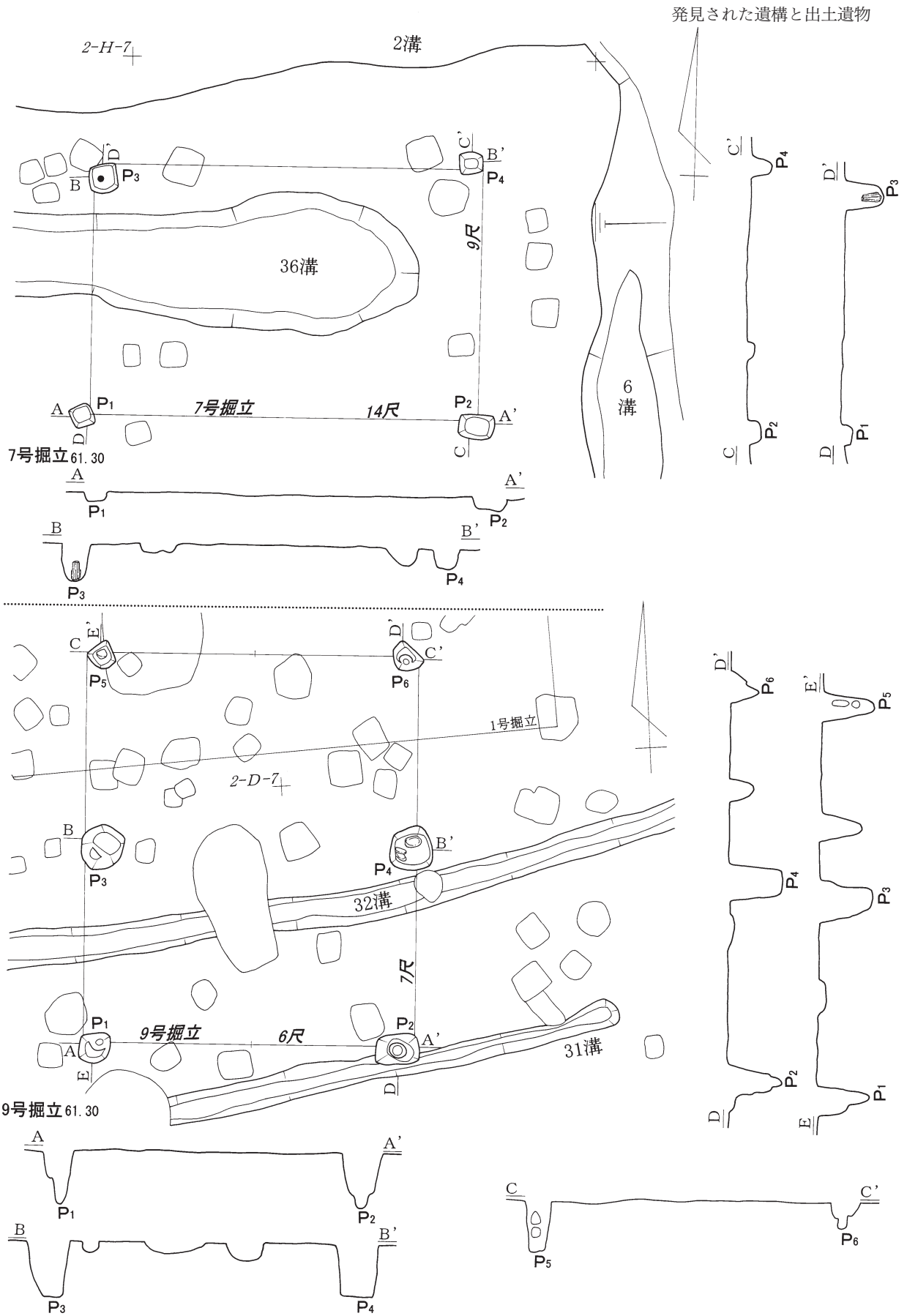


第76図 第2・3・4号掘立柱建物跡実測図 (1:60)

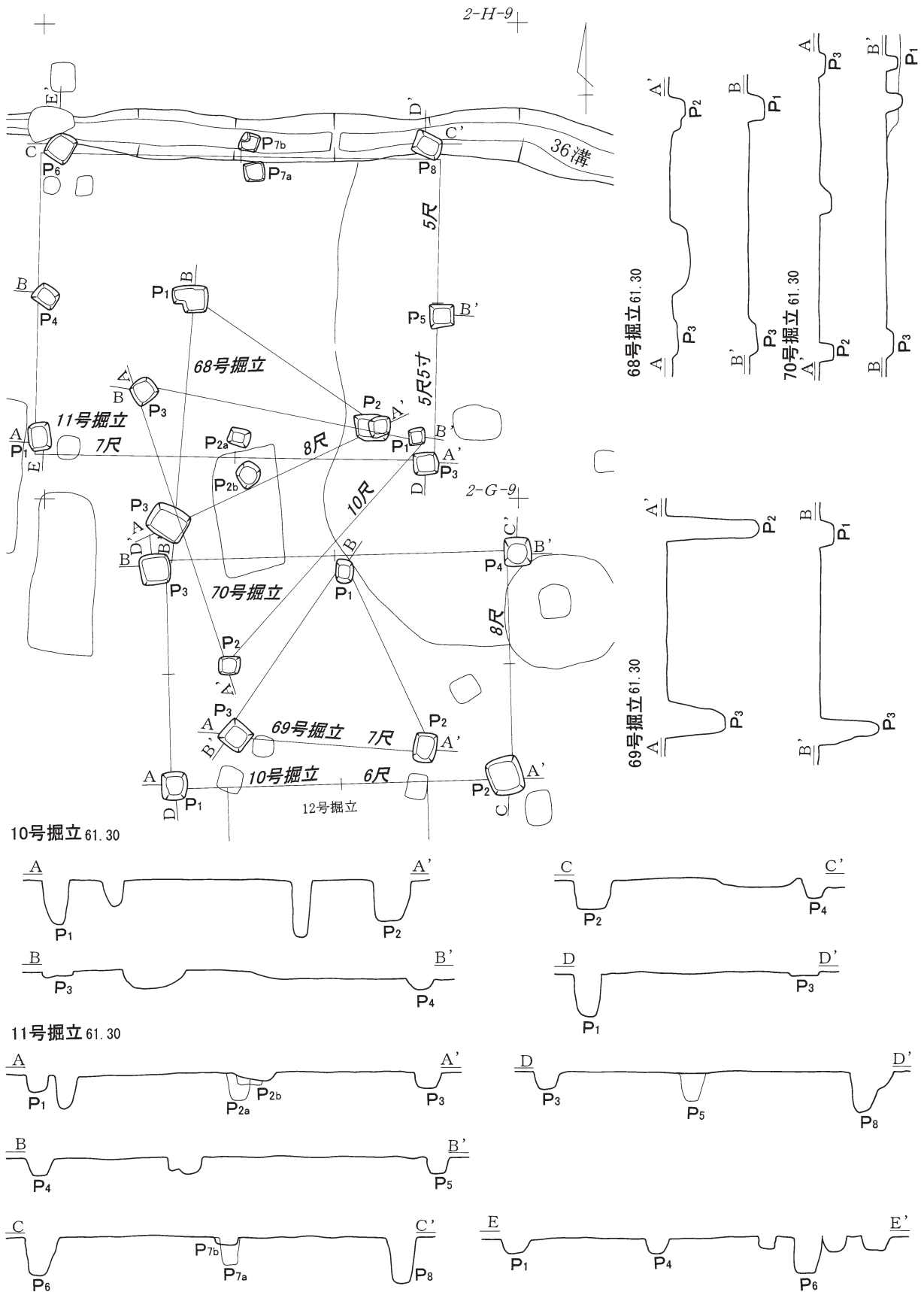
発見された遺構と出土遺物



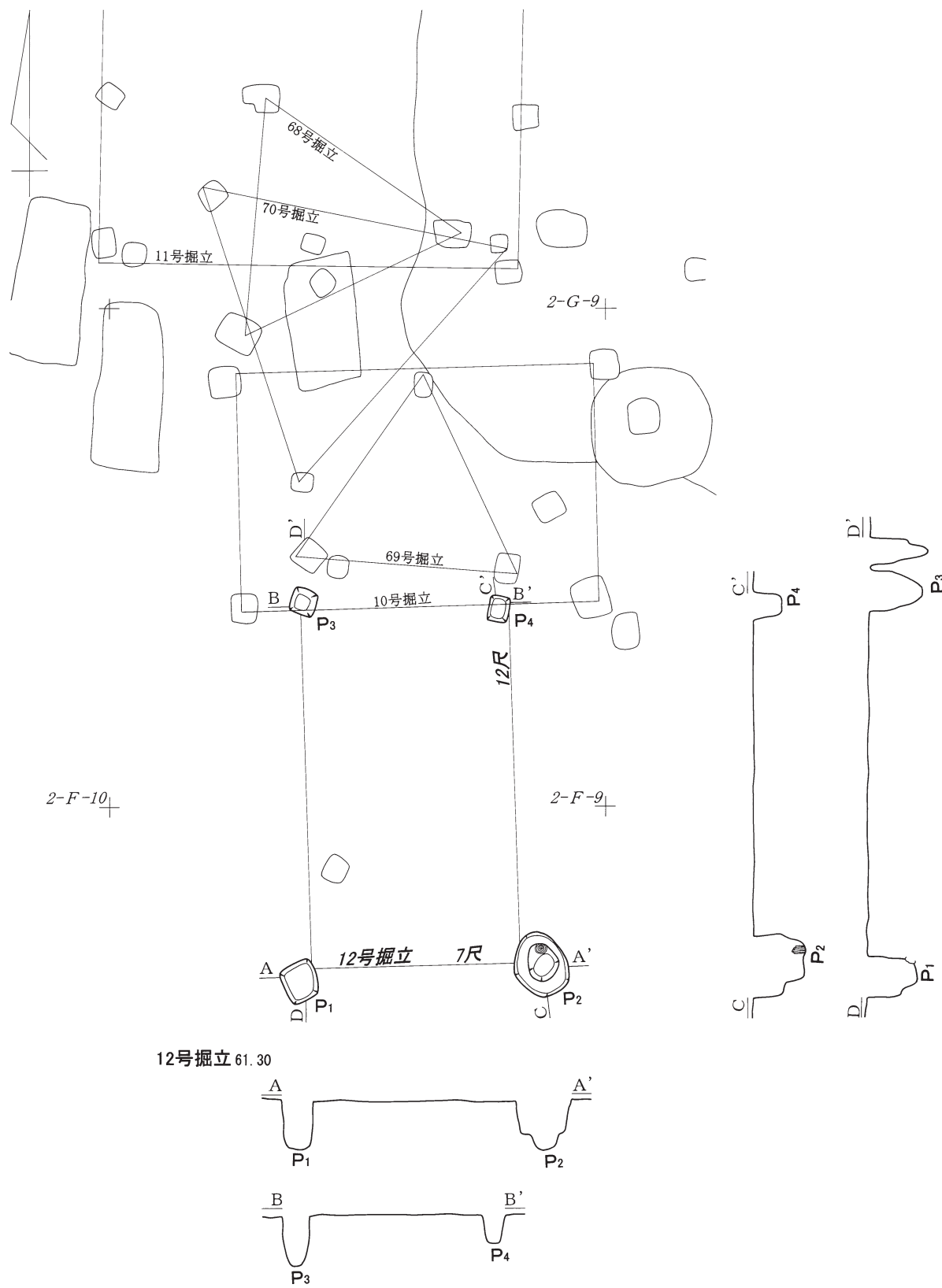
第77図 第5・6号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



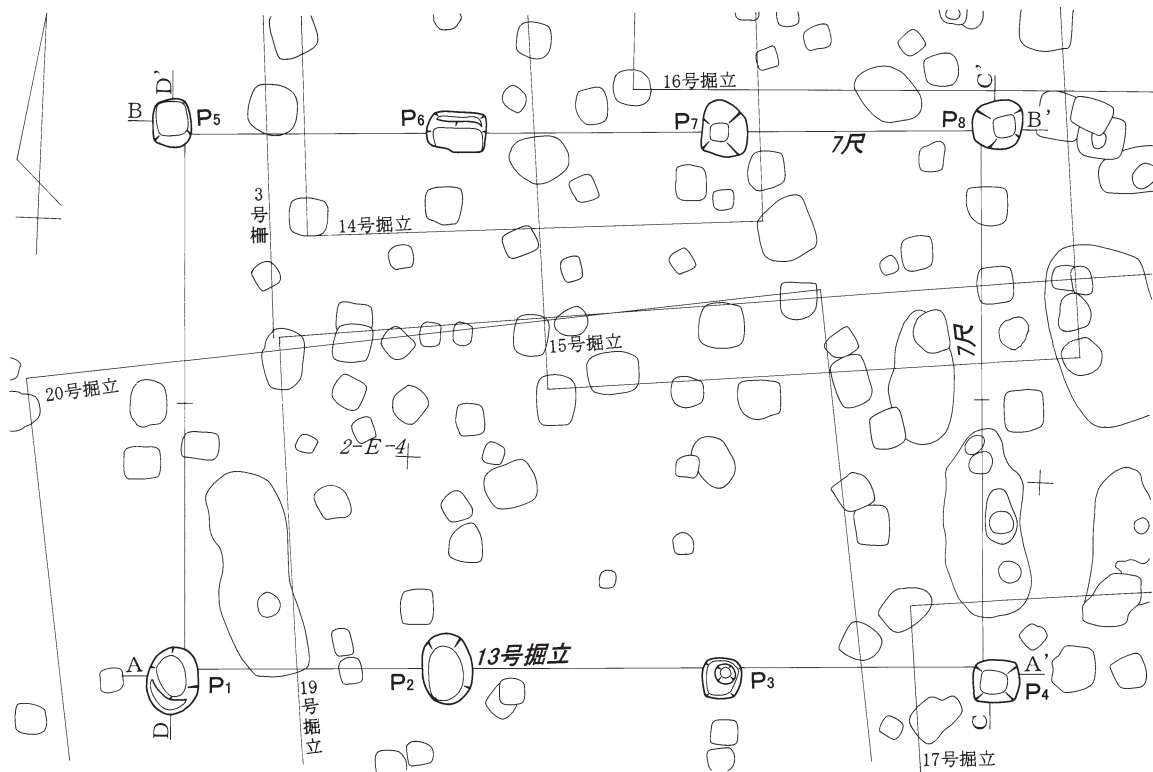
第78図 第7・9号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



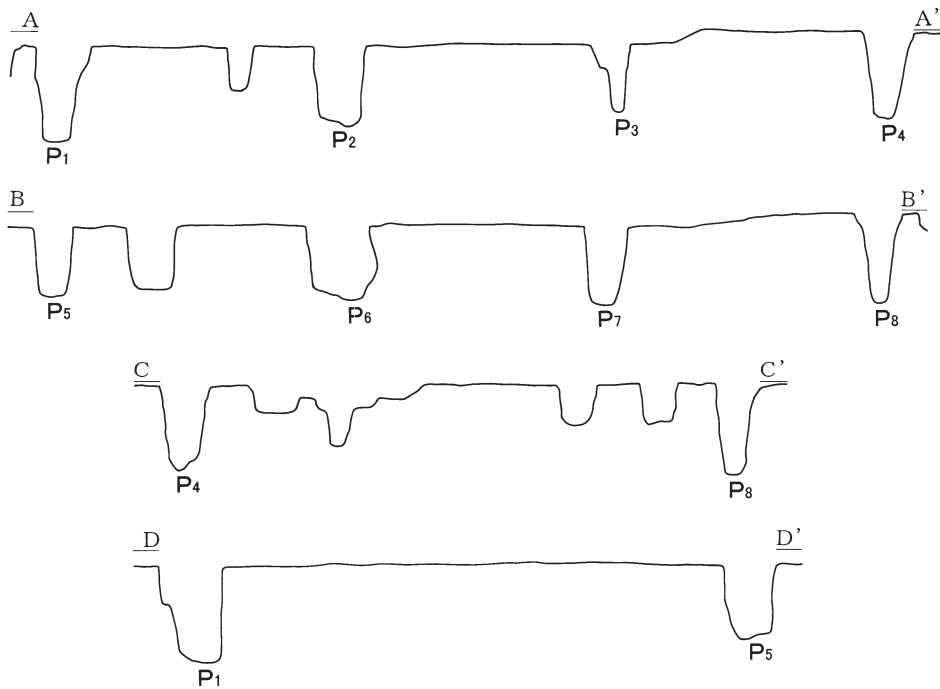
第79図 第10・11号掘立柱建物・第68～70掘立柱施設跡実測図 (1:60)



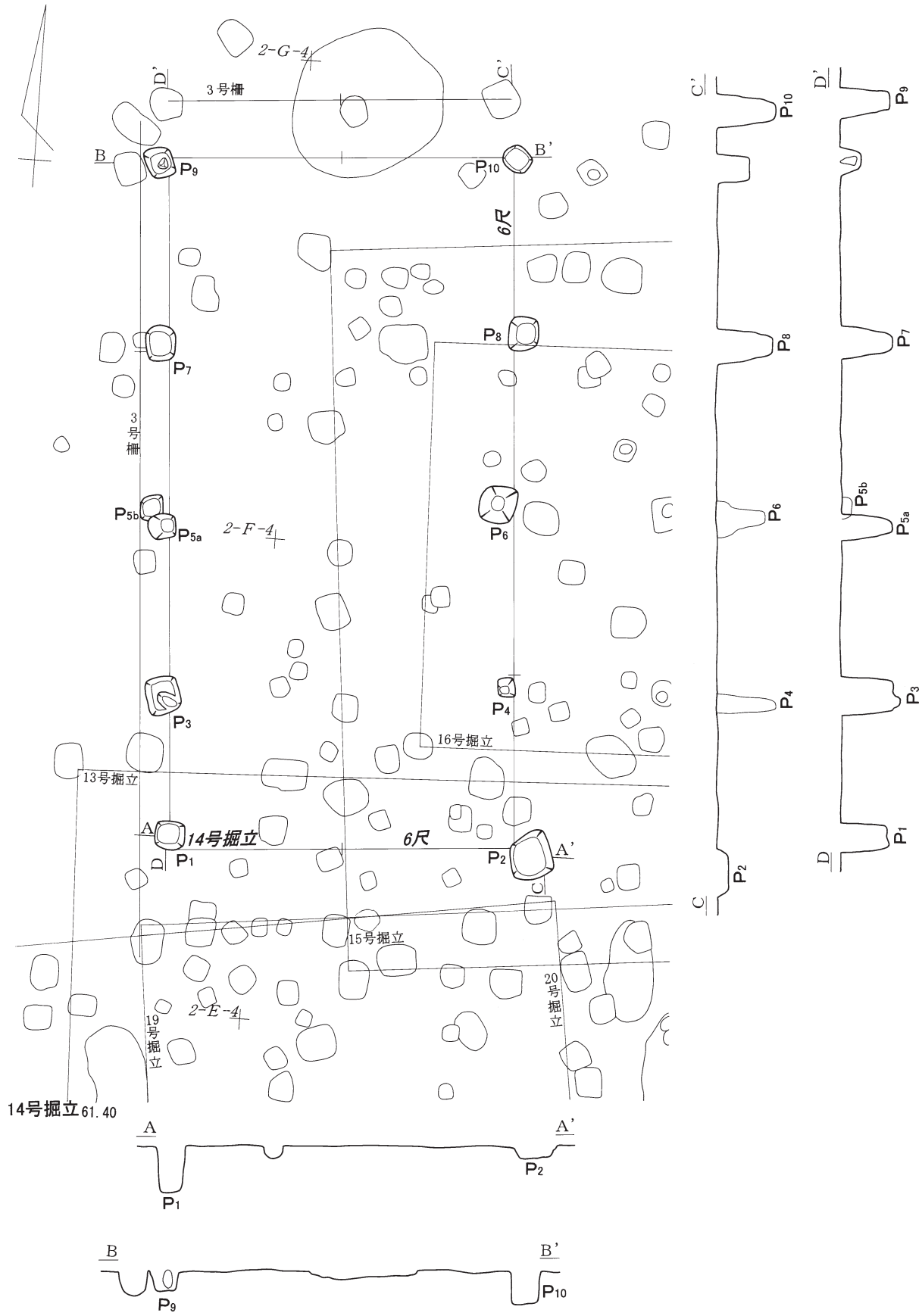
第80図 第12号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



13号掘立 61.40

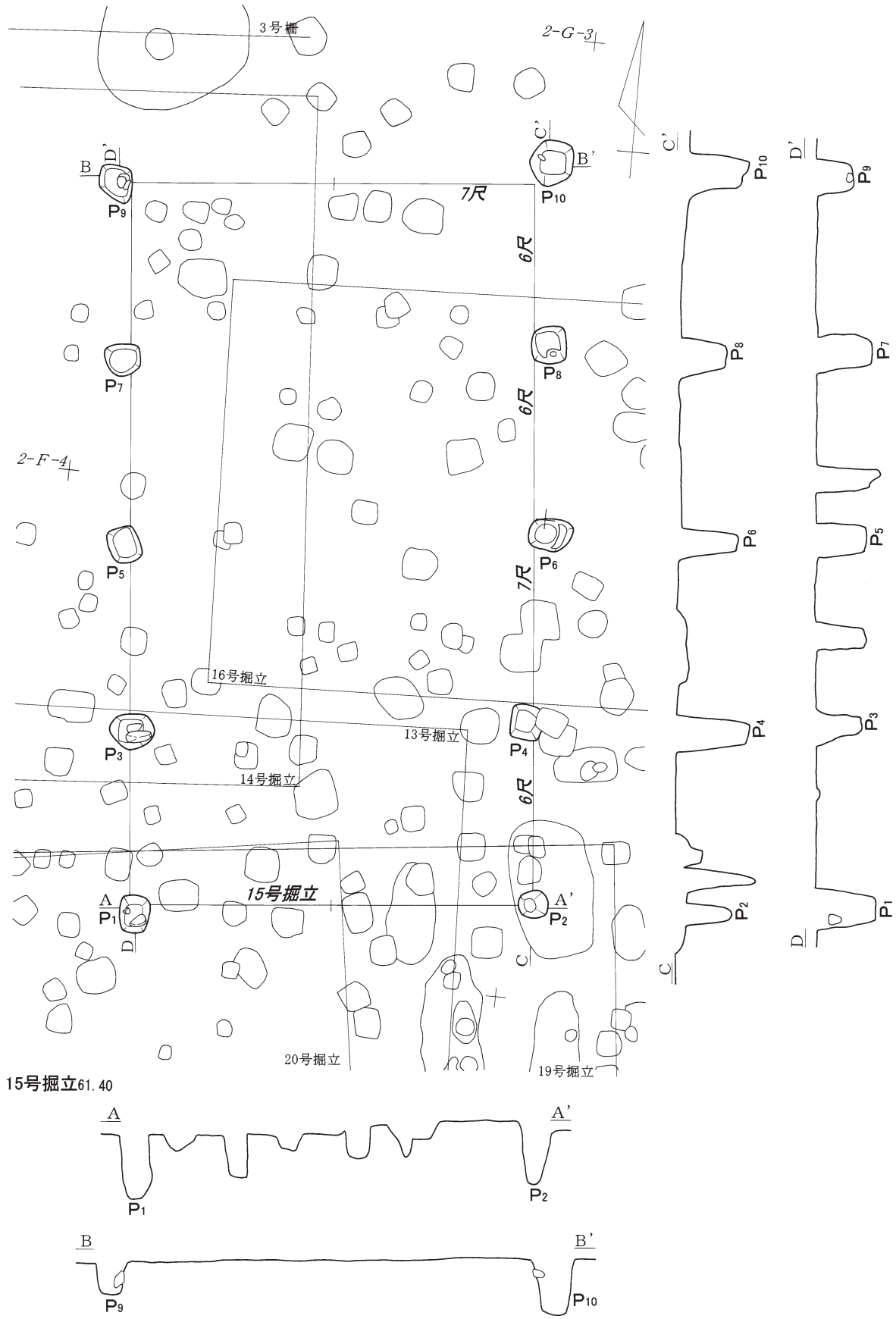


第81図 第13号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



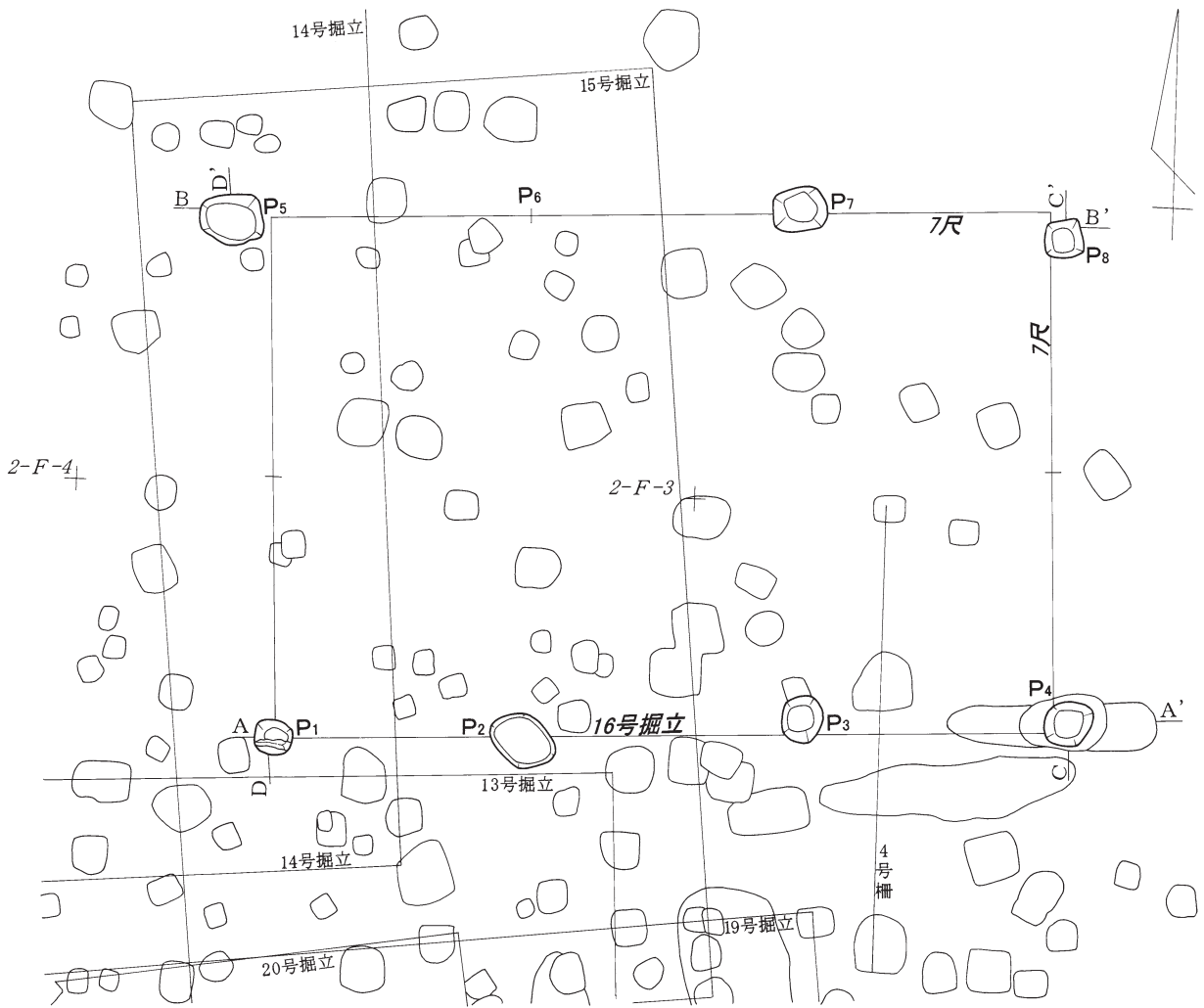
第82図 第14号掘立柱建物跡実測図 (1:60)

発見された遺構と出土遺物

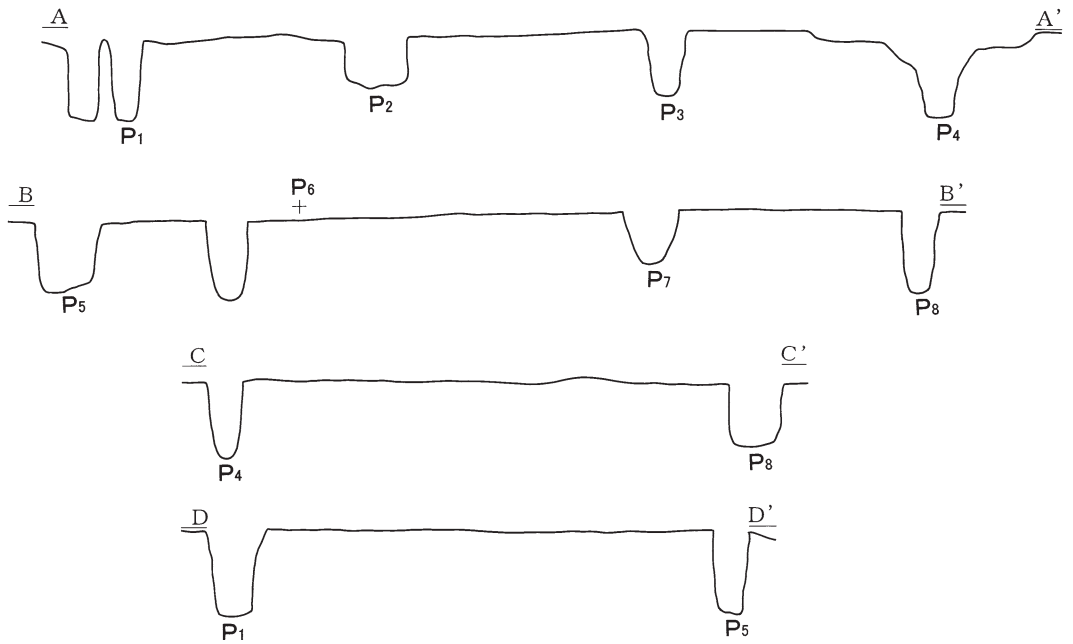


15号掘立61.40

第83図 第15号掘立柱建物跡実測図 (1:60)

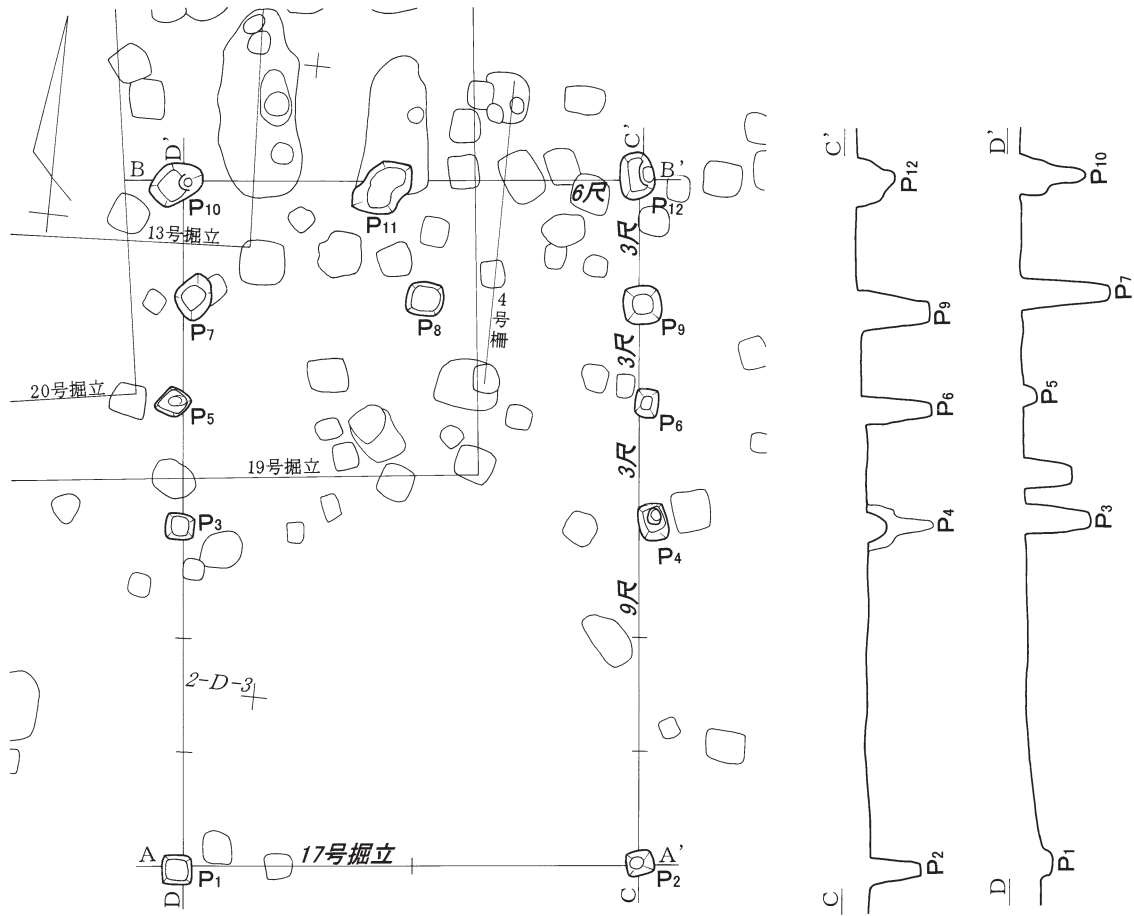


16号掘立 61.40

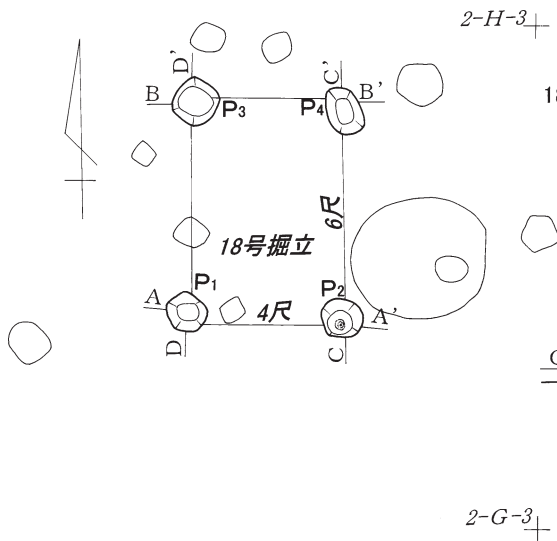
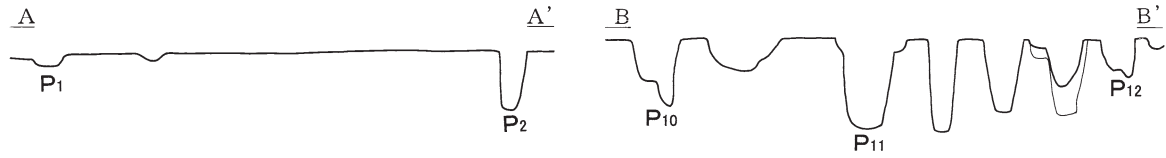


第84図 第16号掘立柱建物跡実測図 (1:60)

発見された遺構と出土遺物

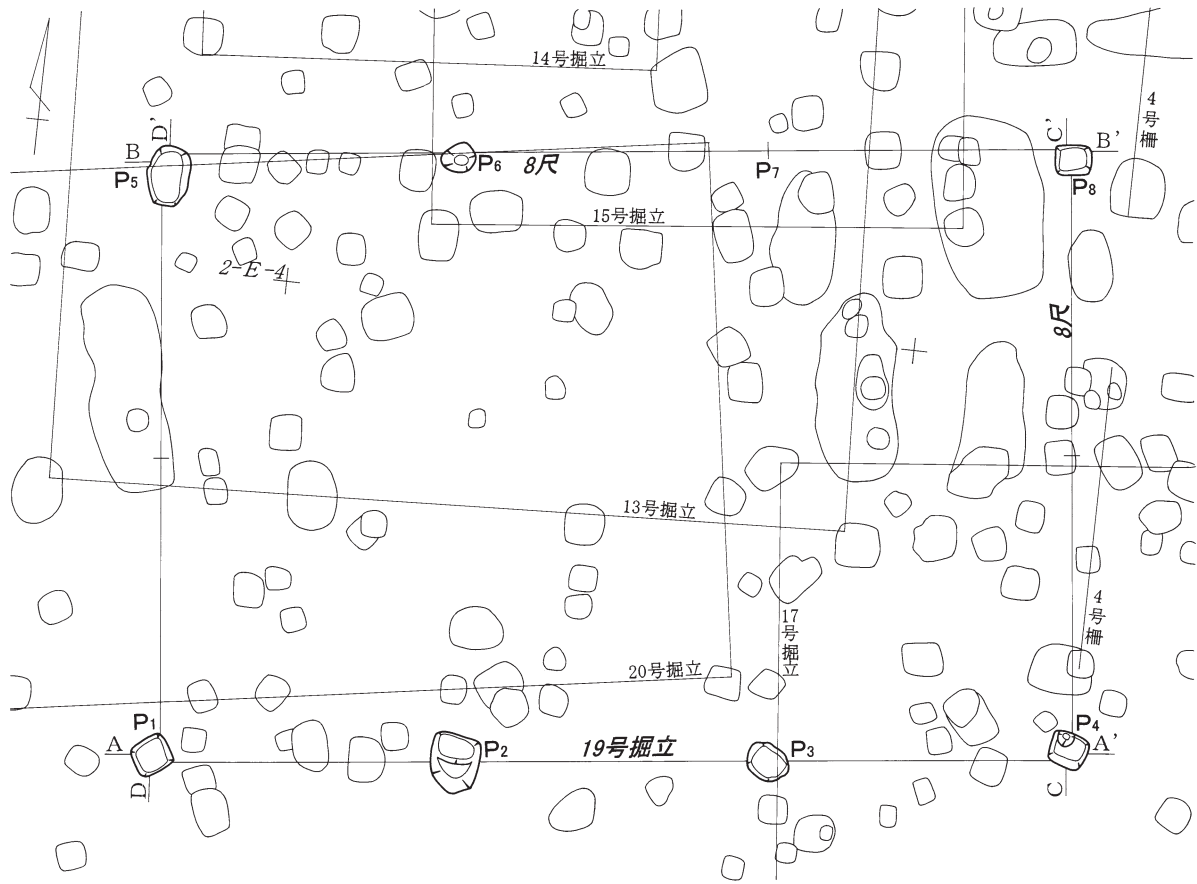


17号掘立 61.50

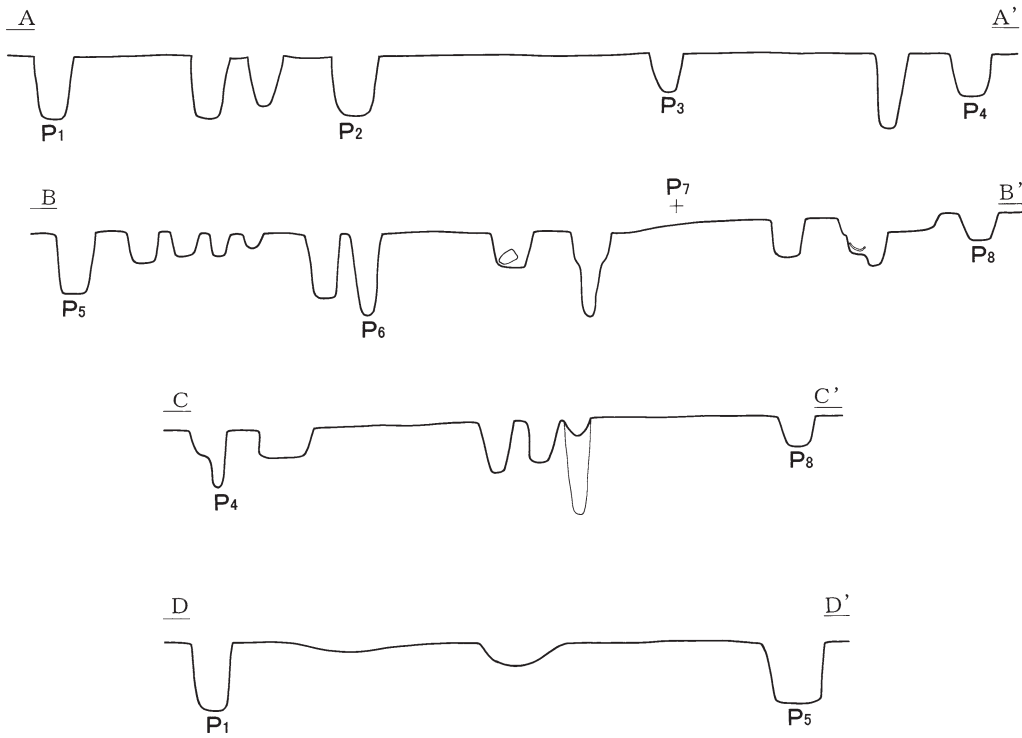


18号掘立 61.40

第85図 第17・18号掘立柱建物跡実測図 (1:60)

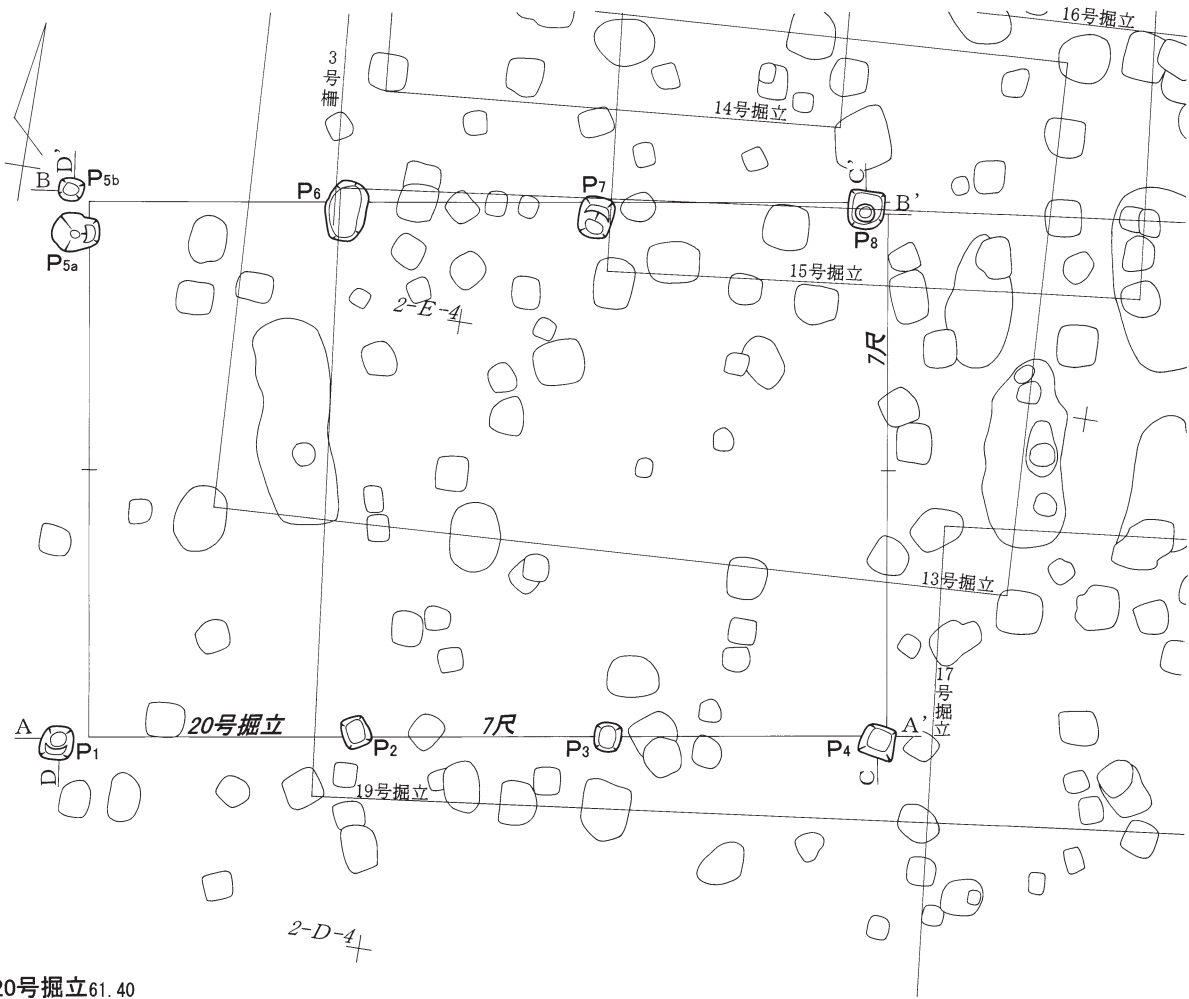


19号掘立 61.50

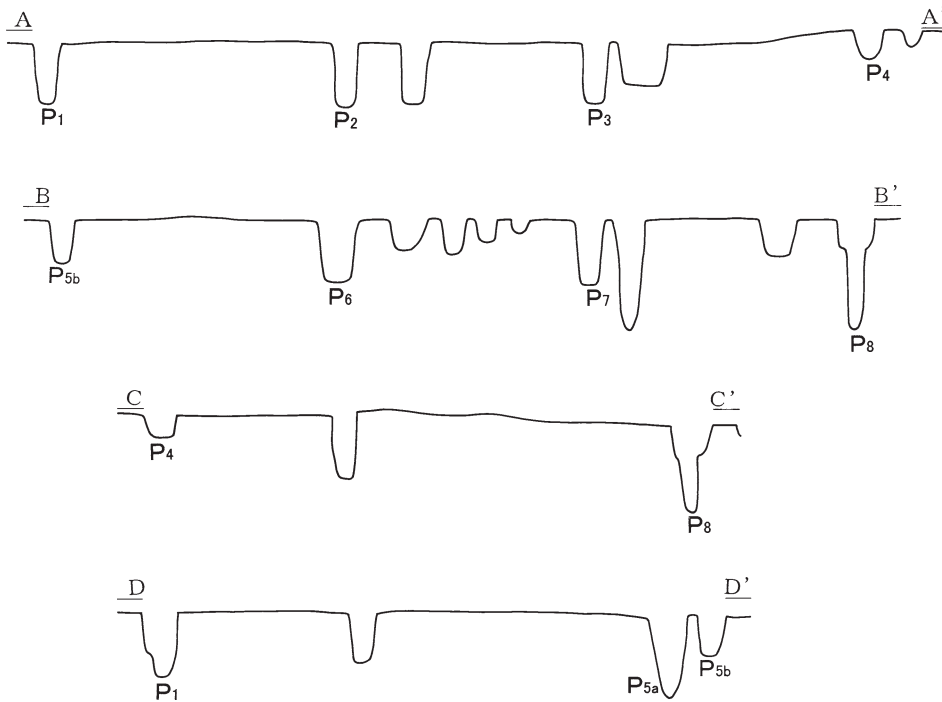


第86図 第19号掘立柱建物跡実測図 (1:60)

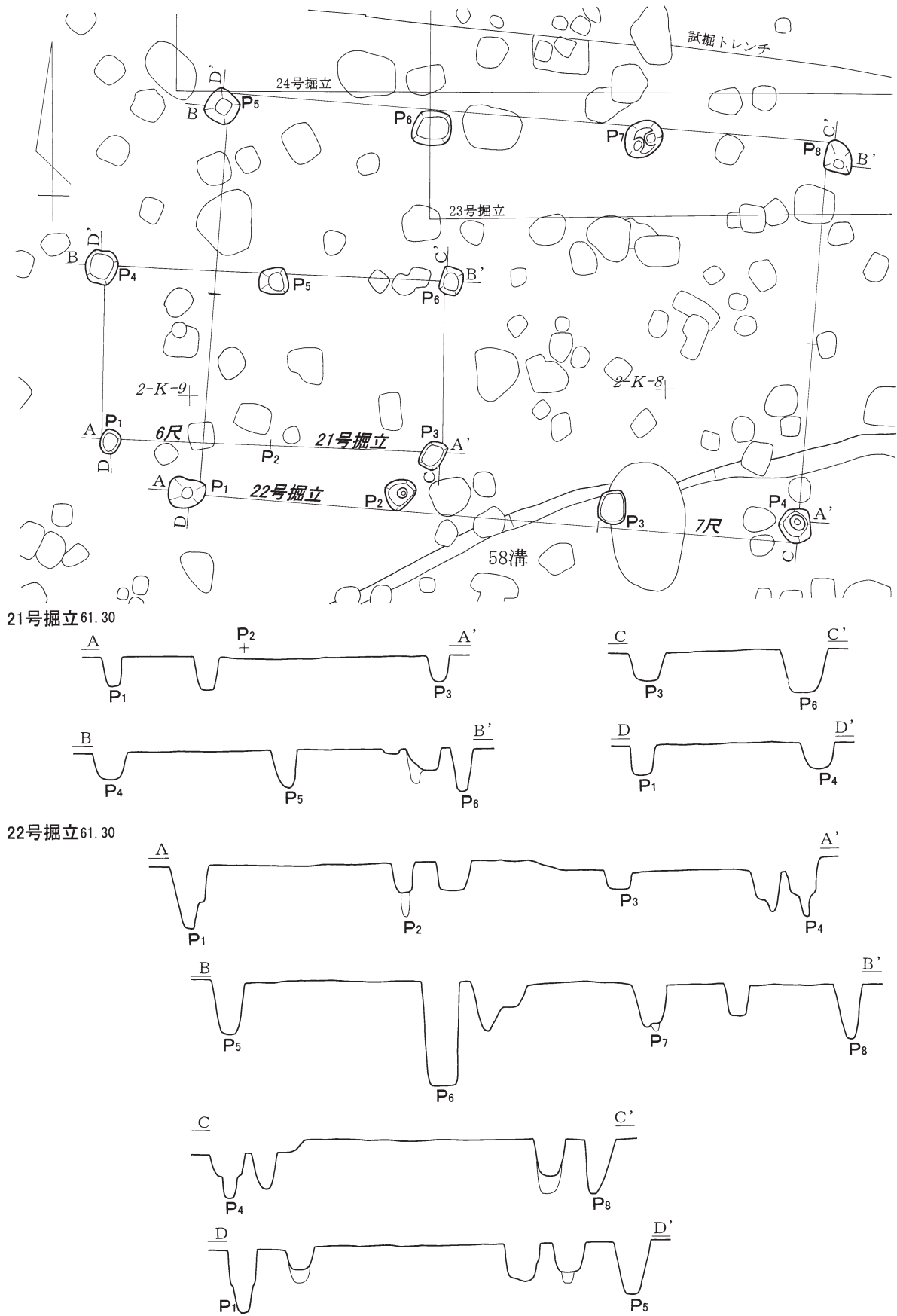
発見された遺構と出土遺物



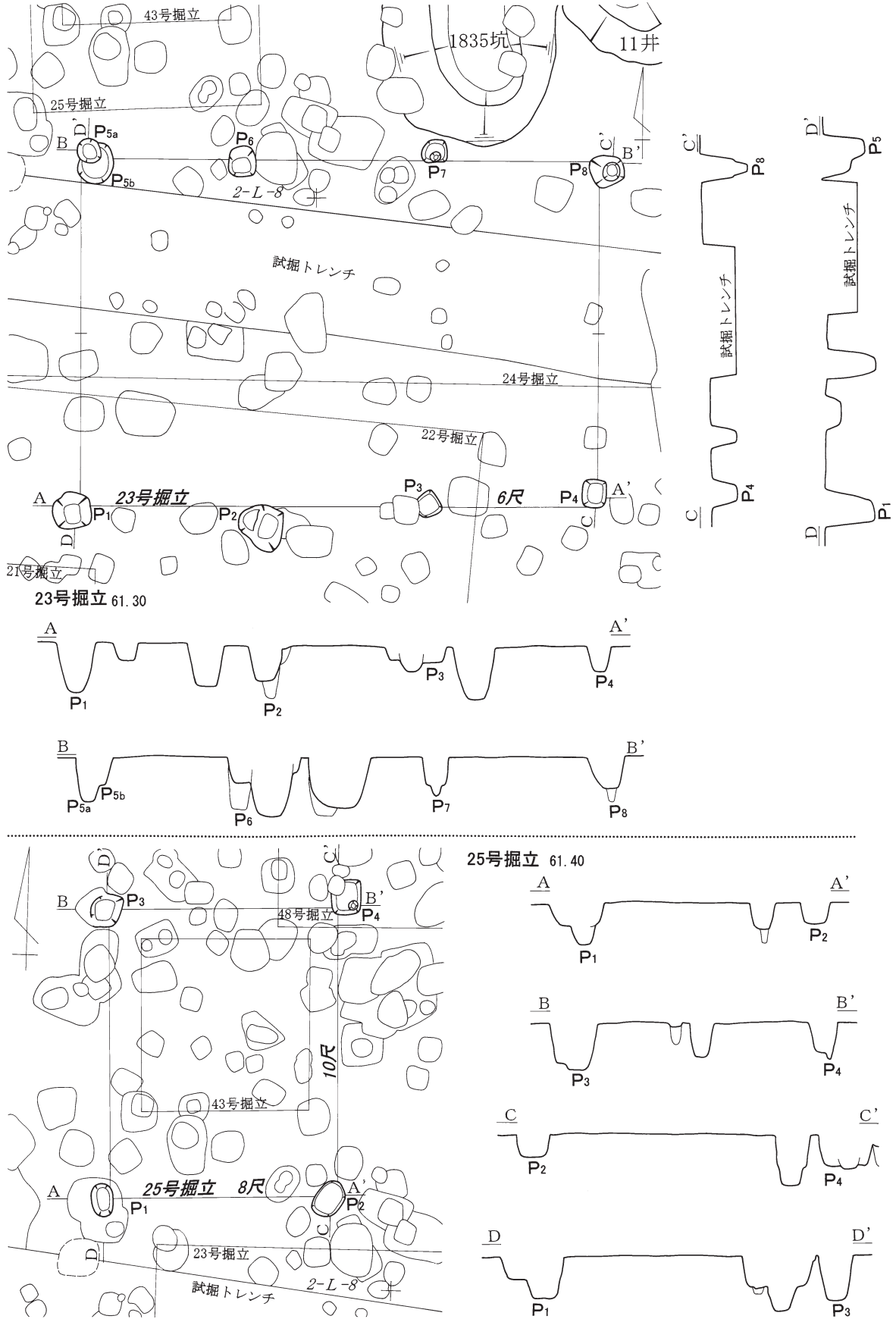
20号掘立61.40



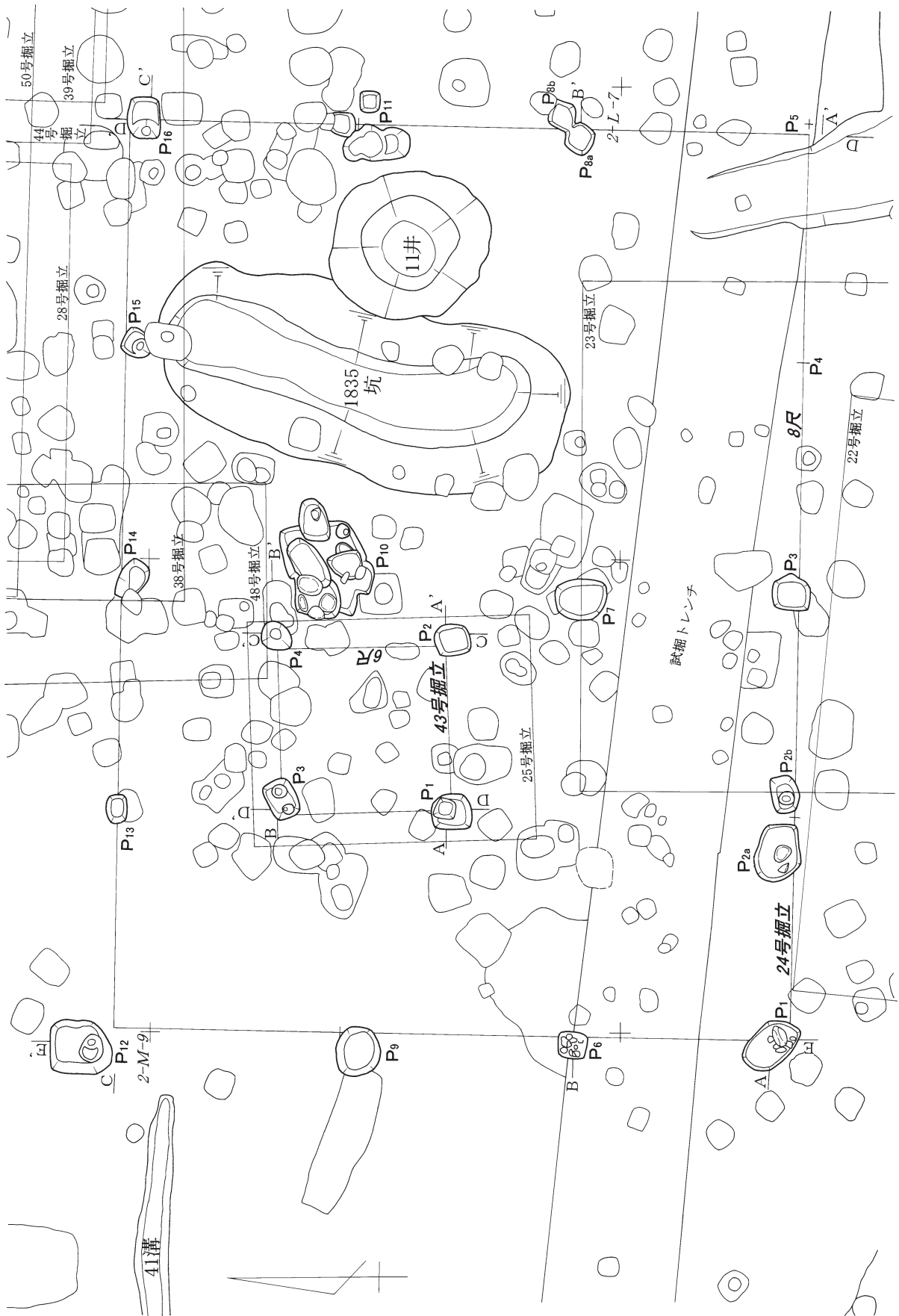
第87図 第20号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



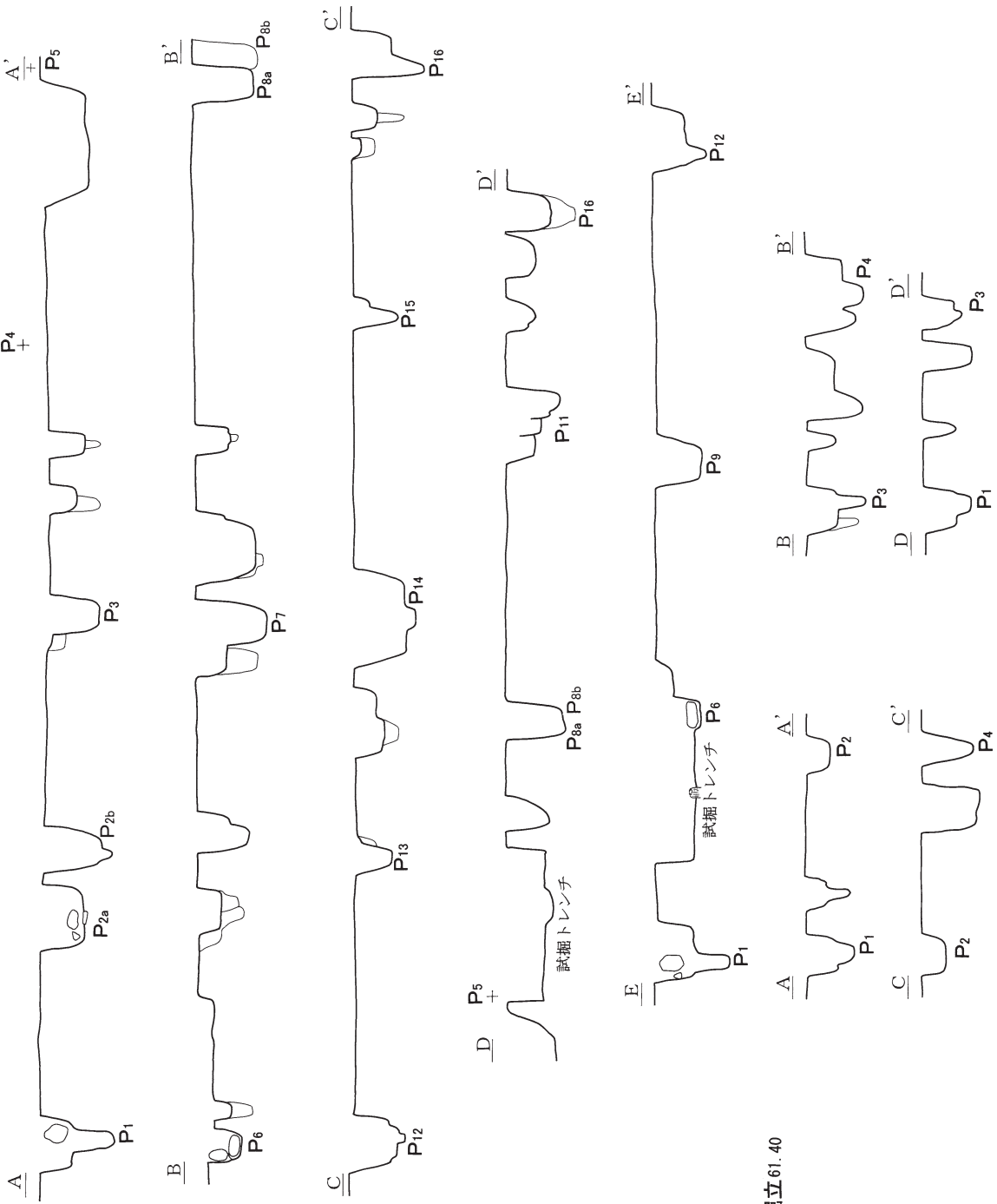
第88図 第21・22号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



第89図 第23・25号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



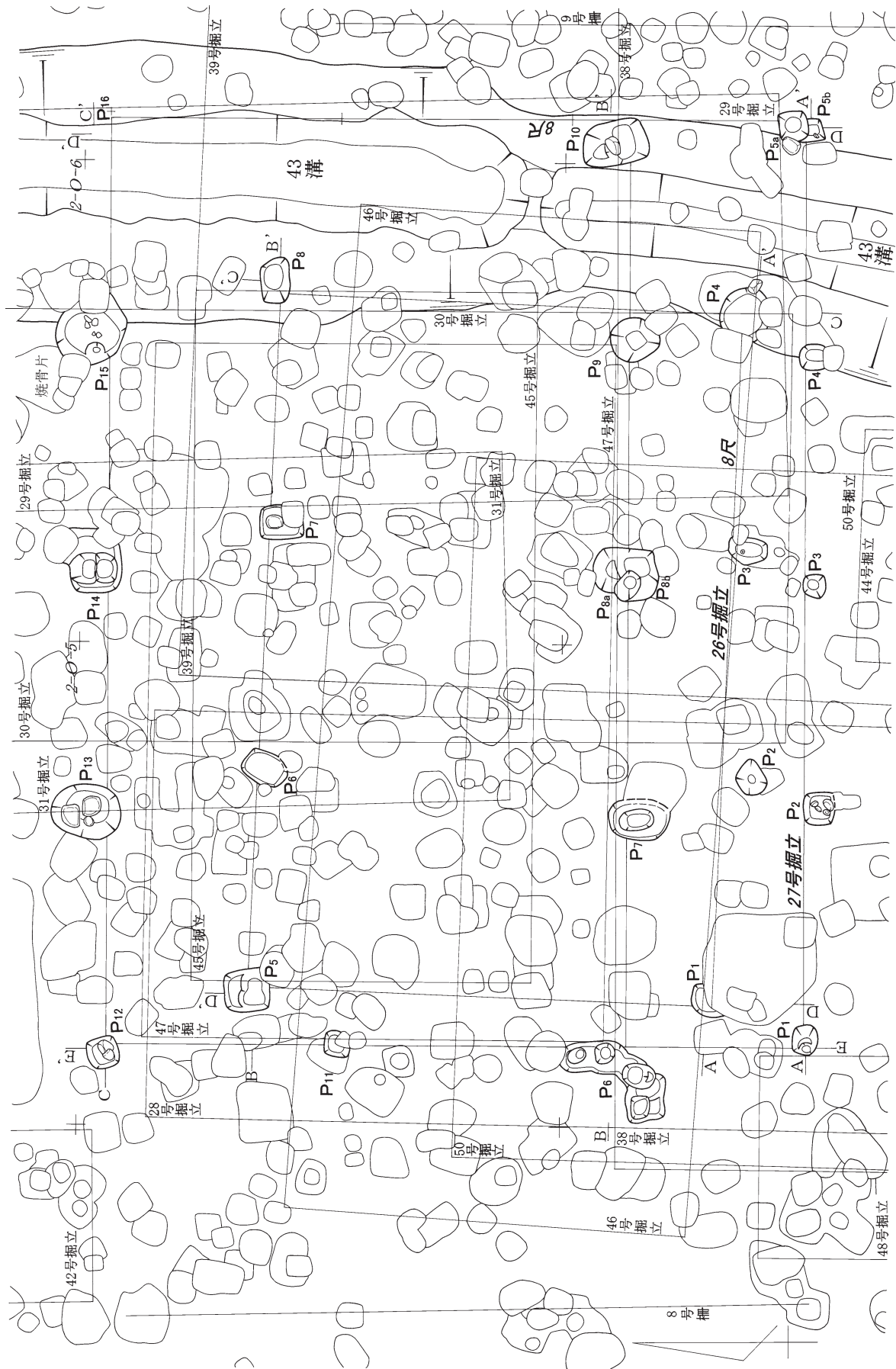
第90図 第24・43号掘立柱建物跡美測図 1/2 (1:60)



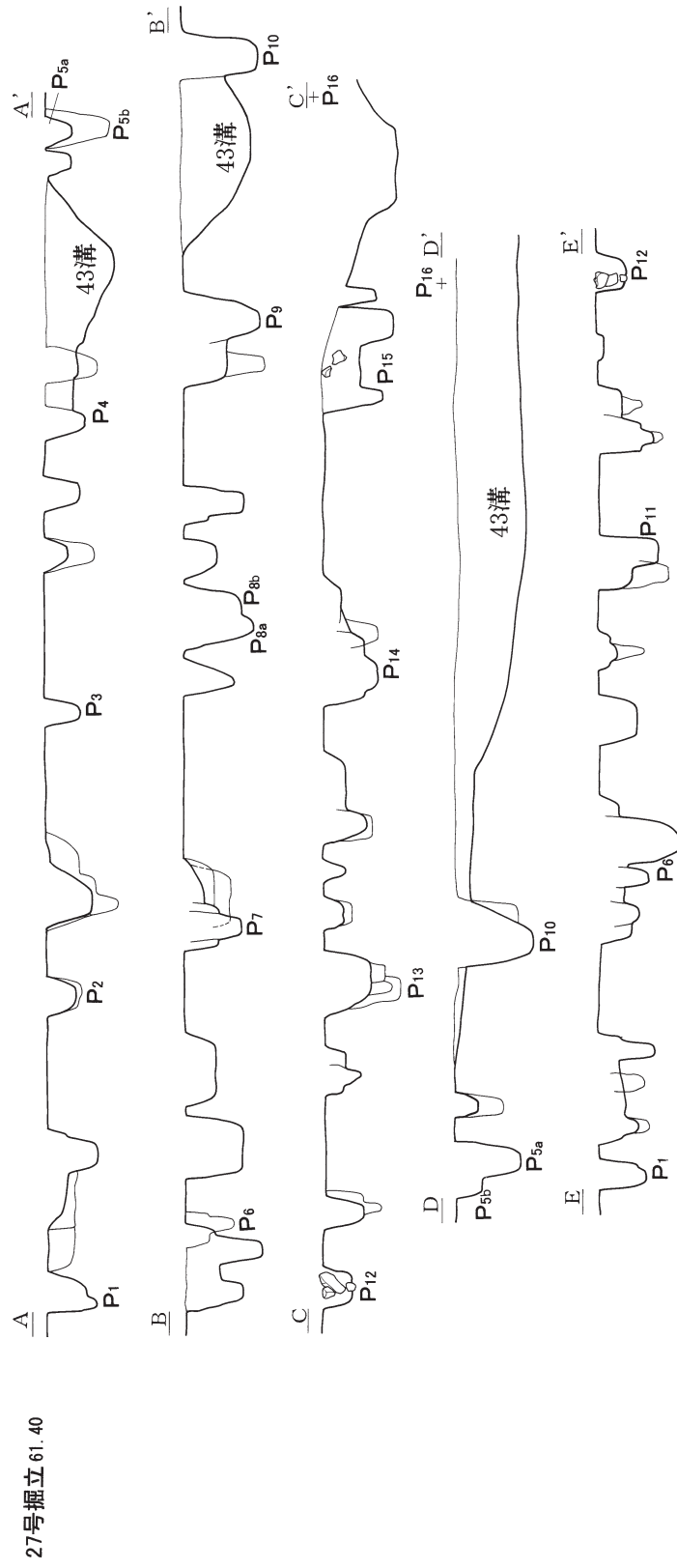
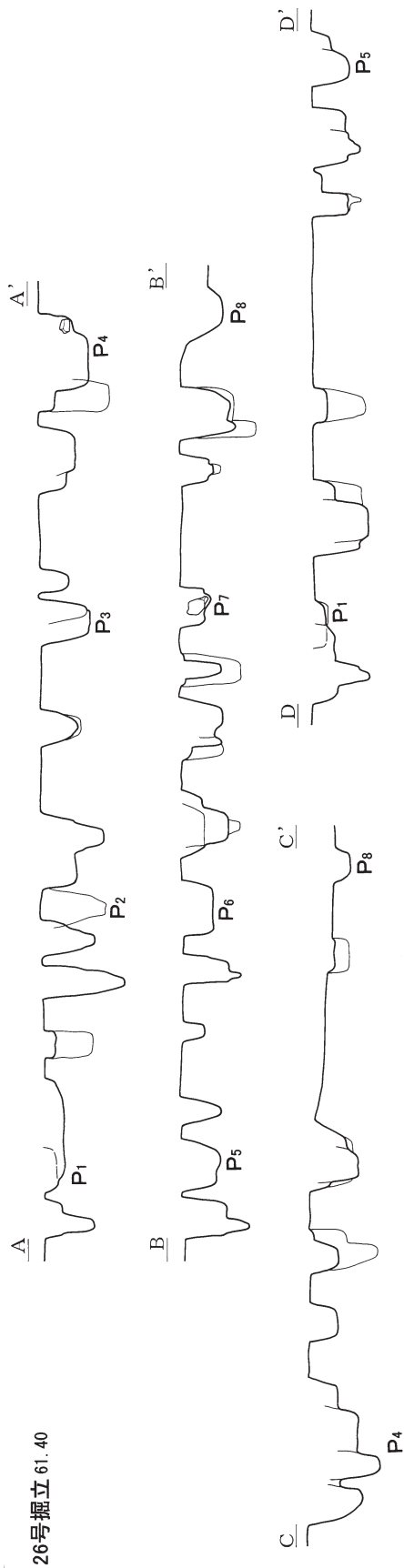
24号掘立 61.40

43号掘立 61.40

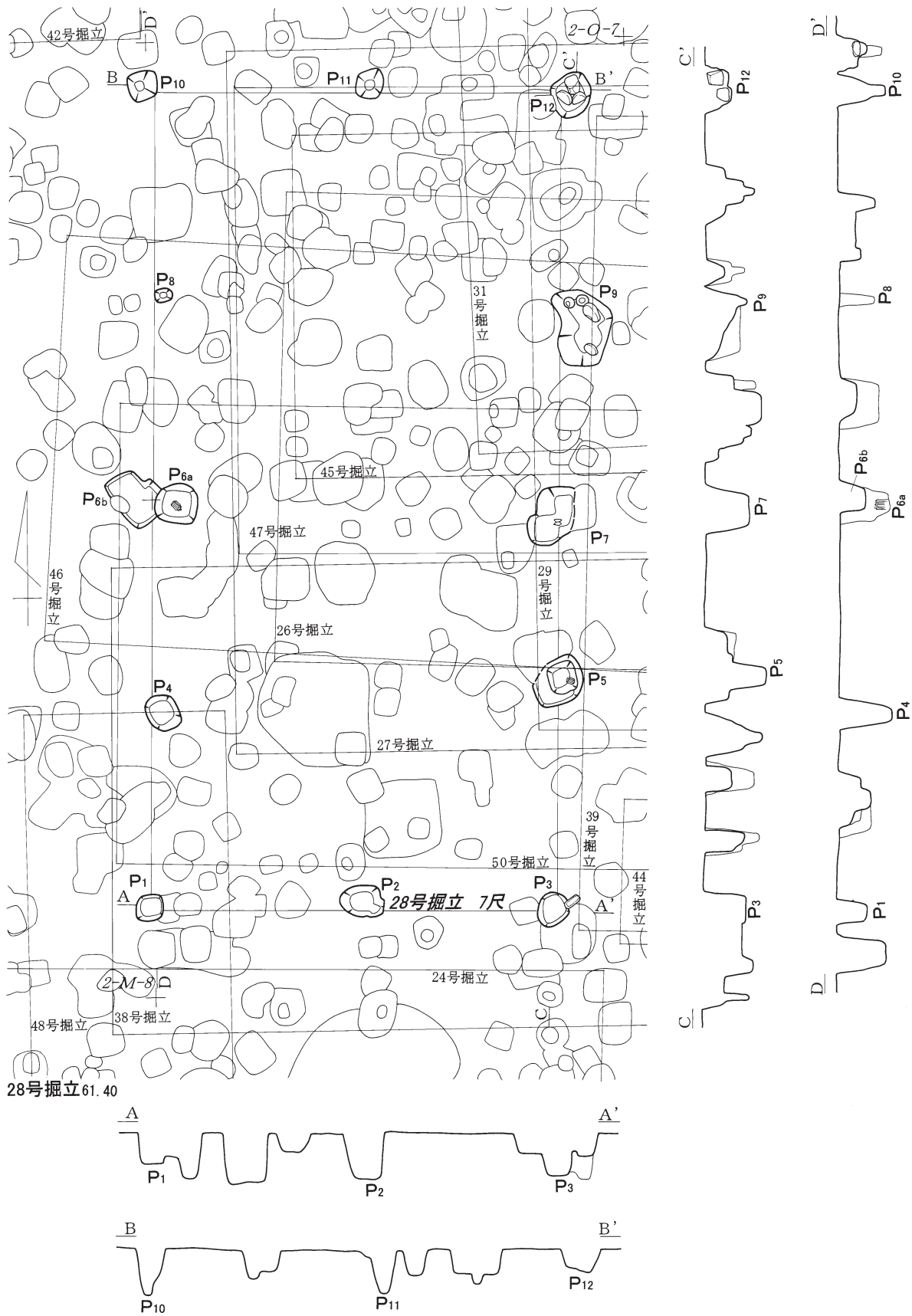
第91図 第24・43号掘立柱建物跡表測図 2/2 (1:60)



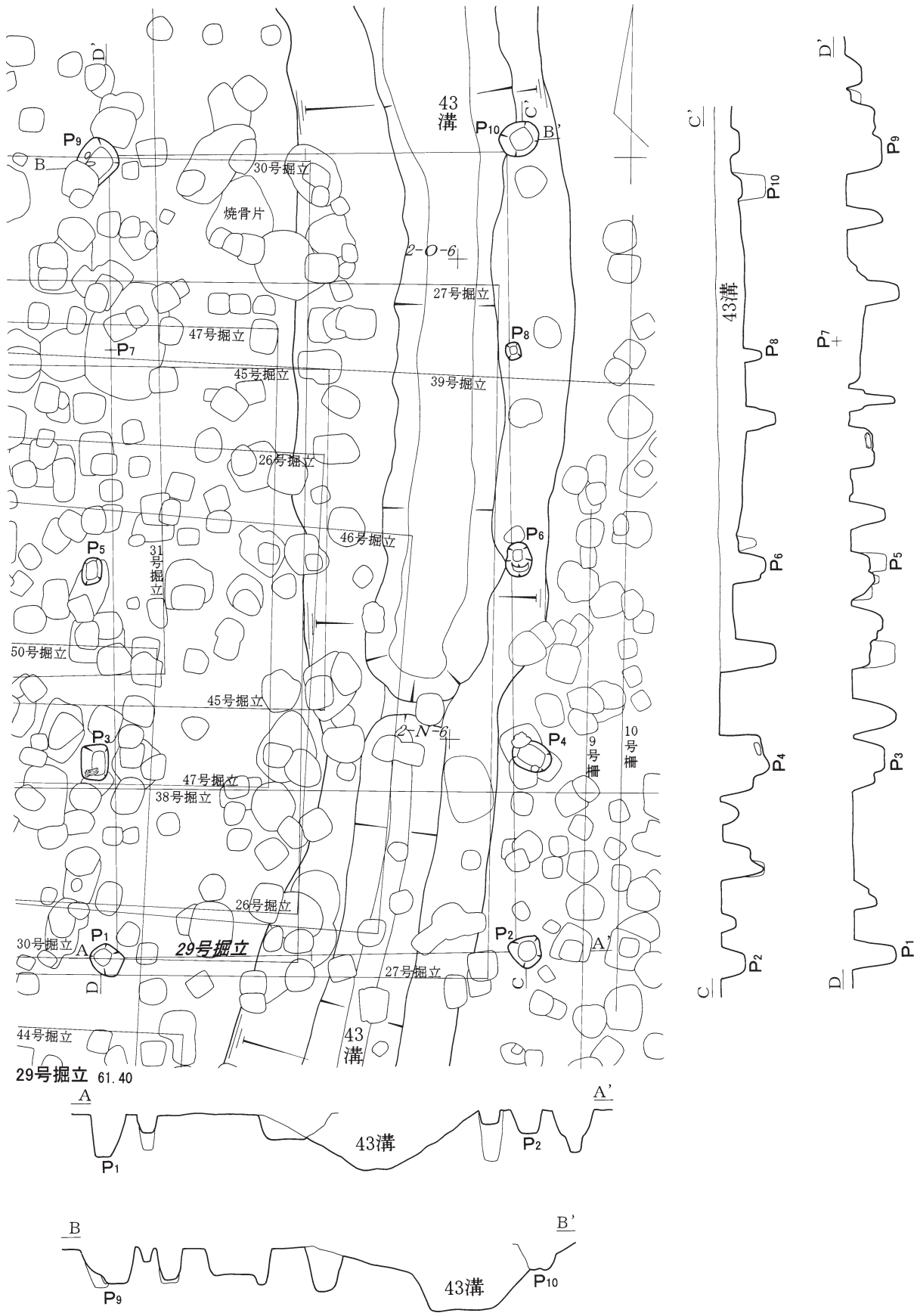
第92図 第26・27号掘立柱建物跡表測図 1/2 (1:60)



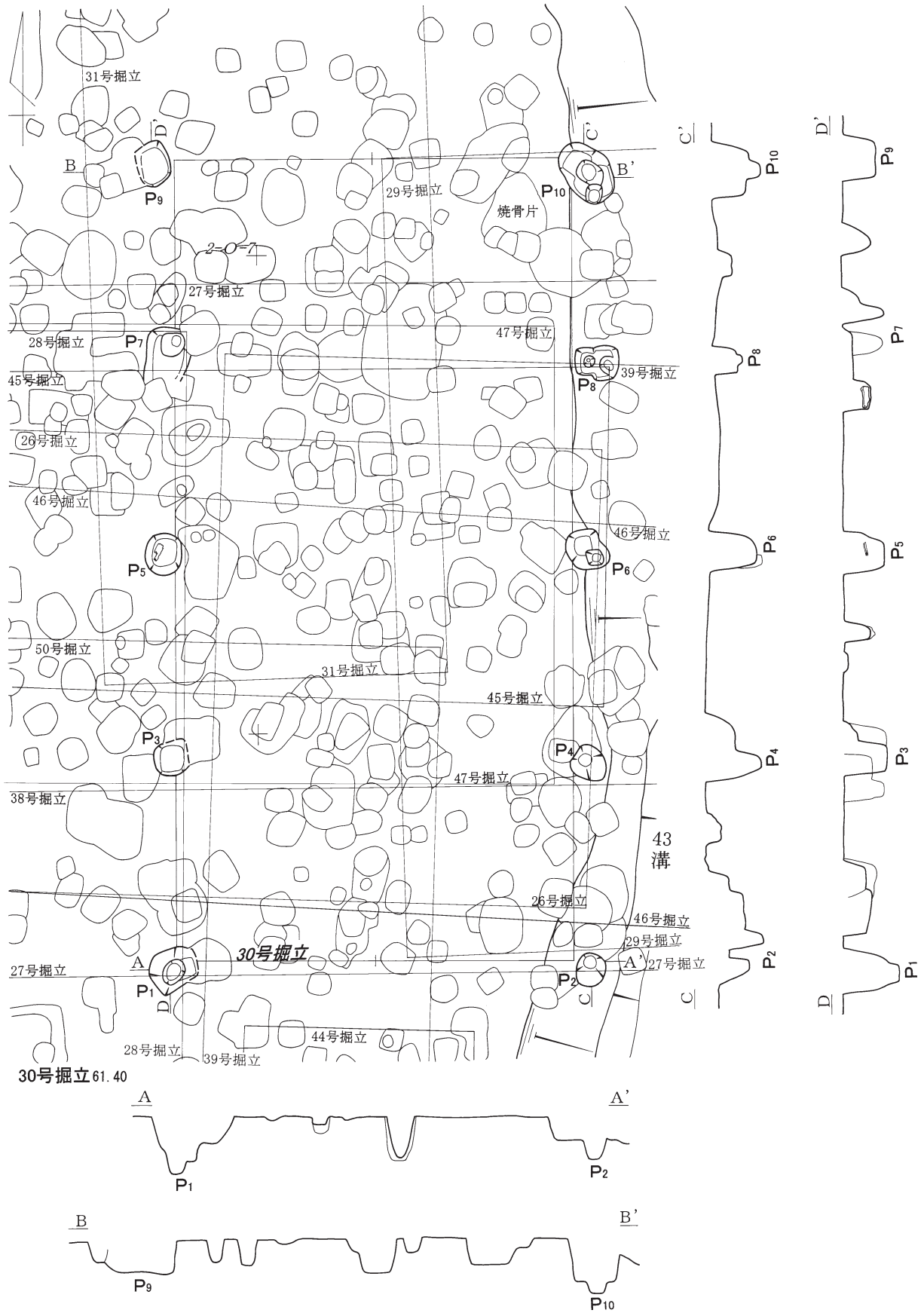
第93図 第26・27号掘立柱建物跡表測図 2/2 (1:60)



第94図 第28号掘立柱建物跡実測図 (1 : 60)



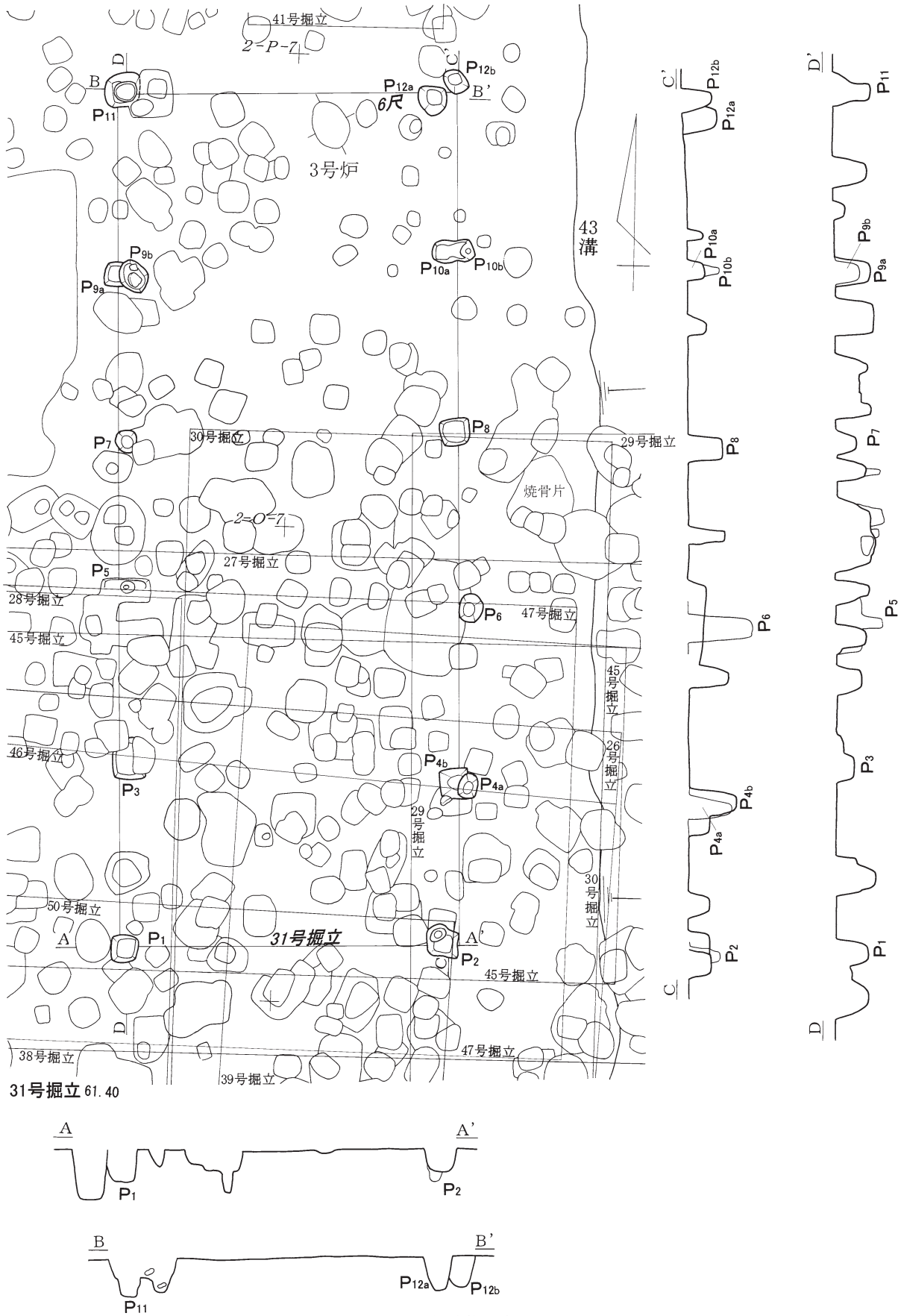
第95図 第29号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



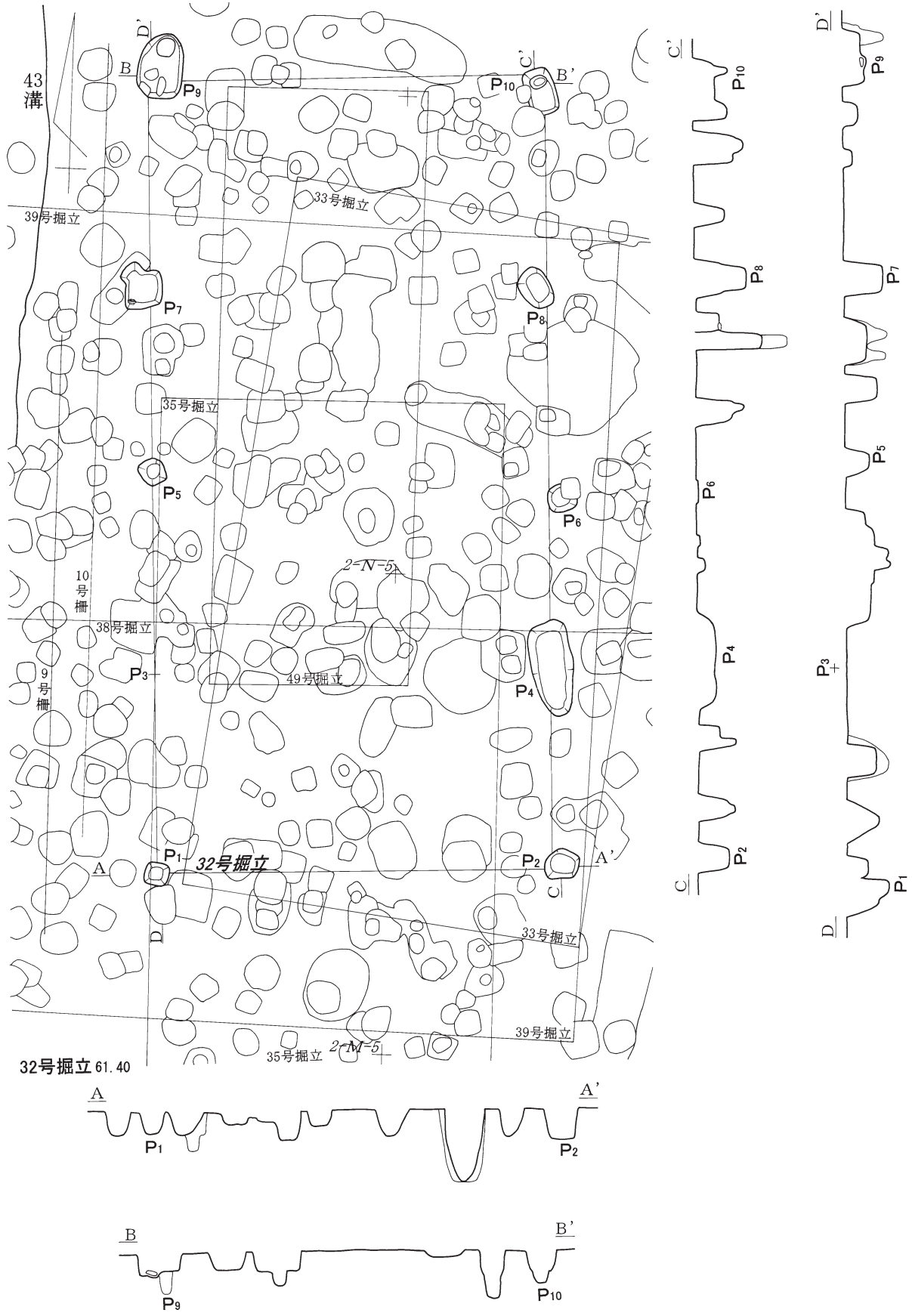
30号掘立 61.40

第96図 第30号掘立柱建物跡実測図 (1:60)

発見された遺構と出土遺物



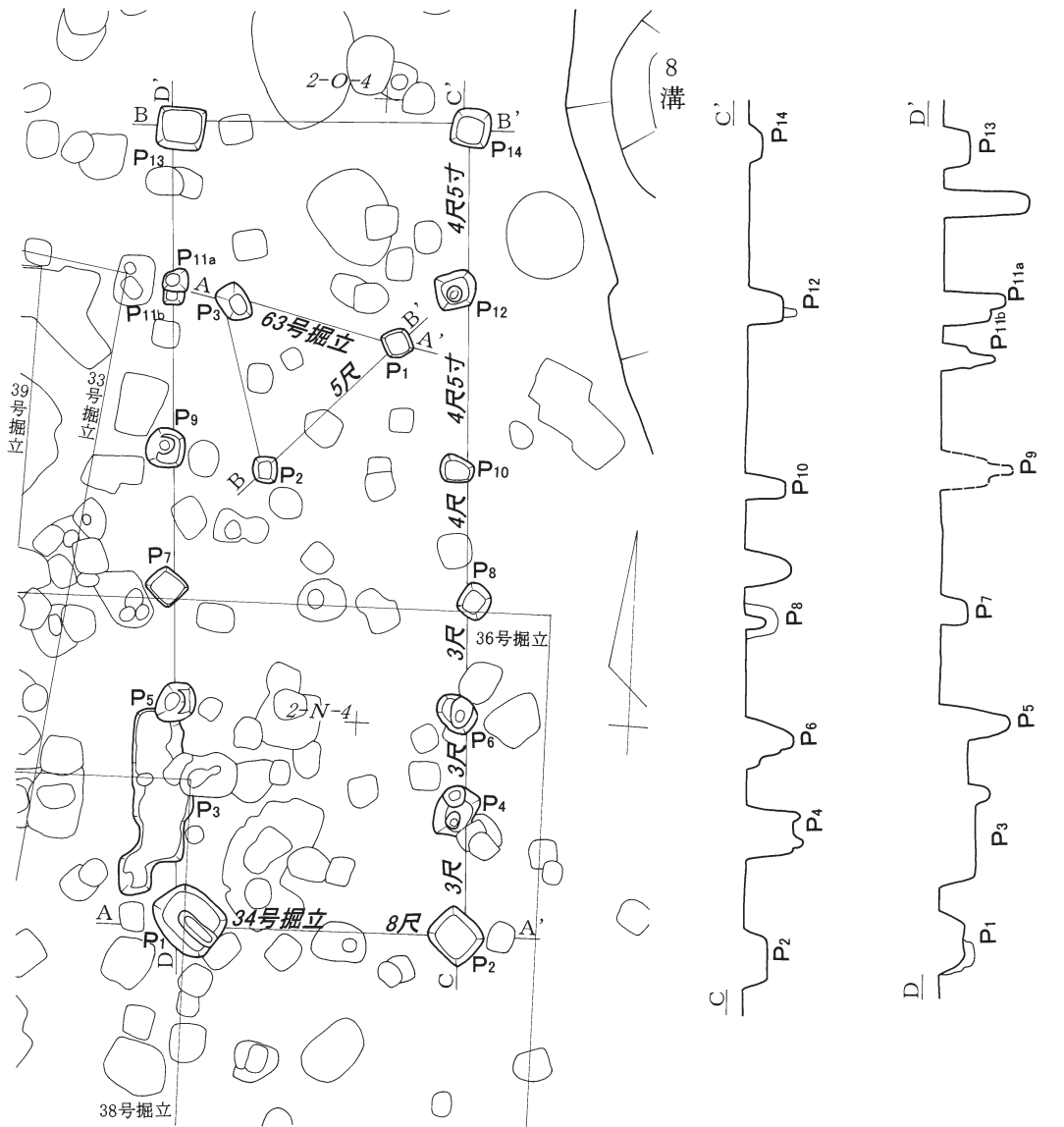
第97図 第31号掘立柱建物跡実測図 (1 : 60)



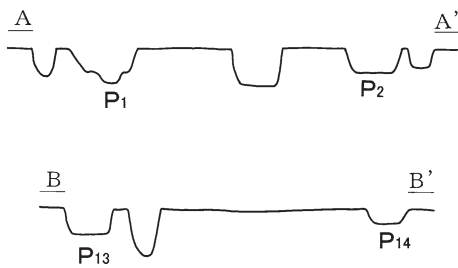
第98図 第32号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



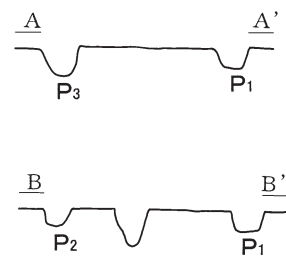
第99図 第33号掘立柱建物跡実測図 (1 : 60)



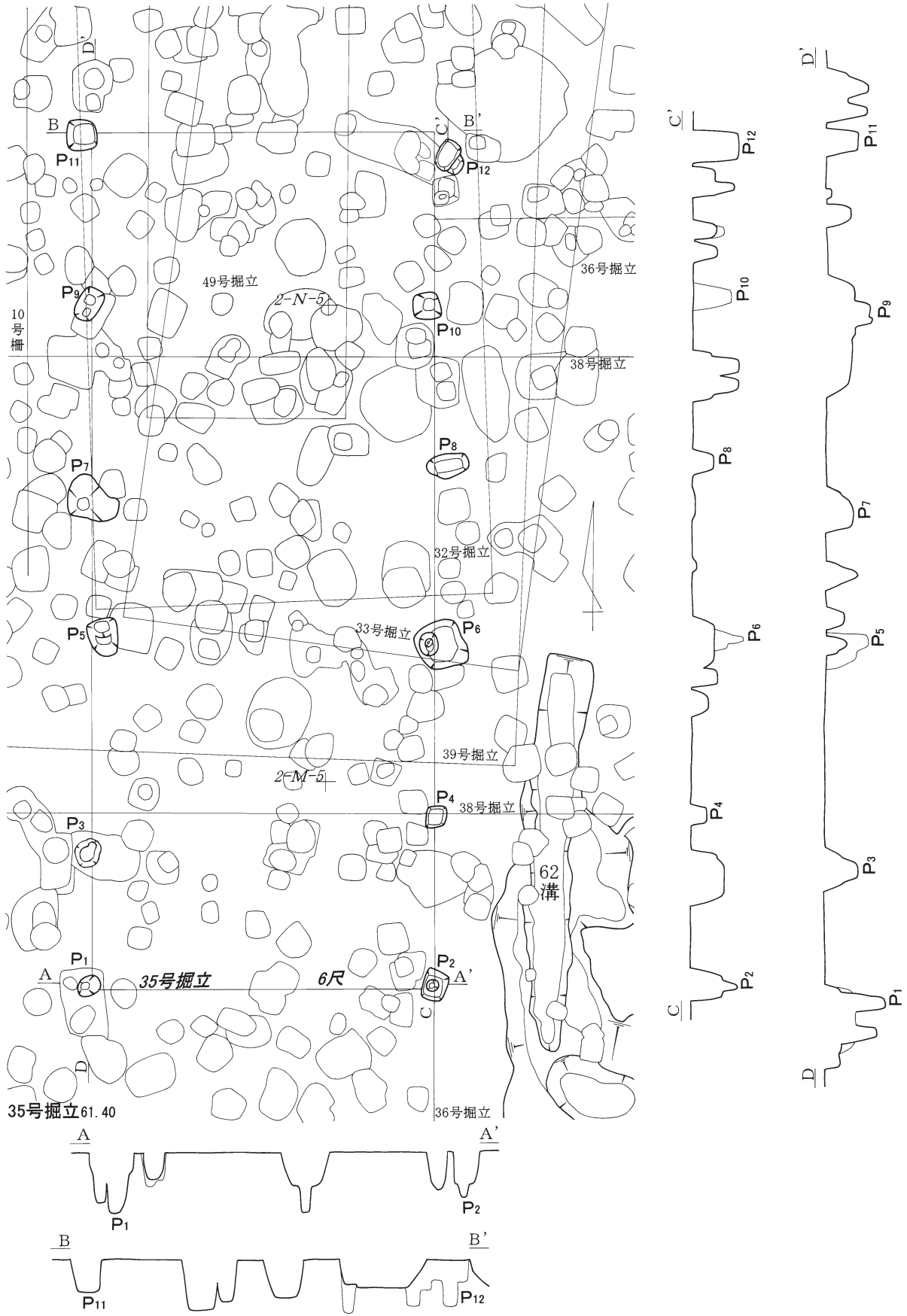
34号掘立 61.40



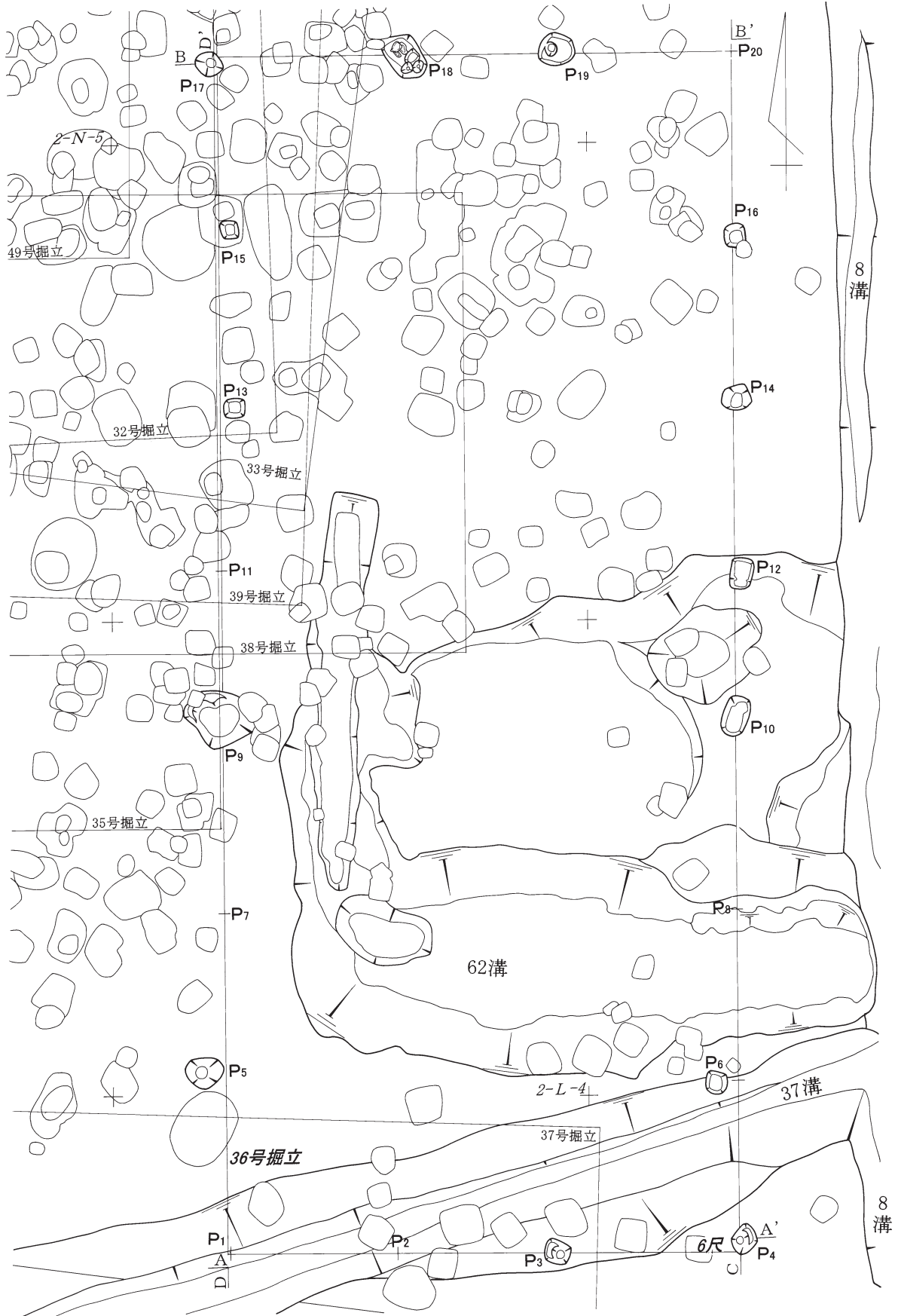
63号掘立 61.40



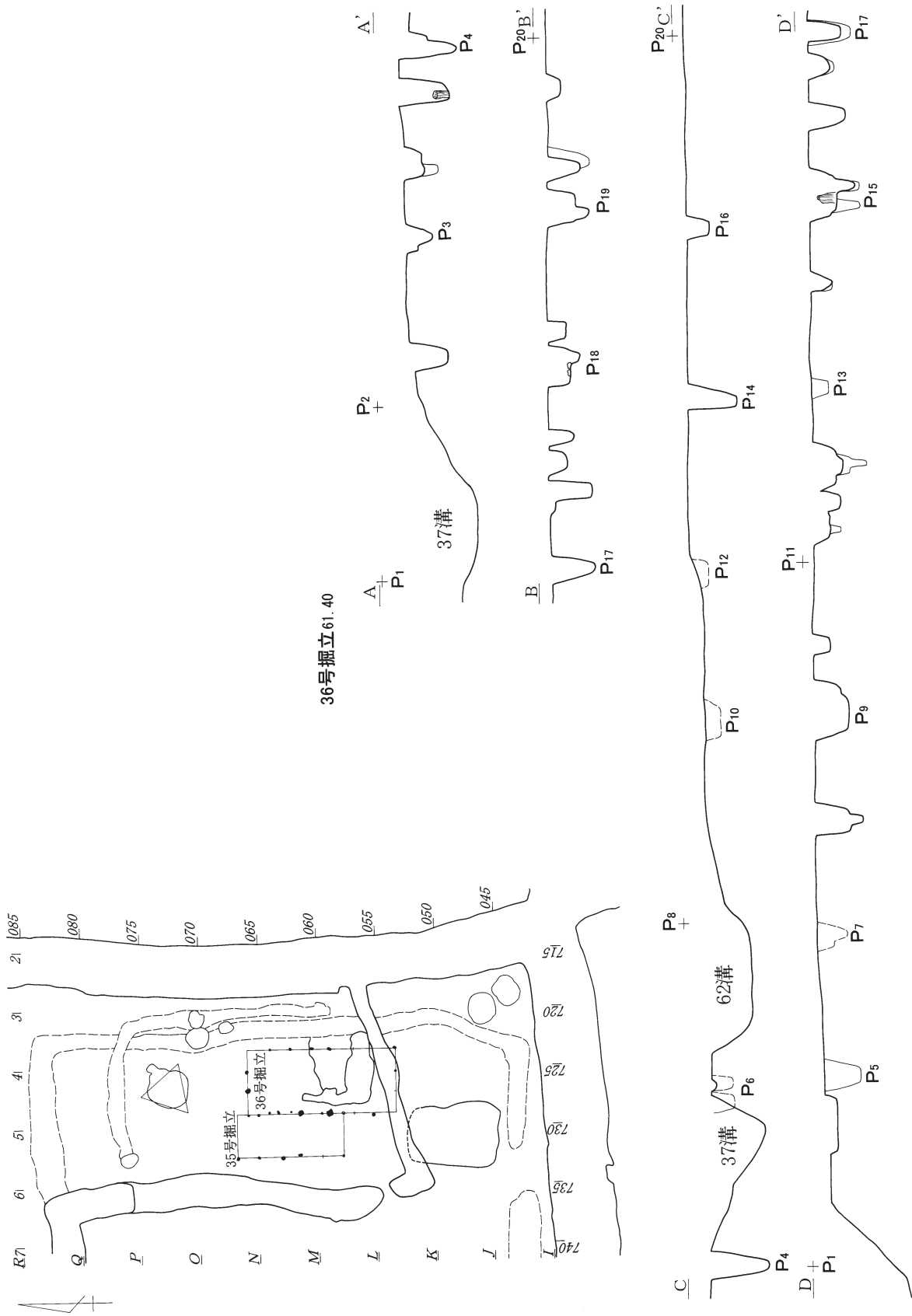
第100図 第34・63号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



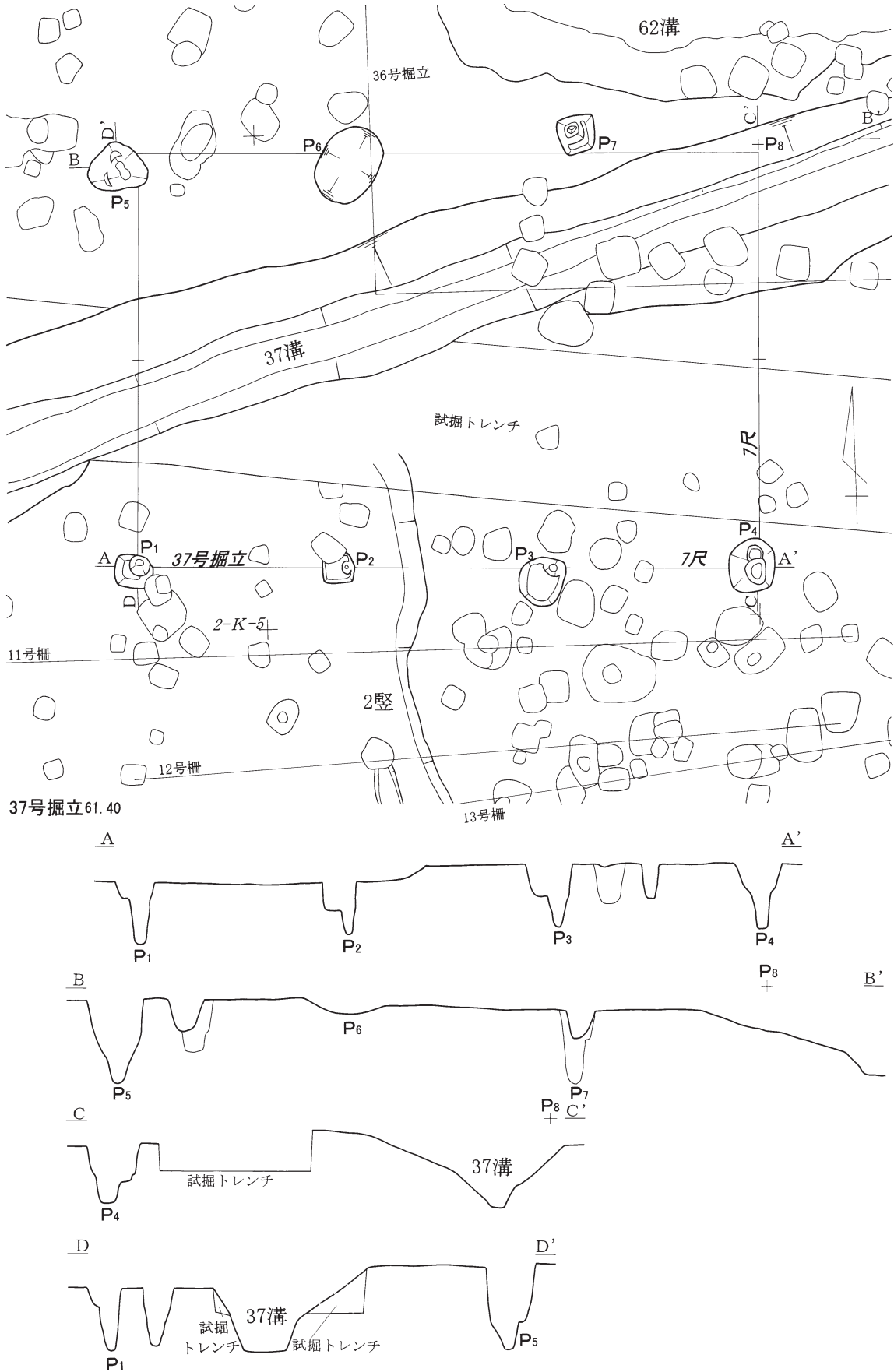
第101図 第35号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



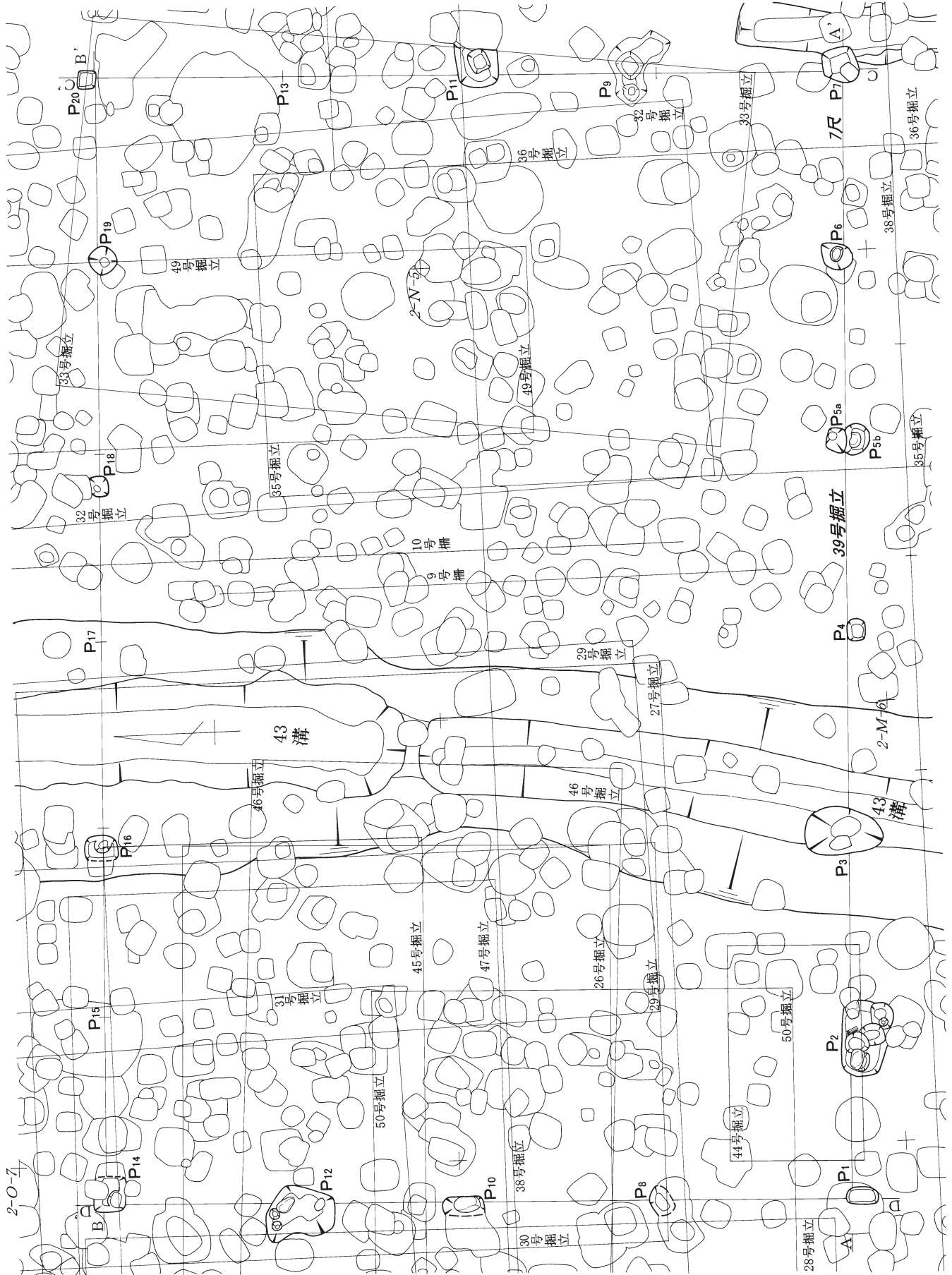
第102図 第36号掘立柱建物跡実測図 1/2 (1:60)



第103図 第36号掘立柱建物跡実測図 2/2 (1:60)

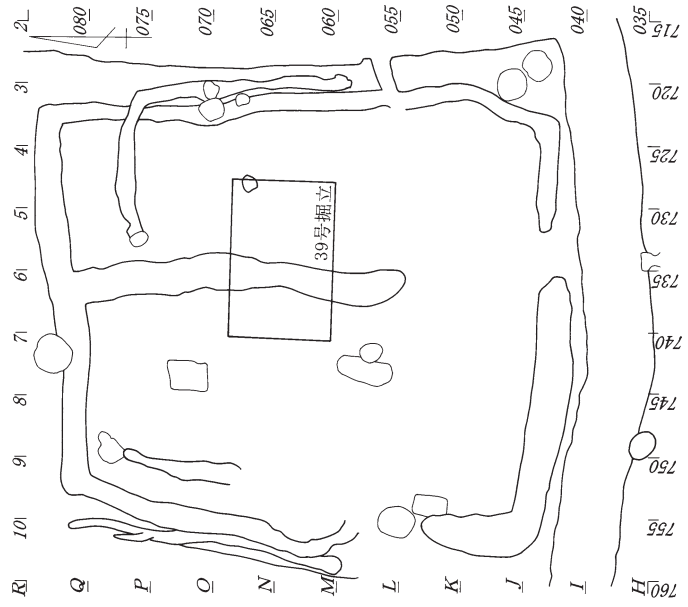
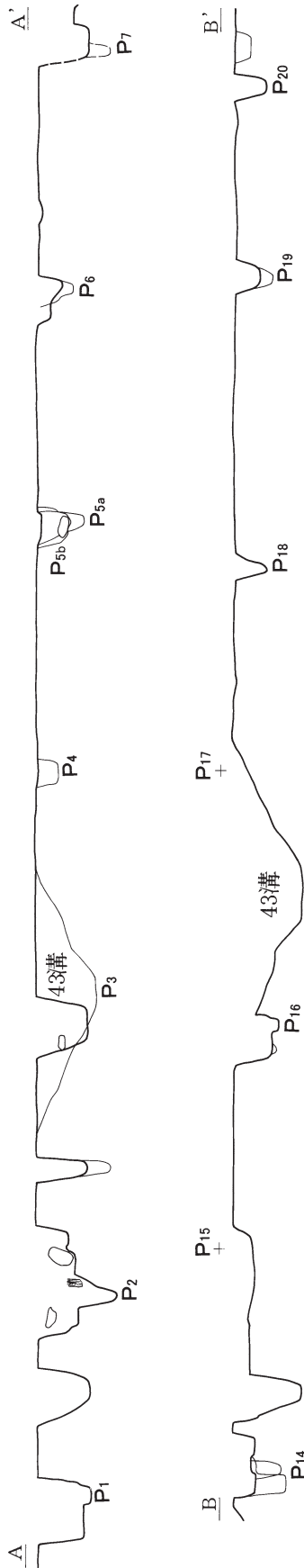


第104図 第37号掘立柱建物跡実測図 (1:60)

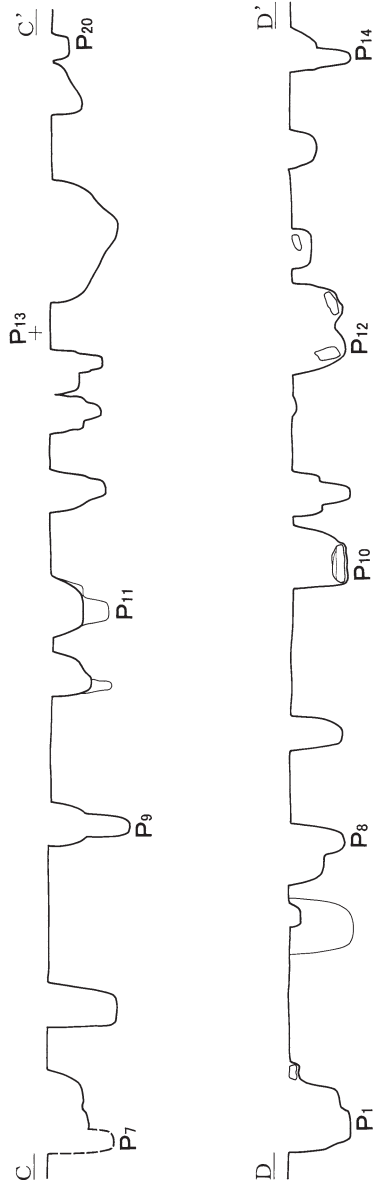


第105図 第39号掘立柱建物跡美測図 1/2 (1:60)

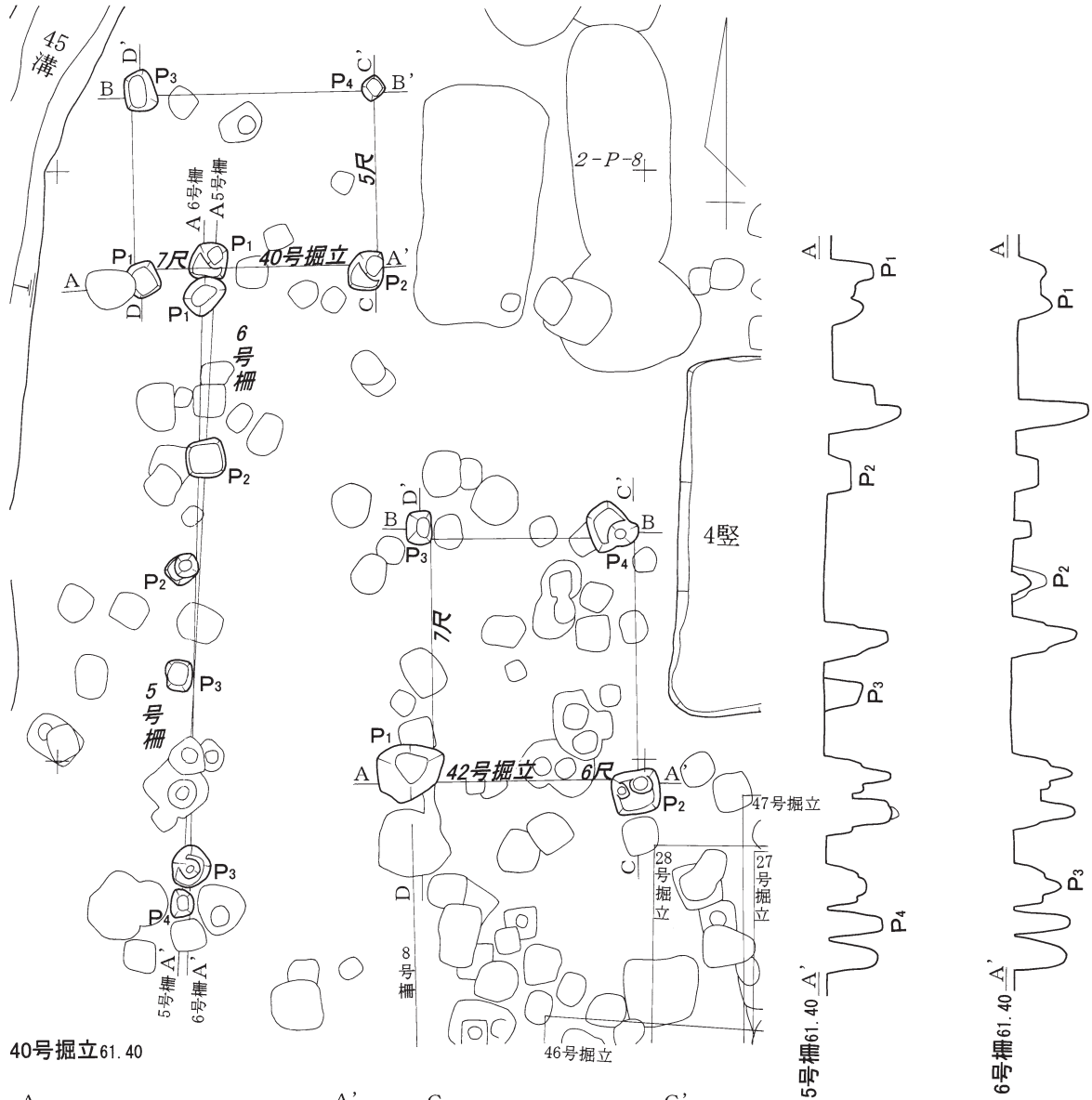
39号掘立 61.40



発見された遺構と出土遺物



第106図 第39号掘立柱建物跡実測図 2/2 (1:60)



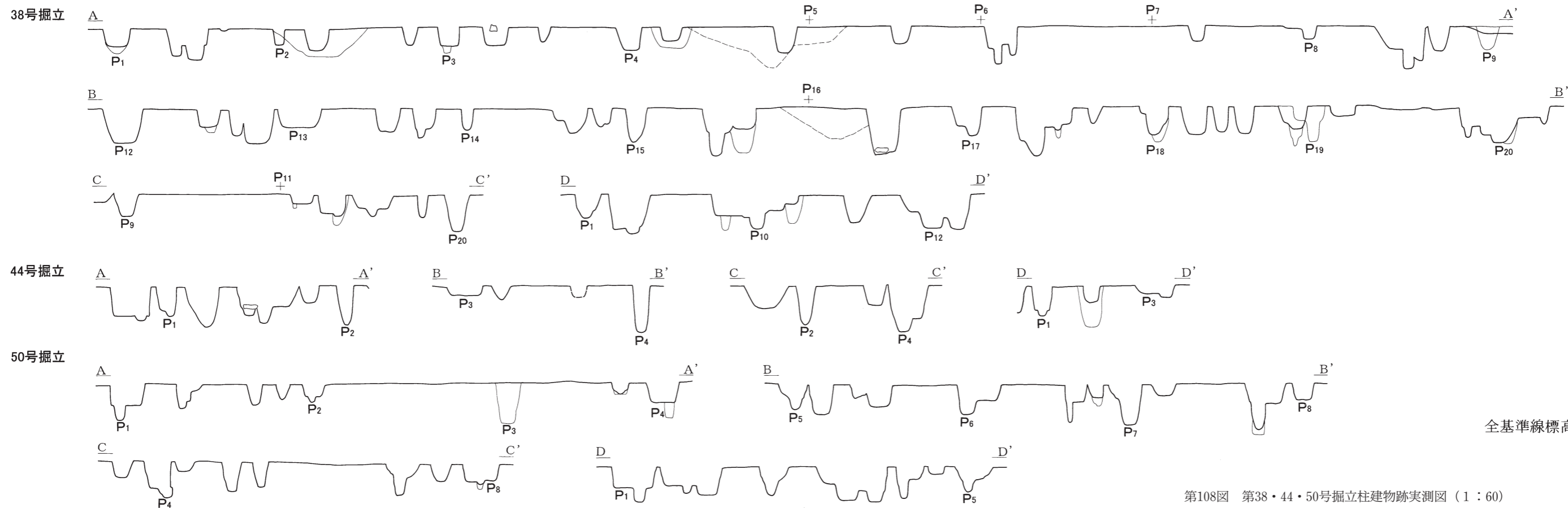
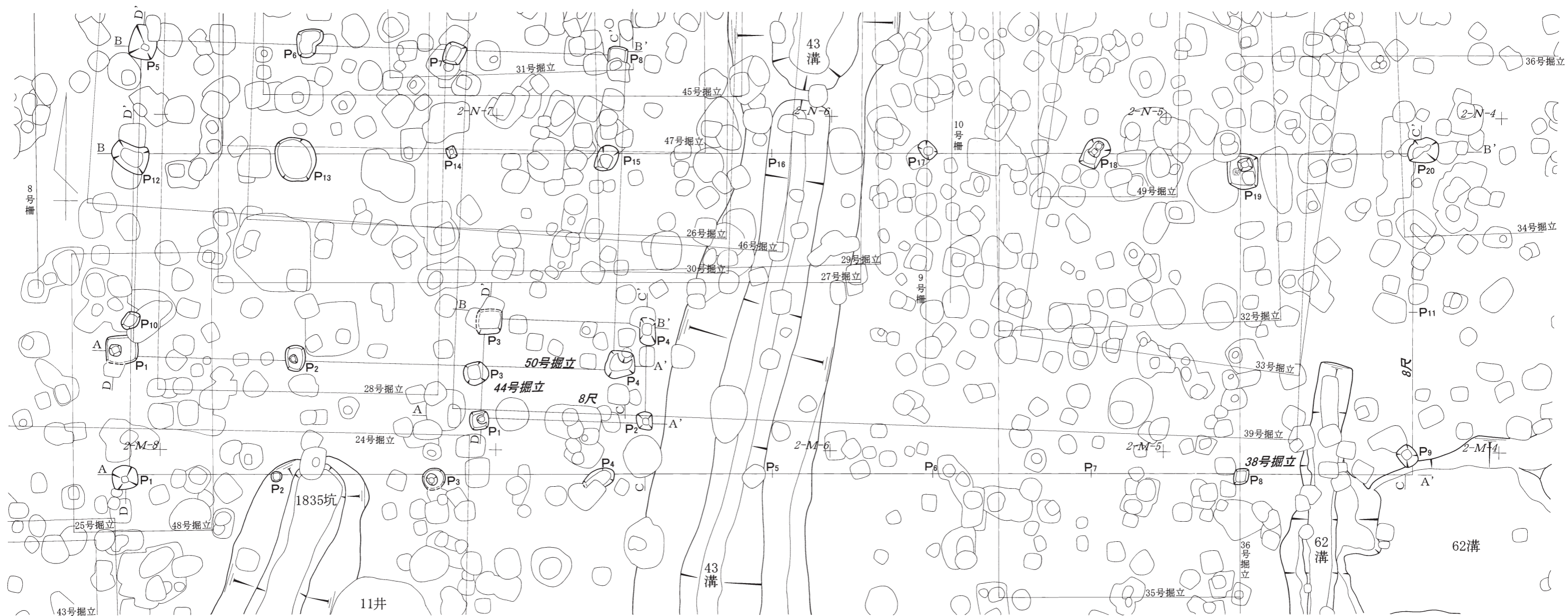
40号掘立 61.40



42号掘立 61.40

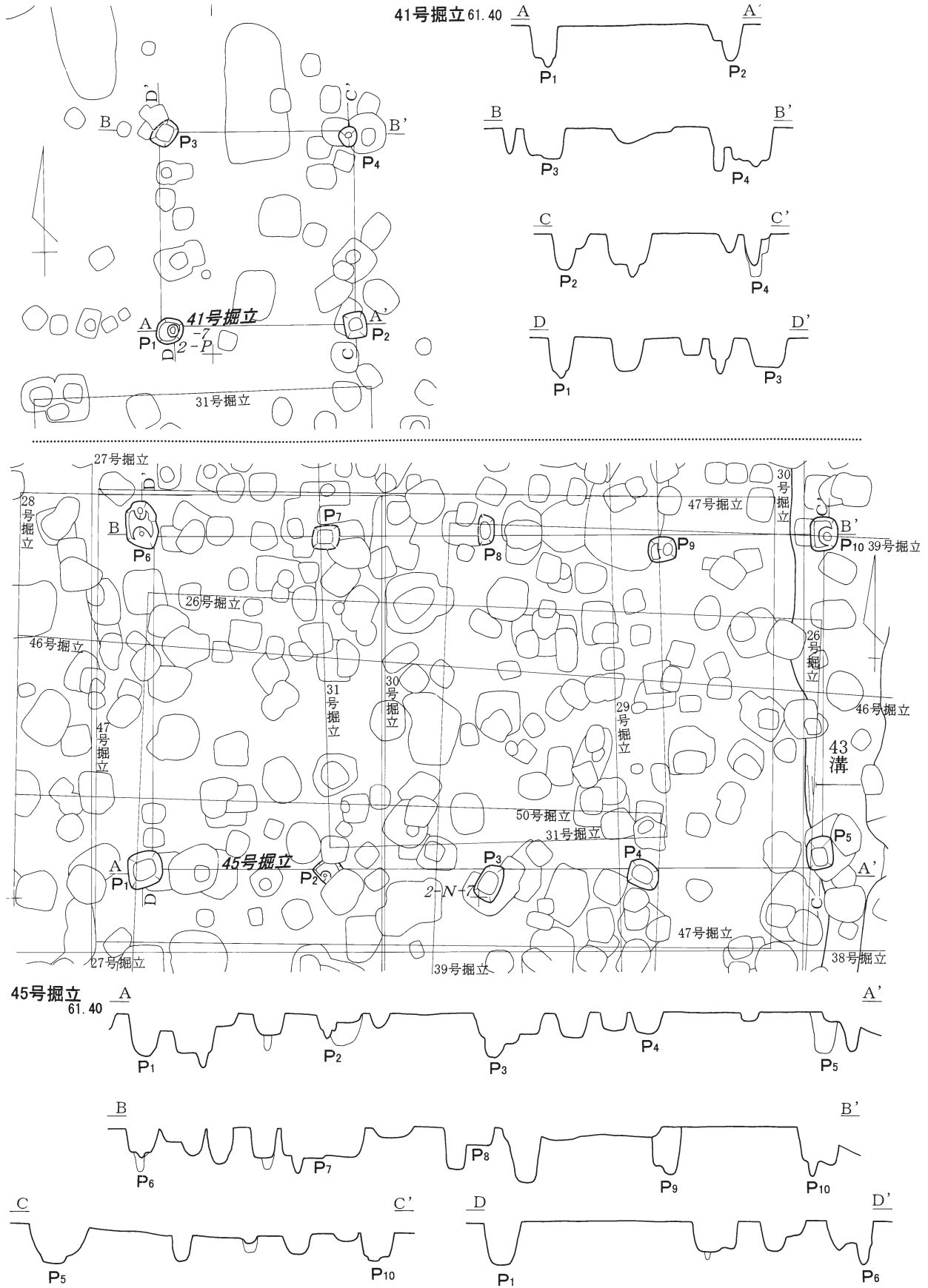


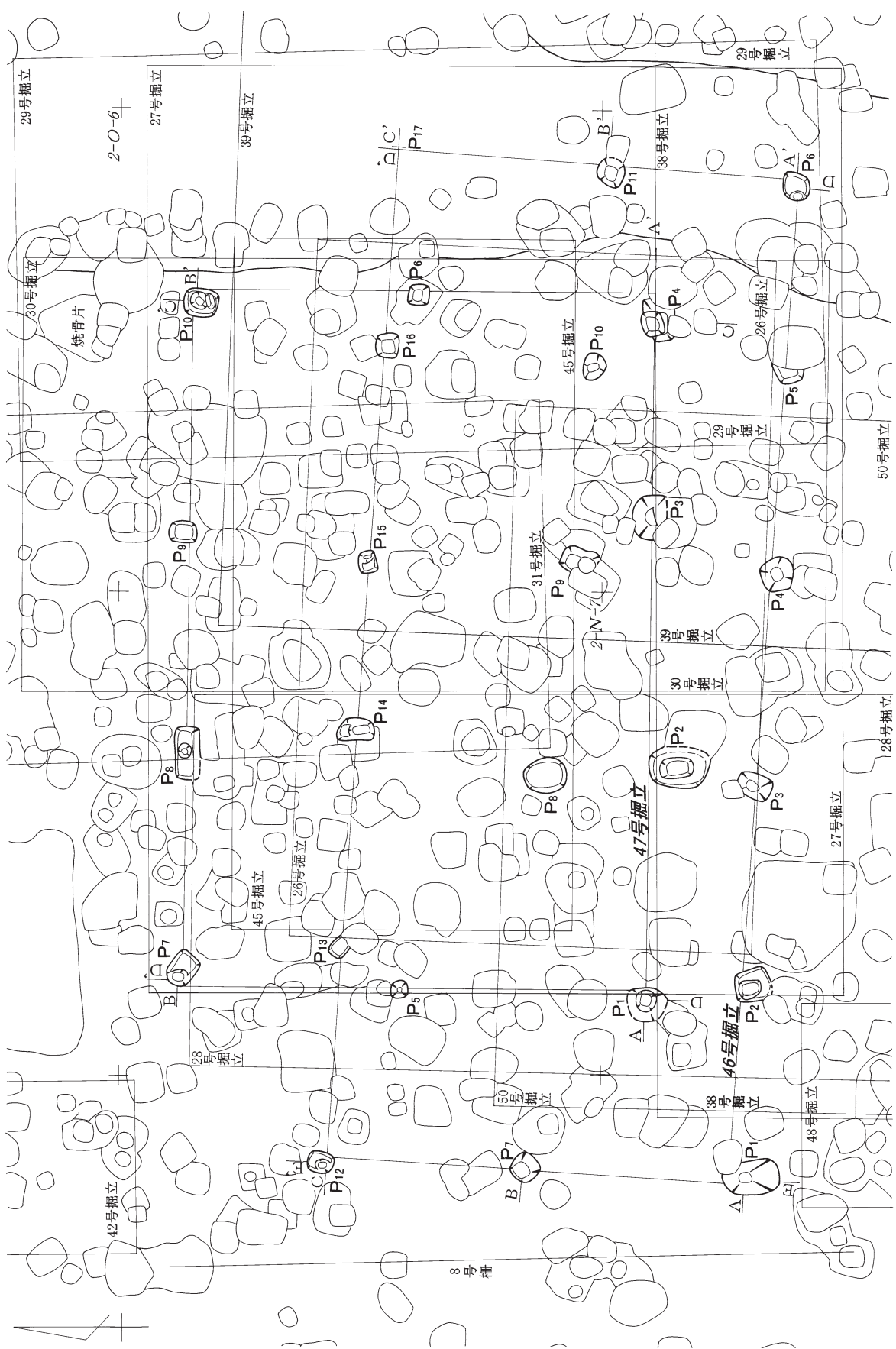
第107図 第40・42号掘立柱建物跡・第5・6号柵跡実測図 (1:60)



全基準線標高61.40m

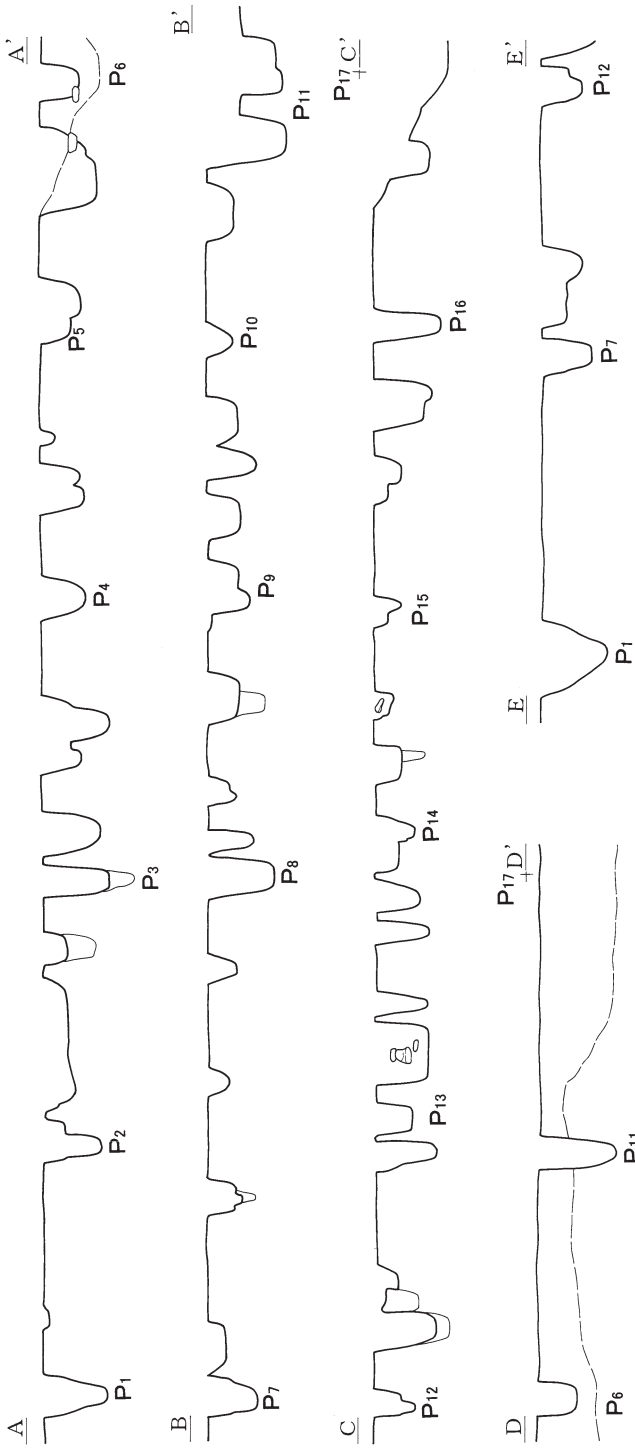
第108图 第38·44·50号掘立柱建物跡実測图 (1:60)



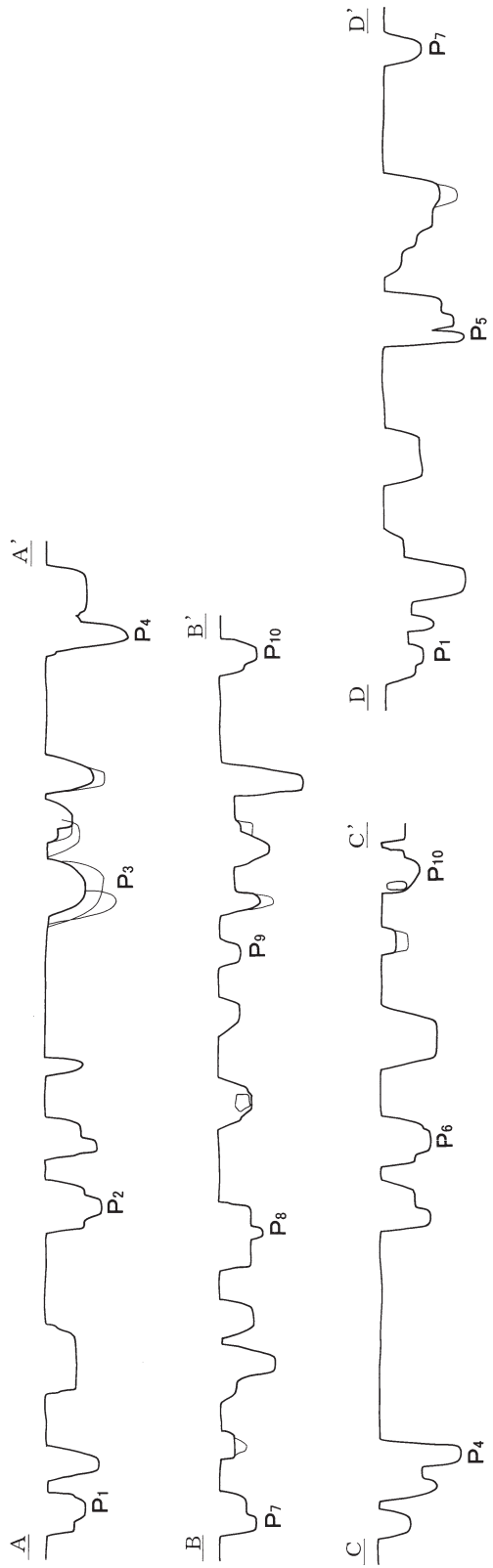


第110図 第46・47号掘立柱建物跡実測図 1/2 (1:60)

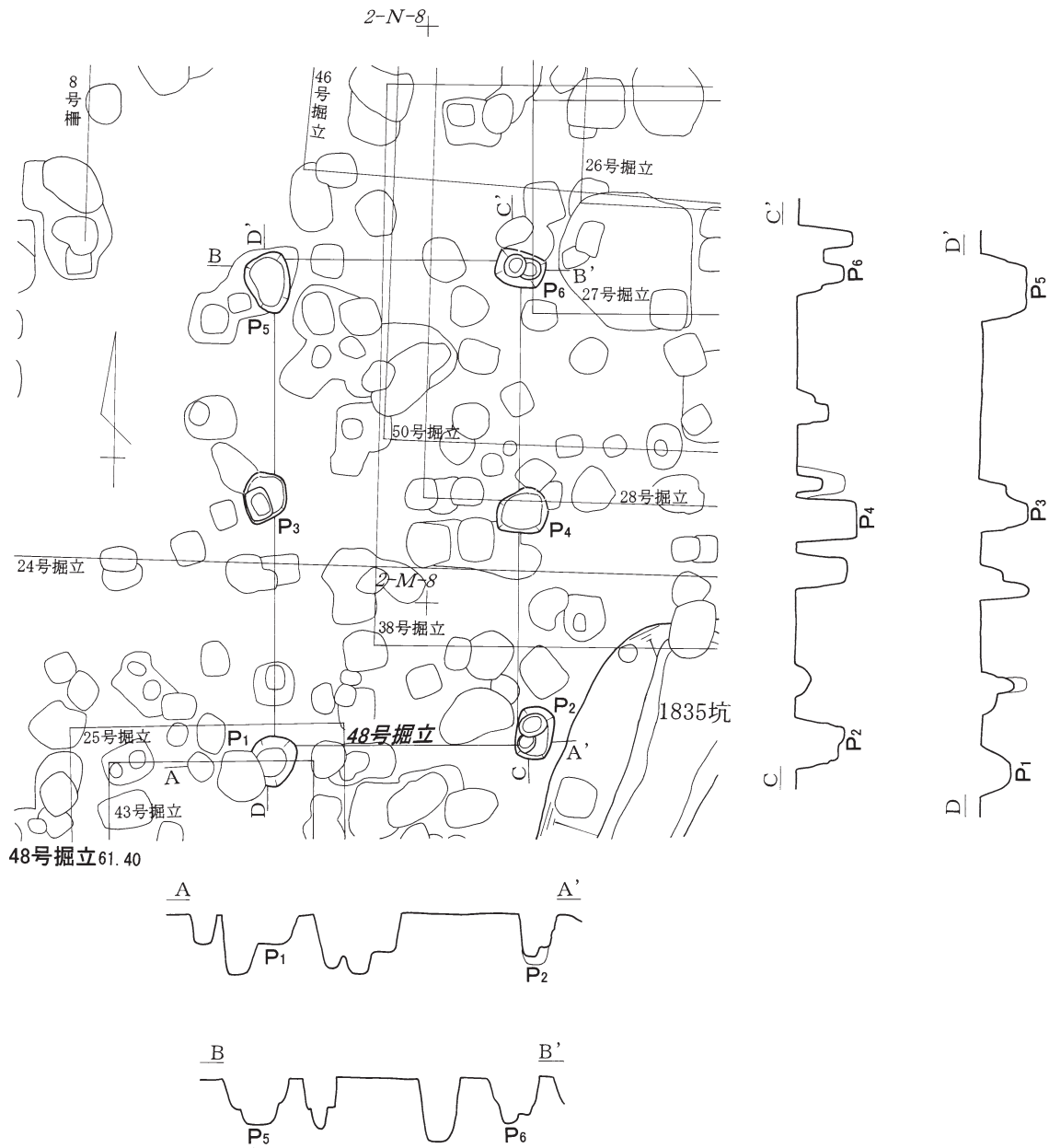
46号掘立 61.40



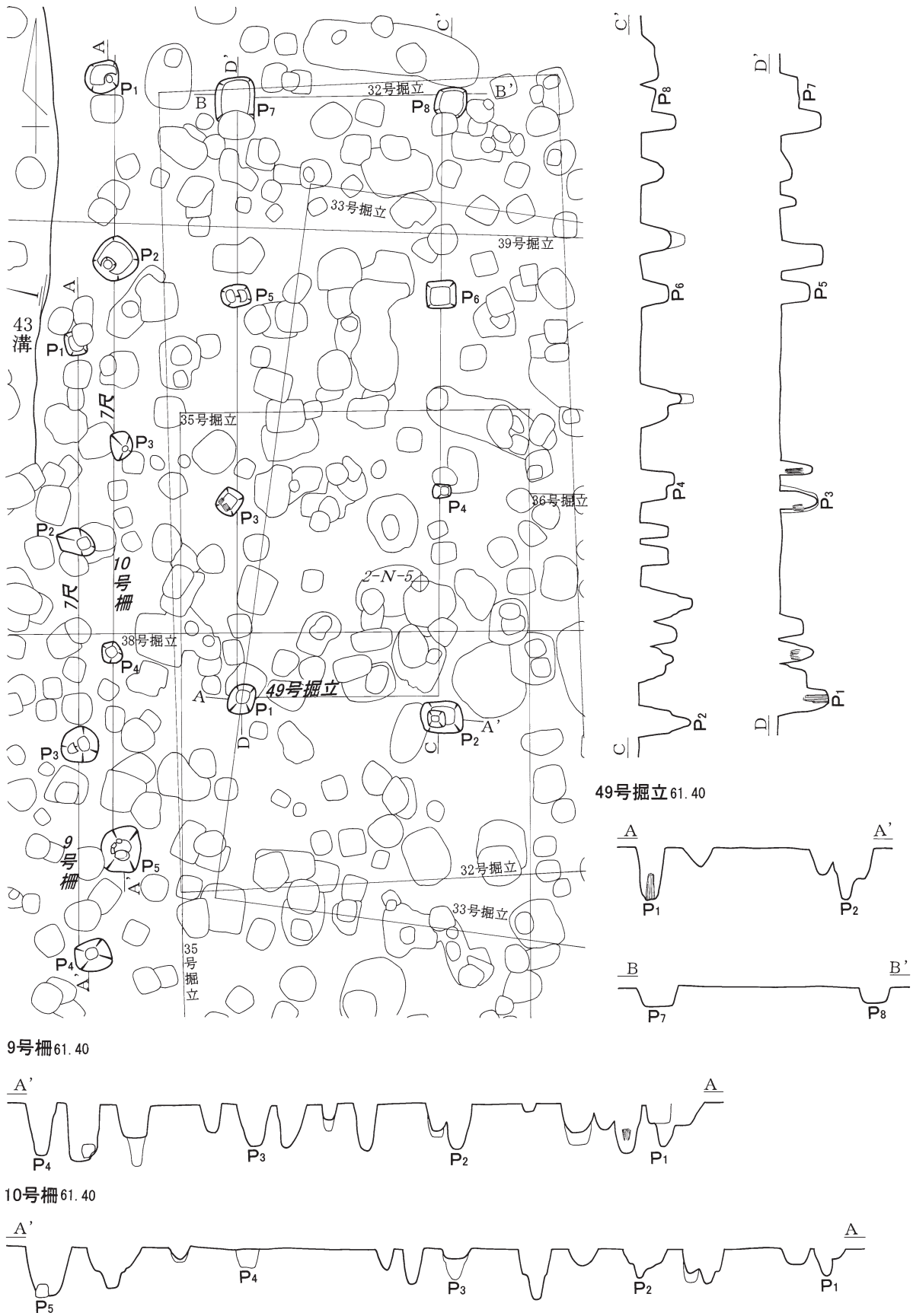
47号掘立 61.40



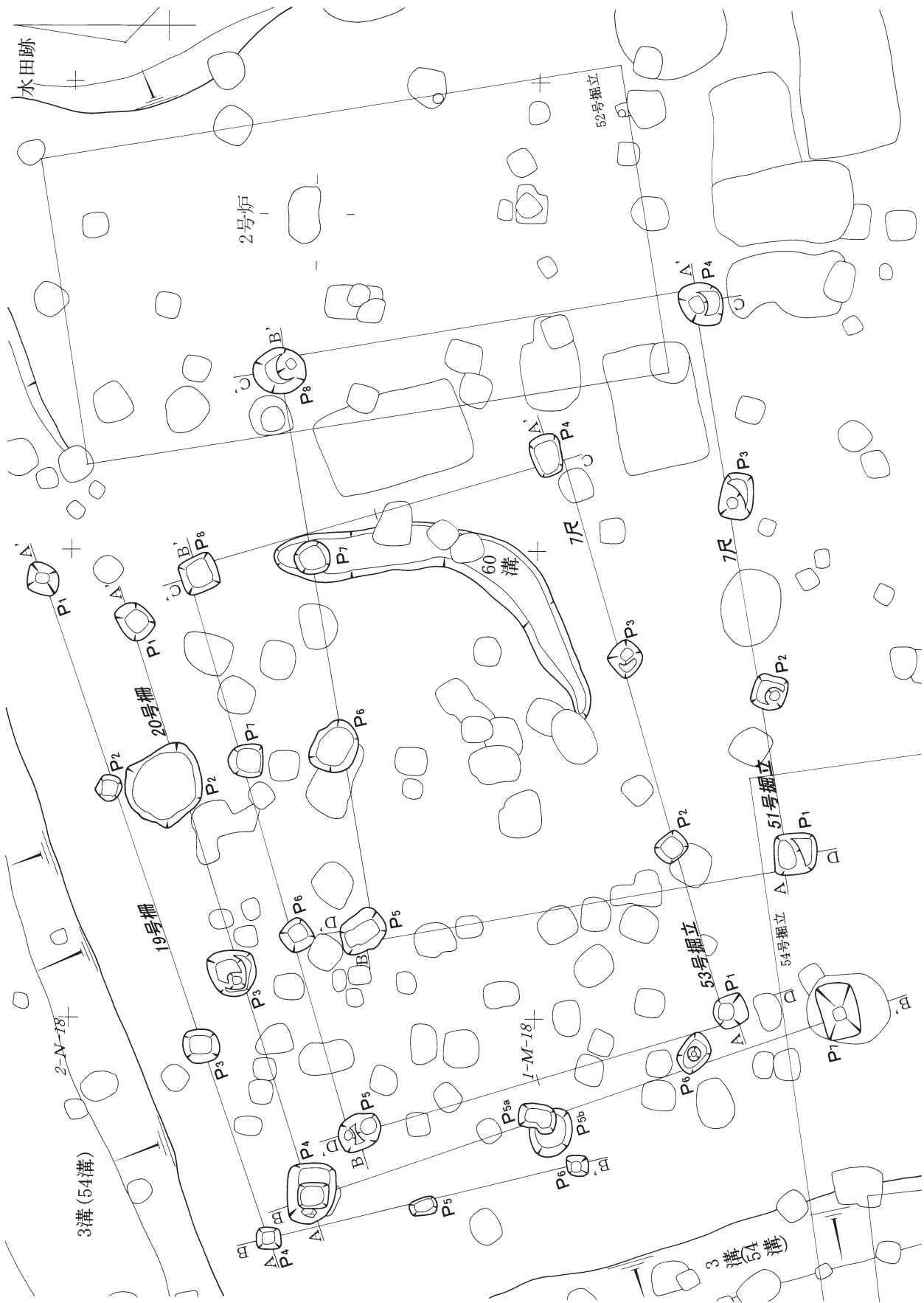
第111図 第46・47号掘立柱建物跡実測図 2/2 (1:60)



第112図 第48号掘立柱建物跡実測図 (1:60)

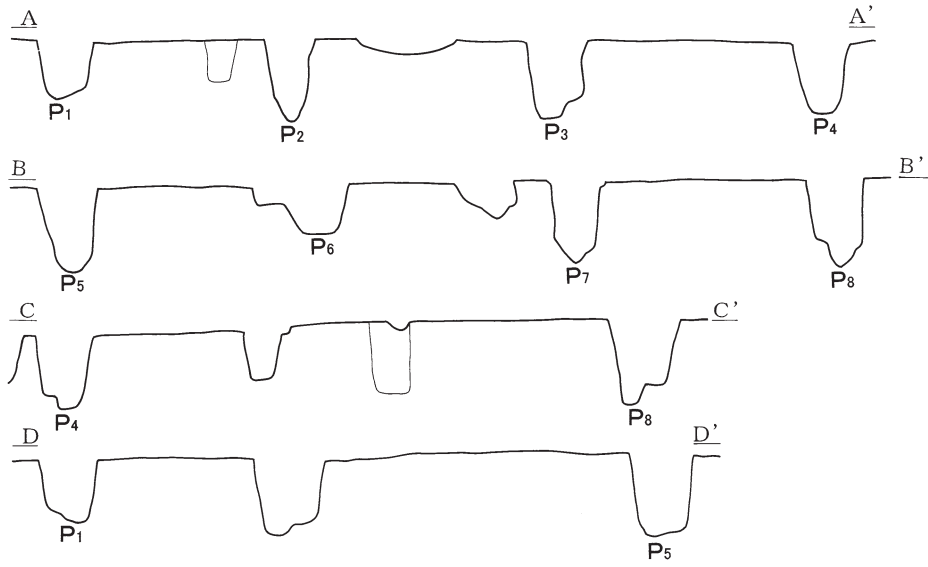


第113図 第49号掘立柱建物跡・第9・10号柵跡実測図 (1:60)

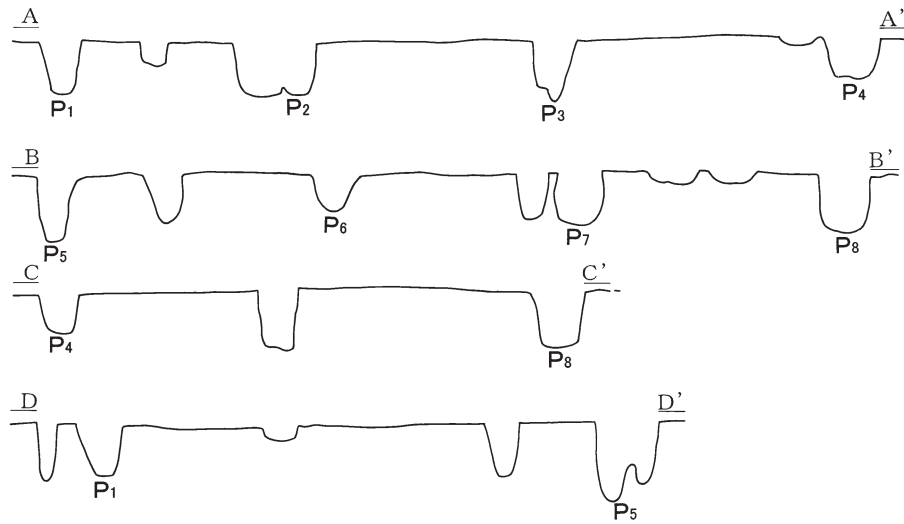


第114図 第51・53号掘立柱建物跡・第19・20号柵跡美測図 1/2 (1:60)

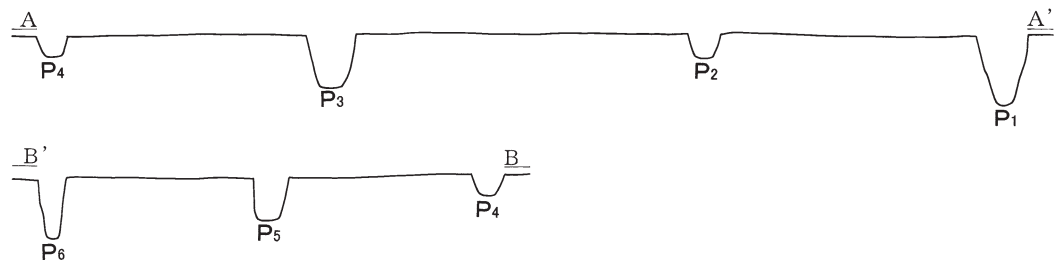
51号掘立61.40



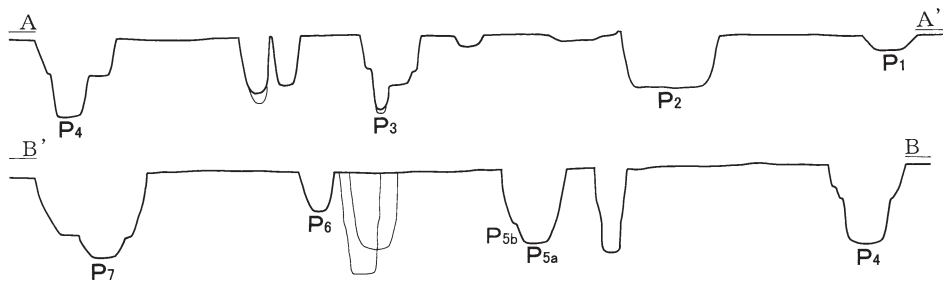
53号掘立61.40



19号柵61.40

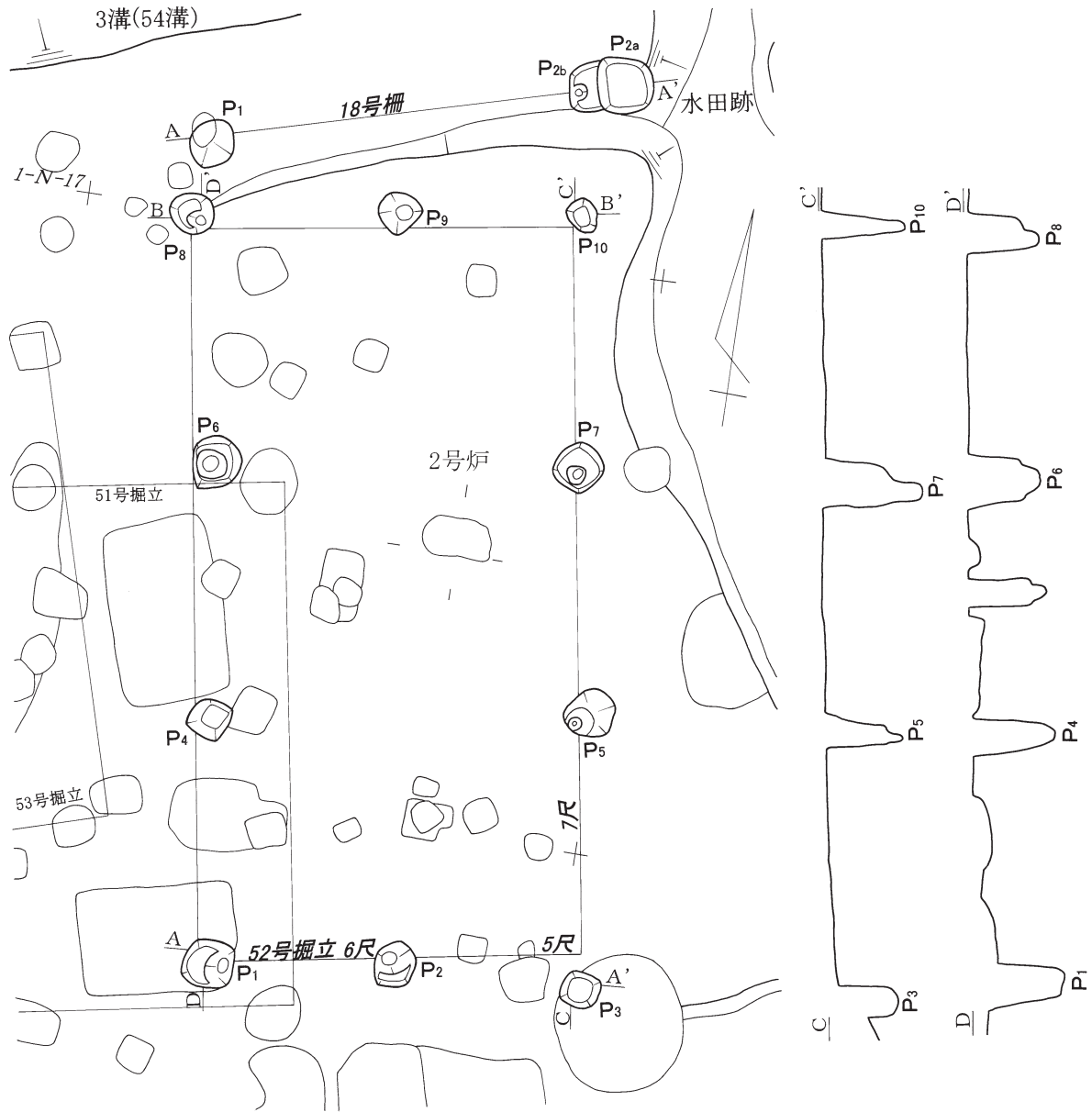


20号柵61.40

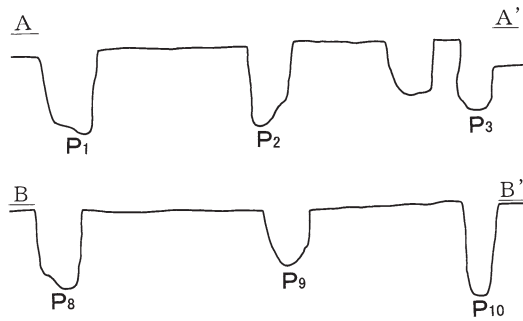


第115図 第51・53号掘立柱建物跡・第19・20号柵跡実測図 2/2 (1:60)

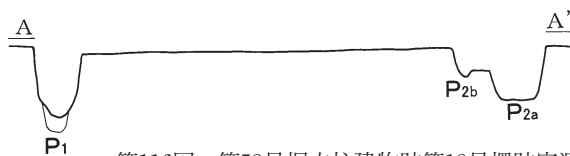
発見された遺構と出土遺物



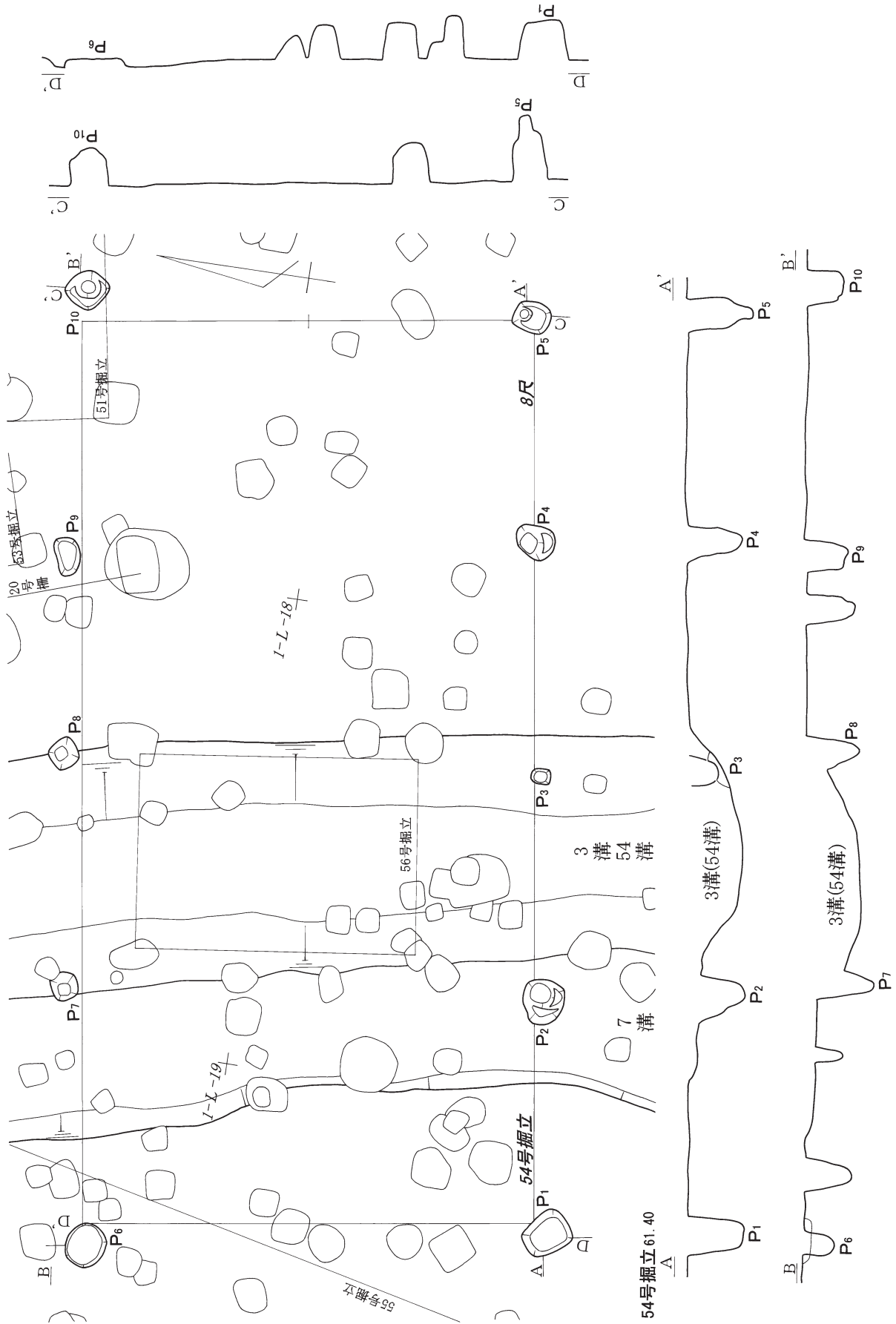
52号掘立61.40



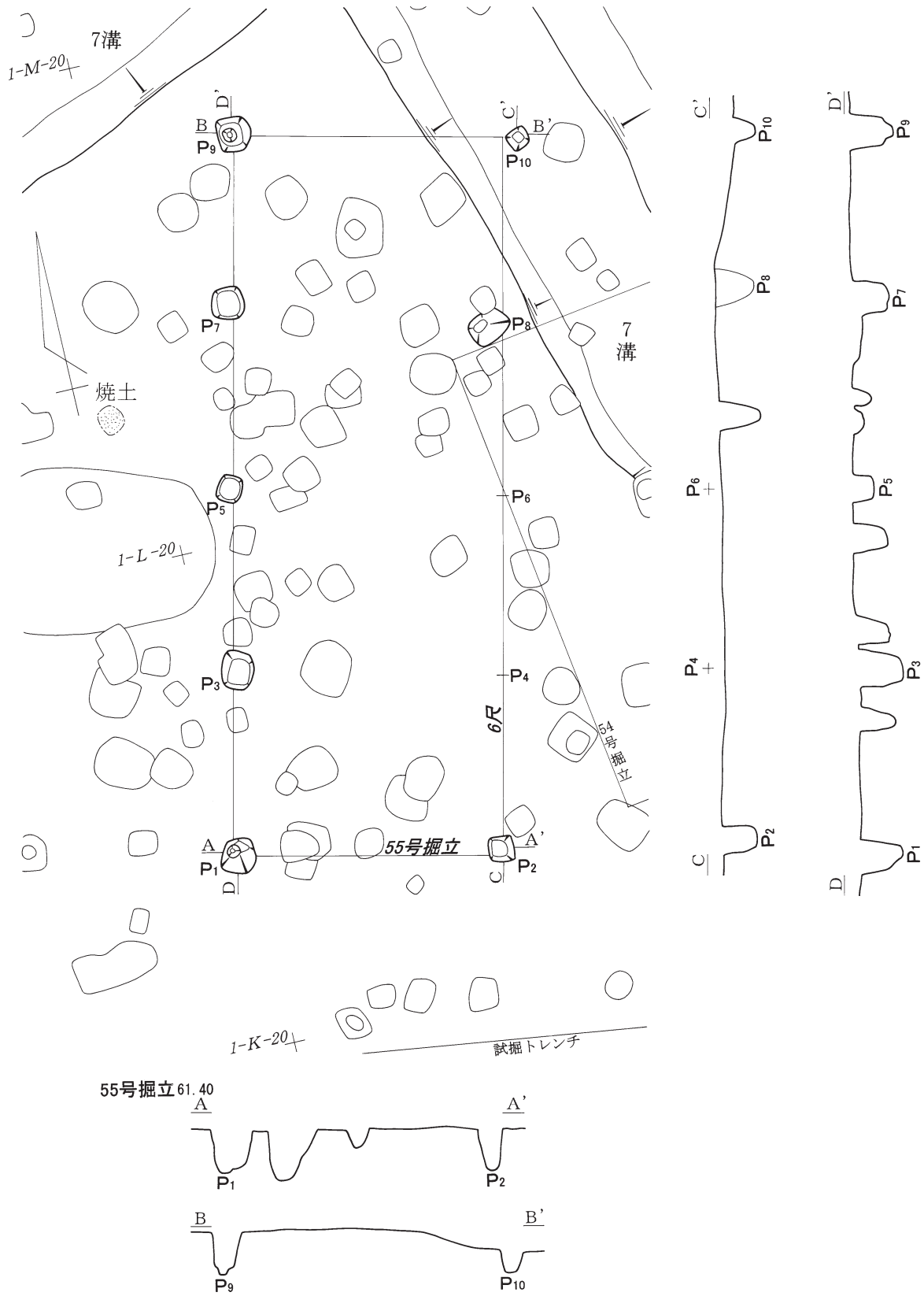
18号柵61.40



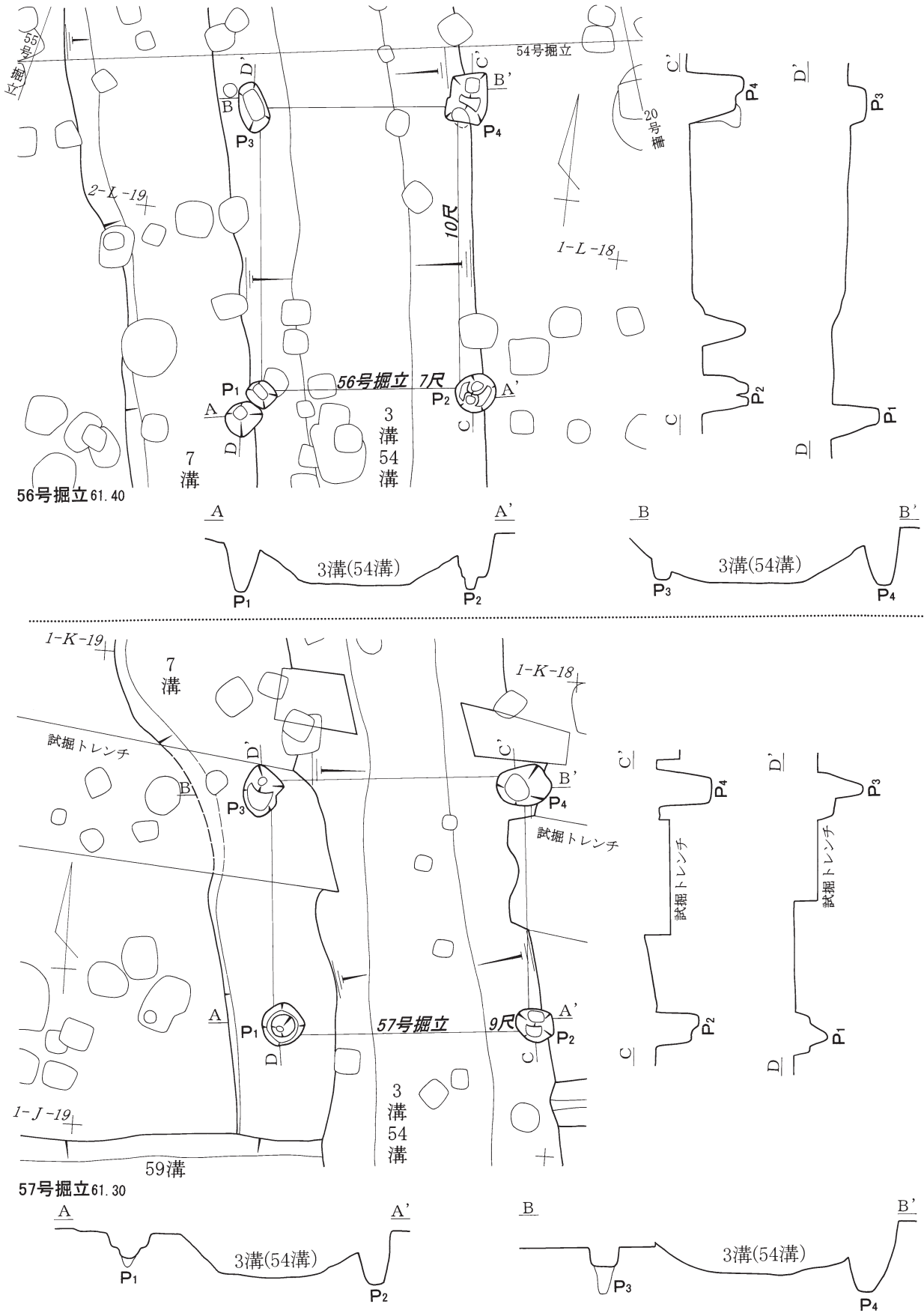
第116図 第52号掘立柱建物跡第18号柵跡実測図 (1:60)



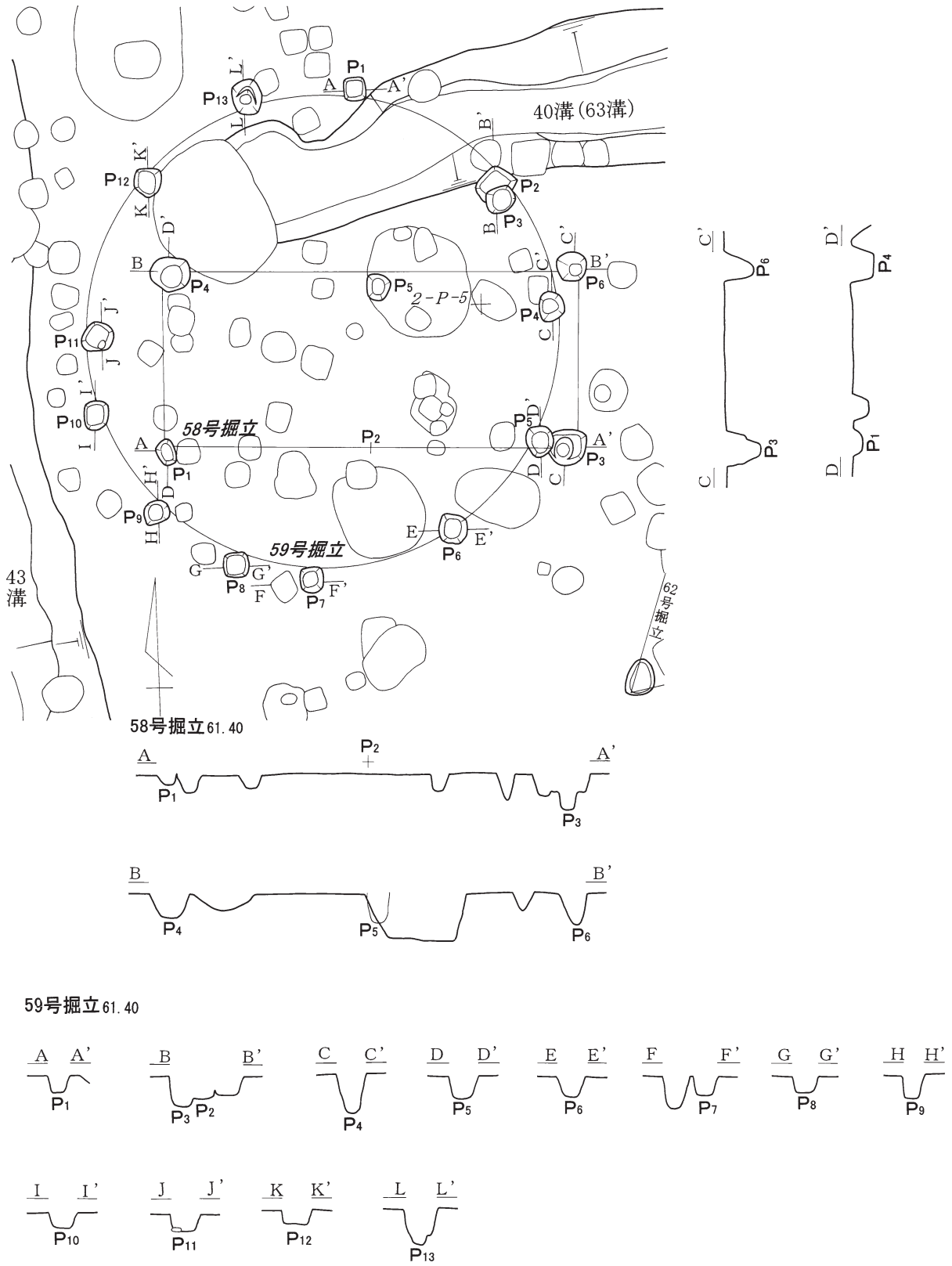
第117図 第54号掘立柱建物跡実測図 (1:60)

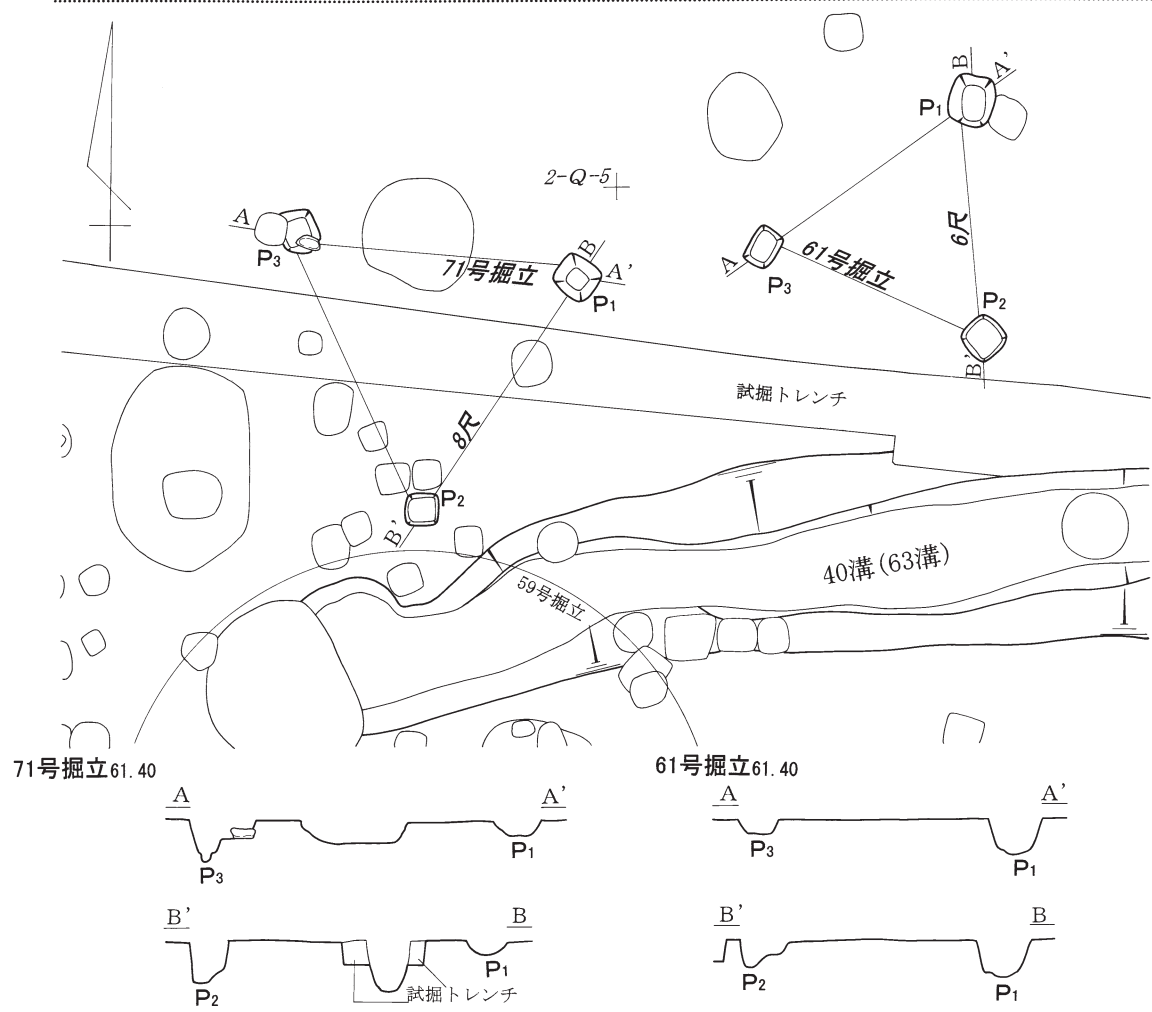
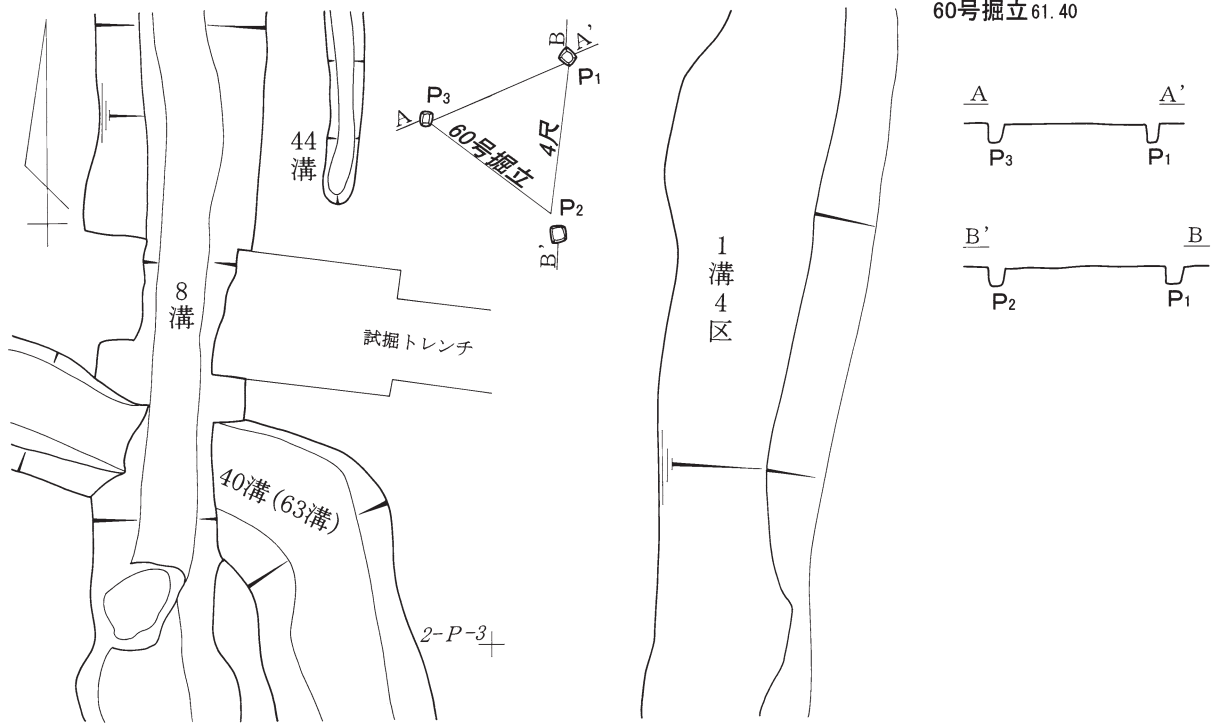


第118図 第55号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



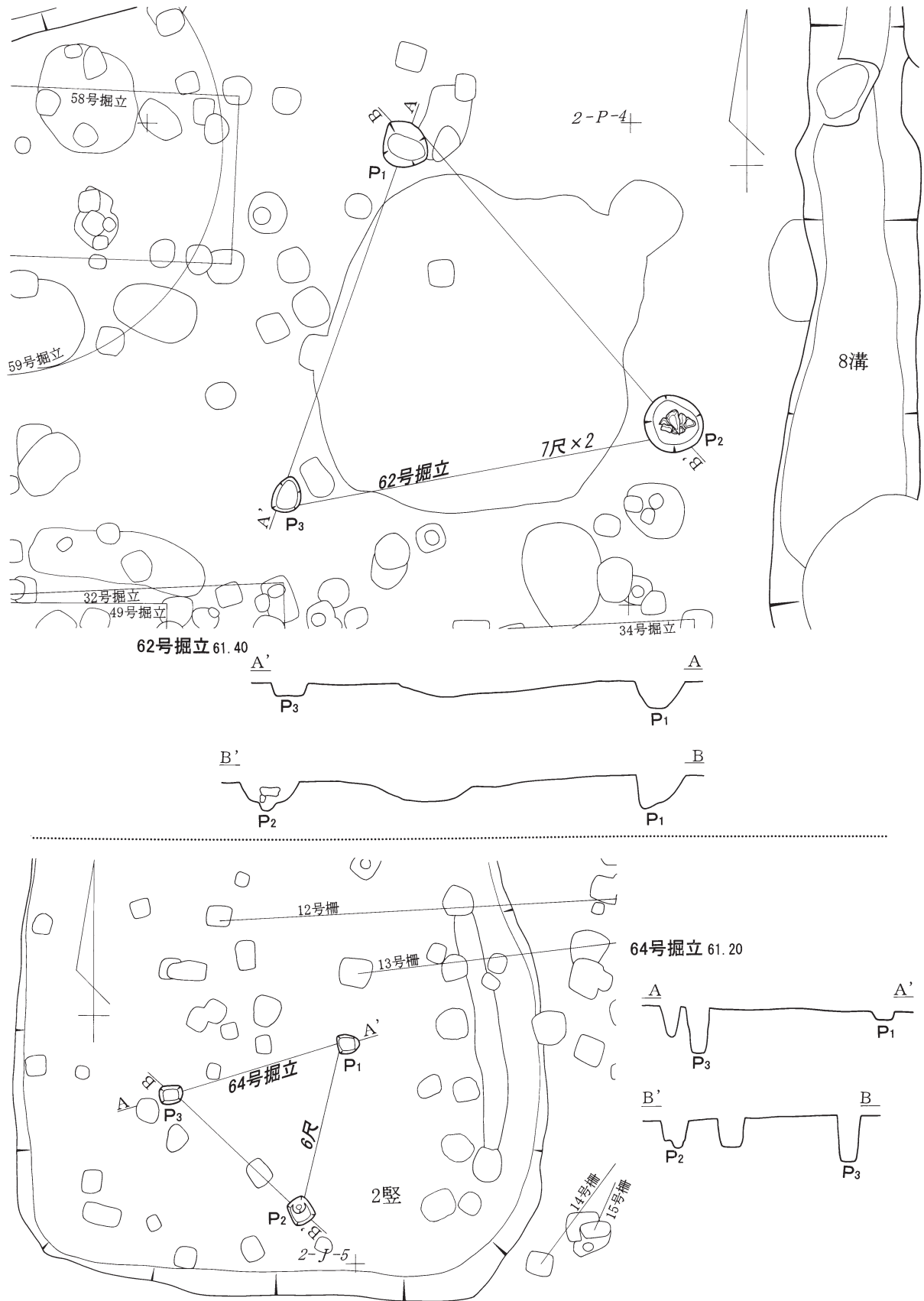
第119図 第56・57号掘立柱建物跡実測図 (1:60)



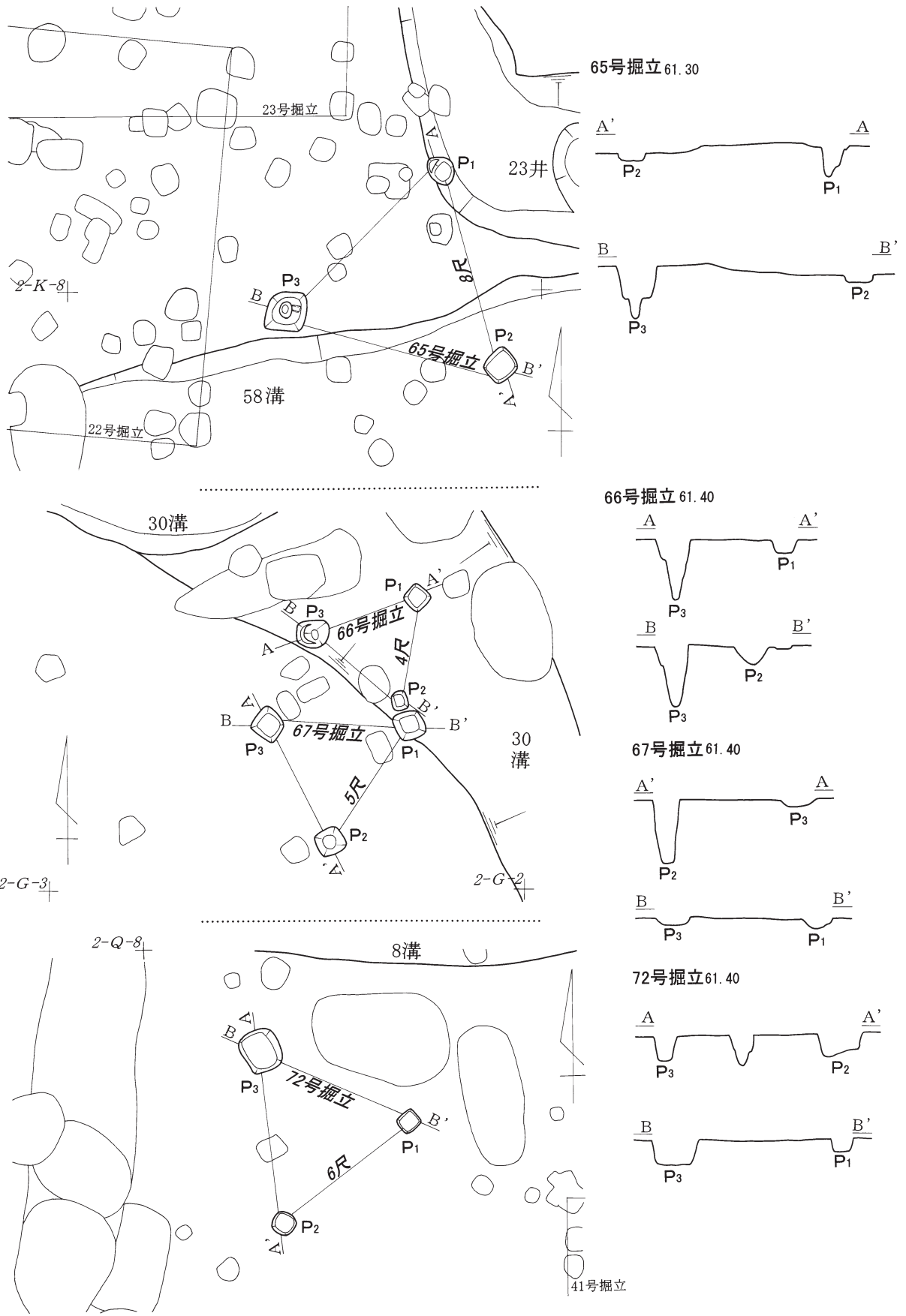


第121図 第60・61・71号掘立柱施設跡実測図 (1:60)

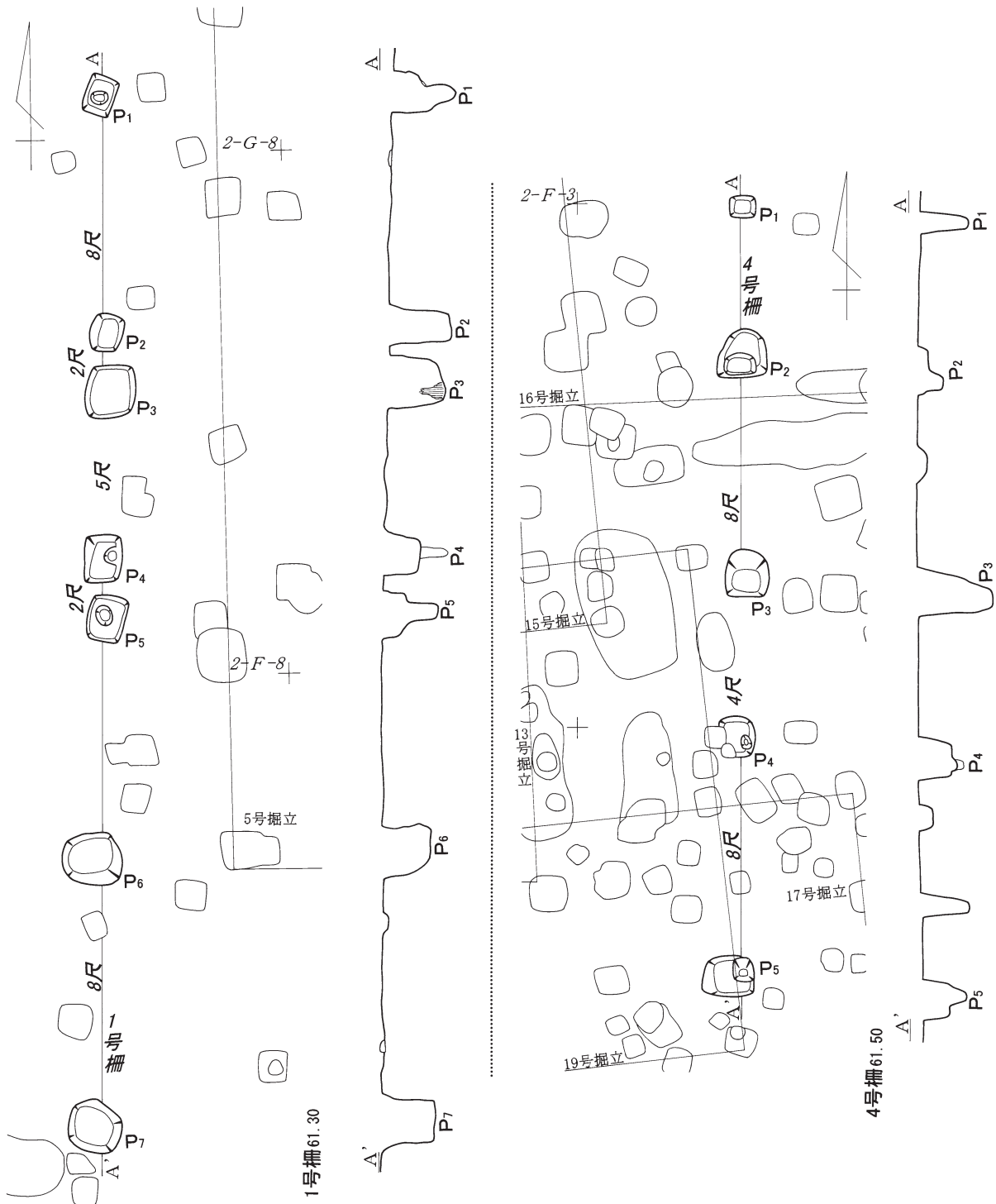
発見された遺構と出土遺物



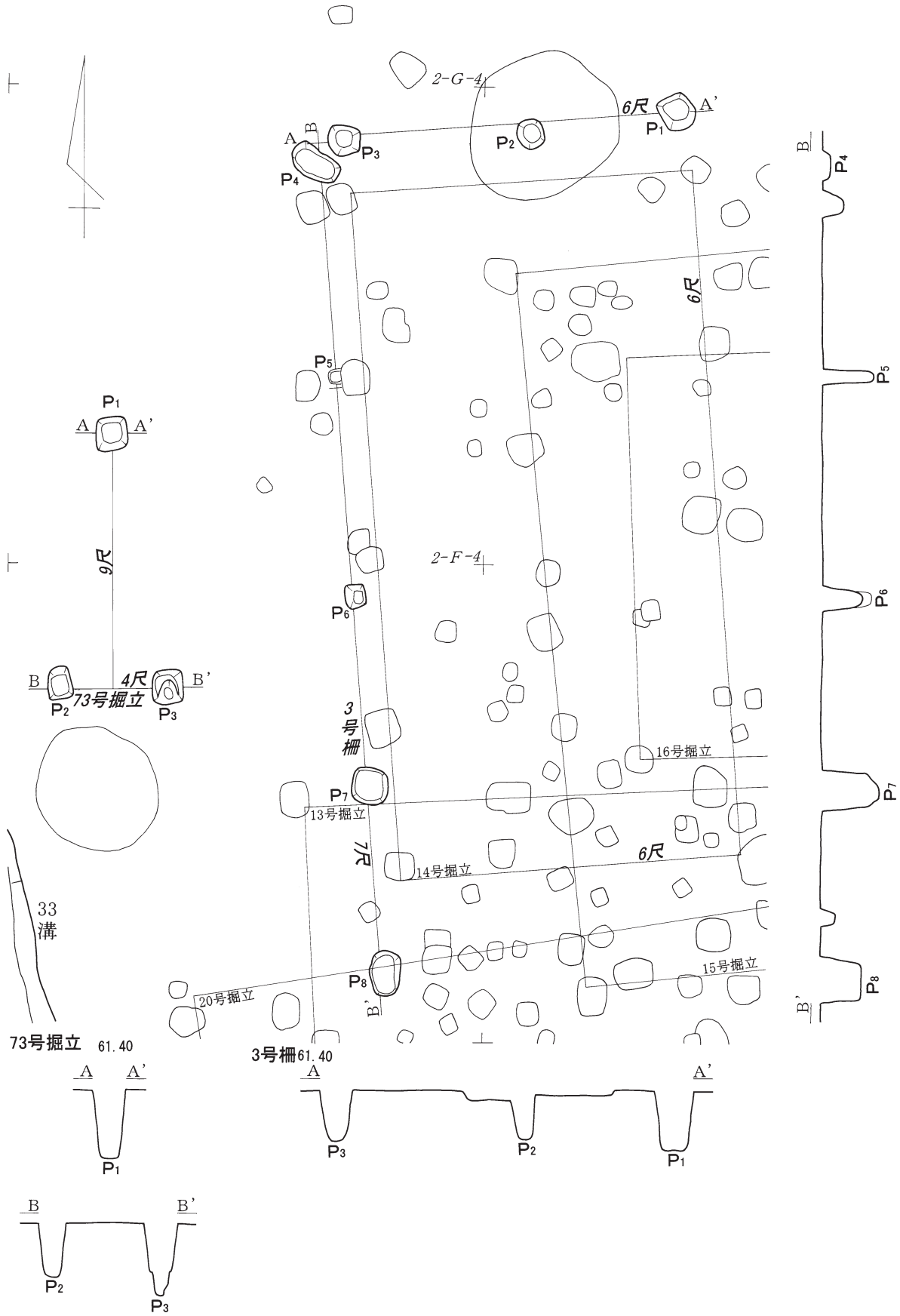
第122図 第62・64号掘立柱施設跡実測図 (1:60)



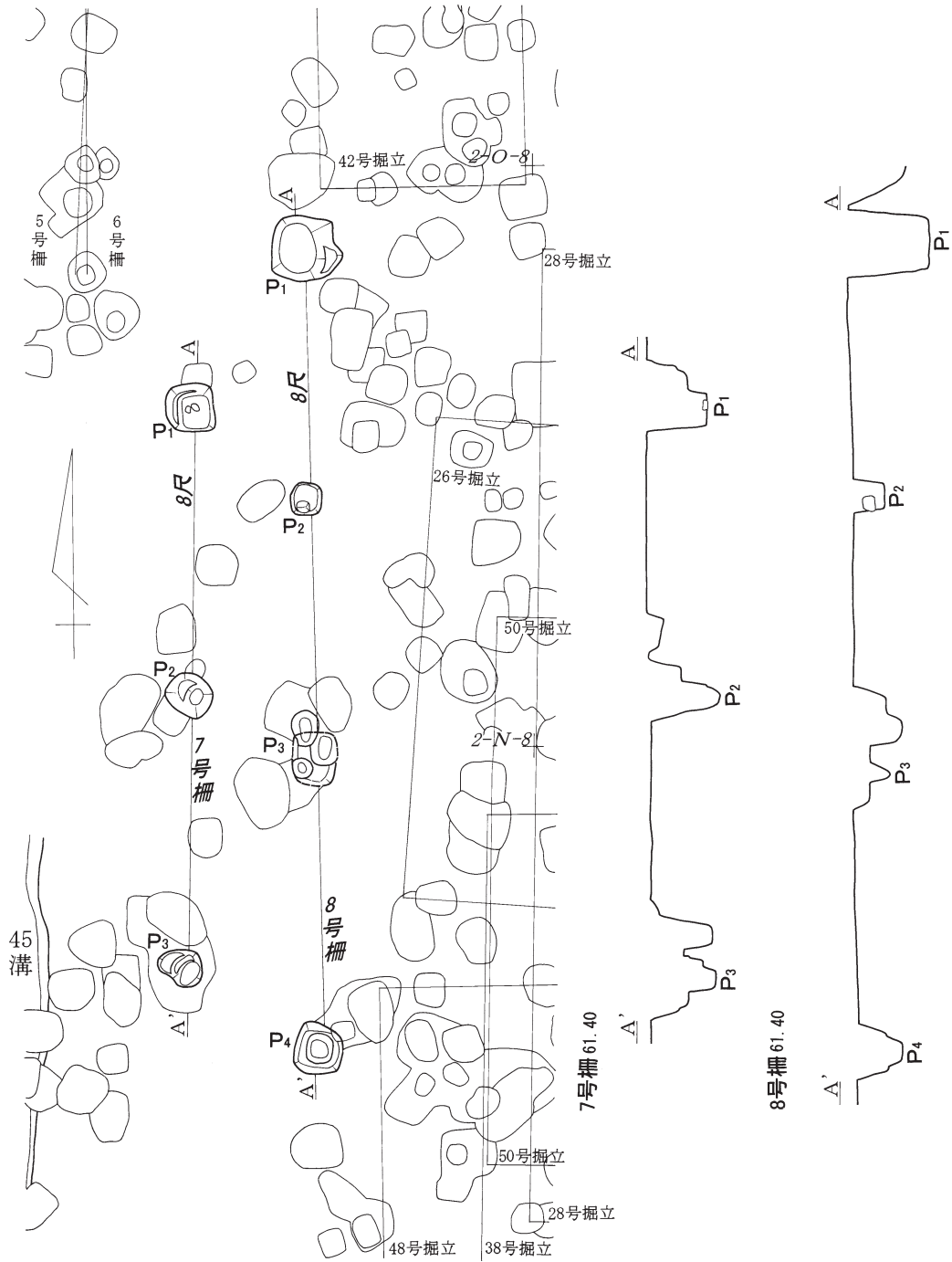
第123図 第65～67・72号掘立柱施設跡実測図 (1:60)



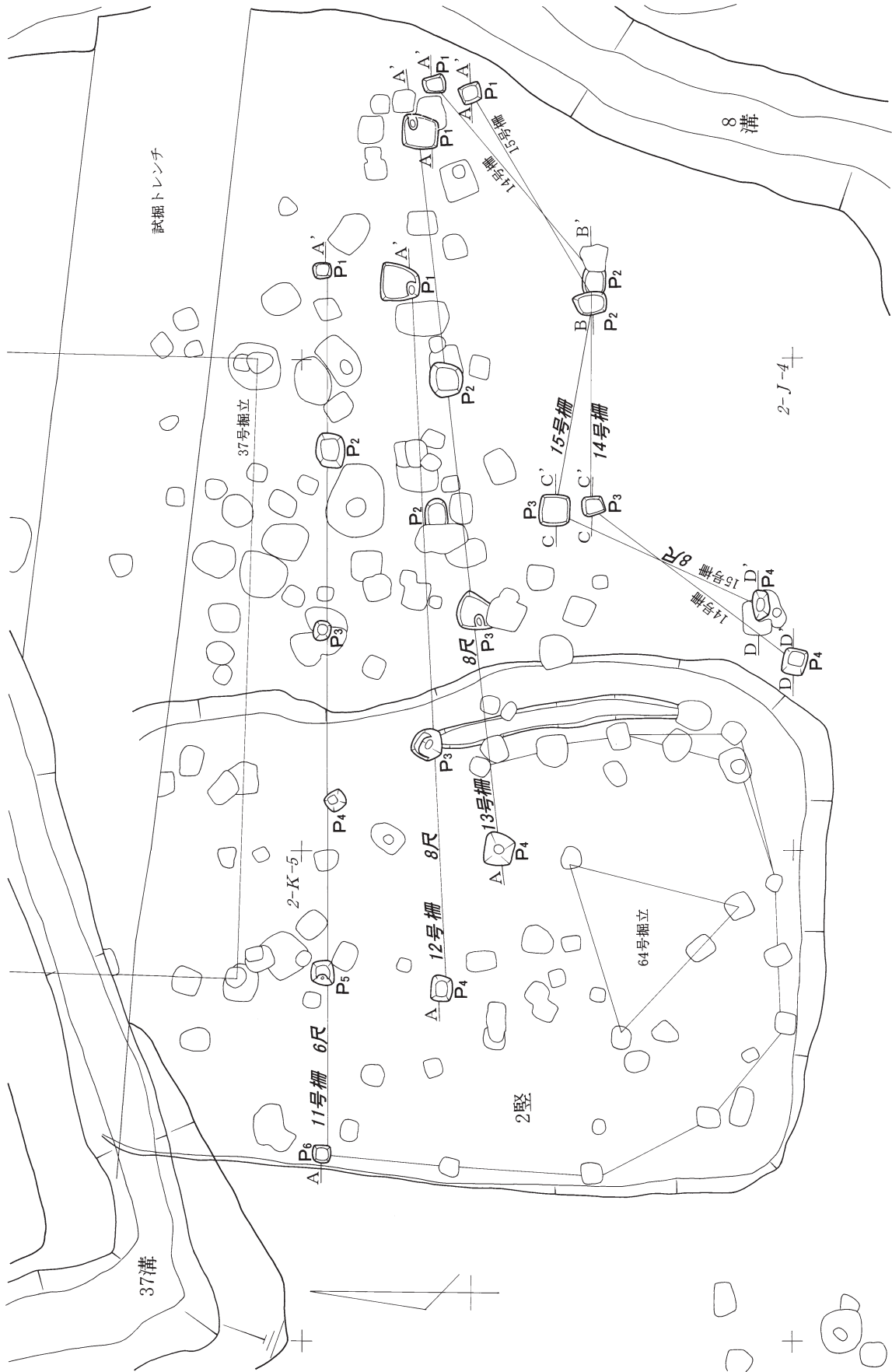
第124図 第1・4号柵跡実測図 (1:60)



第125図 第73号掘立柱施設跡・第3号柵跡実測図 (1:60)

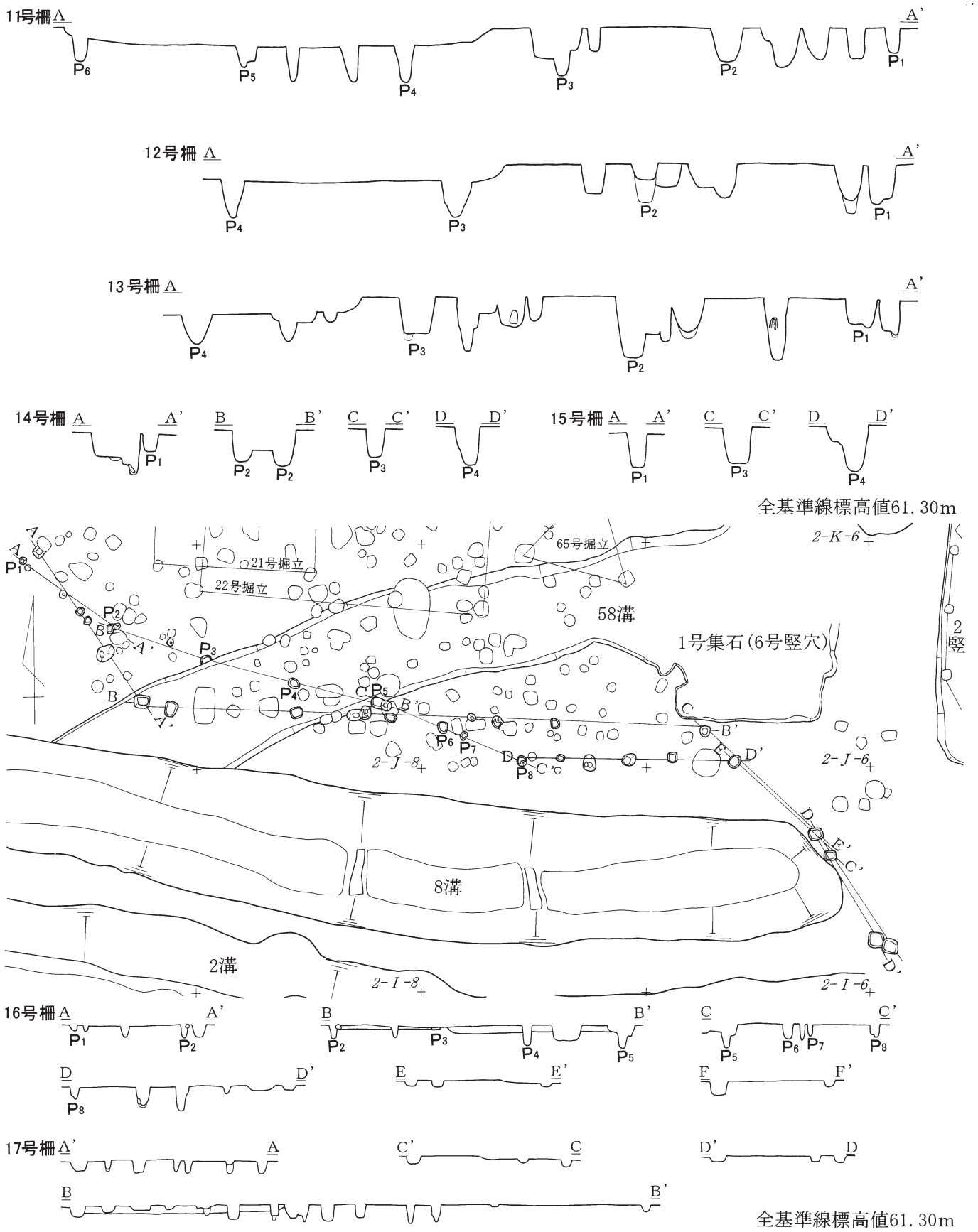


第126図 第7・8号柵跡実測図 (1:60)

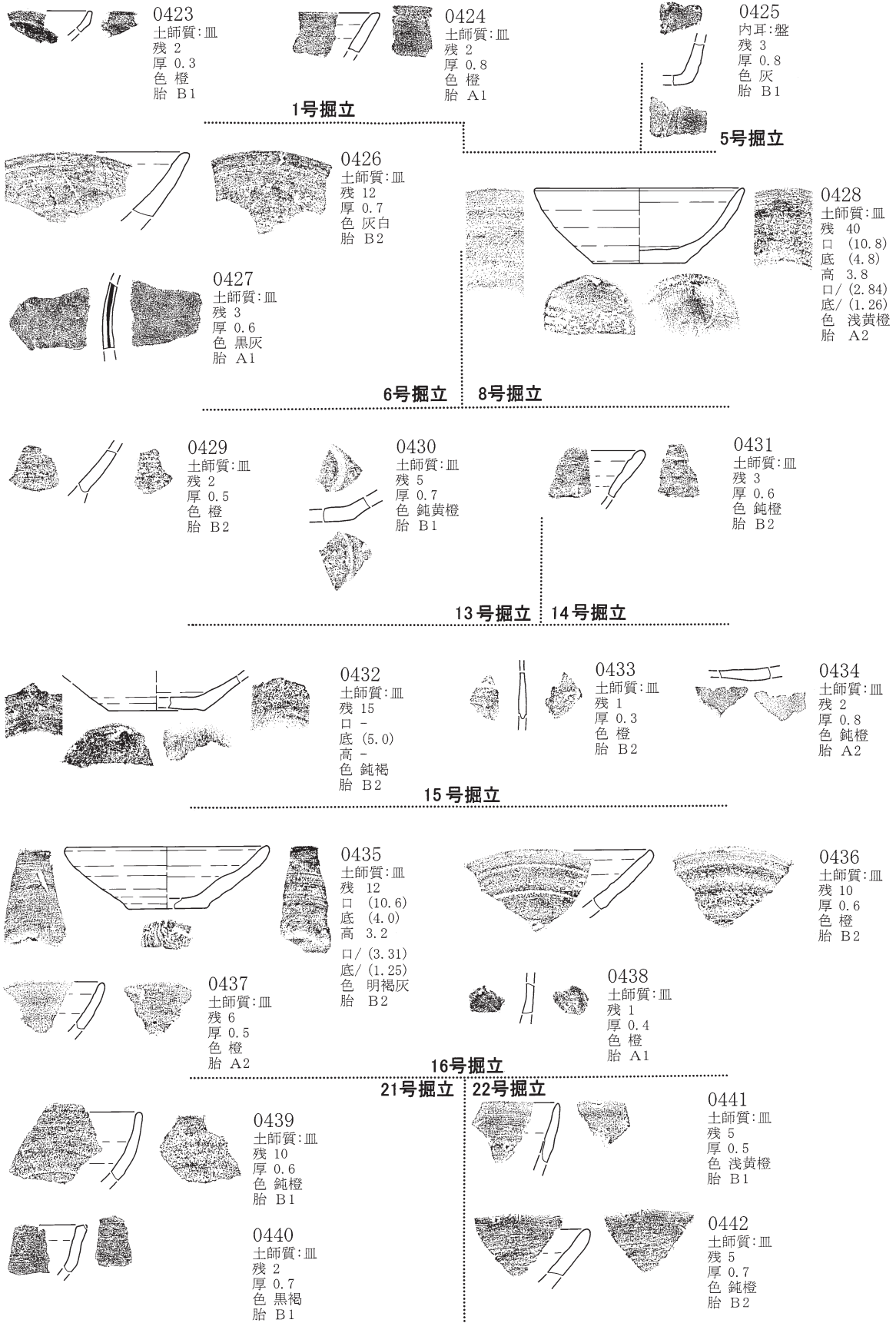


第127図 第11～15号柵跡実測図 1/2 (1:60)

発見された遺構と出土遺物



第128図 第11~15号柵跡実測図 2/2・第16・17号柵跡実測図 (1:60)

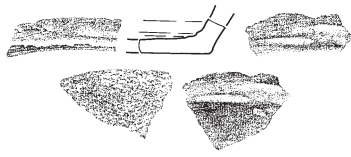


第129図 第1・5・6・8・13・14~16・21・22号掘立柱建物跡出土遺物実測図 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物



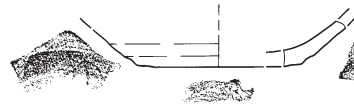
0443 厚 0.4
土師質:皿 色 鈍橙
残 2 胎 B1



0444 内耳:盤
残 3
厚 1.0
色 鈍褐
胎 A2

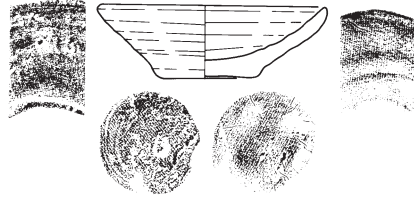


0452 土師質:皿
残 1
厚 0.6
色 橙
胎 B2

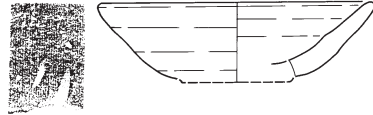


0453 土師質:皿
残 3
口 -
底 (6.6)
高 -
色 橙
胎 A1

23掘立 26掘立



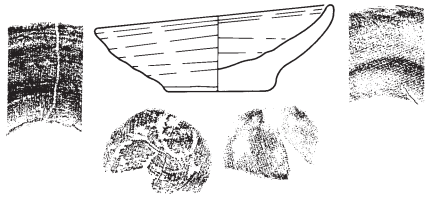
0445 土師質:皿
残 85
口 9.0
底 4.0
高 2.8
口/底 / 3.21
底/ 1.43
色 浅黄橙
胎 B1



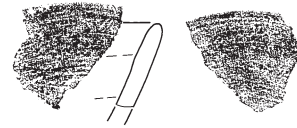
0454 土師質:皿
残 40
口 (11.0)
色 浅黄橙
胎 B2



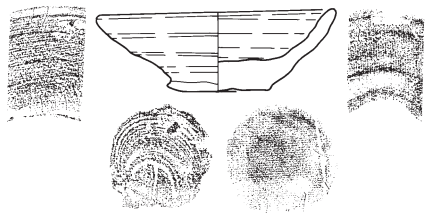
0455 土師質:皿
残 10
厚 0.5
色 橙
胎 B1



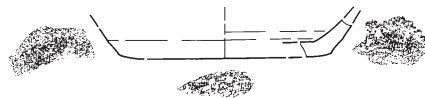
0446 土師質:皿
残 85
口 9.4
底 4.0
高 3.4
口/底 / 2.76
底/ 1.18
色 浅黄橙
胎 B1



0456 土師質:皿
残 10
厚 0.7
色 橙
胎 B2

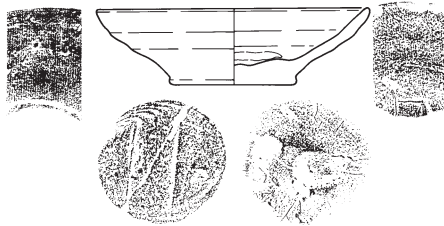


0447 土師質:皿
残 90
口 9.4
底 4.0
高 3.2
口/底 / 2.94
底/ 1.25
色 浅黄橙
胎 B2

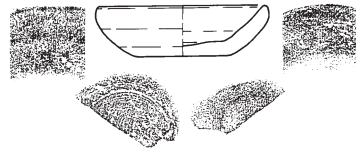


0457 土師質:皿
残 5
底 (8.4)
色 橙
胎 B2

27掘立

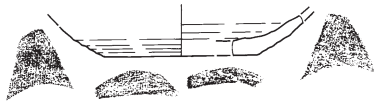


0448 土師質:皿
残 45
口 (10.8)
底 (5.0)
高 3.0
口/底 / (3.60)
底/ (1.67)
色 灰褐
胎 B2

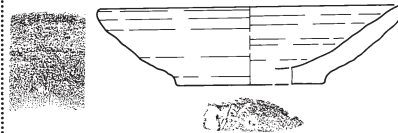


0458 土師質:皿
残 45
口 (6.8)
底 (4.0)
高 2.0
口/底 / (3.40)
底/ (2.00)
色 浅黄橙
胎 B2

28掘立

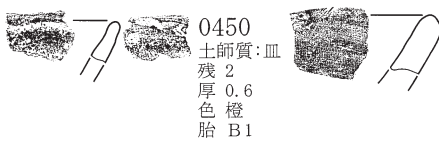


0449 土師質:皿
残 2
底 (6.2)
色 灰白
胎 B2

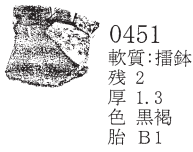


0459 土師質:皿
残 25
口 (12.2)
底 (5.8)
高 3.0
口/底 / (4.07)
底/ (1.93)
色 橙
胎 A1

24掘立 31掘立



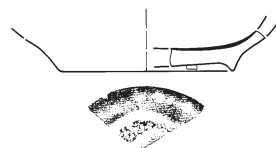
0450 土師質:皿
残 2
厚 0.6
色 橙
胎 B1



0451 軟質:播鉢
残 2
厚 1.3
色 黒褐
胎 B1



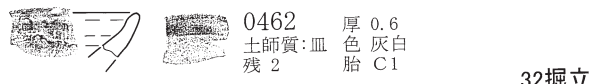
0460 土師質:皿
残 1
厚 0.5
色 橙
胎 B2



0461 土師質:皿
残 15
底 (7.0)
色 白灰
胎 B1

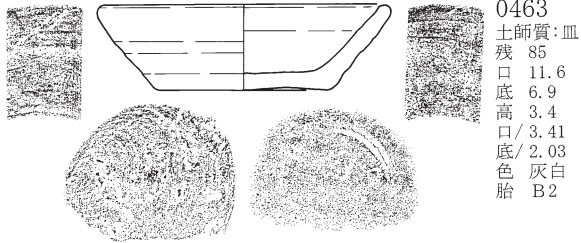
第130図 第23・24・26~28・31号掘立柱建物跡出土遺物実測図 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物



0462 厚 0.6
土師質:皿 色 灰白
残 2 胎 C1

32掘立



0463 土師質:皿
残 85
口 11.6
底 6.9
高 3.4
口/底 3.41
底/口 2.03
色 灰白
胎 B2



0464 厚 0.5
土師質:皿 色 橙
残 3 胎 B1

33掘立



0465 厚 0.5
土師質:皿 色 灰白
残 8 胎 B1

34掘立



0466 厚 0.3
土師質:皿 色 浅黄橙
残 5 胎 B2



0467 厚 0.5
土師質:皿 色 橙
残 5 胎 B2



0468 厚 0.7
内耳:盤 色 黑灰
残 1 胎 B1

35掘立

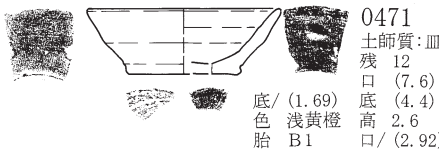


0469 厚 0.9
土師質:皿 色 黑灰
残 1 胎 A1



0470 内耳:盤
残 3
厚 0.9
色 黑灰
胎 A1
底 砂目

36掘立



0471 土師質:皿
残 12
口 (7.6)
底 (1.69)
色 浅黄橙
胎 B1
底/口 (4.4)
高 2.6
口/(2.92)



0472 土師質:皿
残 5
厚 0.5
色 橙
胎 B2



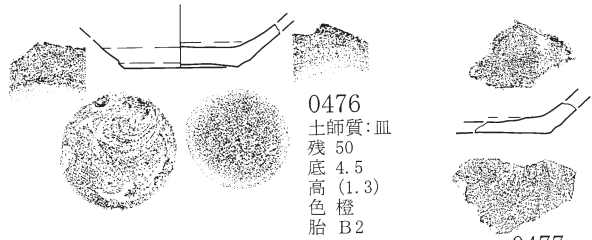
0473 土師質:皿
残 50
底 3.8
高 (0.9)
色 灰
胎 B2

38掘立 58掘立



0474 土師質:皿
残 15
厚 0.6
色 浅黄橙
胎 B1

39掘立



0476 土師質:皿
残 50
底 4.5
高 (1.3)
色 橙
胎 B2



0475 内耳:盤
残 2
厚 0.8
色 灰褐
胎 A2

0477

土師質:皿
残 15
厚 0.6
色 橙
胎 B2

45掘立



0478 土師質:皿
残 10
厚 0.6
色 橙
胎 B2

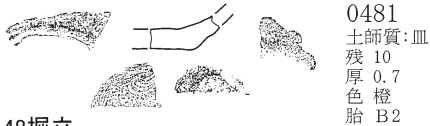


0479 厚 0.6
土師質:皿 色 橙
残 10 胎 B2



0480 土師質:皿
残 2
厚 0.6
色 黑褐
胎 A1

46掘立



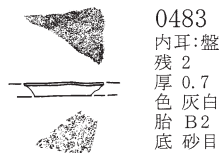
0481 土師質:皿
残 10
厚 0.7
色 橙
胎 B2

48掘立



0482 土師質:皿
残 10
厚 0.5
色 淡黄
胎 B2

49掘立



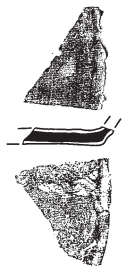
0483 内耳:盤
残 2
厚 0.7
色 灰白
胎 B2
底 砂目

第131図 第32~36・38・39・45・46・48・49・58号掘立柱建物跡出土遺物実測図 (1:3・1:4)

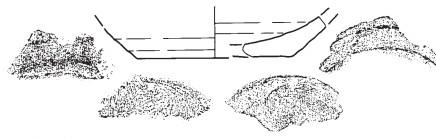
発見された遺構と出土遺物



0484
土師質:皿
残 8
厚 0.7
色 灰白
胎 B2

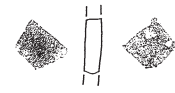


0485
内耳:盤
残 2
厚 0.8
色 黄灰
胎 B1



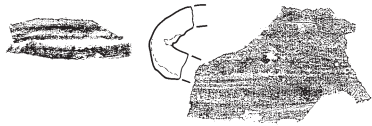
0495
土師質:皿
残 15
底 (6.0)
色 橙
胎 B2

68掘立



0496
内耳:鍋
残 1
厚 0.9
色 灰
胎 B1

1柵



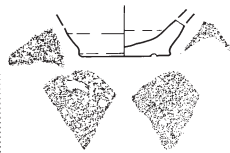
0486
焼締陶:甕
残 5
厚 1.6
色 灰
産 渥美



0497
土師質:皿
残 10
厚 0.9
色 鈍黄橙
胎 A2



0487
土師質:皿
残 8
厚 0.6
色 鈍橙
胎 B2



0498
土師質:皿
残 15
底 (3.6)
色 黒褐
胎 B2

52掘立



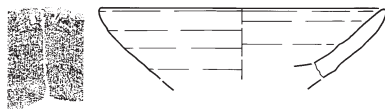
0488
土師質:皿
残 3
厚 0.7
色 灰
胎 B1



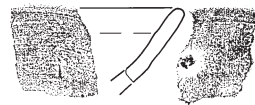
0489
内耳:壺
残 5
厚 1.1
色 灰黄
胎 B2

8柵

54掘立



0490
土師質:皿
残 2
口 (11.4)
色 橙
胎 A2



0491
土師質:皿
残 10
厚 0.6
色 鈍橙
胎 B2



0492
土師質:皿
残 5
厚 0.5
色 橙
胎 A2



0493
内耳:鍋
残 1
厚 0.8
色 鈍黄褐
胎 B2

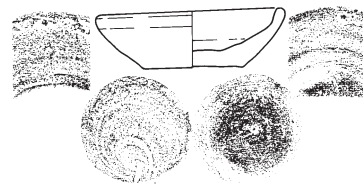
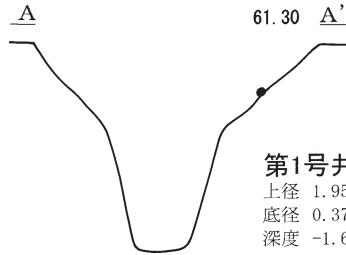
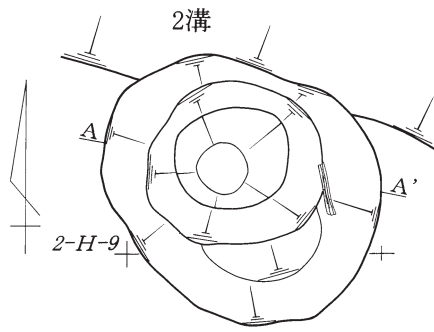
55掘立



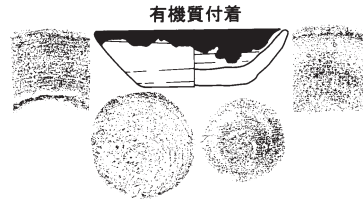
0494
内耳:盤
残 2
厚 0.8
色 灰
胎 B2

56掘立

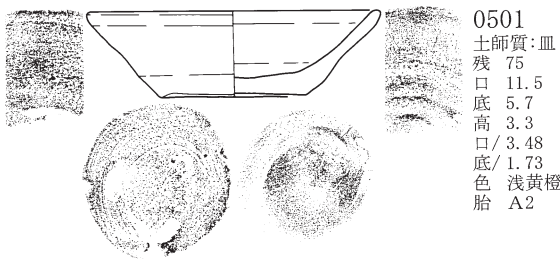
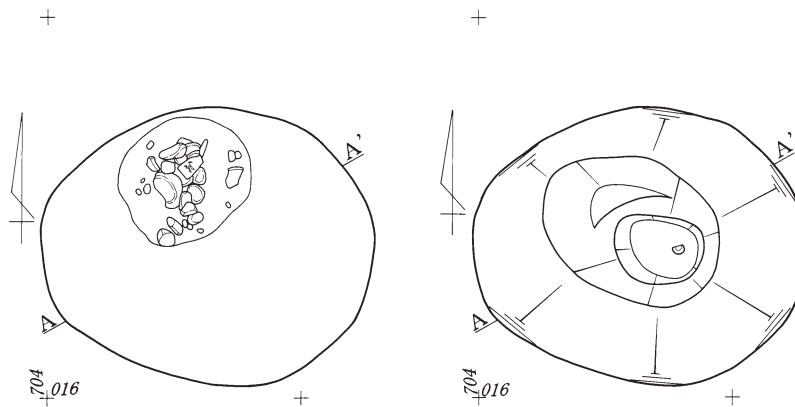
第132図 第51・52・54～56・68号掘立柱建物跡・第1・8号柵跡出土遺物実測図(1:3・1:4)



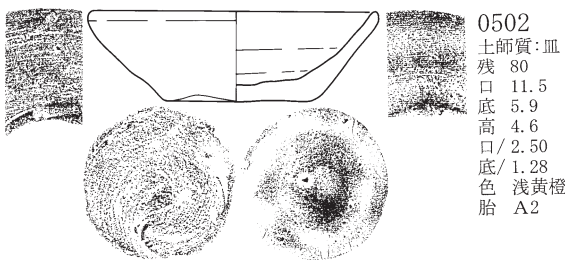
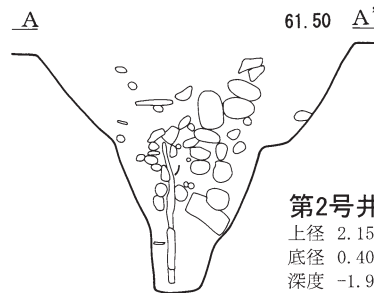
0499
 土師質:皿
 残 90
 口 7.3
 底 4.0
 高 2.2
 口/3.32
 底/1.82
 色 黄橙
 胎 B1



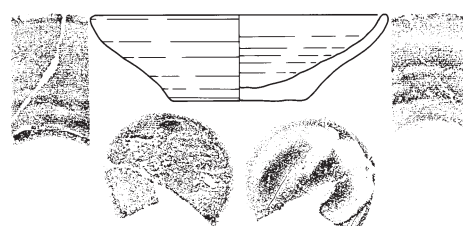
0500
 土師質:皿
 残 95
 口 7.6
 底 4.1
 高 2.3
 口/3.30
 底/1.78
 色 橙
 胎 B1



0501
 土師質:皿
 残 75
 口 11.5
 底 5.7
 高 3.3
 口/3.48
 底/1.73
 色 浅黄橙
 胎 A2



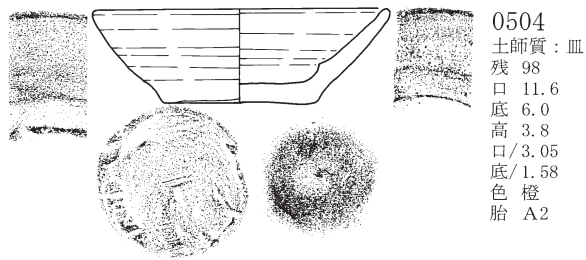
0502
 土師質:皿
 残 80
 口 11.5
 底 5.9
 高 4.6
 口/2.50
 底/1.28
 色 浅黄橙
 胎 A2



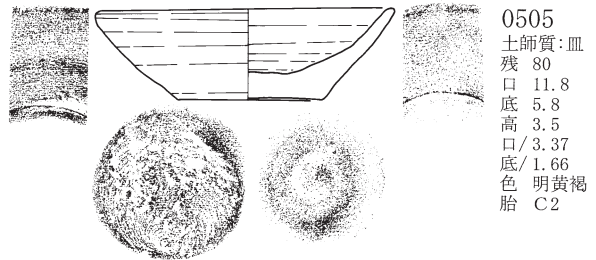
0503
 残 70
 口 11.6
 底 5.0
 高 3.4
 口/3.41
 底/1.47
 色 橙
 胎 C2

第133図 第1・2号井戸跡 (1:60)・出土遺物実測図 (1:3)

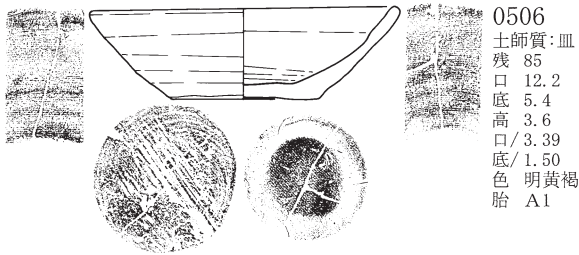
発見された遺構と出土遺物



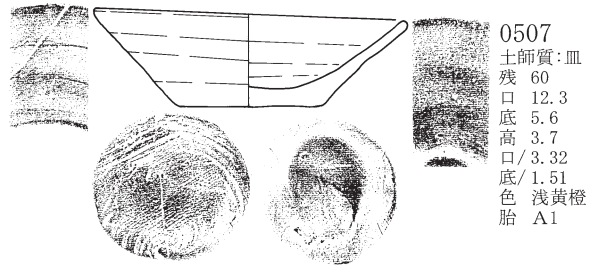
0504
土師質：皿
残 98
口 11.6
底 6.0
高 3.8
口/3.05
底/1.58
色 橙
胎 A2



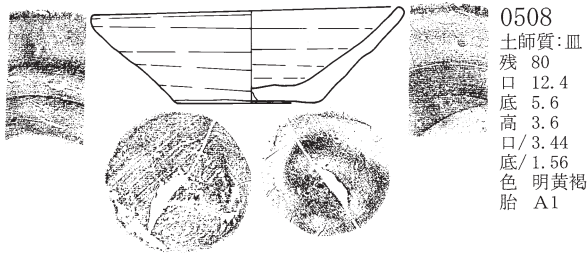
0505
土師質：皿
残 80
口 11.8
底 5.8
高 3.5
口/3.37
底/1.66
色 明黄褐
胎 C2



0506
土師質：皿
残 85
口 12.2
底 5.4
高 3.6
口/3.39
底/1.50
色 明黄褐
胎 A1



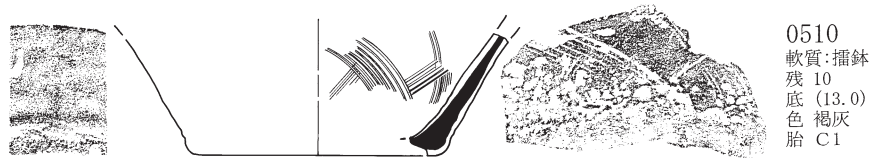
0507
土師質：皿
残 60
口 12.3
底 5.6
高 3.7
口/3.32
底/1.51
色 浅黄橙
胎 A1



0508
土師質：皿
残 80
口 12.4
底 5.6
高 3.6
口/3.44
底/1.56
色 明黄褐
胎 A1

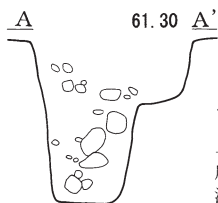
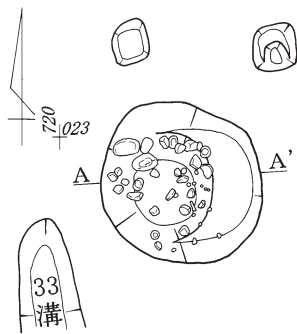


0509
内耳：盤
残 1
色 浅黄橙
胎 C1
耳 B類



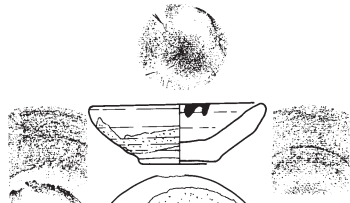
0510
軟質：挿鉢
残 10
底 (13.0)
色 褐灰
胎 C1

2号井戸



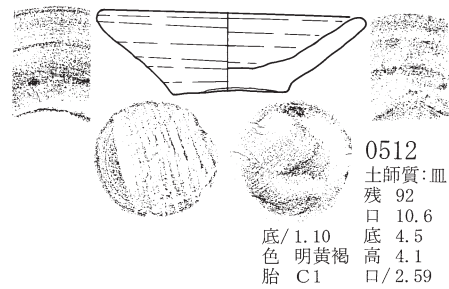
第3号井戸跡

上径 2.15~2.60m
底径 0.40~0.60m
深度 -1.98m

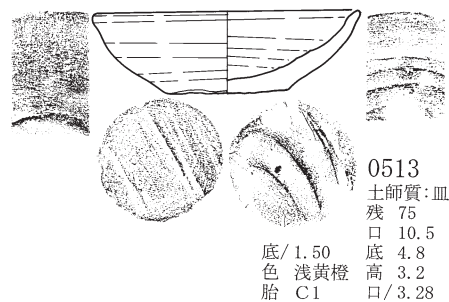


0511
土師質：皿
残 99
口 7.0
底 3.1
高 2.3
口/3.04
底/1.35
色 明褐
胎 B1

焼成時の直被熱の範囲



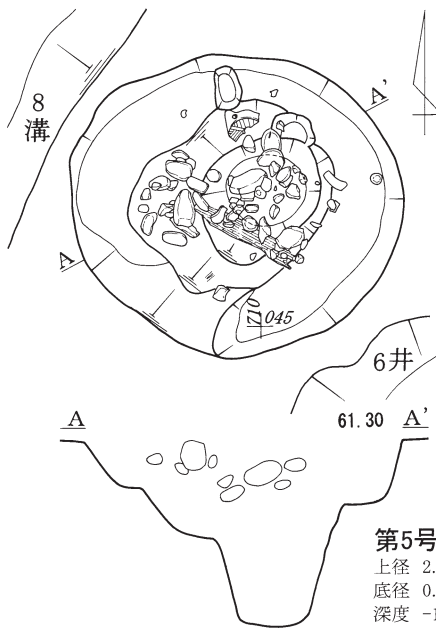
0512
土師質：皿
残 92
口 10.6
底 4.5
高 4.1
口/2.59
底/1.10
色 明黄褐
胎 C1



0513
土師質：皿
残 75
口 10.5
底 4.8
高 3.2
口/3.28
底/1.50
色 浅黄橙
胎 C1

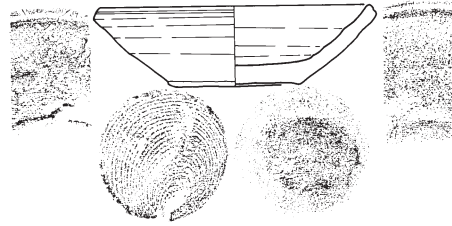
第134図 第2号井戸跡出土遺物実測図 (1:3・1:4)・第3号井戸跡 (1:60)・出土遺物実測図 (1:3)

発見された遺構と出土遺物



第5号井戸跡

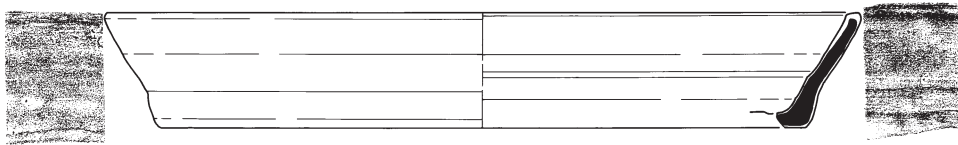
上径 2.50~2.62m
底径 0.58~0.62m
深度 -1.88



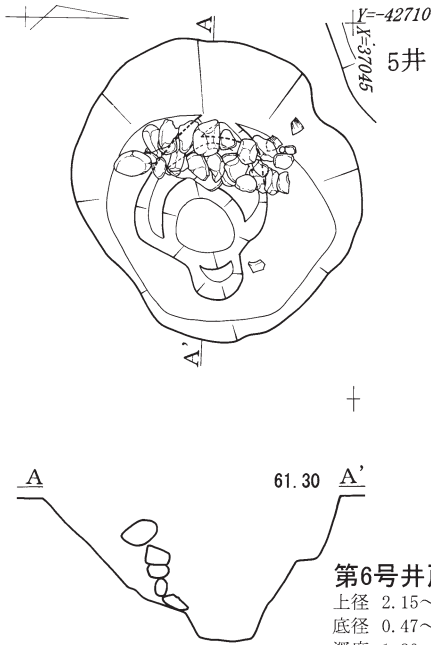
0514
土師質:皿
残 85
口 10.2
底高 5.1
口高 3.2
口/底 3.19
底/胎 1.59
色 橙
胎 B2



0515
土師質:皿
残 70
口 6.7
底高 3.6
口高 2.4
口/底 2.79
底/胎 1.50
色 灰黄
胎 B1

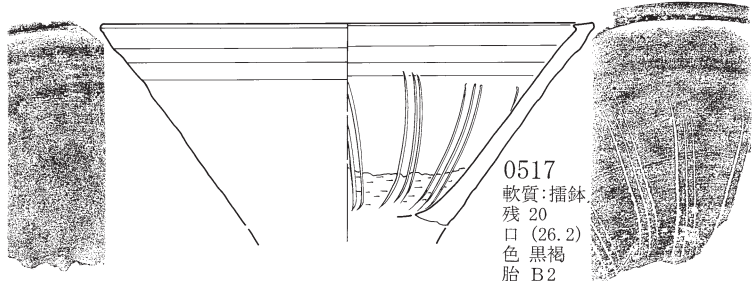


0516
内耳:盤
残 10
口 (40.0)
底 (34.2)
高 6.1
色 黒褐
胎 B1

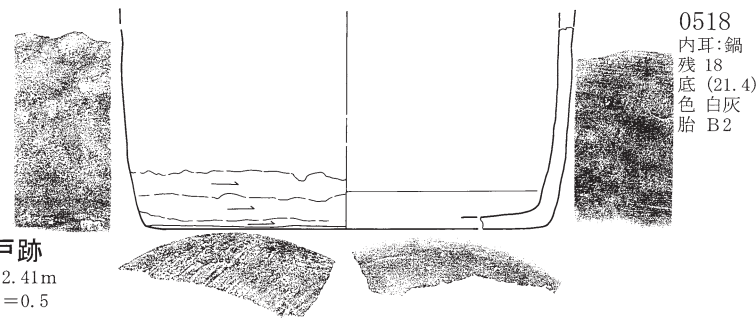


第6号井戸跡

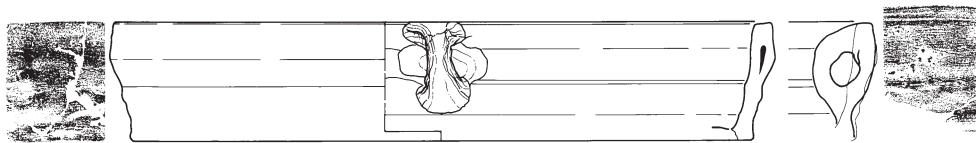
上径 2.15~2.41m
底径 0.47~0.5
深度 1.20



0517
軟質:播鉢
残 20
口 (26.2)
色 黒褐
胎 B2



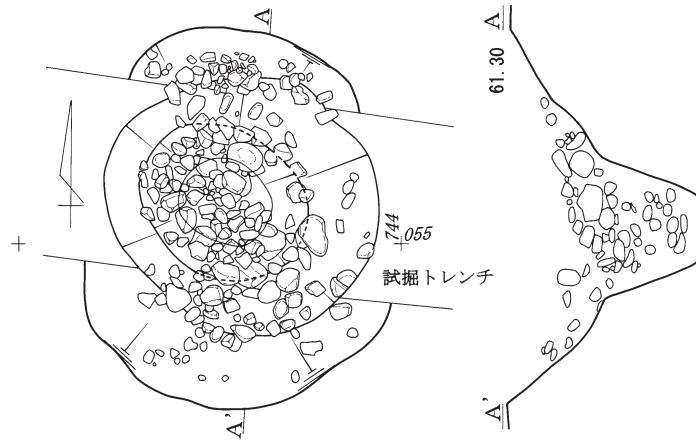
0518
内耳:鍋
残 18
底 (21.4)
色 白灰
胎 B2



0519
内耳:盤
残 10
口 (35.2)
底 (33.0)
高 6.3
色 黒灰
胎 C1

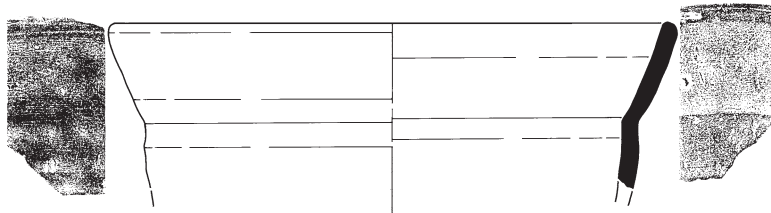
第135図 第5・6号井戸跡 (1:60)・出土遺物実測図 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物

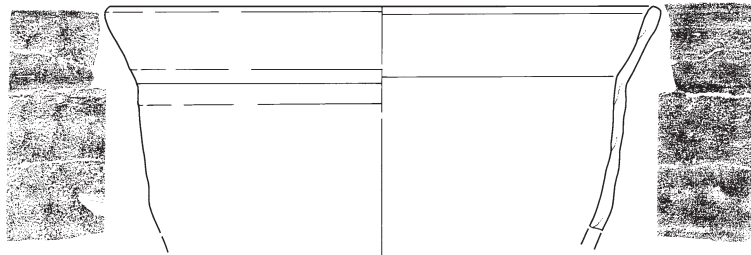


第7号井戸跡
 上径 2.20~3.00m
 底径 0.64~0.74m
 深度 -1.76m

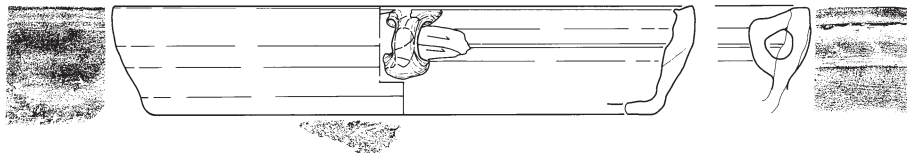
0520
 内耳: 鍋
 残 5
 口 (30.0)
 底色 黒褐
 胎 A1



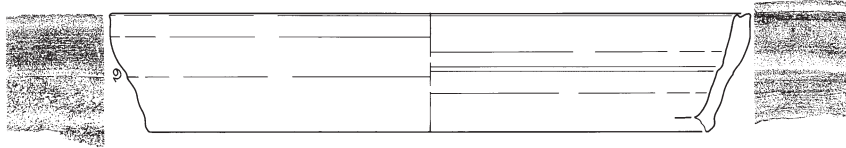
0521
 内耳: 鍋
 残 5
 口 (29.4)
 頸色 黒褐
 胎 B2



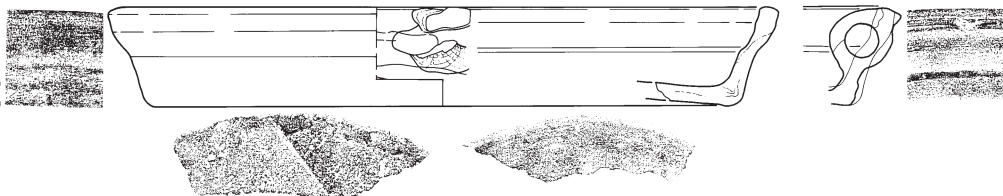
0522
 内耳: 盤
 残 10
 口 (30.8)
 底高 5.7
 底色 黒褐
 胎 B1
 耳 C類



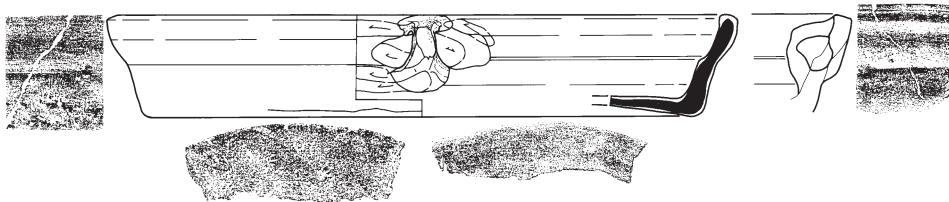
0523
 内耳: 盤
 残 5
 口 (33.8)
 底高 29.6
 高 6.3
 底色 明黄褐
 胎 B2



0524
 内耳: 盤
 残 12
 口 (35.4)
 底高 30.4
 高 5.2
 底色 黒褐
 胎 A1
 耳 C類

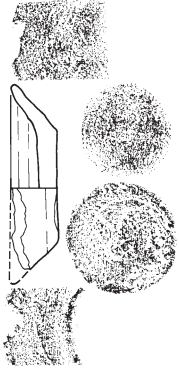


0525
 内耳: 盤
 残 10
 口 (33.0)
 底高 29.8
 高 5.4
 底色 褐灰
 胎 A2
 耳 C類

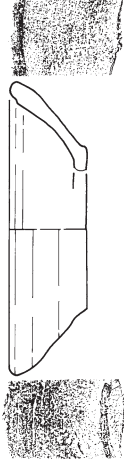


第136図 第7号井戸跡 (1:60)・出土遺物実測図 (1:3・1:4)

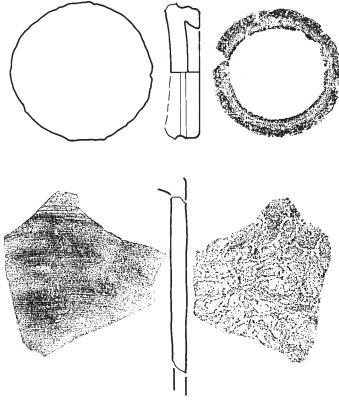
0527
土師質：皿
残口 97 (7.9)
底高 4.5
口底高 1.9
底/口 (4.16)
色 黒褐
胎 B2



0528
土師質：皿
残口 25 (11.6)
底高 3.1
口底高 (3.74)
底/口 (2.06)
色 浅黄橙
胎 B2



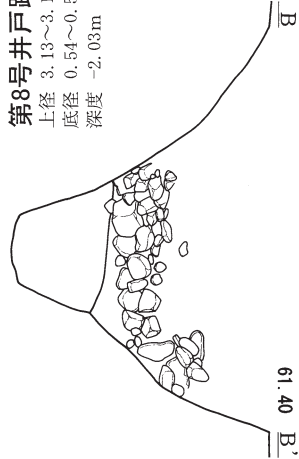
0529
陶器：皿
残口 20 (10.0)
色 白灰
釉 柿釉
産 美濃か、



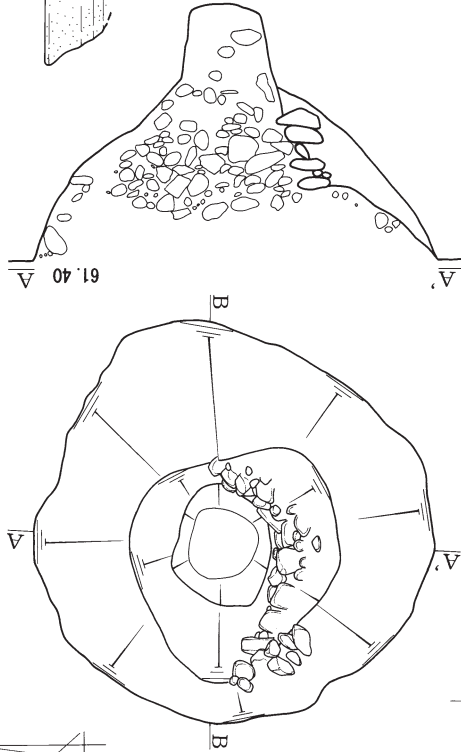
0532
内耳：盤
残厚 3
厚 0.8
色 暗褐
胎 C1
底 縮目

0533
陶器：皿
残口 10 (6.5)
底高 (6.5)
色 白灰
釉 灰釉
産 瀬戸

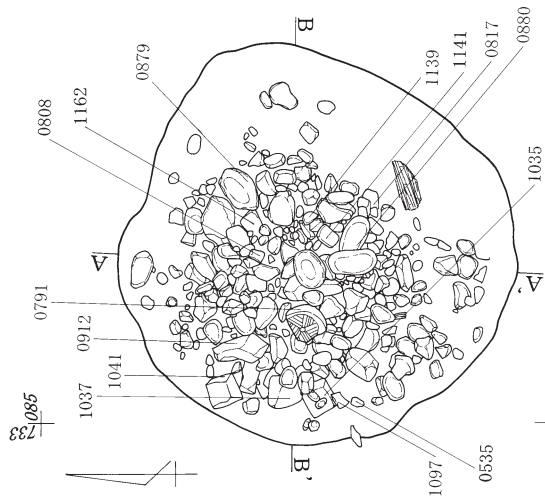
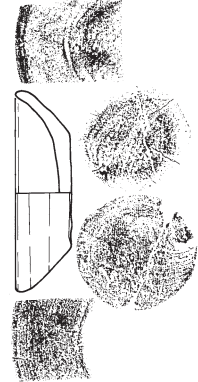
第8号井戸跡
上径 3.13~3.18m
底径 0.54~0.56m
深度 -2.03m



0885
733



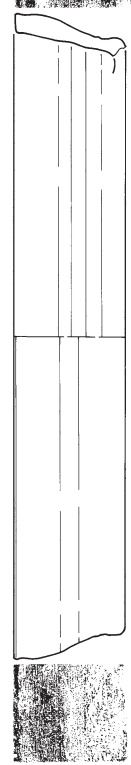
0526
土師質：皿
残口 95
底高 7.9
口底高 4.6
底/口 (2.2)
底/口 (3.59)
色 浅黄橙
胎 C1



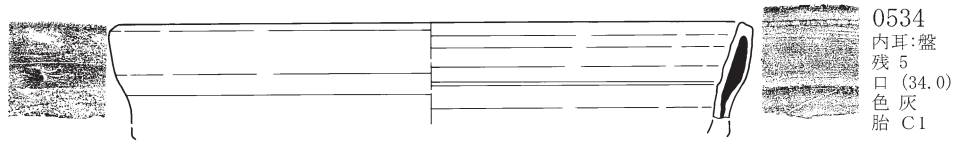
0530
内耳：盤
残口 5 (35.2)
底高 (33.2)
高 5.8
色 黒褐
胎 B1
耳 B類



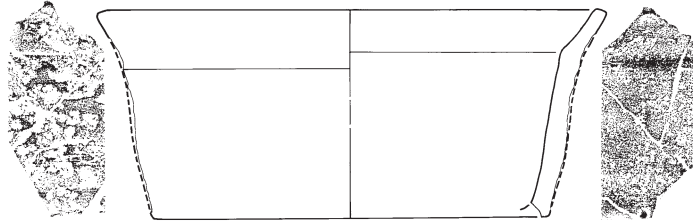
0531
内耳：盤
残口 5 (34.0)
底高 (31.4)
高 5.8
色 黒褐
胎 C1



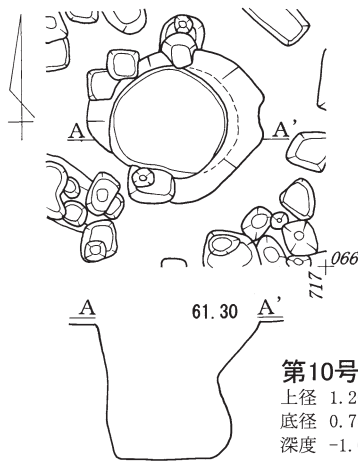
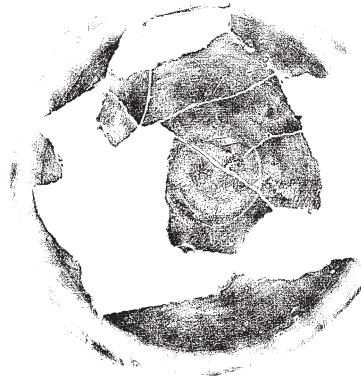
第137図 第8号井戸跡 (1:60)・出土遺物実測図 1/2 (1:3・1:4)



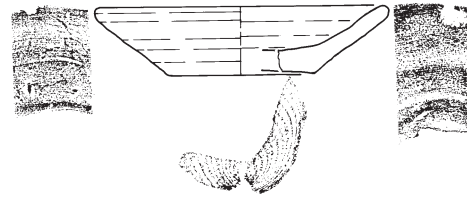
0534
内耳:盤
残 5
口 (34.0)
色 灰
胎 C1



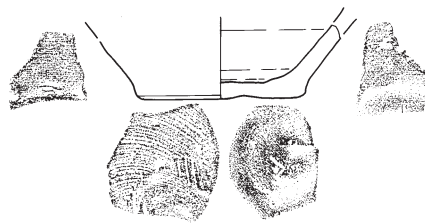
0535
内耳:鍋
残 70
口 (26.8)
底 21.0
高 11.0
色 黒褐
胎 C1



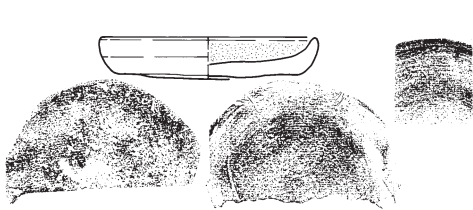
第10号井戸跡
上径 1.20~1.40m
底径 0.76m
深度 -1.07m



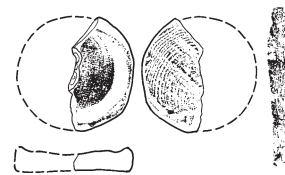
0537
土師質:皿
残 45
口 (11.6)
底 (5.6)
高 2.7
口/ (4.30)
底/ (2.07)
色 浅黄橙
胎 B2



0538
土師質:皿
残 15
底 (6.6)
色 浅黄橙
胎 C1

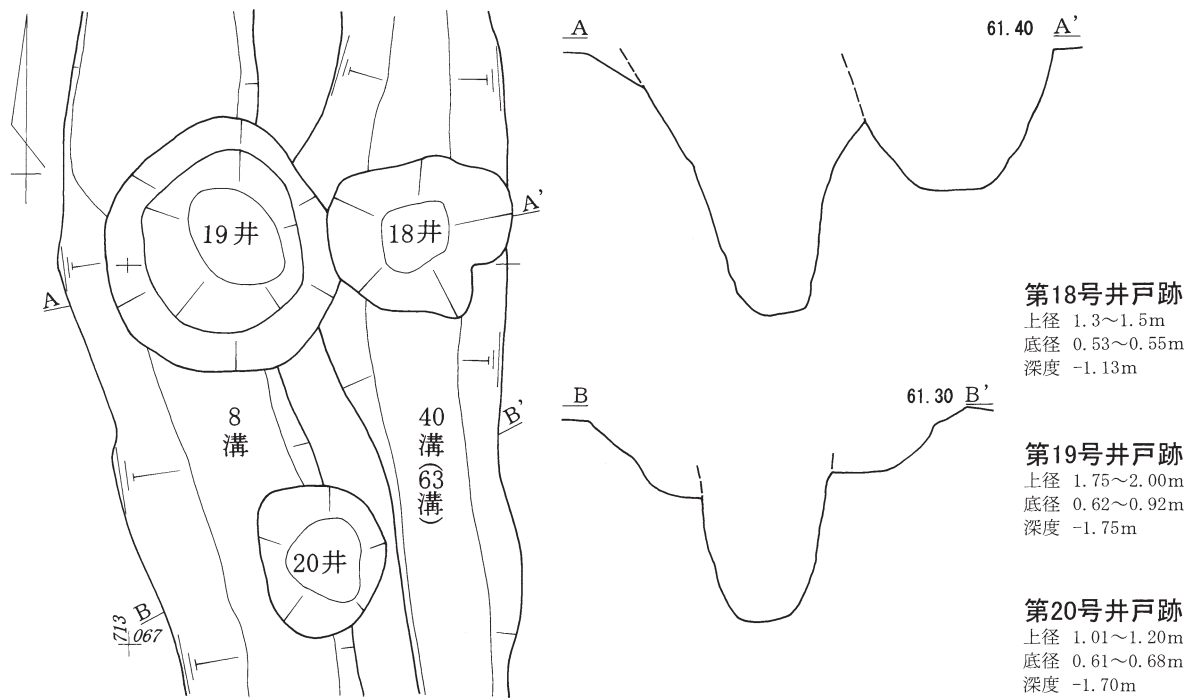
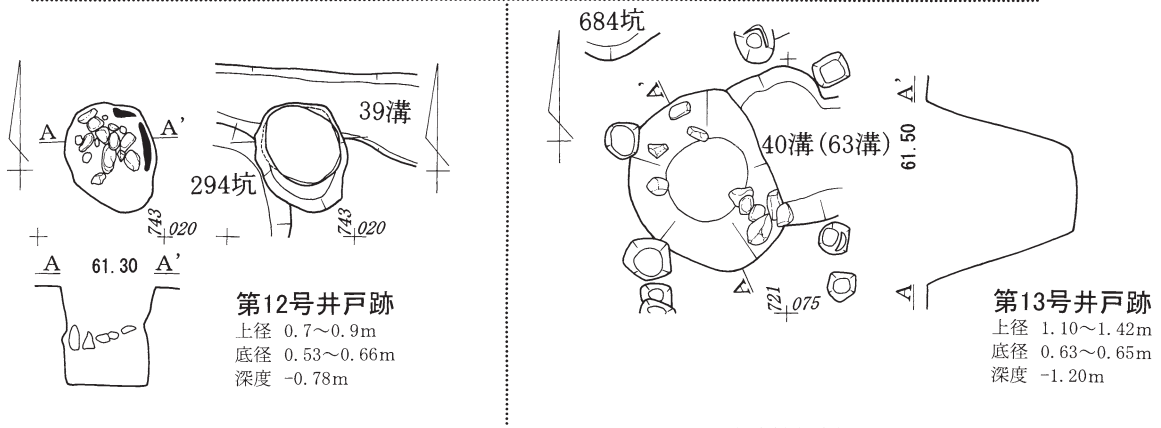
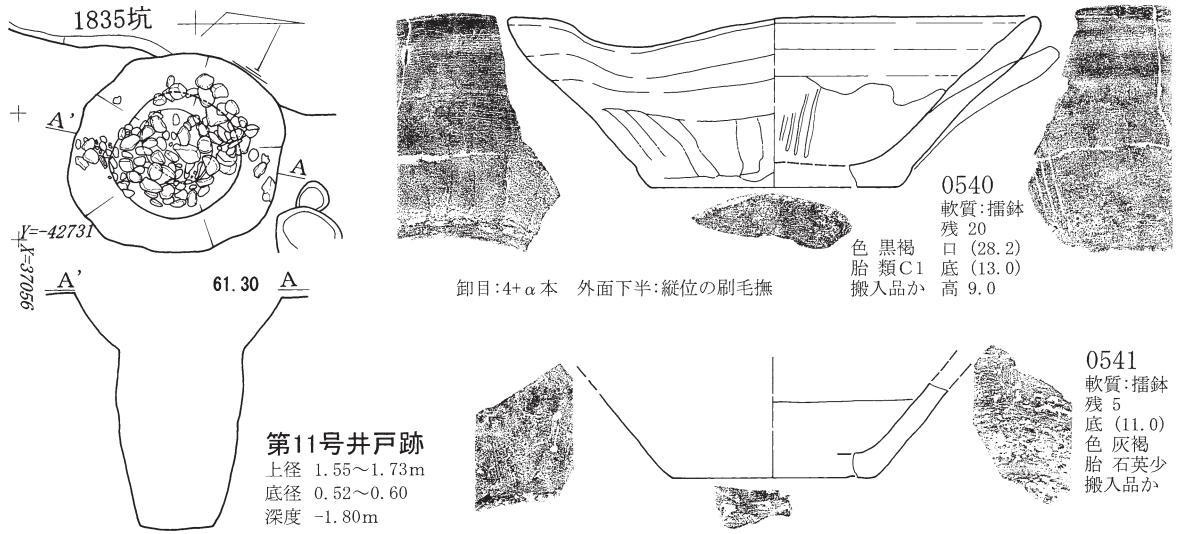


0536
土師質:皿
残 50
口 (8.6)
底 (7.4)
高 1.7
口/ (5.06)
底/ (4.35)
色 橙
胎 B1



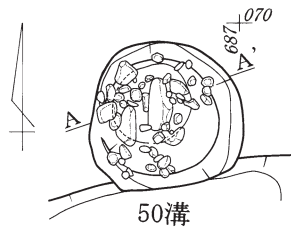
0539
土師質:皿
残 48
底 (4.4)
色 浅黄橙
胎 C1
円盤加工

第138図 第8号井戸跡出土遺物実測図 2/2 (1:4)・第10号井戸跡 (1:60)・出土遺物実測図 (1:3)

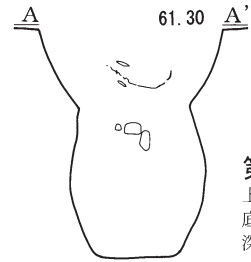
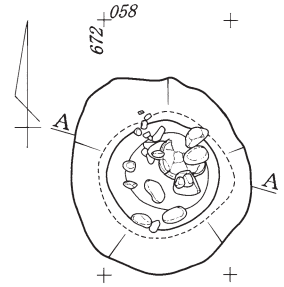


第139図 第11号井戸跡 (1:60)・出土遺物実測図 (1:4)・第12・13・18・19・20号井戸跡実測図 (1:60)

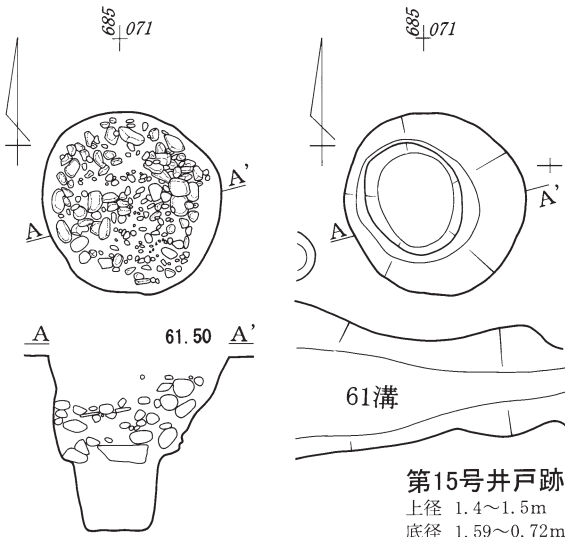
発見された遺構と出土遺物



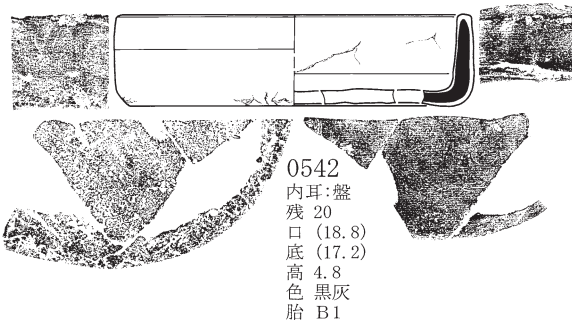
第14号井戸跡
上径 1.15~1.20m
底径 0.62m
深度 -1.68



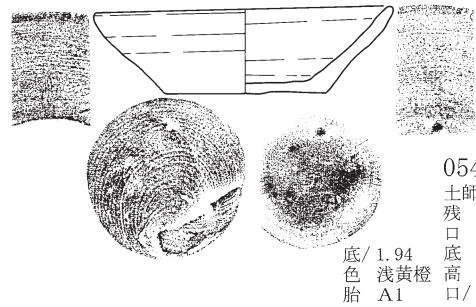
第16号井戸跡
上径 1.56~1.40m
底径 0.64~0.60m
深度 -1.82m



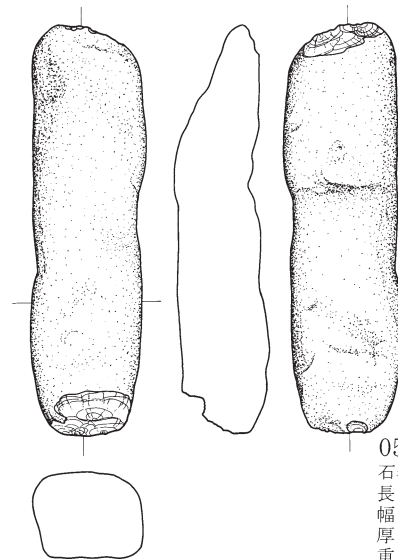
第15号井戸跡
上径 1.4~1.5m
底径 1.59~0.72m
深度 -1.26m



0542
内耳:盤
残 20
口 (18.8)
底 (17.2)
高 4.8
色 黒灰
胎 B1

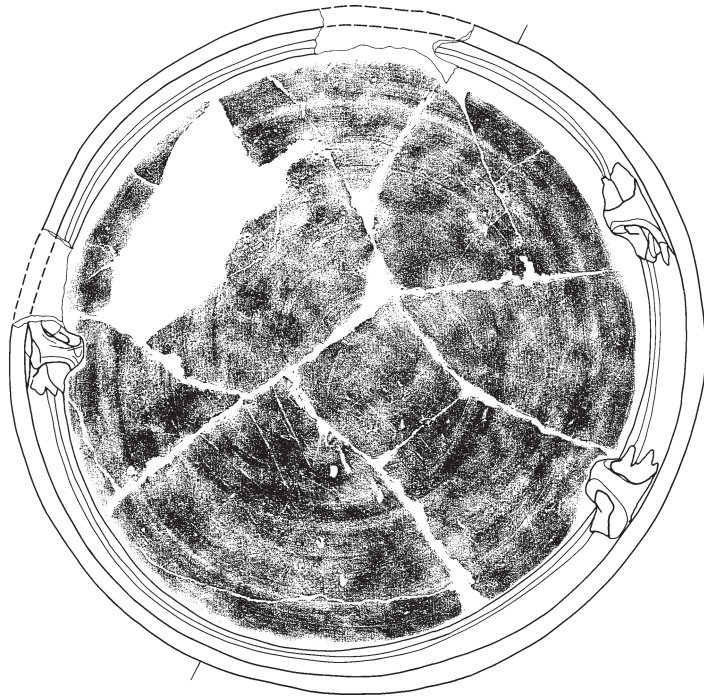


0543
土師質:皿
残 92
口 11.8
底 6.4
高 3.3
色 浅黄橙
胎 A1 口/3.58

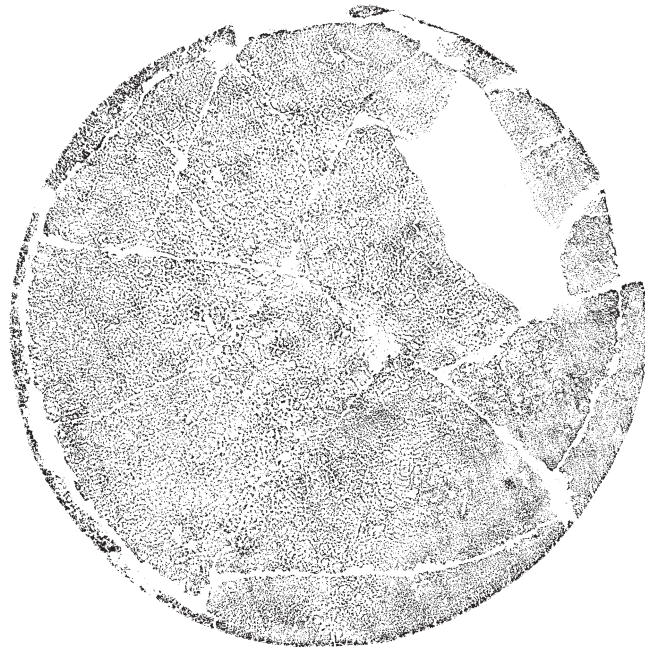
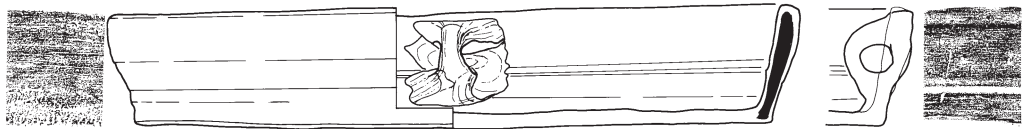


0544
石器:叩石
長 16.0
幅 4.2
厚 3.4
重 419g

第140図 第14号井戸跡 (1:60)・第15・16号井戸跡 (1:60)・出土遺物実測図 (1:3・1:4)

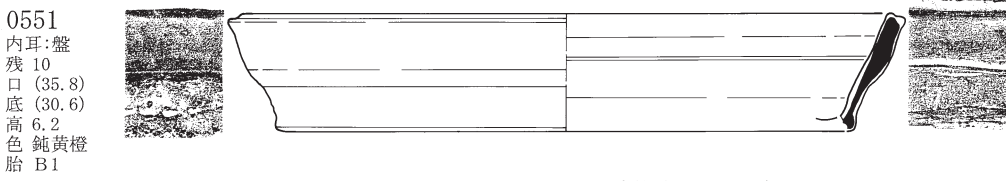
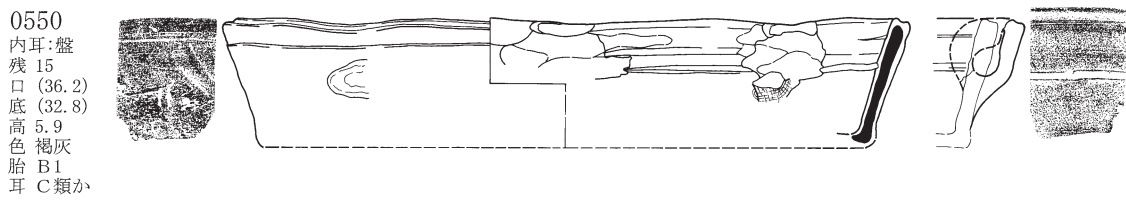
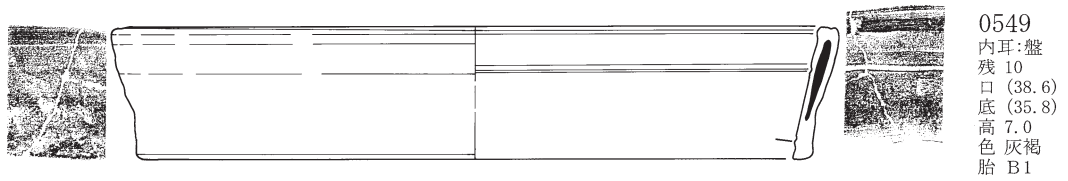
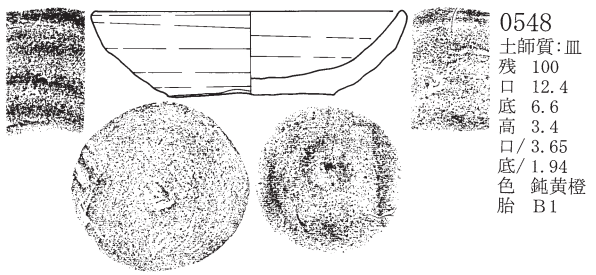
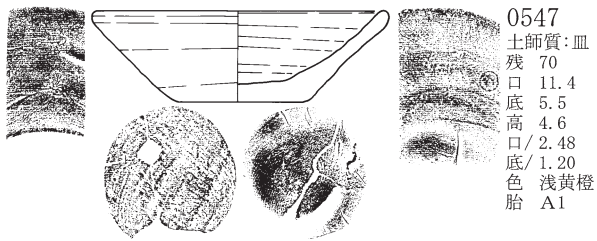
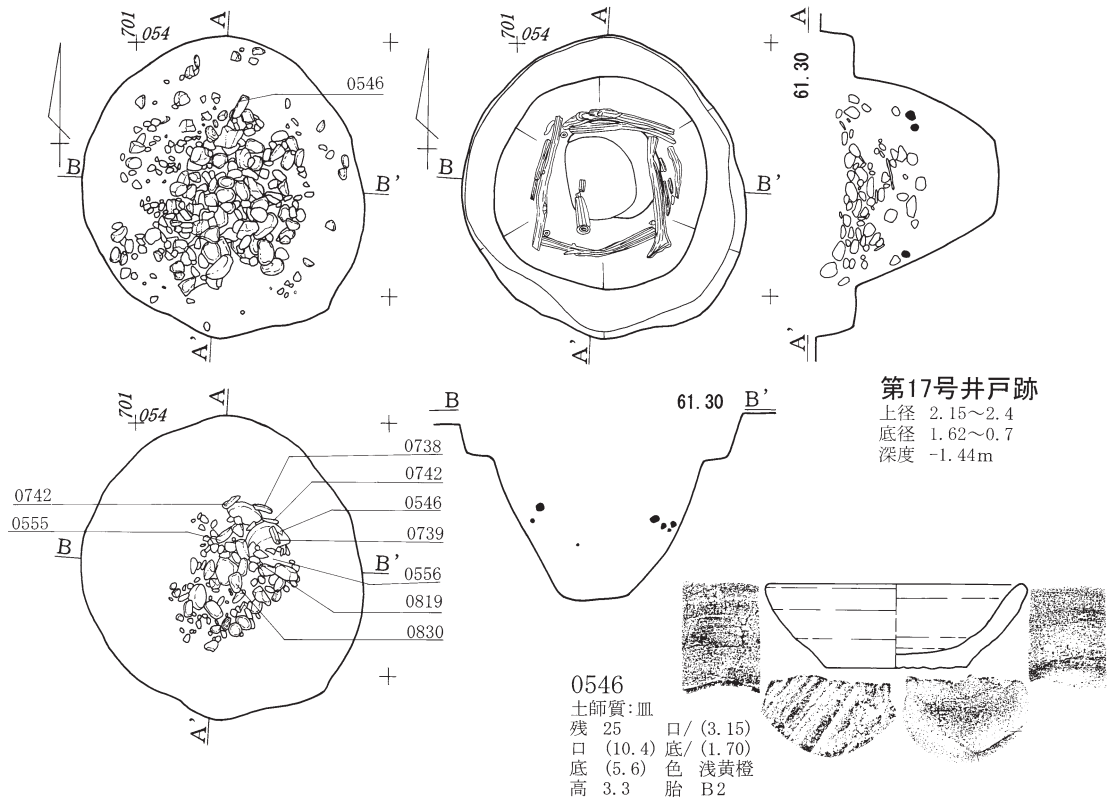


0545
内耳：鍋
残 95
口 36.5
底 33.6
高 6.3
色 黒褐
胎 B1
耳 C類
底 縮目底



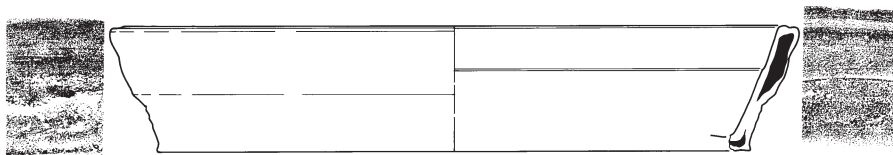
第141図 第16号井戸跡出土遺物実測図 (1:4)

発見された遺構と出土遺物

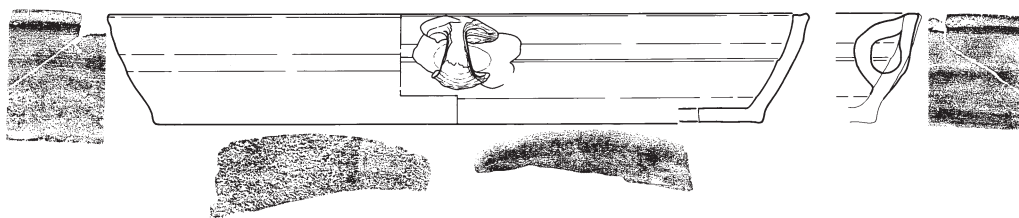


第142図 第17号井戸跡 (1:60)・出土遺物実測図 1/3 (1:3・1:4)

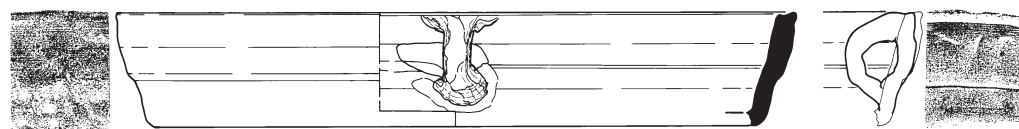
0552
内耳:盤
残 5
口 (36.4)
底 (31.4)
高 6.6
色 浅黄橙
胎 B2



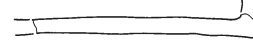
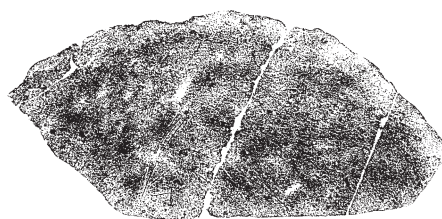
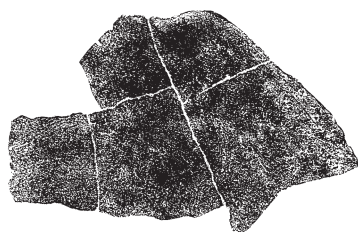
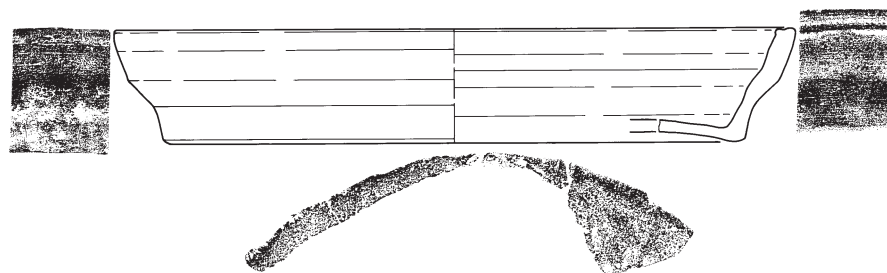
0553
内耳:鍋
残 5
口 (37.0)
底 (32.0)
高 5.8
色 黒灰
胎 A1
底 縮目底



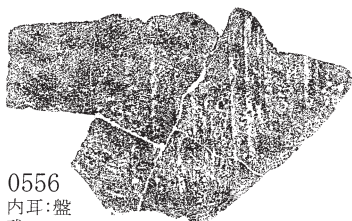
0554
内耳:盤
残 5
口 (36.0)
底 (32.0)
高 6.0
色 暗褐
胎 B2



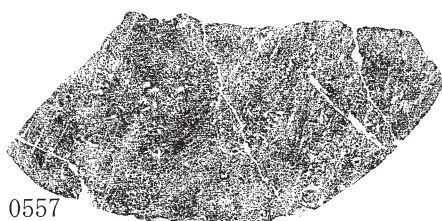
0555
内耳:鍋
残 5
口 (36.0)
底 (30.8)
高 6.0
色 鈍橙
胎 B2
底 縮目底



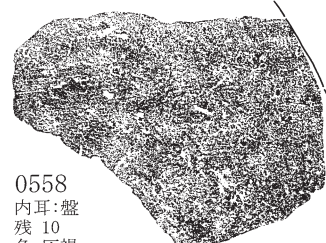
0556
内耳:盤
残 10
色 黄橙
厚 0.5
胎 B2
底 板目底



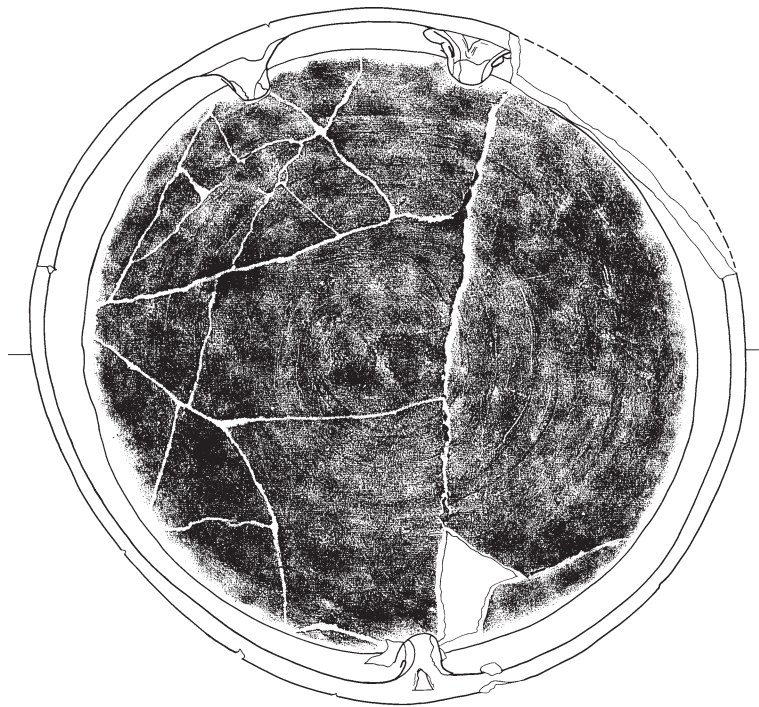
0557
内耳:盤
残 30
色 灰褐
厚 1.1
胎 B2
底 板目底



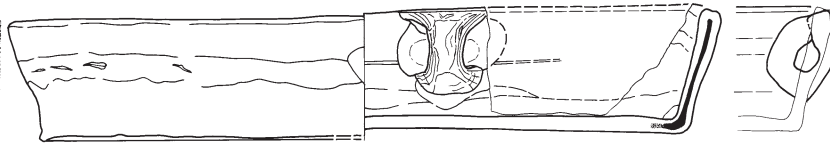
0558
内耳:盤
残 10
色 灰褐
厚 0.9
胎 B2
底 板目底



第143図 第17号井戸跡出土遺物実測図 2/3 (1:4)



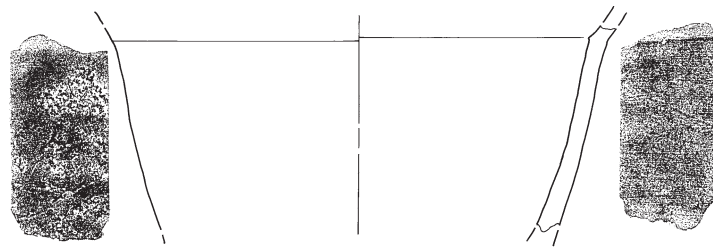
0559
 内耳:盤
 残 90
 口 37.8
 底 34.4
 高 6.8
 色 黒褐
 胎 B2
 底 縮目底



0560
 軟質:搗鉢
 残 1
 厚 1.3
 釉 無
 色 黒褐

第144図 第17号井戸跡出土遺物実測図 3/3 (1:4)

発見された遺構と出土遺物

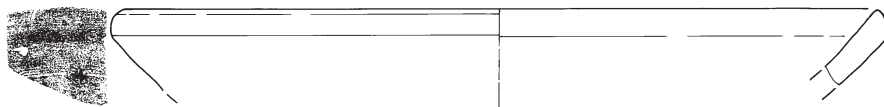


0561
内耳: 鍋
残 5
色 黒褐
類 (26.0)
胎 B2

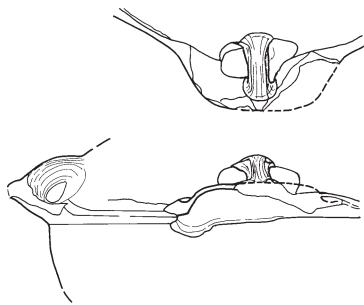


0562
内耳: 盤
残 3
口 (34.0)
色 灰褐
胎 A1

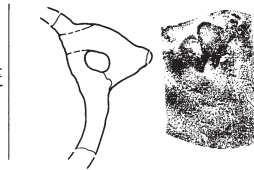
18号井戸



0563
軟質陶: 播鉢
残 3
口 (41.2)
色 灰
胎 B1

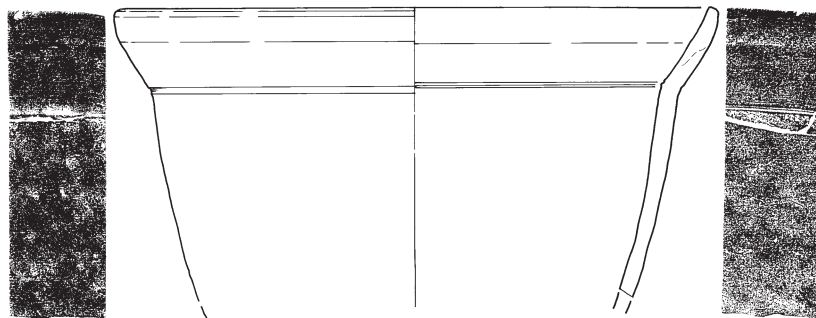


0565
青磁: 碗
残 3
厚 0.4
釉 オリーブグリーン



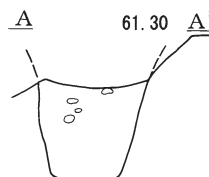
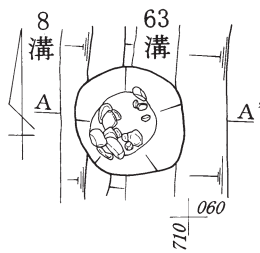
0564
軟質陶: 釜
残 15
色 黒褐
最 (22.4)
胎 B2
耳 A類

19号井戸



0566
内耳: 鍋
残 20
口 (32.0)
類 (28.0)
色 黒褐
胎 A1

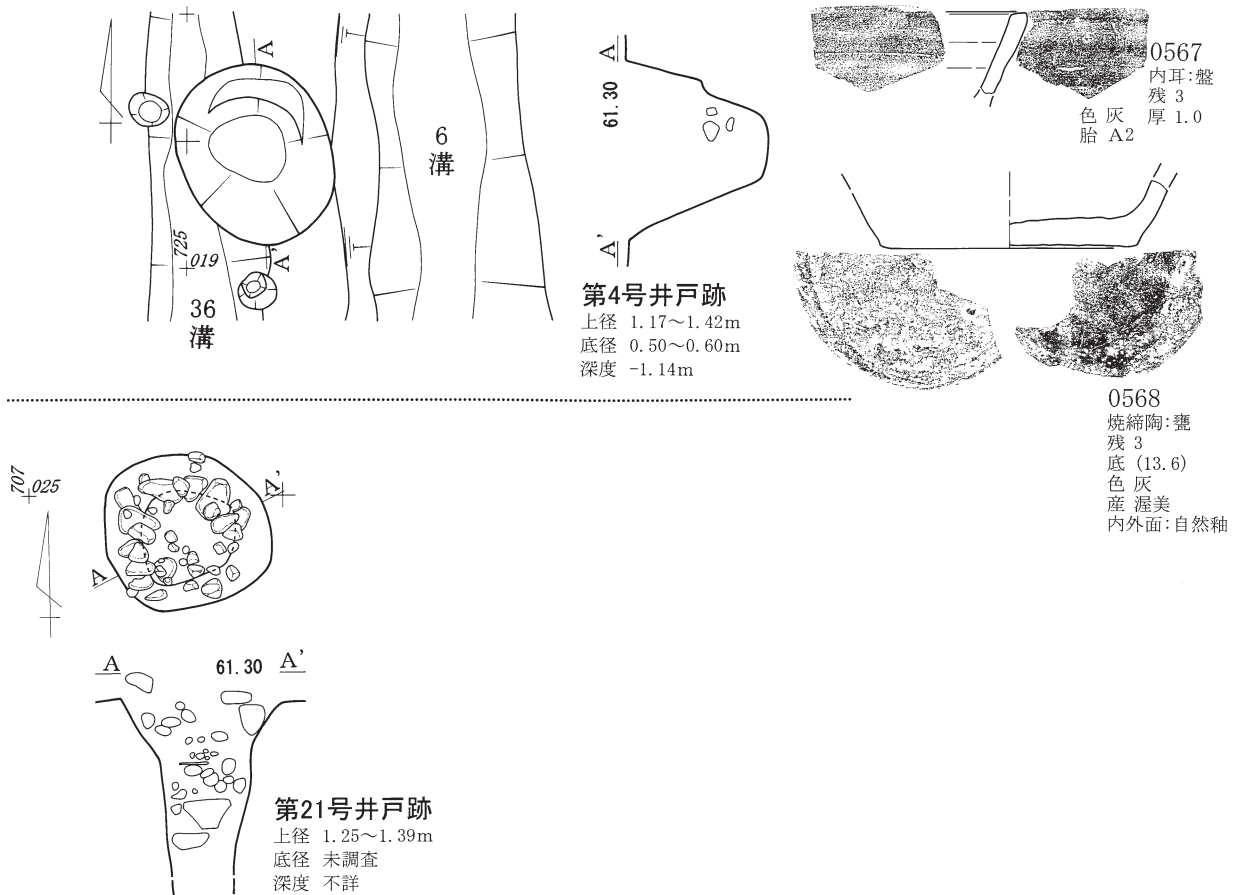
20号井戸



第22号井戸跡
上径 0.84~0.86m
底径 0.50~0.53m
深度 -1.18m

第145図 第18~20号井戸跡出土遺物実測図 (1:3・1:4)・第22号井戸跡実測図 (1:60)

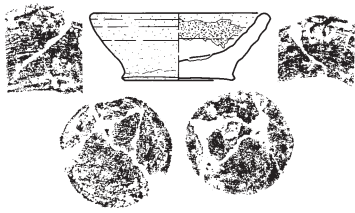
発見された遺構と出土遺物



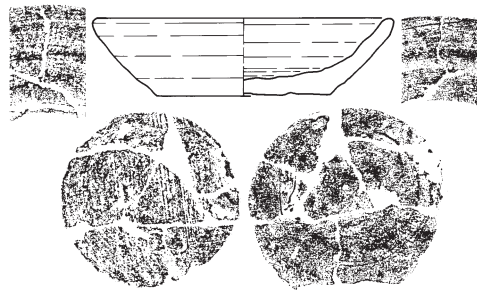
第146図 第4号井戸跡 (1:60)・出土遺物実測図 (1:4)・第21号井戸跡実測図 (1:60)

第4表 井戸跡一覧表

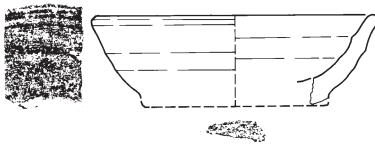
番号	位置		規模			摘要
	X座標	Y座標	上面	底面	深度	
1井戸	37.03572	-42.73925	1.95~2.30m	0.37~0.40m	-1.66m	1溝に切られる。南西掘立群の西半群に伴う。
2井戸	37.01722	-42.70233	2.15~2.60m	0.40~0.60m	-1.98m	単独井戸跡。南西掘立群の東半群に伴う。
3井戸	37.02258	-42.71924	2.15~2.60m	0.40~0.60m	-1.98m	外部施設を備える。南西掘立群の東半群に伴う。
4井戸	37.01982	-42.72455	1.17~1.42m	0.50~0.60m	-1.14m	35溝と重複。南西掘立群の西半群に伴う。
5井戸	35.04605	-42.70962	2.50~2.62m	0.58~0.62m	-1.88m	8溝が迂回。北西掘立群の南半の一群に伴う。
6井戸	37.04378	-42.70865	2.15~2.41m	0.47~0.50m	-1.20m	北西掘立群の南半の一群に伴う。
7井戸	37.05538	-42.74596	2.20~3.00m	0.64~0.74m	-1.76m	8溝の構築を規制している。北西掘立群に伴う。
8井戸	37.08286	-42.73188	3.13~3.18m	0.54~0.56m	-2.03m	8溝を切る。8尺間の掘立に伴うか。
9井戸	欠番					
10井戸	37.06743	-42.71832	1.20~1.40m	0.76m	-1.07m	周辺のピットに切られている。北西掘立群に伴う。
11井戸	37.05724	-42.73178	1.55~1.73m	0.52~0.60m	-1.80m	1835坑との新旧関係は不分明。北西掘立群に伴う。
12井戸	37.02076	-42.74347	0.70~0.90m	0.53~0.66m	-0.78m	39溝に切られる。南西掘立群の西半の一群に伴う。
13井戸	37.07621	-42.72280	1.10~1.42m	0.63~0.65m	-1.20m	40溝を切る。北西掘立群に伴う。
14井戸	37.06948	-42.68765	1.15~1.20m	0.62m	-1.68m	50溝と接するが新旧関係は不分明。15井戸に近接。
15井戸	37.06973	-42.08508	1.40~1.50m	1.59~0.72m	-1.26m	単独井戸跡。14井戸に近接。
16井戸	37.05682	-42.67151	1.56~1.40m	0.64~0.60m	-1.82m	単独井戸跡。北東掘立群に伴う。漆碗出土。
17井戸	37.05295	-42.70042	2.15~2.40m	1.62~0.70m	-1.44m	単独井戸跡。北東掘立群に伴う。内部施設を伴う。
18井戸	37.07032	-42.71078	1.30~1.50m	0.53~0.55m	-1.13m	40溝を切る。19井戸と接続する。北西掘立群に伴う。
19井戸	37.07008	-42.71214	1.75~2.00m	0.62~0.92m	-1.75m	40溝に切られ、20井戸と接続する。北西掘立群に伴う。
20井戸	37.06772	-42.71145	1.01~1.20m	0.61~0.68m	-1.70m	40溝に切られる。北西掘立群に伴う。
21井戸	37.02464	-42.70568	1.25~1.39m	未調査	未調査	単独井戸跡。南西掘立群に伴う。
22井戸	37.06078	-42.71042	0.84~0.86m	0.50~0.53m	-1.18m	40溝重複するが新旧関係は不分明。



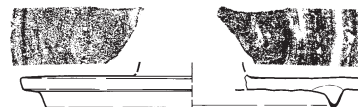
0569
土師質：皿
残 80
口 (7.0)
底 4.4
高 2.6
口/(2.69)
底/1.69
色 橙
胎 B2



0571
土師質：皿
残 55
口 (11.8)
底 7.0
高 3.1
口/(3.81)
底/2.26
色 橙
胎 B2



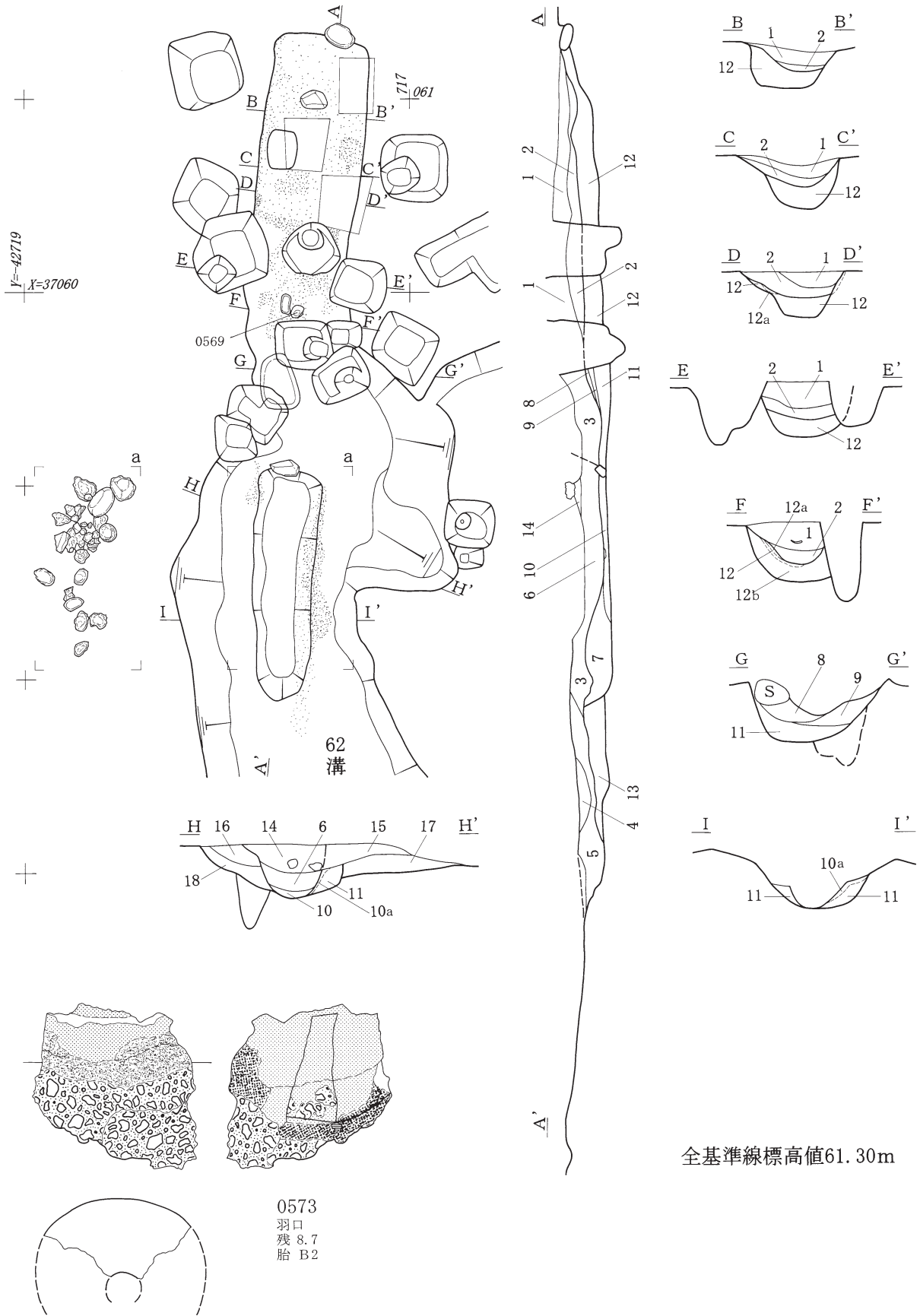
0570
土師質：皿
残 7
口 (11.3)
底 (7.4)
高 3.6
口/(3.14)
底/(2.06)
色 橙
胎 B2



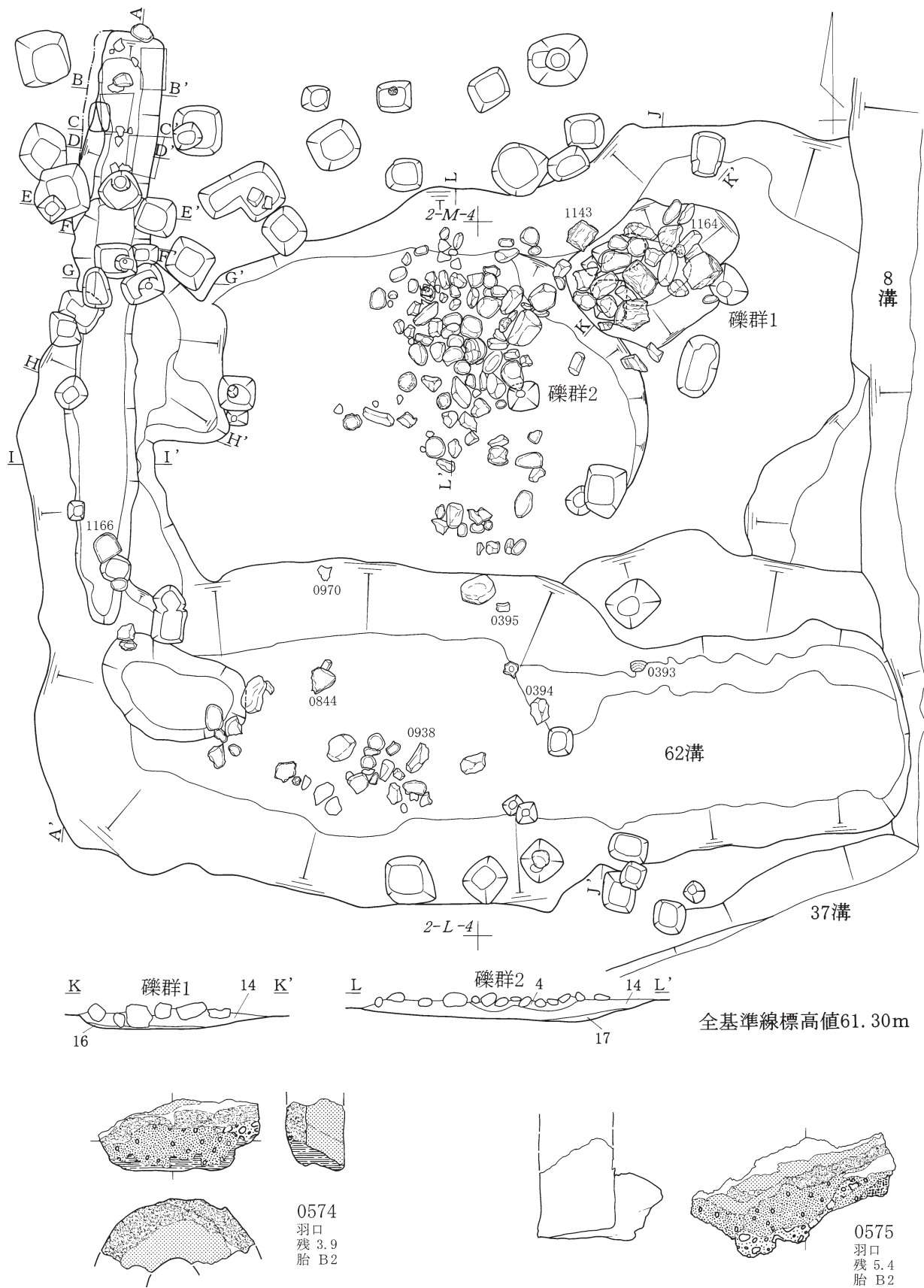
0572
軟質陶：釜蓋
残 10
底 (16.0)
色 灰
胎 B1

第147図 第1号炉跡周辺平面確認状況 (1:80)・第1号炉跡出土遺物実測図 1/3 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物

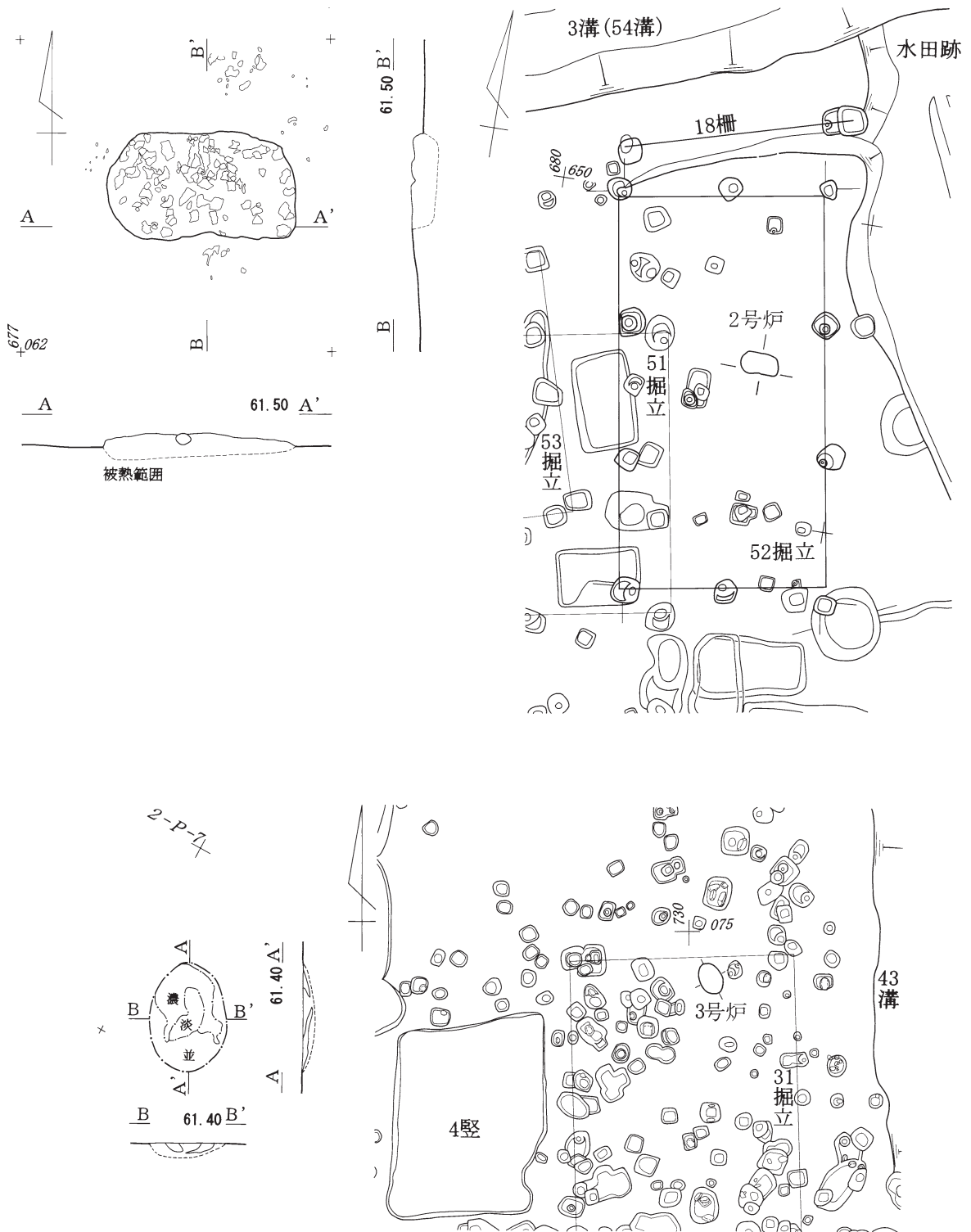


第148図 第1号炉跡実測図 (1:30)・出土遺物実測図 2/3 (1:3)

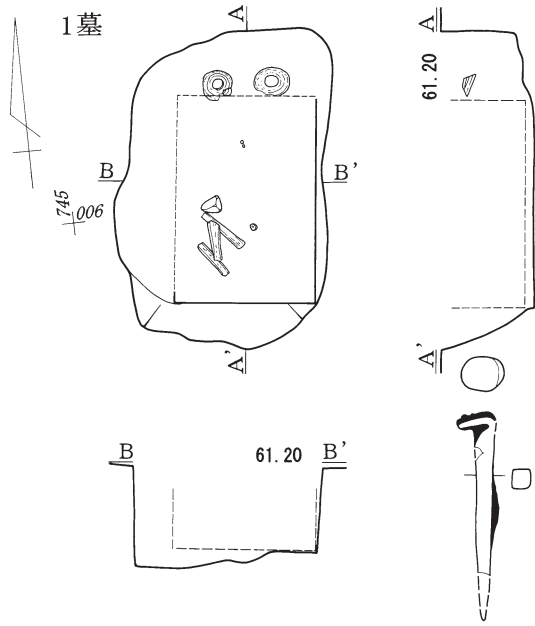


第149図 鍛冶場（第1号炉跡・テラス部・第62号溝状遺構）実測図（1：40）・出土遺物実測図 3/3（1：3）

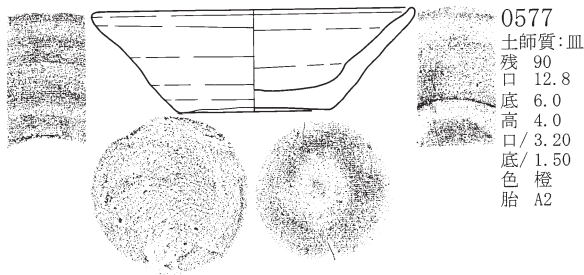
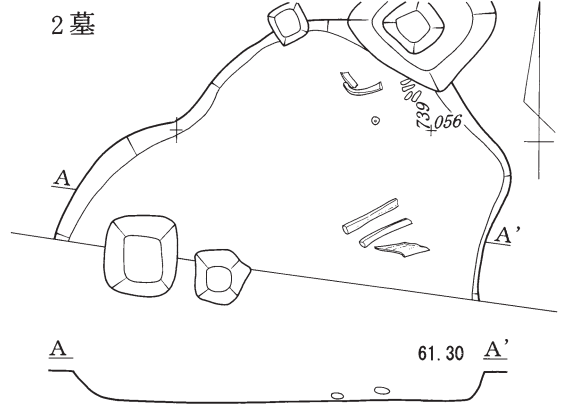
発見された遺構と出土遺物



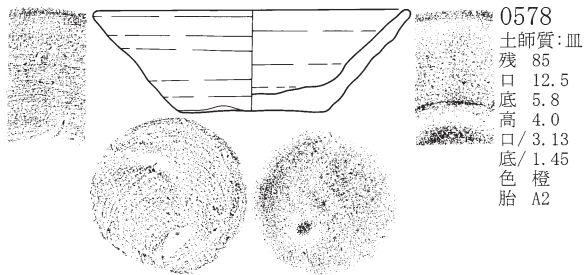
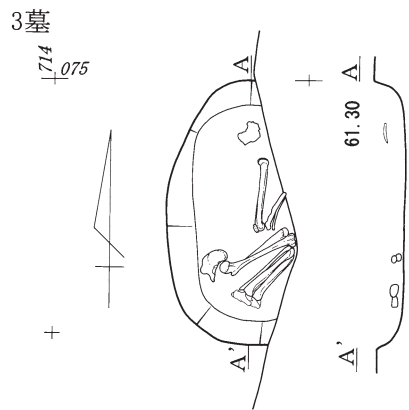
第150図 第2・3号炉跡実測図



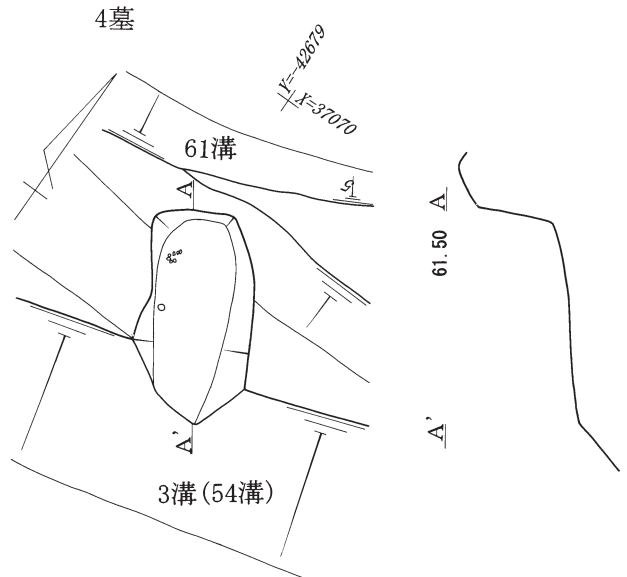
0576
鉄器：釘
鉄釘
残部分欠
長 4.2
幅 0.45
頭 1.0



0577
土師質：皿
残 90
口 12.8
底 6.0
高 4.0
口底/ 3.20
底底/ 1.50
色 橙
胎 A2



0578
土師質：皿
残 85
口 12.5
底 5.8
高 4.0
口底/ 3.13
底底/ 1.45
色 橙
胎 A2



0579
天聖元寶



0582
聖宋元寶



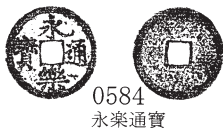
0580
皇宋通寶



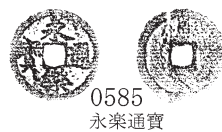
0583
洪武通寶



0581
永樂通寶



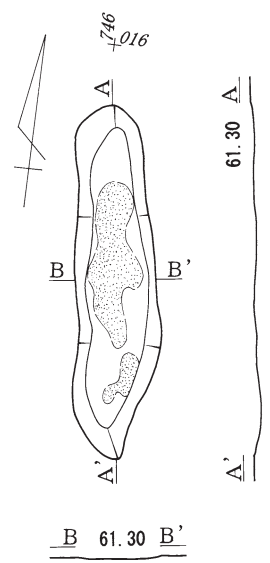
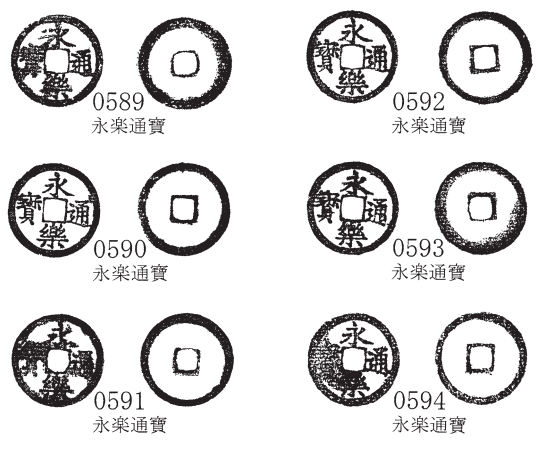
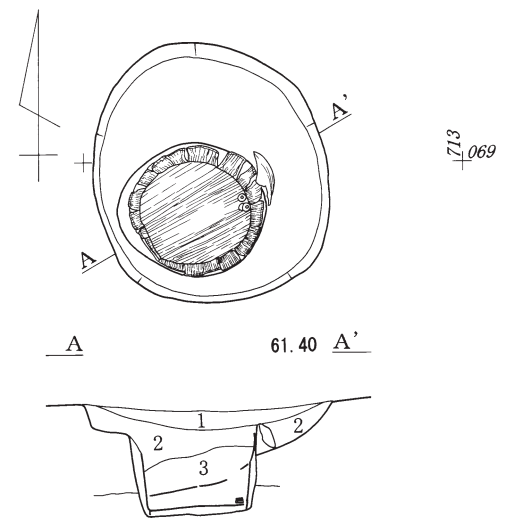
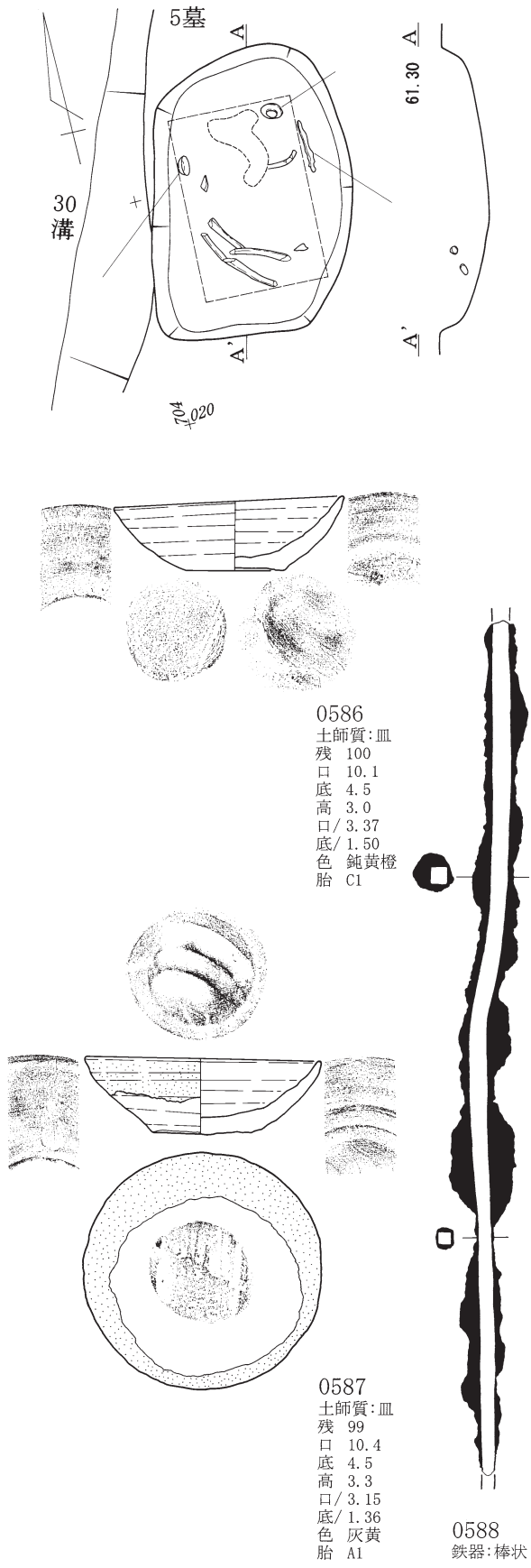
0584
永樂通寶



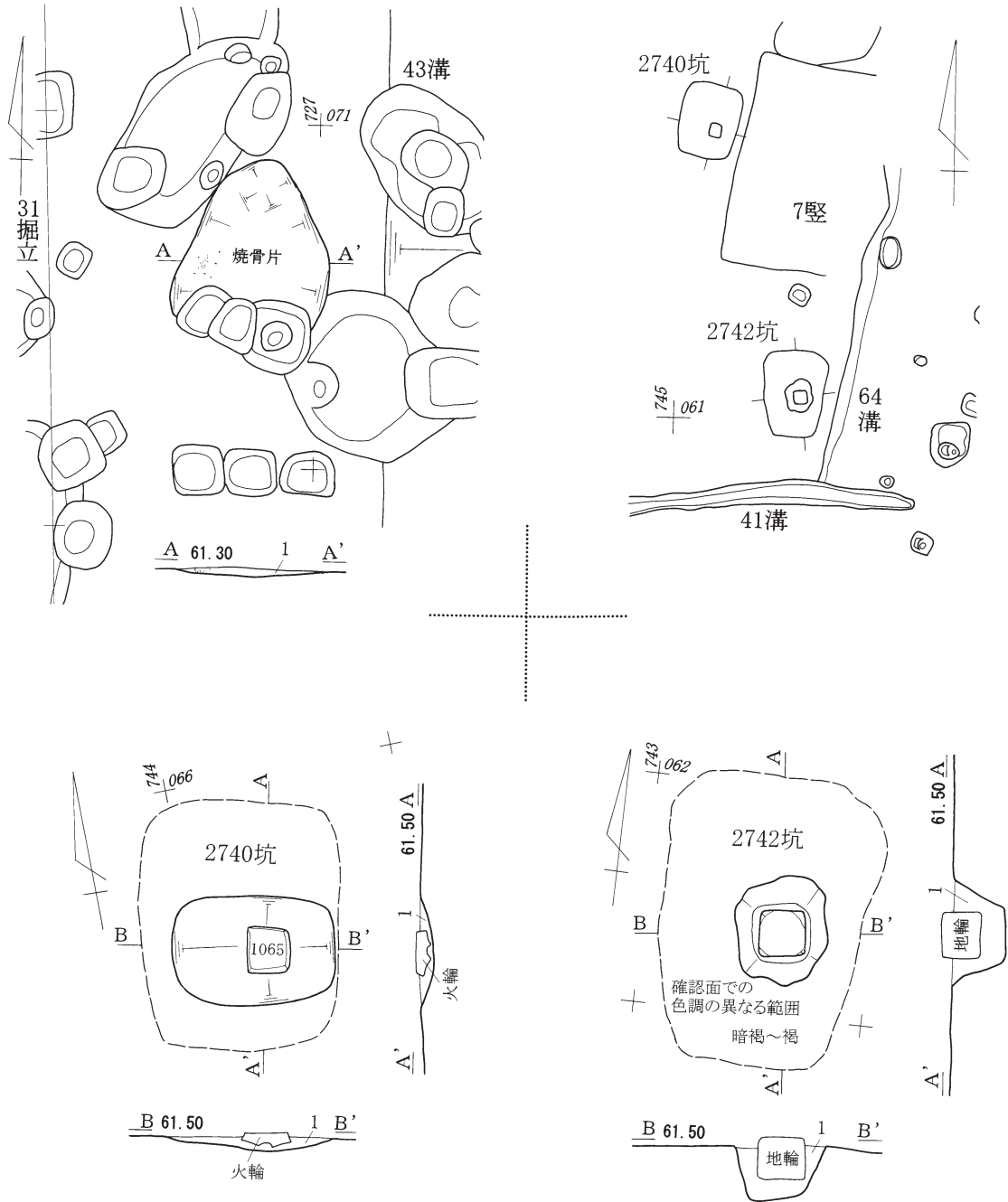
0585
永樂通寶

第151図 第1号墓跡 (1:30)・出土遺物実測図 (1:2・1:3)・第2~4号墓跡実測図 (1:30)

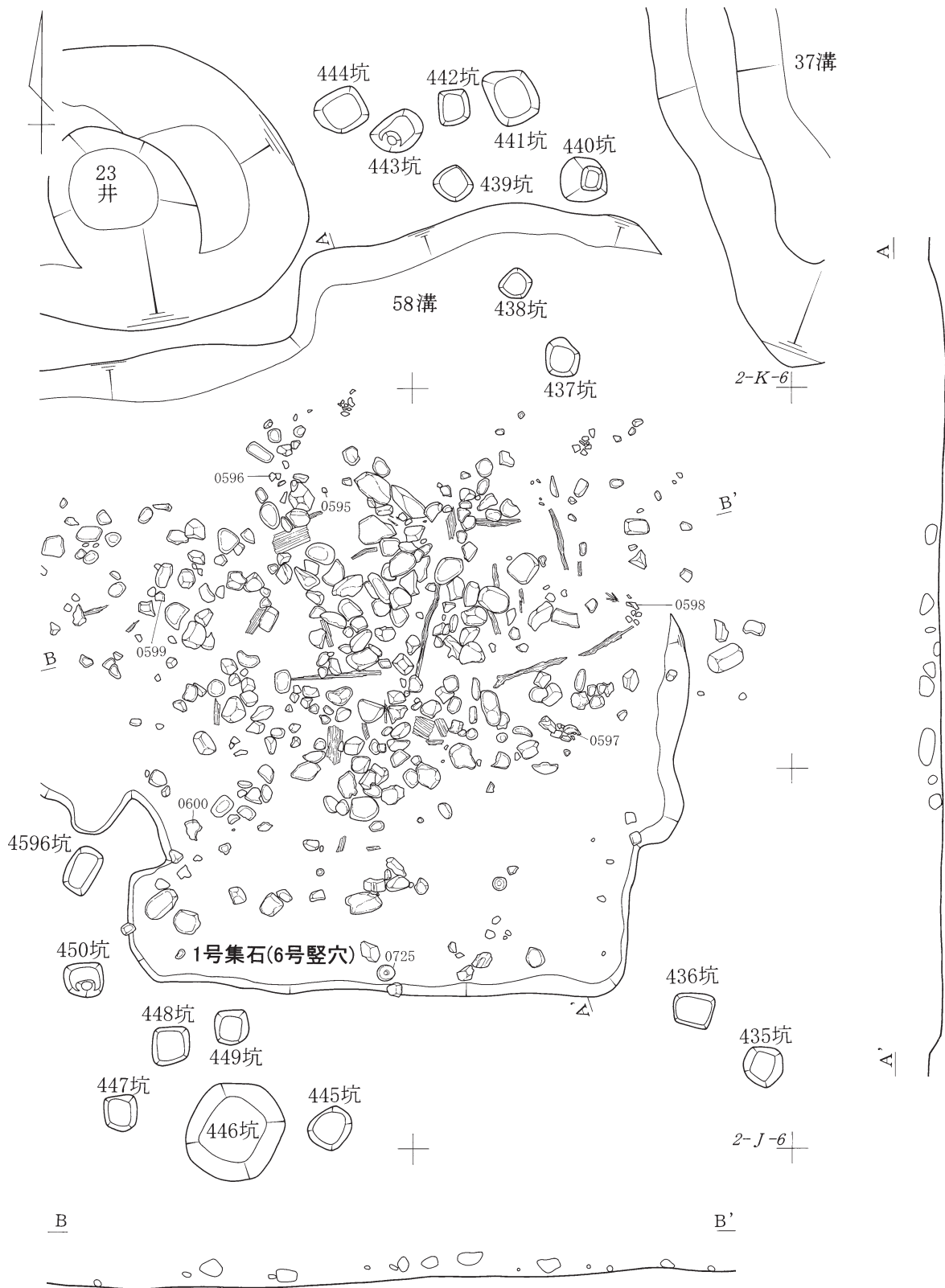
発見された遺構と出土遺物



第152図 第5・6号墓跡 (1:30)・出土遺物実測図 (1:2・1:3)・第1号火葬跡実測図 (1:30)

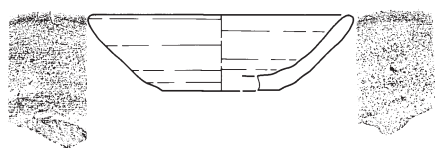


第153図 第2号火葬跡(1:30)・第2740・2742号土坑実測図(1:30)

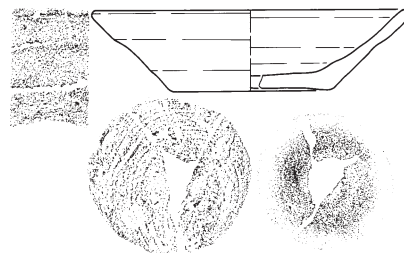


全基準線標高値61.40m

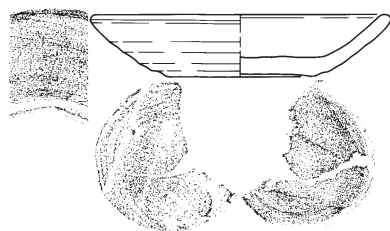
第154図 第1号集石実測図 (1:40)



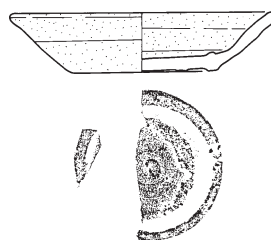
0595
土師質:皿
残 20
口 (10.4)
底 (4.6)
高 3.0
口/ (3.47)
底/ (1.53)
色 黄橙
胎 B1



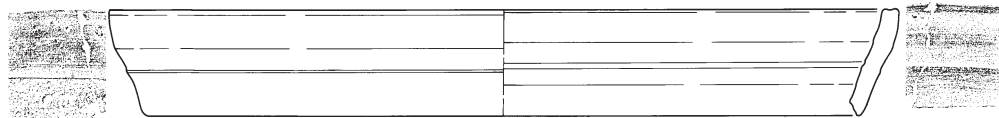
0597
土師質:皿
残 60
口 (12.5)
底 (6.2)
高 3.2
口/ (3.91)
底/ (1.94)
色 鈍橙
胎 B2



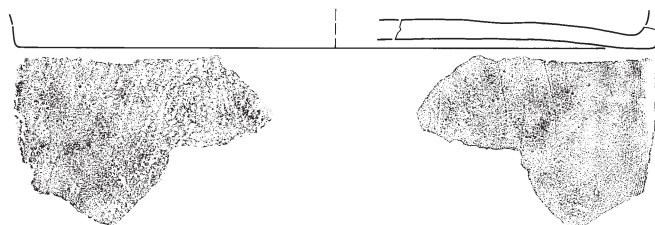
0596
土師質:皿
残 40
口 (11.8)
底 (5.8)
高 2.4
口/ (4.92)
底/ (2.42)
色 黄橙
胎 B2



0598
陶器:皿
残 80
口 10.5
底 6.6
高 2.4
色 白灰
釉 鉄釉
産 美濃



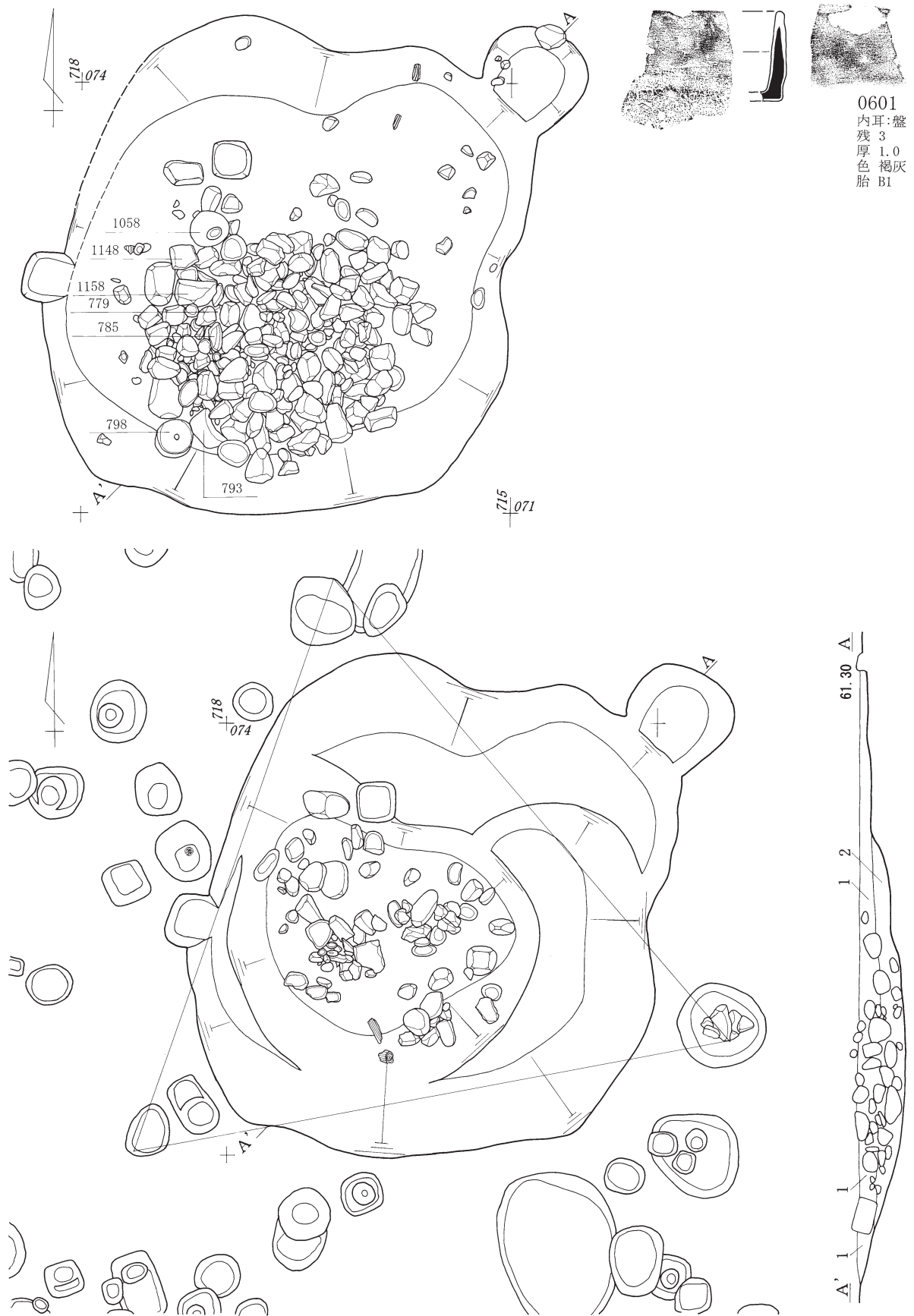
0599
内耳:盤
残 3
口 (41.8)
底 (37.6)
高 5.6
色 黒褐
胎 B2



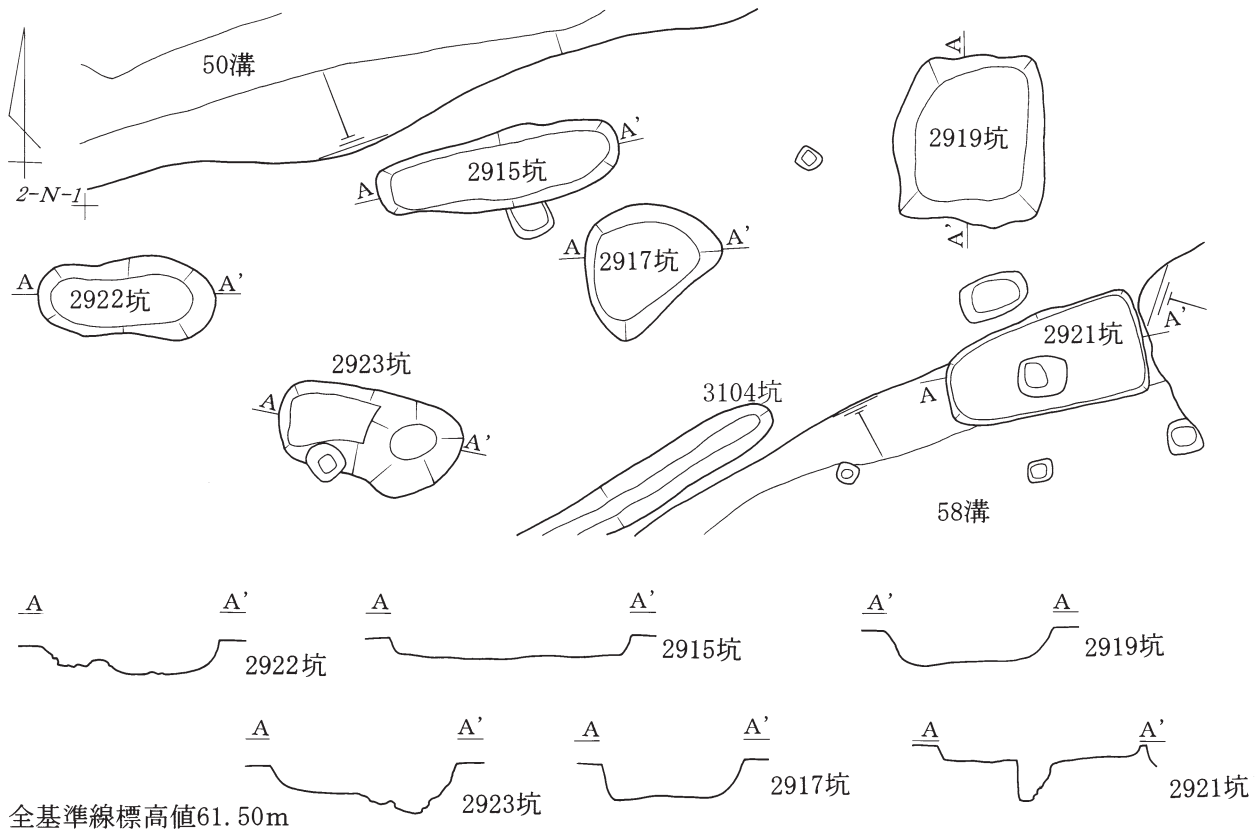
0600
内耳:盤
残 5
底 (34.0)
色 灰黄
胎 B1
底 縮目底

第155図 第1号集石出土遺物実測図 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物



第156図 第2号集石 (1:40)・出土遺物実測図 (1:4)



第157図 第2915・2917・2919・2921・2922・2923号土坑実測図(1:60)

土層説明

第1号炉跡周辺平面精査時の覆土・被覆土の分布状況

- 分布A. 茶灰褐色：シルト質。粒状炭化物含有・粒状焼土含多量・粗粒状焼土含有・鍛造薄片少量。
 分布B. 茶灰褐色：シルト質。粒状炭化物含有・粒状焼土含有・鉄滓小破片含有。
 分布C. 茶灰褐色：シルト質。粒状炭化物少量・粒状焼土混入。
 分布D. 茶灰褐色：シルト質。粒状炭化物若干・粒状焼土混入。
 分布E. 暗灰褐色：シルト質。粒状焼土若干。

第1号炉跡層序(61.30m)

1. 茶灰褐色：粒状焼土多量・粗粒状焼土含有・粒状炭化物含有。
2. 暗灰褐色：粒状焼土少量。
3. 暗灰褐色：粗粒状炭化物含有・粒状焼土少量。
4. 暗灰褐色：粒状炭化物極多量・塊状焼土含有・粒状焼土混入・鉄滓含有。
5. 暗灰褐色：粒状炭化物褐色・粒状焼土含有・小塊状Ⅷ層土含有。
6. 3層近質。暗灰褐色：粗粒状炭化物含有・粒状焼土含有。
7. 暗灰褐色：粒状炭化物少量・粒状焼土含有。
8. 赤褐色塊状焼土主体。
9. 赤橙褐色塊状焼土主体。
10. 暗灰褐色：粒状焼土少量・粒状炭化物少量。
11. 暗灰褐色土(埋設土)。
- 12a. 8同質。
- 12b. 暗灰褐色：粒状焼土無・粒状Ⅷ層土少量。
13. 暗灰褐色：粒状焼土含有・粒状炭化物混入。
14. 暗灰褐色：粒状炭化物含有・粒状焼土含有。
15. 暗灰褐色：塊状Ⅷ多量。
16. 粘質黒灰褐色。

首桶土坑層序(61.40m)

1. 暗灰褐色：細粒状鉄分斑状・細粒状白色軽石含有・粒状焼土含有。
2. 暗灰褐色：細粒状鉄分斑状・細粒状白色軽石微量・粒状Ⅷ層土少量。
3. 暗灰褐色：塊状Ⅷ混入・粒状炭化物含有。

第2号火葬跡層序(61.30m)

1. 暗褐色：粒状炭化物多量・塊状焼土混入。

第2740号土坑層序(41.50m)

1. 暗褐色：塊状Ⅷ層土混入。

第2742号土坑層序(41.50m)

1. 暗褐色：塊状Ⅷ層土多量。

発見された遺構と出土遺物

第3382号土坑層序 (61.30m)

1. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有。

第3272号土坑層序 (61.30m)

1. 暗灰褐色：細粒状白色軽石含有・粒状Ⅷ層土少量。

第3362号土坑層序 (61.30m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有。 2. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状Ⅷ層土含有。

第3267号土坑層序 (61.30m)

1. 黄褐色シルト層 (水性堆積シルト)。

第3670号土坑層序 (61.30m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有。 2. 黒灰褐色：粘質土。 3. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状灰茶褐色土含有。

第3057号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・粒状Ⅷ層土含有。

第3084号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有。 2. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状灰褐色土含有。 3. 黒灰褐色：粒状Ⅷ層土混入。

第3085・3086号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有。 2. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状灰褐色土含有。 3. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量・塊状Ⅷ層土少量。 4. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量。 5. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量・塊状Ⅷ層土少量・塊状灰褐色土含有。

第4564号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量。

第3770号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量。

第3087号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量。

第3375号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有。 2. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量・塊状 8 少量。 3. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量・粒状Ⅷ層土含有。

第 5 号土坑層序 (61.50m)

1. 暗灰褐色：細粒状白色軽石少量。

第13号土坑層序 (61.50m)

1. 暗灰褐色：細粒状白色軽石少量。

第17・16・14・15号土坑層序 (61.50m)

17坑. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量・粒状鉄分含有。 16坑. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量。 14坑： 1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・鉄分斑状。 2. 黒灰褐色：白色軽石含有・塊状Ⅷ層土含有・鉄分含有。 3. 黒灰褐色：鉄分含有。 15坑. 暗灰褐色：細粒状白色軽石少量。

第2310号土坑層序 (61.50m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・鉄分含有。 2. 黒灰褐色：塊状Ⅷ層土少量・粗粒状Ⅷ層土含有。 3. 黒灰褐色：塊状Ⅷ層土含有・粗粒状Ⅷ層土含有。 4. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状Ⅷ層土少量。

第2361号土坑層序 (61.50m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・塊状Ⅷ層土少量。

第136号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量・鉄分含有。 2. 黒灰褐色：細粒状白色軽石若干・塊状Ⅷ層土若干。

第95号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石若干。

第67号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量・粒状Ⅷ層土少量。
2. 黒灰褐色：細粒状白色軽石若干・鉄分混入。

第36号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有。
2. 黒灰褐色：粗粒状Ⅷ層土含有(軟質)。
3. 黒灰褐色：塊状暗褐色土含有。
4. 黒灰褐色：塊状Ⅷ層土多量。

第60号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色細粒状白色軽石少量。

第48号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・鉄分含有。

第2273号土坑層序 (61.40m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石少量・鉄分含有。

第259号土坑層序 (61.30m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・鉄分含有。

第260号土坑層序 (61.30m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・鉄分含有。

第256号土坑層序 (61.30m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有・鉄分含有。

第568号土坑層序 (61.20m)

1. 暗灰褐色：細粒状白色軽石少量。

第565号土坑層序 (61.20m)

1. 黒灰褐色：細粒状白色軽石含有。

第895・2835号土坑層序 (61.40m)

1. 黒褐色：細粒状白色軽石含有・塊状Ⅷ層土少量・粒状Ⅷ層土含有。
2. 黒褐色：細粒状白色軽石含有・粒状Ⅷ層土少量。

第896号土坑層序 (61.40m)

1. 黒褐色：細粒状白色軽石含有・粒状Ⅷ層土少量。

第2833号土坑層序 (61.40m)

1. 黒褐色：細粒状白色軽石少量・塊状Ⅷ層土含有。

第2722号土坑層序 (61.40m)

1. 黒褐色：細粒状白色軽石含有・粗粒状 8 少量。

第706号土坑層序 (61.40m)

1. 黒褐色：細粒状白色軽石含有。
2. 黒褐色：細粒状白色軽石少量・粒状Ⅷ層土含有。
3. 黒褐色：塊状灰茶褐色土斑状混入。

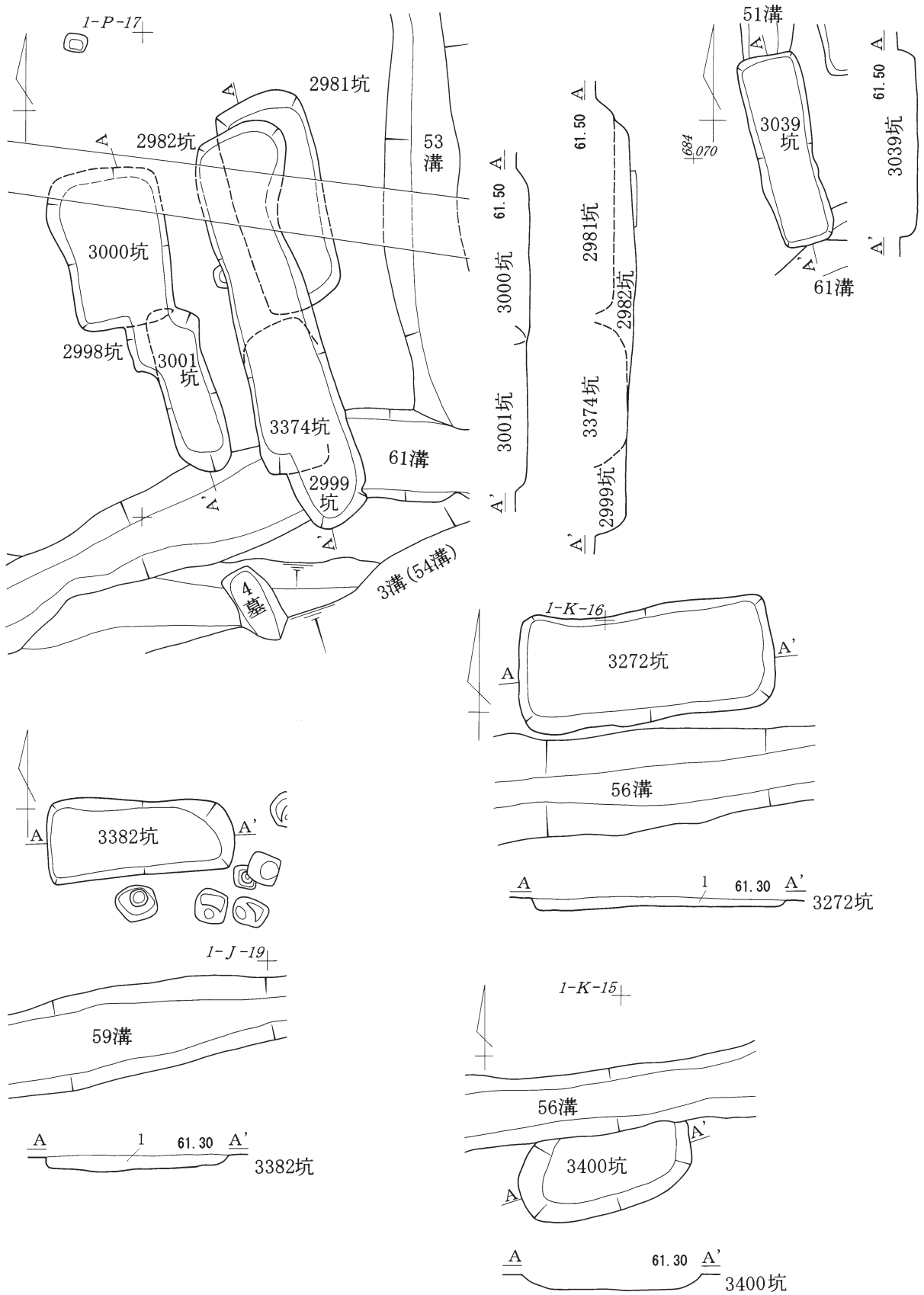
第746号土坑層序 (61.40m)

1. 黒褐色：細粒状白色軽石含有・粒状Ⅷ層土含有。
2. 黒褐色：細粒状白色軽石少量・塊状Ⅷ層土少量。
3. 黒褐色：細粒状白色軽石若干・塊状Ⅷ層土含有。

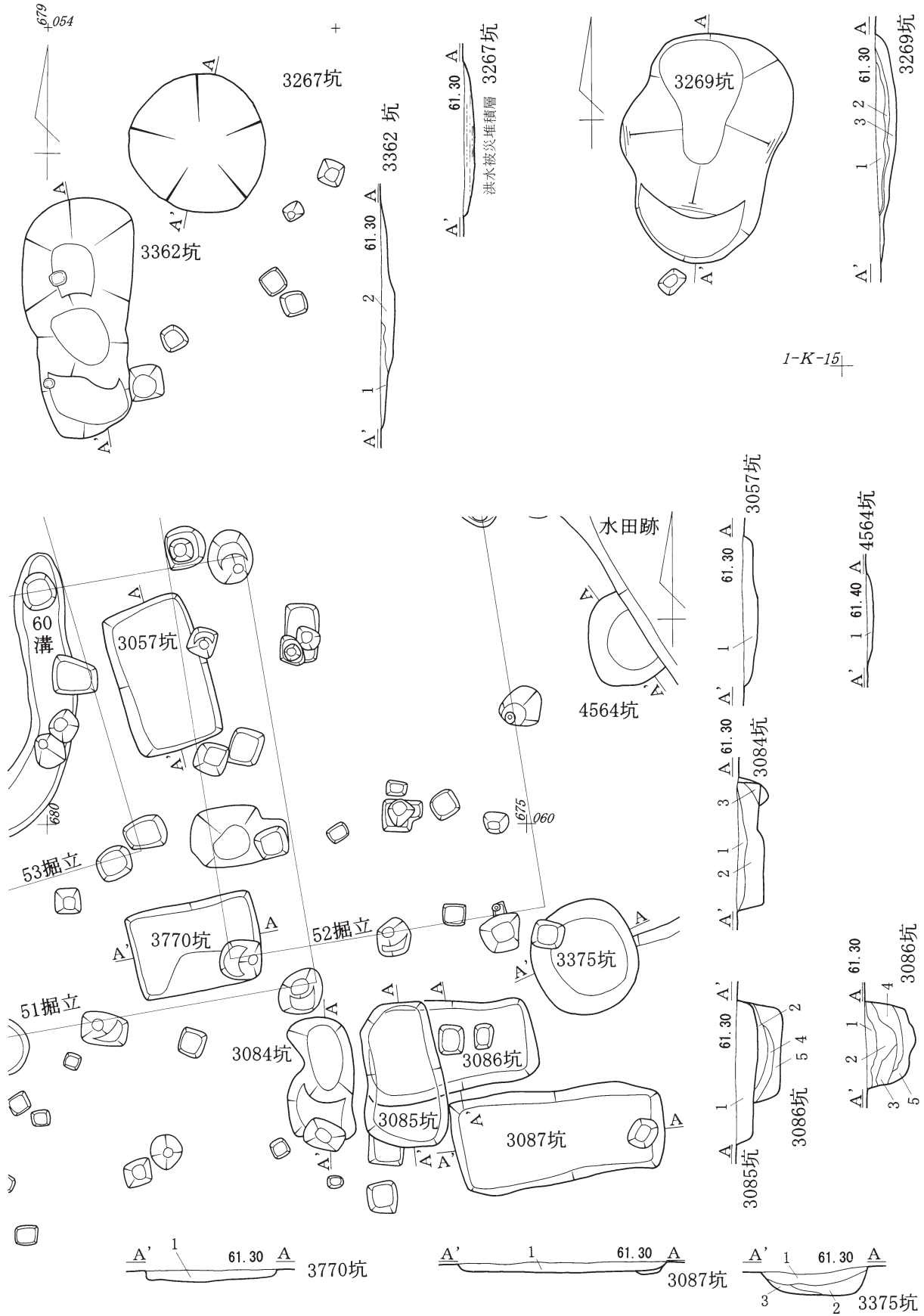
第765号土坑層序 (61.40m)

1. 黒褐色：細粒状白色軽石若干・粗粒状Ⅷ層土若干。

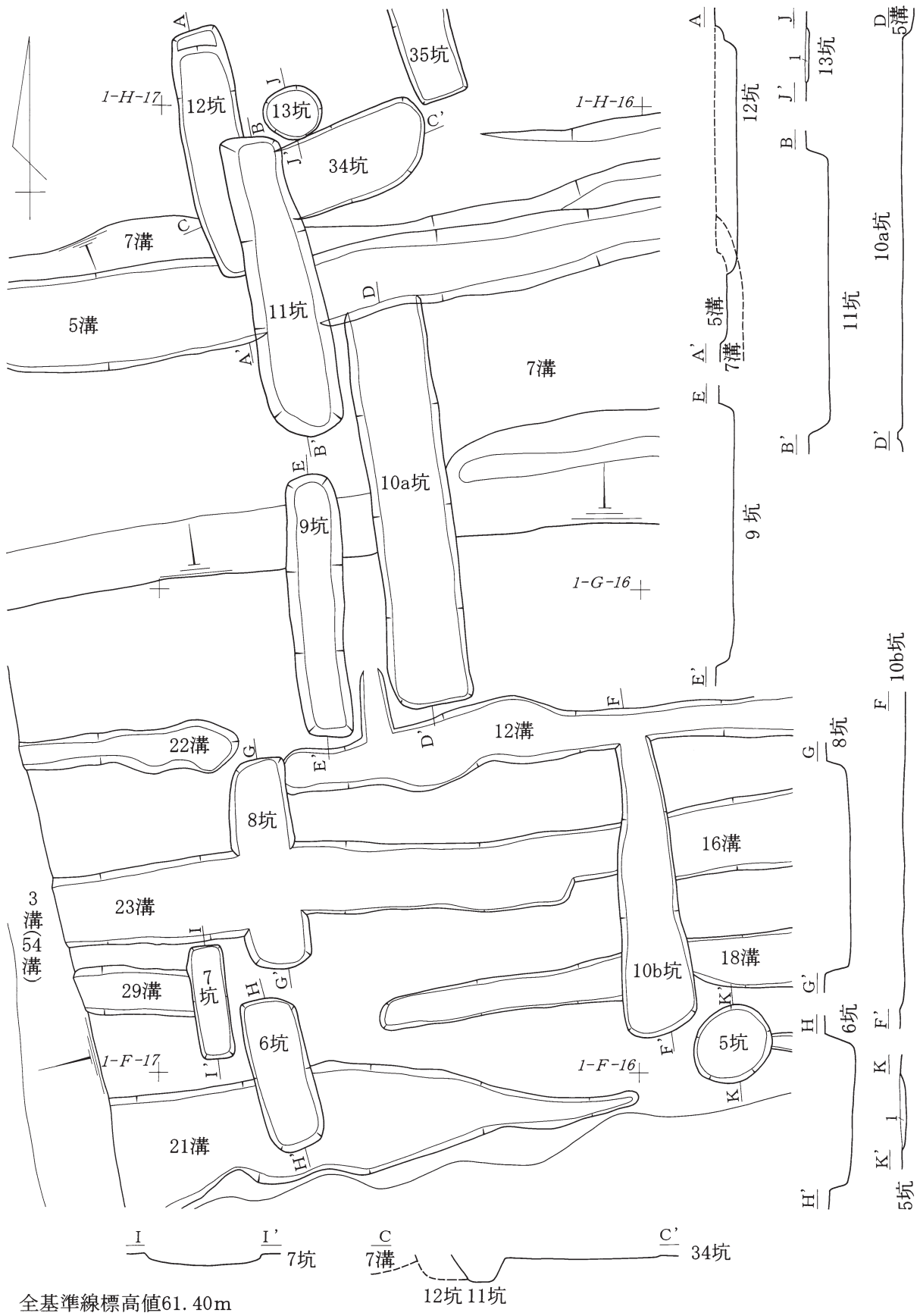
発見された遺構と出土遺物



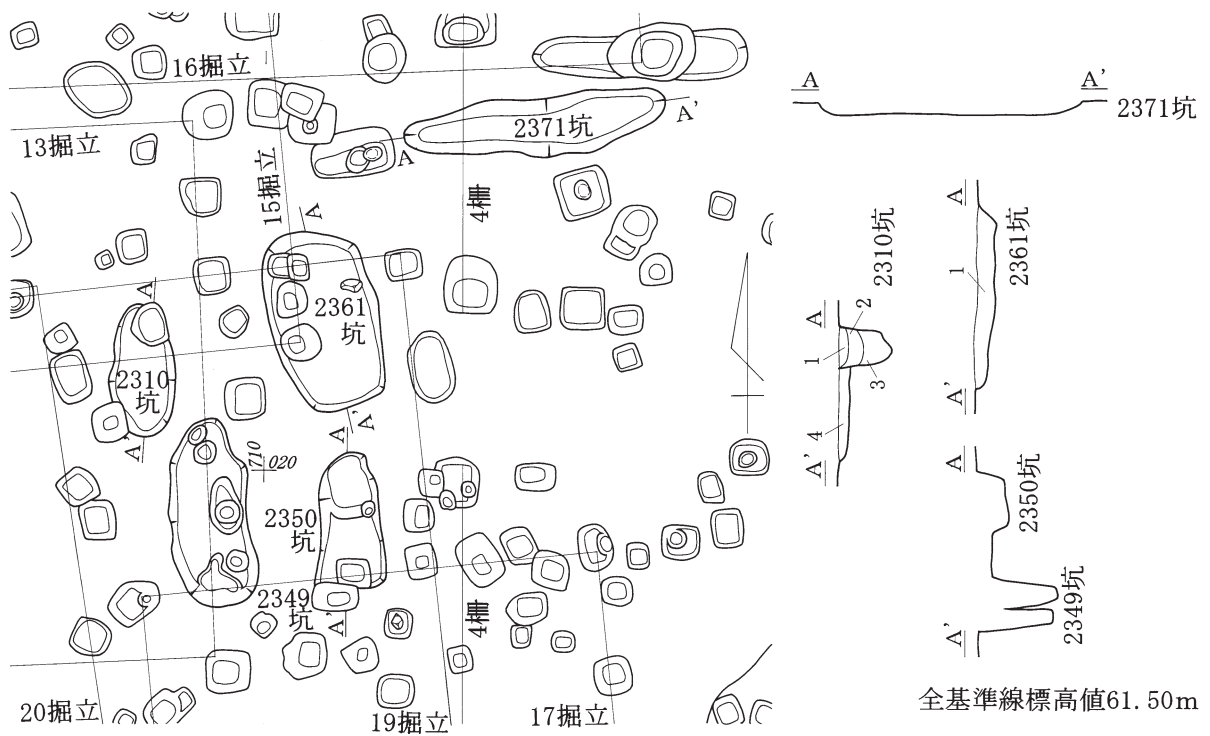
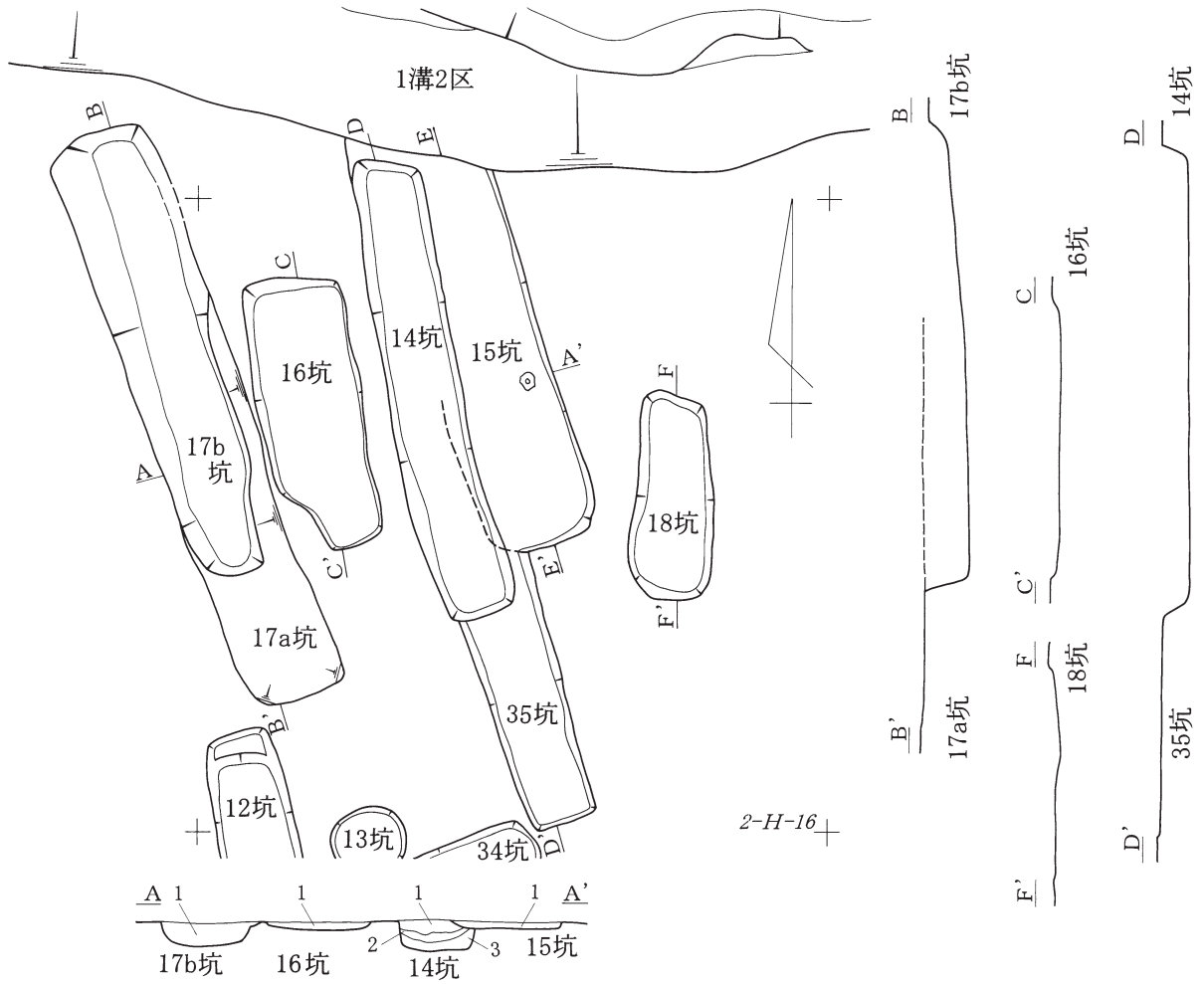
第158図 第2981・3000 a～c・3039・3272・3374・3382・3400号土坑実測図 (1:60)



第159図 第3362・3267・3269・3057・3071・3084～3087・3375・4564号土坑実測図 (1:60)

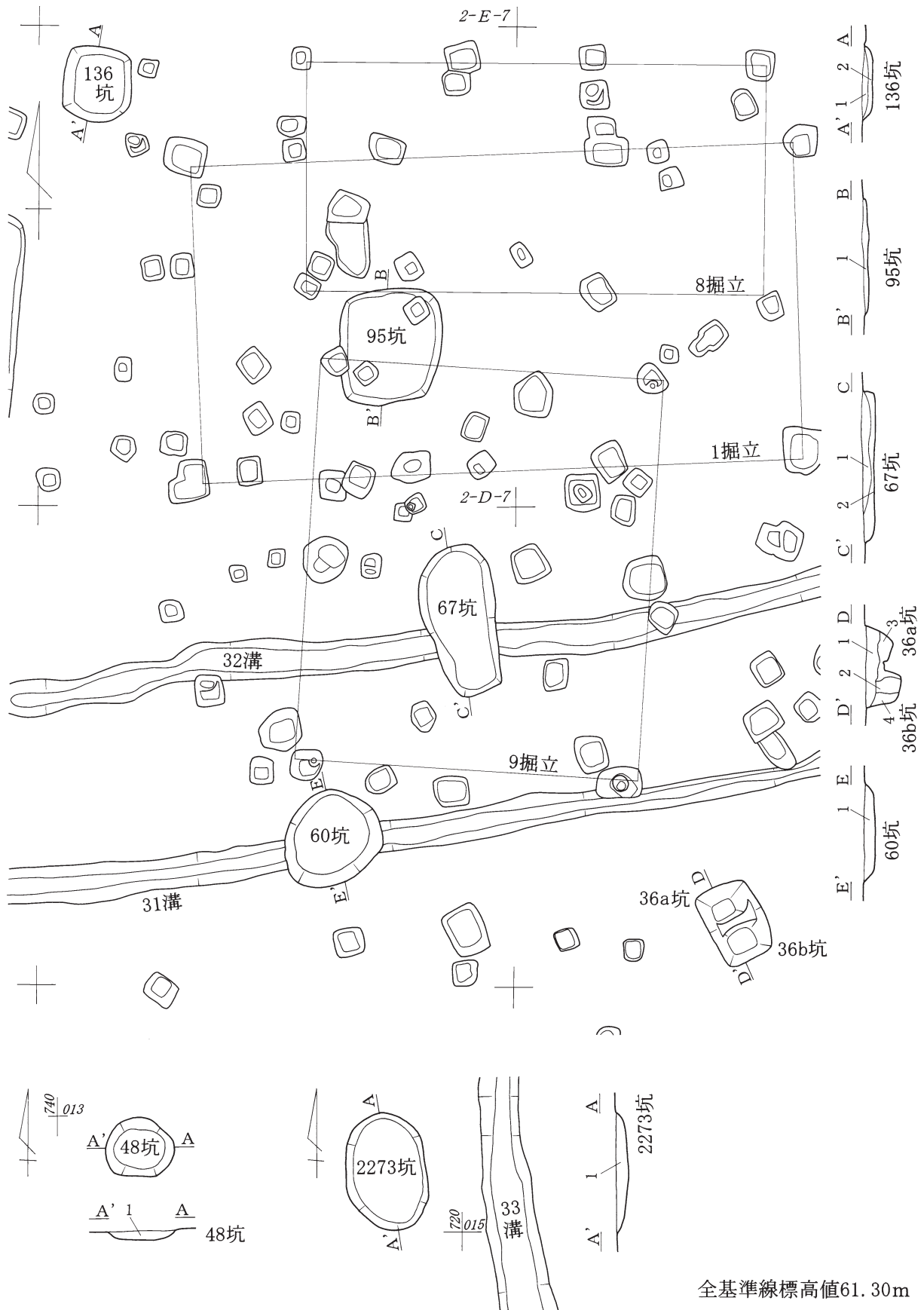


第160図 第5～12・34号土坑実測図 (1:60)

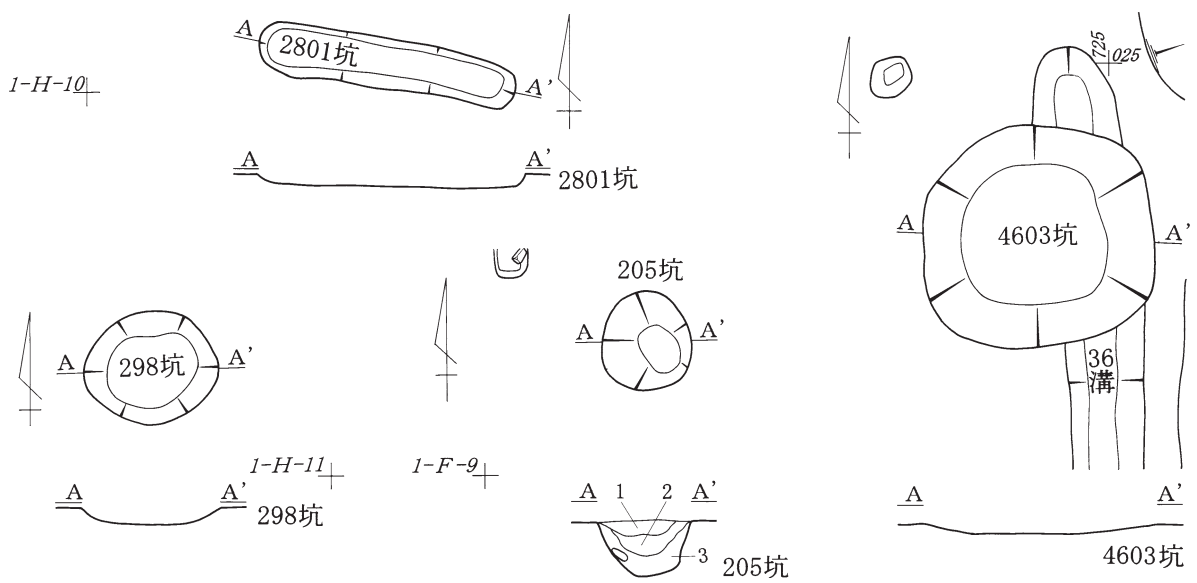
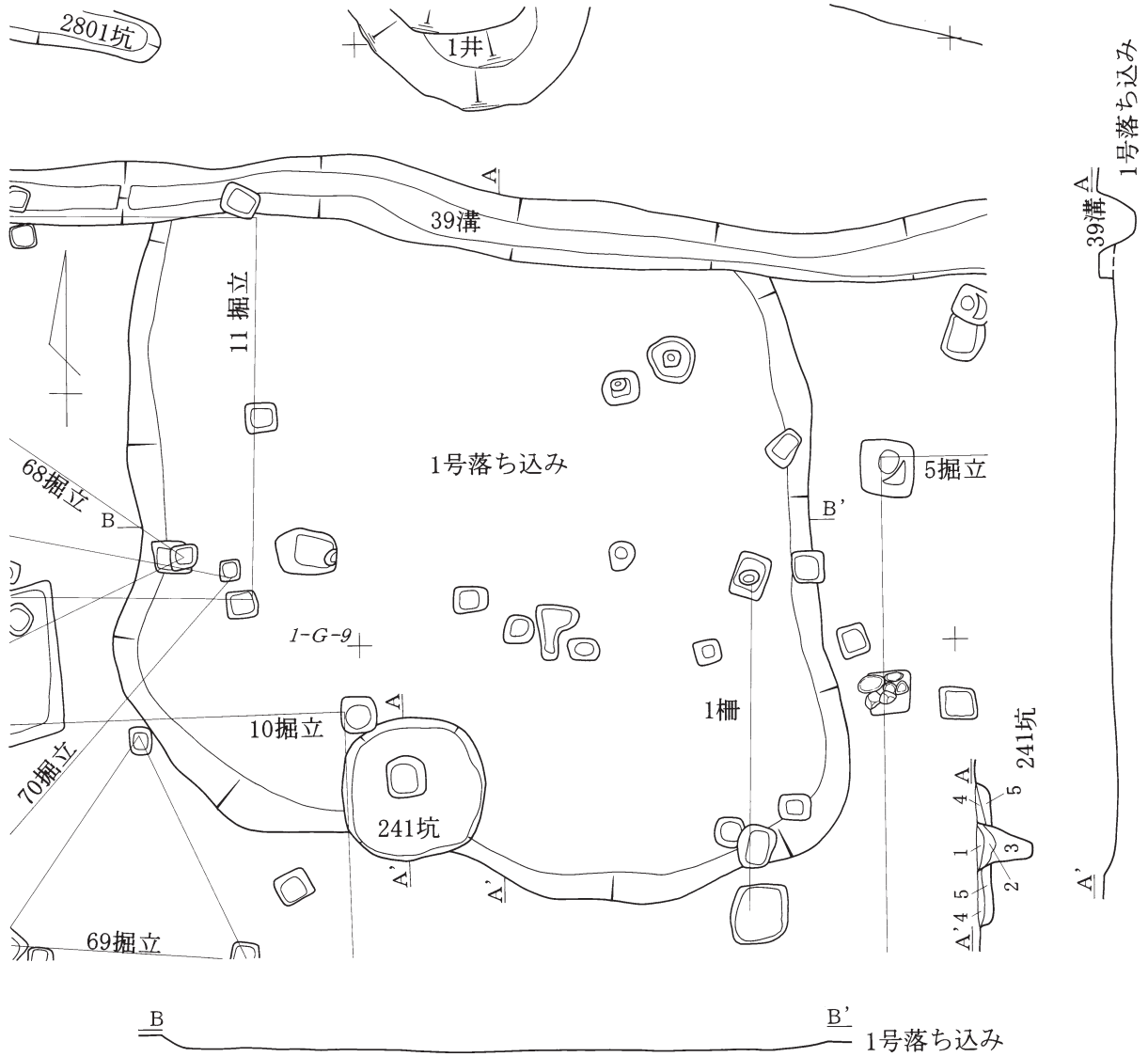


第161図 第14~18・35・2310・2350・2361・2371号土坑実測図 (1:60)

発見された遺構と出土遺物

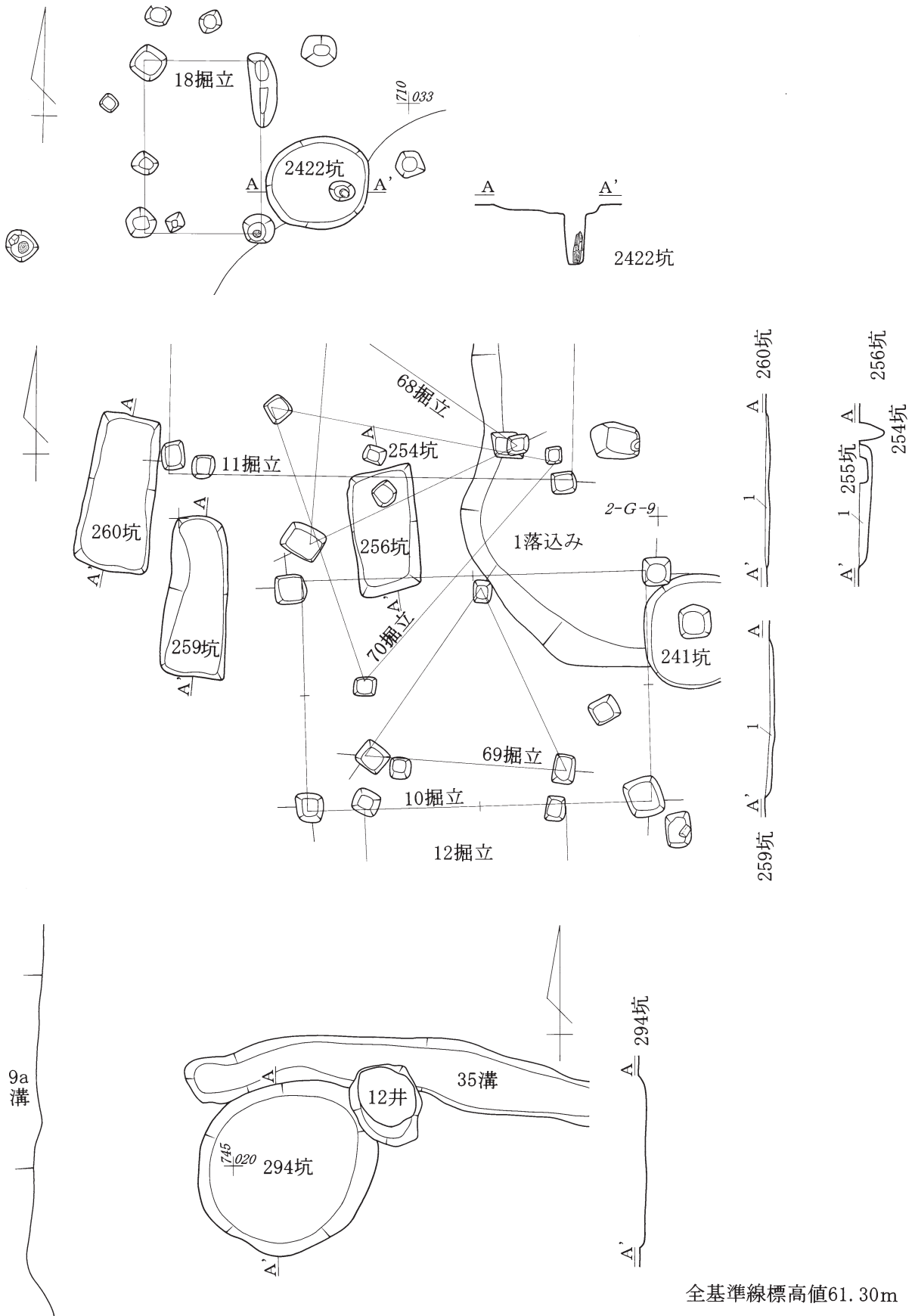


第162図 第36・48・60・67・95・136・2273号土坑実測図 (1:60)

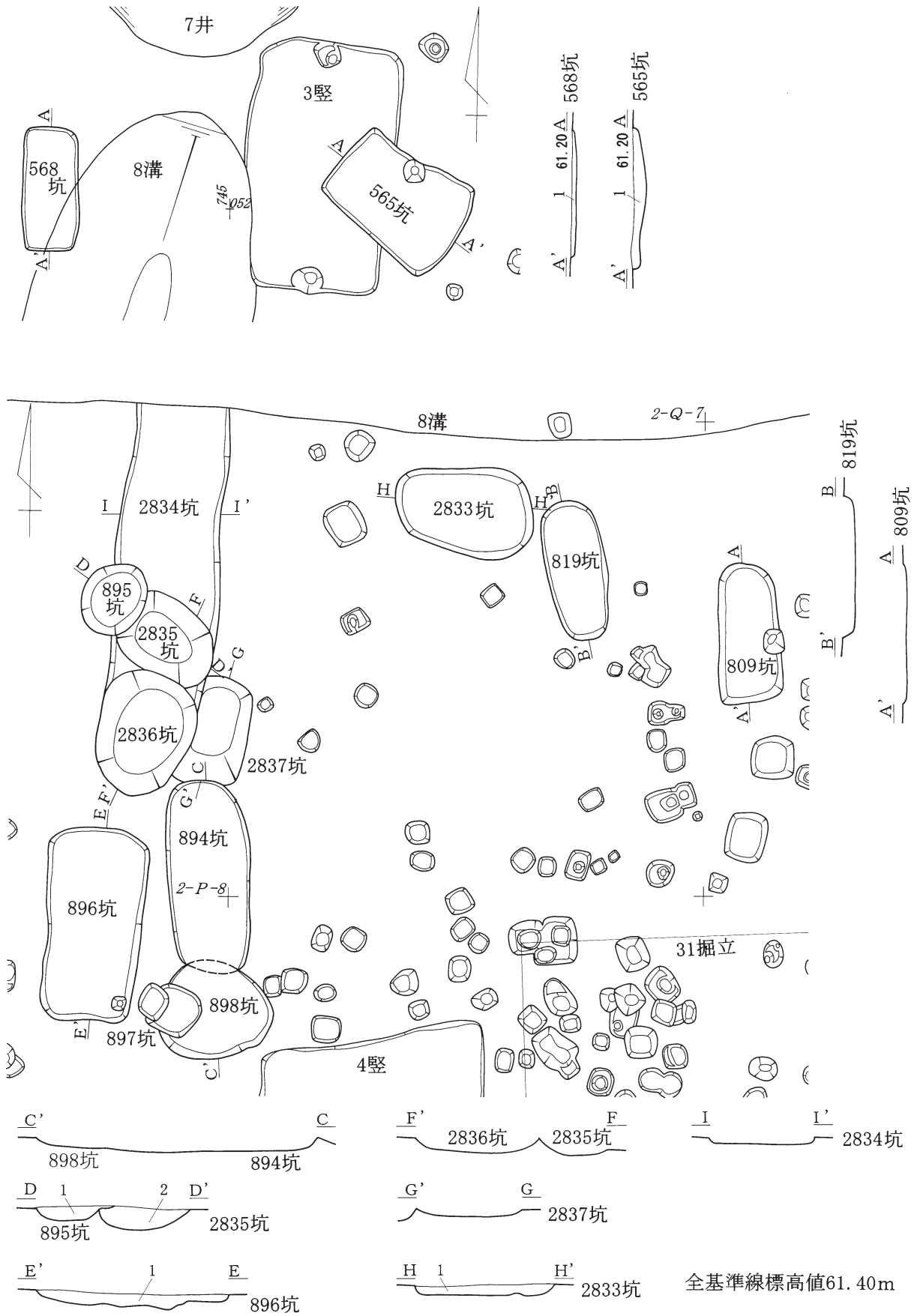


第163図 第1号落ち込み・第241・205・298・2801・4603土坑実測図 (1:60)

発見された遺構と出土遺物

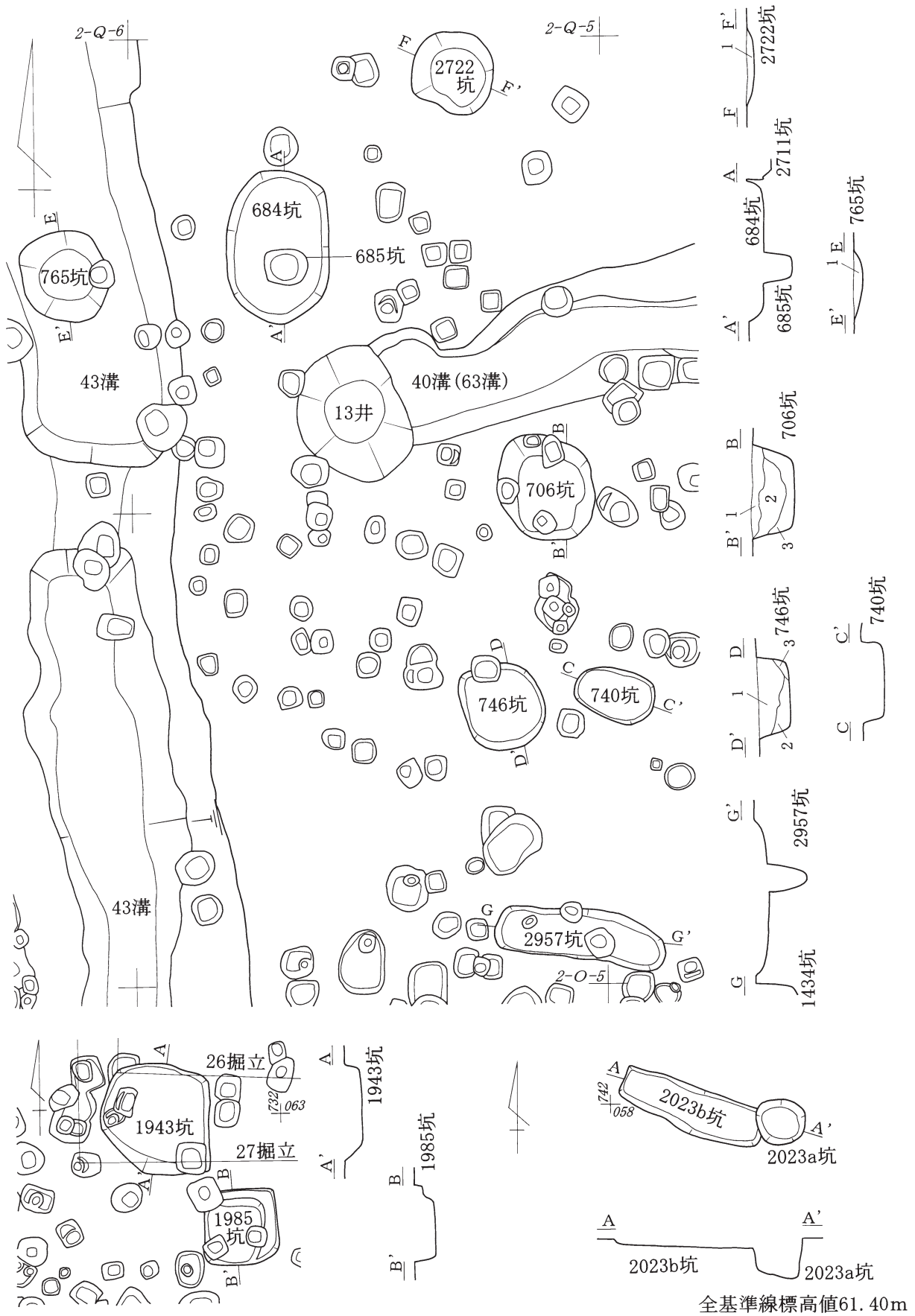


第164図 第2422・256・259・260・294号土坑実測図 (1:60)



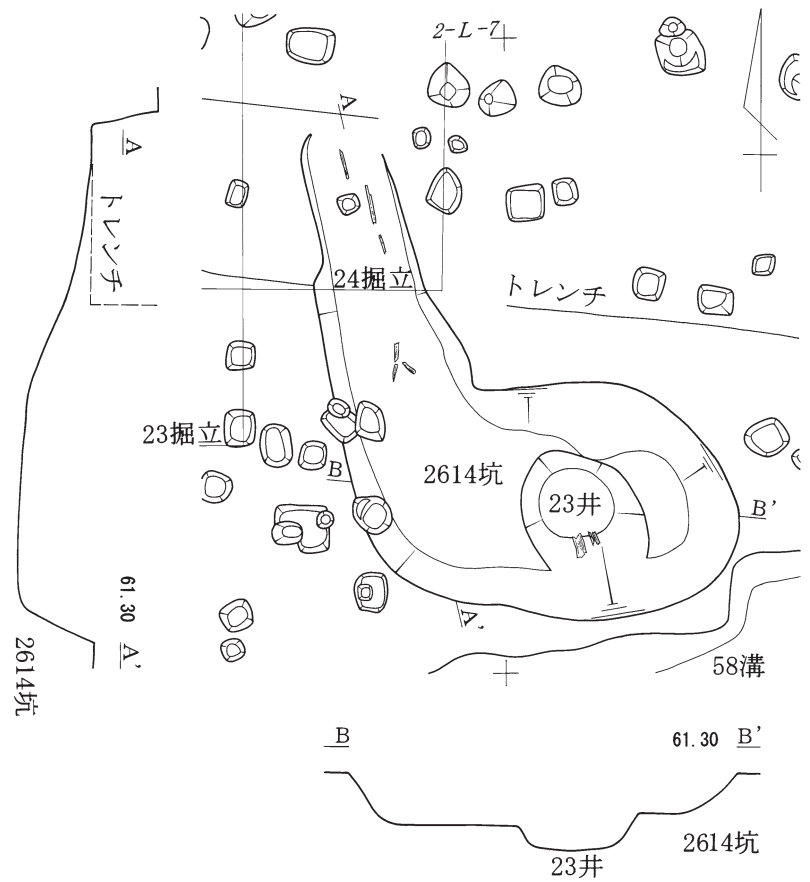
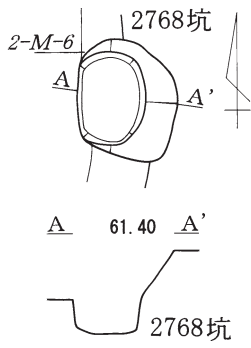
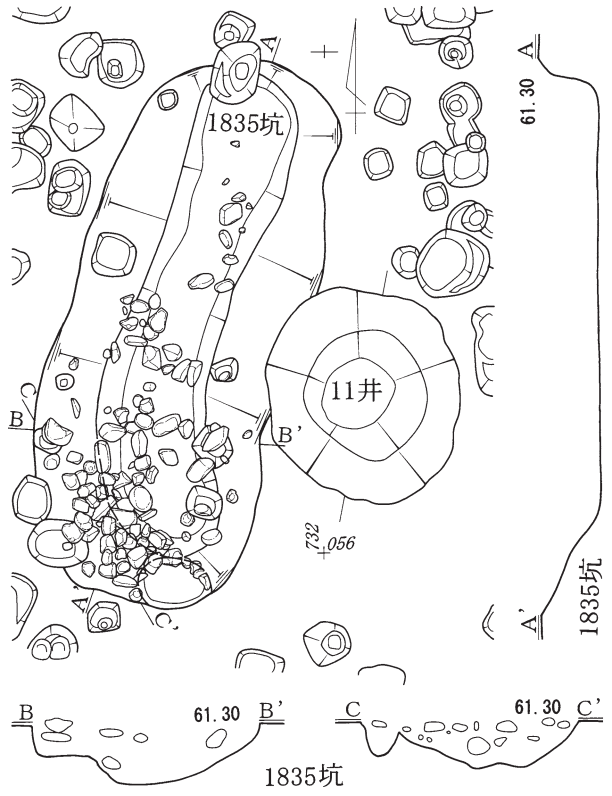
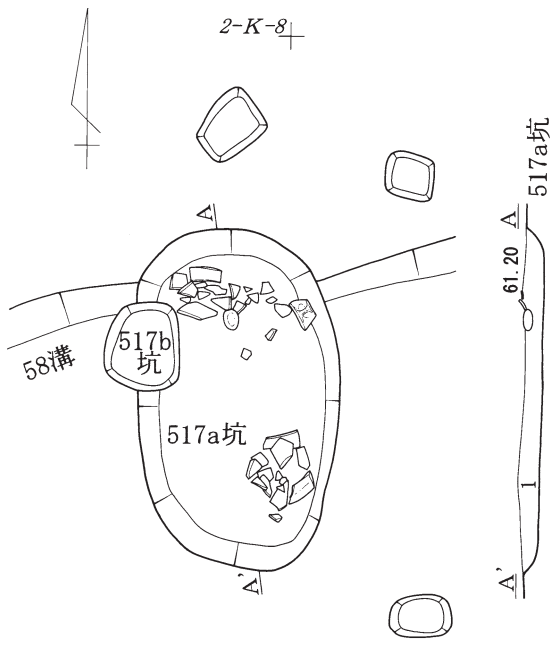
第165図 第565・568・809・819・894~896・898・2833~2837・2835・2836号土坑実測図 (1:60)

発見された遺構と出土遺物



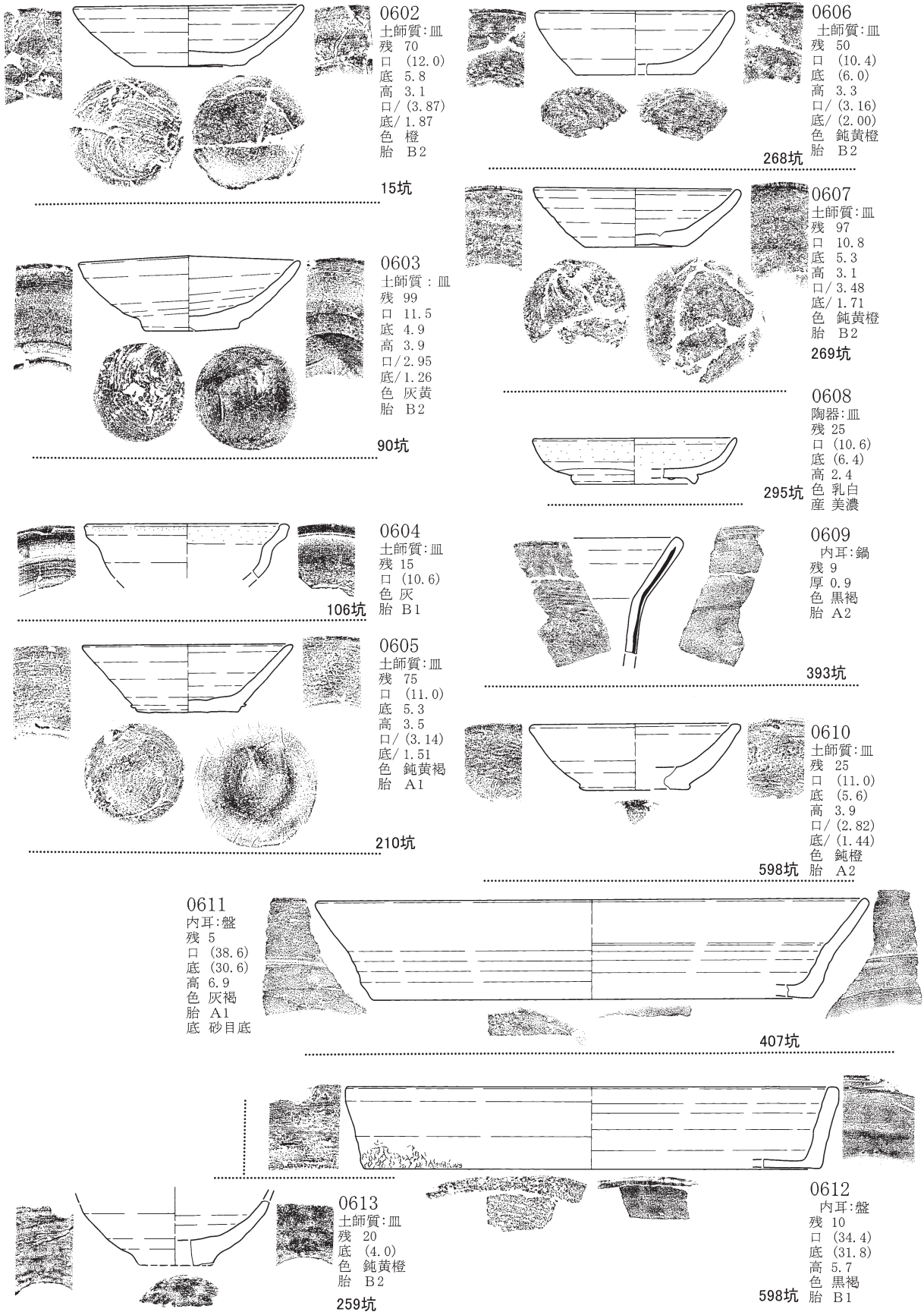
全基準線標高値61.40m

第166図 第684・706・740・746・1943・1985・2023・2722・2957号土坑実測図(1:60)



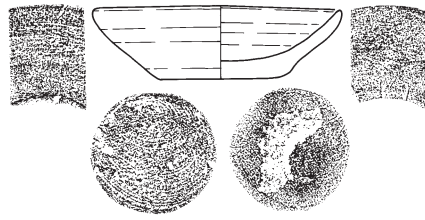
第167図 第517 a・1835・768・2614号土坑実測図 (1:60)

発見された遺構と出土遺物

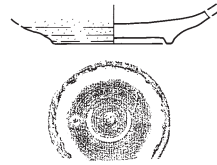


第168図 土坑出土遺物実測図 1/8 (1:3・1:4)

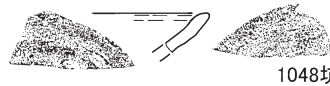
発見された遺構と出土遺物



0614
土師質:皿
残 99
口 9.8
底 5.0
高 2.8
口/底/3.50
底/1.79
色 橙
胎 A2
609坑



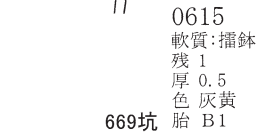
0623
陶器:皿
残 45
底 4.6
高 (1.1)
色 灰白
釉 鉄釉
930坑



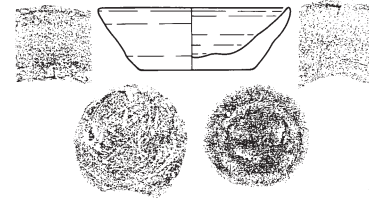
0624
土師質:皿
残 10
厚 0.5
色 浅黄橙
胎 B2
1048坑



0616
焼締陶:甕
残 1
厚 1.1
色 褐灰
胎 B1
685坑



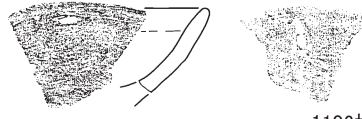
0615
軟質:擂鉢
残 1
厚 0.5
色 灰黄
胎 B1
669坑



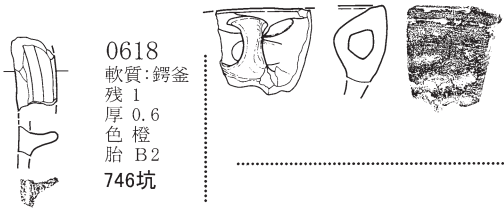
0625
土師質:皿
残 90
口 7.5
底 4.6
高 2.5
口/3.00
底/1.84
色 橙
胎 B2
1080坑



0617
土師質:皿
残 10
厚 0.5
色 橙
胎 B2
687坑

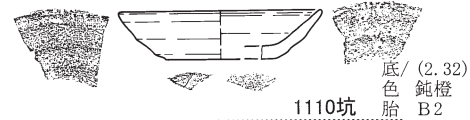


0626
土師質:皿
残 15
厚 0.6
色 鈍橙
胎 B2
1106坑

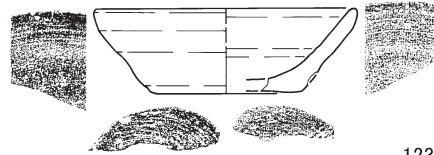


0618
軟質:鍔釜
残 1
厚 0.6
色 橙
胎 B2
746坑

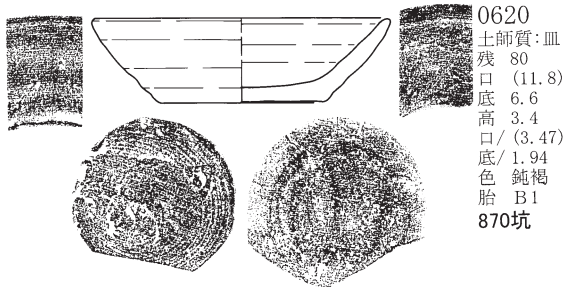
0619
内耳:盤
残 2
色 灰褐
胎 B1
B類
829坑



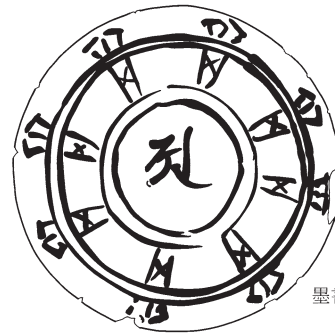
0627
土師質:皿
残 20
口 (8.0)
底 (4.4)
高 1.9
口/(4.21)
底/(2.32)
色 鈍橙
胎 B2
1110坑



0628
土師質:皿
残 40
口 (10.4)
底 (6.0)
高 3.3
口/(3.15)
底/(1.82)
色 橙
胎 B2
1230坑

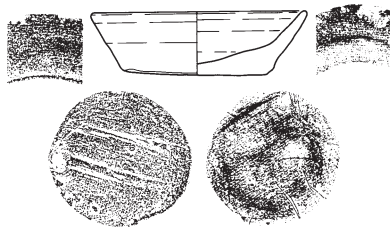


0620
土師質:皿
残 80
口 (11.8)
底 6.6
高 3.4
口/(3.47)
底/1.94
色 鈍褐
胎 B1
870坑

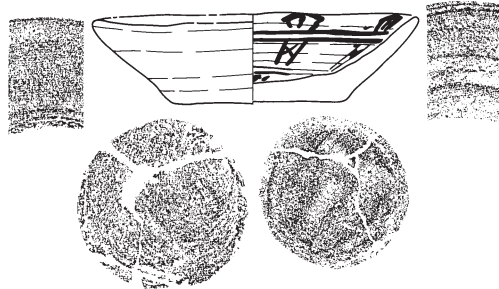


墨書:輪宝

0629
土師質:皿
残 98
口 12.9
底 6.7
高 3.4
口/3.79
底/1.97
色 浅黄橙
胎 B2
1301坑



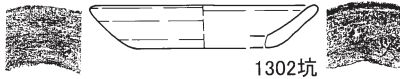
0621
土師質:皿
残 90
口 8.5
底 5.6
高 2.5
口/3.40
底/2.24
色 鈍橙
胎 B2
903坑



0622
土師質:皿
残 30
口 (10.8)
底 (4.8)
高 2.8
口/(3.86)
底/(1.71)
色 灰白
胎 B2
910坑

第169図 土坑出土遺物実測図 2/8 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物

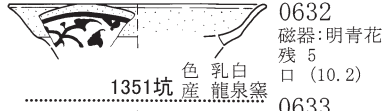


0630
土師質:皿
残 25
口 (9.0)
底高 (5.8)
口/底 1.7
厚 (5.29)
胎 (3.41)
色 黒灰
胎 B2

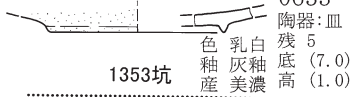


0631
土師質:皿
残 1
厚 0.5
色 灰
胎 B2

内面は溶解した鉄が付着する 1316坑



0632
磁器:明青花
残 5
口 (10.2)



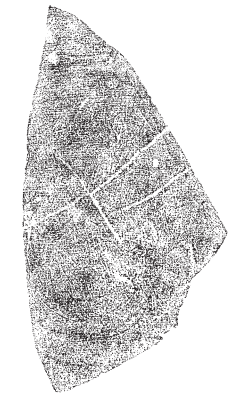
0633
陶器:皿
残 5
色 乳白
釉 灰釉
底高 (7.0)
胎高 (1.0)
産 美濃



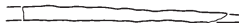
0635
陶器:皿
残 25
色 白灰
釉 灰釉
底高 (6.0)
胎高 2.3
産 美濃



0636
土師質:皿
残 10
厚 0.7
色 浅鈍橙
胎 B2



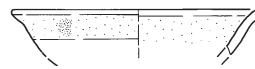
0637
内耳:盤
残 10
厚 0.7
色 浅黄
胎 B2
底 縮目底



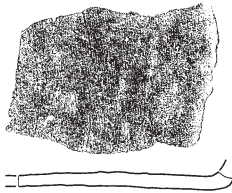
1436坑



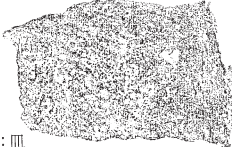
0638
陶器:皿
残 5
釉 鉄釉
産 美濃
色 白灰



1484坑



0640
厚 1.3
色 灰白
産 焼締陶
胎 湿美 残 2



0634
土師質:皿
残 5
厚 0.8
色 鈍橙
胎 B2
胎 転用円盤
1429坑



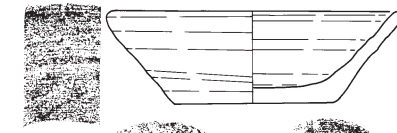
0639
内耳:盤
残 5
厚 0.8
色 鈍黄橙
胎 B2
胎 縮目底
1492坑



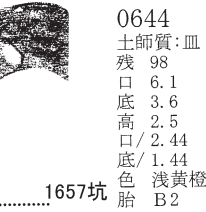
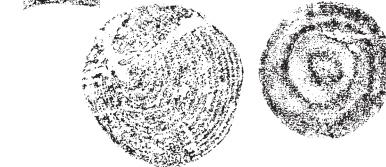
0641
内耳:鍋
残 3
厚 0.6
色 暗褐
胎 A2
1563坑



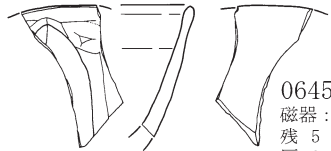
0642
土師質:皿
残 10
口 (12.0)
底高 (2.7)
色 黒褐
胎 A2
1618坑



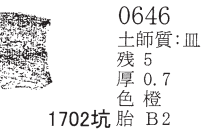
0643
土師質:皿
残 75
口 11.6
底高 6.5
胎高 3.6
口/底 3.22
底/胎 1.81
色 鈍橙
胎 B2
1628坑



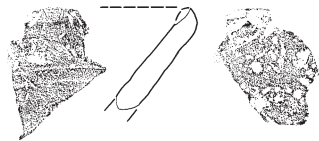
0644
土師質:皿
残 98
口 6.1
底高 3.6
胎高 2.5
口/底 2.44
底/胎 1.44
色 浅黄橙
胎 B2
1657坑



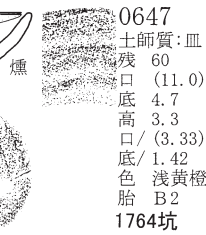
0645
磁器:碗
残 5
厚 0.5
色 オリーブ灰
釉 青磁
産 龍泉か
1667坑



0646
土師質:皿
残 5
厚 0.7
色 橙
胎 B2
1702坑



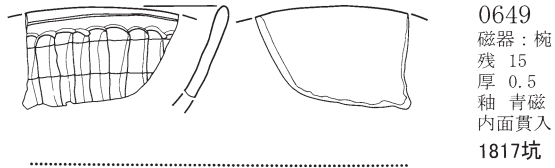
0648
軟質:播鉢
残 3
厚 1.2
色 鈍橙
胎 B2
1775坑



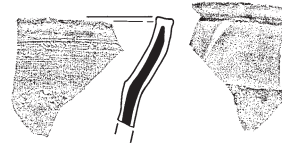
0647
土師質:皿
残 60
口 (11.0)
底高 4.7
胎高 3.3
口/底 (3.33)
底/胎 1.42
色 浅黄橙
胎 B2
1764坑



第170図 土坑出土遺物実測図 3/8 (1:3・1:4)



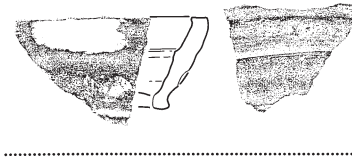
0649
磁器：碗
残 15
厚 0.5
釉 青磁
内面貫入
1817坑



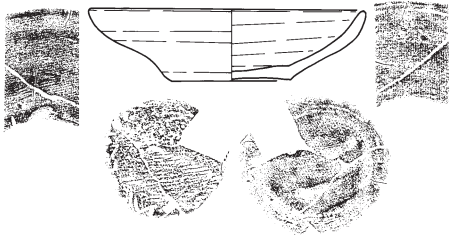
0653
内耳：鍋
残 1
厚 1.0
色 黒褐
胎 A2
1835坑



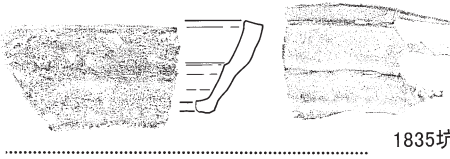
0650
土師質：皿
残 20
口 (10.8)
底 (7.0)
高 2.7
口/(4.00)
底/(2.59)
色 鈍橙
胎 B2
1835坑



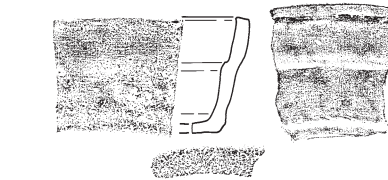
0654
内耳：盤
残 1
厚 0.9
色 黒褐
胎 B2
1835坑



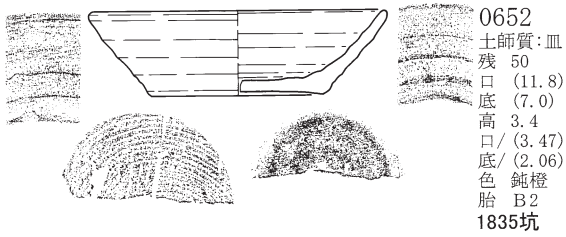
0651
土師質：皿
残 85
口 11.0
底 4.7
高 2.9
口/3.79
底/1.62
色 橙
胎 A1
1835坑



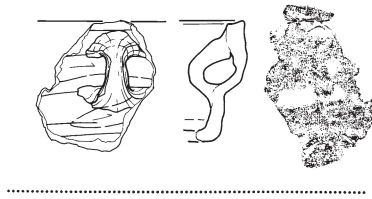
0655
内耳：盤
残 2
厚 0.9
色 黒褐
胎 A2
1835坑



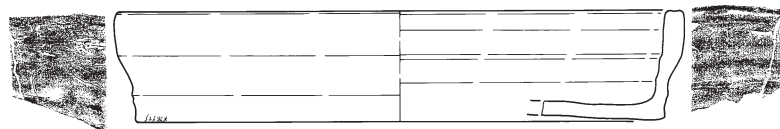
0656
内耳：盤
残 2
厚 0.8
色 黒褐
胎 B2
1835坑



0652
土師質：皿
残 50
口 (11.8)
底 (7.0)
高 3.4
口/(3.47)
底/(2.06)
色 鈍橙
胎 B2
1835坑



0657
内耳：盤
残 1
色 黒褐
胎 B2
形 B類
1835坑



0658
内耳：盤
残 10
口 (30.2)
底 (28.0)
高 5.8
色 黒褐
胎 A2
底 砂目
1835坑

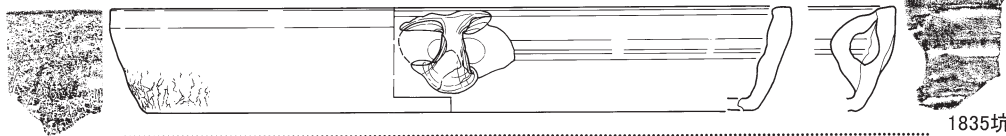


0659
土師質：皿
残 30
底 (6.4)
高 (1.1)
色 白灰
胎 B1
1835坑

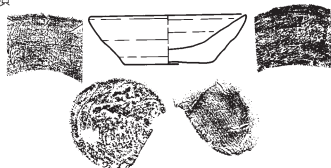
1835坑



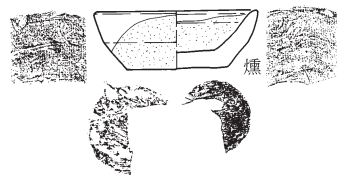
0660
内耳：盤
残 2
口 (36.0)
底 (32.6)
高 5.6
色 黒褐
胎 B2
形 B類



1835坑



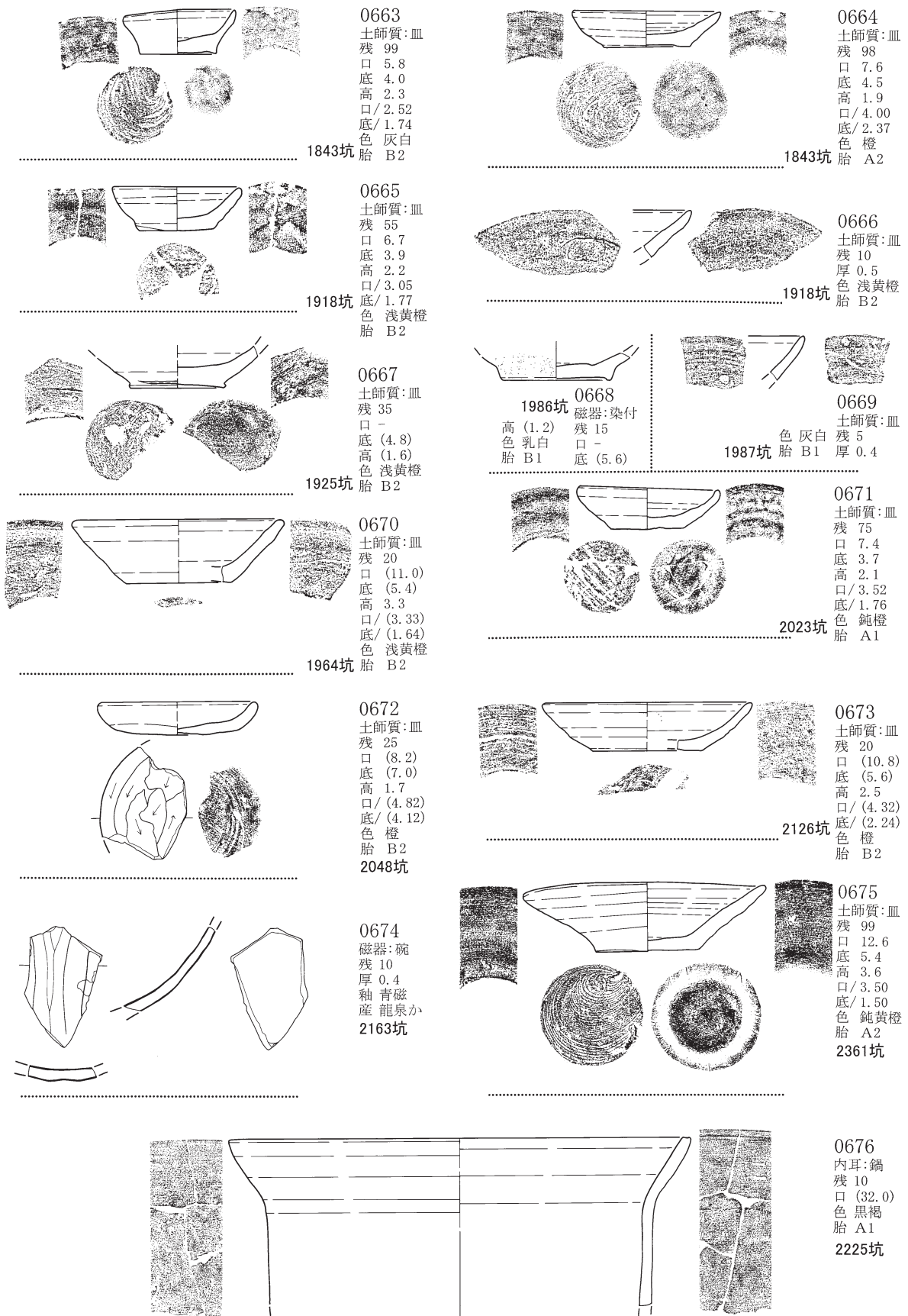
0661
土師質：皿
残 50
口 (6.2)
底 (3.6)
高 1.9
口/(3.26)
底/(1.89)
色 浅黄橙
胎 B2
1841坑



0662
土師質：皿
残 75
口 (6.4)
底 (4.0)
高 2.3
口/(2.78)
底/(1.74)
色 浅黄橙
胎 B2
1841坑

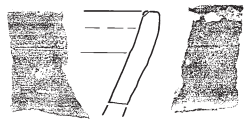
第171図 土坑出土遺物実測図 4/8 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物

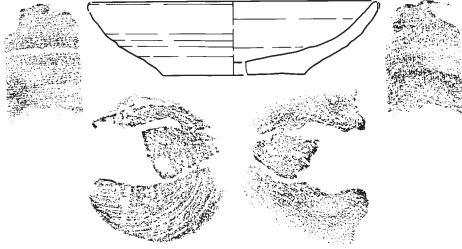


第172図 土坑出土遺物実測図 5/8 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物



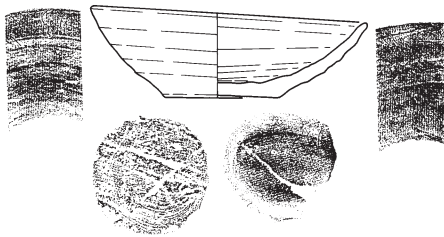
0677
内耳:盤
残 2
厚 1.0
色 灰
胎 B2
2373坑



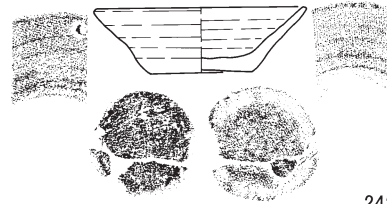
0679
土師質:皿
残 50
口 (11.4)
底 (5.6)
高 2.9
口/(3.93)
底/(1.93)
色 浅黄
胎 B2
2434坑



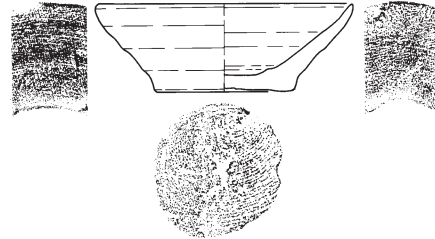
0681
土師質:皿
残 40
底 5.2
色 鈍黄橙
胎 A2
2534坑



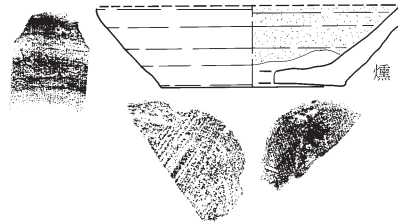
0683
土師質:皿
残 85
口 10.9
底 4.5
高 3.3
口/3.30
底/1.36
色 鈍橙
胎 B2
2613坑



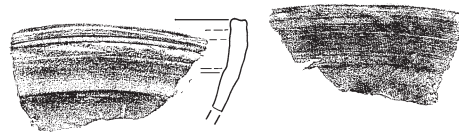
0678
土師質:皿
残 60
口 (8.4)
底 4.0
高 2.6
口/(3.23)
底/1.54
色 鈍黄橙
胎 B2
2421坑



0680
土師質:皿
残 70
口 (10.2)
底 5.4
高 3.5
口/(2.91)
底/1.54
色 灰白
胎 B2
2534坑

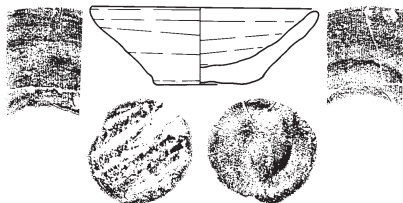
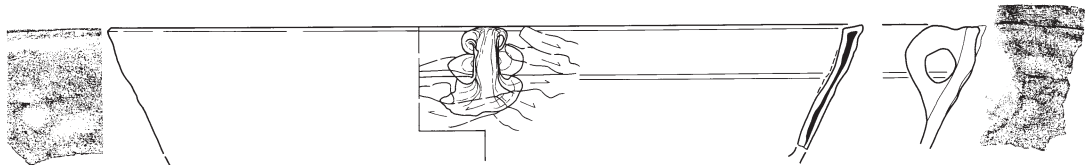


0682
土師質:皿
残 45
口 (12.4)
底 (7.2)
高 3.2
口/(3.88)
底/(2.25)
色 明赤褐
胎 A2
2536坑

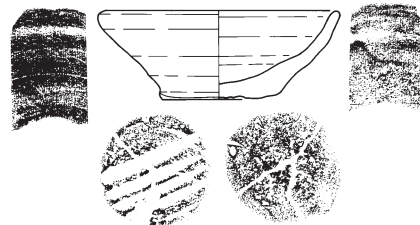


0684
内耳:盤
残 2
厚 0.9
色 黒褐
胎 A2
2705坑

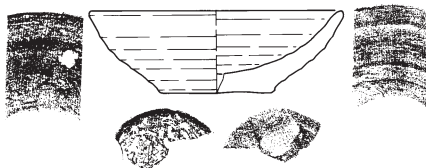
0685
内耳:盤
残 3
口 (40.0)
色 黒褐
胎 B2
耳 B類
2614坑



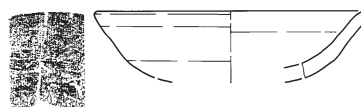
0686
土師質:皿
残 98
口 9.0
底 4.0
高 3.1
口/2.90
底/1.29
色 灰白
胎 B2
2800坑



0687
土師質:皿
残 70
口 9.6
底 4.5
高 3.5
口/2.74
底/1.29
色 灰白
胎 B2
2800坑



0688
土師質:皿
残 25
口 (10.0)
底 (4.4)
高 3.3
口/(3.03)
底/(1.33)
色 浅黄橙
胎 B2
2800坑



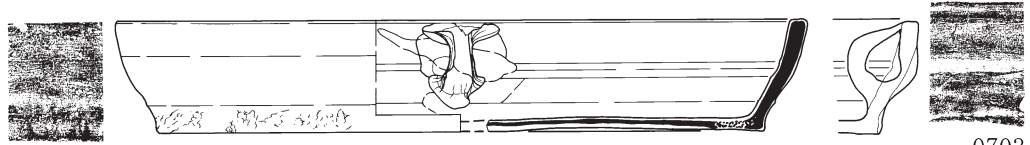
0689
土師質:皿
残 45
口 (10.8)
色 橙
胎 A2
2800坑

第173図 土坑出土遺物実測図 6/8 (1:3・1:4)

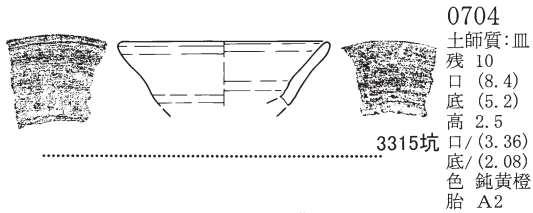
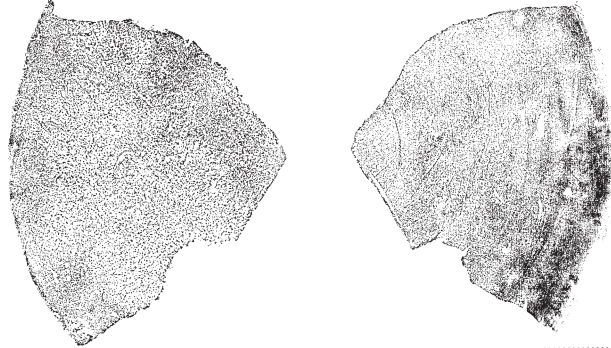
発見された遺構と出土遺物

	<p>0690 土師質:皿 残 10 色 鈍橙 胎 A2 厚 0.5 2800坑</p>		<p>0696 土師質:皿 残 45 口 (12.6) 高 (3.5) 色 橙 胎 A2 2849坑</p>
	<p>0691 内耳:盤 残 2 色 黒褐 胎 A1 C類か 2852坑</p>		<p>0697 土師質:皿 残 30 口 (12.6) 底 (6.8) 高 3.2 口/ (3.94) 底/ (2.13) 色 橙 胎 B2 2919坑</p>
	<p>0692 土師質:皿 残 10 口 (11.2) 底 (7.8) 高 2.2 口/ (5.09) 底/ (3.55) 色 橙 胎 A2 2861坑</p>		<p>0693 土師質:皿 残 10 口 (12.0) 底 (6.8) 高 2.9 口/ (4.14) 底/ (2.34) 色 橙 胎 B2 2917坑</p>
	<p>0694 磁器:碗 残 5 底 (5.4) 色 オリーブ灰 釉 青磁 産 龍泉 内外貫入 3037坑</p>		<p>0699 土師質:皿 残 10 厚 0.6 色 浅黄橙 胎 B2 3173坑</p>
	<p>0695 内耳:鍋 残 3 厚 0.9 色 褐灰 胎 A2 2950坑</p>		<p>0700 土師質:皿 残 80 口 10.7 底 6.7 高 3.1 口/ 3.45 底/ 2.16 色 灰白 胎 B2 3136坑</p>
	<p>0701 内耳:鍋 残 15 厚 0.9 色 黒褐 胎 B2 3147坑</p>		<p>0702 土師質:皿 残 45 口 (11.4) 底 (5.6) 高 2.8 口/ (4.07) 底/ (2.00) 色 浅黄橙 胎 B2 3167坑</p>

第174図 土坑出土遺物実測図 7/8 (1:3・1:4)

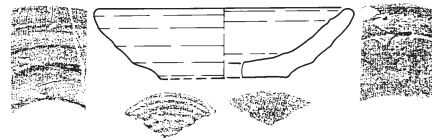


0703
内耳:盤
残 15
口 (36.6)
底 (32.2)
高 5.9
色 黒褐
胎 A1
底 縮目底
3195坑



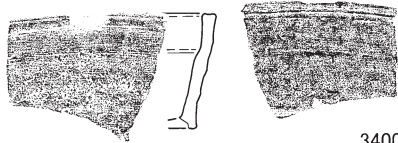
3315坑

0704
土師質:皿
残 10
口 (8.4)
底 (5.2)
高 2.5
口/底 (3.36)
底/ (2.08)
色 鈍黄橙
胎 A2



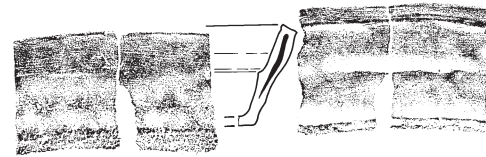
3223坑

0705
土師質:皿
残 25
口 (10.2)
底 (5.0)
高 2.8
口/ (3.64)
底/ (1.79)
色 浅黄橙
胎 B2



3400坑

0706
内耳:盤
残 2
厚 0.7
色 浅黄橙
胎 B2



0708
内耳:盤
残 3
厚 0.9
色 浅黄橙
胎 B2
3459坑



3400坑

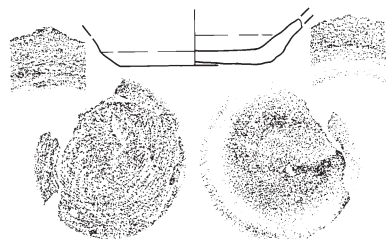
0707
磁器:碗
残 1
厚 0.4
釉 青磁
産 龍泉窯



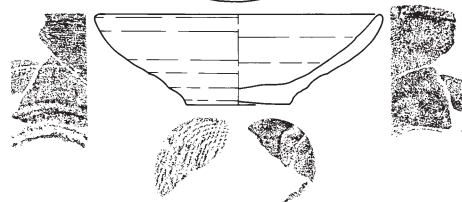
0709
内耳:盤
残 1
厚 0.6
色 鈍褐
胎 B2
3491坑



0710
土師質:皿
残 75
口 (11.4)
底 (4.0)
高 3.0
口/ (3.80)
底/ (1.33)
色 浅黄橙
胎 B2
墨書:梵字
(カ・?・ア・ラ)
3475坑

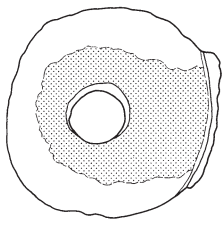


0711
土師質:皿
残 45
底 6.0
色 橙
胎 A1
3734坑

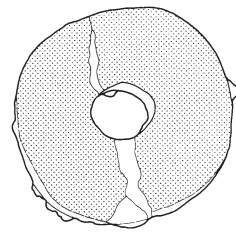


第175図 土坑出土遺物実測図 8/8 (1:3・1:4)

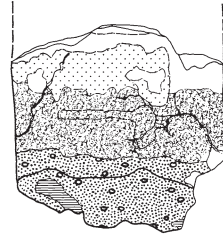
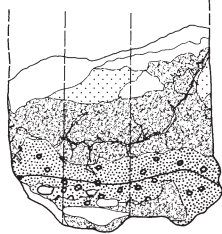
発見された遺構と出土遺物



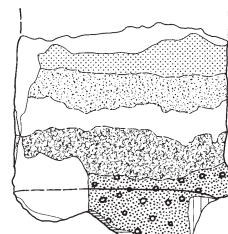
0712
羽口
残 7.9
外 8.2
孔 2.2
胎 B2
出 8号溝1区



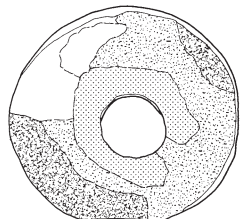
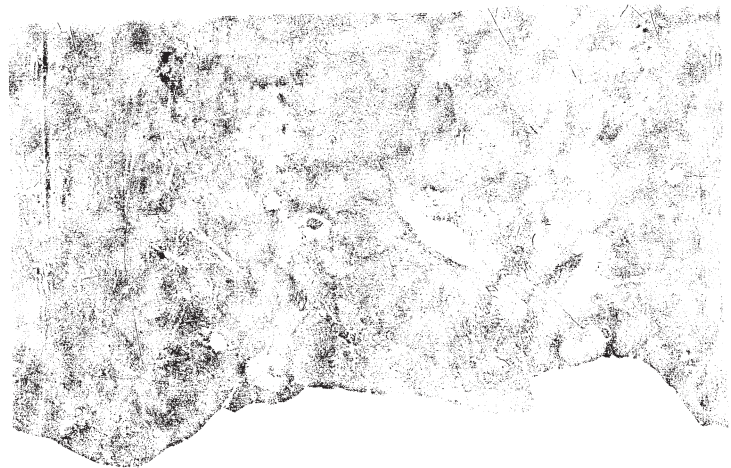
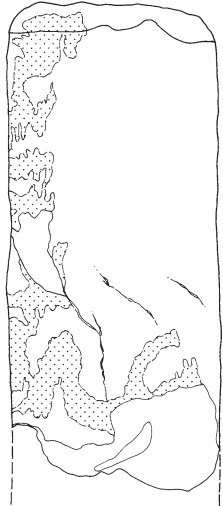
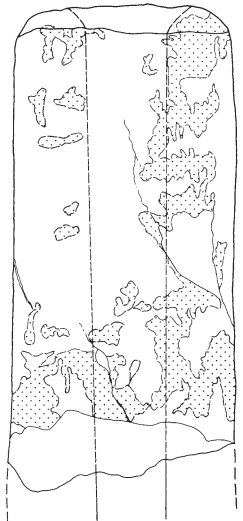
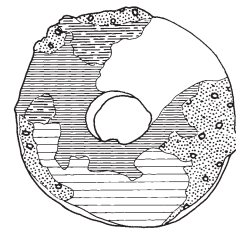
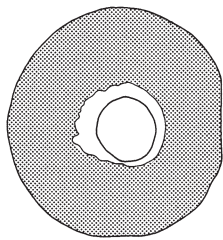
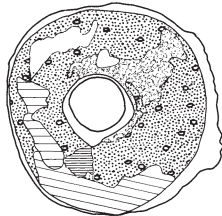
0713
羽口
残 8.9
外 8.5
孔 2.4
胎 B2
出 404坑



挿入俯角=12度

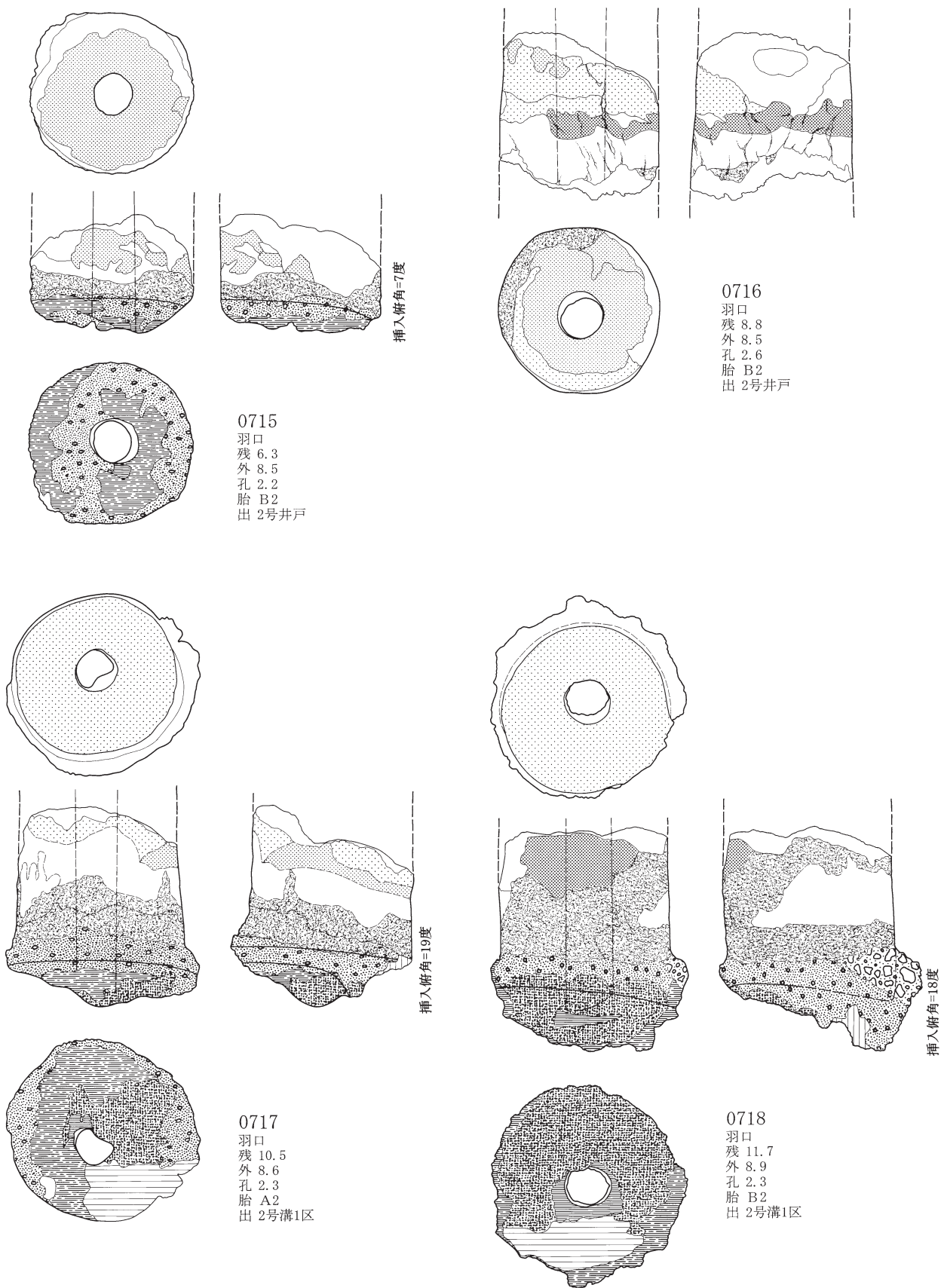


挿入俯角=14度



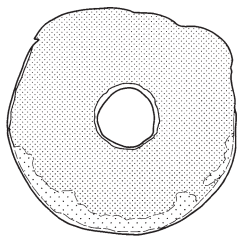
0714
羽口
残 19.2
外 8.4
孔 2.5
胎 A1
出 8号溝1区

第176図 羽口実測図 1/7 (1:3)

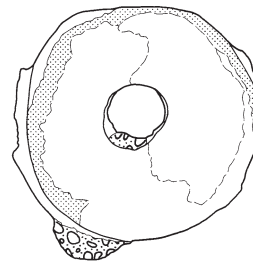


第177図 羽口実測図 2/7 (1:3)

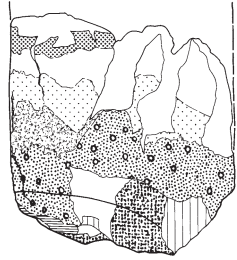
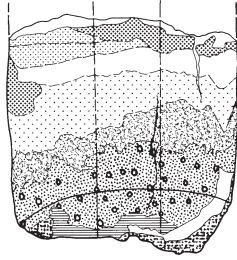
発見された遺構と出土遺物



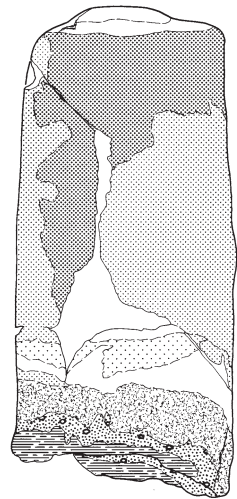
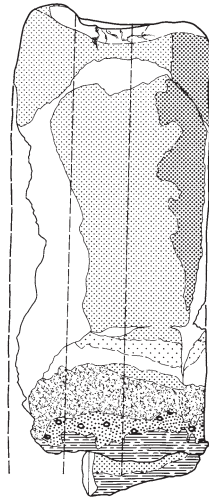
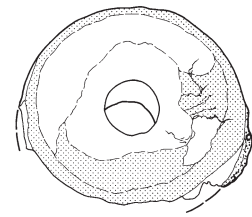
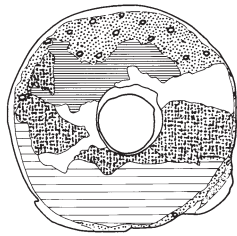
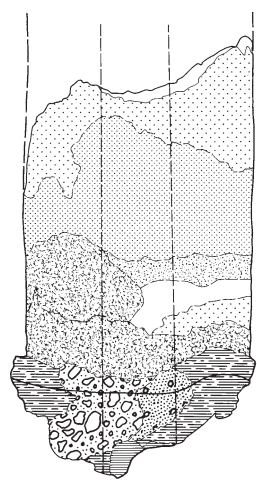
0719
羽口
残 9.5
外 9.0
孔 2.4
胎 B2
出 8号溝1区



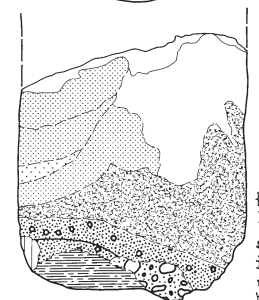
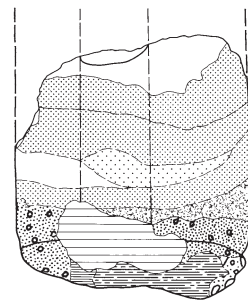
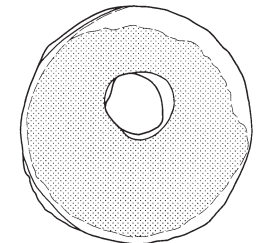
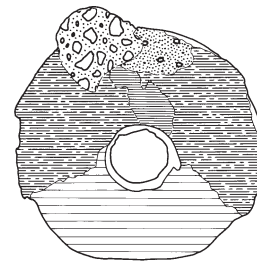
0720
羽口
残 19.4
外 9.0
孔 2.1
胎 A2
出 8号溝1区



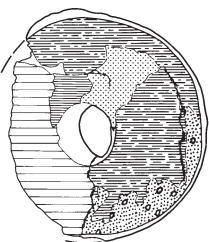
挿入俯角=12度



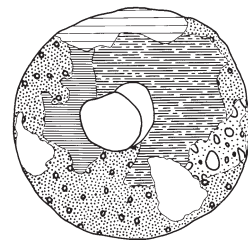
挿入俯角=15度



挿入俯角=14度

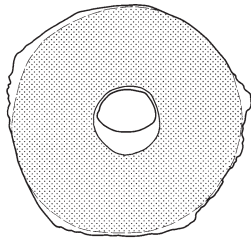


0721
羽口
残 17.4
外 9.1
孔 2.5
胎 A2
出 2号溝1区

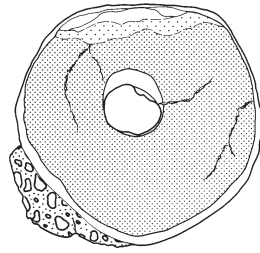


0722
羽口
残 10.5
外 9.2
孔 2.7
胎 B2
出 8号溝1区

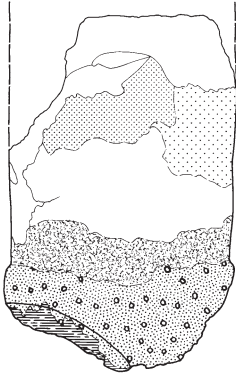
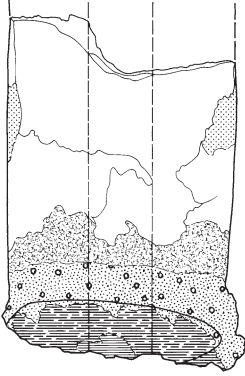
第178図 羽口実測図 3/7 (1:3)



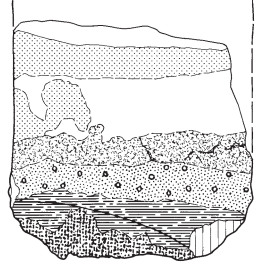
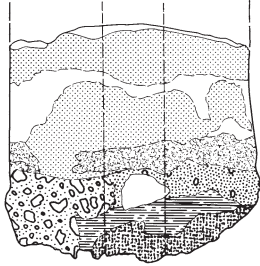
0723
羽口
残 14.0
外 9.2
孔 2.5
胎 B2
出 9号溝1区



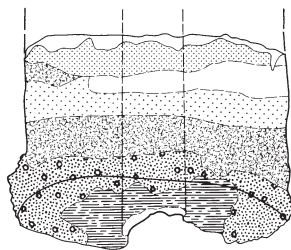
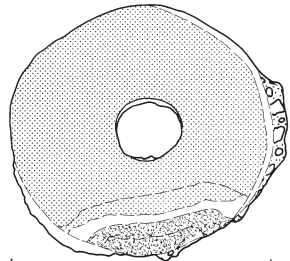
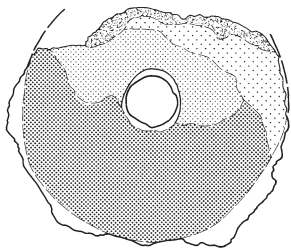
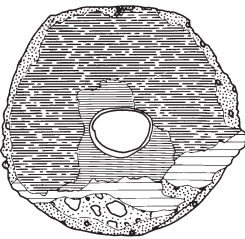
0724
羽口
残 9.4
外 9.5
孔 2.5
胎 B2
出 2号溝1区



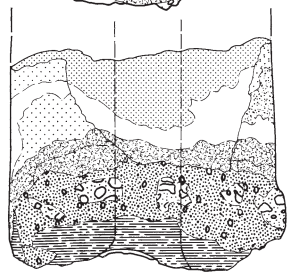
挿入俯角=25度



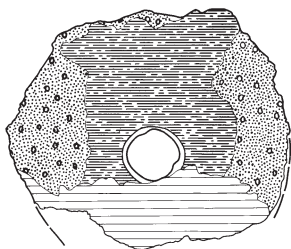
挿入俯角=18度



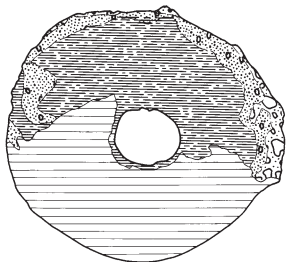
挿入俯角=16度



挿入俯角=15度



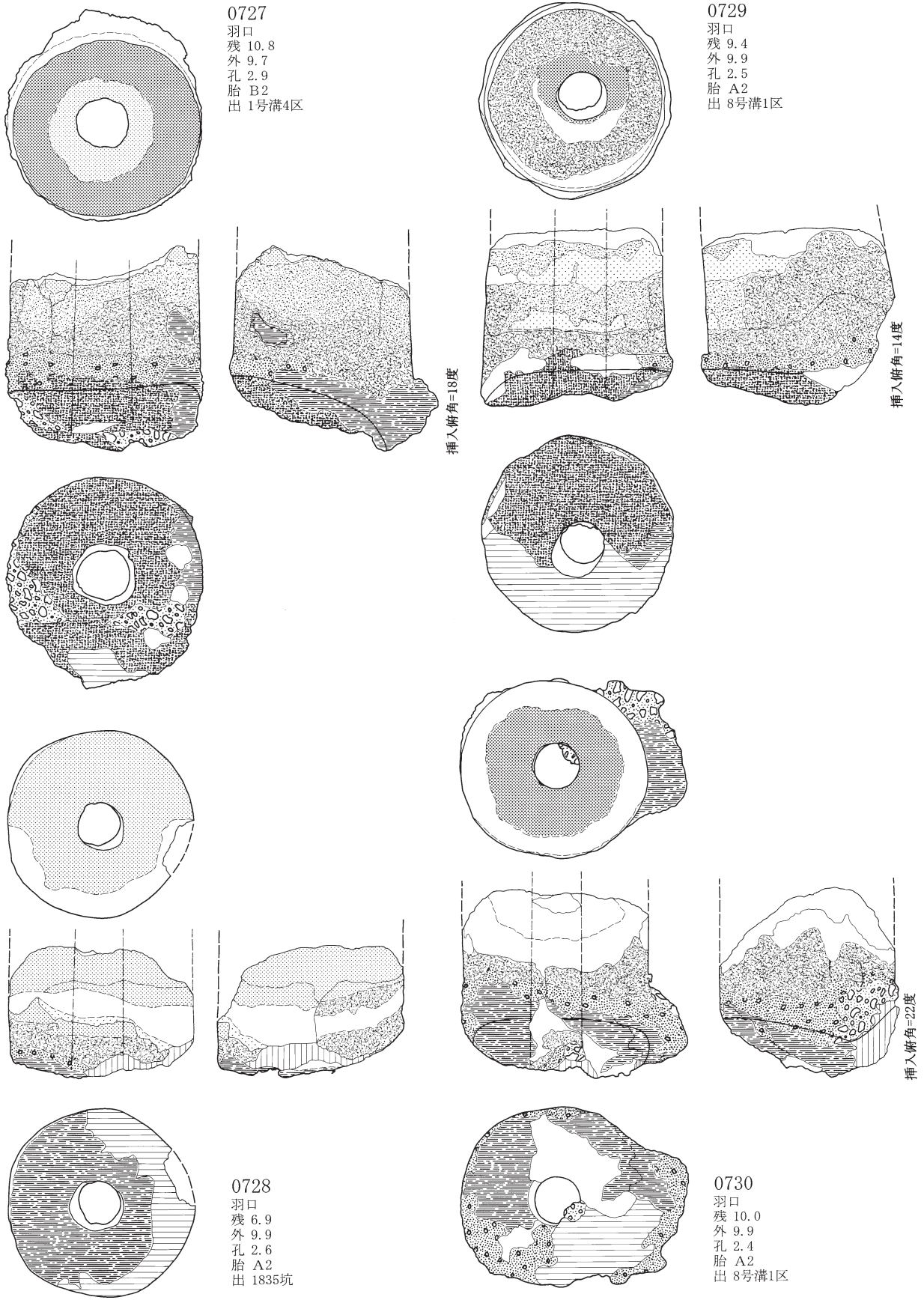
0725
羽口
残 8.5
外 9.4
孔 2.3
胎 B2
出 1号集石



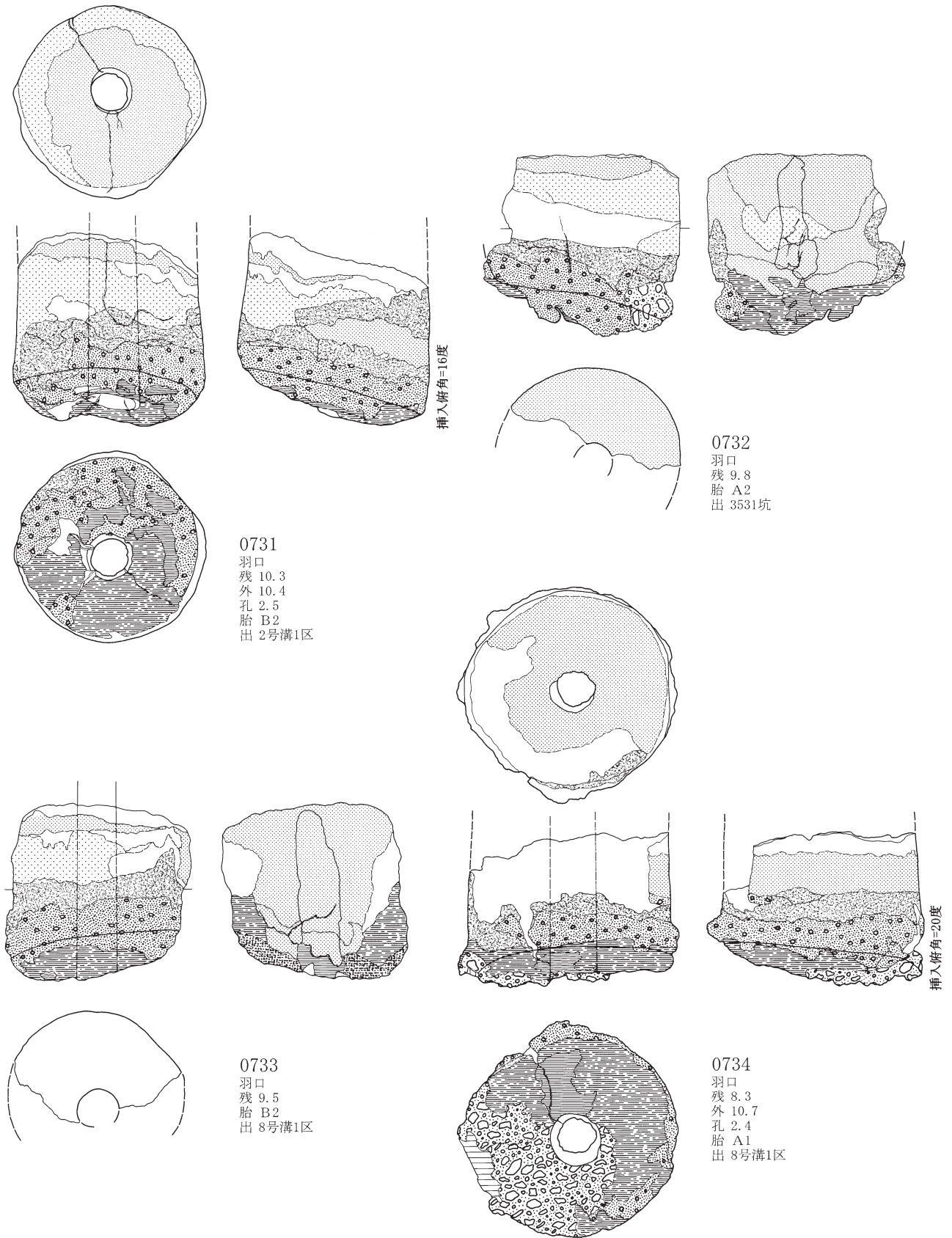
0726
羽口
残 9.3
外 9.7
孔 2.3
胎 B2
出 2号井戸

第179図 羽口実測図 4/7 (1:3)

発見された遺構と出土遺物

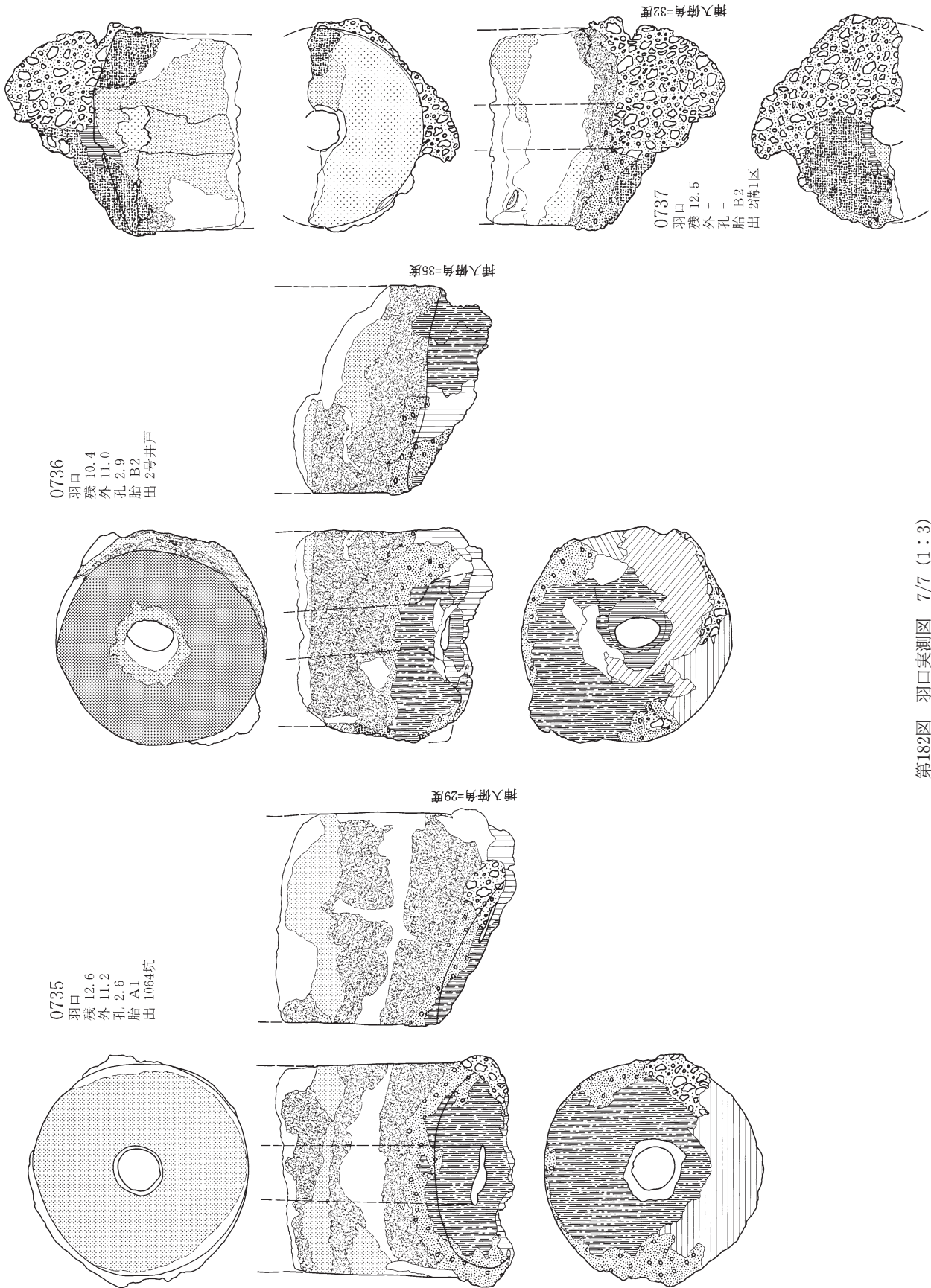


第180図 羽口実測図 5/7 (1:3)



第181図 羽口実測図 6/7 (1:3)

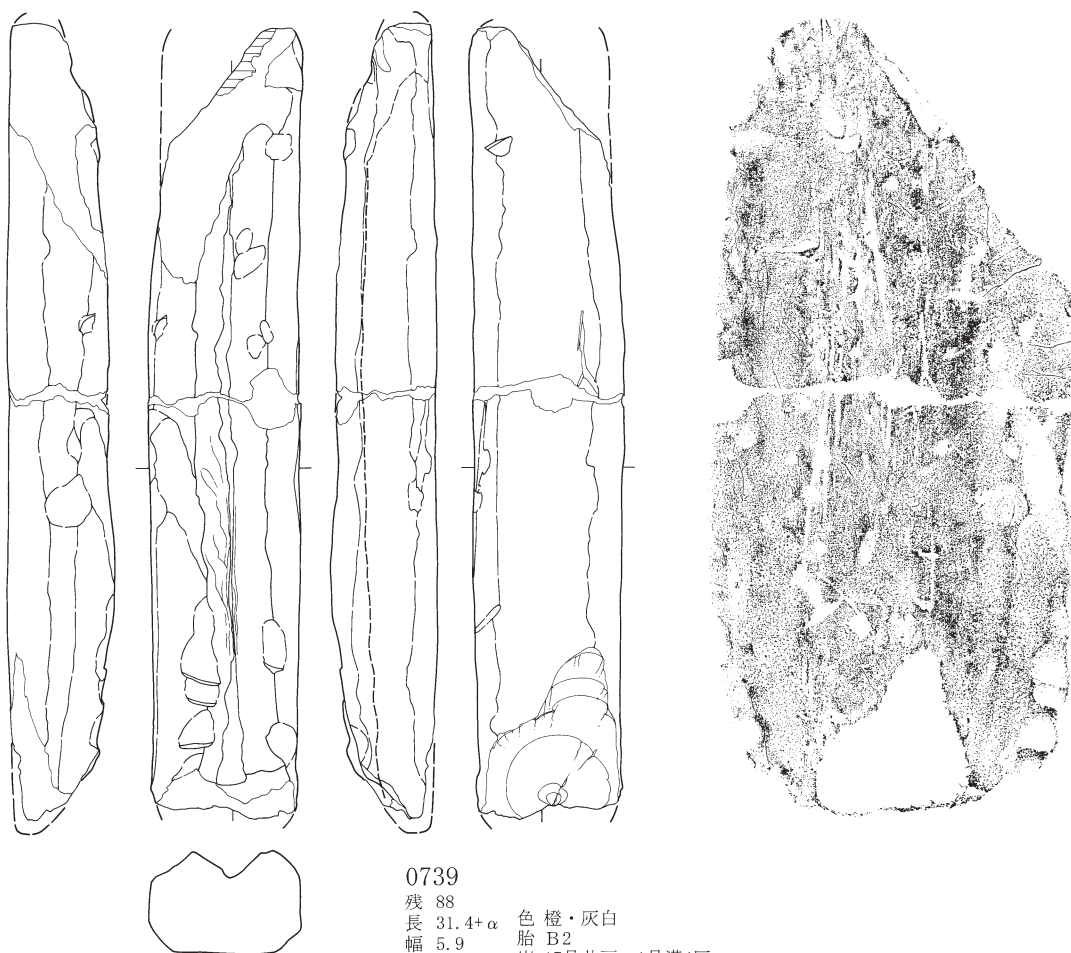
発見された遺構と出土遺物



第182図 羽口実測図 7/7 (1:3)

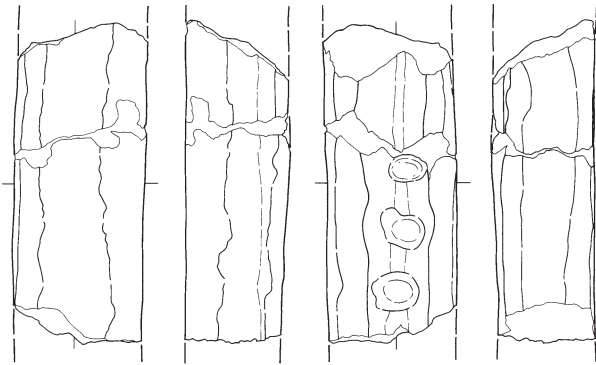


0738
 残 40?
 長 16.2+ α 色 鈍黄橙
 幅 7.7 胎 B2
 高 6.2 出 17号井戸

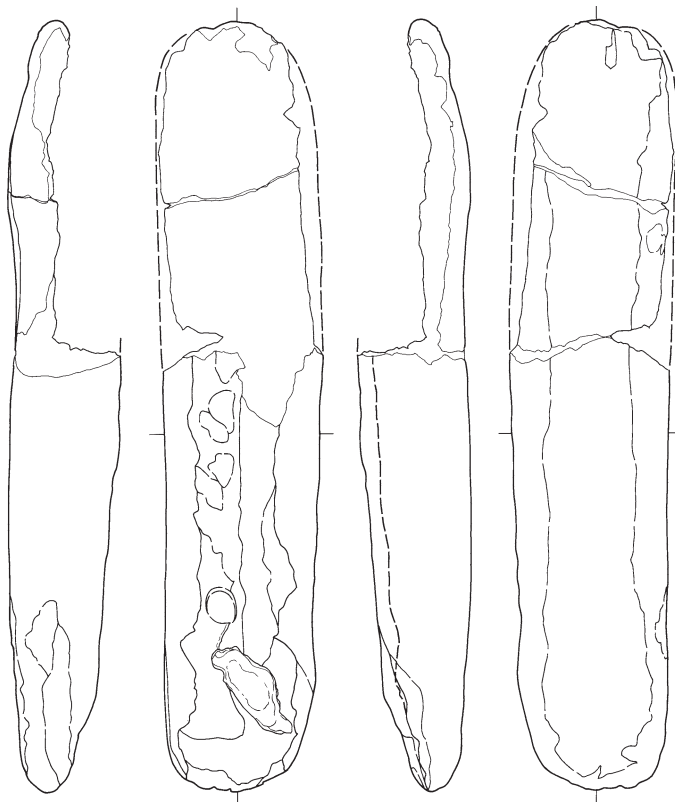
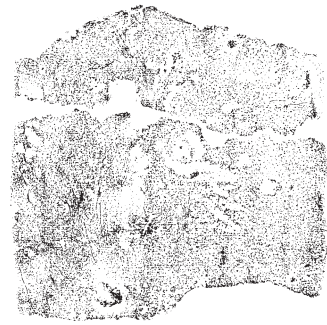


0739
 残 88
 長 31.4+ α 色 橙・灰白
 幅 5.9 胎 B2
 高 4.1 出 17号井戸・1号溝4区

発見された遺構と出土遺物



0740
 残 30?
 長 12.5+ α
 幅 4.1
 高 4.0
 色 黄橙
 胎 B2
 出 1溝+7井



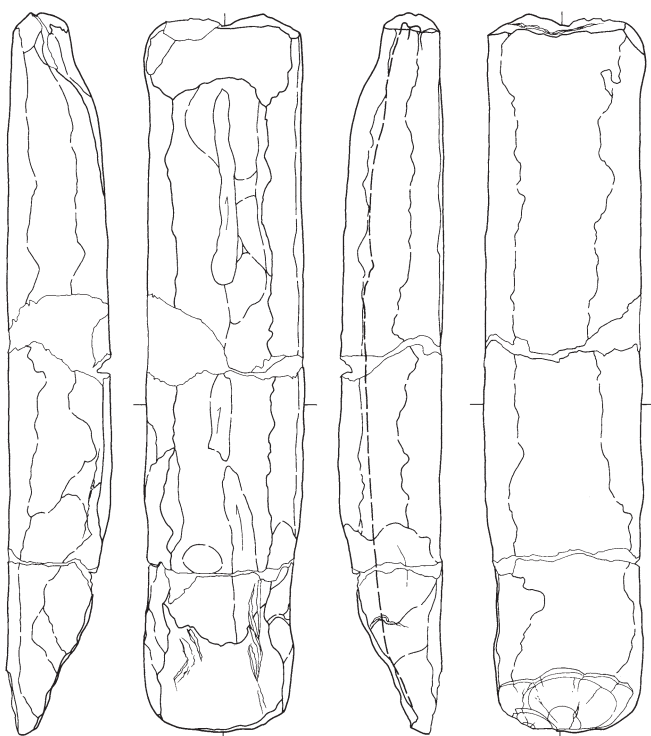
0741
 残 70
 長 30.3
 幅 6.1
 高 4.3
 色 浅黄橙
 胎 B2
 出 1溝



第184図 不明土製品実測図 2/3 (1:3)



0742
 残 99
 長 28.3
 幅 5.7
 高 4.0
 色 橙・灰白
 胎 B2
 出 17号井戸

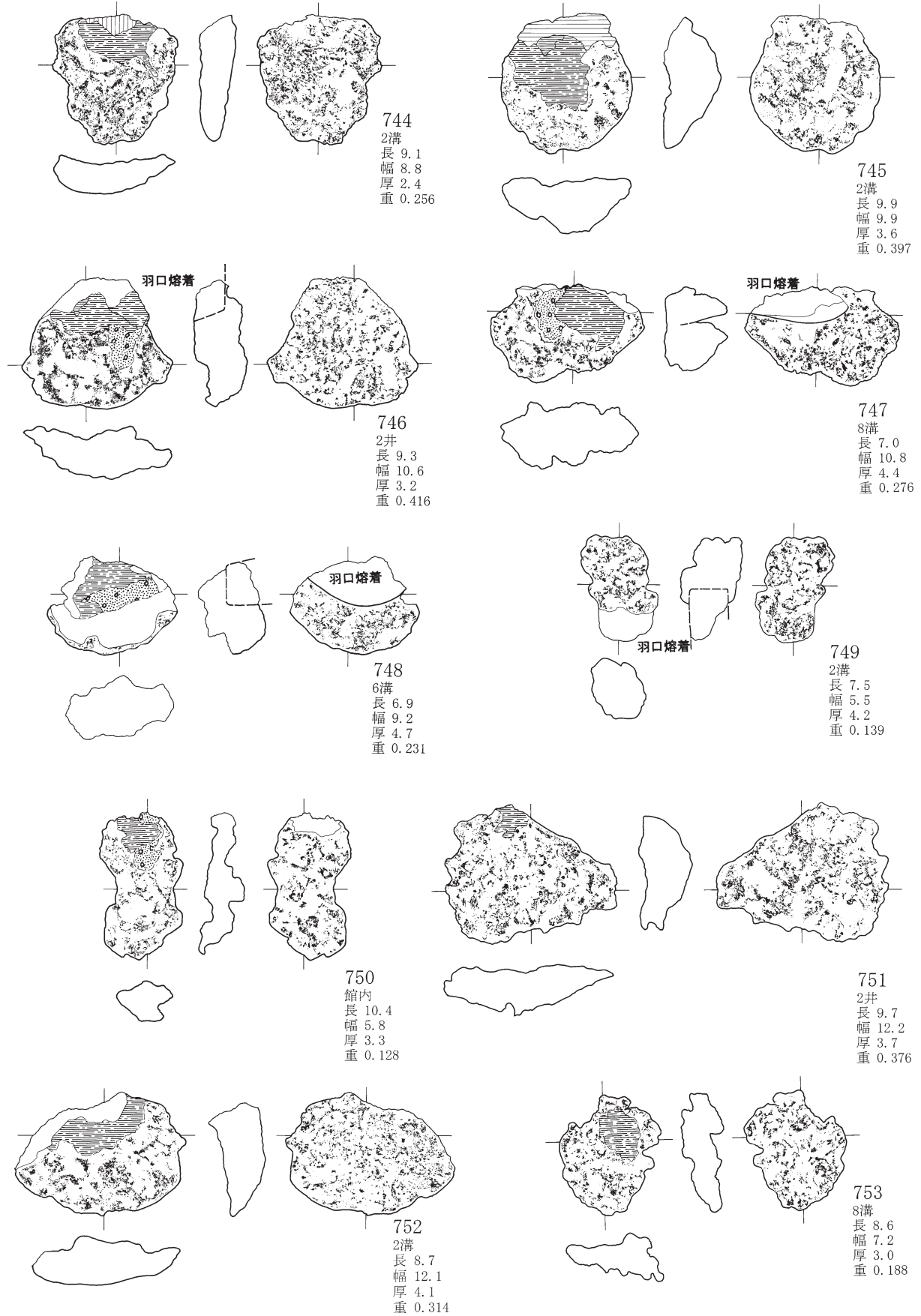


0743
 残 94
 長 28.3
 幅 6.3
 高 4.1
 色 橙
 胎 B2
 出 1溝

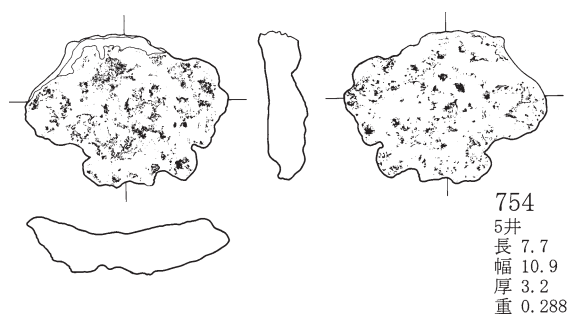


第185図 不明土製品実測図 3/3 (1:3)

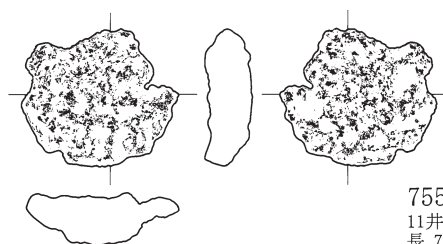
発見された遺構と出土遺物



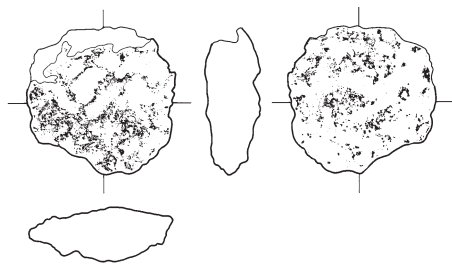
第186図 椀状滓実測図 1/2 (1:4)



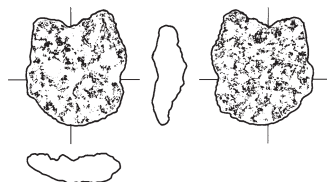
754
5井
長 7.7
幅 10.9
厚 3.2
重 0.288



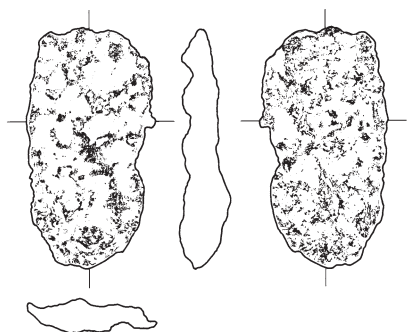
755
11井
長 7.8
幅 8.3
厚 2.6
重 0.180



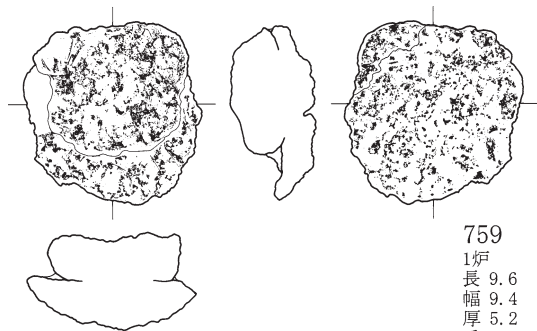
756
1炉
長 7.8
幅 7.8
厚 2.9
重 0.224



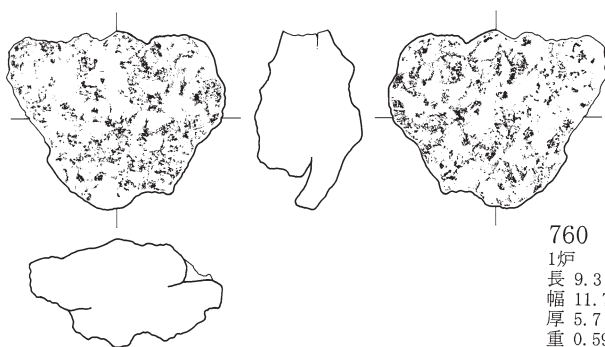
757
8溝
長 6.0
幅 5.3
厚 1.8
重 0.065



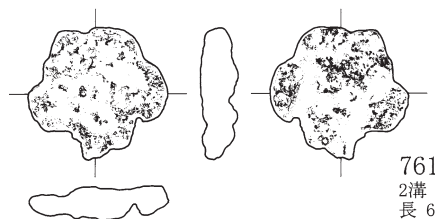
758
8溝
長 12.7
幅 6.3
厚 2.8
重 0.175



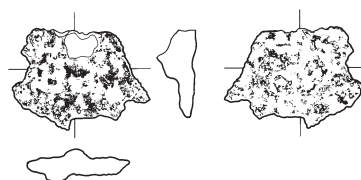
759
1炉
長 9.6
幅 9.4
厚 5.2
重 0.386



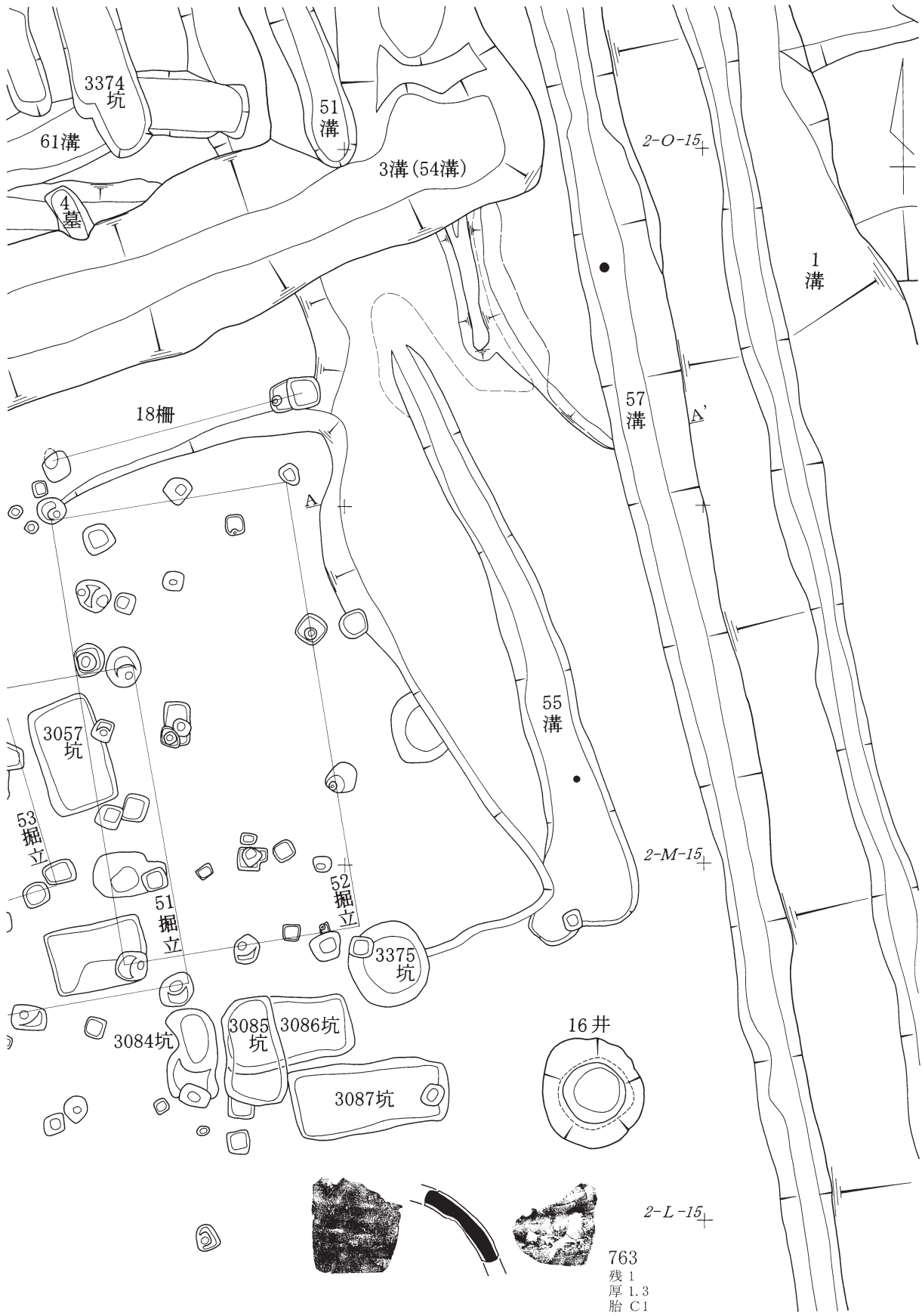
760
1炉
長 9.3
幅 11.7
厚 5.7
重 0.593



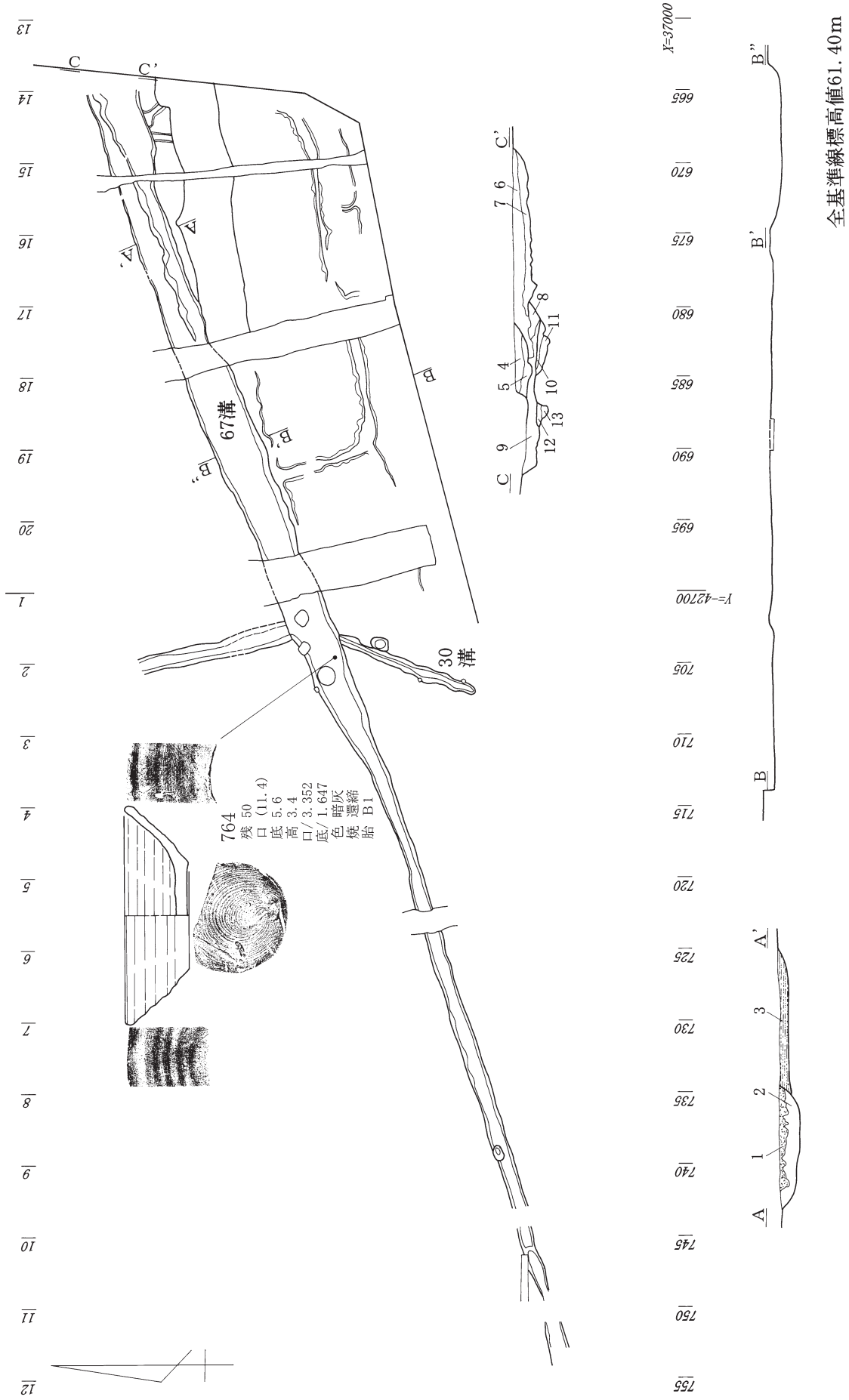
761
2溝
長 6.9
幅 7.3
厚 2.0
重 0.105



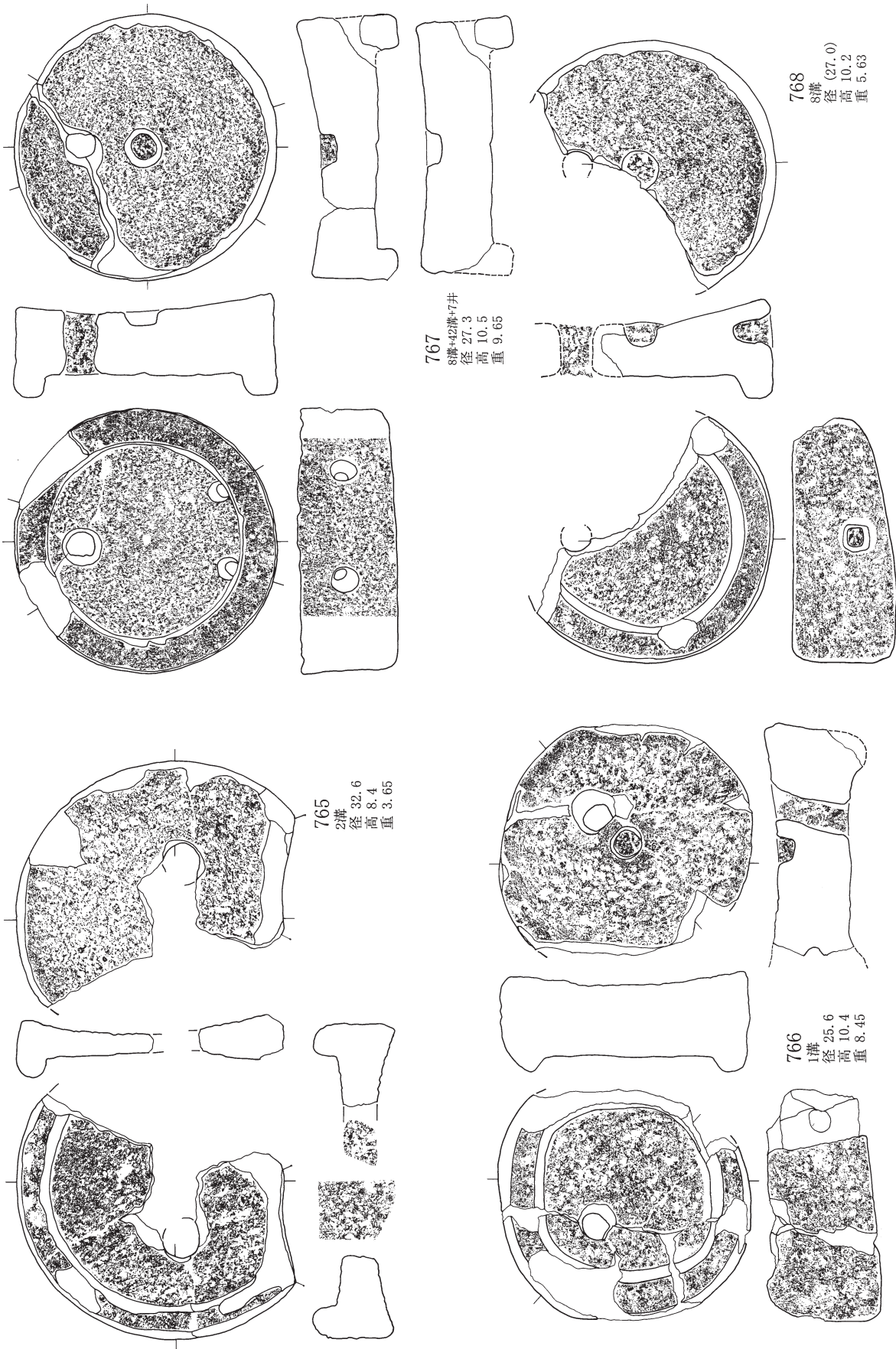
762
2溝
長 5.3
幅 7.2
厚 2.2
重 0.059



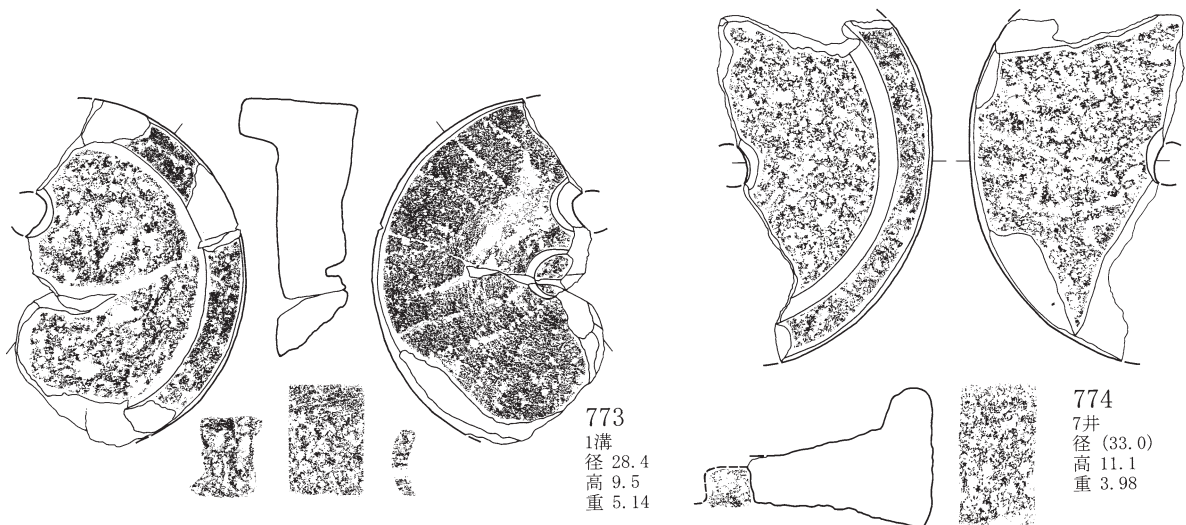
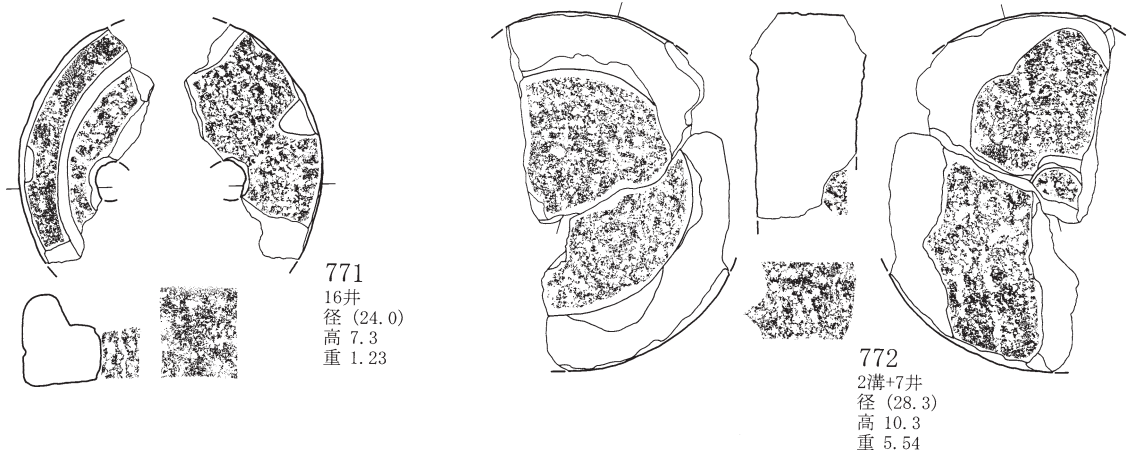
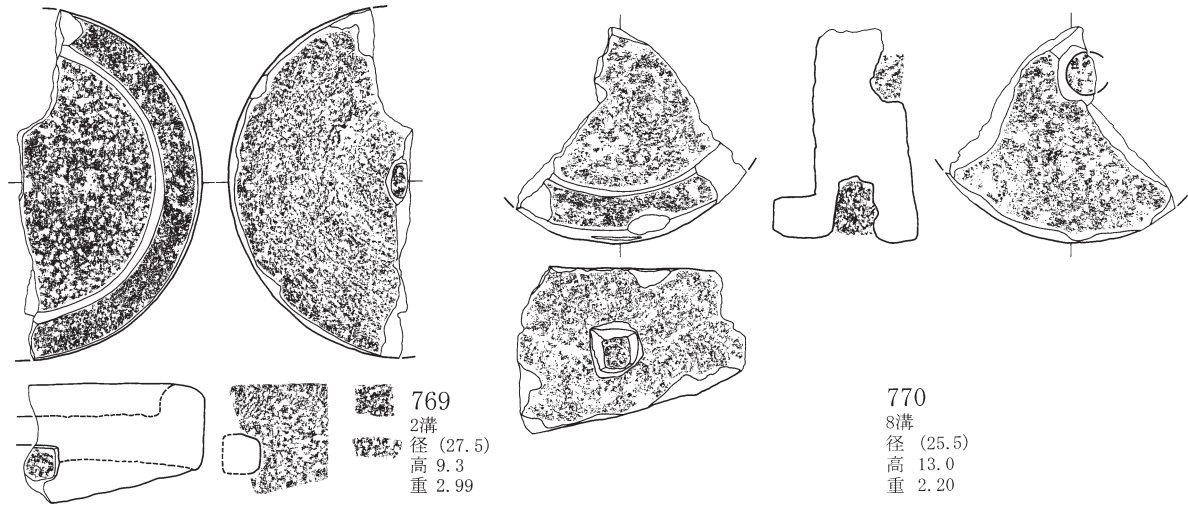
第188図 中世水田跡実測図 (1:120)



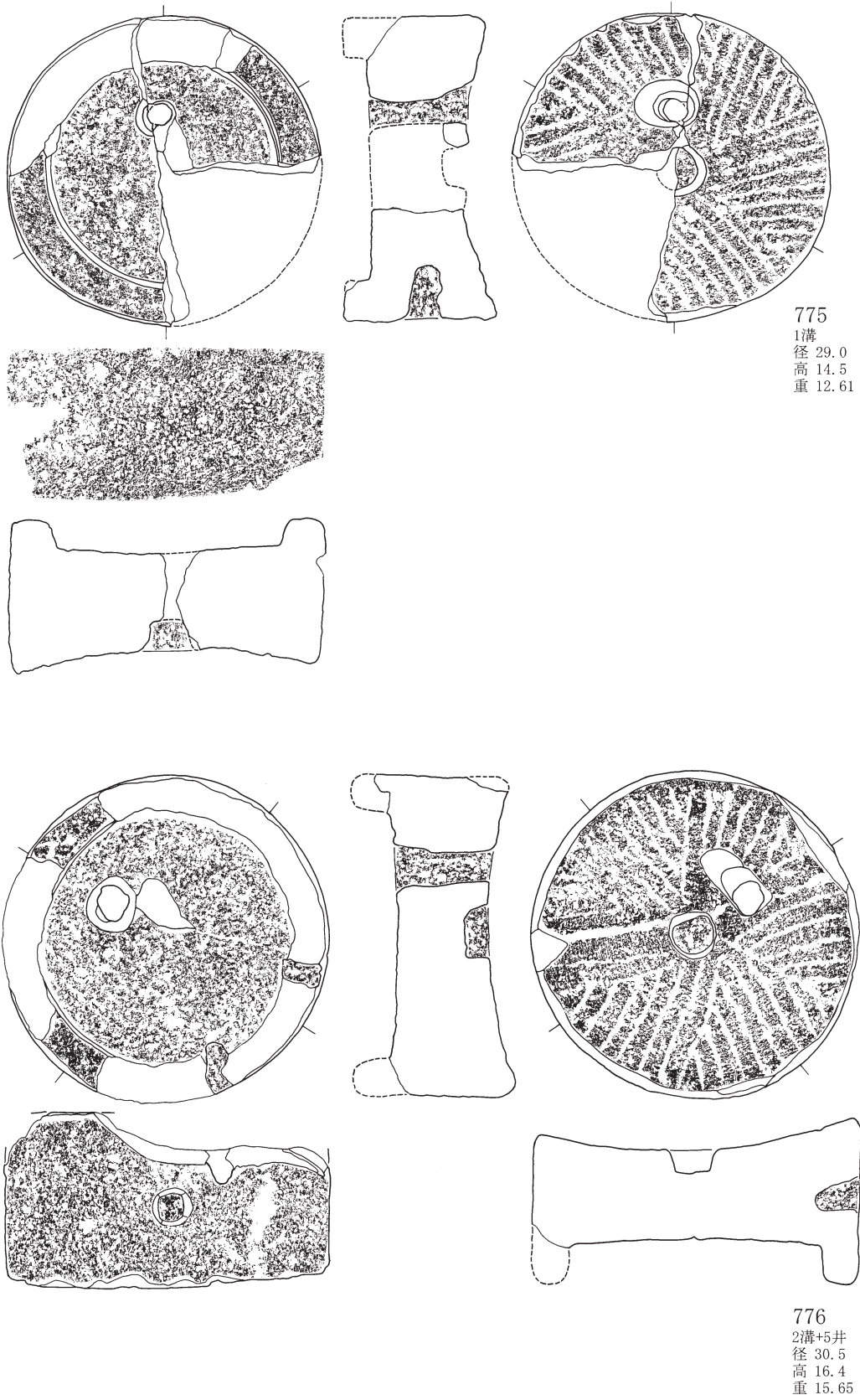
第189図 古代水田跡実測図 (1 : 400)



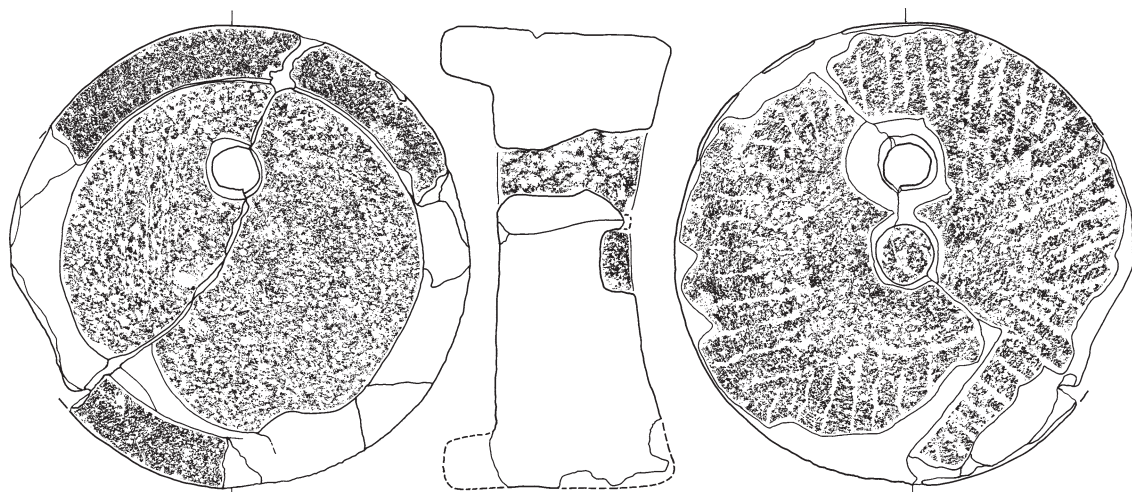
第190図 穀白(上白)実測図 1/6 (1:6)



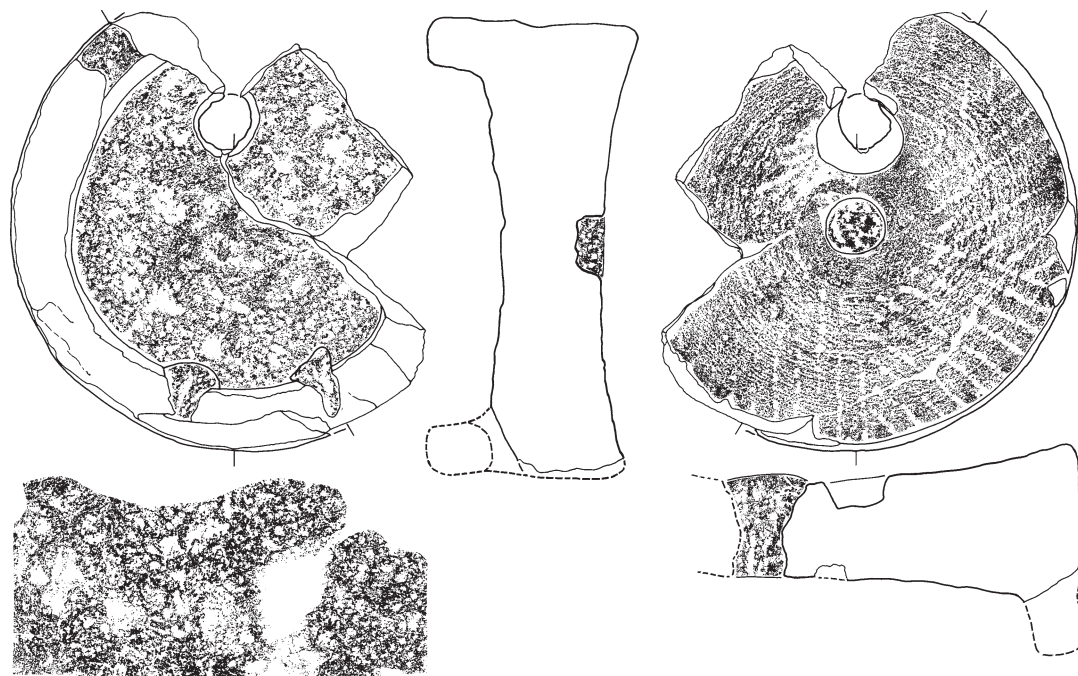
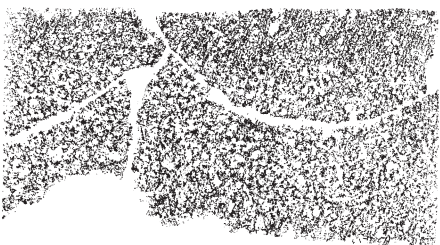
第191図 穀白 (上白) 実測図 2/6 (1:6)



第192図 穀白(上白)実測図 3/6 (1:6)

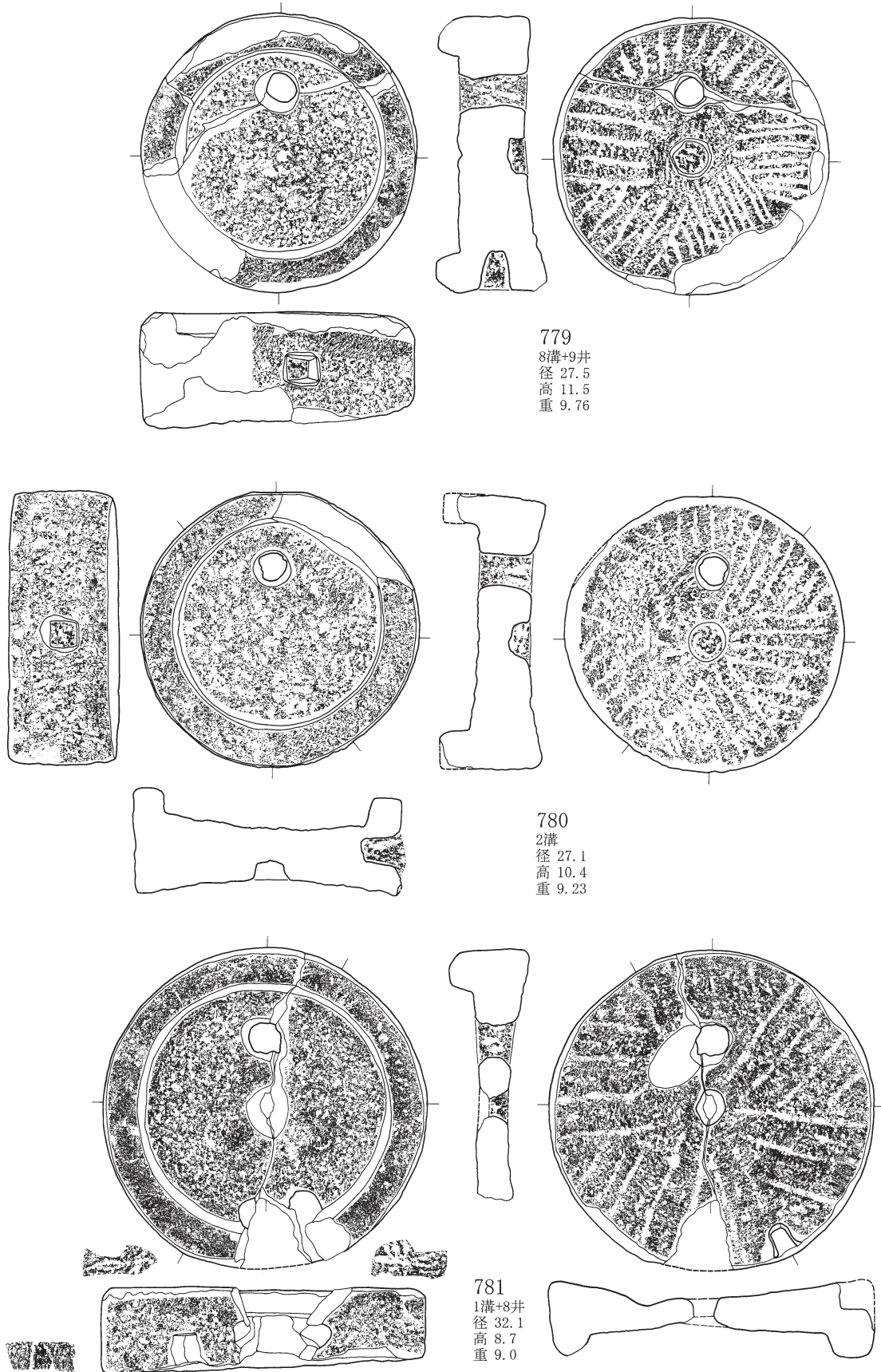


777
1溝+2溝+8井
径 36.4
高 18.1
重 27.4

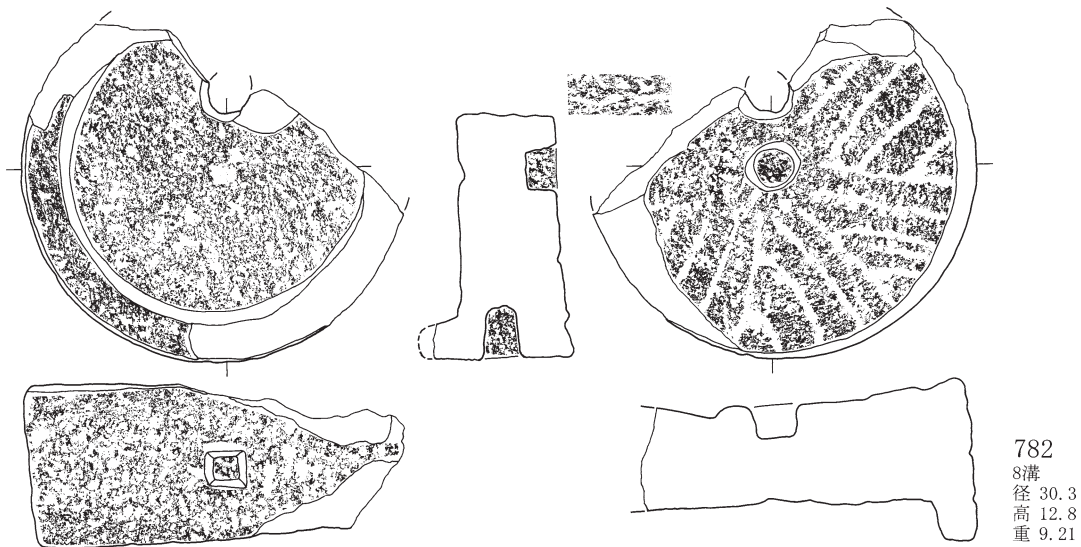


778
2溝+8溝
径 37.0
高 16.5
重 17.73

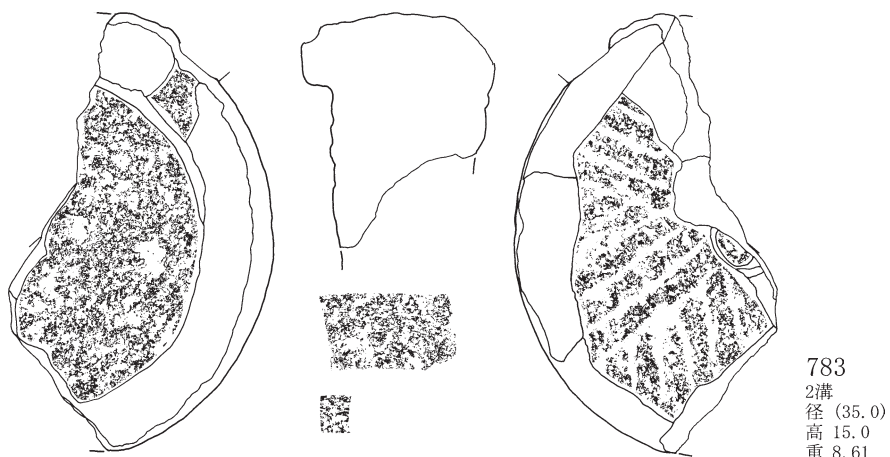
第193図 穀臼（上臼）実測図 4/6 (1:6)



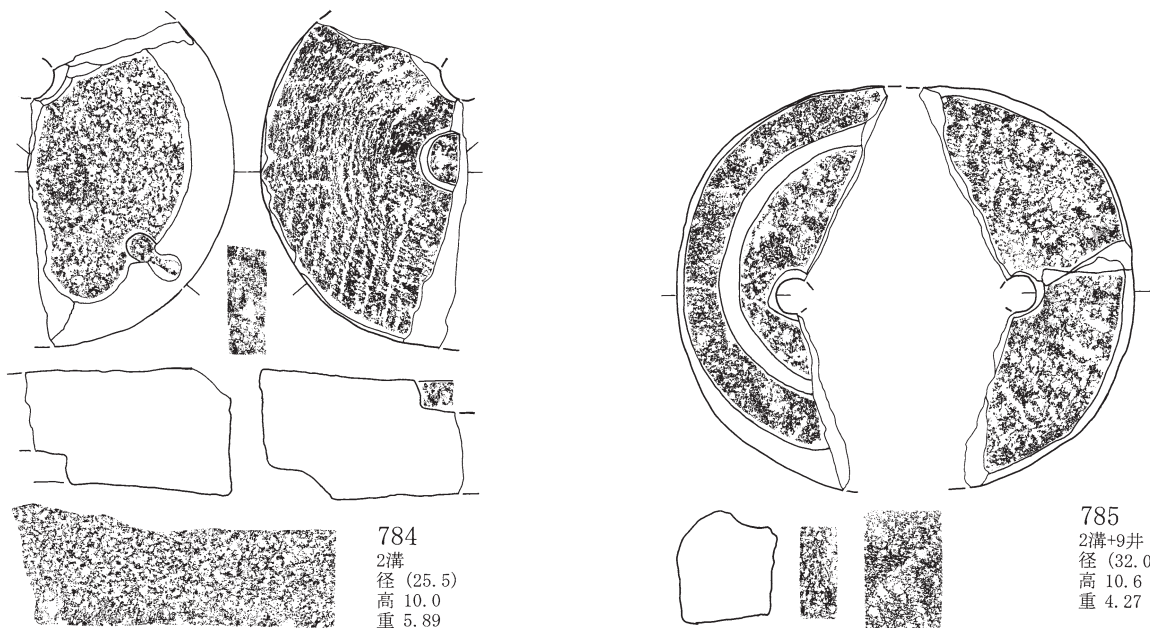
第194図 穀白(上白)実測図 5/6 (1:6)



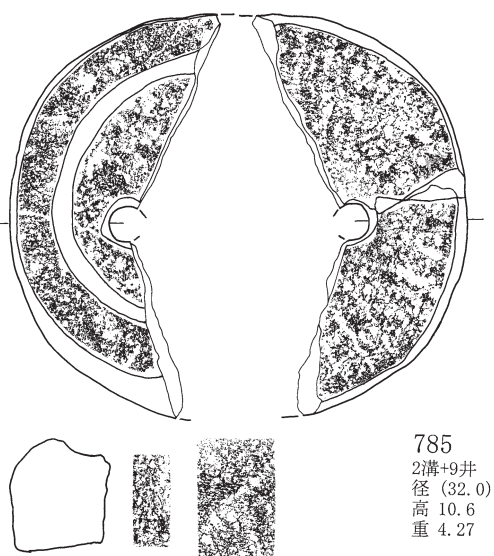
782
8溝
径 30.3
高 12.8
重 9.21



783
2溝
径 (35.0)
高 15.0
重 8.61

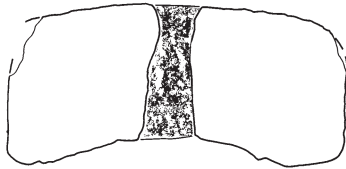
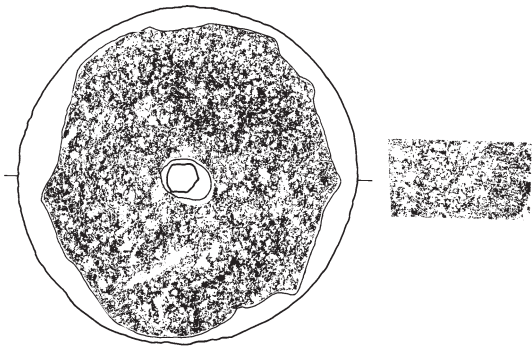


784
2溝
径 (25.5)
高 10.0
重 5.89

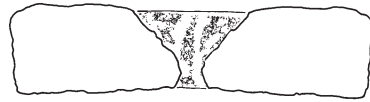


785
2溝+9井
径 (32.0)
高 10.6
重 4.27

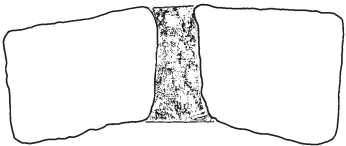
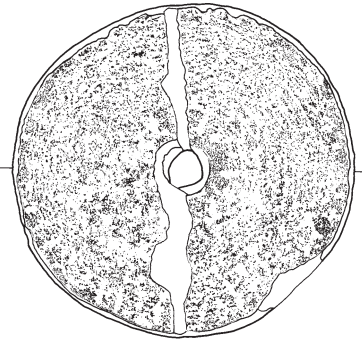
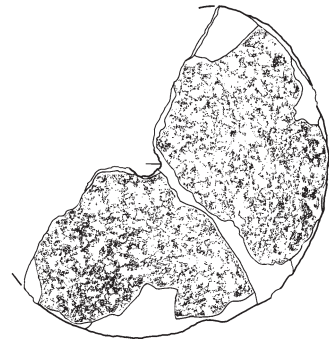
第195図 穀臼(上臼)実測図 6/6 (1:6)



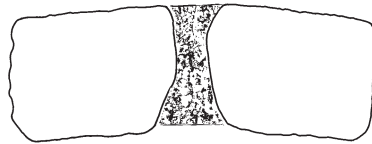
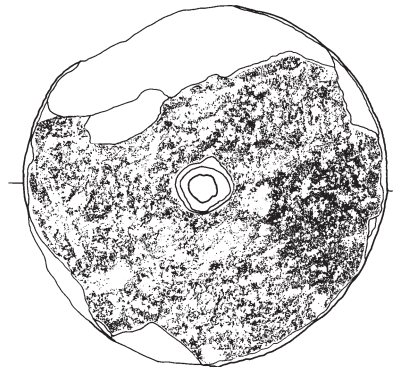
786
8溝
径 26.8
高 12.1
重 13.08



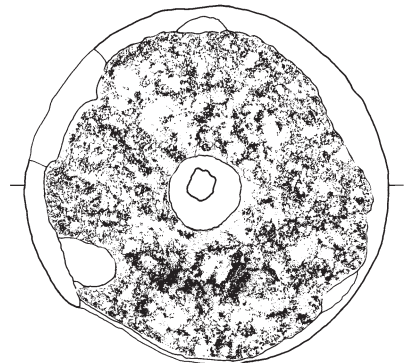
787
8溝+8井
径 (28.8)
高 7.1
重 4.58

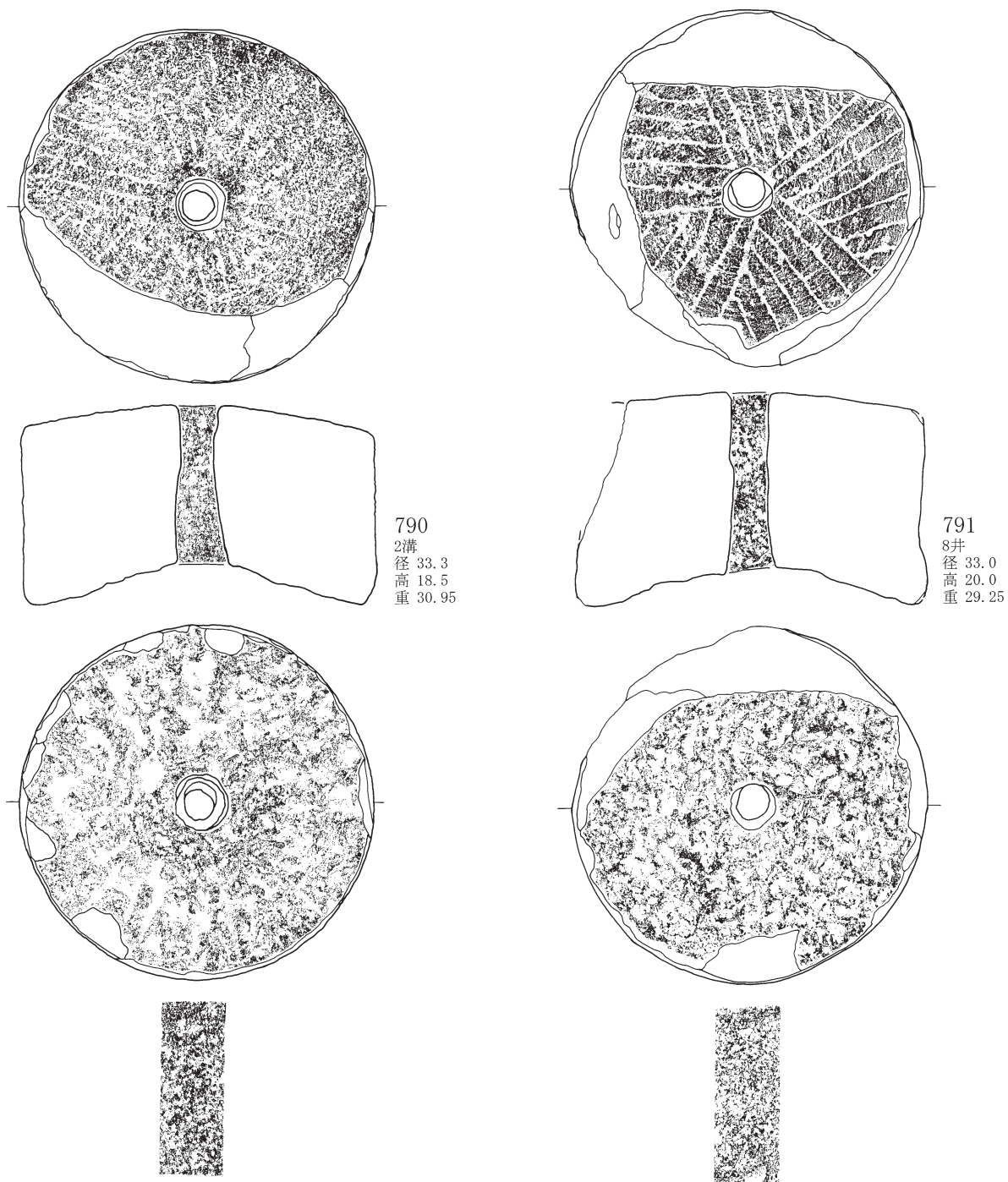


788
2+8溝
径 27.1
高 11.3
重 9.86

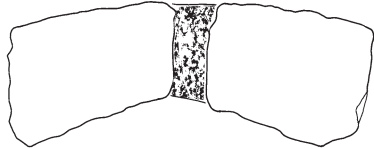
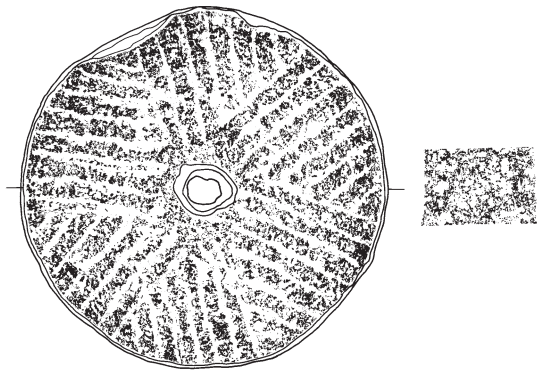


789
1981坑
径 28.9
高 10.7
重 11.65

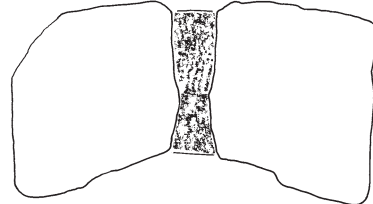
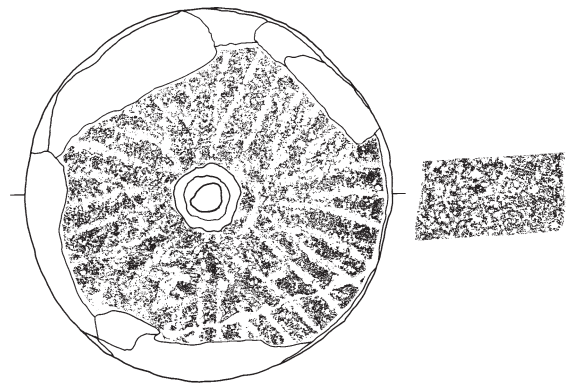




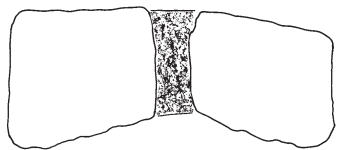
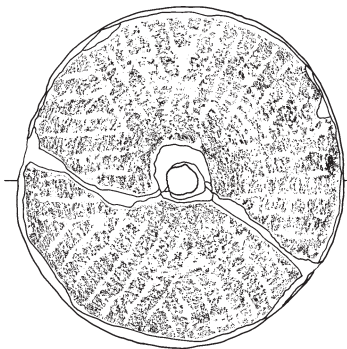
第197図 穀臼（下臼）実測図 2/7 (1:6)



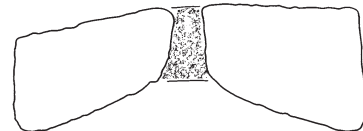
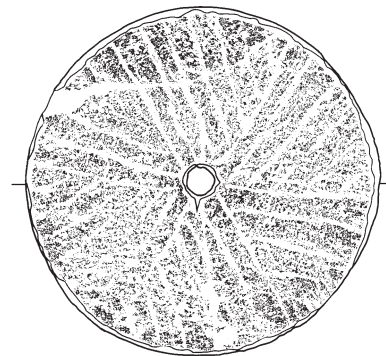
792
2溝
径 29.0
高 11.3
重 12.09



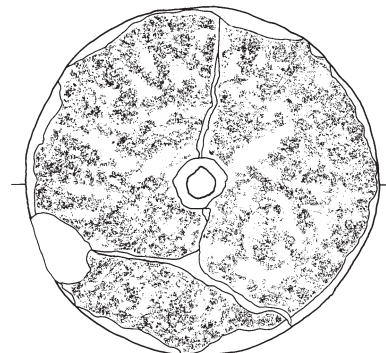
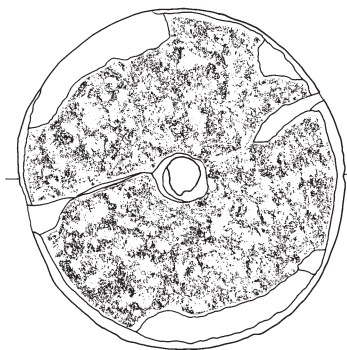
793
2溝+9井
径 29.4
高 15.9
重 17.42



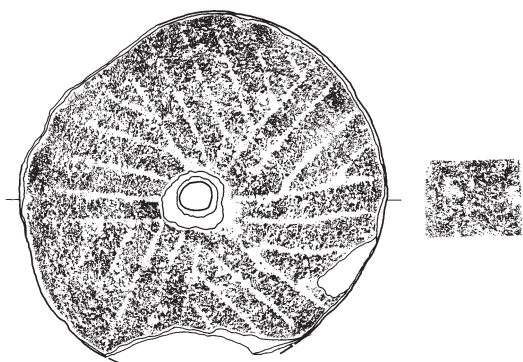
794
2溝
径 26.7
高 11.2
重 10.72



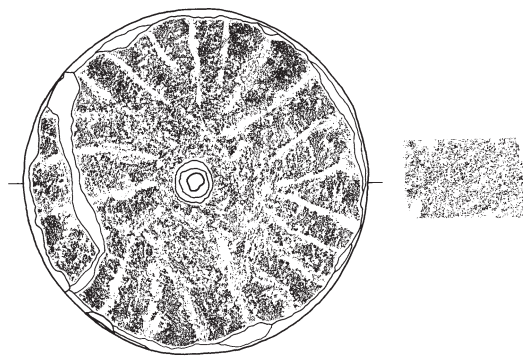
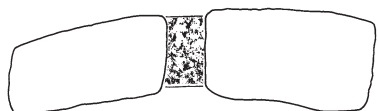
795
2溝
径 28.0
高 10.1
重 10.7



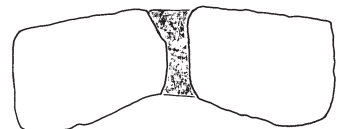
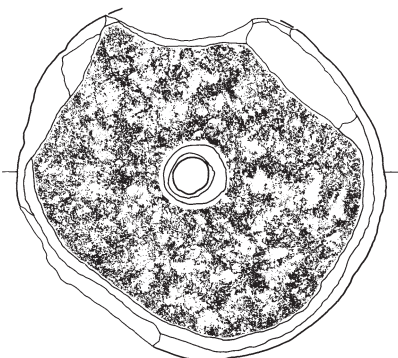
第198図 穀白(下白) 実測図 3/7 (1:6)



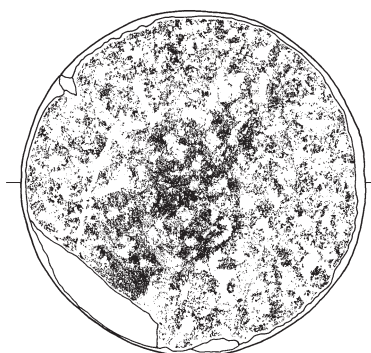
796
2溝
径 28.9
高 8.4
重 8.31



797
8溝
径 27.2
高 9.7
重 12.5



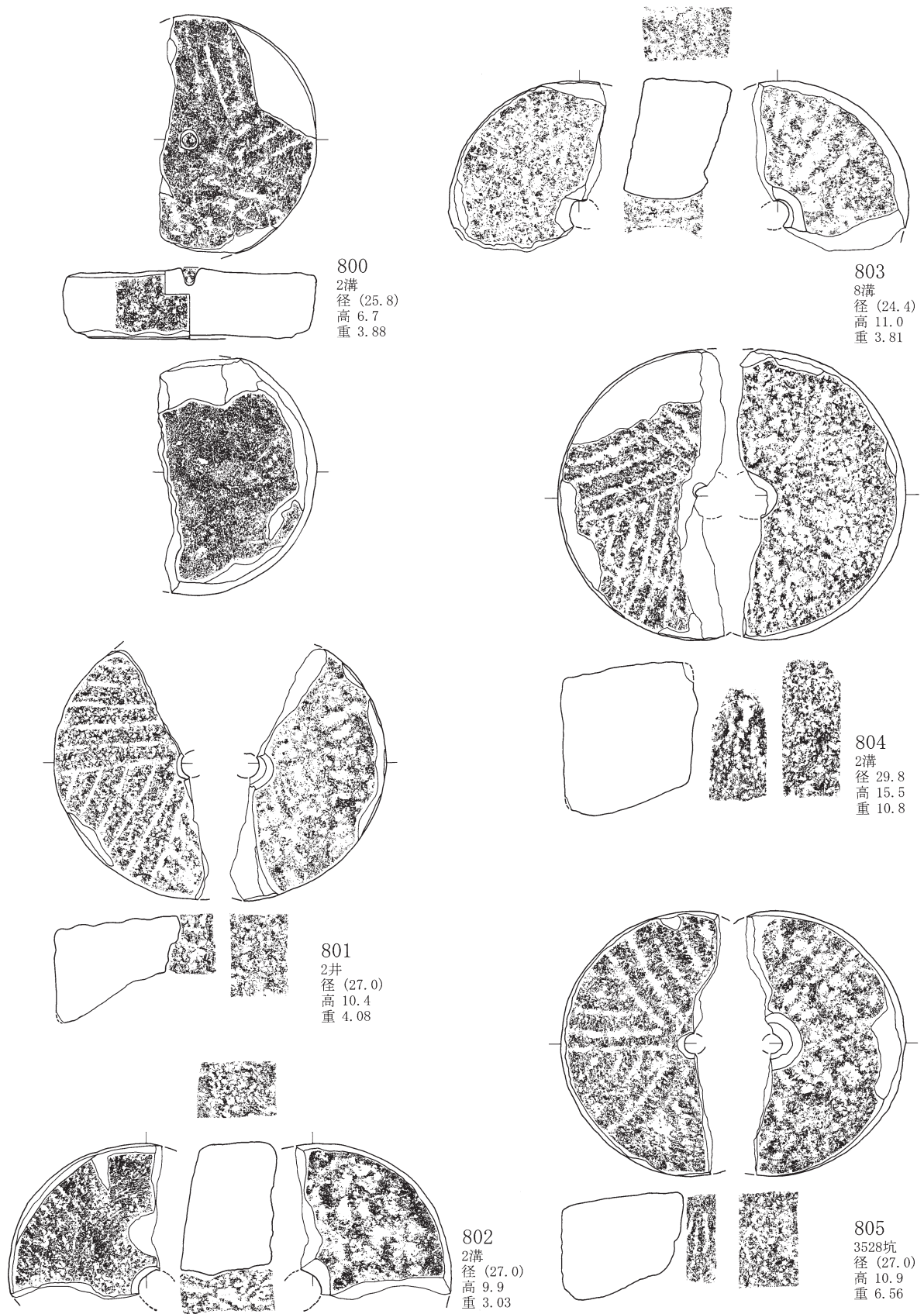
798
9井
径 25.6
高 9.6
重 9.05



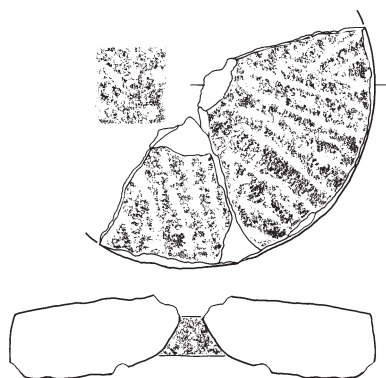
799
2溝+8溝
径 28.0
高 7.9
重 6.17



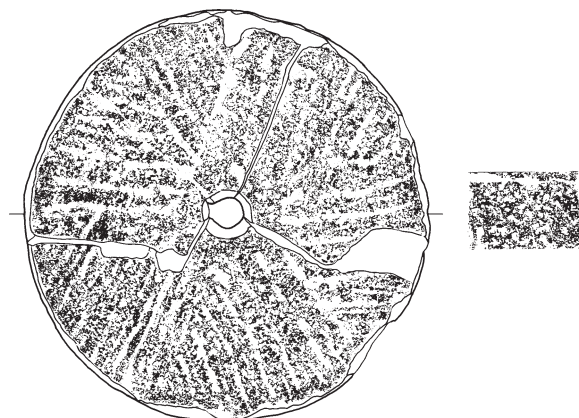
第199図 穀臼（下臼）実測図 4/7 (1:6)



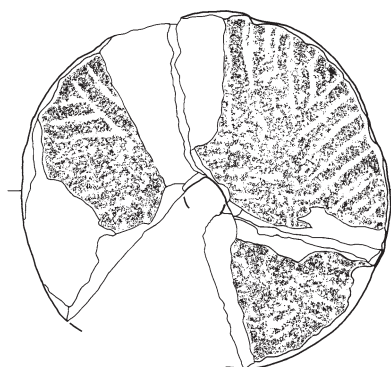
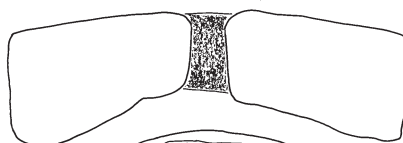
第200図 穀白 (下白) 実測図 5/7 (1:6)



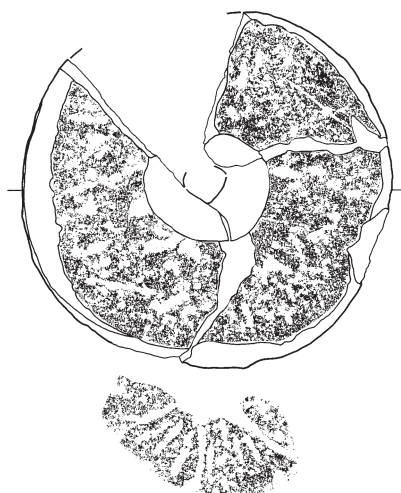
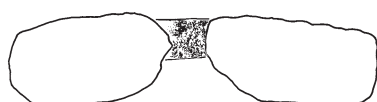
806
2+8溝
径 (27.6)
高 6.5
重 3.24



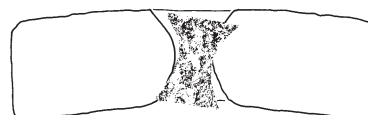
808
8井
径 32.4
高 10.7
重 15.84



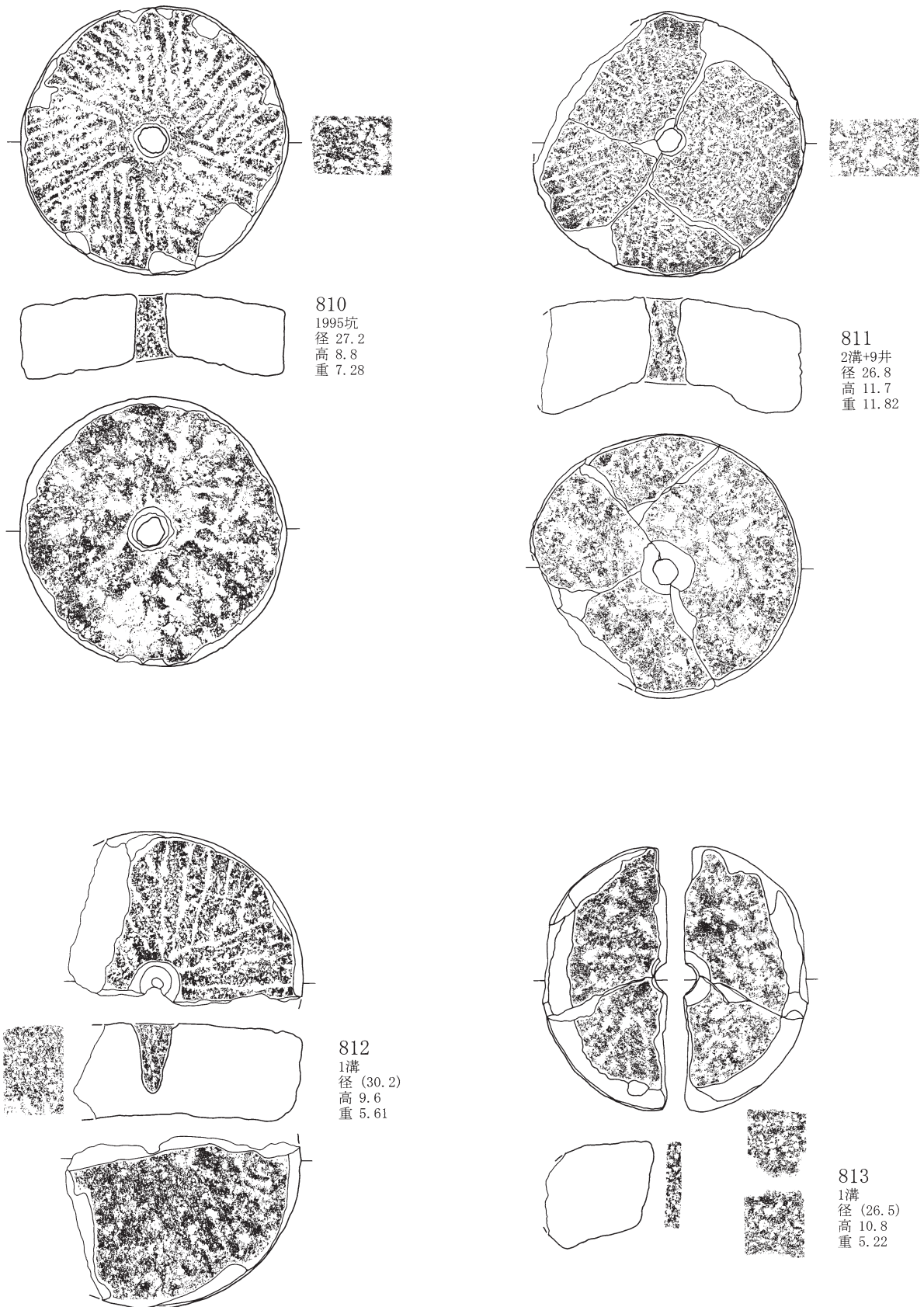
807
1溝+2溝+7井
径 29.2
高 7.1
重 6.59



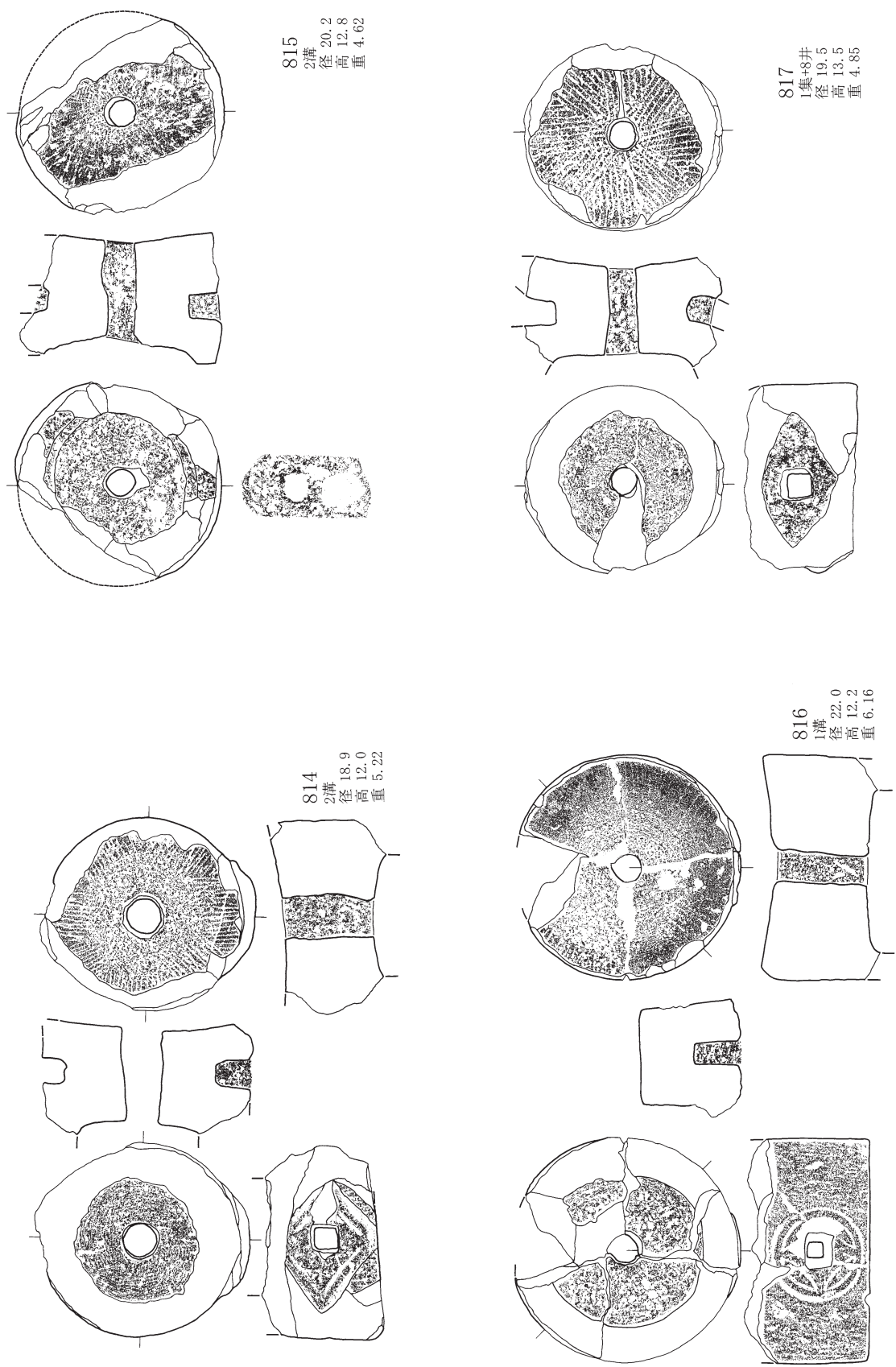
809
69溝+8井
径 29.0
高 8.8
重 5.98



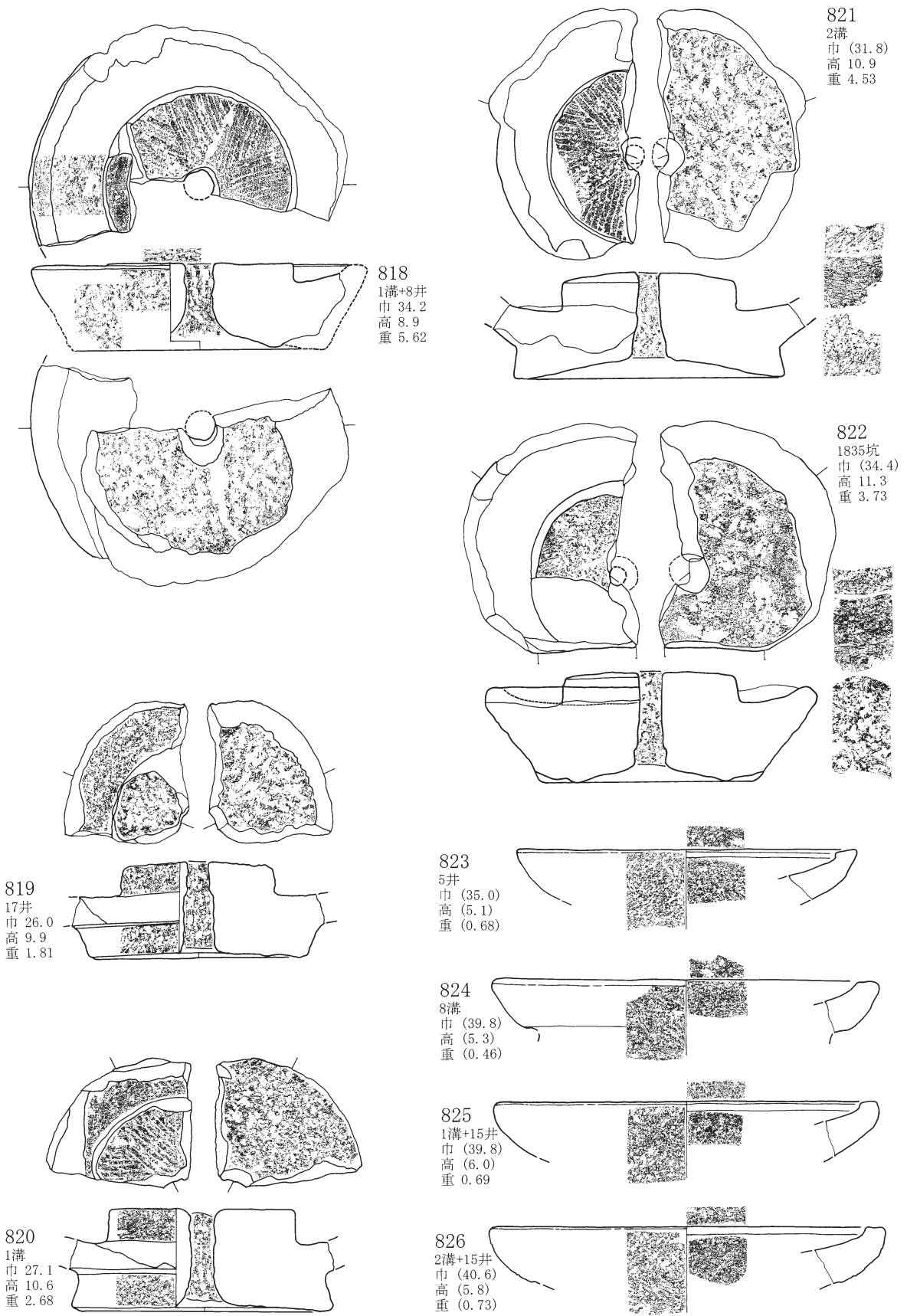
第201図 穀臼（下臼）実測図 6/7 (1:6)



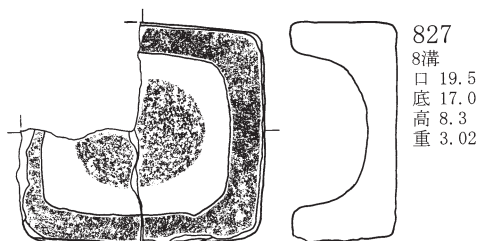
第202図 穀白(下白)実測図 7/7 (1:6)



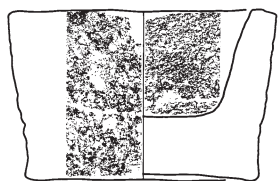
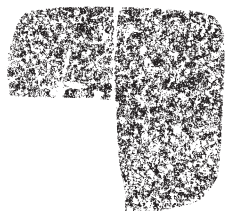
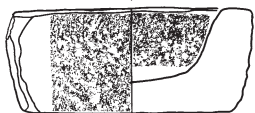
第203図 茶臼 (上臼) 実測図 (1:6)



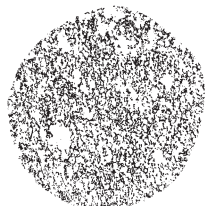
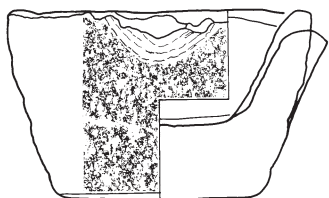
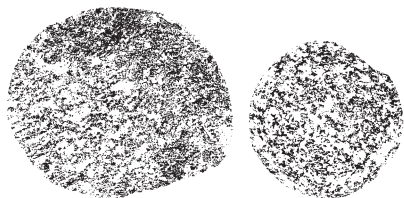
第204図 茶白(下白)実測図(1:6)



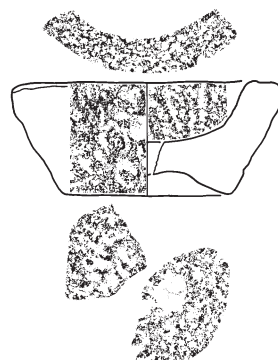
827
8溝
口 19.5
底 17.0
高 8.3
重 3.02



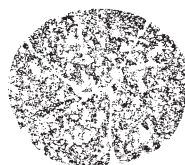
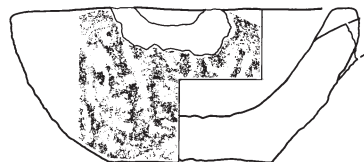
828
1+2溝+5井
口 21.2
底 18.0
高 13.5
重 4.39



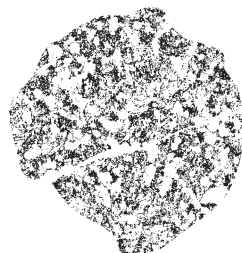
829
8溝+1424坑
口 (24.3)
底 15.6
高 15.0
重 4.90



830
17井
口 (30.0)
底 (13.4)
高 8.7
重 1.06



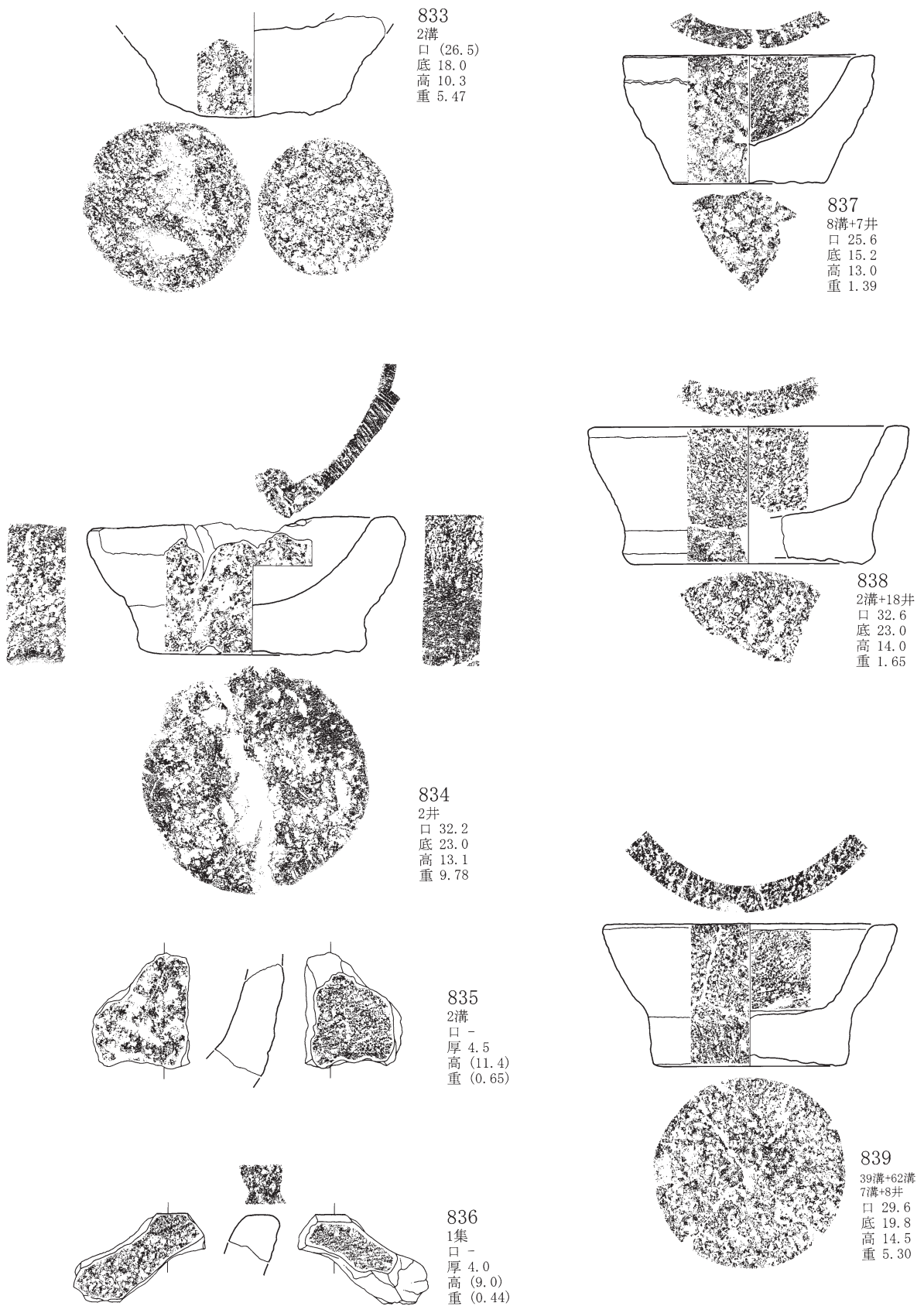
831
1溝+8井+975坑
口 27.6
底 12.6
高 11.8
重 5.41



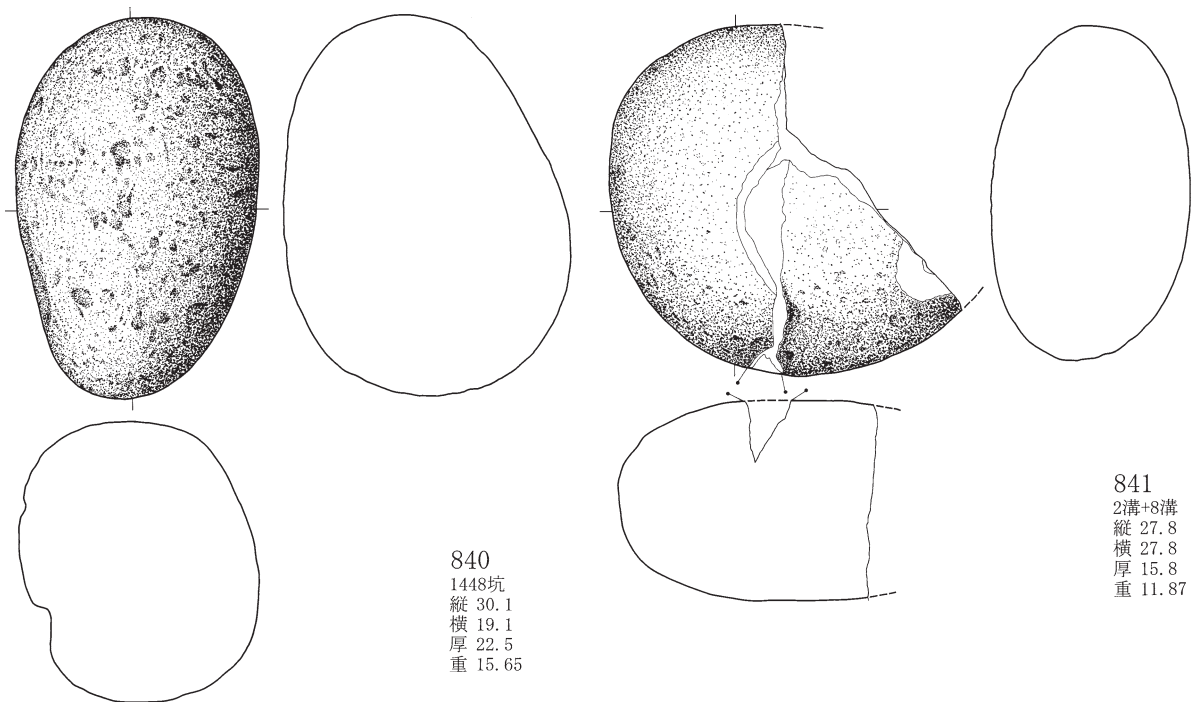
832
2溝
口 23.5
底 18.7
高 13.8
重 7.62

第205図 石鉢実測図 1/2 (1:6)

発見された遺構と出土遺物

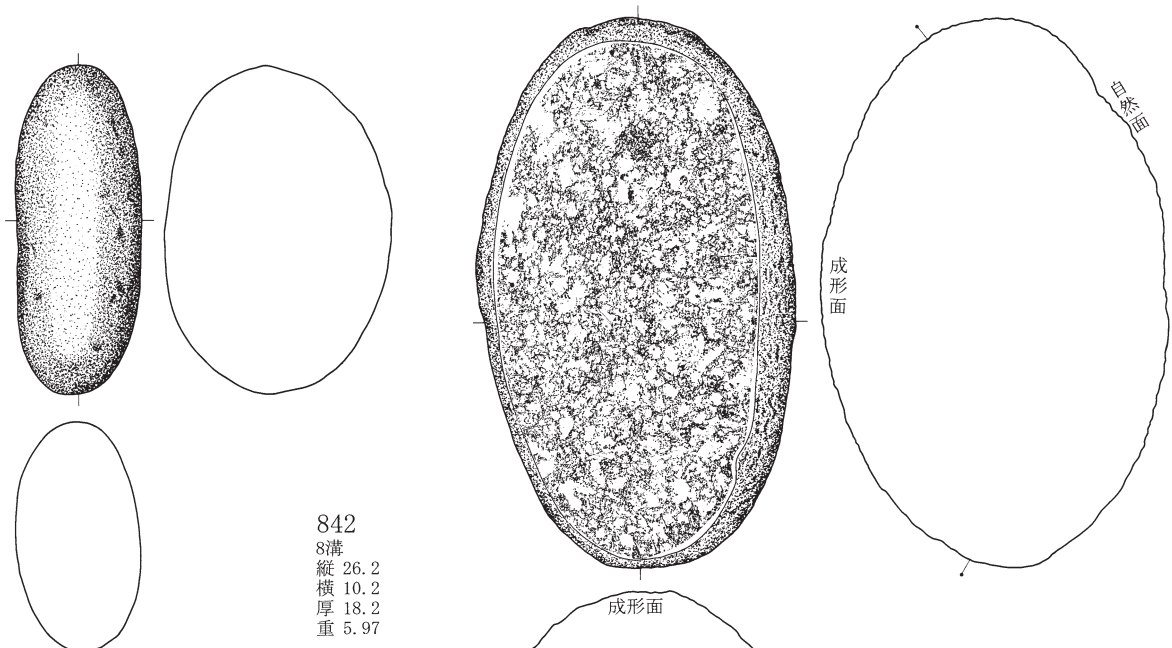


第206図 石鉢実測図 2/2 (1:6)

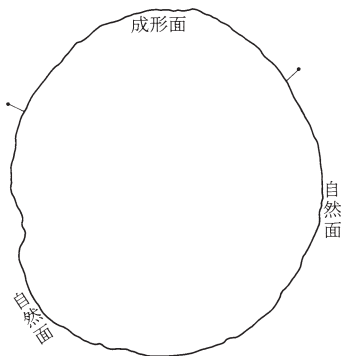


840
1448坑
縦 30.1
横 19.1
厚 22.5
重 15.65

841
2溝+8溝
縦 27.8
横 27.8
厚 15.8
重 11.87



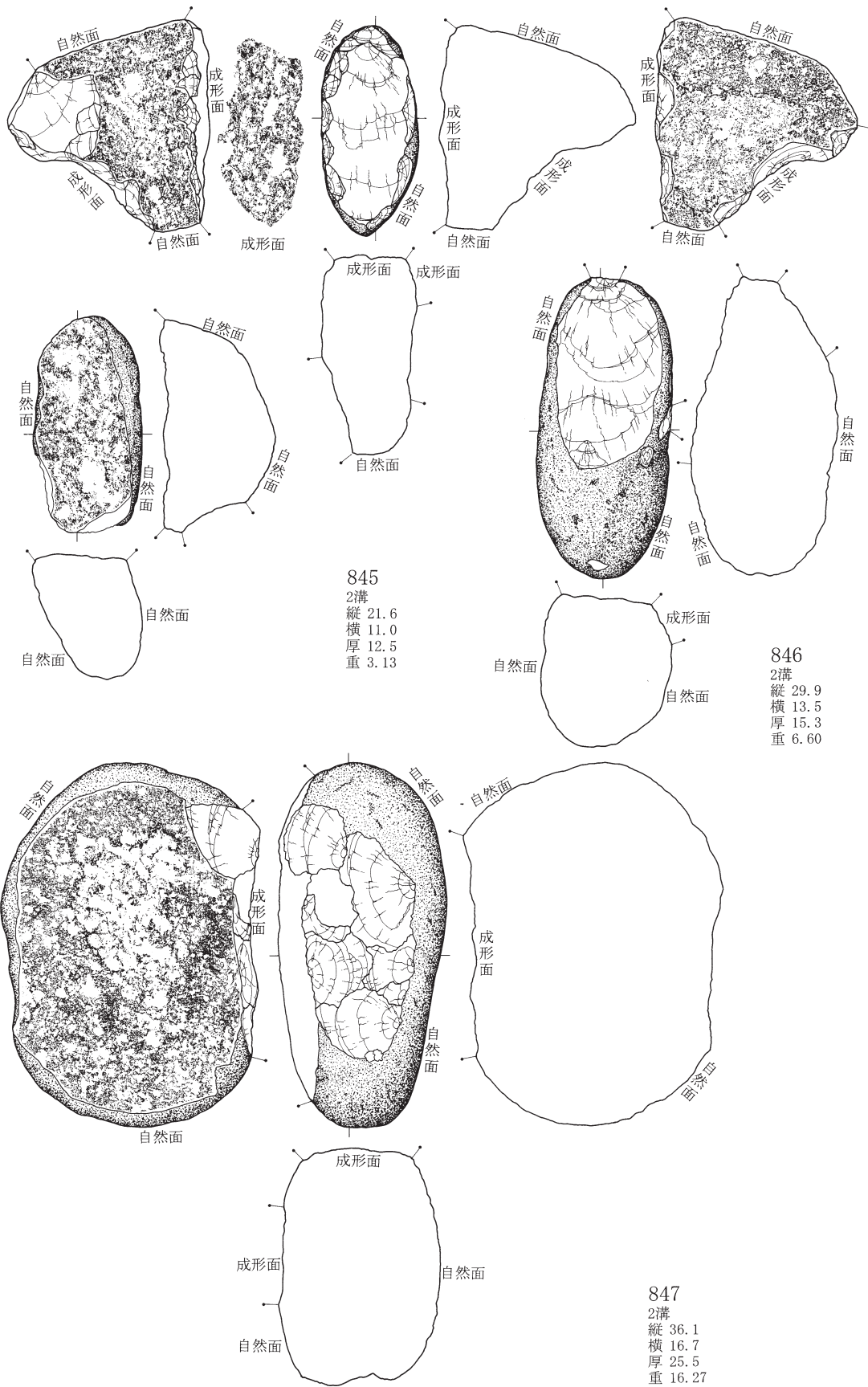
842
8溝
縦 26.2
横 10.2
厚 18.2
重 5.97



843
2溝
縦 43.4
横 25.3
厚 27.2
重 31.1

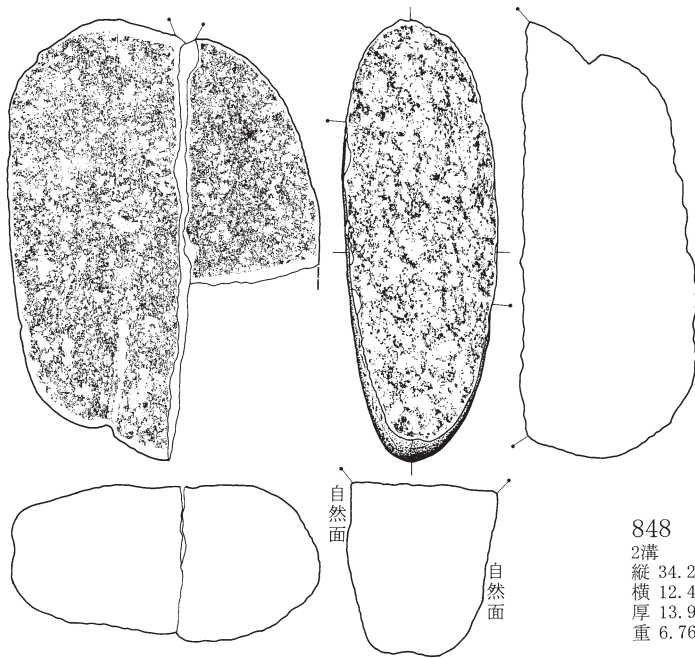
第207図 砥石(荒砥)実測図 1/26 (1:6)

発見された遺構と出土遺物

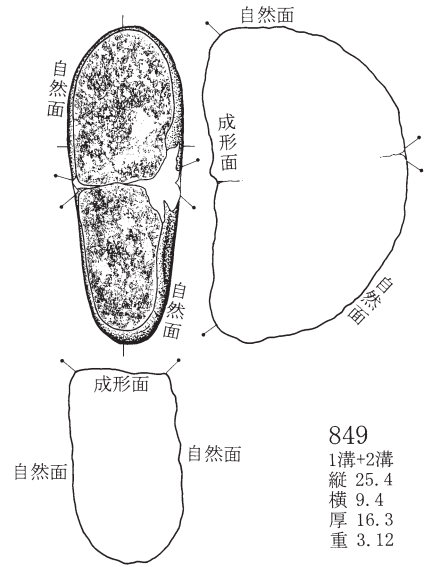


第208図 砥石(荒砥)実測図 2/26 (1:6)

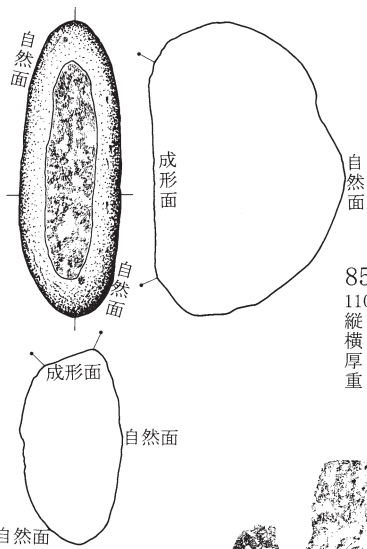
発見された遺構と出土遺物



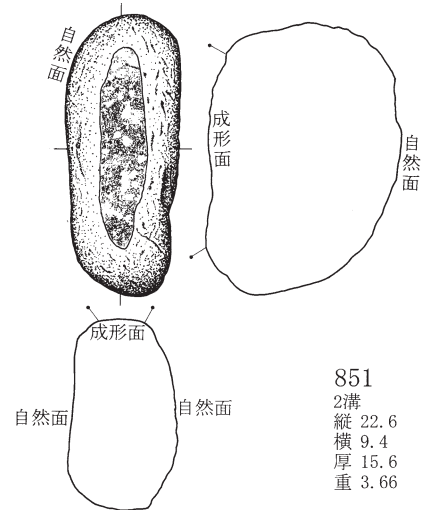
848
2溝
縦 34.2
横 12.4
厚 13.9
重 6.76



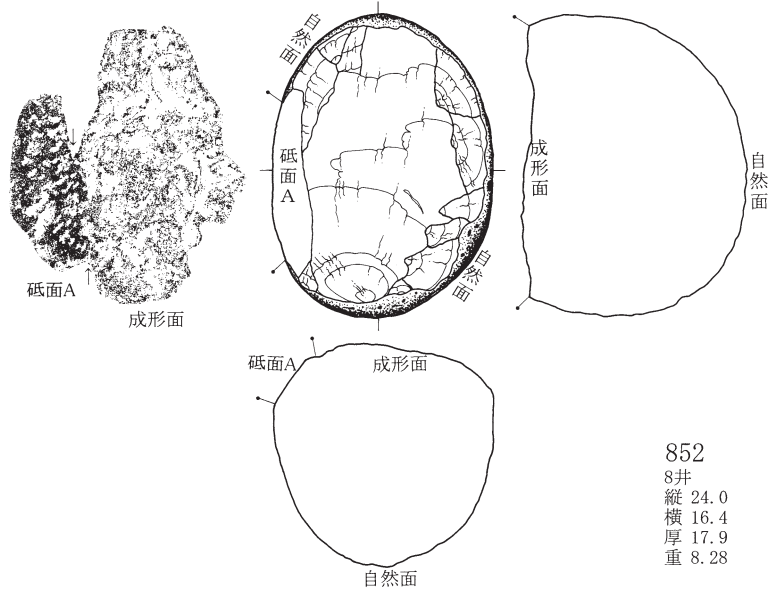
849
1溝+2溝
縦 25.4
横 9.4
厚 16.3
重 3.12



850
1101坑
縦 23.7
横 7.8
厚 15.9
重 3.5



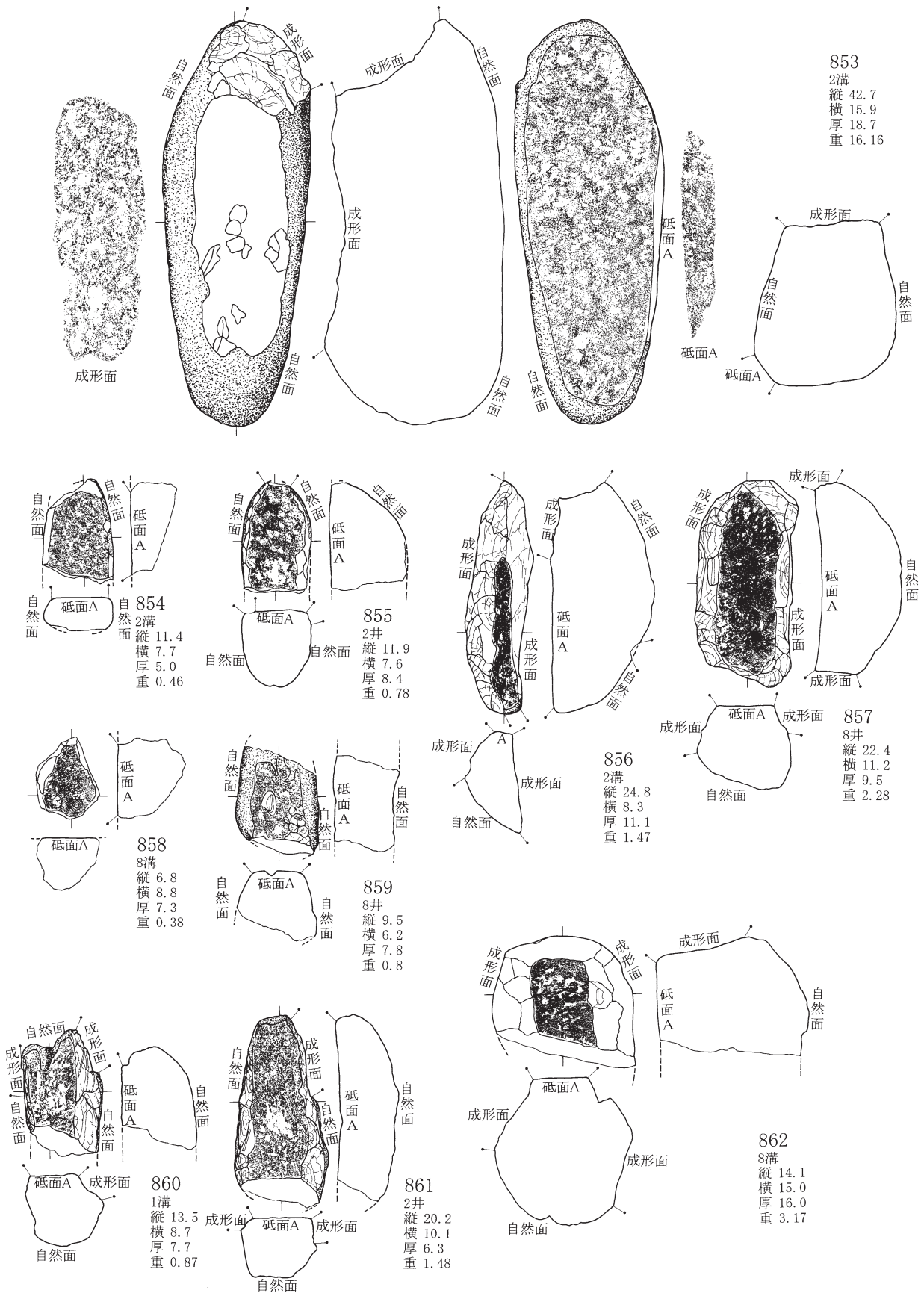
851
2溝
縦 22.6
横 9.4
厚 15.6
重 3.66



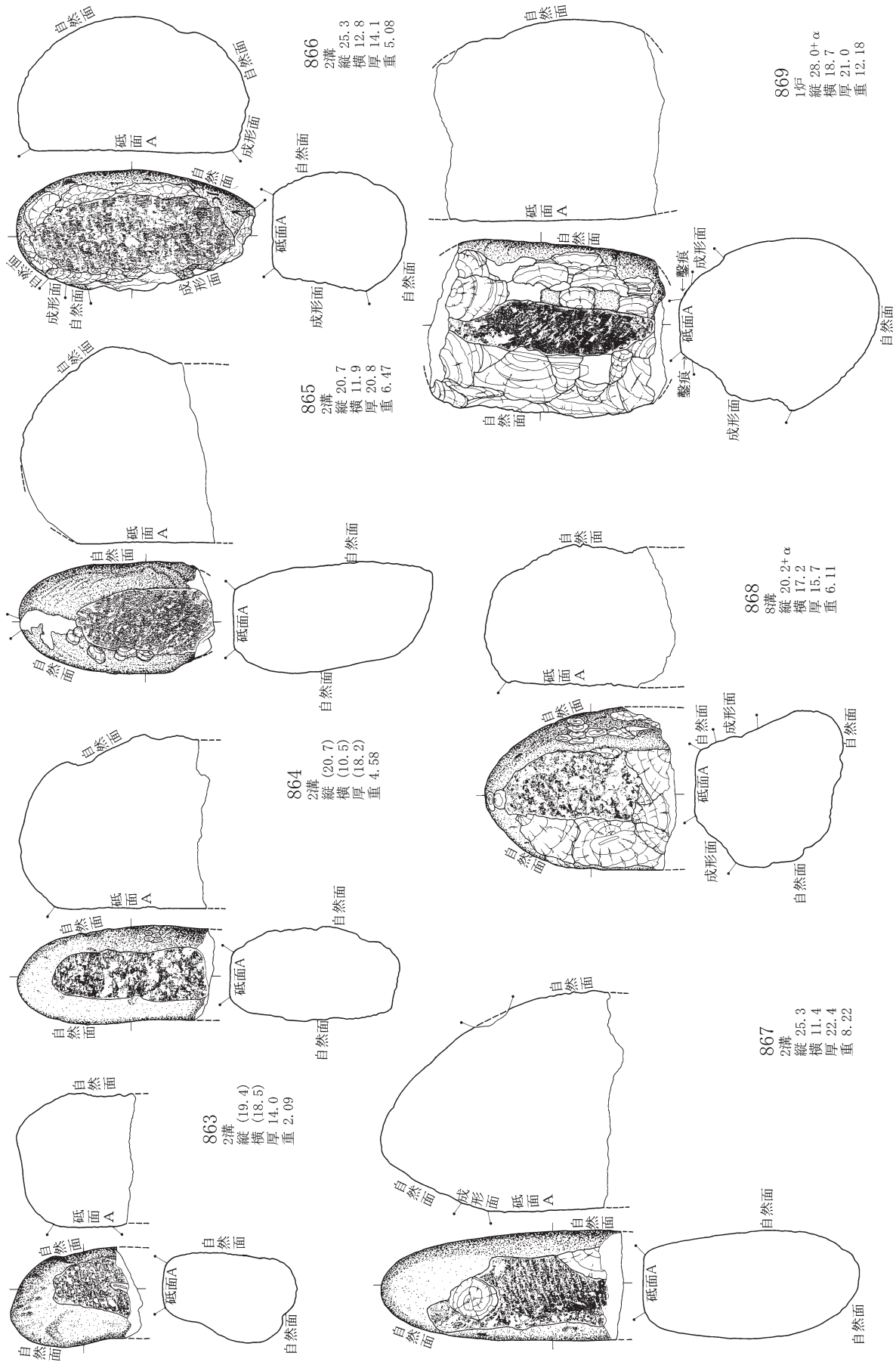
852
8井
縦 24.0
横 16.4
厚 17.9
重 8.28

第209図 砥石(荒砥)実測図 3/26 (1:6)

発見された遺構と出土遺物

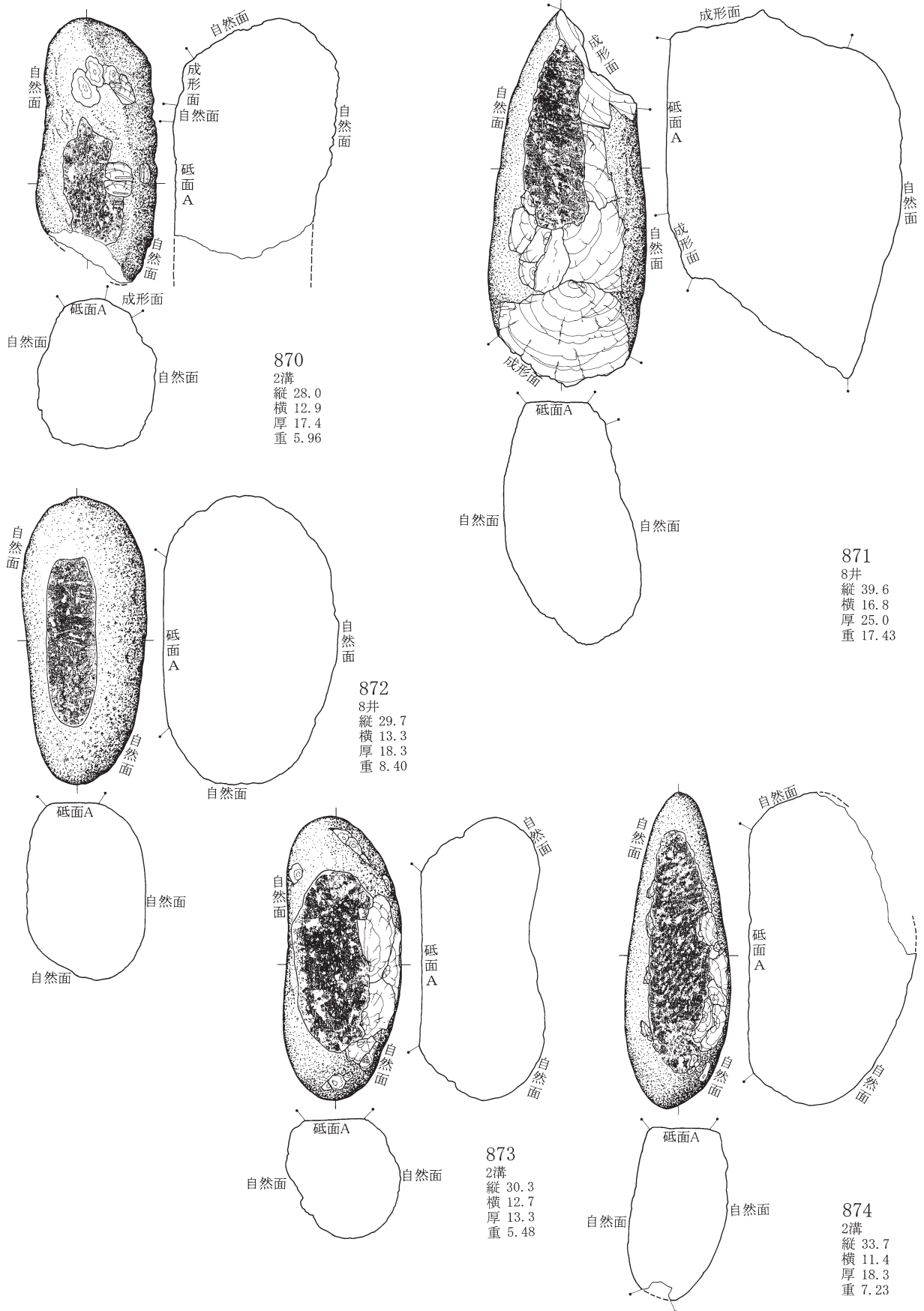


第210図 砥石（荒砥）実測図 4/26 (1:6)

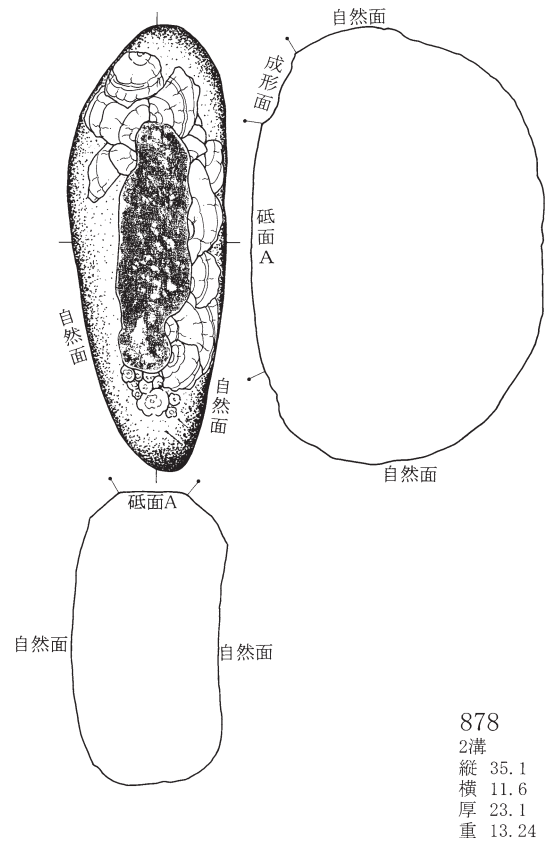
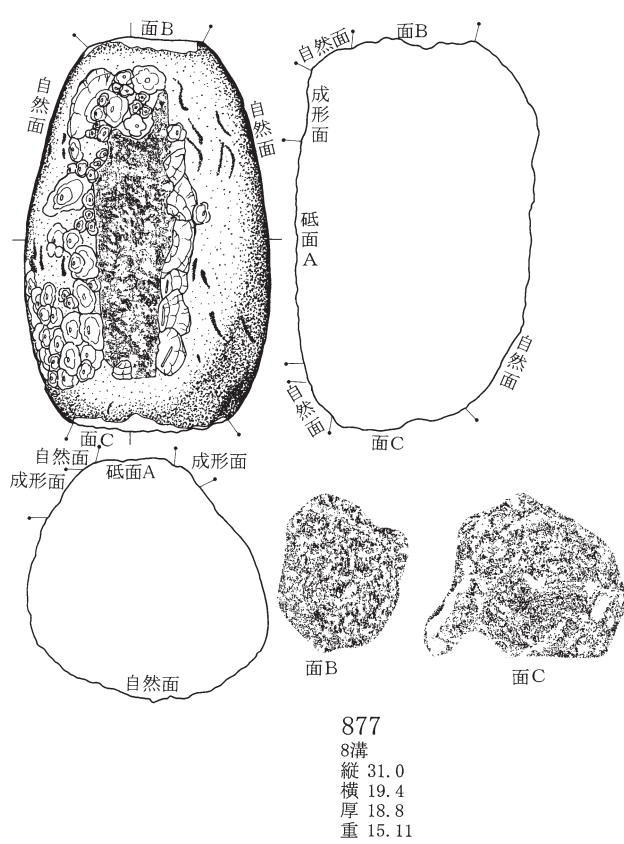
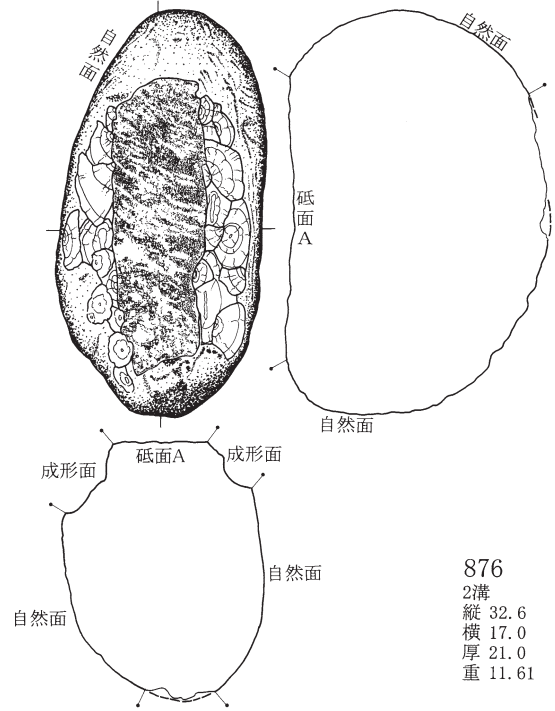
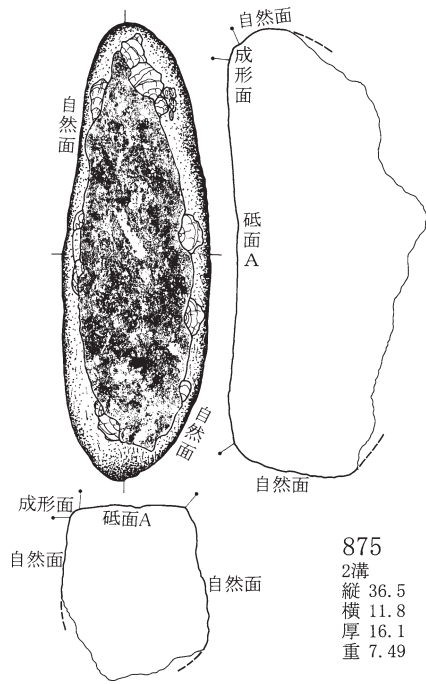


第211図 砥石 (荒砥) 実測図 5/26 (1:6)

発見された遺構と出土遺物

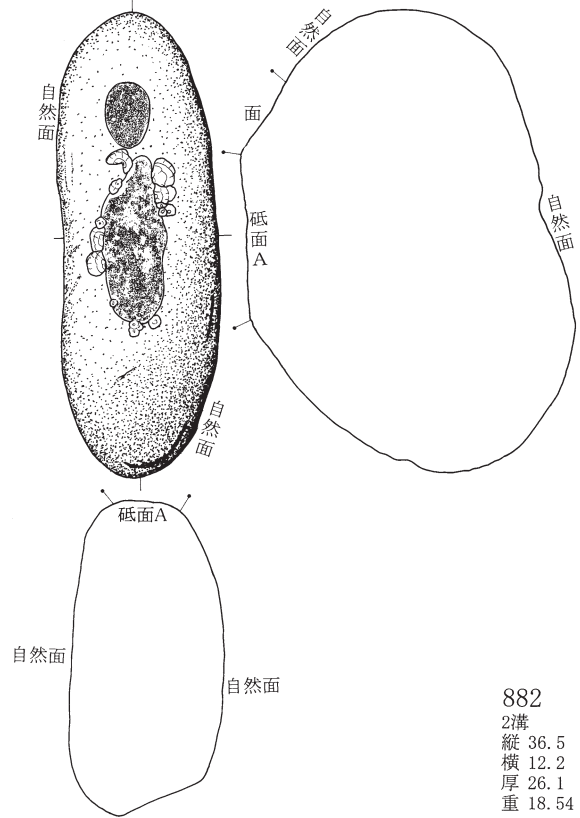
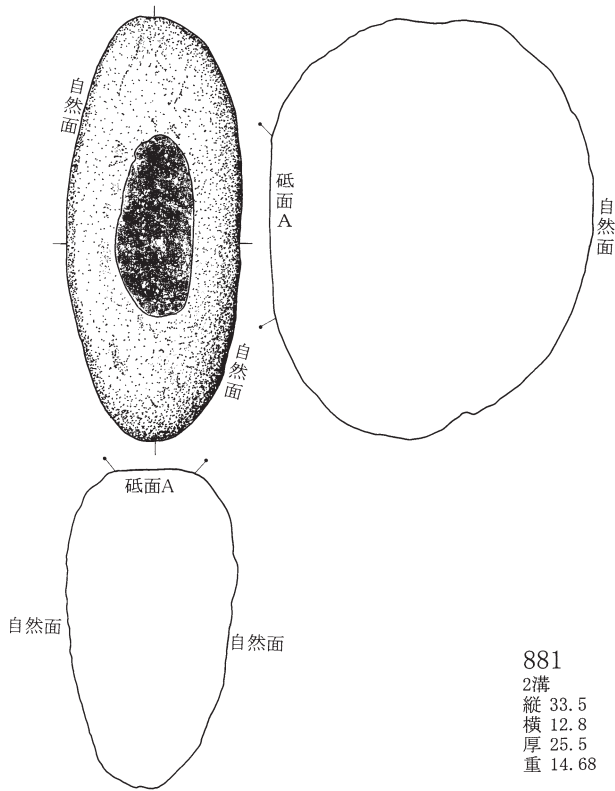
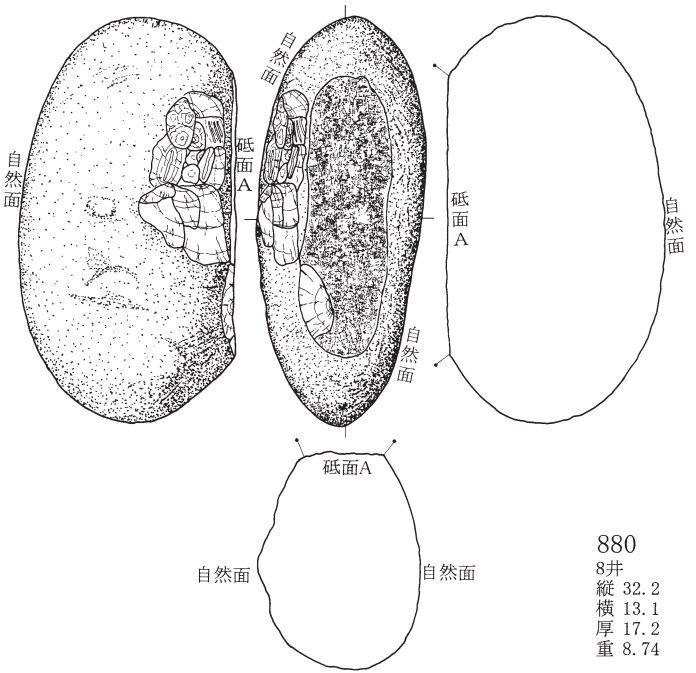
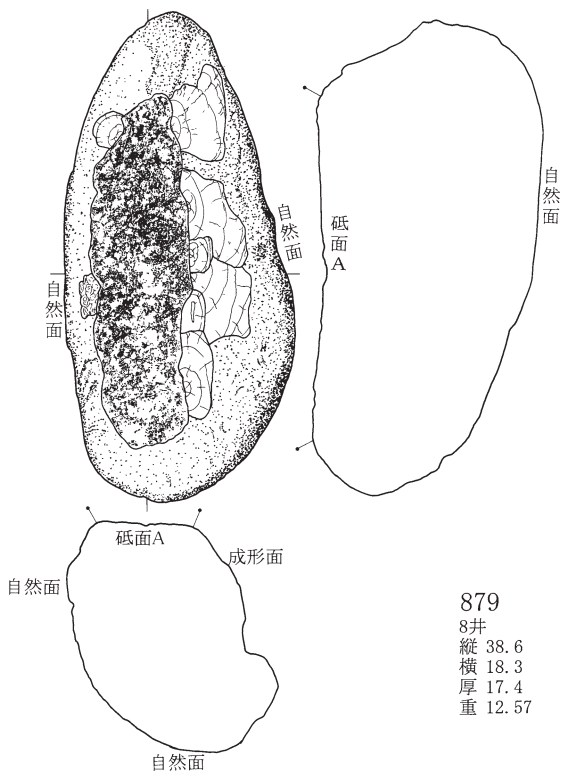


第212図 砥石 (荒砥) 実測図 6/26 (1:6)

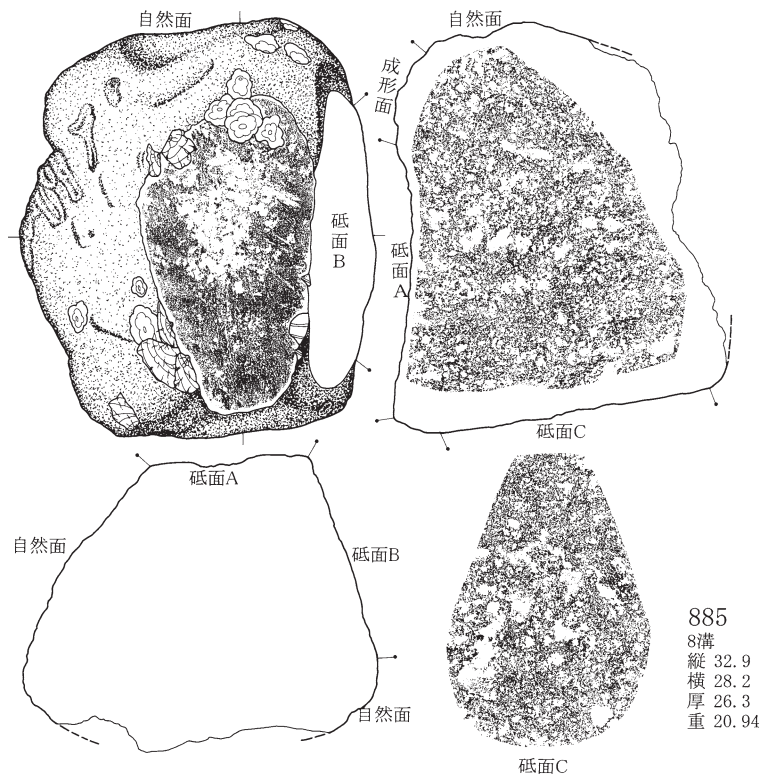
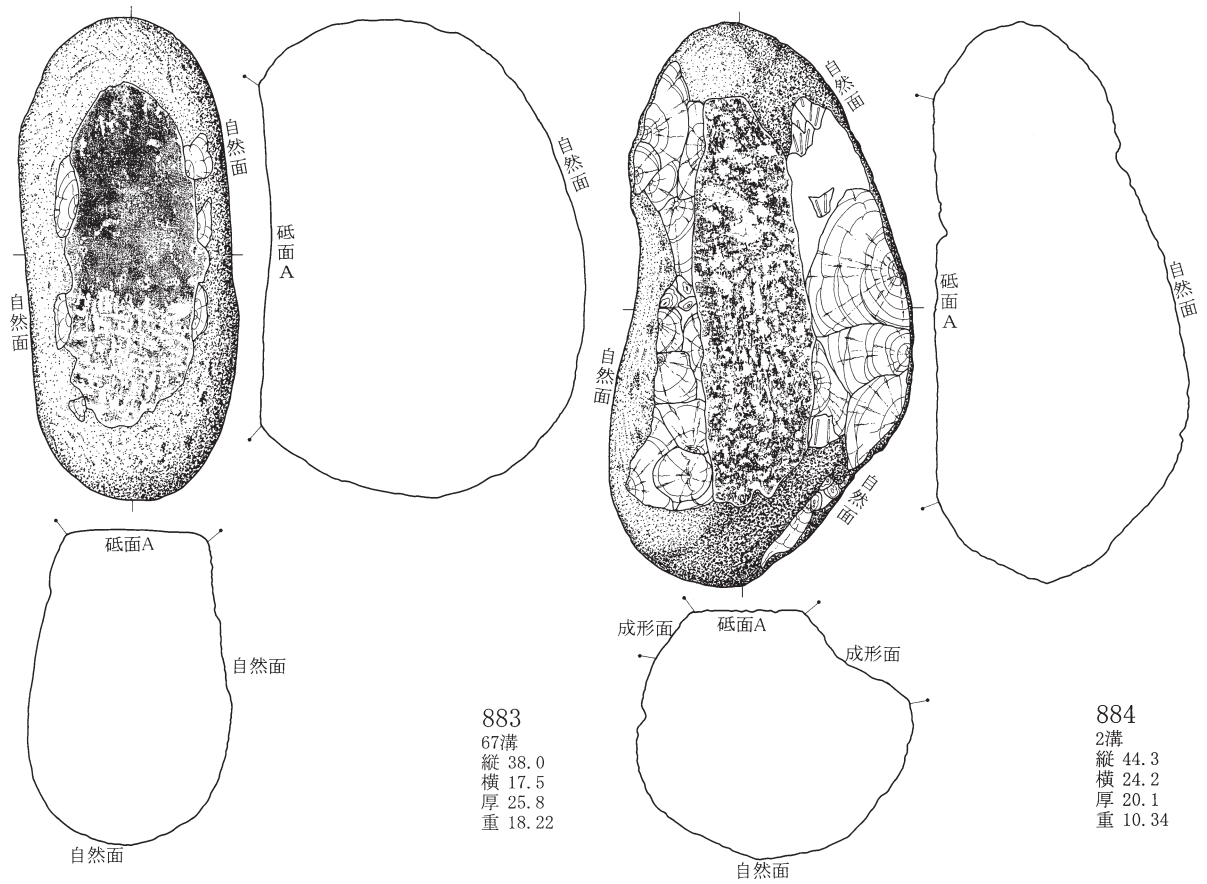


第213図 砥石(荒砥)実測図 7/26 (1:6)

発見された遺構と出土遺物

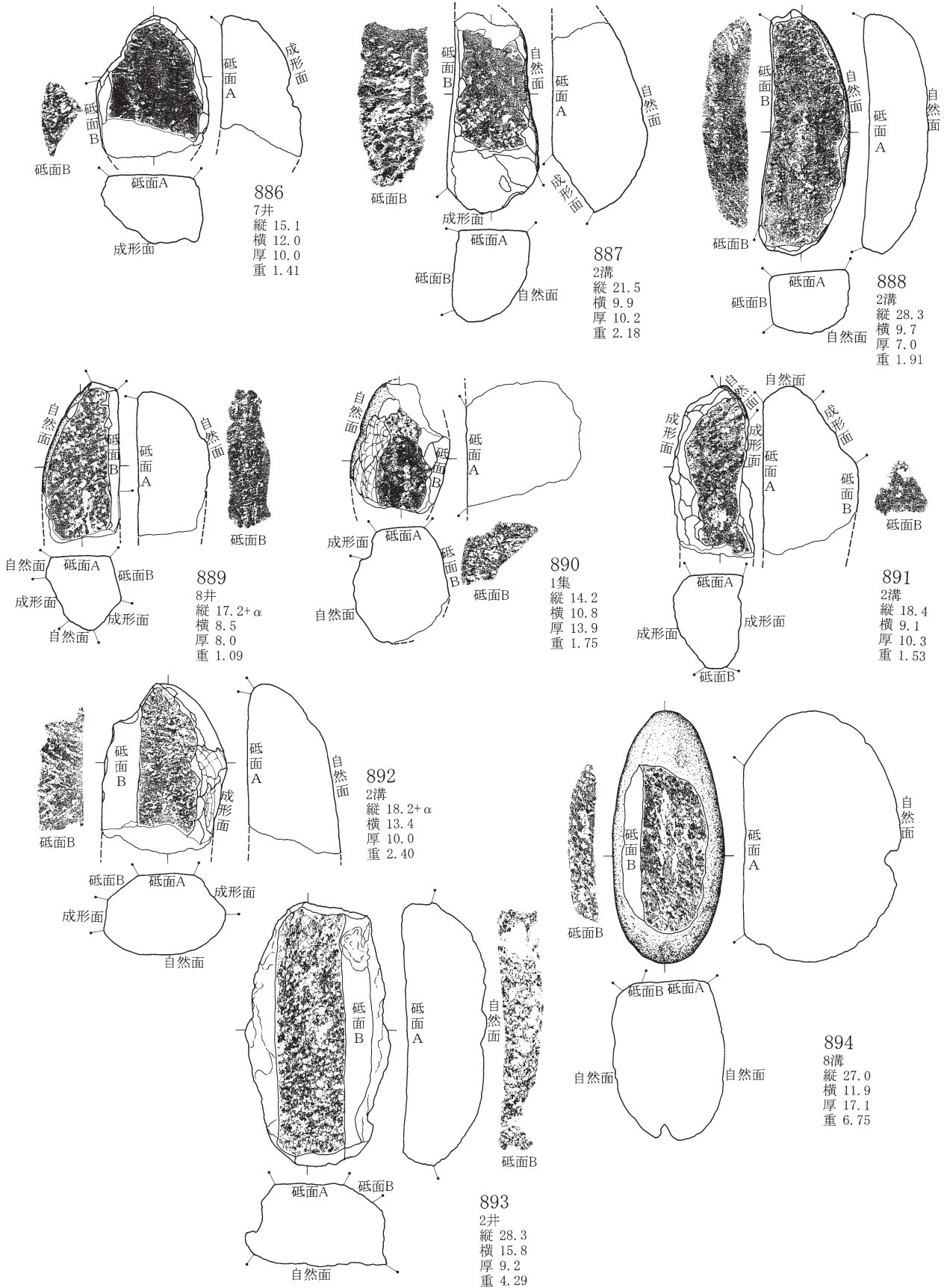


第214図 砥石(荒砥) 実測図 8/26 (1:6)

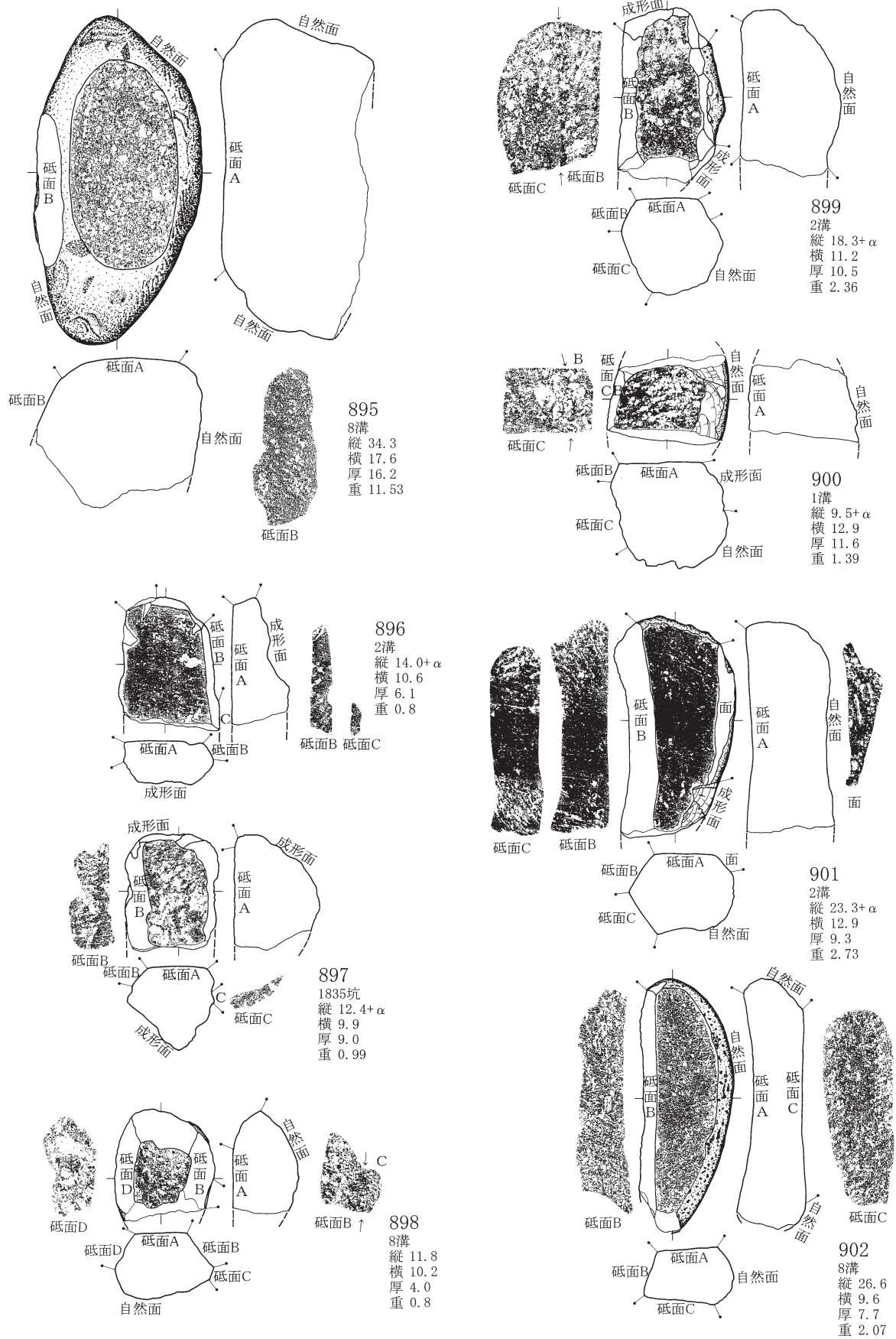


第215図 砥石(荒砥)実測図 9/26 (1:6)

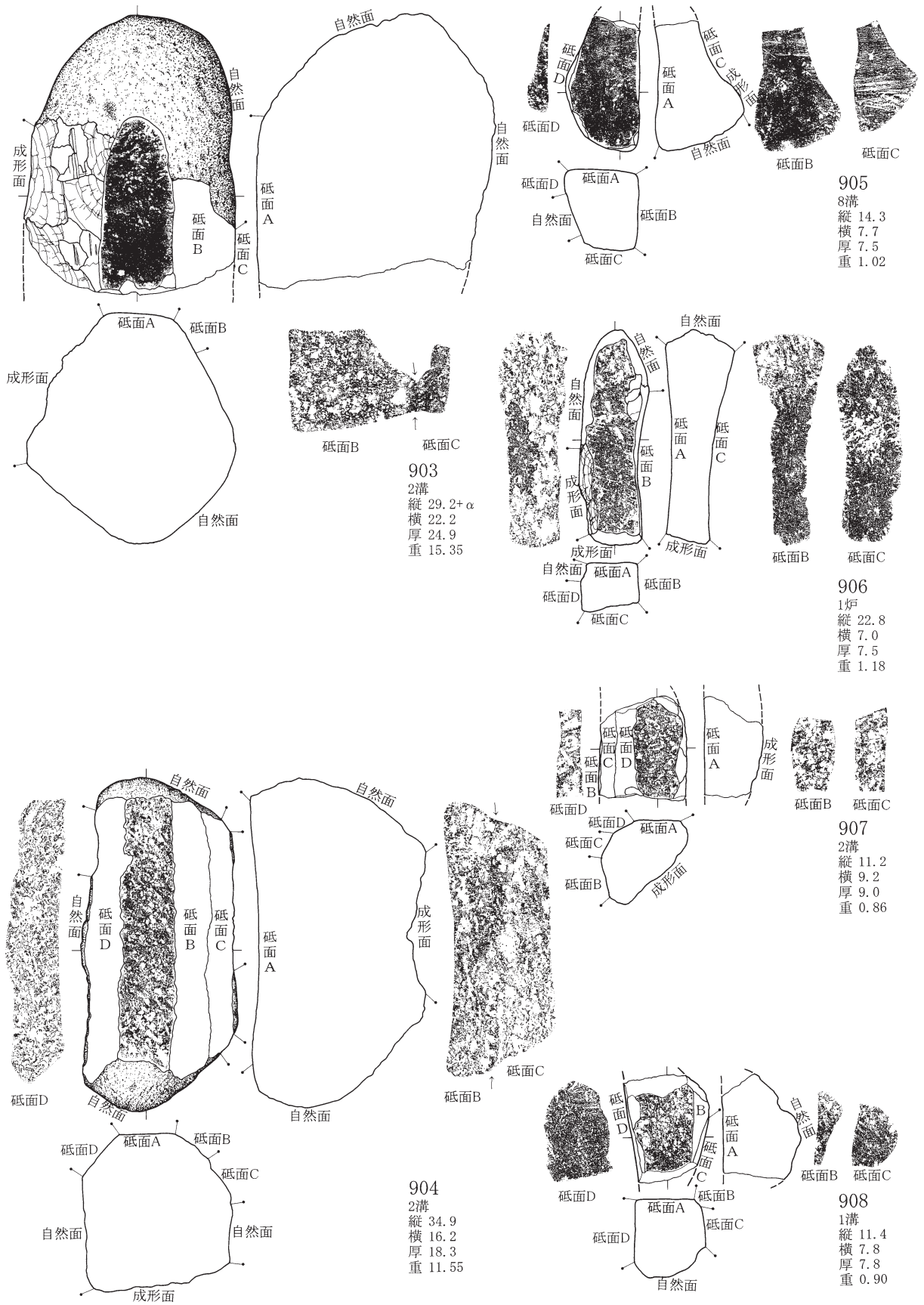
発見された遺構と出土遺物



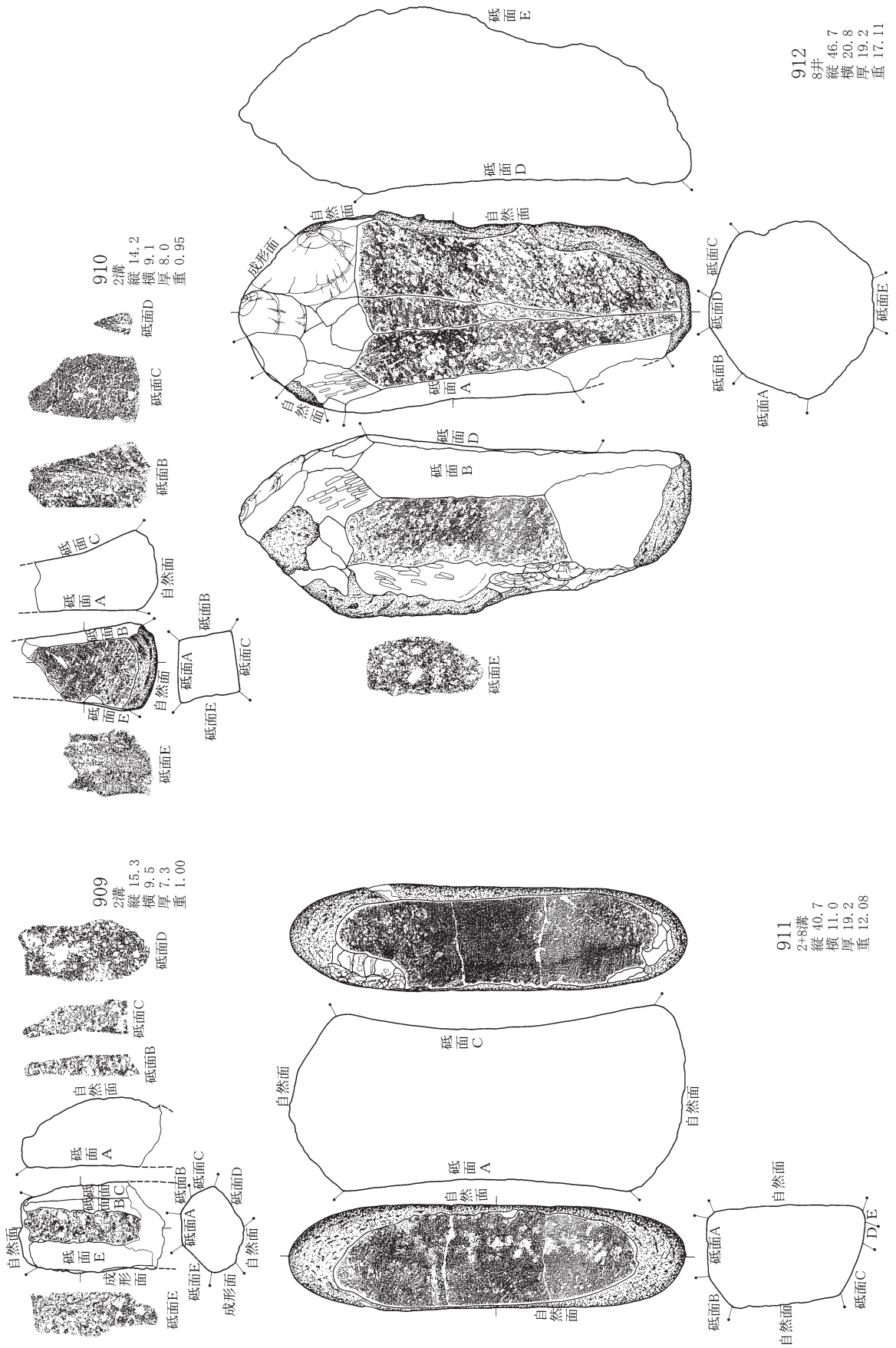
第216図 砥石(荒砥)実測図 10/26 (1:6)



第217図 砥石(荒砥)実測図 11/26 (1:6)

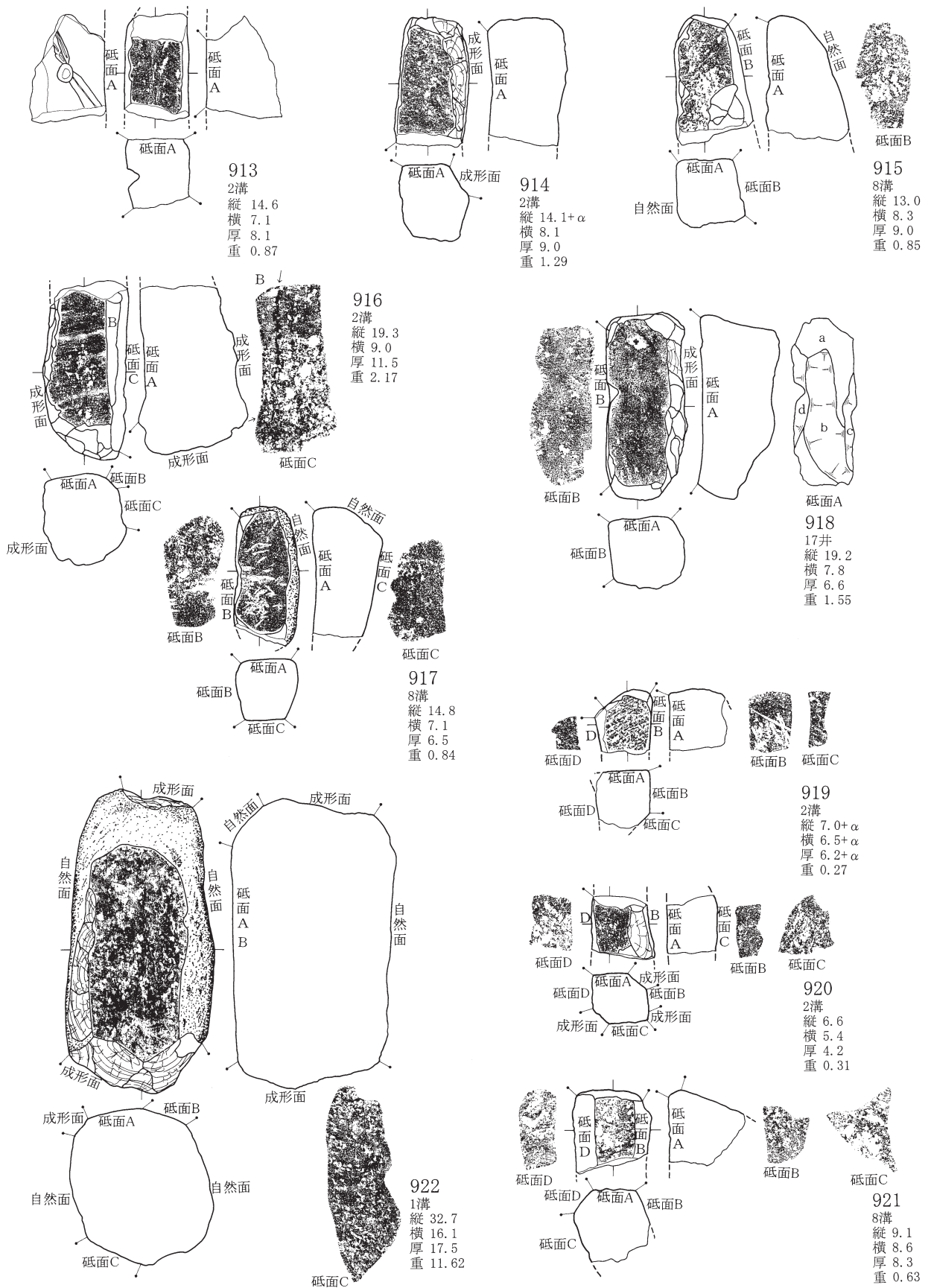


第218図 砥石(荒砥)実測図 12/26 (1:6)

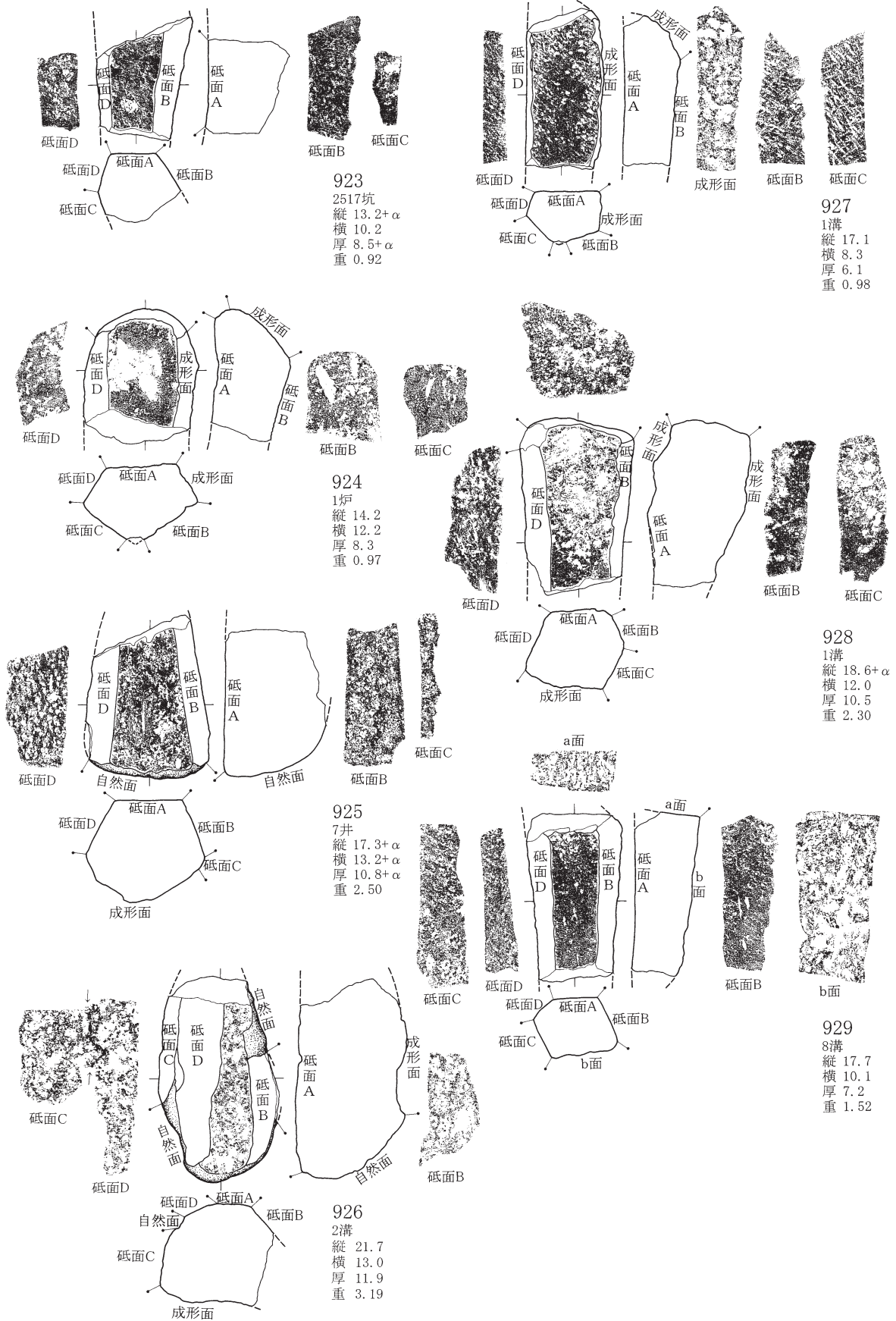


第219図 砥石（荒砥）実測図 13/26 (1:6)

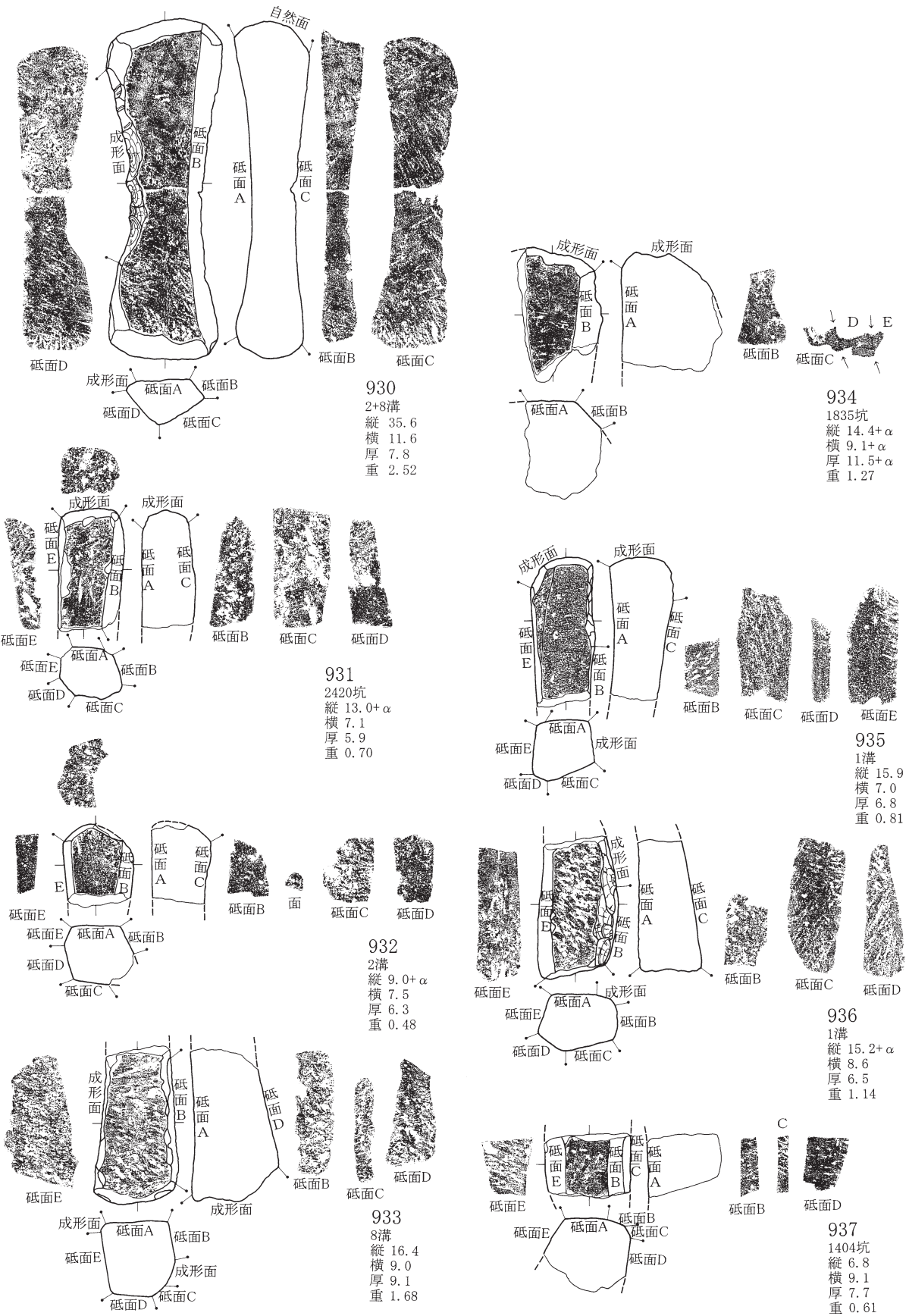
発見された遺構と出土遺物



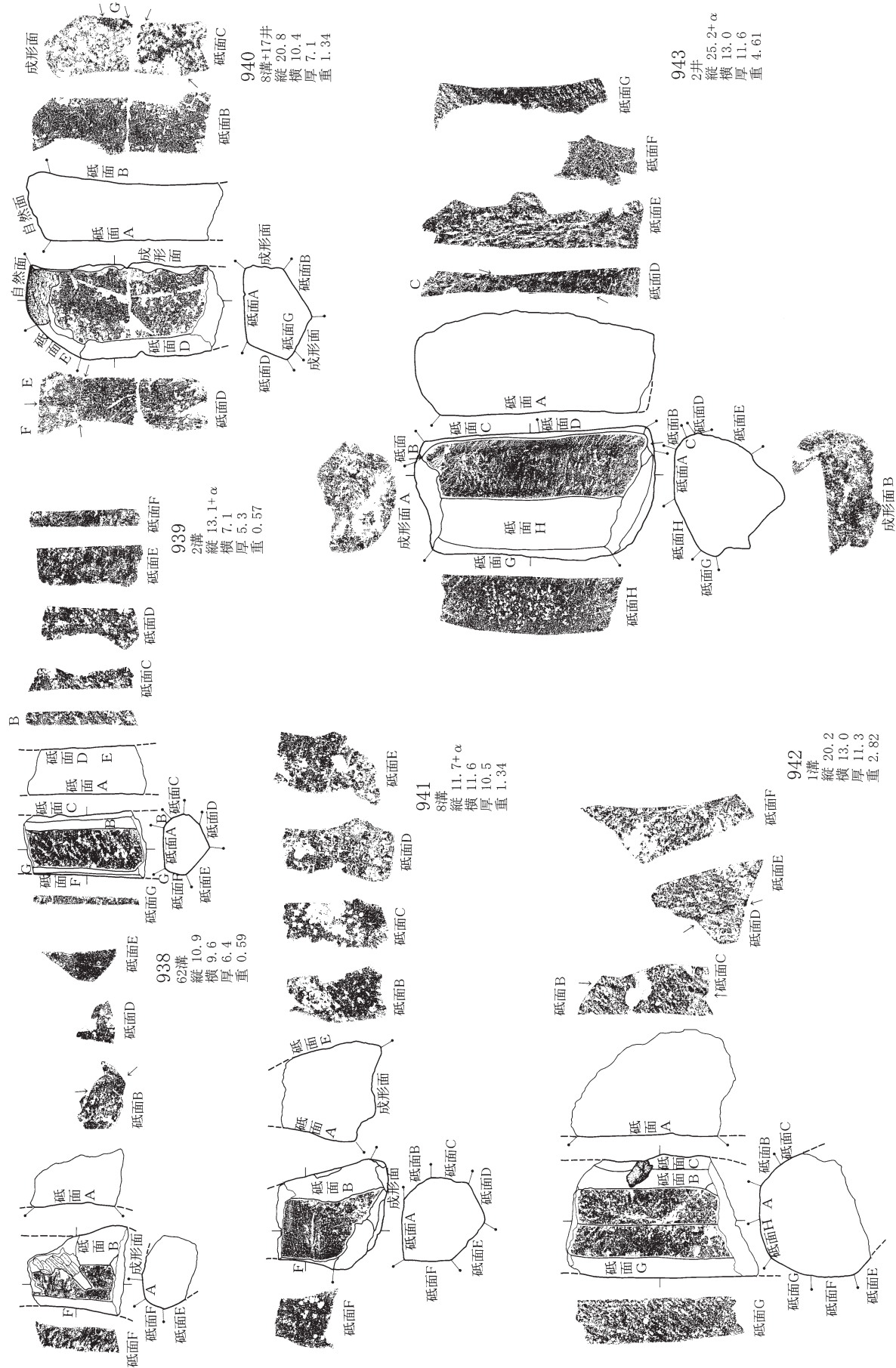
第220図 砥石(荒砥)実測図 14/26 (1:6)



第221図 砥石(荒砥)実測図 15/26 (1:6)

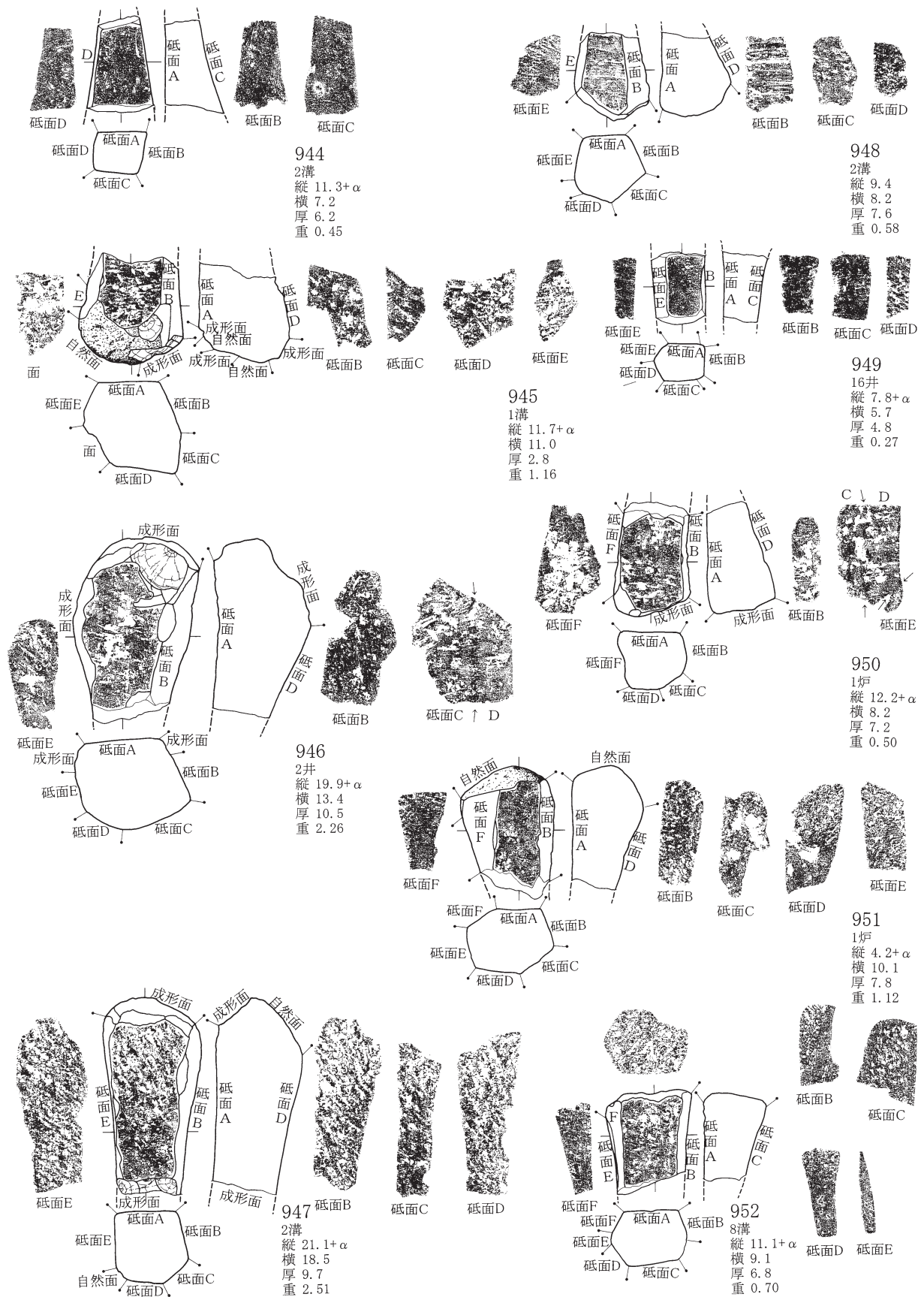


第222図 砥石(荒砥)実測図 16/26 (1:6)

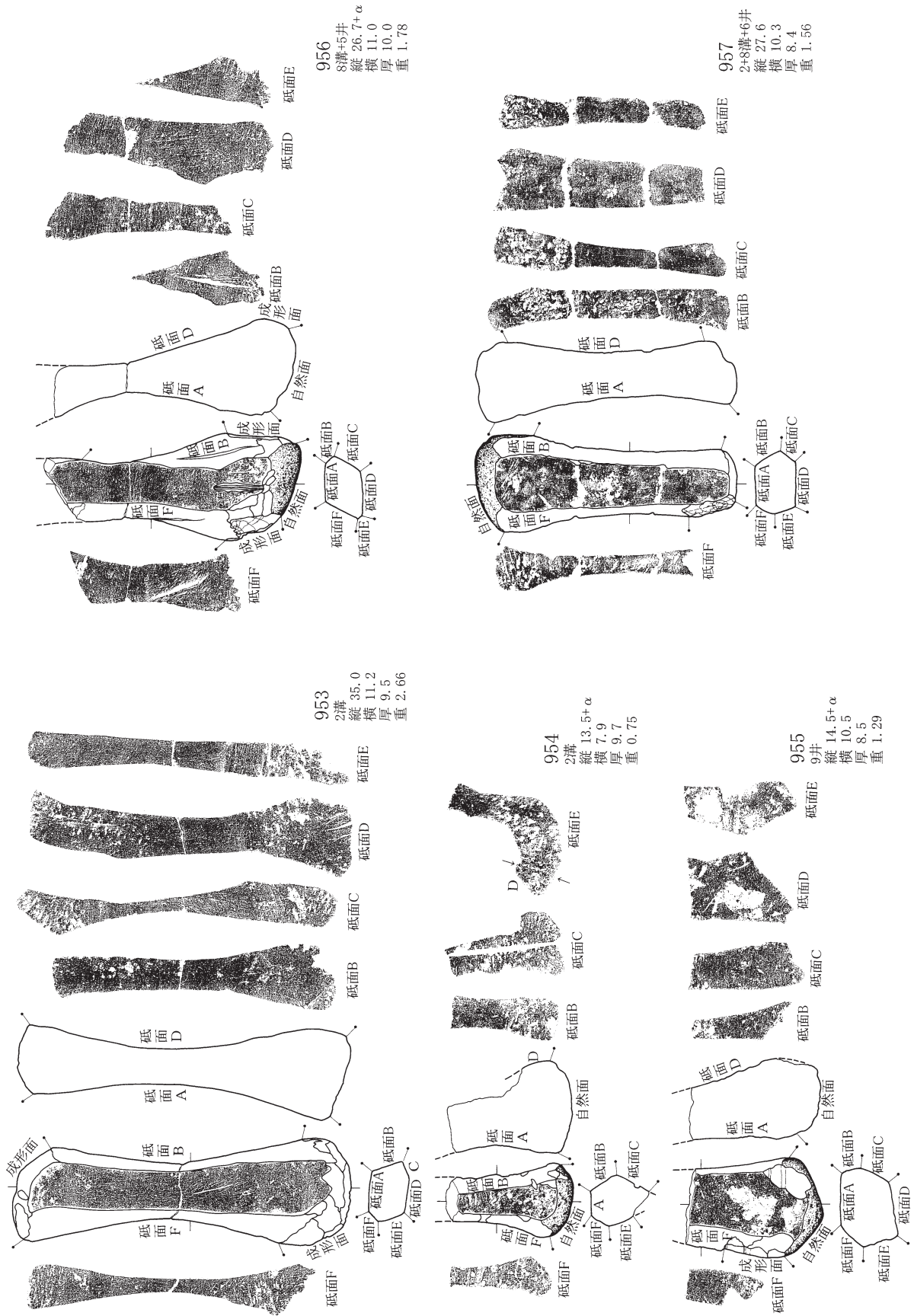


第223図 砥石（荒砥）実測図 17/26 (1:6)

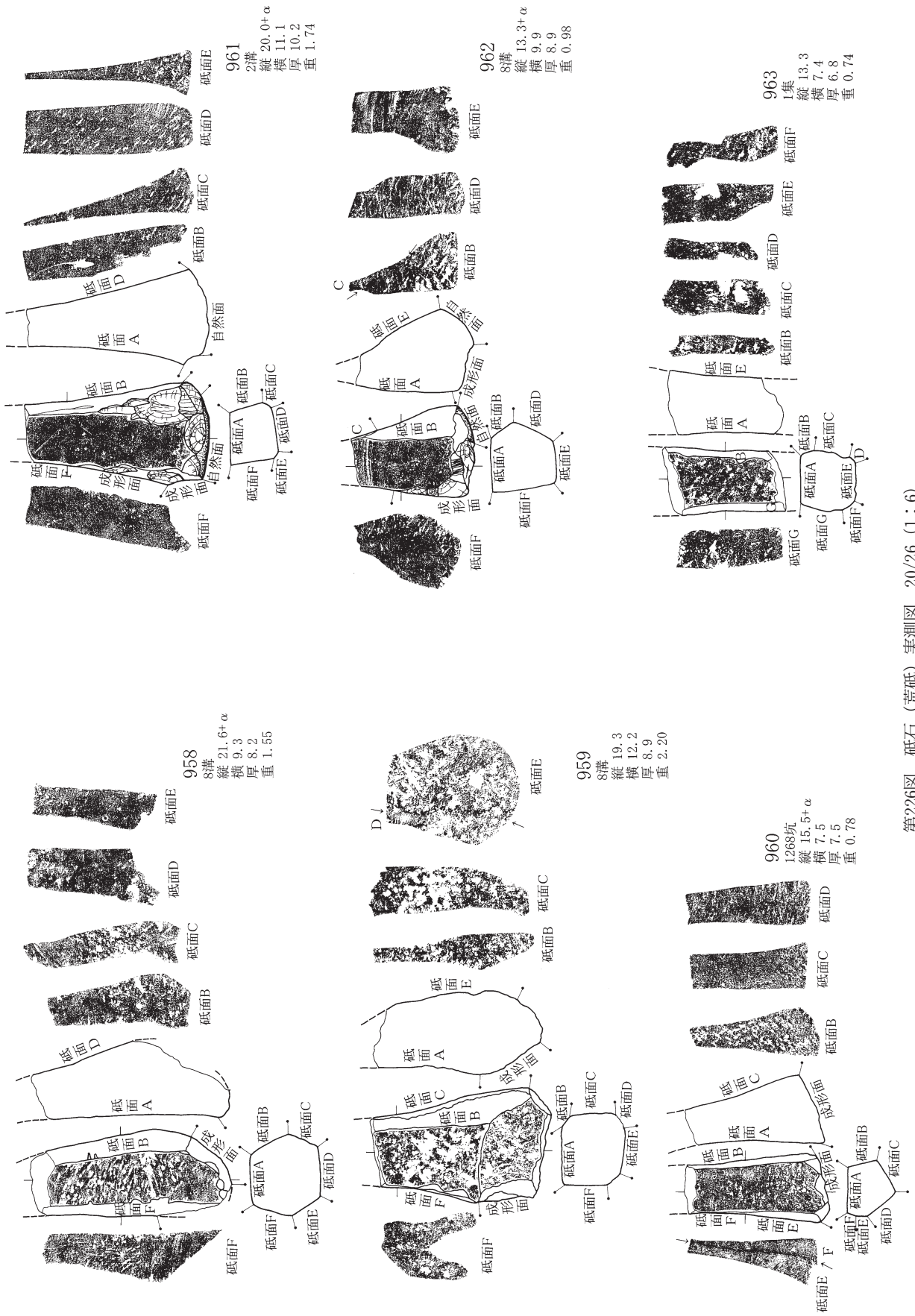
発見された遺構と出土遺物



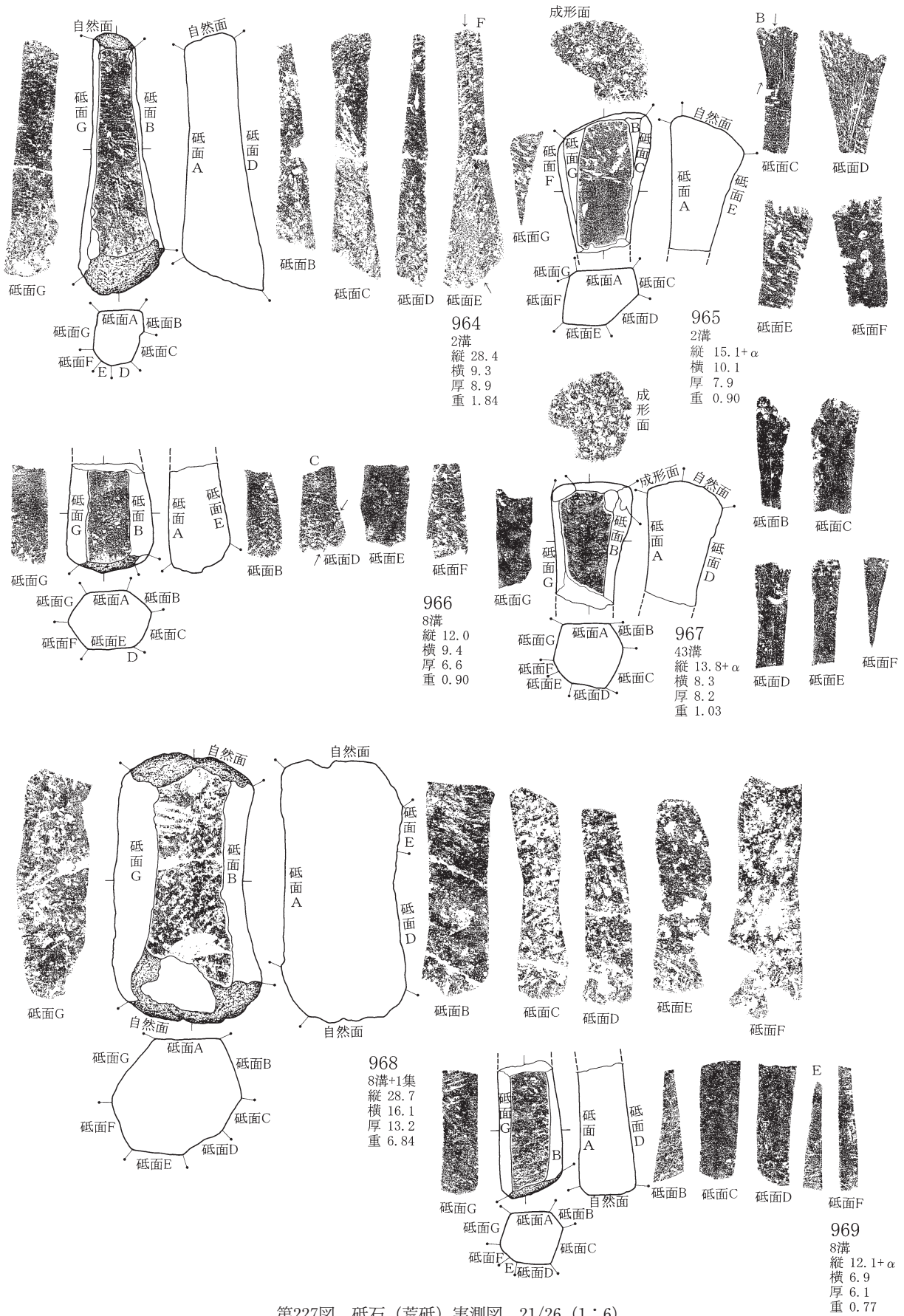
第224図 砥石(荒砥)実測図 18/26 (1:6)



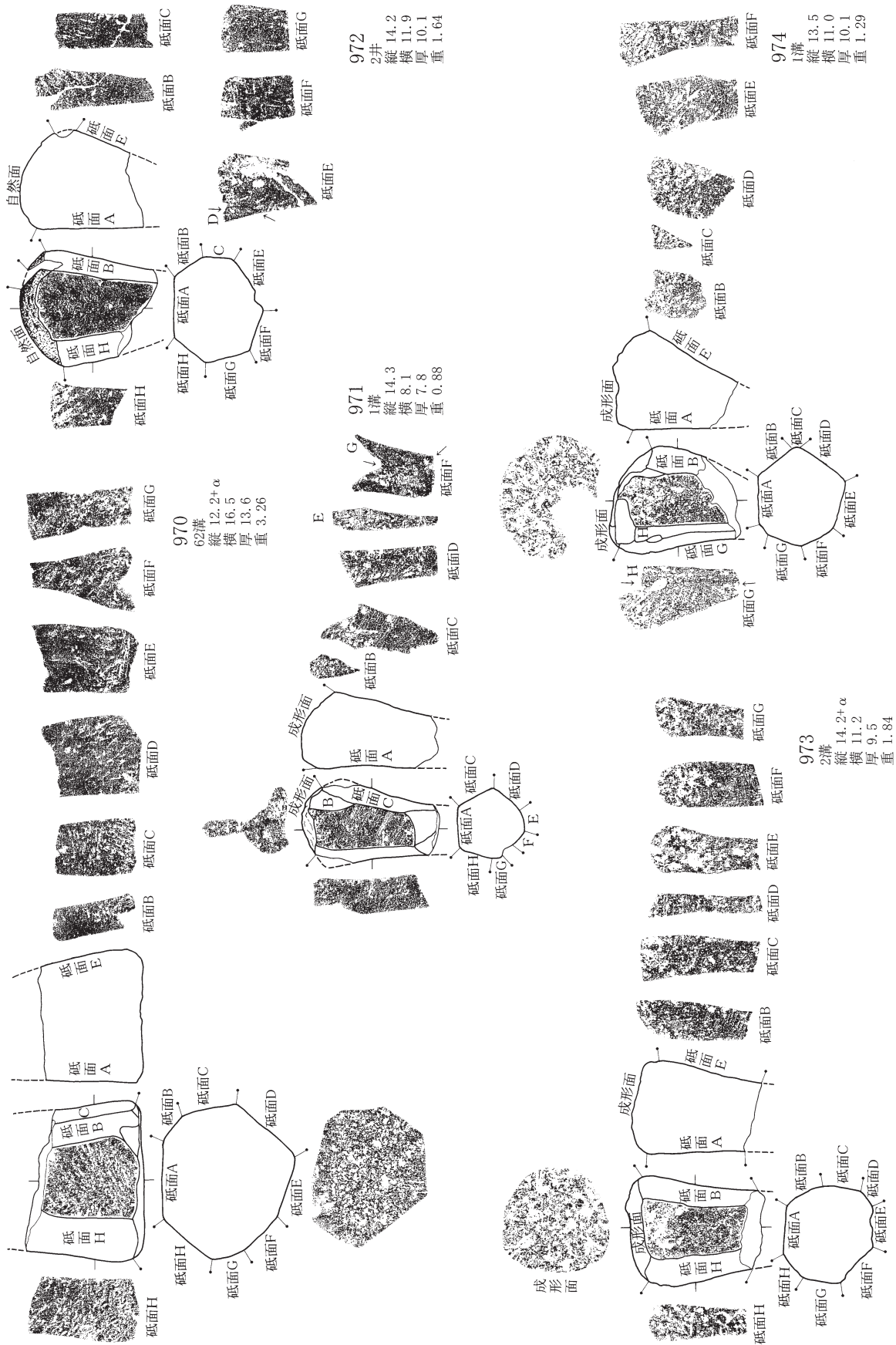
第225図 砥石（荒砥）実測図 19/26 (1:6)



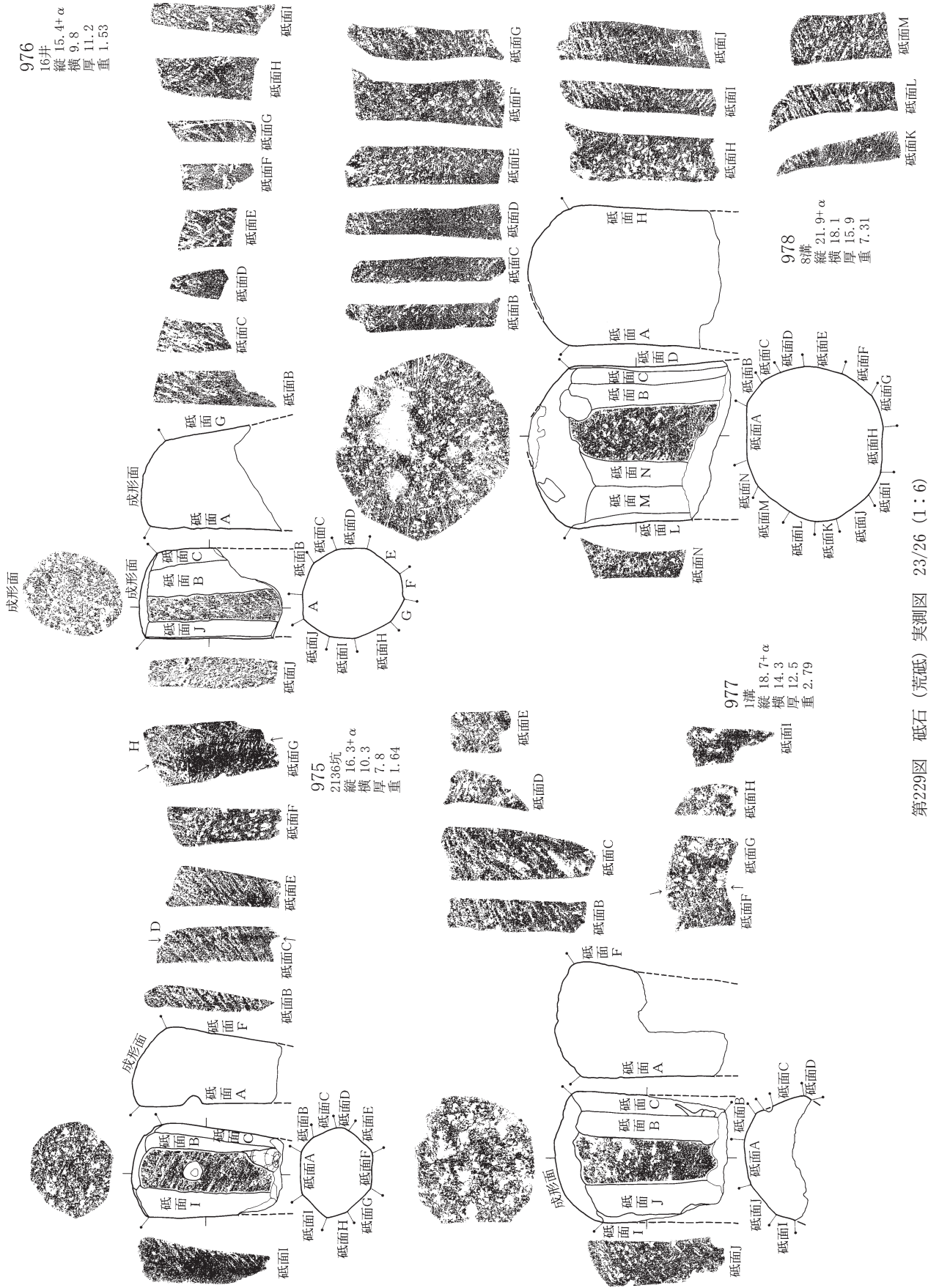
第226図 砥石（荒砥）実測図 20/26 (1 : 6)



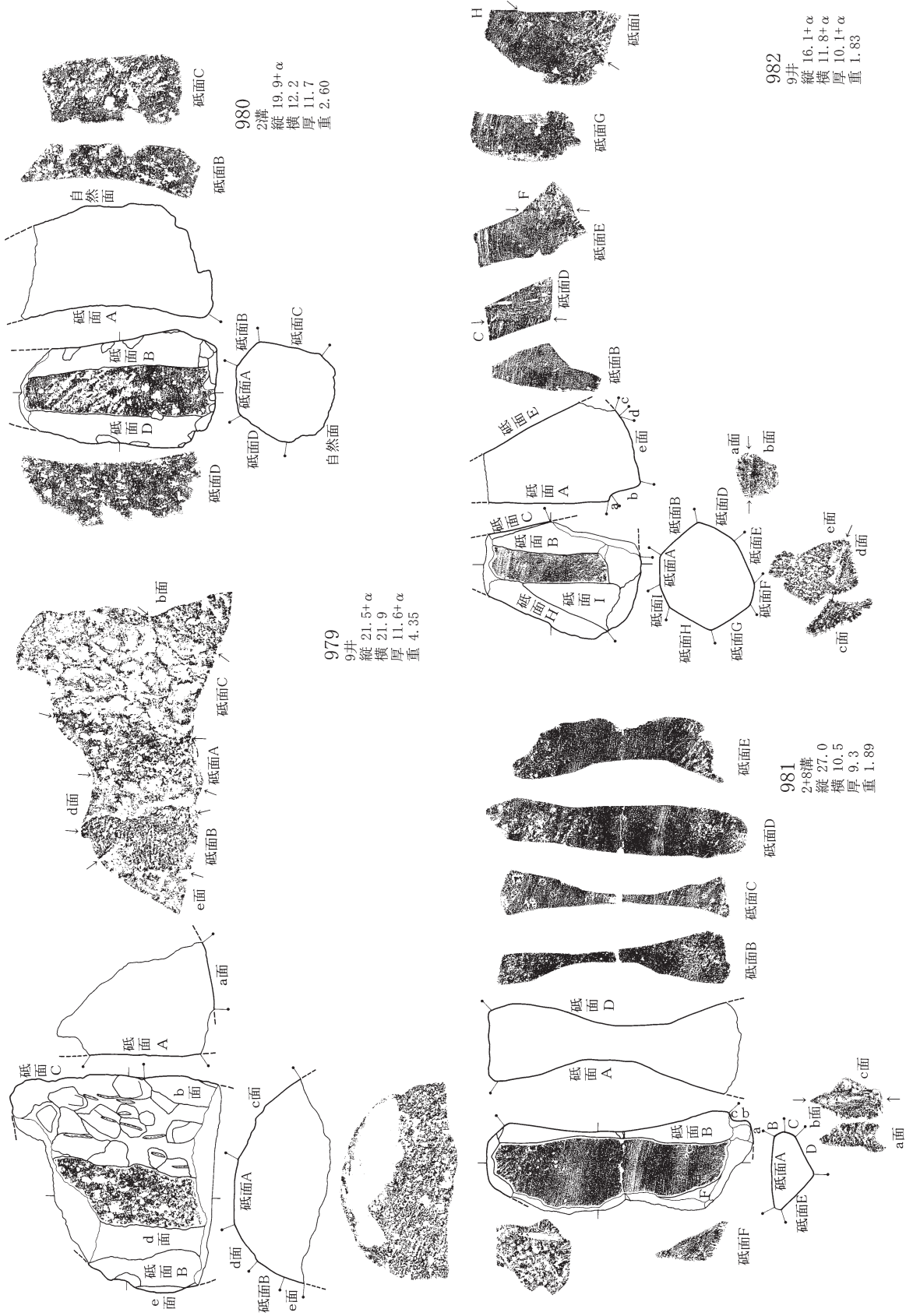
第227図 砥石(荒砥)実測図 21/26 (1:6)



第228図 砥石（荒砥）実測図 22/26 (1:6)

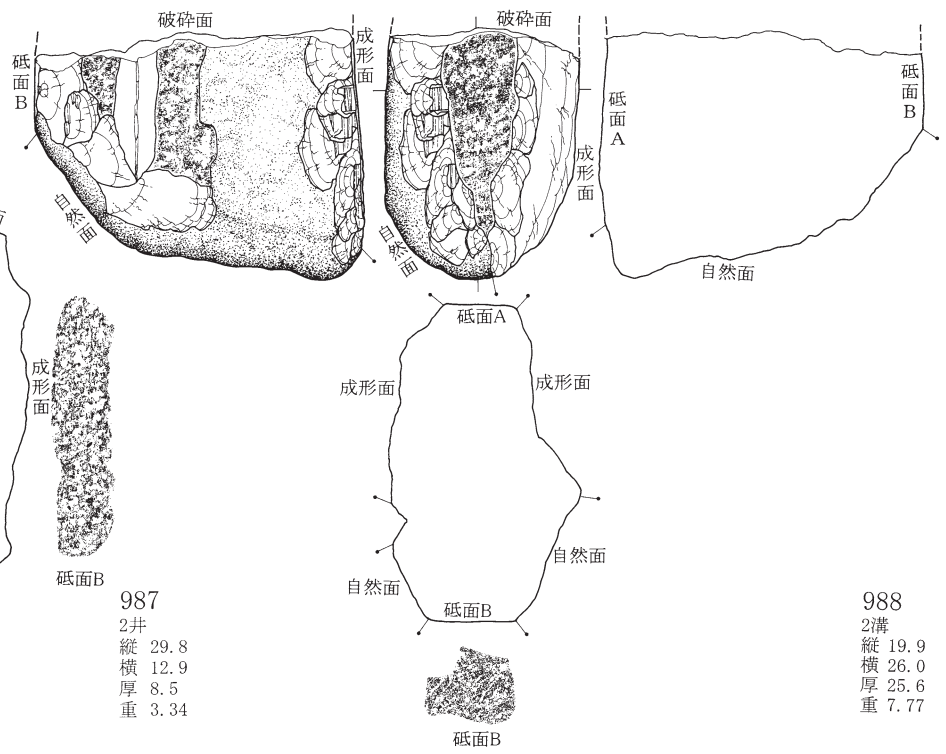
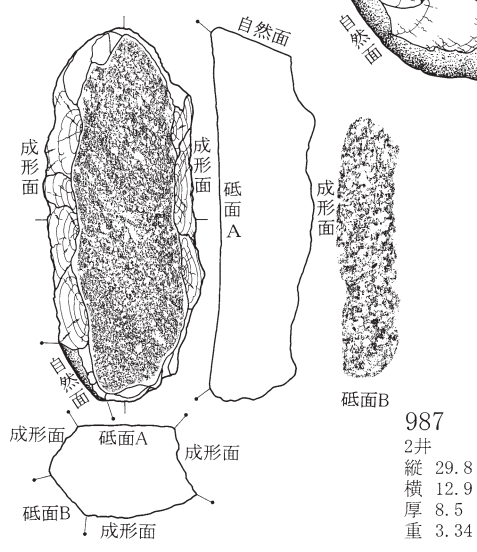
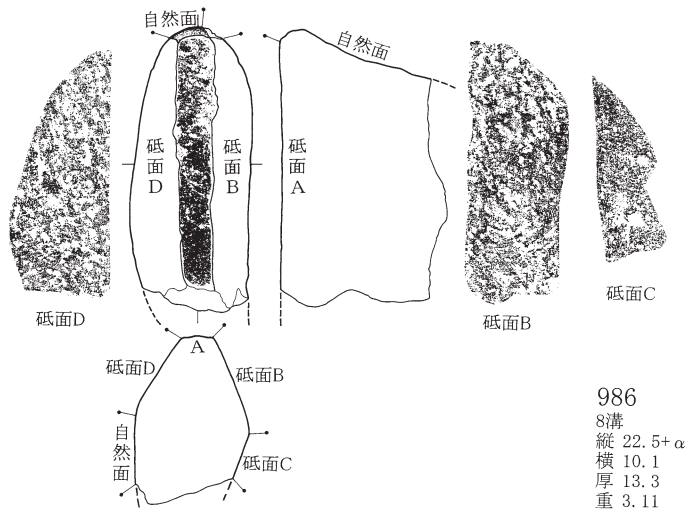
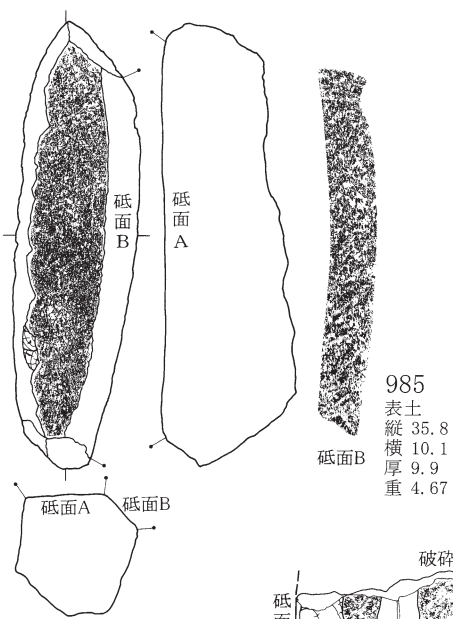
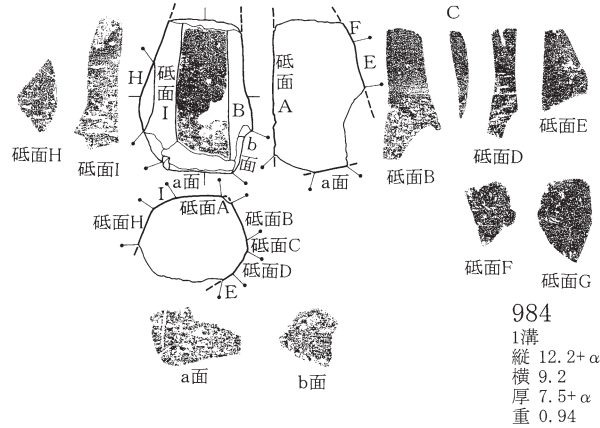
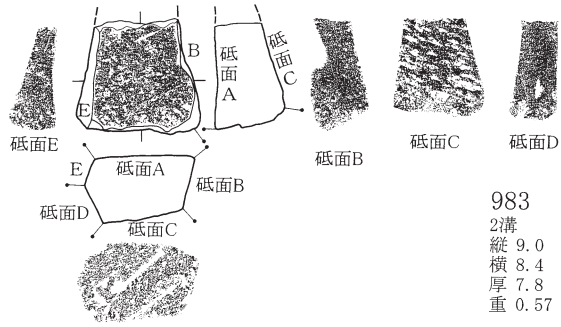


第229図 砥石（荒砥）実測図 23/26 (1:6)



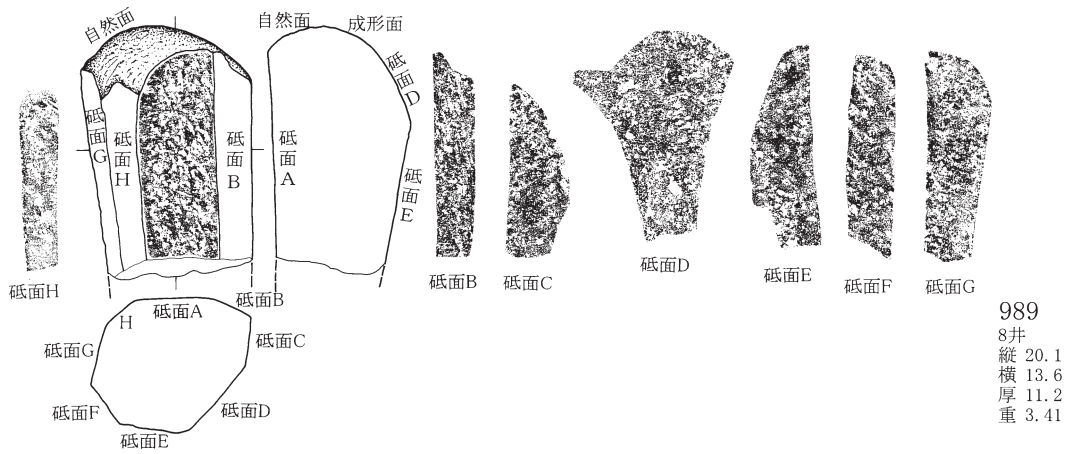
第230図 砥石(荒砥) 実測図 24/26 (1:6)

発見された遺構と出土遺物



第231図 砥石(荒砥)実測図 25/26 (1:6)

発見された遺構と出土遺物



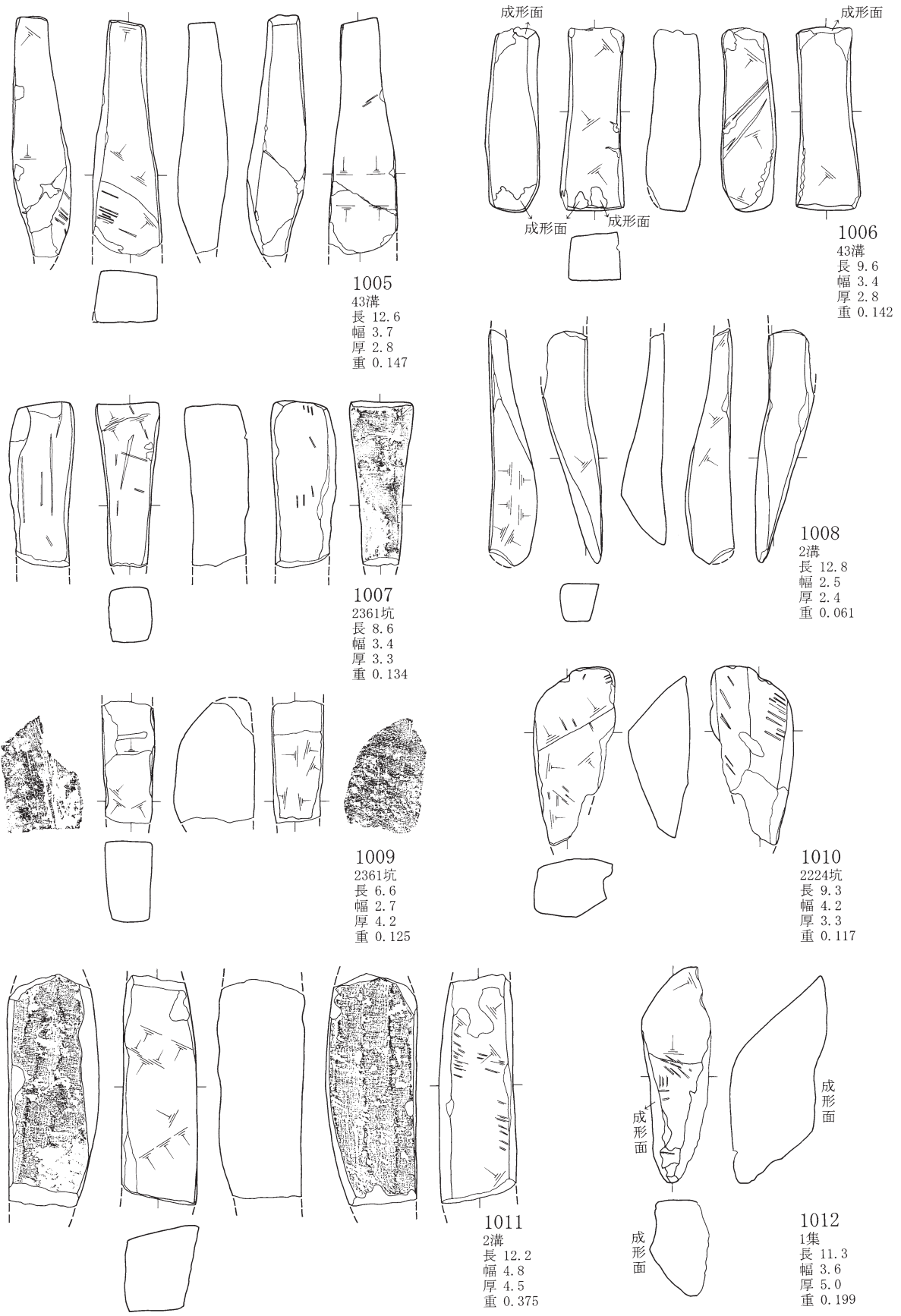
989
8井
縦 20.1
横 13.6
厚 11.2
重 3.41

第232図 砥石(荒砥)実測図 26/26 (1:6)

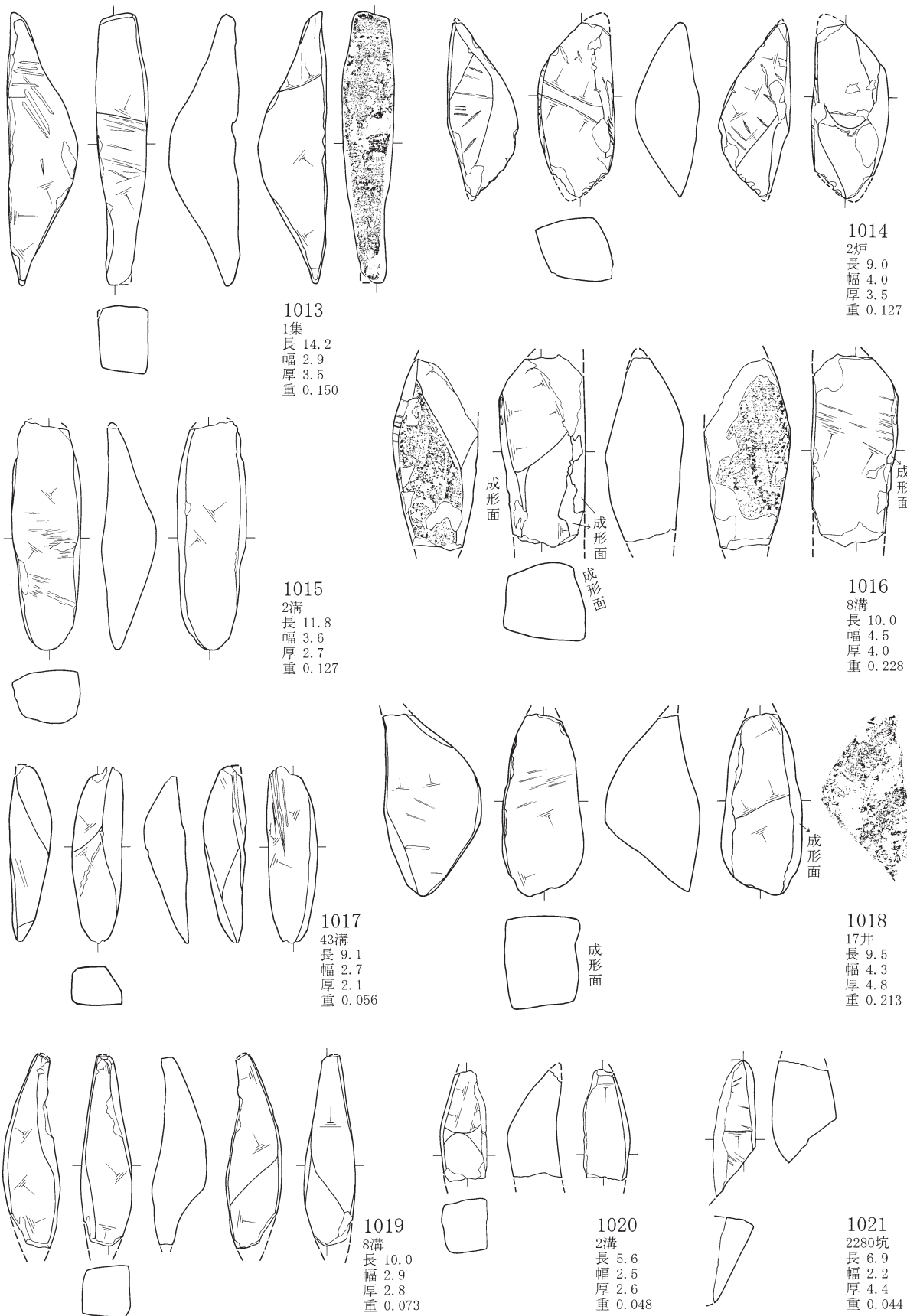


第233図 砥石実測図 1/5 (1:3)

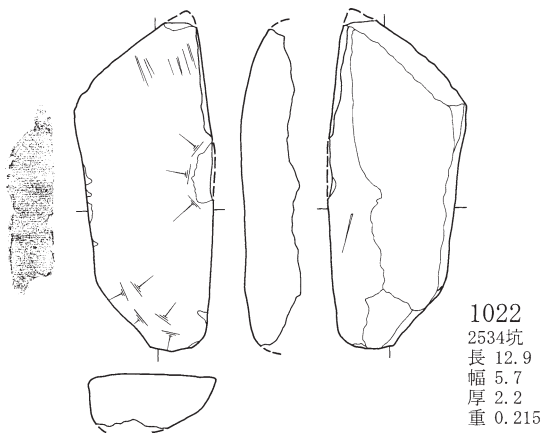
発見された遺構と出土遺物



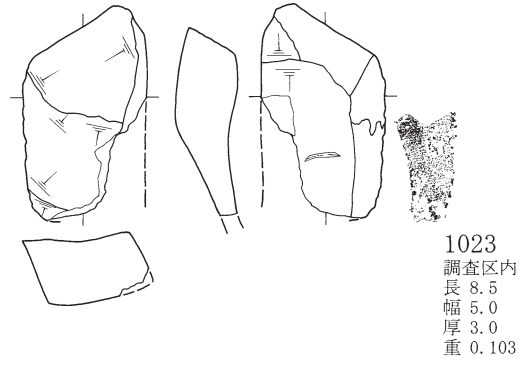
第235図 砥石実測図 3/5 (1:3)



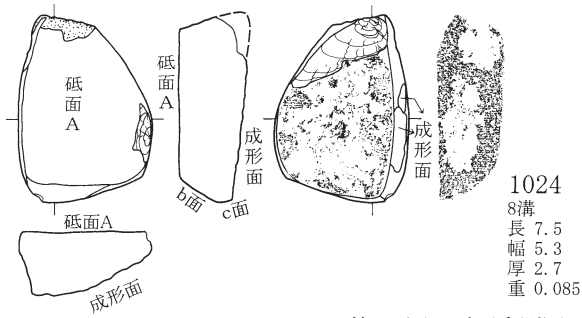
第236図 砥石実測図 4/5 (1:3)



1022
2534坑
長 12.9
幅 5.7
厚 2.2
重 0.215

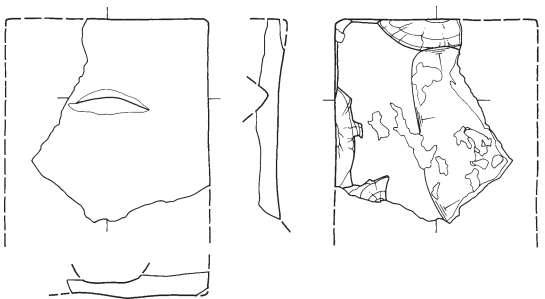


1023
調査区内
長 8.5
幅 5.0
厚 3.0
重 0.103

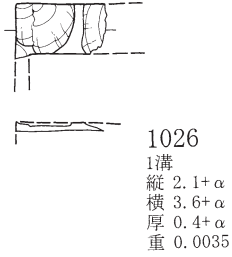


1024
8溝
長 7.5
幅 5.3
厚 2.7
重 0.085

第237図 砥石実測図 5/5 (1:3)



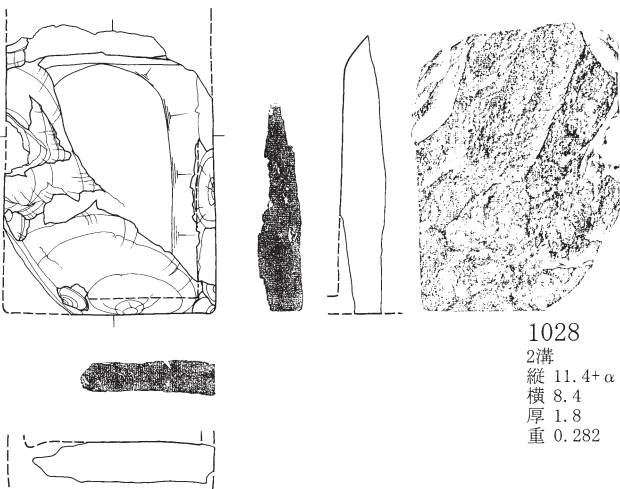
1025
2溝
縦 $8.0+\alpha$
横 $6.8+\alpha$
厚 $1.2+\alpha$
重 0.077



1026
1溝
縦 $2.1+\alpha$
横 $3.6+\alpha$
厚 $0.4+\alpha$
重 0.0035

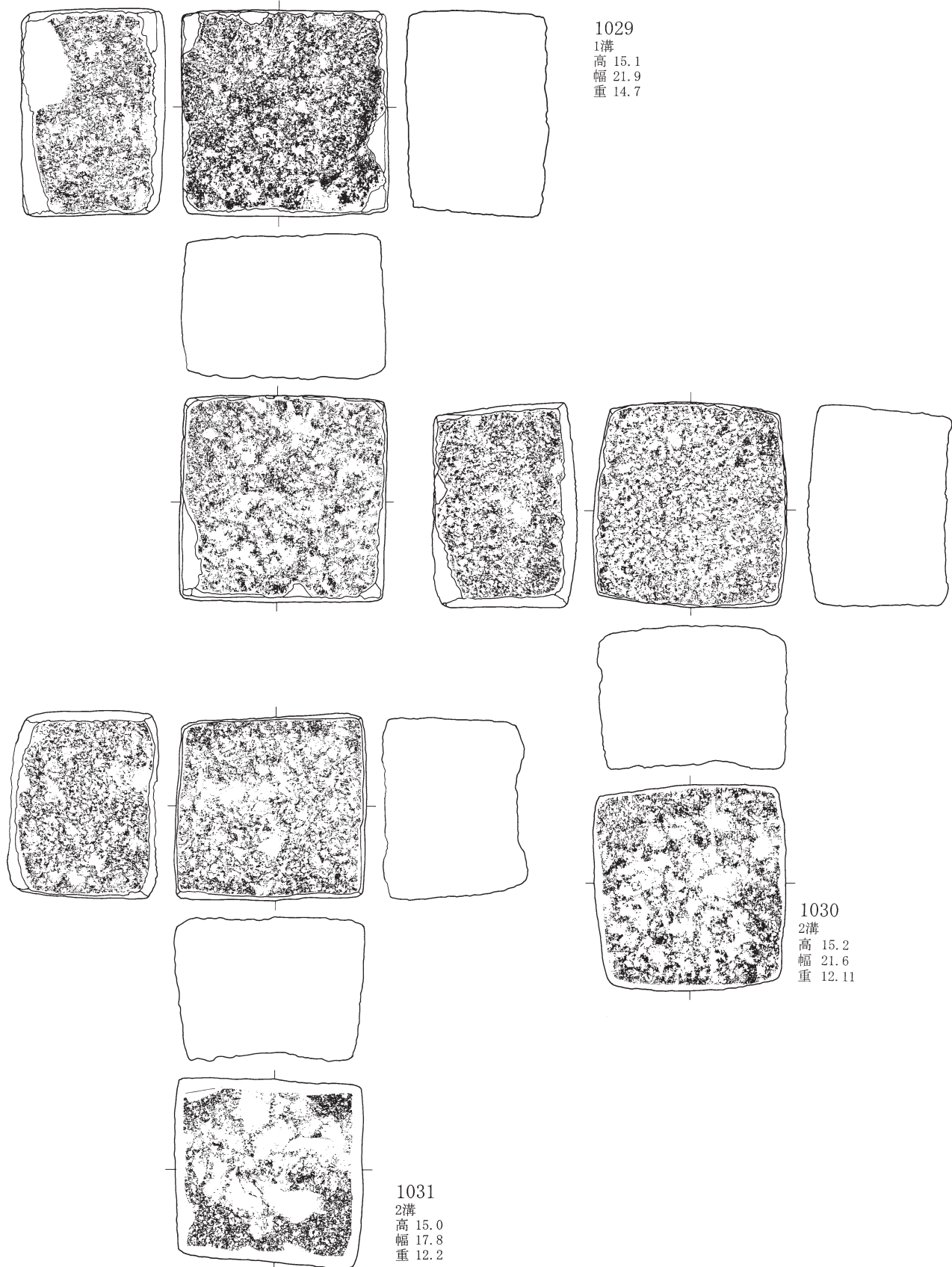


1027
調査区内
縦 $2.9+\alpha$
横 $5.1+\alpha$
厚 $0.6+\alpha$
重 0.0069



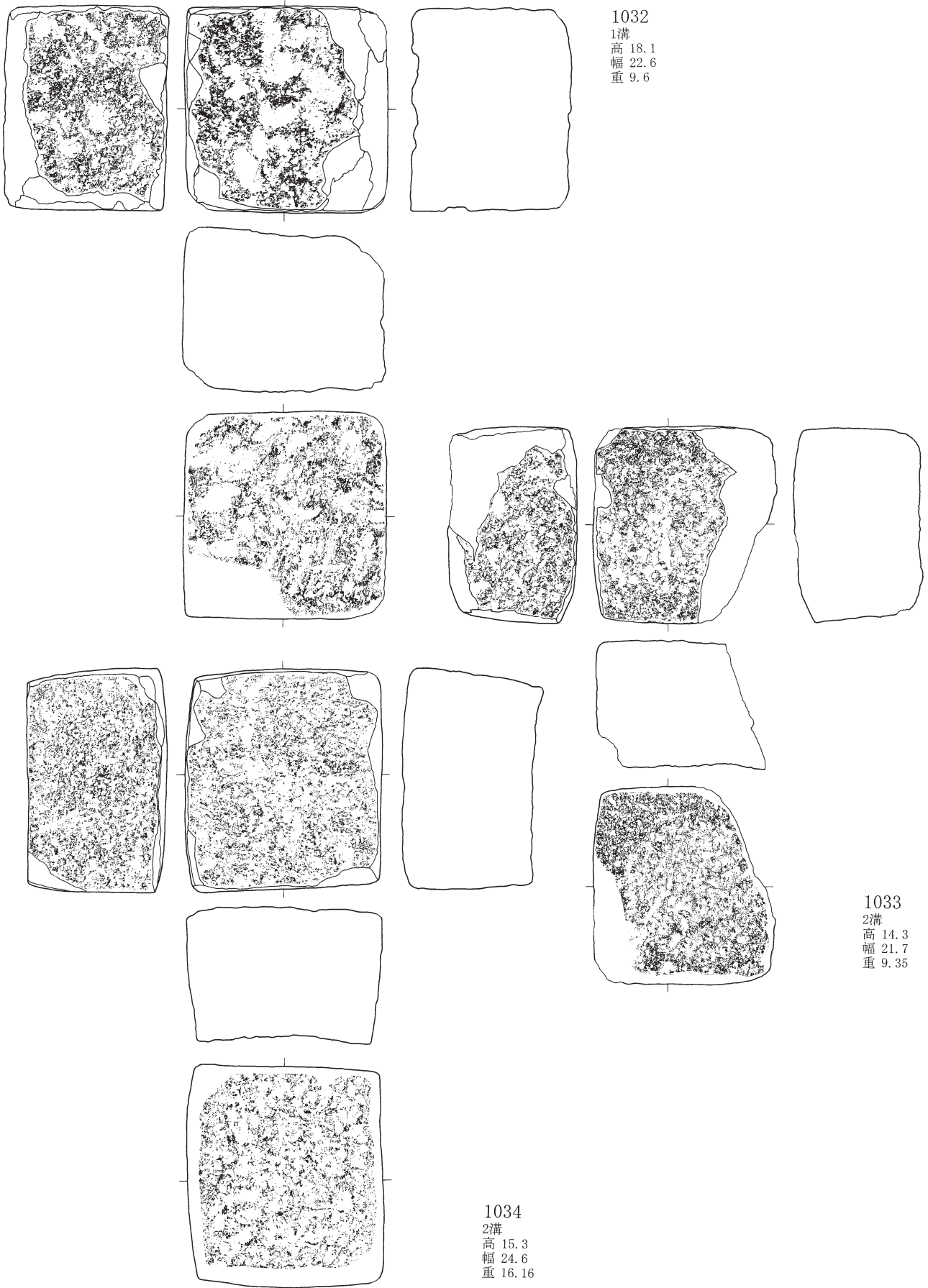
1028
2溝
縦 $11.4+\alpha$
横 8.4
厚 1.8
重 0.282

第238図 石硯実測図 (1:3)

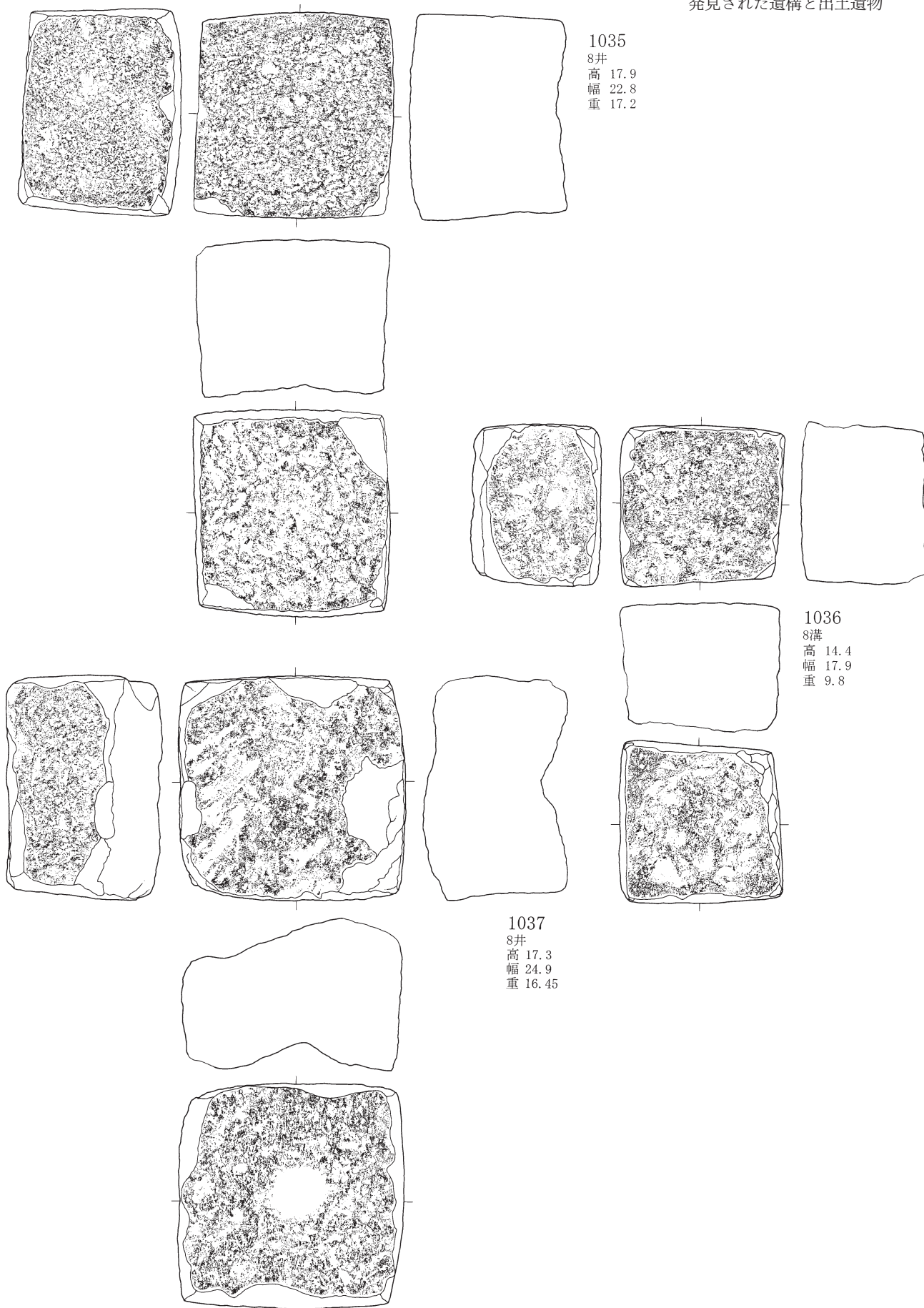


第239図 五輪塔（地輪）実測図 1/8 (1:6)

発見された遺構と出土遺物



第240図 五輪塔（地輪）実測図 2/8 (1:6)

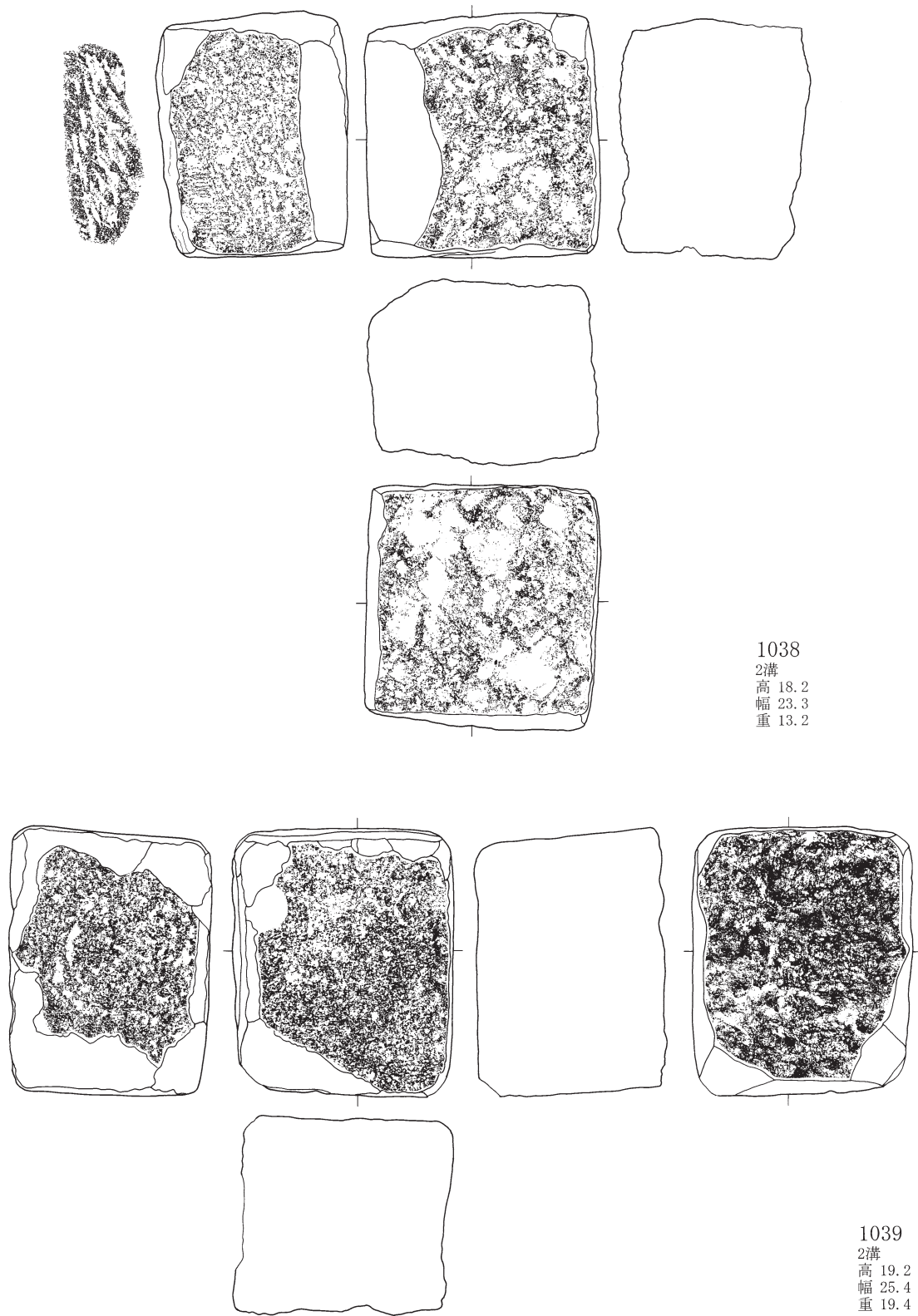


1035
8井
高 17.9
幅 22.8
重 17.2

1036
8溝
高 14.4
幅 17.9
重 9.8

1037
8井
高 17.3
幅 24.9
重 16.45

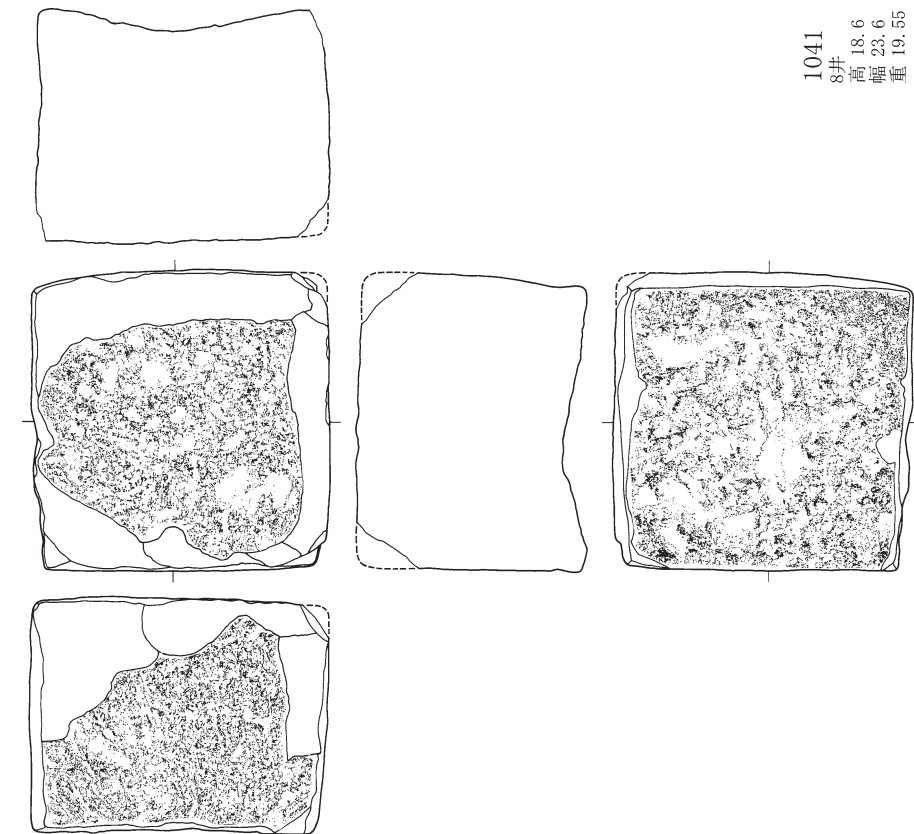
第241図 五輪塔（地輪）実測図 3/8 (1:6)



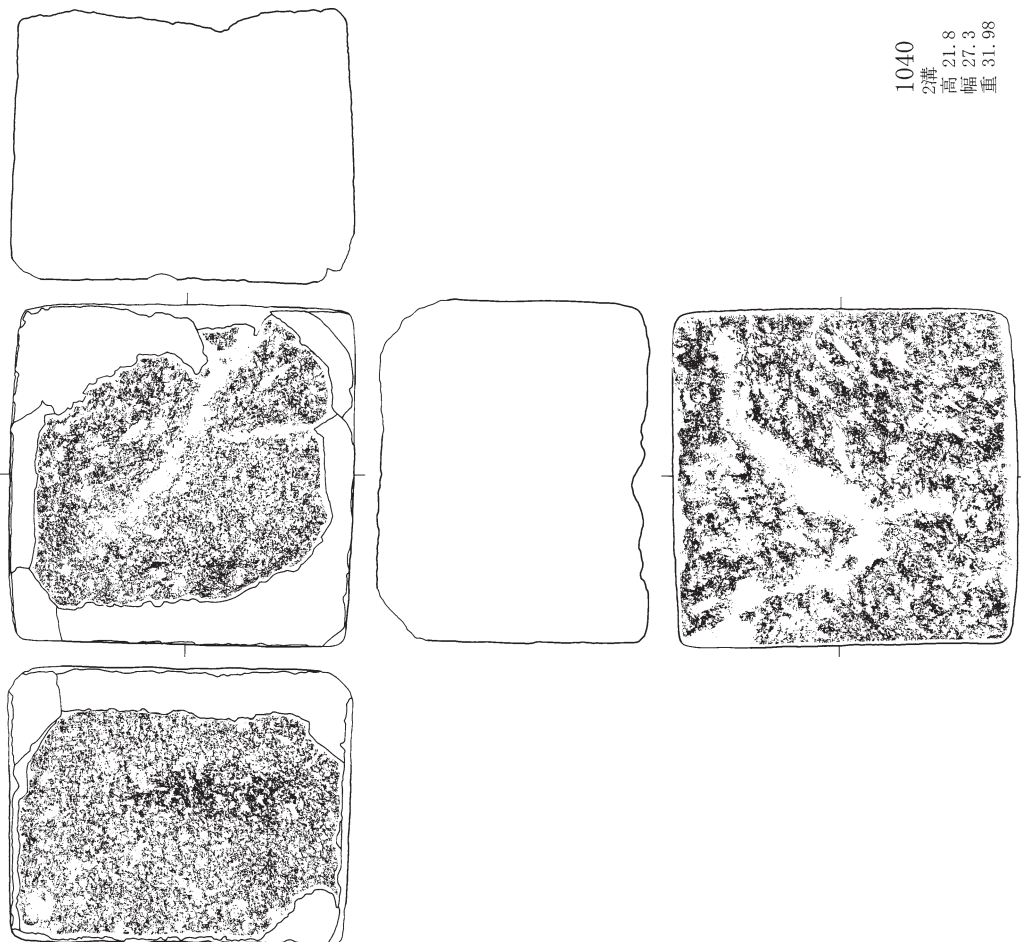
第242図 五輪塔（地輪）実測図 4/8 (1:6)

発見された遺構と出土遺物

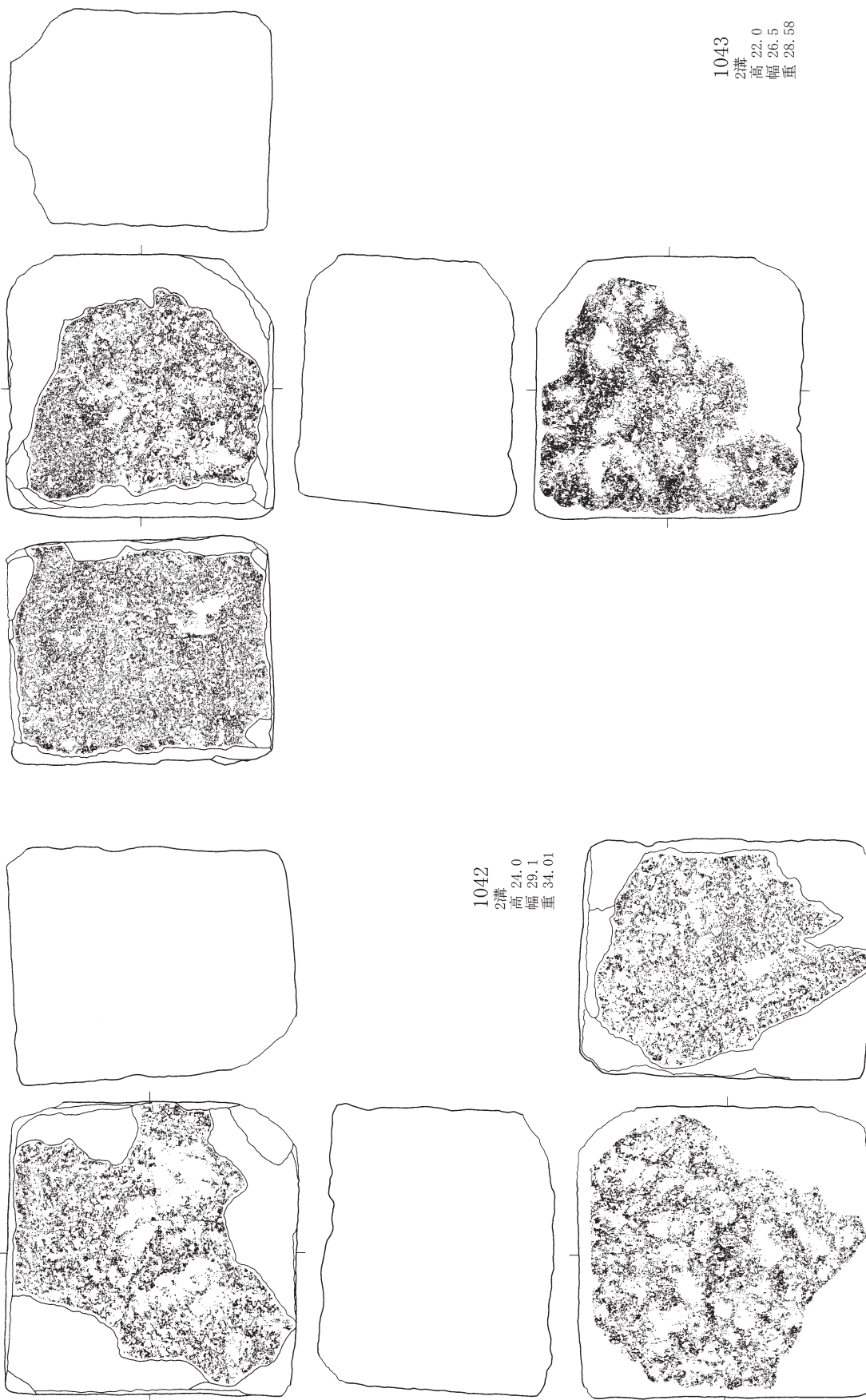
1041
8井
高 18.6
幅 23.6
重 19.55



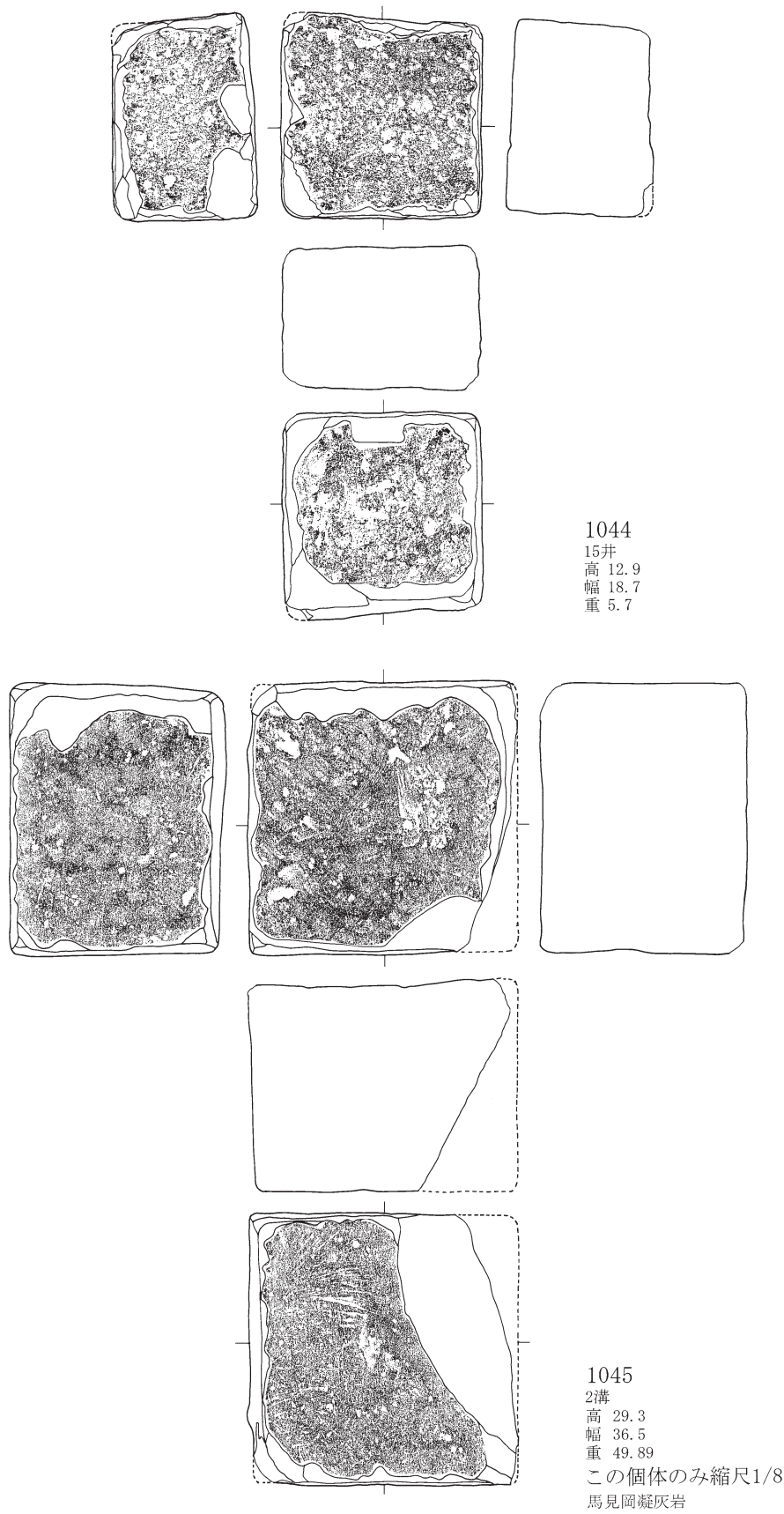
1040
2溝
高 21.8
幅 27.3
重 31.98



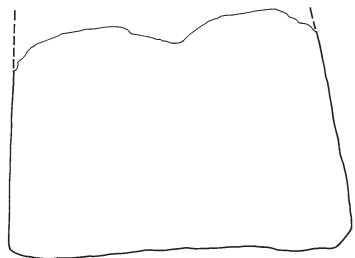
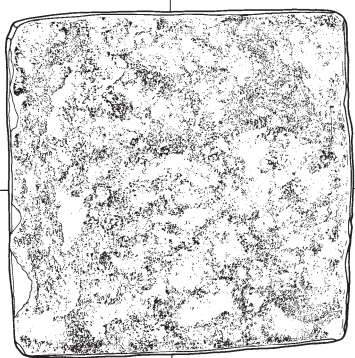
第243図 五輪塔 (地輪) 実測図 5/8 (1:6)



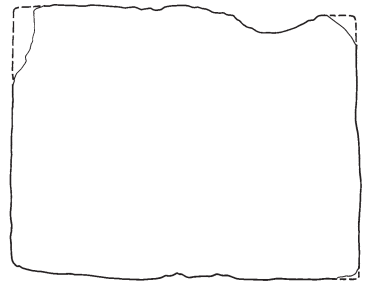
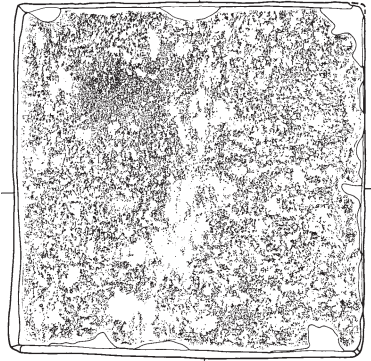
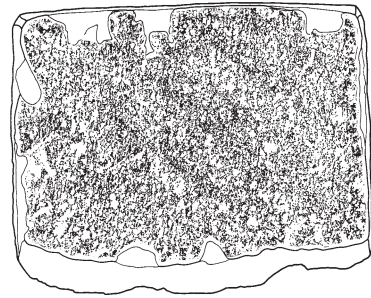
第244図 五輪塔 (地輪) 実測図 6/8 (1:6)



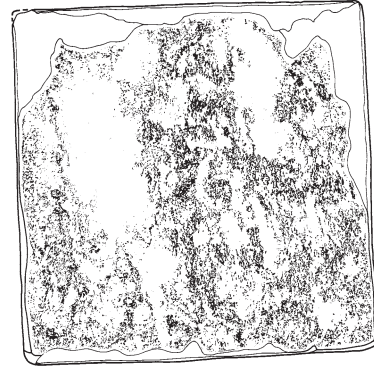
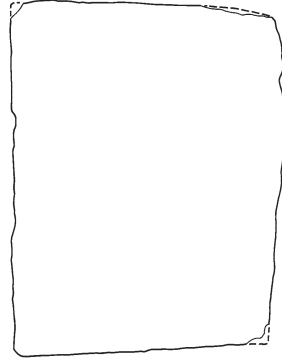
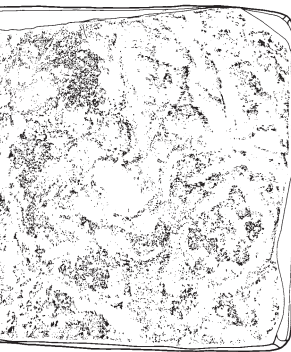
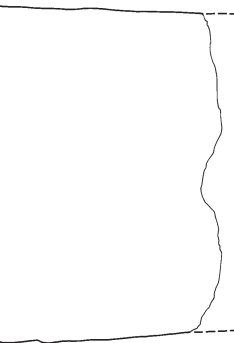
第245図 五輪塔（地輪）実測図 7/8 (1:6)



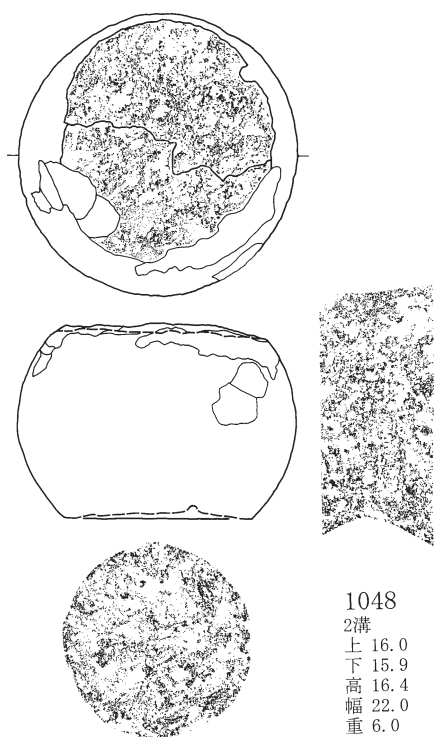
1046
2溝
高 27.3
幅 27.2
重 19.03
馬見岡凝灰岩



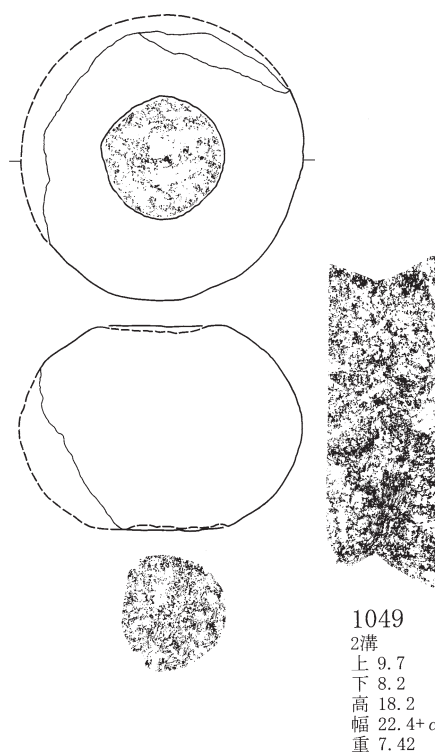
1047
2溝
高 28.4
幅 28.1
重 29.62



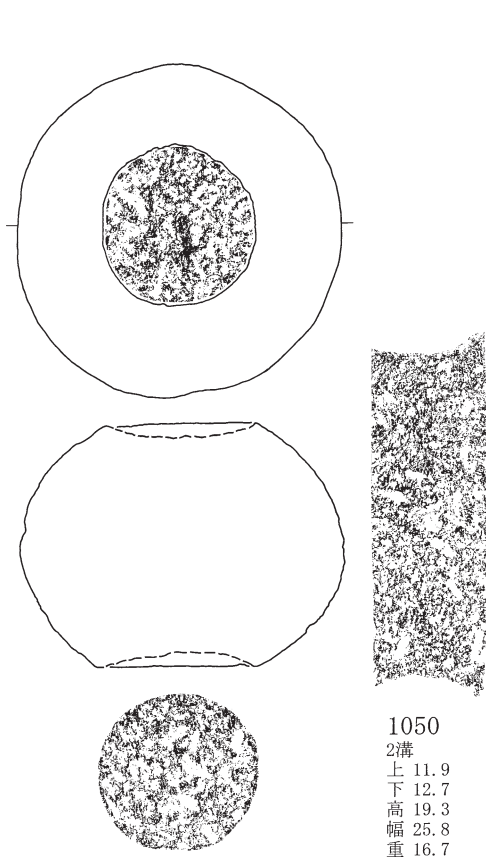
第246図 五輪塔 (地輪) 実測図 8/8 (1:6)



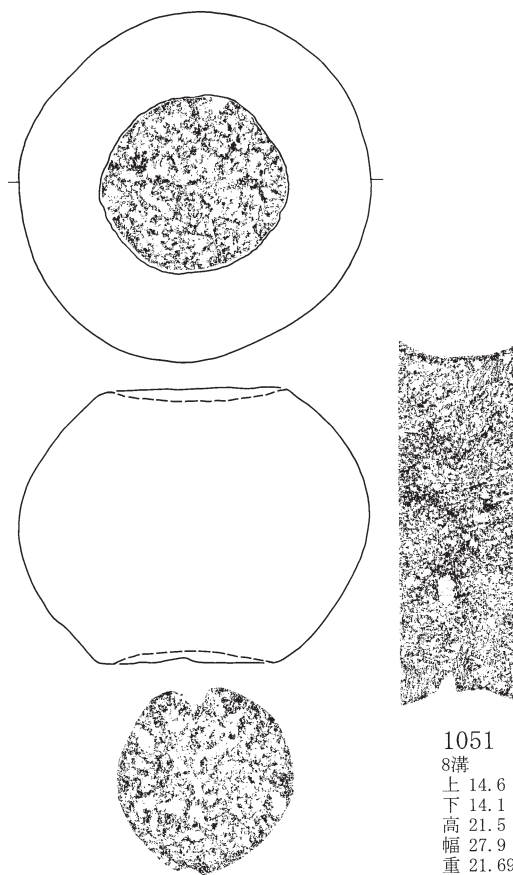
1048
2溝
上 16.0
下 15.9
高 16.4
幅 22.0
重 6.0



1049
2溝
上 9.7
下 8.2
高 18.2
幅 22.4+α
重 7.42

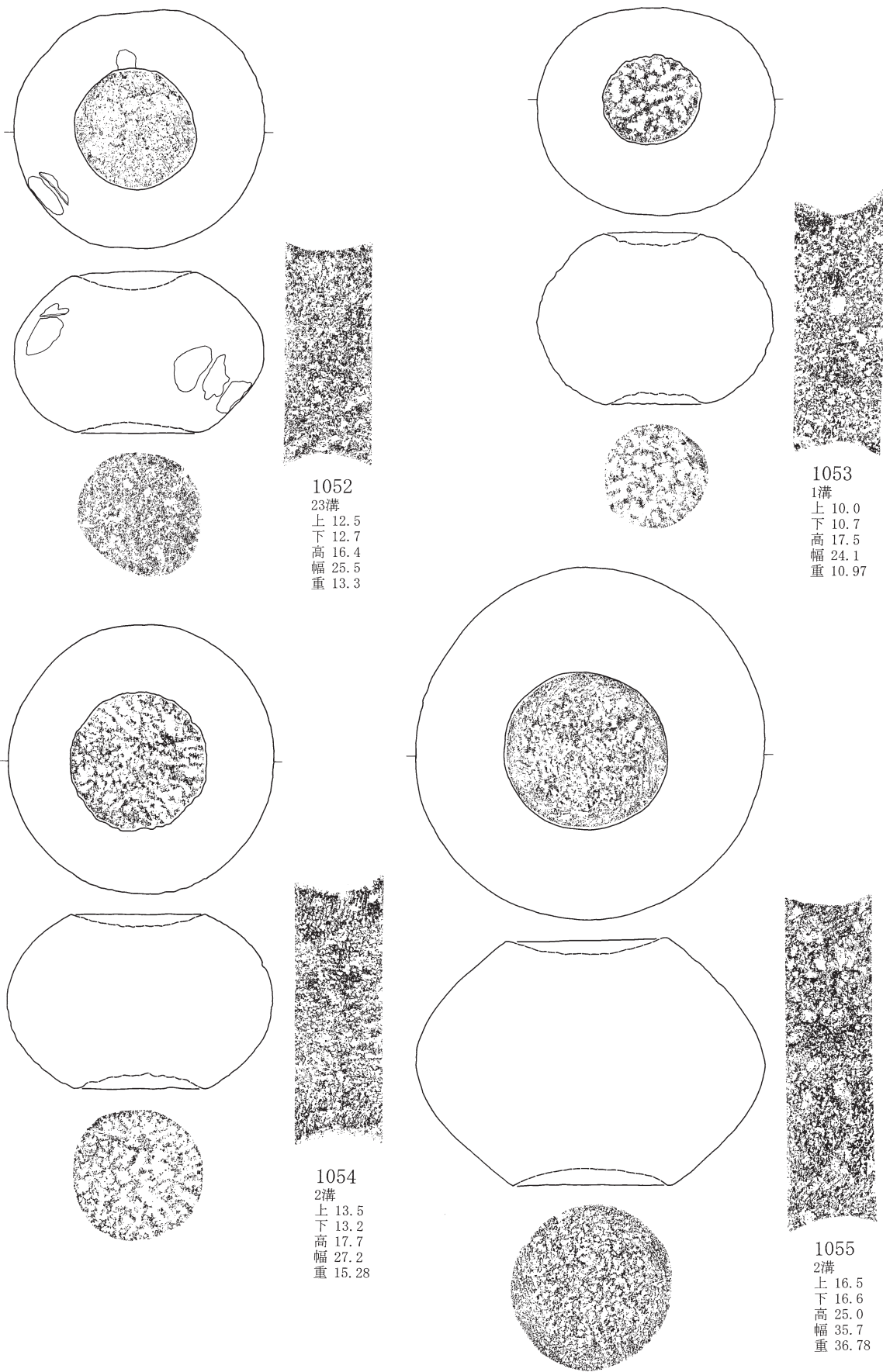


1050
2溝
上 11.9
下 12.7
高 19.3
幅 25.8
重 16.7

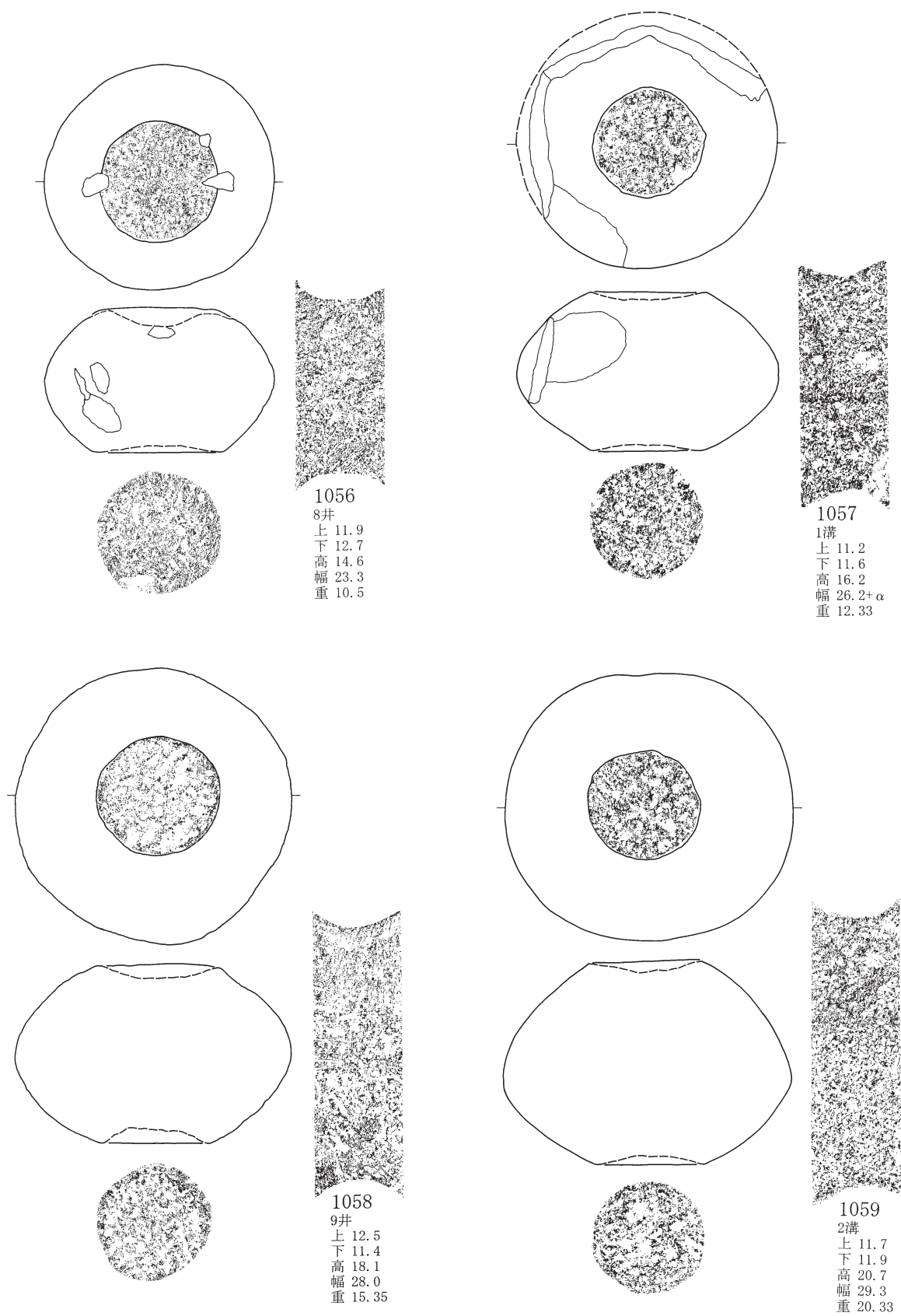


1051
8溝
上 14.6
下 14.1
高 21.5
幅 27.9
重 21.69

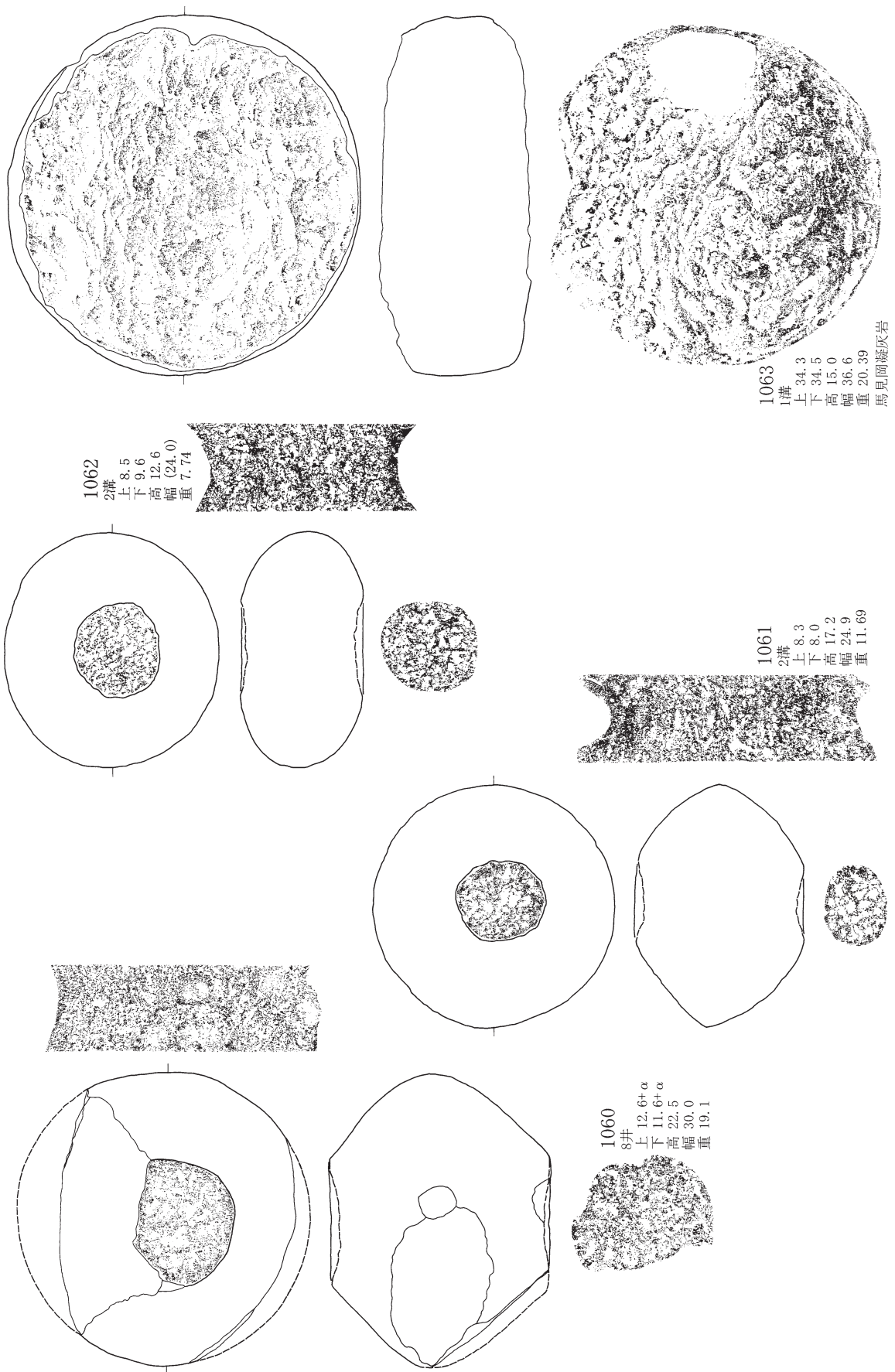
第247図 五輪塔（水輪）実測図 1/4 (1:6)



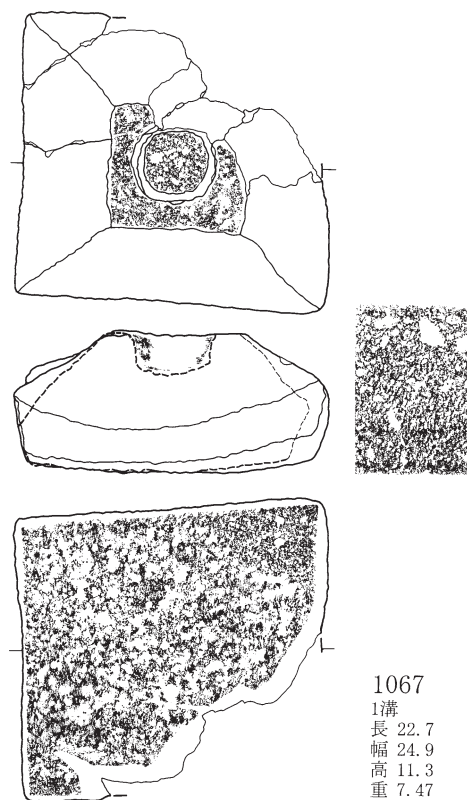
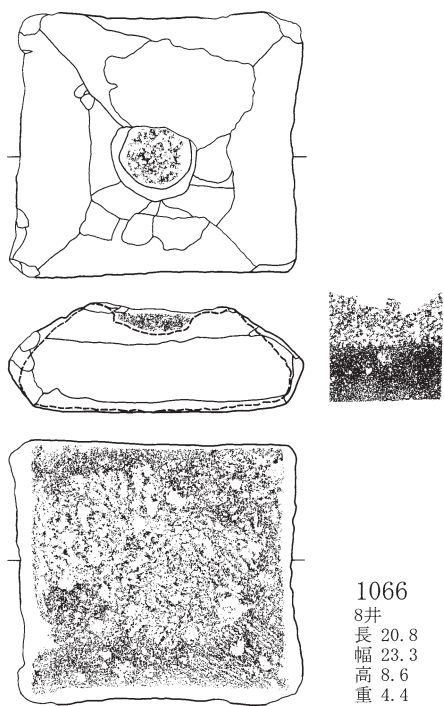
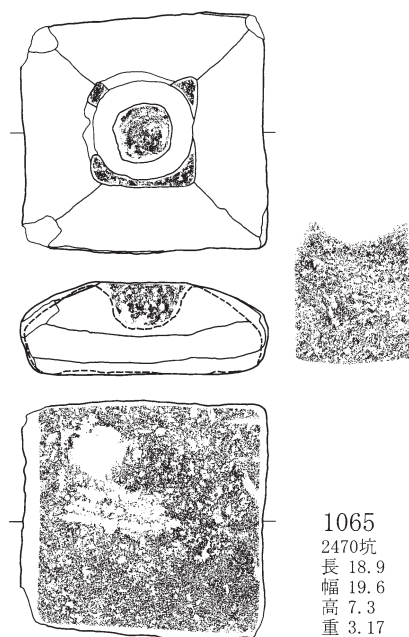
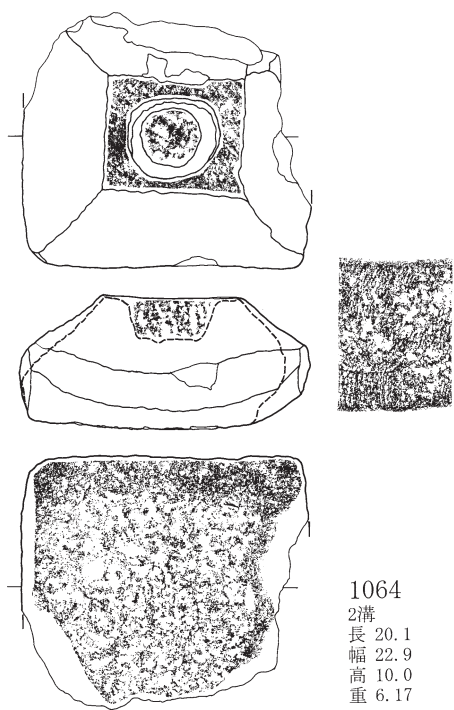
第248図 五輪塔（水輪）実測図 2/4 (1:6)



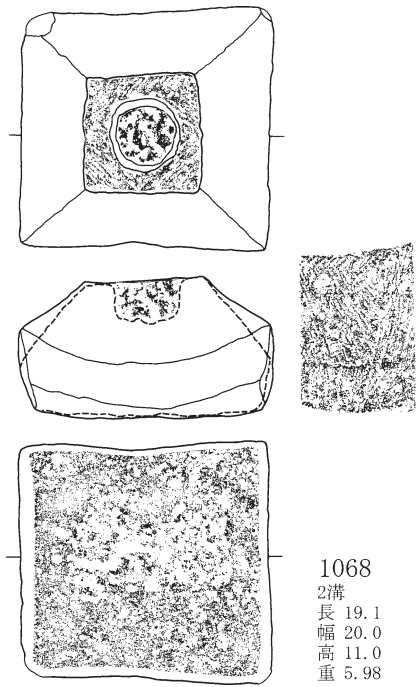
第249図 五輪塔（水輪）実測図 3/4 (1:6)



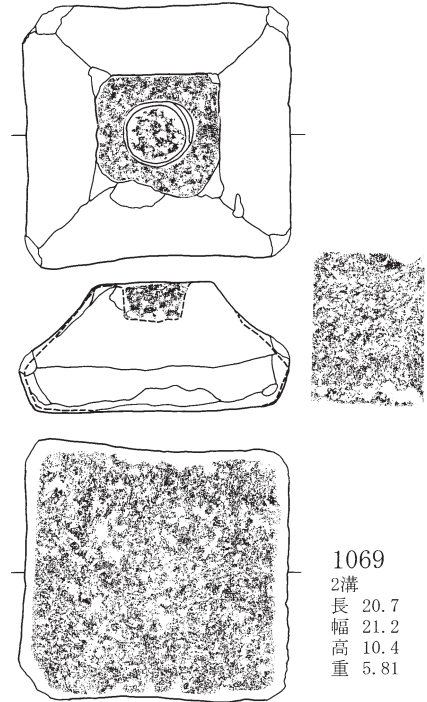
第250図 五輪塔（水輪）実測図 4/4 (1:6)



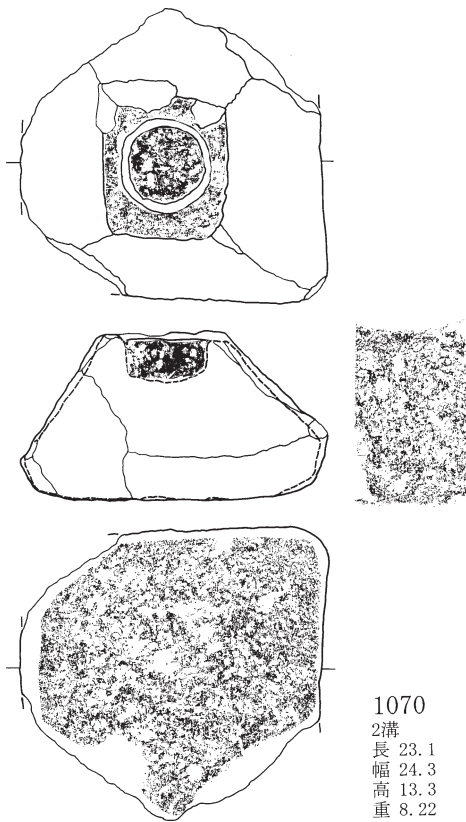
第251図 五輪塔（火輪）実測図 1/6 (1:6)



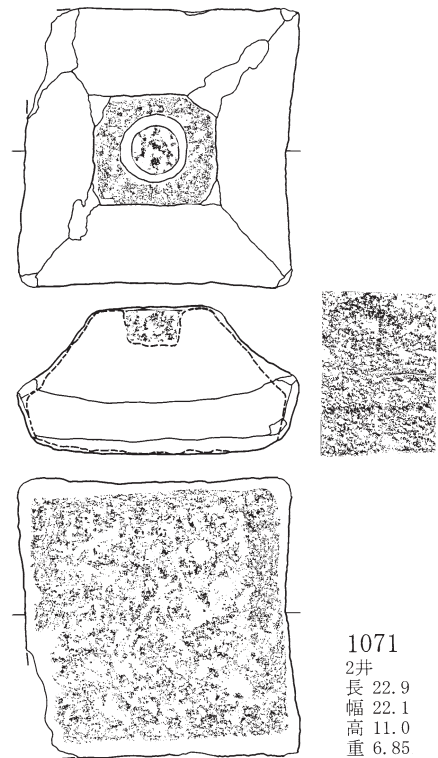
1068
2溝
長 19.1
幅 20.0
高 11.0
重 5.98



1069
2溝
長 20.7
幅 21.2
高 10.4
重 5.81

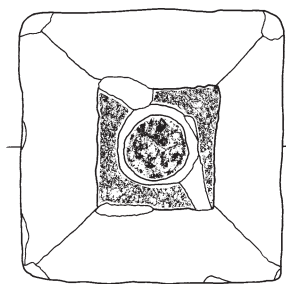


1070
2溝
長 23.1
幅 24.3
高 13.3
重 8.22

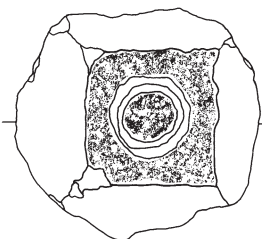
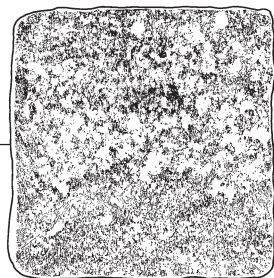
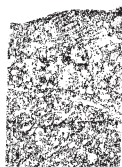
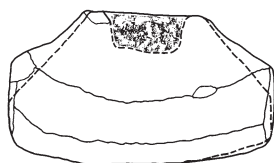


1071
2井
長 22.9
幅 22.1
高 11.0
重 6.85

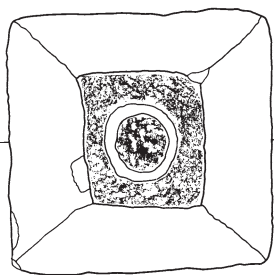
第252図 五輪塔（火輪）実測図 2/6 (1:6)



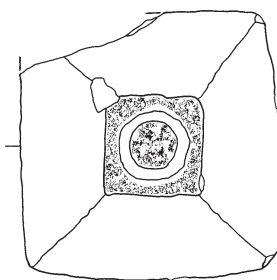
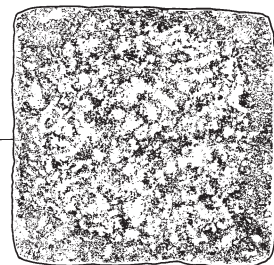
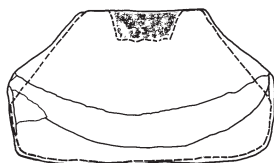
1072
1溝
長 21.5
幅 21.0
高 12.0
重 7.61



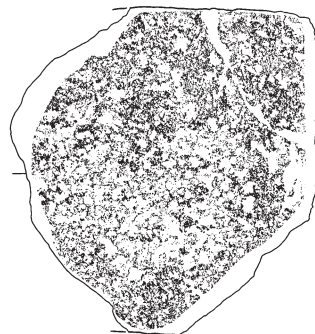
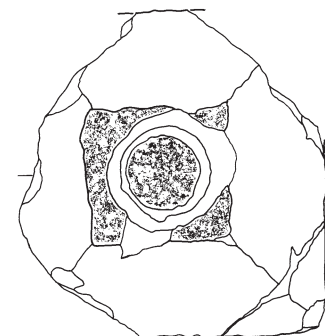
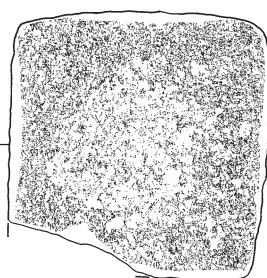
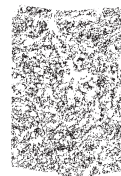
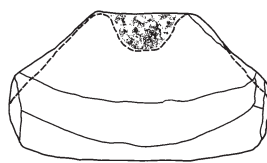
1073
1溝
長 18.3
幅 19.3
高 11.5
重 4.08



1075
1溝
長 20.6
幅 21.1
高 12.2
重 8.15

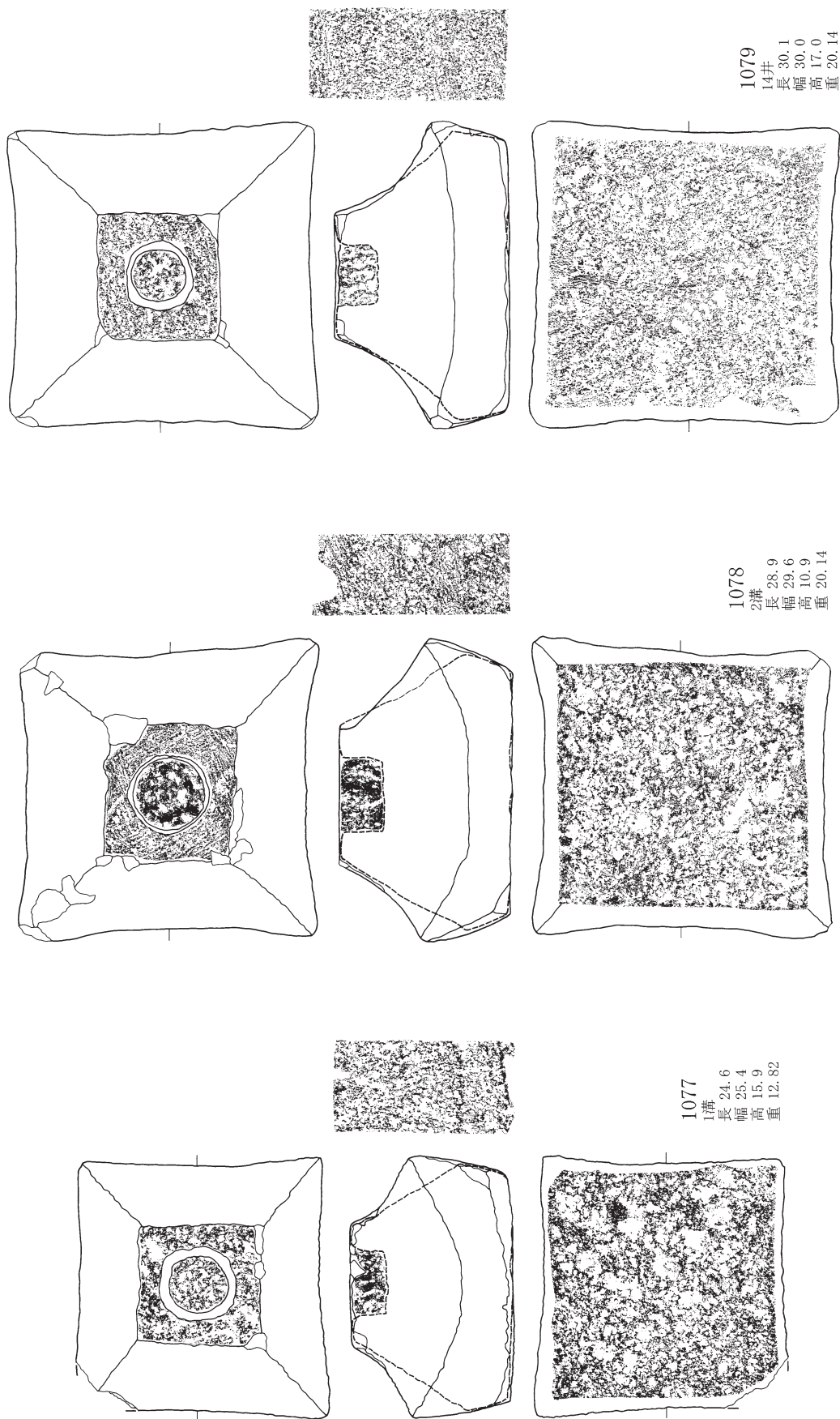


1074
2溝
長 20.9
幅 20.5
高 13.5
重 6.59



1076
8溝
長 25.7
幅 24.2
高 13.6
重 10.19

第253図 五輪塔（火輪）実測図 3/6・（風空輪）1/3（1：6）



1077
1層 長 24.6
幅 25.4
高 15.9
重 12.82

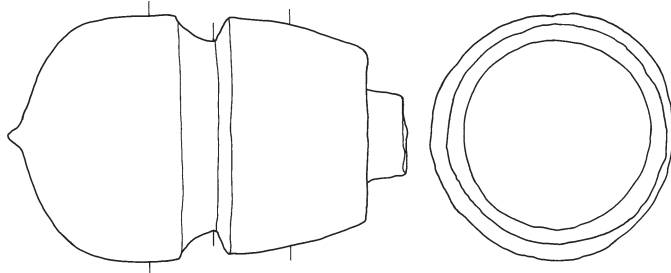
1078
2層 長 28.9
幅 29.6
高 10.9
重 20.14

1079
14層 長 30.1
幅 30.0
高 17.0
重 20.14

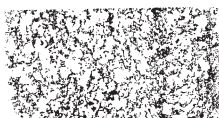
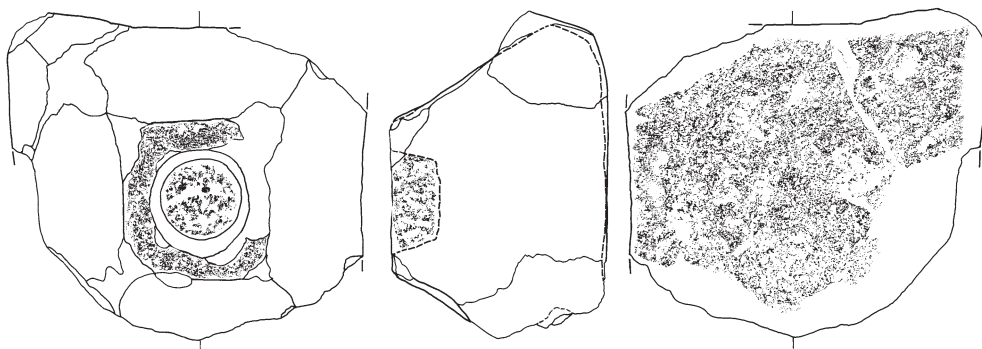
第254図 五輪塔（火輪）実測図 4/6（1：6）



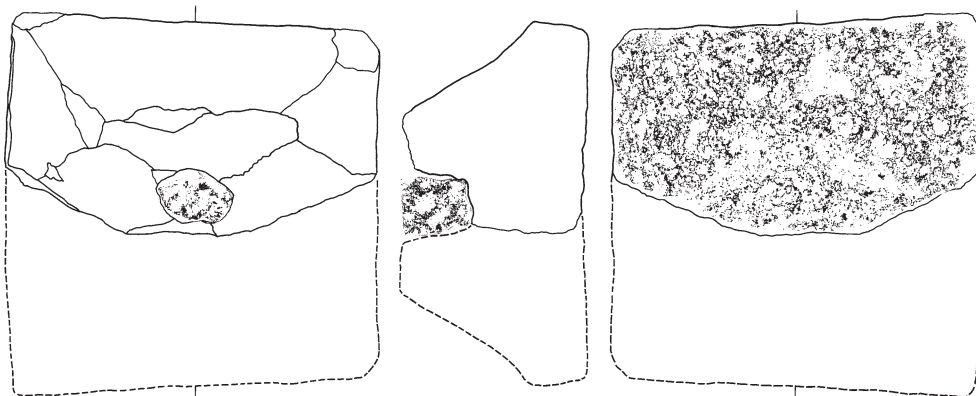
1082
2井
高 28.2
通 31.3
幅 19.5
基 7.3
重 14.41



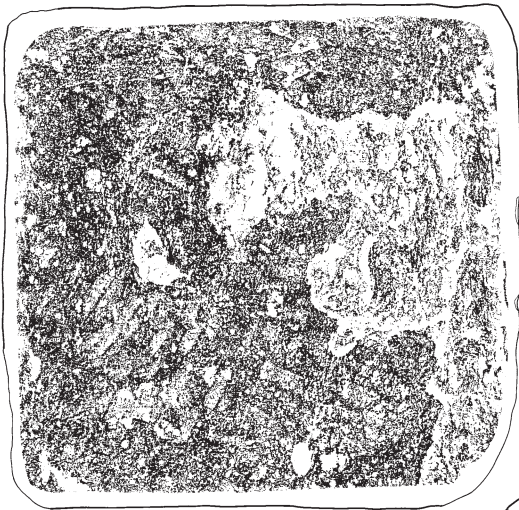
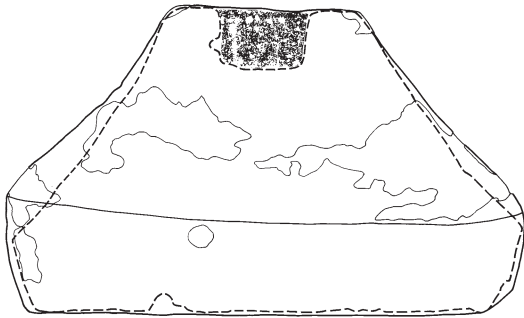
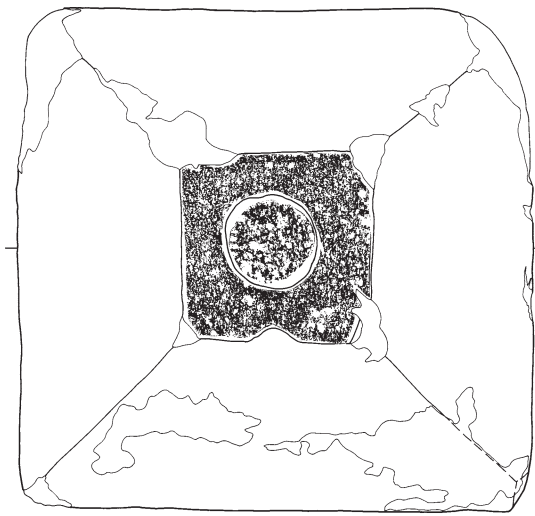
1081
9井
長 28.2
幅 25.7
高 17.1
重 14.3



1080
8井
長 29.3
幅 30.2
高 14.7
重 7.96

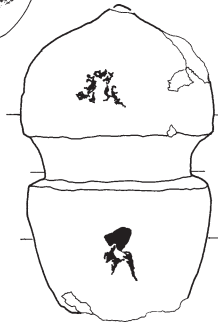
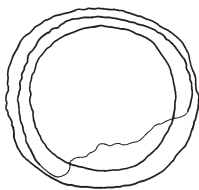


第255図 五輪塔(火輪)実測図 5/6 (1:6)

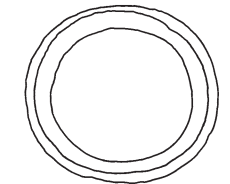
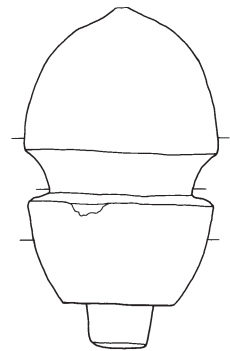
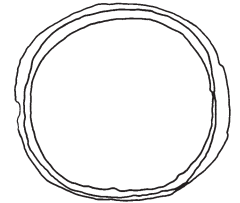
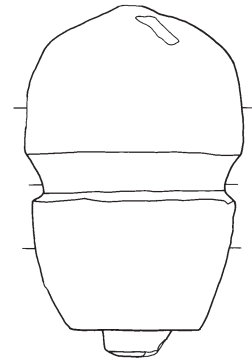
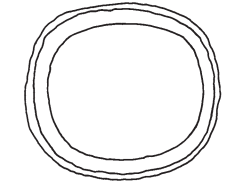
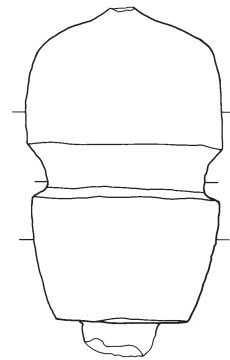


第256図 五輪塔（火輪）実測図 6/6 (1:6)

1087
1溝
高 24.3+ α
通 —
幅 15.3
基 —
重 6.01+ α



第257図 五輪塔（風空輪）実測図 2/3 (1:6)



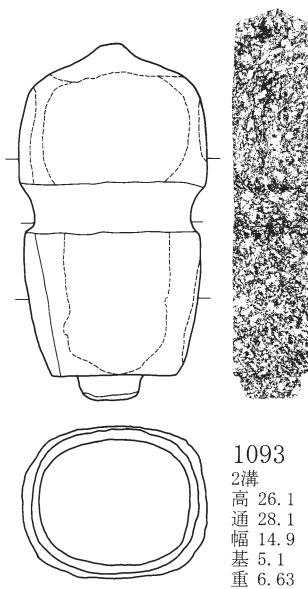
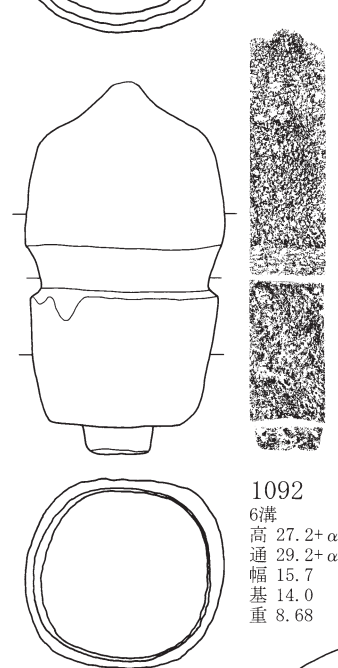
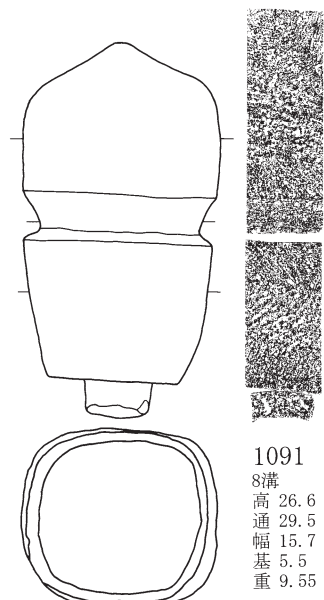
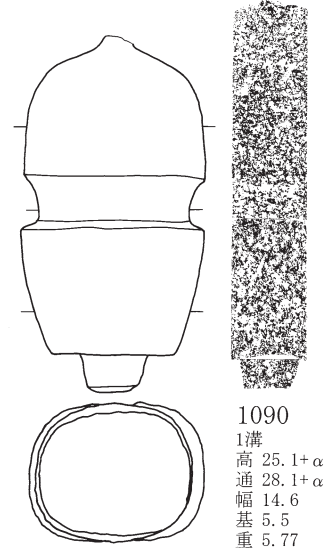
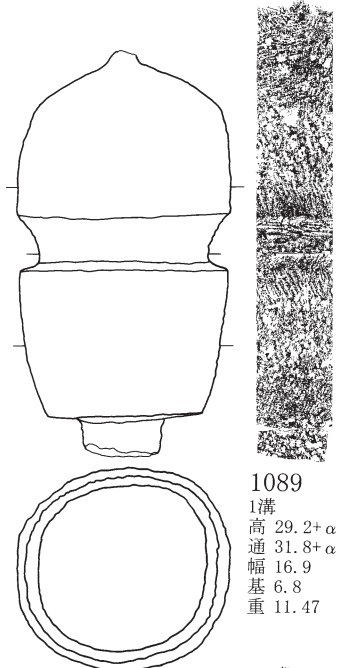
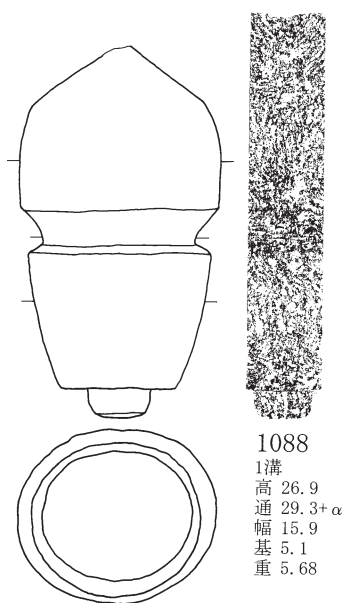
1084
1溝
高 24.6
通 27.4
幅 15.6
基 6.7
重 7.44



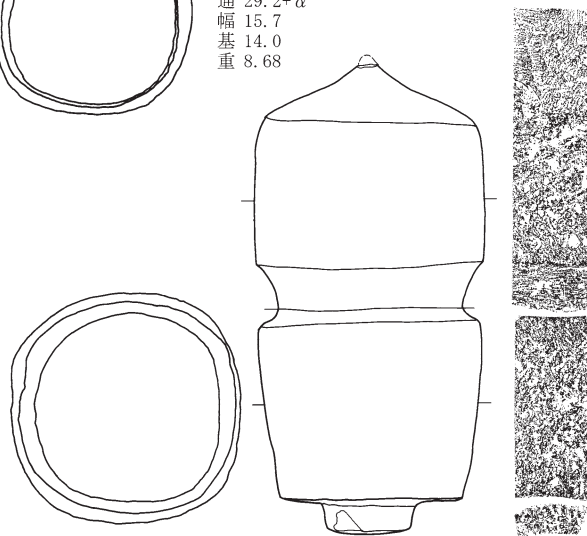
1085
2溝
高 25.5+ α
通 27.6+ α
幅 17.0
基 15.3
重 9.68



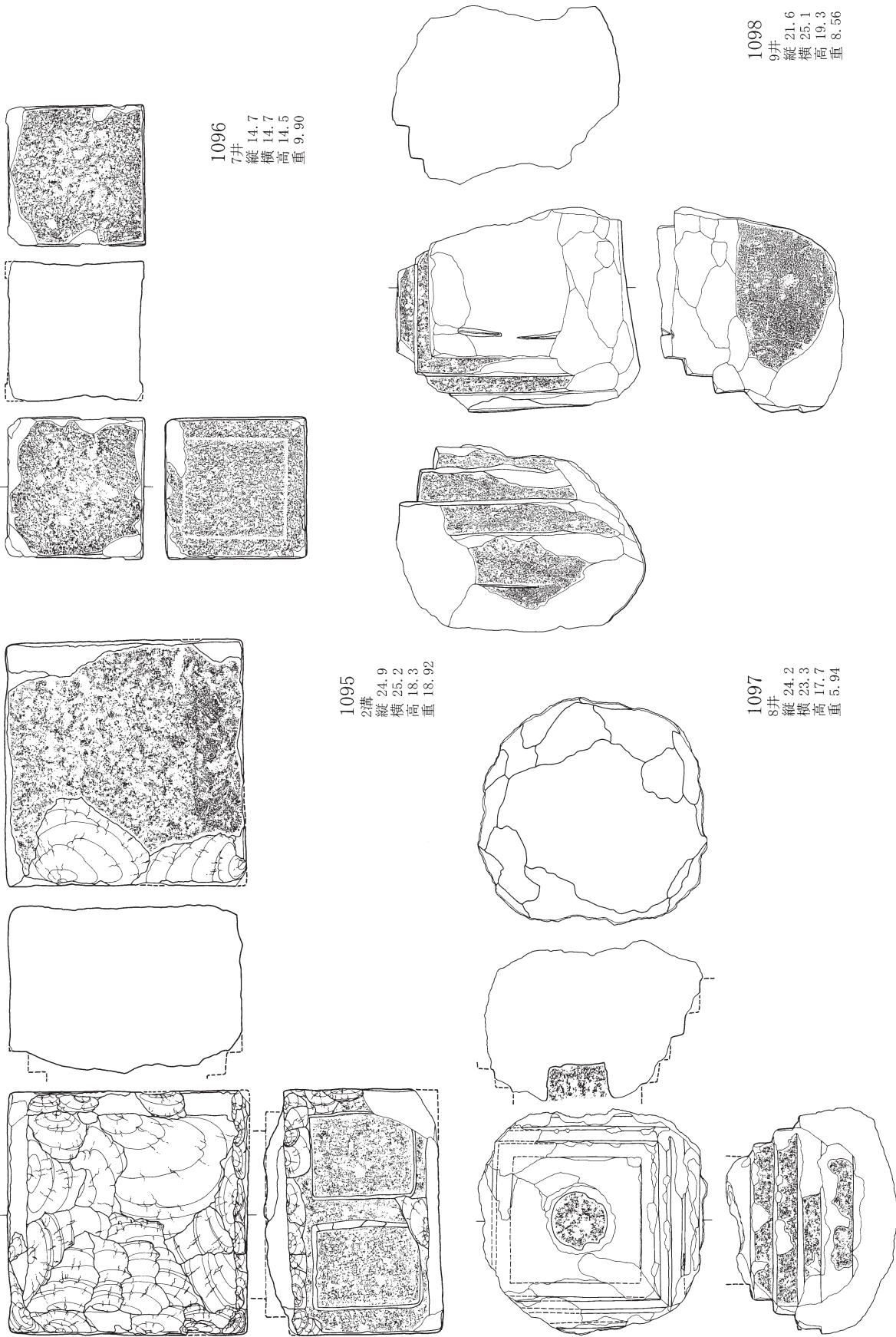
1086
6溝
高 23.2+ α
通 26.7+ α
幅 15.3
基 13.8
重 6.84



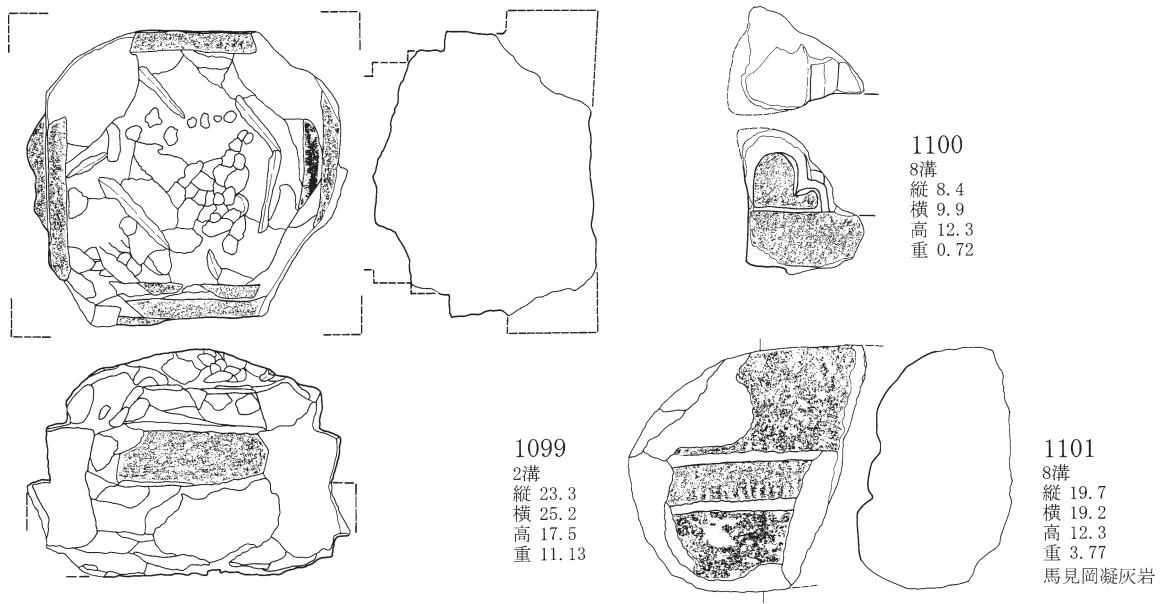
1094
2溝
高 34.0
通 36.9+ α
幅 18.3
基 7.5
重 17.65



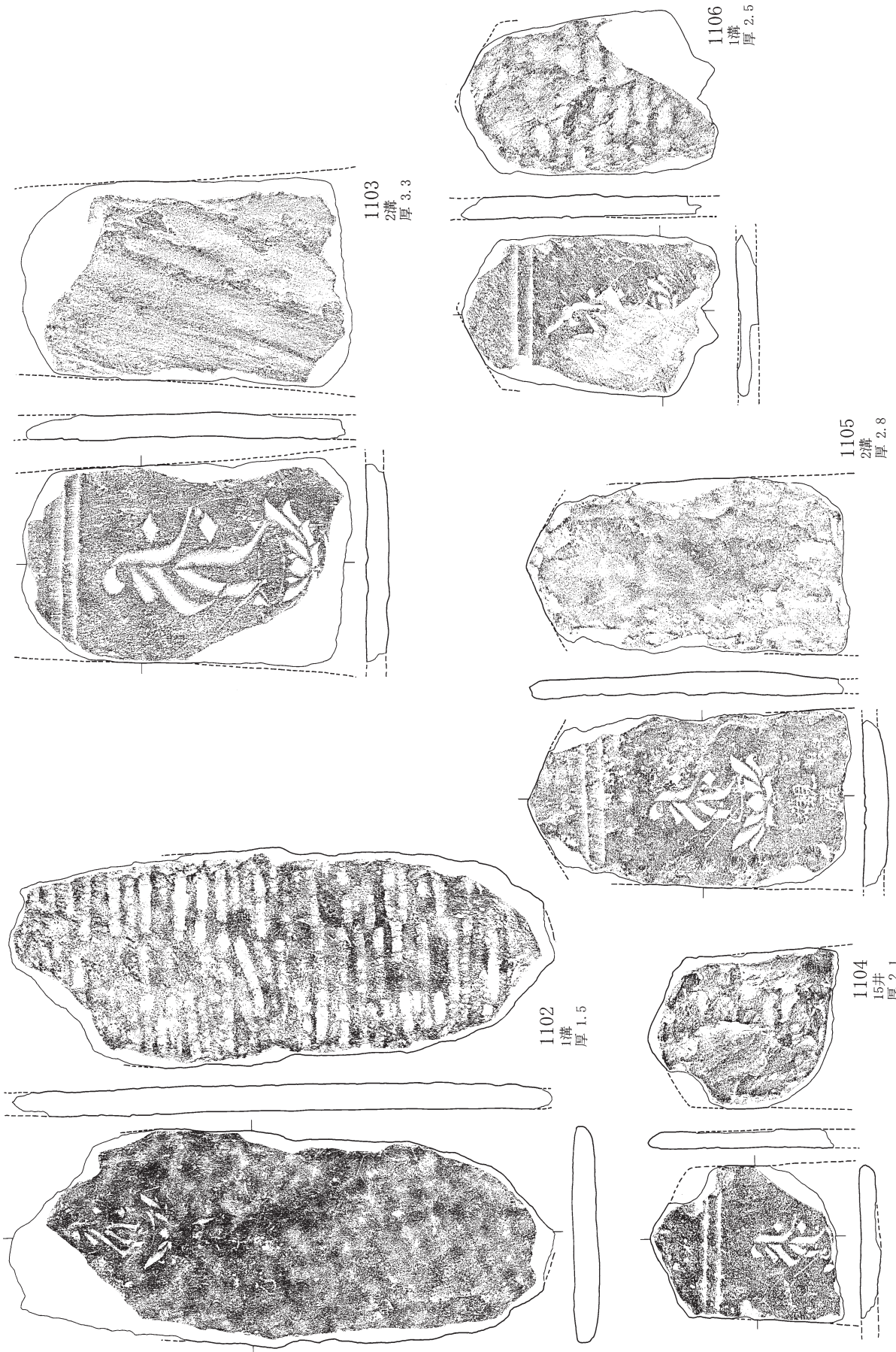
第258図 五輪塔（風空輪）実測図 3/3 (1:6)



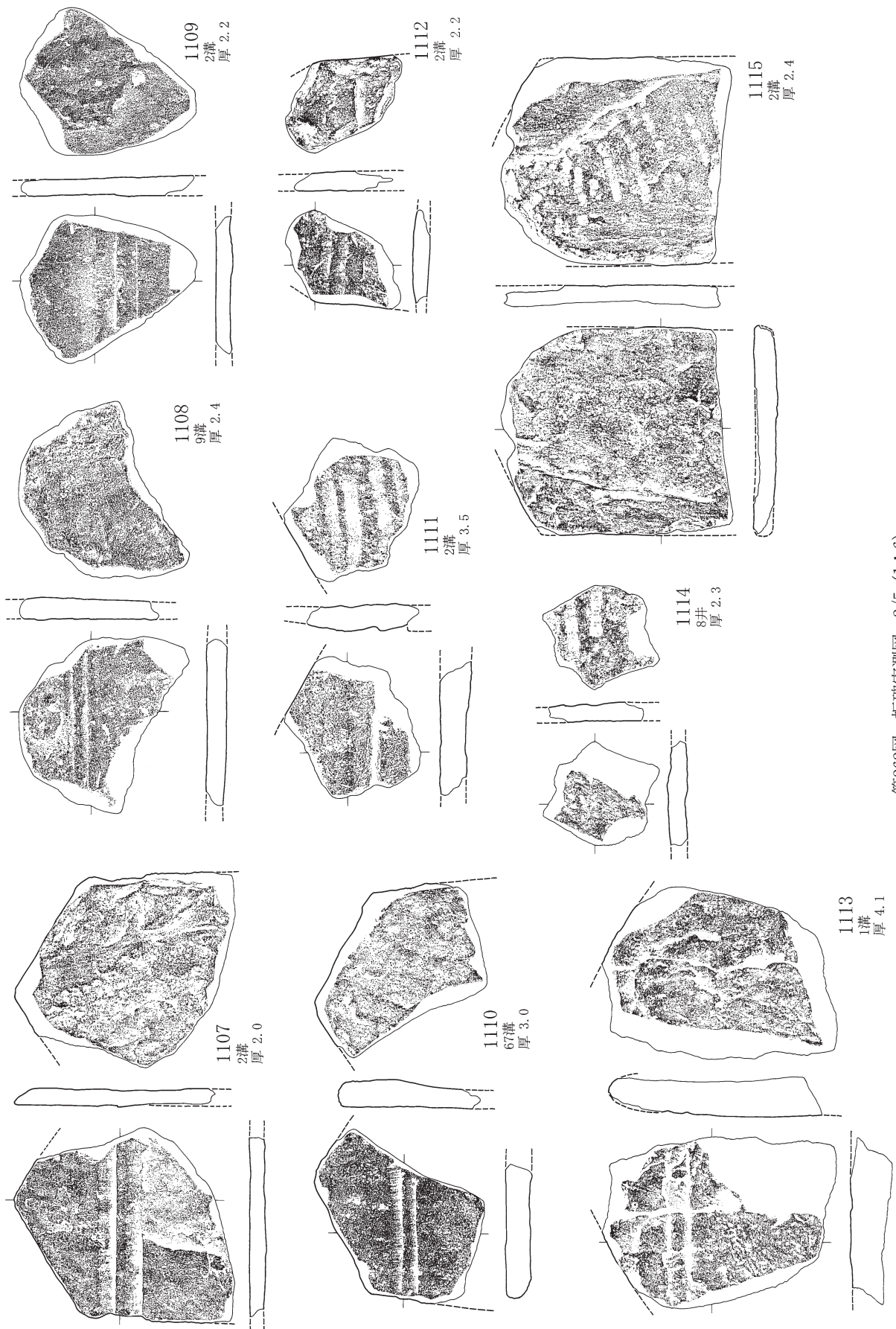
第259図 寶篋印塔実測図 1/2 (1:6)



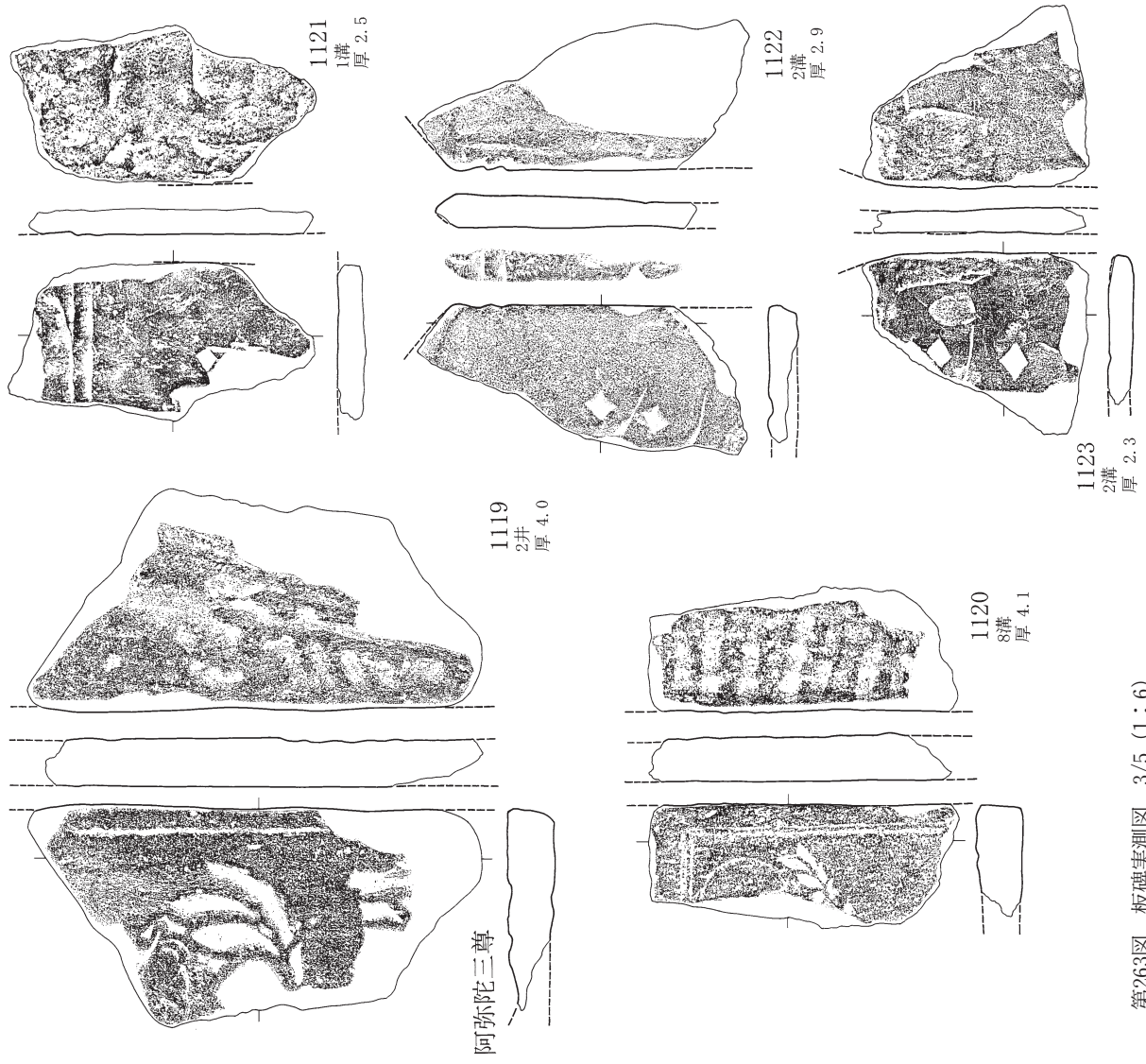
第260図 寶篋印塔実測図 2/2 (1:6)



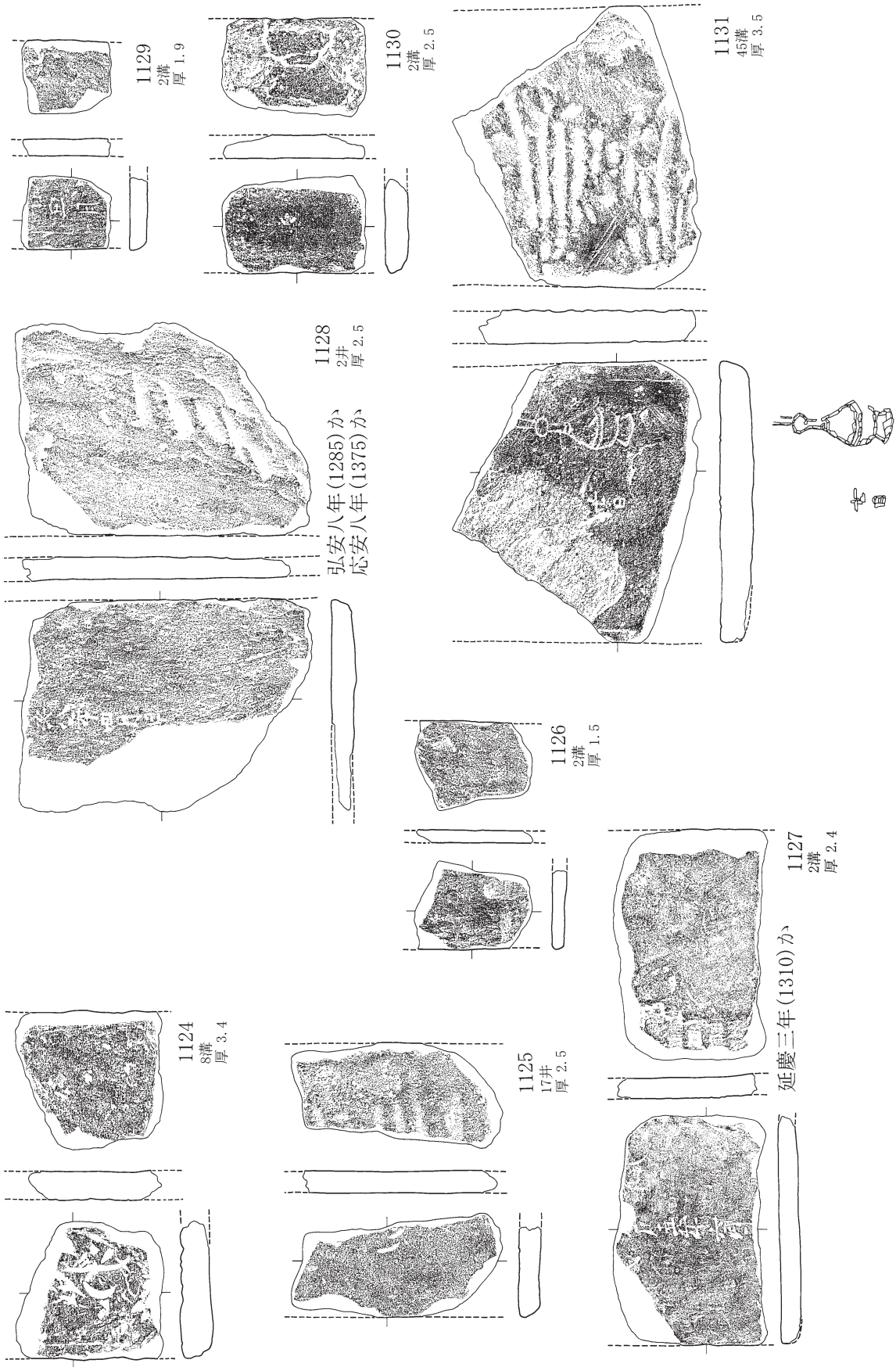
第261図 板碑実測図 1/5 (1:6)



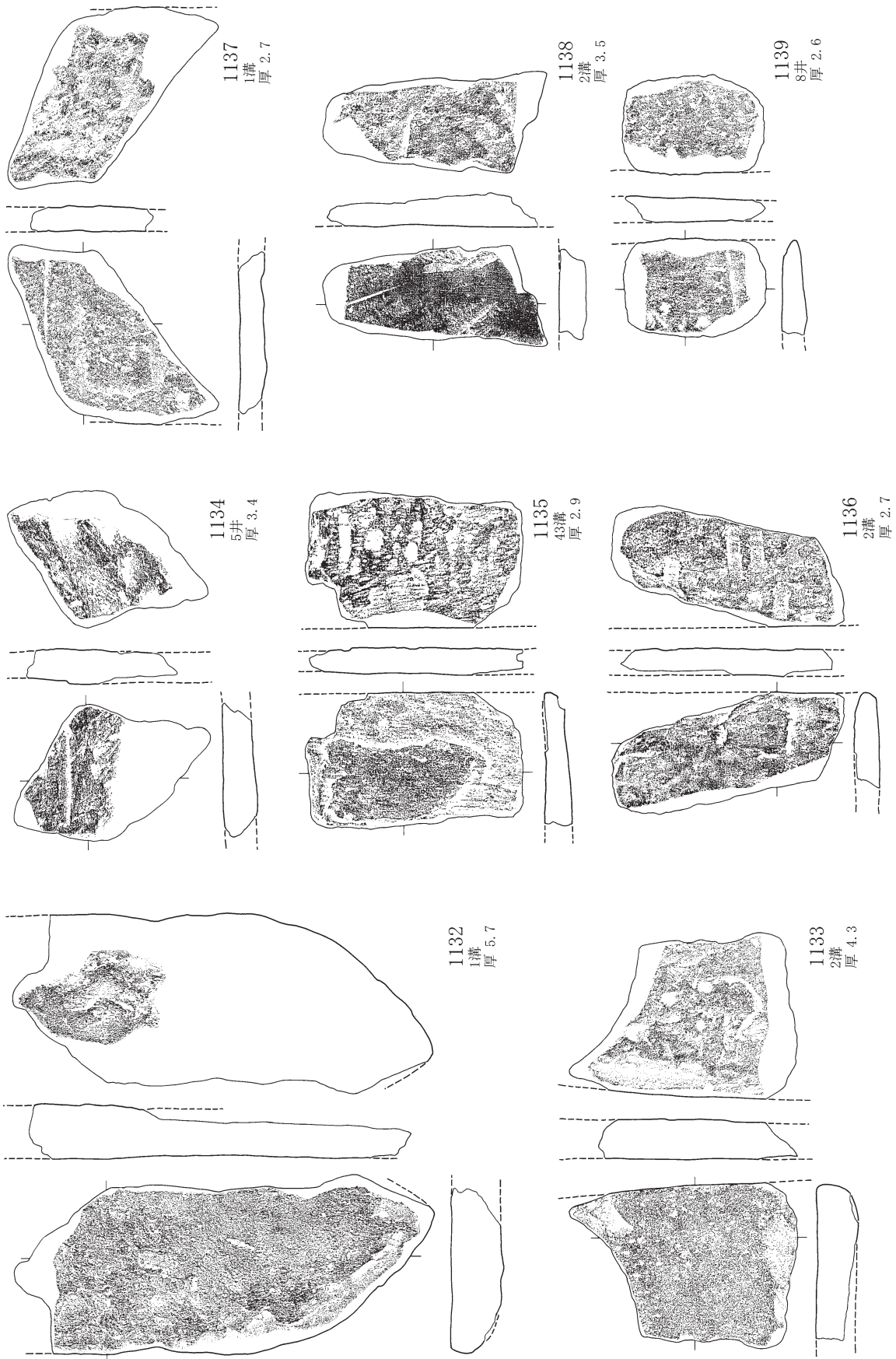
第262図 板碑実測図 2/5 (1:6)



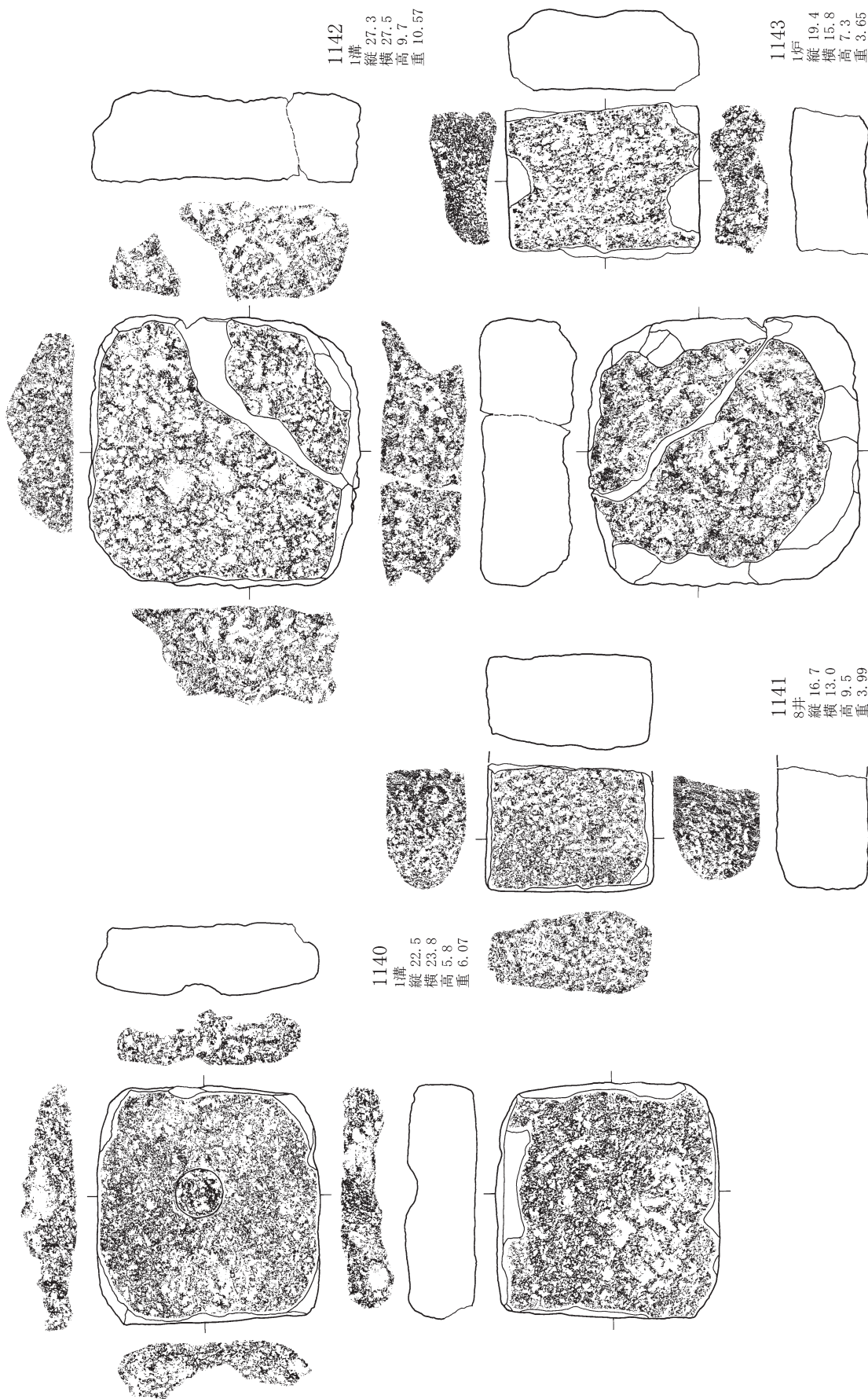
第263図 板碑実測図 3/5 (1:6)



第264図 板碑実測図 4/5 (1:6)



第265図 板碑実測図 5/5 (1:6)



1142
1片
縦 27.3
横 27.5
高 9.7
重 10.57

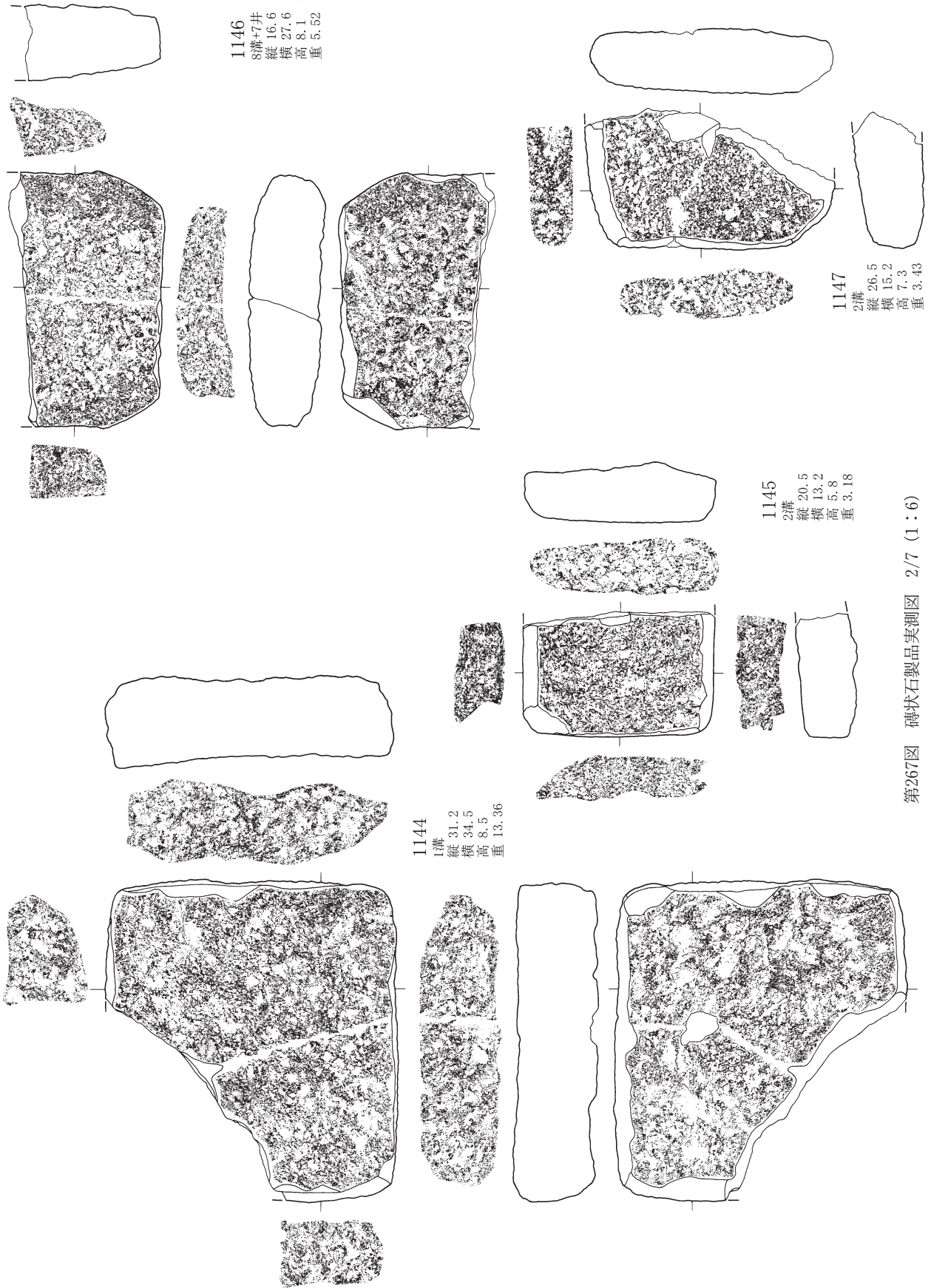
1143
1片
縦 19.4
横 15.8
高 7.3
重 3.65

1140
1片
縦 22.5
横 23.8
高 5.8
重 6.07

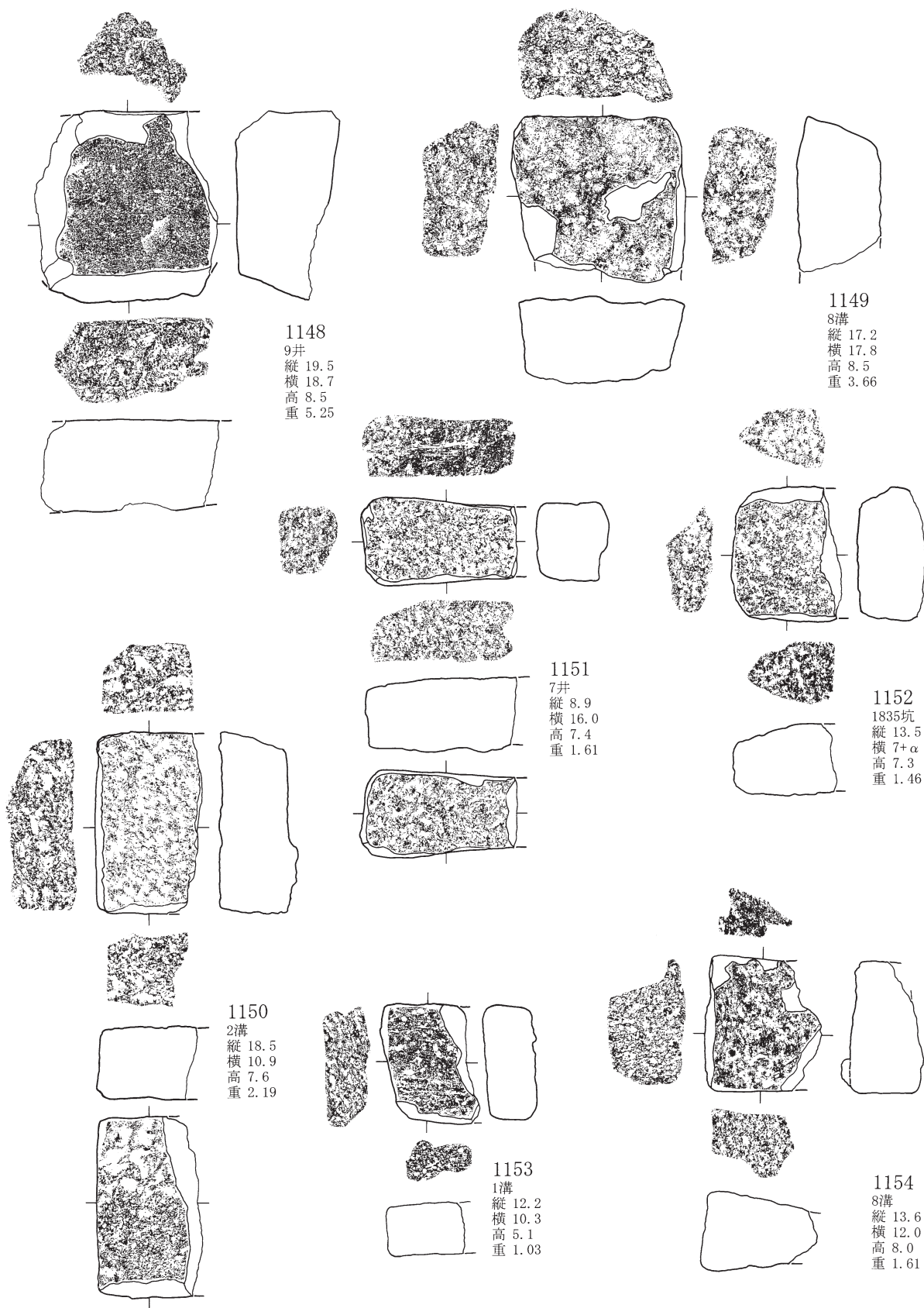
1141
8片
縦 16.7
横 13.0
高 9.5
重 3.99

第266図 碑状石製品実測図 1/7 (1:6)

発見された遺構と出土遺物



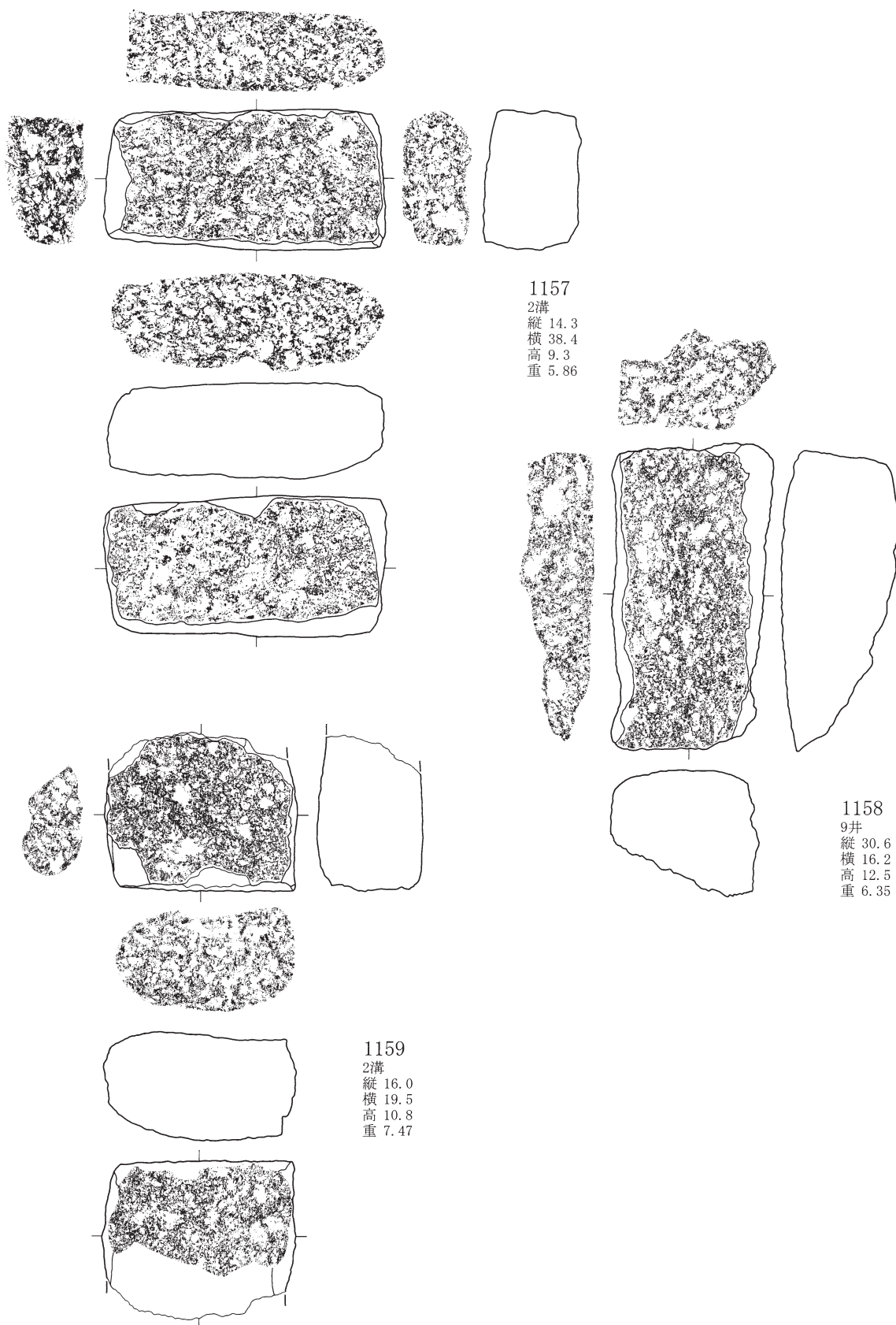
第267図 碑状石製品実測図 2/7 (1:6)



第268図 磚状石製品実測図 3/7 (1:6)

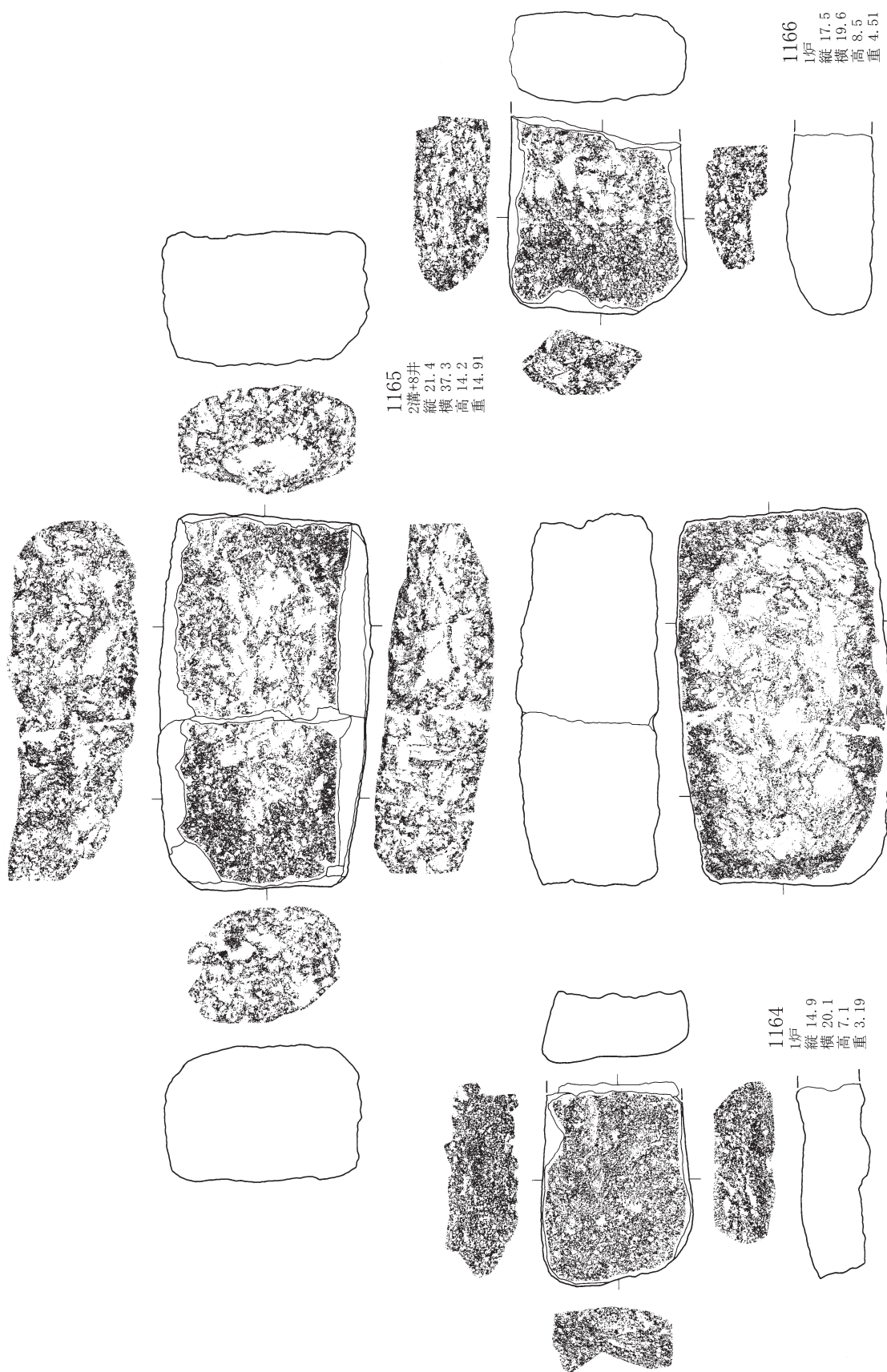


第269図 碑状石製品実測図 4/7 (1:6)



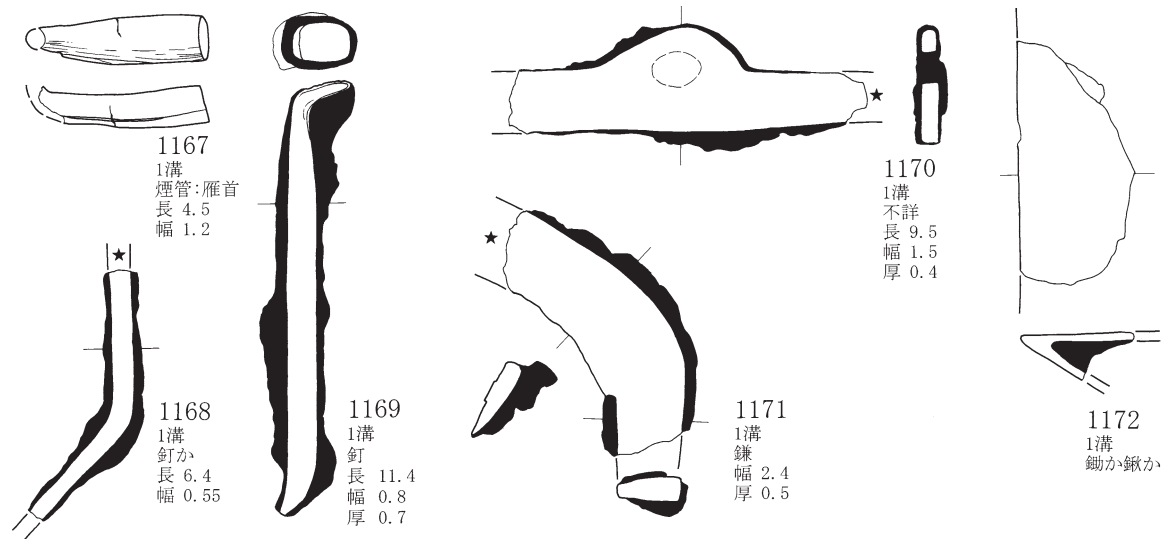
第270図 磚状石製品実測図 5/7 (1:6)



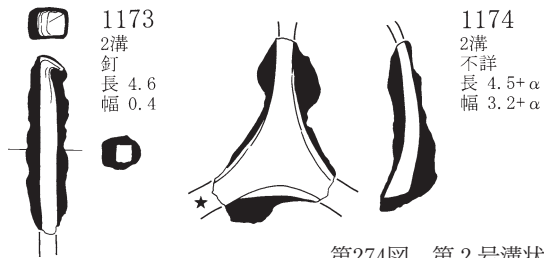


第272図 碑状石製品実測図 7/7 (1:6)

発見された遺構と出土遺物

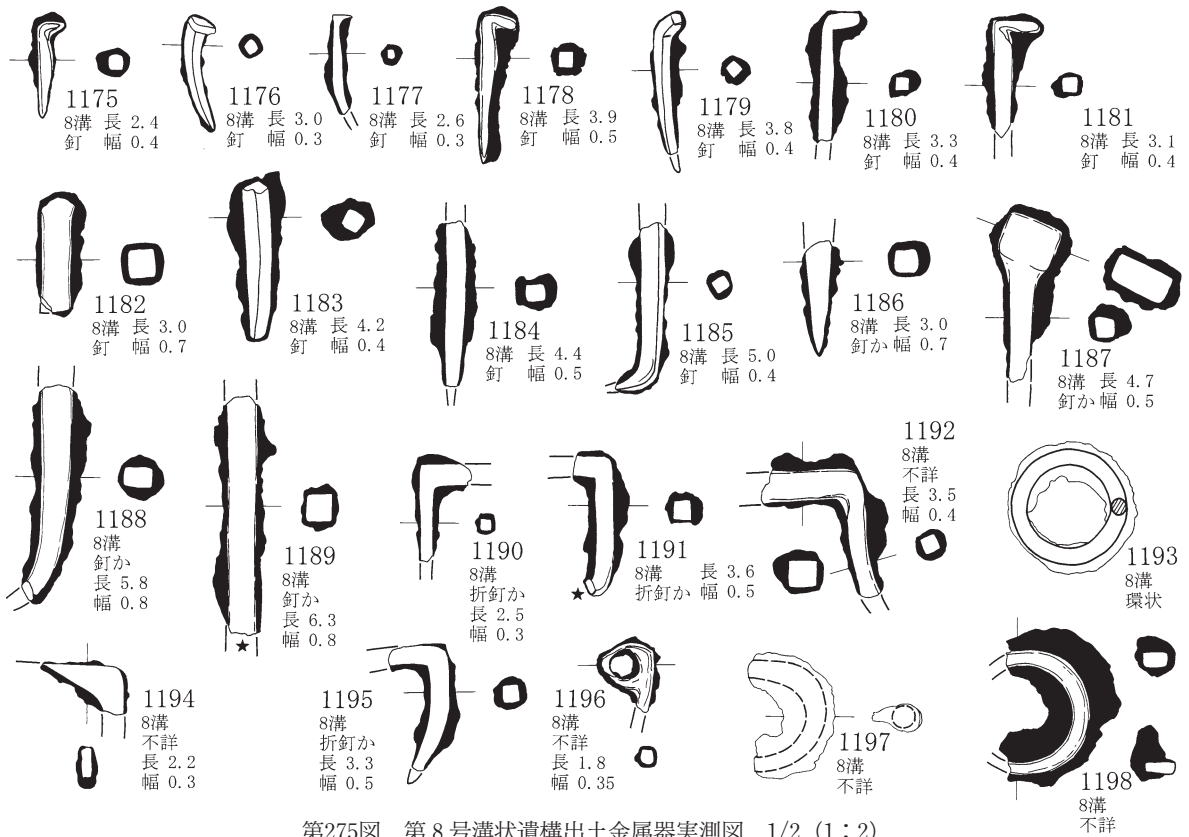


第273図 第1号溝状遺構出土金属器実測図 (1:2)

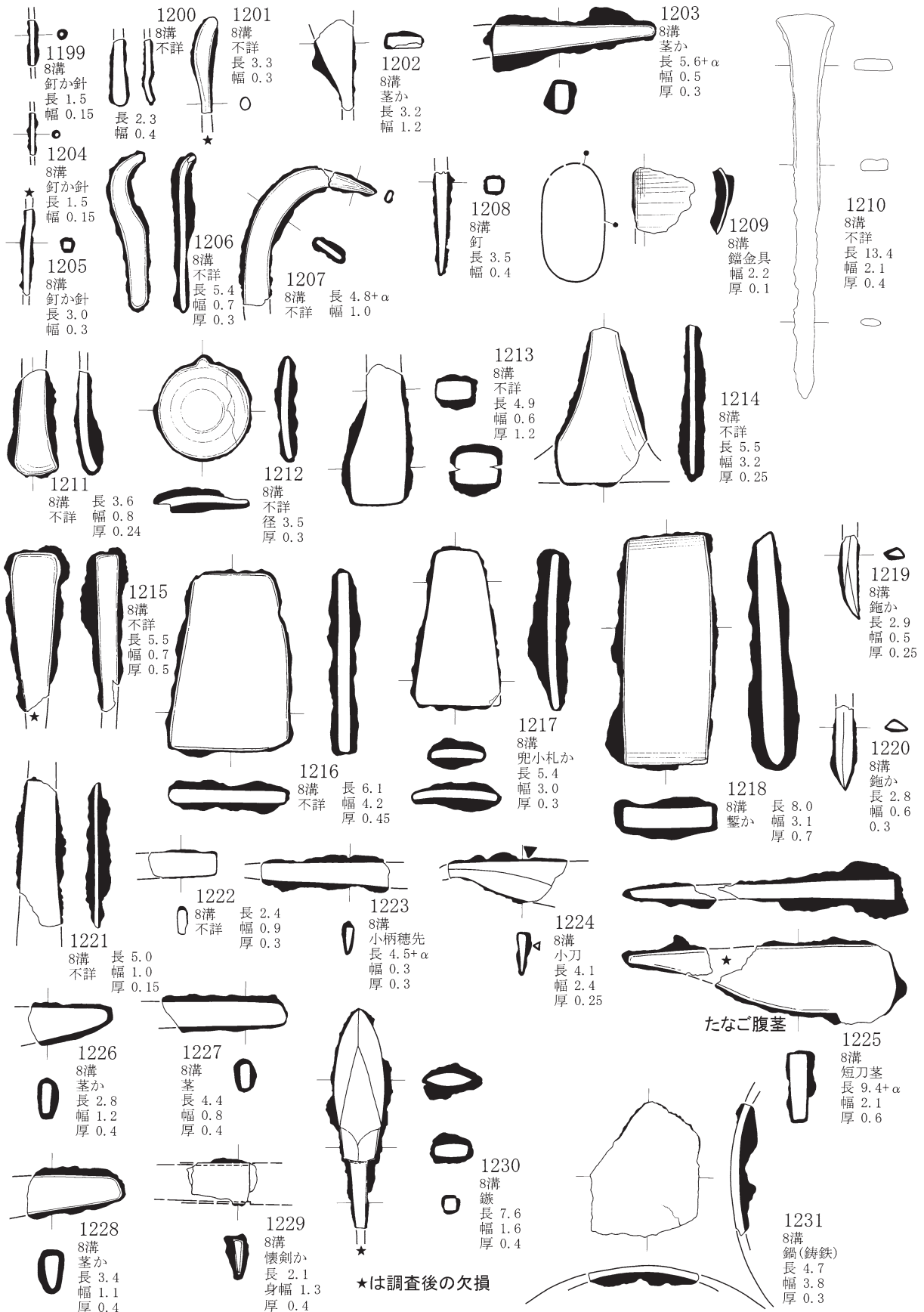


★は調査後の欠損

第274図 第2号溝状遺構出土金属器実測図 (1:2)

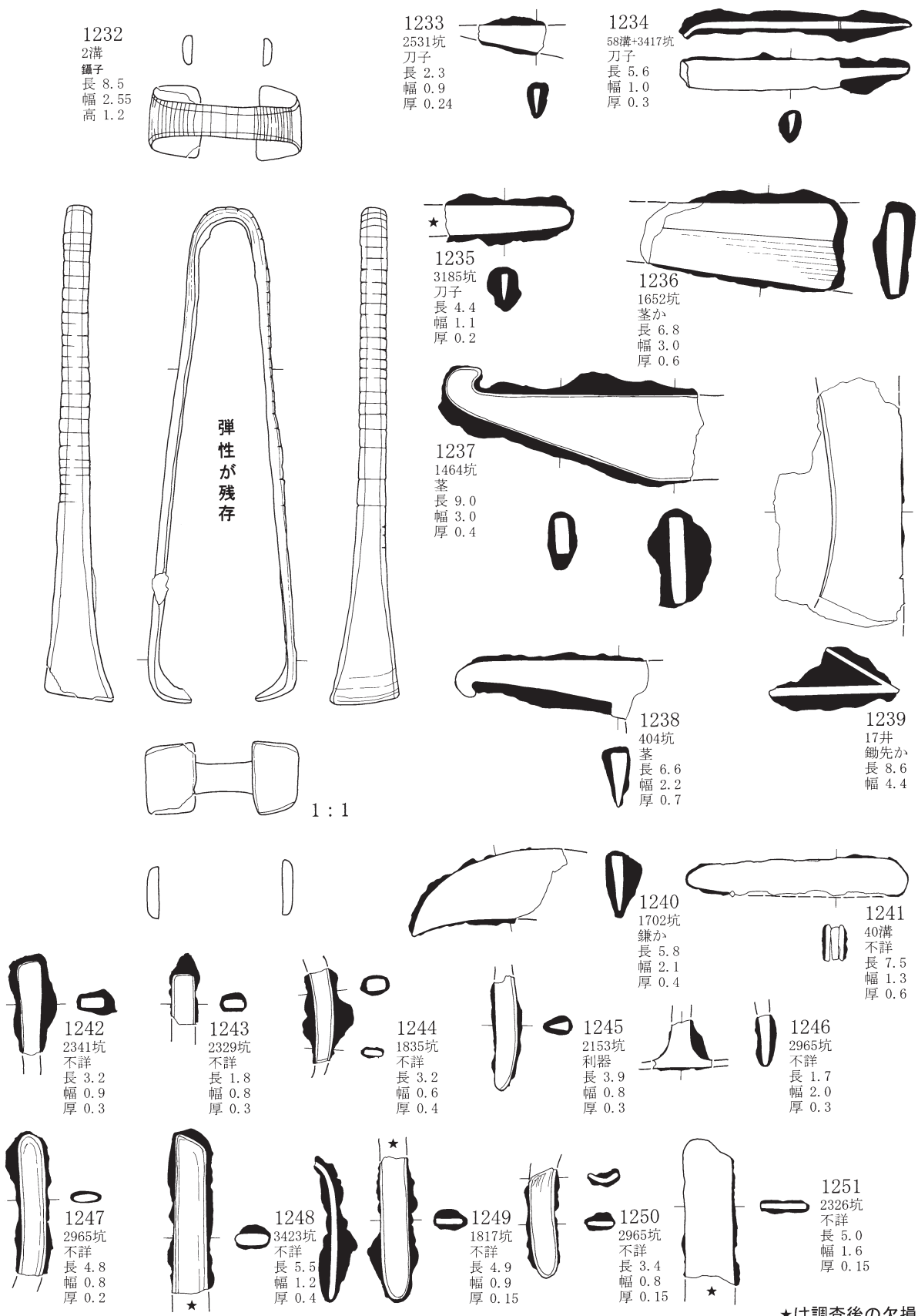


第275図 第8号溝状遺構出土金属器実測図 1/2 (1:2)

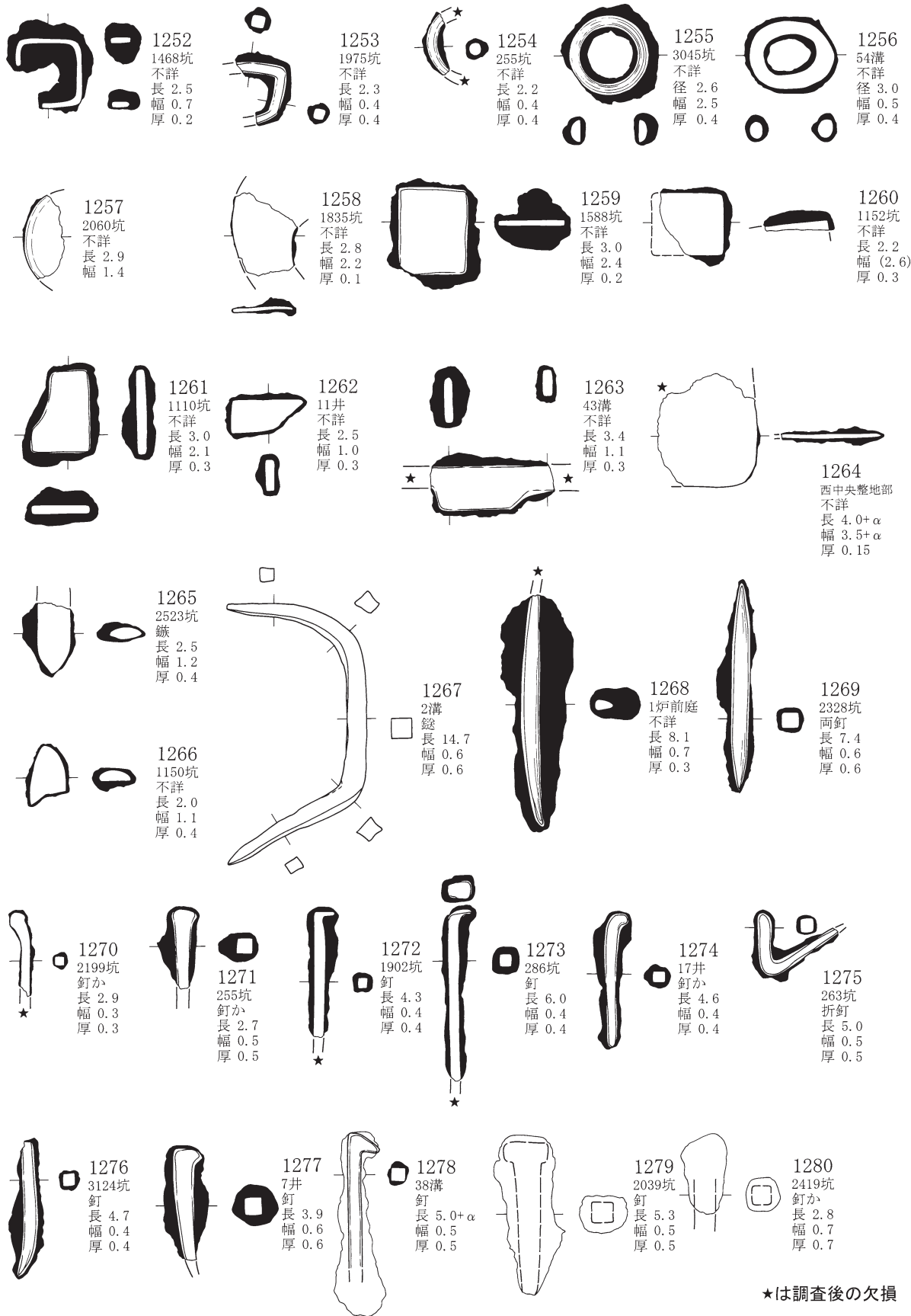


第276図 第8号溝状遺構出土金属器実測図 2/2 (1:2)

発見された遺構と出土遺物



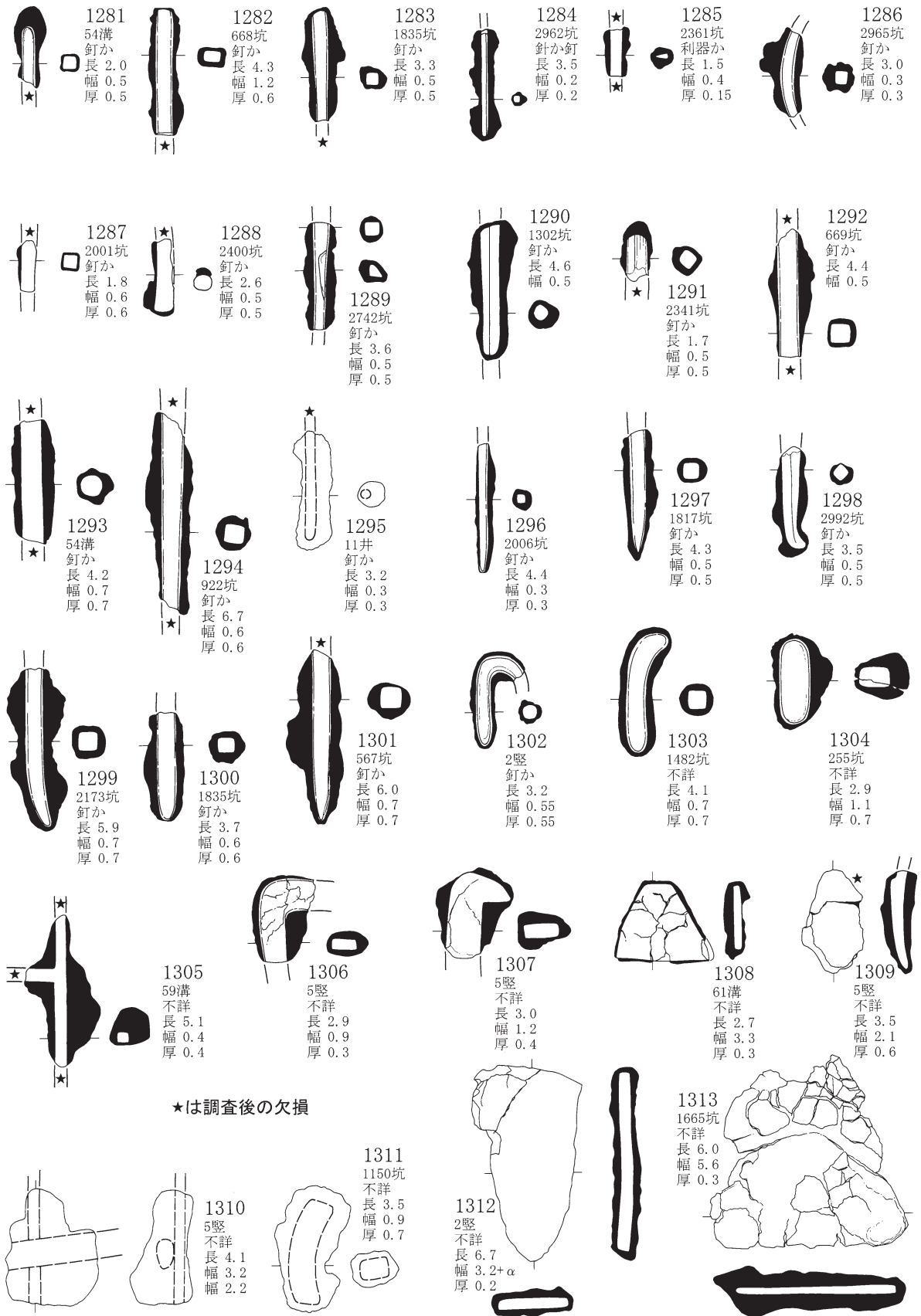
第277図 金属器実測図 1/3 (1:2)



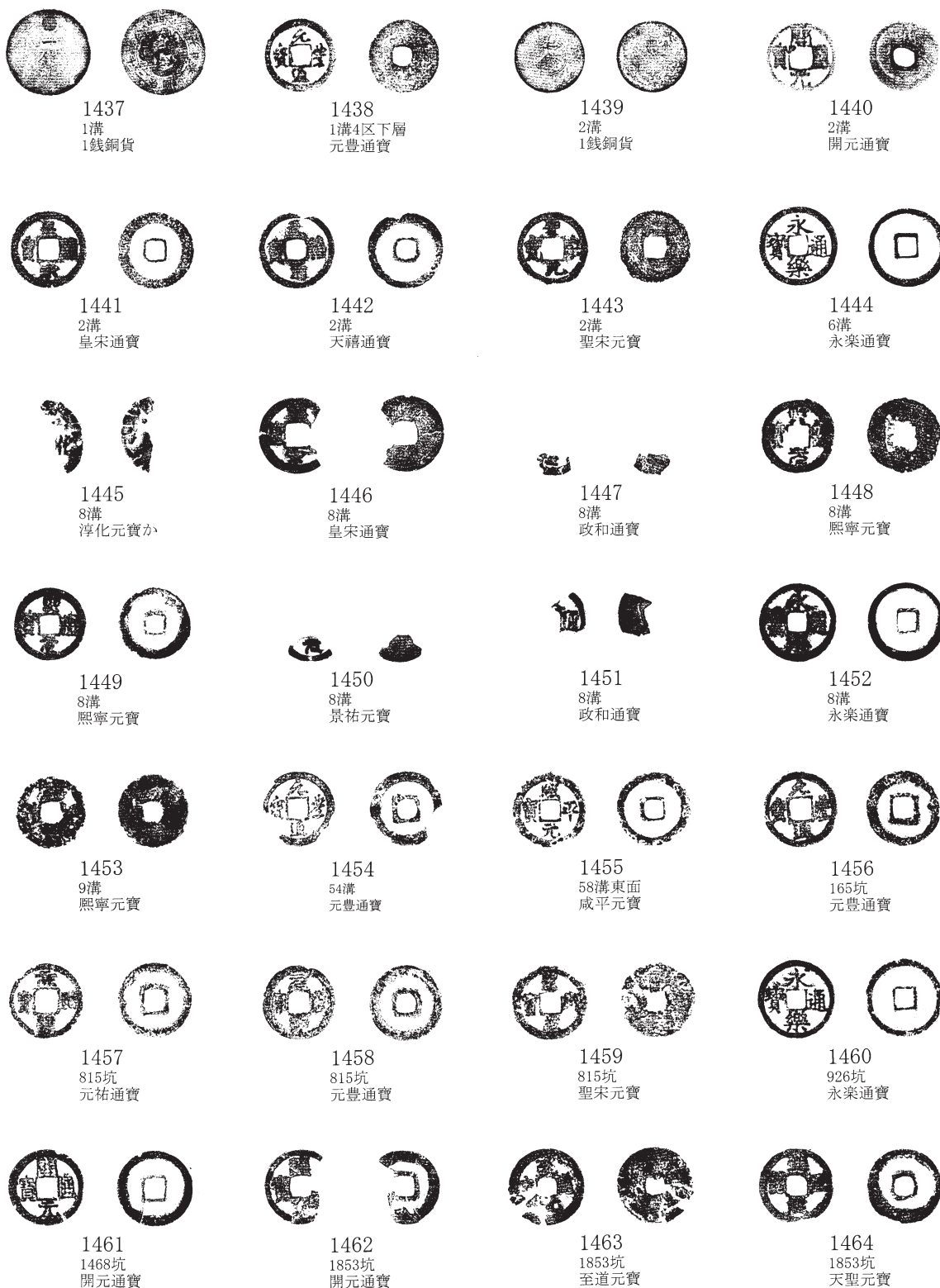
★は調査後の欠損

第278図 金属器実測図 2/3 (1:2)

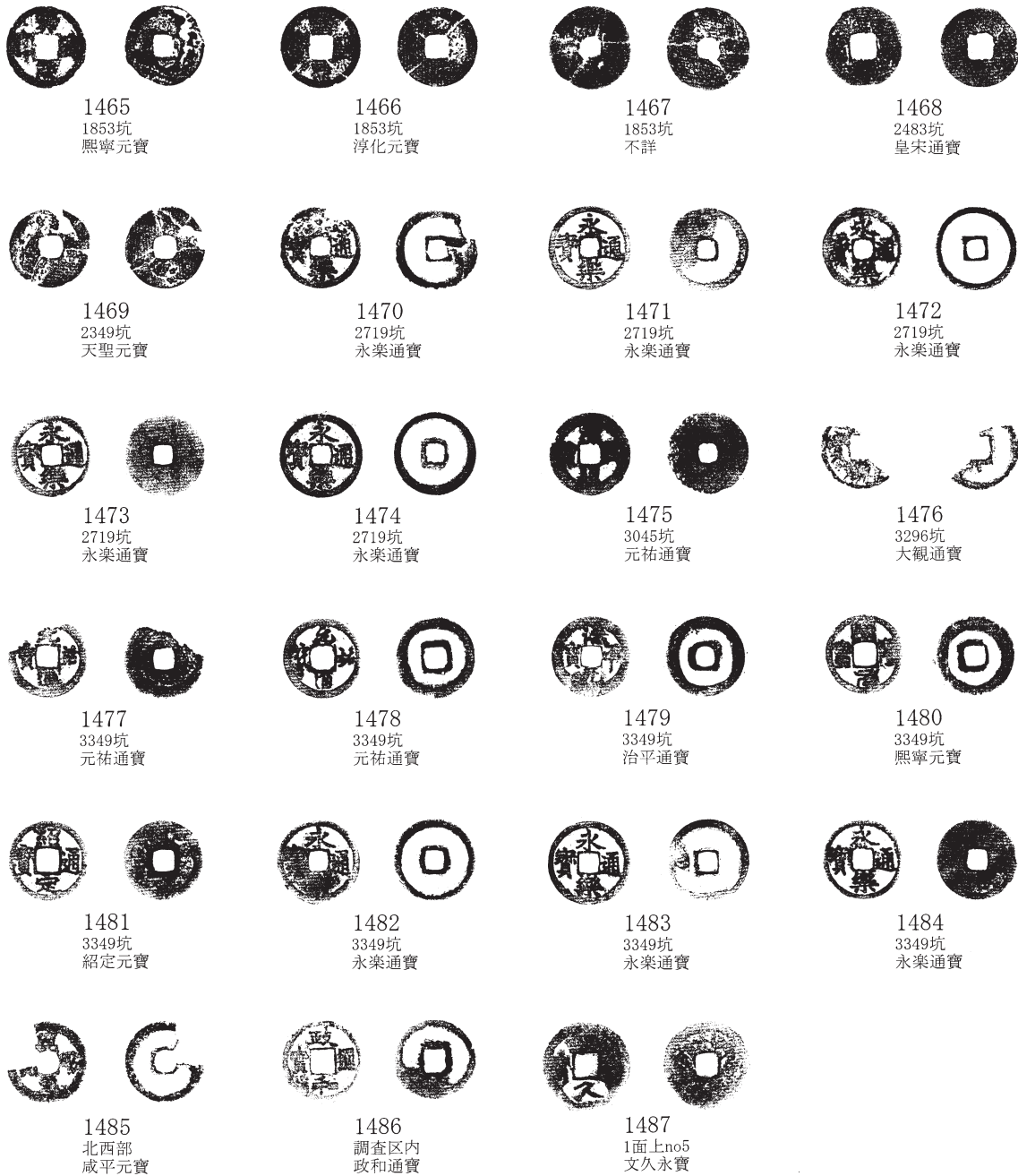
発見された遺構と出土遺物



第279図 金属器実測図 3/3 (1:2)

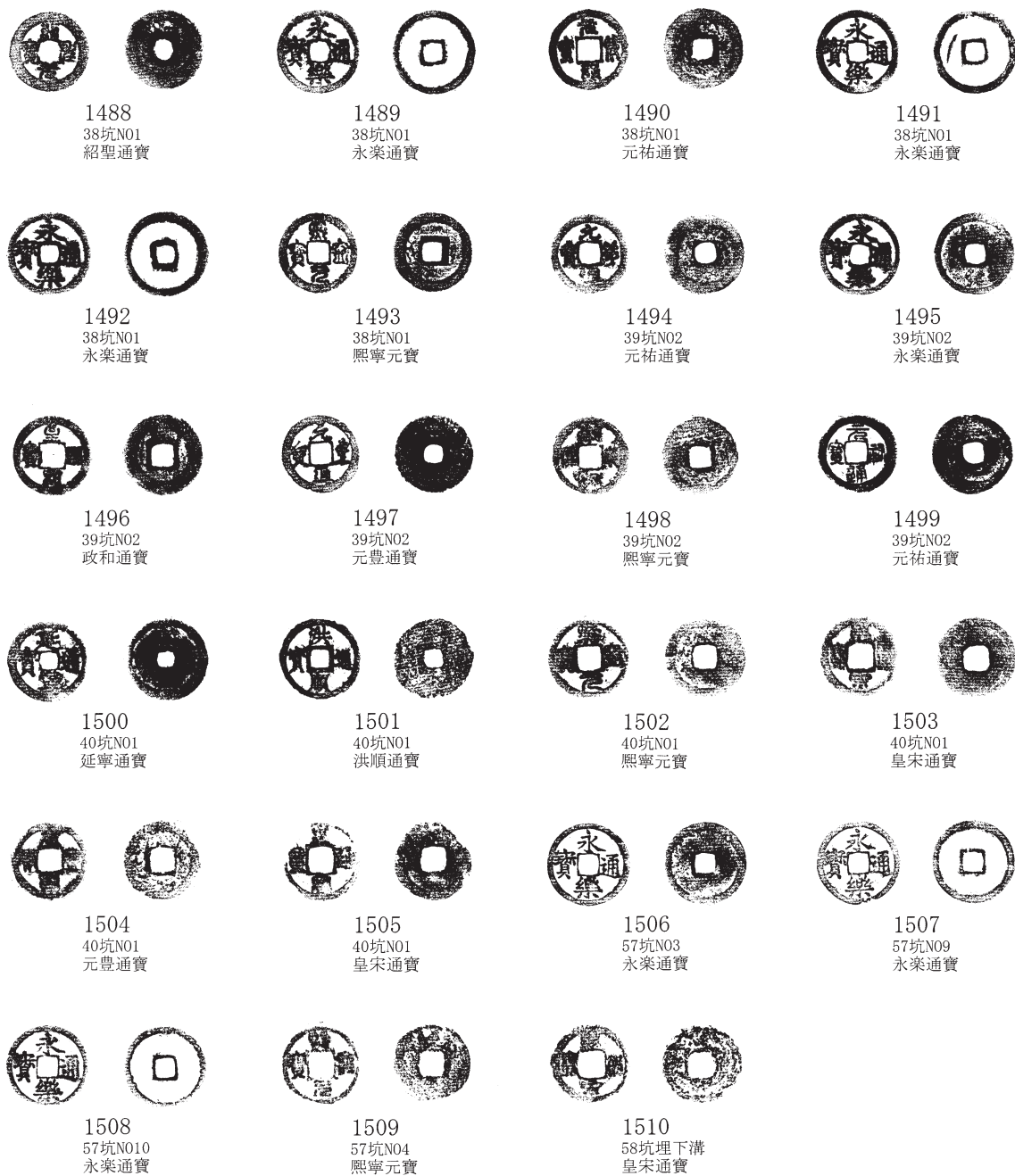


発見された遺構と出土遺物



出土古銭一覧表(1)

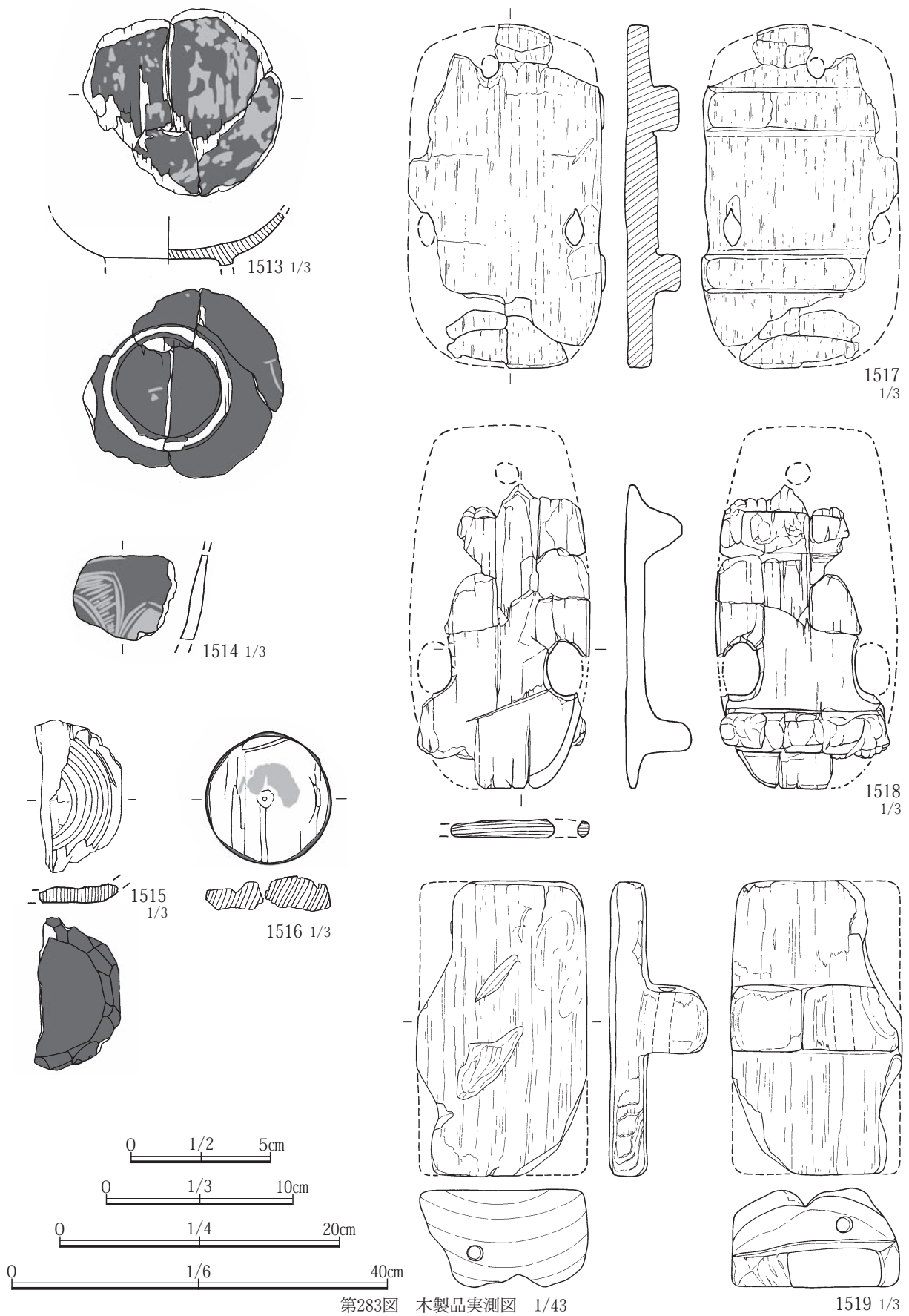
	古銭種類	現国名	国名	王朝名	初鑄(西暦)～鑄造年	出土数
1	開元通寶	中国※1	唐	唐	武徳4年(621～)	3
2	淳化元寶	〃	宋	北宋	淳化元年(990)	2
3	至道元寶	〃	宋	北宋	至道元年(995)	1
4	咸平元寶	〃	宋	北宋	咸平元年(998)	2
5	天禧通寶	〃	宋	北宋	天禧元年(1017)	1
6	天聖元寶	〃	宋	北宋	天聖元年(1023)	2
7	景祐元寶	〃	宋	北宋	景祐元年(1034)	1
8	皇宋通寶	〃	宋	北宋	寶元2年(1039)至皇祐5年(1053)	7
9	治平通寶	〃	宋	北宋	治平元年(1064)	1
10	熙寧元寶	〃	宋	北宋	熙寧元年(1068)	9
11	元豐通寶	〃	宋	北宋	元豐元年(1078)	5

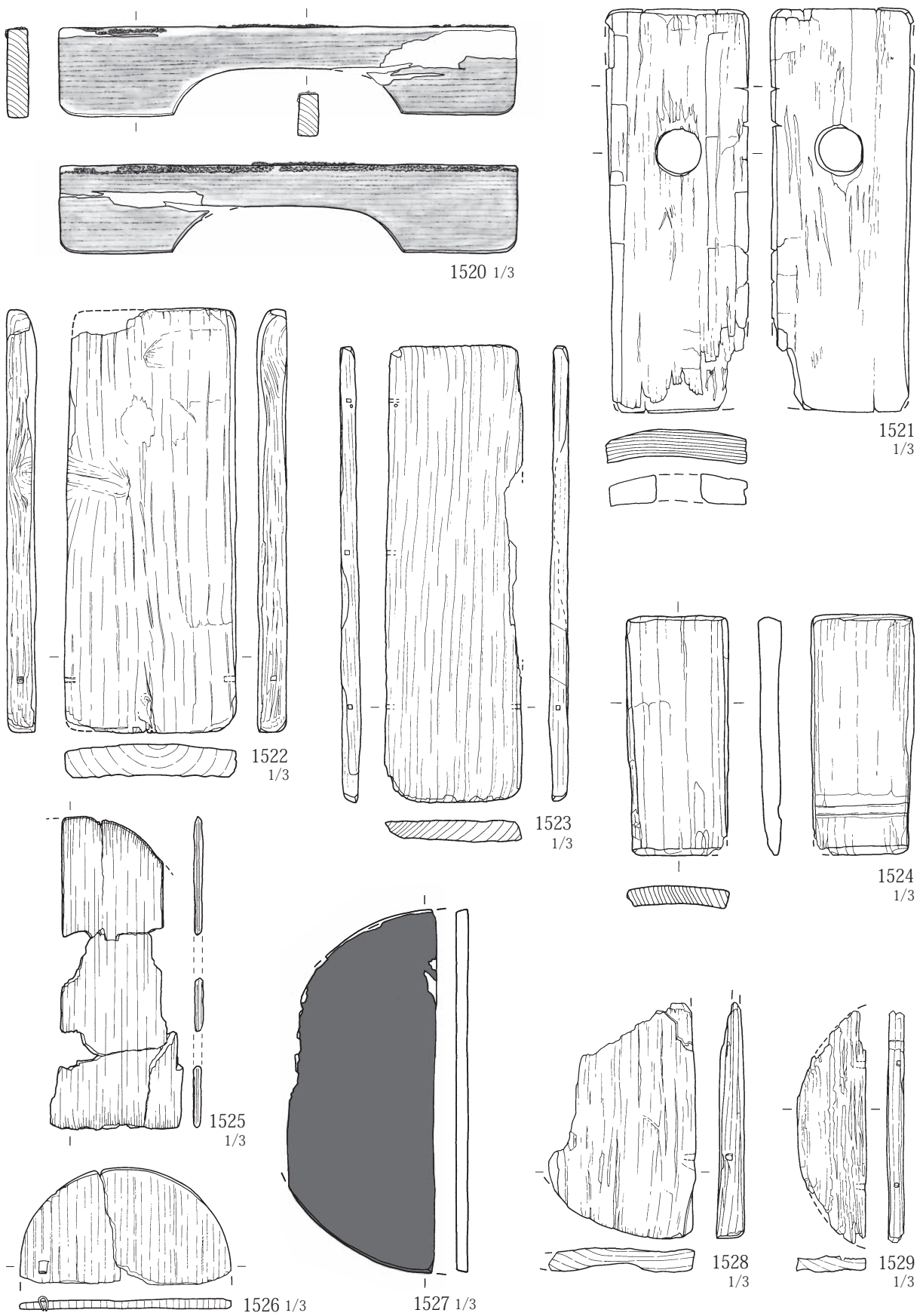


出土古銭一覧表(2)

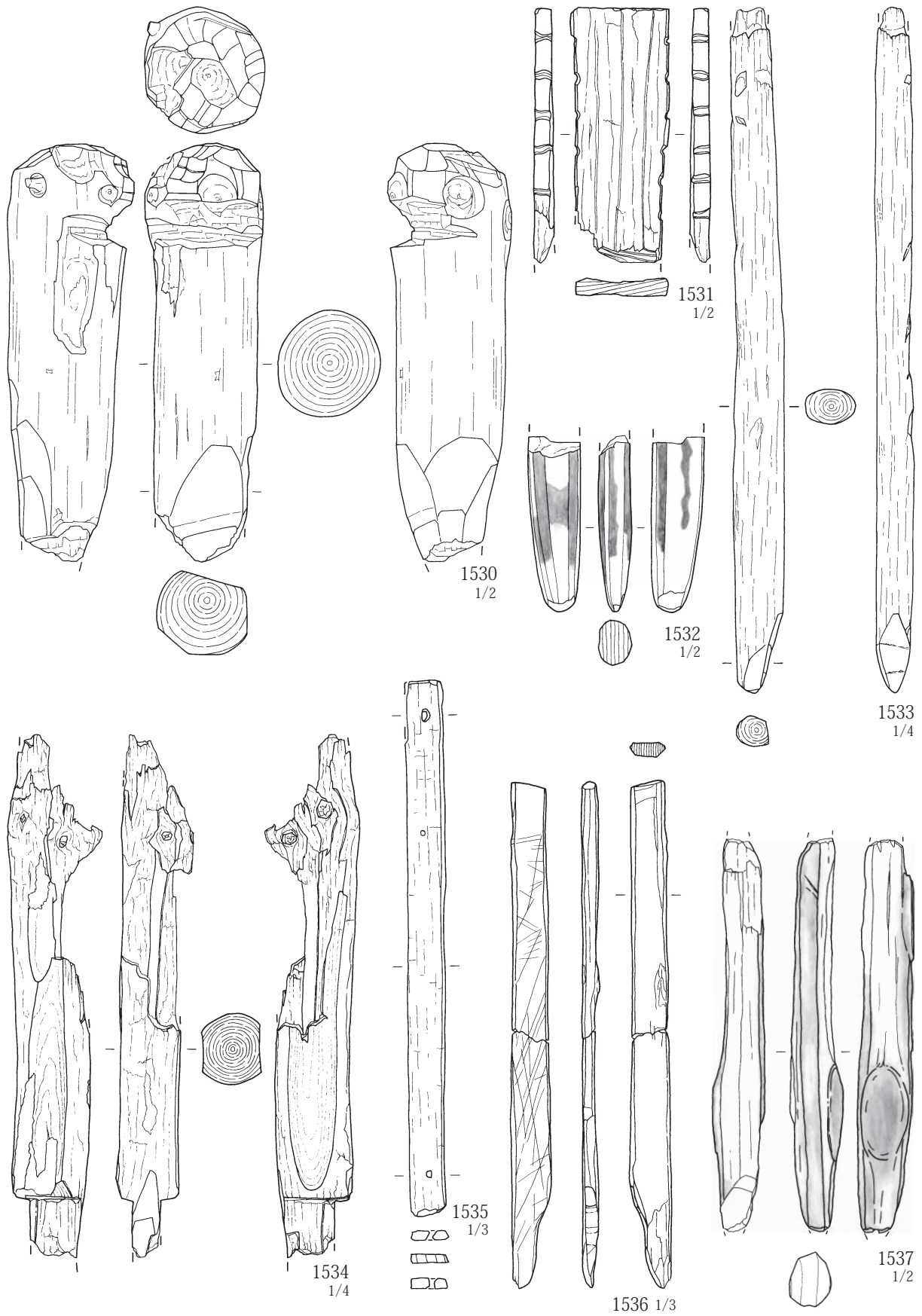
	古銭種類	現国名	国名	王朝名	初鑄(西暦)～鑄造年	出土数
12	元祐通寶	中国※1	宋	北宋	元祐元年(1086)	8
13	紹聖元寶	〃	宋	北宋	紹聖元年(1094)	1
14	聖宋元寶	〃	宋	北宋	聖宋元年(1101)	4
15	大觀通寶	〃	宋	北宋	大觀元年(1107)	1
16	政和通寶	〃	宋	北宋	政和元年(1111)	4
17	紹定通寶	〃	宋	南宋	紹定元年(1228)	1
18	洪武通寶		明	明	洪武元年(1368)	1
19	永樂通寶	〃	明	明	永樂6年(1408)	27
20	延寧通寶	ベトナム※2	大越	黎朝	延寧元年(1454)	1
21	洪順通寶	〃	大越	黎朝	洪順元年(1509)	1
22	文久永寶	日本	日本	(徳川)	文久3年(1863)	1

※1 中華人民共和國 ※2 ベトナム社会主義共和国

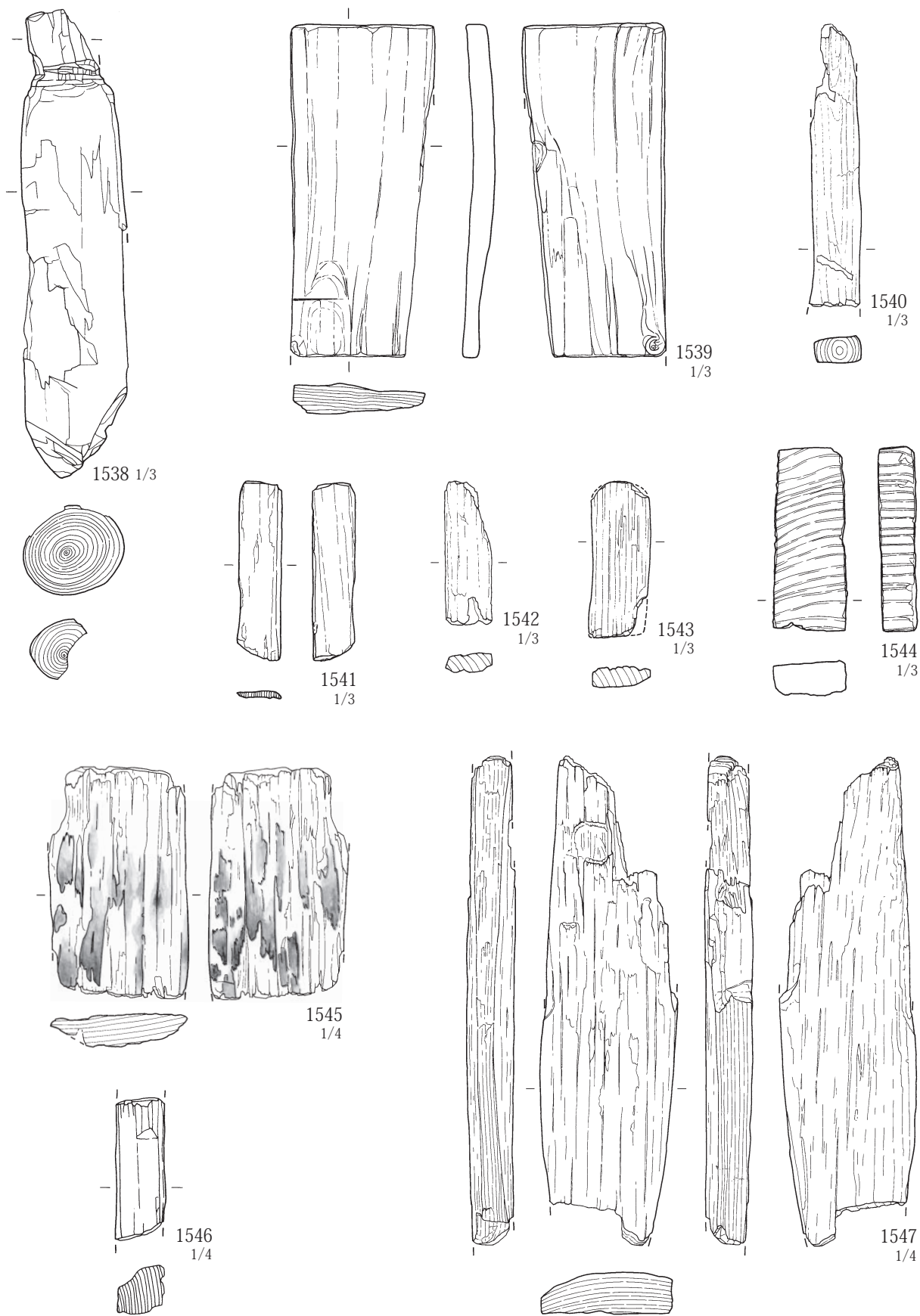




第284図 木製品実測図 2/43

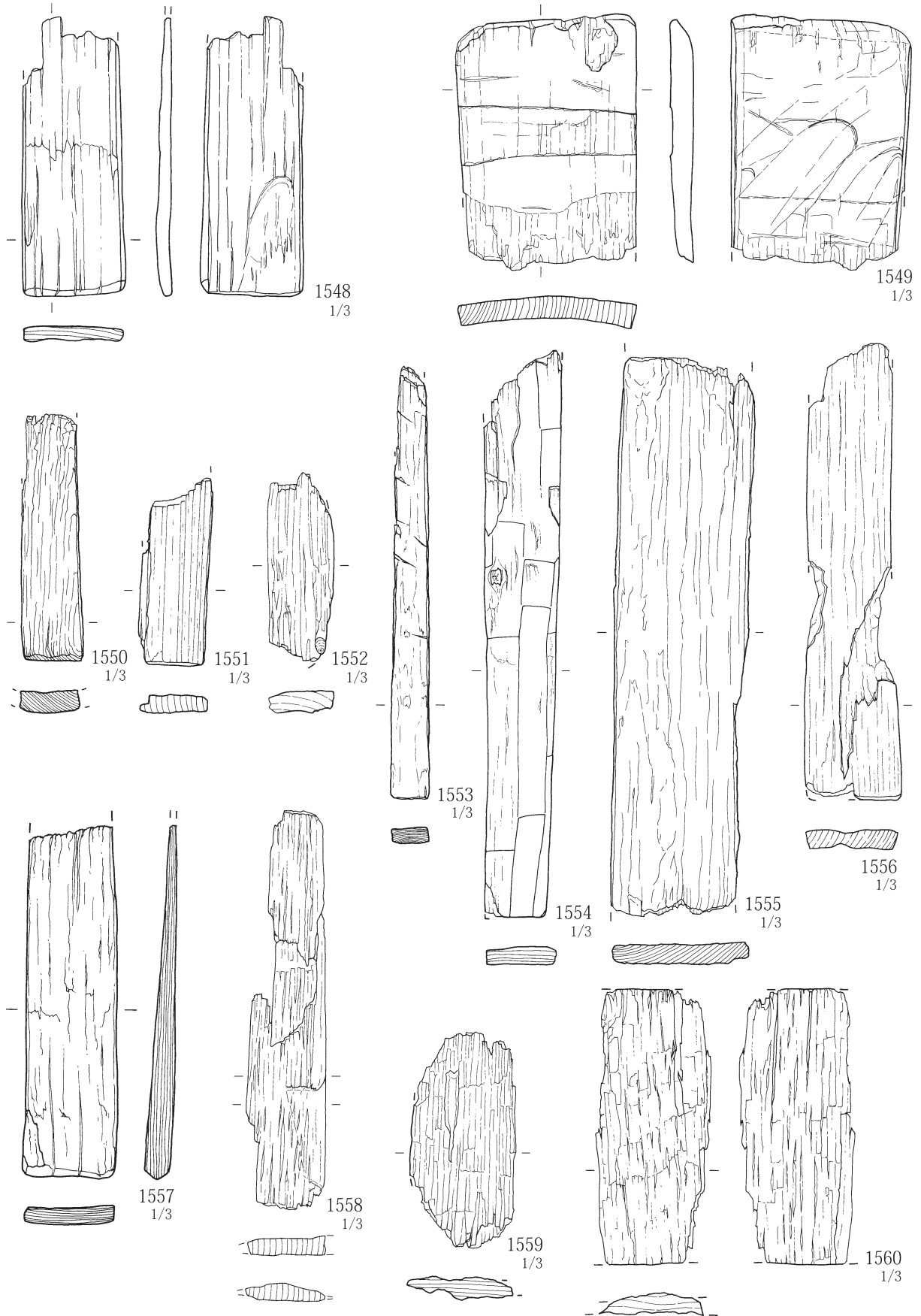


第285図 木製品実測図 3/43

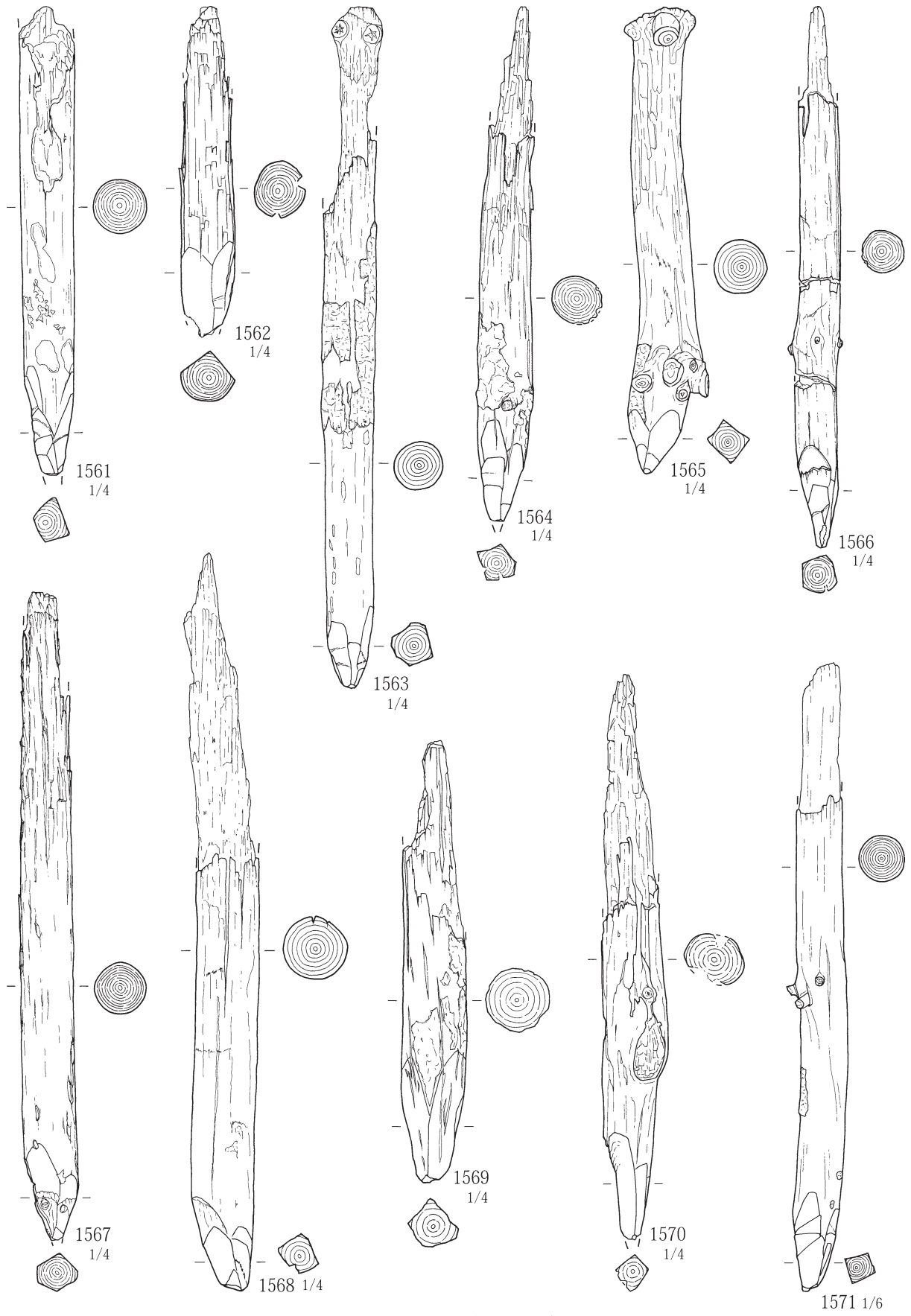


第286図 木製品実測図 4/43

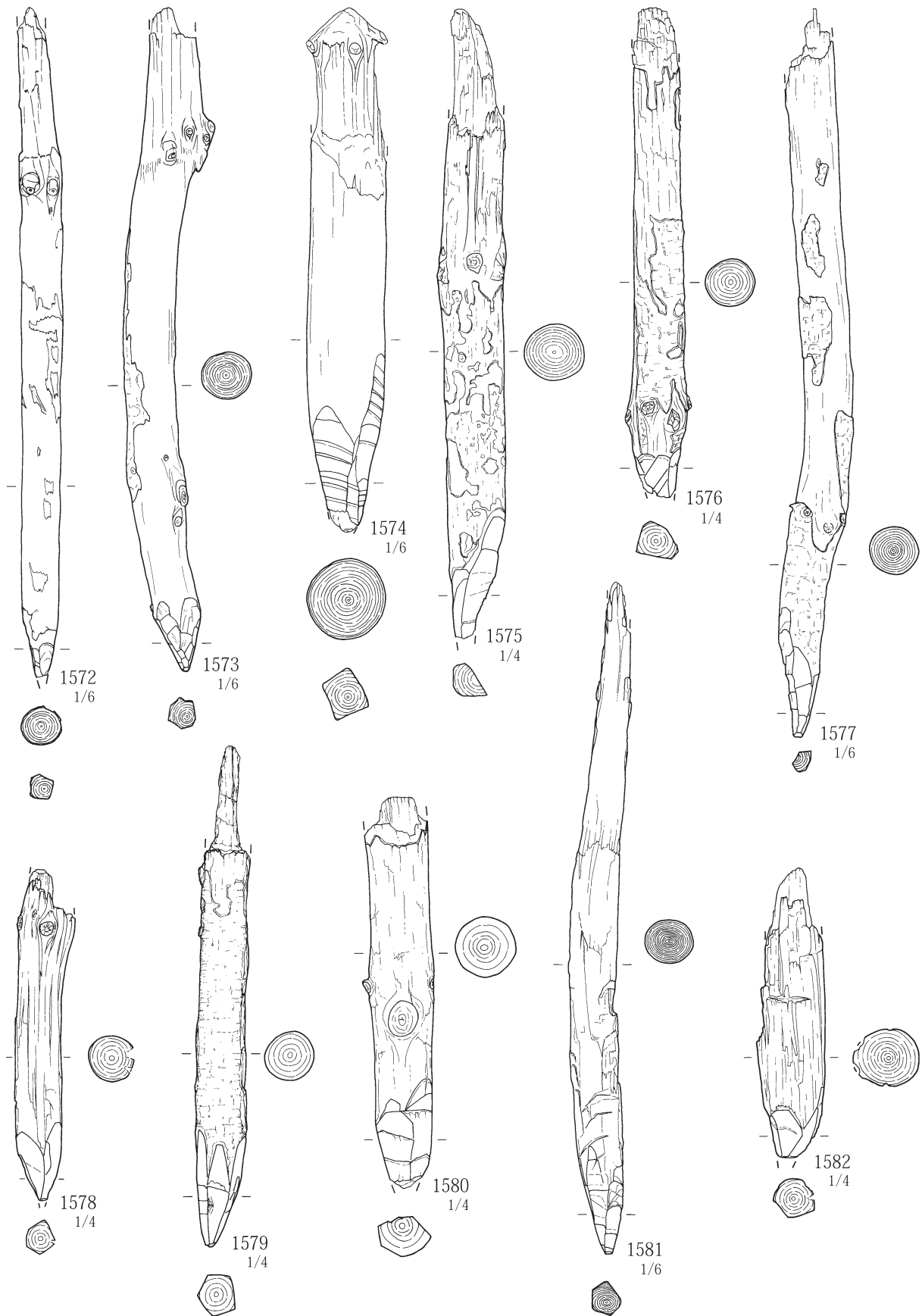
発見された遺構と出土遺物



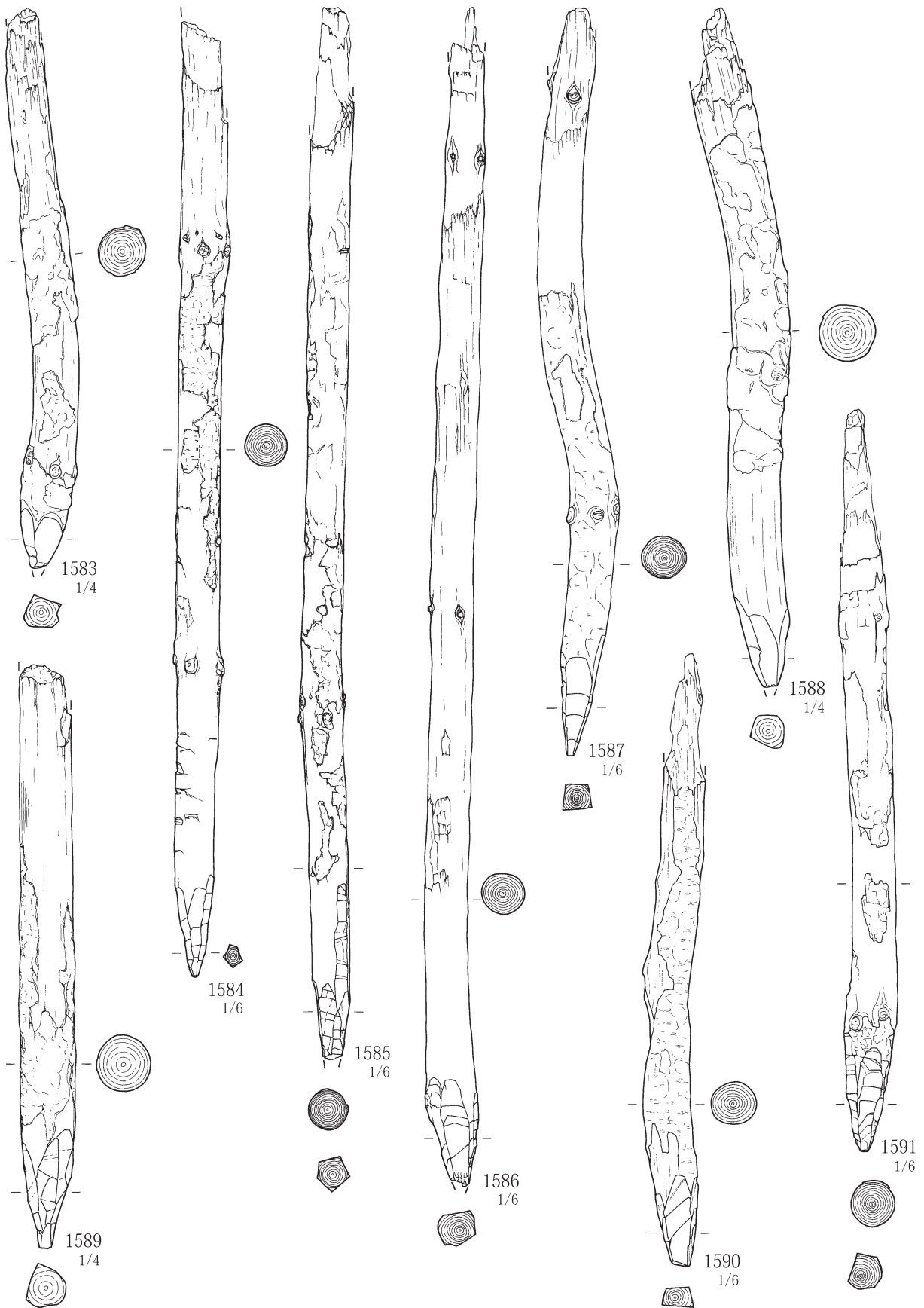
第287図 木製品実測図 5/43



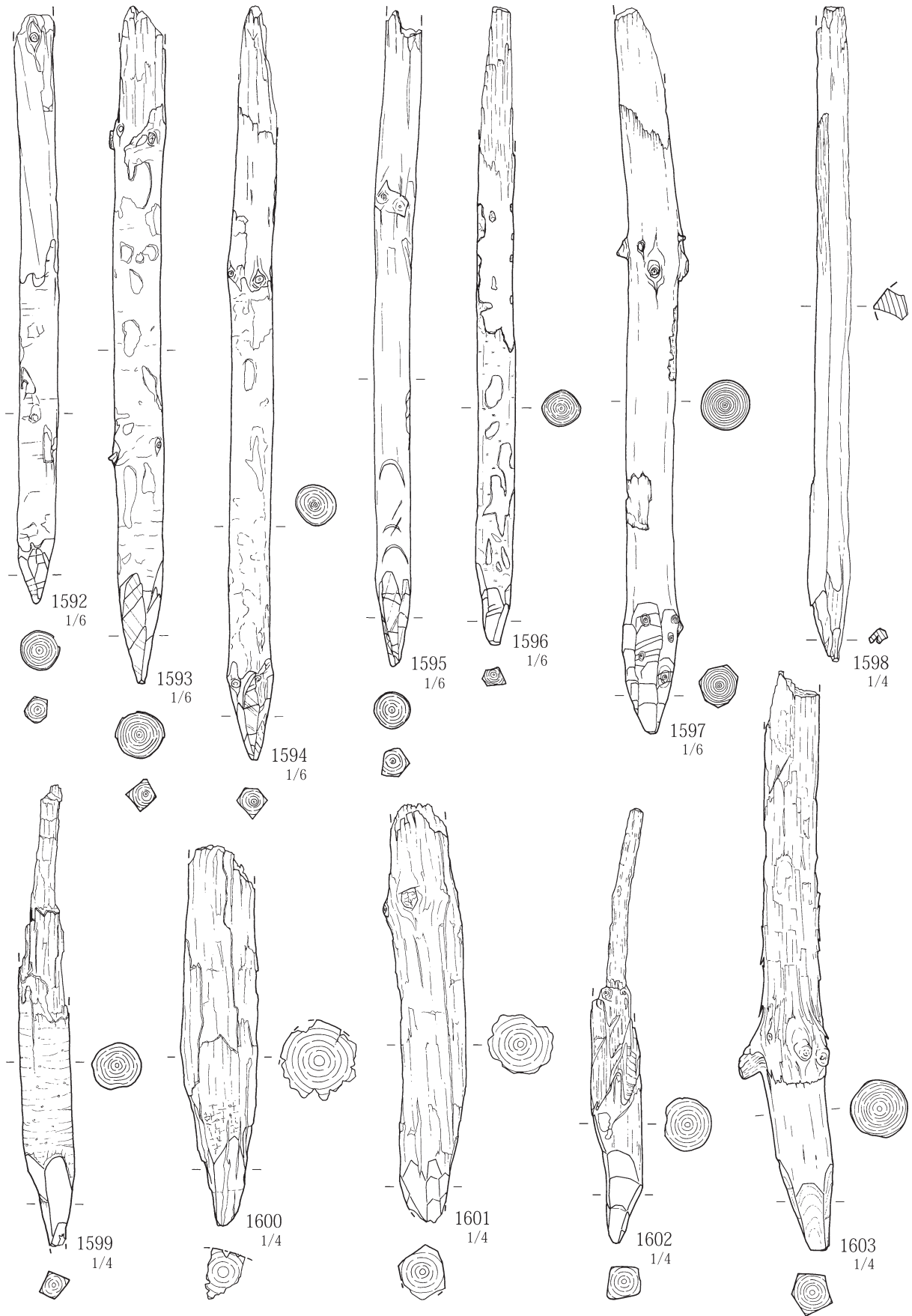
第288図 木製品実測図 6/43



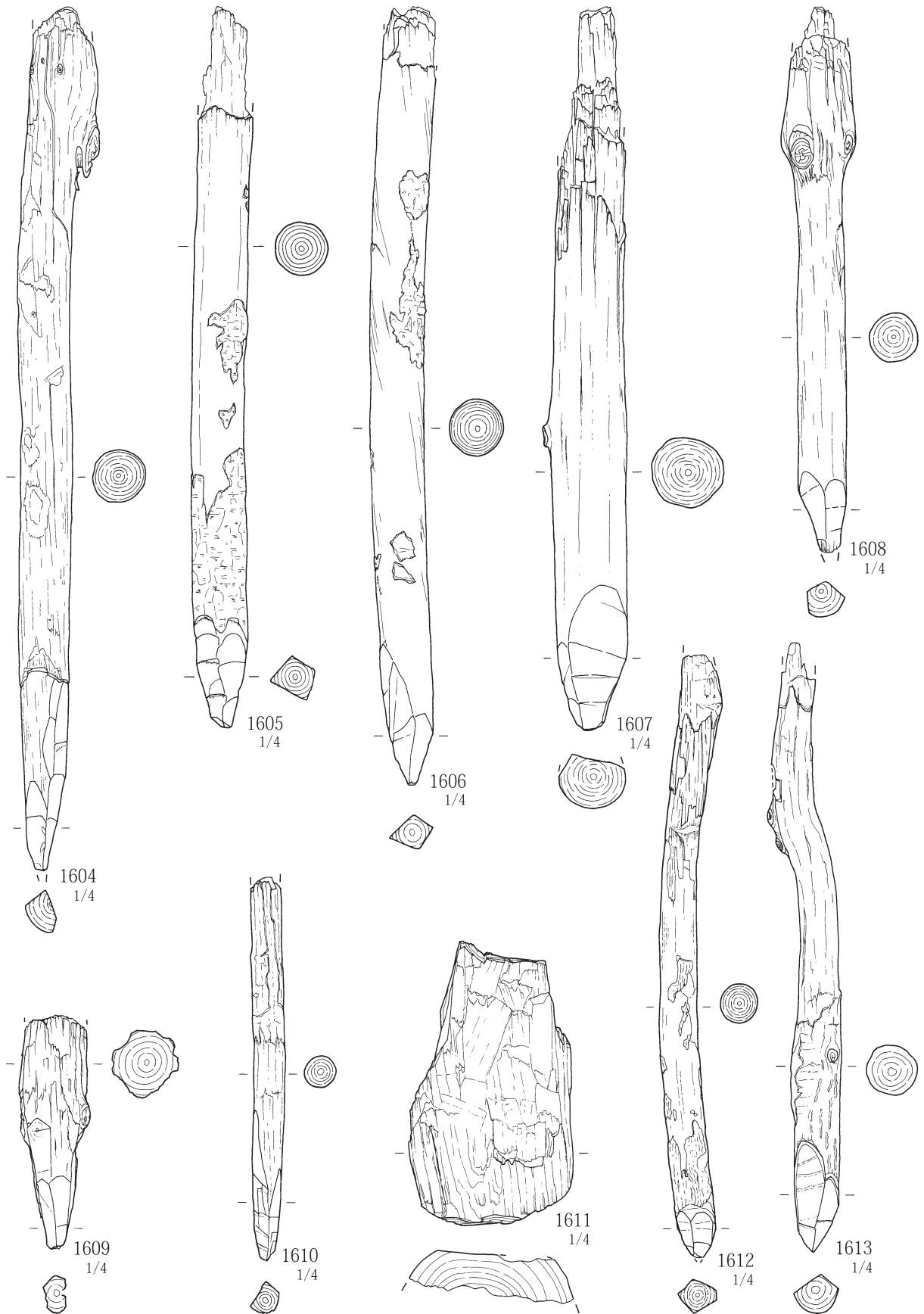
第289図 木製品実測図 7/43



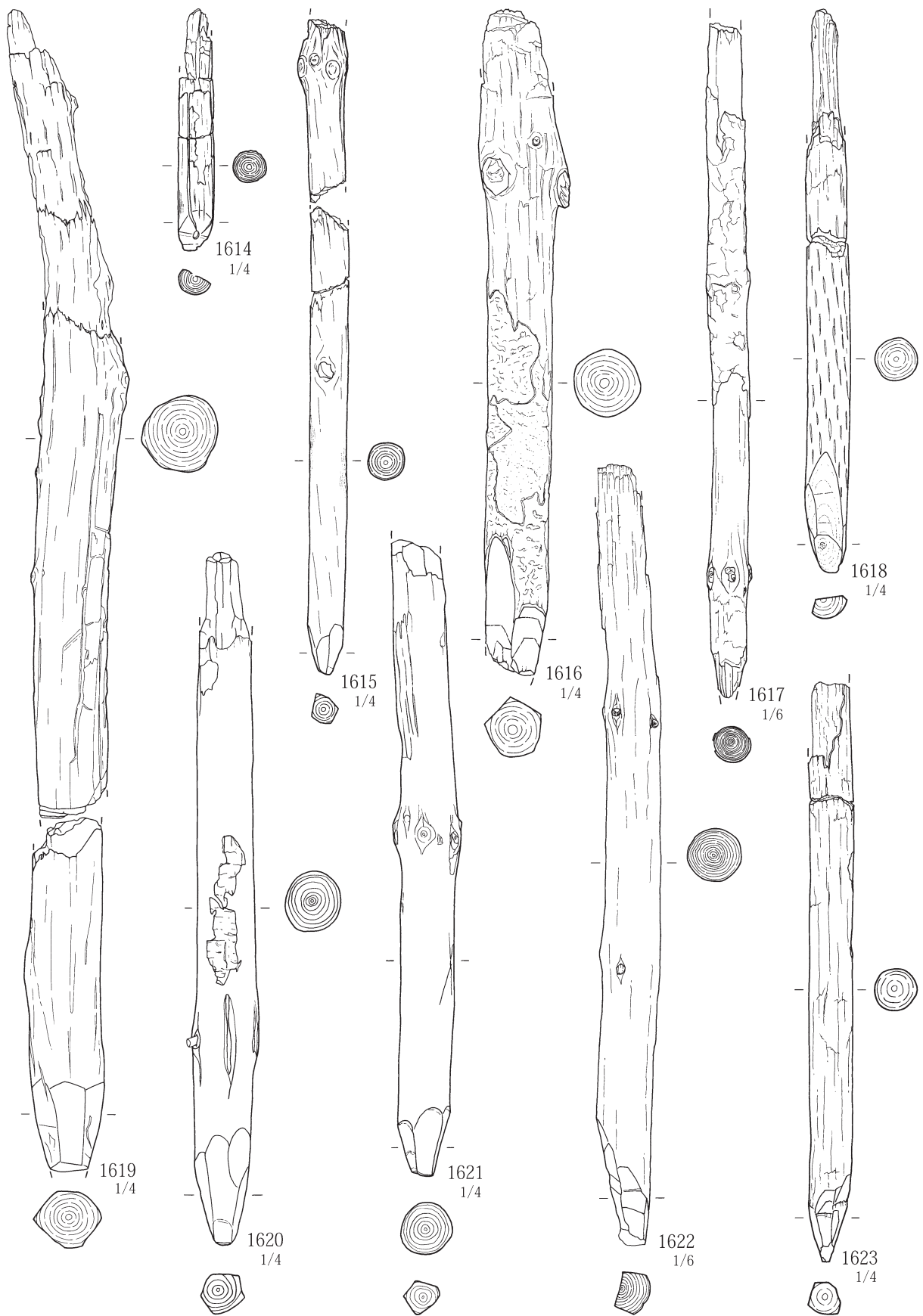
第290図 木製品実測図 8/43



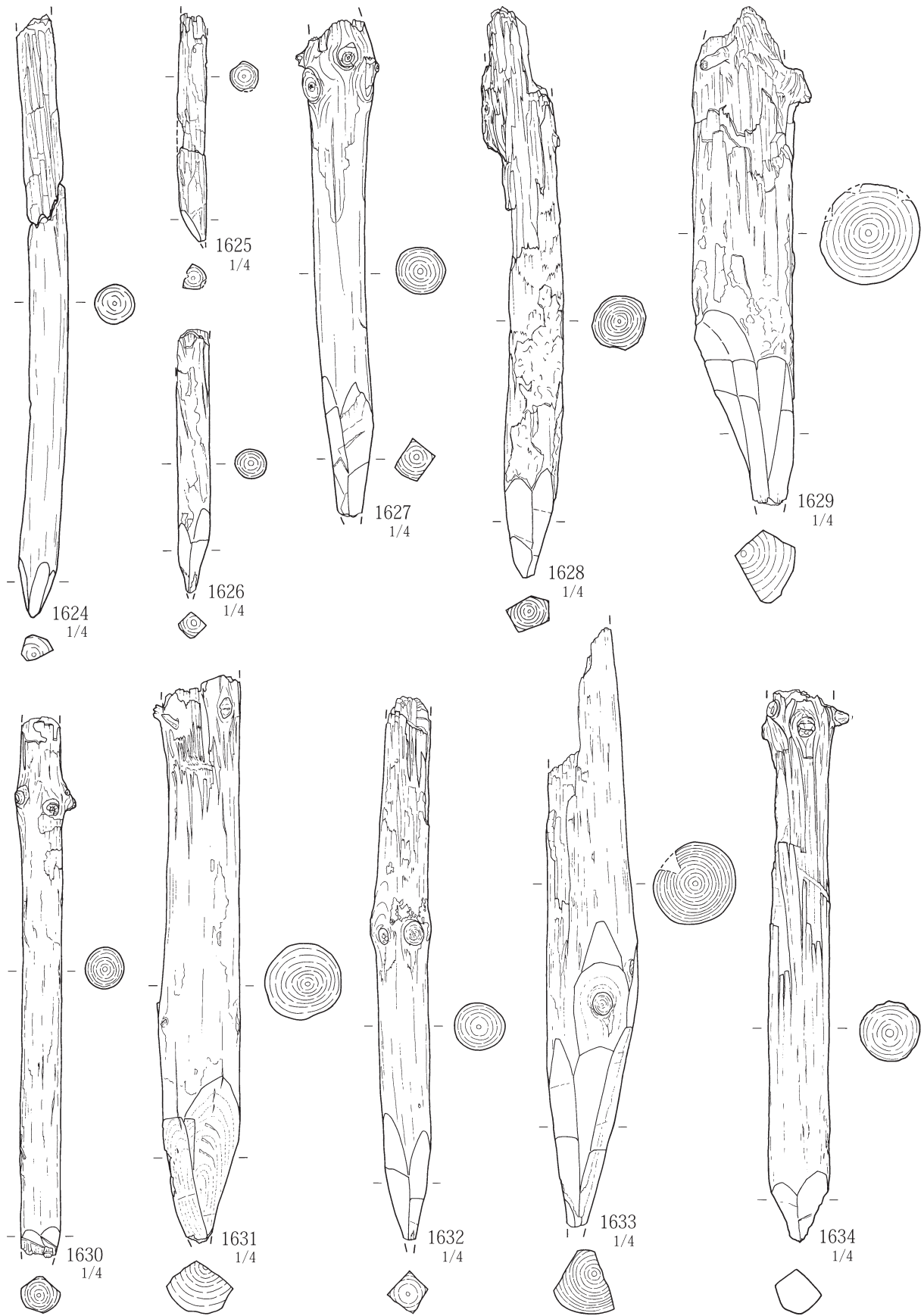
第291図 木製品実測図 9/43



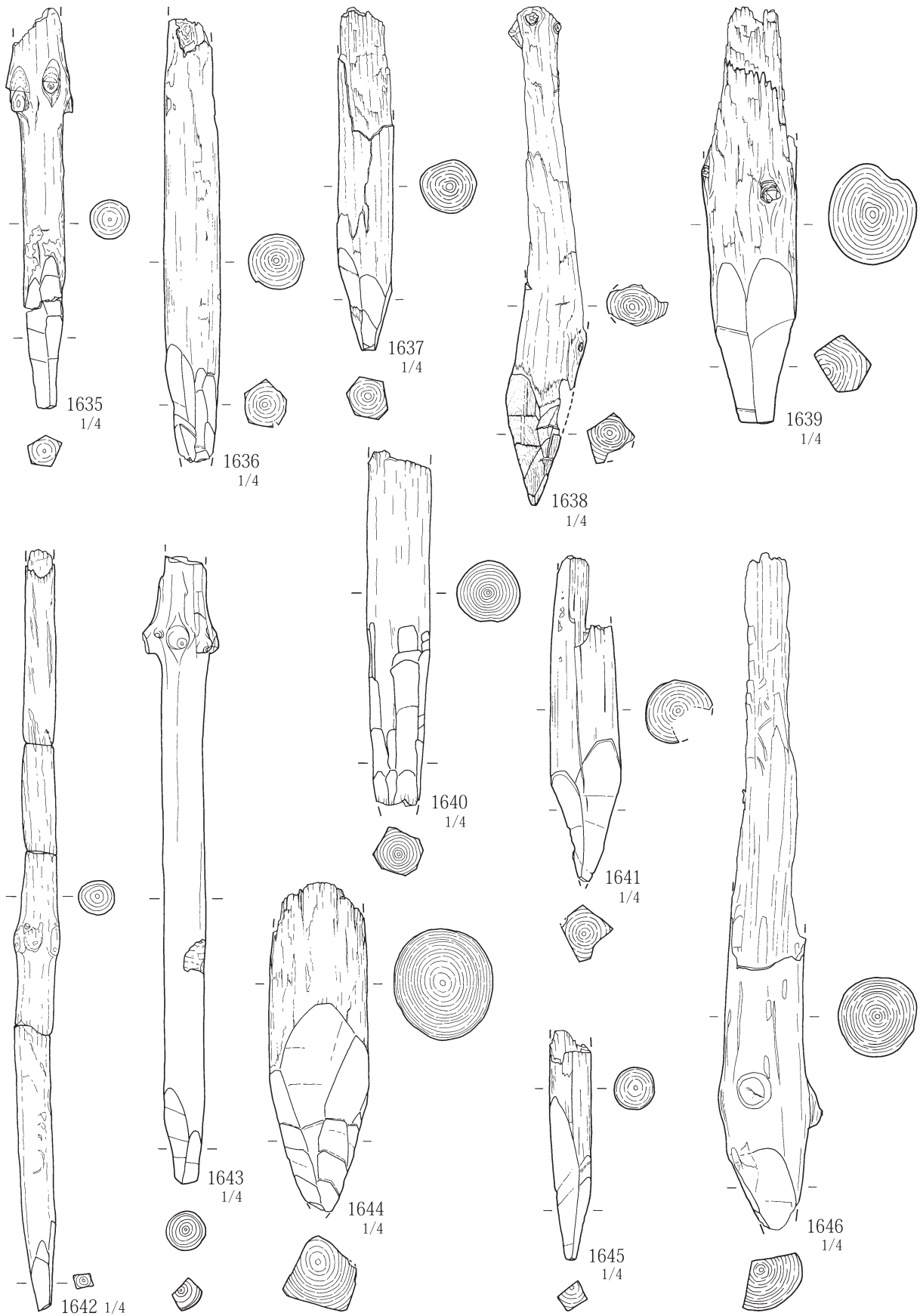
第292図 木製品実測図 10/43



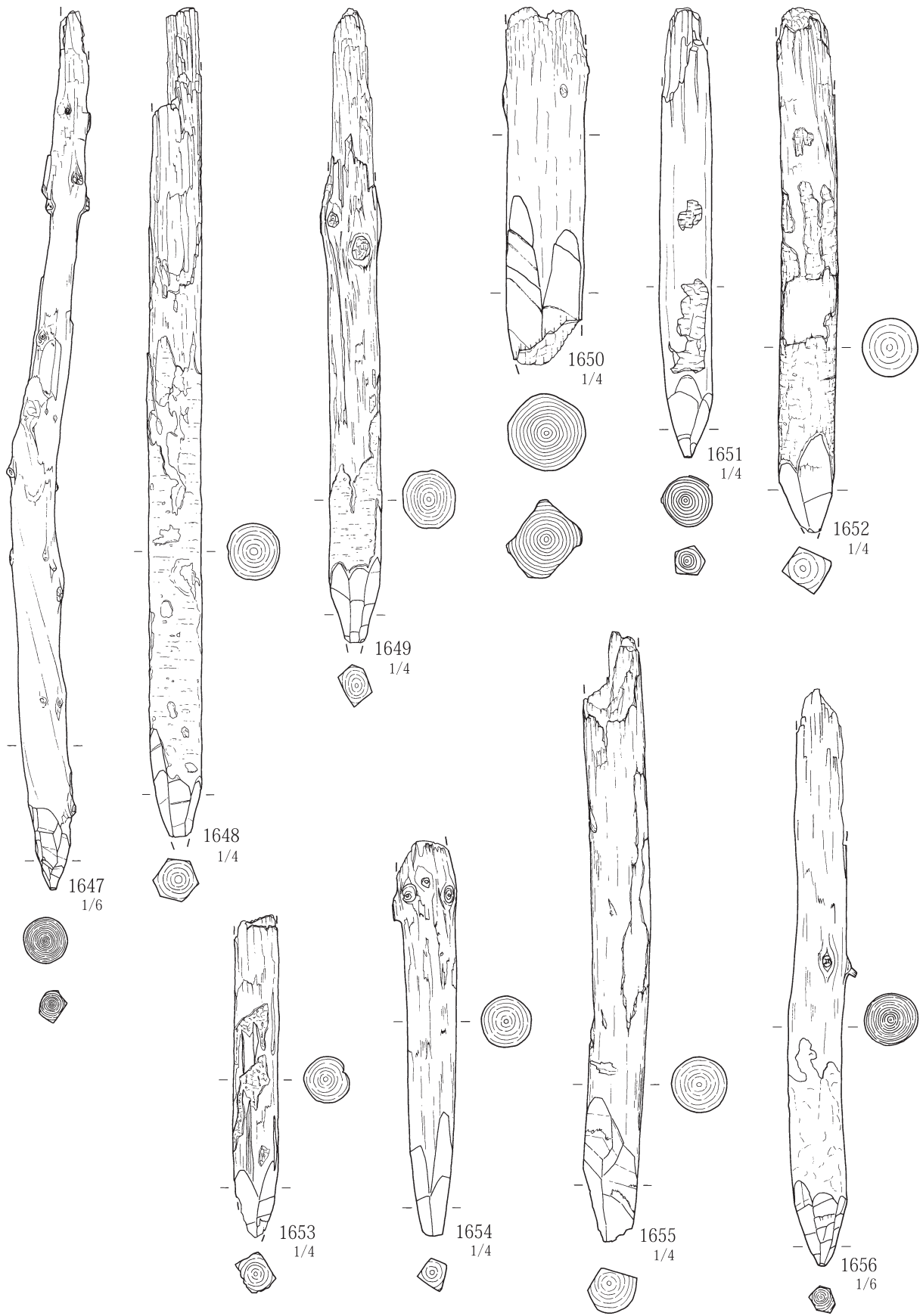
第293図 木製品実測図 11/43



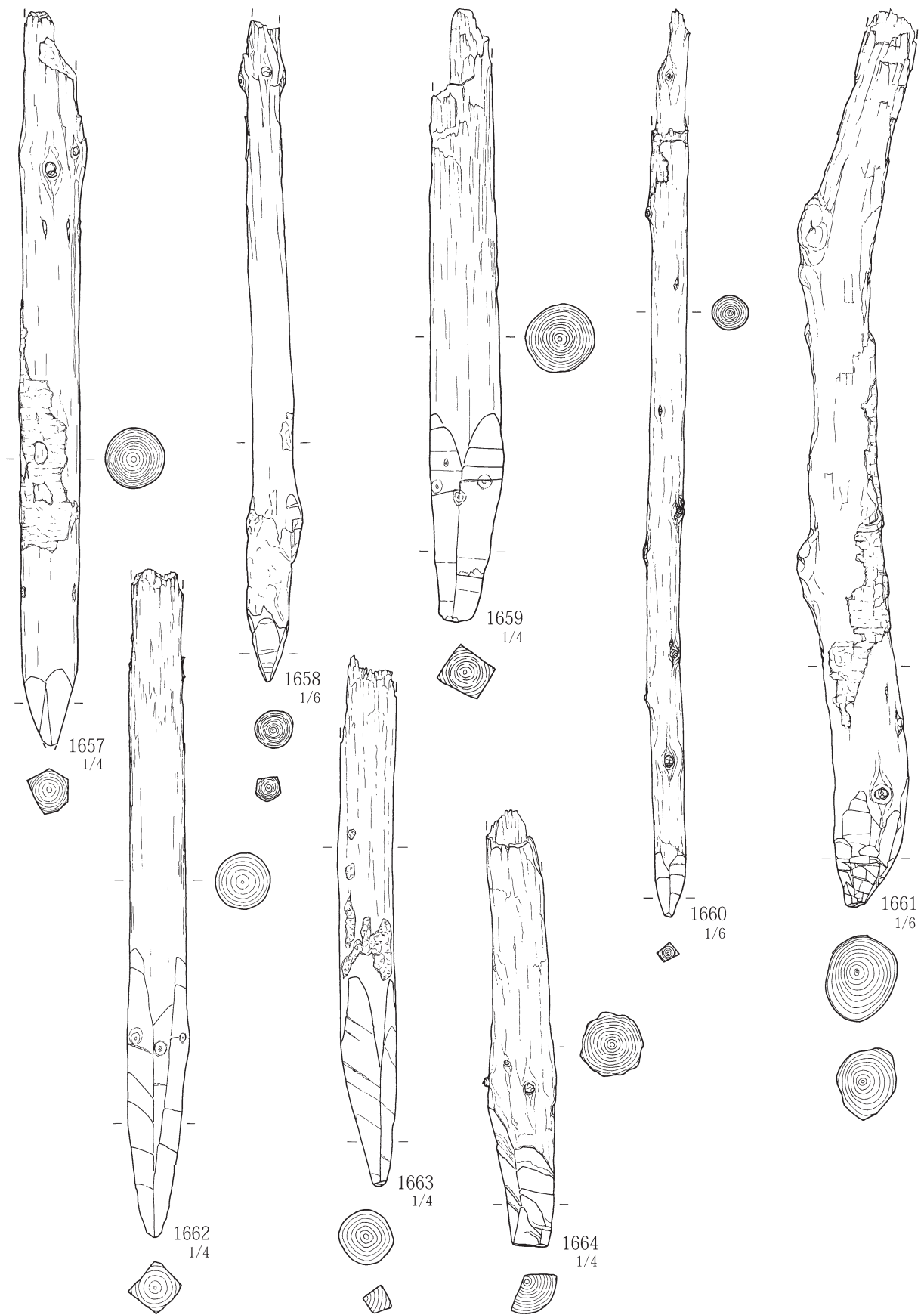
第294図 木製品実測図 12/43



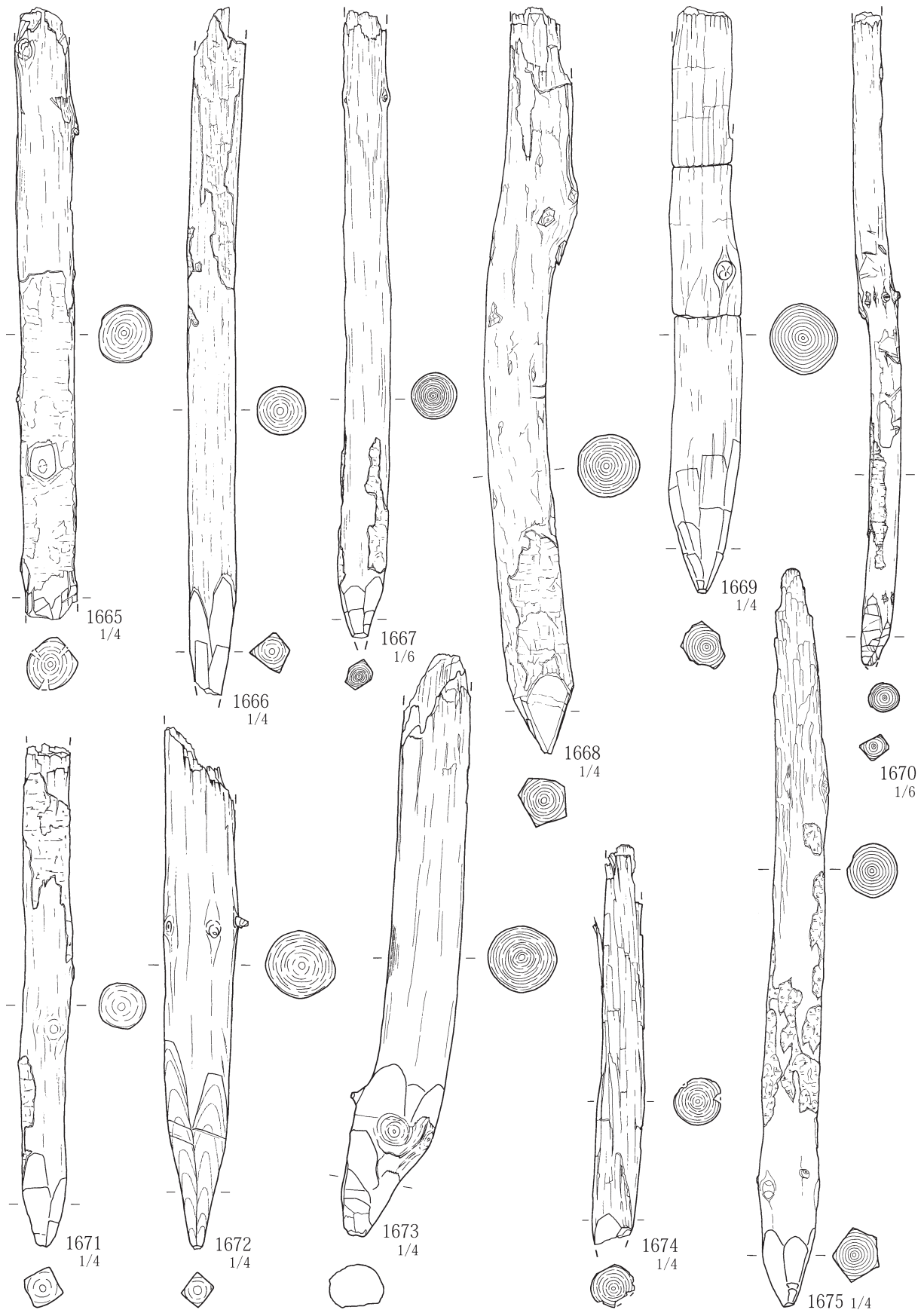
第295図 木製品実測図 13/43



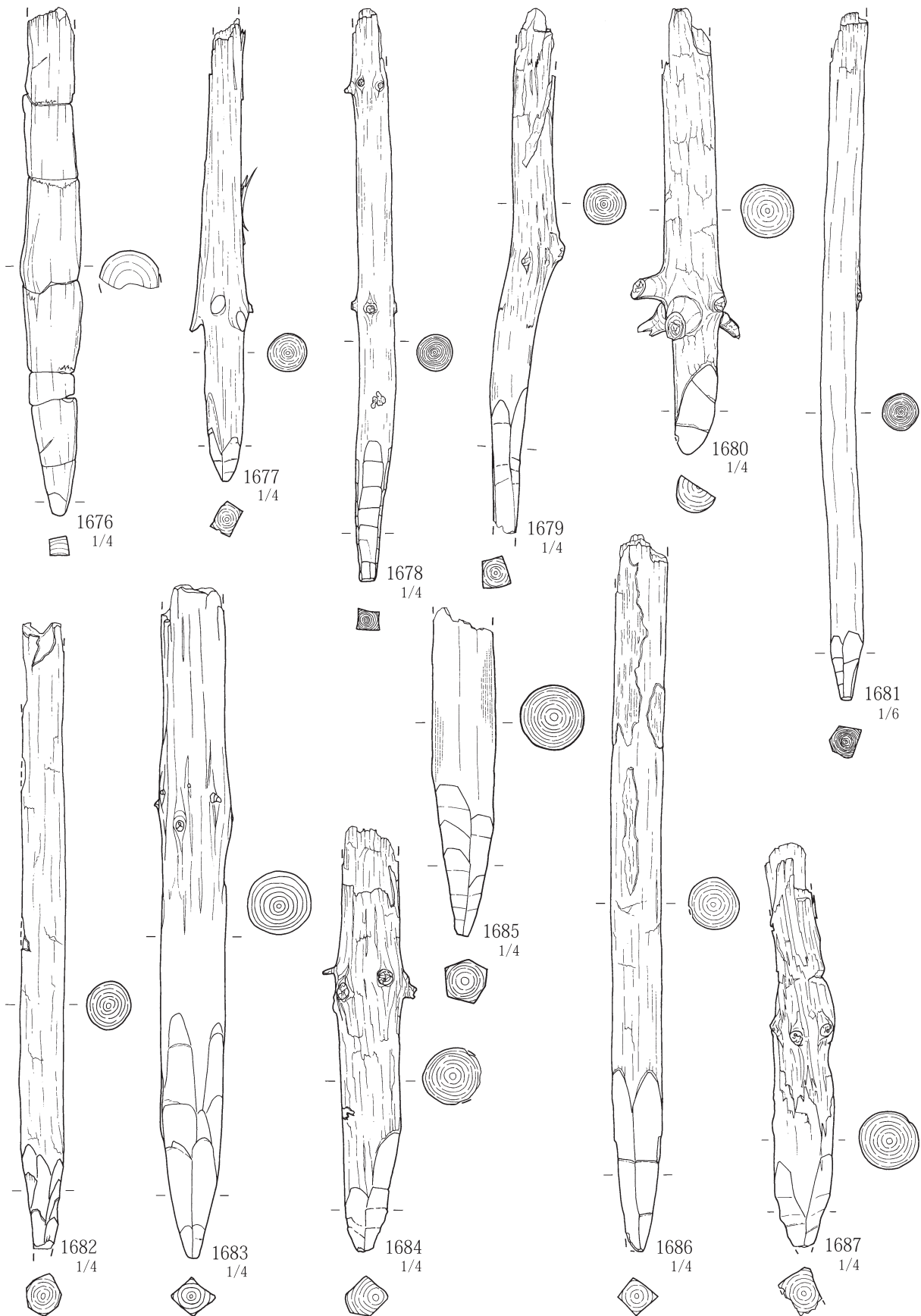
第296図 木製品実測図 14/43



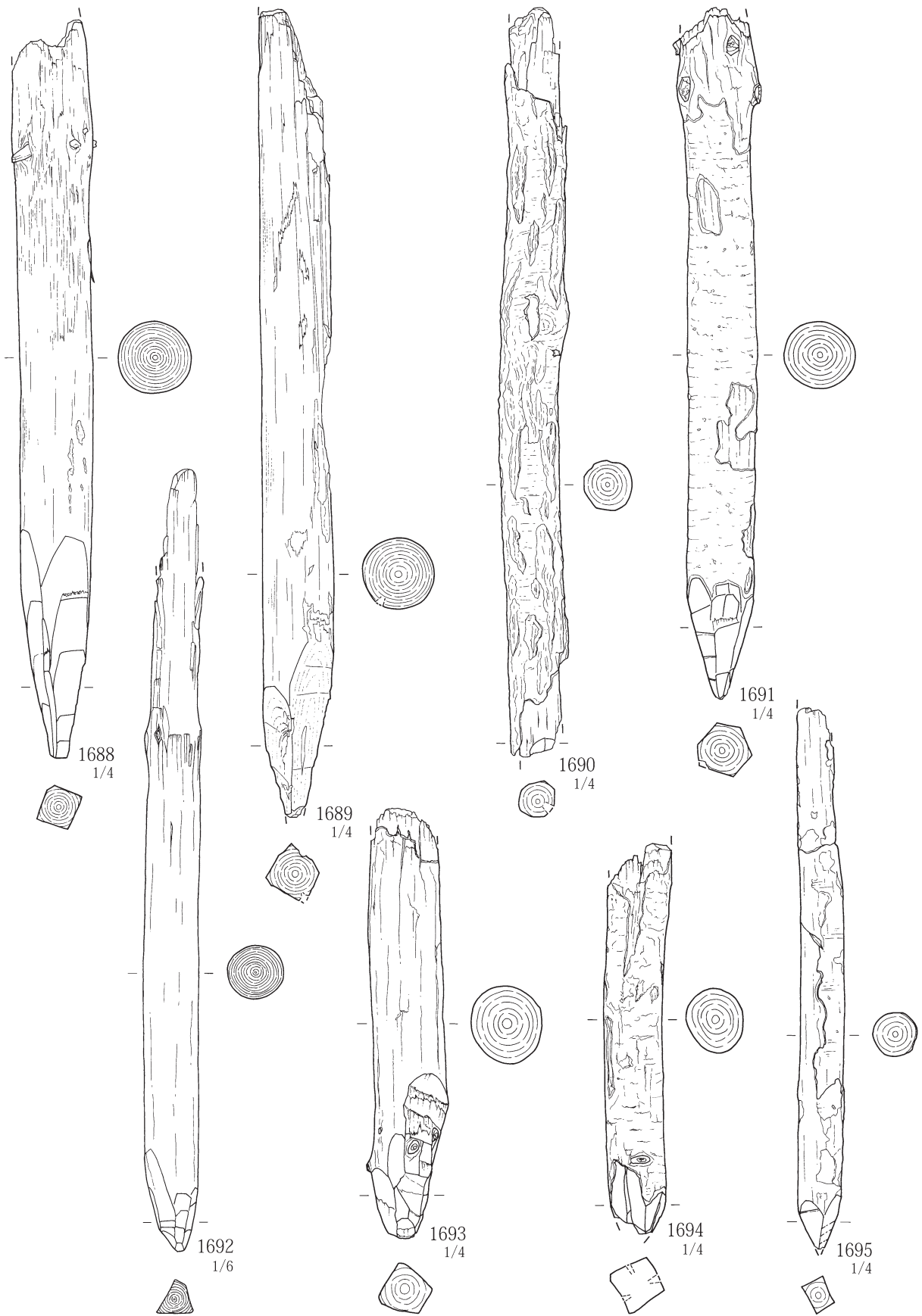
第297図 木製品実測図 15/43



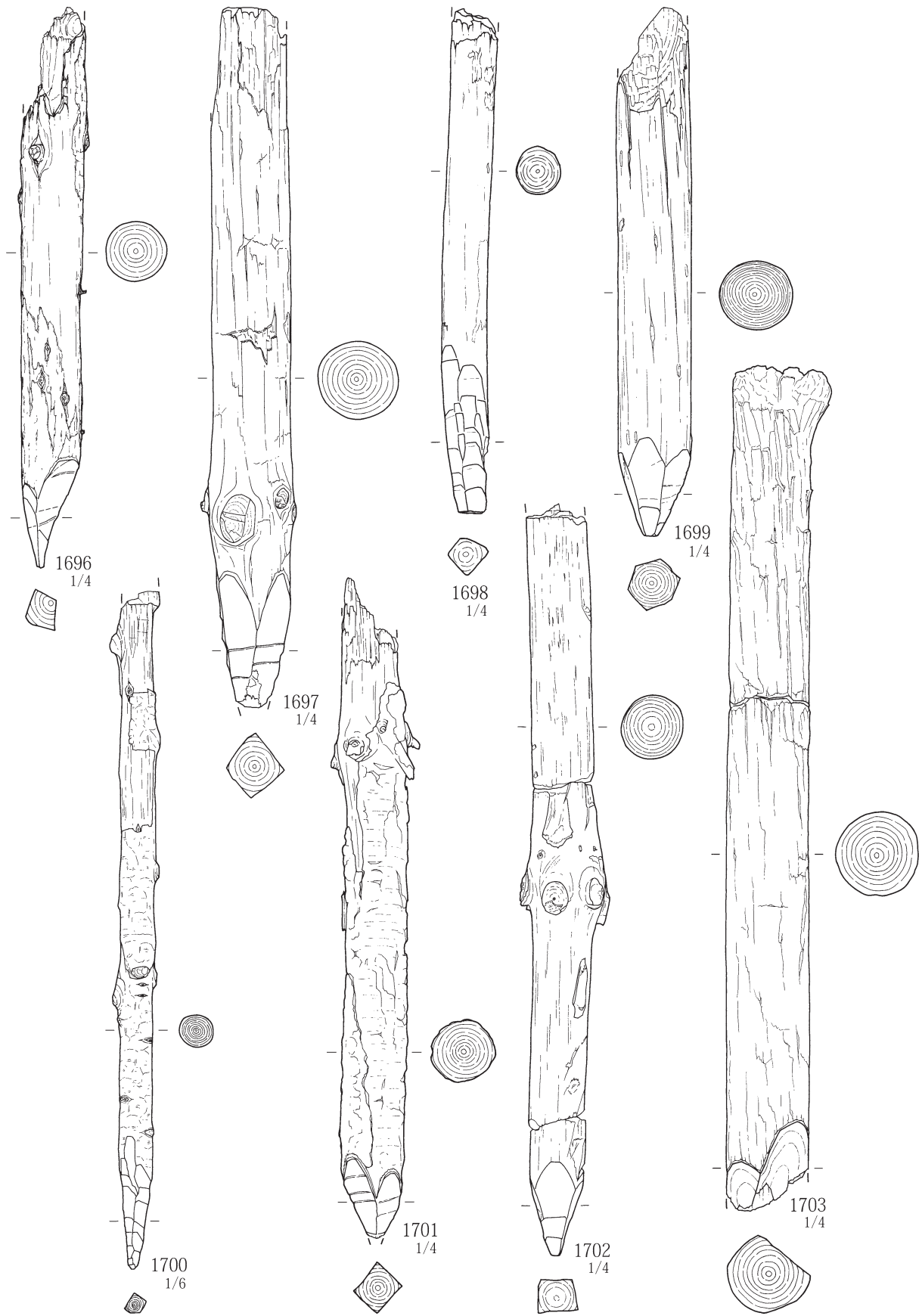
第298図 木製品実測図 16/43



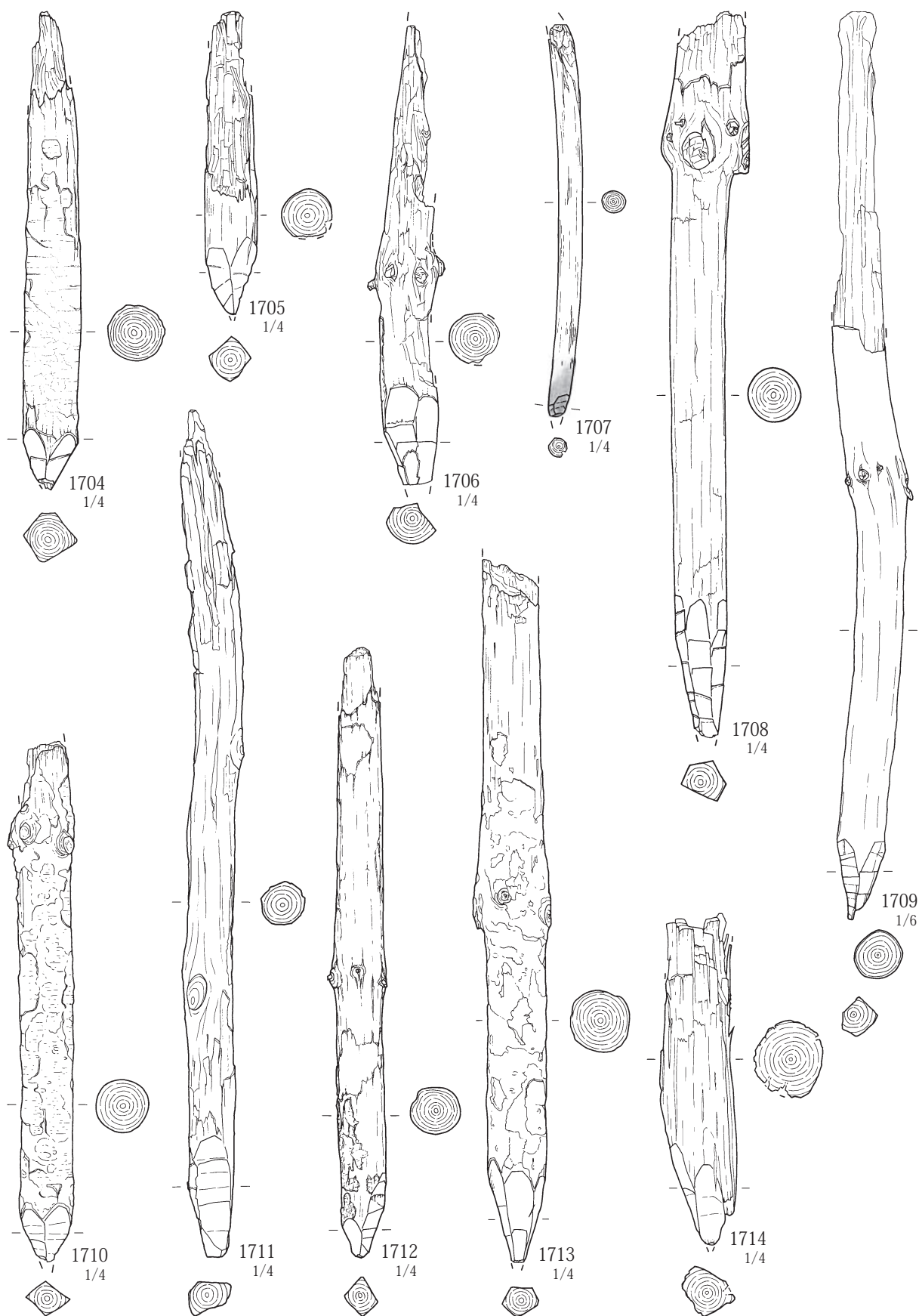
第299図 木製品実測図 17/43



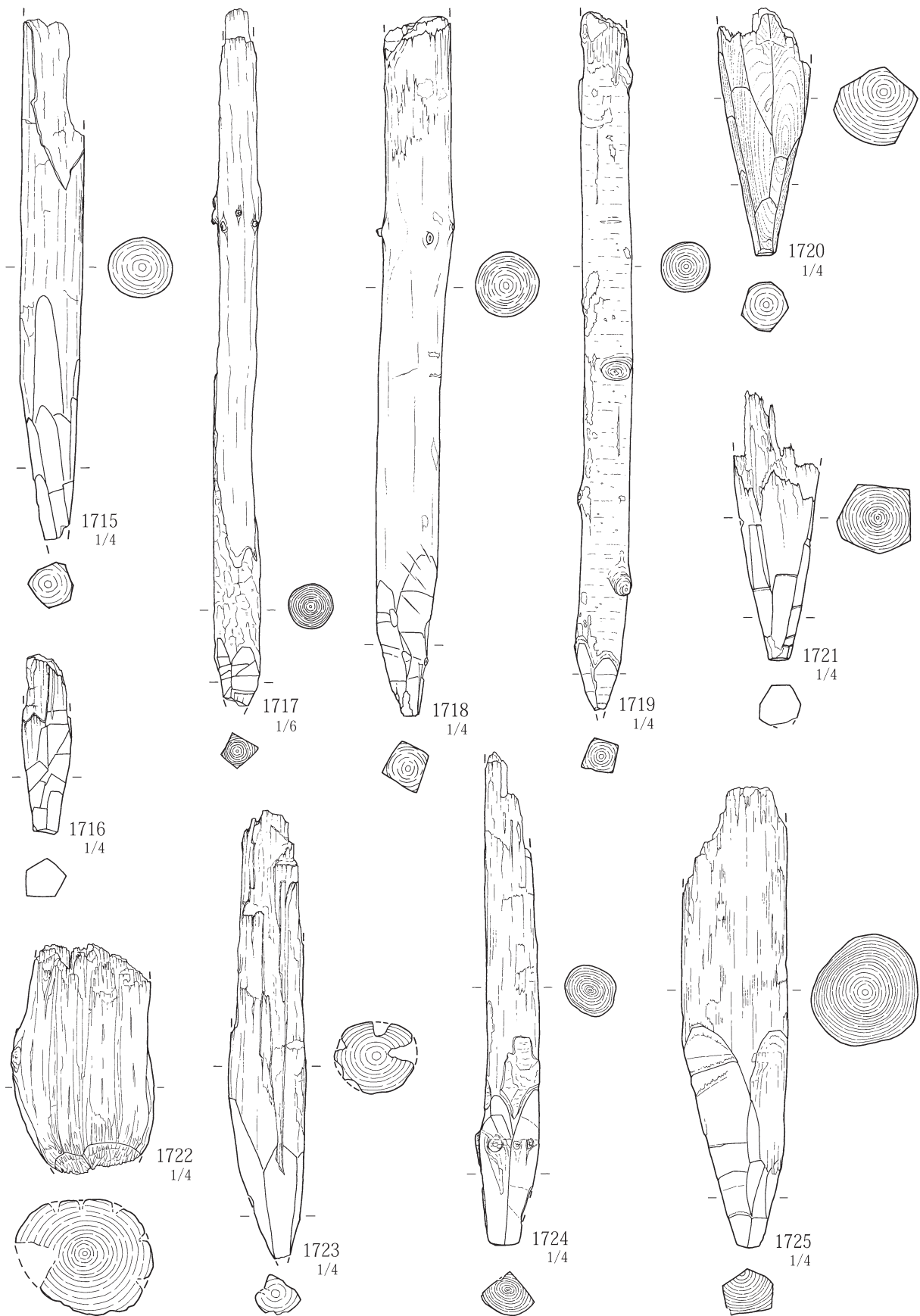
第300図 木製品実測図 18/43



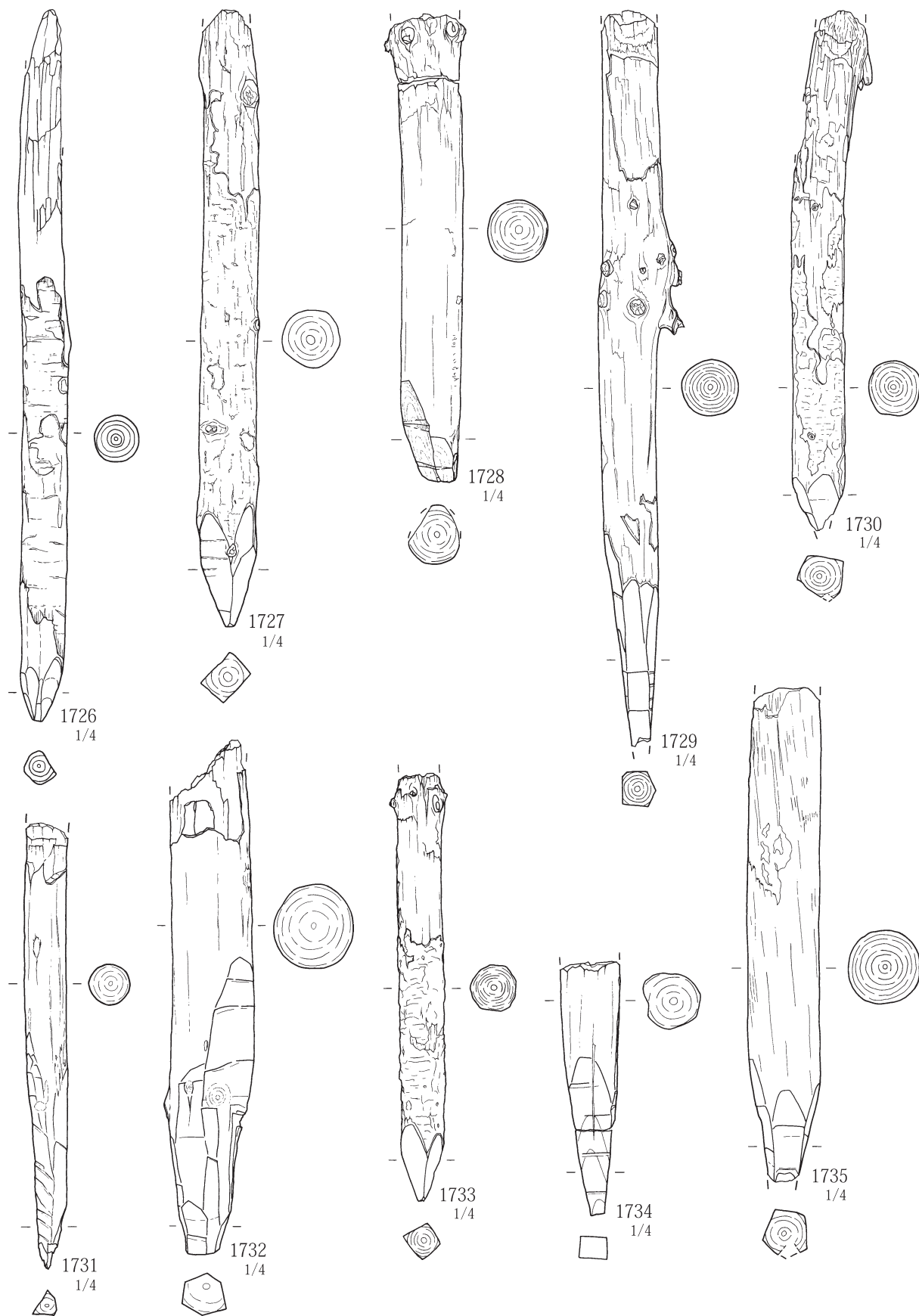
第301図 木製品実測図 19/43



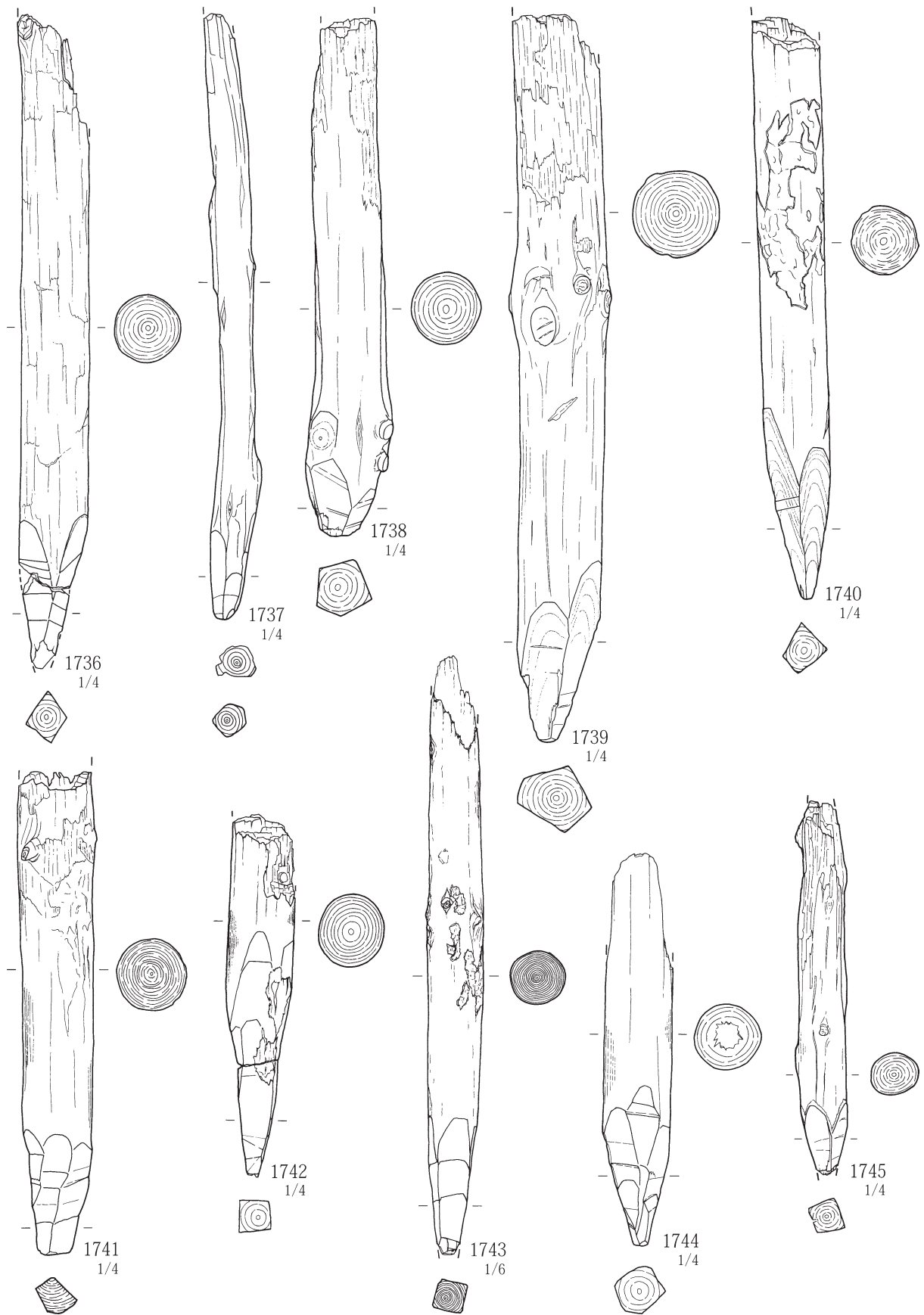
第302図 木製品実測図 20/43



第303図 木製品実測図 21/43



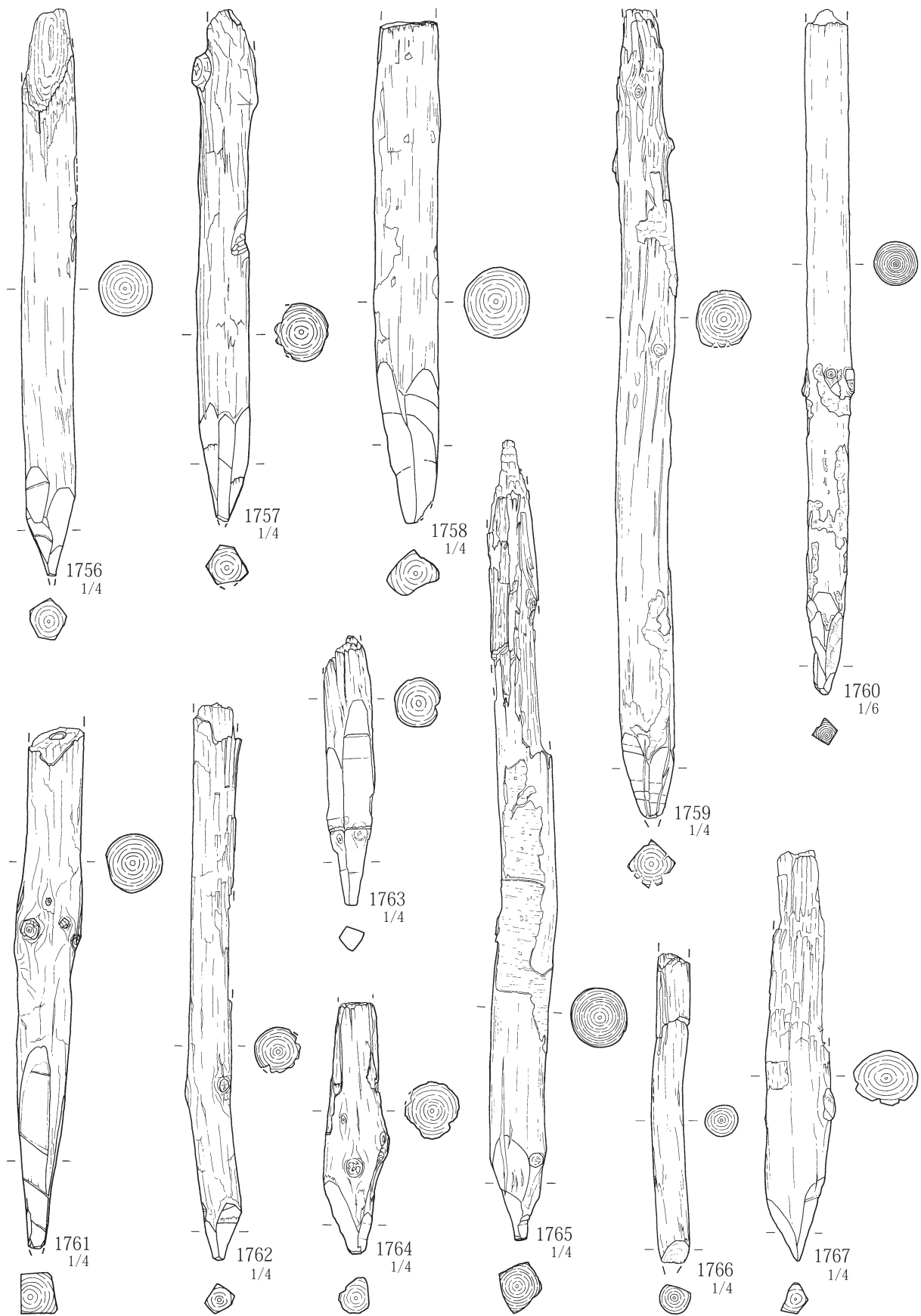
第304図 木製品実測図 22/43



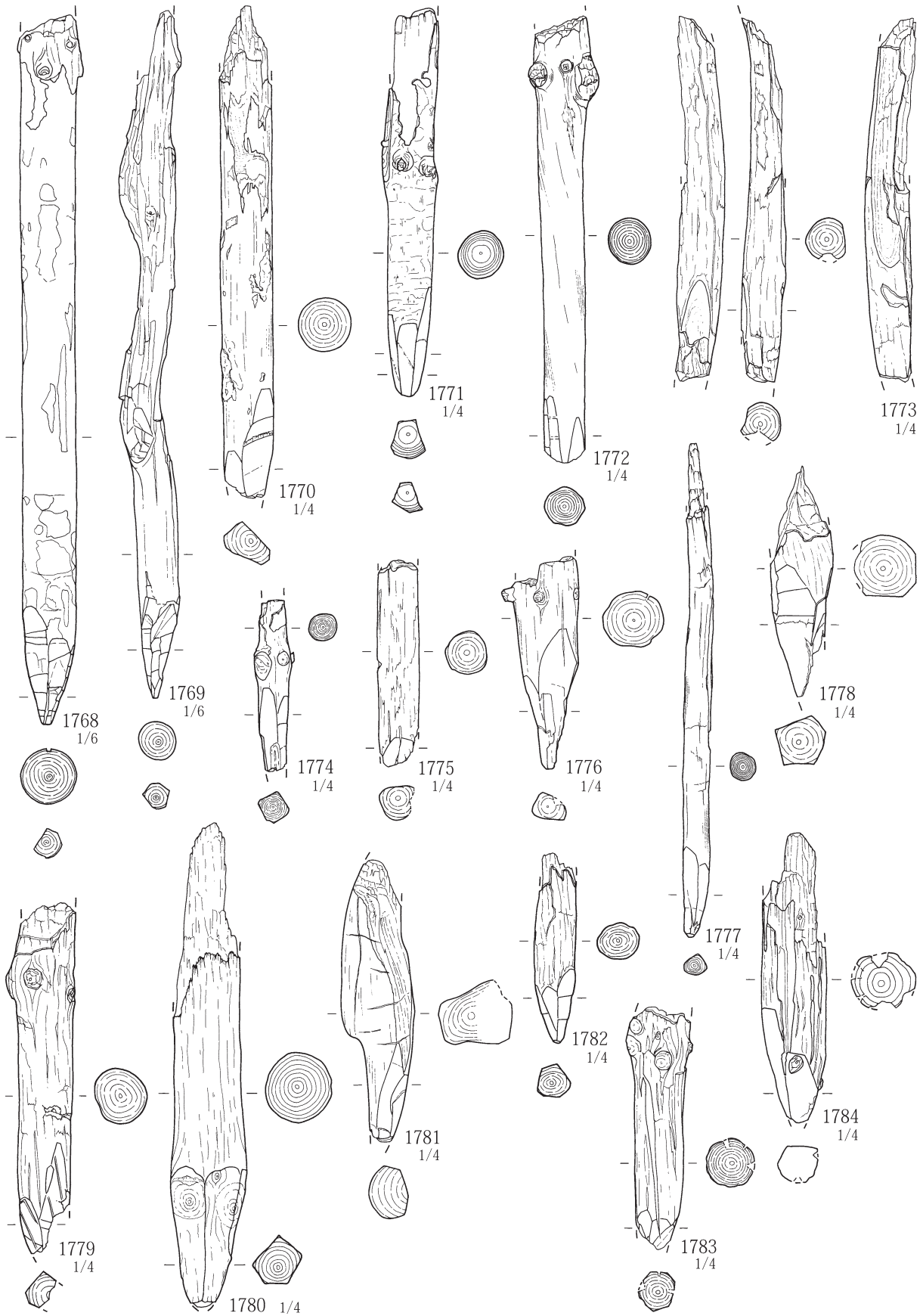
第305図 木製品実測図 23/43



第306図 木製品実測図 24/43

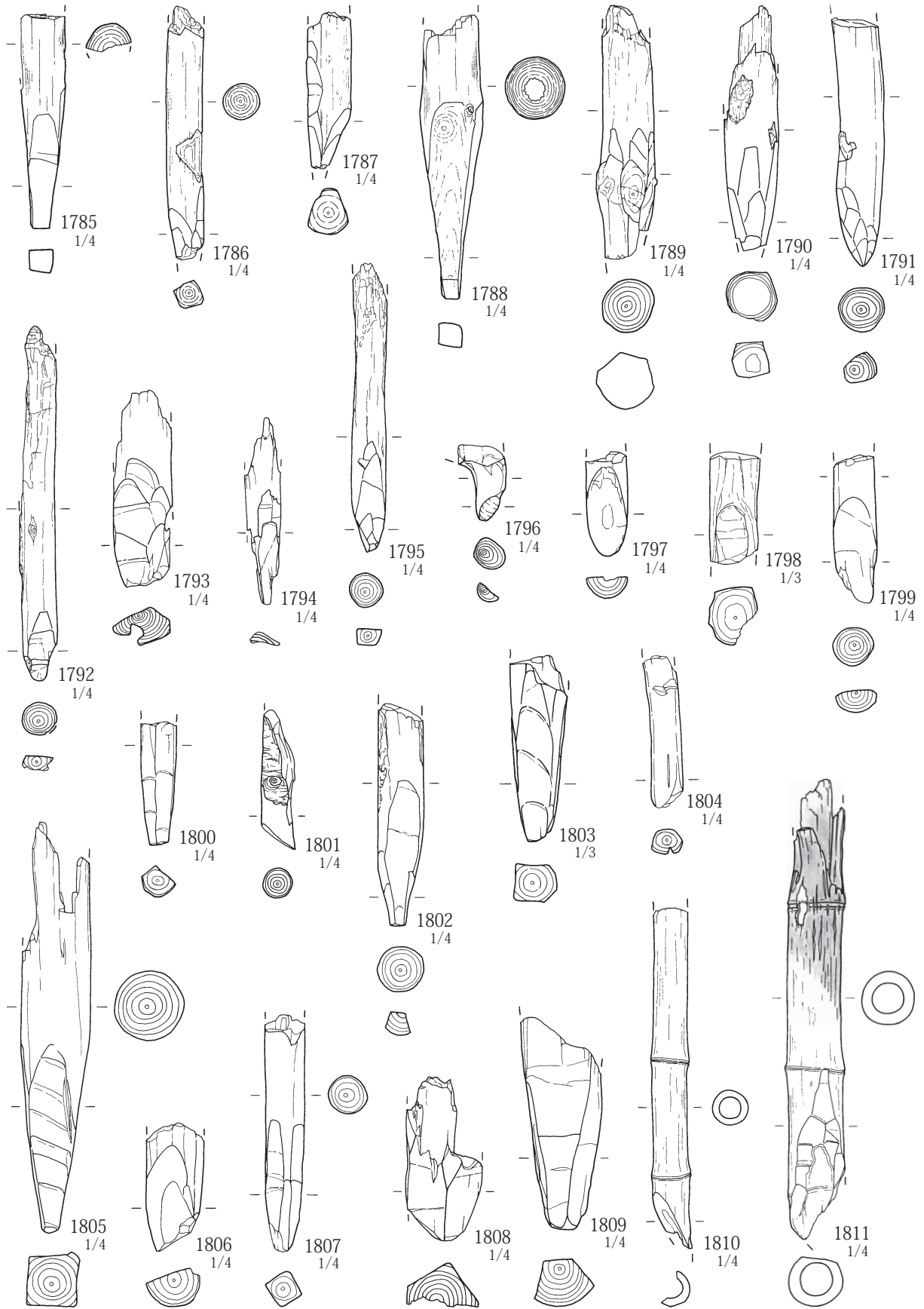


第307図 木製品実測図 25/43

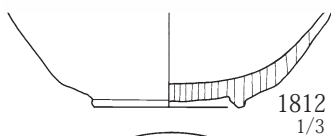
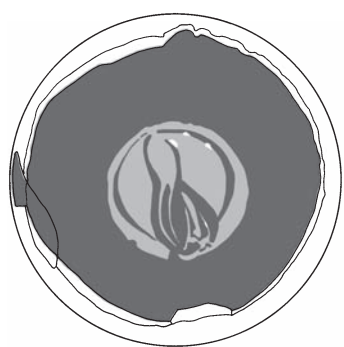


第308図 木製品実測図 26/43

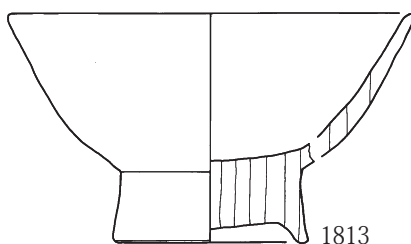
発見された遺構と出土遺物



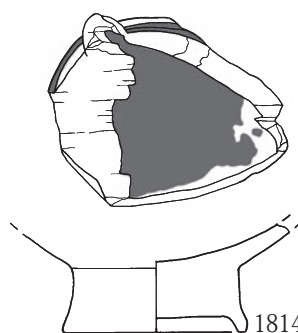
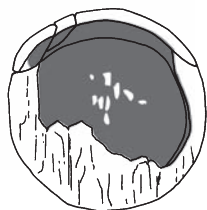
第309図 木製品実測図 27/43



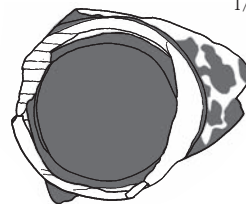
1812
1/3



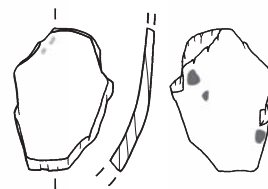
1813
1/3



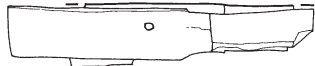
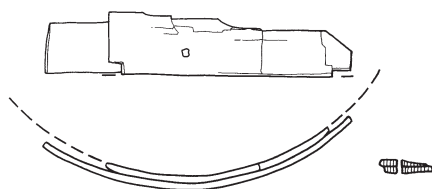
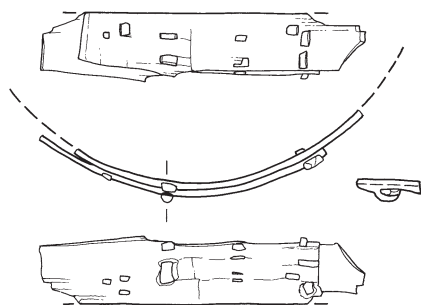
1814
1/3



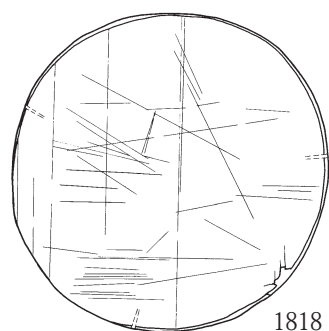
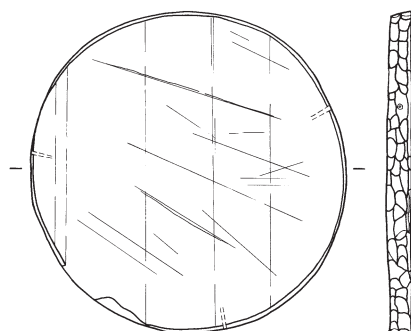
1815
1/3



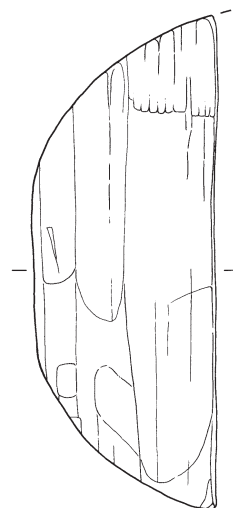
1816
1/3



1817
1/3

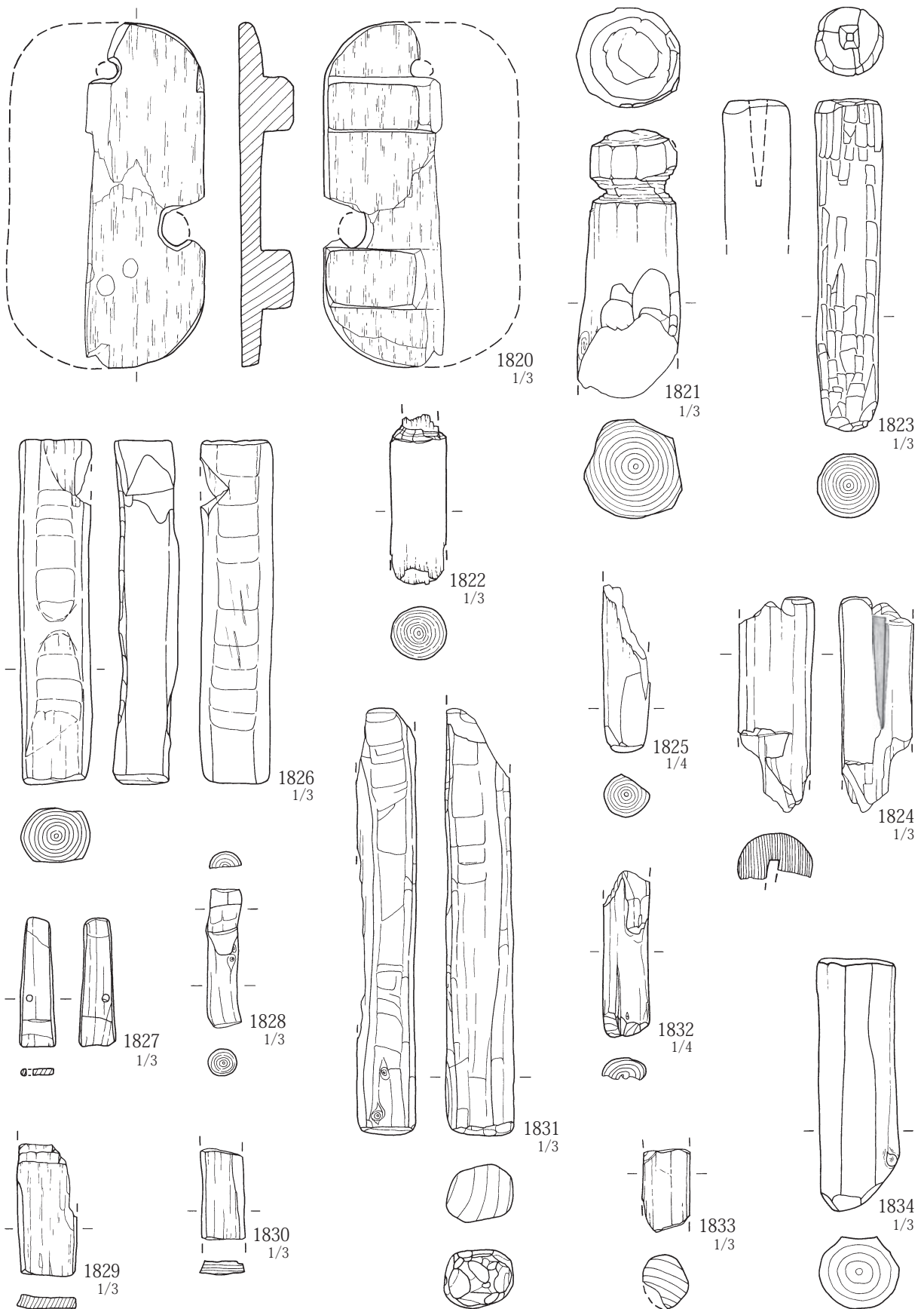


1818
1/3

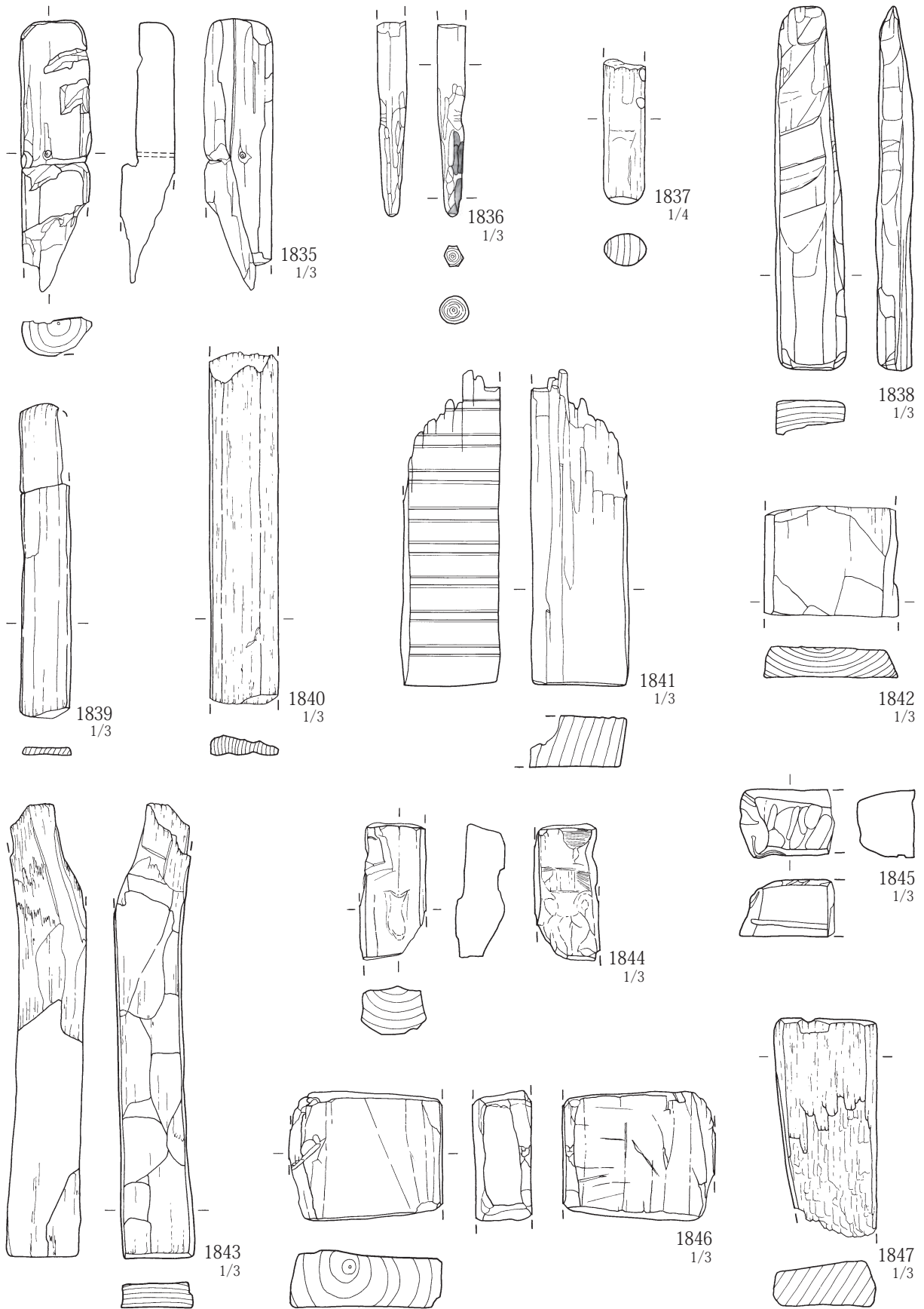


1819
1/3

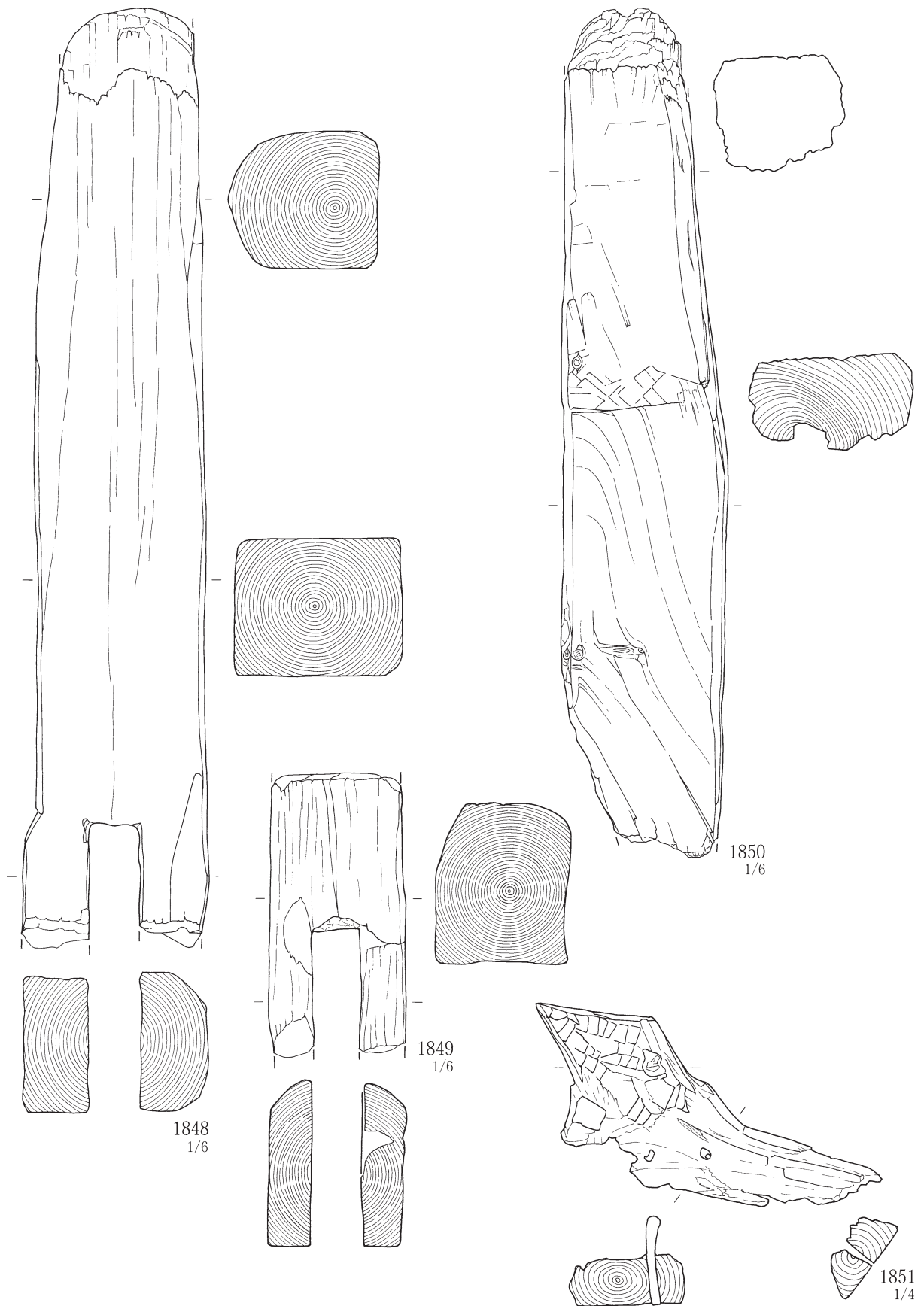
第310図 木製品実測図 28/43



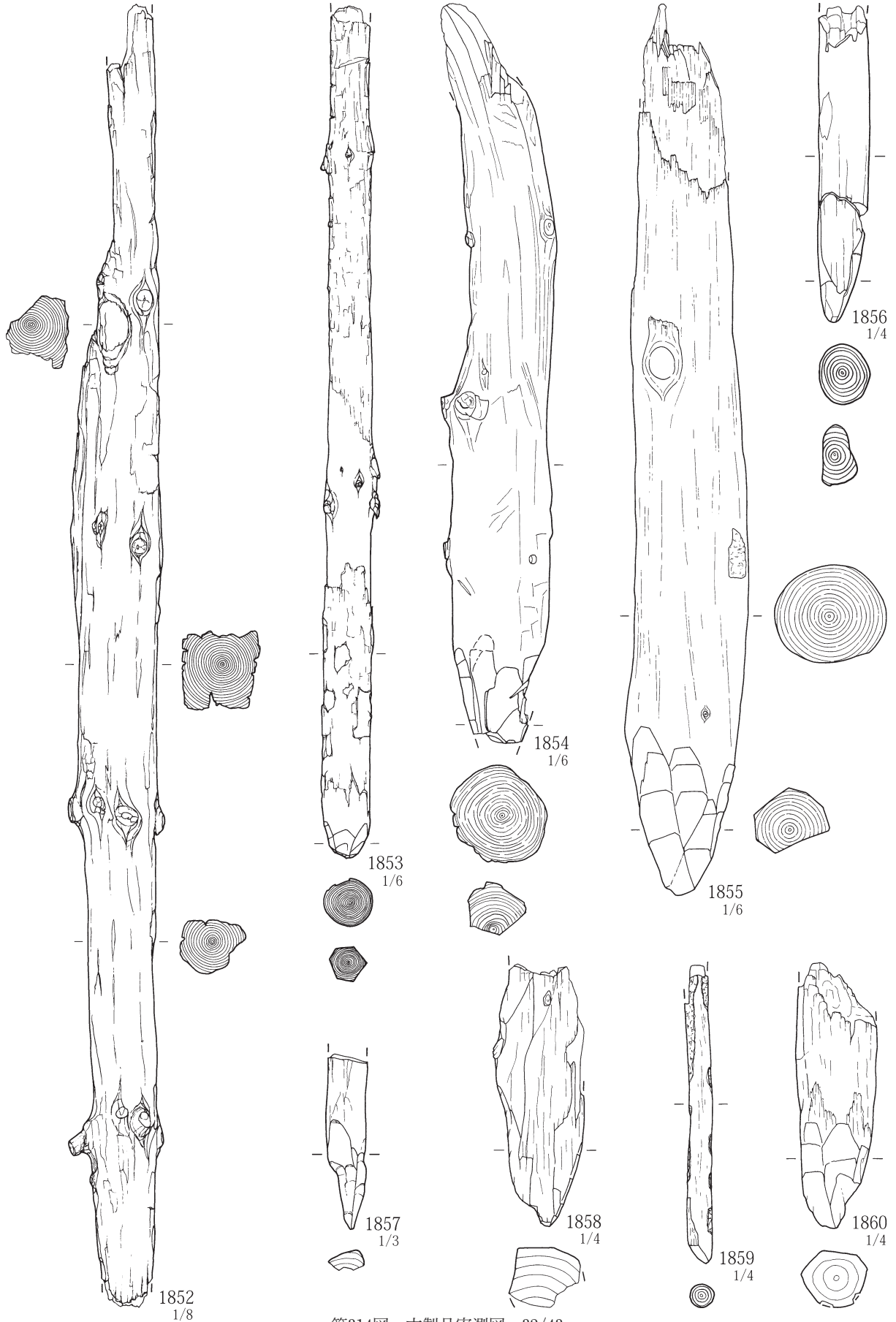
第311図 木製品実測図 29/43



第312図 木製品実測図 30/43



第313図 木製品実測図 31/43



第314図 木製品実測図 32/43



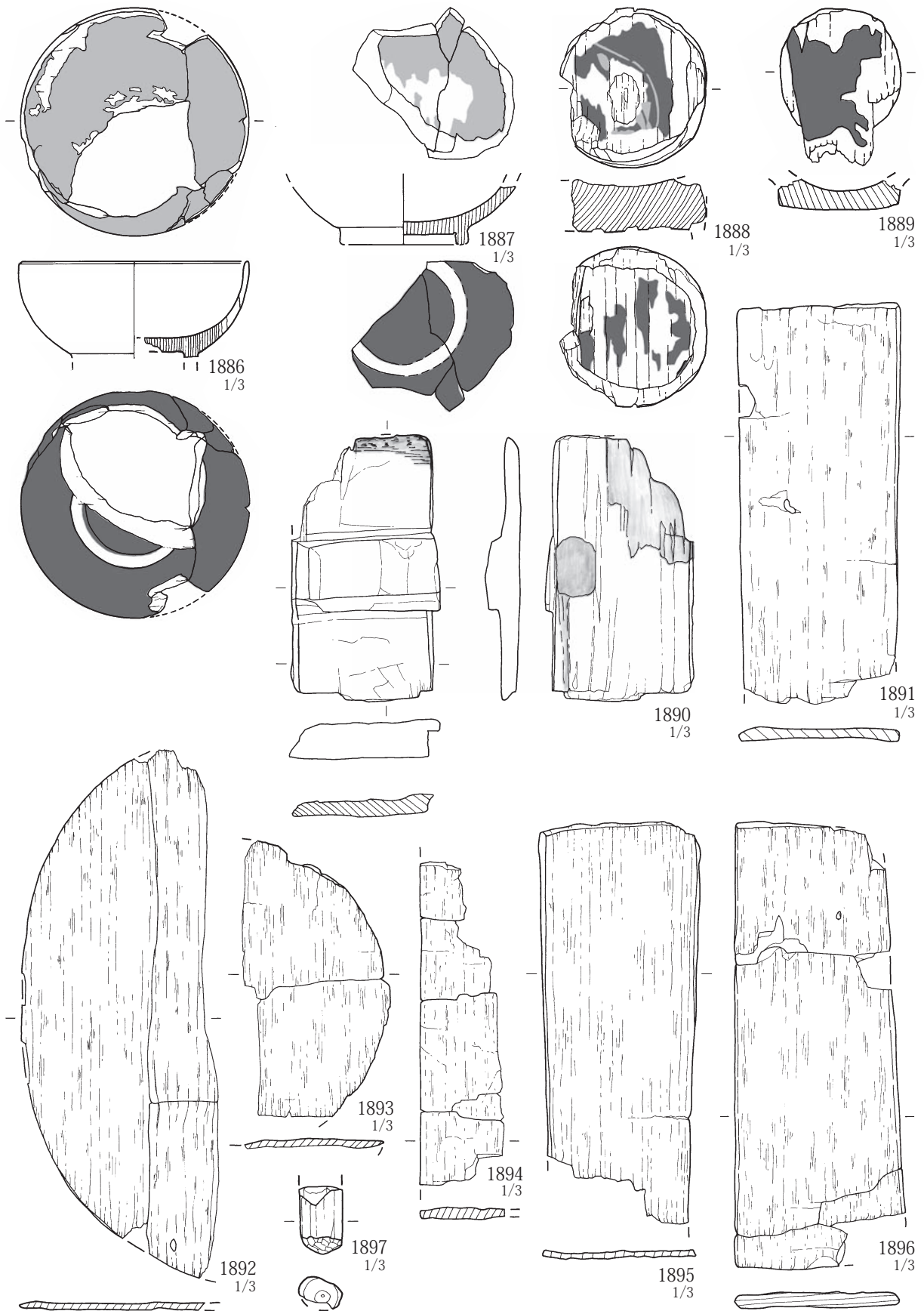
第315図 木製品実測図 33/43



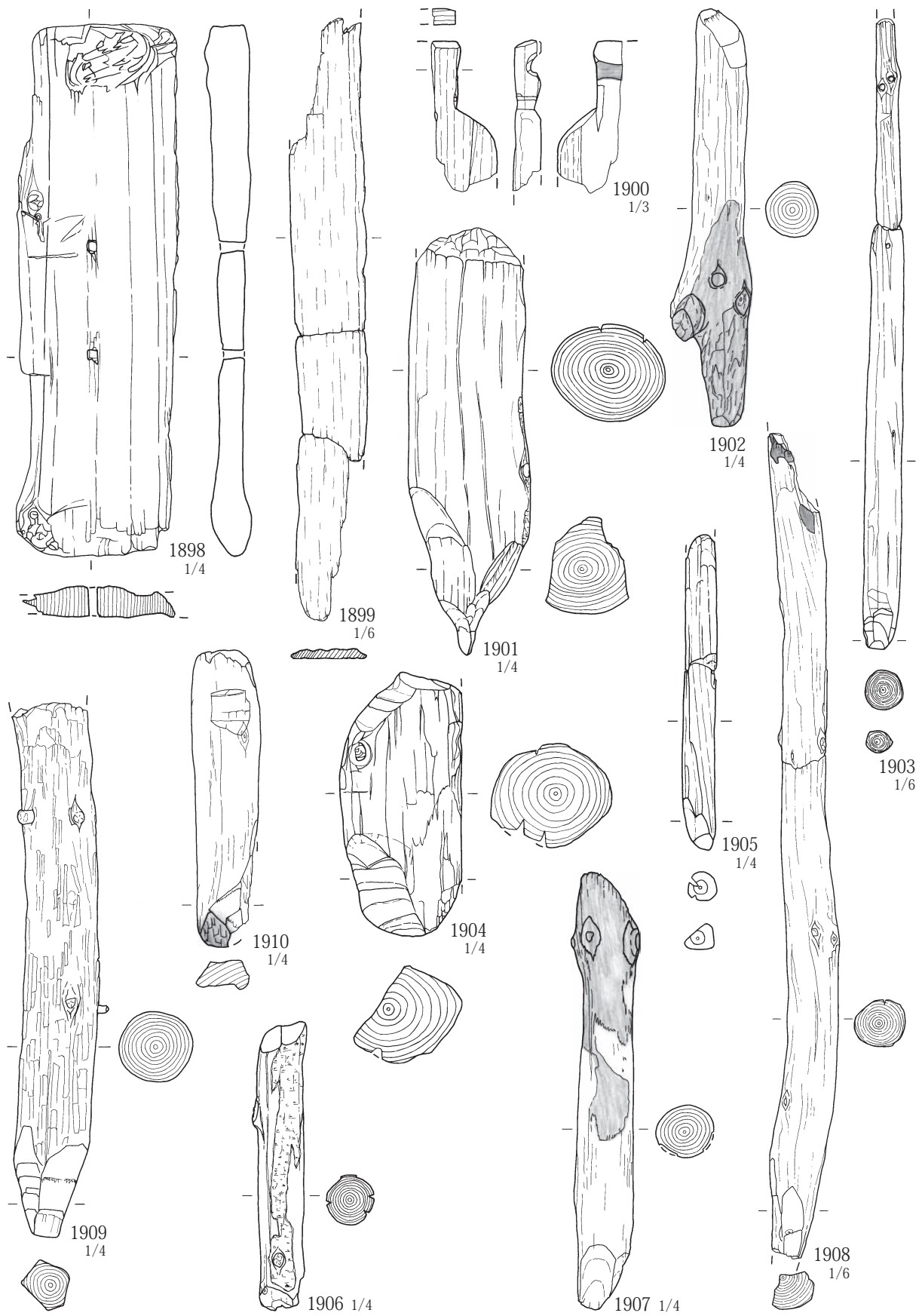
第316図 木製品実測図 34/43



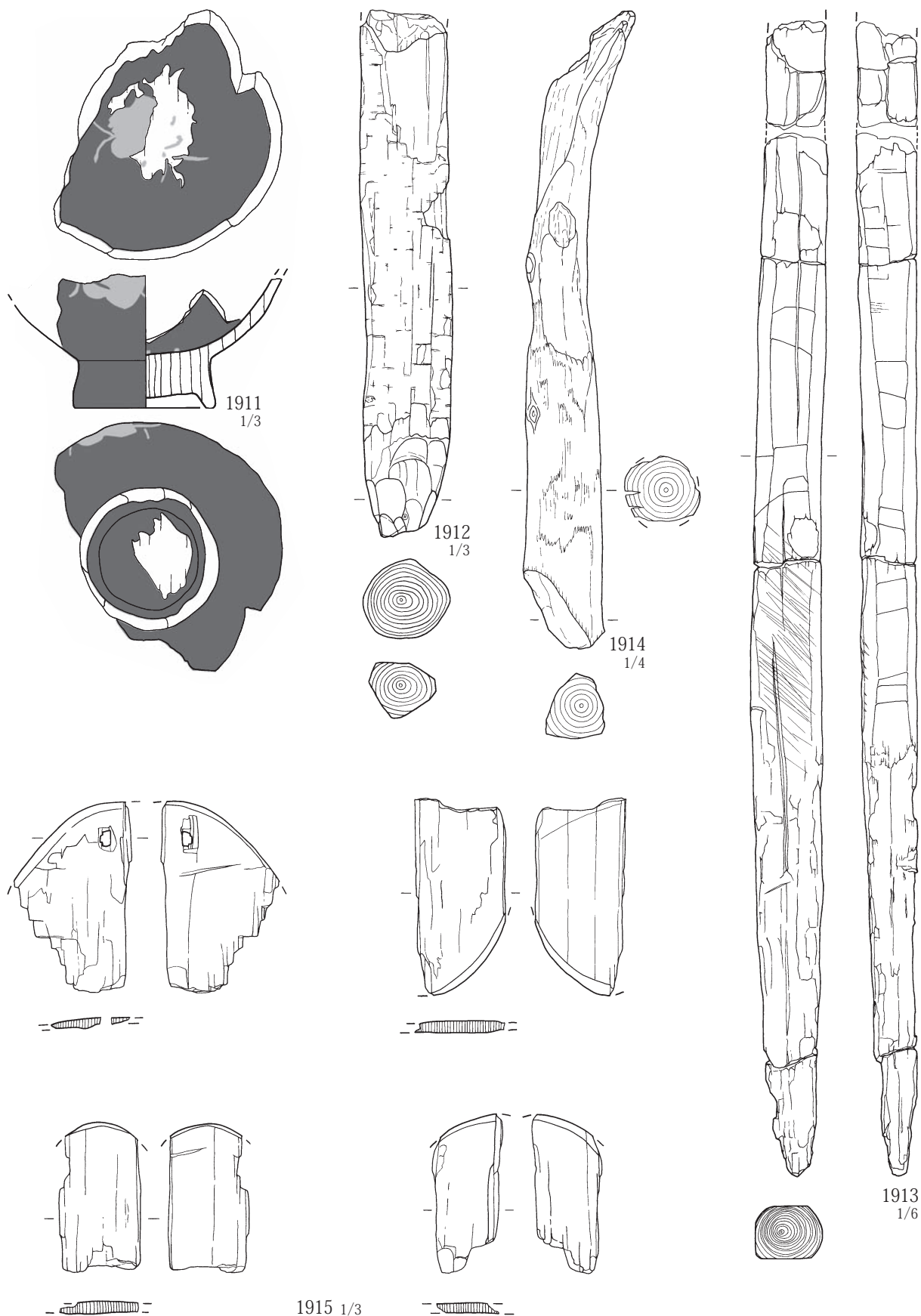
第317図 木製品実測図 35/43



第318図 木製品実測図 36/43

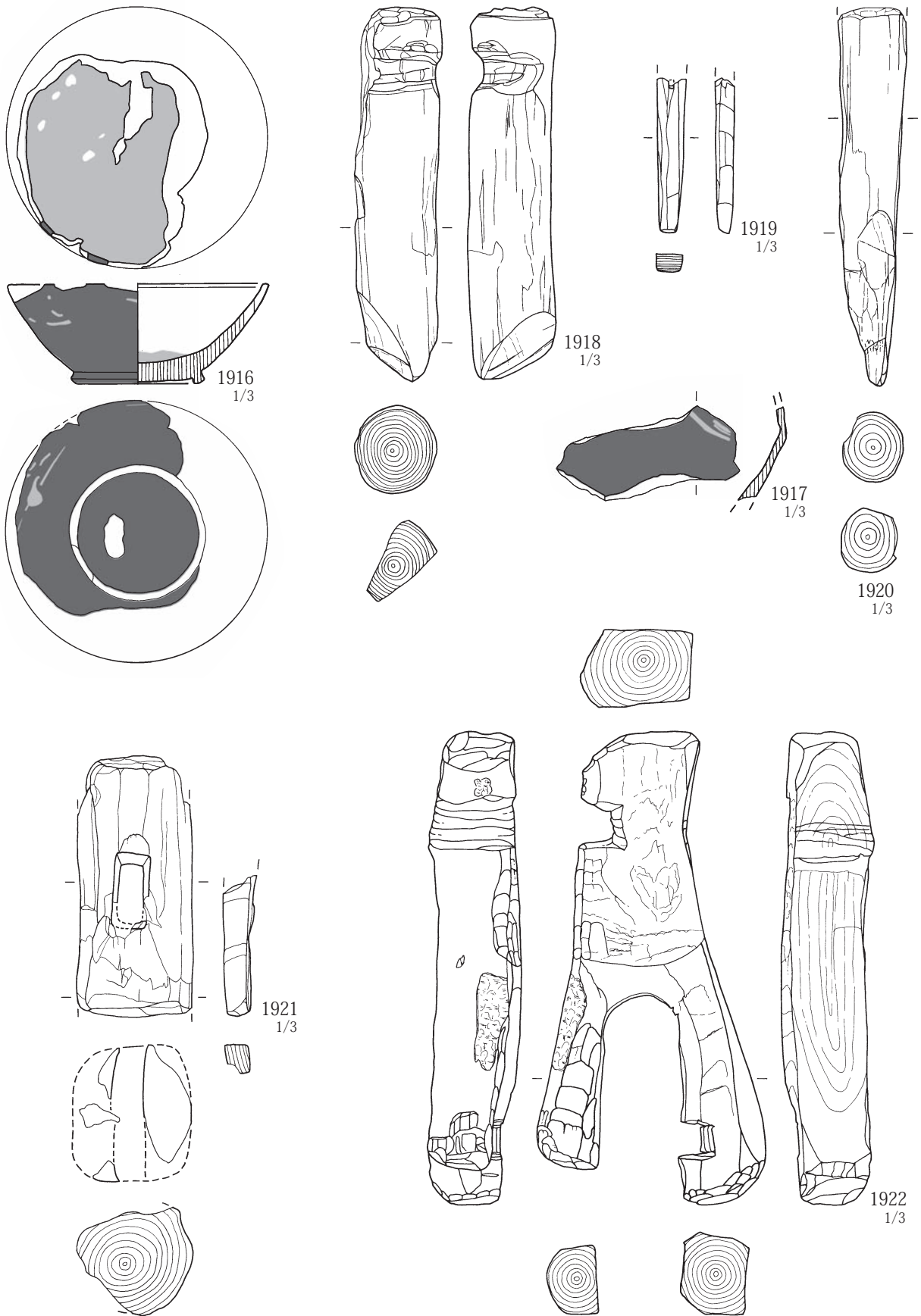


第319図 木製品実測図 37/43

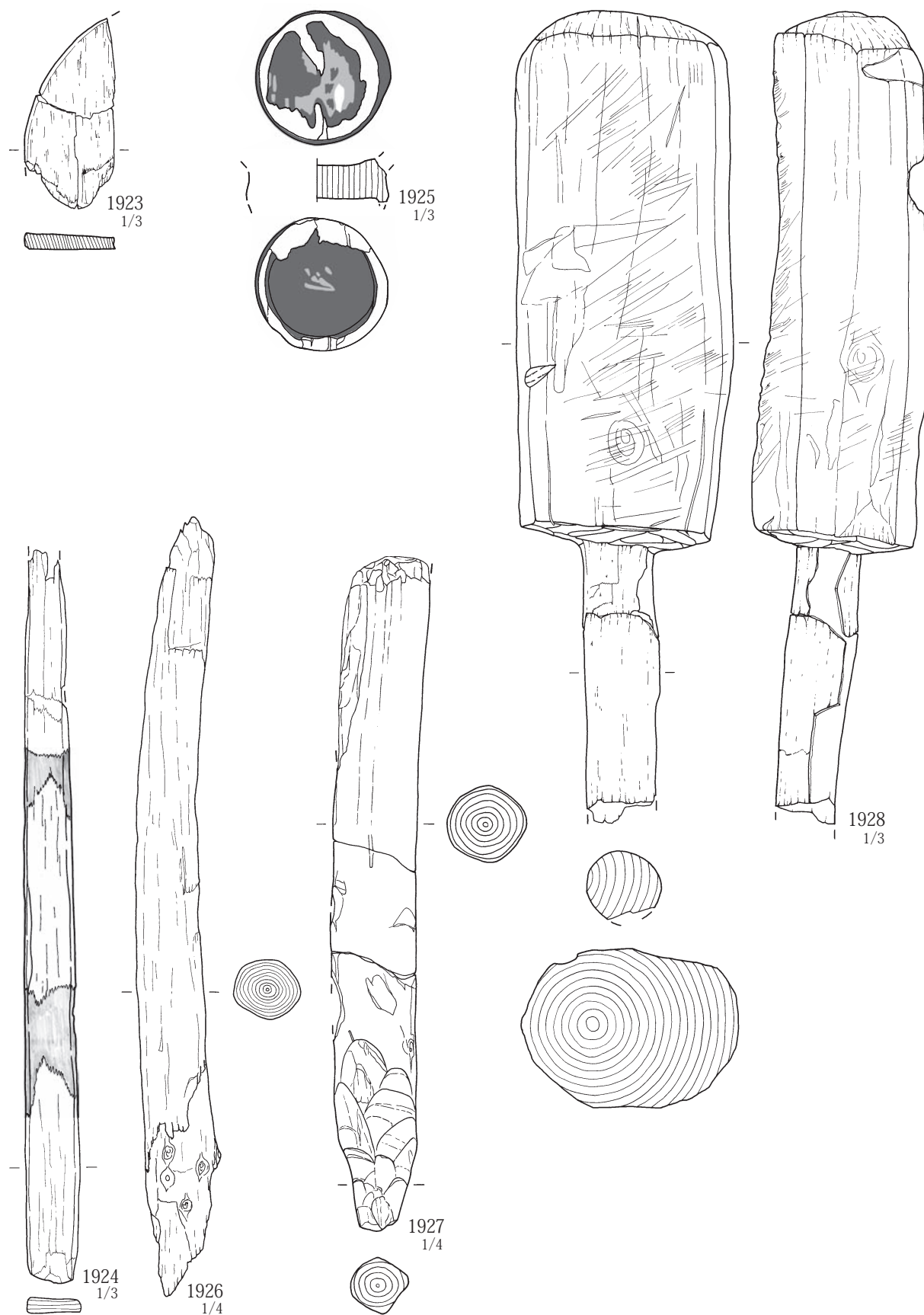


第320図 木製品実測図 38/43

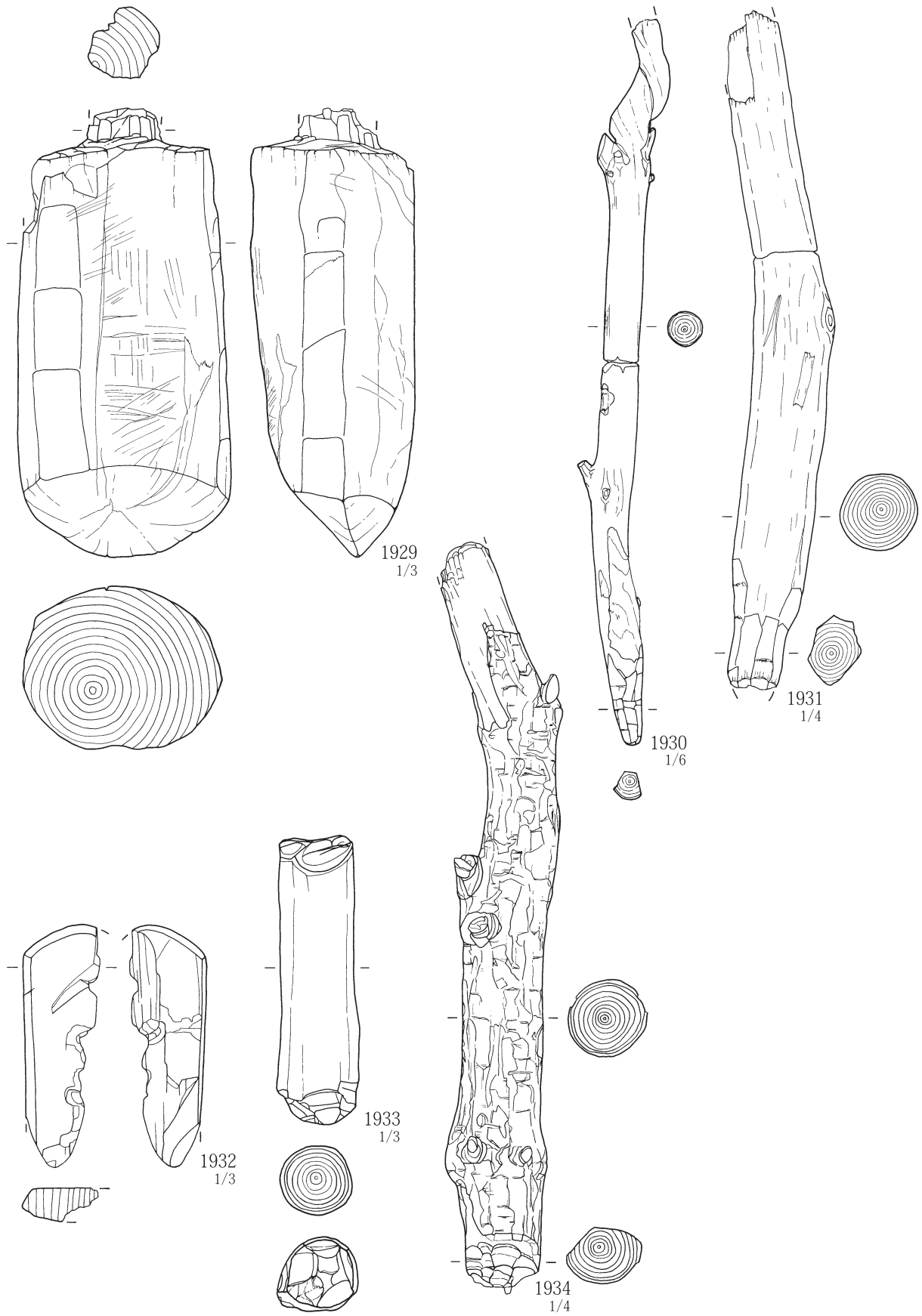
発見された遺構と出土遺物



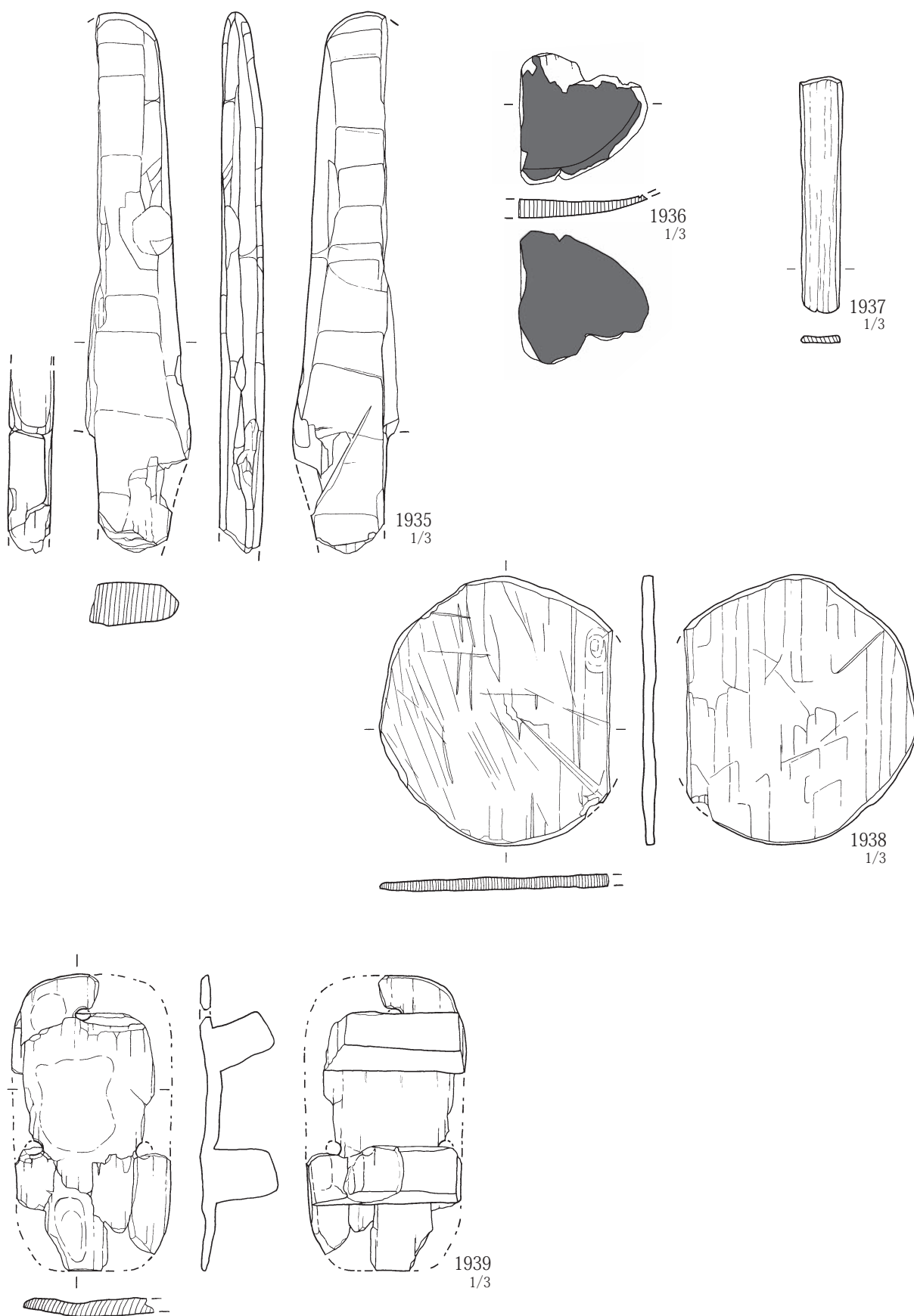
第321図 木製品実測図 39/43



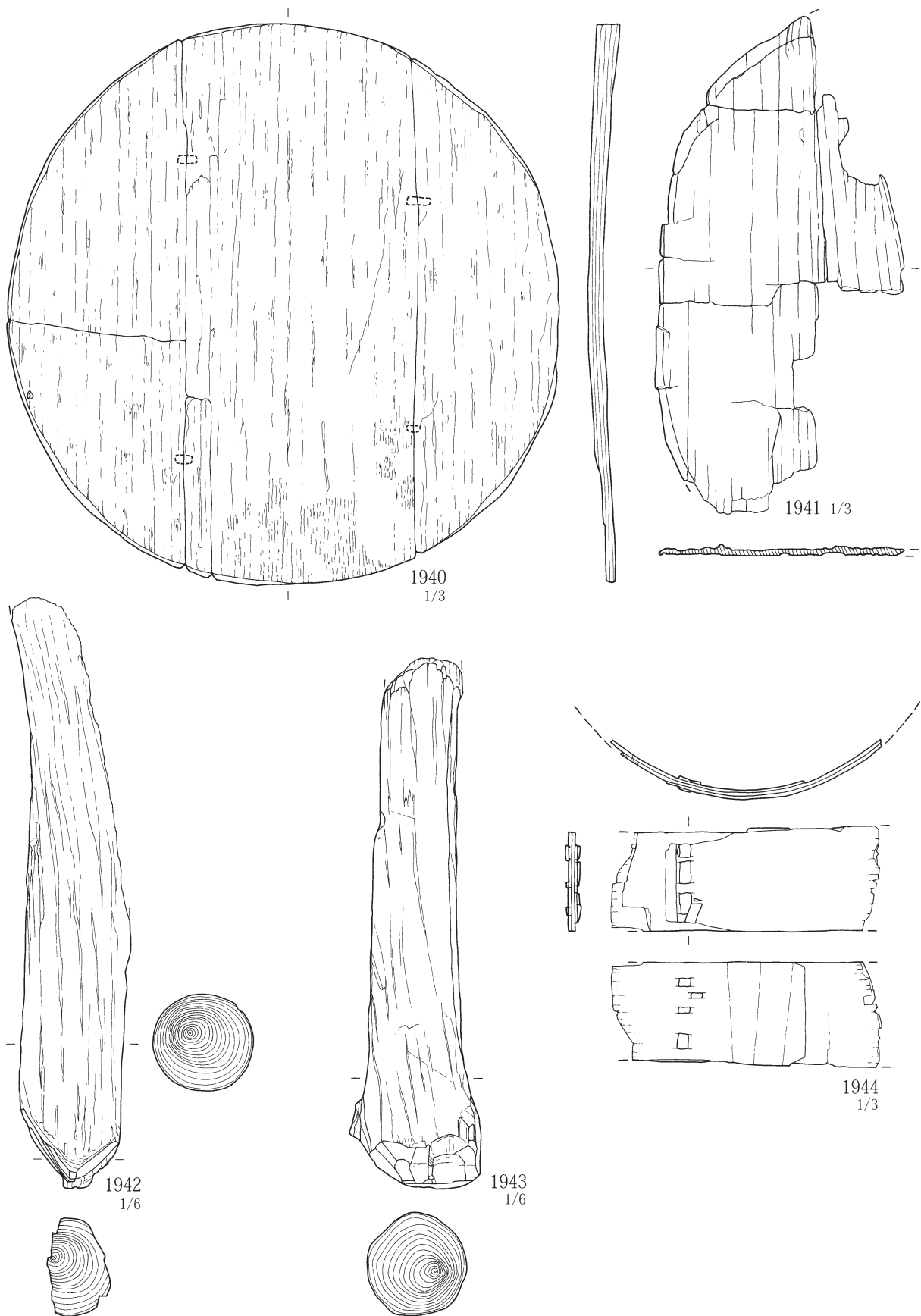
第322図 木製品実測図 40/43



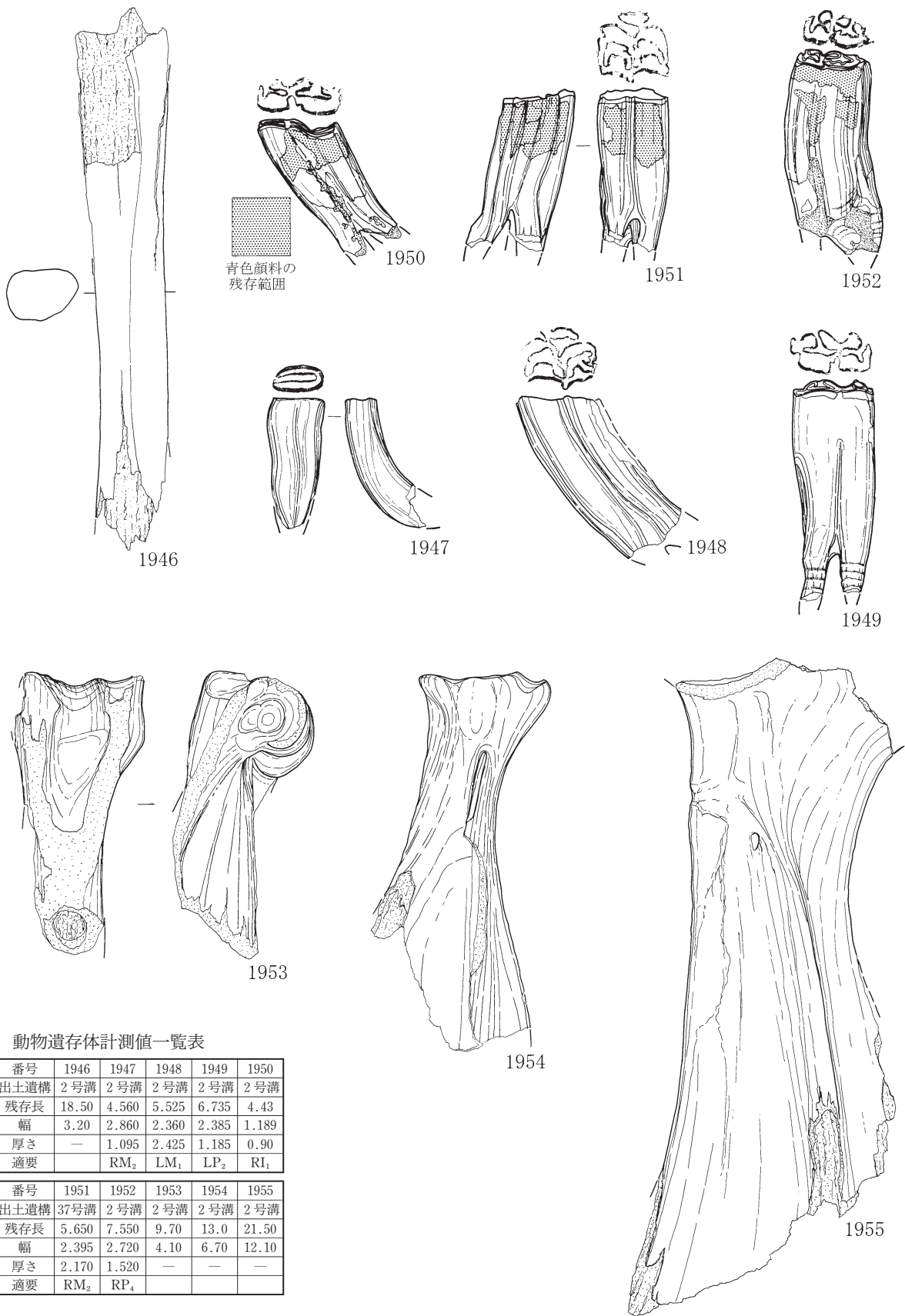
第323図 木製品実測図 41/43



第324図 木製品実測図 42/43



第325図 木製品実測図 43/43



動物遺存体計測値一覧表

番号	1946	1947	1948	1949	1950
出土遺構	2号溝	2号溝	2号溝	2号溝	2号溝
残存長	18.50	4.560	5.525	6.735	4.43
幅	3.20	2.860	2.360	2.385	1.189
厚さ	—	1.095	2.425	1.185	0.90
適要		RM ₂	LM ₁	LP ₂	RI ₁

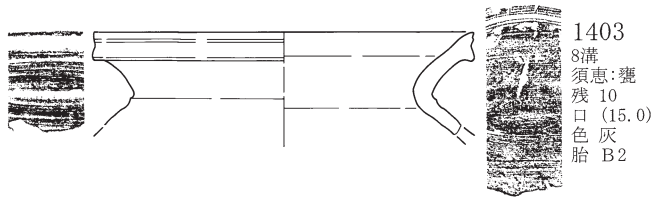
番号	1951	1952	1953	1954	1955
出土遺構	37号溝	2号溝	2号溝	2号溝	2号溝
残存長	5.650	7.550	9.70	13.0	21.50
幅	2.395	2.720	4.10	6.70	12.10
厚さ	2.170	1.520	—	—	—
適要	RM ₂	RP ₄			

第326図 動物遺存体実測図 (1:2)

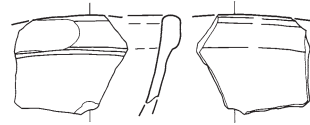
発見された遺構と出土遺物



第327図 調査I区遺構外出土遺物実測図 1/4 (1:3)



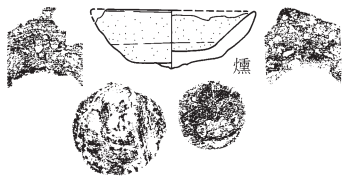
1403
8溝
須恵:甕
残 10
口 (15.0)
色 灰
胎 B2



1404
確認面
磁器:白磁碗
残 5
色 乳白
胎 B1
厚 0.4



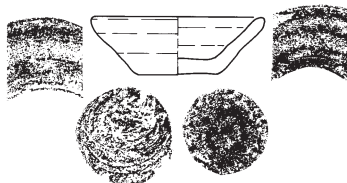
1405
2溝
須恵:大甕
残 1
色 黒褐
胎 B2
厚 0.9



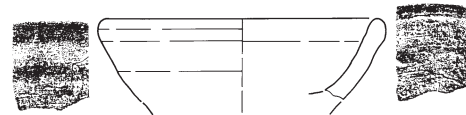
1406
残土内
土師質:皿
残 80
口 (6.5)
底 (3.5)
高 2.1
口/ (3.10)
底/ (1.67)
色 黒褐
胎 B1



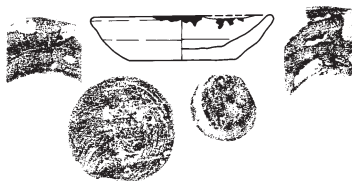
1407
土師質:皿
西中央整地
残 12
口 (10.4)
底 (5.0)
高 3.5
口/ (2.97)
底/ (1.43)
色 橙
胎 B2



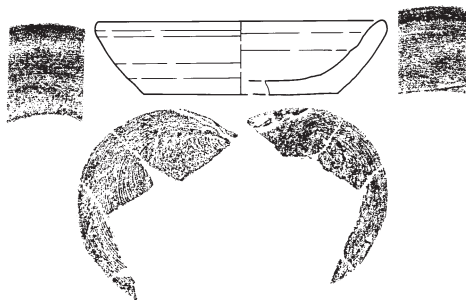
1408
西中央整地
土師質:皿
残 65
口 (6.8)
底 3.2
高 2.3
口/ (2.96)
底/ 1.39
色 鈍黄橙
胎 A2



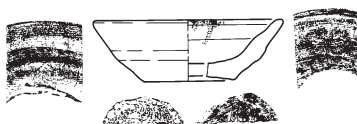
1409
南西中央整地
土師質:皿
残 30
口 (11.4)
色 鈍橙
胎 B2



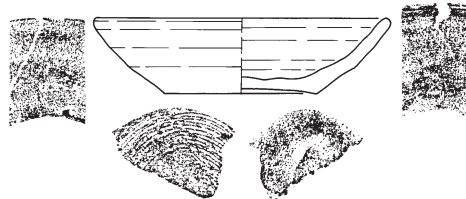
1410
残土内
土師質:皿
残 80
口 7.2
底 4.2
高 1.8
口/ 4.00
底/ 2.33
色 浅黄橙
胎 B2



1411
南西中央整地
土師質:皿
残 40
口 (11.4)
底 (7.6)
高 2.9
口/ (3.93)
底/ (2.62)
色 橙
胎 B2



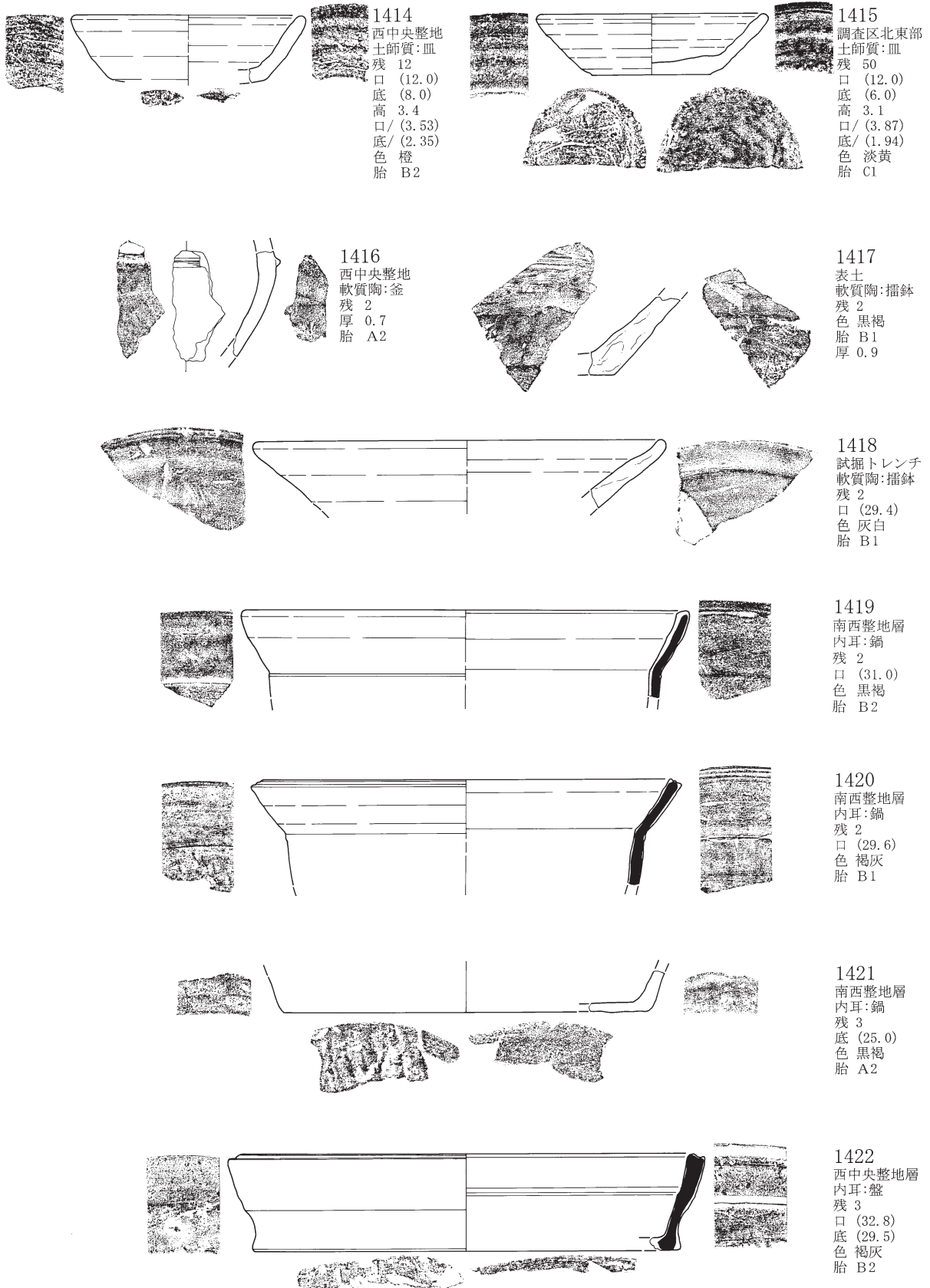
1412
試掘トレンチ
土師質:皿
残 40
口 (7.4)
底 (3.5)
高 2.4
口/ (3.08)
底/ (1.46)
色 浅橙
胎 C1



1413
残土内
土師質:皿
残 25
口 (11.6)
底 (6.0)
高 2.9
口/ (4.00)
底/ (2.07)
色 鈍黄橙
胎 B2

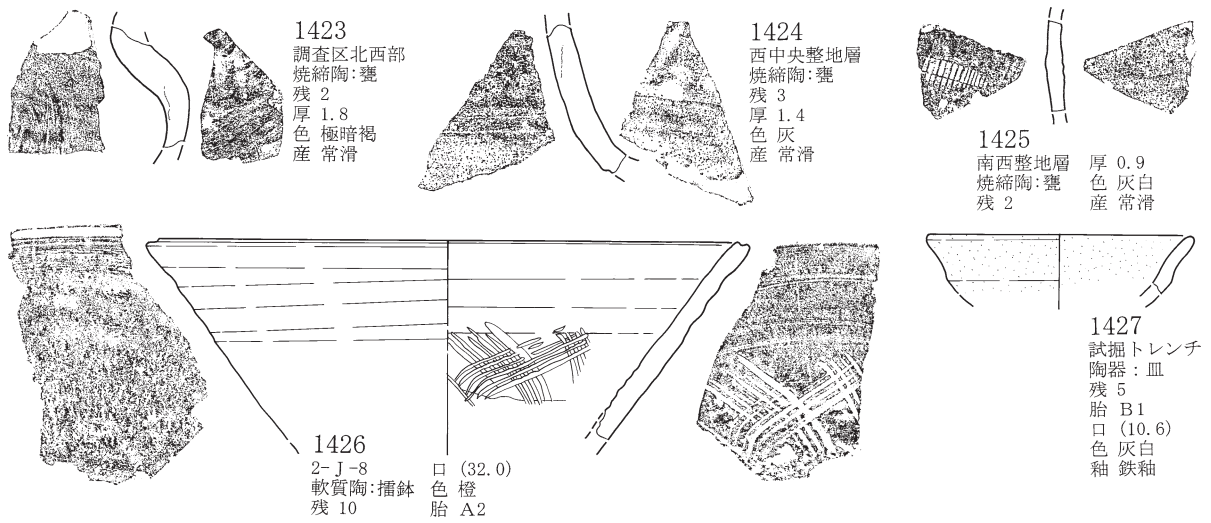
第328図 調査I区遺構外出土遺物実測図 2/4 (1:3)

発見された遺構と出土遺物

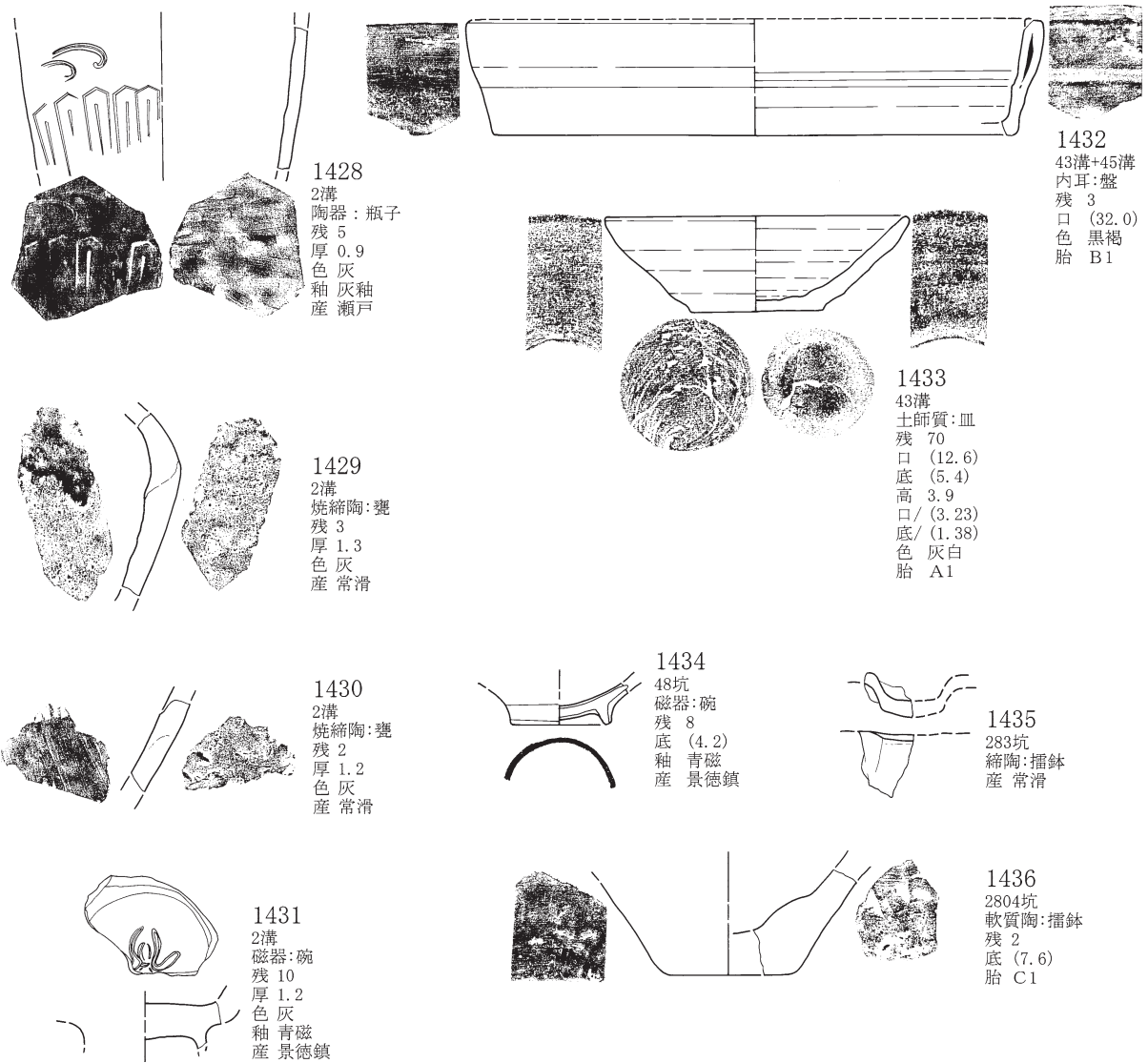


第329図 調査 I 区遺構外出土遺物実測図 3/4 (1:3・1:4)

発見された遺構と出土遺物

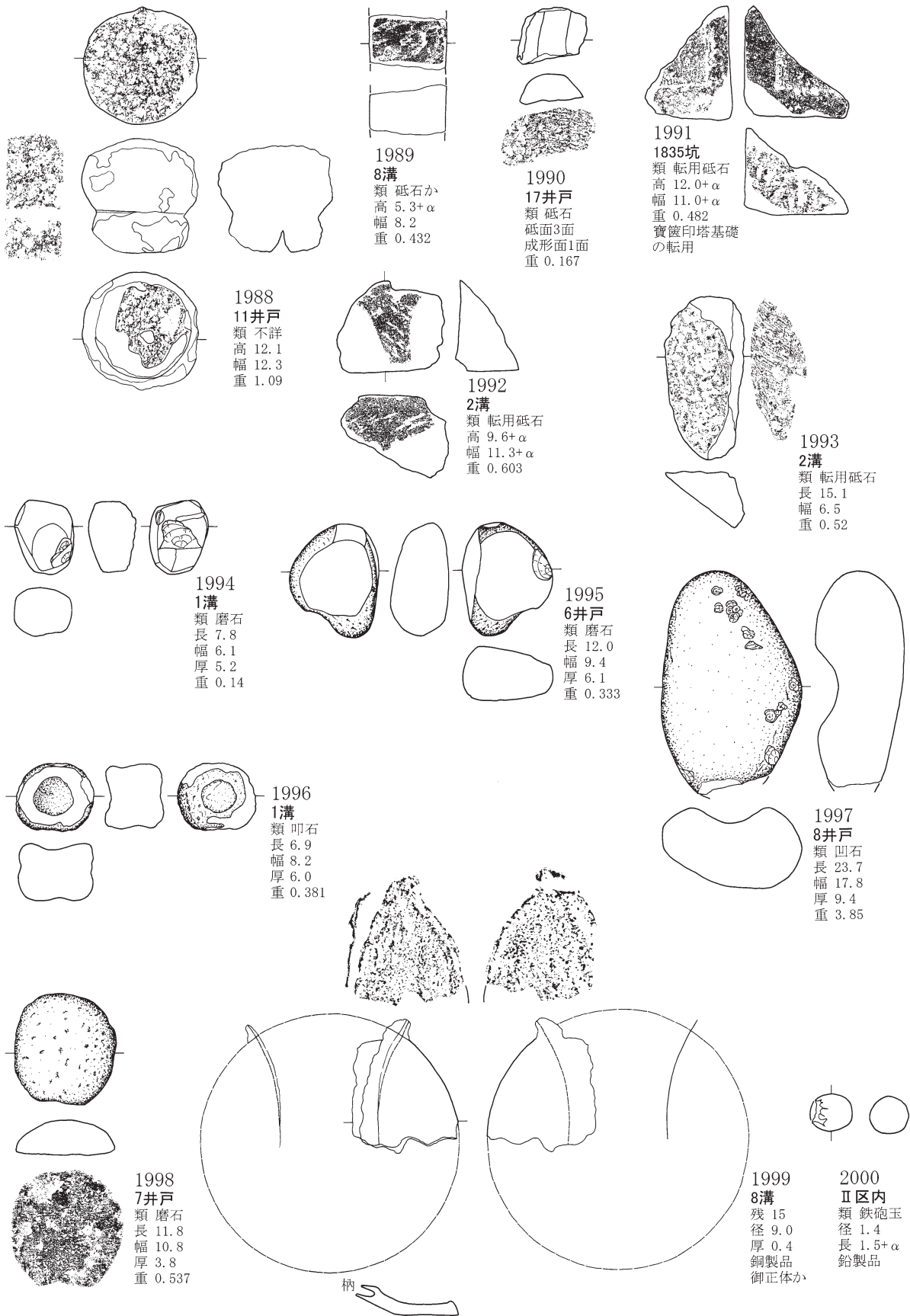


第330図 調査I区遺構外出土遺物実測図 4/4 (1:3・1:4)

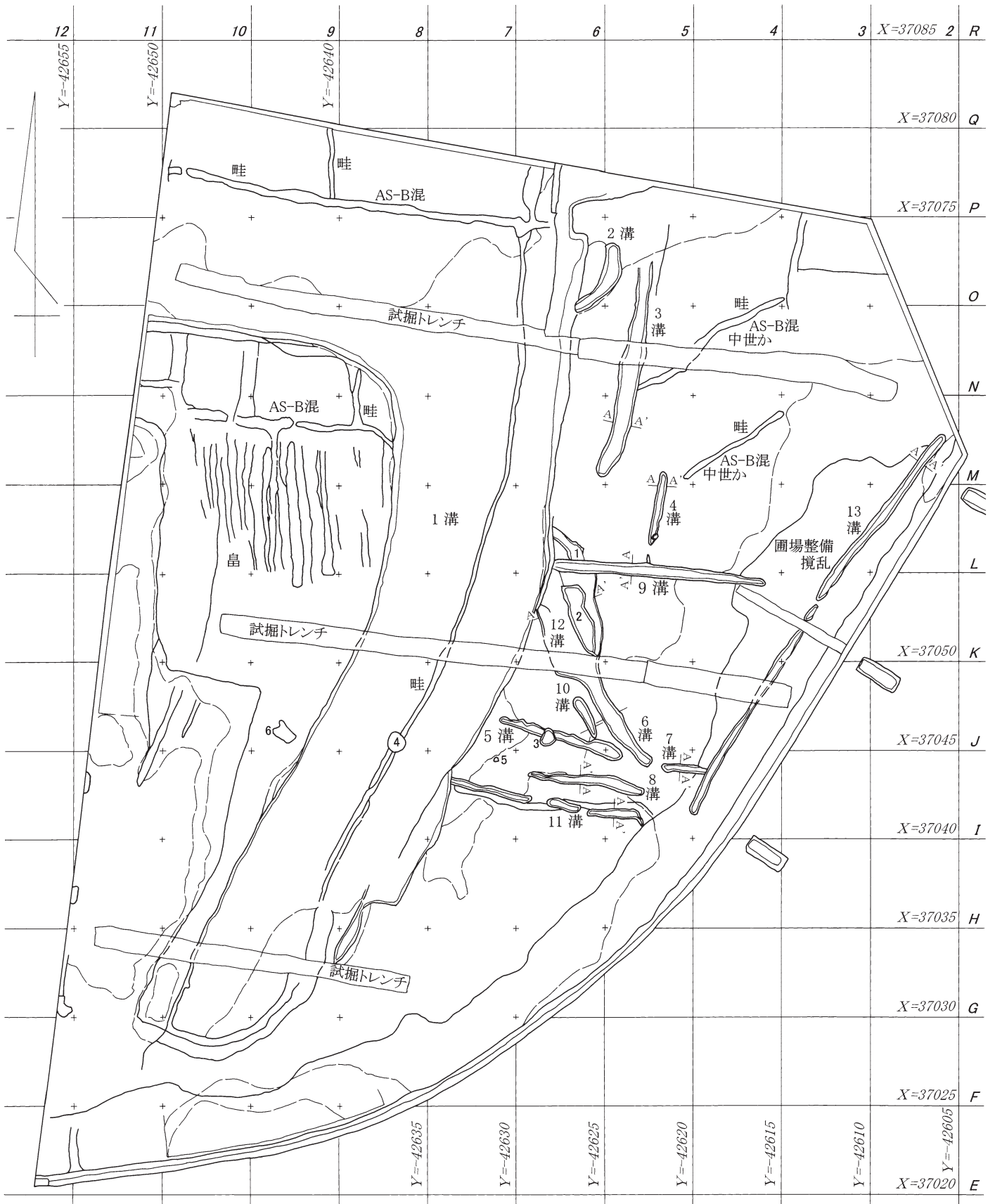


第331図 調査I区追補1/2 (1:3・1:4)

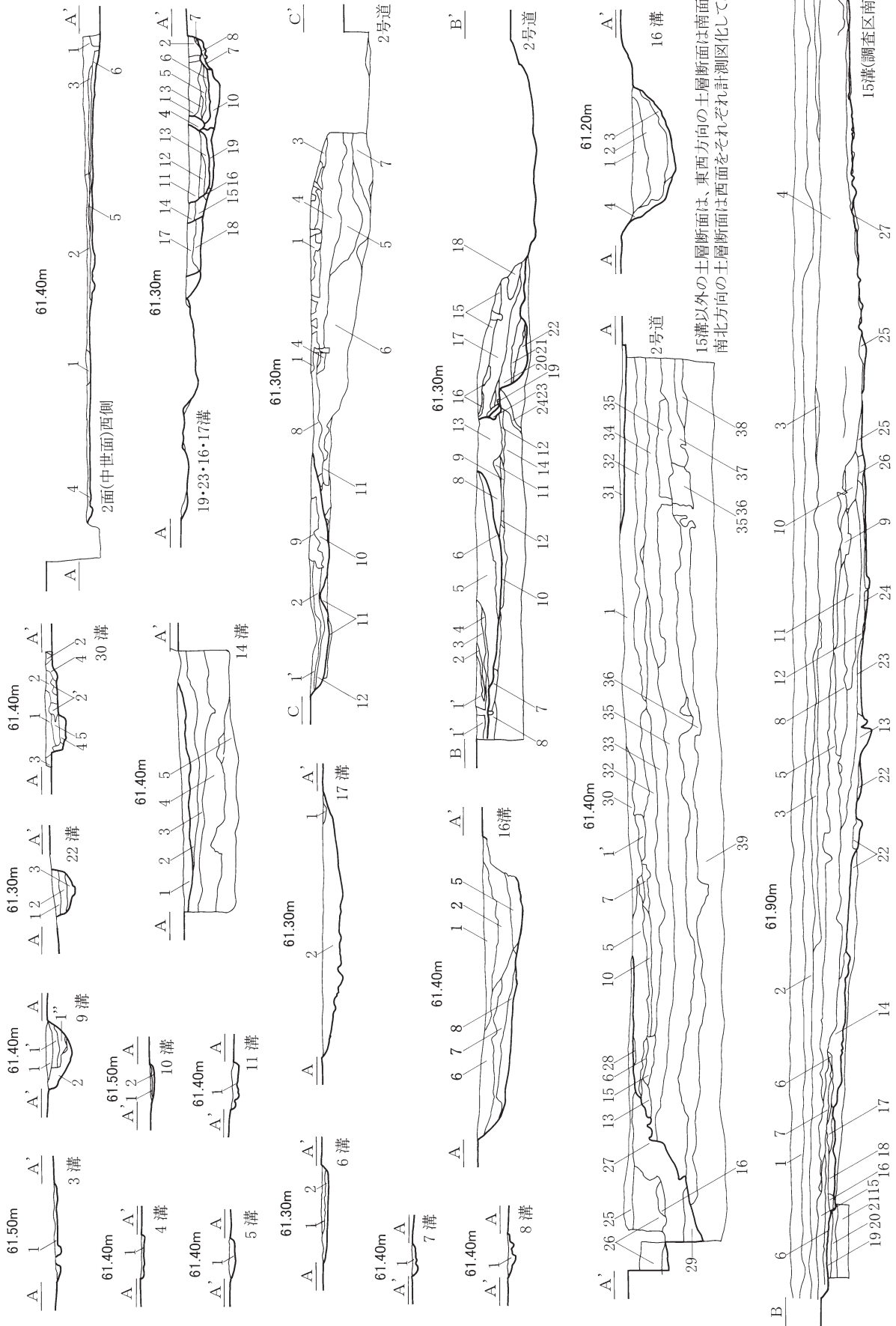
発見された遺構と出土遺物



第332図 調査I区追補2/2 (1:3・1:4)



第333図 遺構1・2面実測図(1:300)



第334図 遺構1・2面土層断面実測図 (1:60)

調査Ⅱ区土層説明

第3号溝状遺構層序 (61.50m)

1. 黒褐色土 (10YR3/1) : As-B 軽石混入・少し酸化 silt 質。

第4号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 黒褐色土 (10YR3/1) : As-B 軽石混入・少し酸化 silt 質 (3号溝同質)。

第5号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 黒褐色土 (10YR3/1) : 砂質～silt 質。

第6号溝状遺構層序 (61.30m)

1. 黒褐色土 (10YR3/1) : As-B 軽石混入・少し酸化 silt 質。

第7号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 黒褐色土 (10YR3/1) : 砂質～silt 質。

第8号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 灰オリーブ (5Y6/2) : 洪水質・細砂。

第9号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 灰オリーブ (5Y6/2) : 洪水質・細砂。
2. 灰オリーブ (5Y6/2) : 洪水質・silt 質。
3. 灰オリーブ (5Y6/2) : 洪水質・silt 質 (2より細かい)。

第10号溝状遺構層序 (61.50m)

1. 灰オリーブ (5Y6/2) : 洪水質・細砂。

第11号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 黒褐色土 (10YR3/1) : 砂質～silt 質。

第14号溝状遺構層序 (61.40m)

1. 黒褐色土 (10YR3/1) : As-B 軽石混入・粘性～silt 質。
2. 黒褐色土 (10YR3/1) : As-B 軽石含まず・粘性～silt 質。
3. 黒褐色土 (10YR3/1) : 酸化気味あり・粘性～silt・塊状黄褐色土含有。
4. 黒褐色土 (10YR3/1) : 粘性～silt。

第16号溝状遺構層序 (61.40m) (6層～8層は14号溝)

1. 灰オリーブ (5Y6/2) : 粘性～silt。
2. 灰 (5Y4/1) 黒褐色粘質土が水性堆積による縞層入る。粘性～silt。
3. 黒褐色土 (10YR3/2) : 粘性気味。
4. 黒色土 (10YR2/1) : 粘性気味。
5. 黒褐色土 (10YR3/1) : As-B 軽石若干・パミス入る・粘性。
6. 黒褐色土 (10YR3/1) : As-B 軽石若干・パミス入る・粘性・やや黒ずむ。
7. 黒褐色土 (10YR3/2) : As-B 軽石若干・パミス入る・粘性。
8. 黒褐色土 (10YR3/2) : 塊状黒褐色土 (10YR3/1) 入る。

第17号溝状遺構層序 (61.30m)

1. 黄褐色土 (5Y6/2) 砂～silt。
2. にぶい黄色 (2.5Y6/3) : 1. 細砂～silt・平安洪水以前、洪水層、質は近似。

第19・16・17・23号溝状遺構層序 (61.30m)

1. 灰オリーブ (5Y6/2) : 砂質・Hr-FP 軽石入る。
2. 灰オリーブ (5Y6/2) : 粘性～silt。
3. 2同質。
4. 灰オリーブ (5Y6/2) : 塊状黒褐色土 (10YR3/1) 入る・粘性。
5. 灰オリーブ (5Y6/2) : 少し砂質。
6. 灰オリーブ (5Y6/2) : silt。
7. 灰 (5Y4/1) : 塊状黒褐色土 (10YR3/1) 入る。
8. 褐灰色土 (10YR4/1) : silt～細砂・塊状黒褐色土 (10YR3/1) 入る。
9. 黒褐色土 (10YR3/2) silt～細砂・塊状黒褐色土 (10YR3/1) 入る・地山か。
10. 褐灰色土 (10YR4/1) : 砂の互層堆積あり・流れ痕。
11. 黒褐色土 (10YR3/2) : 粘性・As-B 軽石若干。
12. 黒褐色土 (10YR3/2) : 粘性。
13. 12同質。
14. 黒褐色土 (10YR3/2) : 塊状黄色 silt 入る (地山土)。
15. 黒褐色土

発見された遺構と出土遺物

(10YR3/2)：塊状黄色 silt 入る (地山土)・14より茶味あり・silt 質。 16黒褐色土 (10YR3/1)：塊状黄色 silt 入る (地山土)・黒ずむ・粘性。
17. 黒褐色土 (10YR3/2)：粘性。 18. 黒褐色土 (10YR3/2)：粘質～silt。

調査第2面北西トレンチ土層断面層序 (61.40m)

1. 黒褐色土 (10YR3/1)：As-B 軽石多量・塊状平安洪水層粘性土多量。
2. 灰オリーブ (5Y6/2)：silt～粘質・平安洪水層。灰色層。
3. 灰オリーブ (5Y6/2)：silt～粘質・平安洪水層。少し黒ずみ、有機質入るか。
4. 灰オリーブ (5Y6/2)：silt～粘質・平安洪水層。
5. 黒褐色土 (10YR3/1)：粘性・Hr-FP 軽石含有。
6. 淡橙色土 (10YR8/4)：ピンク silt 層、その直下に層厚役1cmの4入る。

第2号道跡

A-A' (61.40m)・B-B' (61.30m) 1. 2面黒色。 1'. 黒褐色土 (10YR3/1)：Hr-FP 軽石含むが、2面の黒色中ではなく、少し灰色の浅い溝。2面より新しい。 2. 明褐色土 (10YR7/1)：軽石主体層粒径2～1mm。不明軽石層。 3. 褐色土 (10YR5/1)：軽石を多く含むが砂質的。粘性もある。 4. 黒色土 (10YR2/1)：軽石殆ど含まない。粘性。水田耕土を思わせる。開田当初か。 5. 褐色土 (10YR5/1) 3 ほぼ同質。横溝状となり、締まる。上方右側は明褐色 (10YR5/7) 程度に酸化する。 6. 灰褐色土 (10YR6/2)：軽石主体が溝状に入る。silt 質。右下僅かに酸化。 7. 灰褐色土 (10YR6/2)：silt 層。軽石無し。 8. 褐色土 (10YR4/1)：粘性。茶味と1との漸移。 9. 明褐色土 (10YR7/1)：軽石主体層。粒径2～1mm。不明軽石層。 10. 黒褐色土 (10YR3/1)：軽石若干。粘性。 11. 黒褐色土 (10YR3/1)：軽石含まず。粘性。 12. 黒褐色土 (10YR3/1)：軽石含まず。 13. 黒褐色土 (10YR3/1)：軽石若干。粘質～silt。 14. 灰黄褐色土 (10YR4/2)：粘性～silt。 15. 灰黄褐色土 (10YR6/2)：粘性～silt。 16. にぶい赤褐色 (5YR5/3)：ピンク silt。 17. にぶい黄褐色土 (10YR5/3) 細砂～砂。 18. にぶい黄褐色土 (10YR5/3)：砂。 19. 褐色土 (10YR5/1)：粘性土。 20. 褐色土 (10YR5/1)：砂～細砂。 21. 褐色土 (10YR5/1)：silt～細砂。 22. 褐色土 (10YR5/1)：砂。 23. 褐色土 (10YR5/1)：細砂～砂。 24. 褐色土 (10YR5/1)：細砂～砂。坑跡か。 25. 褐色土 (10YR4/1)：圃場整備客土。 26. 褐色土 (10YR4/1)：15号溝最終埋土。 27. 褐色土 (10YR5/1)：砂・silt・塊状16など。 28. 明黄褐色土 (10YR6/6)：細砂～silt。酸化。近世頃の道跡で硬化。 29. 黒褐色土 (10YR3/1) 粘性。細砂～silt。 30. 黒褐色土 (10YR3/1)：As-B 軽石灰。silt。 31. 灰黄色土 (2.5Y) silt。平安洪水層。 32. 黒褐色土 (10YR3/1)：粘性～silt。 33. 灰黄褐色土 (10YR4/2)：34より少し明るい。粘性～silt。 34. 灰黄褐色土 (10YR4/2)：33より黒っぽい。 35. 黒褐色土 (10YR3/1)：粘性～silt。 36. 褐色土 (10YR4/1)：粘性～silt。39との漸移。 37. 褐色土 (10YR4/1)：36より黒っぽい。粘質～silt。 38. 黒褐色土 (10YR3/1)：36より茶味がかかる。 39. にぶい黄褐色土 (10YR5/4)：粘性。
C-C' (61.30m) 1. にぶい黄褐色土 (10YR7/4)：As-B 軽石含有。 1'. 近代洪水層。 2. 黒色土 (10YR2/1)：粘性。As-B 軽石下水田耕土。 3. 褐色土 (10YR6/1)：silt。 4. 灰黄褐色土 (10YR6/2)：silt～砂。 5. 灰黄褐色土 (10YR6/2)：砂。 6. 灰黄褐色土 (10YR6/2)：silt～砂。 7. 灰黄褐色土 (10YR6/2)：砂。 8. 褐色土 (10YR6/1)：silt。洪水層。 9. 褐色土 (10YR5/1) 3 ほぼ同質。横溝状となり、締まる。 10. 灰褐色土 (10YR6/2)：軽石主体が溝状に入る。silt 質。右下僅かに酸化。 11. 灰黄褐色土 (10YR4/2)：粘性～silt。 12. 褐色土 (10YR4/1)：粘性。茶味と1との漸移。

第15号溝状遺構 (調査区南壁) 土層断面層序 (61.90m)

1. 黒褐色土 (10YR3/2)：現耕土 (畦)。下面酸化となる。
2. 黒褐色土 (10YR3/2)：現耕土直下層。酸化斑入る。主として圃場整備客土層。
3. 黒褐色土 (10YR3/2)：圃場整備客土層。締る。ビニール・プラスチックが入る。
4. にぶい黄褐色土 (10YR4/3)：細砂～砂質。洪水層。
5. 褐色土 (10YR4/1)：粘性～silt。上方黒味強 (10YR3/1) し粘性。As-B 軽石水田耕土か。
6. 灰オリーブ (5Y6/2)：塊状平安洪水土主体。粘性 silt。
7. にぶい黄色土 (2.5Y6/4)：洪水層と細砂含有。粘性。やや黒ずむ。上面 As-B 軽石水田面。
8. 黄灰色土 (2.5Y5/1)：礫と小礫 (5mm位) を多く含む。流水堆積層。
9. 黄灰色土 (10YR5/1)：上方粘性。下方細砂。ピンク silt (5YR7/4) にぶい橙) 下方にあり。
10. にぶい橙 (10YR6/3)：砂。流水互層と部分的に9と別の塊状ピンク silt (5YR7/4) にぶい橙) 入る。
11. にぶい橙 (10YR6/3)：礫と小礫 (1cm大) 含む互層。
12. 灰黄色土 (2.5Y6/2)：砂。
13. 灰黄色土 (2.5Y6/2)：砂～silt。
14. 灰黄色土 (2.5Y6/2)：粘性～silt。塊状平安洪水土主体。塊状粘性黒土含有。
15. にぶい黄褐色土 (10YR5/4)：細砂・洪水層乱れる。
16. 褐色土 (10YR5/1)：塊状灰色 silt 含有。粘性。
17. 褐色土 (10YR5/1)：塊状黒褐色土 (10YR3/1) 含有。Hr-FP 軽石含有畦か。
18. 褐色土 (10YR5/1)：17近質。しかし、塊状黒色粘性少ない。
19. 黒褐色土 (10YR3/1)：Hr-FP 軽石含有・上面耕土か。
20. 黒褐色土 (10YR3/1)：少し茶味があり、軽石見えず。
21. 黒褐色土 (10YR3/1)：20より茶味がかかる。
22. 灰色 (5Y5/1)：粘性～silt。上面黒味かかる (10YR3/1)。上面2面溝掘方。下方本来底。
23. 灰色 (5Y5/1)：粘性。上面掘方。
24. 灰色 (5Y5/1)：粘性。下面掘方。
25. 灰色 (5Y5/1)：粘性。下面掘方。
26. 黒褐色土 (10YR3/1)：粘性。
27. 黒色土 (10YR2/1)：粘性。

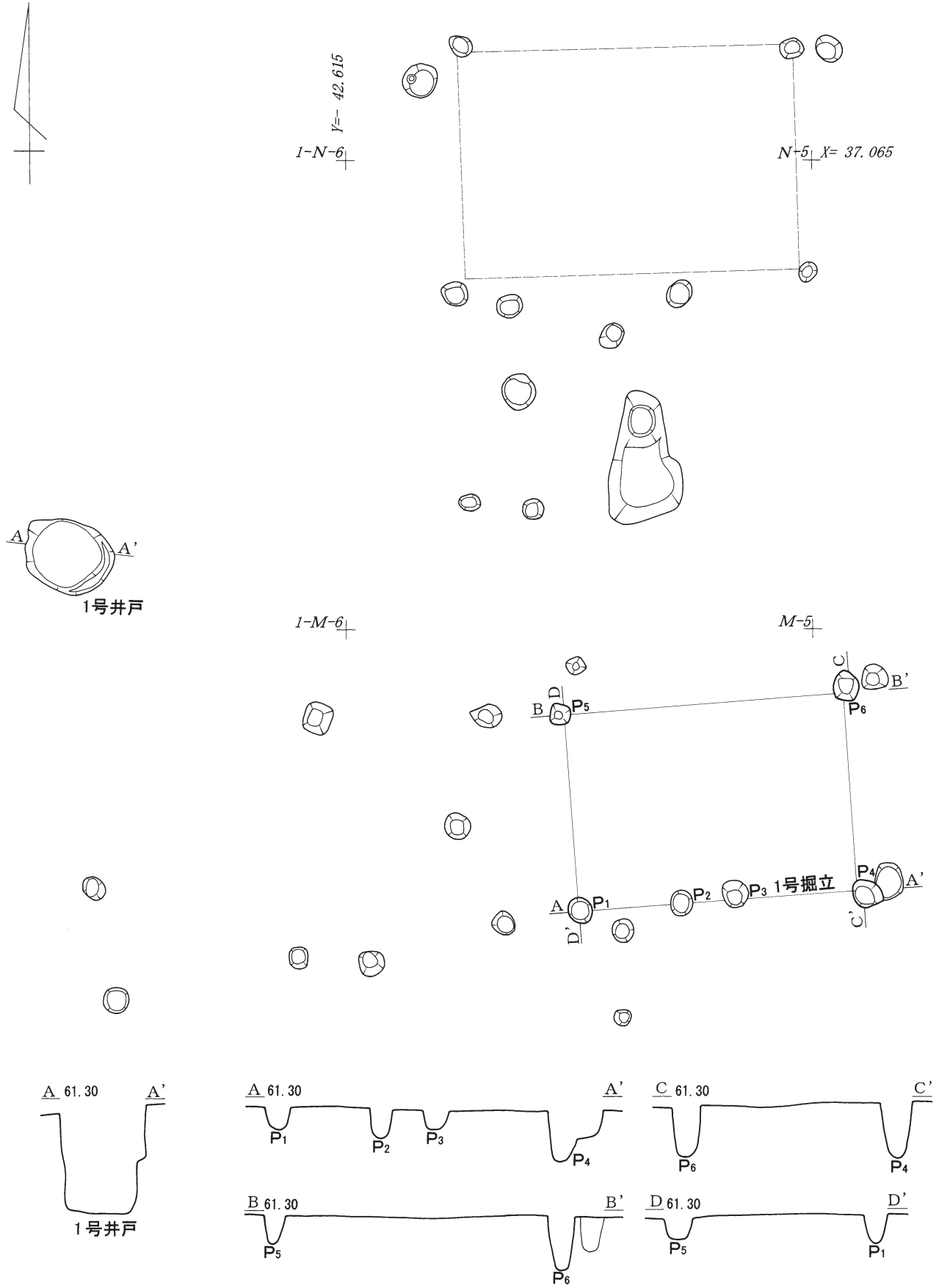


第335図 中世畠跡実測図 (1:50)

発見された遺構と出土遺物

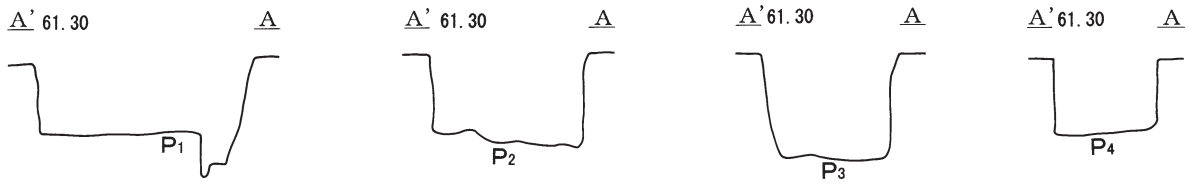
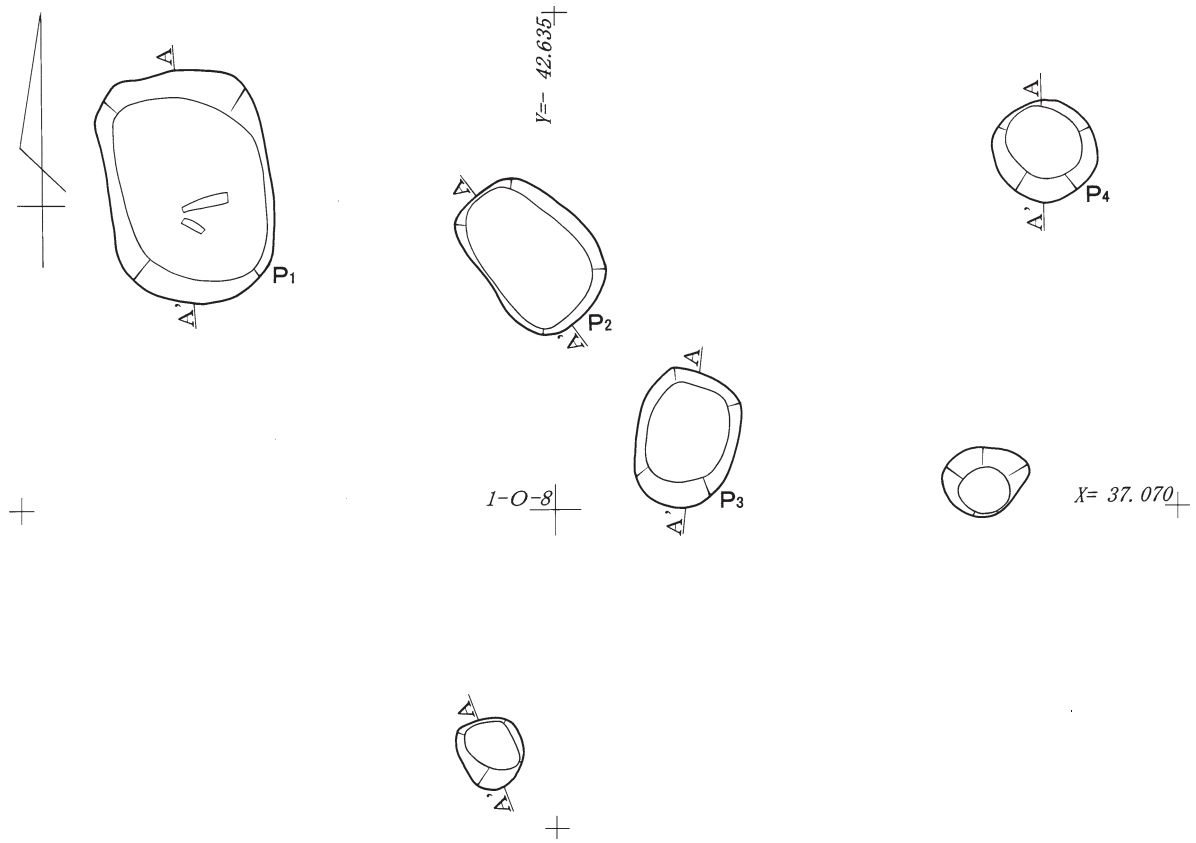


第336図 遺構2面実測図 (1:300)

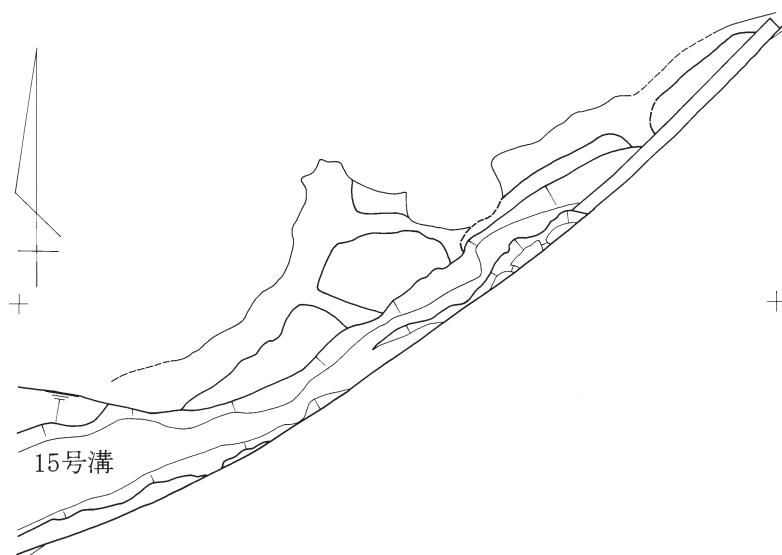


第337図 土坑・掘立柱建物跡実測図 (1:60)

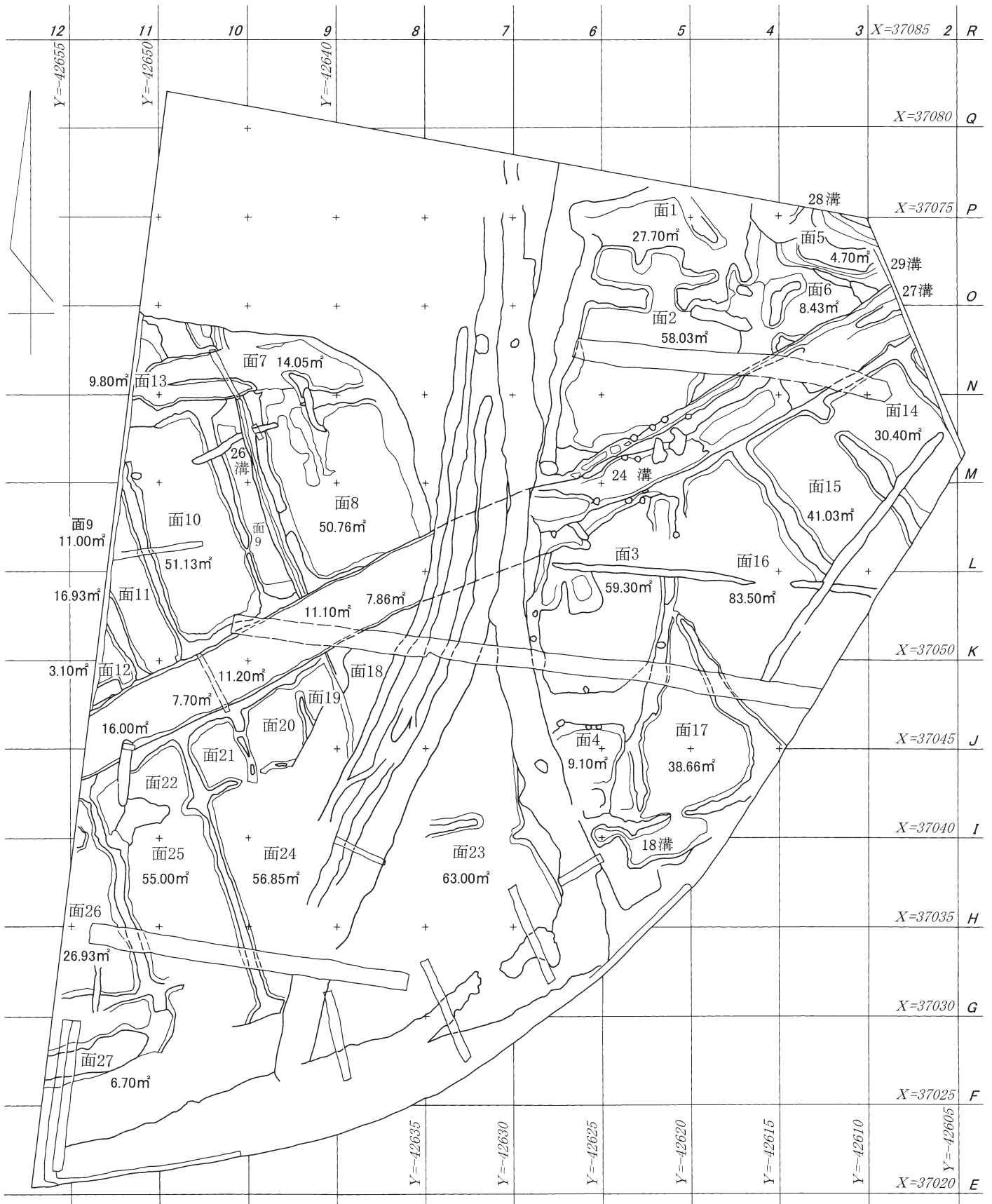
発見された遺構と出土遺物



第338図 土墳墓群実測図 (1:60)

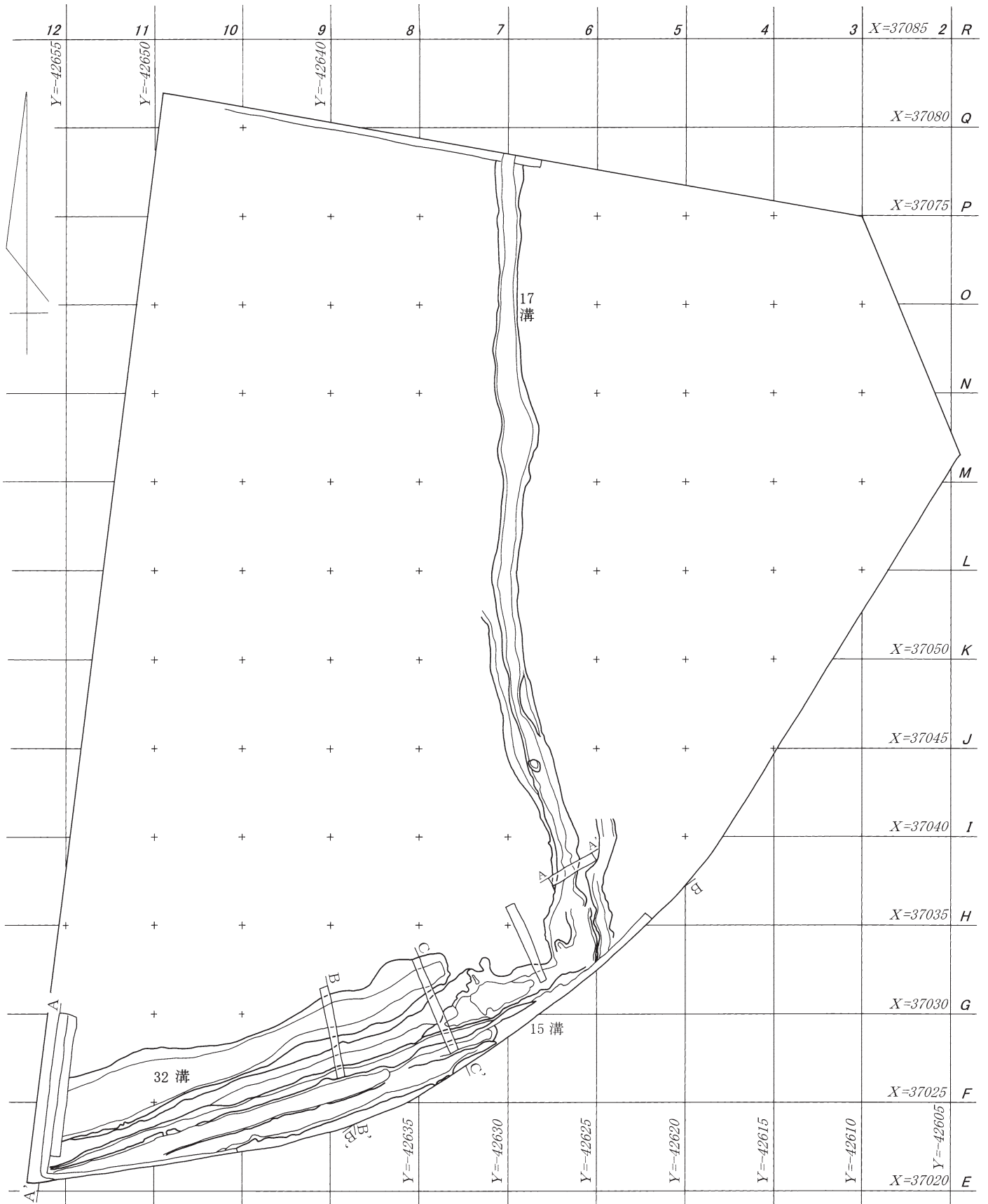


第339図 遺構3面 (As-B 軽石被覆水田跡) (1:100)

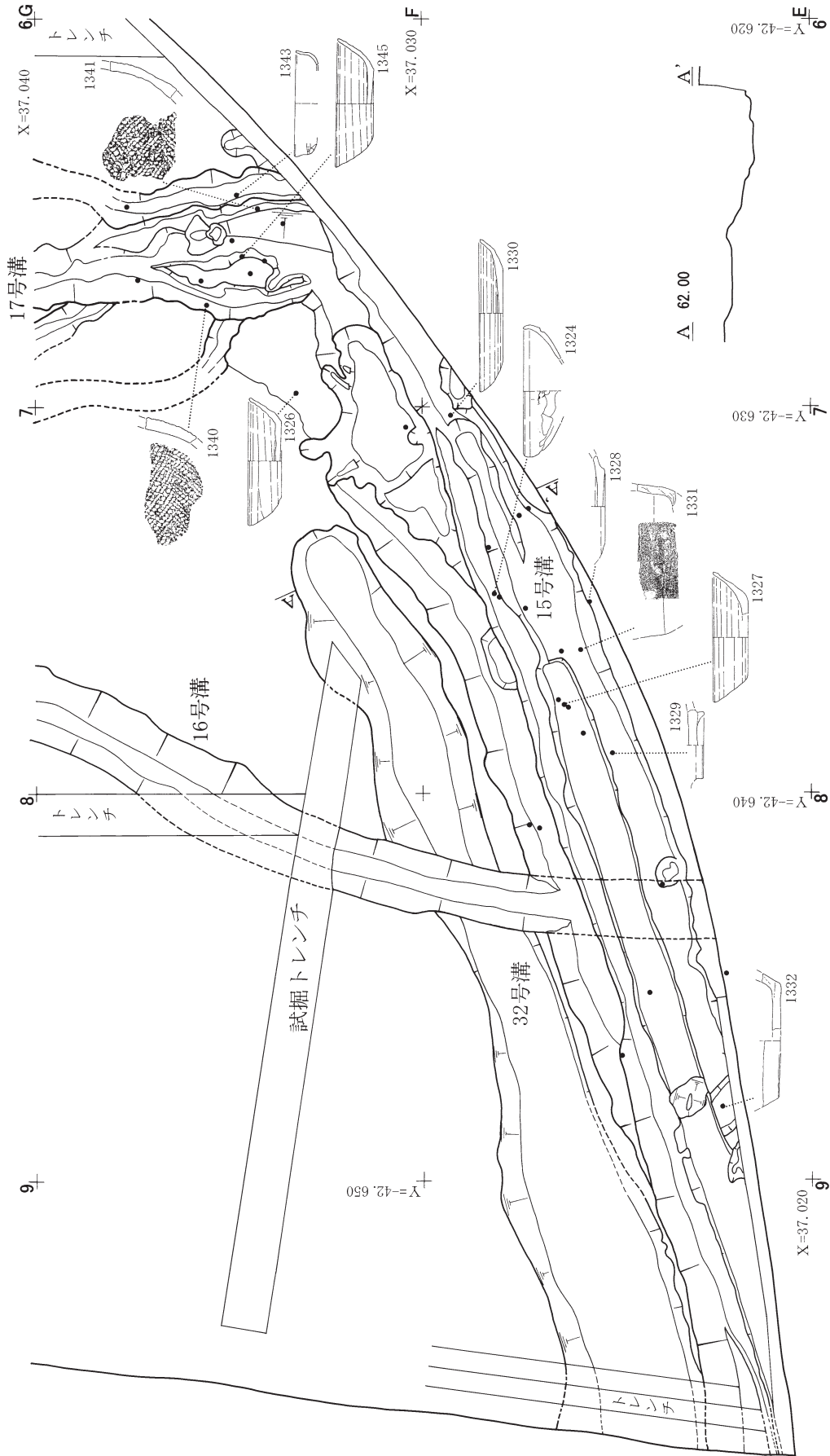


第340図 遺構4面(平安洪水被災水田跡)実測図(1:300)

発見された遺構と出土遺物

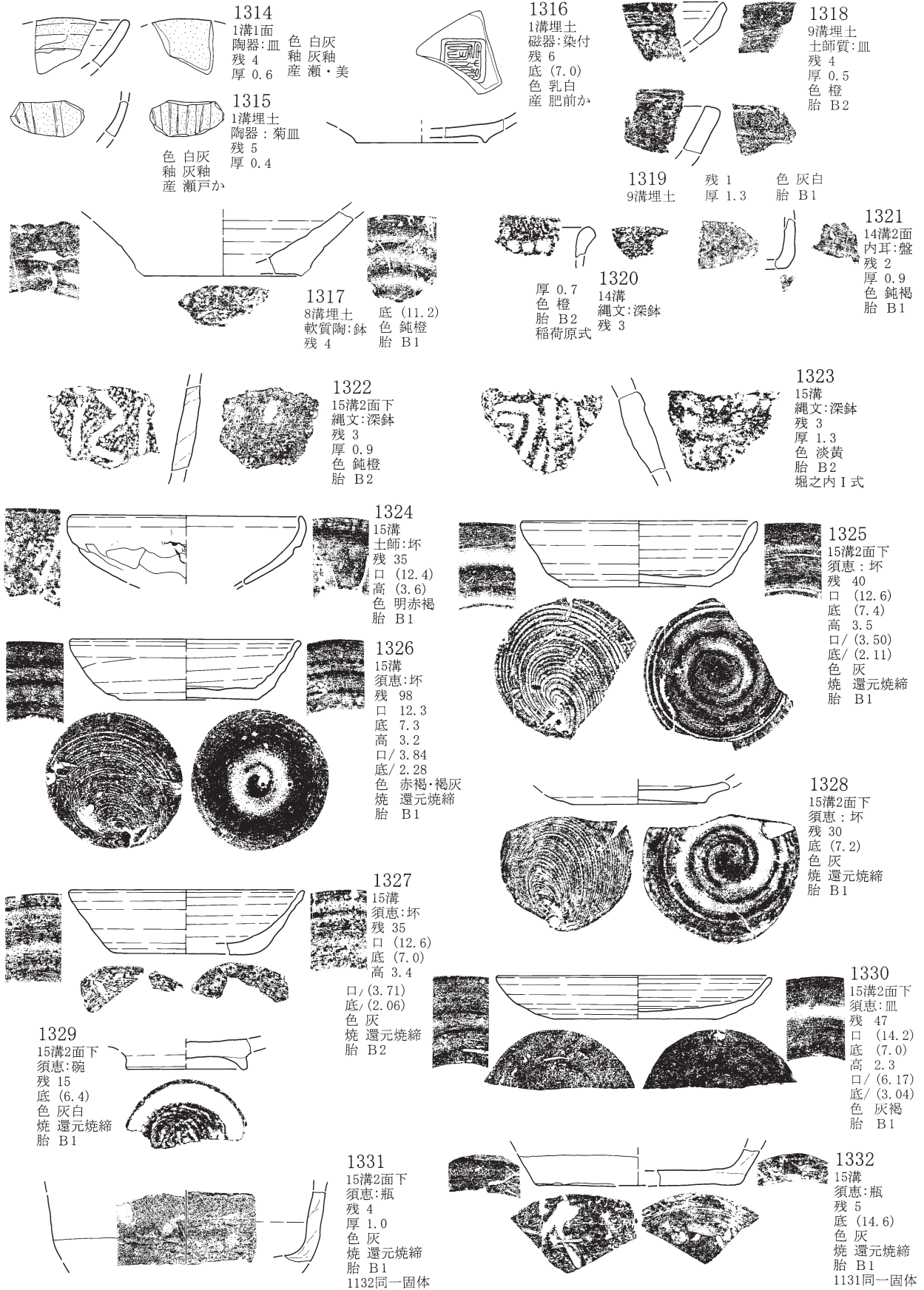


第341図 遺構5面(古代面)実測図(1:300)

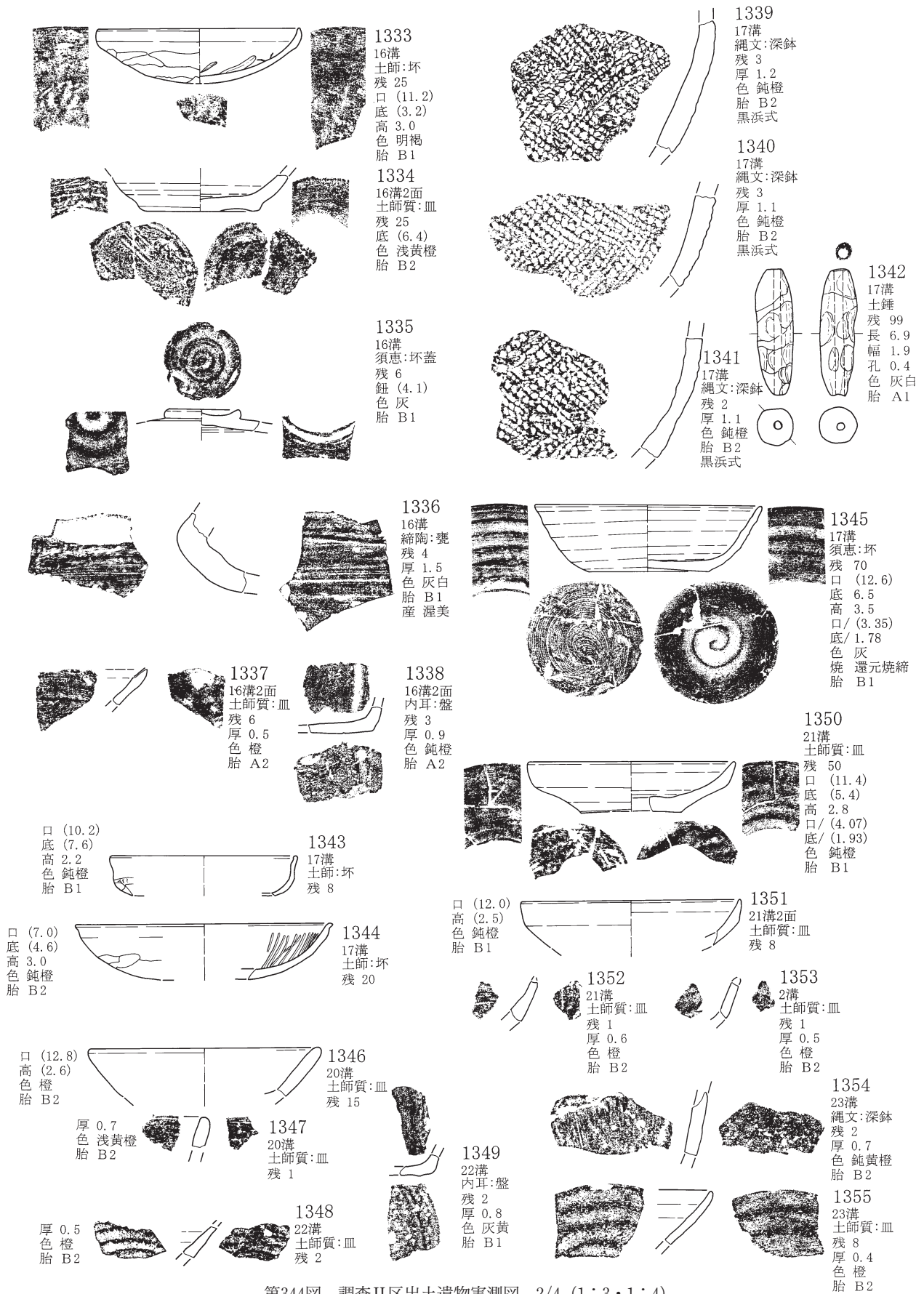


第342図 第15～17・32号溝状遺構実測図 (1:80)

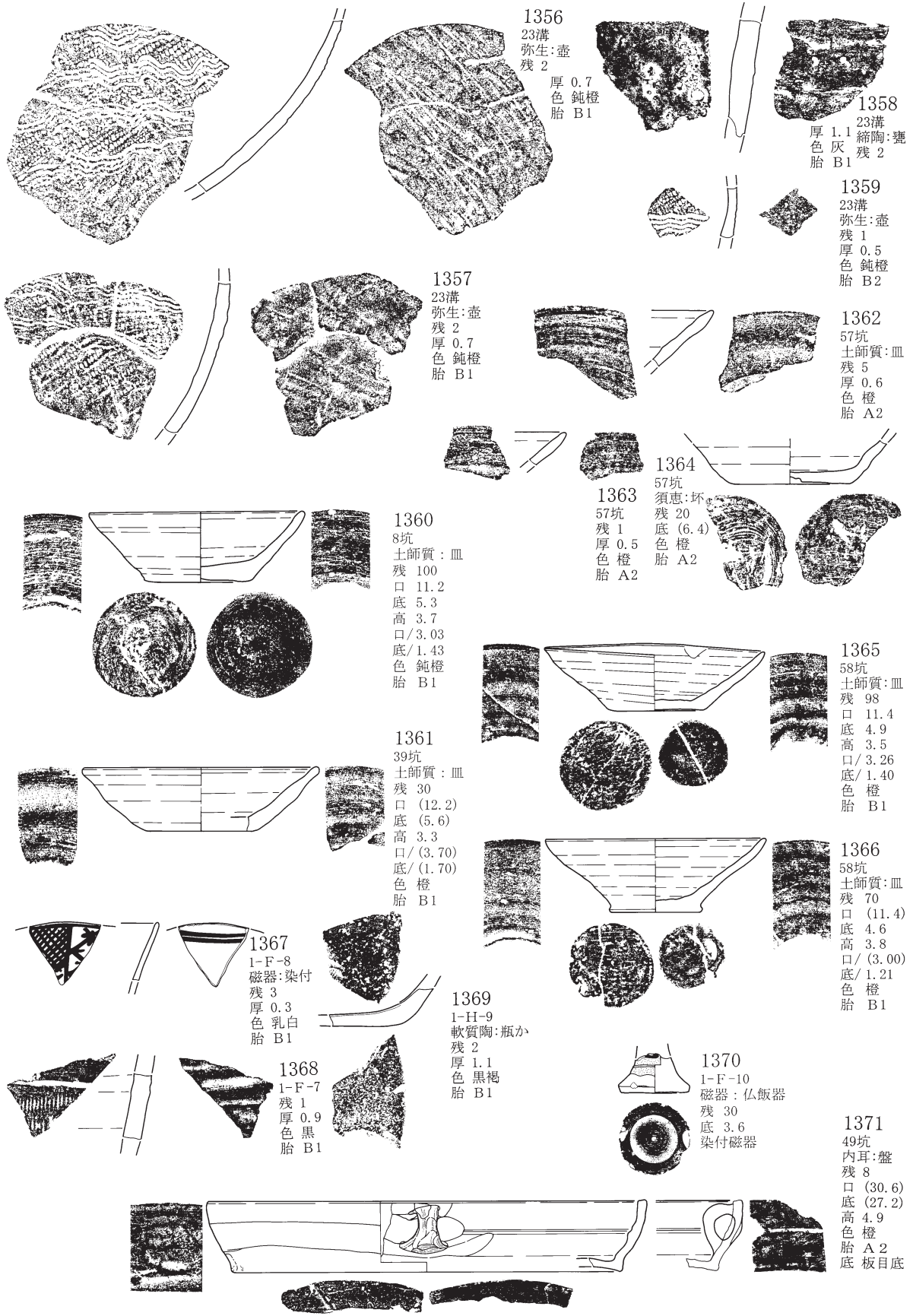
発見された遺構と出土遺物



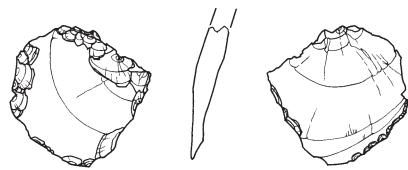
第343図 調査II区出土遺物実測図 1/4 (1:3・1:4)



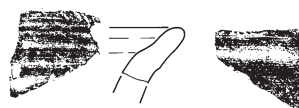
第344図 調査II区出土遺物実測図 2/4 (1:3・1:4)



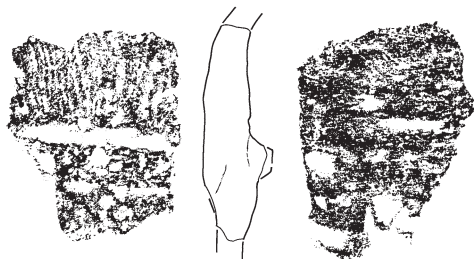
第345図 調査II区出土遺物実測図 3/4 (1:3・1:4)



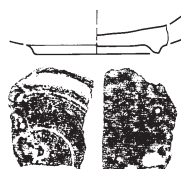
1372
第1確認面
微細剥離
残 -
長 3.7
幅 3.6
厚 0.6



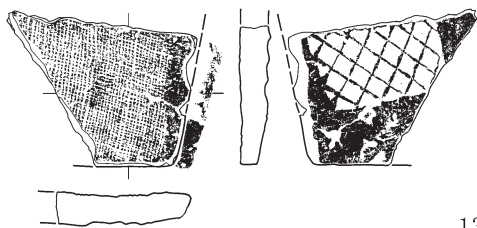
1376
1-I-7
縮陶:甕
残 1
厚 1.0
色 暗灰黄
胎 B1
産 渥美



1373
1-L-2
埴輪:円筒
残 3
厚 2.4
色 橙
胎 B1



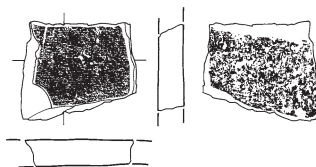
1377
1-J-7
陶器:皿
残 10
底 (5.0)
色 灰白
釉 志野
産 美濃



1374
1-I-4
瓦:女瓦
残 4
厚 1.6
色 灰
胎 B1



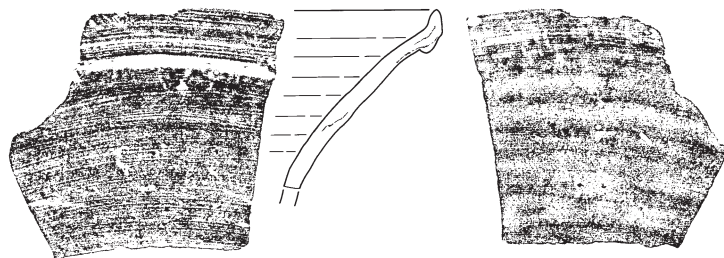
1378
1-M-5
軟質陶:筒形香炉
残 2
厚 0.8
色 灰白
胎 B1



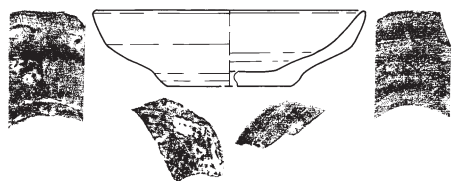
1379
1-H-11
瓦:十能瓦
残 2
厚 1.3
色 黒
胎 B2



1375
1-J-9
陶器:灰釉
残 2
厚 0.3
色 灰白
釉 灰釉
産 美濃
10世紀



1380
第1確認面
須恵:甕
残 4
厚 0.7
色 灰
胎 B1



1381
1-O-11
土師質:皿
残 20
口 (10.6)
底 (5.0)
高 3.0
口/底 (3.53)
底/ (1.67)
色 鈍橙
胎 C1



1383
第1確認面
磁器:染付
残 10
厚 0.4
色 乳白
胎 B1
口紅あり



1382
1-I-6
土師質:皿
残 2
厚 0.5
色 鈍橙
胎 B1



1384
第2確認面
磁器:碗
残 8
厚 0.35
色 灰白
釉 青磁
産 不詳



1385
1-N-3
磁器:碗
残 2
厚 0.3
色 乳白
釉 白磁
産 不詳

第346図 調査II区出土遺物実測図 4/4 (1:3・1:4)

追補 2

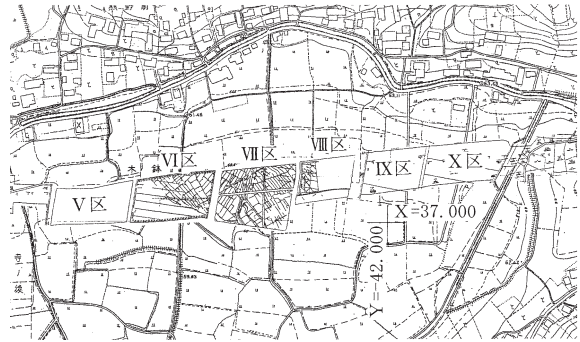
昨年度発刊された過『上強戸遺跡群(1)』で、諸般の都合で掲載出来なかった資料をここで補う。

ここで補う資料は、調査Ⅲ・Ⅴ・Ⅵ・Ⅶ区で出土した石器類である。

石器類は合計32点である。内訳は、石鏃12点、石匙1点、削器3点、打製石斧12点、加工痕の有る剥片3点、磨石1点である。

これらの石器類を出土地で見ると、石鏃はⅤ～Ⅶ区に分散傾向が認められ、打製石斧はⅦ区に集中する傾向が認められる。特にⅥ・Ⅶ区出土の打製石斧は、弥生時代中期の所産と考えられる大型品である。形態上、開墾などに用いられた「石鏃」である。そ

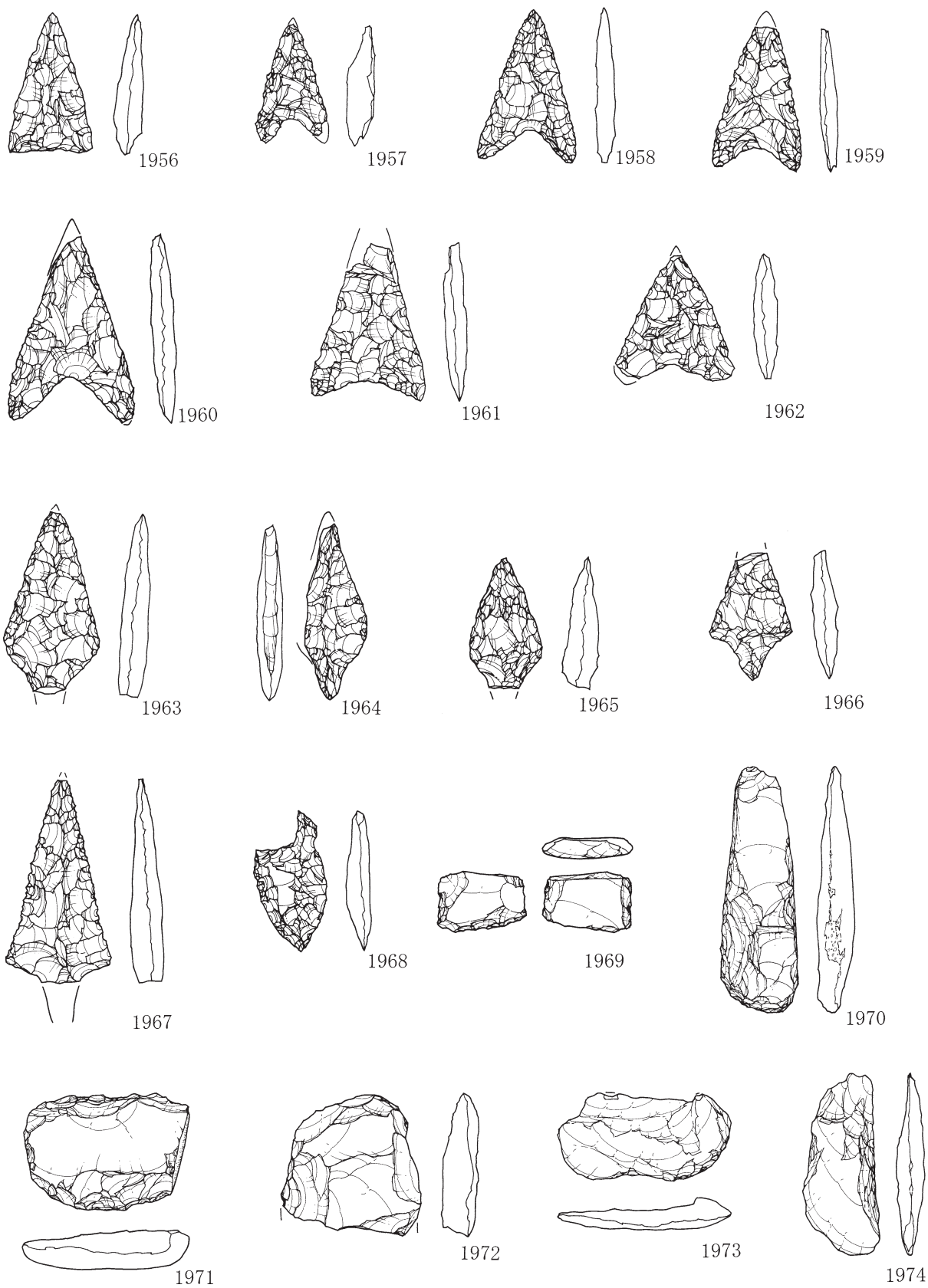
して、この石器の分布するⅥ～Ⅷ区からは、水田跡が発見された谷地部分に相当している。これらのことから、弥生時代中に谷地の開発に着手した可能性が示唆される。



第347図 追補 2 遺物出土調査区概略図 (1:10,000)

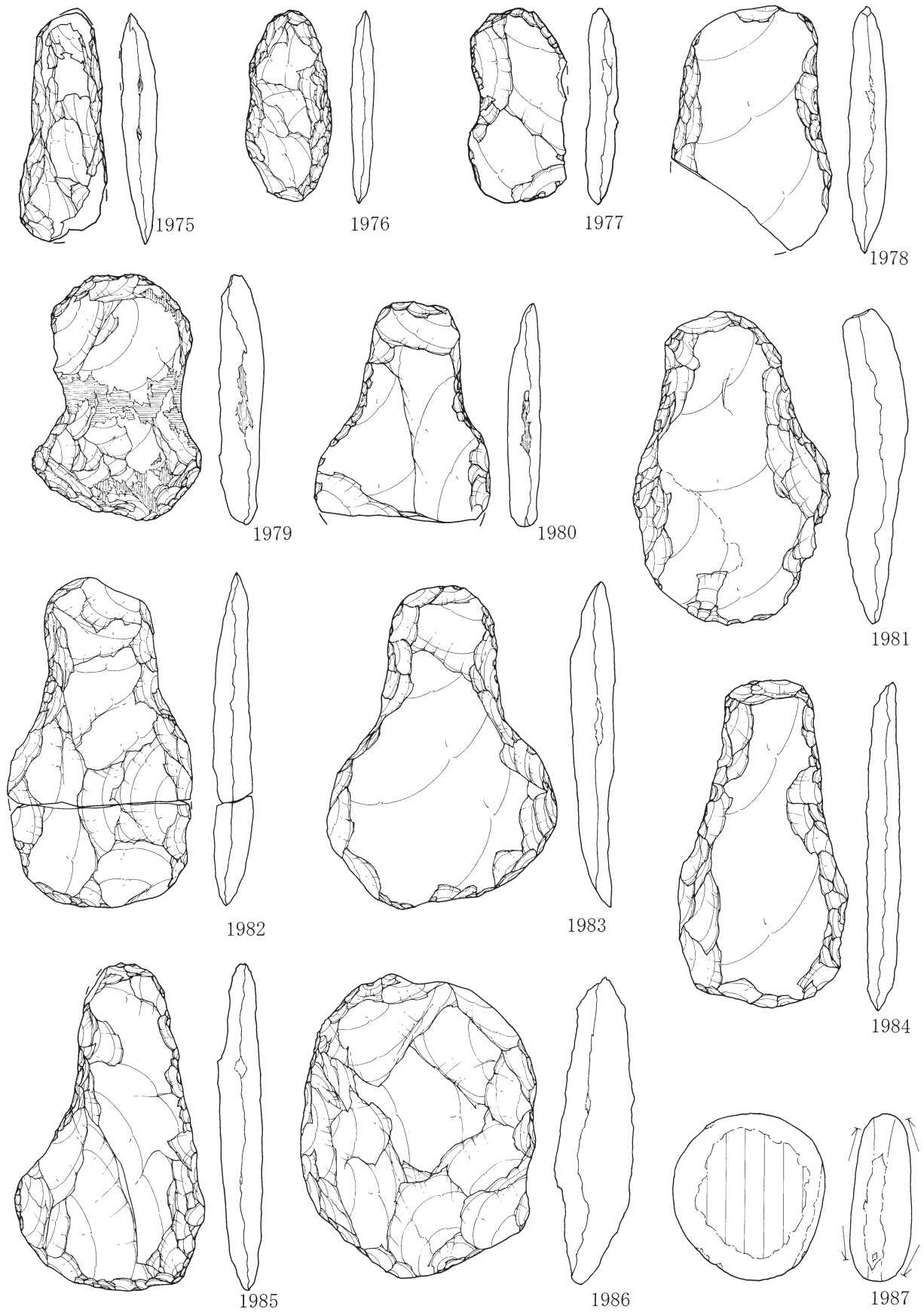
第 5 表 石器観察表

	器種/形態	製作使用状況等	区	石 材	長	幅	重(g)
1956	石鏃-平基無莖鏃	完成状態	Ⅶ区10溝	チャート	2.4	1.5	1.2
1957	石鏃/凹基無莖鏃	完成状態、右辺返し部を欠損	Ⅴ区南壁トレンチ	黒曜石	2.1	(1.2)	0.8
1958	石鏃/凹基無莖鏃	完成状態	Ⅴ区南壁トレンチ	チャート	2.7	1.7	1.0
1959	石鏃/凹基無莖鏃	完成状態、先端部を欠損	Ⅶ区25溝	チャート	(2.4)	1.6	1.0
1960	石鏃/凹基無莖鏃	完成状態	Ⅶ-2区3面	チャート	3.2	2.1	2.1
1961	石鏃/凹基無莖鏃	完成状態、先端破損は衝撃剥離?	Ⅲ区28溝	チャート	(2.7)	2.2	1.5
1962	石鏃/凹基無莖鏃	完成状態	Ⅴ-3区030-390	黒曜石	2.2	2.1	1.3
1963	石鏃/凸基有莖鏃	完成状態、先端・莖を欠損	Ⅵ区010-260	チャート	(3.1)	1.7	2.2
1964	石鏃/凸基有莖鏃	完成状態、左側縁の縦位破損は衝撃剥離?	Ⅵ区040-310	チャート	(3.0)	(1.1)	1.3
1965	石鏃/凸基有莖鏃	未製品、莖を欠損	Ⅴ-3区030-360	チャート	(2.3)	1.3	1.4
1966	石鏃/凸基有莖鏃	完成状態、先端部欠損	Ⅴ-2区010-350	チャート	(2.2)	1.4	1.0
1967	石鏃/凸基有莖鏃	完成状態、莖を欠損、側縁は鋸歯状	Ⅵ区040-280	黒色頁岩	(35)	1.8	2.0
1968	石匙/縦型?	完成状態	Ⅴ-3区036-380	チャート	4.8	2.5	8.1
1969	削器/幅広剥片	上半部を欠損	Ⅵ区010-280南トレンチII層	ホルンフェルス	(4.5)	3.1	19.5
1970	打製石斧/短冊形	両側縁に顕著な潰れ。未製品	Ⅴ-2区010-340	黒色頁岩	12.6	4.0	115.7
1971	削器/幅広剥片幅広剥片	左側縁を粗い加工を施し、刃部を作出。	Ⅴ区南壁トレンチ	黒色頁岩	8.4	6.0	124.1
1972	加工痕ある剥片/幅広剥片	表裏面に粗い周辺加工。打製石斧未製品?	Ⅴ-2区009-390	ホルンフェルス	(7.2)	7.3	102.7
1973	加工痕ある剥片/幅広剥片幅広剥片	ノッチ状の刃部作出。風化して詳細は不明。	Ⅵ区990-260	ホルンフェルス	8.9	4.6	54.2
1974	打製石斧/短冊形	刃部は未加工。両側縁の加工は石斧的だが右側縁に比べ左側縁が薄い。	Ⅴ-2区000-350	ホルンフェルス	9.3	4.0	52.7
1975	打製石斧/短冊形	右側縁は摩耗しているようだが、風化して詳細不明。	Ⅴ-1区010-400Fr-FA下	ホルンフェルス	18.9	4.6	113.2
1976	打製石斧/短冊形	風化が激しく、磨耗痕等については不明。	Ⅵ区010-280南トレンチII層	ホルンフェルス	9.9	4.5	66.8
1977	打製石斧/分銅形	形態的に対象性を欠き、加工量は少ない。未製品?	Ⅴ-1区990-390	ホルンフェルス	10.2	5.1	105.8
1978	打製石斧/石鏃?	左側縁は潰れ、摩耗しているよう見える。完成状態?	Ⅶ-1区20溝	ホルンフェルス	(12.8)	(8.4)	258.4
1979	打製石斧/分銅形	完成状態。刃部磨耗、刃部リダクション。捲縛痕あり。	Ⅵ区2面020-310	ホルンフェルス	16.7	12.1	444.2
1980	打製石斧/石鏃?	1982と1983と相似。ローリングして稜部が著しく摩耗。	Ⅶ-1区2面8溝	ホルンフェルス	(11.5)	9.2	194.2
1981	打製石斧/石鏃?	磨耗痕・捲縛痕は見られない。未製品。	Ⅶ-2区3面S-5	ホルンフェルス	16.4	10.3	514.4
1982	打製石斧/石鏃?	形態的には完成状態だが、装着痕等は見られない。	Ⅶ-1区3面	ホルンフェルス	17.2	9.6	368.7
1983	打製石斧/石鏃?	磨耗痕等は見られない。形態的には完成状態。	Ⅶ-2区3面S-3	ホルンフェルス	12.7	8.8	321.9
1984	打製石斧/石鏃?	加工量は少なく、部分的。未製品。	Ⅶ-2区3面No1	ホルンフェルス	17.1	8.9	314.7
1985	打製石斧/石鏃?	完成状態。刃部磨耗、刃部リダクション。	Ⅶ-2区3面No2	ホルンフェルス	17.1	10.1	370.2
1986	打製石斧/不明	周辺を粗く打ち欠く。石斧製作の初期段階?	Ⅶ-1区AトレンチS-2	ホルンフェルス	15.8	12.3	847.1
1987	磨石/楕円偏平礫	表裏面摩耗、側縁敲打	Ⅶ-1区3面Aトレンチ	粗粒輝石安山岩	8.8	8.0	344.7



第348図 追補2 遺物実測図 1/2 (1:1)

発見された遺構と出土遺物



第349図 追補2 遺物実測図 2/2 (1:3)

第6表 溝状遺構一覧表

番号	部位	長	幅員	走行方向	新旧関係等	高標高	低標高	比高差	摘要
1号溝	1区	24	2.9~3.4	北-23度-西	2・7号溝を切る。				木杭は近世段階での打設。
	2区	34.8	2.9~4.1	北-82度-東	3号溝に切られる。				近世段階は南側に広がる。
	3区	37.9	2.2~3.4	北-10度-西					近世段階で北側に延長されたのか。
	4区	49.4	4.2~4.7	北-02度-西					近世段階で石敷きを設置され。
	全長	146.1							2号溝も重複している。
2号溝		106.9	5.0~5.5	北-89度-西	1号溝に切られる。				大きな区画域を構成する。
3(54)号溝	南北	45.4	2.1~2.9	北-13度-西	1号溝に切られる。				全体の走行は鍵の手状に屈折する。
	東西	20.4	1.8~2.6	北-71度-東	7号溝を切る。				洪水埋没している。
	全長	65.8							北西隅部分周辺の号溝底面は、掘削時の工具痕が夥しい。
4号溝		20	0.8~1.6	北-07度-西	1号溝を切る。				1号溝3区で重複する。洪水により埋没している。
5号溝		15.4	0.8~1.0	北-82度-東	4号溝・11坑に切られる。				7号溝埋没後に切るが、走行方向は大きな差異は無い。
6号溝		25.2	1.6~2.2	北-05度-西	2号溝に切られる。				南西部掘立群を東西に分断する状態で構築されている。
7号溝		32	1.4~2.4	北-13度-西	2・3号溝に切られる。				58号溝と同一の溝状遺構と考えられる。長方形区画を構成する。
8号溝	南東	16	1.0~1.7	北-23度-西	37号溝を切る。				鉄滓・羽口・土師質土器が多く出土。
	東	34.3	1.3~1.6	北-03度-西	43号溝を切る。				5井戸を避ける状態で構築。大量の木材が出土。漆器碗2点。
	北	28.3	1.9~2.1	北-85度-東	68号溝を切る。				改築の痕跡が認められる。西側は元43号溝の一部だったのか。
	西	21.5	1.4~1.5	北-14度-東	40(63)号溝に切られる。				7井戸の北側は不明瞭。7井戸の南側には、遺物の出土が集中。
	南西	29.3	2.2~3.2	北-03度-東	8井戸に切られる。				底面には障子堀状の掘り込みが認められる。
全長	129.4							南に開口する区画号溝を構成している。	
9a号溝		39.1	2.4~4.3	北-02度-東	67号溝を切る。				鍵の手状に屈曲する状態。全体に浅い。
9b号溝		21.8	2.3~4.9	北-02度-東	2号溝に切られる。				2号溝に沿って構築している。
10号溝	欠								
11号溝		5.6	0.4~0.5	北-78度-東	4号溝に切られる。				7号溝に平行する。
12号溝		10.2	0.2~0.7	北-83度-東	10b坑に切られる。				7号溝に平行する。
13号溝		8.4	0.5~0.7	北-74度-東	3・16号溝に切られる。				7号溝に平行する。
14号溝		2.9	0.4~0.6	北-86度-東	15号溝に切られる。				7号溝に平行する。
15号溝		3.8	0.4	北-81度-西	14号溝を切る。				
16号溝		7.4	0.5~0.8	北-80度-東	3号溝・10b・8坑が切る。				7号溝に平行する。
17号溝		2	0.2~0.3	北-39度-東	18号溝を切る。				
18号溝		10.5	0.4~0.5	北-81度-西	10b坑に切られる。				7号溝に平行する。
19号溝		3.4	0.2	北-64度-東	4・5坑と重複。				
20号溝		6.8	0.2~0.3	北-65度-東	4号溝に切られる。				
21a号溝		5.5	0.1~1.4	北-82度-東	3号溝に切られる。				
21b号溝		3.2	0.5~0.6	北-77度-東	4号溝に切られる。				7号溝に平行する。
22号溝		2.3	0.3~0.6	北-87度-東	3号溝と重複。				7号溝に平行する。
23号溝		12.4	0.5~0.9	北-82度-東	3号溝に切られる。				7号溝に平行する。
24号溝		4	0.1~0.2	北-79度-東	22号溝と重複。				7号溝に平行する。
25号溝		4.1	1.3~2.0	北-84度-東	3号溝に切られる。				
26号溝		7.5	0.2~2.1	北-84度-東	25号溝と重複。				
27号溝		12.2	1.2~1.6	北-82度-東	3号溝に切られる。				7号溝に平行する。
28号溝		3.3	0.4~0.5	北-05度-西					
29号溝		1.2	0.5	北-89度-西	3号溝・7坑が切る				
30a号溝									浅く窪む程度の号溝状遺構。排水用の号溝か。
30b号溝		24.6	1.1~1.5	北-12度-西	67号溝を切る。				南西部掘立群中の西側群の東側を隔する機能なのか？
31号溝		9.5	0.2~0.4	北-82度-東	80坑に切られる。				32号溝とセットでの機能か？
32号溝		10.3	0.3~0.4	北-80度-東	67坑に切られる。				31号溝とセットでの機能か？
33号溝		11.1	0.5~0.8	北-07度-西					南西部掘立群中の東側群の西側を隔する機能なのか？
34号溝		4.4	0.3~0.4	北-76度-東					
35号溝		15.3	0.6~1.1	北-01度-東	32号溝と重複。				
36号溝		26.1	0.5~1.5	北-85度-西	7・11掘立と重複。				南西部掘立群中の西側群の北側を隔する機能なのか？
37号溝		20.5	1.4~1.9	北-73度-東	8号溝に切られ、2堅を切る。				43号溝と共存か。
38号溝		9.5	0.6~1.4	北-05度-西					南西部掘立群中の東側群の西側を隔する機能なのか？
39号溝		8.4	0.5~0.6	北-85度-西	12井戸に切られる。				
40(63)号溝		28.5	0.8~1.3	北-04度-西	8号溝を切る。				北西掘立群の北東側を区画する。
41号溝		10.4	0.2~0.4	北-74度-東	8・42号溝と重複。				近世以降の号溝状遺構。
42号溝		22.5	0.7~1.7	北-08度-東	8号溝に切られる。				8号溝西辺側に接する状態。43号溝の時期の西辺区画か？
43号溝		26.3	1.7~2.7	北-01度-西	8号溝に切られる。				北西掘立群の古期の区画号溝。北側では洪水埋没が確認。
44号溝		5.1	0.2~0.6	北-01度-西					
45号溝		11.6	1.6~2.3	北-13度-東	8号溝に併走。				8号溝西辺側東側で平行する位置。掘立群の西辺区画か？
46号溝		11.9	0.6~0.7	北-81度-東	1号溝に切られる。				50号溝と平行する関係にある。
47号溝		6.5	0.2~0.3	北-74度-東	46号溝に切られる。				
48号溝		19.6	0.7~0.9	北-07度-東	49・50号溝と重複。				1号溝4区北端側の走行に平行する状態。
49号溝		14.8	0.4~0.6	北-78度-西	48号溝に切られる。				
50号溝		18.5	0.6~1.6	北-79度-東	61号溝と重複。				46号溝と平行関係。西側立ち上がりは1号溝4区部分の規制。
51号溝		13.6	0.5~0.7	北-03度-西	52号溝を切る。				西側の53号溝と平行走行する。
52号溝		3	0.2~0.4	北-26度-西	51号溝に切られる。				
53号溝		13.2	1.2~1.3	北-04度-西	54号溝に切られる。				54号溝に接続する状態。
54号溝		11.8	1.6~2.0	北-04度-西	7号溝を切る。				3号溝と同じ。
55号溝		8.8	0.5~1.7	北-18度-西	53号溝の延長部分か。				53号溝の延長部分か？
56号溝		11.1	0.8~1.3	北-82度-東	1号溝に切られ、57号溝を切る。				1号溝構築以前の南北走行号溝の一部か？7尺間掘立の区画号溝か？
57号溝		29.5	0.9~1.2	北-11度-西	56号溝に切られる。				1号溝2区内の一部の号溝と同一の号溝か？
58号溝		14.5	2.0~3.4	北-67度-東	54号溝に切られる。				3号溝と同一の号溝。37号溝とは異なる性格と考えられる。
59号溝		31.4	0.5~1.0	北-81度-東	3号溝に切られる。				北東掘立群の南側の区画号溝。7尺間掘立の時期か。
60号溝		4.4	0.2~0.6	北-05度-東	51・53号掘立と重複。				未見の掘立の雨だれ号溝か？
61号溝		8.9	1.1~1.5	北-77度-東	50号溝と重複。				50号溝と同じ。
62号溝		4.3	0.2~0.7	北-84度-東	8・37号溝に切られる。				1号跡跡の施設に伴う遺構と考えられる。
63号溝	欠								
64号溝		4.6	2.0~2.6	北-07度-東					古代の水田に伴う部分的な耕作土。号溝名称の遺構とは異なる。
65号溝		21.2	7.3~7.5	北-77度-東	66号溝を切る。				II調査区の1号溝の東西走行部分と同一の号溝か？
66号溝		21.2	1.3~1.7	北-77度-東	65号溝に切られる。				II調査区の14号溝の西側延長部分と考えられる。
67号溝		93.8	1.0~3.4	北-21度-西					古代水田跡に伴う灌漑水路跡。洪水埋没している。
68号溝	欠								
69号溝	欠								

第7表 掘立柱建物跡一覽表(1)

番号	群別	設計規模(m)		面積	方位	造			柱		重複	摘	要
		東西×南北	尺×尺			坪	方向	柱間	柱間尺	出土/設計			
1	3-b	6.3×3.3	21×11	20.79	6.42	+2°	東西	4×1	7	8 / 8	8・9	P2(89坑)内耳(00424)・P8(108坑)カワラケ(00423)	
2	3-b	3.3×2.1	11×7	6.93	2.14	±0°	東西	2×1	5・6	6 / 6	3~5	遺物無し	
3	3-b	2.7×2.1	9×7	5.67	1.75	-1°	東西	2×1	4.5・7	6 / 6	2・4・5	遺物無し	
4	3-b	2.1×3.9	7×13	8.19	2.53	-4°	南北	1×1	7・13	4 / 4	2・3・5	遺物無し	
5	3-b	4.2×8.4	28×14	35.28	10.89	1°	南北	2×4	7	12 / 12	2~4	P4(175坑)内耳(00425)	
6	3-b	2.7×2.4	9×8	6.48	2	±0°	南北	1×1	8・9	4 / 4	5	P1(293坑)内耳(00426)・P4(225坑)内耳(00427)	
7	3-b	4.2×2.7	14×9	11.34	3.5	+1°	東西	1×1	7	4 / 4	無し	遺物無し	
8	3-b	4.8×2.4	16×8	11.52	3.56	1°30'	東西	3×1	6	8 / 8	1	P3(94坑)カワラケ(00428)	
9	3-b	3.6×4.2	12×14	15.12	4.67	3°30'	南北	1×2	6・7	6 / 6	1	遺物無し P4(64坑)鉄滓(0.074kg/1個)	
10	3-c	3.6×2.4	12×8	8.64	2.67	-3°30'	東西	1×1	6・8	4 / 4	12・槽2・3	遺物無し	
11	3-c	4.5×3.15	15×10.5	14.175	4.38	3°30'	東西	2×2	7・8	8 / 8	槽1・3	遺物無し P2(254坑)鉄滓(0.030kg/1個)・P8(249坑)鉄滓(0.059kg/5個)	
12	3-c	2.1×3.6	7×12	7.56	2.33	-1°45'	南北	1×1	6・7	4 / 4	10	遺物無し P2(2493坑)鉄塊(0.015kg/1個)	
13	3-a	6.3×4.2	21×14	26.46	8.17	-2°30'	東西	3×1	7	4 / 4	14・15・17・19・20	P9(2224坑)カワラケ(00430)・P4(2295坑)カワラケ(00429) P9(2224坑)砥石(01010)	
14	3-a	3.6×7.2	12×24	25.92	8	-4°	南北	1×4	6	10 / 10	13・15・16	P1(2212坑)内耳(00431)・P4(2219坑)鉄滓(0.013kg/3個) P6(2198坑)鉄滓(0.246kg/19個)・鉄塊(0.035kg/3個)・P10(2173坑)鉄器(0.016kg/1個)	
15	3-a	4.2×7.5	14×25	31.5	9.72	-7°	南北	1×4	6・7	10 / 10	13~14・16・19・20	P1(2449坑)軟陶漆鉢(00434)・P6(2465坑)カワラケ(00433)鉄滓(0.351kg/19個)・P8(2525坑)カワラケ(00432)・P4(2369坑)鉄器(0.103kg/6個)・P5(2203坑)鉄滓(0.014kg/2個)・P7(2184坑)鉄滓(0.034kg/6個)・P10(2523坑)鉄器(0.005kg/1個)	
16	3-a	6.3×4.2	21×14	26.46	8.17	-2°	東西	3×1	7	7 / 8	14・15	P1(2217坑)カワラケ(00436)・P3(2375坑)カワラケ(00438)・P5(2182坑)カワラケ(00435)鉄滓(0.034kg/5個)・P7(2524坑)カワラケ(00437)	
17	3-a	3.6×4.5	12×15	16.2	5	-6°45'	南北	1×3	6	8 / 8	13・15	遺物無し P6(2400坑)鉄器(0.004kg/1個)	

第8表 掘立柱建物跡一覧表(2)

番号	群別	設計規模(m)		面積	方位	造			柱	重複	摘	要
		東西×南北 尺×尺	面 ㎡			方向	柱間	柱間尺				
18	3-a	1.2×1.8 4×6	2.16	0.67	±0°	南北	1×1	6	4 / 4	無し	遺物無し	
19	3-a	7.2×2.4 24×16	17.28	5.33	-6°	東西	3×1	8	7 / 8	13・17・19・20	遺物無し	
20	3-a	6.3×4.2 21×14	26.46	8.17	-8°45'	東西	3×1	7	8 / 8	13・15・17・19	遺物無し P4(2298坑)鉄滓(0.075kg/4個)	
21	2	3.6×1.8 12×6	6.48	2	-3°	東西	2×1	6	5 / 6	22	P4(649坑)カワラケ(00439)・P5(637坑)内耳浅(00440)	
22	2	6.3×4.2 21×14	26.46	8.17	+5°	東西	3×1	7	8 / 8	21・23	P3(517坑)カワラケ(00442)・P5(2706坑)カワラケ(01395) P7(613坑)カワラケ(00441)・P3(517坑)鉄滓(0.001kg/1個)	
23	2	5.4×3.6 18×12	19.44	6	±	東西	3×1	6	8 / 8	21・24	P1(641坑)カワラケ(00443)・P8(2866坑)内耳(00444)	
24	2 b	9.6×7.2 32×16	69.12	21.33	+1°	東西	4×3	8	10 / 14	23・25・38・43・48	P1(2707坑)カワラケ(00445~00448)・軟陶摺鉢(00451)・P2(2597坑)カワラケ(00450)(32号掘立と重複)・P10(1506坑)カワラケ(00449)	
25	2 b	2.4×3 8×10	7.2	2.22	-1°	南北	1×1	8	4 / 4	24・48	遺物無し	
26	2 b	6.3×4.8 24×16	30.24	9.33	+3°	東西	3×1	8	8 / 8	29・30・27・28・43・45・46・47	P2(1517坑)カワラケ(00453)・P5(2006坑)カワラケ(00452)鉄滓(0.053kg/3個)・P5(2001坑)鉄器(0.006kg/3個)	
27	2	7.2×5.4 32×18	38.88	12	±0°	東西	4×1	8	9 / 10	26・28~31・38・39・45・46・47・50	P2(1642坑)カワラケ(00457)・P4(1462坑)カワラケ(00454)・P5(1468坑)カワラケ(00456)鉄滓(0.059kg/1個)鉄器(0.012kg/1個)・P7(2013坑)カワラケ(00455)	
28	2 b	4.2×8.4 14×28	35.28	10.89	+1°	南北	2×4	7	12 / 12	29・30・31・38・45・47・48・50	P6(1658坑)カワラケ(00458)45%砥石(00997)	
29	2	4.2×8.4 14×28	35.28	10.89	-1°30'	南北	1×4	7	10 / 10	26・27・30・31・38・39・45~47・50	遺物無し	
30	2 b	4.5×8.4 15×28	37.8	11.67	±0°	南北	1×4	7	10 / 10	26~29・31・38・39・45・46・50	P3(1658坑)カワラケ(00458)45%(28号掘立と重複、ピットが重複し数本分ある)。 桁行15尺・P10(1501坑)鉄滓(0.008kg/3個)	
31	2 b	3.6×9 12×30	32.4	10	-2°	南北	1×5	6	11 / 12	26~30・39・45・46・50	P6(1749坑)カワラケ(00459)25%・P10(799坑)カワラケ(00460)・P11(848坑)灰軸陶器(00601)20%	
32	2 a	4.2×8.4 14×21	35.28	10.89	-2°	南北	1×4	7	10 / 10	33・35・36・38・39・49	P6(2597坑)カワラケ(00450)(24号掘立と重複)・P7(1317坑)カワラケ(00462)	
33	2 a	4.2×6.3 14×25	26.46	8.17	+8°	南北	1×3	4・7	10 / 8	32・35・36・38・39・49	P4(2139坑)カワラケ(00463)・P7(1305坑)カワラケ(00464)南面に庇(4尺×14尺)・P9(1393坑)鉄滓(0.089kg/1個)	
34	2 a	2.4×6.6 8×22	15.84	4.89	-2°30'	南北	1×6	3・4 4.5・8	14 / 14	36・00	P9(2497坑)カワラケ(00465)馬小屋か	
35	2 a	4.2×9 12×30	37.8	11.67	-15°	南北	1×5	6	11 / 12	32・33・36・38・39・49	P1(1063坑)カワラケ(00467)・P12(1284坑)内耳浅(00468)・P12(1288坑)カワラケ(00466)・P2(1051坑)鉄滓(0.034kg/1個)・P6(2138坑)鉄滓(0.053kg/6個)	

第9表 掘立柱建物跡一覧表(3)

番号	群別	設計規模(m)		面積	方位	造			柱	重複	摘要
		東西×南北	尺×尺			方向	柱間	柱間尺			
36	2 a	5.4×12.6	68.04	21	(北±0)	南北	3×7	6	14 / 20	32~35・37~39	P5(1018坑)内耳浅(0.069kg/2個)・P18(1268坑)内耳浅(0.0469)鉄滓(0.011kg/2個)・P9(1070坑)鉄滓(0.465kg/9個)
		18×42									
37	2	6.3×4.2	26.46	8.17	+1°30'	東西	3×1	7	8 / 8	36・2竪	遺物無し P6(3531坑)鉄滓(0.771kg/8個)
		21×14									
38	2	19.2×4.8	92.16	28.44	+1°	東西	8×2	8	14 / 20	24~30・32~36・44~50	P2(1904坑)カワラケ(00472)・P18(1254坑)カワラケ(00473)・P19(1196坑)カワラケ(00471)P2-P3やズレル
		64×16									
39	2	12.6×8.4	105.84	32.67	+2°15'	東西	6×4	7	14 / 20	29~33・35・36・44~47・49・50	P5(1115坑)内耳浅(0.0475)・P10(1658坑)カワラケ(00458)45% (28・30号掘立と重複)・P12(1705坑)カワラケ(00474)・P3(1448坑)鉄滓(0.009kg/4個)
		42×28									
40	2 b	2.1×1.5	3.15	0.97	-1°30'	東西	1×1	7	4 / 4	無し	遺物無し
		7×5									
41	2 b	2.1×2.1	4.41	1.36	-1°30'	北	1×1	7	4 / 4	無し	遺物無し
		7×7									
42	2 b	1.8×2.1	3.78	1.17	-1°30'	南北	1×1	6・7	4 / 4	無し	遺物無し
		6×7									
43	2 b	1.8×1.8	3.24	1	-1°30'	北	1×1	6	4 / 4	25	遺物無し
		6×6									
44	2 b	2.4×1.5	3.6	1.11	-1°30'	東西	1×1	8・5	4 / 4	50	遺物無し
		8×5									
45	2 a	7.2×3.6	25.92	8	±0°	東西	4×1	6	10 / 10	26~31・46・47・50	P2(1780坑)カワラケ(00476)50%・P4(1631坑)カワラケ(00477) P9(1744坑)砥石(00999)
		24×12									
46	2 b	10.5×4.2	44.1	13.61	+4°	東西	5×2	7・6	16 / 17	28~31・38・39・45・47・50	P2(1946坑)カワラケ(00479)鉄滓(0.008kg/1個)・P12(2051坑)内耳浅(00480)・P15(1703坑)カワラケ(00478)P1(1950坑)鉄滓(0.035kg/1個)・P3(1618坑)鉄滓(0.013kg/1個)
		35×14									
47	2 b	7.2×4.8	34.56	10.67	+15°	東西	3×2	8	9 / 10	26~31・39・45・46・50	P2(1642坑)カワラケ(00457)(27号掘立と重複)
		24×16									
48	2 b	2.1×4.2	8.82	2.72	-1°30'	南北	1×2	7	6 / 6	24・25・28・38・50	P1(1885坑)カワラケ(00481)・P2(2852坑)内耳浅(00691)
		7×14									
49	2 a	2.1×6.3	13.23	4.08	-15°	南北	1×3	7	8 / 8	32・33・35・39	P5(1362坑)カワラケ(00469)
		7×21									
50	2 b	7.2×4.8	34.56	10.67	+2°	東西	3×1	8	8 / 8	26~31・38・39・44~48	遺物無し
		24×16									
51	1	6.3×4.2	26.46	8.17	-10°	東西	3×1	7	8 / 8	52~54	P3(3082坑)カワラケ(00484)・P5(3253坑)内耳浅(00485) P5(3253坑)鉄滓(0.016kg/1個)
		21×14									
52	1	3.3×6.3	20.79	6.42	-9°	南北	2×3	5・6・7	9 / 10	51	P3未確認乃至(3375b坑)・P2(3074坑)焼陶壺(00486)
		11×21									
53	1	6.3×4.2	26.46	8.17	-16°	東西	3×1	7	8 / 8	51	P5(3210坑)カワラケ(00487)
		21×14									

第10表 掘立柱建物跡一覽表(4)

番号	群別	設計規模(m)		面積		方位 (北±0°)	造			柱		重複	摘要
		東西×南北 尺×尺	坪	方向	柱間		柱間尺	出土/設計	重				
54	1	9.6×4.8	14.22	東西	4×1	-8°	8	10	/	10	51・56		P2(3269坑)内耳浅(00488)・P3(3201坑)軟陶罐鉢(00489)
		32×16											
55	1	2.7×7.2	19.44	南北	1×4	-13°	6	8	/	10	54		P5(3141坑)内耳浅(00493)・P7(3120坑)カワラケ(00492) P8(3127坑)カワラケ(00490・00491) P5(3330坑)内耳深(00494)・東西南北に夫々1尺拡張改築
		9×24											
56	1	2.1×3	6.3	南北	1×1	-7'30"	7	4	/	4	54		遺物無し
		7×10											
57	1	2.7×2.7	7.29	東西	1×1	-5'30"	9	4	/	4	無し		
		9×9											
58	2 a	4.2×1.8	7.56	東西	2×1	+2°	7	5	/	6	59		P2(741坑)内耳浅(00483)鉄滓(0.006kg/1個)
		14×6											
59	2 a	×	0		×		半径8	/			58		P1-675坑・P2-664坑・P3-666坑・P4-701坑・P5-742坑・ P6-2555坑・P7-750坑・P8-753坑・P9-759坑・P10-721坑 P11-683坑・P12-672坑・P13-683坑
		×											
60	2	-×-	1.247	-	1×1	-	4	3	/	3			P1(坑)・P2(坑)・P3(坑)NO未
		-×-											
61	2 a	-×-	2.8059	-	1×1	-	6	3	/	3			P1(2717坑)・P2(2715坑)・P3(2720坑)・P1(2717坑)鉄滓(0.003kg/1個)
		-×-											
62	2 a	-×-	15.2766	-	1×1	-	7×2	3	/	3			P1(2788坑)・P2(725坑)・P3(733坑)
		-×-											
63	2 a	-×-	1.94855	-	1×1	-	5	3	/	3	34		P1(1006坑)・P2(2777坑)・P3(1373坑)
		-×-											
64	2	-×-	2.8059	-	1×1	-	6	3	/	3			P1(2652坑)・P2(2641坑)・P3(2645坑)
		-×-											
65	2	-×-	4.988306	-	1×1	-	8	3	/	3			P1(570坑)・P2(510坑)・P3(未坑)
		-×-											
66	3 a	-×-	1.247	-	1×1	-	4	3	/	3			P1(2440坑)・P2(2451坑)・P3(2457坑)
		-×-											
67	3 a	-×-	1.94855	-	1×1	-	5	3	/	3			P1(2441坑)・P2(2475坑)・P3(2453坑)
		-×-											
68	3 c	-×-	4.988306	-	1×1	-	8	3	/	3	70		P1(235坑)カワラケ(00495)・P2(248坑)・P3(258坑)
		-×-											
69	3 c	-×-	3.819172	-	1×1	-	7	3	/	3			P1(243坑)・P2(213坑)・P3(217坑)
		-×-											
70	3 c	-×-	7.9942286	-	1×1	-	10	3	/	3	68		P1(245坑)・P2(2480坑)・P3(262坑)
		-×-											
71	2 a	-×-	4.988306	-	1×1	-	8	3	/	3			P1(2721坑)・P2(677坑)・P3(2723坑)
		-×-											
72	2 b	-×-	2.8059	-	1×1	-	6	3	/	3			P1(873坑)・P2(877坑)・P3(875坑)
		-×-											

発見された遺構と出土遺物

第11表 土坑規模一覧表(1)

番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ						下端	上端		長軸	短軸	深さ						下端	上端
1	3.980	0.510	0.18				37034.439	-42665.343	61.15	61.33	78	0.383	0.383	0.54				37015.150	-42729.285	60.75	61.29
2	0.920	1.480	0.17				37035.122	-42668.323	61.18	61.35	79	0.261	0.209	0.25				37014.318	-42731.517	61.03	61.28
3	0.662	0.642	0.06				37025.834	-42667.196	61.33	61.39	80	0.498	0.448	0.47				37014.496	-42731.919	60.82	61.29
4	0.717	0.487	0.06				37025.950	-42671.814	61.34	61.40	81	0.498	0.448	0.57				37014.373	-42732.062	60.72	61.29
5	0.839	0.770	0.05				37025.308	-42674.033	61.33	61.38	82	0.229	0.181	0.07				37014.457	-42732.503	61.21	61.28
6	1.640	0.620	0.27				37024.973	-42678.705	61.16	61.43	83	0.187	0.170	0.1				37014.298	-42732.888	61.19	61.29
7	1.191	0.379	0.12				37025.763	-42679.465	61.29	61.41	84	0.248	0.225	0.38				37013.915	-42733.601	60.91	61.29
8	2.196	0.661	0.2				37027.195	-42678.873	61.20	61.40	85	0.344	0.276	0.18	○			37016.282	-42728.569	61.10	61.28
9	2.670	0.510	0.36	○			37029.881	-42678.368	61.02	61.38	86	0.485	0.395	0.14				37016.180	-42729.809	61.13	61.27
10	4.190	0.810	0.08				37031.013	-42677.401	61.25	61.33	87	0.273	0.243	0.4				37015.409	-42730.379	60.89	61.29
11	3.158	0.727	0.26				37033.206	-42678.729	61.12	61.38	88	0.353	0.272	0.21				37015.837	-42730.416	61.08	61.29
12	1.780	0.610	0.26				37035.128	-42679.582	61.13	61.39	89	0.457	0.316	0.54	○			37015.448	-42731.086	60.75	61.29
13	0.618	0.580	0.07				37034.916	-42678.636	61.33	61.40	90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	3.643	0.570	0.24				37038.582	-42678.219	61.13	61.37	90	0.385	0.168	0.21	○			37014.994	-42731.106	61.07	61.28
15	3.069	0.715	0.05	○			37038.729	-42677.631	61.31	61.36	91	0.368	0.312	0.47	○			37015.328	-42731.630	60.82	61.29
16	2.164	0.828	0.09				37038.380	-42679.138	61.28	61.37	92	0.328	0.300	0.42	○			37015.236	-42731.917	60.87	61.29
17	4.710	0.840	0.35	○			37038.931	-42680.154	61.04	61.39	93	0.269	0.244	0.27				37017.119	-42727.322	61.01	61.28
18	1.446	0.588	0.11				37034.673	-42697.622	61.19	61.30	94	0.372	0.314	0.15	○			37017.260	-42729.121	61.11	61.26
19	1.940	0.298	0.08				37026.175	-42683.028	61.30	61.38	95	1.202	1.056	0.06	○			37016.717	-42731.307	61.23	61.29
20	1.800	0.520	0.04				37024.281	-42683.323	61.38	61.42	96	0.291	0.265	0.27	○			37016.518	-42731.861	61.02	61.29
21	0.625	0.374	0.05				37024.312	-42684.337	61.38	61.43	97	0.351	0.291	0.06				37016.494	-42732.752	61.23	61.29
22	1.294	0.221	0.04				37026.437	-42685.971	61.35	61.39	98	0.332	0.301	0.06				37015.927	-42732.705	61.23	61.29
23	1.927	0.386	0.07				37023.517	-42686.649	61.36	61.43	99	0.232	0.212	0.06				37015.902	-42732.350	61.23	61.29
24	0.828	0.732	0.06				37026.871	-42691.234	61.32	61.38	100	0.295	0.251	0.19				37015.387	-42732.795	61.10	61.29
25	0.190	0.153	0.04				37031.044	-42686.277	61.31	61.35	101	0.307	0.252	0.42				37015.687	-42733.562	60.88	61.30
26	0.224	0.210	0.04				37030.973	-42686.599	61.31	61.35	102	0.459	0.276	0.48				37015.173	-42733.432	60.82	61.30
27	0.316	0.272	0.15				37030.920	-42687.054	61.22	61.37	103	0.253	0.177	0.3				37016.444	-42734.120	60.99	61.29
28	0.293	0.211	0.06				37034.283	-42689.026	61.30	61.36	104	0.266	0.257	0.16				37015.622	-42734.108	61.14	61.30
29	0.312	0.247	0.12				37030.970	-42688.252	61.25	61.37	105	0.253	0.225	0.14				37015.264	-42734.883	61.15	61.29
30	0.288	0.269	0.02				37031.297	-42689.929	61.34	61.36	106	0.216	0.204	0.05				37016.075	-42734.939	61.24	61.29
31	0.200	0.170	0.08				37031.460	-42690.833	61.27	61.35	107	0.306	0.298	0.44				37018.722	-42726.651	60.83	61.27
32	0.633	0.340	0.07				37031.315	-42691.550	61.28	61.35	108	0.415	0.357	0.52				37018.779	-42727.011	60.76	61.28
33	0.620	0.357	0.03				37031.481	-42695.497	61.29	61.32	109	0.313	0.249	0.16				37019.189	-42727.599	61.10	61.26
34	1.592	0.843	0.01				37034.407	-42678.085	61.37	61.38	110	0.245	0.235	0.37				37018.705	-42728.513	60.90	61.27
35	1.764	0.587	0.04				37036.027	-42677.375	61.34	61.38	111	0.146	0.138	0.08				37018.652	-42728.962	60.98	61.06
36	0.848	0.611	0.37				37010.698	-42727.701	60.90	61.27	112	0.241	0.215	0.49				37018.407	-42728.416	60.78	61.27
37	0.227	0.220	0.07				37010.394	-42728.772	61.19	61.26	113	0.278	0.227	0.04				37018.940	-42729.067	61.23	61.27
38	0.309	0.271	0.22				37009.434	-42729.021	61.03	61.25	114	0.459	0.325	0.21	○			37018.683	-42729.034	61.06	61.27
39	0.223	0.221	0.08				37010.497	-42729.480	61.18	61.26	115	0.459	0.325	0.21	○			37018.683	-42729.034	61.06	61.27
40	0.292	0.217	0.05				37007.309	-42729.242	61.20	61.25	116	0.256	0.178	0.03				37017.631	-42729.939	61.24	61.27
41	0.217	0.163	0.1				37007.421	-42730.599	61.16	61.26	117	0.271	0.250	0.52				37017.498	-42731.091	60.78	61.30
42	0.185	0.177	0.14				37007.157	-42730.813	61.12	61.26	118	0.709	0.377	0.07				37017.677	-42731.704	61.22	61.29
43	0.286	0.258	0.38				37010.152	-42730.520	60.90	61.28	119	0.312	0.244	0.07				37017.522	-42732.032	61.22	61.29
44	0.505	0.384	0.38				37010.601	-42730.500	60.91	61.29	120	0.283	0.219	0.14				37017.306	-42732.167	61.15	61.29
45	0.311	0.293	0.46				37010.460	-42731.734	60.83	61.29	121	0.442	0.301	0.17				37018.139	-42731.775	61.12	61.29
46	0.265	0.254	0.34				37008.939	-42732.950	60.91	61.25	122	0.709	0.377	0.07				37017.677	-42731.704	61.22	61.29
47	0.323	0.291	0.46				37009.972	-42733.683	60.80	61.26	123	0.298	0.241	0.13				37017.511	-42733.492	61.17	61.30
47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	124	0.252	0.241	0.14				37017.501	-42733.801	61.15	61.29
48	0.756	0.626	0.1	○			37012.667	-42739.159	61.17	61.27	125	0.267	0.255	0.12				37018.241	-42733.217	61.18	61.30
49	0.246	0.201	0.13				37012.012	-42726.103	61.15	61.28	126	0.442	0.428	0.52	○			37018.624	-42733.447	60.78	61.30
50	0.948	0.548	0.1				37013.854	-42725.312	61.17	61.27	127	0.241	0.239	0.28				37018.825	-42733.984	61.02	61.30
51	0.313	0.301	0.41				37012.897	-42726.917	60.87	61.28	128	0.323	0.303	0.31				37019.003	-42735.311	60.99	61.30
52	0.369	0.352	0.35				37013.374	-42726.693	60.92	61.27	129	0.316	0.301	0.23				37019.607	-42727.431	61.03	61.26
53	0.368	0.335	0.57				37013.321	-42727.337	60.70	61.27	130	0.331	0.319	0.3				37019.344	-42729.195	60.98	61.28
54	0.413	0.375	0.23				37012.787	-42727.394	61.04	61.27	131	0.296	0.264	0.27				37019.689	-42729.171	60.99	61.26
55	0.525	0.236	0.09				37012.524	-42727.294	61.19	61.28	132	0.546	0.493	0.49	○			37018.733	-42731.334	60.80	61.29
56	0.410	0.352	0.49				37012.487	-42729.236	60.79	61.28	133	0.261	0.236	0.51				37018.718	-42732.300	60.79	61.30
57	0.478	0.341	0.58				37012.114	-42728.877	60.70	61.28	134	0.307	0.192	0.46				37018.989	-42732.367	60.84	61.30
58	0.418	0.297	0.55				37012.045	-42730.657	60.73	61.28	135	0.204	0.200	0.15				37019.580	-42733.836	61.14	61.29
59	0.344	0.267	0.15				37012.152	-42731.412	61.14	61.29	136	0.795	0.718	0.09	○			37019.400	-42734.375	61.21	61.30
60	1.056	0.937	0.12	○			37011.567	-42731.915	61.16	61.28	137	0.235	0.188	0.11				37019.682</			

第12表 土坑規模一覽表(2)

番号	規 模			柱 遺 痕	掘 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 遺 痕	掘 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ					下 端	上 端		長軸	短軸	深さ					下 端	上 端
155	0.350	0.290	0.57			37022.237	-42731.158	60.65	61.22	223	0.226	0.224	0.01			37028.039	-42732.005	61.08	61.09
156	0.323	0.320	0.35			37021.707	-42732.101	60.89	61.24	224	0.287	0.239	0.02			37028.232	-42732.151	61.07	61.09
157	0.343	0.324	0.2			37021.997	-42732.407	61.04	61.24	225	0.397	0.294	0.13			37028.669	-42731.482	60.90	61.03
158	0.466	0.376	0.45			37022.125	-42733.704	60.79	61.24	226	0.342	0.228	0.01			37028.850	-42731.860	61.08	61.09
159	0.488	0.472	0.55			37021.660	-42733.749	60.71	61.26	227	0.356	0.343	0.5			37029.374	-42731.860	60.59	61.09
160	0.273	0.252	0.15			37021.345	-42734.189	61.11	61.26	228	0.692	0.476	0.28		○	37029.357	-42731.486	60.81	61.09
161	0.368	0.342	0.12			37023.599	-42728.998	61.11	61.23	229	0.323	0.214	0.27			37029.119	-42731.893	60.82	61.09
162	0.291	0.256	0.13			37023.999	-42729.212	61.11	61.24	230									
163	—	—	—	—	—	—	—	—	—	231	0.397	0.287	0.11			37031.054	-42726.237	61.06	61.17
164	0.235	0.229	0.04			37023.381	-42729.969	61.19	61.23	232	0.294	0.226	0.09		○	37031.933	-42726.397	61.10	61.19
164	0.276	0.251	0.04			37023.615	-42730.062	61.19	61.23	233	0.286	0.232	0.14			37030.923	-42729.910	61.02	61.16
165	0.279	0.266	0.35			37022.880	-42730.441	60.89	61.24	234	0.285	0.282	0.07			37031.798	-42729.533	61.14	61.21
166	0.399	0.340	0.5			37023.740	-42730.510	60.72	61.22	235	0.236	0.154	0.13			37031.773	-42729.993	61.08	61.21
167	0.384	0.337	0.44			37024.265	-42730.316	60.78	61.22	235	—	—	—			—	—	—	—
168	0.291	0.291	0.11			37024.689	-42730.478	61.12	61.23	236			0.1		○	37031.129	-42730.503	61.11	61.21
169	0.226	0.224	0.09			37024.229	-42730.902	61.14	61.23	237			1.06		○	37030.541	-42733.214	60.09	61.15
170	0.262	0.257	0.1			37023.534	-42730.946	61.13	61.23	238			0.07			37031.198	-42733.096	61.15	61.22
171	0.323	0.302	0.45			37023.363	-42731.106	60.79	61.24	239			0.58			37031.489	-42735.555	60.66	61.24
172	0.293	0.291	0.39			37023.187	-42731.311	60.84	61.23	240			0.17			37031.623	-42736.425	61.05	61.22
173	0.733	0.518	0.19			37023.746	-42731.243	61.03	61.22	241	1.174	1.150	0.49			37028.882	-42739.621	60.78	61.27
174	0.241	0.237	0.45			37024.338	-42731.271	60.78	61.23	241	—	—	—			—	—	—	—
175	0.298	0.262	0.48		○	37025.157	-42731.467	60.74	61.22	242	0.378	0.329	0.22			37029.418	-42740.014	61.05	61.27
175	—	—	—	—	—	—	—	—	—	242	—	—	—			—	—	—	—
176	0.476	0.270	0.54		○	37023.763	-42732.075	60.69	61.23	243	0.246	0.200	0.14			37029.229	-42741.852	61.11	61.25
177	0.388	0.260	0.34			37023.370	-42732.244	60.89	61.23	244	0.272	0.251	0.19			37030.373	-42740.974	61.07	61.26
178	0.341	0.322	0.24			37023.384	-42732.468	60.99	61.23	245	0.188	0.171	0.12			37030.657	-42741.079	61.14	61.26
179	0.267	0.239	0.16			37024.193	-42732.576	61.08	61.24	246	0.265	0.249	0.28			37031.920	-42740.796	60.98	61.26
180	0.251	0.215	0.06			37024.357	-42732.277	61.17	61.23	247	0.236	0.209	0.17			37030.762	-42741.470	61.09	61.26
181	0.214	0.212	0.21			37025.044	-42732.085	61.02	61.23	248	0.352	0.285	0.12			37030.758	-42741.564	61.14	61.26
181	—	—	—	—	—	—	—	—	—	249	0.318	0.260	0.41			37033.706	-42740.953	60.84	61.25
182	0.278	0.230	0.03			37024.614	-42732.581	61.21	61.24	250	0.218	0.195	0.09		○	37033.740	-42742.838	61.18	61.27
183	0.357	0.270	0.28			37025.060	-42732.799	60.96	61.24	251	0.241	0.218	0.31			37033.450	-42742.797	60.95	61.26
183	—	—	—	—	—	—	—	—	—	252	0.179	0.169	0.15			37032.163	-42743.566	61.10	61.25
184	0.207	0.174	0.28			37025.144	-42732.653	60.97	61.25	253	0.292	0.261	0.18			37032.114	-42743.409	61.08	61.26
185	0.205	0.197	0.09			37023.140	-42733.427	61.17	61.26	254	0.237	0.201	0.28			37030.665	-42742.963	60.97	61.25
186	0.264	0.216	0.07			37023.201	-42733.848	61.17	61.24	255	0.260	0.240	0.1			37030.275	-42742.866	61.15	61.25
187	0.447	0.245	0.47			37023.660	-42733.801	60.77	61.24	256	1.300	0.680	0.18		○	37029.979	-42742.991	61.07	61.25
188	0.294	0.256	0.3			37024.235	-42733.820	60.94	61.24	256	—	—	—			—	—	—	—
189	0.313	0.280	0.04			37025.515	-42733.170	61.21	61.25	257	0.325	0.316	0.06			37029.263	-42743.851	61.19	61.25
188	0.294	0.256	0.3			37024.235	-42733.820	60.94	61.24	258	0.412	0.340	0.11			37029.731	-42743.699	61.12	61.23
189	0.313	0.280	0.04			37025.515	-42733.170	61.21	61.25	259	1.688	0.660	0.06		○	37029.249	-42744.738	61.16	61.22
190	0.441	0.392	0.69			37025.849	-42732.994	60.55	61.24	259	—	—	—			—	—	—	—
191	0.492	0.395	0.65			37026.302	-42734.261	60.59	61.24	260	—	—	—			—	—	—	—
192	0.386	0.375	0.62			37025.772	-42734.866	60.62	61.24	260	1.680	0.710	0.04		○	37030.340	-42745.638	61.21	61.25
193	0.363	0.349	0.37			37025.899	-42734.921	60.85	61.22	261	0.298	0.254	0.2			37030.660	-42745.058	61.03	61.23
194	0.557	0.338	0.35			37023.318	-42735.410	60.89	61.24	262	0.299	0.286	0.07			37031.146	-42743.973	61.18	61.25
195	0.298	0.275	0.37			37022.921	-42735.992	60.89	61.26	263	0.285	0.223	0.18			37032.128	-42744.987	61.06	61.24
196	0.267	0.207	0.08			37022.620	-42736.897	61.19	61.27	264	0.223	0.175	0.1			37033.296	-42744.595	61.15	61.25
197	0.549	0.426	0.53			37023.294	-42736.939	60.73	61.26	265	0.198	0.182	0.13			37033.302	-42744.937	61.12	61.25
198	0.290	0.283	0.09			37023.826	-42736.491	61.16	61.25	266	0.309	0.297	0.38			37033.699	-42744.825	60.88	61.26
198	0.282	0.204	0.32			37073.924	-42732.272	60.97	61.29	267	0.325	0.281	0.18			37034.432	-42744.806	61.09	61.27
199	0.315	0.292	0.53			37024.270	-42736.436	60.72	61.25	268	0.295	0.215	0.13			37034.943	-42745.349	61.14	61.27
200	0.198	0.180	0.2			37024.262	-42736.675	61.05	61.25	269	—	—	—			—	—	—	—
201	0.358	0.331	1.09			37025.513	-42735.753	60.15	61.24	269	0.380	0.185	0.12		○	37035.098	-42745.454	61.15	61.27
202	0.503	0.457	0.55		○	37025.195	-42735.634	60.70	61.25	270	0.307	0.288	0.11		○	37032.292	-42725.507	61.10	61.21
202	—	—	—	—	—	—	—	—	—	271	0.309	0.281	0.1			37032.894	-42725.583	61.13	61.23
203	0.452	0.374	0.45		○	37025.585	-42736.772	60.80	61.25	272	0.260	0.226	0.28			37033.315	-42725.607	60.93	61.21
204	0.455	0.363	0.61		○	37026.150	-42736.687	60.65	61.26	273	0.426	0.355	0.21			37033.544	-42726.558	61.05	61.26
205	0.768	0.722	0.61			37026.048	-42738.720	60.63	61.24	274	0.277	0.239	0.22			37033.893	-42726.330	60.98	61.20
206	0.401	0.370	0.33		○	37023.153	-42742.984	60.93	61.26	275	0.395	0.347	0.56			37034.010	-42726.719	60.64	61.20
207	0.401	0.370	0.39		○	37023.385	-42743.106	60.87	61.26	276	0.414	0.387	0.1			37033.809	-42729.428	61.13	61.23
208	0.240	0.238	0.43			37024.368	-42742.733	60.82	61.25	277			0.23		○	37033.687	-42730.310	60.99	61.22
209	0.261	0.255	0.16			37025.702	-42740.810	61.09	61.25	278			0.43			37033.914	-42730.483	60.80	61.23
210	0.390	0.286	0.35		○	37026.759	-42739.806	60.90	61.25	279			0.21			37033.811	-42730.832	61.01	61.22
211	—	—	—	—	—	—	—	—	—	280			0.36			37033.514	-42730.959	60.86	61.22
211	0.420	0.369	0.41		○	37027.074	-42740.143	60.84	61.25	281			0						

発見された遺構と出土遺物

第13表 土坑規模一覧表(3)

番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高		
	長軸	短軸	深さ						下	上		長軸	短軸	深さ						下	上	
292	0.471	0.435	0.16				37004.378	-42746.786	61.03	61.19	363	0.519	0.314	0.32				37049.556	-42715.071	60.89	61.21	
293	1.411	0.328	0.01	○			37015.035	-42745.845	61.25	61.26	364	0.479	0.370	0.43				37049.897	-42715.212	60.79	61.22	
293											365	0.563	0.465	0.67				37050.441	-42715.030	60.57	61.24	
294	1.776	1.736	0.3				37019.963	-42744.468	60.96	61.26	366	0.278	0.220	0.36				37047.024	-42713.979	60.88	61.24	
294											367	0.319	0.223	0.23				37047.024	-42714.209	61.01	61.24	
295											368	0.323	0.236	0.34				37047.067	-42714.436	60.90	61.24	
295	2.410	1.920	0.15				37024.915	-42749.889	60.99	61.14	369	0.225	0.192	0.31				37047.047	-42716.492	60.94	61.25	
295											370	0.140	0.137	0.31				37046.960	-42717.276	60.95	61.26	
295											371	0.347	0.317	0.39				37047.422	-42716.533	60.86	61.25	
296	0.299	0.238	0.24	○			37028.622	-42750.032	60.96	61.20	372	0.291	0.267	0.42				37047.570	-42717.221	60.83	61.25	
297	2.610	1.147	0.12	○			37032.659	-42751.167	61.14	61.26	373	0.287	0.281	0.4				37047.180	-42717.568	60.85	61.25	
298	1.059	0.887	0.14				37035.860	-42751.423	61.13	61.27	374	0.362	0.358	0.42				37047.357	-42717.953	60.83	61.25	
299	0.348	0.296	0.38				37013.843	-42728.439	60.89	61.27	375	0.339	0.275	0.53				37047.971	-42716.168	60.72	61.25	
300	0.218	0.200	0.08				37010.702	-42726.275	61.19	61.27	376	0.221	0.213	0.12				37047.894	-42717.422	61.12	61.24	
301	0.311	0.267	0.3				37024.917	-42726.672	60.94	61.24	377	0.389	0.301	0.72				37047.937	-42717.622	60.53	61.25	
302	0.268	0.210	0.28				37025.509	-42729.508	60.95	61.23	378	0.411	0.350	0.48				37048.198	-42717.672	60.76	61.24	
303	0.299	0.287	0.33				37025.335	-42730.682	60.87	61.20	379	0.185	0.172	0.26				37048.485	-42716.275	60.98	61.24	
304	0.373	0.339	0.56				37026.319	-42731.505	60.67	61.23	380	0.328	0.247	0.26	○			37048.406	-42716.522	60.98	61.24	
305	0.351	0.303	0.1	○			37027.299	-42731.431	61.05	61.15	381	0.390	0.278	0.6				37048.341	-42717.013	60.64	61.24	
306	0.297	0.289	0.12				37027.193	-42730.930	61.03	61.15	382	0.263	0.234	0.25	○			37048.633	-42716.564	60.99	61.24	
307	0.217	0.207	0.38				37027.575	-42730.627	60.81	61.19	383	0.141	0.137	0.74				37048.562	-42716.816	60.50	61.24	
308	0.303	0.273	0.36				37027.562	-42729.175	60.79	61.15	384	0.536	0.285	0.43				37048.599	-42716.816	60.81	61.24	
309	0.305	0.297	0.46				37029.641	-42729.969	60.69	61.15	385	0.234	0.178	0.37				37048.601	-42715.834	60.87	61.24	
309											386	0.548	0.410	0.25			○	37048.843	-42716.109	60.98	61.23	
310	0.237	0.200	0.05				37029.600	-42729.630	61.08	61.13	387	0.384	0.281	0.37				37048.865	-42715.937	60.86	61.23	
311			0.19				37030.532	-42730.428	60.89	61.08	387											
312			0.15				37030.466	-42730.058	60.94	61.09	388	0.132	0.123	0.14				37048.637	-42717.465	61.10	61.24	
313	0.266	0.266	0.13				37029.726	-42727.918	60.99	61.12	389	0.276	0.275	0.33				37048.851	-42717.410	60.91	61.24	
314	0.294	0.265	0.11				37030.465	-42727.968	61.02	61.13	390	0.161	0.155	0.33				37048.926	-42717.227	60.91	61.24	
315			0.53				37031.499	-42731.459	60.69	61.22	391	0.291	0.270	0.43				37049.700	-42715.471	60.79	61.22	
316	0.368	0.317	0.13				37028.169	-42732.907	60.98	61.11	392	0.358	0.322	0.38				37049.722	-42715.909	60.85	61.23	
317	0.303	0.287	0.12				37029.153	-42733.294	60.99	61.11	393	0.742	0.589	0.14				37049.461	-42716.442	61.10	61.24	
318	0.387	0.380	0.35				37028.766	-42734.184	60.77	61.12	394	0.199	0.196	0.13				37049.450	-42716.514	60.80	60.93	
319	0.323	0.194	0.47				37028.542	-42734.146	60.67	61.14	395	0.324	0.300	0.29				37049.350	-42717.110	60.95	61.24	
320	0.399	0.346	0.17				37026.711	-42736.472	61.05	61.22	396	0.324	0.300	0.29				37049.350	-42717.110	60.95	61.24	
321	0.332	0.318	0.16	○			37027.182	-42735.565	61.06	61.22	397	0.277	0.259	0.34				37049.248	-42717.330	60.90	61.24	
322	0.514	0.471	0.49	○			37027.689	-42736.705	60.71	61.20	398	0.277	0.259	0.34				37049.248	-42717.330	60.90	61.24	
323	0.397	0.380	0.67				37028.199	-42736.726	60.53	61.20	399	0.194	0.163	0.37				37049.944	-42716.267	60.87	61.24	
324	0.313	0.271	0.48				37029.445	-42734.980	60.67	61.15	400	0.222	0.190	0.35				37050.436	-42716.163	60.88	61.23	
325	0.347	0.333	0.18				37029.547	-42735.583	61.10	61.28	401	0.288	0.223	0.31				37050.189	-42716.486	60.92	61.23	
326	0.278	0.274	0.24				37029.941	-42735.901	60.95	61.19	402	0.316	0.271	0.4	○			37050.661	-42716.554	60.83	61.23	
326											403	0.232	0.222	0.35				37050.891	-42716.344	60.88	61.23	
327			0.13				37030.619	-42736.244	61.06	61.19	404	0.462	0.307	0.65				37050.133	-42716.839	60.58	61.23	
328			0.65	○			37030.545	-42736.737	60.56	61.21	405	0.462	0.307	0.65				37050.133	-42716.839	60.58	61.23	
329			0.25				37032.501	-42734.900	60.97	61.22	406	0.517	0.438	0.32				37050.393	-42717.233	60.90	61.22	
330			0.47				37032.771	-42734.856	60.74	61.21	407	0.200	0.149	0.64				37050.533	-42717.098	60.59	61.23	
331			0.26				37034.247	-42733.890	60.94	61.20	408	0.448	0.348	0.63				37050.964	-42716.966	60.59	61.22	
332	0.427	0.425	0.3				37023.682	-42747.434	60.85	61.15	409	0.229	0.210	0.38				37049.272	-42718.124	60.84	61.22	
333	0.241	0.239	0.3				37024.377	-42747.488	60.86	61.16	410	0.173	0.169	0.26				37049.786	-42717.386	60.98	61.24	
334	0.346	0.300	0.25	○			37025.249	-42748.109	60.91	61.16	411	0.456	0.267	0.25				37049.758	-42717.619	60.99	61.24	
335	0.297	0.256	0.52				37043.311	-42706.871	60.73	61.25	412	0.546	0.264	0.34	○			37049.865	-42717.902	60.90	61.24	
336	0.275	0.214	0.37				37043.584	-42706.861	60.89	61.26	412											
337	0.235	0.213	0.31				37043.453	-42707.093	60.95	61.26	413	0.215	0.186	0.2				37049.799	-42717.748	60.70	60.90	
338	0.227	0.209	0.37				37048.293	-42712.279	60.82	61.19	414	0.220	0.199	0.33				37050.073	-42717.427	60.91	61.24	
339	0.248	0.198	0.19				37048.635	-42712.198	61.00	61.19	415	0.327	0.303	0.26				37050.788	-42717.662	60.96	61.22	
340	0.223	0.212	0.41				37048.967	-42712.306	60.79	61.20	416	0.275	0.205	0.3				37050.849	-42718.004	60.91	61.21	
341	0.208	0.196	0.41				37049.177	-42712.403	60.78	61.19	417	0.199	0.179	0.23				37050.807	-42718.226	60.98	61.21	
342	0.353	0.296	0.44	○			37048.655	-42712.386	60.75	61.19	418	0.272	0.258	0.42				37044.976	-42718.055	60.84	61.26	
343	0.365	0.356	0.31				37048.874	-42712.582	60.90	61.21	418											
344	0.289	0.266	0.14				37049.325	-42712.668	61.06	61.20	419	0.480	0.460	0.49				37045.334	-42717.498	60.77	61.26	
345	0.155	0.147	0.16				37049.266	-42712.899	61.05	61.21	420	0.867	0.790	0.55	○			37049.116	-42708.671	60.66	61.21	
346	0.217	0.191	0.21				37049.242	-42713.054	61.00	61.21	421	0.659	0.588	0.32				37049.399	-42709.655	60.88	61.20	
347	0.377	0.336	0.41				37048.404	-42713.082	60.80	61.21	422	0.415	0.213					37045.516	-42722.606	なし</		

第14表 土坑規模一覧表(4)

番号	規模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標高		番号	規模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標高	
	長軸	短軸	深さ						下端	上端		長軸	短軸	深さ						下端	上端
438	0.202	0.193	0.22				37050.689	-42726.833	60.98	61.20	514	0.172	0.158	0.06				37047.834	-42733.995	61.14	61.20
439	0.254	0.224	0.13				37051.371	-42727.239	61.07	61.20	515	0.242	0.179	0.03				37047.733	-42734.473	61.15	61.18
440	0.303	0.285	0.43				37051.393	-42726.326	60.78	61.21	516	0.230	0.203	0.03				37047.348	-42735.183	61.13	61.16
441	0.374	0.323	0.57				37051.866	-42726.831	60.65	61.22	517	1.325	0.794	0.1		○		37048.615	-42735.224	61.07	61.17
442	0.229	0.197	0.08				37051.868	-42727.236	61.12	61.20	518	0.516	0.460	0.51				37046.898	-42735.781	60.67	61.18
443	0.322	0.252	0.31				37051.645	-42727.648	60.89	61.20	519	0.516	0.460	0.51				37046.898	-42735.781	60.67	61.18
444	0.322	0.289	0.15				37051.842	-42727.956	61.06	61.21	520	0.231	0.228	0.04				37047.153	-42736.052	61.14	61.18
445	0.303	0.263	0.09				37045.134	-42728.056	61.11	61.20	521	0.251	0.238	0.2				37046.986	-42736.268	60.98	61.18
446	0.661	0.598	0.1				37045.108	-42728.675	61.09	61.19	522	0.211	0.162	0.25				37047.437	-42736.106	60.94	61.19
446	—	—	—	—	—		—	—	—	—	523	0.194	0.187	0.23				37047.262	-42736.263	60.96	61.19
447	0.243	0.231	0.16				37045.238	-42729.442	61.00	61.16	524	0.358	0.282	0.07				37048.230	-42736.151	61.12	61.19
448	0.263	0.237	0.17				37045.667	-42729.104	61.01	61.18	526	0.274	0.247	0.27				37047.799	-42736.884	60.93	61.20
449	0.229	0.222	0.16				37045.792	-42728.701	61.02	61.18	527	0.178	0.102	0.17				37047.944	-42736.722	60.72	60.89
450	0.267	0.223	0.36				37046.064	-42729.650	60.80	61.16	528	0.513	0.213	0.31				37047.974	-42736.842	60.89	61.20
451	0.378	0.288	0.47	○			37045.044	-42731.255	60.70	61.17	529	0.123	0.114					37047.652	-42737.359	なし	61.19
452	0.242	0.222	0.23				37045.745	-42730.727	60.95	61.18	530	0.155	0.151	0.16				37047.377	-42737.560	61.03	61.19
453	0.187	0.146	0.03				37045.721	-42731.020	61.15	61.18	531	0.178	0.170	0.13				37047.648	-42737.596	61.07	61.20
454	0.172	0.169	0.21				37046.218	-42730.952	60.96	61.17	532	0.166	0.165	0.36				37047.987	-42737.530	60.83	61.19
455	0.208	0.144					37046.776	-42730.775	なし	61.15	533	0.201	0.162	0.16				37047.495	-42740.505	61.00	61.16
456	—	—	—	—	—		—	—	—	—	534	0.184	0.179	0.26				37047.830	-42740.600	60.90	61.16
456	0.154	0.136	0.25				37044.938	-42731.958	60.93	61.18	535	0.132	0.132	0.08				37047.944	-42740.721	61.10	61.18
457	0.177	0.140					37045.224	-42731.891	なし	61.16	536	0.192	0.178	0.07				37048.027	-42740.544	61.11	61.18
458	0.232	0.214	0.34				37045.853	-42731.399	60.83	61.17	537	0.212	0.187	0.24				37047.090	-42741.510	60.91	61.15
459	0.159	0.141	0.16				37045.702	-42731.967	61.01	61.17	539	0.163	0.163	0.26				37047.020	-42741.560	60.88	61.14
460	0.148	0.130	0				37045.769	-42732.123	61.18	61.18	539	0.282	0.262	0.3				37046.838	-42742.170	60.84	61.14
461	0.246	0.187	0.05				37045.998	-42732.017	61.14	61.19	540	0.165	0.159	0.25				37047.639	-42741.691	60.92	61.17
462	0.224	0.190	0.19				37046.325	-42731.653	60.97	61.16	541	0.165	0.148	0.3				37047.770	-42741.560	60.88	61.18
463	0.241	0.219	0.3				37047.419	-42731.186	60.84	61.14	542	0.382	0.289	0.41				37047.820	-42741.674	60.78	61.19
464	0.209	0.175	0.29				37047.212	-42731.365	60.85	61.14	543	0.410	0.320	0.44				37047.562	-42742.089	60.73	61.17
465	0.242	0.200	0.25				37047.198	-42731.813	60.90	61.15	544	0.225	0.158	0.29		○		37048.153	-42741.883	60.90	61.19
466	0.184	0.168	0.14				37045.255	-42732.531	61.02	61.16	545	0.270	0.185	0.26				37048.358	-42741.212	60.93	61.19
467	0.234	0.206	0.28				37045.112	-42732.730	60.89	61.17	546	0.356	0.279	0.3		○		37048.463	-42741.481	60.89	61.19
468	0.181	0.179	0.04				37045.906	-42732.615	61.13	61.17	547	0.396	0.260	0.26				37048.513	-42741.696	60.94	61.20
469	0.172	0.163	0.1				37045.863	-42733.002	60.82	60.92	548	0.179	0.176	0.26				37048.317	-42742.399	60.91	61.17
470	0.604	0.198	0.25				37045.936	-42733.169	60.91	61.16	549	0.202	0.183	0.25				37048.526	-42742.564	60.90	61.15
471	0.115	0.114	0.11				37046.066	-42733.301	60.80	60.91	550	0.181	0.178	0.24				37048.924	-42742.964	60.90	61.14
472	0.175	0.157					37046.299	-42733.376	なし	61.17	551	0.516	0.346	0.28				37049.419	-42742.533	60.90	61.18
473	0.326	0.322	0.29				37046.601	-42732.543	60.90	61.19	552	0.271	0.196	0.28				37049.303	-42742.983	60.88	61.16
474	0.226	0.199	0.15				37046.967	-42732.562	61.03	61.18	553	0.271	0.196	0.28				37049.303	-42742.983	60.88	61.16
475	0.161	0.147	0.21				37046.646	-42733.058	60.97	61.18	554	0.118	0.065	0.07				37049.513	-42742.605	60.82	60.89
476	0.186	0.155	0.23				37046.725	-42733.300	60.94	61.17	555	0.131	0.120	0.13				37049.483	-42743.740	61.02	61.15
477	0.209	0.159	0.32				37045.140	-42733.834	60.86	61.18	556	0.168	0.161	0.13				37049.640	-42743.824	61.03	61.16
478	0.215	0.202	0.34				37045.125	-42734.022	60.83	61.17	557	0.265	0.242	0.28				37049.842	-42743.487	60.87	61.15
479	0.250	0.221	0.37				37045.045	-42734.309	60.87	61.24	558	0.337	0.208	0.32				37050.037	-42743.352	60.84	61.16
480	0.240	0.221	0.44				37045.959	-42733.641	60.72	61.16	558	0.321	0.236	0.31				37050.031	-42743.342	60.84	61.15
481	0.391	0.273	0.41	○			37046.123	-42733.873	60.75	61.16	559	0.232	0.179	0.25				37050.103	-42743.008	60.93	61.18
482	0.172	0.148	0.25				37045.744	-42734.060	60.92	61.17	560	0.147	0.130	0.29				37050.227	-42742.807	60.89	61.18
483	0.221	0.218	0.36				37045.991	-42734.223	60.82	61.18	561	0.187	0.149	0.26				37049.752	-42742.267	60.93	61.19
484	0.223	0.148	0.36				37045.845	-42734.209	60.82	61.18	562	0.299	0.258	0.28				37050.253	-42742.336	60.92	61.20
485	0.282	0.210	0.07				37046.632	-42734.304	61.10	61.17	563	0.310	0.306	0.26				37050.047	-42741.819	60.95	61.21
486	0.235	0.180	0.32				37045.520	-42734.643	60.87	61.19	564	0.206	0.184	0.26				37051.067	-42742.448	60.95	61.21
487	0.290	0.242	0.33				37045.649	-42734.792	60.85	61.18	565	1.590	1.023	0.11				37052.084	-42743.050	61.15	61.26
488	0.236	0.213	0.33				37045.930	-42734.531	60.86	61.19	566	0.356	0.294	0.41				37051.231	-42744.076	60.84	61.25
489	0.237	0.230	0.3				37046.334	-42734.955	60.89	61.19	567	1.033	0.558	0.48				37053.684	-42743.813	60.77	61.25
490	0.353	0.331	0.05				37045.427	-42735.645	61.13	61.18	568	1.392	0.623	0.09				37052.239	-42742.030	61.17	61.26
491	0.127	0.110	0.05				37045.965	-42735.853	60.92	60.97	569	0.305	0.263	0.31				37050.646	-42731.106	60.88	61.19
492	0.384	0.357	0.21				37045.906	-42735.966	60.97	61.18	570	0.335	0.270	0.35				37051.218	-42730.986	60.84	61.19
493	0.492	0.336	0.36				37046.136	-42735.683	60.82	61.18	571	0.298	0.233	0.42				37051.999	-42731.064	60.79	61.21
494	0.495	0.244	0				37046.394	-42735.786	60.68	60.68	572	0.341	0.227	0.38				37052.088	-42731.307	60.83	61.21
495	0.547	0.327	0.37				37046.261	-42736.227	60.81	61.18	573	0.197	0.192	0.23				37050.198	-42732.154	60.97	61.20
496	0.349	0.214	0.37				37046.150	-42736.911	60.82	61.19	574	0.281	0.273	0.23							

発見された遺構と出土遺物

第15表 土坑規模一覧表(5)

番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ						下 端	上 端		長軸	短軸	深さ						下 端	上 端
591	0.267	0.253	0.46				37053.012	-42733.923	60.72	61.18	667	0.260	0.252	0.31				37075.609	-42721.667	60.98	61.29
592	0.351	0.271	0.46				37053.001	-42734.367	60.72	61.18	668	0.781	0.416	0.26				37076.609	-42722.061	61.02	61.28
593	0.337	0.247	0.4				37049.194	-42734.098	60.80	61.20	670	0.389	0.341	0.23				37075.409	-42723.091	61.06	61.29
594	0.225	0.209	0.36				37049.547	-42733.723	60.84	61.20	672	0.289	0.261	0.16				37076.366	-42723.313	61.13	61.29
595	0.360	0.319	0.33				37049.847	-42733.779	60.87	61.20	673	0.310	0.304	0.17				37074.839	-42723.861	61.08	61.25
596	0.279	0.241	0.27				37049.554	-42734.170	60.93	61.20	674	0.350	0.342	0.4				37075.698	-42724.207	60.86	61.26
597	0.204	0.186	0.24				37049.448	-42734.531	60.96	61.20	675	0.242	0.227	0.17				37077.216	-42721.177	61.11	61.28
598	0.262	0.206	0.11				37049.636	-42735.239	61.08	61.19	676	0.270	0.212	0.21				37076.912	-42721.659	61.09	61.30
599	0.249	0.244	0.14				37050.221	-42735.489	61.03	61.17	677	0.277	0.259	0.31				37077.457	-42721.558	60.97	61.28
600	0.453	0.194	0.3				37050.528	-42734.683	60.88	61.18	678	0.238	0.238	0.17				37077.741	-42721.485	61.13	61.30
601	0.269	0.184	0.24				37050.772	-42734.554	60.94	61.18	679	0.257	0.257	0.29				37077.727	-42721.773	61.00	61.29
602	0.276	0.210	0.24				37050.900	-42734.783	60.94	61.18	680	0.221	0.200	0.2				37078.023	-42721.933	61.09	61.29
603	0.274	0.194	0.32				37050.731	-42735.048	60.86	61.18	681	0.444	0.285	0.11				37078.267	-42722.230	61.18	61.29
604	0.229	0.204	0.29				37050.653	-42734.139	60.89	61.18	682	0.260	0.226	0.32				37077.301	-42722.075	60.97	61.29
605	0.200	0.163	0.27				37050.904	-42734.223	60.91	61.18	683	0.351	0.341	0.35				37077.151	-42722.276	60.93	61.28
606	0.192	0.173	0.25				37051.193	-42734.476	60.93	61.18	684	1.619	1.077	0.31				37077.898	-42723.387	60.99	61.30
607	0.307	0.265	0.42				37051.167	-42733.942	60.76	61.18	685	0.469	0.375	0.46				37077.591	-42723.351	60.83	61.29
608	0.314	0.165	0.37				37051.442	-42734.942	60.80	61.17	686	0.274	0.249	0.02				37078.016	-42724.418	61.08	61.10
609	0.322	0.311	0.41				37051.444	-42735.167	60.77	61.18	687	0.273	0.231	0.28				37076.971	-42724.060	61.00	61.28
610	0.482	0.426	0.54				37051.610	-42735.509	60.66	61.20	688	0.290	0.266	0.25				37076.914	-42724.517	61.03	61.28
611	0.362	0.278	0.47				37051.428	-42735.843	60.73	61.20	689	0.286	0.269	0.41				37076.860	-42724.861	60.88	61.29
612	0.396	0.312	0.44				37051.679	-42736.204	60.78	61.22	690	0.176	0.164	0.16				37076.442	-42724.143	61.12	61.28
613	0.446	0.375	0.45				37052.629	-42735.122	60.72	61.17	691	0.316	0.308	0.48				37076.281	-42724.453	60.80	61.28
614	0.508	0.311	0.17	○			37052.999	-42735.631	61.04	61.21	692	0.539	0.489	0.44				37075.975	-42724.734	60.82	61.26
615	0.403	0.386	0.45				37053.205	-42735.355	60.73	61.18	693	0.298	0.254	0.33				37075.261	-42724.191	60.91	61.24
616	0.206	0.179	0.31				37050.696	-42736.539	60.92	61.23	694	0.240	0.190	0.24				37075.027	-42724.235	61.00	61.24
617	0.189	0.165	0.26				37051.199	-42736.528	60.97	61.23	694	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
618	0.250	0.222	0.18	○			37051.679	-42737.001	61.05	61.23	695	0.239	0.213	0.17				37074.567	-42724.190	61.08	61.25
619	0.323	0.214	0.25				37049.620	-42736.097	60.94	61.19	696	0.182	0.179	0.16				37074.238	-42724.302	61.05	61.21
620	0.323	0.214	0.25				37049.620	-42736.097	60.94	61.19	697	0.257	0.204	0.15				37073.419	-42724.209	61.10	61.25
621	0.196	0.155	0.22				37049.795	-42736.302	60.97	61.19	698	0.291	0.263	0.12				37075.690	-42717.275	61.16	61.28
622	0.320	0.240	0.48	○			37050.138	-42736.125	60.72	61.20	699	0.308	0.283	0.33				37075.234	-42718.569	60.95	61.28
623	0.408	0.212	0.35				37050.155	-42736.317	60.86	61.21	700	0.329	0.297	0.3				37075.312	-42719.020	60.99	61.29
624	0.196	0.155	0.22				37049.795	-42736.302	60.97	61.19	701	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
625	0.305	0.241	0.35				37050.468	-42736.100	60.83	61.18	701	0.299	0.258	0.38				37074.938	-42719.304	60.91	61.29
626	0.149	0.143	0.15				37050.696	-42736.075	61.04	61.19	702	0.287	0.213	0.31				37075.175	-42719.421	60.98	61.29
627	0.229	0.176	0.26				37050.346	-42735.888	60.91	61.17	703	0.216	0.216	0.17				37075.423	-42719.570	61.12	61.29
628	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	704	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
628	0.561	0.463	0.36				37050.202	-42736.780	60.85	61.21	704	0.370	0.295	0.27				37074.979	-42719.848	61.02	61.29
629	0.280	0.226	0.32				37049.043	-42736.900	60.89	61.21	704	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
630	0.428	0.389	0.29				37048.910	-42737.281	60.92	61.21	705	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
631	0.428	0.389	0.29				37048.910	-42737.281	60.92	61.21	705	0.300	0.150	0.15				37075.072	-42720.028	61.14	61.29
632	0.289	0.235	0.52				37048.513	-42737.308	60.70	61.22	706	1.120	0.970	0.46				37075.151	-42720.595	60.82	61.28
633	0.349	0.272	0.51	○			37048.950	-42737.770	60.70	61.21	706	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
634	0.349	0.272	0.51	○			37048.950	-42737.770	60.70	61.21	707	0.265	0.200	0.13				37074.895	-42720.650	60.85	60.98
635	0.299	0.218	0.27				37049.344	-42737.454	60.94	61.21	708	0.267	0.223	0.18				37075.212	-42721.009	61.10	61.28
636	0.400	0.244	0.35				37049.943	-42737.918	60.87	61.22	709	0.183	0.121	0.12				37075.738	-42720.741	61.16	61.28
637	0.314	0.238	0.25				37051.159	-42737.233	60.98	61.23	710	0.304	0.238	0.27				37075.619	-42720.539	61.00	61.27
638	0.241	0.209	0.24				37051.207	-42737.567	61.00	61.24	711	0.176	0.155	0.2				37074.786	-42721.264	61.08	61.28
639	0.228	0.206	0.34				37051.140	-42737.755	60.89	61.23	712	0.229	0.210	0.24	○			37075.225	-42721.570	61.04	61.28
640	0.211	0.195	0.04				37051.172	-42737.995	61.19	61.23	713	0.341	0.311	0.16				37074.509	-42721.661	61.12	61.28
641	0.408	0.381	0.51				37051.736	-42737.529	60.73	61.24	714	0.236	0.135	0.34				37074.586	-42721.955	60.94	61.28
642	-	-	1.15			32	37052.778	-42737.442	60.08	61.23	715	0.367	0.270	0.29				37074.669	-42722.033	60.99	61.28
643	0.237	0.209	0.39				37052.382	-42738.130	60.85	61.24	716	0.296	0.214	0.27				37074.830	-42722.421	61.02	61.29
644	0.425	0.336	0.31				37052.621	-42738.785	60.93	61.24	717	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
645	0.286	0.238	0.29				37052.451	-42739.356	60.95	61.24	717	0.290	0.270	0.36				37074.935	-42722.998	60.92	61.28
646	0.358	0.346	0.41				37052.449	-42739.745	60.83	61.24	718	0.257	0.184	0.37				37075.161	-42723.035	60.93	61.30
647	0.347	0.334	0.29	○			37053.044	-42740.355	60.96	61.25	719	0.233	0.222	0.21				37074.688	-42723.388	61.07	61.28
648	0.249	0.225	0.29				37051.582	-42738.456	60.96	61.25	721	0.343	0.257	0.15				37074.058	-42723.916	61.11	61.26
649	0.311	0.274	0.38				37051.189	-42739.068	60.86	61.24	722	0.160	0.154	0.09				37070.947	-42714.801	61.00	61.09
651	0.385	0.363	0.4				37050.302	-42738.692	60.82	61.22	723	0.160	0.150	0.14				37071.075	-42714.719	60.95	61.09
653	0.178	0.170	0.07				37049.576	-42738.943	61.14	61.21	724	0.282	0								

第16表 土坑規模一覧表(6)

番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ						下 端	上 端		長軸	短軸	深さ						下 端	上 端
739	0.426	0.382	0.34				37074.044	-42718.810	60.94	61.28	822	0.182	0.154	0.28				37077.358	-42730.683	61.03	61.31
740	0.850	0.540	0.24				37073.022	-42719.900	61.03	61.27	823	0.170	0.152	0.28				37077.388	-42730.930	61.05	61.33
740											824	0.218	0.198	0.31				37077.507	-42731.426	61.02	61.33
741	0.429	0.384	0.35				37073.478	-42719.227	60.92	61.27	825	0.180	0.172	0.32				37076.951	-42730.286	60.99	61.31
742	0.312	0.279	0.22				37073.583	-42719.458	61.05	61.27	826	0.266	0.204	0.32				37076.918	-42730.481	60.99	61.31
743	0.275	0.256	0.26				37073.655	-42719.850	61.00	61.26	827	0.235	0.215	0.18				37076.643	-42730.490	61.13	61.31
744	0.701	0.468	0.39				37071.479	-42721.012	60.87	61.26	828	0.241	0.225	0.19				37076.434	-42730.298	61.12	61.31
745	0.399	0.265	0.19				37071.765	-42721.157	61.07	61.26	829	0.287	0.205	0.45				37076.065	-42730.199	60.87	61.32
746	0.945	0.863	1.25				37072.974	-42721.081	60.01	61.26	830	0.101	0.089	0.16				37075.838	-42730.056	61.16	61.32
747	0.363	0.306	0.19				37073.336	-42721.257	61.09	61.28	831	0.402	0.349	0.48				37075.993	-42730.337	60.83	61.31
748	0.283	0.226	0.3				37074.188	-42720.572	60.98	61.28	832	0.266	0.213	0.44				37076.030	-42731.189	60.86	61.30
749	0.270	0.239	0.31				37073.990	-42720.536	60.95	61.26	833	0.201	0.195	0.22				37075.149	-42729.860	61.12	61.34
750	0.258	0.257	0.19				37072.315	-42721.818	61.07	61.26	834	0.295	0.279	0.43				37075.253	-42730.410	60.90	61.33
751	0.305	0.245	0.32				37072.277	-42722.128	60.94	61.26	835	0.125	0.105	0.08				37075.419	-42730.936	61.23	61.31
752	0.493	0.329	0.2				37073.279	-42721.906	61.06	61.26	836	0.339	0.259	0.42				37070.794	-42727.825	60.85	61.27
753	0.276	0.256	0.15				37072.490	-42722.562	61.11	61.26	837	0.302	0.220	0.31				37075.321	-42731.308	61.00	61.31
754	0.243	0.220	0.33				37072.601	-42722.879	60.94	61.27	838	0.240	0.217	0.4				37075.311	-42731.635	60.91	61.31
755	0.286	0.247	0.21				37073.396	-42722.515	61.04	61.25	839	0.259	0.244	0.31				37075.382	-42731.881	60.99	61.30
756	0.257	0.251	0.14				37073.658	-42722.367	61.13	61.27	840	0.261	0.166	0.3				37073.787	-42730.139	61.01	61.31
757	0.318	0.255	0.14				37073.941	-42722.077	61.14	61.28	841	0.394	0.331	0.39				37074.120	-42730.384	60.92	61.31
758	0.210	0.174	0.15				37073.056	-42723.063	61.10	61.25	842	0.200	0.148	0.17				37073.761	-42730.255	61.14	61.31
759	0.270	0.266	0.24				37073.046	-42723.350	61.04	61.28	843	0.390	0.356	0.29				37074.380	-42730.732	61.02	61.31
760	0.295	0.261	0.19				37073.152	-42723.822	61.09	61.28	844	0.266	0.222	0.47				37073.786	-42730.406	60.83	61.30
761	0.305	0.231	0.17				37073.632	-42722.986	61.10	61.27	845	0.370	0.329	0.36				37073.911	-42730.749	60.95	61.31
762	0.199	0.182	0.09				37073.648	-42723.217	61.18	61.27	846	0.412	0.334	0.33				37074.586	-42731.491	60.98	61.31
764	0.280	0.239	0.17				37073.982	-42723.213	61.11	61.28	847	0.352	0.216	0.4				37074.379	-42731.655	60.90	61.30
765	1.007	0.891	0.1				37077.534	-42725.642	61.19	61.29	848	0.412	0.347	0.39				37074.553	-42731.824	60.91	61.30
766	0.307	0.282	0.52				37077.529	-42725.329	60.76	61.28	849	0.230	0.205	0.29				37074.509	-42732.315	61.01	61.30
767	0.476	0.382	0.41				37076.891	-42726.247	60.90	61.31	850	0.256	0.217	0.25				37074.654	-42732.526	61.06	61.31
768	0.476	0.382	0.41				37076.891	-42726.247	60.90	61.31	851	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
769	0.476	0.382	0.41				37076.891	-42726.247	60.90	61.31	851	0.286	0.259	0.17				37074.947	-42732.558	61.13	61.30
770	0.266	0.266	0.3				37075.326	-42725.352	60.98	61.28	852	0.307	0.266	0.24				37073.330	-42730.245	61.04	61.28
771	0.489	0.438	0.24				37074.648	-42725.276	61.00	61.24	853	0.278	0.223	0.2				37073.038	-42730.326	61.08	61.28
772	0.460	0.317	0.47				37074.442	-42725.414	60.77	61.24	854	0.275	0.236	0.28				37073.083	-42730.549	61.00	61.28
773	0.399	0.253	0.44	○			37073.822	-42725.145	60.80	61.24	855	0.369	0.368	0.28				37073.445	-42730.658	61.00	61.28
775	0.221	0.220	0.21				37078.074	-42728.945	61.10	61.31	856	0.345	0.295	0.16				37073.694	-42730.825	61.12	61.28
776	0.267	0.241	0.3				37077.635	-42728.326	61.01	61.31	857	0.196	0.182	0.11				37073.485	-42731.060	61.16	61.27
777	0.277	0.260	0.17				37077.717	-42728.735	61.15	61.32	858	0.229	0.183	1.23				37073.657	-42731.394	60.06	61.29
778	0.401	0.401	0.42				37077.313	-42728.338	60.90	61.32	859	0.285	0.227	0.22				37073.941	-42730.954	61.07	61.29
779	0.321	0.281	0.46				37077.342	-42728.721	60.86	61.32	860	0.426	0.311	0.39				37073.874	-42731.486	60.91	61.30
780	0.241	0.208	0.19				37077.052	-42728.592	61.12	61.31	862	0.258	0.246	0.28				37074.254	-42732.561	61.03	61.31
781	0.314	0.282	0.42				37077.184	-42728.873	60.90	61.32	863	0.281	0.249	0.24				37072.845	-42730.815	61.04	61.28
782	0.310	0.258	0.58				37076.900	-42728.905	60.75	61.33	864	0.293	0.281	0.36				37073.042	-42731.073	60.90	61.26
783	0.391	0.286	0.34				37076.226	-42728.317	60.87	61.21	865	0.324	0.206	1.22				37073.218	-42731.389	60.07	61.29
784	0.495	0.421	0.47				37075.924	-42728.586	60.86	61.33	866	0.356	0.263	0.33				37073.332	-42731.490	60.89	61.22
785	0.408	0.330	0.32				37075.566	-42728.117	61.00	61.32	867	0.306	0.283	0.31				37073.467	-42731.639	60.99	61.30
786	0.439	0.305	0.55				37075.664	-42728.742	60.78	61.33	868	0.289	0.284	0.36				37073.704	-42731.788	60.94	61.30
787	0.487	0.350	0.39				37075.319	-42728.475	60.94	61.33	869	0.348	0.281	0.2				37072.216	-42731.578	61.09	61.29
789	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	870	0.255	0.198	0.27				37072.615	-42731.872	61.02	61.29
789	0.330	0.290	0.43				37074.896	-42728.535	60.90	61.33	871	0.184	0.164	0.14				37073.302	-42731.847	61.15	61.29
790	0.299	0.237	0.31				37074.797	-42728.351	61.02	61.33	872	0.289	0.210	0.29				37073.282	-42732.083	61.01	61.30
791	0.340	0.307	0.36				37074.588	-42728.563	60.97	61.33	873	0.222	0.210	0.13				37078.172	-42732.224	61.20	61.33
792	0.280	0.260	0.33				37074.288	-42728.802	60.99	61.32	874	0.342	0.317	0.57				37079.743	-42733.645	60.77	61.34
793	0.175	0.160	0.22				37075.076	-42727.757	61.10	61.32	875	0.439	0.392	0.25				37078.869	-42733.796	61.08	61.33
794	0.277	0.226	0.2				37074.598	-42727.723	61.10	61.30	876	0.288	0.233	0.31				37077.891	-42733.701	60.99	61.30
795	0.315	0.254	0.24				37074.205	-42727.835	61.05	61.29	877	0.251	0.239	0.25				37077.119	-42733.548	61.04	61.29
796	0.142	0.103	0.09				37074.006	-42728.424	61.20	61.29	878	0.157	0.141	0.31				37077.027	-42734.608	61.00	61.31
797	0.125	0.105	0.17				37073.342	-42728.251	61.12	61.29	879	0.251	0.199	0.28				37076.655	-42734.138	61.03	61.31
798	0.147	0.141	0.21				37073.086	-42727.984	61.06	61.27	886	0.286	0.252	0.31				37074.550	-42733.672	60.99	61.30
799	0.239	0.220	0.23				37072.979	-42728.154	61.04	61.27	887	0.292	0.201	0.2				37074.556	-42734.006	61.09	61.29
800	0.239	0.235	0.16				37072.965	-42728.406	61.11	61.27	888	0.280	0.261								

発見された遺構と出土遺物

第17表 土坑規模一覧表(7)

番号	規 模			柱 遺 掘 痕 物 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 遺 掘 痕 物 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ				下 端	上 端		長軸	短軸	深さ				下 端	上 端
905	0.191	0.177	0.21		37073.902	-42737.662	61.06	61.27	991	0.282	0.249	0.15		37066.011	-42714.093	61.13	61.28
907	0.220	0.220	0.24		37073.951	-42737.916	61.03	61.27	992	0.375	0.234	0.42		37065.856	-42714.843	60.85	61.27
908	0.243	0.215	0.39		37074.440	-42738.131	60.89	61.28	993	0.383	0.337	0.33		37065.987	-42715.368	60.95	61.28
909	0.276	0.267	0.36		37074.111	-42738.351	60.91	61.27	994	0.220	0.135	0.17		37065.790	-42716.243	61.11	61.28
911	0.395	0.337	0.34		37074.294	-42738.663	60.95	61.29	995	0.226	0.148	0.18		37065.789	-42716.119	61.10	61.28
912	0.369	0.318	0.25		37073.950	-42738.765	61.04	61.29	996	0.283	0.263	0.21		37066.018	-42716.585	61.06	61.27
913	0.315	0.254	0.26		37074.064	-42739.280	61.06	61.32	997	0.204	0.191	0.36		37066.476	-42715.888	60.92	61.28
914	0.431	0.352	0.31		37074.007	-42739.568	61.01	61.32	998	0.298	0.246	0.5		37066.736	-42715.696	60.78	61.28
918	0.240	0.185	0.23		37077.725	-42740.689	61.11	61.34	999	0.237	0.198	0.39		37066.897	-42714.939	60.89	61.28
921	0.223	0.215	0.27		37078.677	-42744.315	61.16	61.43	1000	0.207	0.186	0.28		37067.429	-42715.888	61.00	61.28
922	0.256	0.235	0.44	○	37053.992	-42717.194	60.83	61.27	1001	0.278	0.209	0.32		37067.041	-42714.279	60.96	61.28
923	0.304	0.265	0.41		37054.360	-42717.148	60.88	61.29	1002	0.209	0.176	0.42		37067.346	-42713.767	60.87	61.29
924	0.830	0.608	0.6		37055.514	-42713.357	60.68	61.28	1003	0.375	0.283	0.18		37067.310	-42713.168	61.11	61.29
925	0.187	0.167	0.44		37055.322	-42714.075	60.85	61.29	1004	0.707	0.611	0.13	○	37068.960	-42713.631	61.15	61.28
926	0.505	0.467	0.43		37055.056	-42713.882	60.85	61.28	1005	0.334	0.307	0.49		37068.459	-42714.359	60.78	61.27
926				--					1006	0.238	0.224	0.15		37068.044	-42714.805	61.12	61.27
927	0.334	0.322	0.48		37055.483	-42714.581	60.81	61.29	1007	0.168	0.162	0.25		37067.880	-42715.655	61.02	61.27
928	0.385	0.376	0.52		37055.386	-42715.023	60.77	61.29	1008	0.239	0.216	0.45		37067.706	-42715.897	60.82	61.27
929	0.225	0.186	0.42		37055.886	-42714.642	60.86	61.28	1009	0.298	0.238	0.3		37068.426	-42715.189	60.98	61.28
930	0.970	0.456	0.42		37055.720	-42714.781	60.87	61.29	1010	0.277	0.234	0.36		37068.389	-42715.053	60.91	61.27
931	1.121	0.665	0.24		37059.322	-42717.412	61.05	61.29	1011	0.265	0.214	0.22		37068.671	-42714.809	61.06	61.28
932	0.277	0.249	0.26		37060.628	-42714.246	61.02	61.28	1012	0.247	0.230	0.14		37068.898	-42714.596	61.13	61.27
933	0.301	0.196	0.15		37060.398	-42714.335	61.14	61.29	1013	0.785	0.587	0.13		37069.027	-42715.226	61.15	61.28
934	0.356	0.333	0.27		37060.377	-42714.716	61.02	61.29	1014	0.329	0.309	0.11		37069.764	-42714.304	61.16	61.27
935	0.258	0.253	0.51		37060.341	-42715.517	60.78	61.29	1015				--				
936	0.378	0.316	0.35		37060.537	-42715.995	60.94	61.29	1015	0.275	0.250	0.15		37070.005	-42714.731	61.13	61.28
937	0.289	0.271	0.31		37059.948	-42716.357	60.99	61.30	1016	0.483	0.376	0.52		37070.167	-42715.163	60.71	61.23
937				--					1017				--				
938	0.390	0.366	0.33		37060.210	-42716.572	60.96	61.29	1017	1.170	0.820	0.11		37070.356	-42715.725	61.13	61.24
939	0.228	0.226	0.34		37060.161	-42716.835	60.96	61.30	1018	0.408	0.307	0.36		37055.272	-42719.066	60.89	61.25
940	0.200	0.181	0.27		37060.584	-42717.049	61.03	61.30	1019	0.218	0.216	0.23		37055.437	-42719.854	61.07	61.30
941	0.407	0.327	0.55		37061.138	-42714.418	60.74	61.29	1020	0.153	0.129	0.31		37054.490	-42720.787	60.97	61.28
942	0.273	0.235	0.27		37060.935	-42714.912	61.02	61.29	1021	0.349	0.225	0.33		37054.743	-42720.690	60.95	61.28
943	0.249	0.229	0.41		37061.226	-42715.038	60.87	61.28	1022	0.501	0.373	0.43		37055.026	-42720.535	60.87	61.30
944	0.258	0.214	0.25	○	37060.872	-42715.606	61.04	61.29	1022				--				
945	0.266	0.241	0.3		37061.709	-42715.472	60.98	61.28	1023	0.549	0.153	0.76		37054.750	-42721.352	60.53	61.29
946	0.195	0.176	0.42		37061.968	-42714.138	60.86	61.28	1024	0.405	0.218	0.57		37054.860	-42721.421	60.72	61.29
947	0.294	0.281	0.5		37062.285	-42713.411	60.77	61.27	1025	0.165	0.150	0.37		37054.779	-42722.248	60.91	61.28
948	0.355	0.344	0.4		37062.272	-42715.638	60.88	61.28	1026	0.217	0.189	0.07		37054.909	-42722.133	61.21	61.28
949	0.325	0.283	0.17		37062.287	-42716.144	61.10	61.27	1027	0.545	0.324	0.4		37055.097	-42722.564	60.89	61.29
950	0.494	0.419	0.27		37062.119	-42716.607	61.02	61.29	1027				--				
951	0.254	0.247	0.2		37062.523	-42716.617	61.08	61.28	1028	0.357	0.350	0.35		37055.385	-42723.734	60.93	61.28
952	0.187	0.172	0.25		37062.632	-42716.228	61.02	61.27	1029	0.400	0.350	0.3		37055.583	-42724.262	60.99	61.29
953	0.262	0.215	0.42		37062.827	-42716.193	60.85	61.27	1030	0.282	0.264	0.31		37055.868	-42720.621	60.99	61.30
954	0.380	0.376	0.22		37062.907	-42716.777	61.02	61.24	1031	0.389	0.387	0.23		37056.089	-42720.575	61.07	61.30
955	0.296	0.252	0.16		37063.527	-42712.662	61.10	61.26	1032	0.284	0.233	0.13		37055.761	-42721.835	61.16	61.29
956	0.260	0.214	0.17		37063.257	-42713.728	61.09	61.26	1033	0.190	0.173	0.2		37056.243	-42721.795	61.10	61.30
957	0.404	0.361	0.19		37063.326	-42714.084	61.08	61.27	1034	0.243	0.220	0.17		37056.151	-42722.033	61.13	61.30
958	0.273	0.238	0.37		37062.981	-42714.612	60.90	61.27	1035	0.463	0.342	0.56		37056.900	-42719.572	60.74	61.30
959	0.120	0.114	0.15		37063.215	-42714.947	60.83	60.98	1036				--				
960	0.439	0.306	0.29		37063.251	-42715.086	60.98	61.27	1036	0.553	0.351	0.42		37056.661	-42720.067	60.88	61.30
961	0.649	0.322	0.32		37063.486	-42715.567	60.95	61.27	1037	0.530	0.364	0.6	○	37056.621	-42720.440	60.70	61.30
963	0.921	0.476			37063.884	-42715.709	60.81	61.27	1038	0.305	0.261	0.56		37056.644	-42721.025	60.73	61.29
964	0.364	0.134	0.09		37063.283	-42716.166	60.99	61.28	1039	0.299	0.249	0.27		37057.299	-42719.394	61.03	61.30
965	0.587	0.493	0.19		37063.356	-42716.237	61.08	61.27	1040	0.550	0.432	0.38		37057.186	-42719.706	60.90	61.28
966	0.230	0.219	0.24		37063.369	-42716.711	61.03	61.27	1040				--				
967	0.343	0.269	0.35		37063.647	-42716.771	60.90	61.25	1042	0.230	0.172	0.29		37057.469	-42719.867	60.99	61.28
969	0.197	0.167	0.15		37063.863	-42713.324	61.10	61.25	1043	0.359	0.221	0.26		37057.268	-42720.295	61.04	61.30
970	0.246	0.230	0.23		37064.005	-42713.409	61.04	61.27	1044	0.712	0.338	0.33		37057.353	-42720.749	60.97	61.30
971	0.320	0.320	0.41		37064.036	-42713.876	60.86	61.27	1045	0.379	0.337	0.35		37057.192	-42721.075	60.94	61.29
972	0.219	0.201	0.32		37063.804	-42715.072	60.95	61.27	1046	0.410	0.232	0.83		37057.489	-42720.952	60.47	61.30
973	0.340	0.263	0.37		37063.808	-42715.217	60.90	61.27	1047	0.232	0.201	0.35		37057.437	-42721.243	60.95	61.30
974	0.144	0.138	0.32		37064.039	-42716.241	60.95	61.27	1048	0.573	0.420	0.51		37057.068	-42722.201	60.79	61.30
976	0.184	0.148	0.13		37064.932	-42714.190	61.13	61.26	1049	0.422	0.422	0.25		37057.239	-42723.677	61.05	61.30
977	0.310	0.220	0.29		37065.091	-42714.163	60.97	61.26	1050	0.343	0.248	0.12		37057.608	-42719.194	61.19	61.31
977				--					1051	0.314	0.260	0.49		37057.872	-42718.875	60.82	61.31
978	0.357	0.275	0.39		37065.341	-42713.995	60.89	61.28	1052	0.277	0.229	0.32		37058.092	-42719.030	60.99	61.31
980	0.202	0.172	0.24		37064.535	-42715.577	61.03	61.27	1053	0.395</							

発見された遺構と出土遺物

第18表 土坑規模一覧表(8)

番号	規模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標高		番号	規模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標高	
	長軸	短軸	深さ						下端	上端		長軸	短軸	深さ						下端	上端
1064	0.328	0.284	0.63				37058.355	-42722.949	60.68	61.31	1141	0.247	0.221	0.22				37061.861	-42722.422	61.07	61.29
1065	0.222	0.178	0.34				37058.671	-42721.828	60.96	61.30	1143	0.462	0.420	0.45				37062.389	-42722.250	60.84	61.29
1066	0.462	0.265	0.33				37058.553	-42722.959	60.98	61.31	1144	0.415	0.309	0.34				37062.314	-42722.420	60.95	61.29
1067	0.240	0.200	0.29				37058.452	-42724.196	61.02	61.31	1145	0.248	0.234	0.23				37061.854	-42722.782	61.06	61.29
1068	0.303	0.236	0.44	○			37059.219	-42717.924	60.86	61.30	1146	0.256	0.249	0.21				37061.385	-42722.972	61.09	61.30
1069	0.472	0.315	0.47				37058.729	-42718.386	60.83	61.30	1147	0.333	0.259	0.26				37061.747	-42723.315	61.04	61.30
1070	0.677	0.551	0.35				37059.001	-42718.870	60.96	61.31	1148	0.473	0.390	0.5				37062.250	-42723.118	60.79	61.29
1071	0.221	0.210	0.24				37059.446	-42719.034	61.06	61.30	1149	0.343	0.301	0.53				37061.173	-42723.450	60.77	61.30
1072	0.230	0.194	0.16				37059.643	-42718.831	61.14	61.30	1150	0.381	0.352	0.63				37061.486	-42723.570	60.67	61.30
1073	0.312	0.255	0.4				37059.808	-42719.066	60.91	61.31	1151	0.318	0.291	0.4				37061.226	-42723.883	60.91	61.31
1074	0.225	0.187	0.14				37059.071	-42719.335	61.16	61.30	1152	0.215	0.197	0.34				37061.714	-42724.062	60.95	61.29
1075	0.265	0.263	0.48				37059.346	-42719.304	60.82	61.30	1153	0.322	0.210	0.27				37061.781	-42724.249	61.03	61.30
1076	0.345	0.275	0.23				37059.501	-42719.487	61.07	61.30	1154	0.364	0.348	0.64	○			37062.138	-42723.611	60.65	61.29
1077	0.316	0.285	0.3				37059.132	-42719.727	61.00	61.30	1155	0.408	0.209	0.31				37062.266	-42723.999	60.99	61.29
1078	0.357	0.339	0.56				37059.385	-42720.286	60.75	61.31	1156	0.159	0.143	0.16				37062.579	-42723.949	61.14	61.30
1079	0.449	0.309	0.44				37059.263	-42720.318	60.87	61.31	1157	0.342	0.282	0.32				37062.039	-42718.165	60.98	61.30
1080	0.277	0.212	0.58				37059.191	-42720.426	60.73	61.31	1158	0.432	0.371	0.63				37062.540	-42717.850	60.65	61.28
1081	0.213	0.206	0.42				37058.976	-42720.489	60.89	61.31	1159	0.336	0.304	0.4				37062.551	-42718.145	60.89	61.29
1082	0.216	0.207	0.22				37059.673	-42720.379	61.10	61.32	1160	0.240	0.191	0.54				37061.464	-42718.937	60.75	61.29
1083	0.179	0.174	0.25				37058.938	-42721.186	61.06	61.31	1161	0.269	0.246	0.24				37061.993	-42718.732	61.02	61.26
1084	0.426	0.341	0.35				37059.141	-42721.636	60.95	61.30	1162	0.238	0.228	0.17				37062.248	-42718.702	61.11	61.28
1085	0.217	0.199	0.46				37058.854	-42722.003	60.84	61.30	1163	0.248	0.236	0.23				37062.615	-42718.509	61.06	61.29
1086	0.327	0.325	0.48				37059.506	-42721.900	60.82	61.30	1164	0.370	0.336	0.38				37062.877	-42718.671	60.91	61.29
1087	0.475	0.420	1.27				37059.181	-42722.140	60.03	61.30	1165	0.680	0.530	0.76				37062.093	-42719.190	60.54	61.30
1088	0.671	0.510	0.23				37058.527	-42723.046	61.08	61.31	1166	0.139	0.132	0.62				37062.172	-42719.838	60.68	61.30
1089	0.613	0.345	0.34				37059.122	-42722.811	60.98	61.32	1167	0.600	0.440	0.29				37062.134	-42719.987	61.01	61.30
1090	0.280	0.273	0.56				37059.291	-42722.821	60.76	61.32	1167	0.590	0.440	0.29				37062.249	-42720.038	61.01	61.30
1091	0.371	0.339	0.32				37059.584	-42722.974	60.97	61.29	1168	0.190	0.179	0.22				37062.612	-42719.837	61.08	61.30
1092	0.234	0.222	0.25				37059.271	-42723.476	61.05	61.30	1169	0.192	0.178	0.18				37062.123	-42720.416	61.12	61.30
1093	0.369	0.332	0.51				37059.741	-42723.184	60.79	61.30	1170	0.371	0.338	0.36				37062.420	-42720.350	60.94	61.30
1094	-	-	-				-	-	-	-	1171	0.282	0.275	0.23				37062.312	-42720.729	61.06	61.29
1094	0.165	0.150	0.1				37060.039	-42723.597	61.20	61.30	1172	0.251	0.242	0.13				37062.855	-42720.882	61.17	61.30
1095	-	-	-				-	-	-	-	1173	0.182	0.152	0.25				37062.747	-42721.437	61.06	61.31
1095	0.160	0.145	0.22				37060.014	-42723.791	61.08	61.30	1174	0.151	0.138	0.28				37062.658	-42721.263	61.03	61.31
1096	0.268	0.238	0.23				37059.895	-42724.097	61.08	61.31	1175	0.375	0.292	0.29	○			37062.620	-42722.832	61.00	61.29
1097	0.247	0.203	0.19				37060.292	-42724.294	61.11	61.30	1177	0.695	0.455	0.41				37062.880	-42723.090	60.88	61.29
1098	0.278	0.257	0.24				37059.737	-42724.532	61.07	61.31	1179	0.488	0.355	0.3				37063.420	-42722.936	60.99	61.29
1099	-	-	-				-	-	-	-	1180	0.403	0.372	0.43				37063.343	-42723.512	60.86	61.29
1099	0.190	0.185	0.25				37060.003	-42724.452	61.05	61.30	1181	0.385	0.381	0.42				37062.805	-42723.686	60.87	61.29
1100	-	-	-				-	-	-	-	1182	0.146	0.139	0.08				37063.076	-42723.900	61.22	61.30
1100	0.290	0.250	0.24				37060.024	-42724.691	61.06	61.30	1183	0.347	0.310	0.24				37062.828	-42724.158	61.06	61.30
1101	-	-	-				-	-	-	-	1184	0.183	0.142	0.16				37063.213	-42724.226	61.15	61.31
1101	0.400	0.370	0.22				37060.098	-42724.885	61.08	61.30	1185	0.349	0.250	0.19				37062.384	-42724.908	61.09	61.28
1102	0.359	0.338	0.51				37060.310	-42717.561	60.79	61.30	1186	0.315	0.305	0.53				37062.669	-42724.608	60.77	61.30
1104	0.283	0.249	0.41				37060.331	-42719.115	60.88	61.29	1187	0.569	0.320	0.53	○			37063.126	-42724.981	60.76	61.29
1105	0.410	0.345	0.27				37060.810	-42718.937	61.02	61.29	1188	0.346	0.338	0.4				37063.038	-42717.602	60.88	61.28
1106	0.291	0.279	0.44				37060.121	-42719.378	60.87	61.31	1189	0.326	0.260	0.3				37063.572	-42717.212	60.95	61.25
1107	0.215	0.203	0.46				37060.117	-42719.618	60.85	61.31	1191	0.588	0.442	0.42				37064.303	-42717.290	60.83	61.25
1108	-	-	-				-	-	-	-	1192	0.345	0.317	0.44				37063.674	-42717.777	60.82	61.26
1108	0.212	0.193	0.2				37060.019	-42720.280	61.11	61.31	1193	0.301	0.210	0.38				37063.250	-42718.235	60.90	61.28
1109	0.821	0.631	0.3				37060.665	-42720.332	61.01	61.31	1194	0.540	0.476	0.45				37064.230	-42717.724	60.84	61.29
1110	0.413	0.340	0.56				37060.583	-42720.621	60.75	61.31	1194	0.333	0.264	0.48				37063.166	-42722.270	60.82	61.30
1111	0.367	0.363	0.55	○			37060.823	-42721.248	60.75	61.30	1195	0.413	0.220	0.23				37063.321	-42718.711	61.06	61.29
1112	0.327	0.255	0.28				37060.105	-42721.432	61.02	61.30	1196	0.995	0.440	0.16				37064.088	-42718.328	61.10	61.26
1113	0.261	0.251	0.18				37060.675	-42721.897	61.12	61.30	1197	0.781	0.697	0.56				37063.978	-42719.230	60.73	61.29
1114	0.359	0.242	0.26				37060.191	-42722.140	61.04	61.30	1198	0.459	0.393	0.43				37064.551	-42719.027	60.85	61.28
1115	0.282	0.236	0.41				37060.476	-42722.100	60.89	61.30	1199	0.426	0.353	0.52				37063.562	-42719.848	60.77	61.29
1116	0.254	0.230	0.18				37060.907	-42722.689	61.13	61.31	1200	-	-	-				-	-	-	-
1117	0.286	0.235	0.22				37060.876	-42722.865	61.09	61.31	1200	0.750	0.565	0.49				37064.374	-42720.098	60.80	61.29
1118	0.298	0.212	0.24				37060.570	-42723.691	61.06	61.30	1201	0.269	0.266	0.38				37064.472	-42719.770	60.91	61.29
1119	0.473	0.310	0.41				37060.699	-42723.903	60.89	61.30	1206	0.290	0.265	0.2				37064.092	-42721.129	61.10	61.30
1120																					

発見された遺構と出土遺物

第19表 土坑規模一覧表(9)

番号	規 模			柱 遺 掘 痕 物 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 遺 掘 痕 物 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ				下 端	上 端		長軸	短軸	深さ				下 端	上 端
1228	0.320	0.315	0.31		37063.919	-42724.178	60.99	61.30	1315	0.371	0.324	0.34		37066.799	-42722.576	60.95	61.29
1229	0.227	0.214	0.15		37063.758	-42724.751	61.14	61.29	1316	0.552	0.416	0.23		37067.245	-42722.521	61.06	61.29
1234	0.353	0.333	0.46		37064.637	-42717.378	60.79	61.25	1317	0.501	0.318	0.21		37067.816	-42722.625	61.07	61.28
1235	0.440	0.307	0.43		37065.197	-42717.865	60.86	61.29	1318	0.244	0.233	0.21		37066.255	-42722.980	61.08	61.29
1236	0.276	0.237	0.23		37064.755	-42717.650	61.04	61.27	1319	0.292	0.233	0.32		37066.397	-42723.068	60.97	61.29
1237	—	—	—		—	—	—	—	1321	0.402	0.384	0.26		37067.217	-42723.105	61.02	61.28
1237	0.361	0.340	0.51		37064.897	-42718.111	60.78	61.29	1323	0.284	0.200	0.16		37066.512	-42723.296	61.13	61.29
1238	0.470	0.380	0.4		37065.046	-42718.568	60.88	61.28	1324	0.272	0.217	0.23		37066.409	-42723.383	61.06	61.29
1238	—	—	—		—	—	—	—	1325	0.333	0.235	0.19		37066.186	-42723.650	61.09	61.28
1239	0.280	0.250	0.39		37065.024	-42718.959	60.88	61.27	1326	0.483	0.364	0.42		37066.631	-42723.681	60.87	61.29
1239	—	—	—		—	—	—	—	1327	0.248	0.175	0.26		37066.934	-42723.573	61.02	61.28
1240	0.301	0.283	0.51		37065.350	-42719.173	60.76	61.27	1328	0.322	0.319	0.51	○	37067.162	-42723.573	60.78	61.29
1241	0.111	0.107	0.32		37064.943	-42719.343	60.97	61.29	1329	0.259	0.222	0.18		37067.482	-42723.571	61.09	61.27
1242	0.332	0.194	0.55		37064.789	-42719.873	60.74	61.29	1330	0.249	0.231	0.46		37067.567	-42723.495	60.83	61.29
1243	—	—	—		—	—	—	—	1331	0.369	0.261	0.22		37067.799	-42723.502	61.05	61.27
1243	0.473	0.333	0.27		37064.935	-42719.438	61.02	61.29	1332	0.329	0.245	0.52		37067.746	-42723.723	60.77	61.29
1245	0.254	0.216	0.28		37065.302	-42719.785	60.99	61.27	1333	0.216	0.214	0.24		37066.933	-42716.926	61.05	61.29
1246	0.224	0.164	0.28		37065.544	-42719.851	60.99	61.27	1334	0.292	0.283	0.22		37066.915	-42717.137	61.08	61.30
1250	0.575	0.525	0.25	○	37065.659	-42720.261	61.03	61.28	1335	0.311	0.239	0.4		37067.325	-42716.936	60.89	61.29
1251	0.257	0.181	0.31		37065.574	-42720.317	60.77	61.08	1336	0.377	0.252	0.35		37067.559	-42716.908	60.93	61.28
1254	0.483	0.321	0.1		37064.400	-42721.120	61.19	61.29	1338	0.410	0.309	0.5		37066.707	-42718.456	60.79	61.29
1255	—	—	—		—	—	—	—	1339	0.329	0.311	0.55		37067.898	-42718.142	60.72	61.27
1255	0.470	0.380	0.23		37064.939	-42721.671	61.04	61.27	1340	0.300	0.280	0.53		37067.648	-42718.155	60.76	61.29
1256	0.220	0.200	0.4		37065.026	-42721.137	60.89	61.29	1341	0.240	0.188	0.96		37067.351	-42718.594	60.32	61.28
1256	—	—	—		—	—	—	—	1342	0.302	0.247	0.24		37067.592	-42718.610	61.03	61.27
1258	—	—	—		—	—	—	—	1343	0.407	0.270	0.33		37067.422	-42718.855	60.94	61.27
1258	0.350	0.190	0.47		37064.938	-42722.559	60.82	61.29	1344	0.454	0.327	0.51		37068.093	-42718.606	60.75	61.26
1259	—	—	—		—	—	—	—	1345	0.302	0.236	0.27	○	37068.042	-42718.932	61.01	61.28
1259	0.525	0.170	0.28		37064.961	-42722.389	60.99	61.27	1346	0.218	0.171	0.43		37068.224	-42718.899	60.85	61.28
1260	0.293	0.277	0.28		37065.240	-42722.479	60.99	61.27	1347	0.259	0.245	0.21		37067.317	-42719.451	61.07	61.28
1261	0.394	0.308	0.48		37065.399	-42722.621	60.79	61.27	1348	0.427	0.402	0.13		37067.702	-42719.219	61.14	61.27
1262	0.212	0.203	0.22		37065.445	-42722.998	61.06	61.28	1349	0.261	0.235	0.21	○	37068.301	-42719.352	61.06	61.27
1263	0.224	0.187	0.21		37065.697	-42723.080	61.07	61.28	1350	0.319	0.278	0.26		37067.982	-42719.805	60.99	61.25
1264	0.223	0.222	0.36		37065.964	-42723.143	60.93	61.29	1351	0.313	0.300	0.46		37068.520	-42719.800	60.81	61.27
1265	0.398	0.320	0.52		37065.838	-42723.811	60.77	61.29	1352	0.620	0.342	0.51		37067.944	-42720.468	60.77	61.28
1266	0.371	0.261	0.45		37065.366	-42723.968	60.84	61.29	1353	0.820	0.486	0.53		37067.345	-42720.444	60.75	61.28
1267	0.261	0.133	0.49		37064.573	-42720.994	60.80	61.29	1354	0.159	0.116	0.61		37067.139	-42720.852	60.68	61.29
1268	0.523	0.335	0.23		37065.925	-42716.945	61.06	61.29	1355	0.159	0.144	0.19		37067.670	-42720.725	60.73	60.92
1269	0.407	0.396	0.34		37065.677	-42717.482	60.95	61.29	1356	0.386	0.352	0.33		37067.185	-42720.887	60.96	61.29
1270	0.311	0.290	0.22		37065.703	-42717.307	61.07	61.29	1357	0.363	0.323	0.45		37067.899	-42720.790	60.83	61.28
1271	0.198	0.112	0.18		37066.041	-42717.227	61.11	61.29	1358	0.355	0.303	0.39		37067.758	-42721.368	60.89	61.28
1272	0.286	0.273	0.23		37066.238	-42717.217	61.06	61.29	1359	0.347	0.242	0.39		37068.078	-42721.256	60.89	61.28
1273	0.286	0.251	0.23		37066.518	-42717.249	61.06	61.29	1360	0.207	0.195	0.33		37067.304	-42721.658	60.96	61.29
1274	0.311	0.252	0.26		37065.795	-42717.656	61.03	61.29	1361	0.292	0.257	0.293		37067.731	-42721.693	60.99	61.28
1275	0.550	0.491	0.21		37066.095	-42717.450	61.08	61.29	1362	0.317	0.243	0.34		37067.969	-42721.950	60.93	61.27
1276	0.132	0.114	0.31		37066.356	-42717.377	60.99	61.30	1363	0.364	0.311	0.42		37068.387	-42721.738	60.85	61.27
1277	0.306	0.295	0.38		37065.788	-42717.826	60.90	61.28	1364	0.469	0.267	0.42		37068.353	-42721.856	60.85	61.27
1278	0.442	0.366	0.43		37066.167	-42717.832	60.87	61.30	1365	0.289	0.263	0.42		37068.313	-42722.001	60.86	61.28
1279	0.279	0.177	0.37		37066.355	-42717.534	60.93	61.30	1366	0.251	0.250	—		37067.460	-42722.178	なし	なし
1280	0.215	0.205	0.44		37065.958	-42718.211	60.85	61.29	1367	0.242	0.220	0.28		37068.707	-42722.301	60.99	61.27
1281	0.278	0.274	0.32		37065.684	-42718.753	60.95	61.27	1369	0.337	0.254	0.15		37068.180	-42722.737	61.12	61.27
1282	0.269	0.223	0.25		37065.478	-42718.842	61.02	61.27	1370	0.490	0.195	0.46	○	37067.929	-42722.790	60.82	61.28
1283	0.293	0.255	0.43		37065.856	-42718.963	60.85	61.28	1371	0.442	0.334	0.2		37067.708	-42723.026	61.07	61.27
1284	0.321	0.267	0.44		37066.136	-42718.823	60.84	61.28	1372	0.443	0.440	0.3		37068.317	-42723.235	60.99	61.29
1285	0.349	0.296	0.49		37066.568	-42718.771	60.80	61.29	1373	0.309	0.236	0.56		37068.284	-42716.126	60.72	61.28
1286	0.210	0.194	0.32		37066.425	-42719.005	60.97	61.29	1374	0.289	0.245	0.15		37068.781	-42716.028	61.13	61.28
1287	0.189	0.129	0.33		37066.634	-42719.041	60.96	61.29	1375	0.234	0.201	0.32		37068.026	-42716.650	60.96	61.28
1289	0.454	0.317	0.24		37066.140	-42719.591	61.01	61.25	1376	0.288	0.214	0.51		37068.472	-42716.659	60.76	61.27
1290	0.193	0.167	0.27		37065.946	-42719.777	61.00	61.27	1377	0.302	0.220	0.48		37068.384	-42716.971	60.81	61.29
1291	0.279	0.199	0.32		37066.079	-42719.767	60.93	61.25	1378	0.305	0.190	0.35		37068.535	-42716.994	60.92	61.27
1292	1.422	0.421	0.29		37066.761	-42719.495	61.00	61.29	1379	0.352	0.293	0.2		37067.899	-42717.325	61.09	61.29
1293	0.249	0.222	0.56		37066.896	-42719.860	60.73	61.29	1380	0.288	0.283	0.16		37068.102	-42717.489	61.12	61.28
1294	0.254	0.252	0.35		37066.458	-42720.084	60.94	61.29	1381	0.339	0.276	0.18		37068.316	-42717.407	61.10	61.28
1295	0.434	0.335	0.4		37066.794	-42720.511	60.89	61.29	1382	0.245	0.186	0.19		37068.397	-42717.535	61.08	61.27
1298	0.284	0.218	0.3		37065.739	-42720.954	60.98	61.28	1383	0.226	0.213	0.13		37068.650	-42717.749	61.14	61.27
1299	0.258	0.165	0.42		37066.155	-42720.678	60.86	61.28	1384	0.428	0.406	0.27		37068.316	-42717.909	61.00	61.27
1301	0.319	0.255	0.18		37066.070	-42721.1											

発見された遺構と出土遺物

第20表 土坑規模一覧表(10)

番号	規 模			柱 遺 痕	掘 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 遺 痕	掘 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ					下 端	上 端		長軸	短軸	深さ					下 端	上 端
1396	0.256	0.200	0.11			37069.063	-42721.534	61.17	61.28	1469	0.546	0.251	0.39			37064.918	-42725.677	60.69	61.08
1397	0.293	0.236	0.36			37069.414	-42721.570	60.91	61.27	1470	0.300	0.265	0.19	○		37065.203	-42726.103	60.87	61.06
1398	0.167	0.156	0.22			37068.917	-42721.820	61.07	61.29	1471									
1399	0.353	0.213	0.1			37069.294	-42721.971	61.18	61.28	1471	0.440	0.420	0.62			37064.946	-42726.136	60.66	61.28
1400	0.253	0.200	0.12			37069.198	-42721.793	61.17	61.29	1472	0.660	0.567	0.32			37065.491	-42726.234	60.92	61.24
1401	0.463	0.350	0.42			37069.071	-42722.310	60.85	61.27	1473	0.337	0.308	0.33			37065.328	-42725.203	60.94	61.27
1402	0.192	0.176	0.09			37069.202	-42722.686	61.19	61.28	1474	0.448	0.311	0.36			37065.614	-42726.094	60.68	61.04
1403	0.278	0.260	0.36			37069.319	-42723.059	60.92	61.28	1479	0.281	0.228	0.35			37066.569	-42726.753	60.92	61.27
1404	0.273	0.249	0.33			37068.814	-42723.277	60.95	61.28	1480	0.424	0.408	0.47			37066.960	-42726.575	60.78	61.25
1405	0.255	0.233	0.37			37069.706	-42716.180	60.90	61.27	1481	0.424	0.378	0.33			37067.231	-42726.128	60.85	61.18
1406	0.319	0.228	0.68			37069.249	-42716.757	60.59	61.27	1482	0.449	0.416	0.63			37065.495	-42726.833	60.65	61.28
1407	0.385	0.338	0.21			37069.694	-42716.634	61.07	61.28	1483	0.407	0.398	0.52			37067.728	-42726.792	60.76	61.28
1408	0.271	0.222	0.28			37069.499	-42717.467	60.99	61.27	1484	0.587	0.543	0.45			37067.809	-42727.047	60.83	61.28
1409	0.310	0.289	0.31			37070.731	-42717.045	60.95	61.26	1485	0.546	0.378	0.18			37068.825	-42726.309	60.89	61.07
1410	0.390	0.381	0.24			37070.415	-42717.496	61.04	61.28	1486	0.304	0.286	0.04			37068.883	-42726.525	60.91	60.95
1411	0.381	0.360	0.56			37070.578	-42717.462	60.70	61.26	1487	0.425	0.267	0.32			37069.205	-42726.450	60.69	61.01
1412	0.314	0.266	0.2			37069.558	-42717.746	61.07	61.27	1488	0.374	0.297	0.26			37069.335	-42726.230	60.81	61.07
1413	0.321	0.289	0.2			37069.346	-42718.128	61.09	61.29	1489	0.444	0.327	0.4			37069.330	-42726.027	60.55	60.95
1414	0.255	0.226	0.18			37069.877	-42717.817	61.10	61.28	1490	0.207	0.207	0.45			37069.657	-42726.203	60.62	61.07
1415	0.197	0.166	0.18			37069.783	-42718.057	61.10	61.28	1493	0.320	0.280	0.39			37070.089	-42727.195	60.88	61.27
1416	0.320	0.270	0.31			37069.880	-42718.210	60.98	61.29	1495	0.237	0.169	0.23			37070.190	-42727.492	61.05	61.28
1416										1496	0.629	0.379	1.02			37070.858	-42727.653	60.25	61.27
1417	0.308	0.308	0.15			37070.139	-42718.060	61.13	61.28	1497	0.531	0.230	0.39			37071.103	-42727.247	60.90	61.29
1418	0.320	0.271	0.56			37069.111	-42718.359	60.74	61.30	1498	0.119	0.084	0.28			37070.790	-42727.449	61.01	61.29
1419	0.344	0.313	0.37			37069.757	-42718.723	60.92	61.29	1499	0.520	0.421	0.18			37071.548	-42727.408	61.09	61.27
1420										1500	0.702	0.400	0.27			37071.107	-42727.504	61.00	61.27
1420	0.525	0.310	0.35			37070.176	-42718.640	60.92	61.27	1501	0.709	0.501	0.45			37070.826	-42726.534	60.82	61.27
1421	0.222	0.159	0.25			37069.549	-42718.997	61.04	61.29	1502	0.411	0.362	0.24			37071.276	-42724.353	61.03	61.27
1422	0.540	0.404	0.12			37069.542	-42719.526	61.15	61.27	1503									
1423	0.348	0.215	0.22			37069.533	-42719.141	61.07	61.29	1503	0.378	0.343	0.24			37054.936	-42728.643	61.03	61.27
1424	0.350	0.290	0.55			37069.864	-42719.373	60.72	61.27	1504	0.301	0.276	0.36			37055.590	-42728.999	60.89	61.25
1424										1505	0.211	0.207	0.28			37055.826	-42729.163	60.98	61.26
1425	0.243	0.223	0.49			37070.160	-42719.140	60.78	61.27	1506	0.691	0.509	0.55			37055.536	-42730.441	60.75	61.30
1426	0.285	0.228	0.35			37069.741	-42719.748	60.92	61.27	1507	0.281	0.280	0.268			37056.750	-42729.263	61.01	61.28
1427	0.350	0.350	0.08			37069.944	-42719.688	61.17	61.25	1508	0.545	0.504	0.23			37056.662	-42729.958	61.03	61.26
1427										1508									
1428	0.241	0.202	0.19			37070.791	-42720.369	61.09	61.28	1509	0.292	0.292	0.23			37058.139	-42728.414	61.08	61.31
1429										1510	0.629	0.583	0.44			37058.278	-42729.167	60.86	61.30
1429	0.310	0.290	0.41			37070.463	-42720.091	60.73	61.14	1511	0.629	0.313	0.23			37057.936	-42729.804	61.06	61.29
1430	0.295	0.249	0.18			37069.878	-42720.502	61.11	61.29	1511									
1430										1512									
1431	0.416	0.342	0.16			37069.774	-42720.913	61.12	61.28	1512	0.272	0.270	0.5			37058.063	-42730.144	60.80	61.30
1432	0.272	0.216	0.2			37070.202	-42721.228	61.09	61.29	1513	0.452	0.399	0.4			37058.336	-42729.799	60.88	61.28
1433	0.336	0.233	0.21			37070.242	-42721.499	61.08	61.29	1514	0.231	0.229	0.34			37057.663	-42730.160	60.94	61.28
1434	0.244	0.237	0.43			37070.574	-42721.393	60.86	61.29	1515	0.282	0.270	0.25			37057.971	-42730.386	61.03	61.28
1435	0.222	0.171				37071.267	-42721.436	なし	61.28	1516	0.749	0.395	0.28			37057.697	-42730.622	60.99	61.27
1436	0.384	0.302	0.39	○		37069.743	-42721.890	60.87	61.26	1517	1.650	1.500	0	○		37057.171	-42731.650		
1437										1518	0.372	0.287	0.5			37058.356	-42730.326	60.80	61.30
1437	0.580	0.400	0.19			37070.080	-42721.904	61.10	61.29	1519	0.189	0.181	0.29			37058.558	-42730.469	61.00	61.29
1439	0.310	0.250	0.36			37070.669	-42721.692	60.92	61.28	1519	0.200	0.162	0.2			37063.341	-42729.192	61.09	61.29
1440	0.216	0.189	0.25			37071.114	-42721.816	61.03	61.28	1520	0.460	0.443	0.26			37058.594	-42730.635	61.03	61.29
1441	0.257	0.232	0.32			37069.518	-42722.117	60.95	61.27	1521	0.310	0.244	0.34			37058.654	-42730.760	60.95	61.29
1442	0.197	0.157	0.26			37069.772	-42722.213	61.01	61.27	1522	0.587	0.524	0.46			37058.276	-42731.054	60.81	61.27
1443	0.559	0.308	0.39			37069.514	-42722.452	60.88	61.27	1523	0.256	0.219	0.18			37058.328	-42731.315	61.10	61.28
1444										1524	0.191	0.153	0.26			37059.529	-42727.857	61.04	61.30
1444	0.550	0.470	0.17			37070.270	-42722.578	61.10	61.27	1525	0.222	0.213	0.23			37059.469	-42728.100	61.08	61.31
1445	0.353	0.279	0.16			37069.923	-42723.232	61.12	61.28	1526	0.450	0.270	0.31			37059.616	-42728.380	60.98	61.29
1445										1527	0.513	0.398	0.34			37059.401	-42728.748	60.96	61.30
1446	0.355	0.330	0.28			37070.254	-42723.232	61.00	61.28	1528	0.322	0.287	0.28			37059.372	-42729.121	61.02	61.30
1447	0.313	0.273	0.15			37060.273	-42725.758	61.14	61.29	1529	0.190	0.188	0.24			37059.117	-42729.560	61.06	61.30
1448	0.870	0.528	0.44			37060.482	-42726.471	60.85	61.29	1530	0.617	0.206	0.21			37059.484	-42729.625	61.09	61.30
1449	0.255	0.238	0.18	○		37060.689	-42725.332	61.12	61.30	1531	0.327	0.308	0.26			37059.119	-42730.437	61.03	61.29
1450	0.300	0.294	0.14			37061.362	-42725.925	61.16	61.30	1532	0.292	0.205	0.09			37059.287	-42730.517	61.21	61.30
1451	0.458	0.282	0.45			37062.251	-42727.013	60.85	61.30	1533	0.224	0.197	0.15			37058.831	-42731.082	61.13	61.28
1452	0.366	0.298	0.47			37062.605	-42726.551	60.83	61.30	1534	0.355	0.355	0.47			37059.073	-42730.825	60.82	61.29
1453	0.281	0.268	0.27			37062.621	-42726.084	61.02	61.29	1535	0.285	0.250	0.22						

発見された遺構と出土遺物

第21表 土坑規模一覧表(1)

番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ						下 端	上 端		長軸	短軸	深さ						下 端	上 端
1546	0.224	0.192	0.27				37060.525	-42728.405	61.02	61.29	1629	0.220	0.172	0.41				37063.196	-42728.882	60.89	61.30
1547	0.477	0.459	0.36				37060.446	-42729.128	60.92	61.28	1629	—	—	—				—	—	—	—
1547	0.301	0.258	0.3				37060.222	-42728.607	60.99	61.29	1630	0.315	0.306	0.46	○			37065.147	-42728.632	60.82	61.28
1548	0.534	0.496	0.55				37060.538	-42729.723	60.74	61.29	1630	—	—	—				—	—	—	—
1550	0.441	0.350	0.26				37059.679	-42730.232	61.04	61.30	1631	0.348	0.279	0.23				37065.256	-42728.269	61.05	61.28
1551	—	—	—				—	—	—	—	1633	0.385	0.260	0.27				37064.091	-42728.916	61.01	61.28
1551	0.440	0.370	0.7				37060.034	-42730.490	60.59	61.29	1634	0.531	0.408	0.47				37064.233	-42729.218	60.81	61.28
1552	0.288	0.272	0.4				37060.443	-42730.179	60.89	61.29	1635	0.363	0.249	0.3				37064.504	-42729.255	60.96	61.26
1553	0.310	0.250	0.24				37059.979	-42730.936	61.07	61.31	1636	0.620	0.440	0.36				37065.057	-42729.092	60.92	61.28
1553	—	—	—				—	—	—	—	1636	—	—	—				—	—	—	—
1554	0.377	0.189	0.47				37060.501	-42730.582	60.82	61.29	1637	0.380	0.344	0.42				37064.066	-42729.841	60.86	61.28
1556	0.529	0.328	0.22				37060.188	-42731.134	61.07	61.29	1638	0.297	0.242	0.39				37064.331	-42729.862	60.88	61.27
1557	0.439	0.299	0.51				37060.295	-42730.979	60.78	61.29	1639	0.179	0.155	0.31				37064.450	-42730.644	60.97	61.28
1558	0.287	0.284	0.45				37060.351	-42731.362	60.84	61.29	1640	0.686	0.412	0.39				37063.980	-42731.509	60.90	61.29
1559	0.303	0.250	0.2				37060.845	-42731.152	61.09	61.29	1641	0.488	0.385	0.29				37064.588	-42731.235	60.99	61.28
1560	0.331	0.304	0.48				37060.606	-42732.181	60.80	61.28	1642	0.624	0.379	0.46				37064.224	-42731.787	60.81	61.27
1562	0.209	0.209	0.21				37060.491	-42732.605	61.07	61.28	1643	0.268	0.201	0.2				37065.103	-42727.692	61.08	61.28
1563	0.245	0.245	0.36				37060.489	-42732.767	60.92	61.28	1644	0.271	0.254	0.38				37065.785	-42727.657	60.92	61.30
1564	0.465	0.340	0.47				37060.968	-42732.845	60.81	61.28	1645	0.347	0.305	0.34				37065.756	-42728.242	60.95	61.29
1565	0.387	0.309	0.24				37061.354	-42732.992	61.03	61.27	1646	0.286	0.270	0.23				37065.912	-42728.219	61.06	61.29
1566	0.211	0.166	0.22				37060.785	-42727.953	61.07	61.29	1647	0.311	0.279	0.32				37066.102	-42728.633	60.95	61.27
1567	0.362	0.304	0.23				37060.824	-42728.176	61.07	61.30	1648	0.607	0.429	0.28				37065.939	-42728.686	61.01	61.29
1568	0.449	0.402	0.5				37061.458	-42728.074	60.80	61.30	1651	0.125	0.086	0.07				37065.097	-42729.515	60.97	61.04
1569	0.289	0.242	0.27				37061.404	-42727.756	61.04	61.31	1652	0.380	0.291	0.31				37066.204	-42729.510	60.97	61.28
1570	0.403	0.232	0.65				37061.797	-42727.766	60.66	61.31	1654	0.690	0.321	0.27				37065.459	-42729.409	61.00	61.27
1571	0.368	0.248	0.48				37062.043	-42727.770	60.82	61.30	1655	0.468	0.277	0.32				37065.219	-42729.720	60.95	61.27
1574	0.244	0.217	0.15				37061.342	-42728.640	61.14	61.29	1656	0.325	0.252	0.46				37065.150	-42729.922	60.81	61.27
1575	0.265	0.214	0.24				37061.624	-42728.457	61.06	61.30	1656	—	—	—				—	—	—	—
1576	0.239	0.234	—				37061.782	-42728.672	なし	61.30	1657	—	—	—				—	—	—	—
1577	0.236	0.213	0.16				37061.546	-42729.149	61.14	61.30	1657	0.340	0.280	0.26				37065.071	-42730.074	61.02	61.28
1578	0.279	0.247	0.19				37061.614	-42729.470	61.10	61.29	1657	—	—	—				—	—	—	—
1579	0.294	0.284	0.17				37061.880	-42729.677	61.13	61.30	1658	—	—	—				—	—	—	—
1580	0.314	0.314	0.57				37061.154	-42730.294	60.72	61.29	1658	0.520	0.420	0.46				37064.981	-42730.708	60.81	61.27
1581	0.309	0.300	0.55				37061.547	-42730.776	60.73	61.28	1659	0.238	0.206	0.15				37065.176	-42731.115	61.12	61.27
1582	0.320	0.250	0.11				37061.905	-42730.094	61.16	61.27	1660	0.243	0.233	0.22				37065.450	-42731.248	61.05	61.27
1583	0.283	0.206	0.23				37061.481	-42731.738	61.05	61.28	1661	0.460	0.390	0.34				37065.055	-42731.481	60.93	61.27
1584	0.591	0.338	0.25				37062.318	-42731.650	61.03	61.28	1661	—	—	—				—	—	—	—
1585	0.816	0.786	0.26				37061.782	-42732.467	61.02	61.28	1662	0.260	0.250	0.25				37065.238	-42731.657	61.01	61.26
1586	0.247	0.233	0.28				37062.419	-42727.591	61.01	61.29	1663	0.310	0.288	0.33				37065.517	-42731.532	60.93	61.26
1588	0.584	0.459	0.34	○			37063.027	-42727.442	60.96	61.30	1664	0.172	0.156	0.15				37065.741	-42731.447	61.12	61.27
1589	0.288	0.187	0.21				37063.087	-42727.755	61.09	61.30	1665	0.446	0.361	0.52				37065.579	-42731.879	60.75	61.27
1590	0.286	0.274	0.25				37063.419	-42727.470	61.04	61.29	1666	0.324	0.308	0.29				37064.835	-42731.884	60.98	61.27
1591	0.307	0.300	0.4				37062.343	-42728.070	60.89	61.29	1667	0.367	0.328	0.39				37065.146	-42732.292	60.88	61.27
1592	0.245	0.241	0.34				37062.766	-42728.138	60.95	61.29	1668	0.203	0.197	0.2				37065.733	-42732.203	61.07	61.27
1593	0.241	0.223	0.23				37062.923	-42728.346	61.07	61.30	1669	0.534	0.502	0.46				37066.615	-42727.785	60.82	61.28
1594	0.351	0.305	0.45				37062.690	-42728.625	60.85	61.30	1670	0.387	0.273	0.57	○			37066.440	-42727.782	60.73	61.30
1595	0.260	0.238	0.3				37062.418	-42729.392	61.00	61.30	1671	0.325	0.208	0.21				37066.283	-42728.088	61.06	61.27
1596	0.189	0.146	0.17				37062.640	-42729.423	61.12	61.29	1672	0.116	0.111	0.2				37066.380	-42728.341	61.07	61.27
1597	0.232	0.142	0.29				37062.668	-42729.209	61.00	61.29	1675	0.318	0.229	0.21				37066.556	-42729.532	61.07	61.28
1598	0.121	0.097	0.06				37062.779	-42729.066	61.01	61.07	1676	0.244	0.212	0.24				37066.859	-42729.442	61.04	61.28
1599	0.426	0.293	0.43	○			37063.100	-42729.034	60.86	61.29	1677	0.515	0.460	0.5				37066.805	-42729.847	60.77	61.27
1600	0.357	0.252	0.24				37063.236	-42728.566	61.05	61.29	1677	—	—	—				—	—	—	—
1601	0.485	0.348	0.11				37063.447	-42728.907	60.94	61.05	1678	0.437	0.346	0.23				37065.830	-42730.065	61.04	61.27
1602	0.200	0.162	0.2				37063.341	-42729.192	61.09	61.29	1679	0.471	0.273	0.41				37067.674	-42729.101	60.88	61.29
1603	0.159	0.150	0.17				37063.556	-42729.579	61.12	61.29	1680	0.403	0.344	0.45				37065.494	-42730.489	60.82	61.27
1605	0.475	0.460	0.44				37062.770	-42729.911	60.85	61.29	1681	0.334	0.255	0.12				37065.577	-42730.613	61.15	61.27
1605	—	—	—				—	—	—	—	1682	0.357	0.357	0.57				37065.934	-42730.649	60.70	61.27
1606	0.375	0.343	0.34				37063.195	-42729.838	60.94	61.28	1683	0.451	0.310	0.5				37066.174	-42730.599	60.77	61.27
1607	0.341	0.306	0.5				37062.146	-42730.686	60.79	61.29	1684	0.286	0.251	0.3				37066.076	-42731.046	60.96	61.26
1608	0.464	0.339	0.41				37062.724	-42730.594	60.87	61.28	1685	0.314	0.276	0.52				37065.965	-42731.443	60.74	61.26
1609	0.483	0.417	0.58				37062.545	-42730.878	60.70	61.28	1686	0.468	0.420	0.42				37066.301	-42731.572	60.84	61.26
1610	0.392	0.310	0.41	○			37063.600	-42730.371	60.87	61.28	1687	0.492									

発見された遺構と出土遺物

第23表 土坑規模一覧表(13)

番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ						下 端	上 端		長軸	短軸	深さ						下 端	上 端
1857	0.333	0.229	0.4				37057.075	-42736.327	60.89	61.29	1935	0.392	0.280	0.39				37062.463	-42735.947	60.87	61.26
1858	0.182	0.165	0.28				37057.339	-42736.491	61.00	61.28	1936	0.277	0.168	0.29				37061.184	-42735.700	60.98	61.27
1859	0.410	0.382	0.45	○			37057.660	-42736.416	60.83	61.28	1937	0.476	0.414	0.5				37061.491	-42735.656	60.78	61.28
1860	0.209	0.186	0.29				37057.348	-42736.687	60.99	61.28	1938	0.493	0.322	0.33				37061.789	-42735.246	60.95	61.28
1861	0.214	0.203	0.34				37057.486	-42737.053	60.93	61.27	1939	0.192	0.161	0.43				37062.108	-42735.928	60.83	61.26
1862	0.348	0.320	0.21				37056.480	-42736.750	61.07	61.28	1940	0.302	0.218	0.41				37060.830	-42736.433	60.87	61.28
1863	0.642	0.382	0.22				37056.291	-42737.133	61.06	61.28	1941	0.463	0.292	0.22				37061.160	-42736.664	61.05	61.27
1864	0.292	0.267	0.2				37056.577	-42737.191	60.86	61.06	1942	0.452	0.376	0.48				37061.598	-42736.975	60.79	61.27
1865	0.339	0.309	0.4				37056.873	-42737.096	60.89	61.29	1943	1.183	1.105	0.16				37063.053	-42733.295	61.09	61.25
1866	0.331	0.317	0.28				37056.315	-42737.798	60.99	61.27	1944	0.446	0.268	0.4				37062.891	-42734.272	60.87	61.27
1867	0.427	0.386	0.43				37056.866	-42737.642	60.85	61.28	1945	0.350	0.235	0.36				37063.184	-42734.301	60.90	61.26
1868	0.308	0.280	0.37				37057.104	-42737.789	60.90	61.27	1946	0.391	0.340	0.44				37063.454	-42734.086	60.82	61.26
1869	0.255	0.226	0.31				37057.529	-42737.551	60.97	61.28	1947	0.390	0.327	0.54				37062.936	-42734.890	60.72	61.26
1870	0.370	0.351	0.28				37056.412	-42738.305	60.98	61.26	1948	0.387	0.350	0.37				37063.273	-42735.438	60.88	61.25
1870	0.241	0.226	0.14				37071.980	-42729.104	61.14	61.28	1949	0.303	0.291	0.38				37062.875	-42735.887	60.89	61.27
1871	0.406	0.370	0.33				37056.822	-42738.539	60.93	61.26	1950	0.586	0.367	0.5				37063.513	-42736.024	60.76	61.26
1872	0.258	0.255	0.31				37057.561	-42734.696	60.98	61.29	1951	0.366	0.290	0.48				37063.681	-42735.895	60.78	61.26
1873	0.454	0.441	0.48				37057.528	-42735.363	60.81	61.29	1952	0.576	0.376	0.38				37062.740	-42736.382	60.88	61.26
1874	0.834	0.513	0.17				37058.106	-42734.890	61.11	61.28	1953	0.418	0.353	0.39				37062.405	-42736.853	60.86	61.25
1875	0.348	0.208	0.36				37057.781	-42735.214	60.93	61.29	1954	0.500	0.433	0.47				37064.291	-42733.611	60.79	61.26
1878	0.613	0.341	0.51				37058.337	-42735.034	60.77	61.28	1955	0.642	0.601	0.25				37064.329	-42732.984	61.02	61.27
1879	0.622	0.348	0.53				37058.157	-42735.838	60.75	61.28	1956	0.205	0.191	0.2				37064.779	-42732.911	61.08	61.28
1880	0.634	0.290	0.52				37058.620	-42735.597	60.76	61.28	1957	0.243	0.144	0.39				37064.059	-42733.725	60.86	61.25
1881	0.466	0.315	0.52				37058.250	-42734.581	60.76	61.28	1958	0.324	0.232	0.43				37064.509	-42733.861	60.83	61.26
1885	0.443	0.398	0.24				37058.639	-42736.295	61.02	61.26	1959	0.294	0.278	0.38				37064.790	-42734.219	60.87	61.25
1886	0.380	0.366	0.38				37059.373	-42736.272	60.88	61.26	1960	0.354	0.262	0.61				37064.217	-42734.427	60.65	61.26
1887	0.313	0.262	0.45				37059.501	-42736.806	60.82	61.27	1961	0.399	0.275	0.45				37064.162	-42734.753	60.80	61.25
1888	0.230	0.230	0.29				37058.004	-42737.165	61.00	61.29	1962	0.651	0.522	0.47				37064.360	-42735.416	60.80	61.27
1889	0.237	0.215	0.25				37058.622	-42736.917	61.02	61.27	1963	0.401	0.282	0.5				37064.701	-42735.410	60.77	61.27
1890	0.299	0.255	0.34				37058.889	-42736.830	60.93	61.27	1964	0.526	0.398	0.14				37065.265	-42732.785	61.13	61.27
1891	0.204	0.167	0.21				37058.871	-42737.108	61.06	61.27	1964	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1892	0.305	0.236	0.37				37059.102	-42737.095	60.90	61.27	1965	0.282	0.256	0.22				37065.558	-42732.604	61.05	61.27
1893	0.526	0.363	0.28				37059.250	-42737.340	60.99	61.27	1966	0.177	0.175	0.57				37065.259	-42732.978	60.70	61.27
1894	0.266	0.194	0.1				37059.319	-42737.514	61.00	61.10	1967	0.539	0.465	0.42				37065.288	-42733.130	60.85	61.27
1895	0.247	0.217	0.12				37059.412	-42737.472	60.98	61.10	1968	0.407	0.195	0.19				37065.256	-42733.372	61.08	61.27
1896	0.449	0.294	0.45				37058.212	-42737.539	60.83	61.28	1969	0.626	0.371	0.16	○			37065.369	-42734.049	61.10	61.26
1897	0.430	0.317	0.49				37058.659	-42737.459	60.79	61.28	1970	0.504	0.453	0.44				37065.290	-42733.586	60.82	61.26
1898	0.441	0.394	0.39				37058.106	-42738.163	60.88	61.27	1971	0.490	0.385	0.66				37065.120	-42734.142	60.61	61.27
1899	0.566	0.383	0.57				37058.328	-42738.134	60.71	61.28	1971	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1900	0.451	0.388	0.48	○			37058.905	-42738.094	60.80	61.28	1972	0.239	0.208	0.12				37064.535	-42734.201	60.95	61.07
1901	0.285	0.279	0.34				37059.279	-42737.947	60.93	61.27	1973	0.438	0.408	0.46	○			37065.070	-42734.718	60.80	61.26
1902	0.506	0.374	0.37				37059.828	-42732.653	60.90	61.27	1973	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1902	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1974	0.221	0.161	0.45				37065.067	-42735.334	60.81	61.26
1903	0.319	0.302	0.39				37060.097	-42732.757	60.89	61.28	1974	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1904	0.164	0.156	0.23				37059.594	-42733.246	61.04	61.27	1976	0.481	0.292	0.15				37065.891	-42732.704	61.12	61.27
1905	0.390	0.360	0.36				37059.836	-42733.671	60.92	61.28	1977	0.384	0.293	0.22				37066.050	-42732.574	61.05	61.27
1905	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1978	0.437	0.339	0.41				37066.078	-42732.842	60.86	61.27
1906	0.370	0.250	0.63				37059.961	-42733.935	60.95	61.58	1979	0.370	0.358	0.13				37066.575	-42732.659	61.14	61.27
1906	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1980	0.268	0.222	0.21				37065.910	-42733.477	61.05	61.26
1907	0.665	0.410	0.49				37059.151	-42734.478	60.79	61.28	1981	0.474	0.440	0.2				37066.717	-42733.226	61.07	61.27
1908	0.435	0.375	0.43				37059.612	-42734.412	60.85	61.28	1982	0.395	0.312	0.34				37066.975	-42733.819	60.93	61.27
1909	0.377	0.350	0.34				37059.553	-42735.517	60.95	61.29	1983	0.343	0.275	0.46				37067.316	-42734.137	60.80	61.26
1910	0.373	0.344	0.19				37060.972	-42733.583	61.10	61.29	1984	0.348	0.324	0.37				37066.653	-42734.328	60.90	61.27
1911	0.199	0.193	0.21				37061.342	-42733.411	61.06	61.27	1985	0.438	0.381	0.3				37066.170	-42734.092	60.96	61.26
1912	0.229	0.183	0.28				37061.353	-42733.767	60.99	61.27	1986	0.286	0.286	0.37				37065.786	-42734.398	60.90	61.27
1913	0.494	0.291	0.44				37060.402	-42734.266	60.84	61.28	1987	0.428	0.303	0.41				37065.548	-42735.514	60.87	61.28
1914	0.336	0.213	0.42				37061.091	-42734.064	60.86	61.28	1988	0.539	0.391	0.36				37065.984	-42735.269	60.92	61.28
1915	0.200	0.192	0.23				37061.171	-42734.442	61.04	61.27	1989	0.413	0.371	0.44				37066.756	-42735.344	60.82	61.26
1916	0.131	0.114	0.16				37061.340	-42734.295	61.11	61.27	1990	0.297	0.197	0.22				37066.601	-42733.471	61.05	61.27
1917	0.287	0.234	0.27				37061.709	-42734.204	61.00	61.27	1991	0.343	0.313	0.4				37067.459	-42733.632	60.87	61.27
1918	0.374	0.315	0.49				37060.543	-42734.571	60.79	6											

発見された遺構と出土遺物

第24表 土坑規模一覧表(14)

番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ						下 端	上 端		長軸	短軸	深さ						下 端	上 端
2010	0.541	0.299	0.44				37068.967	-42734.542	60.84	61.28	2081	0.369	0.272	0.62				37069.782	-42736.450	60.70	61.32
2011	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2082	0.370	0.228	0.57				37069.217	-42736.763	60.76	61.33
2011	0.500	0.470	0.21				37070.025	-42732.258	61.04	61.25	2083	0.312	0.283	0.43				37069.630	-42736.968	60.89	61.32
2012	0.740	0.567	0.37				37069.881	-42731.724	60.90	61.27	2084	0.570	0.480	0.49				37069.979	-42736.990	60.84	61.33
2012	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2084	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2013	0.118	0.108	0.45				37069.886	-42731.851	60.82	61.27	2085	0.319	0.291	0.53				37070.201	-42736.933	60.80	61.33
2014	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2086	0.235	0.178	0.35				37070.493	-42737.058	60.98	61.33
2014	0.230	0.230	0.49				37070.063	-42731.794	60.77	61.26	2087	0.520	0.383	0.53				37070.286	-42736.965	60.80	61.33
2015	0.286	0.228	0.16				37069.739	-42732.370	61.10	61.26	2088	0.571	0.522	0.47				37070.695	-42736.950	60.86	61.33
2016	0.308	0.302	0.26				37069.343	-42732.333	61.00	61.26	2090	0.196	0.187	0.14				37070.550	-42735.281	61.19	61.33
2017	0.293	0.245	0.28				37069.699	-42732.496	60.97	61.25	2091	0.375	0.269	0.53				37070.140	-42735.499	60.80	61.33
2018	0.305	0.295	0.44				37069.331	-42732.675	60.82	61.26	2092	0.279	0.235	0.31				37071.125	-42735.092	61.00	61.31
2019	0.429	0.279	0.23				37069.509	-42732.913	61.02	61.25	2093	0.302	0.291	0.48				37071.074	-42735.689	60.86	61.34
2020	0.317	0.275	0.2				37069.473	-42733.350	61.05	61.25	2094	0.261	0.259	0.35				37071.387	-42735.424	60.96	61.31
2021	0.380	0.261	0.29				37069.416	-42733.982	60.97	61.26	2095	0.371	0.352	0.42				37071.275	-42735.677	60.91	61.33
2022	0.300	0.240	0.44				37069.943	-42733.475	60.81	61.25	2096	0.395	0.328	0.35				37071.507	-42735.691	60.97	61.32
2022	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2097	0.170	0.165	0.19				37070.758	-42736.105	61.13	61.32
2023	0.517	0.475	0.4				37057.785	-42740.199	60.87	61.27	2098	0.262	0.163	0.33				37071.076	-42736.158	60.99	61.32
2024	0.297	0.286	0.54				37059.249	-42740.536	60.79	61.33	2099	0.243	0.174	0.28				37071.088	-42736.254	61.04	61.32
2027	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2100	0.203	0.203	0.34				37071.702	-42734.992	60.97	61.31
2027	0.641	0.540	0.48				37060.614	-42740.104	60.83	61.31	2101	0.463	0.353	0.38				37071.930	-42735.203	60.91	61.29
2028	0.210	0.184	0.26				37060.158	-42741.080	61.11	61.37	2102	0.220	0.196	0.12				37071.856	-42735.516	61.19	61.31
2029	0.440	0.337	0.35				37061.765	-42738.646	60.92	61.27	2103	0.266	0.207	0.25				37071.956	-42735.867	61.06	61.31
2030	0.308	0.266	0.25				37062.268	-42738.599	61.03	61.28	2104	0.405	0.367	0.38				37072.219	-42736.269	60.92	61.30
2031	0.406	0.274	0.36				37062.081	-42738.950	60.93	61.29	2105	0.254	0.196	0.4				37072.423	-42736.499	60.90	61.30
2033	0.528	0.329	0.39				37062.180	-42739.385	60.93	61.32	2106	0.403	0.336	0.44				37072.402	-42736.688	60.86	61.30
2035	0.387	0.308	0.34				37063.053	-42737.958	60.73	61.07	2107	0.289	0.250	0.28				37071.945	-42736.699	61.04	61.32
2036	0.444	0.377	0.45				37062.581	-42739.278	60.85	61.30	2108	0.282	0.239	0.21				37071.977	-42736.879	61.09	61.30
2037	0.406	0.387	0.41				37062.937	-42738.893	60.89	61.30	2109	0.231	0.218	0.28				37071.775	-42737.164	61.03	61.31
2038	0.423	0.372	0.57				37063.360	-42738.767	60.73	61.30	2110	0.364	0.276	0.27				37071.596	-42737.332	61.05	61.32
2039	0.614	0.439	0.49				37064.633	-42737.314	60.79	61.28	2111	0.546	0.426	0.48				37070.757	-42736.893	60.86	61.34
2040	0.350	0.303	0.29				37064.270	-42737.825	60.99	61.28	2112	0.425	0.241	0.48				37070.794	-42736.854	60.86	61.34
2041	0.327	0.219	0.08				37065.150	-42736.992	60.87	60.95	2113	0.359	0.320	0.36				37072.094	-42737.470	60.95	61.31
2041	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2114	0.317	0.287	0.25				37071.289	-42739.385	61.12	61.37
2042	0.330	0.310	0.36				37065.007	-42738.514	60.94	61.30	2115	0.399	0.333	0.53				37071.182	-42738.778	60.82	61.35
2042	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2116	0.316	0.283	0.21				37071.340	-42739.863	61.16	61.37
2043	0.482	0.273	0.27				37065.259	-42738.145	61.01	61.28	2117	0.284	0.252	0.27				37071.645	-42738.923	61.08	61.35
2044	0.403	0.354	0.8				37065.428	-42737.923	60.49	61.29	2118	0.191	0.157	0.15				37072.085	-42738.856	61.20	61.35
2045	0.407	0.341	0.34				37066.004	-42738.095	60.96	61.30	2119	0.135	0.104	0.23				37072.472	-42738.977	61.11	61.34
2046	0.342	0.291	0.52				37066.509	-42737.706	60.79	61.31	2120	0.367	0.279	0.39				37072.394	-42739.089	60.96	61.35
2047	0.613	0.562	0.16				37068.049	-42734.858	61.10	61.26	2121	0.328	0.300	0.19				37072.577	-42738.728	61.14	61.33
2048	0.297	0.220	0.33				37067.686	-42735.154	60.93	61.26	2122	0.244	0.162	0.3				37072.916	-42738.464	61.04	61.34
2049	0.297	0.232	0.19				37068.068	-42735.626	61.09	61.28	2123	0.423	0.273	0.41				37072.766	-42738.225	60.92	61.33
2050	0.338	0.313	0.46				37068.272	-42735.911	60.83	61.29	2124	0.303	0.300	0.63				37073.102	-42738.766	60.71	61.34
2051	0.270	0.236	0.32				37067.884	-42735.932	60.96	61.28	2125	0.452	0.296	0.67				37073.048	-42739.085	60.68	61.35
2052	0.322	0.221	0.45				37067.730	-42736.234	60.85	61.30	2126	0.314	0.282	0.4				37062.848	-42742.408	61.06	61.46
2053	0.463	0.341	0.65				37067.696	-42736.442	60.65	61.30	2129	0.392	0.337	0.46				37067.372	-42744.946	61.00	61.46
2054	0.361	0.360	0.65				37068.131	-42736.286	60.64	61.29	2131	0.815	0.453	0.11			○	37046.445	-42739.831	61.06	61.17
2055	0.267	0.234	0.4				37068.474	-42736.161	60.91	61.31	2131	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2056	—	—	0				—	—	—	—	2132	0.553	0.369	0.29				37055.024	-42722.038	61.00	61.29
2057	0.528	0.337	0.62	○			37068.437	-42736.597	60.69	61.31	2132	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2058	0.416	0.274	0.45				37068.904	-42736.711	60.88	61.33	2133	0.361	0.230	0.13				37055.664	-42722.697	61.17	61.30
2059	0.288	0.278	0.2				37068.627	-42736.049	61.10	61.30	2133	0.184	0.174	0.29				37060.145	-42720.969	61.02	61.31
2060	0.202	0.177	0.23				37068.234	-42737.499	61.08	61.31	2135	0.317	0.305	0.76				37054.656	-42721.295	60.53	61.29
2061	0.441	0.419	0.53				37067.892	-42737.928	60.80	61.33	2136	0.539	0.395	0.37			○	37056.906	-42721.846	60.93	61.30
2062	0.266	0.219	0.24				37068.210	-42737.905	61.08	61.32	2137	0.417	0.368	0.35				37059.268	-42722.481	60.96	61.31
2063	0.298	0.265	0.29				37068.342	-42739.302	61.06	61.35	2138	0.583	0.499	0.24				37061.446	-42718.761	61.05	61.29
2064	0.306	0.260	0.44				37068.498	-42738.904	60.90	61.34	2139	0.476	0.309	0.36				37062.416	-42717.734	60.93	61.29
2065	0.436	0.398	0.49				37068.678	-42738.623	60.84	61.33	2140	0.430	0.330	0.2				37067.547	-42713.388	61.09	61.29
2066	0.241	0.198	0.47				37068.788	-42738.945	60.87	61.34	2141	0.440	0.358	0.1				37067.755	-42713.481	61.18	61.28
2067	0.378	0.330	0.54				37068.779	-42739.285	60.79	61.33	2143	0.269	0.235	0.22				37069.198	-42719.742	61.05	61.27
2068	0																				

発見された遺構と出土遺物

第25表 土坑規模一覧表(15)

番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 痕	遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ						下 端	上 端		長軸	短軸	深さ						下 端	上 端
2163	0.591	0.405	0.51				37053.597	-42736.013	60.67	61.18	2235	0.277	0.243	0.48				37020.818	-42715.097	60.82	61.30
2164	0.325	0.303	0.54	○			37053.553	-42736.786	60.67	61.21	2236	0.250	0.233	0.32				37020.298	-42714.493	60.97	61.29
2165	0.285	0.230	0.4				37059.470	-42729.664	60.90	61.30	2237	0.303	0.242	0.44				37020.466	-42714.957	60.86	61.30
2166	0.506	0.362	0.18				37065.208	-42735.255	61.10	61.28	2238	0.228	0.189	0.29				37020.191	-42715.346	61.01	61.30
2167	0.293	0.197	0.11				37061.971	-42730.269	61.18	61.29	2239	0.304	0.243	0.07				37020.496	-42715.464	61.23	61.30
2168	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2240	0.242	0.228	0.15				37021.366	-42716.174	61.15	61.30
2168	0.278	0.250	0.16				37062.113	-42730.063	61.14	61.30	2241	0.504	0.336	0.49				37020.704	-42716.022	60.81	61.30
2169	0.578	0.422	0.21				37055.877	-42738.260	61.05	61.26	2242	0.291	0.245	0.68				37019.998	-42716.559	60.62	61.30
2170	1.671	1.456	0.04				37029.603	-42714.357	61.24	61.28	2242	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2170	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2243	0.376	0.288	0.57	○			37020.305	-42717.064	60.73	61.30
2171	0.313	0.269	0.43				37029.501	-42714.500	60.78	61.21	2244	0.307	0.293	0.48	○			37019.870	-42717.096	60.82	61.30
2172	0.242	0.225	0.26				37028.894	-42713.237	61.02	61.28	2245	1.663	0.516	0.54				37018.990	-42716.162	60.75	61.29
2173	0.300	0.256	0.32				37029.109	-42712.771	60.94	61.26	2246	0.259	0.245	0.44				37019.612	-42715.599	60.87	61.31
2174	0.367	0.320	0.58	○			37027.307	-42712.544	60.70	61.28	2247	0.194	0.150	0.45				37018.508	-42715.461	60.85	61.30
2175	0.182	0.180	0.52				37026.837	-42712.703	60.77	61.29	2248	0.420	0.363	0.16				37019.819	-42714.182	61.14	61.30
2176	0.211	0.144	0.25				37027.730	-42713.553	61.03	61.28	2249	0.238	0.218	0.11				37019.610	-42714.603	61.18	61.29
2177	0.217	0.154	0.23				37027.877	-42713.700	61.05	61.28	2250	0.311	0.262	0.19				37019.303	-42714.513	61.10	61.29
2178	0.277	0.207	0.4				37027.804	-42713.965	60.88	61.28	2251	0.340	0.315	0.53				37020.562	-42712.231	60.76	61.29
2179	0.249	0.211	0.25				37027.493	-42713.980	61.04	61.29	2252	0.264	0.253	0.41				37020.606	-42712.794	60.87	61.28
2180	0.220	0.216	0.36				37027.757	-42714.368	60.85	61.28	2253	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2181	0.350	0.336	0.43	○			37028.024	-42714.815	60.92	61.28	2253	0.400	0.290	0.51				37020.080	-42712.593	60.77	61.28
2182	0.497	0.357	0.54				37027.098	-42713.833	60.75	61.29	2254	0.420	0.290	0.52				37019.960	-42712.566	60.77	61.29
2183	0.202	0.187	0.18				37026.790	-42713.641	61.12	61.30	2255	0.205	0.205	0.63				37019.975	-42712.807	60.66	61.29
2184	0.390	0.364	0.57				37026.171	-42714.573	60.73	61.30	2255	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2185	0.189	0.179	0.25				37027.246	-42714.291	61.03	61.28	2256	0.178	0.163	0.24				37019.395	-42712.807	61.05	61.29
2186	0.213	0.181	0.54				37026.723	-42714.395	60.75	61.29	2257	0.143	0.134	0.24				37019.083	-42713.386	61.05	61.29
2187	0.193	0.186	0.17				37026.628	-42715.060	61.12	61.29	2258	0.517	0.380	0.61				37018.287	-42714.642	60.69	61.30
2187	2.428	0.316	0				37062.864	-42742.784	61.47	61.47	2259	0.517	0.380	0.61				37018.287	-42714.642	60.69	61.30
2188	0.174	0.159	0.2				37026.208	-42715.100	61.09	61.29	2260	0.230	0.230	0.54				37018.186	-42714.104	60.76	61.30
2189	0.440	0.343	0.53				37026.946	-42716.403	60.75	61.28	2261	0.202	0.177	0.18				37017.656	-42714.818	61.12	61.30
2190	0.396	0.278	0.74				37026.848	-42716.860	60.54	61.28	2262	0.208	0.195	0.53				37017.347	-42714.659	60.77	61.30
2191	0.234	0.212	0.48				37026.457	-42716.720	60.80	61.28	2263	0.297	0.276	0.53				37017.537	-42715.038	60.77	61.30
2192	0.145	0.145	0.2				37025.817	-42717.295	61.08	61.28	2264	0.491	0.369	0.74				37018.196	-42716.790	60.54	61.28
2193	0.315	0.248	0.52				37025.042	-42716.147	60.76	61.28	2265	0.259	0.245	0.53				37017.240	-42716.544	60.77	61.30
2193	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2266	0.245	0.237	0.36				37017.797	-42717.894	60.92	61.28
2194	0.263	0.217	0.51				37024.630	-42716.308	60.77	61.28	2267	0.208	0.178	0.18				37017.820	-42718.615	61.11	61.29
2195	0.273	0.264	0.62				37024.996	-42714.322	60.67	61.29	2268	0.261	0.251	0.08				37017.401	-42718.705	61.20	61.28
2196	0.343	0.241	0.52				37024.518	-42713.230	60.76	61.28	2269	0.281	0.201	0.39				37017.155	-42718.705	60.89	61.28
2197	0.196	0.170	0.31				37025.984	-42712.812	60.98	61.29	2270	0.250	0.241	0.39				37016.855	-42718.407	60.89	61.28
2198	0.414	0.401	0.51				37025.535	-42712.713	60.78	61.29	2271	0.319	0.248	0.27	○			37018.557	-42720.153	61.01	61.28
2199	0.397	0.329	0.57				37025.393	-42712.274	60.71	61.28	2272	0.327	0.235	0.34				37018.325	-42719.973	60.95	61.29
2200	0.254	0.224	0.59				37025.903	-42712.327	60.69	61.28	2272	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2201	0.309	0.282	0.08				37024.875	-42711.884	61.21	61.29	2273	1.250	0.855	0.12				37015.597	-42720.775	61.13	61.25
2202	0.399	0.322	0.11				37024.398	-42711.250	61.21	61.32	2274	0.269	0.259	0.49				37012.690	-42718.297	60.78	61.27
2203	0.386	0.326	0.64				37024.303	-42714.324	60.66	61.30	2275	0.344	0.319	0.5	○			37013.640	-42717.483	60.78	61.28
2204	0.177	0.162	0.21				37023.872	-42714.701	61.09	61.30	2276	0.346	0.255	0.16				37015.946	-42717.052	61.14	61.30
2205	0.178	0.173	0.16				37023.643	-42714.653	61.14	61.30	2277	0.276	0.233	0.51				37016.062	-42716.165	60.78	61.29
2206	0.214	0.186	0.43				37023.470	-42714.831	60.87	61.30	2278	0.230	0.212	0.09				37015.299	-42716.192	61.20	61.29
2207	0.267	0.243	0.5	○			37023.282	-42714.119	60.79	61.29	2279	0.299	0.295	0.51				37016.167	-42715.639	60.79	61.30
2208	0.242	0.217	0.14				37024.279	-42715.375	61.15	61.29	2280	0.187	0.181	0.36				37016.321	-42715.342	60.93	61.29
2209	0.384	0.356	0.61				37023.221	-42715.982	60.68	61.29	2281	0.229	0.208	0.49				37016.687	-42715.305	60.80	61.29
2210	0.425	0.414	0.59				37022.662	-42716.167	60.70	61.29	2282	0.265	0.262	0.45				37016.767	-42714.757	60.84	61.29
2211	0.407	0.367	0.53	○			37022.530	-42716.987	60.75	61.28	2283	0.188	0.167	0.05				37016.404	-42714.607	61.24	61.29
2212	0.349	0.280	0.48				37021.851	-42715.868	60.82	61.30	2284	0.419	0.301	0.53				37016.370	-42714.410	60.77	61.30
2213	0.204	0.200	0.19				37021.553	-42715.110	61.11	61.30	2285	0.363	0.314	0.39				37016.332	-42713.979	60.90	61.29
2214	0.486	0.258	0.6				37022.475	-42714.597	60.69	61.29	2286	0.241	0.227	0.41				37016.522	-42713.752	60.87	61.28
2215	0.199	0.178	0.29				37022.832	-42714.277	61.01	61.30	2287	0.240	0.204	0.49				37016.950	-42713.330	60.81	61.30
2216	0.282	0.222	0.57				37022.807	-42713.659	60.72	61.29	2288	0.376	0.284	0.52				37017.029	-42712.968	60.76	61.28
2217	0.341	0.275	0.62	○			37022.982	-42713.311	60.67	61.29	2289	0.190	0.162	0.55				37017.264	-42712.564	60.73	61.28
2218	0.371	0.360	0.58				37022.650	-42712.642	60.71	61.29	2290	0.223	0.171	0.46				37017.713	-42712.411	60.83	61.29
2219	0.207	0.190	0.6				37023.600	-42712.487													

第26表 土坑規模一覧表(16)

番号	規 模			柱 遺 掘 痕 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 遺 掘 痕 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ				下	上		長軸	短軸	深さ				下	上
2309	0.222	0.205	0.06		37013.683	-42709.679	61.24	61.30	2385	0.367	0.353	0.2		37026.744	-42709.544	61.17	61.37
2310	1.190	0.513	0.3	○	37020.844	-42711.056	61.09	61.39	2386	0.197	0.195	0.45		37014.002	-42706.849	60.84	61.29
2311	0.263	0.246	0.1	○	37021.171	-42710.229	61.30	61.40	2387								
2312	0.324	0.297	0.31		37021.531	-42710.408	61.08	61.39	2387	0.340	0.257	0.64		37014.931	-42706.312	60.63	61.27
2313	0.276	0.263	0.02		37021.771	-42711.030	61.25	61.27	2388	0.156	0.151	0.41		37015.090	-42706.701	60.88	61.29
2314	0.145	0.140	0.09		37021.656	-42711.251	61.27	61.36	2388								
2315	0.308	0.305	0.28		37022.145	-42710.481	61.11	61.39	2389	0.252	0.182	0.28		37015.615	-42707.181	61.01	61.29
2316	0.236	0.189	0.23		37022.517	-42710.937	61.14	61.37	2390	0.329	0.276	0.47		37015.823	-42707.361	60.85	61.32
2317	0.348	0.334	0.67		37022.776	-42710.393	60.71	61.38	2391	0.274	0.257	0.5		37016.560	-42707.567	60.85	61.35
2318	0.493	0.404	0.43		37023.010	-42711.299	60.94	61.37	2392	0.301	0.223	0.5		37016.739	-42706.979	60.80	61.30
2319	0.262	0.256	0.53		37023.215	-42710.892	60.85	61.38	2393	0.313	0.287	0.38		37016.825	-42706.707	60.92	61.30
2320	0.180	0.170	0.33		37023.415	-42711.143	61.04	61.37	2394	0.208	0.186	0.44		37016.618	-42705.927	60.84	61.28
2321	0.184	0.140	0.07		37023.624	-42710.691	61.30	61.37	2396	0.209	0.194	0.1		37017.331	-42705.934	61.25	61.35
2322	0.282	0.216	0.61		37023.650	-42710.843	60.76	61.37	2397	0.179	0.167	0.08		37017.396	-42706.223	61.26	61.34
2323	0.181	0.164	0.12		37023.799	-42711.191	61.24	61.36	2398	0.192	0.169	0.11		37017.742	-42705.861	61.23	61.34
2324	0.380	0.313	0.55		37025.570	-42710.922	60.79	61.34	2399	0.255	0.215	0.44		37017.792	-42707.544	60.91	61.35
2325	0.225	0.187	0.13		37025.861	-42710.492	61.21	61.34	2400	0.345	0.300	0.57		37018.385	-42707.239	60.82	61.39
2326	0.233	0.212	0.34		37026.185	-42711.418	60.97	61.31	2401	0.249	0.246	0.61		37019.040	-42707.221	60.79	61.40
2327	0.306	0.291	0.4		37026.278	-42710.819	60.94	61.34	2402	0.373	0.274	0.31		37019.412	-42707.301	61.10	61.41
2328	0.197	0.189	0.45		37026.999	-42711.112	60.87	61.32	2403	0.356	0.299	0.42	○	37019.456	-42706.756	60.98	61.40
2329	0.252	0.245	0.71		37027.030	-42711.782	60.59	61.30	2404	0.352	0.254	0.06		37019.530	-42706.356	61.34	61.40
2330	0.172	0.145	0.1	○	37016.323	-42709.807	61.25	61.35	2405	0.270	0.201	0.6		37019.821	-42706.474	60.81	61.41
2331	0.209	0.150	0.31		37016.544	-42709.530	61.05	61.36	2406								
2332	0.213	0.212	0.41		37016.977	-42709.420	60.96	61.37	2406	0.314	0.305	0.35		37020.074	-42706.198	61.06	61.41
2333	0.212	0.169			37017.171	-42709.592	なし	61.38	2407	0.214	0.200	0.3		37020.874	-42707.148	61.11	61.41
2336	0.321	0.262	0.37		37017.577	-42709.721	61.02	61.39	2408	0.271	0.256	0.4		37021.559	-42706.916	61.02	61.42
2337	0.339	0.334	0.46		37017.104	-42708.476	60.91	61.37	2409	0.227	0.193	0.54		37022.073	-42706.412	60.87	61.41
2338	0.192	0.160	0.15		37017.201	-42708.643	61.23	61.38	2410	0.247	0.221	0.19		37021.873	-42705.949	61.22	61.41
2339	0.525	0.430	0.42		37017.641	-42708.424	60.96	61.38	2412	0.283	0.250	0.21		37017.853	-42704.891	61.13	61.34
2340	0.296	0.294	0.43		37018.234	-42708.994	60.96	61.39	2413	0.260	0.194	0.26		37018.130	-42704.770	61.08	61.34
2341	0.382	0.318	0.65		37018.540	-42709.641	60.75	61.40	2414	0.367	0.290	0.28	○	37030.178	-42715.843	60.99	61.27
2342	0.382	0.318	0.65		37018.540	-42709.641	60.75	61.40	2415	0.267	0.184	0.1		37030.740	-42716.510	61.18	61.28
2343	0.262	0.253	0.29		37018.811	-42708.945	61.11	61.40	2416	0.295	0.237	0.13		37031.761	-42712.746	61.14	61.27
2344	0.222	0.207	0.45		37018.495	-42708.465	60.93	61.38	2417	0.189	0.174	0.28		37031.747	-42712.398	60.99	61.27
2345	0.203	0.188	0.04		37018.706	-42707.955	61.36	61.40	2418	0.264	0.222	0.33		37032.363	-42712.703	60.93	61.26
2346	0.291	0.232	0.63		37018.913	-42707.914	60.77	61.40	2419	0.367	0.345	0.17		37033.409	-42712.689	61.10	61.27
2347	0.197	0.186	0.29		37018.639	-42707.643	61.11	61.40	2420	0.249	0.212	0.07		37033.901	-42712.587	61.21	61.28
2349	0.533	0.333	0.69		37019.110	-42709.362	60.72	61.41	2422	1.122	0.950	0.4	○	37032.083	-42710.669	60.90	61.30
2350	1.368	0.487	0.53		37019.666	-42709.176	60.88	61.41	2423	0.284	0.268	0.14		37032.374	-42709.976	61.18	61.32
2350									2423								
2351	0.358	0.291	0.58		37019.199	-42707.725	60.82	61.40	2424	0.182	0.158	0.01		37032.982	-42713.093	61.25	61.26
2352	0.294	0.243	0.07		37019.390	-42707.986	61.34	61.41	2425	0.374	0.225	0.21		37027.492	-42715.939	61.07	61.28
2353	0.441	0.308	0.59		37019.253	-42708.294	60.82	61.41	2426	0.477	0.281	0.25		37020.846	-42715.471	61.05	61.30
2354	0.441	0.308	0.59		37019.253	-42708.294	60.82	61.41	2427	0.296	0.266	0.16		37018.792	-42714.877	61.13	61.29
2355	0.283	0.256	0.74		37019.262	-42708.755	60.67	61.41	2428	0.203	0.195	0.35		37018.289	-42715.396	60.95	61.30
2356	0.298	0.249	0.3		37019.625	-42708.755	61.11	61.41	2429	0.605	0.448	0.1		37014.115	-42714.205	61.19	61.29
2357	0.552	0.425	0.75		37019.909	-42708.666	60.66	61.41	2430	0.537	0.480	0.31		37014.790	-42711.939	60.95	61.26
2358	0.271	0.264	0.75		37018.544	-42709.223	60.65	61.40	2431	0.222	0.196	0.15		37014.310	-42711.889	61.11	61.26
2359	0.336	0.310	0.59		37019.966	-42707.894	60.82	61.41	2432	0.304	0.288	0.27		37022.256	-42712.318	61.02	61.29
2360	0.590	0.335	0.09		37020.802	-42708.681	61.33	61.42	2433	0.265	0.250	0.37		37029.008	-42711.967	60.90	61.27
2361	1.465	0.862	0.35	○	37021.191	-42709.542	61.28	61.63	2434	0.313	0.307	0.41	○	37029.466	-42710.629	60.89	61.30
2362	0.285	0.245	0.21		37021.618	-42708.922	61.21	61.42	2435	0.411	0.282	0.69		37028.764	-42704.198	60.59	61.28
2363	0.432	0.360	0.71	○	37021.396	-42708.385	60.71	61.42	2436	0.242	0.197	0.06		37029.081	-42704.019	61.22	61.28
2364	0.333	0.268	0.53		37021.248	-42707.901	60.88	61.41	2437	0.284	0.259	0.56		37029.380	-42704.518	60.72	61.28
2365	0.495	0.368	0.09		37021.286	-42707.538	61.33	61.42	2438	1.273	0.803	0.16		37032.824	-42705.112	60.91	61.25
2366	0.221	0.178	0.5	○	37022.454	-42709.277	60.79	61.29	2439	0.277	0.247	0.07		37033.203	-42705.692	61.19	61.26
2367	0.665	0.362	0.15	○	37022.484	-42709.379	61.28	61.43	2440	0.315	0.292	0.1		37031.759	-42706.200	61.18	61.28
2368	0.495	0.421	0.76	○	37022.865	-42709.728	60.65	61.41	2441	0.249	0.243	0.13		37033.094	-42706.098	61.13	61.26
2369	0.409	0.321	0.75		37022.889	-42709.996	60.65	61.40	2442								
2369									2442	0.360	0.224	0.03		37031.528	-42706.510	61.26	61.29
2370	0.402	0.391	0.14	○	37022.181	-42707.500	61.28	61.42	2443	0.618	0.469	0.22		37033.325	-42707.387	61.05	61.27
2371	2.088	0.440	0.17	○	37022.788	-42707.266	61.25	61.42	2444	0.295	0.254	0.49		37033.546	-42710.888	60.78	61.27
2372	1.701	0.440	0.68	○	37023.277	-42706.914	60.74	61.42	2445	0.778	0.277	0.39		37033.333	-42711.507	60.88	61.27
2373									2446	0.232	0.208	0.42		37033.838	-42712.047	60.85	61.27
2373	0.420	0.380	0.09		37023.623	-42710.045	61.29	61.38	2446	0.309	0.235	0.3		37066.586	-42716.441	60.97	61.27
2374	0.409	0.399	0.11		37023.931	-42709.940	61.28	61.39	2447	0.345	0.345	0.38		37028.005	-42704.615	60.91	61.29
2374									2448	0.260	0.235	0.29		37020.065	-42714.313	61.00	61.29
2375	0.355	0.312	0.67	○	37023												

発見された遺構と出土遺物

第27表 土坑規模一覧表(17)

番号	規模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標高		番号	規模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標高	
	長軸	短軸	深さ						下端	上端		長軸	短軸	深さ						下端	上端
2460	0.157	0.127	0.16				37021.934	-42732.071	61.06	61.22	2539	0.419	0.321	0.31				37020.740	-42711.532	61.05	61.36
2461	0.298	0.276	0.4				37021.252	-42735.180	60.86	61.26	2540	0.418	0.399	0.21				37020.705	-42713.411	61.09	61.30
2462	0.302	0.293	0.51				37021.974	-42714.798	60.79	61.30	2541	0.161	0.136	0.58				37020.054	-42715.806	60.72	61.30
2463	0.313	0.308	0.55				37018.692	-42711.369	60.85	61.40	2542	0.179	0.177	0.24				37018.122	-42717.273	61.05	61.29
2464	0.412	0.318	0.53				37018.978	-42710.923	60.87	61.40	2543	0.298	0.280	0.33				37017.147	-42724.297	60.95	61.28
2465	0.460	0.336	0.61				37024.813	-42709.981	60.75	61.36	2544	0.289	0.260	0.32				37018.868	-42724.476	60.95	61.27
2465	—	—	—				—	—	—	—	2545	0.298	0.261	0.53				37020.232	-42725.310	60.72	61.25
2466	0.225	0.221	0.26				37016.606	-42728.383	61.02	61.28	2546	0.224	0.188	0.3				37021.167	-42724.967	60.82	61.12
2467	0.443	0.253	0.2				37016.762	-42727.962	61.07	61.27	2547	0.220	0.207	0.27				37029.909	-42737.094	60.85	61.12
2468	0.264	0.258	0.21				37018.064	-42706.050	61.14	61.35	2548	—	—	—				—	—	—	—
2469	0.249	0.240	0.29				37018.066	-42706.351	61.08	61.37	2548	—	—	0.23				37030.156	-42738.412	60.91	61.14
2470	0.239	0.217	0.53				37017.617	-42707.135	60.80	61.33	2549	—	—	0.22				37030.141	-42738.668	60.93	61.15
2471	0.199	0.185	0.52				37017.743	-42707.325	60.82	61.34	2550	—	—	0.19				37030.398	-42739.078	60.95	61.14
2472	0.230	0.192	0.29				37017.403	-42708.137	61.06	61.35	2551	0.556	0.385	0.32				37030.753	-42740.194	60.81	61.13
2473	0.287	0.262	0.29				37022.294	-42712.910	60.99	61.28	2552	—	—	0.34				37032.168	-42737.808	60.80	61.14
2474	0.289	0.282	0.61				37029.520	-42711.291	60.70	61.31	2553	—	—	0.27				37032.374	-42737.357	60.86	61.13
2475	0.314	0.290	0.66				37030.505	-42707.046	60.66	61.32	2554	0.548	0.382	0.12				37074.146	-42720.450	61.16	61.28
2476	0.270	0.268	0.32				37030.481	-42707.470	61.00	61.32	2554	0.206	0.153	0.16				37073.578	-42720.505	61.11	61.27
2477	2.069	0.694	1.08				37033.452	-42707.909	60.20	61.28	2555	0.304	0.287	0.19				37072.762	-42720.365	61.07	61.26
2478	0.307	0.287	0.42				37019.143	-42737.312	60.87	61.29	2556	0.301	0.171	0.39				37064.547	-42716.389	60.88	61.27
2479	0.408	0.364	0.28				37012.916	-42745.070	60.96	61.24	2557	0.332	0.326	0.48				37059.897	-42721.871	60.82	61.30
2480	0.241	0.203	0.05				37028.258	-42743.064	61.10	61.15	2557	—	—	—				—	—	—	—
2480	0.287	0.287	0.37	○			37031.680	-42711.547	60.93	61.30	2558	0.338	0.335	0.28				37061.392	-42727.209	61.02	61.30
2481	0.309	0.283	0.43				37027.966	-42740.572	60.83	61.26	2560	0.439	0.396	0.55				37057.559	-42722.507	60.75	61.30
2483	0.313	0.265	0.48				37016.256	-42717.612	60.81	61.29	2562	0.211	0.199	0.24				37060.590	-42719.133	61.05	61.29
2484	0.258	0.238	0.56				37015.805	-42717.424	60.73	61.29	2563	0.279	0.171	0.48				37062.905	-42726.819	60.81	61.29
2485	0.331	0.267	0.3				37014.412	-42717.705	60.98	61.28	2564	0.368	0.299	0.06				37065.455	-42726.374	60.86	60.92
2486	0.327	0.290	0.68				37016.793	-42709.067	60.69	61.37	2565	0.358	0.226	0.58				37067.928	-42722.710	60.69	61.27
2487	0.220	0.195	0.08				37019.305	-42707.051	61.33	61.41	2566	0.171	0.164	0.26				37067.846	-42723.011	60.81	61.07
2488	0.273	0.251	0.61				37030.670	-42709.151	60.69	61.30	2567	0.281	0.181	0.22				37065.888	-42727.366	61.06	61.28
2489	0.311	0.279	0.33				37035.286	-42711.663	60.95	61.28	2568	0.290	0.214	0.19				37066.094	-42727.311	61.09	61.28
2490	0.278	0.183	0.49				37027.839	-42716.087	60.80	61.29	2571	0.312	0.297	0.27				37064.340	-42728.810	61.01	61.28
2491	0.473	0.293	0.16				37033.969	-42744.933	61.09	61.25	2572	0.449	0.242	0.24				37064.137	-42731.346	61.04	61.28
2492	0.363	0.310	0.3				37033.964	-42745.679	60.95	61.25	2573	0.494	0.263	0.19				37063.860	-42721.429	61.11	61.30
2493	0.649	0.523	0.49	○			37023.436	-42740.622	60.76	61.25	2576	0.226	0.183	0				37065.319	-42718.308	61.28	61.28
2494	0.379	0.338	0.74				37023.642	-42718.299	60.55	61.29	2578	0.222	0.187	0.38				37065.100	-42717.615	60.89	61.27
2495	0.582	0.376	0.19				37062.350	-42715.014	61.09	61.28	2579	0.187	0.185	0.3				37058.139	-42730.364	60.97	61.27
2497	0.318	0.317					37067.135	-42716.644	なし	61.29	2580	0.664	0.513	0.35				37072.536	-42731.196	60.93	61.28
2499	0.316	0.279	0.42				37016.529	-42716.810	60.88	61.30	2581	0.342	0.275	0.1				37056.078	-42747.222	60.86	60.96
2500	0.367	0.269	0.58	○			37015.760	-42715.126	60.71	61.29	2582	0.217	0.172	0.08				37055.706	-42747.012	60.88	60.96
2501	0.246	0.245	0.56				37016.017	-42715.251	60.74	61.30	2583	0.269	0.242	0.09				37055.780	-42746.743	60.86	60.95
2502	0.475	0.373	0.49				37016.501	-42713.265	60.79	61.28	2584	0.261	0.186	0.06				37055.260	-42746.925	60.89	60.95
2503	0.427	0.328	0.51				37017.421	-42713.173	60.79	61.30	2586	0.227	0.212	0.32				37055.133	-42742.488	60.58	60.90
2504	0.227	0.217	0.57				37016.943	-42712.541	60.72	61.29	2587	0.240	0.192	0.26				37054.771	-42740.887	60.66	60.92
2505	0.351	0.285	0.05				37019.604	-42711.307	61.30	61.35	2588	0.196	0.175	0.2				37055.054	-42740.443	60.70	60.90
2506	0.299	0.299	0.08				37019.865	-42711.472	61.30	61.38	2589	0.241	0.187	1.15				37054.696	-42739.671	60.77	61.92
2507	0.221	0.198	0.28				37019.688	-42719.910	60.92	61.20	2590	0.171	0.117	0.14				37055.121	-42739.616	60.73	60.87
2508	0.293	0.262	0.32				37020.204	-42718.115	60.95	61.27	2591	0.235	0.154	0.08				37054.524	-42739.114	60.83	60.91
2509	0.201	0.177	0.32				37020.545	-42718.201	60.95	61.27	2592	0.221	0.209	0.19				37054.730	-42738.692	60.72	60.91
2510	0.339	0.285	0.55				37023.724	-42719.440	60.74	61.29	2593	0.181	0.177	0.1				37054.901	-42738.769	60.78	60.88
2511	0.364	0.352	0.71				37026.360	-42718.897	60.57	61.28	2594	0.138	0.121	0.2				37054.476	-42738.181	60.71	60.91
2512	0.326	0.280	0.11	○			37028.807	-42716.488	61.17	61.28	2595	0.249	0.231	0.12				37054.786	-42737.911	60.79	60.91
2513	0.337	0.298	0.22				37028.726	-42716.794	61.06	61.28	2596	0.280	0.178	0.07				37054.848	-42737.579	60.84	60.91
2514	0.543	0.302	0.08				37029.165	-42716.778	61.20	61.28	2597	0.629	0.452	0.37				37053.320	-42738.093	60.88	61.25
2515	0.345	0.311	0.52				37029.446	-42716.477	60.76	61.28	2597	0.368	0.296	0				37065.864	-42718.301	61.28	61.28
2516	0.398	0.225	0.65				37031.401	-42715.538	60.63	61.28	2598	0.417	0.286	0.61				37053.242	-42737.518	60.61	61.22
2517	0.330	0.285	0.3	○			37031.518	-42714.003	60.99	61.29	2599	0.161	0.143	0.1				37053.947	-42737.075	60.85	60.95
2518	0.190	0.182	0.61				37029.741	-42712.973	60.66	61.27	2600	0.145	0.121	0.06				37053.870	-42736.732	60.88	60.94
2519	0.288	0.229	0.6				37028.689	-42712.371	60.67	61.27	2601	0.222	0.178	0.06				37054.556	-42736.623	60.88	60.94
2520	0.343	0.269	0.61				37028.037	-42712.405	60.67	61.28	2602	0.169	0.152	0.04				37053.849	-42736.063	60.89	60.93
2521	0.348	0.326	0.61				37028.059	-42712.092													

発見された遺構と出土遺物

第28表 土坑規模一覽表(18)

番号	規 模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ						下端	上端		長軸	短軸	深さ						下端	上端
2619	0.257	0.250	0.02				37053.055	-42728.886	60.90	60.92	2696	0.305	0.239	0.42				37048.624	-42733.959	60.65	61.07
2620	0.296	0.228	0.04				37052.954	-42728.398	60.88	60.92	2697	0.347	0.292	0.28	○			37048.762	-42735.564	60.90	61.18
2621	0.231	0.175	0.06				37053.163	-42728.030	60.84	60.90	2698	0.245	0.238	0.26				37046.683	-42737.668	60.78	61.04
2622	0.209	0.195	0.01				37053.795	-42729.541	60.89	60.90	2699	0.290	0.202	0.26				37046.906	-42737.832	60.75	61.01
2623	0.244	0.223	0.37				37051.848	-42717.117	60.51	60.88	2700	0.463	0.157	0.28				37047.277	-42737.945	60.88	61.16
2624	0.199	0.187	0.19				37051.280	-42716.444	60.69	60.88	2701	0.285	0.220	0.36				37047.840	-42738.031	60.83	61.19
2625	0.195	0.145	0.16				37051.313	-42715.634	60.72	60.88	2702	0.285	0.221	0.37	○			37047.858	-42738.363	60.82	61.19
2626	0.249	0.210	0.03				37051.428	-42714.864	60.84	60.87	2704	0.467	0.308	0.38				37048.144	-42739.983	60.80	61.18
2627	0.186	0.157	0.09				37051.106	-42714.907	60.78	60.87	2704	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2628	0.255	0.236	0.04				37051.184	-42714.606	60.84	60.88	2705	0.664	0.633	0.37				37051.797	-42739.601	60.87	61.24
2629	0.522	0.437					37050.214	-42722.830	なし	なし	2706	0.346	0.344	0.53				37053.013	-42739.614	60.71	61.24
2630	0.204	0.187					37049.795	-42723.092	なし	なし	2707	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2631	0.255	0.213					37049.489	-42722.850	なし	なし	2707	0.653	0.413	0.3				37053.412	-42740.120	60.97	61.27
2632	0.232	0.208					37049.260	-42722.280	なし	なし	2708	0.373	0.347	0.26				37051.368	-42740.887	60.98	61.24
2633	0.196	0.182					37048.651	-42722.209	なし	なし	2709	0.214	0.205	0.11				37080.585	-42736.807	60.89	61.00
2634	0.207	0.199					37048.510	-42723.221	なし	なし	2710	0.270	0.230	0.19				37079.951	-42731.522	60.91	61.10
2635	0.225	0.224					37047.059	-42723.306	なし	なし	2710	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2636	0.159	0.140					37046.975	-42722.804	なし	なし	2711	0.396	0.351	0.19				37078.873	-42723.381	60.93	61.12
2637	0.170	0.140					37045.430	-42722.088	なし	なし	2712	0.211	0.201	0.1				37078.784	-42722.400	61.03	61.13
2638	0.256	0.244					37045.055	-42721.765	なし	なし	2713	0.401	0.342	0.2				37078.625	-42720.668	60.90	61.10
2639	0.274	0.225					37045.100	-42721.061	なし	なし	2714	0.234	0.180	0.15				37079.532	-42715.644	60.94	61.09
2640	0.185	0.165					37045.200	-42720.338	なし	なし	2715	0.305	0.301	0.21				37078.724	-42717.035	61.07	61.28
2641	0.314	0.250					37045.587	-42720.587	なし	なし	2716	0.309	0.275	0.16				37080.554	-42716.962	61.12	61.28
2642	0.261	0.225					37045.932	-42720.995	なし	なし	2717	0.397	0.362	0.28				37080.660	-42717.245	61.00	61.28
2643	0.267	0.249					37046.586	-42722.142	なし	なし	2718	0.314	0.297	0.29				37081.244	-42718.265	60.99	61.28
2644	0.272	0.174					37046.345	-42721.837	なし	なし	2719	0.711	0.602	0.27				37080.507	-42719.024	61.00	61.27
2645	0.240	0.231					37046.738	-42721.896	なし	なし	2720	0.311	0.230	0.1				37079.532	-42718.830	61.19	61.29
2646	0.166	0.155					37047.003	-42721.477	なし	なし	2721	0.352	0.350	0.11				37079.256	-42720.296	61.19	61.30
2647	0.251	0.237					37047.511	-42721.620	なし	なし	2722	0.859	0.859	0.18				37079.620	-42721.503	61.12	61.30
2648	0.243	0.236					37047.649	-42721.441	なし	なし	2723	0.333	0.315	0.15				37079.648	-42722.489	61.15	61.30
2649	0.188	0.187					37047.404	-42721.304	なし	なし	2724	0.255	0.254	0.23				37079.691	-42722.708	61.08	61.31
2650	0.196	0.187					37047.255	-42720.940	なし	なし	2725	0.280	0.134	0.23				37051.954	-42721.141	60.55	60.78
2651	0.329	0.295					37047.612	-42720.940	なし	なし	2726	0.274	0.241	0.22				37058.378	-42721.924	61.09	61.31
2652	0.233	0.194					37047.266	-42720.092	なし	なし	2727	0.256	0.248	0.17				37084.052	-42719.223	60.88	61.05
2653	0.364	0.334					37048.002	-42720.000	なし	なし	2734	0.477	0.317	0.18				37063.479	-42741.097	61.24	61.42
2653	—	—	—				—	—	なし	—	2735	0.177	0.156	0.24				37047.372	-42738.639	60.90	61.14
2654	0.311	0.207					37048.093	-42721.106	なし	なし	2735	0.203	0.154	0.25				37061.933	-42740.608	61.10	61.35
2655	0.490	0.177					37048.024	-42721.814	なし	なし	2736	0.375	0.286	0.26				37061.250	-42739.756	61.04	61.30
2656	0.290	0.245					37048.587	-42721.410	なし	なし	2737	0.410	0.310	0.53				37061.077	-42739.248	60.74	61.27
2657	0.158	0.137					37048.973	-42721.192	なし	なし	2738	0.329	0.261	0.31				37062.626	-42739.580	61.02	61.33
2658	0.375	0.280					37049.113	-42719.886	なし	なし	2739	0.205	0.155	0.19	○			37049.080	-42741.912	61.00	61.19
2659	0.271	0.228					37049.766	-42720.068	なし	なし	2740	0.825	0.680	0.2				37065.254	-42743.768	61.26	61.46
2660	0.309	0.259					37049.908	-42720.821	なし	なし	2740	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2661	0.294	0.230					37049.518	-42721.105	なし	なし	2741	0.921	0.836	0.12				37062.555	-42746.468	61.33	61.45
2662	0.256	0.225					37049.796	-42721.299	なし	なし	2742	1.254	0.870	0.23				37061.359	-42742.374	61.22	61.45
2663	0.187	0.181					37049.908	-42721.508	なし	なし	2743			0.28				37030.762	-42737.799	60.87	61.15
2664	0.447	0.414					37049.945	-42721.109	なし	なし	2744	0.253	0.224	0.53				37028.421	-42736.909	60.60	61.13
2665	0.320	0.309					37050.469	-42721.060	なし	なし	2745	0.287	0.271	0.25				37028.590	-42736.384	60.88	61.13
2666	0.401	0.329					37050.696	-42721.276	なし	なし	2746	0.608	0.431	0.5				37052.796	-42736.927	60.73	61.23
2667	0.318	0.293					37051.149	-42721.298	なし	なし	2747	0.354	0.341	0.4				37056.025	-42723.864	60.88	61.28
2668	0.309	0.262					37051.075	-42721.930	なし	なし	2748	0.334	0.299	0.39				37056.849	-42722.743	60.90	61.29
2669	0.210	0.148					37050.369	-42722.090	なし	なし	2749	0.500	0.464	0.55				37057.817	-42724.170	60.75	61.30
2670	0.156	0.140					37050.395	-42720.039	なし	なし	2750	0.240	0.184	0.25				37058.541	-42723.400	61.05	61.30
2671	0.225	0.167					37050.748	-42720.065	なし	なし	2751	0.205	0.170	0.29				37059.013	-42724.001	61.02	61.31
2672	0.567	0.266					37050.581	-42719.191	なし	なし	2752	0.262	0.261	0.4				37057.421	-42721.595	60.90	61.30
2673	0.309	0.272					37051.094	-42719.079	なし	なし	2753	0.250	0.225	0.22				37060.528	-42721.415	61.08	61.30
2674	0.238	0.204					37049.687	-42719.490	なし	なし	2754	0.267	0.228	0.3				37062.334	-42721.022	61.00	61.30
2675	0.330	0.313					37048.711	-42718.933	なし	なし	2756	0.252	0.243	0.18				37062.867	-42722.039	61.13	61.31
2676	0.218	0.197					37048.176	-42719.165	なし	なし	2757	0.575	0.459	0.45				37062.926	-42722.598	60.85	61.30
2677	0.301	0.252					37048.031	-42719.005	なし	なし	2760	0.194	0.191	0.24				37063.932	-42722.161	61.05	61.29
2678	0.203	0.179					37048.068	-42718.510	なし	なし	2761	0.285	0.159	0.23				37064.138	-42722.191	61.06	61.29
2679	0.188	0.134					37047.896	-42718.581	なし	なし	2762	0.366	0.258	0.35				37065.200	-42723.620	60.94	61.29
2680	0.360	0.315					37047.514	-42718.938	なし	なし	2762	0.316	0.289	0.27				37062.973	-42720.468	61.01	61.28
2681	0.297	0.237					37046.753	-42718.846	なし	なし	2766	0.268	0.209	0.41				37063.2			

発見された遺構と出土遺物

第29表 土坑規模一覧表(19)

番号	規模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標高		番号	規模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標高		
	長軸	短軸	深さ						下端	上端		長軸	短軸	深さ						下端	上端	
2785	0.289	0.271	0.36				37068.996	-42723.180	60.93	61.29	2865	0.370	0.350	0.22				37055.079	-42732.550	61.06	61.28	
2786	0.448	0.434	0.61				37068.234	-42720.810	60.67	61.28	2865											
2788	0.466	0.436	0.37				37074.730	-42717.333	60.90	61.27	2866	0.354	0.323	0.49				37055.292	-42731.912	60.81	61.30	
2789	0.377	0.225	0.27				37074.774	-42716.883	61.01	61.28	2867	0.229	0.166	0.35				37055.311	-42730.199	60.93	61.28	
2790	0.850	0.460	0.18				37075.063	-42716.883	61.09	61.27	2868	0.366	0.272	0.35				37054.617	-42727.674	60.90	61.25	
2790											2869	0.433	0.361	0.09				37083.908	-42700.457	61.38	61.47	
2791	0.294	0.212	0.32				37075.386	-42716.731	60.96	61.28	2870	0.984	0.843	0.1				37082.110	-42702.203	61.35	61.45	
2792	0.376	0.315	0.33				37071.717	-42727.204	60.95	61.28	2871	0.262	0.226	0.08				37083.270	-42702.989	61.36	61.44	
2793	0.174	0.149	0.28				37071.679	-42727.494	60.99	61.27	2872											
2794	0.279	0.246	0.25				37076.272	-42728.899	61.07	61.32	2872	0.392	0.366	0.07				37081.776	-42700.076	61.39	61.46	
2795	0.276	0.228	0.21				37075.384	-42732.946	61.10	61.31	2873	0.359	0.244	0.13				37083.197	-42697.950	61.34	61.47	
2796	0.275	0.257	0.26				37075.674	-42732.996	61.06	61.32	2874	0.469	0.335	0.16				37083.098	-42697.713	61.31	61.47	
2797	0.160	0.159	0.21				37079.664	-42734.068	61.11	61.32	2875	0.372	0.319	0.04				37083.596	-42695.795	61.41	61.45	
2798	0.224	0.204	0.18				37060.730	-42736.739	61.09	61.27	2876	0.338	0.299	0.13				37083.277	-42695.744	61.36	61.49	
2799	0.478	0.227	0.2				37055.593	-42738.074	61.05	61.25	2877	0.317	0.246	0.06				37082.214	-42696.348	61.39	61.45	
2801	2.061	0.395	0.09	○			37035.241	-42742.635	61.17	61.26	2878	0.304	0.284	0.06				37082.024	-42696.211	61.39	61.45	
2801											2879	0.497	0.257	0.12				37080.625	-42697.292	61.34	61.46	
2802	0.186	0.167	0.24				37064.775	-42732.353	61.03	61.27	2880	0.340	0.344	0.08				37081.352	-42698.561	61.37	61.45	
2803	0.268	0.268	0.42				37059.467	-42738.124	60.85	61.27	2881	0.367	0.280	0.13				37079.616	-42698.858	61.33	61.46	
2804	0.706	0.466	0.36				37057.962	-42738.575	60.90	61.26	2882	0.675	0.403	0.06				37078.473	-42702.644	61.38	61.44	
2804	0.495	0.365	0.42				37066.089	-42734.878	60.85	61.27	2883	0.675	0.403	0.06				37078.473	-42702.644	61.38	61.44	
2805	0.379	0.264		○			37057.039	-42723.166	なし	61.29	2884	0.675	0.403	0.06				37078.473	-42702.644	61.38	61.44	
2806	0.268	0.239	0.22				37059.487	-42720.458	61.09	61.31	2885	0.387	0.367	0.11				37078.251	-42700.935	61.35	61.46	
2807	0.275	0.254	0.39				37065.822	-42735.985	60.88	61.27	2886											
2808	0.308	0.308	0.47				37069.348	-42735.076	60.80	61.27	2886	0.220	0.198	0.19				37078.349	-42700.142	61.28	61.47	
2809	0.411	0.369	0.22				37069.715	-42735.066	61.08	61.30	2887	0.211	0.182	0.14				37077.915	-42699.749	61.33	61.47	
2811	0.354	0.248	0.2				37069.718	-42734.254	61.06	61.26	2888	0.713	0.350	0.11				37077.108	-42698.942	61.35	61.46	
2812	0.435	0.347	0.4				37069.387	-42735.840	60.90	61.30	2889	0.219	0.187	0.16				37075.879	-42702.235	61.31	61.47	
2813	0.394	0.305	0.25				37074.199	-42737.314	61.02	61.27	2890	0.298	0.274	0.4				37069.919	-42734.573	60.88	61.28	
2814	0.389	0.298	0.16				37075.389	-42738.438	61.13	61.29	2890	0.384	0.320	0.04				37075.525	-42703.427	61.42	61.46	
2815	0.261	0.241	0.1				37075.579	-42738.922	61.19	61.29	2890											
2816	0.357	0.273	0.32				37075.672	-42739.310	61.00	61.32	2891	0.334	0.318	0.06				37074.636	-42700.867	61.42	61.48	
2817	0.315	0.231	0.27				37073.272	-42738.678	60.93	61.20	2892	1.628	0.886	0.07				37073.907	-42697.982	61.41	61.48	
2818	0.214	0.180	0.2				37078.498	-42741.950	61.14	61.34	2893	0.721	0.568	0.06				37072.786	-42698.844	61.42	61.48	
2819	0.234	0.179	0.29				37077.764	-42742.490	61.06	61.35	2894	0.351	0.288	0.07				37071.518	-42698.393	61.40	61.47	
2820	0.423	0.285	0.38				37067.068	-42737.447	60.92	61.30	2895	0.415	0.348	0.04				37071.106	-42697.186	61.43	61.47	
2821	0.277	0.274	0.26				37067.146	-42736.964	61.02	61.28	2896	0.370	0.295	0.03				37071.016	-42696.929	61.44	61.47	
2822	0.157	0.157	0.26				37065.661	-42737.938	61.03	61.29	2897	0.516	0.439	0.03				37070.546	-42696.986	61.44	61.47	
2823	0.700	0.446	0.32				37065.309	-42738.533	60.98	61.30	2898	0.595	0.223	0.03				37070.109	-42697.158	61.43	61.46	
2824	0.127	0.107	0.23				37066.145	-42738.047	60.87	61.10	2899	0.877	0.569	0.16				37070.342	-42702.847	61.29	61.45	
2825	0.290	0.196	0.43				37067.642	-42732.204	60.84	61.27	2900	0.492	0.234	0.08				37083.073	-42693.356	61.40	61.48	
2826	0.302	0.254	0.25				37063.962	-42727.209	61.04	61.29	2901	0.748	0.389	0.09				37083.613	-42693.753	61.40	61.49	
2827	0.527	0.278	0.19				37066.255	-42736.025	61.08	61.27	2902	0.319	0.268	0.36				37083.362	-42693.732	61.12	61.48	
2828	0.421	0.228	0.31				37066.532	-42736.080	60.94	61.25	2903	0.609	0.452	0.16				37082.654	-42693.904	61.31	61.47	
2829	0.376	0.310	0.53				37067.557	-42735.535	60.74	61.27	2904											
2830	0.175	0.171	0.12				37068.185	-42734.691	60.98	61.10	2904	3.320	2.000					37082.507	-42690.252	61.38	61.48	
2831	0.349	0.286	0.59				37067.900	-42735.312	60.69	61.28	2905	0.322	0.307	0.08				37078.121	-42689.132	61.41	61.49	
2832	0.174	0.141	0.19				37068.191	-42735.085	60.91	61.10	2905	0.304	0.293	0.17				37068.642	-42734.376	60.92	61.09	
2833	1.447	0.938	0.13				37079.090	-42732.505	61.22	61.35	2906											
2834	2.400	1.050	0.14				37079.431	-42735.534	61.17	61.31	2906	0.410	0.406	0.02				37073.580	-42690.005	61.45	61.47	
2835	1.016	0.788	0.22				37077.710	-42735.684	61.07	61.29	2907											
2836	1.309	0.995	0.18				37076.724	-42735.840	61.13	61.31	2907	0.441	0.301	0.03				37073.282	-42690.026	61.45	61.48	
2837	1.189	0.662	0.1				37076.870	-42735.137	61.21	61.31	2908	1.106	0.833	0.12				37074.520	-42691.824	61.35	61.47	
2839	0.242	0.192	0.37	○			37063.849	-42725.519	60.91	61.28	2909	0.235	0.205	0.36				37073.589	-42693.315	61.10	61.46	
2840	0.210	0.186	0.27				37061.809	-42718.545	61.03	61.30	2910	0.292	0.265	0.42				37073.734	-42693.358	61.05	61.47	
2841	0.525	0.429	0.16				37075.648	-42729.557	61.15	61.31	2911	0.695	0.597	0.01				37072.857	-42694.197	61.45	61.46	
2842	0.202	0.146	0.24	○			37067.111	-42735.342	60.85	61.09	2912	1.302	1.104	0.02				37071.093	-42694.584	61.43	61.45	
2843	0.188	0.183	0.28				37067.109	-42735.207	60.81	61.09	2913	0.154	0.131	0.06				37070.747	-42693.376	61.40	61.46	
2844	0.181	0.149	0.18				37067.204	-42734.859	60.91	61.09	2914	0.931	0.527	0.03				37070.517	-42691.735	61.43	61.46	
2845	0.560	0.432	0.66				37066.850	-42734.524	60.61	61.27	2915	1.929	0.621	0.19				37065.314	-42696.702	61.12	61.31	
2846	0.724	0.577	0.43	○			37058.619	-42727.838	60.88	61.31	2916	0.324	0.251	0.26				37064.934	-42696.492	61.05	61.31	
2849	0.264	0.175	0.34				37059.203	-42735.863	60.94	61.28	2917	1.038	0.865	0.27</								

発見された遺構と出土遺物

第30表 土坑規模一覧表(20)

番号	規 模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標 高		
	長軸	短軸	深さ						下端	上端		長軸	短軸	深さ						下端	上端	
2939											3021	0.300	0.232	0.02				37063.087	-42682.885	61.33	61.35	
2940	0.893	0.172	0.26				37055.884	-42723.166	61.03	61.29	3022	0.286	0.252	0.36				37062.952	-42682.626	61.01	61.37	
2941	0.437	0.307	0.12	○			37054.316	-42722.225	61.16	61.28	3023	0.377	0.359	0.43				37063.100	-42682.258	60.94	61.37	
2942											3024	0.333	0.321	0.39				37062.712	-42682.297	60.98	61.37	
2942	0.517	0.459	0.4				37054.973	-42724.221	60.87	61.27	3025	0.859	0.751	0.46				37063.986	-42682.522	60.89	61.35	
2943	0.347	0.337	0.54				37053.814	-42724.454	60.74	61.28	3026	0.295	0.276	0.07				37064.575	-42682.548	61.27	61.34	
2944	0.371	0.310	0.42				37055.578	-42729.746	60.83	61.25	3027	0.429	0.339	0.11				37064.310	-42680.766	61.25	61.36	
2945	0.301	0.276	0.36				37055.590	-42728.999	60.89	61.25	3028	0.568	0.425	0.07				37063.544	-42681.099	61.30	61.37	
2946	0.386	0.298	0.23				37054.633	-42729.578	61.04	61.27	3029	0.392	0.392	0.11				37063.221	-42681.551	61.27	61.38	
2947	0.240	0.223	0.34				37054.516	-42730.121	60.93	61.27	3030	0.331	0.276	0.48				37053.807	-42742.657	60.78	61.26	
2948	0.332	0.317	0.38				37054.583	-42730.431	60.89	61.27	3031	0.289	0.271	0.29				37053.960	-42741.070	60.95	61.24	
2951	0.267	0.260	0.13				37053.817	-42712.515	60.87	61.00	3032	0.332	0.181	0.29				37062.092	-42738.770	61.00	61.29	
2952	0.264	0.223					37056.693	-42719.004	なし	なし	3034	2.354	0.192	0.08				37048.106	-42712.745	61.13	61.21	
2953	0.380	0.265					37056.068	-42719.143	なし	なし	3035	0.242	0.221	0.23				37061.709	-42732.266	60.95	61.18	
2954	0.417	0.342	0.27				37055.153	-42719.945	61.03	61.30	3036	0.270	0.212	0.44				37061.594	-42732.686	60.83	61.27	
2955	0.394	0.382	0.23				37053.798	-42723.320	61.05	61.28	3037	0.293	0.206	0.41				37063.134	-42733.603	60.64	61.05	
2956	0.454	0.234	0.5				37054.221	-42721.725	60.77	61.27	3038	0.674	0.423	0.17				37071.245	-42682.446	61.25	61.42	
2957											3039	2.000	0.580	0.26				37070.097	-42683.038	61.15	61.41	
2957	1.810	0.530	0.14				37070.522	-42720.276	61.14	61.28	3042	0.317	0.295	0.58				37064.647	-42676.527	60.79	61.37	
2966	0.649	0.395	0.07				37080.721	-42687.265	61.40	61.47	3043	0.282	0.271	0.54				37063.965	-42677.387	60.86	61.40	
2967	0.481	0.416	0				37079.813	-42686.833	61.46	61.46	3044	0.318	0.288	0.5				37063.678	-42678.097	60.90	61.40	
2969											3045	0.576	0.463	0.4				37062.176	-42682.084	60.98	61.38	
2969	0.751	0.510	0.04				37078.227	-42680.084	61.42	61.46	3046	0.916	0.410	0.28				37062.341	-42682.627	61.07	61.35	
2970	0.285	0.271	0.06				37078.695	-42678.025	61.37	61.43	3047	0.427	0.414	0.62				37062.104	-42683.502	60.74	61.36	
2971	3.170	0.783	0.04				37075.520	-42688.745	61.43	61.47	3048	0.590	0.457	0.22				37060.166	-42682.810	61.08	61.30	
2972	0.696	0.625	0.07				37076.270	-42687.433	61.39	61.46	3049	0.560	0.401	0.72				37060.457	-42682.282	60.62	61.34	
2973	0.587	0.534	0.11				37077.108	-42685.239	61.33	61.44	3050	0.336	0.311	0.46				37055.474	-42683.246	60.78	61.24	
2974	0.331	0.312	0.05				37075.187	-42685.278	61.40	61.45	3050	0.383	0.361	0.5				37060.361	-42681.962	60.87	61.37	
2975	0.360	0.328	0.08				37077.239	-42684.509	61.36	61.44	3051	0.397	0.329	0.45				37060.674	-42681.813	60.92	61.37	
2976	0.508	0.464	0.04				37077.473	-42681.774	61.41	61.45	3052	0.379	0.341	0.42				37060.908	-42681.547	60.94	61.36	
2977	0.424	0.359	0.01				37076.829	-42681.875	61.44	61.45	3053	0.312	0.288	0.52				37060.557	-42681.065	60.83	61.35	
2978	0.315	0.301	0.09				37075.807	-42683.387	61.36	61.45	3054	0.416	0.373	0.59				37059.957	-42681.762	60.71	61.30	
2979	0.240	0.231	0.19				37074.419	-42682.682	61.24	61.43	3054											
2980	0.326	0.315	0.05				37076.674	-42679.564	61.42	61.47	3055	0.524	0.406	0.41				37059.684	-42681.902	60.86	61.27	
2981	2.233	0.775	0.2				37073.320	-42678.520	61.15	61.35	3057	1.584	0.970	0.12				37061.557	-42678.750	61.24	61.36	
2982	0.944	0.720	0.35				37073.664	-42678.967	61.05	61.40	3058	0.307	0.295	0.68				37061.877	-42678.366	60.70	61.38	
2983	0.249	0.212	0.11				37073.671	-42686.864	61.39	61.50	3059	0.658	0.396	0.6				37061.955	-42677.279	60.82	61.42	
2984	0.446	0.427	0.07				37073.518	-42686.742	61.43	61.50	3060	0.288	0.261	0.53				37061.799	-42677.441	60.87	61.40	
2985	0.295	0.227	0.09				37071.734	-42688.779	61.39	61.48	3061	0.256	0.214	0.27				37059.967	-42675.343	61.10	61.37	
2986	0.245	0.219	0.05				37071.412	-42688.350	61.43	61.48	3062	0.305	0.282	0.15				37060.219	-42675.843	61.21	61.36	
2987	0.433	0.365	0.07				37071.344	-42687.625	61.40	61.47	3063	0.366	0.255	0.31				37060.186	-42676.319	61.04	61.35	
2988	0.340	0.322	0.06				37073.538	-42684.942	61.40	61.46	3064	0.197	0.136	0.12				37060.165	-42676.153	61.24	61.36	
2989	0.227	0.209	0.06				37073.138	-42685.189	61.40	61.46	3065	0.218	0.171	0.13				37060.397	-42676.352	61.25	61.38	
2990	0.526	0.493	0.05				37072.818	-42685.384	61.39	61.44	3066	0.213	0.177	0.21				37059.899	-42676.964	61.14	61.35	
2991	0.349	0.276	0.04				37073.167	-42685.550	61.43	61.47	3067	0.349	0.304	0.44				37059.799	-42677.663	60.90	61.34	
2992	0.619	0.483	0.08				37072.030	-42684.781	61.37	61.45	3068	1.017	0.640	0.07				37059.799	-42678.070	61.24	61.31	
2993	0.582	0.434	0.1				37072.293	-42684.881	61.35	61.45	3069	0.266	0.274	0.41				37059.171	-42679.766	60.89	61.30	
2994	0.980	0.674	0.21				37071.803	-42682.443	61.23	61.44	3069	0.290	0.274	0.48				37058.909	-42682.574	60.80	61.28	
2995	0.500	0.430	0.17				37069.913	-42681.779	61.23	61.40	3070	0.921	0.679	0.13				37058.930	-42678.173	61.18	61.31	
2995											3071	0.943	0.666	0.07				37058.758	-42678.861	61.23	61.30	
2996	0.241	0.215	0.17				37074.887	-42680.691	61.26	61.43	3072	0.549	0.442	0.14				37058.239	-42677.342	60.68	60.82	
2997											3073	0.288	0.233	0.43				37058.303	-42677.360	60.85	61.28	
2997	1.510	1.120	0.14				37072.654	-42680.279	61.28	61.42	3074	0.419	0.341	0.71				37058.867	-42676.455	60.60	61.31	
2998	0.650	0.480	0.11				37072.356	-42679.970	61.27	61.38	3075	0.243	0.243	0.09				37059.036	-42675.761	61.23	61.32	
2998											3076	0.204	0.144	0.22				37059.113	-42675.315	61.10	61.32	
2999	0.973	0.780	0.31				37070.455	-42678.062	61.08	61.39	3077	0.419	0.401	0.42				37058.860	-42675.243	60.89	61.31	
3000	0.260	0.241	0.3				37072.497	-42679.139	61.08	61.38	3078	0.847	0.645	0.11				37057.701	-42680.602	61.19	61.30	
3001	1.681	0.560	0.1				37071.280	-42679.280	61.28	61.38	3079	0.224	0.209	0.1				37057.105	-42680.290	61.16	61.26	
3001	0.355	0.250	0.23				37064.448	-42714.884	61.04	61.27	3080	0.183	0.162	0.07				37056.939	-42680.060	61.18	61.25	
3002											3081	0.182	0.159	0.09				37057.527	-42679.740	61.17	61.26	
3002	0.264	0.263	0.15				37064.592	-42714.396	61.11	61.26	3082	0.526	0.436	0.63				37057.910	-42679.478	60.64	61.27	
3003	0.446	0.305	0.47				37064.228	-42714.144	60.80	61.27	3083	0.284	0.280	0.17				37057.730	-42678.515	61		

発見された遺構と出土遺物

第31表 土坑規模一覧表(2)

番号	規 模			柱 遺 掘	造 物 掘 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 遺 掘	造 物 掘 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ					下 端	上 端		長軸	短軸	深さ					下 端	上 端
3107	0.240	0.217	0.41			37060.196	-42695.726	60.91	61.32	3185	0.309	0.263	0.2			37053.320	-42687.934	61.05	61.25
3108	0.181	0.175	0.09			37060.159	-42696.196	61.24	61.33	3186	0.186	0.183	0.04			37053.049	-42688.079	61.21	61.25
3109	0.285	0.256	0.53			37059.486	-42696.662	60.80	61.33	3187	0.705	0.627	0.05			37052.621	-42687.744	61.16	61.21
3111	0.537	0.428	0.32			37057.521	-42695.152	61.01	61.33	3188	0.307	0.295	0.55			37052.811	-42687.612	60.70	61.25
3113	0.664	0.481	0.5	○		37057.199	-42696.956	60.82	61.32	3189	0.360	0.255	1.05			37052.267	-42688.002	60.20	61.25
3114	0.543	0.456	0.51	○		37057.062	-42696.651	60.82	61.33	3190	0.274	0.252	0.4			37050.907	-42689.242	60.86	61.26
3115	0.647	0.432	0.14			37056.645	-42696.312	61.18	61.32	3191	0.225	0.222	0.34			37050.769	-42687.645	60.92	61.26
3116	0.309	0.267	0.03			37049.813	-42691.701	61.23	61.26	3192	0.198	0.181	0.32			37050.408	-42687.600	60.94	61.26
3116	0.746	0.636	0.23	○		37056.431	-42697.108	61.09	61.32	3193	0.289	0.246	0.37			37050.370	-42687.810	60.89	61.26
3117	0.332	0.306	0.19			37056.311	-42697.758	61.13	61.32	3194	0.184	0.136	0.49			37057.935	-42687.978	60.81	61.30
3118	0.529	0.397	0.51			37055.717	-42697.099	60.80	61.31	3195	0.485	0.342	0.36			37057.580	-42687.959	60.93	61.29
3119	0.323	0.281	0.41			37056.855	-42694.195	60.92	61.33	3196	0.172	0.111	0.31			37056.908	-42687.668	60.99	61.30
3120	0.338	0.337	0.41			37057.358	-42693.971	60.94	61.35	3197	0.282	0.230	0.31			37056.119	-42687.610	60.99	61.30
3121	0.312	0.301	0.39			37056.976	-42693.253	60.96	61.35	3198	0.342	0.290	0.38			37055.545	-42687.092	60.87	61.25
3122	0.365	0.347	0.18			37057.410	-42693.086	61.18	61.36	3199	0.276	0.243	0.43			37051.590	-42686.376	60.82	61.25
3123	0.368	0.277	0.28			37057.206	-42692.623	61.09	61.37	3200	0.256	0.210	0.1			37063.736	-42688.060	60.76	60.86
3124	0.381	0.365	0.34			37056.685	-42692.174	61.01	61.35	3201	0.221	0.189	0.36			37052.146	-42686.410	60.89	61.25
3125	0.328	0.261	0.15			37053.032	-42687.873	61.10	61.25	3202	0.513	0.313	0.36			37058.319	-42687.794	60.72	61.08
3125	0.469	0.417	0.07			37056.213	-42692.129	61.26	61.33	3203	0.401	0.302	0.18			37059.406	-42688.145	60.62	60.80
3126	0.261	0.235	0.23			37056.812	-42691.507	61.11	61.34	3204	0.275	0.240	0.17			37062.843	-42687.350	61.17	61.34
3127	0.396	0.309	0.68			37056.558	-42691.560	60.66	61.34	3205	0.697	0.510	0.61			37062.379	-42686.917	60.73	61.34
3128	0.247	0.241	0.11			37056.189	-42691.545	61.22	61.33	3206	0.378	0.158	0.27			37062.197	-42686.983	61.06	61.33
3129	0.236	0.221	0.33			37056.017	-42691.746	60.98	61.31	3207	0.327	0.196	0.34			37061.185	-42687.010	60.98	61.32
3130	0.280	0.262	0.48			37055.626	-42690.925	60.82	61.30	3208	0.387	0.326	0.44			37060.517	-42687.240	60.86	61.30
3131	0.331	0.331	0.49			37055.511	-42691.387	60.80	61.29	3209	0.299	0.212	0.21			37063.050	-42686.170	61.14	61.35
3132	0.308	0.257	0.37			37055.708	-42692.270	60.94	61.31	3210	0.477	0.383	0.66			37061.776	-42686.155	60.68	61.34
3133	0.256	0.282	0.42			37055.611	-42692.305	60.89	61.31	3211	0.288	0.271	0.24			37061.234	-42686.122	61.09	61.33
3134	0.421	0.387	0.24			37056.304	-42693.024	61.10	61.34	3212	0.274	0.264	0.64			37060.537	-42686.226	60.68	61.32
3135	0.414	0.373	0.49			37056.044	-42693.475	60.82	61.31	3213	0.352	0.292	0.36			37060.940	-42685.839	60.98	61.34
3136	0.396	0.370	0.12	○		37056.224	-42693.767	61.21	61.33	3214	0.350	0.316	0.33			37061.631	-42685.659	61.02	61.35
3137	0.401	0.385	0.14			37056.162	-42694.072	61.18	61.32	3215	0.268	0.256	0.35			37062.944	-42685.783	61.01	61.36
3138	0.286	0.263	0.1			37055.679	-42694.050	61.22	61.32	3216	0.246	0.237	0.51			37062.922	-42685.508	60.84	61.35
3139	0.246	0.213	0.37			37056.437	-42694.234	60.95	61.32	3217	0.457	0.317	0.4			37062.879	-42685.279	60.98	61.38
3140	0.514	0.225	0.13			37055.331	-42693.778	61.18	61.31	3218	0.606	0.331	0.39			37062.303	-42685.438	60.97	61.36
3141	0.283	0.253	0.21			37055.541	-42694.378	61.10	61.31	3219	0.167	0.157	0.07			37062.065	-42685.361	61.13	61.20
3142	0.287	0.223	0.35			37055.008	-42694.367	60.96	61.31	3220	0.352	0.288	0.48			37062.561	-42684.672	60.90	61.38
3143	0.349	0.371	0.23			37055.522	-42693.652	61.09	61.32	3221	0.255	0.159	0.21			37062.098	-42684.582	61.16	61.37
3144	0.606	0.342	0.5			37054.222	-42694.327	60.79	61.29	3222	0.194	0.194	0.18			37061.942	-42684.777	61.18	61.36
3145	0.266	0.250	0.38			37054.499	-42693.926	60.92	61.30	3223	0.243	0.210	0.22			37061.885	-42684.534	61.14	61.36
3146	0.326	0.327	0.48	○		37054.401	-42693.444	60.81	61.29	3224	0.443	0.277	0.35			37061.204	-42685.271	60.99	61.34
3147	2.150	1.030	0.18	○		37055.485	-42695.635	61.12	61.30	3225	0.212	0.189	0.47			37061.220	-42685.188	60.88	61.35
3147	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3226	0.438	0.414	0.65			37060.870	-42685.364	60.66	61.31
3148	0.587	0.296	0.46	○		37054.227	-42695.828	60.82	61.28	3227	0.238	0.228	0.31			37061.425	-42684.603	61.05	61.36
3149	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3228	0.400	0.306	0.47			37059.676	-42684.928	60.81	61.28
3149	1.620	0.730	0.08			37054.955	-42696.500	61.19	61.27	3229	0.321	0.312	0.13			37059.395	-42685.546	61.15	61.28
3150	0.306	0.292	0.1			37055.497	-42697.929	61.23	61.33	3230	0.265	0.263	0.09			37059.272	-42685.272	61.19	61.28
3151	0.354	0.314	0.2			37055.210	-42698.982	61.13	61.33	3231	0.376	0.332	0.6			37058.680	-42685.818	60.69	61.29
3152	1.411	1.323	0.34			37054.687	-42698.255	60.99	61.33	3232	0.318	0.292	0.78			37058.696	-42685.388	60.50	61.28
3153	0.373	0.420	0.25			37053.836	-42698.747	61.05	61.30	3233	0.492	0.393	0.48			37059.355	-42684.484	60.80	61.28
3154	0.265	0.256	0.12			37053.503	-42697.298	61.18	61.30	3234	0.317	0.306	0.21			37058.752	-42684.851	61.07	61.28
3155	0.489	0.403	0.23	○		37053.799	-42696.007	61.07	61.30	3235	0.532	0.366	0.49			37058.056	-42686.037	60.79	61.28
3156	0.309	0.289	0.18			37054.007	-42695.483	61.12	61.30	3236	0.367	0.338	0.41			37057.953	-42684.911	60.89	61.30
3157	0.292	0.279	0.38			37054.128	-42694.617	60.92	61.30	3237	0.508	0.232	0.54			37057.368	-42685.488	60.75	61.29
3158	0.247	0.225	0.34			37053.657	-42695.366	60.93	61.27	3238	0.613	0.342	0.42			37056.822	-42684.711	60.86	61.28
3159	0.449	0.385	0.19			37052.829	-42695.531	61.06	61.25	3239	0.906	0.734	0.46			37056.692	-42684.839	60.80	61.26
3160	0.605	0.478	0.14			37053.078	-42696.003	61.12	61.26	3240	0.553	0.524	0.77		○	37053.871	-42685.783	60.49	61.26
3161	0.371	0.348	0.43			37052.452	-42697.161	60.82	61.25	3241	0.341	0.321	0.52			37054.317	-42685.447	60.74	61.26
3162	0.406	0.350	0.45	○		37053.720	-42694.704	60.81	61.26	3242	0.266	0.247	0.52			37053.195	-42685.802	60.74	61.26
3163	0.256	0.212	0.24			37053.245	-42695.287	61.02	61.26	3243	0.251	0.249	0.41			37053.163	-42685.205	60.85	61.26
3164	0.363	0.332	0.4			37053.253	-42694.866	60.85	61.25	3244	0.351	0.294	0.5			37051.061	-42684.368	60.76	61.26
3166	0.474	0.377	0.55			37054.581	-42690.280	60.69	61.24	3245	0.243	0.210	0.47	○		37051.079	-42683.029	60.79	61.26
3167	0.446	0.435	0.56			37052.114	-42690.634	60.68	61.24	3246	0.437	0.366	0.57			37052.673	-42684.052	60.69	61.26
3168	0.424	0.390	0.44			37052													

第32表 土坑規模一覧表(2)

番号	規 模			柱 遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 遺 物	掘 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ					下	上		長軸	短軸	深さ					下	上
3263	0.218	0.235	0.47			37054.237	-42680.105	60.78	61.25	3342	0.288	0.261	0.73			37048.602	-42689.994	60.15	60.88
3264	0.205	0.191	0.35			37049.742	-42680.728	60.90	61.25	3343	0.221	0.262	0.16			37048.000	-42690.006	60.72	60.88
3265	0.497	0.357	0.51			37050.285	-42677.976	60.75	61.26	3344	0.181	0.174	0.09			37048.225	-42690.369	60.78	60.87
3266	0.277	0.265	0.18			37050.793	-42677.689	61.08	61.26	3345	0.462	0.341	0.29			37046.471	-42685.193	60.61	60.90
3267	1.636	1.635	0.37			37052.854	-42677.574	60.88	61.25	3346	0.325	0.318	0.47			37045.599	-42686.231	60.73	61.20
3268	0.245	0.242	0.29			37052.213	-42674.256	60.93	61.22	3347	0.216	0.204	0.31			37045.778	-42685.961	60.89	61.20
3269	2.378	1.614	0.21			37052.906	-42671.396	61.00	61.21	3348	0.206	0.181	0.32			37047.101	-42686.306	60.88	61.20
3270	0.290	0.283	0.35			37050.919	-42671.774	60.83	61.18	3349	0.204	0.193	0.41			37047.992	-42686.487	60.80	61.21
3271	0.383	0.376	0.18			37056.091	-42676.514	61.07	61.25	3350	0.163	0.135	0.03			37048.428	-42686.246	60.80	60.83
3272	2.618	1.180	0.07			37049.594	-42674.605	61.14	61.21	3351	0.554	0.382	0.34			37048.849	-42685.558	60.49	60.83
3272	—	—	—			—	—	—	—	3352	0.365	0.245	0.78			37049.712	-42685.719	60.45	61.23
3273	0.305	0.208	0.6			37063.815	-42678.667	60.80	61.40	3353	0.155	0.151	0.19			37050.503	-42686.149	60.83	61.02
3274	0.380	0.278	0.74			37063.698	-42678.371	60.66	61.40	3354	0.440	0.433	0.36			37053.497	-42686.323	60.68	61.04
3275	0.363	0.350	0.4			37066.592	-42686.227	60.99	61.39	3355	0.414	0.373	0.33			37054.114	-42686.343	60.71	61.04
3276	0.296	0.206	0.17			37062.851	-42688.953	60.82	60.99	3356	0.104	0.103	0.11			37056.353	-42686.567	61.19	61.30
3278	0.520	0.273	0.18			37056.175	-42688.985	60.77	60.95	3357	0.529	0.397	0.59			37056.656	-42686.745	60.72	61.31
3279	0.253	0.226	0.06			37057.042	-42689.284	60.82	60.88	3358	0.221	0.244	0.31			37059.538	-42686.590	60.82	61.13
3280	0.411	0.294	0.09			37066.376	-42685.525	60.67	60.76	3359	0.424	0.409	0.79			37055.701	-42683.780	60.44	61.23
3281	0.441	0.336	0.22			37059.835	-42690.802	60.83	61.05	3360	0.328	0.261	0.18			37051.699	-42685.612	61.08	61.26
3282	0.359	0.337	0.53			37057.243	-42687.002	60.79	61.32	3361	1.200	0.726	0.61			37049.846	-42684.497	60.84	61.25
3283	0.347	0.309	0.23			37055.036	-42689.134	60.72	60.95	3363	0.413	0.324	0.63			37059.491	-42682.017	60.64	61.27
3284	0.305	0.233	0.34			37065.360	-42688.911	60.79	61.13	3364	—	—	—			—	—	—	—
3285	0.331	0.313	0.57			37056.829	-42689.487	60.62	61.19	3364	0.400	0.290	0.71			37060.837	-42680.013	60.59	61.30
3286	0.376	0.261	0.49			37050.311	-42687.245	60.77	61.26	3365	0.357	0.305	0.79			37061.052	-42679.853	60.58	61.37
3287	0.130	0.128	0.22			37056.283	-42689.289	60.86	61.08	3365	—	—	—			—	—	—	—
3288	0.439	0.418	0.05			37049.292	-42687.861	61.00	61.05	3366	0.400	0.310	0.41			37062.433	-42680.087	61.32	61.73
3289	0.316	0.290	1.22			37049.363	-42687.912	60.77	61.99	3367	0.464	0.334	0.56			37065.305	-42680.300	60.80	61.36
3290	0.563	0.488	0.12			37060.588	-42690.560	60.84	60.96	3368	0.452	0.382	0.69			37065.748	-42679.110	60.66	61.35
3291	0.163	0.102	0.14			37061.391	-42692.771	61.18	61.32	3369	0.342	0.334	0.74			37060.726	-42678.242	60.64	61.38
3292	0.288	0.242	0.34			37061.660	-42692.613	60.83	61.17	3370	0.387	0.341	0.55			37060.959	-42677.872	60.83	61.38
3293	0.327	0.253	0.12			37049.734	-42688.148	61.07	61.19	3371	0.314	0.307	0.49			37045.833	-42687.150	60.66	61.15
3294	0.377	0.330	0.51			37052.957	-42688.770	60.66	61.17	3372	0.457	0.444	0.35			37046.148	-42687.894	60.81	61.16
3295	0.396	0.323	0.45			37050.765	-42688.566	60.71	61.16	3373	2.730	0.812	0.4			37072.136	-42678.608	60.97	61.37
3296	0.494	0.444	0.51			37051.828	-42688.785	60.65	61.16	3374	2.730	0.812	0.4			37072.136	-42678.608	60.97	61.37
3297	0.602	0.580	0.34			37053.564	-42689.808	60.83	61.17	3375	1.167	1.115	0.21			37058.633	-42674.374	61.04	61.25
3298	0.335	0.287	0.5			37053.401	-42689.857	60.67	61.17	3376	0.624	0.445	0.28			37046.160	-42689.268	60.93	61.21
3299	0.404	0.263	0.48			37054.080	-42689.006	60.68	61.16	3377	0.349	0.303	0.59			37045.942	-42689.969	60.63	61.22
3300	0.227	0.206	0.35			37054.736	-42689.869	60.81	61.16	3377	0.539	0.334	0.27			37060.102	-42691.455	60.70	60.97
3301	0.409	0.367	0.23			37054.931	-42689.462	60.94	61.17	3378	3.262	0.238	0.24			37045.869	-42690.206	60.98	61.22
3302	0.234	0.226	0.2			37056.240	-42690.595	61.02	61.22	3379	0.358	0.258	0.44			37045.503	-42690.271	60.78	61.22
3303	0.466	0.462	0.06			37058.458	-42701.127	61.06	61.12	3380	0.339	0.327	0.38			37045.498	-42690.604	60.84	61.22
3304	0.225	0.208	0.32			37058.793	-42698.235	60.83	61.15	3381	0.463	0.389	0.45			37045.672	-42691.326	60.76	61.21
3305	0.230	0.230	0.22			37059.191	-42698.248	60.93	61.15	3382	1.951	0.783	0.15			37046.280	-42691.360	61.07	61.22
3306	0.184	0.176	0.24			37059.487	-42697.275	60.90	61.14	3383	0.378	0.320	0.42			37045.957	-42692.918	60.80	61.22
3307	0.306	0.278	0.2			37060.761	-42697.238	60.93	61.13	3384	0.312	0.267	0.48			37045.883	-42693.232	60.73	61.21
3308	0.159	0.145	0.23			37059.779	-42696.046	60.92	61.15	3385	0.362	0.333	0.42			37045.383	-42693.713	60.80	61.22
3309	0.196	0.182	0.17			37061.202	-42695.296	60.98	61.15	3386	0.474	0.368	0.47			37045.932	-42693.794	60.74	61.21
3310	0.290	0.240	0.3			37058.880	-42696.270	61.02	61.32	3387	0.219	0.210	0.2			37046.381	-42693.949	61.01	61.21
3310	0.212	0.202	0.21			37061.728	-42695.873	60.94	61.15	3388	0.227	0.212	0.19			37047.066	-42693.741	61.02	61.21
3311	0.345	0.268	0.26			37061.947	-42695.507	60.90	61.16	3389	0.246	0.194	0.44			37046.565	-42694.217	60.78	61.22
3312	0.597	0.431	0.25			37057.813	-42696.358	61.09	61.34	3390	0.433	0.390	0.48			37046.287	-42694.632	60.74	61.22
3312	0.345	0.299	0.17			37062.004	-42694.854	60.99	61.16	3391	0.215	0.199	0.41			37045.551	-42694.720	60.82	61.23
3313	0.286	0.268	0.17			37061.794	-42694.400	60.99	61.16	3392	0.321	0.295	0.44			37045.750	-42695.026	60.78	61.22
3314	0.308	0.261	0.18			37061.364	-42694.353	60.98	61.16	3393	0.269	0.230	0.28			37047.081	-42695.226	60.93	61.21
3315	0.247	0.210	0.18			37061.150	-42694.057	60.98	61.16	3394	0.417	0.361	0.44			37045.572	-42696.335	60.79	61.23
3316	0.359	0.300	0.3			37061.090	-42693.346	60.87	61.17	3395	0.297	0.283	0.44			37045.339	-42696.800	60.79	61.23
3317	0.163	0.155	0.07			37061.829	-42693.256	61.09	61.16	3396	0.334	0.318	0.57			37044.529	-42696.358	60.68	61.25
3318	0.277	0.276	0.28			37062.241	-42693.623	60.89	61.17	3397	1.219	0.344	0.09			37045.884	-42698.271	61.19	61.28
3319	0.188	0.158	0.18			37062.908	-42694.031	60.99	61.17	3398	0.840	0.660	0.59			37047.459	-42699.997	61.12	61.24
3320	0.236	0.210	0.2			37062.209	-42692.986	60.98	61.18	3399	0.304	0.293	0.2			37044.241	-42678.885	61.04	61.24
3321	0.279	0.258	0.3			37061.649	-42692.909	60.87	61.17	3400	—	—	—			—	—	—	—
3322	0.189	0.186	0.41			37062.914	-42692.518	60.76	61.17	3400	1800	1030	0.16			37048.275	-42670.137	61.06	61.22
3323	0.290	0.264	0.41			37063.186	-42691.376	60.74	61.15	3401	—	—	—			—	—	—	—
3324	0.349	0.2																	

発見された遺構と出土遺物

第33表 土坑規模一覧表(2)

番号	規 模			柱 遺 掘 痕 物 立	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 遺 掘 痕 物 立	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ				下 端	上 端		長軸	短軸	深さ				下 端	上 端
3418	0.277	0.276	0.2		37051.394	-42698.732	61.07	61.27	3520	0.289	0.251	0.15		37056.376	-42732.964	60.76	60.91
3419	0.310	0.244	0.17		37052.280	-42696.033	61.08	61.25	3521	0.323	0.291	0.14		37056.844	-42732.883	60.85	60.99
3420	0.449	0.385	0.19		37052.829	-42695.531	61.06	61.25	3522	0.223	0.170	0.1		37056.877	-42734.203	60.93	61.03
3421	0.279	0.234	0.35		37050.236	-42693.966	60.92	61.27	3524	0.343	0.330	0.35		37058.379	-42733.678	60.70	61.05
3422	0.340	0.285	0.33		37050.150	-42693.678	60.94	61.27	3525	0.212	0.169	0.18		37057.427	-42732.799	60.75	60.93
3423	0.600	0.468	0.57		37057.787	-42692.529	60.80	61.37	3526	—	—	—		—	—	—	—
3424	0.604	0.472	0.32	○	37057.866	-42691.667	61.06	61.38	3527	—	—	—		—	—	—	—
3425	0.494	0.456	0.7		37058.581	-42677.860	60.57	61.27	3528	0.369	0.274	0.3	○	37062.232	-42725.748	60.63	60.93
3426	0.332	0.260	0.37		37050.916	-42740.076	60.87	61.24	3529	0.357	0.294	0.16		37059.621	-42726.139	60.84	61.00
3433	0.285	0.254	0.17		37051.400	-42741.708	61.04	61.21	3530	0.396	0.340	0.57	○	37056.089	-42725.548	60.53	61.10
3434	0.330	0.247	0.34		37052.584	-42740.740	60.88	61.22	3531	0.817	0.607	0.12		37054.687	-42719.043	61.13	61.25
3435	0.258	0.237	0.34		37051.969	-42740.334	60.88	61.22	3834	—	—	—	—	—	—	—	—
3437	0.303	0.303	0.28		37050.303	-42739.560	60.95	61.23	4502	0.298	0.285	0.36		37053.410	-42680.961	60.90	61.26
3438	0.273	0.263	0.33		37049.573	-42739.869	60.87	61.20	x4503	0.453	0.265	0.24		37027.128	-42666.685	61.11	61.35
3441	0.306	0.282	0.32		37053.425	-42740.780	60.92	61.24	x4504	0.339	0.275	0.7		37031.797	-42667.886	60.57	61.27
3444	0.497	0.391	0						x4505	0.391	0.362	0.67		37031.535	-42669.652	60.62	61.29
3449	0.201	0.200	0		37078.963	-42715.562	61.26	61.26	x4506	0.240	0.192	0.07		37031.638	-42672.159	61.11	61.18
3451	0.559	0.484	0.71		37062.665	-42678.002	60.70	61.41	x4507	0.255	0.254	0.49		37031.678	-42671.652	60.69	61.18
3452	0.425	0.419	0.64		37062.859	-42678.601	60.76	61.40	x4508	1.298	0.268	0.31		37039.473	-42683.867	61.07	61.38
3453	0.421	0.414	0.47		37063.642	-42680.257	60.90	61.37	x4509	0.294	0.235	0.34		37036.298	-42688.592	61.02	61.36
3454	0.324	0.301	0.44		37064.672	-42680.238	60.91	61.35	x4510	0.235	0.218	0.34		37035.413	-42688.467	61.02	61.36
3455	0.489	0.465	0.3		37062.309	-42680.781	61.08	61.38	x4511	0.342	0.307	0.38		37035.125	-42684.537	60.93	61.31
3456	0.356	0.292	0.56		37061.298	-42682.286	60.79	61.35	x4512	0.384	0.333	0.53		37031.857	-42682.351	60.64	61.17
3457	0.221	0.198	0.45		37061.332	-42682.555	60.90	61.35	x4513	0.337	0.304	0.33		37033.761	-42684.151	60.79	61.12
3458	0.547	0.484	0.62		37063.195	-42684.609	60.76	61.38	x4514	0.733	0.663	0.43		37030.337	-42684.604	60.74	61.17
3459	0.410	0.378	0.42		37063.574	-42685.295	60.93	61.35	x4515	0.315	0.277	0.46		37034.717	-42686.520	60.69	61.15
3461	0.643	0.430	0.63		37059.938	-42686.051	60.67	61.30	x4516	0.280	0.280	0.68		37031.450	-42686.045	60.59	61.27
3461	—	—	—		—	—	—	—	x4519	0.306	0.294	0.45		37045.417	-42685.227	60.75	61.20
3462	0.461	0.421	0.39		37059.747	-42684.014	60.91	61.30	x4520	0.322	0.267	0.31		37059.200	-42671.855	60.94	61.25
3463	0.373	0.323	0.41		37059.343	-42683.888	60.88	61.29	x4521	0.313	0.278	0.02		37056.774	-42673.804	61.18	61.20
3464	0.412	0.394	0.79		37058.859	-42683.996	60.48	61.27	x4522	0.470	0.369	0.06		37056.680	-42676.466	61.19	61.25
3465	0.490	0.453	0.47		37057.300	-42683.235	60.82	61.29	x4525	0.368	0.287	0.51		37054.754	-42676.963	60.75	61.26
3466	0.573	0.252	0.54		37059.054	-42683.680	60.74	61.28	x4526	0.925	0.852	0.22		37050.835	-42678.617	61.04	61.26
3467	0.349	0.339	0.54		37059.017	-42681.258	60.75	61.29	x4527	0.449	0.369	0.02		37055.852	-42681.210	61.21	61.23
3468	0.412	0.311	0.46		37058.281	-42685.361	60.83	61.29	x4528	0.359	0.323	0.42		37058.542	-42683.163	60.86	61.28
3469	0.465	0.364	0.34		37059.892	-42678.971	60.99	61.33	x4529	0.447	0.414	0.45		37058.309	-42683.366	60.84	61.29
3470	0.497	0.372	0.49		37061.544	-42679.706	60.87	61.36	x4530	0.628	0.409	0.18		37056.718	-42684.943	60.62	60.80
3471	0.423	0.399	0.86		37063.237	-42675.474	60.54	61.40	x4532	0.283	0.274	0.48		37054.390	-42684.796	60.77	61.25
3472	0.441	0.405	0.7		37061.125	-42675.169	60.71	61.41	x4538	—	—	—	—	—	—	—	—
3473	0.435	0.382	0.29		37063.373	-42674.866	61.07	61.36	x4538	1.350	0.840	0.17		37054.850	-42695.617	60.97	61.14
3475	0.465	0.462	0.42		37066.626	-42675.553	60.87	61.29	x4541	0.526	0.358	0.4		37052.085	-42693.349	60.86	61.26
3476	0.305	0.258	0.7		37065.458	-42675.770	60.66	61.36	x4542	0.500	0.367	0.54		37051.824	-42694.532	60.71	61.25
3477	0.384	0.373	0.62		37064.902	-42678.995	60.74	61.36	x4543	0.282	0.254	0.37		37057.245	-42694.571	60.96	61.33
3478	0.208	0.169	0.25		37064.728	-42679.359	61.10	61.35	x4546	0.288	0.233	0.1		37081.812	-42684.042	61.31	61.41
3479	0.254	0.226	0.2		37065.293	-42679.247	61.16	61.36	x4550	0.458	0.361	0.02		37072.041	-42684.472	61.43	61.45
3480	0.203	0.194	0.17		37064.936	-42679.580	61.16	61.33	x4553	1.469	1.127	0.16		37074.270	-42669.502	60.81	60.97
3481	0.429	0.261	0.51		37060.300	-42684.740	60.80	61.31	x4556	1.584	0.644	0.08		37068.262	-42691.427	61.34	61.42
3482	0.406	0.406	0.49		37064.568	-42678.439	60.87	61.36	x4557	0.461	0.399	0.1		37062.777	-42681.184	61.28	61.38
3483	0.407	0.402	0.42		37057.697	-42682.038	60.86	61.28	x4564	0.985	0.758	0.11		37061.926	-42673.851	61.26	61.37
3484	0.412	0.257	0.47		37057.477	-42684.900	60.83	61.30	x4565	0.429	0.316	0.22		37066.493	-42675.961	61.06	61.28
3485	0.381	0.324	0.6		37051.278	-42680.918	60.66	61.26	x4567	0.215	0.184	0.5		37018.756	-42709.989	60.91	61.41
3487	0.424	0.366	0.34		37046.524	-42683.251	60.86	61.20	x4567	—	—	—	—	—	—	—	—
3488	0.170	0.160	0.29		37046.688	-42682.825	60.92	61.21	x4568	0.330	0.275	0.5		37016.866	-42712.873	60.79	61.29
3489	0.354	0.333	0.53		37046.390	-42682.542	60.68	61.21	x4570	0.441	0.250	0.4		37019.667	-42710.297	60.93	61.33
3490	0.682	1.203	0.08		37046.718	-42681.841	61.11	61.19	x4571	0.362	0.340	0.11		37019.131	-42710.370	61.18	61.29
3491	0.326	0.320	0.48		37047.239	-42697.416	60.76	61.24	x4572	0.180	0.166	0.05		37019.274	-42710.215	61.24	61.29
3491	0.436	0.412	0.35		37052.676	-42690.770	60.88	61.23	x4573	0.237	0.217	0.09		37018.070	-42714.189	61.20	61.29
3493	0.404	0.373	0.4		37054.411	-42692.336	60.87	61.27	x4576	0.174	0.143	0.05		37020.661	-42741.548	61.10	61.15
3494	0.376	0.321	0.44		37054.307	-42691.419	60.83	61.27	x4577	0.317	0.217	0.55		37015.375	-42733.365	60.75	61.30
3495	0.371	0.369	0.38		37054.041	-42691.542	60.86	61.24	x4578	0.255	0.236	0.44		37016.414	-42731.568	60.83	61.27
3496	0.418	0.394	0.26		37053.702	-42691.823	60.98	61.24	x4579	0.310	0.284	0.42		37017.068	-42731.031	60.84	61.26
3497	0.385	0.379	0.46		37052.849	-42691.557	60.79	61.25	x4580	0.219	0.180	0.21		37023.478	-42709.132	61.20	61.41
3498	0.268	0.254	0.42		37051.646	-42692.263	60.84	61.26	x4581	0.201	0.173	0.24		37021.586	-42709.734	61.02	61.26
3499	0.469	0.307	0.63		37049.319	-42680.822	60.61	61.24	x4582	0.221	0.211	0.26	○	37021.610	-42709.853	61.00	61.26
3500	0.553	0.393	0.54		37047.927	-42682.035	60.42	60.96	x4583	0.264	0.244	0.1		37025.217	-42716.311	61.18	61.28
3501	0.322	0.284	0.4		37046.380	-42681.836	60.71	61.11	x4584	0.229	0.210	0.17		37026.909	-42711.864	61.12	61.29
3503	0.545	0.403															

第34表 土坑規模一覧表(2)

番号	規模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標高		番号	規模			柱痕	遺物	掘立	X座標	Y座標	標高		
	長軸	短軸	深さ						下端	上端		長軸	短軸	深さ						下端	上端	
x4601	0.556	0.433	0.32				37020.389	-42739.086	60.93	61.25	x4707											
x4603	1.813	1.746	0.06				37023.657	-42725.569	61.18	61.24	x4707	0.320	0.250	0.38				37064.994	-42736.809	60.89	61.27	
x4613	0.345	0.309	0.39				37021.722	-42737.121	60.88	61.27	x4708	0.093	0.072	0.48				37064.393	-42737.316	60.80	61.28	
x4614	0.228	0.190	0.12				37022.283	-42731.964	61.11	61.23	x4709	0.249	0.176	0.49				37062.940	-42733.772	60.79	61.28	
x4615	0.201	0.178	0.24				37072.983	-42740.712	60.97	61.21	x4710	0.617	0.562	0.4				37060.570	-42730.819	60.89	61.29	
x4616	0.239	0.216	0.47				37070.943	-42740.844	60.79	61.26	x4711	0.192	0.186	0.46				37063.668	-42732.010	60.81	61.27	
x4617	0.206	0.164	0.14				37078.122	-42742.756	60.97	61.11	x4712	0.156	0.110	0.33				37061.401	-42734.803	60.94	61.27	
x4618	0.194	0.139	0.16				37077.227	-42743.227	60.87	61.03	x4713	0.106	0.103	0.32				37061.353	-42734.679	60.95	61.27	
x4623	0.374	0.301	0.3				37074.194	-42735.187	60.99	61.29	x4714	0.317	0.110	0.28				37060.141	-42737.625	61.00	61.28	
x4624	0.386	0.319	0.37				37073.883	-42735.789	60.91	61.28	x4715	0.093	0.076	0.28				37064.685	-42734.137	60.97	61.25	
x4625	0.138	0.094	0.17				37074.158	-42736.118	61.11	61.28	x4716	0.473	0.318	0.54				37068.636	-42731.338	60.72	61.26	
x4626	0.168	0.160	0.39				37073.872	-42736.142	60.90	61.29	x4718	0.411	0.290	0.24				37066.049	-42734.427	61.02	61.26	
x4627	0.258	0.244	0.26				37073.208	-42737.263	61.02	61.28	x4720	0.259	0.240	0.48				37067.672	-42733.948	60.78	61.26	
x4628	0.218	0.168	0.27				37070.938	-42730.148	61.01	61.28	x4721	0.188	0.123	0.43				37067.484	-42733.944	60.83	61.26	
x4630	0.260	0.215	0.37				37071.241	-42731.636	60.90	61.27	x4722	0.397	0.293	0.45				37069.823	-42733.590	60.81	61.26	
x4631											x4727	0.393	0.195	0.39				37066.242	-42735.106	60.86	61.25	
x4631											x4728	0.449	0.386	0.25				37067.319	-42733.344	61.02	61.27	
x4631	0.570	0.430	0.17				37070.041	-42730.163	61.10	61.27	x4729	0.291	0.202	0.29				37067.704	-42733.671	60.97	61.26	
x4632	0.411	0.355	0.05				37069.888	-42730.453	60.99	61.04	x4731	0.211	0.181	0.16				37065.630	-42733.490	61.10	61.26	
x4632											x4732	0.374	0.250	0.3				37068.873	-42733.072	60.97	61.27	
x4633	0.147	0.134	0.5				37070.138	-42732.309	60.75	61.25	x4733	0.194	0.139	0.14				37067.494	-42732.220	60.96	61.10	
x4634											x4734	0.123	0.119	0.04				37065.250	-42737.255	60.95	60.99	
x4634	0.159	0.138	0.27				37070.048	-42732.162	60.96	61.23	x4735	0.250	0.230	0.39				37065.022	-42738.352	60.89	61.28	
x4635	0.166	0.156	0.26				37070.154	-42732.569	60.99	61.25	x4737	0.161	0.091	0.05				37068.056	-42734.662	61.05	61.10	
x4636	0.128	0.128	0.2				37070.154	-42732.749	61.06	61.26	x4738	0.589	0.303	0.3				37068.314	-42736.428	61.00	61.30	
x4637											x4739	0.475	0.330	0.46				37065.725	-42730.710	60.81	61.27	
x4637	0.600	0.440	0.16				37070.044	-42732.675	61.10	61.26	x4740	0.136	0.108	0.09				37067.080	-42730.509	60.86	60.95	
x4640	0.390	0.380	0.33				37069.923	-42735.668	60.98	61.31	x4741	0.124	0.106	0.1				37067.050	-42730.654	60.87	60.97	
x4640											x4742	0.463	0.328	0.2				37065.694	-42735.550	61.05	61.25	
x4641	0.368	0.358	0.64				37070.358	-42735.570	60.69	61.33	x4743	0.232	0.188	0.2				37068.205	-42734.135	60.69	60.89	
x4642	0.281	0.179	0.15				37070.173	-42733.547	61.12	61.27	x4744	0.159	0.126	0.21				37069.098	-42733.649	60.81	61.02	
x4643											x4745	0.190	0.146	0.05				37068.852	-42733.629	60.97	61.02	
x4643	0.210	0.210	0.35				37070.029	-42738.691	60.99	61.34	x4746	0.218	0.192	0.23				37069.502	-42739.089	61.12	61.35	
x4646	0.138	0.120	0.33				37070.803	-42738.961	61.03	61.36	x4748	0.259	0.217	0.32				37060.505	-42728.915	60.70	61.02	
x4647	0.104	0.062	0.3				37070.684	-42739.019	61.06	61.36	x4749	0.295	0.241	0.09				37060.338	-42728.843	60.93	61.02	
x4649	0.207	0.174	0.38				37073.073	-42738.952	60.97	61.35	x4752	0.406	0.352	0.12				37060.309	-42720.249	61.19	61.31	
x4651	0.497	0.236	0.36				37075.746	-42734.869	60.94	61.30	x4753	0.143	0.138	0.22				37062.014	-42719.954	60.79	61.01	
x4653	0.261	0.211	0.13				37078.420	-42739.738	61.12	61.25	x4753											
x4654	0.282	0.246	0.16				37077.412	-42739.880	61.10	61.26	x4754	0.659	0.336	0.43	○			37063.432	-42720.123	60.86	61.29	
x4655	0.217	0.204	0.35				37077.617	-42739.059	60.97	61.32	x4755	0.487	0.385	0.65				37064.820	-42726.830	60.63	61.28	
x4656	0.240	0.189	0.32				37074.733	-42722.987	60.96	61.28	x4756	0.267	0.175	0.46				37064.944	-42729.334	60.80	61.26	
x4657	0.154	0.127	0.34				37073.960	-42720.376	60.94	61.28	x4757	0.351	0.181	0.46				37064.745	-42729.351	60.80	61.26	
x4658	0.165	0.163	0.31				37073.773	-42720.463	60.96	61.27	x4764	0.266	0.239	0.37				37064.220	-42721.384	60.93	61.30	
x4663	0.095	0.070	0.26				37074.489	-42729.228	61.06	61.32	x4765	0.239	0.230	0.18				37064.339	-42724.216	61.12	61.30	
x4664	0.144	0.125	0.41				37074.345	-42729.338	60.93	61.34	x4766	0.348	0.343	0.44				37063.665	-42723.588	60.84	61.28	
x4665	0.316	0.203	0.36				37070.202	-42721.348	60.93	61.29	x4776	0.457	0.358	0.55				37062.038	-42721.506	60.75	61.30	
x4666	0.344	0.260	0.42				37070.477	-42722.552	60.86	61.28	x4777											
x4667	0.152	0.133	0.09				37070.117	-42722.528	61.03	61.12	x4777	0.733	0.361	0.49				37064.851	-42724.130	60.79	61.28	
x4668	0.292	0.260	0.21				37070.088	-42722.713	61.05	61.26	x4778	0.257	0.243	0.23				37063.303	-42725.508	61.06	61.29	
x4669	0.230	0.181	0.41				37070.084	-42727.321	60.86	61.27	x4780	0.292	0.288	0.26				37062.989	-42725.804	61.04	61.30	
x4670	0.305	0.230	0.12				37070.881	-42726.507	60.70	60.82	x4781	0.212	0.182	0.27				37064.680	-42726.077	60.78	61.05	
x4671	0.217	0.189	0.11				37070.632	-42726.464	60.74	60.85	x4783	0.312	0.254	0.19				37062.885	-42726.558	60.68	60.87	
x4672	0.208	0.167	0.17				37070.567	-42726.250	60.93	61.10	x4787	0.557	0.499	0.42				37063.159	-42726.604	60.87	61.29	
x4673	0.424	0.406	0.25				37070.188	-42726.290	60.78	61.03	x4788	0.553	0.294	0.32	○			37064.735	-42728.690	60.95	61.27	
x4674											x4789	0.526	0.347	0.7				37064.015	-42720.423	60.59	61.29	
x4674	0.210	0.180	0.16				37070.020	-42726.102	60.82	60.98	x4790	0.407	0.239	0.5				37064.083	-42720.705	60.79	61.29	
x4675	0.485	0.357	0.27				37070.302	-42728.548	61.01	61.28	x4791	0.343	0.226	0.38				37064.395	-42720.488	60.91	61.29	
x4676	0.281	0.244	0.35				37071.891	-42728.869	60.93	61.28	x4792	0.394	0.229	0.18				37062.945	-42725.148	60.70	60.88	
x4677	0.416	0.291	0.4				37070.768	-42728.934	60.89	61.29	x4793	0.284	0.339	0.66				37064.821	-42720.503	60.63	61.29	
x4678	0.334	0.199	0.45				37070.599	-42728.987	60.83	61.28	x4794	0.176	0.165	0.16				37061.342	-42720.134	60.78	60.94	
x4681	0.163	0.108	0.12				37070.682	-42720.824	61.02	61.14	x4795	0.207	0.161	0.28				37061.700	-42720.305	61.02	61.30	
x4682	0.337	0.332	0.35				37070.848	-42724.252	60.76	61.11	x4796	0.353	0.283	0.39				37062.765	-42720.258	60.90	61.29	
x4685	0.268	0.232	0.26																			

発見された遺構と出土遺物

第35表 土坑規模一覧表(㉔)

番号	規 模			柱 遺 掘	遺 物	X座標	Y座標	標 高		番号	規 模			柱 遺 掘	遺 物	X座標	Y座標	標 高	
	長軸	短軸	深さ					下 端	上 端		長軸	短軸	深さ					下 端	上 端
x4819	0.427	0.270	0.47			37065.417	-42723.508	60.82	61.29	x4906	0.268	0.251	0.49			37052.437	-42742.897	60.70	61.19
x4820	0.379	0.340	0.58			37065.958	-42724.202	60.71	61.29	x4907	1.573	0.483	0.07			37057.956	-42741.126	61.23	61.30
x4821	0.295	0.263	0.22			37066.088	-42724.039	60.97	61.19	x4908	0.094	0.083	0.05			37055.578	-42742.501	60.85	60.90
x4822	0.839	0.605	0.32			37066.473	-42721.312	60.96	61.28	x4909	0.359	0.176	0.04			37055.506	-42743.207	60.86	60.90
x4823	0.312	0.222	0.23			37066.950	-42720.428	61.05	61.28	x4910	0.183	0.146	0.07			37056.255	-42747.771	60.88	60.95
x4824	0.422	0.402	0.25			37068.305	-42720.279	61.03	61.28	x4911	0.143	0.131	0.05			37055.510	-42748.481	60.94	60.99
x4825	0.084	0.079				37068.206	-42720.300	なし	60.99	x4912	0.140	0.088	0.07			37056.245	-42746.301	60.86	60.93
x4826	0.514	0.360	0.22			37067.772	-42721.525	61.05	61.27	x4913	0.089	0.079	0.04			37056.003	-42746.386	60.90	60.94
x4827	0.221	0.156	0.26			37067.236	-42723.233	60.76	61.02	x4914	0.191	0.142	0.03			37055.281	-42747.603	60.92	60.95
x4829	0.341	0.299	0.41			37069.505	-42720.660	60.87	61.28	x4916	0.157	0.113	0.03			37054.677	-42737.650	60.90	60.93
x4830	—	—	—	—	—	—	—	—	—	x4917	0.127	0.120	0.03			37054.556	-42737.754	60.91	60.94
x4830	0.246	0.121	0.41			37068.453	-42720.032	60.86	61.27	x4918	0.526	0.280	0.17			37051.623	-42735.282	61.01	61.18
x4831	—	—	—	—	—	—	—	—	—	x4919	0.201	0.181	0.19			37053.544	-42736.237	60.74	60.93
x4831	0.809	0.625	0.1			37069.292	-42720.344	61.18	61.28	x4920	0.167	0.144	0.43			37052.559	-42735.260	60.74	61.17
x4832	0.126	0.087	0.26			37069.775	-42720.414	61.02	61.28	x4922	0.090	0.087	0.14			37054.861	-42737.802	60.77	60.91
x4833	0.349	0.346	0.07			37069.419	-42721.633	61.21	61.28	x4923	0.317	0.194	0.04			37054.592	-42738.046	60.89	60.93
x4834	0.348	0.275	0.3			37069.216	-42724.020	60.81	61.11	x4924	0.351	0.324	0.56			37055.823	-42730.157	60.71	61.27
x4835	0.198	0.181	0.09			37069.056	-42724.399	60.82	60.91	x4927	0.431	0.273	0.25			37059.266	-42734.313	61.03	61.28
x4836	0.377	0.310	0.42			37068.412	-42724.316	60.68	61.10	x4928	0.234	0.198	0.38			37059.586	-42734.669	60.90	61.28
x4837	0.219	0.175	0.19			37067.149	-42724.348	60.90	61.09	x4929	0.485	0.436	0.46			37058.242	-42735.388	60.82	61.28
x4838	0.341	0.279	0.36			37066.921	-42724.304	60.70	61.06	x4930	0.517	0.327	0.31			37059.105	-42735.565	60.97	61.28
x4839	0.213	0.159	0.08			37069.871	-42726.163	60.84	60.92	x4931	0.160	0.115	0.35			37059.360	-42735.642	60.93	61.28
x4840	0.352	0.210	0.35			37069.864	-42726.390	60.72	61.07	x4932	0.181	0.179	0.36			37059.210	-42735.682	60.92	61.28
x4843	0.411	0.275	0.11			37068.522	-42726.176	61.07	61.18	x4933	0.309	0.236	0.33			37057.946	-42735.390	60.97	61.30
x4844	0.485	0.322	0.3			37068.020	-42726.189	60.93	61.23	x4935	0.236	0.202	0.08			37055.629	-42734.875	60.67	60.75
x4845	0.197	0.179	0.17			37067.518	-42726.409	60.96	61.13	x4936	0.434	0.354	0.29			37055.332	-42737.301	60.98	61.27
x4847	0.224	0.187	0.17	○		37066.700	-42725.937	60.89	61.06	x4937	0.155	0.149	0.11			37057.926	-42734.714	60.99	61.10
x4848	0.340	0.215	0.13			37066.239	-42725.823	60.83	60.96	x4938	0.186	0.157	0.31			37057.946	-42734.890	60.80	61.11
x4849	0.203	0.182	0.45			37066.822	-42726.453	60.70	61.15	x4939	0.371	0.295	0.36			37057.913	-42735.052	60.75	61.11
x4850	0.403	0.373	0.41			37066.378	-42727.163	60.87	61.28	x4940	0.155	0.110	0.07			37058.574	-42737.648	60.92	60.99
x4851	0.296	0.250	0.67			37067.869	-42727.213	60.61	61.28	x4941	0.160	0.147	0.2			37058.082	-42738.328	60.82	61.02
x4853	0.281	0.258	0.72			37066.071	-42728.813	60.57	61.29	x4942	0.169	0.146	0.23			37056.523	-42730.074	61.04	61.27
x4854	0.298	0.206	0.33			37066.269	-42728.867	60.96	61.29	x4943	0.254	0.184	0.13			37058.969	-42734.059	60.85	60.98
x4855	0.411	0.263	0.4			37066.395	-42729.177	60.88	61.28	x4944	0.189	0.155	0.07			37058.832	-42734.114	60.91	60.98
x4856	0.303	0.218	0.37			37066.714	-42728.790	60.91	61.28	x4945	0.106	0.103	0.06			37059.004	-42735.494	60.91	60.97
x4857	0.156	0.110	0.29			37066.508	-42728.758	60.98	61.27	x4946	0.317	0.304	0.46			37058.671	-42735.788	60.82	61.28
x4858	0.155	0.128	0.39			37066.590	-42729.687	60.88	61.27	x4947	0.437	0.339	0.33			37059.386	-42734.003	60.95	61.28
x4859	0.475	0.391	0.22			37067.990	-42728.770	61.06	61.28	x4948	0.322	0.301	0.42			37056.742	-42725.603	60.79	61.21
x4861	0.178	0.149	0.43			37067.115	-42722.474	60.86	61.29	x4949	0.277	0.257	0.21			37055.782	-42725.893	60.63	60.84
x4862	0.215	0.212	0.43			37067.366	-42722.477	60.85	61.28	x4950	0.293	0.264	0.17			37055.085	-42725.396	60.83	61.00
x4863	0.296	0.278	0.52			37065.364	-42721.705	60.76	61.28	x4951	0.234	0.201	0.12			37056.553	-42726.345	60.64	60.76
x4864	0.197	0.153	0.21			37069.066	-42724.376	60.82	61.03	x4952	0.164	0.116	0.13			37057.100	-42727.533	60.99	61.12
x4865	0.223	0.108	0.16			37066.308	-42729.477	61.13	61.29	x4953	0.207	0.141	0.15			37057.240	-42727.566	61.00	61.15
x4866	0.182	0.167	0.49			37069.857	-42726.978	60.79	61.28	x4954	0.169	0.114	0.1			37051.831	-42710.753	60.65	60.75
x4867	0.337	0.211	0.17			37069.691	-42728.902	60.94	61.11	x4955	0.262	0.152	0.14			37051.385	-42719.326	60.94	61.08
x4868	0.301	0.191	0.17			37069.626	-42722.338	61.09	61.26	x4956	0.319	0.244	0.15			37057.325	-42713.913	60.81	60.96
x4869	0.189	0.143	0.48			37068.390	-42728.767	60.80	61.28	x4957	0.283	0.203	0.19			37056.348	-42714.400	60.61	60.80
x4870	0.450	0.380	0.42			37065.056	-42713.680	60.85	61.27	x4958	0.187	0.158	0.37			37057.695	-42719.328	60.94	61.31
x4870	—	—	—	—	—	—	—	—	—	x4960	0.354	0.190	0.46			37059.255	-42719.409	60.84	61.30
x4871	0.205	0.183	0.35			37060.873	-42716.126	60.94	61.29	x4961	0.226	0.187	0.55			37059.226	-42719.107	60.75	61.30
x4873	0.231	0.202	0.16			37060.432	-42719.273	61.15	61.31	x4962	0.304	0.267	0.54			37059.121	-42718.546	60.76	61.30
x4874	0.196	0.165	0.43			37064.447	-42714.145	60.82	61.25	x4963	0.271	0.255	0.37			37058.983	-42718.393	60.93	61.30
x4875	0.222	0.201	0.39			37063.704	-42717.031	60.86	61.25	x4964	0.334	0.227	0.24			37055.596	-42713.918	60.73	60.97
x4876	0.551	0.462	0.19	○		37064.189	-42718.850	61.09	61.28	x4966	0.322	0.296	0.32			37064.002	-42729.126	60.96	61.28
x4877	0.197	0.190	0.27			37064.107	-42718.741	60.78	61.05	x4967	0.315	0.303	0.55	○		37064.024	-42722.802	60.74	61.29
x4878	0.208	0.191	0.26			37064.303	-42718.805	60.79	61.05	x4969	0.331	0.331	0.44			37064.753	-42730.906	60.83	61.27
x4879	0.134	0.129	0.12			37062.033	-42716.566	60.90	61.02	x4970	0.455	0.441	0.3			37065.324	-42737.114	60.99	61.29
x4880	0.279	0.238	0.13			37062.237	-42716.685	60.89	61.02	x4971	0.407	0.318	0.4			37062.491	-42732.924	60.87	61.27
x4881	0.141	0.113	0.06			37063.072	-42716.633	61.03	61.09	x4972	0.296	0.290	0.36			37060.385	-42737.032	60.92	61.28
x4882	0.232	0.229	0.25			37063.596	-42715.708	60.74	60.99	x4974	—	—	—	—	—	—	—	—	—
x4883	0.186	0.156	0.3			37064.260	-42715.586	60.97	61.27	x4974	0.760	0.520	0.5			37070.050	-42733.227	60.76	61.26
x4884	0.092	0.087	0.42			37063.871	-42715.359	60.85	61.27	x4975	0.356	0.279	0.36			37072.605	-42731.692	60.92	61.28
x4885	0.152	0.115	0.5			37061.361	-42719.668	60.80	61.30	x4976	0.186	0.140	—			37062.			

発見された遺構と出土遺物

第36表 木製品遺物観察表(1)

杭：径5cm以下丸木材・5cm以上丸木材

番号	種別	器形	区	面	遺構名	遺構種	取上番号	計測値	木取り	樹種	形・成調整等
1513		漆椀			1号	溝	下層一括	底径6.4×現高2.9		モクセイ科シオジ?	内外黒漆地、内面朱漆残
1514		漆椀			1号	溝	下層一括	胴部片、現高4.5		ブナ科クヌギ節	内外黒漆地、外面朱漆文あり
1515	漆容器	椀底?			1号	溝	2区埋土一括	径6.8・厚0.9		クルミ科オニグルミ	片面黒漆、縁辺削り加工痕
1516	漆器	有孔円盤			1号	溝	4区北側	径6.6・厚1.9		ニレ科ハルニレ	片面に朱漆、側縁は黒漆。中央に穿孔
1517		下駄			1号	溝	696	長18.3×幅10.4×厚1.6×歯高1.4	柱目材	モクレン科ホオノキ	一本連歯 右足用
1518		下駄			1号	溝	643	長16.2×幅9.2×厚1.0×歯高2.2	板目材	カバノキ科ハンノキ?	一本連歯 左足用
1519		下駄形製品			1号	溝	埋土一括	長10.5×幅5.9×厚3.5	柱目材	ブナ科コナラ節	歯状凸部に1孔貫通
1520	板材	黒漆塗臍脚			1号	溝	埋土一括	長23.9×幅4.6×厚1.1	柱目材	スギ	下縁弧状に抉り、上縁に盆部接合接着材
1521	板材				1号	溝	560	長21.1×幅7.4×厚1.9×孔径2.2	板目材		やや片端に円孔短辺は弧状の反り
1522	板材	組板材			1号	溝	埋土一括	長22.0×幅8.9×厚1.8	柱目材	スギ?	片端両側に結合木釘孔2痕あり
1523	板材	桶底板			1号	溝	埋土一括	長23.8×幅7.2×厚1.1	柱目材	スギ	両側結合木釘孔4痕あり
1524	板材	桶側板?	2		1号	溝	一括	長12.6×幅5.4×厚1.2	柱目材	マメ科ネムノキ	片端に底板受け溝あり
1525	板材	桶底板			1号	溝	埋土一括	長16.4×幅6.9×厚0.4	柱目材	スギ	
1526	板材	曲物蓋板			1号	溝	埋土一括	長7.4×幅4.2×厚0.4	柱目材	スギ	樺皮結合材1所にあり
1527	漆容器	桶底?板			1号	溝	642	復元径19・現幅7.6・厚0.6		スギ	表裏両面黒漆塗り
1528	板材	桶底板			1号	溝	埋土一括	長12.1×幅7.6×厚1.4	板目材	スギ	結合木釘孔1痕あり
1529	板材	桶底板			1号	溝	埋土一括	長12.0×幅3.6×厚0.9	柱目材	スギ	結合木釘孔2痕あり
1530		陽物形製品	4		1号	溝	下層一括	長14.6×径4.0	丸木材	アカマツ	片端は杭状に尖らす
1531	板材	不明			1号	溝	埋土一括	長8.9×幅3.4×厚0.7	柱目材	スギ	両側に等間抉り痕あり
1532		部材?	4		1号	溝	下層一括	長6.2×幅1.6×厚1.2	柱目材	ニレ科ケヤキ or ハルニレ	面取り状に丁寧な加工
1533		棒状製品	4		1号	溝	394	長48.0×径3.5	丸木材	クヌギ	先2面カット
1534		部材			1号	溝	25	長36.6×径5.1	丸木材	アカマツ	片端出ほぞ残身部2面に面取り状加工
1535	板材		4		1号	溝	埋土	長28.2×幅2.0×厚0.5径	柱目材		両端に小孔
1536	板材	篋状製品	4		1号	溝	一括	長26.4×幅2.1×厚0.8	柱目材	ヒノキ科ヒノキ	316と接合
1537		棒状製品	4		1号	溝	下層一括	長13.8×幅1.5×厚1.9	柱目材	マツ	身部面取り状に加工 先2面カット
1538		杭?	2		1号	溝	一括	長24.5×径5.3×2.8	丸木材	アカマツ	片端抉りを入れ細める
1539	板材		4		1号	溝	一括	長17.4×幅7.5×厚1.5	板目材	マツ	
1540	角材	不明			1号	溝	埋土一括	長14.6×幅2.5×厚1.4	角材	アカマツ	
1541	板材		4		1号	溝	一括	長9.4×幅2.0×厚0.4	柱目材	マツ	
1542	板材	不明			1号	溝	埋土一括	長7.5×幅2.4×厚1.0	柱目材	スギ	
1543	板材	不明			1号	溝	埋土一括	長8.1×幅3.0×厚1.1	柱目材	スギ	
1544	板材	不明			1号	溝	埋土一括	長9.6×幅3.9×厚1.8	木口材	スギ	
1545	板材	不明			1号	溝	31	長16.2×幅9.5×厚2.4	板目材	マツ	焦げ痕あり
1546	角材				1号	溝	332	長10.0×径3.4		スギ	
1547	板材				1号	溝	582	長34.2×幅9.2×厚3.0	板目材	マツ	
1548	板材	桶側板?	2		1号	溝	一括	長14.7×幅5.4×厚0.8	板目材	スギ	
1549	板材	桶側板?	4		1号	溝	一括	長13.5×幅9.5×厚1.3	柱目材	スギ	たが痕残る
1550	板材	桶側板?			1号	溝	埋土一括	長13.0×幅3.2×厚1.2	柱目材	スギ	
1551	板材	桶底板?			1号	溝	埋土一括	長9.9×幅3.6×厚1.0	柱目材	スギ	
1552	板材	桶側板?			1号	溝	埋土一括	長9.8×幅3.4×厚1.2	柱目材	スギ	
1553	板材	不明			1号	溝	埋土一括	長22.8×幅2.1×厚0.9	板目材	スギ	
1554	板材	不明			1号	溝	埋土一括	長29.7×幅4.0×厚1.0	板目材	スギ?	
1555	板材	桶底板			1号	溝	埋土一括	長29.5×幅7.2×厚1.2	柱目材	スギ	
1556	板材	桶底板			1号	溝	埋土一括	長23.9×幅4.8×厚1.1	柱目材	スギ	
1557	板材	不明			1号	溝	36	長18.6×幅4.8×厚1.1	板目材	スギ	先2面カット
1558	板材	不明			1号	溝	埋土一括	長20.9×幅4.1×厚1.0	柱目材	スギ	
1559	板材		4		1号	溝	380	長11.4×幅5.5×厚1.2	板目材	スギ?	
1560	板材				1号	溝	355	長14.5×幅5.5×厚1.2	板目材	スギ?	
1561		杭			1号	溝	320	長33.2×径3.8	丸木材	マツ	先4面カット
1562		杭			1号	溝	326	長23.4×径3.9	丸木材	アカマツ	先4面カット
1563		杭			1号	溝	319	長48.4×径3.8	丸木材	マツ	
1564		杭			1号	溝	321	長36.5×径3.6	丸木材	マツ	先5面カット
1565		杭			1号	溝	323	長33.3×径3.8	丸木材	マツ	
1566		杭			1号	溝	317	長37.3×径3.0	丸木材	マツ	先3面カット
1567		杭	1		1号	溝	321	長45.9×径3.7	丸木材	アカマツ	先5面カット
1568		杭			1号	溝	314	長52.2×径4.5	丸木材	ブナ科コナラ節	
1569		杭			1号	溝	312	長31.5×径4.5	丸木材	アカマツ	先5面カット
1570		杭	3		1号	溝	316	長40.2×径4.3	丸木材	クヌギ	先4面カット
1571		杭			1号	溝	307	長66.5×径4.8	丸木材	アカマツ	4面カット

発見された遺構と出土遺物

第37表 木製品遺物観察表(2)

杭：径5cm以下丸木材・5cm以上丸太材

番号	種別	器形	区面	遺構名	遺構種	取上番号	計測値	木取り	樹種	形・成調整等
1572		杭		1号	溝	306	長69.8×径4.0	丸木材	マツ	5面カット
1573		杭		1号	溝	305	長69.2×径5.2	丸太材	アカマツ	7面カット
1574		杭		1号	溝	298	長55.0×径8.5	丸太材	アカマツ	4面カット
1575		杭		1号	溝	302	長43.8×径4.2	丸木材	アカマツ	先6面カット
1576		杭		1号	溝	301	長34.2×径3.6	丸木材	アカマツ?	先7面カット
1577		杭		1号	溝	299	長75.9×径5.1	丸太材	アカマツ	5面カット
1578		杭	3	1号	溝	503	長23.1×径3.2	丸木材	マツ	先5面カット
1579		杭		1号	溝	295	長34.9×径3.5	丸木材	ブナ科コナラ節	先5面カット
1580		杭	3	1号	溝	510	長27.1×径4.3	丸木材	アカマツ	先5面カット
1581		杭	3	1号	溝	297	長70.0×径5.0	丸太材	モクセイ科シオジ?	5面カット
1582		杭	3	1号	溝	498	長20.1×径4.6	丸木材	アカマツ	先6面カット
1583		杭	1	1号	溝	296	長39.2×径3.6	丸木材	アカマツ	先5面カット
1584		杭	3	1号	溝	691	長99.6×径4.3	丸木材	アカマツ	5面カット
1585		杭	3	1号	溝	284	長110.0×径4.2	丸木材	アカマツ	5面カット
1586		杭	3	1号	溝	282	長123.2×径5.2	丸太材	マツ	5面カット
1587		杭		1号	溝	291	長78.2×径4.8	丸木材	アカマツ	4面カット
1588		杭		1号	溝	293	長47.6×径4.0	丸木材	アカマツ	先5面カット
1589		杭	3	1号	溝	511	長41.0×径3.9	丸木材	マツ	先3面+ α カット
1590		杭	3	1号	溝	515	長64.3×径4.9	丸木材	カバノキ科ハンノキ	4面カット
1591		杭	1	1号	溝	294	長77.6×径4.8	丸木材	アカマツ	6面カット
1592		杭	3	1号	溝	289	長62.1×径4.0	丸木材	アカマツ	5面カット
1593		杭	3	1号	溝	265	長71.2×径5.0	丸木材	アカマツ	4面カット
1594		杭	3	1号	溝	514	長79.8×径4.3	丸木材	アカマツ	5面カット
1595		杭	3	1号	溝	262	長68.8×径3.8	丸木材	マツ	5面カット
1596		杭	3	1号	溝	250	長67.3×径3.9	丸木材	アカマツ	5面カット
1597		杭		1号	溝	512	長76.4×径5.1	丸太材	アカマツ	8面カット
1598	角材	杭	3	1号	溝	253	長46.1×幅3.0×厚2.2		スギ	転用材か
1599		杭	3	1号	溝	248	長32.6×径3.5	丸木材	ブナ科クリ?	先4面カット
1600		杭	2	1号	溝	213	長26.6×径5.6	丸太材	マツ	先3面カット+ α
1601		杭	2	1号	溝	214	長29.6×径4.6	丸木材	マツ	先4面カット
1602		杭	3	1号	溝	247	長30.7×径3.7	丸木材	ブナ科クリ?	先4面カット
1603		杭	3	1号	溝	257	長40.9×径4.0	丸木材	アカマツ	先5面カット
1604		杭		1号	溝	513	長60.2×径3.6	丸木材	アカマツ	先3面カット
1605		杭	3	1号	溝	290	長50.3×径3.8	丸木材	アカマツ	
1606		杭	3	1号	溝	246	長54.5×径3.9	丸木材	アカマツ	先4面カット
1607		杭	2	1号	溝	680	長50.3×径5.1	丸太材	マツ	先2面カット
1608		杭	2	1号	溝	678	長38.0×径3.4	丸木材	マツ	先3面カット
1609		杭	2	1号	溝	554	長16.4×径4.8	丸木材	マツ	先4面カット
1610		杭		1号	溝	208	長26.6×径2.2	丸木材	マツ	先2面カット
1611	板材		2	1号	溝	679	長19.7×幅11.3×厚3.7	板目材	マツ	
1612		杭	3	1号	溝	237	長42.0×径2.7	丸木材	アカマツ	先5面カット
1613		杭	3	1号	溝	236	長42.5×径3.5	丸木材	ブナ科コナラ節	先2面カット
1614		杭		1号	溝	155	長17.0×径2.4	丸木材	マツ	先1面カット
1615		杭		1号	溝	149	長45.6×径2.6	丸木材	マツ	先6面カット
1616		杭		1号	溝	354	長46.5×径4.7	丸木材	アカマツ	先5面カット
1617		杭		1号	溝	174	長70.7×径3.8	丸木材	アカマツ	
1618		杭		1号	溝	156	長39.4×径2.9	丸木材	マツ	先3面カット
1619		杭	1	1号	溝	160	長81.2×径5.4	丸太材	ドロノキ	先6面カット
1620		杭		1号	溝	158	長48.4×径4.3	丸木材	アカマツ	
1621		杭		1号	溝	157	長44.4×径3.6	丸木材	マツ	
1622		杭		1号	溝	161	長81.4×径5.6	丸太材	マツ	3面+ α カット
1623		杭		1号	溝	159	長40.6×径3.0	丸木材	アカマツ	先5面カット
1624		杭	2	1号	溝	143	長42.0×径2.7	丸木材	マツ	先6面カット
1625		杭		1号	溝	341	長15.8×径2.0	丸木材	マツ	先1面+ α カット
1626		杭	1	1号	溝	669	長18.4×径2.1	丸木材	アカマツ	先4面カット
1627		杭	1	1号	溝	666	長34.7×径3.4	丸木材	マツ	先3面カット
1628		杭	1	1号	溝	622	長40.0×径3.7	丸木材	アカマツ	先5面カット
1629		杭		1号	溝	620	長34.7×径7.0	丸太材	アカマツ	先6面カット
1630		杭	2	1号	溝	675	長37.7×径2.9	丸木材	マツ	先3面カット
1631		杭	1	1号	溝	670	長39.6×径5.3	丸太材	アカマツ	先3面カット
1632		杭	1	1号	溝	668	長38.0×径3.4	丸木材	マツ	先4面カット
1633		杭	1	1号	溝	663	長41.8×径5.8	丸太材	マツ	先3面カット
1634		杭		1号	溝	570	長38.7×径4.2	丸木材	アカマツ	先4面カット
1635		杭		1号	溝	625	長28.2×径2.8	丸木材	アカマツ	先5面カット

発見された遺構と出土遺物

第38表 木製品遺物観察表(3)

杭：径5cm以下丸木材・5cm以上丸太材

番号	種別	器形	区面	遺構名	遺構種	取上番号	計測値	木取り	樹種	形・成調整等
1636		杭	4	1号	溝	624	長31.0×径3.8	丸木材	アカマツ	先5面カット
1637		杭	2	1号	溝	581(2)	長24.8×径3.8	丸木材	アカマツ	先6面カット
1638		杭	2	1号	溝	581	長34.9×径4.2	丸木材	アカマツ	先4面カット
1639		杭		1号	溝	619	長29.1×径7.1	丸太材	アカマツ	先5面カット
1640		杭		1号	溝	616	長25.0×径4.4	丸木材	アカマツ	
1641		杭	1	1号	溝	662	長22.7×径4.7	丸木材	マツ	先5面カット
1642		杭		1号	溝	625	長53.2×径2.5	丸木材	アカマツ	
1643		杭		1号	溝	613	長43.9×径2.8	丸木材	アカマツ	
1644		杭	1	1号	溝	661	長23.0×径7.7	丸太材	アカマツ	先5面カット
1645		杭	1	1号	溝	673	長16.0×径2.8	丸木材	アカマツ	先4面カット
1646		杭		1号	溝	619	長47.3×径5.5	丸太材	アカマツ	先2面カット
1647		杭	2	1号	溝	120	長91.8×径4.7	丸木材	スギ	5面カット
1648		杭	1	1号	溝	609	長57.9×径3.7	丸木材	マツ	先6面カット
1649		杭		1号	溝	617	長44.2×径4.1	丸木材	アカマツ	先5面カット
1650		杭	1	1号	溝	614	長24.9×径3.5	丸木材	アカマツ	
1651		杭		1号	溝	611	長31.6×径3.7	丸木材	アカマツ	先5面カット
1652		杭		1号	溝	605	長36.6×径4.0	丸木材	アカマツ	先4面カット
1653		杭		1号	溝	606	長22.5×径3.2	丸木材	アカマツ	先4面カット
1654		杭		1号	溝	612	長27.6×径3.6	丸木材	マツ	先4面カット
1655		杭		1号	溝	575	長42.6×径3.9	丸木材	アカマツ	先3面カット
1656		杭		1号	溝	572	長60.2×径5.6	丸太材	アカマツ	6面カット
1657		杭		1号	溝	559	長51.3×径4.2	丸木材	アカマツ	先6面カット
1658		杭		1号	溝	573	長69.0×径4.0	丸木材	アカマツ	5面カット
1659		杭	1	1号	溝	660	長42.8×径4.7	丸木材	アカマツ	先4面カット
1660		杭	1	1号	溝	603	長94.5×径3.9	丸木材	カバノキ科ハンノキ	4面カット
1661		杭	1	1号	溝	588	長93.5×径8.8	丸太材	ブナ科コナラ節	5面+ α カット
1662		杭		1号	溝	574	長46.7×径3.9	丸木材	アカマツ	先5面カット
1663		杭	1	1号	溝	607	長37.0×径3.9	丸木材	アカマツ	
1664		杭		1号	溝	658	長30.5×径4.4	丸木材	マツ	先2面カット
1665		杭	1	1号	溝	657	長43.0×径4.1	丸木材	カバノキ科ハンノキ	先2面カット+ α
1666		杭		1号	溝	600	長48.1×径3.4	丸木材	アカマツ	先4面カット
1667		杭		1号	溝	585	長65.7×径4.7	丸木材	アカマツ	6面カット
1668		杭	1	1号	溝	593	長52.3×径4.4	丸木材	アカマツ	先5面カット
1669		杭		1号	溝	583	長41.0×径4.9	丸太材	ニレ科ケヤキ	先7面カット
1670		杭	1	1号	溝	597	長68.5×径3.3	丸木材	マツ	4面カット
1671		杭	1	1号	溝	656	長35.3×径3.3	丸木材	カバノキ科ハンノキ	先4面カット
1672		杭		1号	溝	595	長36.7×径4.9	丸木材	アカマツ	先4面カット
1673		杭		1号	溝	594	長41.3×径4.7	丸木材	アカマツ	先3面+ α カット
1674		杭	1	1号	溝	583	長28.0×径3.3	丸木材	マツ	先3面カット
1675		杭		1号	溝	564	長51.6×径4.0	丸木材	アカマツ	
1676		杭		1号	溝	587	長35.5×径4.1	丸木材	ニレ科ムクノキ	先3面+ α カット
1677		杭		1号	溝	569	長32.3×径2.7	丸木材	アカマツ	先4面カット
1678		杭	1	1号	溝	591	長59.7×径3.7	丸木材	マツ	4面カット
1679		杭		1号	溝	567	長36.6×径2.8	丸木材	アカマツ	先4面カット
1680		杭	1	1号	溝	592	長31.1×径3.6	丸木材	アカマツ	先1面カット
1681		杭		1号	溝	47	長71.6×径3.6	丸木材	マツ	5面カット
1682		杭		1号	溝	81	長43.5×径3.4	丸木材	アカマツ?	先7面カット
1683		杭		1号	溝	79	長47.0×径4.6	丸木材	アカマツ	
1684		杭		1号	溝	655	長29.6×径4.0	丸木材	アカマツ	先4面カット
1685		杭		1号	溝	689	長23.0×径4.4	丸木材	マツ	先6面カット
1686		杭		1号	溝	78	長49.9×径3.6	丸木材	アカマツ	先4面カット
1687		杭		1号	溝	633	長28.2×径4.1	丸木材	アカマツ	先3面カット
1688		杭		1号	溝	73	長51.4×径5.1	丸太材	アカマツ	先5面カット
1689		杭		1号	溝	69	長56.4×径5.0	丸太材	アカマツ	先4面カット
1690		杭		1号	溝	70	長52.2×径3.3	丸木材	ブナ科コナラ節?	先5面+ α カット
1691		杭		1号	溝	634	長48.2×径5.0	丸太材	カヤ?	先6面カット
1692		杭		1号	溝	71	長81.6×径5.9	丸太材	マツ	4面カット
1693		杭		1号	溝	65	長30.0×径5.4	丸太材	アカマツ	先5面カット
1694		杭		1号	溝	467	長27.3×径4.6	丸木材	カバノキ科ハンノキ	先4面カット
1695		杭		1号	溝	61	長37.8×径3.1	丸木材	アカマツ	先4面カット
1696		杭		1号	溝	654	長39.0×径4.2	丸木材	スギ	先4面カット
1697		杭		1号	溝	63	長48.9×径5.5	丸太材	アカマツ	先4面カット
1698		杭	1	1号	溝	59	長35.3×径3.3	丸木材	アカマツ	先4面カット
1699		杭		1号	溝	652	長36.9×径5.1	丸太材	アカマツ	先8面カット

発見された遺構と出土遺物

第39表 木製品遺物観察表(4)

杭：径5cm以下丸木材・5cm以上丸太材

番号	種別	器形	区	面	遺構名	遺構種	取上番号	計測値	木取り	樹種	形・成調整等
1700		杭			1号	溝	68	長70.7×径3.4	丸木材	カバノキ科ハンノキ	5面カット
1701		杭			1号	溝	466	長46.2×径4.4	丸木材	アカマツ	先4面カット
1702		杭			1号	溝	463	長52.5×径4.5	丸木材	アカマツ	先4面カット
1703		杭			1号	溝	58	長58.9×径5.8	丸太材	アカマツ	先3面カット
1704		杭			1号	溝	651	長33.2×径3.9	丸木材	アカマツ	先4面カット
1705		杭	1		1号	溝	650	長21.2×径3.5	丸木材	アカマツ	先4面カット
1706		杭			1号	溝	55	長32.0×径3.4	丸木材	アカマツ	先3面カット
1707		杭			1号	溝	43	長27.4×径1.6	丸木材	アカマツ	先3面カット
1708		杭			1号	溝	630	長50.5×径3.8	丸木材	アカマツ?	先5面カット
1709		杭			1号	溝	632	長94.5×径5.0	丸太材	マツ	5面カット
1710		杭			1号	溝	54	長36.4×径3.7	丸木材	アカマツ	先4面カット
1711		杭			1号	溝	57	長59.4×径3.2	丸木材	ブナ科クリ	先2面カット
1712		杭			1号	溝	56	長42.6×径3.3	丸木材	アカマツ	先4面カット
1713		杭			1号	溝	629	長49.0×径4.3	丸木材	アカマツ	先5面カット
1714		杭			1号	溝	42	長23.1×径5.4	丸太材	アカマツ	先5面カット
1715		杭			1号	溝	628	長36.2×径4.3	丸木材	アカマツ	先7面カット
1716		杭			1号	溝	627	長12.5×径3.4	丸木材	カバノキ科ハンノキ	先5面カット
1717		杭			1号	溝	32	長72.8×径4.7	丸木材	マツ	4面カット
1718		杭			1号	溝	623	長48.8×径4.5	丸木材	アカマツ	先4面カット
1719		杭			1号	溝	26	長48.4×径3.4	丸木材	カバノキ科ハンノキ	先4面カット
1720		杭			1号	溝	24	長17.4×径5.8	丸太材	アカマツ	先6面カット
1721		杭			1号	溝	22	長18.9×径4.8	丸木材	アカマツ	先6面カット
1722		丸太片			1号	溝	627	長16.0×径9.6	丸太材	マツ	
1723		杭			1号	溝	34	長31.3×径5.5	丸太材	アカマツ	先3面+αカット
1724		杭	1		1号	溝	639	長34.4×径3.6	丸木材	アカマツ	先2面カット
1725		杭			1号	溝	21	長32.2×径7.8	丸太材	アカマツ	先7面カット
1726		杭			1号	溝	23	長49.6×径3.3	丸木材	マツ	
1727		杭			1号	溝	29	長43.2×径4.0	丸木材	カバノキ科ハンノキ	先4面カット
1728		杭			1号	溝	19	長33.0×径4.3	丸木材	アカマツ	先3面カット
1729		杭	1		1号	溝	464	長51.3×径4.0	丸木材	アカマツ	先5面カット
1730		杭			1号	溝	14	長36.3×径3.9	丸木材	アカマツ	先4面カット
1731		杭			1号	溝	17-1	長31.2×径2.9	丸木材	アカマツ	先5面カット
1732		杭			1号	溝	17-2	長35.9×径5.6	丸太材	アカマツ	先6面カット
1733		杭			1号	溝	16	長29.9×径3.1	丸木材	アカマツ	先4面カット
1734		杭			1号	溝	15	長17.9×径4.0	丸木材	ブナ科アカガシ or コナラ節	先4面カット
1735		杭	1		1号	溝	604	長34.5×径5.0	丸太材	アカマツ	先5面カット
1736		杭			1号	溝	626	長45.6×径4.8	丸木材	アカマツ	先4面カット
1737		杭			1号	溝	13	長42.3×径3.0	丸木材	ブナ科コナラ節	
1738		杭			1号	溝	10	長36.3×径5.0	丸太材	アカマツ	先5面カット
1739		杭			1号	溝	11	長50.7×径6.0	丸太材	アカマツ	先4面カット
1740		杭	1		1号	溝	5	長40.7×径4.7	丸木材	アカマツ	先4面カット
1741		杭			1号	溝	468	長33.8×径4.9	丸木材	アカマツ	先3面+αカット
1742		杭			1号	溝	472	長25.3×径5.1	丸太材	アカマツ	先4面カット
1743		杭			1号	溝	1	長62.5×径5.6	丸太材	アカマツ	4面カット
1744		杭	1		1号	溝	638	長27.6×径4.7	丸木材	アカマツ	先7面カット
1745		杭			1号	溝	3	長26.0×径3.3	丸木材	カバノキ科ハンノキ	先4面カット
1746		杭			1号	溝	6	長58.5×径3.1	丸木材	アカマツ	先5面カット
1747		杭			1号	溝	6	長50.3×径6.2	丸太材	アカマツ	先7面カット
1748		杭			1号	溝	469	長46.7×径2.7	丸木材	カバノキ科ハンノキ	先4面カット
1749		杭	1		1号	溝	一括	長50.2×径4.0	丸木材	アカマツ	先3面カット
1750		杭	2		1号	溝	一括	長31.7×径7.5	丸太材	アカマツ	
1751		杭	4		1号	溝	下層一括	長19.5×径4.2	丸木材	アカマツ	先3面カット
1752		杭			1号	溝	仮-2	長40.4×径3.7	丸木材	ブナ科アカガシ or コナラ節	先4面カット
1753		杭			1号	溝	埋土一括	長25.2×径3.8	丸木材	カバノキ科ハンノキ	先4面カット
1754		杭			1号	溝	一括	長60.0×径4.2	丸木材	ブナ科コナラ節	先4面カット
1755		杭			1号	溝	埋土一括	長37.9×径2.1	丸木材	マツ	先1面カット
1756		杭			1号	溝	一括	長39.5×径3.8	丸木材	マツ	先5面カット
1757		杭			1号	溝	一括	長35.7×径4.0	丸木材	針葉樹	先5面+αカット
1758		杭			1号	溝	一括	長35.1×径4.9	丸木材	マツ	先4面カット
1759		杭			1号	溝	南西	長56.5×径3.8	丸木材	ブナ科アカガシ	先4面カット
1760		杭	3		1号	溝	690	長71.5×径4.4	丸木材	アカマツ	4面カット
1761		杭			1号	溝	埋土一括	長36.4×径4.2	丸木材	アカマツ	先4面カット
1762		杭			1号	溝	埋土一括	長38.9×径3.2	丸木材	アカマツ	先5面カット
1763		杭			1号	溝	埋土一括	長18.8×径3.5	丸木材	マツ	先4面カット

発見された遺構と出土遺物

第40表 木製品遺物観察表(5)

杭：径5cm以下丸木材・5cm以上丸太材

番号	種別	器形	区	面	遺構名	遺構種	取上番号	計測値	木取り	樹種	形・成調整等
1764		杭			1号	溝	埋土一括	長17.5×径4.0	丸木材	アカマツ	先3面カット
1765		杭	3		1号	溝	仮1	長55.8×径4.2	丸木材	ブナ科クリ	先4面カット
1766		杭			1号	溝	仮-4	長21.6×径2.3	丸木材	マツ	先1面カット
1767		杭			1号	溝	仮-3	長28.9×径4.5	丸木材	ブナ科スダジイ?	先4面カット
1768		杭			1号	溝	516	長74.0×径5.7	丸太材	マツ	5面カット
1769		杭	2		1号	溝	一括	長71.8×径4.0	丸木材	ブナ科コナラ節	6面カット
1770		杭			1号	溝	仮-6	長34.3×径3.7	丸木材	マツ	先4面カット
1771		杭	2		1号	溝	一括	長27.2×径3.5	丸木材	アカマツ	
1772		杭			1号	溝	埋土一括	長31.2×径3.2	丸木材	アカマツ	先5面カット
1773		杭			1号	溝	埋土一括	長25.3×径3.0	丸木材	アカマツ	先1面カット
1774		杭	4		1号	溝	下層一括	長11.9×径1.9	丸木材	アカマツ	先4面カット
1775		杭			1号	溝	埋土一括	長14.3×径3.0	丸木材	アカマツ	先1面カット
1776		杭			1号	溝	埋土一括	長14.7×径4.8	丸木材	マツ	先4面カット
1777		杭			1号	溝	埋土一括	長34.5×径2.0	丸木材	モクセイ科シオジ	先2面カット
1778		杭			1号	溝	埋土一括	長16.1×径4.2	丸木材	アカマツ	先7面カット
1779		杭			1号	溝	埋土一括	長24.5×径3.9	丸木材	マツ	先3面カット
1780		杭	2		1号	溝		長33.9×径4.8	丸木材	マツ	
1781		杭			1号	溝	埋土一括	長19.6×径5.2	丸太材	クルミ科オニクルミ	先4面カット
1782		杭	4		1号	溝	下層一括	長13.2×径2.6	丸木材	アカマツ	先5面カット
1783		杭			1号	溝	埋土一括	長16.8×径3.3	丸木材	アカマツ	先9面カット
1784		杭			1号	溝	仮-5	長20.2×径4.5	丸木材	ブナ科スダジイ?	先2面+αカット
1785		杭			1号	溝	埋土一括	長15.0×径3.1	丸木材	アカマツ	先4面カット
1786		杭			1号	溝	埋土一括	長17.6×径2.5	丸木材	アカマツ	先6面カット
1787		杭	4		1号	溝	下層一括	長10.9×径3.3	丸木材	バラ科ヤマザクラ	先2面カット
1788		杭	1		1号	溝	667	長19.9×径4.4	丸木材	マツ	先4面カット
1789		杭	2		1号	溝	一括	長17.9×径3.7	丸木材	マツ	
1790		杭	2		1号	溝	一括	長17.2×径3.6	丸木材	アカマツ	
1791		杭	2		1号	溝	一括	長17.5×径3.2	丸木材	アカマツ	
1792		杭	2		1号	溝	一括	長24.8×径2.6	丸木材	ブナ科コナラ節	
1793		杭	2		1号	溝	一括	長13.8×径4.0	丸木材	アカマツ	
1794		杭	2		1号	溝	一括	長13.0	丸木材	アカマツ	
1795		杭	2		1号	溝	一括	長20.2×径1.8	丸木材	マツ	
1796		杭	2		1号	溝	一括	長5.3×径2.2	丸木材	ツゲ科ツゲ	
1797		杭	2		1号	溝	一括	長7.4×径2.8	丸木材	アカマツ	
1798		杭	2		1号	溝	一括	長5.8×径2.8	丸木材	カバノキ科ハンノキ	2面+αカット
1799		杭	2		1号	溝	一括	長10.5×径2.8	丸木材	マツ	
1800		杭	2		1号	溝	一括	長8.6×径2.5	丸木材	アカマツ	
1801		棒状製品	2		1号	溝	一括	長10.0×径2.2	丸木材	マツ	
1802		杭	2		1号	溝	一括	長15.6×径3.2	丸木材	アカマツ	
1803		杭	2		1号	溝	一括	長9.8×径3.0	丸木材	アカマツ	6面カット
1804		杭	2		1号	溝	一括	長10.8×径2.2	丸木材	ニレ科ムクノキ	
1805		杭	2		1号	溝	一括	長29.0×径5.0	丸太材	マツ	
1806		杭	2		1号	溝	一括	長9.0×径3.8	丸木材	アカマツ	
1807		杭	2		1号	溝	一括	長16.6×径2.7	丸木材	アカマツ	
1808		杭	2		1号	溝	一括	長11.6×径5.0	丸太材	アカマツ	
1809		杭	2		1号	溝	一括	長15.0×径5.7	丸太材	アカマツ	
1810		杭	3		1号	溝	693	長23.9×径2.5	竹		先2面カット
1811		杭状			1号	溝	292	長32.3×径3.7 ※但し計測値は現況以下同	丸	竹	先2面カット
1812	漆容器	椀(口縁端欠多)			2号	溝	2162	口径13・底径6.5・高(3.9)		広葉樹	内外黒漆地、外体底朱漆文、見込朱漆文
1813	漆容器	椀(14片)			2号	溝	南東	口径16・底径7.7・高(9)		モクセイ科シオジ	内外黒漆地、外体朱漆文
1814	漆容器	椀(体部欠)			2号	溝	橋部	底径7.3・現高4.2・底厚2.2		ウルシ科ヌルデ?	内外黒漆地
1815	漆容器	椀(底部)			2号	溝	一括	底径7・底部厚2		カバノキ科ハンノキ	黒漆地、底部十字朱文
1816	漆容器	椀(体部のみ)			2号	溝	一括	現高5.5		カバノキ科ハンノキ	内外黒漆地
1817		曲物側板			2号	溝	一括	径18.0		スギ	3個所に樺皮留め痕あり
1818	板材	桶底板			2号	溝	一括	長12.7×厚1.1	榎目材	アカマツ	側板留め木釘痕3個所あり
1819	板材	桶底板?			2号	溝	一括	長19.4×幅7.1×厚1.1	榎目材	アカマツ	
1820		下駄			2号	溝	2119	長18.1×幅6.2×厚1.0、歯高1.4	榎目材	トチノキ科トチノキ	歯は切り出し
1821		棒状製品			2号	溝	一括	長14.1×径5.4	丸太材	アカマツ	片端挟りを巡らせ円頭状に作る陽物?
1822		棒状製品			2号	溝	一括	長8.9×径2.9	丸木材	アカマツ	片端挟りを巡らす
1823		道具柄			2号	溝	一括	長16.4×径3.4	丸木材	アカマツ	片端に差し込み孔あり
1824		道具柄			2号	溝	一括	長11.3×径3.8	丸木材	ブナ科ヌギ節	角状先細りの差し込み孔穿つ

発見された遺構と出土遺物

第41表 木製品遺物観察表(6)

杭：径5cm以下丸木材・5cm以上丸太材

番号	種別	器形	区面	遺構名	遺構種	取上番号	計測値	木取り	樹種	形・成調整等
1825		?		2号	溝	一括	長11.6×径3.1	丸木材	カバノキ科ハンノキ	
1826		部材?		2号	溝	一括	長18.0×幅3.8×厚3.1	丸木材	カバノキ科ハンノキ?	両側を削り、平坦に加工
1827	板材			2号	溝	一括	長6.7×幅1.9×厚0.9	榎目材	マツ	
1828		串状製品		2号	溝	一括	長7.2×径1.7	丸木材	クワ科ヤマグワ?	
1829	板材			2号	溝	一括	長6.9×幅3.1×厚0.7	榎目材	ヒノキ科ヒノキ	
1830	板材			2号	溝	一括	長4.7×幅2.3×厚0.7	板目材	マツ	
1831		棒状製品		2号	溝	一括	長22.3×径3.6	割材?	ブナ科コナラ節	
1832		杭		2号	溝	71	長11.7×径3.1	丸木材	ブナ科クヌギ節	
1833	棒状	部材?		2号	溝	一括	長4.3×幅2.4×厚2.8	丸木材	ブナ科アカガシ	
1834		杭		2号	溝	一括	長13.2×径4.1	丸木材	スギ	先4面+αカット
1835		棒状製品		2号	溝	一括	長14.3×径3.7		ブナ科コナラ節	貫通小孔あり
1836		串状製品		2号	溝	一括	長10.2×径1.5	丸木材	アカマツ	先端部多面に削り細らし焦げる
1837		棒状製品		2号	溝	一括	長10.1×径2.9×2.2	丸木材	ニレ科ハルニレ	端部丸くカット
1838	板材	不明		2号	溝	最下層	長19.1×幅3.7×厚1.9	板目材	スギ	
1839	板材			2号	溝	一括	長16.5×幅2.7×厚0.4	榎目材	マツ	
1840	板材			2号	溝	一括	長18.5×幅3.5×厚1.0	榎目材	スギ?	
1841	角材	部材?		2号	溝	一括	長16.4×幅10.1×厚2.6	榎目材	マツ	
1842	板材			2号	溝	一括	長5.7×幅7.0×厚1.6	板目材	マツ	
1843	板材			2号	溝	一括	長23.8×幅5.2×厚1.3	板目材	マツ	
1844	角材	部材?		2号	溝	一括	長7.1×幅3.4×厚2.5		ニレ科ハルニレ	
1845	厚板材	不明		2号	溝	一括	長5.0×幅3.6×厚3.0	?	ニレ科ケヤキ	
1846	板材			2号	溝	一括	長6.8×幅8.0×厚3.1	榎目材	ブナ科コナラ	
1847	板材			2号	溝	一括	長11.4×幅5.4×厚2.4	榎目材	ブナ科コナラ節	
1848	建築材	橋脚部材?		2号	溝	2182-3	長98.5×幅19.8×厚19.8	角材	マツ	片端は組ほぞ
1849	建築材	橋脚部材?		2号	溝	2182-2	長30.2×幅14.7×厚16.7	角材	アカマツ	片端は組ほぞ
1850	建築材	柱部材		2号	溝	2180	長89.0×幅17.2×厚12.2	角材	マツ	
1851	板材			2号	溝	一括	長26.7×幅11.2×厚3.5	榎目材	アカマツ	形状不定、角釘3本刺さる
1852		橋脚部材?		2号	溝	2150	長188.3×幅13.3×厚12.5	角材	マツ	
1853		杭		2号	溝	2188	長91.7×径5.0	丸太材	アカマツ	6面カット
1854		杭		2号	溝	2195	長79.6×径10.5	丸太材	マツ	5面カット
1855		橋脚部材?		2号	溝	2208	長96.0×径12.1	丸太材	ブナ科クリ	7面カット
1856		杭		2号	溝	4	長22.8×径4.5	丸木材	モクセイ科シオジ?	先4面+αカット
1857		杭		2号	溝	一括	長9.7×径2.1	丸木材	ブナ科コナラ節	2面+αカット
1858		杭	1	2号	溝	2190	長19.0×径6.5	丸太材	マツ	先4面+αカット
1859		?		2号	溝	一括	長21.5×径1.3		アカマツ	先1面カット
1860		杭		2号	溝	41	長19.2×径5.8	丸太材	ノグルミ?	先5面カット
1861		杭		2号	溝	2203	長60.9×径5.1	丸太材	ブナ科コナラ節	4面カット
1862		橋脚部材?		2号	溝	2191	長70.2×径7.8	丸太材	マツ	4面カット
1863		橋脚部材?		2号	溝	2189	長71.2×径10.2	丸太材	ブナ科クリ or スダジイ	4面カット
1864		杭		2号	溝	一括	長37.6×径5.1	丸太材	ブナ科コナラ節	
1865		杭		2号	溝	2190	長92.8×径9.7	丸太材	ブナ科クリ or シイ?	6面カット
1866		杭		2号	溝	2192	長67.6×径6.8	丸太材	マツ	3面+αカット
1867		杭		2号	溝	一括	長18.2×径4.7	丸木材	アカマツ	先3面カット
1868		橋脚部材?		2号	溝	2205	長83.7×径10.0	丸太材	ブナ科コナラ節	5面カット
1869		杭		2号	溝	2213	長61.3×径4.0	丸木材	アカマツ	5面カット
1870		杭		2号	溝	一括	長43.5×径5.2	丸太材	マツ	先5面カット
1871		杭		2号	溝	2206	長43.5×径7.5	丸太材	ブナ科コナラ節	先4面カット
1872		杭		2号	溝	2196	長60.7×径7.8	丸太材	スギ	3面カット
1873		杭		2号	溝	2164	長30.4×径6.7	丸太材	マツ	先3面+αカット
1874		杭		2号	溝	2194	長37.3×径6.0	丸太材	ブナ科コナラ節	先3面カット
1875		杭		2号	溝	一括	長31.6×径4.7	丸木材	モクセイ科シオジ?	先3面+αカット
1876		杭	1	2号	溝	2207	長58.7×径13.0	丸太材	ブナ科アカガシ	6面カット
1877		杭		2号	溝	2197	長100.0×径6.6	丸太材	ブナ科コナラ節	4面カット
1878		杭		2号	溝	一括	長108.0×径4.8	丸木材	マツ	1面カット
1879		杭		2号	溝	2215	長85.6×径11.7	丸太材	ブナ科コナラ節	6面カット
1880		杭		2号	溝	一括	長55.7×径4.1	丸木材	ヤマザクラ	先8面カット
1881		杭		2号	溝	一括	長22.6×径2.1	丸木材	ブナ科コナラ節	先4面カット
1882		杭		2号	溝	一括	長44.1×2.5径	丸木材	ニレ科ムクノキ	先1面+αカット
1883		杭		2号	溝	2193	長18.0×径	丸木材	アカマツ	先1面+αカット
1884		杭		2号	溝	一括	長20.9×径3.1	丸木材	ブナ科コナラ節	先3面+αカット
1885				2号	溝	一括	長46.5×径3.7	丸	竹	先1面カット
1886	漆容器	椀(底部欠)		8号	溝	70	口径12・高(5.0)		モクセイ科シオジ	外黒漆地、内黒漆地上塗り朱漆
1887	漆容器	椀(体部欠)		8号	溝	南西	底径6.8・高(3.0)・底厚0.7		モクセイ科シオジ	外黒漆地、内朱漆
1888	漆容器	椀(底部高台欠)		8号	溝	101	底径残8.5・底厚2.8		ブナ科クリ	内外黒漆地に内面見込に朱漆残る

発見された遺構と出土遺物

第42表 木製品遺物観察表(7)

杭：径5cm以下丸木材・5cm以上丸太材

番号	種別	器形	区	面	遺構名	遺構種	取上番号	計測値	木取り	樹種	形・成調整等
1889	漆容器	椀(高台部欠)			8号	溝	78	底径6.3・底厚0.9		モクセイ科シオジ	見込部に黒漆残る
1890	板材	?			8号	溝	128	長14.0×幅7.8×厚0.8、 凸厚2.1	榎目材	針葉樹	片面中央歯状の凸部
1891	板材	不明			8号	溝	600	長21.0×幅8.5×厚0.8	榎目材	ヒノキ科ヒノキ	
1892	板材	桶底板			8号	溝	408	長27.5×幅10.2×厚0.4	榎目材	スギ?	
1893		桶底板			8号	溝	463	長14.4×幅7.7×厚0.4、 径10.5	榎目材	針葉樹	
1894	板材				8号	溝	429	長17.0×幅4.3×厚0.6	榎目材	マツ	
1895	板材	不明			8号	溝	408	長21.1×幅8.3×厚0.5	榎目材	スギ?	
1896	板材	不明			8号	溝	一括	長23.4×幅8.9×厚0.9	板目材	ヒノキ?	釘穴?一個所
1897		棒状製品			8号	溝	一括	長3.5×径2.2	丸木材	ブナ科	先端部丸くカット
1898	板材				8号	溝	400	長37.3×幅11.5×厚3.4	榎目材	アカマツ	
1899	板材				8号	溝	79	長63.1×幅8.1×厚1.1	榎目材	ニレ科ケヤキ	
1900	板材	不明			8号	溝	304	長7.9×幅3.4×厚1.4	板目材	マツ	穿孔あり炭化
1901		杭			8号	溝	402	長30.0×径8.0	丸太材	マツ	先3面+αカット
1902		?			8号	溝	437	長29.3×径3.9	丸木材	マツ	先端焼け痕あり
1903		杭			8号	溝	278	長66.7×径4.2	丸木材	アカマツ	5面カット
1904		杭?			8号	溝	438	長18.5×径8.5	丸太材	アカマツ	先2面カット
1905		杭			8号	溝	112	長22.0×径2.0	丸木材	アカマツ	先1面カット
1906		杭			8号	溝	241	長20.1×径3.2	丸木材	マツ	
1907		杭			8号	溝	273	長30.7×径4.0	丸木材	マツ	先2面+αカット焼け痕あり
1908		杭			8号	溝	277	長86.2×径5.2	丸太材	マツ	3面カット
1909		杭			9号	溝		長37.4×径5.1	丸太材	アカマツ	先5面カット
1910		杭			37号	溝	一括	長21.0×径4.8	丸木材	ブナ科コナラ節	先5面カット
1911	漆容器	椀(体~高台)			2号	井戸	20	口径14・底径7.5・高(6.7)		ブナ科スダジイ?	黒漆地、見込と体朱漆文
1912		杭			2号	井戸	一括	長27.6×径4.5	丸木材	ブナ科コナラ節	先6面カット
1913		柱部材			2号	井戸	19	長120.5×幅7.5×厚6.3	角材	カバノキ科ハンノキ?	
1914		杭			3号	井戸	一括	長44.5×径5.5	丸木材	ブナ科コナラ節	先3面カット
1915	板材	桶底板			6号	井戸	一括	4点に破断 厚0.6~0.7	榎目材	スギ	
1916	漆容器	椀			7号	井戸	20	口径13.8・底径7・高(5.2)		ニレ科エノキ?	外黒漆地、内朱漆・体朱漆文
1917	漆容器	椀			7号	井戸	一括	現高4.9		ツバキ科	
1918		陽物形製品			7号	井戸	一括	長19.5×径4.3	丸木材	バラ科ヤマザクラ	上端半周削込頭部、下端2面削り で尖らす
1919		串状製品			7号	井戸	一括	長8.1×幅1.4×厚0.9	板目材	スギ	先端細く削る
1920		杭			7号	井戸	一括	長19.7×径3.7	丸木材	バラ科ヤマザクラ	2面+αカット
1921		木槌頭			8号	井戸	一括	長13.6×幅7.2×厚6.2	心材	ブナ科コナラ節	頭中央に柄挿入の長方形孔を貫 通さす
1921	小角片				8号	井戸	一括	長7.2×幅1.5×厚1.5		ブナ科コナラ節	楔と考えられる。
1922		不明			8号	井戸	一括	長24.5×幅11.9×厚4.8		アカマツ	
1923	板材	桶底板			15号	井戸	一括	長9.8×幅4.8×厚1.8	榎目材	スギ	
1924	板材				15号	井戸	一括	長37.8×幅2.8×厚0.9	板目材	スギ	焼け痕あり
1925	漆容器	椀			16号	井戸		底径6.8・底厚1.8		モクセイ科シオジ	内外黒漆地、見込朱漆残る
1926		杭			16号	井戸	一括	長53.8×径4.6	丸木材	アカマツ	
1927		杭			17号	井戸	45	長46.8×径5.5	丸太材	ニレ科ムクノキ	先4面カット
1928		横槌			17号	井戸	35	全長42.0・身長28.0×径 11.2×9.2柄長14.0×径4.0	心材	バラ科ヤマザクラ	身部一面は敲打により凹み顕著
1929		横槌			17号	井戸	一括	全長23.5・身長21.5×径 11.3×10.3柄長2.0×径3.8	心材	バラ科ヤマザクラ	身先端部楔状に尖る。
1930		杭			17号	井戸	46	長76.0×径3.8	丸木材	アカマツ	先3面カット
1931		杭			17号	井戸	44	長47.4×径5.3	丸太材	バラ科ヤマザクラ	先6面カット
1932	厚板材	部材?			19号	井戸	一括	長12.8×幅4.0×厚1.8	榎目材	ブナ科クヌギ節	片端弧状に成形
1933		棒状製品			19号	井戸	一括	長15.2×径3.8	丸木材	ニレ科ムクノキ	上下端削り加工
1934		杭			19号	井戸	一括	長52.5×径5.6	丸太材	アカマツ	先2面カット
1935	厚板材	部材?			19号	井戸	一括	長28.2×幅5.5×厚2.3	榎目材	ブナ科クヌギ節	片端弧状に成形
1936	漆容器	椀			20号	井戸		厚0.45		ニレ科ハルニレ	内外黒漆地
1937	板材	不明			20号	井戸	一括	長12.3×幅2.2×厚0.4	榎目材	ヒノキ科ヒノキ	
1938	板材	桶底板			20号	井戸	一括	径14.0×厚0.9	榎目材	スギ	
1939		下駄			2614	ビット		長15.5×幅8.3×厚0.8、 歯高3.2	榎目材	スギ	一木連歯 左足用
1940	板材	桶底板			1004	ビット		径29.2×厚1.2	榎目材	スギ	3枚合わせ、釘留め痕4個所
1941	板材	桶底板?			1004	ビット		長26.0×幅12.8×厚0.6	榎目材	スギ	
1942		柱部材			3530	ビット		長61.5×径10.6	丸太材	マツ	2面+αカット
1943		建築部材?			424・ 425	pit	602	長56.0×径10.8	丸太材	マツ	
1944		曲物						長14.0×高5.5×厚0.8・ 径26.0		スギ	側板三枚重ね樺皮結合
1948	漆容器	椀			8号	溝	459	残長9.8×幅6.6		ニレ科エノキ	内外黒漆地(写真のみ)
								柄部長14.0×径4.0			
								柄部長2.0×径3.8			

発見された遺構と出土遺物

第43表 調査II区溝状遺構一覧表

番号	部位	長	幅員	走行方向	摘要	高標高	低標高	比高差	比高率
1		40	4.0~5.8	N-8°-E	4土坑、2・9・11・12溝と重複	61.27	61.05	0.22	0.00455
2		4.2	0.8	N-31°-E	1溝と重複	61.38	61.36	0.02	0.004761905
3		12.25	1	N-8°-E		61.43	61.42	0.01	0.000816327
4		4.2	0.36~0.42	N-10°-E		61.45	61.43	0.02	0.004761905
5		7.8	0.28~0.75	N-76°-W	3土坑と重複	61.28	61.26	0.02	0.002564103
6		7.28	0.85	N-30°-W		61.34	61.31	0.03	0.004120879
7		7.3	0.7	N-86°-W	13溝と重複	61.33	61.31	0.02	0.002739726
8		6.4	0.17~1.2	N-80°-W		61.29	61.27	0.02	0.003125
9		11.85	0.84	N-86°-W	1溝と重複	61.27	61.25	0.02	0.001687764
10		2.45	0.32~0.51	N-30°-W		61.34	61.31	0.03	0.012244898
11		7.8	0.45~1.12	N-19°-W	1溝と重複	61.28	61.23	0.05	0.006410256
12		6.5	1.72	N-17°-W	1溝と重複	61.37	61.33	0.04	0.006153846
13		25.3	0.26~0.57	N-38°-E	7溝と重複	61.35	61.27	0.08	0.003162055
14		27.4	1.7~2.0	N-82°-E	16・17・23溝と重複	61.06	60.92	0.14	0.005109489
15		32.5	0.6~2.4	N-71°-W	16・17溝と重複	60.76	60.44	0.32	0.009846154
16	北西	19.1	1.3~1.8	N-89°-W	14・23溝と重複	60.92	60.74	0.18	0.009424084
	東南	37.8	0.5~2.0	N-17°-E	15・17・20・23溝と重複	61.04	60.65	0.39	0.01031746
	全長	56.9							
17		46.6	1.6~3.9	N-05°-W	14・15・16・23溝と重複	61.29	60.97	0.32	0.006866953
18									
19		30.2	0.4~0.9	N-16°-E	20溝と重複	61.18	61.12	0.06	0.001986755
20		5.7	0.7	N-28°-E	19・23溝と重複	61.17	61.04	0.13	0.022807018
21									
22		3.7	0.7	N-04°-E		不詳	不詳		
23		30.1	0.7~1.4	N-19°-E	14・16・17・20溝と重複	61.12	61	0.12	0.003986711
24		42.1	1.48~1.52	N-63°-E					
25		10.8	0.6	N-24°-E	16・17溝と重複	61.21	61.21	0	0
26		11.6	0.5~0.7	N-18°-W	30溝と重複	61.3	61.17	0.13	0.011206897
27		20.8	0.4~0.7	N-60°-E	10・11・14・49・50土坑、17溝と重複	61.32	61.23	0.09	0.004326923
28		3.6	1.2~1.4	N-60°-W		60.97	60.84	0.13	0.036111111
29		6.2	0.5~1.1	N-74°-W	27溝と重複	61.32	61.3	0.02	0.003225806
30		7.0	0.4~1.1	N-88°-E	26溝と重複	61.29	61.14	0.15	0.021428571
32		13.0	1.0~1.6	N-68°-E					

第44表 調査II区土坑一覧表

番号	位置		規模			主軸	出土遺物	番号	位置		規模			主軸	出土遺物
	X座標	Y座標	軸長	幅	深度				X座標	Y座標	軸長	幅	深度		
1	37056	-42626	1.00	0.91	0.05	N-10°-E		35	37051	-42626	0.44	0.26	0.58	N-31°-W	
2								36	37046	-42627	0.34	0.30	0.36	N-04°-W	
3	37045	-42628	0.98	0.78	0.12	N-36°-E		37	37044	-42627	0.32	0.22	0.38	N-68°-E	
4	37045	-42626	1.06	1.12	0.09	N-31°-E		38	37071	-42636	0.93	0.64	0.47	N-10°-W	古銭No1488~1493
5	37040	-42630	0.30	0.28	0.21	N-03°-E		39	37071	-42635	0.64	0.41	0.35	N-39°-W	古銭No1494~1499 かわらけNo1361
6	37046	-42642	1.26	0.72	0.05	N-49°-E		40	37070	-42635	0.54	0.40	0.42	N-16°-E	古銭No1500~1505
7	37066	-42634	0.27	0.19	0.19	N-45°-W		41	37069	-42635	0.29	0.27	0.37	N-10°-E	
8	37066	-42634	0.39	0.34	0.41	N-48°-E	かわらけNo1360	42	37060	-42651	0.55	0.26	0.54	N-85°-E	
9	37064	-42634	0.29	0.26	0.29	N-63°-E		43	37054	-42648	0.42	0.36	0.15	N-66°-W	
10	37064	-42632	0.39	0.26	0.33	N-37°-E		44	37066	-42620	0.29	0.28	0.32	N-20°-E	
11	37062	-42633	0.39	0.38	0.18	N-44°-E		45	37066	-42630	0.27	0.21	0.29	N-74°-E	
12	37061	-42634	0.25	0.19	0.26	N-85°-E		46	37063	-42649	0.35	0.34	0.16	N-30°-E	
13	37061	-42633	0.24	0.22	0.27	N-61°-E		47	37063	-42633	0.28	0.24	0.49	N-09°-E	
14	37061	-42637	0.99	0.75	1.18	N-49°-W		48	37069	-42614	0.43	0.43	0.28	N-34°-E	
15	37059	-42625	0.37	0.32	0.31	N-28°-W		49	37064	-42630	0.24	0.18	0.38	N-23°-E	内耳No1371
16	37059	-42623	0.36	0.27	0.24	N-27°-W		50	37063	-42632	0.29	0.22	0.33	N-42°-E	
17	37059	-42623	0.24	0.23	0.23	N-34°-E		51	37062	-42632	0.34	0.29	0.34	N-02°-W	
18	37060	-42622	0.22	0.19	0.21	N-35°-W		52	37055	-42622	0.20	0.17	0.20	N-79°-E	
19	37060	-42619	0.38	0.29	0.66	N-21°-W		53							
20	37060	-42619	0.30	0.28	0.28	N-09°-E		54	37057	-42628	0.28	0.22	0.63	N-50°-W	
21	37058	-42624	0.30	0.28	0.21	N-23°-W		55	37056	-42627	0.29	0.25	0.53	N-08°-W	
22	37057	-42625	0.25	0.21	0.17	N-09°-W		56	37061	-42618	0.23	0.18	0.17	N-37°-E	
23	37056	-42625	0.30	0.27	0.34	N-50°-W		57	37071	-42633	0.41	0.40	0.29	N-25°-E	古銭No1506~1508 かわらけNo1362~1364
24	37057	-42623	0.26	0.22	0.44	N-62°-W		58	37070	-42633	0.43	0.26	0.07	N-62°-E	古銭No1509・1510 かわらけNo1365・1366
25	37057	-42622	0.29	0.26	0.32	N-27°-W		59							
26	37056	-42622	0.26	0.24	0.26	N-09°-W		60	37051	-42624	0.21	0.20	0.23	N-14°-E	
27	37057	-42621	0.28	0.25	0.33	N-10°-W		61	37053	-42620	0.25	0.24	0.26	N-19°-W	
28	37057	-42621	0.30	0.29	0.24	N-38°-W		62	37051	-42621	0.46	0.24	0.47	N-07°-E	
29・53	37057	-42619	0.57	0.39	0.63	N-23°-W		63	37046	-42625	0.28	0.21	0.20	N-83°-E	
30	37053	-42629	0.25	0.19	0.21	N-25°-W		64	37046	-42626	0.24	0.18	0.23	N-09°-W	
31	37052	-42628	0.36	0.28	0.42	N-22°-W		65	37045	-42631	0.28	0.26	0.51	N-15°-W	
32	37051	-42629	0.30	0.27	0.31	N-47°-W									
33	37051	-42626	0.39	0.36	0.33	N-23°-W									
34	37048	-42626	0.28	0.25	0.25	N-44°-W									

第8章 成果と課題

第1節 成果

第1項 総括

前章までに当該遺跡の概要・発見遺構・出土遺物について記した。本章では、それらの集約を行い、成果と課題に分別してまとめる。

第2項 遺構の成果

掘立柱建物跡

発見された遺構の中で、掘立柱建物跡・掘立柱施設跡は当該遺跡を代表する遺構である。

掘立は6・7・8尺の3種類の柱間の存在が推定され、6尺間掘立から7尺間掘立、8尺間掘立へと推移する平面構造の変移が類推された。この推移の推定を可能にしたのが溝状遺構の存在とその新旧関係である。第4章第3節の記述の中で、この溝状遺構と掘立により形成される区画域について触れたが、具体的な図示はしていない。これらの区画域を図示したのが第350～352図である。また、便宜的に時期分類し、要件をまとめたのが下表である。

7尺掘立の構築と洪水被災以降、特に、8号溝に

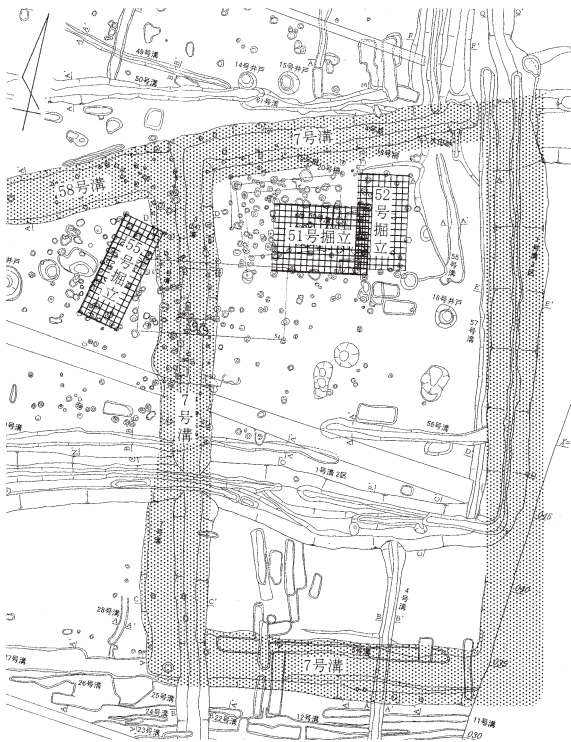
囲まれる北西部分では、7尺掘立・8尺掘立が12基以上密集状態で重複している。

また、大規模掘立に構造が変化するまでは、南北棟の掘立1棟単位は、中規模構造に構築され、洪水被災以前の区画を踏襲している状態にも看取される。そして、大形掘立の構築開始は、当該遺跡が、一つの変革を迎えた事が窺知される。則ち、外構えも8・2・1号溝による防衛機能を付加していることから、構築主体者の質的変容があった事が類推される。これは、変容以前の小規模構造の主体者とは異なる身分乃至階層の者が移り住んだことを表している。だが、2号溝の構え規模では1辺50～60m程度の規模であり、「館」と呼ぶには些か小規模にも感じる。また、「在家」と呼ばれていた耕作民等の居住も考慮されようが、2号溝の大改修を行うには疑問が残る。「在家」と呼ばれた規模は、南北棟を主体とする、中小規模の掘立などと想定される。これらの点に関しては、当該地域での「館」を検討しなければならないが、資料的に類例がまだ少ない。

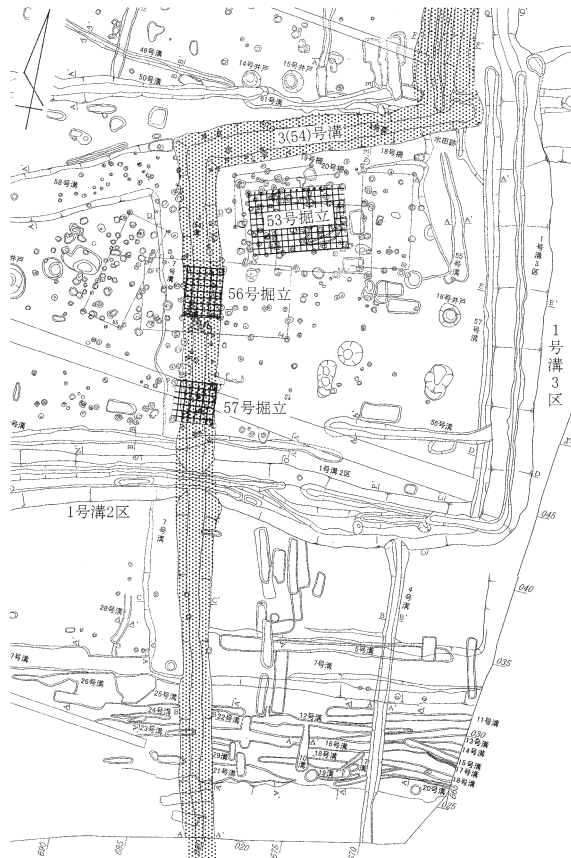
第45表 掘立の時期一覧表

年代	時期	要件	区画域	摘要
13～14世紀	I期	凝灰岩製五輪塔の造立	未	軟質陶器壺(0085など)蔵骨器として埋納か
14世紀前半	II期	石造物の造立	未	板碑の造立(「観応」・「応安」などの紀年銘)
	III期	6尺掘立の構築	1-1	7号溝・51・52掘立
14世紀末	IV期	鍛冶工房の操業	1-2・2-1・ 2-2・3-1・ 3-2・3-3	3号溝・53掘立・56・57掘立(橋)・42号溝・31掘立 35掘立・36掘立・1炉跡・2号堅穴 42号溝・29掘立
		7尺掘立の構築		
X年 (応永頃か)	洪水の発生			3号溝・43号溝1区・62号溝・鍛冶場テラス部分・2号堅穴・2号集石・3267坑などに被災痕跡
	V期	42号溝2・3区の掘削		42号溝2・3区・33掘立
	VI期	42号溝2・3区を跨ぐ7尺掘立の出現	1-3・2-4・ 3-4	5・28・29・30掘立。42号溝2・3区を埋設し8号溝の開削か。
	VII期	東西棟の頻度が急増	1-4・2-4・ 3-4	4・6掘立(7尺掘立) 大形掘立の構築が始まる。1・2号溝の開削。
	VIII期	8尺掘立の構築		27・38・54掘立。8号溝の埋設・2号溝の改修。
16世紀末頃か	IX期	廃絶(2号溝1・2区への礎の廃棄)/天正13年(1585)金山城明渡に伴う何らかの影響か?		

※区画域の1は北東分布域、2は北西分布域、3は南西分布域を示す



分布域1群のIII期(51号掘立は7尺間)



分布域1群のIV期(洪水被災以前)
3(54)号溝の架橋と洪水被災埋没

第350図 時期区分と区画域(1) (1:500)

第1号炉跡

炉跡は屋外での単独状態は機能が全く出来得ない事から、外光遮閉・上屋構造とは必須で、これを備える施設と、付帯施設を含め構造が「鍛冶工房」であろう。

2号竪穴は被覆土に洪水被災が認められ、1号炉周辺のテラス部分・62号溝の埋没状況と同じである。このことから、2号竪穴は鍛冶炉との併存が判断される。そして、この2号竪穴当該期の竪穴状遺構としては規模も大きく特殊な心象を受ける。施設としては、刀匠の門弟・子弟などの居住施設とも推測される。また、42号溝1区と31掘立が構成する区画するも状況は同一を考えられ、これらを包括する状態が「鍛冶工房」としておきたい。また、1号炉・テラス部分などの直接的な部分を「鍛冶場」とする。

洪水の時期

別表にまとめた段階設定中には、時期の問題が残る。時期は、伴出遺物で述べられようが、現状では、在地系土器類の年代観は確立されていない状態である。また、時期分類の中を楔として割り込む「洪水」の時期も問題である。表中には「応永頃か」にしてある。史料上では応永年間と永禄年間頃記録から、恐らくはこの頃であろうと考えられる。

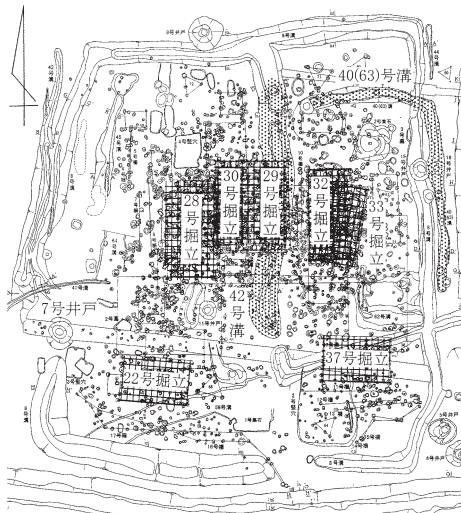
第6章第2節で述べたとおり、土師質土器皿の分類は別稿にするが、最も重要な年代がこの洪水被災の時期であることから、ここで若干、洪水被災直下の土師質土器皿の年代観に触れておく。

1号炉跡及び洪水被災堆積土を被覆土とする鍛冶場テラス部分・62号溝（鍛冶場施設の一部か）の出土遺物で時期判定の可能な遺物は第147図に掲載した。0569～0571の3点が共通する特徴は、内湾気味の口縁部、度目値（口径/器高・底径/器高）の数値から、底径値が大きいことが最大の特徴として表れている。また、腰部器内面が緩やかに立ち上がる特徴を備えている。

洪水被災以降、8号溝で区画される内部の整理が行われ、不要の物が8号溝に廃棄されている。この8号溝の出土遺物には鍛冶関連遺物も相当量あり、



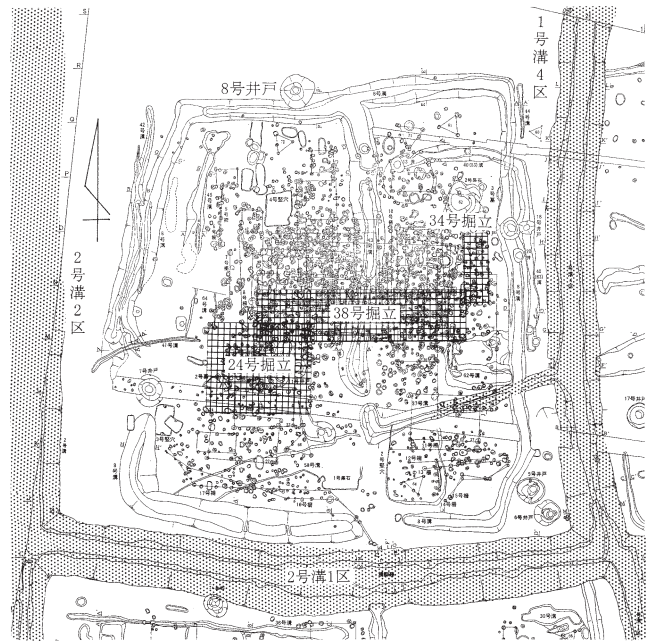
分布域2群のIV期
(鍛冶工場の操業・42号溝と6尺間南北棟)



分布域2群のIV~VI期(42号溝と7尺間南北棟)
洪水被災を前後し7尺間を採用する。



分布域2群のVII期(42号溝は埋設・8号溝の開削)
東西棟の採用・掘立規模が増大



分布域2群のVIII・IX期(8号溝の埋設)
2号溝の構築と改修・外構えの防衛強化

鍛冶工場の存続期の遺物も多く出土している。このことは、鍛冶工場操業中、若しくは、操業年代に近い土師質土器皿が含まれている事が推定される。

そして、8号溝東辺溝出土遺物の中に、上記土師質土器皿の特徴を備える0237・0238・0240・0257・0276、次いで0231~0236の11個体が認められる。これらの個体は、14世紀中頃から後半頃の特徴を備えているとすることが出来る。

洪水被災を被覆土堆積段階とする、2号竪穴からは、鍛冶場・8号溝出土の土師質土器皿よりやや新しい傾向の、底径値の縮小が認められ、更に、0411・0412は口縁部の外反化が認められる。14世紀後半でも末年頃から15世紀初頭の年代が推定される。

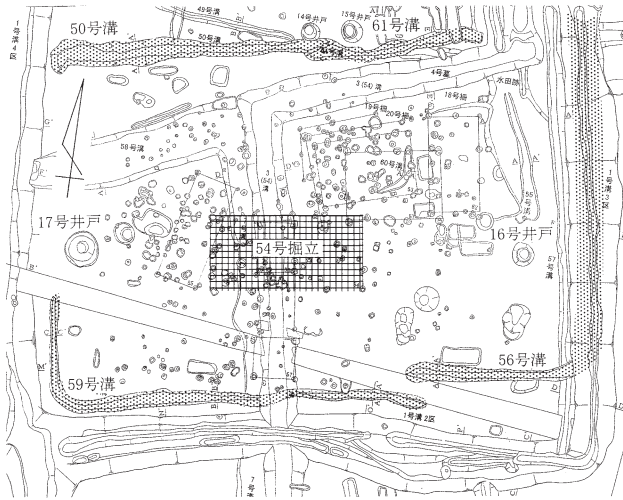
だが、ここで与えている年代観は、まだ検討の余地が無いことは無く、確定出来ないまでも、それ程の誤りは無いと考えている。

土師質土器皿の年代観では、鍛冶工場の存続は14世紀中頃から後半頃で、洪水被災は、14世紀末頃から15世紀初頭頃である。

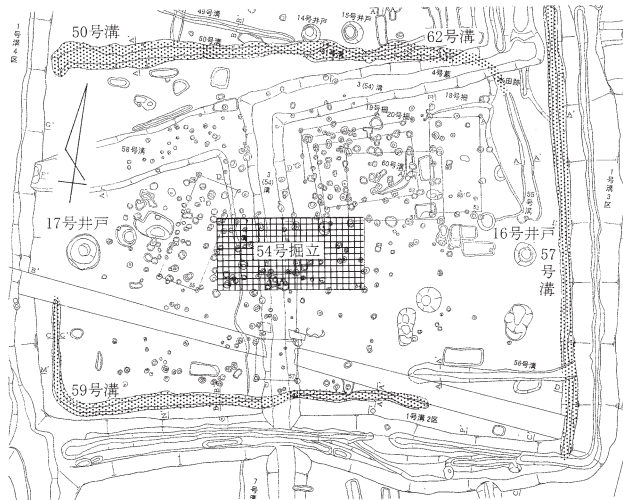
他方、文献等の史料に記述が見られる洪水被災と発生した洪水の年代から、近藤義雄氏は、利根川の

第351図 時期区分と区画域(2) (1:700)

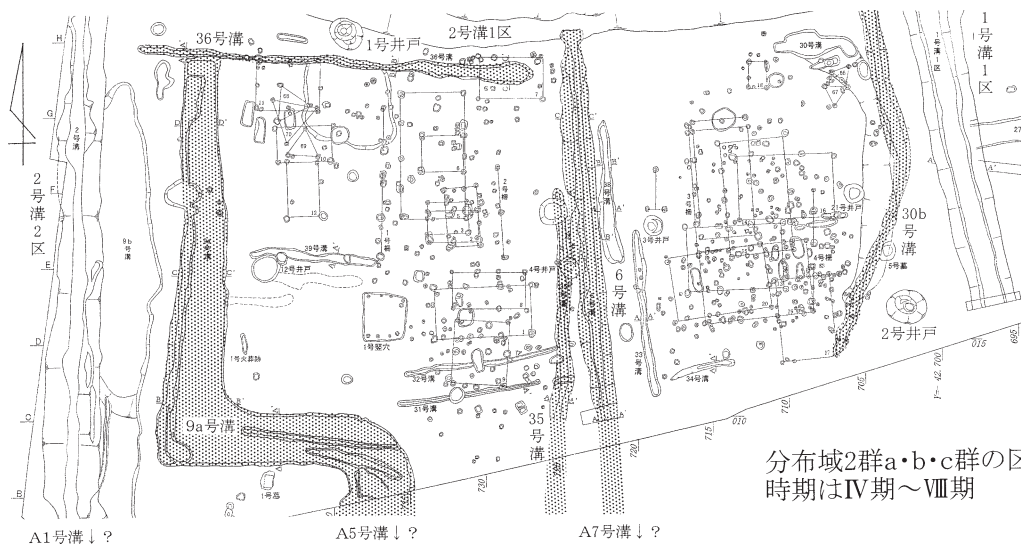
第8章 成果と課題



分布域1群のⅧ期
(8尺間掘立の構築・掘立規模の増大)



分布域1群のⅧ期
(区画を構成する溝の改修)



分布域2群a・b・c群の区画溝
時期はⅣ期～Ⅷ期

第352図 時期区分と区画域(3) (1:500)

変流について論じられている。氏は、史料上の洪水記事・河川と関わる記事乃至記載がある史料、石幢の形態と分布状況から、応永34年の秋頃の洪水を主たる原因として、利根川の変流を説かれておられる。本稿は氏の成果に拠るところが大きい。

ここで、当遺跡の洪水被災の時期を検討するについて、以下に渡良瀬川の変流時期について既説を踏まえて述べ、洪水被災の時期を推定したい。

応永年間記録には、『鶏足寺世代血脈』に以下の記述がある。「應永丁未(1437)此年初夏四月ヨリ疾風暴雨龍噴怒スル歟ト覚ヘタリ 雖然五穀菓實菓在之爾六月廿三日洪水入 同七月十日大水出 又九月二日夜寅時許 明三日大水入 人馬流死 大山大木崩流 五穀種亡 人民逃散 多分古老人云ケルハ 四百歳以前如此アリケル歟云(後略)」の記事が認められる。同年、赤城神社『年代記』(前略) 今秋八月洪水赤松満祐乱ヲナス(後略)が認められる。前者は渡良瀬川の氾濫を記したことが窺える。この応永三十四年の洪水被災は台風に因る被災と推断されている。また、同時に『鶏足寺世代血脈』に記された翌々日の九月四日の記事が『会津塔寺村八幡宮長帳』應永三十四年条「此年八月六

日大水増浮度廿七日洪水 九月四日洪水 人民多ク死ス』。鶏足寺の在る小俣と、会津を中一日置き同様な災害を及ぼしている。

他方、『足利興廃記』の記事、鏝阿寺文書から、渡良瀬川の変流の時期を永禄5・8・10年の洪水被災と推定している。

自然災害の記述・記事は少ないが、実態は毎年到来する台風、梅雨末期の集中豪雨など年中行事の一つ的な、負の自然現象として意識だったのかもしれない。

当遺跡での時期区分を考える時、洪水被災の時期は、一つの重要な現象の一つである。そして、遺構の重層関係から、中世の洪水被災は一回しか確認されていない事から、『四百歳以前如此アリケル歟云』の如く、未曾有の災害でもあった事に拠る洪水被災痕跡として推測させる。

また、鏝阿寺文書の日付には7月3日、8月5・7・20・29日、9月3日とあり、『鶏足寺世代血脈』『会津塔寺村八幡宮長帳』の日付にほぼ符合することから、台風災害は年中行事化したかの状況であったと思われる。そして、未曾有の災害をもたらせたと推測される応永34年9月2・3・4日の台風災害は、渡良瀬川を変流させた可能性を推測させる。

渡良瀬川の変流は鏝阿寺文書が残す永禄年中ではなかったのかもしれない。

これらの記事と、出土遺物の年代観が符合するのとは別稿としたい。

第3項 鍛冶工房の生産品

現状での年代観

大量の砥石（荒砥）は、相当数の日本刀生産が行われていた事を類推させる。

鍛冶工房は洪水被災以前に操業を終えている。この洪水被災層下（鍛冶場）で出土した土師質土器皿は、14世紀後半である。洪水の時期を応永頃と推定する現段階での根拠でもある。本項では14世紀後半15世紀初頭を目安の年代とする。

「世良田刀」

世良田刀は、文献上に認められる固有名詞を冠した日本刀である。世良田の地名に由来する。

史料上では、応永23年頃の作品とされる『桂川地蔵記』に「一刀者金銀 鞆鞘 髪搔 小刀 下緒 燧囊 生婦 栗形 鯉口 吞入 鞆口 鎧 同金木 鞆 樺卷 琴緒卷 世良田刀 聖鞆」が記されている。なぜ世良田刀がここで記されたのか不明である。しかし、この前段で太刀についての記述が見られ、その後続く記事でもある。

この『桂川地蔵記』の世良田刀部分の内容は、刀の拵の部分名称の列記である。このことから、世良田刀とは拵の一部になるのかもしれない。しかし、現在までに、日本刀の拵の部分名称に「世良田刀」を呼称するものは無く、また現在も呼称されている名称は無い。また、この拵の部品名称の中で、鏹・切羽・返角が無い。この記述の無いものが「世良田刀」とは思われない。矢張り唐突な記述としてしか受け止められない。

『日本刀大辞典』に因れば、世良田刀は「数打の粗製刀」とある。しかし、この記述は、『法隆寺西円堂奉納武器』で記された「(前略) 大和は所謂五ヶ傳の筆頭として日本刀工史上に最も重きをなしている土地である上に「世良田刀」や「奈良刀」と並び称されていたのであるから、自らその地方的特色を現示すべきである(後略)」の、粗製刀と言われる「奈良刀」と並び称した事に因り「数打の粗製刀」を言わしめる原因なのかもしれない。

若しくは、鎌倉倒幕を成し遂げた新田氏に因む称賛名称なのか憶測を掻き立てる。

恐らく、当遺跡の鍛冶工房は、この「世良田刀」の系譜を引くか、それ以上の存在かもしれない。

幕末の刀工、水心子正秀の愛でる応永以前の鉄味の日本刀は、この鍛冶工房での作がその一つであった筈である。古刀と分類される応永の頃の日本刀は、当遺跡で確認された様に、「再生産」の賜物である。白く映る古刀不思議さの技法は、刀工でも復せぬ幻でもあった。

第2節 課題

課題とすることはあまりにも多すぎる。

選地一つにしても、周囲の調査ではこれ程までの掘立柱建物跡・掘立柱施設跡が発見されている遺跡は未見である。

発見された柱穴跡から、今回は掘立柱建物跡・掘立柱施設跡合わせて73基を復元推定した。しかしながら、組立てられなかった掘立も相当数存在する筈である。この未発見掘立が何棟に達するのか、実態として何棟の掘立柱建物跡・掘立柱施設跡が構築されたのか不明である。

また、前節でも述べたが、遺跡を理解する前提となる、時間尺の設定である。出土遺物の年代観を確定しなければならない。変化・変遷を考究するには不可欠である。この出土遺物による遺構・遺跡の時期・年代の推定が第1段階であろう。

調査区の南限を設定する状態で流走している新田堀用水長堀幹線は、コンクリートにより堅固な造りである。この新田堀用水長堀幹線の前身とされる「新田堀」の開削時期については、確実な史料・資料が無く、現在も不明のままである。

唯一、元亀元年(1570)に荒山小左衛門により待堰が、大谷新左衛門により矢場堰が造られ、新田堀・休泊用水が開削されたとされている。

今回の調査では、II区の南限、現新田堀用水長堀幹線の土手に重複状態で15号溝が発見され、「古代の新田堀」と推断する意見もあった。しかし、As-B軽石が埋没する溝であり、部分的に発見された溝状遺構であるが故に、この推断は頓挫している。このII区15号溝の位置・走行方向は、八幡沢からの谷筋に当ており(第9図参照)、調査区から西側は、現新田堀用水長堀幹線に重複するか、平行する位置で、大鷲からの谷筋(字「水早」)に走行していたと思われる。

翻って、調査区南側の県道拡幅に伴う調査で発見されている溝状遺構で、南北走行する溝の中に、調

査I区で発見されている溝の延長方向に当たる溝が発見されている。調査I区2号溝2区+9b号溝の南側延長方向にはA区1号溝、調査I区9a号溝の南側延長部分には5号溝、調査I区6号溝の南側延長部分にA区7号溝が発見されている。これらが同一遺構であった場合は、現新田堀用水長堀幹線がこれらの溝を切り構築している状態と判断される。また、同様に字名「水早」は新田堀用水長堀幹線により分断され、新田堀用水長堀幹線の南北に認められる。

新田堀の開削時期の推定は、理論上の希望ではなく、具体的な物的証拠と検証の手続きを経て推定されると考える。間近で調査しながらこの問題を解決できず課題として残すが、新田堀の開削時期の確定は、群馬県の歴史にとって重要な事である。

註

- 1 近藤義雄「利根川の変流」『群馬県史しおり』通史編3 中世 1990(平成2年) 群馬県
- 2 『群馬県史』資料編7 中世3 1986(平成61年) 群馬県
- 3 『宮城村誌』1972(昭和48年) 宮城村役場
- 4 『統群書類従』第三十輯上 雑部 卷第八百七十七 1924(大正14年) 太田善磨
- 5 「渡良瀬川の変流」『近代 足利市史』第一巻通史編 原始～近代(二) 1977(昭和52年) 足利市
- 6 『統群書類従』第三十三輯上 雑部 卷第九百六十一 1927(昭和2年) 太田ぜん
- 7 末永雅雄『法隆寺西円堂奉納武器』1974(昭和49年) 日本古文化研究所
- 8 水心子正秀「刀剣弁疑」文化丁丑年(1817) 黒江二郎『水心子正秀とその一門』1979(昭和54年) 所収 雄山閣出版株式会社
- 9 『待矢場兩堰々史』1921(大正11年) 待矢場兩堰普通水利組合
- 10 『上強戸遺跡群』主要地方道路足利伊勢崎線地方道路交付金事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 2008(平成20年) 群馬県土木事務所 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

参考文献

- 甲野 勇・大谷 勉「武州下原鍛冶の工房址を掘る」『歴史考古』第4号 1960(昭和35年)
「鏝阿寺文書」『栃木県史』資料編 中世1 1973(昭和48年) 栃木県

遺構・遺物写真図版



昭和43年頃の調査区付近一第1・2号溝状遺構の区画が明瞭に遺存している。



1961（昭和36年）頃の上強戸遺跡群周辺地域の航空写真



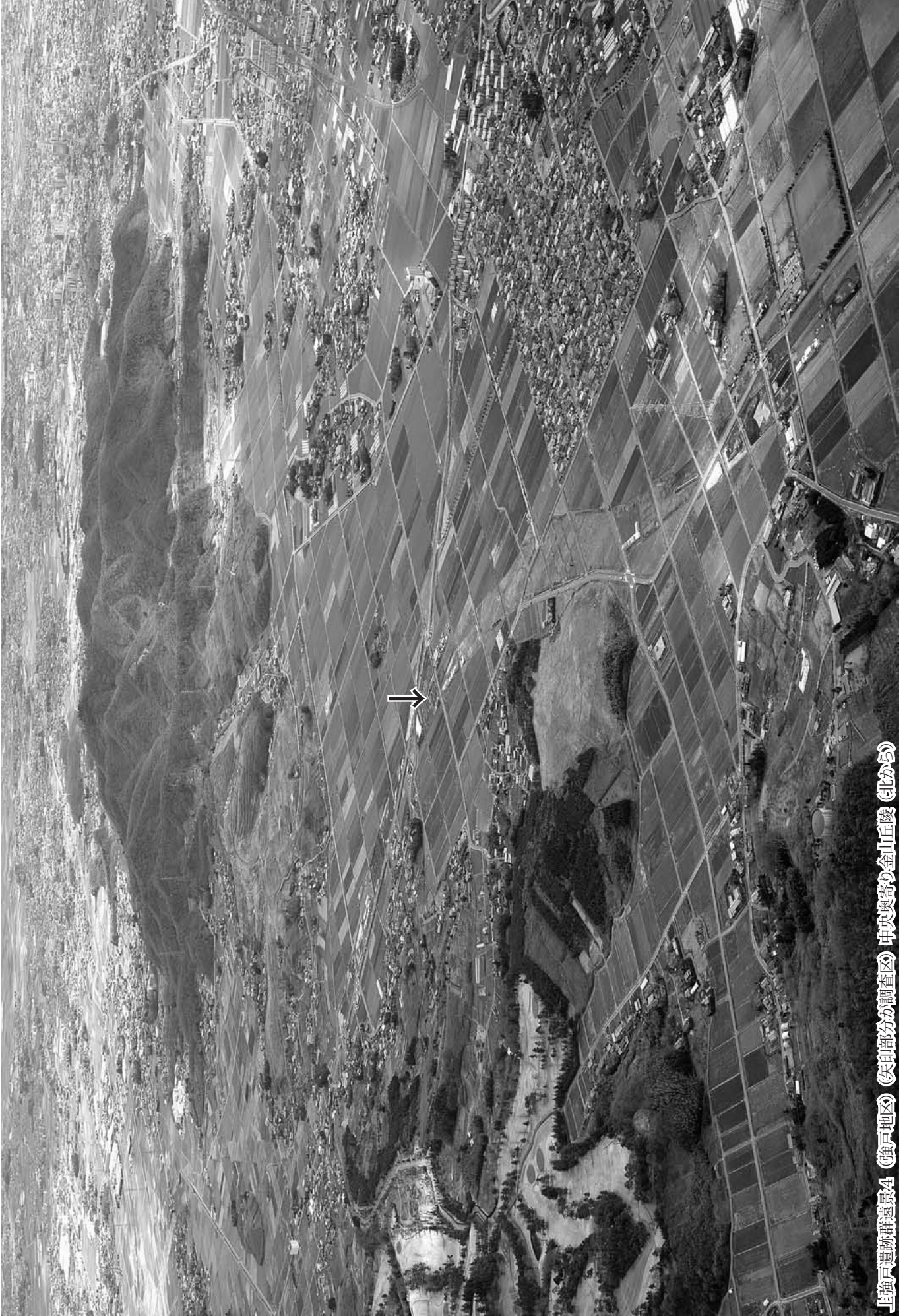
1961（昭和36年）頃の上強戸遺跡群（中央長方形の区画全体が館と在家の痕跡）（北東端に瑞光寺）



上野戸遺跡群選景1 (手前・天棚山古墳・女体山古墳) (矢印部分が調査区) 奥赤城山 (南東から)



上 神戸遺跡群選景2 (神戸・鳥之郷地区) (矢印部分が調査区) 奥 桐生市街地と足尾山地 (南か台)



上神戸遺跡群遺跡4 (神戸地区) (矢印部分が調査区) 中央奥寄り金山丘陵 (北から)



上神戸遺跡静穏景4 (神戸地区) (矢印部分が調査区) 奥は利根川 (北から)



調査区全景（西から）調査区右側に新田堀用水長堀幹線水路



調査区全景（垂直）



調査区全景（北から）



調査区全景（南から）



掘立柱建物群と遠景（奥残土置き場が上強戸遺跡群Ⅱ区調査区）（中央小高い丘は「丸山」）（西から）



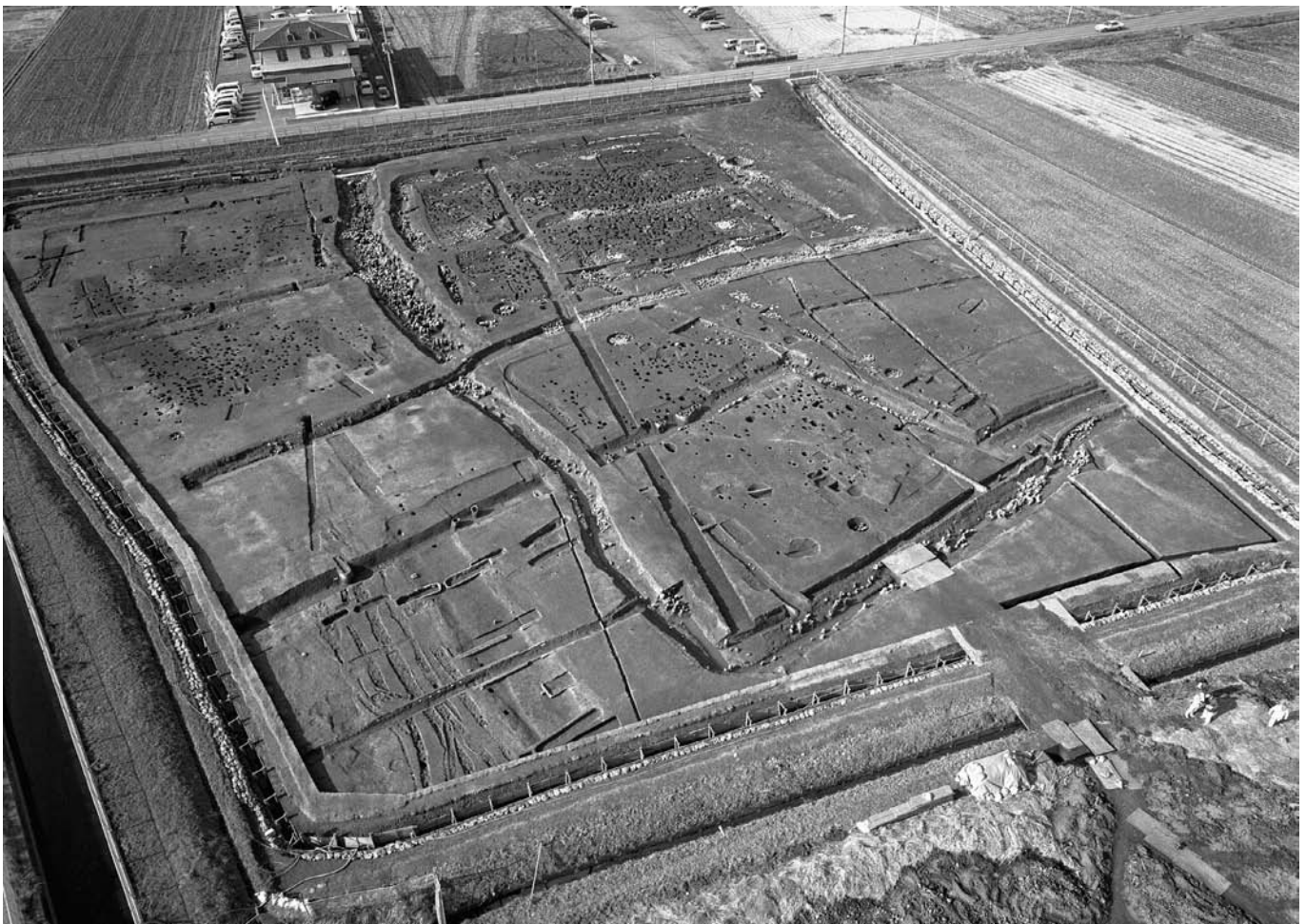
八王子丘陵と調査区全景（南から）



調査区内の遺物出土状況と遠景（奥残土置き場が上強戸遺跡群Ⅱ区調査区）（奥中央「丸山」）



調査区全景（北東から）



調査区全景（南東から）



第1 溝状遺構全景（垂直）



第1 溝状遺構全景（左残土置き場が上強戸遺跡群Ⅱ区調査区）（北西から）



第1 溝状遺構全景（南西から）



第1 溝状遺構全景（南から）



第1号溝状遺構4区・1区（西辺溝）近世面全景（北から）



第1号溝状遺構1区・4区（西辺溝）近世面全景（南から）



第1号溝状遺構1区・2区・3区近世面会合部分（南側部分）（北から）



第1号溝状遺構3区（東辺溝）（南から）



第1号溝状遺構2区（近世面）南辺溝（奥は第2号溝状遺構）（東から）



第1号溝状遺構2区（近世面）南辺溝（西から）



第67号溝状遺構と古代水田跡全景（垂直）と第1号・2号溝状遺構中世面（会合地点周辺）



第67号溝状遺構と古代水田跡全景と第2号溝状遺構2区中世面全景（東から）



第67号溝状遺構全景（正面と傍らに新田堀用水長堀幹線水路・正面側「丸山」を望遠する）（西から）



第1号溝状遺構4区中央部北端土層断面（南から）



第1号溝状遺構4区中央部北より土層断面（北から）



第1号溝状遺構1区（近世面）中央部南側土層断面（北から）



第1号溝状遺構1区（近世面）中央部南側杭列出土状況（北から）



第1号溝状遺構4区（近世面）中央部北側礫出土状況（南から）



第1号溝状遺構4区（近世面）中央部北端側礫出土状況（南から）



第1号溝状遺構4区（近世面）中央部北側礫出土状況（北から）



第1号溝状遺構4区（近世面）中央部北端側礫出土状況（南南西から）



第1号溝状遺構4区(近世面)中央部南側寄り礫出土状況(南南東から)



第1号溝状遺構4区(近世面)中央部北端側礫出土状況(南から)



第1号溝状遺構4区(近世面)中央部北側寄り側礫出土状況(北北西から)



第1号溝状遺構4区(近世面)中央部南端側礫出土状況(北東から)



第1号溝状遺構2区(近世面)東西部分(東から)



第1号溝状遺構3区東側部遺物出土状況(南から)



第1号溝状遺構3区東側部中央部分遺物出土状況(南から)



第1号溝状遺構3区東側部北寄り部分遺物出土状況(南から)



第1号溝状遺構3区東側部南東隅部土層断面（北北東から）



第1号溝状遺構3区東側部中央遺物出土状況（北北東から）



第1号溝状遺構4区(中世面)中央部北端部分遺物出土状況(南から)



第1号溝状遺構4区(中世面)中央部北端漆器椀出土状況(南東から)



第1号溝状遺構4区(中世面)中央部北端下駄出土状況(南西から)



第1・2号溝状遺構会合部(中世面)溝底面遺物出土状況(北北西から)



第1号溝状遺構4区(中世面)中央部北寄り部分下駄出土状況(北北西から)



第1号溝状遺構会合部周辺区東西部(辻部分)遺物出土状況(北北西から)



第2号溝状遺構遺物出土状況及び周辺遺構の遺物出土状況（東から）



第2号溝状遺構2区遺物出土状況（西から）



第2号溝状遺構1区遺物南北部全景（北から）



第2号溝状遺構2区遺物出土状況（東南東から）



第2号溝状遺構2区遺物出土状況（東北東から）



第2号溝状遺構2区橋脚部遺物最上層出土状況（南から）



第2号溝状遺構2区橋脚部（最下層）遺物出土状況（南から）



第2号溝状遺構2区橋脚部北側基部木組み状況（南から）



第2号溝状遺構2区橋脚部北側基部木組み状況（東から）



第2号溝状遺構2区橋脚部北側基部木組み状況（北から）



第2号溝状遺構2区橋脚部遺物出土状況（北東から）



第2号溝状遺構2区橋脚部遺物出土状況（南西から）



第2号溝状遺構2区橋脚部北側基部木組み状況（西から）



第2号溝状遺構1・2区会合部遺物出土状況(南から)



第2号溝状遺構1・2区会合部遺物出土状況(北東から)



第2号溝状遺構2区西側遺物出土状況(東南東から)



第2号溝状遺構2区東側(1区寄り)遺物出土状況(東南東から)



第2号溝状遺構2区(1区寄り)遺物出土状況(東北東から)



第2号溝状遺構2区(1区寄り)遺物出土状況(西から)



第2号溝状遺構2区西側遺物出土状況(西北西から)



第2号溝状遺構2区橋脚部周辺遺物出土状況(東から)



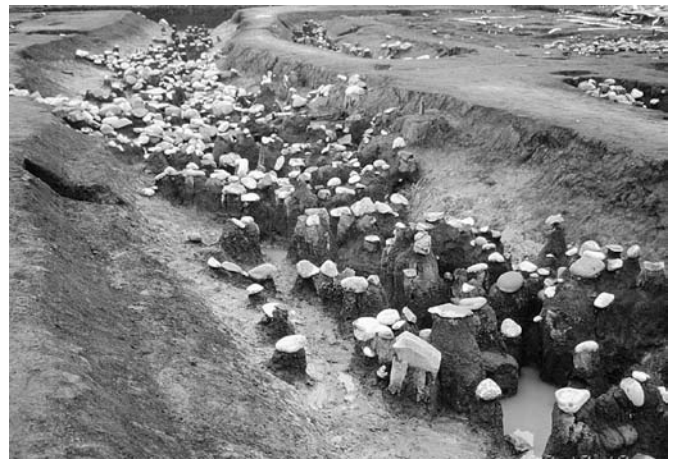
第2号溝状遺構2区中央部遺物出土状況（北から）



第2号溝状遺構2区東側遺物出土状況（南西から）



第2号溝状遺構2区中央部遺物出土状況（南西から）



第2号溝状遺構2区東側遺物出土状況（東から）



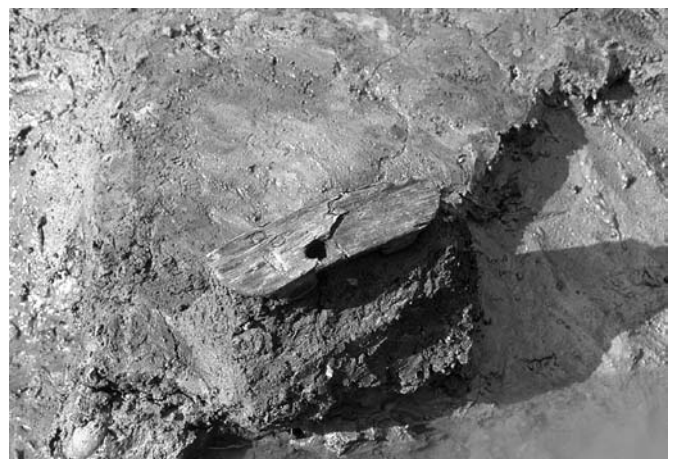
第2号溝状遺構2区橋脚部漆器椀出土状況（北西から）



第2号溝状遺構2区橋脚部漆器椀出土状況（北西から）



第2号溝状遺構2区覆土内漆器椀出土状況（北西から）



第2号溝状遺構2区橋脚部周辺下駄出土状況（南から）



第3号溝状遺構南側土層断面（北から）



第3号溝状遺構中央部土層断面（南から）



第3(54溝)・7号溝状遺構とピットの重複状況1（南東から）



第3(54溝)・7号溝状遺構とピットの重複状況2（南東から）



第3(54溝)・7号溝状遺構とピットの重複状況3(南東から) (上方はトレンチ)



第3(54溝)号溝状遺構北東隅部周辺 (上方はトレンチ)



第3(54溝)号溝状遺構溝底面掘削痕（西から）



第3(54溝)号溝状遺構溝底面掘削痕2（西から）



第8号溝状遺構北辺溝遺物出土状況（東北東から）



第8号溝状遺構北辺溝遺物出土状況（東から）



第8号溝状遺構北西隅部遺物出土状況（南南東から）



第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況（南南東から）



第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況（南東から）



第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況（南東から）



第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況（北西から）



第8号溝状遺構西辺南端溝遺物出土状況（南南西から）



第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況（南から）



第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況（東から）



第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況（北東から）



第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況（北西から）



第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況（西北西から）



第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況（東から）



第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況（南西から）



第8号溝状遺構東辺溝遺物出土状況（北北西から）



第8号溝状遺構南東隅部遺物出土状況（北北西から）



第8号溝状遺構南東隅部遺物出土状況（南南西から）



第8号溝状遺構南辺溝（東半部）遺物出土状況（西から）



第8号溝状遺構南辺溝（東半部）遺物出土状況（西から）



第8号溝状遺構南辺溝（西半部）遺物出土状況（南西から）



第8号溝状遺構南辺溝（西半部）遺物出土状況（西南西から）



第8号溝状遺構南辺溝（西半部）遺物出土状況（西から）



第8号溝状遺構南辺溝（南西隅部）遺物出土状況（東から）



第8号溝状遺構（東辺北寄り）朱漆碗片出土状況（南から）



第8号溝状遺構（東辺北寄り）朱漆碗片出土状況（北から）



第8号溝状遺構（東辺北寄り）曲物出土状況（南から）



第8号溝状遺構（東辺北寄り）曲物出土状況（西から）



第8号溝状遺構（南辺西端）漆器碗片出土状況（東から）



第8号溝状遺構（南辺西端）漆器碗片出土状況（接写）



第8号溝状遺構（南辺西側）漆器碗片出土状況（北東から）



第8号溝状遺構（南辺西側）漆器碗片出土状況（接写）



第6号溝状遺構全景（北から）



第37号溝状遺構全景（南西から）



第37号溝状遺構第1号溝状遺構との重複状況（東から）



第39号溝状遺構全景（東から）



第45号溝状遺構遺物出土状況（北東から）（整理時所在不明）



第49号溝状遺構遺物出土状況（東南東から）



第53・54号溝状遺構確認状況（南から）



第61号溝状遺構遺物出土状況（東から）



第65・67号溝状遺構全景（西から）



第65・66号溝状遺構全景（西から）



調査区南西側溝状遺構確認状況（西から）



水田跡全景（北から）



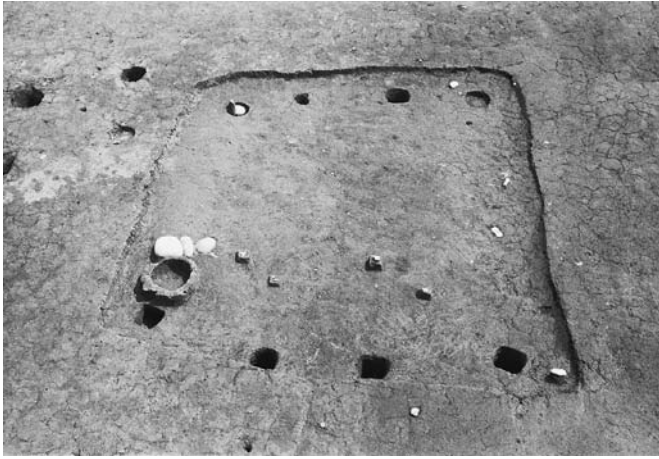
第8号溝状遺構・第1号炉跡周辺調査風景（西から）



第64号溝状遺構の跡跡全景（南から）



第64号溝状遺構の跡跡（南から）



第1号竖穴遺構全景（北から）



第1号竖穴遺構（中央やや左）周辺状況全景（南東から）



第2号竖穴遺構全景（北から）



第2号竖穴遺構東側状況（北西から）



第3号竖穴遺構全景（北から）



第4号竖穴遺構全景（北から）



第1号集石遺物出土状況（北東から）



第1号集石周辺状況（東北東から）



南西側掘立柱建物跡群全景（東から）



南西側掘立柱建物跡群跡南東部分全景（南東から）



南西側掘立柱建物跡群南西部分全景（南東から）



南西側掘立柱建物跡群南東部分全景（南東から）



北東側掘立柱建物跡群全景（南から）



第52号掘立柱建物跡全景（南から）



第51（中央）・53（中央左）号掘立柱建物跡全景（南から）



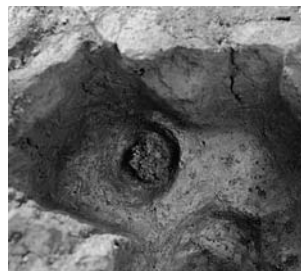
第55号掘立柱建物跡全景（南から）



第382坑柱痕



第402坑柱痕



第529坑柱痕



第614坑柱痕



第618坑柱痕



第622坑柱痕



第647坑柱痕



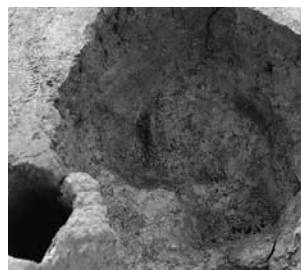
第944坑柱痕



第1022坑柱痕



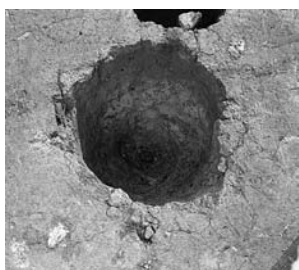
第1026坑柱痕



第1027坑柱痕



第1037坑柱痕



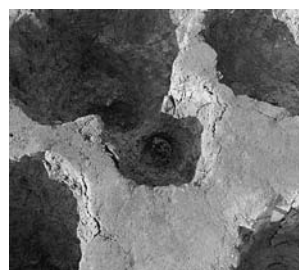
第1111坑柱痕



第1139坑柱痕



第1154坑柱痕



第1175坑柱痕



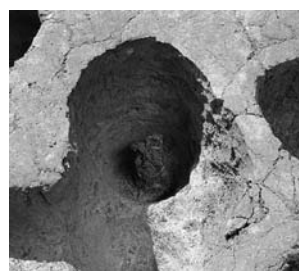
第1187坑柱痕



第1196坑柱痕



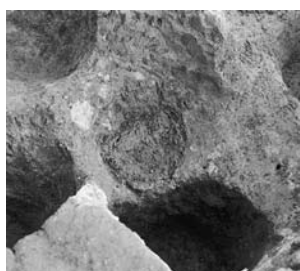
第1200坑柱痕



第1211坑柱痕



第1212坑柱痕



第1278坑柱痕



第1307坑柱痕



第1305坑柱痕



第1306坑柱痕



第1328坑柱痕



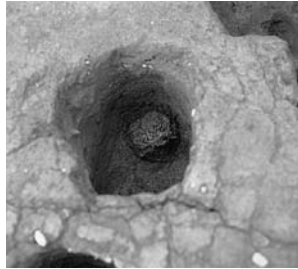
第1346坑柱痕



第1369坑柱痕



第1349坑柱痕



第1439坑柱痕



第1461坑柱痕



第1467坑柱痕



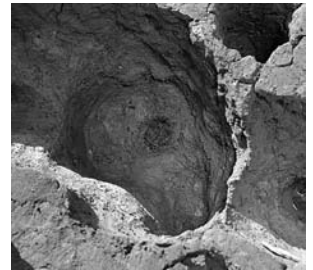
第1474坑柱痕



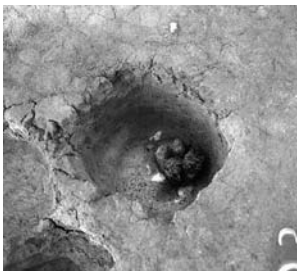
第1478坑柱痕



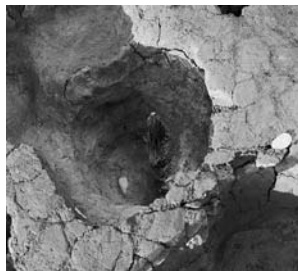
第1544坑柱痕



第1599坑柱痕



第1611坑柱痕



第1612坑柱痕



第1619·1620坑柱痕



第1630坑柱痕



第1669坑柱痕



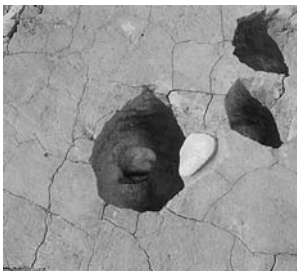
第1706坑柱痕



第348坑柱痕



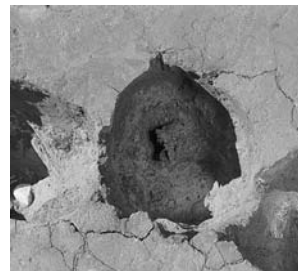
第1843坑柱痕



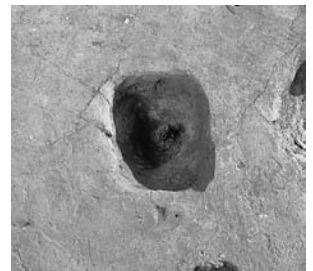
第1857坑柱痕



第1859坑柱痕



第1900坑柱痕



第1917坑柱痕



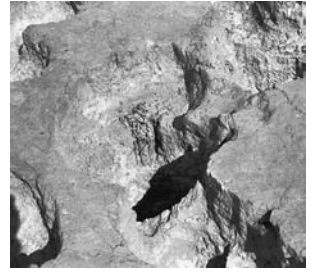
第1918坑柱痕



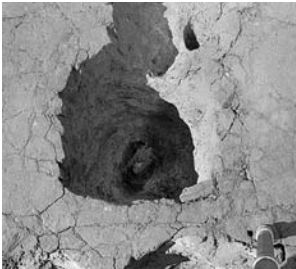
第1926坑柱痕



第1931坑柱痕



第1971坑柱痕



第1973坑柱痕



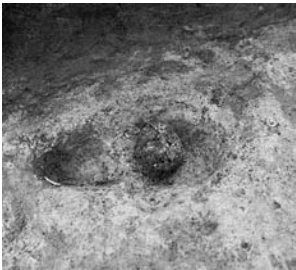
第2057坑柱痕



第2164坑柱痕



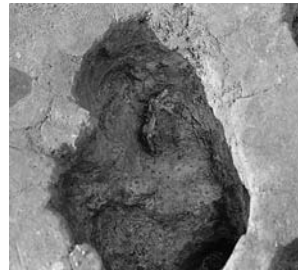
第2570坑柱痕



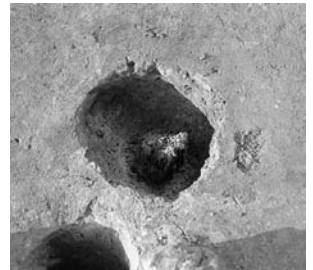
第2626坑柱痕



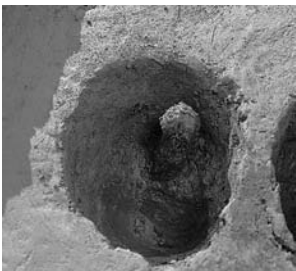
第2642坑柱痕



第2672坑柱痕



第2671坑柱痕



第2695坑柱痕



第2702坑柱痕



第2739坑柱痕



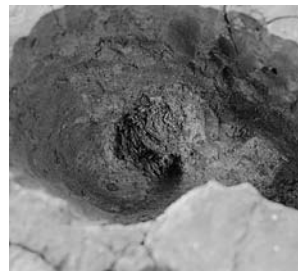
第2746坑柱痕



第2805坑柱痕



第2846坑柱痕



第3033坑柱痕



第3097坑柱痕



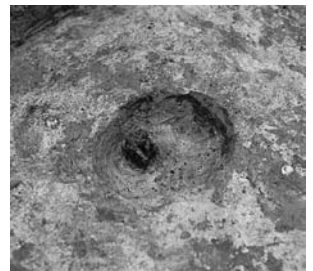
第3100坑柱痕



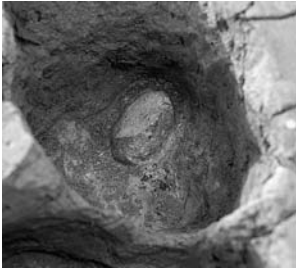
第3101坑柱痕



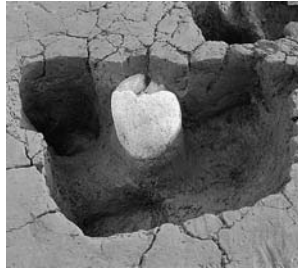
第3102坑柱痕



第3103坑柱痕



第364坑根石



第385坑根石



第563坑根石



第587坑根石



第810坑根石



第1109坑根石



第855・856坑根石



第867坑根石



第931坑根石



第1114坑根石



第1255坑根石



第1326坑根石



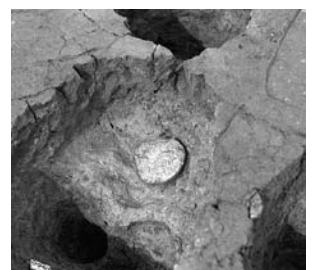
第1323坑根石



第1404坑根石



第1444坑根石



第1466坑根石



第1436坑根石



第1507坑根石



第1543・1546坑根石



第1584坑根石



第1656・1657坑根石



第1658坑根石



第1705・1708坑根石



第1707坑根石



第1771坑根石



第1772坑根石



第1792坑根石



第1811坑根石



第1814坑根石



第1878坑根石



第1881坑根石



第1981坑根石



第1984坑根石



第1989坑根石



第1996坑根石



第2013坑根石



第2096坑根石



第2567・2568坑根石



第2597坑根石



第2664坑根石



第2765坑根石



第2809坑根石



第2811坑根石



第2814坑根石



第2821坑根石



第2841坑根石



第2950坑根石



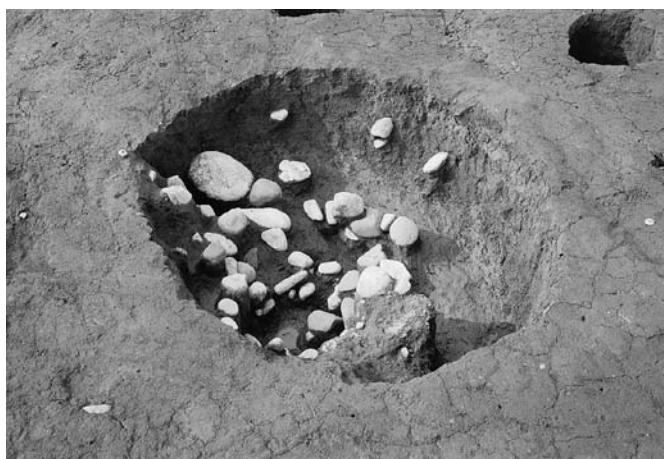
第3098坑根石



第2号井戸跡遺物出土状況（南東から）



第2号井戸跡全景（北から）



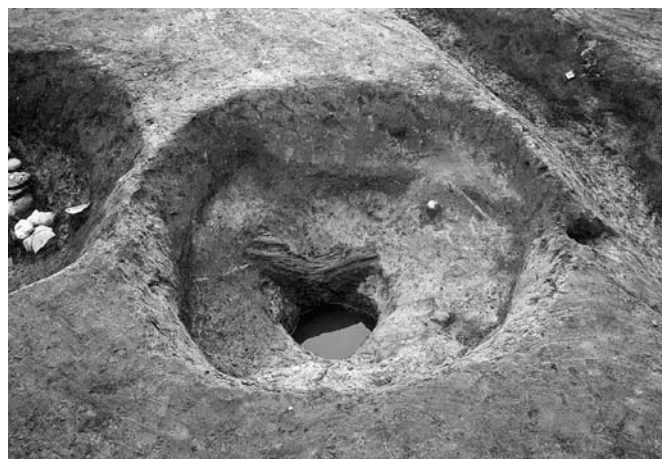
第3号井戸跡遺物出土状況（南南東から）



第4号井戸跡全景（南から）



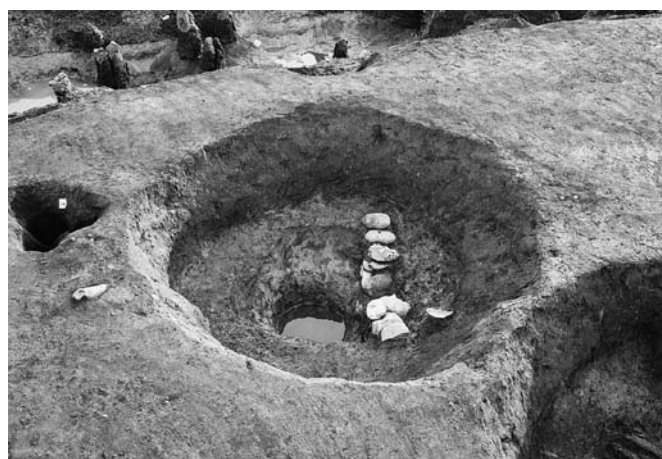
第5号井戸跡遺物出土状況（北東から）



第5号井戸跡全景（北東から）



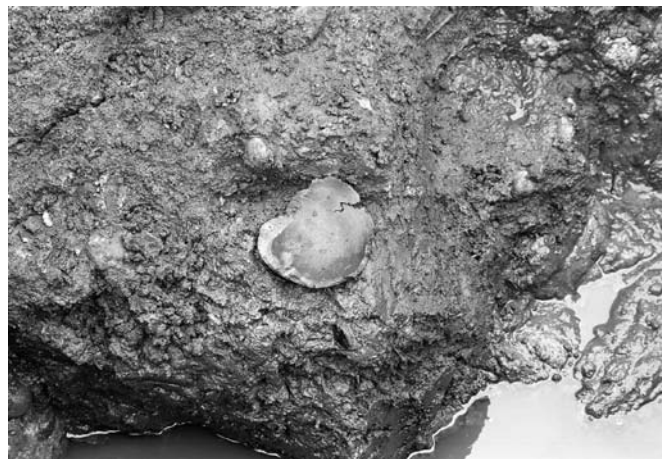
第6号井戸跡遺物出土状況（北東から）



第6号井戸跡全景（北東から）



第7号井戸跡全景（北から）



第7号井戸跡漆器椀出土状況（から）



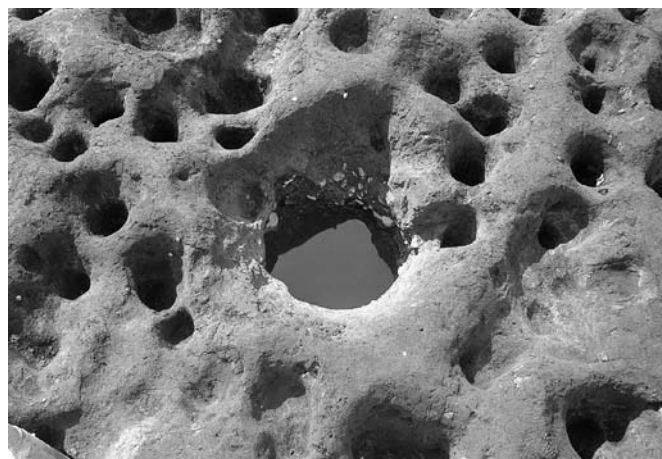
第8号井戸跡上層遺物出土状況（北から）



第8号井戸跡下層遺物出土状況2（北から）



第8号井戸跡全景（北から）



第10号井戸跡全景（北東から）



第11号井戸跡遺物出土状況（北から）



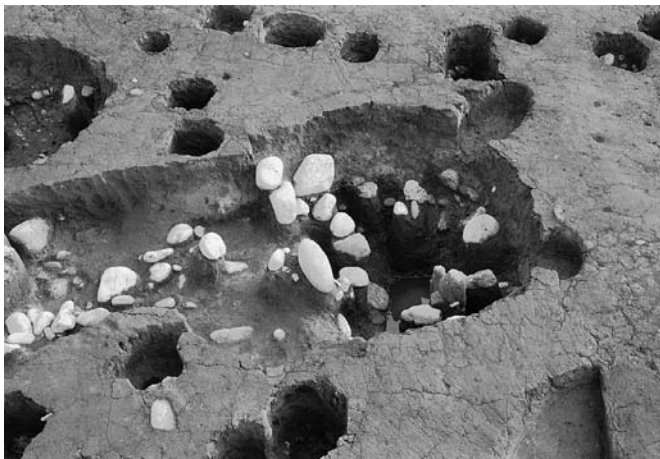
第11号井戸跡及び周辺遺構（北から）



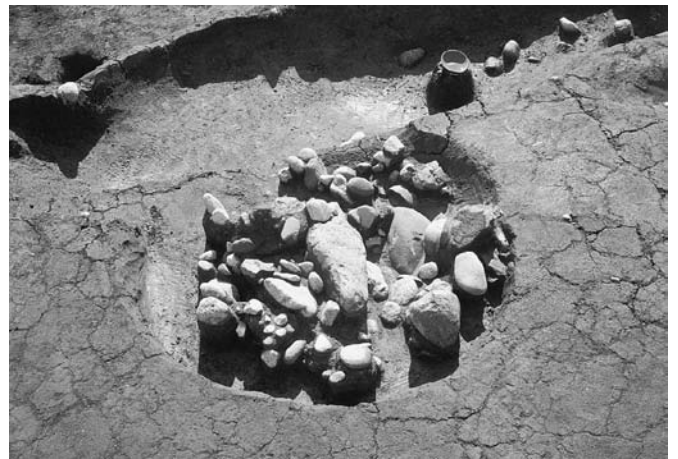
第12号井戸跡遺物出土状況（北から）



第12号井戸跡全景（北から）



第13号井戸跡全景（北から）



第14号井戸跡遺物出土状況（北から）



第15号井戸跡遺物出土状況（北西から）



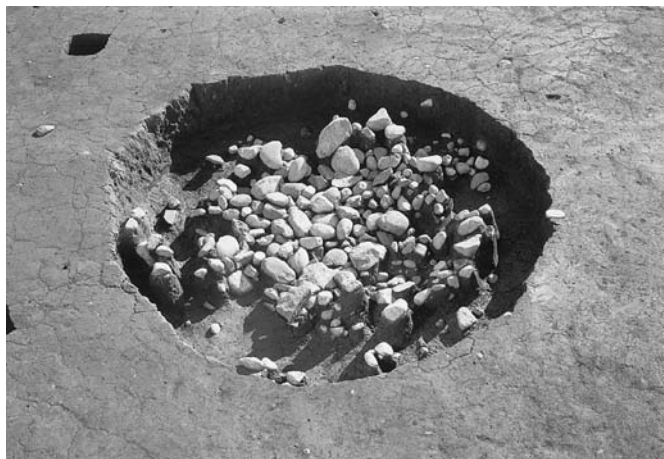
第16号井戸跡遺物出土状況 1（北から）



第16号井戸跡遺物出土状況 2（南から）



第16号井戸跡全景（北から）



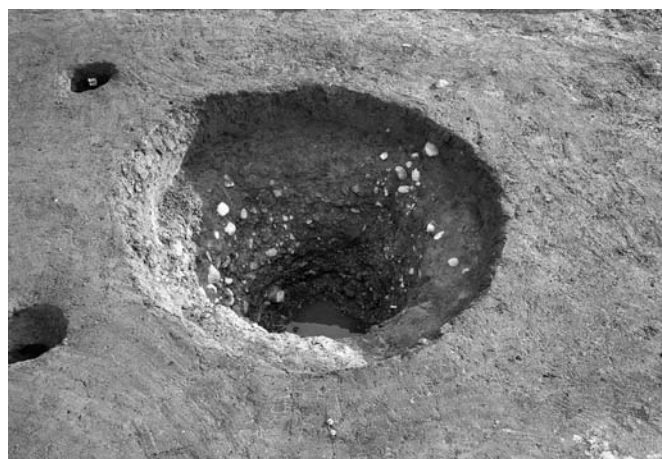
第17号井戸跡遺物出土状況1（北から）



第17号井戸跡遺物出土状況2（東から）



第17号井戸跡木組み出土状況（北から）



第17号井戸跡全景（北から）



第18～20号井戸跡全景（南東から）



第20号井戸跡全景（東から）



第21号井戸跡全景（北から）



第23号井戸跡全景（北から）



第1号炉跡調査進行状況（南から）



第1号炉跡被熱部露呈状況1（南から）



第1号炉跡被熱部露呈状況2（南から）



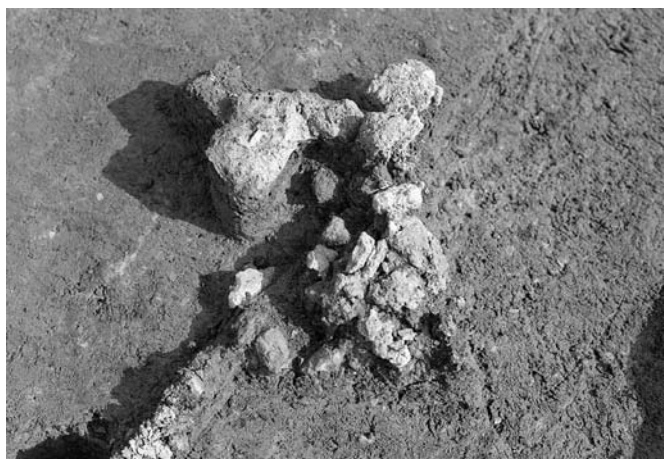
第1号炉跡掘方全景（南から）



B-B'土層断面断状況



E-E'土層断面（被熱部）断割り状況



第1号炉跡羽口・鉄滓出土状況



第1号炉跡・作業場確認状況（北から）



第1号炉跡・作業場全景（南から）



作業場南北土層断面（上層に洪水起源堆積層）（東から）



作業場南北土層断面（上層に洪水起源堆積層）（西から）



作業場遺物出土状況（上層に洪水起源堆積層）（東から）



作業場から炉跡を俯瞰（東南東から）



第2号集石遺物・礫出土状況（北から）



第2号集石下層遺物・礫出土状況（北から）



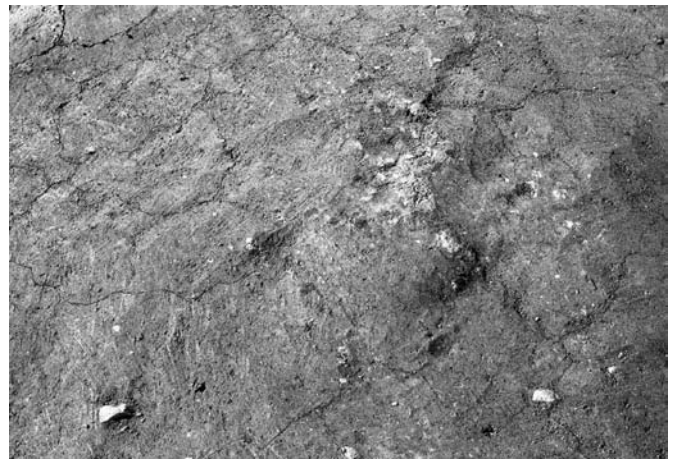
第2号炉跡出土状況（東から）



第2号炉跡出土状況（西から）



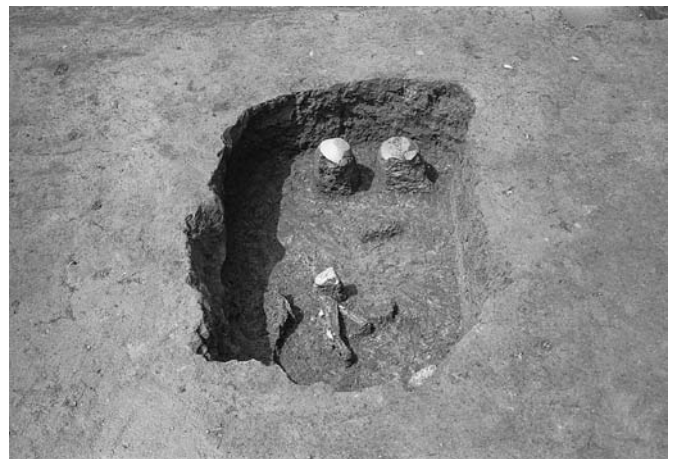
第2号炉跡調査状況（東側から）



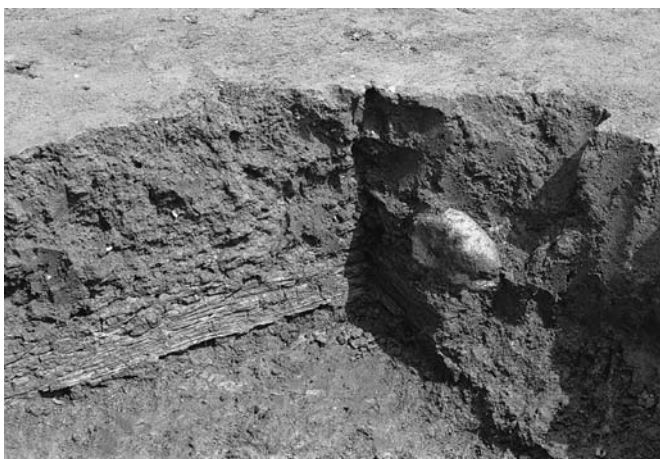
遺構確認面に於ける焼土の出土状況(第7号溝確認面)(北東から)



遺構確認面に於ける木炭粒の出土状況（北西部西詰）



第1号土壙墓全景（南から）



第1号土壙墓南西隅部棺材遺存状況（北東から）



第1号土壙墓南東隅部棺材遺存状況（北西から）



第1号土壙墓全景（南から）



第5号土壙墓全景（南から）



第3号土壙墓全景（南から）



第1号火葬跡全景（東から）



第1004土坑（首桶）露呈状況（北から）



第1004土坑（首桶）土層断面（北から）



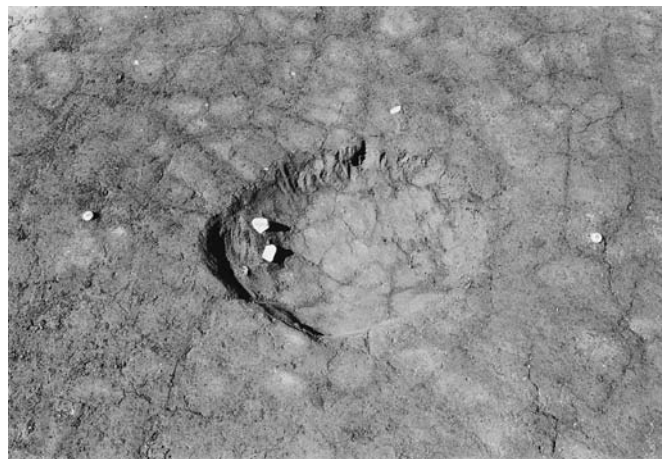
第1004土坑（首桶）銅銭出土状況（西から）



第1004土坑（首桶）桶胴板埋納後の箍の圧痕



第8号土坑全景（北から）



第48号土坑全景（東から）



第60号土坑全景（南東から）



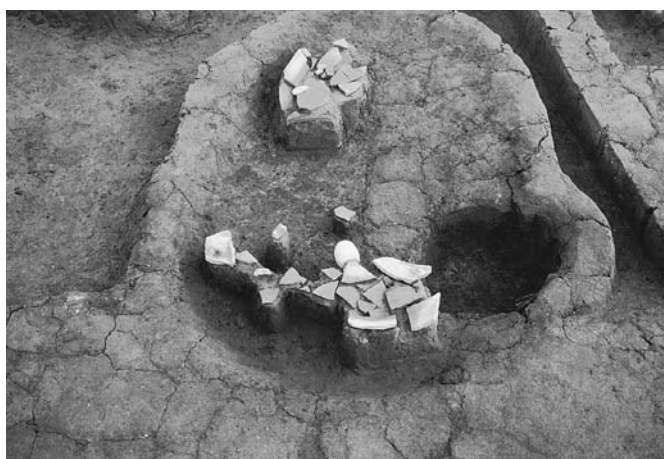
第90号土坑全景（北東から）



第94号土坑全景（東から）



第268号土坑全景（北から）



第517号土坑全景（北から）



第565号土坑全景（北から）



第568号土坑全景（北北西から）



第609号土坑全景（西から）



第740号土坑（覆土内焼土出土状況）（南から）



第870号土坑全景（北から）



第1080号土坑全景（東から）



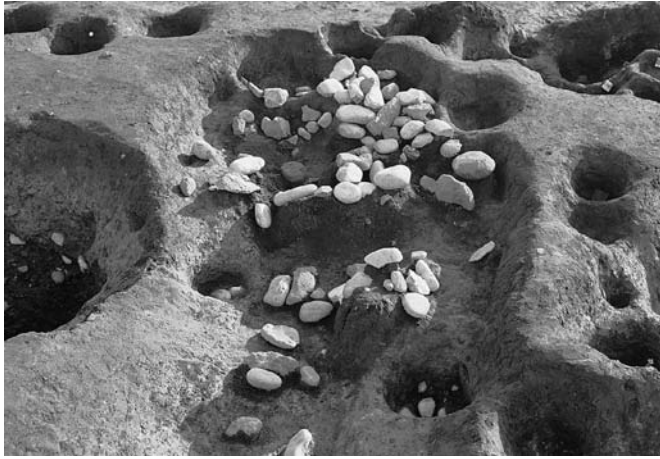
第1301号土坑遺物（輪宝墨書）出土状況（直上から）



第1301号土坑遺物（輪宝墨書）出土状況（南から）



第1839号土坑全景（北西から）



第1835号土坑全景（北から）



第2273号土坑全景（南から）



第2330号土坑全景（南から）



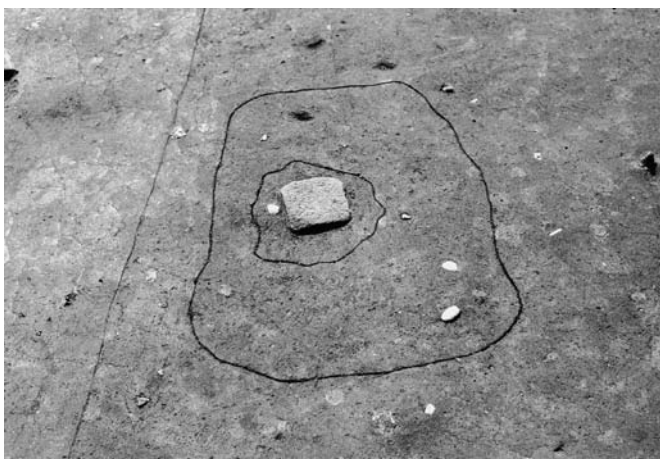
第2369号土坑全景（東から）



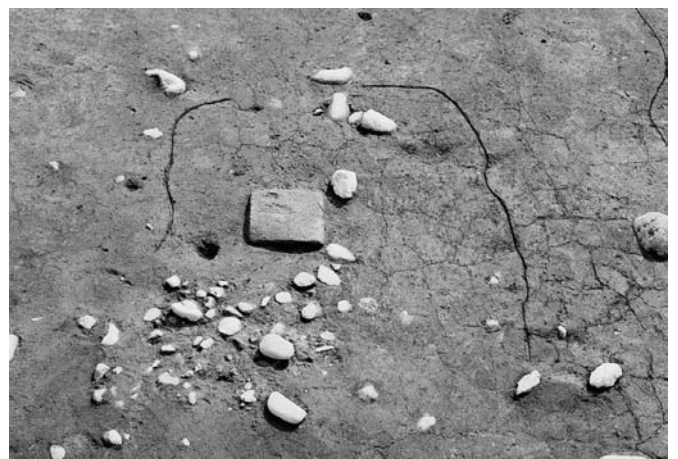
第2350・2296・2361・2310号土坑全景（南から）



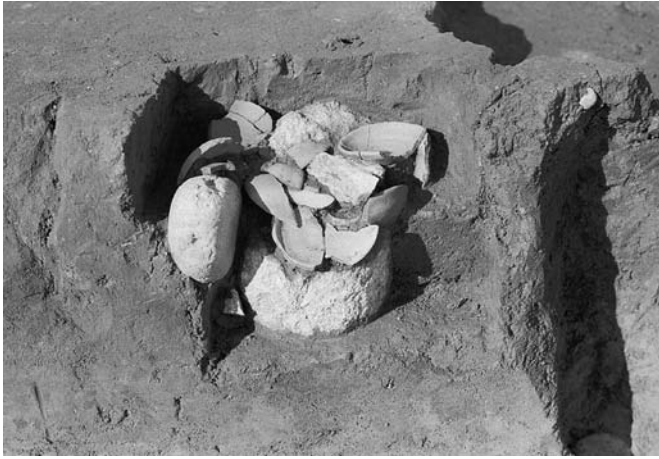
第2701号土坑全景（南南東から）



第2742号土坑確認状況（北から）



第2742号土坑全景（北から）



第2800号土坑全景（南から）



第2800号土坑全景（直上から）



第2984・2972・2983・2971号土坑全景（北から）



第2904号土坑全景（北西から）



第2758号土坑（手前第40号溝状遺構・左下第22号井戸跡）



第3267号土坑全景（上層は洪水堆積）下半は掘り過ぎ（東から）



第3147号土坑周辺全景（北東から）



第3038・3039号土坑周辺全景（北東から）



調査Ⅱ区古代水田跡全景（西から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）調査区北側全景（南西から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）調査区南東側全景（北西から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）調査区中央部全景（西から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）調査区北東側全景（西から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）調査区南側全景（北西から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）調査区中央部全景



調査Ⅱ区第1面（中近世面）調査区中央部全景



調査Ⅱ区第1面（中近世面）中世畑跡全景（北から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）第1号道跡全景（北東から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）第10号溝状遺構全景（南東から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）第9号溝状遺構全景（東から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）第13号溝状遺構全景（東から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）第11号溝状遺構全景（東から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）第14号溝状遺構全景（東から）



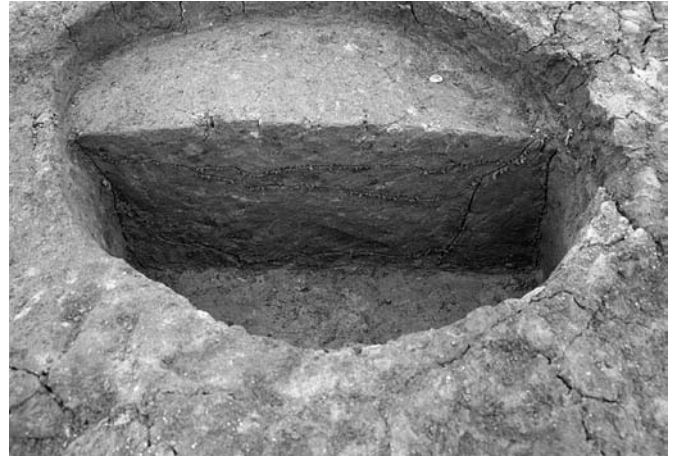
調査Ⅱ区第1面（中近世面）中世ピット群（西から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）第8号土坑全景（北から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）第11号土坑全景（北から）



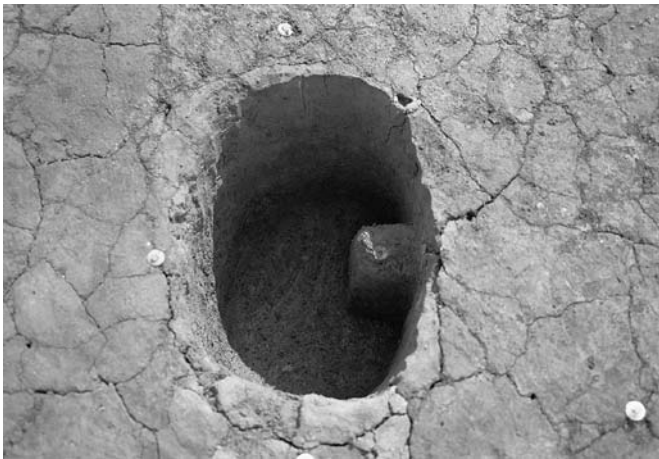
調査Ⅱ区第1面（中近世面）第14号土坑土層断面（北から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）第38号土坑全景（北から）



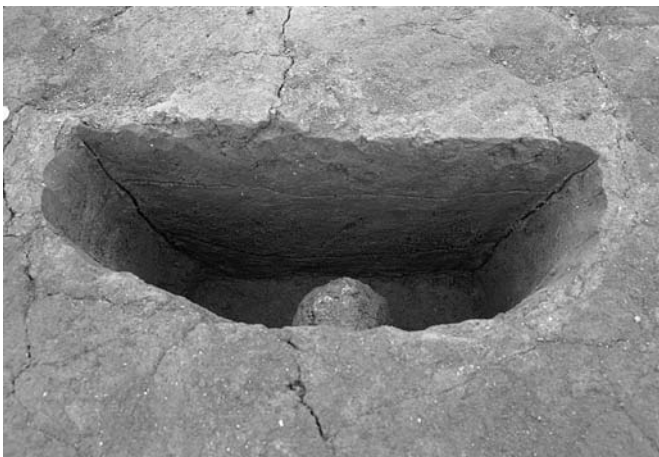
調査Ⅱ区第1面（中近世面）第39号土坑全景（北から）



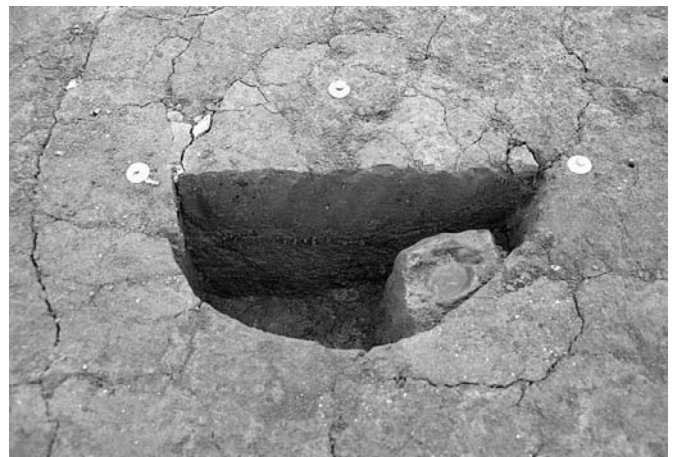
調査Ⅱ区第1面（中近世面）第40号土坑全景（北から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）第57号土坑全景（北から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）第40号土坑土層断面（西から）



調査Ⅱ区第1面（中近世面）第57号土坑土層断面（北から）



調査Ⅱ区第2面（古代面）水田跡全景（西から）



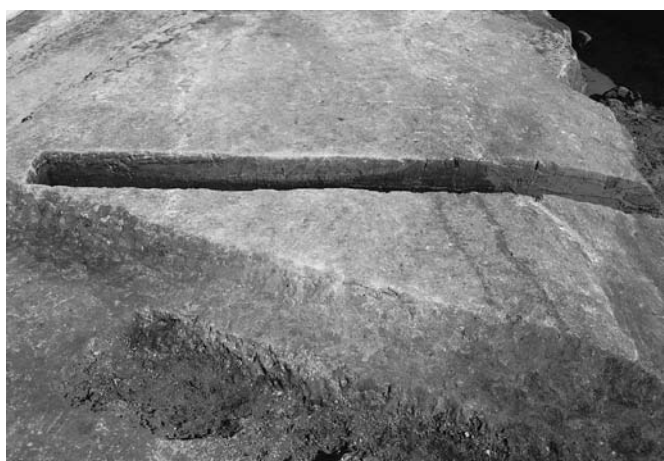
調査Ⅱ区第3面（古代面）トレンチ調査状況（西から）



調査Ⅱ区第2面（古代面）第15号溝状遺構全景（左新田堀用水長堀幹線水路）（東から）



調査Ⅱ区第2面（古代面）第2号道跡全景（北東から）



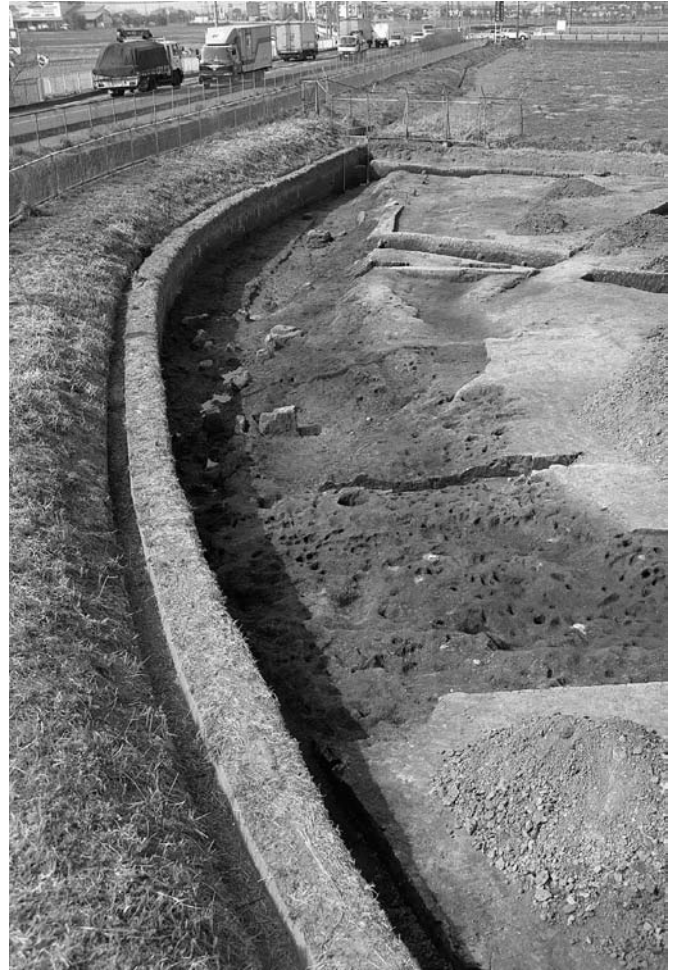
調査Ⅱ区第2面（古代面）第2号道跡土層断面（西から）



調査Ⅱ区第2面(古代面)第2号道跡と第15号溝状遺構全景(北東から)



調査Ⅱ区第2面（古代面）第2号道跡最下層面全景（北東から）



調査Ⅱ区第3面(古代面)第15・16・23・19号溝状遺構全景全景(北から)



調査Ⅱ区第3面（古代面）第14・16号溝状遺構全景（北から）



調査風景



新田堀の築堤のトレンチ土層断面 (A-A') (北から)



C トレンチの配置状況 (北西から)



新田堀の築堤のトレンチ土層断面 (A-A') (北西から)



新田堀の築堤のトレンチ土層断面 (B-B') (北から)



新田堀の築堤のトレンチ土層断面 (B-B') (北西から)



新田堀の築堤のトレンチ土層断面 (C-C') (北から)



新田堀の築堤のトレンチ土層断面 (C-C') (北西から)



付図1 調査I区全体図 (1:150)



付図2 木製品出土位置分布図 (1:200)

- △ = 製品
- = 杭
- = 参

0 1:200 20m